

北斗市 館野2遺跡C地区

— 高規格幹線道路函館江差自動車道工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書 —

第1分冊
(文章編)

平成25年度

公益財団法人 北海道埋蔵文化財センター

北斗市 館野2遺跡C地区

— 高規格幹線道路函館江差自動車道工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書 —

第1分冊
(文章編)

平成25年度

公益財団法人 北海道埋蔵文化財センター



CH-25 完掘（上は「函館山」）

北西から

口絵 2



館野2遺跡C地区出土 円筒上層b式土器 (CH-58 出土)



館野2遺跡C地区出土 土偶



館野2遺跡C地区出土 石棒

口絵 4



館野2遺跡C地区出土 シャチ形土製品 (CH-31 出土)



CH-43 石棒と石冠様石製品出土状況

例 言

- 1 本書は、平成19・20年度に当センターが調査を実施した高規格幹線道路函館江差自動車道工事用地内の埋蔵文化財包蔵地「館野2遺跡C地区」の発掘調査報告である。なお、平成19年度に調査を実施したA・B地区については、平成23年度に報告書を刊行した（北埋調報283）。
- 2 本書の執筆は、I章 佐川俊一、皆川洋一が担当した。II章 遺構に関する事実記載については、各担当者が行い文末に記した。III・V章と全体の編集は、皆川が担当した。
- 3 各種分析・鑑定等は下記に委託した。（ ）内は分析・鑑定の実施年度である。
 - ・放射性炭素による年代測定（平成20・22・23年度） 株式会社加速器分析研究所
 - ・炭化材の樹種同定（平成21年度） パリノ・サーヴェイ株式会社
 - ・動物遺存体の同定（平成21年度） パリノ・サーヴェイ株式会社
 - ・炭化種実の同定（平成21年度） パリノ・サーヴェイ株式会社
- 4 石材鑑定は、立田 理が行った。
- 5 現場の写真撮影は、各調査員が行った。遺物の写真撮影は中山昭大、吉田裕吏洋が行った。
- 6 整理作業の担当は、遺物別に次の調査員が担当した。
土器、石器、土・石製品（皆川）、自然遺物（佐川、皆川）
- 7 調査報告終了後の出土遺物および記録類については、北斗市教育委員会が保管する。
- 8 調査にあたっては、下記の諸機関・各氏からご指導ご協力をいただいた（敬称略、所属は調査当時による）。

文化庁、北海道教育委員会、北斗市教育委員会、北海道開発局函館開発建設部函館道路事務所、北斗市教育委員会 森 靖裕、七飯町教育委員会 山田 央、函館市教育委員会 長谷部一弘・田原良信・中村公宜・佐藤智雄・野村祐一・阿部千春・福田裕二・小林 貢、特定非営利活動法人 坪井睦美・荻野幸男・吉田 力、北海道教育大学教育学部函館校 雁澤好博・紀藤典夫、函館工業高等専門学校 中村和之、森町教育委員会 高橋 毅・本山志郎、木古内町教育委員会 木元 豊、知内町教育委員会 高橋豊彦、松前町教育委員会 久保 泰・前田正憲、上ノ国町教育委員会 斉藤邦典・塚田直哉、厚真町教育委員会 乾 哲也、北斗市 落合治彦・木下寿実夫、函館市 横山英介、青森市 鈴木克彦、北海道立地質研究所・石丸 聡・田村 慎、札幌学院大学 臼杵 勲、東京大学 熊木俊朗、岡山理科大学 小林博昭

記号等の説明

1. 本文中および図、表中では以下の記号を用い、原則として確認順に番号を付した。

CH：住居跡 CP：土壙（墓とみられるものも含む） CF：焼土 CS：集石 CSP：柱穴状小ピット
CFC：フレイク・チップ集中。※各遺構の頭にはC地区の「C」を付した。

2. 掲載した実測図の縮尺は原則として以下のとおりである。これ以外の縮尺を用いる場合にはスケールを付した。

遺構 1：40 遺物出土状況 1：20 復原土器 1：3 土器拓本 1：3
剥片石器 1：2 礫石器 1：3（大型の石皿については 1：4 としたものがある）
土・石製品 1：2

3. 遺構平面図の小数字は標高（単位m）を表している。

4. 基本土層図、遺構の土層断面図に表記した数字は、標高（単位m）を示している。

5. 基本土層はローマ数字、それ以外の土層はアラビア数字を用いて表した。

6. 遺構の規模は、「確認面の長軸長×短軸長、床面（壙底面）の長軸長×短軸長／確認面からの最大深」を単位mで示してある。なお、一部破壊されているものは数値に（ ）を付した。

7. 火山灰について以下の略号を用いている部分がある。

Ko-d：駒ヶ岳d降下火山灰（1640年降下）、B-Tm：白頭山 - 苫小牧火山灰（10世紀降下）

8. 石器の大きさは「最大長×最大幅×最大厚」で記してある。なお、破損しているものについては、現存の最大値を（ ）で示した。

9. 遺構図で用いた方位は真北である。

10. 遺物実測図中でたたき痕はV—V、すり痕は |——| で範囲を表した。また、自然面はドットなどで表現した。剥片石の光沢部は、細線で表現した。

11. 土層注記について、基本層序の混入状況を説明するため、下記のようにあらわしたものがある。

A+B：AとBが等量混じる A>B：AにBが少量混じる A>>B：AにBが微量混じる

その他の使用した網掛け部分は、そのつど凡例を付してある。

12. 遺構の図面のうち、遺物出土状況を表したものの一部に、以下のマークを使用した。

覆土出土 土器：○ 剥片石器、土・石製品：☆ 礫石器：△ フレイク、チップ：□ 礫：◎

床面出土 土器：● 剥片石器、土・石製品：★ 礫石器：▲ フレイク、チップ：■ 礫：×

13. 文献の引用中、(財)北海道埋蔵文化財センターや(公財)北海道埋蔵文化財センターの発行調査報告書については、シリーズ名を略し、(北埋調報○○○)と記した。

14. 石器に関わる一覧表の石材については以下の略号を用いた。

SS：砂岩 (Sandstone)、Sh：頁岩 (Shale)、S.Sh：珪質頁岩 (Siliceous Shale)、S.W：白色珪化岩 (Silicified rock White)、Ob：黒曜石 (Obsidian)、Ch：チャート (Chert)、Qua：珪岩 (Quartzite)、Ag：メノウ (Agate)、MS：泥岩 (Mudstone)、Tu：凝灰岩 (Tuff)、CM：礫岩 (Conglomerate)、ST：シルト岩 (Siltstone)、Rh：流紋岩 (Rhyotite)、Da：デイサイト (Pacite)、An：安山岩 (Andesite)、Hb-An：角閃石安山岩 (Hornbende Andesite)、Px-An：輝石安山岩 (Pyroxene Andesite)、Bs：玄武岩 (Basalt)、Gra：花崗閃緑岩 (Granodiorite)、Di：閃緑岩 (Diorite)、Dol：粗粒玄武岩 (Dolerite)、Sl：粘板岩 (Slate)、G-Tu：緑色凝灰岩 (Green Tuff)、Gls：藍閃石片岩 (Glancophane Schist)、Grs：緑色片岩 (Green Schist)、Sc：片岩 (Schist)

目 次

第1分冊（文章編）

口絵カラー
例言
記号等の説明
目次

I 章 調査の概要

1	調査要項	1
2	調査体制	1
3	調査の経緯と経過	2
4	遺跡の地形と立地	4
5	調査区の設定	7
6	調査方法	7
7	遺物の分類	8
8	基本層序	9
9	調査結果の概要	9

II 章 遺構

1	住居跡	11
2	土壌	114
3	焼土	180
4	柱穴状小ピット	208
5	フレイク・チップ集中	208
6	集石	208

III 章 包含層の遺物

1	土器	211
2	石器	214
3	石製品	217
4	土製品	217
5	金属製品	218

IV 章 自然科学的分析

1	館野2遺跡C地区における放射性炭素年代（AMS測定）	株式会社加速器分析研究所	219
2	北斗市館野2遺跡C地区遺跡出土黒曜石製遺物の原材産地分析	有限会社遺物材料研究所	228
3	館野2遺跡C地区出土炭化材の樹種同定	小林克也（パレオ・ラボ）	245
4	炭化材樹種同定・炭化種子同定及び花粉分析（北斗市館野2遺跡C地区遺跡）	パリノ・サーヴェイ株式会社	249

5 動物遺存体同定（北斗市館野2遺跡C地区） パリノ・サーヴェイ株式会社… 260

V章 総括…………… 265
参考文献

VI章 資料…………… 273

第1分冊（文章編）挿図目次

I章 調査の概要

図 I-1 館野2遺跡C地区の位置…………… 5
図 I-2 館野2遺跡と周辺の地形…………… 6
図 I-3 調査区…………… 7
図 I-4 基本土層…………… 9
図 I-5 遺構配置図（折込図版）

IV章 自然科学的分析

1-図1 暦年較正年代グラフ（平成21年度分①）…………… 226
2-図1 日本・朝鮮半島・極東ロシア・アラスカ州における表1使用の石器現在播図…………… 236
2-図2 黒曜石原産地…………… 236
4-図1 I-68地点における花粉化石群衆の層位分布…………… 255

V章 総括

図 V-1 縄文時代中期前半（円筒上層b式・サイベ沢Ⅶ式・見晴町式）遺構配置図…………… 266

第1分冊（文章編）表目次

I章

表 I-1 検出遺構一覧…………… 9
表 I-2 出土遺物点数一覧…………… 10

IV章

1-表1 放射性年代測定結果（平成21～23年度分）…………… 222
1-表2（1） 暦年較正年代（平成21年度分）…………… 223
1-表2（2） 暦年較正年代（平成22年度分）…………… 224
1-表2（3） 暦年較正年代（平成23年度分①）…………… 225
1-表2（4） 暦年較正年代（平成23年度分②）…………… 226
2-表1-1 各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値…………… 237

2-表1-2	黒曜石製遺物群の元素比の平均値と標準偏差値	240
2-表2	湧別川河口域の河床から採取した247個の黒曜石円礫の分類結果	242
2-表3	常呂川(中ノ島～北見大橋)から採取した661個の黒曜石円礫の分類結果	242
2-表4	サナブチ川から採取した44個の黒曜石円礫の分類結果	242
2-表5	北斗市館野2遺跡C地区出土黒曜石製遺物の元素比分析結果	243
2-表6	北斗市館野2遺跡C地区遺跡出土黒曜石製遺物の産地分析結果	244
3-表1	出土炭化材の樹種同定結果	245
3-付表1	館野2遺跡C地区出土炭化材の樹種同定結果一覧	247
4-表1	炭化材同定結果	250
4-表2	種実遺体分析結果	252
4-表3	花粉分析結果	253
4-表4	遺構別炭化材種類構成	254
5-表1	検出分類群の一覧	260
5-表2	骨同定結果(1)	261

VI章 資料

表VI-1	検出遺構一覧	273
表VI-2	居住跡柱穴規模一覧	284
表VI-3	遺構出土遺物一覧	287
表VI-4	掲載遺構別土器一覧	368
表VI-5	掲載遺構別石器一覧	398
表VI-6	掲載土器(包含層)一覧	414
表VI-7	掲載石器(包含層)一覧	420
表VI-8	掲載遺構別土製品・石製品一覧	424
表VI-9	掲載土製品・石製品(包含層)一覧	426

第1分冊(文章編)写真図版目次

IV章 自然科学的分析

3-図版1	館野2遺跡C地区出土炭化材の走査型電子顕微鏡写真	248
4-図版1	炭化材(1)	257
4-図版2	炭化材(2)・種実遺体	258
4-図版3	花粉化石	259
5-図版1	出土骨	264

第2分冊（遺構編）挿図目次

Ⅱ章 遺構

図Ⅱ-1	CH-1	1	図Ⅱ-49	CH-13(2)	49
図Ⅱ-2	CH-1の遺物(1)	2	図Ⅱ-50	CH-13の遺物(1)	50
図Ⅱ-3	CH-1の遺物(2)	3	図Ⅱ-51	CH-13の遺物(2)	51
図Ⅱ-4	CH-2	4	図Ⅱ-52	CH-13の遺物(3)	52
図Ⅱ-5	CH-2の遺物(1)	5	図Ⅱ-53	CH-13の遺物(4)	53
図Ⅱ-6	CH-2の遺物(2)	6	図Ⅱ-54	CH-14	54
図Ⅱ-7	CH-2の遺物(3)	7	図Ⅱ-55	CH-14の遺物(1)	55
図Ⅱ-8	CH-2の遺物(4)	8	図Ⅱ-56	CH-14の遺物(2)	56
図Ⅱ-9	CH-2の遺物(5)	9	図Ⅱ-57	CH-14の遺物(3)	57
図Ⅱ-10	CH-2の遺物(6)	10	図Ⅱ-58	CH-15(1)・16(1)	59
図Ⅱ-11	CH-3	11	図Ⅱ-59	CH-15(2)・16(2)	61
図Ⅱ-12	CH-3の遺物(1)	12	図Ⅱ-60	CH-15の遺物(1)	62
図Ⅱ-13	CH-3の遺物(2)	13	図Ⅱ-61	CH-15の遺物(2)	63
図Ⅱ-14	CH-4(1)	14	図Ⅱ-62	CH-15の遺物(3)	64
図Ⅱ-15	CH-4(2)	15	図Ⅱ-63	CH-15の遺物(4)	65
図Ⅱ-16	CH-4の遺物(1)	16	図Ⅱ-64	CH-15の遺物(5)	66
図Ⅱ-17	CH-4の遺物(2)	17	図Ⅱ-65	CH-15の遺物(6)	67
図Ⅱ-18	CH-4の遺物(3)	18	図Ⅱ-66	CH-15の遺物(7)	68
図Ⅱ-19	CH-4の遺物(4)	19	図Ⅱ-67	CH-15の遺物(8)	69
図Ⅱ-20	CH-5	20	図Ⅱ-68	CH-15の遺物(9)	70
図Ⅱ-21	CH-5の遺物(1)	21	図Ⅱ-69	CH-16の遺物(1)	71
図Ⅱ-22	CH-5の遺物(2)	22	図Ⅱ-70	CH-16の遺物(2)	72
図Ⅱ-23	CH-6遺構図・CH-6の遺物	23	図Ⅱ-71	CH-16の遺物(3)	73
図Ⅱ-24	CH-7	24	図Ⅱ-72	CH-16の遺物(4)	74
図Ⅱ-25	CH-7の遺物(1)	25	図Ⅱ-73	CH-16の遺物(5)	75
図Ⅱ-26	CH-7の遺物(2)	26	図Ⅱ-74	CH-16の遺物(6)	76
図Ⅱ-27	CH-8遺構図・CH-8の遺物	27	図Ⅱ-75	CH-16の遺物(7)	77
図Ⅱ-28	CH-9	28	図Ⅱ-76	CH-16の遺物(8)	78
図Ⅱ-29	CH-9の遺物(1)	29	図Ⅱ-77	CH-16の遺物(9)	79
図Ⅱ-30	CH-9の遺物(2)	30	図Ⅱ-78	CH-16の遺物(10)	80
図Ⅱ-31	CH-9の遺物(3)	31	図Ⅱ-79	CH-16の遺物(11)	81
図Ⅱ-32	CH-9の遺物(4)	32	図Ⅱ-80	CH-16の遺物(12)	82
図Ⅱ-33	CH-9の遺物(5)	33	図Ⅱ-81	CH-16の遺物(13)	83
図Ⅱ-34	CH-10遺構図・CH-10の遺物	34	図Ⅱ-82	CH-17	84
図Ⅱ-35	CH-11	35	図Ⅱ-83	CH-17の遺物(1)	85
図Ⅱ-36	CH-11の遺物(1)	36	図Ⅱ-84	CH-17の遺物(2)	86
図Ⅱ-37	CH-11の遺物(2)	37	図Ⅱ-85	CH-18	87
図Ⅱ-38	CH-11の遺物(3)	38	図Ⅱ-86	CH-18の遺物(1)	89
図Ⅱ-39	CH-12(1)	39	図Ⅱ-87	CH-18の遺物(2)	90
図Ⅱ-40	CH-12(2)	40	図Ⅱ-88	CH-18の遺物(3)	91
図Ⅱ-41	CH-12の遺物(1)	41	図Ⅱ-89	CH-18の遺物(4)	92
図Ⅱ-42	CH-12の遺物(2)	42	図Ⅱ-90	CH-18の遺物(5)	93
図Ⅱ-43	CH-12の遺物(3)	43	図Ⅱ-91	CH-18の遺物(6)	94
図Ⅱ-44	CH-12の遺物(4)	44	図Ⅱ-92	CH-18の遺物(7)	95
図Ⅱ-45	CH-12の遺物(5)	45	図Ⅱ-93	CH-18の遺物(8)	96
図Ⅱ-46	CH-12の遺物(6)	46	図Ⅱ-94	CH-18の遺物(9)	97
図Ⅱ-47	CH-12の遺物(7)	47	図Ⅱ-95	CH-19	98
図Ⅱ-48	CH-13(1)	48	図Ⅱ-96	CH-19の遺物	99
			図Ⅱ-97	CH-20(1)	100

図Ⅱ-98	CH-20(2)	101	図Ⅱ-150	CH-30	157
図Ⅱ-99	CH-20の遺物(1)	102	図Ⅱ-151	CH-30の遺物(1)	159
図Ⅱ-100	CH-20の遺物(2)	103	図Ⅱ-152	CH-30の遺物(2)	160
図Ⅱ-101	CH-20の遺物(3)	104	図Ⅱ-153	CH-30の遺物(3)	161
図Ⅱ-102	CH-20の遺物(4)	105	図Ⅱ-154	CH-30の遺物(4)	162
図Ⅱ-103	CH-21遺構図・CH-21の遺物(1)	106	図Ⅱ-155	CH-30の遺物(5)	163
図Ⅱ-104	CH-21の遺物(2)	107	図Ⅱ-156	CH-30の遺物(6)	164
図Ⅱ-105	CH-22(1)	109	図Ⅱ-157	CH-30の遺物(7)	165
図Ⅱ-106	CH-22(2)	111	図Ⅱ-158	CH-30の遺物(8)	166
図Ⅱ-107	CH-22の遺物(1)	112	図Ⅱ-159	CH-30の遺物(9)	167
図Ⅱ-108	CH-22の遺物(2)	113	図Ⅱ-160	CH-30の遺物(10)	168
図Ⅱ-109	CH-22の遺物(3)	114	図Ⅱ-161	CH-30の遺物(11)	169
図Ⅱ-110	CH-22の遺物(4)	115	図Ⅱ-162	CH-30の遺物(12)	170
図Ⅱ-111	CH-22の遺物(5)	116	図Ⅱ-163	CH-30の遺物(13)	171
図Ⅱ-112	CH-22の遺物(6)	117	図Ⅱ-164	CH-30の遺物(14)	172
図Ⅱ-113	CH-22の遺物(7)	118	図Ⅱ-165	CH-30の遺物(15)	173
図Ⅱ-114	CH-22の遺物(8)	119	図Ⅱ-166	CH-30の遺物(16)	174
図Ⅱ-115	CH-22の遺物(9)	120	図Ⅱ-167	CH-31(1)	175
図Ⅱ-116	CH-23遺構図・CH-23の遺物	121	図Ⅱ-168	CH-31(2)	177
図Ⅱ-117	CH-24	123	図Ⅱ-169	CH-31(3)	178
図Ⅱ-118	CH-24の遺物(1)	125	図Ⅱ-170	CH-31の遺物(1)	179
図Ⅱ-119	CH-24の遺物(2)	126	図Ⅱ-171	CH-31の遺物(2)	180
図Ⅱ-120	CH-24の遺物(3)	127	図Ⅱ-172	CH-31の遺物(3)	181
図Ⅱ-121	CH-24の遺物(4)	128	図Ⅱ-173	CH-31の遺物(4)	182
図Ⅱ-122	CH-24の遺物(5)	129	図Ⅱ-174	CH-31の遺物(5)	183
図Ⅱ-123	CH-24の遺物(6)	130	図Ⅱ-175	CH-31の遺物(6)	184
図Ⅱ-124	CH-24の遺物(7)	131	図Ⅱ-176	CH-31の遺物(7)	185
図Ⅱ-125	CH-24の遺物(8)	132	図Ⅱ-177	CH-31の遺物(8)	186
図Ⅱ-126	CH-24の遺物(9)	133	図Ⅱ-178	CH-31の遺物(9)	187
図Ⅱ-127	CH-25(1)	134	図Ⅱ-179	CH-31の遺物(10)	188
図Ⅱ-128	CH-25(2)	135	図Ⅱ-180	CH-31の遺物(11)	189
図Ⅱ-129	CH-25の遺物(1)	136	図Ⅱ-181	CH-31の遺物(12)	190
図Ⅱ-130	CH-25の遺物(2)	137	図Ⅱ-182	CH-31の遺物(13)	191
図Ⅱ-131	CH-25の遺物(3)	138	図Ⅱ-183	CH-31の遺物(14)	192
図Ⅱ-132	CH-25の遺物(4)	139	図Ⅱ-184	CH-31の遺物(15)	193
図Ⅱ-133	CH-25の遺物(5)	140	図Ⅱ-185	CH-31の遺物(16)	194
図Ⅱ-134	CH-26(1)	141	図Ⅱ-186	CH-31の遺物(17)	195
図Ⅱ-135	CH-26(2)	142	図Ⅱ-187	CH-31の遺物(18)	196
図Ⅱ-136	CH-26の遺物(1)	143	図Ⅱ-188	CH-31の遺物(19)	197
図Ⅱ-137	CH-26の遺物(2)	144	図Ⅱ-189	CH-31の遺物(20)	198
図Ⅱ-138	CH-26の遺物(3)	145	図Ⅱ-190	CH-31の遺物(21)	199
図Ⅱ-139	CH-26の遺物(4)	146	図Ⅱ-191	CH-31の遺物(22)	200
図Ⅱ-140	CH-26の遺物(5)	147	図Ⅱ-192	CH-31の遺物(23)	201
図Ⅱ-141	CH-27	148	図Ⅱ-193	CH-31の遺物(24)	202
図Ⅱ-142	CH-27の遺物(1)	149	図Ⅱ-194	CH-31の遺物(25)	203
図Ⅱ-143	CH-27の遺物(2)	150	図Ⅱ-195	CH-31の遺物(26)	204
図Ⅱ-144	CH-28遺構図・CH-28の遺物	151	図Ⅱ-196	CH-31の遺物(27)	205
図Ⅱ-145	CH-29(1)	152	図Ⅱ-197	CH-31の遺物(28)	206
図Ⅱ-146	CH-29(2)	153	図Ⅱ-198	CH-31の遺物(29)	207
図Ⅱ-147	CH-29の遺物(1)	154	図Ⅱ-199	CH-31の遺物(30)	208
図Ⅱ-148	CH-29の遺物(2)	155	図Ⅱ-200	CH-31の遺物(31)	209
図Ⅱ-149	CH-29の遺物(3)	156	図Ⅱ-201	CH-32	210

図Ⅱ-202	CH-32の遺物(1)	211	図Ⅱ-252	CH-48	263
図Ⅱ-203	CH-32の遺物(2)	212	図Ⅱ-253	CH-48の遺物	264
図Ⅱ-204	CH-33	213	図Ⅱ-254	CH-49	265
図Ⅱ-205	CH-33の遺物	214	図Ⅱ-255	CH-49の遺物(1)	266
図Ⅱ-206	CH-34(1)	215	図Ⅱ-256	CH-49の遺物(2)	267
図Ⅱ-207	CH-34(2)	216	図Ⅱ-257	CH-49の遺物(3)	268
図Ⅱ-208	CH-34の遺物(1)	217	図Ⅱ-258	CH-49の遺物(4)	269
図Ⅱ-209	CH-34の遺物(2)	218	図Ⅱ-259	CH-50(1)	270
図Ⅱ-210	CH-34の遺物(3)	219	図Ⅱ-260	CH-50(2)	271
図Ⅱ-211	CH-34の遺物(4)	220	図Ⅱ-261	CH-50(3)	272
図Ⅱ-212	CH-34の遺物(5)	221	図Ⅱ-262	CH-50の遺物(1)	273
図Ⅱ-213	CH-34の遺物(6)	222	図Ⅱ-263	CH-50の遺物(2)	274
図Ⅱ-214	CH-34の遺物(7)	223	図Ⅱ-264	CH-50の遺物(3)	275
図Ⅱ-215	CH-34の遺物(8)	224	図Ⅱ-265	CH-50の遺物(4)	276
図Ⅱ-216	CH-34の遺物(9)	225	図Ⅱ-266	CH-50の遺物(5)	277
図Ⅱ-217	CH-34の遺物(10)	226	図Ⅱ-267	CH-51(1)・56(1)	279
図Ⅱ-218	CH-34の遺物(11)	227	図Ⅱ-268	CH-51(2)・56(2)	281
図Ⅱ-219	CH-34の遺物(12)	228	図Ⅱ-269	CH-51(3)	282
図Ⅱ-220	CH-35・42	229	図Ⅱ-270	CH-51の遺物(1)	283
図Ⅱ-221	CH-35の遺物	230	図Ⅱ-271	CH-51の遺物(2)	284
図Ⅱ-222	CH-36遺構図・CH-36の遺物	231	図Ⅱ-272	CH-51の遺物(3)	285
図Ⅱ-223	CH-37遺構図・CH-37の遺物	232	図Ⅱ-273	CH-51の遺物(4)	286
図Ⅱ-224	CH-38遺構図・CH-38の遺物	233	図Ⅱ-274	CH-51の遺物(5)	287
図Ⅱ-225	CH-39(1)	234	図Ⅱ-275	CH-51の遺物(6)	288
図Ⅱ-226	CH-39(2)	235	図Ⅱ-276	CH-51の遺物(7)	289
図Ⅱ-227	CH-39の遺物(1)	236	図Ⅱ-277	CH-51の遺物(8)	290
図Ⅱ-228	CH-39の遺物(2)	237	図Ⅱ-278	CH-51の遺物(9)	291
図Ⅱ-229	CH-39の遺物(3)	238	図Ⅱ-279	CH-51の遺物(10)	292
図Ⅱ-230	CH-39の遺物(4)	239	図Ⅱ-280	CH-51の遺物(11)	293
図Ⅱ-231	CH-39の遺物(5)	240	図Ⅱ-281	CH-51の遺物(12)	294
図Ⅱ-232	CH-39の遺物(6)	241	図Ⅱ-282	CH-51の遺物(13)	295
図Ⅱ-233	CH-40	243	図Ⅱ-283	CH-51の遺物(14)	296
図Ⅱ-234	CH-40の遺物	245	図Ⅱ-284	CH-51の遺物(15)	297
図Ⅱ-235	CH-41(1)	246	図Ⅱ-285	CH-51の遺物(16)	298
図Ⅱ-236	CH-41遺構図(2)・CH-41の遺物(1)	247	図Ⅱ-286	CH-51の遺物(17)	299
図Ⅱ-237	CH-41の遺物(2)	248	図Ⅱ-287	CH-51の遺物(18)	300
図Ⅱ-238	CH-43遺構図・CH-43の遺物(1)	249	図Ⅱ-288	CH-51の遺物(19)	301
図Ⅱ-239	CH-43の遺物(2)	250	図Ⅱ-289	CH-56の遺物(1)	302
図Ⅱ-240	CH-44・45遺構図・CH-44・45の遺物	251	図Ⅱ-290	CH-56の遺物(2)	303
図Ⅱ-241	CH-46遺構図・CH-46の遺物	252	図Ⅱ-291	CH-56の遺物(3)	304
図Ⅱ-242	CH-47	253	図Ⅱ-292	CH-56の遺物(4)	305
図Ⅱ-243	CH-47の遺物(1)	254	図Ⅱ-293	CH-56の遺物(5)	306
図Ⅱ-244	CH-47の遺物(2)	255	図Ⅱ-294	CH-56の遺物(6)	307
図Ⅱ-245	CH-47の遺物(3)	256	図Ⅱ-295	CH-56の遺物(7)	308
図Ⅱ-246	CH-47の遺物(4)	257	図Ⅱ-296	CH-52(1)	309
図Ⅱ-247	CH-47の遺物(5)	258	図Ⅱ-297	CH-52(2)	311
図Ⅱ-248	CH-47の遺物(6)	259	図Ⅱ-298	CH-52(3)	312
図Ⅱ-249	CH-47の遺物(7)	260	図Ⅱ-299	CH-52の遺物(1)	313
図Ⅱ-250	CH-47の遺物(8)	261	図Ⅱ-300	CH-52の遺物(2)	314
図Ⅱ-251	CH-47の遺物(9)	262	図Ⅱ-301	CH-52の遺物(3)	315
			図Ⅱ-302	CH-52の遺物(4)	316
			図Ⅱ-303	CH-52の遺物(5)	317

図Ⅱ-304	CH-52の遺物(6)	318	図Ⅱ-354	CH-66・76	370
図Ⅱ-305	CH-52の遺物(7)	319	図Ⅱ-358	CH-66の遺物(4)	370
図Ⅱ-306	CH-52の遺物(8)	320	図Ⅱ-355	CH-66の遺物(1)	371
図Ⅱ-307	CH-53(1)・54(1)	321	図Ⅱ-356	CH-66の遺物(2)	372
図Ⅱ-308	CH-53(2)・54(2)	322	図Ⅱ-357	CH-66の遺物(3)	373
図Ⅱ-309	CH-53(3)・54(3)	323	図Ⅱ-359	CH-67遺構図・CH-67の遺物(1)	374
図Ⅱ-310	CH-53の遺物(1)	324	図Ⅱ-360	CH-67の遺物(2)	375
図Ⅱ-311	CH-53の遺物(2)	325	図Ⅱ-361	CH-67の遺物(3)	376
図Ⅱ-312	CH-53の遺物(3)	326	図Ⅱ-362	CH-68(1)	377
図Ⅱ-313	CH-53の遺物(4)	327	図Ⅱ-363	CH-68(2)	378
図Ⅱ-314	CH-53の遺物(5)	328	図Ⅱ-364	CH-68の遺物(1)	379
図Ⅱ-315	CH-53の遺物(6)	329	図Ⅱ-365	CH-68の遺物(2)	380
図Ⅱ-316	CH-53の遺物(7)	330	図Ⅱ-366	CH-69	381
図Ⅱ-317	CH-54の遺物(1)	331	図Ⅱ-367	CH-69の遺物	382
図Ⅱ-318	CH-54の遺物(2)	332	図Ⅱ-368	CH-70(1)	383
図Ⅱ-319	CH-57(1)	333	図Ⅱ-369	CH-70(2)	384
図Ⅱ-320	CH-57遺構図(2)・CH-57の遺物(1)	334	図Ⅱ-370	CH-70の遺物(1)	385
図Ⅱ-321	CH-57の遺物(2)	335	図Ⅱ-371	CH-70の遺物(2)	386
図Ⅱ-322	CH-58遺構図・CH-58の遺物(1)	337	図Ⅱ-372	CH-71(1)	387
図Ⅱ-323	CH-58の遺物(2)	339	図Ⅱ-373	CH-71(2)	388
図Ⅱ-324	CH-58の遺物(3)	340	図Ⅱ-374	CH-71の遺物(1)	389
図Ⅱ-325	CH-58の遺物(4)	341	図Ⅱ-375	CH-71の遺物(2)	390
図Ⅱ-326	CH-59	342	図Ⅱ-376	CH-71の遺物(3)	391
図Ⅱ-327	CH-59の遺物(1)	343	図Ⅱ-377	CH-71の遺物(4)	392
図Ⅱ-328	CH-59の遺物(2)	344	図Ⅱ-378	CH-71の遺物(5)	393
図Ⅱ-329	CH-60遺構図・CH-60の遺物(1)	345	図Ⅱ-379	CH-73遺構図・CH-73の遺物(1)	394
図Ⅱ-330	CH-60の遺物(2)	346	図Ⅱ-380	CH-73の遺物(2)	395
図Ⅱ-331	CH-61(1)	347	図Ⅱ-381	CH-73の遺物(3)	396
図Ⅱ-332	CH-61遺構図(2)・CH-61の遺物(1)	348	図Ⅱ-382	CH-74	397
図Ⅱ-333	CH-61の遺物(2)	349	図Ⅱ-383	CH-74の遺物(1)	398
図Ⅱ-334	CH-61の遺物(3)	350	図Ⅱ-384	CH-74の遺物(2)	399
図Ⅱ-335	CH-62(1)	351	図Ⅱ-385	CH-74の遺物(3)	400
図Ⅱ-336	CH-62(2)	352	図Ⅱ-386	CH-74の遺物(4)	401
図Ⅱ-337	CH-62の遺物(1)	353	図Ⅱ-387	CH-75遺構図・CH-75の遺物	402
図Ⅱ-338	CH-62の遺物(2)	354	図Ⅱ-388	CH-77遺構図・CH-77の遺物(1)	403
図Ⅱ-339	CH-62の遺物(3)	355	図Ⅱ-389	CH-77の遺物(2)	404
図Ⅱ-340	CH-62の遺物(4)	356	図Ⅱ-390	CH-77の遺物(3)	405
図Ⅱ-341	CH-63(1)・65(1)	357	図Ⅱ-391	CH-77の遺物(4)	406
図Ⅱ-342	CH-63の遺物(1)	358	図Ⅱ-392	CH-77の遺物(5)	407
図Ⅱ-343	CH-63(2)・65(2) CH-63の遺物(2)	359	図Ⅱ-393	CH-77の遺物(6)	408
図Ⅱ-344	CH-65の遺物(1)	360	図Ⅱ-394	CH-77の遺物(7)	409
図Ⅱ-345	CH-65の遺物(2)	361	図Ⅱ-395	CH-77の遺物(8)	410
図Ⅱ-346	CH-64	362	図Ⅱ-396	CH-78	411
図Ⅱ-347	CH-64の遺物(1)	363	図Ⅱ-397	CH-78の遺物(1)	413
図Ⅱ-348	CH-64の遺物(2)	364	図Ⅱ-398	CH-78の遺物(2)	414
図Ⅱ-349	CH-64の遺物(3)	365	図Ⅱ-399	CH-78の遺物(3)	415
図Ⅱ-350	CH-64の遺物(4)	366	図Ⅱ-400	CH-78の遺物(4)	416
図Ⅱ-351	CH-64の遺物(5)	367	図Ⅱ-401	CH-78の遺物(5)	417
図Ⅱ-352	CH-64の遺物(6)	368	図Ⅱ-402	CH-78の遺物(6)	418
図Ⅱ-353	CH-64の遺物(7)	369	図Ⅱ-403	CH-79	419
			図Ⅱ-404	CH-79の遺物(1)	420
			図Ⅱ-405	CH-79の遺物(2)	421

図Ⅱ-406	CH-79の遺物(3)	422	図Ⅱ-429	CH-86の遺物(3)	445
図Ⅱ-407	CH-80	423	図Ⅱ-430	CH-87遺構図・CH-87の遺物	446
図Ⅱ-408	CH-80の遺物	424	図Ⅱ-431	CH-88遺構図・CH-88の遺物	447
図Ⅱ-409	CH-82遺構図・CH-82の遺物(1)	425	図Ⅱ-432	CH-89	448
図Ⅱ-410	CH-82の遺物(2)	426	図Ⅱ-433	CH-89の遺物(1)	449
図Ⅱ-411	CH-83(1)	427	図Ⅱ-434	CH-89の遺物(2)	450
図Ⅱ-412	CH-83(2)	428	図Ⅱ-435	CH-89の遺物(3)	451
図Ⅱ-413	CH-83の遺物(1)	429	図Ⅱ-436	CH-90・91	452
図Ⅱ-414	CH-83の遺物(2)	430	図Ⅱ-437	CH-90の遺物(1)	453
図Ⅱ-415	CH-83の遺物(3)	431	図Ⅱ-438	CH-90の遺物(2)	454
図Ⅱ-416	CH-83の遺物(4)	432	図Ⅱ-439	CH-91の遺物	455
図Ⅱ-417	CH-83の遺物(5)	433	図Ⅱ-440	CH-92(1)	456
図Ⅱ-418	CH-84(1)	434	図Ⅱ-441	CH-92(2)・93	457
図Ⅱ-419	CH-84(2)	435	図Ⅱ-442	CH-92の遺物(1)	458
図Ⅱ-420	CH-84の遺物(1)	436	図Ⅱ-443	CH-92の遺物(2)	459
図Ⅱ-421	CH-84の遺物(2)	437	図Ⅱ-444	CH-92の遺物(3)	460
図Ⅱ-422	CH-84の遺物(3)	438	図Ⅱ-445	CH-92の遺物(4)	461
図Ⅱ-423	CH-85	439	図Ⅱ-446	CH-92の遺物(5)	462
図Ⅱ-424	CH-85の遺物	440	図Ⅱ-447	CH-92の遺物(6)	463
図Ⅱ-425	CH-86(1)	441	図Ⅱ-448	CH-92の遺物(7)	464
図Ⅱ-426	CH-86(2)	442	図Ⅱ-449	CH-92の遺物(8)	465
図Ⅱ-427	CH-86の遺物(1)	443	図Ⅱ-450	CH-92の遺物(9)	466
図Ⅱ-428	CH-86の遺物(2)	444			

第3分冊（遺構・包含層編）挿図目次

Ⅱ章 遺構

図Ⅱ-451	CP-1～9	1	図Ⅱ-474	CP-131・133・176	24
図Ⅱ-452	CP-10～13	2	図Ⅱ-475	CP-135・136・138～140	25
図Ⅱ-453	CP-14～20	3	図Ⅱ-476	CP-141～145	26
図Ⅱ-454	CP-21～26	4	図Ⅱ-477	CP-146～154	27
図Ⅱ-455	CP-27～32	5	図Ⅱ-478	CP-155～160	28
図Ⅱ-456	CP-33～42	6	図Ⅱ-479	CP-161～163	29
図Ⅱ-457	CP-43～49	7	図Ⅱ-480	CP-164～168	30
図Ⅱ-458	CP-50～52・54～58	8	図Ⅱ-481	CP-169～171	31
図Ⅱ-459	CP-59～65	9	図Ⅱ-482	CP-172・173・180	32
図Ⅱ-460	CP-66～70・72	10	図Ⅱ-483	CP-177～179・182～184	33
図Ⅱ-461	CP-71・73～76・78	11	図Ⅱ-484	CP-181・188・190	34
図Ⅱ-462	CP-77・80・81	12	図Ⅱ-485	CP-185～187・191・192	35
図Ⅱ-463	CP-82～87	13	図Ⅱ-486	CP-189・193・194	36
図Ⅱ-464	CP-88・89・91・92	14	図Ⅱ-487	CP-195～201	37
図Ⅱ-465	CP-93～97	15	図Ⅱ-488	CP-202～206	38
図Ⅱ-466	CP-98～101	16	図Ⅱ-489	CP-207・209～211・227	39
図Ⅱ-467	CP-102～105	17	図Ⅱ-490	CP-212～217	40
図Ⅱ-468	CP-106～108	18	図Ⅱ-491	CP-218～221・223	41
図Ⅱ-469	CP-109～113	19	図Ⅱ-492	CP-224～226・228・229	42
図Ⅱ-470	CP-114～117・134	20	図Ⅱ-493	CP-230～233	43
図Ⅱ-471	CP-118～123	21	図Ⅱ-494	CP-234～240	44
図Ⅱ-472	CP-124～126	22	図Ⅱ-495	CP-241・242・244～246	45
図Ⅱ-473	CP-127～130・132	23	図Ⅱ-496	CP-247～255	46
			図Ⅱ-497	CP-256～262	47

図Ⅱ-498	CP-263・264・266・267	48	図Ⅱ-542	CP-232(1)の遺物	92
図Ⅱ-499	CP-265・268～270	49	図Ⅱ-543	CP-232(2)・234・237・238・242・245・ 246・256の遺物	93
図Ⅱ-500	CP-271～275	50	図Ⅱ-544	CP-244の遺物	94
図Ⅱ-501	CP-3～6・8・10の遺物	51	図Ⅱ-545	CP-257・261・262・264の遺物	95
図Ⅱ-502	CP-9・10の遺物	52	図Ⅱ-546	CP-265～268・271～273の遺物	96
図Ⅱ-503	CP-12・14(1)の遺物	53	図Ⅱ-547	CF-1～9	97
図Ⅱ-504	CP-14(2)・15・19・25の遺物	54	図Ⅱ-548	CF-10～17	98
図Ⅱ-505	CP-20・24・29・32の遺物	55	図Ⅱ-549	CF-18～27	99
図Ⅱ-506	CP-31・38・39の遺物	56	図Ⅱ-550	CF-28～39	100
図Ⅱ-507	CP-41・43～45・47・48の遺物	57	図Ⅱ-551	CF-40～46	101
図Ⅱ-508	CP-54～56・58・59の遺物	58	図Ⅱ-552	CF-47～57	102
図Ⅱ-509	CP-60の遺物	59	図Ⅱ-553	CF-58～69	103
図Ⅱ-510	CP-65の遺物	60	図Ⅱ-554	CF-70～79	104
図Ⅱ-511	CP-57・61～63・67(1)・68の遺物	61	図Ⅱ-555	CF-80～89	105
図Ⅱ-512	CP-67(2)・71・75・76の遺物	62	図Ⅱ-556	CF-90～99	106
図Ⅱ-513	CP-70の遺物	63	図Ⅱ-557	CF-100～109	107
図Ⅱ-514	CP-77・78の遺物	64	図Ⅱ-558	CF-110～119	108
図Ⅱ-515	CP-80・81・84・88の遺物	65	図Ⅱ-559	CF-120～128	109
図Ⅱ-516	CP-82・91～94の遺物	66	図Ⅱ-560	CF-129～138	110
図Ⅱ-517	CP-95・96の遺物	67	図Ⅱ-561	CF-139～147	111
図Ⅱ-518	CP-99・100・103～105・107～109の 遺物	68	図Ⅱ-562	CF-148～154・156～158	112
図Ⅱ-519	CP-110・112・114の遺物	69	図Ⅱ-563	CF-159～162・CFC-1・2	113
図Ⅱ-520	CP-115・117～119・121・123の 遺物	70	図Ⅱ-564	CS-1～12	114
図Ⅱ-521	CP-125の遺物	71	図Ⅱ-565	CSP-1～30	115
図Ⅱ-522	CP-126の遺物	72	図Ⅱ-566	CSP-31～42	116
図Ⅱ-523	CP-132の遺物	73	図Ⅱ-567	CSP-43～53・59・60	117
図Ⅱ-524	CP-124・128・130・131・133～136・138・ 140・141・143・148の遺物	74	図Ⅱ-568	CSP-54～58・61～67	118
図Ⅱ-525	CP-155の遺物	75	図Ⅱ-569	CSP-68～79	119
図Ⅱ-526	CP-150・151・153～156・159の 遺物	76	図Ⅱ-570	CF-2・3・5・13・14・16・18の遺物	120
図Ⅱ-527	CP-160・165・166・168・170の遺物	77	図Ⅱ-571	CF-20～23・28・30・31の遺物	121
図Ⅱ-528	CP-161～163の遺物	78	図Ⅱ-572	CF-41・44の遺物	122
図Ⅱ-529	CP-171(1)の遺物	79	図Ⅱ-573	CF-42・45・46・50・54・55・57の 遺物	123
図Ⅱ-530	CP-171(2)の遺物	80	図Ⅱ-574	CF-58・63・64・68・69・71・73～75・77の 遺物	124
図Ⅱ-531	CP-172の遺物	81	図Ⅱ-575	CF-80～83・85・88・89の遺物	125
図Ⅱ-532	CP-173・176～178・180・181・183の 遺物	82	図Ⅱ-576	CF-91～95・101・103・106～108・111・ 115・117・118の遺物	126
図Ⅱ-533	CP-182の遺物	83	図Ⅱ-577	CF-121・129・132・134・137・139・146の 遺物	127
図Ⅱ-534	CP-185の遺物	84	図Ⅱ-578	CF-141・142・144・145・149・150・152・ CS-12の遺物	128
図Ⅱ-535	CP-187・188・189(1)の遺物	85	図Ⅱ-579	CF-156～158・162の遺物	129
図Ⅱ-536	CP-189(2)の遺物	86	図Ⅱ-580	CS-2・3・8～11 CSP-1・31の遺物	130
図Ⅱ-537	CP-192～195・197・201～203の 遺物	87			
図Ⅱ-538	CP-204～206・209・210・212・214・215の 遺物	88	Ⅲ章 包含層の遺物		
図Ⅱ-539	CP-216～218・220の遺物	89	図Ⅲ-1-1	包含層の土器(1)	133
図Ⅱ-540	CP-223・224・227・228・229・231の 遺物	90	図Ⅲ-1-2	包含層の土器(2)	134
図Ⅱ-541	CP-230の遺物	91	図Ⅲ-1-3	包含層の土器(3)	135
			図Ⅲ-1-4	包含層の土器(4)	136
			図Ⅲ-1-5	包含層の土器(5)	137

図Ⅲ-1-6	包含層の土器(6)	138	図Ⅲ-1-31	包含層の土器(31)	163
図Ⅲ-1-7	包含層の土器(7)	139	図Ⅲ-1-32	包含層の土器(32)	164
図Ⅲ-1-8	包含層の土器(8)	140	図Ⅲ-1-33	包含層の土器(33)	165
図Ⅲ-1-9	包含層の土器(9)	141	図Ⅲ-2-1	包含層の石器(1)	166
図Ⅲ-1-10	包含層の土器(10)	142	図Ⅲ-2-2	包含層の石器(2)	167
図Ⅲ-1-11	包含層の土器(11)	143	図Ⅲ-2-3	包含層の石器(3)	168
図Ⅲ-1-12	包含層の土器(12)	144	図Ⅲ-2-4	包含層の石器(4)	169
図Ⅲ-1-13	包含層の土器(13)	145	図Ⅲ-2-5	包含層の石器(5)	170
図Ⅲ-1-14	包含層の土器(14)	146	図Ⅲ-2-6	包含層の石器(6)	171
図Ⅲ-1-15	包含層の土器(15)	147	図Ⅲ-2-7	包含層の石器(7)	172
図Ⅲ-1-16	包含層の土器(16)	148	図Ⅲ-2-8	包含層の石器(8)	173
図Ⅲ-1-17	包含層の土器(17)	149	図Ⅲ-2-9	包含層の石器(9)	174
図Ⅲ-1-18	包含層の土器(18)	150	図Ⅲ-2-10	包含層の石器(10)	175
図Ⅲ-1-19	包含層の土器(19)	151	図Ⅲ-2-11	包含層の石器(11)	176
図Ⅲ-1-20	包含層の土器(20)	152	図Ⅲ-2-12	包含層の石器(12)	177
図Ⅲ-1-21	包含層の土器(21)	153	図Ⅲ-2-13	包含層の石器(13)	178
図Ⅲ-1-22	包含層の土器(22)	154	図Ⅲ-2-14	包含層の石器(14)	179
図Ⅲ-1-23	包含層の土器(23)	155	図Ⅲ-2-15	包含層の石器(15)	180
図Ⅲ-1-24	包含層の土器(24)	156	図Ⅲ-2-16	包含層の石器(16)	181
図Ⅲ-1-25	包含層の土器(25)	157	図Ⅲ-2-17	包含層の石器(17)	182
図Ⅲ-1-26	包含層の土器(26)	158	図Ⅲ-3-1	包含層の石製品(1)	183
図Ⅲ-1-27	包含層の土器(27)	159	図Ⅲ-3-2	包含層の石製品(2)	184
図Ⅲ-1-28	包含層の土器(28)	160	図Ⅲ-3-3	包含層の石製品(3)	185
図Ⅲ-1-29	包含層の土器(29)	161	図Ⅲ-3-4	包含層の土製品・古銭	186
図Ⅲ-1-30	包含層の土器(30)	162			

第3分冊（遺構・包含層編）写真図版目次

写真図版 I

図版 I-1	1 調査開始状況 2 CH-1 遺物出土状況	図版 I-9	1 CH-9 完掘 2 HP-2 セクション
図版 I-2	1 CH-2 遺物集中 2 CH-2 床遺物出土状況	図版 I-10	1 CH-11(H19 調査)床面 2 集石(右)とHF-2 検出状況 3 HF-3(下位HP-1)セクションと HF-1(右) 4 HF-2 セクション 5 HP-1 完掘とHF-1(右)
図版 I-3	1 CH-2 完掘 2 CH-2 炉址(HF-1)	図版 I-11	1 CH-14(H20 調査) 2 CH-14(H19 調査)
図版 I-4	1 CH-4 遺物集中 2 CH-4 覆土内生活面	図版 I-12	1 CH-12 焼土と炭化材など出土状況 2 CH-12 床面イルカ頭蓋出土状況
図版 I-5	1 覆土内炉跡 2 遺物集中の石棒ほか出土状況 3 CP-11 完掘 4 HF-1 炉跡 5 CH-4 完掘	図版 I-13	1 CH-12 完掘 2 床面石棒出土状況 3 HF-1 検出状況
図版 I-6	1 CH-3 床検出状況とセクション 2 CH-3 HF-1・2 検出状況 3 HP-1 セクション 4 HP-1 完掘	図版 I-14	1 CH-13(H20 調査) 2 CH-13(H19 調査)
図版 I-7	1 CH-5 完掘 2 CH-6 検出状況	図版 I-15	1 CH-16 セクション 2 CH-16 床遺物出土状況
図版 I-8	1 CH-7(H20 調査)完掘 2 CH-8 完掘状況	図版 I-16	1 CH-16 完掘 2 HP-1 大礫出土状況 3 床土器出土状況

- | | | | | | |
|----------|---|-----------------------------------|----------|---|------------------------------|
| 図版 I -17 | 1 | CH-15 床面検出状況 | 図版 I -32 | 1 | CH-30 遺物出土状況 |
| | 2 | HF-1 検出状況 | | 2 | 床土器出土状況 |
| 図版 I -18 | 1 | CH-17 床検出状況 | | 3 | 床土器出土状況 |
| | 2 | 石囲い炉 (HF-2) | | 4 | 床土器出土状況 |
| | 3 | HF-1とHP-37 セクション | | 5 | 床土器出土状況 |
| | 4 | HP-6 遺物出土状況 | 図版 I -33 | 1 | CH-30 完掘 (奥手はCH-40) |
| 図版 I -19 | 1 | CH-18 床検出状況 | | 2 | HS-1 検出状況 |
| | 2 | HP-17 遺物出土状況 | | 3 | HP-1 セクションと遺物出土状況 |
| | 3 | 床土器出土状況 | 図版 I -34 | 1 | CH-31 床遺物出土状況 |
| | 4 | 集石 (HS-2) 検出状況 | | 2 | 土器出土状況 |
| 図版 I -20 | 1 | CH-19 床検出状況 | | 3 | シヤチ形土製品 |
| | 2 | HF-1とCP-65 遺物出土状況 | | 4 | 土器出土状況 |
| 図版 I -21 | 1 | CH-20 床検出状況 | 図版 I -35 | 1 | CH-31 完掘 |
| | 2 | HP-1・2 完掘 | | 2 | HP-10 遺物とセクション |
| | 3 | 床土器出土状況 | | 3 | HP-10 盛土セクション |
| | 4 | 床土器出土状況 | | 4 | HP-9 セクション |
| | 5 | 床土器出土状況 | | 5 | HP-9 遺物出土状況 |
| 図版 I -22 | 1 | CH-21 (手前)、CH-35 (奥側) 床遺物
出土状況 | 図版 I -36 | 1 | CH-27 床検出状況 |
| | 2 | 完掘 | | 2 | HS-1 検出状況 |
| | 3 | CH-21 床土器出土状況 | | 3 | HP-1 遺物出土状況 |
| | 4 | CH-35HP-1 セクション | | 4 | CH-28 (竪穴中央が地滑りで分断さ
れている) |
| | 5 | CH-35HP-1 完掘 | 図版 I -37 | 1 | CH-33 完掘 |
| 図版 I -23 | 1 | CH-23 完掘状況 | | 2 | CH-33 セクション |
| | 2 | HP-1 遺物出土状況 | | 3 | HF-1 覆土 |
| | 3 | CH-24 完掘 | | 4 | 土器出土状況 |
| | 4 | HP-3 セクション | | 5 | 土器出土状況 |
| | 5 | 集石 (HS-4) 検出状況 | 図版 I -38 | 1 | CH-34 遺物出土状況 |
| 図版 I -24 | 1 | CH-22 床遺物出土状況 | | 2 | 土器出土状況 |
| | 2 | CH-22 セクション | | 3 | 土器出土状況 |
| 図版 I -25 | 1 | CH-22 完掘 | | 4 | 土器出土状況 |
| | 2 | HP-1 遺物出土状況 | 図版 I -39 | 1 | CH-34 完掘 |
| | 3 | HS-1 検出状況 | | 2 | 土器出土状況 |
| | 4 | 床土器出土状況 | | 3 | 床土器出土状況 |
| | 5 | 石製品出土状況 | | 4 | 土器出土状況 |
| 図版 I -26 | 1 | CH-25 床遺物出土状況 | | 5 | 床土器出土状況 |
| | 2 | CH-25 セクション | 図版 I -40 | 1 | CH-39 床遺物出土状況 |
| 図版 I -27 | 1 | CH-25 完掘 | | 2 | 床土器出土状況 |
| | 2 | HP-1 遺物出土状況 | | 3 | 床土器出土状況 |
| | 3 | 床土器出土状況 | 図版 I -41 | 1 | CH-39 完掘 |
| | 4 | 床土製品出土状況 | | 2 | 床土器出土状況 |
| 図版 I -28 | 1 | CH-26 床遺物出土状況 | | 3 | HP-1 セクション |
| | 2 | 床土器出土状況 | | 4 | HP-1 完掘 |
| | 3 | 床土器出土状況 | 図版 I -42 | 1 | CH-36 完掘 |
| 図版 I -29 | 1 | CH-26 完掘 (奥手はCH-25) | | 2 | CH-38 完掘 |
| | 2 | 床土器出土状況 | 図版 I -43 | 1 | CH-40 床検出状況 |
| | 3 | 床土器出土状況 | | 2 | HP-1 セクション |
| 図版 I -30 | 1 | CH-29 床検出状況 | | 3 | CH-40内CP-92の炭化材と焼土 |
| | 2 | CH-29 セクション | | 4 | CH-40 炭化材と焼土の検出状況 |
| 図版 I -31 | 1 | CH-29 完掘 | 図版 I -44 | 1 | CH-41 完掘 |
| | 2 | 先端部のピット群 | | 2 | CH-41 東西セクション |
| | 3 | HF-1 検出状況 | | 3 | 遺物出土状況 |

	4	HP-1 遺物出土状況	図版 I -57	1	CH-58 完掘(中央:CH-57と重複)
	5	HP-2 セクション		2	CH-58 石棒出土状況
図版 I -45	1	CH-43 完掘		3	CH-58 床土器出土状況
	2	CH-43 石製品出土状況		4	CH-59 焼土群セクション
	3	遺物出土状況		5	CH-59 遺物出土状況
	4	CH-43 セクションと遺物	図版 I -58	1	CH-60 床遺物出土状況
	5	土器出土状況		2	CH-61 床検出状況
図版 I -46	1	CH-44 完掘		3	CH-61 セクション
	2	CH-45 完掘	図版 I -59	1	CH-62 完掘
	3	CH-45 遺物出土状況		2	HP-29とHF-2 検出状況
	4	CH-46 床遺物出土状況		3	HF-2とHP-29 検出状況
	5	CH-46 炭化材・焼土		4	CH-62 床検出状況
図版 I -47	1	CH-47 床遺物出土状況		5	CH-62 セクション
	2	CH-47 HF-1と床の遺物出土状況	図版 I -60	1	CH-63・65 完掘
図版 I -48	1	CH-48 完掘		2	CH-64 完掘
	2	CH-48HP-1と周辺の小ピット	図版 I -61	1	CH-66 完掘
	3	HF-1 セクションと埋甕		2	CH-66 床遺物出土状況
	4	遺物出土状況		3	CH-67・77・82 検出状況
図版 I -49	1	CH-49 完掘		4	CH-67 埋甕セクション
	2	CH-49 床検出状況		5	CH-67HP-3
	3	遺物出土状況	図版 I -62	1	CH-68 完掘
	4	HF-2 セクション		2	HF-1 検出状況
	5	HP-2 遺物出土状況		3	HF-2(埋甕)検出状況
図版 I -50	1	CH-50 完掘		4	床土器出土状況
	2	HP-1~3 ほか完掘		5	床土器出土状況
	3	炭化材と焼土	図版 I -63	1	CH-69 完掘
	4	HF-2と土器		2	HF-1 小礫出土状況
	5	床土器出土状況		3	HP-1 完掘
図版 I -51	1	CH-52完掘		4	HP-2、HF-1 完掘
	2	床土器出土状況		5	覆土1 炭化材出土状況
	3	床土器出土状況	図版 I -64	1	CH-70 床検出状況(奥手CH-70、手 前CH-92)
	4	床土器出土状況		2	CH-70 HP-2(先端ピット)とHF-1 検出状況
	5	床土器出土状況	図版 I -65	1	CH-71 床検出状況
図版 I -52	1	CH-51(手前)・56(奥手)完掘		2	CH-71 床遺物出土状況
	2	床土器出土状況		3	HF-1と土器検出状況
	3	床土器出土状況		4	HF-1(中央)とHF-2(左)
	4	覆土中位土器出土状況		5	HP-46(HF-1 下位)セクション
	5	覆土土器出土状況	図版 I -66	1	CH-73 東側床検出状況
図版 I -53	1	CH-51・56 床検出状況		2	CH-73 西側床遺物出土状況
	2	HP-1 上面遺物出土状況		3	CH-77 完掘
	3	HP-1 完掘		4	CH-77 床遺物出土状況
	4	床土器出土状況		5	CH-77 覆土遺物出土状況
	5	床土器出土状況	図版 I -67	1	CH-74 完掘
図版 I -54	1	CH-53 床面検出状況		2	CH-74 床遺物出土状況
	2	CH-53 遺物出土状況		3	HF-3 付近の土器出土状況
図版 I -55	1	CH-54 完掘		4	HF-3(石囲い炉)と旧炉跡
	2	CH-54 床遺物出土状況		5	HP-44(旧炉址の下位)
	3	CH-54HP-1・2とHF-1	図版 I -68	1	CH-75 完掘
	4	CH-53HF-1 セクション		2	CH-79 完掘
	5	CH-54HP-1・2 セクション	図版 I -69	1	CH-78 完掘
図版 I -56	1	CH-57 完掘			
	2	CH-57 床遺物出土状況			

- | | | | | | | | |
|----------|---|-----------------------|------------------|----------|---|----------------------|-----------------|
| | 2 | CH-78 | セクションと遺物出土状況 | 図版 I -83 | 1 | CP-26~28・34・35 | 完掘 |
| 図版 I -70 | 1 | CH-82 | 完掘 | | 2 | CP-20 | 遺物出土状況 |
| | 2 | CH-82 | セクション | | 3 | CP-20 | セクション |
| | 3 | CH-82 | 覆土遺物出土状況 | | 4 | CP-32 | 完掘 |
| | 4 | CH-83 | 覆土の遺物 | | 5 | CP-32 | セクション |
| | 5 | CH-83HP-16 | 埋設土器 | 図版 I -84 | 1 | CP-31 | 遺物出土状況(CH-6) |
| 図版 I -71 | 1 | CH-83 | 床面検出状況 | | 2 | CP-31 | セクション(CH-6) |
| | 2 | CH-83 | 炭化材と焼土粒検出状況 | | 3 | CP-36 | 完掘 |
| 図版 I -72 | 1 | CH-84 | 床検出状況 | | 4 | CP-36 | セクション |
| | 2 | CH-84 | 遺物出土状況 | | 5 | CP-38 | 完掘 |
| | 3 | CH-84 | 大礫群出土状況 | | 6 | CP-38 | セクション |
| | 4 | HP-52 | 埋設土器 | 図版 I -85 | 1 | CP-54 | 完掘 |
| | 5 | HF-1(右)とHF-2(左) | | | 2 | CP-54 | セクション |
| 図版 I -73 | 1 | CH-85 | 完掘 | | 3 | CP-55 | 検出状況 |
| | 2 | CH-85HF-1 | セクション | | 4 | CP-55 | セクション |
| | 3 | HP-8 | セクションと小礫(HF-1下位) | | 5 | CP-55 | 壙底の遺物出土状況 |
| | | | | | 6 | CP-55 | 完掘 |
| 図版 I -74 | 1 | CH-86 | 完掘 | 図版 I -86 | 1 | CP-43 | ほか完掘 |
| | 2 | CH-86 | 床の炭化材と焼土 | | 2 | CP-43 | セクション |
| | 3 | CH-86 | 内の周溝 | | 3 | CP-59 | 遺物出土状況 |
| | 4 | CH-86 | 床土器出土状況 | | 4 | CP-60 | 遺物出土状況 |
| | 5 | CH-86 | 床土器出土状況 | | 5 | CP-64 | 完掘 |
| 図版 I -75 | 1 | CH-86 | 床の遺物出土状況 | | 6 | CP-64 | セクション |
| | 2 | CH-87 | 完掘 | 図版 I -87 | 1 | CP-65 | セクション |
| 図版 I -76 | 1 | CH-88 | 完掘 | | 2 | CP-65 | 完掘 |
| | 2 | CH-90 | 完掘 | | 3 | CP-67 | 遺物出土状況 |
| | 3 | CH-90HP-1(左)HP-10(右) | 埋設土器 | | 4 | CP-67 | 完掘 |
| 図版 I -77 | 1 | CH-89 | 完掘 | | 5 | CP-68 | セクション |
| | 2 | CH-89 | 床遺物出土状況 | | 6 | CP-68 | 完掘 |
| | 3 | CH-89HP-4・5・18(上から) | 埋設土器 | 図版 I -88 | 1 | CP-70 | プラン検出状況 |
| 図版 I -78 | 1 | CH-92 | 完掘 | | 2 | CP-70 | セクション |
| | 2 | CH-92HF-1(手前)、HP-1(奥) | 検出状況 | | 3 | CP-70 | 完掘 |
| 図版 I -79 | 1 | CH-92 | 床遺物出土状況 | | 4 | CP-82 | 検出状況 |
| | 2 | CH-91 | 遺物出土状況 | | 5 | CP-82 | セクション |
| | | | | | 6 | CP-82 | 完掘 |
| 図版 I -80 | 1 | CP-8 | 検出状況 | 図版 I -89 | 1 | CP-77 | 完掘 |
| | 2 | CP-9 | 大礫検出状況 | | 2 | CP-77 | 内梯子痕? |
| | 3 | CP-9 | 土器出土状況(大礫下位) | | 3 | CP-77 | 遺物出土状況 |
| | 4 | CP-9 | 完掘 | | 4 | CP-77 | セクション |
| | 5 | CP-10 | 確認状況 | | 5 | CP-87 | 遺物出土状況 |
| | 6 | CP-10 | セクション | | 6 | CP-87 | セクション |
| 図版 I -81 | 1 | CP-11 | 検出状況 | 図版 I -90 | 1 | CP-88・89(CH-20・42 内) | 完掘 |
| | 2 | CP-11 | セクション | | 2 | CP-92(CH-38 内) | 焼土と遺物 |
| | 3 | CP-13(右)・14(中央) | 検出状況 | | 3 | CP-94 | 完掘 |
| | 4 | CP-14 | セクション | | 4 | CP-94 | セクション |
| | 5 | CP-14 | 完掘 | | 5 | CP-95 | 完掘 |
| | 6 | CP-13 | セクション | | 6 | CP-95 | セクション |
| 図版 I -82 | 1 | CP-18(左)・21(右) | 完掘 | 図版 I -91 | 1 | CP-96 | 遺物出土状況(CH-33 内) |
| | 2 | CP-19 | 完掘 | | 2 | CP-96 | 完掘(CH-33 内) |
| | 3 | CP-19 | セクション | | 3 | CP-101 | 遺物出土状況 |
| | 4 | CP-26 | 完掘 | | 4 | CP-101 | 完掘 |
| | 5 | CP-26 | セクション | | 5 | CP-102 | 検出状況 |

	6	CP-102	遺物出土状況		3	CP-188	完掘
図版 I -92	1	CP-105	セクション	図版 I -102	1	CP-189	確認面
	2	CP-105	完掘		2	CP-189	遺物出土状況
	3	CP-107	遺物出土状況		3	CP-189(上位)	完掘
	4	CP-107	完掘		4	CP-207(下位)	完掘
	5	CP-108	セクション		5	CP-191	セクション
	6	CP-108	完掘		6	CP-191	完掘
図版 I -93	1	CP-109	完掘	図版 I -103	1	CP-193	セクション
	2	CP-110	遺物出土状況		2	CP-193	完掘
	3	CP-114	セクション		3	CP-201	セクション
	4	CP-114・134	完掘		4	CP-201	完掘
	5	CP-118	セクション		5	CP-202	セクション
	6	CP-118	完掘		6	CP-202	セクション
図版 I -94	1	CP-125	セクション	図版 I -104	1	CP-205	セクション
	2	CP-125	遺物出土状況		2	CP-205	完掘
	3	CP-126	埋設土器出土状況		3	CP-206	遺物出土状況
	4	CP-126	完掘		4	CF-135(下位にCP-206)	
	5	CP-127・129	セクション		5	CP-206	セクション
	6	CP-127・129	完掘		6	CP-206	完掘
図版 I -95	1	CP-130	セクション	図版 I -105	1	CP-212	完掘
	2	CP-130	完掘		2	CP-216	完掘
	3	CP-131	セクション		3	CP-230	セクション
	4	CP-131	完掘		4	CP-230	完掘
	5	CP-134	セクション		5	CP-231	セクション
	6	CP-134	完掘		6	CP-231	完掘
図版 I -96	1	CP-136	完掘	図版 I -106	1	CP-232	セクション
	2	HP-1	セクション		2	CP-232	完掘
	3	CP-154(左)・155(右)	完掘		3	CP-237	完掘
	4	CP-154	セクション		4	CP-238	完掘
	5	CP-155	セクション		5	CP-244	セクション
図版 I -97	1	CP-159	セクション		6	CP-244	完掘
	2	CP-159	遺物出土状況	図版 I -107	1	CP-256	セクション
	3	CP-160	セクション		2	CP-256	完掘
	4	CP-160	遺物出土状況		3	CP-263	セクション
	5	CP-162	セクション		4	CP-263	完掘
	6	CP-162	完掘		5	CP-264	セクション
図版 I -98	1	CP-163	セクション		6	CP-264	完掘
	2	CP-163	遺物出土状況	図版 I -108	1	CP-265	セクション
	3	CP-165	セクション		2	CP-265	完掘
	4	CP-165	完掘		3	CP-270	セクション
	5	CP-166	完掘		4	CP-270	完掘
図版 I -99	1	CP-171	完掘		5	CP-268(右)・271(左)	完掘
	2	CP-171	遺物出土状況		6	CP-272	完掘
	3	CP-176	セクション	図版 I -109	1	CF-17・18(手前)	検出状況
	4	CP-176	遺物出土状況		2	CF-21(CH-4覆土内)	検出状況
	5	CP-181	セクション		3	CF-19(CH-2覆土2層)	検出状況
	6	CP-181	完掘		4	CF-19	セクション
図版 I -100	1	CP-185の上位で検出された礫集中			5	CF-25(CP-14 上位)	検出状況
	2	CP-185	セクション		6	CF-41	検出状況
	3	CP-185	完掘	図版 I -110	1	CF-36	検出状況
図版 I -101	1	CP-188	焼土と遺物の検出状況		2	CF-36	セクション
	2	CP-185	セクション		3	CF-63	検出状況

	4	CF-74	検出状況				
	5	CF-71	検出状況			2	CFC-1 検出状況
	6	CF-71	セクション			3	CFC-2 検出状況
図版 I-111	1	CF-77	検出状況			4	CS-4 検出状況
	2	CF-95	セクション			5	CS-7 検出状況
	3	CF-89	検出状況	図版 I-114	1	CS-9	検出状況
	4	CF-89	セクション		2	CS-11	検出状況
	5	CF-125	セクション		3	包含層土偶出土状況	
	6	CF-127とCS-6	検出状況		4	包含層大珠出土状況	
図版 I-112	1	CF-131(右)とCS-8(左)			5	包含層土製品出土状況	
	2	CF-132	検出状況		6	包含層永楽通宝出土状況	
	3	CF-146	遺物出土状況	図版 I-115	1	柱穴状小ピット群検出状況	
	4	CF-152(CH-92内)	検出状況		2	基本土層(J-73~74ライン)	
	5	CF-152	セクション	図版 I-116	1	平成19年度	完掘
	6	CF-161	検出状況		2	平成20年度	完掘
図版 I-113	1	CF-156(手前)・157(奥手)	検出状況				

第4分冊（図版Ⅱ・遺物編）写真図版目次

図版Ⅱ-1	CH-1	復元土器 (1)			CH-10	出土土器
	CH-1	復元土器 (2)		図版Ⅱ-15	CH-11	復元土器 (1)
	CH-1	出土土器			CH-11	復元土器 (2)
図版Ⅱ-2	CH-2	復元土器 (1)			CH-11	復元土器 (3)
	CH-2	復元土器 (2)			CH-11	出土土器
	CH-2	出土土器 (1)		図版Ⅱ-16	CH-12	復元土器 (1)
図版Ⅱ-3	CH-2	出土土器 (2)			CH-12	復元土器 (2)
図版Ⅱ-4	CH-2	出土土器 (3)			CH-12	復元土器 (3)
図版Ⅱ-5	CH-2	出土土器 (4)			CH-12	復元土器 (4)
	CH-3	復元土器		図版Ⅱ-17	CH-12	復元土器 (5)
	CH-3	出土土器 (1)			CH-12	復元土器 (6)
図版Ⅱ-6	CH-3	出土土器 (2)			CH-12	復元土器 (7)
	CH-4	復元土器 (1)			CH-12	復元土器 (8)
	CH-4	復元土器 (2)		図版Ⅱ-18	CH-12	復元土器 (9)
	CH-4	出土土器 (1)			CH-12	復元土器 (10)
図版Ⅱ-7	CH-4	出土土器 (2)			CH-12	復元土器 (11)
図版Ⅱ-8	CH-4	出土土器 (3)			CH-12	復元土器 (12)
	CH-5	復元土器		図版Ⅱ-19	CH-12	出土土器
	CH-5	出土土器 (1)		図版Ⅱ-20	CH-13	復元土器 (1)
図版Ⅱ-9	CH-5	出土土器 (2)			CH-13	復元土器 (2)
	CH-7	復元土器 (1)		図版Ⅱ-21	CH-13	復元土器 (3)
	CH-7	復元土器 (2)			CH-13	復元土器 (4)
図版Ⅱ-10	CH-7	復元土器 (3)			CH-13	復元土器 (5)
	CH-7	出土土器			CH-13	復元土器 (6)
図版Ⅱ-11	CH-6	出土土器		図版Ⅱ-22	CH-13	復元土器 (7)
	CH-8	出土土器			CH-13	復元土器 (8)
	CH-9	復元土器 (1)			CH-13	出土土器 (1)
図版Ⅱ-12	CH-9	復元土器 (2)		図版Ⅱ-23	CH-13	出土土器 (2)
	CH-9	出土土器 (1)		図版Ⅱ-24	CH-14	復元土器
図版Ⅱ-13	CH-9	出土土器 (2)			CH-14	出土土器 (1)
図版Ⅱ-14	CH-9	出土土器 (3)		図版Ⅱ-25	CH-14	出土土器 (2)

圖版 II-26	CH-15	復元土器 (1)	圖版 II-44	CH-18	復元土器 (9)
	CH-15	復元土器 (2)		CH-18	出土土器 (1)
	CH-15	復元土器 (3)	圖版 II-45	CH-18	出土土器 (2)
	CH-15	復元土器 (4)	圖版 II-46	CH-18	出土土器 (3)
圖版 II-27	CH-15	復元土器 (5)	圖版 II-47	CH-18	出土土器 (4)
	CH-15	復元土器 (6)		CH-19	復元土器 (1)
	CH-15	復元土器 (7)		CH-19	復元土器 (2)
	CH-15	復元土器 (8)		CH-19	復元土器 (3)
圖版 II-28	CH-15	復元土器 (9)		CH-19	出土土器 (1)
	CH-15	出土土器 (1)	圖版 II-48	CH-19	出土土器 (2)
圖版 II-29	CH-15	出土土器 (2)		CH-20	復元土器 (1)
圖版 II-30	CH-15	出土土器 (3)		CH-20	復元土器 (2)
圖版 II-31	CH-15	出土土器 (4)	圖版 II-49	CH-20	復元土器 (3)
圖版 II-32	CH-16	復元土器 (1)		CH-20	復元土器 (4)
	CH-16	復元土器 (2)		CH-20	復元土器 (5)
	CH-16	復元土器 (3)		CH-20	復元土器 (6)
	CH-16	復元土器 (4)	圖版 II-50	CH-20	出土土器
圖版 II-33	CH-16	復元土器 (5)		CH-21	出土土器
	CH-16	復元土器 (6)		CH-21	復元土器 (1)
	CH-16	復元土器 (7)	圖版 II-51	CH-21	復元土器 (2)
	CH-16	復元土器 (8)		CH-21	復元土器 (3)
圖版 II-34	CH-16	復元土器 (9)		CH-21	復元土器 (4)
	CH-16	復元土器 (10)		CH-21	復元土器 (5)
	CH-16	復元土器 (11)	圖版 II-52	CH-22	復元土器 (1)
	CH-16	復元土器 (12)	圖版 II-53	CH-22	復元土器 (2)
圖版 II-35	CH-16	復元土器 (13)		CH-22	復元土器 (3)
	CH-16	復元土器 (14)		CH-22	復元土器 (4)
	CH-16	復元土器 (15)		CH-22	復元土器 (5)
	CH-16	復元土器 (16)		CH-22	復元土器 (6)
圖版 II-36	CH-16	復元土器 (17)	圖版 II-54	CH-22	復元土器 (7)
	CH-16	復元土器 (18)		CH-22	復元土器 (8)
	CH-16	復元土器 (19)		CH-22	復元土器 (9)
	CH-16	復元土器 (20)		CH-22	復元土器 (10)
圖版 II-37	CH-16	復元土器 (21)		CH-22	復元土器 (11)
	CH-16	復元土器 (22)		CH-22	復元土器 (12)
	CH-16	復元土器 (23)	圖版 II-55	CH-22	復元土器 (13)
	CH-16	復元土器 (24)		CH-22	復元土器 (14)
	CH-16	復元土器 (25)		CH-22	復元土器 (15)
	CH-16	復元土器 (26)		CH-22	復元土器 (16)
圖版 II-38	CH-16	出土土器 (1)	圖版 II-56	CH-22	復元土器 (17)
圖版 II-39	CH-16	出土土器 (2)		CH-22	復元土器 (18)
圖版 II-40	CH-16	出土土器 (3)		CH-22	復元土器 (19)
圖版 II-41	CH-16	出土土器 (4)		CH-22	復元土器 (20)
	CH-17	出土土器		CH-22	復元土器 (21)
圖版 II-42	CH-18	復元土器 (1)	圖版 II-57	CH-22	出土土器 (1)
	CH-18	復元土器 (2)	圖版 II-58	CH-22	出土土器 (2)
	CH-18	復元土器 (3)	圖版 II-59	CH-23	出土土器
	CH-18	復元土器 (4)		CH-24	復元土器 (1)
圖版 II-43	CH-18	復元土器 (5)		CH-24	復元土器 (2)
	CH-18	復元土器 (6)		CH-24	復元土器 (3)
	CH-18	復元土器 (7)	圖版 II-60	CH-24	復元土器 (4)
	CH-18	復元土器 (8)		CH-24	復元土器 (5)

	CH-24	出土土器 (1)			CH-30	復元土器 (20)
圖版 II-61	CH-24	出土土器 (2)	圖版 II-78	CH-30	復元土器 (21)	
圖版 II-62	CH-25	復元土器 (1)		CH-30	復元土器 (22)	
	CH-25	復元土器 (2)		CH-30	復元土器 (23)	
	CH-25	復元土器 (3)		CH-30	復元土器 (24)	
	CH-25	復元土器 (4)	圖版 II-79	CH-30	復元土器 (25)	
圖版 II-63	CH-25	復元土器 (5)		CH-30	復元土器 (26)	
	CH-25	復元土器 (6)		CH-30	復元土器 (27)	
	CH-25	復元土器 (7)		CH-30	復元土器 (28)	
	CH-25	出土土器 (1)	圖版 II-80	CH-30	復元土器 (29)	
圖版 II-64	CH-25	出土土器 (2)		CH-30	復元土器 (30)	
圖版 II-65	CH-25	出土土器 (3)		CH-30	復元土器 (31)	
圖版 II-66	CH-26	復元土器 (1)		CH-30	復元土器 (32)	
	CH-26	復元土器 (2)	圖版 II-81	CH-30	復元土器 (33)	
	CH-26	復元土器 (3)		CH-30	復元土器 (34)	
	CH-26	復元土器 (4)		CH-30	出土土器 (1)	
圖版 II-67	CH-26	復元土器 (5)	圖版 II-82	CH-30	出土土器 (2)	
	CH-26	復元土器 (6)	圖版 II-83	CH-30	出土土器 (3)	
	CH-26	復元土器 (7)	圖版 II-84	CH-30	出土土器 (4)	
	CH-26	復元土器 (8)		CH-31	復元土器 (1)	
圖版 II-68	CH-26	復元土器 (9)		CH-31	復元土器 (2)	
	CH-26	出土土器 (1)	圖版 II-85	CH-31	復元土器 (3)	
圖版 II-69	CH-26	出土土器 (2)		CH-31	復元土器 (4)	
圖版 II-70	CH-27	復元土器 (1)		CH-31	復元土器 (5)	
	CH-27	復元土器 (2)		CH-31	復元土器 (6)	
	CH-27	復元土器 (3)	圖版 II-86	CH-31	復元土器 (7)	
	CH-28	復元土器 (1)		CH-31	復元土器 (8)	
	CH-28	出土土器		CH-31	復元土器 (9)	
圖版 II-71	CH-29	復元土器 (1)		CH-31	復元土器 (10)	
	CH-29	復元土器 (2)	圖版 II-87	CH-31	復元土器 (11)	
	CH-29	復元土器 (3)		CH-31	復元土器 (12)	
	CH-29	出土土器 (1)		CH-31	復元土器 (13)	
圖版 II-72	CH-29	出土土器 (2)		CH-31	復元土器 (14)	
圖版 II-73	CH-30	復元土器 (1)	圖版 II-88	CH-31	復元土器 (15)	
	CH-30	復元土器 (2)		CH-31	復元土器 (16)	
	CH-30	復元土器 (3)		CH-31	復元土器 (17)	
	CH-30	復元土器 (4)		CH-31	復元土器 (18)	
圖版 II-74	CH-30	復元土器 (5)	圖版 II-89	CH-31	復元土器 (19)	
	CH-30	復元土器 (6)	圖版 II-90	CH-31	復元土器 (20)	
	CH-30	復元土器 (7)		CH-31	復元土器 (21)	
	CH-30	復元土器 (8)		CH-31	復元土器 (22)	
圖版 II-75	CH-30	復元土器 (9)		CH-31	復元土器 (23)	
	CH-30	復元土器 (10)	圖版 II-91	CH-31	復元土器 (24)	
	CH-30	復元土器 (11)		CH-31	復元土器 (25)	
	CH-30	復元土器 (12)		CH-31	復元土器 (26)	
圖版 II-76	CH-30	復元土器 (13)		CH-31	復元土器 (27)	
	CH-30	復元土器 (14)	圖版 II-92	CH-31	復元土器 (28)	
	CH-30	復元土器 (15)		CH-31	復元土器 (29)	
	CH-30	復元土器 (16)		CH-31	復元土器 (30)	
圖版 II-77	CH-30	復元土器 (17)		CH-31	復元土器 (31)	
	CH-30	復元土器 (18)	圖版 II-93	CH-31	復元土器 (32)	
	CH-30	復元土器 (19)		CH-31	復元土器 (33)	

	CH-31	復元土器 (34)		CH-34	復元土器 (12)
	CH-31	復元土器 (35)		CH-34	復元土器 (13)
図版 II-94	CH-31	復元土器 (36)		CH-34	復元土器 (14)
	CH-31	復元土器 (37)	図版 II-113	CH-34	復元土器 (15)
	CH-31	復元土器 (38)		CH-34	復元土器 (16)
	CH-31	復元土器 (39)		CH-34	復元土器 (17)
図版 II-95	CH-31	復元土器 (40)		CH-34	復元土器 (18)
	CH-31	復元土器 (41)	図版 II-114	CH-34	復元土器 (19)
	CH-31	復元土器 (42)		CH-34	出土土器 (1)
	CH-31	復元土器 (43)	図版 II-115	CH-34	出土土器 (2)
図版 II-96	CH-31	復元土器 (44)	図版 II-116	CH-34	出土土器 (3)
	CH-31	復元土器 (45)	図版 II-117	CH-35	出土土器
	CH-31	復元土器 (46)		CH-36	復元土器
	CH-31	復元土器 (47)		CH-36	出土土器
図版 II-97	CH-31	復元土器 (48)		CH-37	復元土器
	CH-31	復元土器 (49)		CH-37	出土土器
	CH-31	復元土器 (50)		CH-38	出土土器
	CH-31	復元土器 (51)	図版 II-118	CH-39	復元土器 (1)
図版 II-98	CH-31	復元土器 (52)	図版 II-119	CH-39	復元土器 (2)
	CH-31	復元土器 (53)		CH-39	復元土器 (3)
	CH-31	復元土器 (54)		CH-39	復元土器 (4)
	CH-31	復元土器 (55)		CH-39	復元土器 (5)
図版 II-99	CH-31	復元土器 (56)	図版 II-120	CH-39	復元土器 (6)
	CH-31	復元土器 (57)		CH-39	出土土器 (1)
	CH-31	復元土器 (58)	図版 II-121	CH-39	出土土器 (2)
	CH-31	復元土器 (59)		CH-40	出土土器
図版 II-100	CH-31	復元土器 (60)	図版 II-122	CH-41	出土土器 (1)
	CH-31	復元土器 (61)	図版 II-123	CH-41	出土土器 (2)
	CH-31	出土土器 (1)		CH-43	復元土器
図版 II-101	CH-31	出土土器 (2)		CH-43	出土土器
図版 II-102	CH-31	出土土器 (3)	図版 II-124	CH-44	出土土器
図版 II-103	CH-31	出土土器 (4)		CH-45	出土土器
図版 II-104	CH-31	出土土器 (5)		CH-46	出土土器
図版 II-105	CH-31	出土土器 (6)	図版 II-125	CH-47	復元土器 (1)
図版 II-106	CH-32	出土土器 (1)		CH-47	復元土器 (2)
図版 II-107	CH-32	出土土器 (2)		CH-47	復元土器 (3)
図版 II-108	CH-33	復元土器 (1)	図版 II-126	CH-47	復元土器 (4)
	CH-33	復元土器 (2)		CH-47	復元土器 (5)
	CH-33	復元土器 (3)		CH-47	復元土器 (6)
	CH-33	復元土器 (4)		CH-47	復元土器 (7)
図版 II-109	CH-33	出土土器	図版 II-127	CH-47	復元土器 (8)
	CH-34	復元土器 (1)		CH-47	復元土器 (9)
	CH-34	復元土器 (2)		CH-47	復元土器 (10)
図版 II-110	CH-34	復元土器 (3)		CH-47	復元土器 (11)
	CH-34	復元土器 (4)	図版 II-128	CH-47	出土土器 (1)
	CH-34	復元土器 (5)	図版 II-129	CH-47	出土土器 (2)
	CH-34	復元土器 (6)	図版 II-130	CH-48	復元土器 (1)
図版 II-111	CH-34	復元土器 (7)		CH-48	復元土器 (2)
	CH-34	復元土器 (8)		CH-48	出土土器
	CH-34	復元土器 (9)	図版 II-131	CH-49	復元土器 (1)
	CH-34	復元土器 (10)		CH-49	復元土器 (2)
図版 II-112	CH-34	復元土器 (11)		CH-49	復元土器 (3)

- | | | | | | |
|-----------|-------|-----------|-----------|-------|-----------|
| | CH-49 | 復元土器 (4) | 図版 II-148 | CH-51 | 出土土器 (5) |
| 図版 II-132 | CH-49 | 復元土器 (5) | 図版 II-149 | CH-51 | 出土土器 (6) |
| | CH-49 | 出土土器 | 図版 II-150 | CH-51 | 出土土器 (7) |
| 図版 II-133 | CH-50 | 復元土器 (1) | | CH-52 | 復元土器 (1) |
| | CH-50 | 復元土器 (2) | | CH-52 | 復元土器 (2) |
| | CH-50 | 復元土器 (3) | 図版 II-151 | CH-52 | 復元土器 (3) |
| | CH-50 | 復元土器 (4) | 図版 II-152 | CH-52 | 復元土器 (4) |
| 図版 II-134 | CH-50 | 復元土器 (5) | | CH-52 | 復元土器 (5) |
| | CH-50 | 復元土器 (6) | | CH-52 | 復元土器 (6) |
| | CH-50 | 復元土器 (7) | | CH-52 | 復元土器 (7) |
| | CH-50 | 復元土器 (8) | 図版 II-153 | CH-52 | 復元土器 (8) |
| 図版 II-135 | CH-50 | 復元土器 (9) | | CH-52 | 復元土器 (9) |
| | CH-50 | 出土土器 (1) | | CH-52 | 復元土器 (10) |
| 図版 II-136 | CH-50 | 出土土器 (2) | | CH-52 | 復元土器 (11) |
| 図版 II-137 | CH-51 | 復元土器 (1) | 図版 II-154 | CH-52 | 復元土器 (12) |
| | CH-51 | 復元土器 (2) | 図版 II-155 | CH-52 | 復元土器 (13) |
| | CH-51 | 復元土器 (3) | | CH-52 | 復元土器 (14) |
| | CH-51 | 復元土器 (4) | | CH-52 | 復元土器 (15) |
| 図版 II-138 | CH-51 | 復元土器 (5) | | CH-52 | 出土土器 (1) |
| | CH-51 | 復元土器 (6) | 図版 II-156 | CH-52 | 出土土器 (2) |
| | CH-51 | 復元土器 (7) | 図版 II-157 | CH-53 | 復元土器 (1) |
| | CH-51 | 復元土器 (8) | | CH-53 | 復元土器 (2) |
| 図版 II-139 | CH-51 | 復元土器 (9) | | CH-53 | 復元土器 (3) |
| | CH-51 | 復元土器 (10) | | CH-53 | 復元土器 (4) |
| | CH-51 | 復元土器 (11) | 図版 II-158 | CH-53 | 復元土器 (5) |
| | CH-51 | 復元土器 (12) | | CH-53 | 復元土器 (6) |
| | CH-51 | 復元土器 (13) | | CH-53 | 復元土器 (7) |
| 図版 II-140 | CH-51 | 復元土器 (14) | | CH-53 | 復元土器 (8) |
| | CH-51 | 復元土器 (15) | | CH-53 | 復元土器 (9) |
| | CH-51 | 復元土器 (16) | 図版 II-159 | CH-53 | 復元土器 (10) |
| | CH-51 | 復元土器 (17) | | CH-53 | 復元土器 (11) |
| 図版 II-141 | CH-51 | 復元土器 (18) | | CH-53 | 復元土器 (12) |
| | CH-51 | 復元土器 (19) | | CH-53 | 復元土器 (13) |
| | CH-51 | 復元土器 (20) | 図版 II-160 | CH-53 | 復元土器 (14) |
| | CH-51 | 復元土器 (21) | | CH-53 | 復元土器 (15) |
| 図版 II-142 | CH-51 | 復元土器 (22) | | CH-53 | 出土土器 (1) |
| | CH-51 | 復元土器 (23) | 図版 II-161 | CH-53 | 出土土器 (2) |
| | CH-51 | 復元土器 (24) | 図版 II-162 | CH-54 | 復元土器 (1) |
| | CH-51 | 復元土器 (25) | | CH-54 | 復元土器 (2) |
| 図版 II-143 | CH-51 | 復元土器 (26) | | CH-54 | 復元土器 (3) |
| | CH-51 | 復元土器 (27) | | CH-54 | 復元土器 (4) |
| | CH-51 | 復元土器 (28) | 図版 II-163 | CH-54 | 出土土器 |
| | CH-51 | 復元土器 (29) | | CH-56 | 復元土器 (1) |
| 図版 II-144 | CH-51 | 復元土器 (30) | | CH-56 | 復元土器 (2) |
| | CH-51 | 復元土器 (31) | 図版 II-164 | CH-56 | 復元土器 (3) |
| | CH-51 | 復元土器 (32) | | CH-56 | 復元土器 (4) |
| | CH-51 | 復元土器 (33) | | CH-56 | 復元土器 (5) |
| 図版 II-145 | CH-51 | 出土土器 (1) | | CH-56 | 復元土器 (6) |
| | CH-51 | 復元土器 (34) | 図版 II-165 | CH-56 | 復元土器 (7) |
| | CH-51 | 出土土器 (2) | 図版 II-166 | CH-56 | 復元土器 (8) |
| 図版 II-146 | CH-51 | 出土土器 (3) | | CH-56 | 復元土器 (9) |
| 図版 II-147 | CH-51 | 出土土器 (4) | | CH-56 | 復元土器 (10) |

	CH-56	復元土器 (11)	圖版 II-193	CH-69	出土土器
圖版 II-167	CH-56	復元土器 (12)		CH-70	復元土器 (1)
	CH-56	復元土器 (13)		CH-70	復元土器 (2)
	CH-56	出土土器 (1)	圖版 II-194	CH-70	出土土器
圖版 II-168	CH-56	出土土器 (2)	圖版 II-195	CH-71	復元土器 (1)
圖版 II-169	CH-57	復元土器 (1)		CH-71	復元土器 (2)
	CH-57	復元土器 (2)		CH-71	復元土器 (3)
	CH-57	復元土器 (3)		CH-71	復元土器 (4)
	CH-57	出土土器 (1)	圖版 II-196	CH-71	復元土器 (5)
圖版 II-170	CH-57	出土土器 (2)		CH-71	出土土器 (1)
	CH-58	出土土器	圖版 II-197	CH-71	出土土器 (2)
圖版 II-171	CH-58	復元土器 (1)	圖版 II-198	CH-71	出土土器 (3)
圖版 II-172	CH-58	復元土器 (2)	圖版 II-199	CH-73	復元土器
圖版 II-173	CH-59	出土土器		CH-73	出土土器
圖版 II-174	CH-60	復元土器	圖版 II-200	CH-74	復元土器 (1)
	CH-60	出土土器		CH-74	復元土器 (2)
圖版 II-175	CH-61	復元土器 (1)		CH-74	出土土器 (1)
	CH-61	復元土器 (2)	圖版 II-201	CH-74	出土土器 (2)
	CH-61	復元土器 (3)	圖版 II-202	CH-75	復元土器
	CH-61	出土土器 (1)		CH-75	出土土器
圖版 II-176	CH-61	出土土器 (2)	圖版 II-203	CH-77	復元土器 (1)
圖版 II-177	CH-62	出土土器	圖版 II-204	CH-77	復元土器 (2)
圖版 II-178	CH-63	復元土器		CH-77	復元土器 (3)
	CH-63	出土土器		CH-77	復元土器 (4)
圖版 II-179	CH-64	復元土器 (1)		CH-77	復元土器 (5)
	CH-64	復元土器 (2)	圖版 II-205	CH-77	復元土器 (6)
	CH-64	復元土器 (3)	圖版 II-206	CH-77	復元土器 (7)
	CH-64	復元土器 (4)	圖版 II-207	CH-77	復元土器 (8)
圖版 II-180	CH-64	復元土器 (5)		CH-77	出土土器 (1)
	CH-64	復元土器 (6)	圖版 II-208	CH-77	出土土器 (2)
	CH-64	復元土器 (7)	圖版 II-209	CH-77	出土土器 (3)
	CH-64	復元土器 (8)	圖版 II-210	CH-77	出土土器 (4)
圖版 II-181	CH-64	出土土器 (1)	圖版 II-211	CH-78	復元土器 (1)
圖版 II-182	CH-64	出土土器 (2)		CH-78	復元土器 (2)
圖版 II-183	CH-64	出土土器 (3)		CH-78	復元土器 (3)
圖版 II-184	CH-65	復元土器		CH-78	復元土器 (4)
	CH-65	出土土器 (1)	圖版 II-212	CH-78	復元土器 (5)
圖版 II-185	CH-65	出土土器 (2)	圖版 II-213	CH-78	出土土器 (1)
圖版 II-186	CH-66	復元土器 (1)	圖版 II-214	CH-78	出土土器 (2)
	CH-66	復元土器 (2)	圖版 II-215	CH-78	出土土器 (3)
	CH-66	復元土器 (3)	圖版 II-216	CH-79	復元土器 (1)
	CH-66	復元土器 (4)	圖版 II-217	CH-79	復元土器 (2)
圖版 II-187	CH-66	出土土器 (1)		CH-79	復元土器 (3)
圖版 II-188	CH-66	出土土器 (2)		CH-79	出土土器 (1)
圖版 II-189	CH-67	復元土器 (1)	圖版 II-218	CH-79	出土土器 (2)
	CH-67	復元土器 (2)	圖版 II-219	CH-80	出土土器
	CH-67	出土土器 (1)	圖版 II-220	CH-82	復元土器
圖版 II-190	CH-67	出土土器 (2)		CH-82	出土土器 (1)
圖版 II-191	CH-68	復元土器 (1)	圖版 II-221	CH-82	出土土器 (2)
	CH-68	復元土器 (2)	圖版 II-222	CH-83	復元土器 (1)
圖版 II-192	CH-68	復元土器 (3)		CH-83	復元土器 (2)
	CH-68	出土土器		CH-83	復元土器 (3)

- 圖版 II-223 CH-83 復元土器 (4)
 CH-83 復元土器 (5)
 CH-83 復元土器 (6)
 CH-83 復元土器 (7)
 CH-83 復元土器 (8)
- 圖版 II-224 CH-83 出土土器 (1)
- 圖版 II-225 CH-83 出土土器 (2)
- 圖版 II-226 CH-83 出土土器 (3)
- 圖版 II-227 CH-84 復元土器 (1)
- 圖版 II-228 CH-84 復元土器 (2)
 CH-84 出土土器 (1)
- 圖版 II-229 CH-84 出土土器 (2)
- 圖版 II-230 CH-85 出土土器
 CH-85 復元土器
- 圖版 II-231 CH-86 復元土器 (1)
 CH-86 復元土器 (2)
 CH-86 復元土器 (3)
- 圖版 II-232 CH-86 復元土器 (4)
 CH-86 復元土器 (5)
 CH-86 復元土器 (6)
 CH-86 復元土器 (7)
- 圖版 II-233 CH-86 出土土器
 CH-87 出土土器
 CH-88 出土土器
- 圖版 II-234 CH-89 復元土器 (1)
 CH-89 復元土器 (2)
 CH-89 復元土器 (3)
 CH-89 出土土器 (1)
- 圖版 II-235 CH-89 出土土器 (2)
 CH-91 出土土器
- 圖版 II-236 CH-90 復元土器 (1)
 CH-90 復元土器 (2)
 CH-90 出土土器
- 圖版 II-237 CH-92 復元土器 (1)
 CH-92 復元土器 (2)
 CH-92 復元土器 (3)
 CH-92 復元土器 (4)
- 圖版 II-238 CH-92 復元土器 (5)
 CH-92 復元土器 (6)
 CH-92 復元土器 (7)
 CH-92 復元土器 (8)
- 圖版 II-239 CH-92 復元土器 (9)
 CH-92 復元土器 (10)
 CH-92 出土土器 (1)
- 圖版 II-240 CH-92 出土土器 (2)
- 圖版 II-241 CH-92 出土土器 (3)
- 圖版 II-242 CH-92 出土土器 (4)
- 圖版 II-243 CH-1 出土石器・石製品
 CH-2 (1) 出土石器
- 圖版 II-244 CH-2 (2) 出土石器・石製品・土製品
 CH-3 (1) 出土石器
- 圖版 II-245 CH-3 (2) 出土石器
 CH-4 (1) 出土石器
- 圖版 II-246 CH-4 (2) 出土石製品・土製品
 CH-5 出土石器
- 圖版 II-247 CH-6 出土石器
 CH-7 出土石器
 CH-8 出土石器
- 圖版 II-248 CH-9 (1) 出土石器
- 圖版 II-249 CH-9 (2) 出土石製品・土製品
 CH-10 出土石器
- 圖版 II-250 CH-11 出土石器
- 圖版 II-251 CH-12 出土石器・石製品
- 圖版 II-252 CH-13 出土石器・土製品
 CH-14 出土石器・土製品
- 圖版 II-253 CH-15 (1) 出土石器
- 圖版 II-254 CH-15 (2) 出土石器
- 圖版 II-255 CH-15 (3) 出土石器
- 圖版 II-256 CH-16 (1) 出土石器
- 圖版 II-257 CH-16 (2) 出土石器・石製品
- 圖版 II-258 CH-17 出土石器
- 圖版 II-259 CH-18 出土石器・石製品・土製品
- 圖版 II-260 CH-19 出土石器
 CH-20 出土石器
 CH-21 出土石器
- 圖版 II-261 CH-22 (1) 出土石器
- 圖版 II-262 CH-22 (2) 出土石器
- 圖版 II-263 CH-22 (3) 出土石器・石製品・土製品
 CH-23 出土石器
- 圖版 II-264 CH-24 出土石器
- 圖版 II-265 CH-25 出土石器・石製品・土製品
- 圖版 II-266 CH-26 (1) 出土石器
- 圖版 II-267 CH-26 (2) 出土石器
 CH-27 (1) 出土石器
- 圖版 II-268 CH-27 (2) 出土石器
- 圖版 II-269 CH-28 出土石器
 CH-29 (1) 出土石器
- 圖版 II-270 CH-29 (2) 出土石器・土製品
- 圖版 II-271 CH-30 出土石器・石製品
- 圖版 II-272 CH-31 (1) 出土石器
- 圖版 II-273 CH-31 (2) 出土石器・石製品・土製品
 CH-32 出土石製品
- 圖版 II-274 CH-33 出土石器
 CH-34 (1) 出土石器
- 圖版 II-275 CH-34 (2) 出土石器
 CH-36 出土石器
 CH-37 出土石器
 CH-38 出土石器
- 圖版 II-276 CH-35 出土石器
 CH-39 (1) 出土石器
- 圖版 II-277 CH-39 (2) 出土石器

- 图版 II-278 CH-40 出土石器
 CH-41 出土石器
 CH-43 出土石器·石製品
 图版 II-279 CH-44 出土石器
 CH-45 出土石器
 CH-46 出土石器
 CH-47 出土石器·石製品
 图版 II-280 CH-48 出土石器
 CH-49 (1) 出土石器
 图版 II-281 CH-49 (2) 出土石器·石製品
 CH-50 (1) 出土石器
 图版 II-282 CH-50 (2) 出土石器·石製品·
 土製品
 CH-51 (1) 出土石器
 图版 II-283 CH-51 (2) 出土石器·石製品·
 土製品
 图版 II-284 CH-52 (1) 出土石器
 图版 II-285 CH-52 (2) 出土石器·石製品
 CH-53 (1) 出土石器
 图版 II-286 CH-53 (2) 出土石器
 CH-53·CH-54 出土石器
 CH-54 出土石器
 图版 II-287 CH-56 出土石器
 CH-57 (1) 出土石器
 图版 II-288 CH-57 (2) 出土石器·石製品
 CH-58 出土石器·石製品
 图版 II-289 CH-59 出土石器
 CH-60 (1) 出土石器
 图版 II-290 CH-60 (2) 出土石器
 CH-61 出土石器·土製品
 图版 II-291 CH-62 (1) 出土石器
 图版 II-292 CH-62 (2) 出土石器
 图版 II-293 CH-62 (3) 出土石器·石製品·
 土製品
 CH-63 出土石器
 图版 II-294 CH-64 出土石器·土製品
 CH-65 出土石器
 CH-66 出土石器
 图版 II-295 CH-67 出土石器·石製品
 CH-68 出土石器·石製品·土製品
 CH-69 出土石器
 图版 II-296 CH-70 出土石器·土製品
 CH-71 出土石器·石製品
 图版 II-297 CH-73 出土石器
 CH-74 (1) 出土石器
 图版 II-298 CH-74 (2) 出土石器·土製品
 图版 II-299 CH-77 出土石器·石製品·土製品
 图版 II-300 CH-78 出土石器
 图版 II-301 CH-79 出土石器
 CH-80 出土石器
 CH-82 出土石器
 图版 II-302 CH-83 出土石器·石製品·土製品
 CH-84 出土石器
 图版 II-303 CH-85 出土石器·土製品
 CH-86 出土石器·土製品
 CH-87 出土石器
 CH-90 出土石器
 图版 II-304 CH-89 出土石器·土製品
 图版 II-305 CH-91 出土石器
 CH-92 (1) 出土石器
 图版 II-306 CH-92 (2) 出土石器
 图版 II-307 CH-92 (3) 出土石器製品
 图版 II-308 CP-3 出土石器
 CP-4 出土石器
 CP-5 出土石器·石器
 CP-6 出土石器·石器
 CP-8 出土石器
 图版 II-309 CP-9 出土石器·石器
 CP-11 出土石器
 图版 II-310 CP-10 復元石器
 CP-10 出土石器·土製品
 CP-12 出土石器·石器
 CP-15 出土石器
 CP-19 出土石器
 图版 II-311 CP-14 復元石器
 CP-14 出土石器 (1)
 图版 II-312 CP-14 出土石器 (2)·石器
 CP-24 出土石器·石器
 图版 II-313 CP-20 出土石器
 CP-25 出土石器
 CP-29 出土石器
 CP-32 出土石器·石器
 图版 II-314 CP-31 復元石器 (1)
 CP-31 復元石器 (2)
 CP-31 出土石器·石器
 CP-38 出土石器
 图版 II-315 CP-39 出土石器
 CP-41 出土石器·石器
 CP-43 出土石器·石器
 CP-44 出土石器
 图版 II-316 CP-45·47 出土石器
 CP-48 出土石器
 CP-54 出土石器·石器
 CP-55 出土石器
 CP-56 復元石器
 图版 II-317 CP-57 出土石器·石器
 CP-58 復元石器
 图版 II-318 CP-59 出土石器·石器
 CP-60 出土石器·石器
 图版 II-319 CP-61 出土石器
 CP-62 出土石器
 CP-63 出土石器
 CP-65 出土石器·石器·石製品
 图版 II-320 CP-67 復元石器

- CP-67 出土土器・石器
 CP-68 出土土器
 CP-71 出土土器・石器
 図版Ⅱ-321 CP-70 復元土器(1)
 図版Ⅱ-322 CP-70 復元土器(2)
 CP-70 出土土器
 CP-75 出土石器
 図版Ⅱ-323 CP-77 復元土器
 CP-76 出土土器
 CP-77 出土土器・石器
 CP-78 出土土器・石器
 CP-81 出土土器
 図版Ⅱ-324 CP-80 復元土器
 CP-80 出土土器・石器
 CP-82 出土土器・石器
 CP-84 出土土器
 図版Ⅱ-325 CP-88 出土土器・石器
 CP-91 出土土器
 CP-92 出土土器・石器
 CP-93 出土土器
 CP-94 出土土器
 CP-95 出土土器・石器
 CP-99 出土土器
 図版Ⅱ-326 CP-96 出土土器・石器
 CP-100 出土土器
 CP-103 出土土器
 図版Ⅱ-327 CP-104 出土土器・石器
 CP-105 出土石器
 CP-107 出土土器・石器
 CP-108 出土土器
 CP-109 出土土器
 CP-112 出土土器
 図版Ⅱ-328 CP-110 復元土器
 CP-110 出土土器・石器
 CP-114 出土土器・石器
 図版Ⅱ-329 CP-123 復元土器
 CP-123 出土土器
 CP-115・117・119・121 出土土器・石器
 CP-118 出土土器
 図版Ⅱ-330 CP-125 出土石製品
 図版Ⅱ-331 CP-126 復元土器
 図版Ⅱ-332 CP-124 出土土器
 CP-131 出土土器
 CP-133 出土土器・石器
 CP-134 出土土器
 CP-128・130・135・138・140・141 出土土器
 CP-136 出土土器
 図版Ⅱ-333 CP-132 復元土器
 CP-132 出土土器
 図版Ⅱ-334 CP-143 出土石器
 CP-148 出土土器
 CP-150・153 出土土器
 CP-151 出土土器・石器
 CP-154 出土土器
 CP-156 出土土器
 CP-159 出土石器
 図版Ⅱ-335 CP-155 復元石器
 図版Ⅱ-336 CP-155 出土土器・石器
 CP-160 出土土器
 CP-161 出土土器
 CP-162 出土土器・石器
 図版Ⅱ-337 CP-166 復元土器
 CP-166 出土石製品
 CP-168 復元土器
 CP-168 出土土器・石器
 図版Ⅱ-338 CP-163 出土土器・石器・石製品
 CP-165 出土土器
 CP-170 出土土器
 図版Ⅱ-339 CP-171 復元土器(1)
 CP-171 復元土器(2)
 CP-171 復元土器(3)
 CP-171 復元土器(4)
 図版Ⅱ-340 CP-171 出土土器・石器
 CP-172 復元土器
 CP-172 出土石器
 CP-173 出土土器
 CP-177 出土土器・石器
 図版Ⅱ-341 CP-176 出土石器
 CP-178 出土土器
 CP-180 出土土器・石器
 CP-182 出土土器・石器
 CP-183 出土土器
 図版Ⅱ-342 CP-181 出土土器・石器
 CP-185 出土土器・石器・石製品
 図版Ⅱ-343 CP-187 出土土器
 CP-188 復元土器
 CP-188 出土土器・石器
 CP-189 復元土器(1)
 CP-189 復元土器(2)
 図版Ⅱ-344 CP-189 出土土器・石器
 図版Ⅱ-345 CP-194 出土土器・石器
 CP-195 出土土器
 CP-192・193・197 出土石器
 CP-201 出土土器
 CP-202 出土土器
 CP-204 出土土器
 CP-203 出土土器・石器
 CP-205 出土土器
 図版Ⅱ-346 CP-206 出土石器
 CP-209 出土石器
 CP-210 出土土器
 CP-212 復元土器

- CP-212 出土土器
 CP-214 出土土器
 CP-215 出土土器
 圖版 II-347 CP-216 出土土器·石器
 CP-218 出土土器
 CP-220 出土土器
 圖版 II-348 CP-217 出土土器
 CP-223 出土土器·石器
 CP-224 出土土器·石器
 CP-227·228·229 出土土器·石器
 圖版 II-349 CP-230 復元土器
 CP-230 出土土器·石器
 CP-231 出土土器·石器
 圖版 II-350 CP-232 復元土器
 CP-232 出土土器·石器
 圖版 II-351 CP-244 復元土器
 CP-244 出土土器
 圖版 II-352 CP-244 出土石器
 CP-234·237·242·245·246·
 256·261·262 出土土器·石器
 CP-238 出土土器·石器
 圖版 II-353 CP-257 出土土器·石器
 CP-265 出土土器
 CP-266·267·268 出土土器·石器
 CP-271 出土土器
 CP-272 復元土器
 CP-272 出土土器·石器
 圖版 II-354 CP-264 出土土器·石器
 CP-273 出土土器
 圖版 II-355 CF-5 出土土器
 CF-13 出土土器
 CF-2·3·14 出土土器·石器
 CF-16 出土土器·石器
 CF-18 出土土器
 圖版 II-356 CF-20 出土土器·石器
 CF-21 出土土器
 CF-22 出土土器
 CF-23·28 出土土器
 CF-30 出土土器·石器
 CF-31 出土土器·石器
 圖版 II-357 CF-41 復元土器
 CF-41 出土土器
 CF-44 出土土器
 圖版 II-358 CF-42 出土土器
 CF-45 出土土器·石器
 CF-46·50·54·55·57
 出土土器·石器
 圖版 II-359 CF-58 出土土器
 CF-64 出土土器·石器
 CF-63 出土石器
 CF-73 出土土器
 CF-68·69·71·74·75 出土土器·
- 石器
 CF-77 復元土器
 CF-77 出土土器
 圖版 II-360 CF-80 出土土器
 CF-81 出土土器
 CF-83 復元土器
 CF-83 出土土器·石器
 CF-85 出土土器
 CF-82·88·89·91·92 出土土器·
 石器
 圖版 II-361 CF-93 出土土器
 CF-94 出土土器
 CF-101 出土土器·石器
 CF-95·103·106·111 出土土器·
 石器
 CF-107 出土土器
 CF-115 出土土器·石器
 CF-117 出土土器·石器
 CF-108·118 出土土器
 圖版 II-362 CF-121 出土土器
 CF-129 復元土器
 CF-129 出土土器
 CF-132 出土土器
 CF-134·137·139·141 出土土器
 CF-142 出土土器
 圖版 II-363 CF-144 出土土器
 CF-145 出土土器
 CF-146 出土土器
 CF-150 出土土器
 圖版 II-364 CF-149 出土土器
 CF-158·162 出土土器
 CF-156 復元土器
 CF-156 出土土器·石器
 CF-157 出土石器
 圖版 II-365 CF-152 出土土器·石器
 CS-12 出土土器
 CS 出土土器·石器
 CSP 出土土器
 圖版 II-366 包含層 I 群a類·II 群b類 出土土器
 圖版 II-367 包含層 III 群a類 復元土器 (1)
 包含層 III 群a類 復元土器 (2)
 包含層 III 群a類 復元土器 (3)
 包含層 III 群a類 出土土器 (1)
 圖版 II-368 包含層 III 群a類 復元土器 (4)
 包含層 III 群a類 復元土器 (5)
 圖版 II-369 包含層 III 群a類 復元土器 (6)
 包含層 III 群a類 出土土器 (2)
 圖版 II-370 包含層 III 群a類 出土土器 (3)
 圖版 II-371 包含層 III 群a類 復元土器 (7)
 包含層 III 群a類 復元土器 (8)
 包含層 III 群a類 出土土器 (4)
 圖版 II-372 包含層 III 群a類 復元土器 (9)

- | | | | | | |
|---------|---------|-----------|---------|--------------|--------------|
| | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (10) | | 包含層Ⅲ群b類 | 復元土器 (3) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 出土土器 (5) | | 包含層Ⅲ群b類 | 出土土器 (3) |
| 図版Ⅱ-373 | 包含層Ⅲ群a類 | 出土土器 (6) | 図版Ⅱ-391 | 包含層Ⅲ群b類 | 出土土器 (4) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (11) | 図版Ⅱ-392 | 包含層Ⅲ群b類 | 出土土器 (5) |
| 図版Ⅱ-374 | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (12) | 図版Ⅱ-393 | 包含層Ⅲ群b類 | 出土土器 (6) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (13) | | 包含層Ⅲ群b類 | 復元土器 (4) |
| 図版Ⅱ-375 | 包含層Ⅲ群a類 | 出土土器 (7) | 図版Ⅱ-394 | 包含層Ⅲ群b類 | 出土土器 (7) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 出土土器 (8) | | 包含層Ⅲ群b類 | 復元土器 (5) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (14) | | 包含層Ⅲ群b類 | 復元土器 (6) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (15) | 図版Ⅱ-395 | 包含層Ⅲ群b類 | 復元土器 (7) |
| 図版Ⅱ-376 | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (16) | 図版Ⅱ-396 | 包含層Ⅲ群b類 | 復元土器 (8) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (17) | | 包含層Ⅲ群b類 | 出土土器 (8) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (18) | 図版Ⅱ-397 | 包含層Ⅲ群b類 | 出土土器 (9) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (19) | 図版Ⅱ-398 | 包含層Ⅲ群b類 | 出土土器 (10) |
| 図版Ⅱ-377 | 包含層Ⅲ群a類 | 出土土器 (9) | | 包含層Ⅲ群b類 | 復元土器 (9) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (20) | | 包含層Ⅲ群b類 | 復元土器 (10) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (21) | 図版Ⅱ-399 | 包含層Ⅲ群b類・Ⅳ群a類 | |
| 図版Ⅱ-378 | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (22) | | | 出土土器 (11) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 出土土器 (10) | | 包含層Ⅲ群b類 | 復元土器 (11) |
| 図版Ⅱ-379 | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (23) | | 包含層Ⅲ群b類 | 復元土器 (12) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 出土土器 (11) | | 包含層Ⅲ群b類 | 復元土器 (13) |
| 図版Ⅱ-380 | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (24) | | 包含層Ⅲ群b類 | 出土土器 (12) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 出土土器 (12) | 図版Ⅱ-400 | 包含層Ⅲ群b類 | 出土土器 (13) |
| 図版Ⅱ-381 | 包含層Ⅲ群a類 | 出土土器 (13) | 図版Ⅱ-401 | 包含層Ⅵ群 | 出土土器 |
| 図版Ⅱ-382 | 包含層Ⅲ群a類 | 出土土器 (14) | 図版Ⅱ-402 | 包含層 | 出土石器 (1) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (25) | 図版Ⅱ-403 | 包含層 | 出土石器 (2) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (26) | 図版Ⅱ-404 | 包含層 | 出土石器 (3) |
| 図版Ⅱ-383 | 包含層Ⅲ群a類 | 出土土器 (15) | 図版Ⅱ-405 | 包含層 | 出土石器 (4) |
| 図版Ⅱ-384 | 包含層Ⅲ群a類 | 出土土器 (16) | 図版Ⅱ-406 | 包含層 | 出土石器 (5) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (27) | 図版Ⅱ-407 | 包含層 | 出土石器 (6) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (28) | 図版Ⅱ-408 | 包含層 | 出土石器 (7) |
| 図版Ⅱ-385 | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (29) | 図版Ⅱ-409 | 包含層 | 出土石器 (8) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 出土土器 (17) | 図版Ⅱ-410 | 包含層 | 出土石器 (9) |
| 図版Ⅱ-386 | 包含層Ⅲ群a類 | 出土土器 (18) | 図版Ⅱ-411 | 包含層 | 出土石器 (10) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (30) | 図版Ⅱ-412 | 包含層 | 出土石器 (11) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (31) | 図版Ⅱ-413 | 包含層 | 出土石器 (12) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (32) | 図版Ⅱ-414 | 包含層 | 出土石器 (13) |
| 図版Ⅱ-387 | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (33) | 図版Ⅱ-415 | 包含層 | 出土石器 (14) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 復元土器 (34) | 図版Ⅱ-416 | 包含層 | 出土石器 (15) |
| | 包含層Ⅲ群a類 | 出土土器 (19) | 図版Ⅱ-417 | 包含層 | 出土石器 (16) |
| 図版Ⅱ-388 | 包含層Ⅲ群b類 | 出土土器 (1) | 図版Ⅱ-418 | 包含層 | 出土石製品 (1) |
| 図版Ⅱ-389 | 包含層Ⅲ群b類 | 出土土器 (2) | 図版Ⅱ-419 | 包含層 | 出土石製品 (2) |
| 図版Ⅱ-390 | 包含層Ⅲ群b類 | 復元土器 (1) | 図版Ⅱ-420 | 包含層 | 出土石製品 (3)・古錢 |
| | 包含層Ⅲ群b類 | 復元土器 (2) | 図版Ⅱ-421 | 包含層 | 出土土製品 |

I 章 調査の概要

1 調査要項

事業名：高規格幹線道路函館江差自動車道工事用地内埋蔵文化財発掘調査業務（釜谷8遺跡外）

委託者：国土交通省北海道開発局函館開発建設部

受託者：財団法人 北海道埋蔵文化財センター（平成24年3月31日まで）

公益財団法人 北海道埋蔵文化財センター（平成24年4月1日から）

遺跡名：館野2遺跡（北海道教育委員会登録番号 B-06-35）

所在地：北斗市館野29-1ほか

調査面積：4,307㎡（平成19年度：2,231㎡、平成20年度：2,076㎡）

調査期間：平成19年5月7日～平成19年10月31日

平成20年5月12日～平成20年10月1日

整理期間：平成21年7月24日～平成22年3月31日（一次整理）

：平成22年4月1日～平成23年3月31日（二次整理）

：平成23年4月1日～平成24年3月31日（二次整理）

：平成24年4月 日～平成25年3月 日（二次整理）

2 調査体制

財団法人北海道埋蔵文化財センター	理事長	森重 楯一（平成20年5月31日まで）
		坂本 均（平成20年6月1日から）
	専務理事	佐藤 俊和（平成21年5月31日まで）
		松本 昭一（平成21年6月1日から）
	常務理事	畑 宏明（平成19年4月1日から）
	総務部長	松本 昭一（平成21年5月31日まで）
		中田 仁（平成21年6月1日から）
	第1調査部長	千葉 英一（平成22年4月1日から）
	第2調査部長	西田 茂（平成23年3月31日まで）
		三浦 正人（平成23年4月1日から）
平成19年度	第2調査部第2調査課	課長 佐川 俊一（発掘担当者）
	同	主査 皆川 洋一（発掘担当者）
	同	主任 新家 水奈
	同	主任 佐藤 剛
	同	主任 立田 理
	第1調査部第1調査課	主査 立川トマス
平成20年度	第2調査部第2調査課	課長 佐川 俊一（発掘担当者）
	同	主査 立川トマス（発掘担当者）
	同	主査 皆川 洋一（発掘担当者）
平成21年度	第2調査部第2調査課	課長 佐川 俊一
	同	主査 皆川 洋一

平成22年度	第2調査部第2調査課	課長	佐川 俊一
	同	主査	皆川 洋一
平成23年度	第1調査部第3調査課	課長	土肥 研晶
	同	主査	皆川 洋一

公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	理事長	坂本 均	(平成24年4月1日から)
	副理事長	畑 宏明	(平成24年4月1日から)
	専務理事	中田 仁	(平成24年4月1日から)
	常務理事	千葉 英一	(平成24年4月1日から)
	事務局長	中田 仁	(平成24年4月1日から)
	総務部長	和田 基興	(平成24年4月1日から)
	第1調査部長	千葉 英一	(平成24年4月1日から)
	第2調査部長	三浦 正人	(平成24年4月1日から)
平成24年度	第1調査部第3調査課	課長	土肥 研晶
	同	主査	皆川 洋一
平成25年度	第1調査部第4調査課	課長	皆川 洋一

3 調査の経緯と経過

大きな流れは先行報告したA・B地区参照のこと

(1) C地区

館野2遺跡の調査範囲は2本の沢によって調査箇所が3か所に分断されていたため、北側からA地区(950㎡)、B地区(4,000㎡)、C地区(4,250㎡)と地区分けをして調査を行った。事前の函館道路事務所との打ち合わせによれば、調査の優先順位は高規格道路の建設工事が北側から進行しているためA地区、B地区、C地区の順番なので、これに合わせて調査計画を立案した。

各地区の現況はA地区とC地区が山林、B地区は畑地である。調査手順としては山林の場合、立木の伐採・抜根(一部)、伐採物の搬出、重機による表土除去を行い、包含層および遺構調査を実施した。畑地の場合は耕作土の除去後、包含層および遺構調査を実施した。この他、高規格道路工事に伴って濁水が海へ流入するのを防止するため、工事開始前には必ず濁水防止工事を行うことになっている。この工事は素掘側溝によって水を沈砂池に集め、沈砂池のフィルターによる濾過後、その上澄みを排水溝へ流す仕組みである。埋蔵文化財調査についても同様の工事が必要なことから、調査は最初に濁水防止工事部分を実施し、工事終了後にその内側を調査した。

館野2遺跡C地区の調査は当初平成19年度で終了する予定であったが、調査途中の平成19年7月、函館開発建設部から矢不來地区における4車線化の計画変更に伴い、矢不來6遺跡と矢不來11遺跡の追加調査が要請され、その代替えとして館野2遺跡C地区の調査を2か年に分けることになった。調査は優先度の高い本線部分(幅約20m)を平成19年度、その外側を平成20年度に実施した。以下、年度別に調査工程の概要を説明し、最後に調査区内に設置されていた落石防止金網および雪崩予防柵のアンカーについて触れる。

平成19年度の調査は当初、館野2遺跡(9,230㎡)と矢不來9遺跡(2,030㎡)の予定で開始した。調査体制は調査員5名、作業員78名である。調査期間は館野2遺跡が5月7日から10月31日まで、矢不來9遺跡は8月1日から10月31日までである。

館野2遺跡C地区の調査は濁水防止工事部分を優先させながら、以下の4地区に分けて進めた。

- ①北地区（63～71ライン）5月上旬、表土除去。5月22日、調査開始。7月19日、63～68ライン終了。7月31日、北側の沈砂池工事開始。9月上旬、68～71ライン終了。
- ②中央地区（71～80ライン）6月中旬、表土除去。10月下旬、一部を除き調査終了。
- ③南地区（80ライン以南）6月中旬、重機による斜面崩落土除去。10月下旬、調査終了。
- ④東地区（海側斜面）8月下旬、表土除去。9月4日、調査開始、10月中旬終了。

10月下旬には②中央地区の内、O・P-74～79区の12グリッド（192㎡）の遺構調査を残し、10月29日に平成20年度調査範囲との境をブルーシートと土嚢で養生して平成19年度の調査を終了した。

平成20年度は、前年に調査を残した本線部分の東と西側について調査を行った。調査面積は2,076㎡、調査体制は調査員3名、作業員53名である。調査期間は当初5月から8月末の予定であったが、遺構・遺物の量が当初計画を上回ったため、7月下旬に函館道路事務所と協議のうえ調査終了を1か月延長して9月末とした。平成20年度の調査範囲については、以下の4地区に分けて調査を進めた。

人力による調査は9月30日に終了し、10月1日に海側縁辺部の人力の調査では危険な箇所について重機を使用した遺物回収作業を行い、すべての調査を終了した。

- ①西地区（70～80ライン）5月上旬、表土除去。5月13日、調査開始。7月18日、調査終了。
- ②西地区（61～70ライン）6月中旬、表土除去。8月22日、調査終了。8月25日、工事用道路の造成工事開始。
- ③東地区（61～73ライン）5月下旬、雪崩予防柵撤去。6月上旬、表土除去。9月30日、調査終了。
- ④東地区（海側斜面）7月上旬、表土除去。7月末、調査開始、8月8日、調査終了。

（2）落石防止金網用アンカーと雪崩予防柵アンカーの撤去について

最後にC地区の調査予定範囲内に設置されていた落石防止金網用（一部、B地区にも設置）と雪崩予防柵アンカーの撤去について触れる。このアンカーは函館道路事務所によれば落石防止金網用と雪崩予防柵用の2種類があり、落石防止金網アンカーはB地区からC地区にかけて1列29本（B地区16本、C地区13本）、雪崩予防柵アンカーはC地区の海側で落石防止金網アンカーの手前に2列27本（前列13本、後列14本）設置されていた。

平成19年4月中旬、当センターが館野2遺跡の現地確認を行った際、C地区の調査予定範囲（海側）で国道崖面の落石防止ネットアンカーと思われるものを確認した。早速、この件について函館道路事務所及び北海道教育庁へ報告したところ、北海道教育庁文化・スポーツ課からは「函館道路事務所と十分連絡を取り発掘調査を慎重に進めるように」との指示があり、函館道路事務所からは「取り扱いについて検討させてほしい」との回答があった。その後、6月中旬に道路事務所から「アンカーは高規格道路工事の支障となるため7月下旬までに他の場所へ移設する。調査は移設工事の終了後に着手可能となる見込み」との連絡があった。10月中旬、道路事務所から再び連絡があり「アンカー移設の予定であったが、法面のボーリング調査の結果、その状態が良好でないことから工法を変更することとした。埋蔵文化財調査の可能な時期については、改めて連絡する」とのことであった。11月中旬、函館道路事務所から「工法の変更については従前のおりであるが、アンカーの撤去は次年度に行うこととなった。平成20年の発掘調査は、西（山）側から実施してアンカーの撤去終了後、東（海）側

の調査をお願いする」とのことであった。

結局、2種類のアンカーは平成20年5月下旬に雪崩予防の柵、ロープ、アンカーが撤去され、調査終了後の平成20年9月に、落石防止用金網アンカーが撤去された。

（3）濁水対策について

調査区内の三つの沢は直接函館湾に面しており、通常水は流れていないが、降雨時など一時的に激しい流水がみられる時は海に注いでいる。調査区の裸地化により濁水が海に流れ込む事態を防ぐため、発掘調査範囲を囲むように溝を、調査区の最も標高の低い部分に集水枡を設置し、その枡を沈砂池として濁水の浄化を図り、浄化した水のみが直接函館湾に流れ込むよう濁水処理施設を計画した。

この計画に従い、調査はまずこの濁水処理施設部分から行なった。なおこの処置は、国土交通省北海道開発局函館開発建設部と上磯郡漁業協同組合とが確認した排水水質基準を遵守するために行なったものである。

4 遺跡の地形と立地（図 I-1・2）

北斗市は北海道南西部、渡島地方の南部中央に位置する。平成18年（2006年）2月1日、旧大野町と旧上磯町が町村合併したことにより、総面積397.31km²の新たな市となった。その範囲は、北は茅部郡森町、北西は^{あつさぶ} 桧山郡厚沢部町、東北東は^{ななえ} 亀田郡七飯町、南西を^{きこない} 上磯郡木古内町、東は函館市と接し、東南は津軽海峡に面している（図 I-1, 2）。館野2遺跡は北斗市西部の標高40から50mの見晴らしのよい比較的安定した海岸の段丘面に立地している（図 I-2）。



図 I-1 館野2遺跡C地区の位置

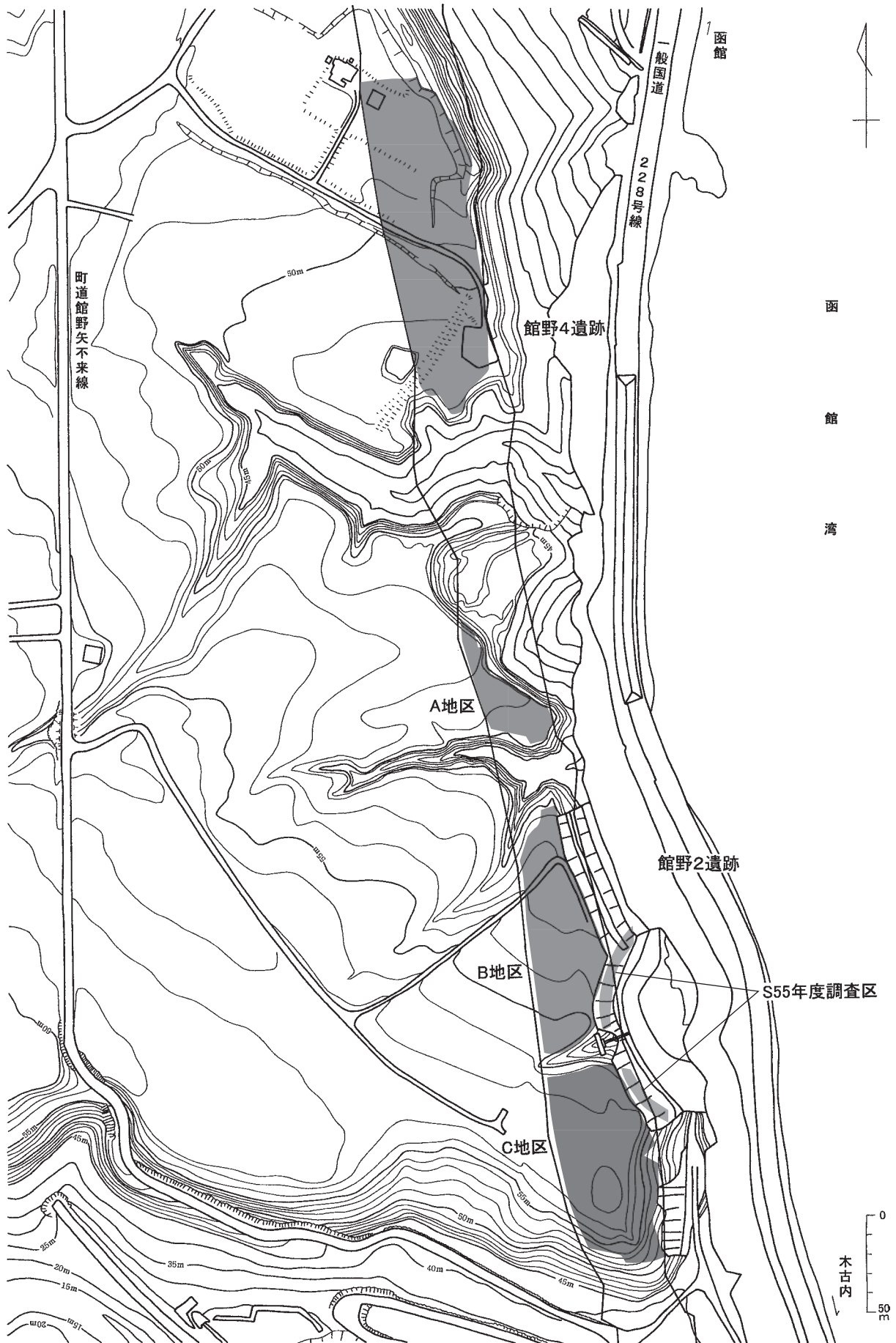


図 I-2 館野2遺跡と周辺の地形

5 調査区の設定 (図 I-3)

調査区の設定にあたっては、函館江差自動車道の上磯町富川茂辺地間道路平面図 (縮尺 1 : 1000) を使用した。発掘区東西方向の基軸線は、当初予定の工事中央線の STA13900 と STA14000 を結び、M ラインとし、東と西側にアルファベットの大文字を使用し呼称した (I ~ S ライン)。南北方向の基軸線は STA14000 の M ラインと直交する線を 75 ラインとし、北から南に向かって算用数字を使用した 3 ~ 86 ライン)。発掘区は 4 m × 4 m とし、北東隅交点のアルファベット文字と数字の組み合わせで呼称している。例えば、M ラインと 75 ラインの交点の南西側は、M-75 区となる。なお、必要に応じて一つの発掘区を四等分し、グリッド名の後ろに a ~ d の小グリッドを設けている (図 III-1 参照)。

基軸線の基準点に用いた道路センターの座標成果値は以下のとおりである。また、水準点は北海道開発局が平成 6 年度に設置した 3 級基準点 3054 (H=52.413m) を使用した。

STA13900 (M-50) X=-245026.932 Y=30531.759

STA14000 (M-75) X=-245126.490 Y=30541.125

(世界測地系)

6 調査方法

調査は、先に述べた濁水処理のための側溝・沈砂池部分から行なった。調査にあたっては本調査と同様表土除去をバックフォーで行い、表土以下は人力で調査する方法をとった。沈砂池部分はほぼ全面発掘であるのに対し、側溝部分は幅が狭いため遺構検出が難しく、漸移層付近まで掘り下げての遺構確認調査となることが多かった。

遺構調査は、検出した後半截もしくはベルトを設定して移植ゴテにより掘り下げた。遺物が出土した場合、覆土のものについては有意とみられる遺物のみ位置を記録し適宜写真を撮影した。墳底、床から出土したものは、微細な遺物を除いて出土状況を撮影して位置を記録した。その後土層断面を記録し完掘した。なお検出の状態によっては断面の記録を行なわなかったものがある。

包含層は移植ゴテを用いて調査し、遺物の出土量を見ながら適宜スコップやジョレンを併用して調査を行なった。

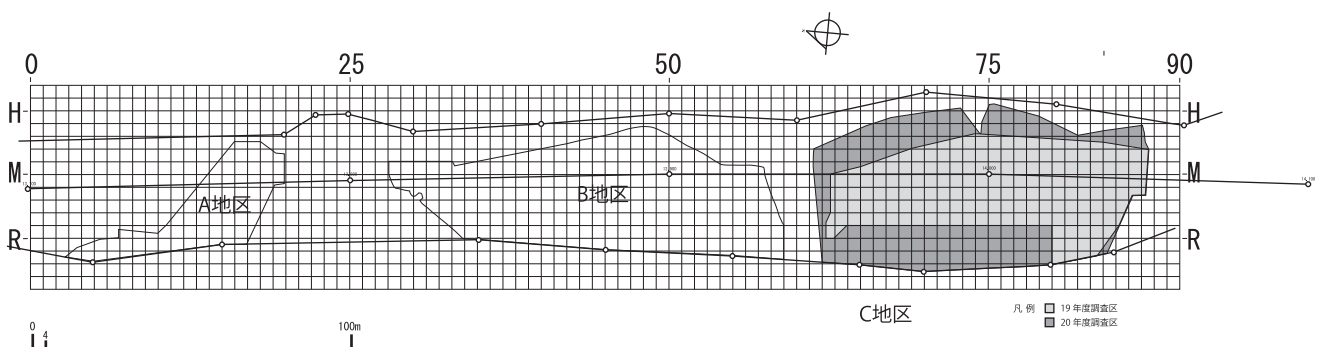


図 I-3 調査区

7 遺物の分類

土器

I群 [縄文時代早期の土器群]

a類：日計式土器、貝殻・沈線文土器群および条痕文系尖底・平底土器群

b類：東釧路式系土器に代表される縄文平底土器

II群 [縄文時代前期の土器群]

a類：縄文尖底土器群＝当調査では出土していない。

b類：円筒土器下層式に相当するもの

III群 [縄文時代中期の土器群]

a類：円筒土器上層a式、b式、サイベ沢Ⅶ式、見晴町式に相当するもの

b類：榎林式、大自在B式、大木9式、ノダップⅡ式、煉瓦台式、大木10式に相当するもの

IV群 [縄文時代後期の土器]

a類：余市式系、涌元Ⅰ、Ⅱ式、トリサキ式、入江式、白坂3式に相当するもの

b類：ウサクマイC式、手稲式、に相当するもの＝当調査では出土していない。

c類：堂林式、三ツ谷式、湯の里3式に相当するもの

V群 [縄文時代晩期の土器群]＝当調査では出土していない。

VI群 [続縄文時代の土器群]

恵山式に相当するもの。

VII群 [擦文文化期の土器群]＝当調査では出土していない。

石器等

石器等は、以下のように分類した。

剥片石器は、石槍、石鏃、石錐、つまみ付ナイフ、筒状石器、スクレイパー、礫石器は石斧、石のみ、たたき石、北海道式石冠、断面三角形のすり石、扁平打製石器、すり石、台石・石皿、多面砥石、砥石、石錘、剥片に加工痕がみられるもの（Rフレイク）、剥片に使用痕がみられるもの（Uフレイク）、加工痕がみられる礫、石核・原石、フレイク・チップ、礫、礫片
土偶、シャチ形土製品、土玉、有孔土製円盤、三角土製品、玉、三角形礫石器、石刀、石棒、石冠様石製品、側縁有溝石器、岩偶有孔自然石

8 基本層序 (図 I-4)

I 層：表土・耕作土

II 層：火山灰が混じるクロボク土

上半部にKo-dが散点的にみられる層と、B-Tm降下火山灰が混じる層に区分している。

III 層：クロボク土 (縄文時代遺物包含層)

IV 層：漸移層

V 層：ローム層

※基本土層を含めた全ての土層の色調については、『新版標準土色帖』(小山・竹原2004)を用いた。

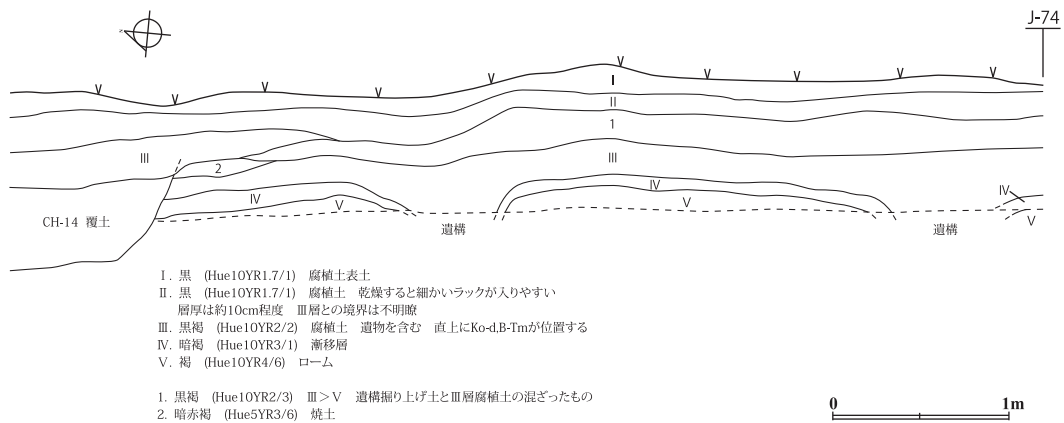


図 I-4 基本土層

9 調査結果の概要

館野 2 遺跡C地区の発掘調査は平成19、20年度の2か年にわたり行ない、各年度の検出遺構数、遺物出土点数は次表のとおりである (表 I-1)。

表 I-1 検出遺構一覧

遺構種別	住居	土壌	焼土	集石	柱穴状小ピット	フレイク・チップ集中
C地区 (平成19年度)	46	150	92	5	30	1
C地区 (平成20年度)	44	116	69	7	49	1
総計	90	266	161	12	79	2

表 I-2 出土遺物点数一覧

	遺物名	遺構	包含層	計	
土器	I a	66	130	196	
	II b	0	47	47	
	III a	103,175	107,084	210,259	
	III a滑石土器	978	196	1,174	
	III b	40,658	36,609	77,267	
	III b滑石土器	935	259	1,194	
	IV a	556	293	849	
	V C	9	2	11	
	VI	0	22	22	
	分類不明土器	119	3,228	3,347	
	土器総計	146,496	147,870	294,366	
	石器	ポイント・ナイフ	93	121	214
		石鏃	373	351	724
石錐		67	49	116	
つまみ付ナイフ		50	51	101	
つまみ付石器		18	6	24	
スクレイパー		1,015	1,380	2,395	
挟入石器		2	0	2	
Rフレイク		1,006	775	1,781	
Uフレイク		1,741	1,465	3,206	
フレイク・チップ		23,580	28,064	51,644	
石核		123	153	276	
原石		267	185	452	
石斧		159	138	297	
石斧片		62	44	106	
石のみ		1	1	2	
擦切残片		0	1	1	
たたき石		580	345	925	
北海道式石冠		176	142	318	
断面三角形のすり石		5	18	23	
扁平打製石器		696	688	1,384	
すり石		277	239	516	
砥石		178	81	259	
多面砥石		0	9	9	
石錘		27	45	72	
石鋸		3	2	5	
くぼみ石		17	18	35	
礫器		3	2	5	
台石・石皿		887	458	1,345	
加工痕のある礫		270	257	527	
使用痕のある礫		38	11	49	
焼成礫		211	50	261	
小礫		377	0	377	
有意の礫		24	2	26	
礫・礫片		31,488	21,333	52,821	
石器合計		63,814	56,484	120,298	
土製品		土偶	4	1	5
		シャチ形土製品	1	0	1
		耳栓	1	2	3
		土玉	1	0	1
		有孔土製品	3	2	5
		環状土製品	0	2	2
		三角形土製品	1	0	1
		有孔土製円盤	48	41	89
	土製品	20	2	22	
	ミニチュア土器	1	3	4	
	焼成粘土塊	120	33	153	

	遺物名	遺構	包含層	計
土製品	土製品合計	200	86	286
	玉	10	4	14
	石製装飾品	1	0	1
	石刀	2	1	3
	石冠	0	1	1
	石棒	17	10	27
	自然石棒	2	0	2
	三角形石製品	5	25	30
	石製品	21	33	54
	有孔自然石（耳石）	6	14	20
	棒状礫	51	37	88
	石柱	2	0	2
	石製品合計	117	125	242
	自然遺物ほか	動物遺存体	7	7
炭化クルミ		0	1	1
炭化材		16	0	16
高師小僧		5	0	5
不明		211	1	212
自然遺物ほか合計		239	9	248
総合計		210,866	204,574	415,440

館野2遺跡C地区

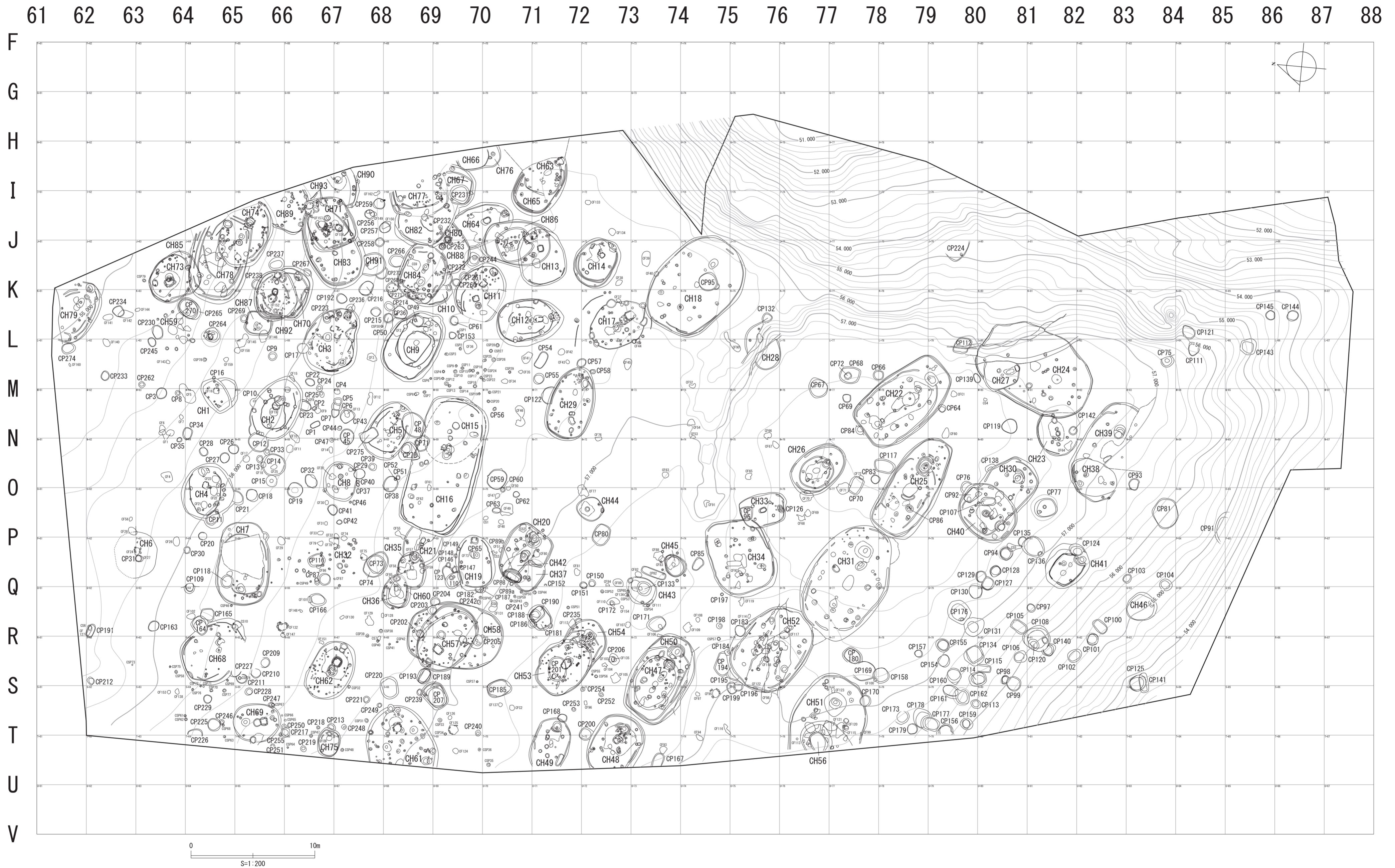


図 I - 5 遺構配置図

II章 遺構

1 住居跡

CH-1 (図II-1～3. 図版I-1. 図版II-1・243. 表VI-4・5・8)

位置：L-64・65、M-64・64

特徴 平面が不整形の小型の竪穴住居跡である。小型の竪穴住居2軒が重複している可能性が高い。床面からは貼床、複数の小ピットが検出されている。貼床は床の中央付近で検出されている。硬化した粘土の範囲である。貼床上から板状の大型礫と一括土器(12)が出土している。HP-2はこの中では比較的大型の小ピットで、先端ピットの可能性がある。他は簡易な柱穴と考えられる。

覆土2層上面からは石囲い炉(CF-16)が検出されている。炉石は大きめの扁平礫が用いられ、配石は粗密である。埋没した竪穴の凹みを利用した生活面があったと考えられる。

遺物 1～14が土器(3がIVa、それ以外はIIIb)、15が土製品、16～21が石器、22が石製品である。1～4、9、12、13は床から出土した土器である。1は口唇断面が尖り気味で器壁の薄い口縁部で、LRの原体で口唇直下に縄線文、地紋に斜行縄文が施されている。2は「U」字状の貼り付けを有する口縁部である。3は口縁部に肥厚帯もつ口縁部で器面には多条の原体による羽状縄文が施されている。攪乱による混入の可能性がある。4は底部に近い胴部の破片で器壁は薄く、器面には条が水平に気味に走るLR斜行縄文が施される。

5は口唇断面が丸形の口縁部で、器形は口縁部の径が胴部より小さい。直前段反撚LLRあるいは撚りの不均衡な2段単節LRの原体を使い、口唇直下に横環する2本の縄線文と器面に縦位の斜行縄文を施している。6は口唇断面が尖る小型の土器の口縁部で、文様は口唇部に細沈線文、器面にLRの縄文が施されている。7は床～覆土2層で出土した頸～胴部の破片で、器面は摩滅が著しい。文様は頸部に横環するLRの縄線文、地紋には同じ原体の斜行縄文が施されている。8は胴部が僅かに膨らむ平縁の土器である。口唇断面は丸みを帯びた多角形で器壁は薄い。文様は0段多条LRの原体を縦位に転がしたものを地紋上に、棒状工具を使った横からの浅い刺突文列を口唇直下に1本と頸部に2本回らせ、同じ刺突列を部分的に縦方向にも施している。同一個体がCH-3床(CH-3-3)とCH-4覆土3層から出土している。9は頸部から張り出した胴部辺りの破片で器壁は薄い。地紋は無く頸部と胴部にLRの縄線文が2本ずつ施されている。10、11は大木9式相当の土器である。10は覆土2層上面のCF-16の近くの同じレベルから出土した研磨の施された無文の口縁部である。口唇断面は丸く器壁が薄い。11は頸部から胴部の破片で、無文の口縁部と同一の間に横環する円形刺突文の列が回っている。胴部は地紋のLR縦位の斜行縄文の上に細く浅い沈線で幅の狭い∩状文が施されている。10とは同一個体の可能性がある。12は床面出土の一括土器である。比較的小型の深鉢で、平縁には小突起ニカ所で一組みとなる飾りが付けられている。文様は地紋がLRを縦位に施した斜行縄文で、口唇直下には地紋と同じ原体による縄線文が回らされている。地紋は口唇上にも施されている。土器表面には全体的に緩やかな凹凸が見られる。13も床面出土の小型の土器である。口唇断面は丸く、平縁の口縁部は僅かに内向する。LRの地紋が全面に施されている。14は深鉢の胴部で、器面にはオオバコの「トウ」を回転押捺した文様が施されている。「トウ」の粒は比較的多き目である。同一個体がCH-2覆土2層からも出土している。

15はIIIbの土器片を加工した土製円盤である。

16～18はスクレイパー、20は破損したたたき石、21は礫面を多く残す扁平打製石器である。22が角の丸い三角形を呈する石製品で、全体に擦痕が認められる。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。 (皆川洋一)

CH-2 (図Ⅱ-4～10. 図版Ⅰ-2・3・109 図版Ⅱ-2～5・243・244. 表Ⅵ-4・5・8)

位置：L-65・66、M-65・66、N-65

特徴 平面が不整の楕円形を呈するやや大型の竪穴住居跡である。竪穴長軸上の北西側の壁には瘤状の張出のような形状が見られるが重複するCP-12によって失われている。

床からは炉址、土壇、貼床、柱穴、周溝が検出されている。竪穴に伴う炉址は床面中央から少し南東側で検出された。平面は不整の長楕円形で強く赤化した厚みのある大型の地床炉(HF-1)である。貼床はHF-1とその周囲に施されており、HF-1はその上に設けられている。土壇(HP-7・8・9)はその貼床の下位からは3基が検出されている。HP-7は平面が円形の比較的しっかり掘り込まれた土壇で壇底は丸みを帯びている。覆土は埋め戻されており、その上位には貼床とHF-1が設けられる構図となる。HP-7は炉址の下位で見つかる土壇(中央ピット?)と考えられる。あるいは内側を回る周溝に伴う先端ピットの可能性もある。HP-8・9は共に浅い皿状の土壇で壇底に淡い赤化が見られることから古い地床炉の焼土を除去した掘り込みと考えられる。貼床で覆い隠されていた。

支柱穴はHP-1・2・5・6の4本と考えられる。周溝は竪穴壁近くを回るこの竪穴に伴うものと、その更に内側に回る小径のもの2本が検出されている。古いのは後者と考えられる。

床面近くからは、大量の炭化材や炭化物、焼土が検出されている。所謂「焼失家屋」と考えられる。特に炭化材の濃いC-1～4と焼土(HF-2)を図示した。

覆土1層からは大量の遺物(遺物集中)が出土しており、埋没した竪穴の凹みに遺物を集中的に遺棄したと考えられる。同様の遺物の集中遺棄はCH-4の覆土1層にも認められる。覆土2層からは地床炉と考えられるCF-19と土器が逆さに埋納されたCP-10が検出されている。廃棄された埋没中の竪穴跡を利用した簡易な居住地があった可能性がある。大量の炭化物を包含する覆土5層が覆土3層の上位で検出されており、量の多さから炭化物は二次的なものと考えられる。

年代測定結果

1	IAAA-82684	HT2-1	CH-2床面	木炭	4,120±40
2	IAAA-82685	HT2-2	CH-2床面	木炭	4,130±40
3	IAAA-82686	HT2-3	CH-2床面	木炭	4,150±40
19	IAAA-112180	タテ2C-1	CH-2C1床付近	木炭	4,090±30

遺物 1～5、9～44が土器、6～8が土製品、45～64が石器、65が石製品である。

土器は1がⅢ群a類かb類、29がⅢ群a類、4～5、9～28、30～44がⅢ群b類である。1～3、5が床から出土した。6～8の土製品も床出土である。

1は深鉢の胴部から底部である。胴部の器壁は薄く底部においては厚底でなおかつ内面側の底は丸みを帯びている。器面の地紋はLR斜行縄文で底部近くの無文帯は幅が広目である。見晴町式か大安在B式土器と考えられる。2は大木9式土器の口縁部である。比較的上向きの口唇部には太いくっきりとした沈線が施されており、直下の肥厚帯の上には先端の丸い棒状の施文具による右から斜めに施された刺突文の列が回っている。突起部の下位の器面には垂下する沈線4本が施されている。地紋は0段多条の斜行縄文で、胎土に砂粒が多く含まれている。2bが床、2aは包含層出土である。3は深鉢

の胴部で、胎土に滑石が混入する所謂滑石土器である。4も胴部で覆土3層出土である。3、4とも地紋はLR斜行縄文である。5は小型土器の底部でこれも胎土に滑石が混入する。

9は口縁部に小さな山形突起を有する口縁部である。口唇断面は尖り気味で器壁は薄い。10も台形状の小さな突起を有する口縁部で、口唇断面は丸形である。9、10とも地紋はLの撚糸文である。11は口唇断面が丸みを帯びた角形を呈する小型の土器である。器面全面にオオバコの「トウ」を回転押捺した文様が施されている。

12は口縁部に小さな山形突起を有する深鉢形土器である。突起の下の口縁部には沈線で鎖を垂下させたような文様と先端が尖り気味の棒状工具を右斜めから刺突した列を横環させたものが描かれている。地紋は条が水平になるLR斜行縄文が施されている。口唇上は無文である。13は口唇断面が尖り気味の深鉢口縁部である。器壁は薄く胎土には砂粒が顕著に含まれている。地紋はRL斜行縄文でその上に比較的幅広の浅い沈線文で曲線的な文様が描かれている。14は胴部片でLR斜行縄文の地紋の上に太い沈線で抽象的な曲線模様と思われるものを描いている。15も胴部でRの撚糸文を密に施した地紋の上から深くくっきりした沈線で楕円区画文のような文様を描いている。

16は頸部に横環する貼付帯が備わる深鉢の口縁部である。LR縦位の斜行縄文の地紋上にLRの縄の縄線文と竹管の刺突文列が回っている。刺突文は貼付帯上にも施されている。17は小突起を有する口縁部で、口唇直下には丁寧に一体化された貼付帯がありその上には小さな円形の刺突列が施されている。地紋はLRの原体を縦位に施した斜行縄文である。18は滑石土器の胴部で器面にはLRの縦位斜行縄文が施されている。19は縦に太い貼付を持つ深鉢で、貼り付け上と左右にLRの縄線文が施されている。地紋は同原体による斜行縄文である。20は口縁部に「U」字状の貼付4ヵ所を有する深鉢形土器である。「U」字状貼付上の口唇部と「U」字区画内には棒状工具による円形の刺突文が施されている。加えて口縁部にはLR多条の縄による幾何学的な縄線文が密に施されている。地紋も同じ原体の施文がなされている。21は器面に小振りな円形刺突文が密に施される深鉢頸部の破片である。22は頸部に2本の太い貼付が巡るもので、LR多条の縄による縄線文と縄文が施される。

23は口唇に極小の突起を有する深鉢形土器である。頸部のくびれが比較的大きく、地紋は細いLR原体を縦位に施した斜行縄文である。25は平縁の口縁部で、器壁は薄く口唇断面は丸形である。口縁の無文帯にはLRの縄線文が4条回らされている。胴部の地紋は同原体の斜行縄文である。内面に土器制作時の輪積みした粘土の痕跡が顕著に残されている。24は口縁部が僅かに肥厚する平縁の深鉢形土器である。LR斜行縄文が全面に施されている。

26は先割れの片口を有する壺形土器である。器壁は薄く軽量で、頸部の刺突を有する貼付帯の上位は研磨が施され下位には粗い繊維を用いたRL原体による斜行縄文が施されている。27は低い貼付が縦横に付いた頸部～胴部の深鉢片である。貼付上にはLRの縄で縄線文が施され、器面には同原体の縦位の斜行縄文が施されている。28は縦位の貼付2本を有する深鉢形土器底部である。LR多条の縄を使って、貼付上とその左右には縄線文を器面には羽状の構成になるよう施してある。

29は無文で小型の土器である。口縁部には焼成後に穿たれた貫通孔4ヵ所が認められ、底部は僅かに上げ底である。内面は軽く研磨されており、胎土中には海綿骨針が多く含まれている。

30、31は口唇直下にLRの縄線文が施される平縁の深鉢形土器口縁部である。口唇断面はどちらも丸形である。31は胎土に小礫が混入しており重い。

32～38は遺物集中の土器である。32は平縁の深鉢形土器口縁部である。口唇断面は角形で、胎土中には海綿骨針と小砂利が混入している。地紋のLRは口縁部付近で横位に、その下位で縦位に施されている。33はバンド状の貼付帯が横環する深鉢胴部片である。地紋は細目のLRを縦位に施した斜行

縄文である。34は深鉢の胴下半部である。底部が上げ底で内面は研磨が施されている。胎土中には径1mm前後の小円礫と海綿骨針が含まれている。地紋はLRの斜行縄文だが、部分的に施文方向を変えて羽状や菱状を構成している。底面にも地紋が施される。35は深鉢の口縁部と底部である。少し開き気味の平縁で口唇断面は角形を呈す。内面は研磨され、胎土中には径1mm前後の小円礫と海綿骨針が含まれている。器面全体に0段多条RLの原体を横と斜めに施した立ち気味の羽状縄文が施文されている。36は口縁部を欠いた小型土器である。底部が特に小さく自立しない。文様は器面の上位に一段無節Rが、下位に三段複節RLRが施文されている。胎土中には径1mm前後の小円礫と海綿骨針が含まれている。37、38は深鉢の胴部片である。37はRLの斜行縄文、38はLR原体で施文方向を変えた羽状様の縄文が器面に施文されている。どちらの胎土中にも径1mm前後の小円礫と海綿骨針が含まれている。

39～44は底部である。39は下端が僅かに張り出している。39、40は無文である。41は器面と底面に細目のLR斜行縄文が施されている。42は下端が張り出すもので直ぐ上の器面には斜めの沈線文が施されている。43、44はどちらも底の厚みのあるもので、器面には0段多条のRLによる斜行縄文が施されている。

45～47は石鏃、48は破損した両面加工のポイントあるいはナイフ、49は石錐である。50、51は両面加工のスクレイパーで、50の基部には光沢が見られる。これらは土掘り具の可能性もある。52～56はスクレイパー、57～59はUフレイク、60は石核である。61、62はたたき石、63は両面に使用痕がある台石・石皿、64が砥石である。

65は石棒でCH-32出土のものと接合している。

6～8はⅢ群b類の土器片を再利用した有孔土製円盤である。7、8の器面には沈線文が施されている。

時期 竪穴住居跡の時期は縄文時代中期後半、大安在B式土器の時期と考えられる。覆土中の遺物集中の時期は縄文時代中期後半、煉瓦台式土器の時期と考えられる。（皆川）

CH-3（図Ⅱ-11～13. 図版Ⅰ-6. 図版Ⅱ-5・6・244・245. 表Ⅵ-4・5）

位置：K-66・67、L-66・67

特徴 平面が不整形の竪穴住居跡である。床面からは複数の炉址と周溝が検出されていることから、大小の2軒以上が重複している可能性が高く、それがCH-3の平面不整形化の原因と考えられるも各床面の高さはほぼ同一である。CP-17、223と重複する。

床面からは炉址と考えられる焼土や炭化物、柱穴・小ピット、所謂「先端ピット」、周溝、集石などが検出されている。

床面の状態は、石囲炉のHF-1あたりから手前の西側床面で平滑だが、それより東側は細かな凹凸が見られ、平滑な部分は最も新しい段階の床面を示していると思われる。

炉址は4ヵ所（HF-1～4）が検出された。HF-1は平面形がほぼ長方形をなす石囲炉で、炉石は2ヵ所で石が途切れていた。その部分に炉石の明瞭な痕跡が認められないことから本来的に無い構造だったと考えられるが、住居の廃棄や重複する遺構によって欠失した可能性もある。使用される石は長い角礫が主体である。新しい段階のものと考えられる。HF-2（炉址2）は床面中央に近いやや大き目の土壇（HP-1）の上位で検出されている。炭化物を主体とし形状はHP-1とほぼ同じで、周囲に石はなかったが痕跡有無の確定までに至っていない。3cm以下の炭化物が主体で、焼土は僅かであることからごく短時間使用されたと考えられHP-1との関連も強く同じ床面で検出された他の炉址と

は性格が異なる。HF-1 近い時期のものと考えられる。HF-3 (炉址3)はHF-1 のすぐ右で検出された、古い石囲い炉である。石は全て抜き取られその痕跡も焼土も部分的にしか残っていない。HF-4 (炉址4) も石の抜き取られた古い石囲い炉である。石の形状の判別が可能な穴が残っており、HF-3 寄りも新しい段階のものと考えられる。痕跡から石材は長めの角礫と考えられ、HF-1 の形態に類似すると推定される。古い方からHF-3→HF-4→HF-1 (HF-2、HP-1) である。

柱穴、ピット類は多数検出された。主柱穴はHP-3、11、16、25とHP-14、15、17が各セットの可能性はある。HP-5、21、22は先端ピットと考えられる。HP-21と22は重複しているが配置から見て作られた時期は比較的近くHP-22が古い。HP-21は恐らく最も新しい段階の住居のものであろう。HP-21は壙内に小ピットと溝、HP-22は深い小ピットを伴う特徴を有す。HP-5は古い住居のもので、しっかりと掘り込まれた壙内は黒色土で埋戻され更に黄褐色粘土で封をされ床面と同じ様相をなしていた。壙底には小ピットが3カ所検出された。なを、HP-20、21も不明瞭ではあるものの先端ピットの可能性がある。

HP-1はHF-2の下から検出された物で、覆土は黒色土と炭化物を互層とした埋戻しである。あるいは炭化物を主体としたHF-2も本土壌の埋戻しの一環である可能性がある。性格は不明である。周溝は不明瞭なものが大きく見て二本見つかっている。壁に沿って回る物はなく分断気味なのは重複する新しい段階の住居によって荒らされたと考えられる。

張出状の黄褐色粘土の盛り上がりか堅穴南側で検出された。状況的には盛土と考えられるも、粘土は被熱の痕跡が認められないにもかかわらずスコップの剣先が刺さらない程硬い。住居出入り口の足場のようなもので、何度も踏み固められた結果硬くなった可能性がある。

年代測定結果

4	IAAA-82687	HT2-4	CH-3床面	木炭	4,160±40
5	IAAA-82688	HT2-5	CH-3HF-1	木炭	4,190±40
6	IAAA-82689	HT2-6	CH-3炉跡2	木炭	3,840±40
20	IAAA-112181	タテ2C-2	CH-3炉跡2	木炭	3,830±30

遺物 1～20は土器、21は土製品、22～43は石器である。

1～8は床やHPからの出土である。1はHP-22出土の口縁部である。口唇断面は角に丸みのある角形で、口唇部が外側に小さく張り出す部分もある。LRの地紋上には竹管状の施文具を斜めに突いた刺突文列が縦横に施文されている。2は胎土中に砂粒を多く含む平縁の口縁部である。器壁が厚目で口唇の断面は丸形である。器面にはLRの斜行縄文と、低い貼付帯上に横からの浅い刺突を連続して施した文様が施文されている。3は平縁の口縁部である。口唇断面は丸みを帯びた多角形で器壁は薄い。文様は0段多条LRの原体を縦位に転がした地紋上に、棒状工具を使った横からの浅い刺突文列を口唇直下に1本と頸部に2本回らせ、同じ刺突列を部分的に縦方向にも施している。同一個体がCH-1床(CH-1-8)とCH-4覆土3層から出土している。4はHP-4出土の折り返しの肥厚帯を有する口縁部である。地紋は0段多条LRを縦位に施文した斜行縄文である。5はHP-1出土の平縁深鉢形土器の口縁部である。器面には条が横走るLRの縄文が施されている。6は口唇断面が先細りの口縁部で器面は研磨が施されている。大木9式土器と考えられる。7は平縁の深鉢口縁部で、口唇断面は内面側が丸みを帯びた角形を呈している。口唇直下には無文帯が備わりその下位の地紋はLRの斜行縄文である。8は小型の土器の底部である。器面には条が縦に走るRLの縄文が施される。

9は縦の貼付を有する口縁部である。条が横走るLR斜行縄文の地紋上に同一の縄による縄線文

が施されている。10は口唇断面が角形の滑石土器口縁部である。無文の器面にはLRの縄を押捺した縄線文が施され、口唇には縄文も施されている。11は口唇直下の器面に左横からの刺突列が施された幅狭の肥厚帯を有する口縁部である。地紋はLRの原体を縦に回転施文した斜行縄文である。

12は大木9式の深鉢である。口縁部は研磨され、張り出した胴部との境には小さめの円形刺突文、下位にはLRの縄を縦に転がした地紋に「∩」状の沈線文が施されている。13は口唇近くの器面にLRの縄線文2本が施された口縁部である。口唇断面は丸形で地紋は縄線文と同じ縄による条が横走る縄文である。胎土には微量の海綿骨針が含まれている。14はLRの縄線文が口唇直下の器面に押捺された小型土器の口縁部である。地紋はなく胎土には微量の海綿骨針が含まれている。15、16は上端を折り返した幅の狭い肥厚帯を有する口縁部である。15の器面にはRLの斜行縄文、肥厚帯には同じ原体を縦に転がした左下がり縄文が施されている。16は0段多条のLRで肥厚帯と器面に縄文を施している。17は全面にRの撚糸文が密に施された口縁部で、胎土には海綿骨針が含まれている。18は2本の貼付帯を有する頸部に近い胴部片である。LRの縄で貼付帯上には縄線文が、器面には斜行縄文が施されている。19は0段多条RLの原体で斜行縄文が施された底部である。20は小型土器の底部で条が縦の縄文が施されている。

21は床面出土のⅢbの土器片を使った有孔土製円盤の未製品である。

22は石鏃、23は破損した両面加工のポイントあるいはナイフである。24は両面加工のスクレイパー、25～28はスクレイパーで、25の背面には光沢部が認められる。29～32はUフレイク、33は扁平礫を用いたたたき石である。34～43は礫集中の棒状礫である。

時期 縄文時代中期後葉、大安在B式～ノダツプⅡ式の時期の重複と考えられる。（皆川）

CH-4（図Ⅱ-14～19. 図版Ⅰ-4・5. 図版Ⅱ-6～8・245・246. 表Ⅵ-4・5・8）

位置：N-63・64、O-63・64・65

特徴 平面が不整の円形を呈す竪穴住居跡である。床面からは炉址、柱穴・小ピット、所謂「先端ピット」、周溝などが検出されて、覆土中からはCF-21やが見つかっている。また、CP-11・21が重複している。

炉址（HF-1）は竪穴床面の中央やや側から見つかっている。浅く掘り窪めた穴の縁に扁平気味の円礫をHF-1セクションに図示したように傾けて据え回らせたもので、礫と礫の間隔は開きが大きく、北側の礫は欠落している。南側の壁間際には先端ピット（HP-1）が検出されており、これらを結ぶラインが本住居の元来的な長軸を構成すると考えられ、周溝の位置と形状もそれらと合致する。ただ竪穴の平面形とは異なることから住居の拡幅がなされたかあるいは他の遺構の重複が考えられる。主柱穴の位置は不明瞭である。

覆土1層の下面で検出されたCF-21は小型住居の炉址の可能性がある。埋没しきっていない竪穴の覆土2層上の浅い凹みを使ったもので、炉石はHF-1のそれよりも大型の長円礫が用いられている。南側周溝付近に図示した浅めのピットの集まりはCF-21を炉址とする住居に伴う物の可能性がある。

「遺物集中」はその浅い凹みに廃棄された遺物群である。ただし並列して検出された石棒と台石（図Ⅱ-15）は、この生活面の端境付近に置かれていたと考えられる。

重複するCP-11・21の先後は、CH-4よりも新しくCF-21とは不明である。

年代測定結果

7	IAAA-82690	HT2-7	CH-4床面	木炭	4,210±40
---	------------	-------	--------	----	----------

遺物 1～35は土器、36～44が石器、45～47が石製品、48が土製品である。22は大木10式土器である。

滑石土器は1、7～9が出土している。

1～5、13は床出土の遺物である。1は滑石土器の口縁部である。器面にはLRと0段多条RLの結束羽状縄文が施文されている。2は口唇を折り返した肥厚帯を有する口縁部である。肥厚帯の下位に無文帯を有しその下位に0段多条RLの縄文が施されている。3は口唇断面が角形の口縁部で、器壁は厚く、文様は0段多条LRの縄文が器面と口唇部に施されている。4は唇断面が丸形で内面が研磨されている口縁部で、1段Lの原体を縦気味に施文している。5は口縁部に沈線で縁取りされた幅の狭い「U」状の貼付を持つ口縁部である。貼付の上には細目の竹管状工具による斜め下からの刺突文が施されている。口唇断面は丸みの強い角形で、口唇直下に細目で深い沈線が施されている。文様はLRの原体が口唇部に縄線文、器面に斜行縄文が施されている。胎土中には海綿骨針が多く含まれている。6は覆土3層出土の内面に研磨が施された平縁の口縁部である。地紋はRLの斜行縄文と考えられる。

7～9は滑石土器である。7、9は粘土紐で装飾された山形突起を有するⅢaの口縁部である。地紋はいずれもLRである。8は口唇直下に太目の貼付が横環する口縁部である。口唇断面は角形で、口唇部と貼付にはLRの縄線文が施されている。地紋は同原体を縦気味に回転施文した斜行縄文である。10、11は比較的小型の山形突起を有する口縁～胴部片である。10は突起部の器面に粘土紐の装飾を有し、口縁部には先端が歪んだ平たい施文具で揺らぎのある浅い横走沈線が複数本描かれている。地紋はRL斜行縄文である。11は口唇部と器面にRL斜行縄文が施される。12は細く浅めの沈線3本が施された胴部である。13は小形の山形突起を有すると考えられる器壁の厚い深鉢口縁部で、器面には魚骨回転文が施されている。

14は口唇直下にLRの縄線文2本が施された口縁部で、地紋は同原体の斜行縄文である。15は貼付帯を有し口唇断面が三角形を呈する口縁部である。RLの縄文が口唇部と貼付帯条に施され、口唇直下には同原体の縄線文も施されている。16は口唇断面が角形を呈す滑石土器の口縁部である。口縁部には太い沈線文2本の間に棒状工具による刺突文が施される文様があり、その下位の器面にはLの撚糸文が密に施されている。

17は頸部に右斜めからの刺突文の施された低目の貼付帯が横環する深鉢形土器である口唇断面は丸形で器壁が薄い。器面にはLRを斜めに回転施文した節の小さな縄文が施されている。口唇の下位には地紋と同じ原体の縄線文2条が回っている。18は短い沈線の様な横からの浅い刺突を断続的に横と斜めに施した小型土器の口縁部である。地紋はLRの縄を斜めに施文した縄文である。19、20は折り返しの肥厚帯を有する口縁部である。文様は19がLRの原体による縄文、20が0段多条LRの縄文である。21は器面に節の不揃いな0段多条の原体による縄文が施された口縁部である。口唇の断面は角形で、口唇上にも地紋が施されている。

22は大木10式土器と考えられる大型の深鉢胴部である。器面には太い沈線で曲線的な区画を行いその区画内に各LR斜行縄文部と無文部を施文している。無文部は磨消縄文の可能性もある。器面上位の刺突文は、下から斜めに突いたものを無文部に、器面に真っ直ぐ突いたものを縄文部に各施している。

23は器壁が厚く口唇断面が丸形の口縁部である。地紋は節の不揃いな0段多条の原体による縦位の斜行縄文である。24はLRの地紋が施された深鉢で、底部が僅かに上げ底気味である。胎土中には砂礫が混入している。25は2本の貼付帯が横環する深鉢の胴から底部である。器面には0段多条LRの斜行縄文が施され、貼付帯には同原体を縦位に施し文様に変化を付けている。23、25は縄文施文後に軽く表面を研磨している可能性がある。26は貼付帯を有する小型土器の口縁部で、地紋は0段多条RLが施されている。27は張り出した胴部に切っ先の尖った道具を用いた沈線2本で文様を描いた小

型の土器である。2本の沈線の間は地紋が磨り消されている。地紋は0段多条RLを縦に施したものである。28は器壁の厚い底部付近の胴部片である。器面下位には低く幅広の貼付帯が施されている。地紋はRLの太い原体による斜行縄文である。

29～35は底部である。29はRLの太い縄文が施されるもので、器面上端には1段Rの縄線文が押捺されている。30は0段多条RLが施文されるもので、小径であるが底は厚い。31は滑石土器の底部で無文である。32は貼付帯を有する大型の底部で、0段多条RLの原体の斜行縄文を器面には縦位に、貼付帯には横位に施文している。33の地紋も0段多条RLである。34は小型で器面には条痕のような不明瞭な縄文が施されている。35は大型の底部で地紋の0段多条RLを施してからその上を研磨している。

36、37は石鏃、38は表背面に光沢部のあるスクレイパー、39は石斧、41はたたき石、42は加工された軽石、43、44は台石・石皿で44は遺物集中から出土している。

45は一方の端部が欠失した大型の石棒、46は並んで出土した石柱状の礫石器である。46は形態が特殊で磨跡や敲打痕を有し石材も45の石棒と同じ安山岩であることから石棒の未製品の可能性がある。47は三角形石製品、48は三角形土製品である。

時期 堅穴住居跡の時期は縄文中期後半、大安在B式土器（新手）の時期、遺物集中の時期は同中期後半、煉瓦台式土器の時期と考えられる。（皆川）

CH-5（図Ⅱ-20～22. 図版Ⅰ-7. 図版Ⅱ-8・9・246. 表Ⅵ-4・5）

位置：M-67・68、N-67・68

特徴 平面が大凡卵形を呈する堅穴住居である。CP-48・78・275と重複する。

床面からは炉址と「先端ピット」、周溝、小ピットが検出されている。

炉址は2ヵ所見つけた（HF-1・2）。HF-1は石囲炉と考えられるが、南側の炉石の多くは失われておりその凹みが残されていた。炉石は意図的に抜かれた可能性もあるが、廃棄後に失われた可能性もある。残された炉石は比較的大きな楕円礫である。炉内に焼土は認められず地山の赤化も僅かであった。HF-2はそのすぐ東側に隣接して見つけた。炉石を抜いたと考えられる凹みを伴う浅い皿状の穴で地山が僅かに赤化していた。痕跡から見て炉石は比較的小型の礫が使われていたようである。HF-1よりも古く、初期に作られた炉の可能性が考えられる。また、形状から見て古い「先端ピット」の可能性もある。先端ピット（HP-12）は南東の壁際から検出され、比較的小型で小ピット2ヵ所が備わっていた。周溝は大凡2本が検出された。外側を回るものが明瞭なため新しいと判断される。図示した堅穴平面とHF-1とHP-12、それと外側の周溝はセットと考えられる。また、HF-2と内側の周溝はセットになると思われ前者よりも古いと考えられる。柱穴ははっきりしない。なお、図示はしていないが炉址周辺から堅穴中央の床面には踏み固めたような硬化範囲が認められた。

重複するCP-48・78・275はいずれも堅穴よりも新しい。

年代測定結果

8	IAAA-82691	HT2-8	CH-5炉跡2	木炭	4,200±40
9	IAAA-82692	HT2-9	CH-5HP12覆土	木炭	4,230±40
10	IAAA-82693	HT2-10	CH-5HP10覆土	木炭	4,160±40

遺物 1～9は土器、10～14は石器である。1は床面出土の深鉢口縁部である。口唇断面は丸形で器壁は薄く、不揃いの繊維を束ねたLRの原体で口唇直下に横環する縄線文、器面に斜行縄文を施している。2は頸部がくびれる深鉢の口縁部である。肩部に横環する貼付帯を有し更に、口縁部と肩部に

は短い貼り付けが施されている。文様は、LRの地紋と同じ原体の縄線文が口縁物方に施されている。3は刻みのある粘土紐の施された小型の土器である。器面には先端が緩く湾曲した施文具による刺突が施される。

4は胴部が張り出す深鉢の胴から底部である。頸部には低い貼付帯を有しその上にはループ状にしたLRの原体を連続して押捺している。底部に近い器面には横位に研磨された無文部を有する。地紋はLRの斜行縄文である。5は浮き気味の粘土紐が施された深鉢の山形突起部である。粘土紐の上にはLの密な撚糸文、器面には二つ折りにした撚糸LをC字状に押捺している。6は口唇断面が角形で器壁の厚い深鉢形土器である。口唇直下に0段多条LRの縄線文が回っており、器面には同原体を縦横に回転施文した斜行縄文が施されている。7は平縁の大型深鉢形土器口縁部である。口唇断面は角形で器面にはRLによる斜行縄文が施されている。頸部下位には地紋と同じ原体を用いた縄線文の施された低めの貼付帯が横環する。8は細かい0段多条RLの原体が回転施文された地紋を有する小型土器の底部である。9は先割れした半裁竹管の刺突列が施された縦の貼付帯を有する底部である。地紋は0段多条RLである。

10、11は石錐、12、13はたたき石で側縁にも使用の痕跡が認められる。14は砥石である。

時期 縄文中期後半、ノダップⅡ式土器の時期と考えられる。

(皆川)

CH-6 (図Ⅱ-23. 図版Ⅰ-7・84. 図版Ⅱ-11・247. 表Ⅵ-4・5)

位置：O-62・63、P-62・63

特徴 掘り込みの浅い竪穴住居跡である。竪穴上部の大半と北半部は検出できず失われている。床面からは焼土2ヵ所(CF-24・27)と土壌(CP-31)が検出された。CF-24は図示した状態で縁に大きめの円礫が複数置かれており本住居の炉址と考えられる。焼土の赤化は弱く短時間の使用が推定される。CF-27は西側に隣接して検出されている。検出面のレベルはCF-24よりも低く熱による赤化も強い。真下にはほぼ同じ形態の平面形を呈する土壌(CP-31)が位置しており、CF-24も含め竪穴内においてこれらは一連の性格を有すると考えられる。柱穴は検出されなかった。

なお、竪穴東側の壁と重複してCF-28が見つまっている。

遺物 1～3は土器、4～7は石器である。1は0段多条の原体を羽状に施文した深鉢形土器の底部片である。2は少し上げ底になる底部である。地紋はRL斜行縄文で底面と器面には研磨が施されている。3は幅の狭い肥厚帯を有する口縁部である。地紋は0段多条LRの縄文で、肥厚帯上には同じ原体を縦に転がしている。

4は背面に光沢部があるUフレイク、5は表背面に光沢部があるスクレイパーである。6がたたき石、7が台石・石皿で、これらは炉石として使用されていた。

時期 縄文中期後半、煉瓦台式土器の時期と考えられる。

(皆川)

CH-7 (図Ⅱ-24～26. 図版Ⅰ-8. 図版Ⅱ-9・10・247. 表Ⅵ-4・5)

位置：O-64・65、P-64・65、Q-64・65

特徴 平面が大凡隅丸長方形と考えられる竪穴住居跡である。CP-118と重複する。竪穴平面の中央部付近は瓦礫などが入る現代の攪乱によって大きく失われている。

床面からは焼土(HF-1・4)、ピット、周溝などが検出された。HF-1は北よりの床面から見つまっている。床の粘土が被熱で赤化しており補助的な炉址の一つの可能性はある。HF-4は床面西側から見つかった中心に赤化の激しい部分を持つ厚い焼土で、炉址の機能を有すると考えられるも、検

出された位置から見て本竪穴の中心的な炉址ではなく、時期のことなる重複住居の炉址と考えられる。

ピットは複数が見出されている。HP-6・8は「先端ピット」の可能性はある。本竪穴に見合う規模の支柱穴は見られず、HP4にその可能性がある。周溝は大きく見て壁際に沿って回るものとそれよりも内側の小径の物とが見出されているが、先後は不明である。竪穴東の壁際には大礫2点が見出されているが性格は不明である。覆土2層中にはCP-118の掘り上げ土と考えられる多量のV層黄褐色土が見出されている。

遺物 1～15は土器、16～26が石器である。1、2は床出土である。1はLRを縦位に回転施文した斜行縄文を地紋とする深鉢の胴部、2は0段多条LRを縦に施文した口縁部である。

3は底部で、器面にはLの絡条体を横位に回転施文した密な捺糸文が施されている。4は口唇直下に貼付の施される平縁の深鉢である。口唇断面は丸形であるが、貼付と相まって沈線が施された口唇部のように見える。器面にはRLの斜行縄文が施されている。5は口縁に低い山形突起を有する深鉢である。丁寧に整形された口唇部は内側が丸みを帯びるもので、底部は上げ底で厚みがある。地紋は条が水平に寝るLR斜行縄文である。6は口縁が少し肥厚する平縁の深鉢である。口唇断面は丁寧に整形された角形で器壁は厚く内面は研磨されている。地紋は0段多条LRの斜行縄文だが、部分的に施文方向を変えて縄文を重ねている。7、8は底が厚目の底部である。文様は0段多条RLによる。9はRLと細目のLRによる羽状縄文の施された底部である。10～12は口唇に縄線文の施されたものである。縄線文は10がLR、11、12がRLで、各地紋には同じ原体の縄文が施されている。11は頸部に沈線文も施され、12は突起部に縦の沈線も施される。13は横環する貼付帯を有する深鉢胴部である。器面には0段多条LRによる綾絡文付きの縄文が施され、胎土中には海綿骨針と小礫が混入している。15は0段多条RLの施された厚底の底部である。

16、17は石鏃、18、19は背面に光沢部のあるスクレイパー、20はUフレイク、21が表背面に光沢部があるスクレイパーである。22、23が石斧、24がたたき石、25、26が扁平打製石器である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。 (皆川)

CH-8 (図II-27. 図版I-8. 図版II-11・247. 表VI-4・5)

位置：N-66・67、O-66・67

特徴 平面が不整の楕円形を呈する小型の竪穴住居跡である。CP-29と重複する。

床からは先端ピット、炉址、柱穴などが検出されている。

先端ピット（HP-1）は竪穴の東側壁際に検出された。平面が不整の丸形でしっかりと掘り込まれており、壙底には小径のピットが5ヵ所見つかっている。床中央部に位置するHP-8は炉址と考えられる土壌である。浅い穴の中心に深い穴が設けられた二重構造のもので、後者の周囲の壁土は被熱で硬質化しており、ここには土器が埋められていた可能性がある。また、HP-8周辺の床面は硬質化し、同心円状の細かいクラックが認められる。炉の熱により乾燥化が進んだことによるものと推定され、この特徴は今回調査された住居では他に類例がない。構造的な柱穴の配置は認められなかった。

重複するCP-29は新しいもので、覆土2層にはその掘り上げ土が混入している可能性がある。

遺物 1、2は床出土の土器である。1は口唇直下に粘土紐を貼り付けて口唇部との間に擬似的な沈線文を作出した深鉢の口縁部である。器面には不明瞭なLR斜行縄文が施文されている。2は角形の口唇断面を有する口縁部で、器面のRLの縄文が口唇部にも施文されている。

3は幅の狭い石斧である。

時期 縄文時代中期後半、大安在B式土器の時期と考えられる。 (皆川)

CH-9 (図II-28~33. 図版I-9. 図版II-11~14・248・249. 表VI-4・5・8)

位置：K-68・69、L-67~69

特徴 平面が不整の楕円形を呈する比較的大型の竪穴住居跡である。CP-49と重複する。

平面長軸の南東壁には瘤状の張出が認められるが、壁際床に先端ピットのようなものはなかった。

床からは炉址と柱穴を含むピット、周溝が検出されている。炉址(HF-1)は地床炉で竪穴床のほぼ中央から検出されている。被熱による赤化が著しく炉石の痕跡も認められない。主柱穴はHP-3・5・7~11に可能性があり、複数の住居上屋があったと推定される。HP-2とHP-6もその可能性があるものの、両者の特徴には先述の「先端ピット」との類似点が見られる。即ち竪穴の長軸線上の炉址と竪穴壁との間に位置し、周囲には複数の小ピットを伴う点である。反面、平面が円形で壙底が平な度合いが強くより穴が深い。またHP-2のセクションにも見られる様に小型のフラスコ型ピットのそれと良く似るなどの点は平均的な特徴とは言い難い。これはHP-6のセクションも同様であった。両者は柱穴の可能性もあるが、中期前半期の竪穴住居に見られる所謂「中央ピット」の様相を呈している。「先端ピット」と「中央ピット」との関連、加えて先述の「平面長軸の壁の瘤状の張出」も関連している可能性がある。

周溝は複数が検出されている。先後は壁際の物が最も明瞭で新しいと考えられる。全て同一の床面に設けられており、炉址のHF-1を中心に数次に分けて竪穴の拡張を行ったと考えられる。HP-2とHP-6も拡張に伴って作られたと推定される。総合するとHP-2→HP-6→「壁の瘤状の張出」へと変化していった可能性がある。床面の土器はⅢ群a類の小破片が大半を占めていた。

重複するCP-49はCH-9よりも新しい。

遺物 1~26が土器、27が土製品、28~36、39~41が石器、37、38が石製品である。床出土の土器は11である。滑石土器は5が出土している。

1は低く緩やかな山形突起を有する大型の深鉢形土器である。波状口縁部には器面と一体化した瘤状の貼付が施されるものと(1a)、貫通孔が備わるもの(1b)とがある。器壁は厚く内面は研磨が施されている。断面が丸形の口唇部には細いRの撚糸文がによる刻みが施され、口縁部には太く深い沈線文が施されている。地紋は太い三段複節RLRの原体による縄文である。胎土には砂粒が多く含まれている。1のa、bは別個体の可能性もある。2も低く緩やかな山形突起を有する口縁部で、突起の器面には一体化した横位の貼付が施される。口唇断面は外側に少し傾斜した角形で、RLの縄文が口唇と器面に施されている。3は口縁部に太く揺らいだ沈線で曲線的な文様が描かれた大型の深鉢である。口唇には太い縄による刻みが施され、器面にはLRとLRLの2種類の原体による斜行縄文が施されている。内面は研磨が施され、胎土中には砂粒が多く含まれている。4は三ヶ所の山形突起を有する小型の土器である。口唇部には棒状の工具で刻みが施されている。突起部には貼付が施され口縁から胴部には先の平らな施文具を使った浅くて不安定な沈線文が施されている。地紋はRLRの斜行縄文である。

5は滑石土器の口縁部である。山形突起部にはリング状の貼付が施され、口唇部には沈線が施される。器面の文様は摩滅で不明瞭である。6は山形突起部に粘土紐の貼付された口縁部である。2本の粘土紐の間には棒あるいは骨状の道具による斜めの刺突文が連続して施されている。地紋はLRと思われるものが施文されている。7は二つの突起を有する口縁部で、LRの縄文が器面と口唇部に施されている。内面は研磨が施され、多度中には海綿骨針が多く含まれる。

8は口縁部が三角形に肥厚する深鉢の口縁部で、器面には浮き気味の粘土紐と馬蹄形圧痕文が施されている。9は地紋のRL結束斜行縄文の上に浮き気味の粘土紐を施した口縁部で、粘土紐上にはLの

撚糸文が粘土紐に沿って施されている。10は結束羽状縄文の地紋の上に浮き気味の粘土紐を貼り付けた口縁～胴部である。粘土紐状には篋状の施文具による鋭い刻みが施される。

11は器面に貼付の施された山形突起部である。口唇部には縄の刻みが施され、地紋はRLの斜行縄文である。内面側には円形の凹みが作られている。12、13は滑石土器である。12は瘤状の貼付を有する沈線文と刺突文の施された口縁部である。13はLRの縄を縄線文と地紋に使用した口縁部で、口唇部にも地紋が施文されている。14は器面と口唇部にLRの縄文が施された深鉢の口縁部である。15は刺突文の施された太目の貼付帯を頸部に有する口縁部で、器面にはLRを斜めに回転施文した縄文が施されている。16は上にLRの縄線文の施された「U」状の貼付を有する口縁部で頸部には刺突文のある貼付帯も施されている。地紋はLRを斜めに施した斜行縄文である。

17は口縁部に太い沈線文の施された深鉢形土器である。口縁部には五ヶ所の突起部を有するが正面に図示した突起部だけが大型である。器面にはLRの原体による縦方向の羽状縄文が施されている。搬入された榎林式土器と考えられる。18は胴が張り出す器形の土器で、器面には縦の条痕が施される。19は貼付の施された山形突起を有する深鉢である。口径よりも胴部の径が大きくなる器形で、器面の沈線文は底部近くにまで施文されている。地紋はRL斜行縄文と考えられる。20は口縁部に貼付とLRの縄線文の施された胴部が大きく張り出す深鉢形土器である。貼付上の刻みはLRの縄と半裁竹管状の工具の2種が用いられ、地紋はLRの斜行縄文である。21は口唇部直下にLR縄線文の施された小型の深鉢である。器面にはLRの縄を斜めに回転施文した条が水平になる縄文が施されている。

22は押型文の施された日計式土器の胴部である。23～25は滑石土器の底部である。26は内面の丸い小径の底部で、器面の上位にLRの縄文が施されている。

27はⅢ群a類土器の破片を加工した有孔土製円盤である。

28、29は石鏃、30～32はスクレイパーで30と32の背面には光沢部が認められる。33は刃部の欠失した石斧、34、35はたたき石、36は表面の下位に北海道式石冠のような敲打の整形を施した扁平打製石器である。39、40は台石・石皿である。40はCH-78、90と包含層I-67出土のものと接合している。41も台石・石皿として使われていたと考えられるも、床出土であることや形態、石材（安山岩）などから石棒的な意味合いがあった可能性もある。

27はⅢ群a類土器の破片を加工した有孔土製円盤である。

37は石棒の胴部、38は床から出土した平面が楕円形の「側縁有溝石器」である。

時期 縄文時代中期前半、サイベ沢Ⅷb式～見晴町式土器の時期と考えられる。（皆川）

CH-10（図Ⅱ-34、図版Ⅱ-14・249、表Ⅵ-4・5）

位置：J-69、K-68・69

特徴 CH84とCP-272に切られる小型の住居跡である。残存部から平面は卵形を呈すと推定される。

床面からは先端ピットと周溝の一部が検出されている。先端ピットは平面が楕円形で堅穴規模と比較して明瞭に掘り込まれている。壙底および周囲には小ピットは認められない。

遺物 1～3は土器、4、5は石器である。1、2は粘土紐が貼付されたものである。1はRL結束第1種斜行縄文の上に無文の貼り付けがなされている。2の貼付はLの撚糸の刻みが施されるもので、同じ撚糸の圧痕文が器面にも見られる。1、2は床出土であるが、小片で摩滅も少なくない。3は器面と一体化した貼付にRLの縄線文が伴う胴部で、地紋は同一原体の縦位の斜行縄文である。

4は左右の側縁に挟りが施された扁平打製石器である。5は台石・石皿である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。（皆川）

CH-11 (図Ⅱ-35~38. 図版Ⅰ-10. 図版Ⅱ-15・250. 表Ⅵ-4・5)

位置：J-69・70、K-69・70

特徴 平面が楕円形を呈す竪穴住居跡である。竪穴の二方を攪乱で失っていた。

床面からは先端ピット、炉址、焼土、土壌、ピット、集石、周溝が見つかっている。

先端ピット(HP-1)は、竪穴長軸の南東壁際で検出されている。平面形は比較的大型だが掘り込みは浅く、壙内に棒状の物を突き刺したような複数の小ピットが存在する。また周囲にも小ピットが集まっている傾向が見られこれらも関連する可能性がある。炉址は2カ所(HF-1・2)が検出されている。どちらも長楕円の扁平礫を方形に配置した石囲炉で、各礫は埋没部を内側に、露出部を外側に傾けて花卉状に埋め込まれている。用いられた礫はHF-1の方が大き目で不揃いの傾向があり、HF-2は小さめで大きさの揃った礫が使われている。また、礫の埋め込み方は、HF-1で礫の長軸の一端をHF-2で短軸の一方を埋め込んでいる。このような違いは、HF-1が重複する新しい住居の炉址と考えられることから、時間差によって生じた可能性がある。HF-2は炉石の並びが南北の二カ所で欠失している。礫を埋め込んだ痕跡が残っており意図的に礫が抜かれた可能性がある。

焼土も2カ所(HF-3・4)が検出されている。HF-3はHF-1のすぐ隣で検出されたもので、これらは関連するもので同一軸上に並ぶ可能性が高い。焼土は赤化が明瞭で層も厚くこの場で生成されたと考えられるが、同時期のHF-1に隣接し真下には土壌(HP-15)が位置することから炉址とは異なるものと考えられる。

HF-4は焼土粒の集中である。HF-2のすぐ隣にあるが関連は薄いと思われる。真上の覆土中にはフレイク集中と中型の礫が検出されておりこれらと関連する可能性が高い。覆土中に掘り込まれた未検出の土壌がありその中に入っていた可能性がある。

土壌はHF-1の隣から特徴あるHP-15が検出されている。平面が円形で壙底に不整形の小ピットが2カ所ある。覆土2層は埋戻された黒色土で、その上にはHF-3とした焼土が土壌に蓋をする様に存在している。HP-15とHF-3は一つの遺構の可能性も有り、尚かつ先述のようにHF-1と同一軸上に配置された可能性があり、これらは一つの構造をなすものであろう。また、HP-14も同軸上に位置しており、所謂「先端ピット」の可能性もある。

ピットは、HP-7・12・13・16~19が柱穴の可能性が高い。HP-1の周囲の小ピットは先述の通り「先端ピットに」関連する可能性がある。集石はHF-2と一部が重なって検出されている(集石1)。径1cm程を主体とする多数の小円礫が直径50cm程の範囲に集中して出土した。出土レベルが床面直上から若干覆土中なので、竪穴住居廃絶後に設けられた土壌に入れられた可能性もある。覆土中からは集石2も検出されており、同様の性格を有すると思われる。

周溝は複数が検出されている。主な周溝は、竪穴の壁際床面に設けられた物と、床面に設けられた小型の竪穴に伴うと考えられるものが2カ所で、これらにより複数の竪穴が重複していると考えられる。新しいのはHF-1、HP-15を取り巻く様に位置する周溝である。

遺物 1~11が土器、12~23が石器である。土器は1~7が床出土のものである。

1はRL原体を縦位に施した小型土器の口縁部で、片口の可能性がある。2は頸部から広がる口縁部を有す小型土器である。器面は無文で全面に研磨が施されている。3はLRの原体を縦位に施した深鉢口縁部から胴部である。器壁は薄く内面が綺麗に研磨されている。4は肩部に貼付帯を有する深鉢形土器である。一部の口唇直下と貼付帯にLRの縄線文が施され、器面にはLRを縦位に回転施文した斜行縄文が施されている。5は下端部が張り出す小型土器の底部である。底は厚く、無文で器面には研磨が施され、胎土には海綿骨針が含まれている。2と同一個体の可能性がある。6は底の厚い上

げ底の底部で、器面には縦方向の研磨が施されている。7も無文で厚底の底部である。

8はLRの縄線文による文様帯を有する口縁部である。地紋もLRを斜めに転がした縄文である。9は平縁の深鉢形土器である。口唇部は僅かに折り返して整形されている。地紋はLRの斜行縄文で、同一個体がCH-12覆土1層からも出土している。10は肩部に貼付の施された滑石土器である。貼付は肩部を巡るもの2本とその上に縦の取手状のもの4カ所がある。更に小さめの円形刺突文が肩部から上位と貼付上に施されている。地紋はLRを縦位に施した縄文である。10も同一個体の小破片がCH-12覆土から出土している。11は口縁部と肩部に貼付を有する口縁部である。口縁部には縦に短いもの、肩部には横環する貼付帯が施されている。また、LRの縄線文が口唇直下と肩部の貼付帯上に施されている。地紋はLRの原体による条が水平気味の縄文である。

12はポイントあるいはナイフである。表背面に光沢部があることからスクレイパーを素材としたものと考えられる。13、14は石鏃、15は縦長剥片を使ったスクレイパー、16は表背面に光沢部を有したUフレイクである。17、18は石斧、19、20は台石・石皿である。19は床から割れて出土しており、意図的に破壊して遺棄したと考えられる。21はたたき石、22、23は扁平打製石器でHF-2の炉石として用いられていた。

時期 縄文時代中期後半、大安在B式土器（新手）の時期と考えられる。（皆川）

CH-12（図Ⅱ-39～47. 図版Ⅰ-12・13. 図版Ⅱ-16～19・251. 表Ⅵ-4・5・8）

位置：K-70・71、L-70・71

特徴 平面が先端部南側の卵形を呈す堅穴住居跡で、所謂「焼失住居」と考えられる。少なくとも大小2軒の住居が重複していると考えられる。

床からは炉石、焼土、先端ピット、ピット、周溝などが検出されている。床面出土の特徴的な遺物はイルカの頭蓋骨、石棒、石斧などである。覆土中からはおびただしい量の炭化材や炭化物、焼土、一括土器が出土している。

炉石（HF-1）は石囲炉である。炉石はHP-13の覆土中に埋め込まれており、平面が長方形をなすよう配置されているが2カ所で配石が途切れている。この部分の炉石は本来的に無かったかあるいは抜き取られた可能性もある。炉石は縦横比の大きくない扁平の円礫が使用されており、その長軸が縦になるよう垂直に埋め込んでいる傾向が見られる。石囲炉が位置するHP-13は平面が大凡長方形で掘り込みは浅く、炉の構築を目的とした土壌と考えられ、HF-1よりも一回り大きい。その覆土中や墳底には炉石を抜いた痕跡と見られる小ピットが多数検出されており、炉石は数次に渡って作り直されていると考えられる。また、HP-13のすぐ南側にある浅い楕円の凹みも旧炉石の可能性もある。

焼土が3カ所見つかっている（HF2～4）。HF-2はHP-11とともに、黄褐色粘土の貼り床あるいは厚みのない盛土の下から見つかった。各は被熱で床の粘土が激しく赤化したものと考えられ、中でもHF-2は特に古い段階の地床炉の可能性もある。

先端ピットは2カ所が検出された（HP-1・2）。HP-1は卵形の堅穴住居先端部壁際に位置し、平面が不整の楕円形を呈し、穴の手前には黄褐色粘土で弧を描くように盛土が作られ、壁との境にはHP-16～19が配列されている。覆土に焼失時に生成された焼土が入っていたことから堅穴に伴う最も新しい先端ピットと考えられる。HP-12はHP-1の盛土の下位から検出された。HP-1よりも一回り小型の楕円の土壌である。近接して小ピット（HP-20～23）が検出されたがこれもHP-1の盛土の下位からである。

HP-1と同軸上にあるHF-1、そして壁際の床面に回る周溝はとも堅穴と同時期になると考えられ

る。また、HP-12と同軸上にあるHP13内の旧炉址の一部、小径の周溝は同じ時期の可能性がありこれらの方がより時期が古い。

ピットの内、HP-2～5は支柱穴である。周溝はおおよそ2本が検出された。壁際の物が新しく内側の物は古と考えられる。

竪穴床面北側の図示した位置から動物遺存体が焼けた状態で検出された。イシイルカあるいはツチイルカと見られる頭蓋周辺部で、下顎はなく頭頂部を下に出土している。頭蓋右側には歯が見つかっており、本来的な歯の位置を保っていないものの取れやすいと言われるイルカの歯と一緒に出土したことは、当初この頭蓋に肉や皮が着いた状態であったことを窺わせる。付近に他の部位は認められなかったが、すぐ隣で大型の石斧(29)も出土しており関連する可能性がある。上屋の一部に吊してあった物が焼失時に落下したのかもしれない。また、変わった形態の「石棒」(32)が北側の壁際から出土している。

覆土から床にかけて、焼失を示す炭化材や炭化物、焼土が大量に出土している。これらの中から出土した土器は、竪穴南半部の床からは浮いた状態で出土していることから炉址の上の棚のようなところに置かれていた可能性がある。炭化材類は比較的小型のものが多く、太い材や柱材は認められず柱穴の内外にも痕跡は無かった。

遺物の中で大安在B式の復元土器は焼失家屋の焼土や炭化材と共に覆土から大半が出土しており、床面のものでない。石器類やイルカの頭蓋が床から出土していることから、これらの土器は家屋内の上位に収納されていた可能性が考えられ、その場合にこれらの土器は同時期の一群として捉えられるかもしれない。

年代測定結果

21	IAAA-112182	タテ2C-3	CH-12No.1 床付近	木炭	4,150±30
----	-------------	--------	---------------	----	----------

遺物 1～24が土器、25～31が石器、32、33が石製品、34が動物遺存体である。

1は「U」状の貼付を有する大型の深鉢形土器である。頸部にも横環する貼付が施され、これらの貼付の上や付近には縄線文も施されている。LR原体は地紋や口唇部にも回転施文されている。2は沈線文と刺突文が施される大型の深鉢形土器である。頸部には低い貼付帯が回っている。地紋はLRの原体による条が水平気味の縄文である。3は口縁部に二つで一組の短い貼付が備わる深鉢である。器壁も底も厚く、器面には撚りのゆるんだLR原体による条が立ち気味の縄文が施されている。4は肩部に刻みの施された貼付帯のある深鉢である。口縁には小さな突起が4カ所ある。地紋はLRの原体による条が水平気味の縄文である。5は平縁の深鉢形土器である。口唇部は僅かに折り返して整形されている。地紋はLRの斜行縄文で、同一個体がCH-11覆土1層からも出土している。6はLRの縄線文を「U」状に施した大型の深鉢で、同じ縄線文が口唇直下にも施されている。地紋は繊維が不揃いなLRの原体による条が水平気味の縄文である。7は口縁に「U」状の貼付を有する大型の滑石土器である。貼付は肩部や縦にも施され、更にLRの縄線文も加えられる。器面と口唇にはLRの斜行縄文が施されている。底部は上げ底である。8、9はLRの縄線文が施される滑石土器口縁部で、9には縦の貼付も備わる。10は沈線で曲線的な文様があがかれた小型の鉢片である。口唇部には撚糸の刻みが施される。8～10の地紋はLRの縄文である。

11は口縁部に小突起と縄線文の施された深鉢口縁部である。内面は研磨が施され、胎土中には海綿骨針が多数含まれている。縄線文はLRの縄によるもので、地紋は同じ原体の斜行縄文である。口唇部上にも同縄文が施されている。12、16は口縁部に小突起を有する深鉢で、器面にはLRの原体によ

る条が水平気味の縄文が施されている。13は頸部に貼付帯を有する深鉢で、貼付上には縄端を用いた刺突文が施されている。口縁部にはLRの原体による縄線文も施文されており、地紋は同原体の条が水平気味の縄文である。14は粘土紐の施された山形突起部で、器面には平行する横位の沈線文も施文されている。RLの地紋と同じ縄で口唇部にも刻みが施されている。15は口縁部に二山の小突起と頸部に刻みの施された貼付帯を有する深鉢である。胴部の張出は強く器壁は薄い。地紋はLRの原体による条が水平気味の縄文である。

17は口縁～胴部に沈線文と刺突文が施される滑石土器である。肩部には貼付帯も施され（17c）、底部は僅かに上げ底である。地紋のLRは口唇部にも施文されている。18は口縁部に小突起と縄線文2本が施された深鉢形土器で、地紋はLRの原体による条が水平気味の縄文である。小突起には縦に短い縄線文が施されている。19はLRの縄線文と貼付帯の施された小突起を有す口縁部である。貼付帯上には縄の刻みが施されている。胴部の張出が比較的強く器壁は薄い。20は沈線文と刺突文の施された滑石土器の口縁部と胴部である。地紋はLRの斜行縄文、口唇部には別のLRの原体による節の細かい縄文が施されている。21は貼付帯と刺突文が施された滑石土器である。主体はCH-11から出土している。22、24は底が厚く内底が丸くなる底部である。22は無文、24は大型の滑石土器底部である。23は上げ底で器面にはLRの縄文が施されている。

25は石錐、26はスクレイパー、29は石斧、27、30は複数のたたき面を有するたたき石、28はやや小型の扁平打製石器、31は側縁に敲打痕を有する台石・石皿である。32は珍しい形態の石棒、33は側縁に沈線状の凹みが回る玉である。

34はイルカの頭蓋である。これ以外の部位は出土していない。

時期 縄文時代中期後半、大安在B式土器の時期と考えられる。

（皆川）

CH-13（図Ⅱ-48～53. 図版Ⅰ-14. 図版Ⅱ-20～23・252. 表Ⅵ-4・5・8）

位置：I-70・71、J-70・71

特徴 平面が先端部東側の卵形を呈す竪穴住居跡である。

床面からは炉址、ピット、周溝が検出されている。

炉址は平面が長方形を呈する石囲炉である。縦長比の少ない長楕円の扁平礫を方形に配置し、各礫は埋没部を内側に、露出部を外側に傾けた花卉状に埋め込まれている。竪穴先端部には柱穴様のHP-7が位置しており、所謂「先端ピット」状のものは見られない。HP-7やあるいは周囲のHP-4～6・8・9と組み合わせあって、その役割を負っていた可能性がある。床面検出のピットの内、HP-2・3・10は本竪穴の支柱穴と考えられる。

周溝は不明瞭な物が竪穴西側の壁際から検出されている。

覆土中からは、廃棄されたと考えられる二次堆積の焼土（HF-1）が検出されている。近くからは複数の大型礫が出土しており関連があるかもしれない。

遺物 1～25が土器、27～35が石器、36が石製品、26、37が土製品である。大木系土器は5～9、15、25が出土している。

1は貼付帯を有する胴部片である。頂上には円形の刺突文が施されている。器面には綾絡文とLR斜行縄文が施されている。2はLRの地紋の上に浅目の沈線で曲線的な文様を描いた胴部片である。器壁は薄く胎土には砂粒が多く含まれている。縄文中期の新し目のものかもしれない。3は非対称的な大型突起部を有する深鉢形土器で、所謂「森越式土器」と考えられる。貫通孔を有した特徴的な突起部の表裏には、粘土紐の貼付と沈線文、円形刺突文による複雑な造形がなされており、その他三カ

所の突起部と口縁部には粘土紐とLRの短縄文による装飾が施されている。器面には平行する浅めの沈線線文とLRを縦に転がした斜行縄文が施されている。器壁は薄く胎土中には砂粒を多く含む。4は口縁部に太い沈線文の施された深鉢形土器で、器面にはLR縦転がしの斜行縄文が施されている。5、6は口縁部に磨消の無文部を有する大木9式土器である。

10～12は肩部に貼付帯を有する深鉢形土器である。10は二カ所一組の極小の突起を有し、口縁部に縄線文、器面に条が水平気味になる縄文が施されている。10の貼付帯は短く横環しない。11は口縁の無文帯に縦の貼付と縄線文を施したもので、胴部はLRによる条が水平気味になる縄文が施されている。12も二カ所一組の極小の突起を有し、LRによる条が水平気味になる縄文が全面に施される。13は条が水平気味になるLR縄文の施された口縁部である。14は貼付帯と縄線文の施された頸部で、LRの縄文も施されている。15は口唇に太い沈線文が施された山形突起部である。研磨された無文の口縁部の下位には貼付帯が回っている。大木式系の土器である。16はLの撚糸文が密に施された深鉢である。口縁部と胴部では撚糸の方向が異なる。

17は肩部に貼付帯、頸部に研磨された無文帯を有する深鉢形土器である。無文帯には「U」状の縄線文、貼付帯上には竹管状の施文具による円形の刺突文が、胴部にはLRの斜行縄文が施されている。18は小径の底部に向かって急激に窄まる器形の深鉢形土器である。地紋は条が水平気味に寝たLRの縄文である。19はRLの縄文が施された小型の土器で、底部内面が丸みを帯びている。20は口縁部にLRの縄線2本を有する土器で、地紋は同原体の斜行縄文である。21は原体を縦位に回転施文して、器面にRLの斜行縄文と綾絡文を施した胴部片である。22～25は底部である。22は上げ底で内面側が丸みを帯びている。23は滑石土器の底部である。24は太い貼付帯を有している。25は器壁の薄い底部で、大木9式土器の底部と考えられる。

27は両面加工のポイントあるいはナイフである。28が簡易な造りのつまみ付ナイフ、29、31がスクレイパー、30がUフレイク、32が二つに折れて出土した石斧、33、34は複数のたたき面を有するたたき石、35が右側縁に敲打による整形が施された扁平打製石器である。

36は筋状の磨り跡を有する楕円形の礫石器である。表面全体が整形されており石棒的な意味合いを持つ可能性がある。

26はⅢ群b類の土器片を使った有孔土製円盤である。37は貫通孔を有し表裏側縁に装飾が施された玉と考えられる土製品である。

時期 縄文時代中期後半、大安在B式土器の時期前後と考えられる。

(皆川)

CH-14 (図Ⅱ-54～57. 図版Ⅰ-11. 図版Ⅱ-24・25・252. 表Ⅵ-4・5・8)

位置：I-72、J-71・72

特徴 平面が不整の楕円あるいは先端部が南東側の卵形を呈す竪穴住居跡である。

床面からは先端ピット、炉址、柱穴を含むピット、貼床、周溝が検出されている。

先端ピットは南東側の壁際から新旧二カ所が検出された (HP-7・8)。HP-7は床中央に向かって角を有する不整の平面形で、壙内に小ピット2カ所とV字状の溝が配されており、一見して人面の様である。HP-8はHP-7との重複で右側半分が失われた古い先端ピットである。比較的小型の楕円形で浅く壙底は緩い丸、左端部に小ピットを配している。

炉址も新旧二カ所が検出された (HF-1・2)。新しいのはHF-2の石囲炉で、北西側の礫が失われているが粒の揃った長楕円の扁平礫が大凡方形に配されていたと考えられる。長軸方向を埋め込んだ炉石には、埋没部は内側に露出部が外側に傾く傾向が見られる。HF-2は古い石囲炉と考えられる

もので、焼土の周りの炉石は埋め込まれた痕跡だけで失われている。

柱穴はHP-1～6・13と考えられるが組み合わせは不明確である。貼床は炉址二カ所の北側で検出されたもので、実際粘土を貼り付けたものか踏まれた圧力で粘土が貼り床状に変化したものかは確定的でない。

周溝は壁際のもとその内側のも大きく二系統が検出されている。後者は部分的に二つに分かれているが、明瞭な検出状況からこちらの方が新しい可能性がある。

床検出の各遺構の組み合わせは、新しいのがHP-7とHF-2、内側の周溝である。HP-8とHF-1、壁際の周溝が古い組み合わせと考えられる。

遺物 1、2、4～17が土器、18～21が石器、3が土製品である。滑石土器は4、5、11、13、16が出土している。

1は口唇直下にRLの原体による縄線文が施された口縁部で、器面には条が縦気味のRLの縄文が施されている。口唇断面は丸形で、胎土中には白色の岩片が多数含まれている。2はLRの斜行縄文の施された器壁の薄い口縁部である。4、5はLRの縄線文の施された滑石土器の口縁部で、地紋は同原体の縄文である。4は口唇部にも縄線文が施されている。5は口唇部にも地紋が施されている。6は粘土紐と沈線の文様が施される波状口縁部で、粘土紐は内面側にも施されている。口唇部にはLの撚糸の刻みが連続して施されている。地紋は0段多条RLの斜行縄文である。器壁は厚く、胎土中には海綿骨針や細かい砂粒、少量の繊維などが含まれている。7は平縁の深鉢形土器で、器面と口唇部には0段多条LR同土を結束した斜行縄文が施されている。器壁は厚く内面が研磨されている。8～10は底部である。8は底が厚く上げ底である。9、10は厚底で内底が丸み尾帯びている。

11は器面にLRの縄文が施された大型滑石土器の胴部である。12は短い縦の貼付とLRの縄線文が施された深鉢の口縁部から胴部である。地紋には縄線文と同じ原体を用いて条が水平気味の縄文が施されている。13は縄線文の施された滑石土器胴部である。14は口唇部直下に細目のLR原体による縄線文が施された小型土器である。器壁は薄く、内面が研磨されている。15は口唇断面が角形の小型土器である。器面にはRL斜行縄文が施されている。16は刺突文と0段多条の縄文が施された滑石土器胴部である。17は口縁部に密着度の高い貼付帯と縄線文の施された深鉢形土器である。器壁は薄く、LRの斜行縄文が全面に施されている。

18はポイントあるいはナイフ、19は表背面に光沢部があるスクレイパー、20もスクレイパー、21は左側縁に敲打痕があるたたき石である。

3はⅢ群b類の土器片を用いた有孔土製円盤である。

時期 縄文時代中期後半、大安在B式土器の時期と考えられる。

（皆川）

CH-15（図Ⅱ-58～68. 図版Ⅰ-17. 図版Ⅱ-26～31・253～255. 表Ⅵ-4・5）

位置：M-68～70、N-68～70

特徴 平面が楕円と推定される住居跡である。CH-16の大型の竪穴内に設けられたもので、床面もCH-16と同じである。竪穴覆土の黒色土中であることに加え更に大型の木根の攪乱が重なり形状は検出できなかったが、HF-1や大型礫や遺物の検出状況、覆土の様子などから住居の範囲を判断した。HF-1は不揃いの大型礫を用いた石囲炉である。大型の礫が多く出土しており、特に南側の集中は壁外から流れ込んだ様相を呈している。

遺物 1～41が土器、42～64が石器である。

1、2、4、9～11、13、15、16、18～21、26、28、32、33は沈線文、3、5～8、12、22は断面

がかまぼこ形の粘土紐の貼付の施されたⅢ群a類土器である。2、3、4、6、13、14、17、36、41は胎土に海綿骨針が混入している。

1は貫通孔と取っ手状の貼付を有する大型の深鉢で、RLの地紋が口唇上にも施されている。2は全面に太い沈線で木の葉や波の様な文様を描いた小型の土器である。口唇上には篋のような器具で刻みが施されている。3は口縁の無文部に撚糸Lの刻みが入る貼付が施されており、地紋は2段単節の結束羽状縄文である。4は頸部のくびれが大きい平縁の土器で、口唇部にLの撚糸の刻みが施され、器面にはRLの斜行縄文が施されている。沈線文は先の尖った器具を使って施されている。5は口縁の山形突起が2ヵ所と少なく変則的で、突起の器面には円形の凹みと横一の貼付が施されている。RLの縄文が器面と口唇部に施されている。6はニシンタイプの魚骨文が施される土器である。器面には回転施文され、貼付上と突起側縁には押捺されている。

7は0段多条LRによる斜行縄文の地紋上に密着した粘土紐を貼付した大型の深鉢口縁部である。器面は摩耗が著しい。8は結束羽状縄文の上に貼付を施したもので、貼付上には撚糸2本の押捺が繰り返して施されている。底部付近の器面は地紋の上から横位の研磨が施されている。9は頂部が小型の盃状になる山形突起部で、器面には取っ手状の縦の貼付が在った痕跡が認められる。突起の内面側には径5mmほどの深い刺突が施されている。沈線の他には粘土紐やRの撚糸文も施されている。10は突起部の頂きに指先で押した凹みを有し、器面には瘤状の貼付が施されている。沈線は先端が平らな施文具が使われている。11は滑石土器の山形突起部である。12は浮き気味の粘土紐が器面の無文帯全面に施された胴部である。粘土紐の上には間隔の空いた撚糸の刻みが施されている。胴下半部の地紋は太い原体を用いたLRの斜行縄文と綾絡文である。13は突起の下位に貫通孔を有する土器で、取っ手状の横一の貼付があった痕跡も認められる。14は器面にRLの斜行縄文と綾絡文が施される深鉢形土器である。口唇部にはRLの縄の刻みが施され、口縁には山形突起を有していたと考えられる。

15は深い沈線文の施されたもので、突起部の器面には取っ手状の貼付が施されている。16も取っ手状の貼付が在ったと考えられ、突起部に施された粘土紐上には撚糸文が粘土紐に沿って押捺されている。17は円形の凹みと縄線文の施された小型の山形突起部である。18は突起部に細い粘土紐を貼付した深鉢である。沈線文は深く施され、器壁は薄い。19は鋸歯状の沈線文、20は抽象的な沈線文が施されたもの。20の口唇部にはRの撚糸による間隔の揃った刻みが施されている。

21は円形の貫通孔を有し粘土紐に沿ってLの撚糸が押捺される大型深鉢土器の突起部で、沈線文は先端が平らな施文具によって施されている。22は山形突起部に粘土紐が施された滑石土器である。23、24はオオバコのトウを回転施文したもので、23は平縁の口縁部、24は胴部でトウの粒が比較的大きい。25は滑石土器の山形突起部である。26は地紋の上に浅めの沈線文が密に施されるもので、地紋のRLは口唇上にも施されている。27は突起部を欠いた大型の深鉢で、口唇部には突起を境に異なった地紋のRL縄文と同縄の刻みが施されている。28は全面に先の尖った施文具で曲線的な沈線文が施された小型の土器である。

29は突起部の頂きに盃状の凹みを有する土器である。撚の緩んだRLの斜行縄文が器面と口唇に施されている。30は口唇直下に幅の狭い無文帯と0段多条LRの縄線文が施された口縁部で、口唇断面が角形を呈し、地紋は縄線文と同じ原体を縦位に回転施文した縄文である。31は胴が張り出し底部が上げ底の土器である。32は器面の上下で原体が異なる。上位は太いRL、下位は細かいRL原体による。21と同一個体の可能性がある。33は揺らいだ沈線で曲線的な文様が描かれた胴部片である。取っ手状の貼付が縦に施されていた痕跡が残っている。

34～41は底部である。34は綾絡文施されている。35は縦に回転施文されたLRが底間際まで施され

ている小型の底部である。36は底部内面が丸みを帯びており、底部上位の器面には抉るような横位の研磨が施されている。37も底部内面が丸みを帯びている。39は底部上位の器面に縦位の研磨が施されている。41は底部上位の器面に幅の狭い無文帯を有し、器形はその部分で急激に窄まっている。

42～44は石鏃、45は両面加工のつまみ付ナイフ、46、47は石錐、48～50はスクレイパー、51、52は石斧、53は複数のたたき面を有するたたき石、54、55は扁平打製石器である。

57は砥石、56は断面三角形のすり石、58～64は台石・石皿である。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。

（皆川）

CH-16（図Ⅱ-58・59・69～81、図版Ⅰ-15・16、図版Ⅱ-32～41・256・257、表Ⅵ-4・5・8）

位置：M-68～70、N-68～70、O-68・69

特徴 平面が隅丸の長方形を呈する大型堅穴住居跡、所謂「ロングハウス」である。覆土3層中に多くの炭化物が含まれていることから焼失住居の可能性が高い。また、CH-15の重複と木根の抜根によって攪乱部分も少なくない。

床からは炉址、柱穴を含むピット、中央ピット、周溝が見つかった。

炉址（HF-1）は床面中央からやや東側に寄った位置から検出されている。平面が不整の楕円形を呈する地床炉で、焼土の範囲内からは4カ所（HP-24・25・27・28）の小ピットが見つかった。

支柱穴はHP-1～6の6カ所である。全てに柱を入れ替えた痕跡が認められ、改築がなされていると考えられる。中でも南東に位置するHP-1は新しい柱穴が横にずれて設けられ、一方（HP-1-2）から大型の扁平礫2個が立てた状態で出土している。この礫は、新たな柱を安定させるため古い柱穴に入れられた所謂「根固め石」の役割を持つと考えられる。ただし、他の柱穴にはこの様なものは見られず、また遺跡内の他の住居柱穴にも同様の類例もないことから、この柱に何らかの価値を付加するものだった可能性もある。HP-7・17は各支柱穴に近接して位置しており、それらとセットであった可能性がある。

「中央ピット」と考えられるのはHP-8・26の2カ所である。HP-8は支柱穴HP-5とHP-6の間回りから検出された物で、底面からは円礫が複数出土している。覆土中の暗褐色土の縦断面形はフラスコ状になっており、小型のフラスコ型ピットと見なせるものであった。図示したHP-8のエレベーションは入り口部の汚れた黄褐色粘土除去後のものである。柱穴の可能性もある。HP-26は支柱穴HP-1とHP-2の間回りから検出された物で、HP-8よりも一回り大きく覆土は黒褐色土であった。

周溝は堅穴壁際周辺に複数検出され、住居の建て替えが行われた可能性がある。

遺物 1～68が土器、69～88が石器、89、90が石製品である。1は粘土紐の貼付が施されるもの、2～7、15が沈線文の施されるもの、8～10、22、24、32、33、35～40が山形突起を有し口縁部に文様帯を持つものである。4、5、8、34、37、38、53、59、63の胎土には海綿骨針が含まれている。

1は文様帯に良く密着した粘土紐の貼付と刺突文が施された大型で取手付きの深鉢形土器である。粘土紐上にはLの撚糸2本を使った粗密な刻みが施され、胴部の蛇行する粘土紐は地紋の上に施されている。刺突文は幅1cm程の小動物か鳥類の骨の関節を使った施文具によるものと考えられる。施文順位は古い方から「地紋（結束羽状縄文）→粘土紐→刺突文→粘土紐の刻み」である。

2は一つの山形突起だけに沈線文と縦の貼付3本が施された深鉢形土器である。器面には垂下する浅く幅広の蛇行沈線文が施される。地紋のRL斜行縄文は器面と口唇部に施されている。3は立体的な突起部と取手状の縦の貼付を有するものである。4は突起部を欠いたもので、器面には縦の取手状の貼付の痕跡が認められる。5は突起部に細い粘土紐を貼付したフィカ罰である。

6は突起部に貼付か貫通孔が施された深鉢である。沈線文は先端が丸みを帯びた細目の棒状施文具を使って施されている。7は大小二つで一組の突起を有する大型の深鉢である。突起の下位には太目の貼付が横に施されている。8は大小三つで一組の突起を有する深鉢で、突起の下位には縄線文の施された太目の貼付が備わる。9は口唇部に粘土紐が貼付され、張り出し気味の胴部が底部近くまで及ぶ器形の深鉢形土器である。粘土紐は2本が平行して施されており、口唇部に沈線が施されているような効果を生んでいる。複数で一組となる突起を有しそこに粘土紐と沈線で文様を施している。胴部にはRLの原体で条が縦気味な縄文が施されている。10は突起部に内面側にも回り込む粘土紐の貼付が施される。

11は地紋にLRの原体で条が横気味の縄文が施される小型の土器である。口唇直下には幅の狭い無文帯が備わっており底部は丸みを帯びている。12～14は滑石土器である。12は縄線文の施された口縁、13、14は底部である。15は山形突起に細目の粘土紐が、口縁部文様帯に沈線文と刺突文が施された深鉢形土器である。沈線文と刺突文は先端の丸い細目の棒状施文具による。16はオオバコのトウを回転施文した小型土器の口縁部である。17は器面の魚の脊椎骨を回転施文した口縁部に突起を有する深鉢である。18は口唇直下に刺突文の施された貼付帯とその上下に縄線文の施された小ぶりの鉢形土器である。器壁は厚く、胎土には滑石が混入すると考えられる。僅かに上げ底の底部は内面側が丸みを帯びたものである。19は口縁部に縦横の縄線文と斜めからの刺突の列とが施された器壁の厚い深鉢形土器である。底厚はかなり厚い。20は肩部に貼付帯を有し、無地文の頸部にLRの縄線文が施された比較的小型の深鉢である。21は肩部に刺突文と沈線を伴う貼付帯を有する滑石土器の深鉢である。地紋のLRは口唇部にも施されている。

22は山形突起を有する深鉢形土器で、口唇部がやや肥厚している。地紋の0段多条RLは口唇部にも施されている。23は平縁の深鉢で、地紋のRLは口縁で部分的に条が縦気味になる。それ以外は条が横気味になるよう施文されている。

24～26は小ぶりの山が突起を有する深鉢で、24は小型土器、25、26は滑石土器の口縁部である。27は大ぶりの突起部で、上に縄文が施される細い粘土紐が貼付されている。28は突起のすぐ右側にもう一つ極小の突起を持つ深鉢口縁部である。29は口唇部に刺突文風の縄の刻みが施された平縁の深鉢である。30は大型深鉢の胴～底部である。31は内外両面に粘土紐を配した渦状の突起を有する口縁部で、所謂「森越式土器」である。器面には浅い沈線文が施されている。32は比較的大型の山形突起を有する深鉢形土器である。突起部にLRの縄の刻みが施された太い貼付を有し、口唇部にも地紋が施されている。

33は山形突起に縦の貼付が施された深鉢で、貼付や口唇上にはRLの縄線文が施されている。34も山形突起を有する土器で器面の多くは無文である。全体的に作りが粗雑で凹凸が多い。35は縦の取手上的の貼付が施された突起部である。口唇部にも地紋のRLが施される。36は篋状の施文具で口唇部に刻みを入れた突起部である。37は山形突起に貼付を有するを深鉢形土器である。貼付と口唇部にはRLの縄線が刻まれている。38はLの撚糸文と横の取手状の貼付が施された突起部である。口唇部にはRLの縄の刻みが施されている。39は突起部に沈線文、口唇部に棒状施文具による太い刻みの施された深鉢である。40は突起部と口唇部が少しだけ肥厚する深鉢である。

41は非常に小さな突起に浅くてごく短い沈線文を施した深鉢である。42は口唇断面が丸形で平縁の口縁部である。43は研磨した幅の狭い無文帯とLRの縄線文を有す平縁の口縁部である。器面には縄線と同じ原体を縦位に回転施文した縄文が施されている。44は同が張り出した平縁の深鉢である。45は口唇直下に粘土紐を貼付した口縁部である。口唇部と粘土紐の間は沈線が施されているように見え

る。46は口縁部に突起とLRの縄線文が施された深鉢形土器である。突起の頂きには小さな凹みを有しており、内面には丁寧な研磨が施されている。地紋は縦位に回転施文したLRの縄文である。47は無文のミニチュア土器である。48は口唇直下にLRの縄線文が施された深鉢である。

49は4本のバンド状の貼付を有する大型の深鉢形土器である。50、51は口唇直下に幅の狭い肥厚帯を有する口縁部である。肥厚帯上の文様は地紋と異なる方向に施文されている。49～51の地紋の原体は0段多条LRである。

52～68は底部である。52～61、63がⅢ群a類、62、66、68がⅢ群b類、64、65、67はⅣ群a類土器である。53の無文部は横位に研磨が施されている。56は大木式系土器と考えられる無文の底部である。57は底面にクルミの殻の痕が残されている。63は底面に網代の圧痕文がある。66は少し上げ底気味の大型土器の底部である。67は網代と考えられる圧痕文を有する大木式系土器と思われる底部である。

69～71は石鏃、72はポイントあるいはナイフ、73～78はスクレイパーで、78以外は表背面に光沢部が認められる。79～81は石斧、82～84はたたき石、85は下端に磨り面がある扁平打製石器、86は北海道式石冠である。87、88は砥石である。

90は石冠様石製品である。89も同様のもので、形態や規模が良く似ているが石材が異なる。

時期 縄文時代中期前半、サイベ沢Ⅶb式土器の時期と考えられる。

（皆川）

CH-17（図Ⅱ-82～84. 図版Ⅰ-18. 図版Ⅱ-41・258. 表Ⅵ-4・5）

位置：K-72・73、L-72・73

特徴 平面が長楕円形あるいは卵形と考えられる住居跡である。竪穴は凹凸のある浅いもので、包含層の掘り下げ時に大方が失われている。竪穴の深さは推定で10cm程であろう。

床面からは新旧の炉址、焼土、先端ピット、貼床、土壌、柱穴を含むピット、周溝が検出された。

炉址は痕跡も含めて3ヵ所が見つかっている（HF-2ほか）。最も新しいのがHF-2の石囲炉である。平面長軸上の中央から南東側に最も寄った位置にあり、炉石にはかなり大型の円礫や角礫が使われている。南東側の石囲いは見られず痕跡も無いことから最初からコの字状であったと考えられる。HF-2の中央よりの位置からは、やはりコの字型に配置した大型の炉石を抜いた痕跡があり、焼土は無いが古い炉址の痕跡と考えられる。石囲いの真ん中あたりにピットがあり土器が埋め込まれていた可能性がある。その隣にもHP-37の輪郭に一部沿うように炉石を抜いた痕跡があり、HP-37の覆土上位にもそれが続いていた可能性がある。これも古い炉址と考えられる。

焼土（HF-1）は、不整形のものが住居の中央～北西部にかけて検出された。しっかりと焼けた赤化の明瞭な焼土で、床面よりレベルの高い部分もあることからHF-2より新しい段階の地床炉の可能性はある。

先端ピット（HP-11）は、竪穴長軸上の南西端に位置し平面形は不整の円で2ヵ所の小ピットを伴っている。この先端ピット近くのHF-2とHP-10は、位置関係と形状から、長軸上に並ぶ先端ピットや炉址に関連すると思われる。またこれらを結ぶ点線で図示した範囲は硬質な粘土の床面になっており貼り床の可能性はある。これも関連するかもしれない。

HP-37、HP-4・6は竪穴長軸上に位置する比較的大きめの土壌である。HP-37は、ほぼ中央に位置し平面が不整の円形を呈する。覆土は炭化物を含む黒色土で炉石を抜いた痕跡と重複することからその上位には前述した古い炉址があったと考えられる。炉址と土壌がセットになる類例の一つであろう。HP-4・6は竪穴長軸上の北西端に並んで検出された大きめのもので、埋戻された覆土と土器片や礫石器などの遺物が出土する特徴を有する。先端ピットの反対側に位置し、関連するあるいは相

対する構築物と考えられる。HP-7は重複する新しい土壌の可能性もある。

小ピットが多数検出されたが、支柱穴と見なせる物は無かった。

周溝はおおよそ2本が検出されている。内側を回る方が明瞭で新しく、外を回ると思われる物は不明瞭で部分的にしか検出されず古いと考えられる。

遺物 1～10が土器、11～17が石器である。

1は口唇断面が角形で平縁の深鉢形土器口縁～胴部片である。LRの原体による斜行縄文が、口縁部で横位に胴部で縦位に回転施文されている。2は文様のない粘土紐の貼付が施された山形突起部の破片である。3は内底が丸みを帯びた底部である。胎土には大粒の砂粒が混入している。

4は円形刺突文の施された貼付帯を有する口縁部である。口唇直下にはLRの縄線文、その下の器面には沈線文が施されている。CH-18-20と同一個体である。5、6は滑石土器で、5には貼付帯と縄線文、6には縄線文が施されている。7はバンド状の貼付帯を有する平縁の口縁部である。8は平縁の口縁部で、条が縦気味に施されたLRの縄文が施されている。9は少し上げ底になる滑石土器の底部である。10は器面にバンド状の貼付帯を有する厚底の底部である。

11、12はスクレイパー、13は石斧である。14、15は扁平打製石器で、15の正面に磨痕が認められる。16、17は台石・石皿である。

時期 縄文時代中期後半、煉瓦台式土器の時期と考えられる。(皆川)

CH-18 (図Ⅱ-85～94. 図版Ⅰ-19. 図版Ⅱ-42～47・259. 表Ⅵ-4・5・8)

位置：I-74、J-73～75、K-73～75

特徴 平面が隅丸の長方形を呈する大型の竪穴住居跡である。

床面からは炉址、焼土、中央ピット、柱穴を含むピット、周溝が検出された。

炉址は床面中央部で検出された地床炉である(HF-1)。平面が不整の円形で被熱範囲は限定的である。焼土は北西側の床面で2ヵ所が検出されている(HF-2・3)。大きさや赤化の度合いはHF-1と同程度でこれらも地床炉の可能性もある。各近くから集石が検出されている。

HP-17は中央ピットと考えられる土壌で、支柱穴HP-13・15の真ん中、竪穴長軸上に位置し平面が楕円形で穴の下半部は柱穴の様になっている。壙底からは円礫が出土している。HP-18も中央ピットと考えられる。支柱穴はHP-1・6・13・15・16の6本である。

周溝は竪穴の壁際から検出されている。

年代測定結果

22	IAAA-112183	タテ2C-4	CH-18C1床面	木炭	4,440±30
----	-------------	--------	-----------	----	----------

遺物 1～46が土器、47～63、67～118が石器、64が石製品、65、66が土製品である。

2、4、5、7、12、26～28、32、33の胎土には海綿骨針が含まれている。大木系土器派29が出土している。

1は大型でY字状の貼付を有する深鉢形土器で、無地の文様帯には密着の弱い粘土紐と2種類の刺突文が施されている。粘土紐上にはLRの縄2本による刻みが施され、刺突文の大半は半裁した管の内側を使ったもので、文様帯と縄文の境にだけ管状の施文具を使ったものが施されている。胴部には0段多条RLとLRによる結束羽状縄文が施されている。2は口縁部に小ぶりの突起と取手状の貼付を有する深鉢形土器である。突起部にはRLの縄線文が施された粘土紐が貼付されている。3は口縁と胴とで縄文の条の傾きが異なる小型の土器である。4は魚の脊椎骨を回転施文した魚骨文の施された

土器で、口縁の突起部は欠失している。

5～7、9～11、13は口縁に山形突起を有する深鉢である。うち、口唇部に入る刻みは13だけが棒状の施文具、それ以外が縄による。7には無地の粘土紐と沈線文、9には取手状の貼付と沈線文も施されている。8は縦に沈線文が施された小型土器の口縁部である。断面が尖り気味の口唇部には爪のような刻みも施されている。10は突起部の内外面に粘土紐の貼付が施され、器面には平行する沈線文も施されている。11は突起が低く地紋の縄文は条が水平気味に施され12は口縁部が僅かに肥厚する平縁の深鉢である。器面にはRの撚糸文が全面に施されている。13も口縁が僅かに肥厚するもので、胎土中には細かい砂粒が多く含まれている。14は魚骨文が施される大型の深鉢形土器である。器壁が厚く、口唇部にも魚骨が回転施文されている。15はLRの縄線文が横環する平縁の口縁部である。

16は口縁部に太い繊維を強く撚ったR撚糸文を2列施した平縁の口縁部である。地紋は一段無節Rを回転施文したもので、口唇の内面側が丸く研磨されている。底部は厚底で径が小さく内底が丸みを帯びている。17は器面に縦の条痕のある口縁部である。18は器壁の厚い口縁部で口唇部にも施文されている。19は口唇直下に縄線文の施された口縁部で器壁は薄く胎土は硬い。20は円形刺突文の施された貼付帯を有する口縁部である。口唇直下にはLRの縄線文、その下の器面には沈線文が施されている。CH-17-4と同一個体である。21は研磨された無文帯の下位に刺突文の施された貼付帯を有する口縁部である。22は口縁部にLRの縄線文2本が施された口縁部である。23は肩部に先細りの施文具で横からの刺突を施した貼付帯が横環する滑石土器の深鉢である。加えて上半部の器面には縦横を基調とした沈線文が施されている。24はLRの縄線文を伴った太い貼付が縦横に施された大型深鉢形土器の口縁部である。25は撚の緩んだ太いLRの縄文が施された平縁の口縁部である。

26は0段多条RLの縄文が施された大型の深鉢である。口縁部に幅の狭い肥厚帯があり、その部分は条の傾きが異なっている。27も口縁部の地紋に変化を付けた深鉢で、胴部には縦に回転施文されたLRの縄文と綾絡文が施されている。28はバンド状の太い貼付帯が横環する深鉢胴部である。貼付帯を含む下位の器面には2段単節LR、それより上位には0段多条LRの縄文が施されている。29は所謂「アルファベット文」が施された深鉢胴部片である。地紋は縦の綾絡文を伴うLRの縄文で、その上から施された2本の沈線の間地紋は磨消されている。大木10式土器に類似する。30、31は沈線文の施された胴部である。

32～46は底部である。32は角の明瞭な底部で、器面は横方向に研磨が施され、内底は鈍い光沢のある黒色の丸みを帯びたものである。33は無文の小型土器の底部である。34は厚底で器面に浅く抉るような無文部を有する。35は下端の張出が比較的大きい。36は小径で厚底の底部で、内底が丸みを帯びる。37はLRの原体で条が水平気味になる縄文が施された大型土器の底部である。38の器面には結束羽状縄文が施されている。39は下端の角が明瞭で内底が丸みを帯びたもので、器面には縦方向の条痕が見られる。40は器面にRLの原体を縦方向に回転施文する縄文を整然と施している。41は底面にも地紋の0段多条RLが施されている。42は底面にも太いRLの縄を施文した大型土器の底部である。僅かに上げ底を呈し、胎土には砂粒が多く含まれている。43も胎土に砂粒を多く含むもので、底面には網代状あるいは笹の葉のようなものを縦横に重ね敷いたものの文様が認められる。器面の文様は不明瞭だが撚糸文と考えられる。

44は底部に近い器面にLRの縄線文を2条施した大型土器の底部である。僅かに上げ底を呈している。45は小型土器の底部、46はバンド状の太い貼付帯が施された大型土器の底部である。

47～49は石鏃、50は小型のポイント、51～55はスクレイパー、56、57は石斧、58はたたき石、59は小型の石錘、60～63は扁平打製石器、64は沈線状の凹みが描かれた石製品、65、66はⅢ群a類土器の

破片を利用した有孔土製円盤である。

67～77は集石1を構成する礫である。78～103は集石2、104～118は集石3の礫である。

時期 縄文時代中期前半、見晴町式土器の時期と考えられる。

(皆川)

CH-19 (図II-95・96. 図版I-20. 図版II-47・48・260. 表VI-4・5)

位置：O-69、P-69・70、Q-69・70

特徴 平面が卵形の竪穴住居跡である。CP-65・110・147と重複する。

床からは炉址、先端ピット、柱穴、周溝などが検出された。

炉址(HF-1)は比較的大きめの扁平円礫を炉石とする石囲炉である。CP-68に切られて一部が失われているが、石囲いの平面形は楕円になると思われる。各炉石は露出部が外側に開くよう短軸方向に埋め込まれていた。焼土の赤化は弱く層厚も薄い。

先端ピット(HP-1)は、卵形の竪穴の先端部壁際から検出されている。平面は不整の隅丸方形あるいは楕円形で、ほとんど掘り込みを持たず壙内東側に配列された4カ所の小ピットを有している。

支柱穴はHP-8・9・11・12の4カ所でいずれも壁際付近に配置されている。

周溝は壁際に沿って回るものが検出されている。

重複する遺構の内、炉址(HF-1)を切って検出されたCP-68の覆土内からは、石囲炉のものと考えられる炉石が出土しているのだが、掘り上げられたはずの炉石が図示したように本来の位置にあったかのごとく存在する。もちろん、偶然の可能性もあるが、一度移動したはずの炉石があまりにうまく連なる状況には偶然以上のもの感じざるを得ない。掘り出した時の炉石の配置を意図的に再現した可能性がある。

遺物 1～10が土器、11～14が石器である。

1、4は貼付帯を有する平縁の口縁部である。貼付帯にはLRの縄線文が施されている。4は貼付帯も縄文原体も大柄である。2、3は口唇上にも施文された平縁土器の口縁部である。5は緩やかな波状口縁と頸部に貼付帯を有する小型の深鉢である。口縁部は無文、貼付帯上には切っ先の尖った施文具による刺突文が施されている。底部はやや上げ底である。6は幅の狭い肥厚帯を有する口縁部である。7は口唇からその内面側にかけて研磨され丸み帯びた平縁の深鉢形土器である。LRの縄文を、口縁部では横位に胴部では縦位に施して条の傾きに変化をつけている。8はバンド状の太い貼付帯が施された大型土器の底部である。地紋は0段多条RLである。9は口唇断面が角形を呈する平縁の深鉢である。LRの縄文を、口縁部では横位に胴部では縦位に施して条の傾きに変化をつけている。

10はI群a類の日計式土器と考えられる口縁部である。尖り気味の口唇部には棒状の施文具による刻みが、器面には4本の沈線文が施されている。胎土は硬く、地紋はLRと考えられる。

11は石鏃、12はスクレイパー、13は扁平打製石器、14は砥石である。

時期 縄文時代中期後半、大自在B式土器の時期と考えられる。

(皆川)

CH-20 (図II-97～102. 図版I-21・90. 図版II-48～50・260. 表VI-4・5)

位置：O-70・71、P-70・71

特徴 平面が前半部で隅丸方形、後半部で円形の変則な形の竪穴住居跡である。CH37・42、CP-88・89と重複する。

床からは炉址、土壙、盛土、貼り床、柱穴を含むピット、周溝が検出されている。

炉址は複数が折り重なった状態で検出されている(HF-1～3)。すべて地床炉で層厚は薄く各焼

土の分層は明瞭とはいえない。

土壌は竪穴床面の南東側で重複した2ヵ所が検出された（HP-1・2）。新しいHP-1は平面が円形で深く掘り込まれており、太い柱穴のような印象である。HP-2はHP-1に半分ほど壊されており、こちらが古い。推定される平面は楕円形でHP-1よりも大きいものの掘り込みは浅い。

盛土はHP-1・2の北西側の縁に検出されている。平面形は幅広のU字状でV層の黄褐色粘土を使っている。この盛土はHP-1あるいはHP-2ともセットになるもので、所謂「中央ピット」や「先端ピット」など特殊な位置づけにある土壌と考えられる。

貼り床は炉周辺の一点波線の範囲で検出されている。汚れた黄褐色粘土の範囲なのだが、何度も踏まれた結果といった印象もあり明瞭は貼り床と言えない。

主柱穴は4ヵ所である。

重複する別の遺構としたCH-42、CP-88・89はその位置関係から当住居と一体となる可能性がある。
遺物 1～9が土器、10～17が石器である。

1、2は文様帯に比較的細目の粘土紐の貼付と撚糸文、縄の馬蹄形圧痕文が施された波状口縁部を有する深鉢形土器である。どちらも施文順位は「縄文→粘土紐の貼付→撚糸文→馬蹄形圧痕文→貼付上の撚糸の刻み」である。1は山形突起部の一ヵ所のデザインが他と異なる。3は口縁部に大きめの貼付4ヵ所と粘土紐を多数豆腐した平縁の深鉢形土器である。4は文様帯に器面と一体化した粘土紐の貼付と小動物あるいは鳥類の骨を用いたと考えられる刺突文が施された波状口縁部を有する深鉢形土器である。貼付上にはLの撚糸の圧痕文を密に施している。「縄文→粘土紐の貼付→刺突文→貼付上の撚糸圧痕」である。

5は文様帯に器面と一体化した粘土紐の貼付と撚糸文と小動物あるいは鳥類の骨を用いたと考えられる刺突文が施された波状口縁部を有する大型深鉢の口縁部である。貼付上にはLの撚糸の圧痕文を密に施している。「縄文→粘土紐の貼付→撚糸文→刺突文→貼付上の撚糸圧痕」である。6は粘土紐の貼付と縄の馬蹄形圧痕文が施された平縁の口縁部である。中段の粘土紐には横気味の撚糸Lが施されている。7は地紋に羽状縄文が施されただけの簡素な深鉢である。8は器壁が薄く口唇断面が角形の深鉢で、かなり細目の0段多条LRを口縁部では横位に胴部では縦位に施している。9はバンド状の太い貼付帯が施された底部である。

10は小型のポイント、11は原赤面を多く残す石錐、12は黒曜石製のつまみ付ナイフである。13はスクレイパー、14は複数のたたき面を有するたたき石、15は扁平打製石器、16は小型の扁平磨の側縁を使用したすり石、17は表面を削り取られたような太い筋状の凹みを複数備えた石製品である。

時期 縄文時代中期前半、円筒上層b式土器の時期と考えられる。（皆川）

CH-21（図Ⅱ-103・104、図版Ⅰ-22、図版Ⅱ-50・51・260、表Ⅵ-4・5）

位置：O-68・69、P-68・69

特徴 平面が楕円形と推定される小型で堀方の浅い竪穴住居である。CH16・35と重複する。

床からは炉址、土壌、ピット、貼床、盛土が検出されている。

炉址（HF-1）は中央付近に位置し、平面が小型の長楕円形で赤化の度合いは弱い。HF-1に接してすぐ右側には小さなマウンドがあり、その上からは大きめの礫石器が出土している。この礫石器を安定させる為の盛土と思われる。HP-1・2も炉址周辺で見つかった焼土公である。上に大型の礫が出していることから土壌の覆土は埋戻されていたと考えられる。HF-1、HP-1・2の周辺床面から南東に向かって広がる貼り床状の高質化した粘土範囲を検出した。踏み固められただけの物かもしれ

ない。

HP-3～5のピットは柱穴と考えられるも、その配置からは建物の構造を窺うことはできない。

本住居跡はCH-16よりも新しいと考えられるが、重複範囲はCH-16の調査で失われたと考えられる。またCH-34は更に新しい住居と考えられるも、CH-34のHP-1は本住居の先端ピットの可能性がある。

遺物 1～5が土器、6が石器である。1、2、4の胎土には海綿骨針が混入している。

1は細目で密着の弱い粘土紐の貼付と撚糸文と小動物か鳥類の骨を用いたと考えられる刺突文が施された口縁部である。貼付上にはLの撚糸の圧痕文を密に施している。施文順位は「縄文→粘土紐の貼付→撚糸文→刺突文→貼付上の撚糸圧痕」である。2は細目の粘土紐の貼付と撚糸文と縄の馬蹄形圧痕文が施された小型の土器である。貼付上にはLの撚糸の圧痕文を密に施している。「縄文→粘土紐の貼付→撚糸文→馬蹄形圧痕文→貼付上の撚糸圧痕」である。3は結束羽状縄文の施された大型の深鉢である。4は細目で密着の弱い粘土紐が口唇直下に施された小型の土器である。5は細目で密着の弱い粘土紐の貼付と撚糸文と鳥管骨と考えられる施文具を使った刺突文が施された口縁部である。貼付上にはLの撚糸の圧痕文を密に施している。施文順位は「縄文→粘土紐の貼付→撚糸文→刺突文→貼付上の撚糸圧痕」である。

6は大型の台石・石皿である。

時期 縄文時代中期前半の円筒上層b式土器の時期と考えられる。(皆川)

CH-22 (図II-105～115. 図版I-24・25. 図版II-52～58・261～263. 表VI-4・5・8)

位置 : L-77～79、M-77～79、N-77・78

特徴 平面が隅丸長方形あるいは舟形を呈する大型の竪穴住居跡である。

床からは炉址、焼土、貼床、土壇、柱穴、周溝などが検出されている。

炉址はHF-8～10が検出された。各中央付近にする地床炉で、HF-9が最も新しく、HF-8・10が旧炉址と考えられる。各熱による赤化が著しく、比較的長期間使用されたと考えられる。HF-7・8・11～14も床で見つかっており、大型住居の副次的な炉址の可能性がある。ただし、数が多く覆土からも複数の焼土が検出されていることからこれらが火災によって生成された可能性もある。貼床と考えられるものが図の一点破線で示した範囲で検出されている。高質化した粘土で、HF-8～10の炉址の南～西側を取り巻くように位置しており、炉址を挟んだ反対側からは検出されていない。

土壇はHP-1・9が検出された。HP-4もその可能性がある。HP-1はこの中でも大型の土壇である。床面長軸上の南東側に位置し、平面は楕円形あるいは角の丸い長方形である。深くしっかり掘り込まれ壇底には小ピットが1カ所見つかっている。覆土からは小型の完形土器が出土した。周溝との位置関係が所謂「先端ピット」を連想させる。平面図にはないがすぐ南東側には浅い皿状の凹みが検出されている。HP-9はやはり床面長軸上の支柱穴と考えられるHP-2・13の間から検出された。真上からは中型の礫が出土しており関係する可能性がある。HP-4も床面長軸上に位置しており、HP-9・4は所謂「中央ピット」の可能性もある。

柱穴は支柱穴が2軒分見つかっている。HP-2・3・5・6・8・13の6本柱のものとHP-7・11・14・26の4本柱のもので、前者の方が一回り規模が大きい。HP-24・25についても支柱穴あるいはそれに準じた柱穴で、配置から後者のグループの可能性もある。

周溝は壁に沿って回るものとその内側に回る物とが検出されている。後者が比較的明瞭で新しいと考えられ、これらは各時期の異なる重複する住居のものと推定される。

東側の竪穴壁際からは大型扁平礫4個が図示した状態で検出されている。大型礫を用いた住居の付

属施設の痕跡かもしれない。

覆土からはHF-1～6が検出されている。これらは堅穴の北西側に集まっており大型の礫も同じ面
で出土している。覆土中に生活面が存在した可能性がある。

南西側に隣接してCH-25が位置するが、形状や規模、土壌の位置など類似点が多い。

年代測定結果

23	IAAA-112184	タテ2C-5	CH-22床面	木炭	4,500±30
----	-------------	--------	---------	----	----------

遺物 1～45が土器、46～67が石器、68が石製品である。床出土の土器は10、12、16、17、21、28、
36、45である。1、2、5、6～13、16、18、22、25～27、31、35、42、44の胎土には海綿骨針が含
まれている。

1～4、7は沈線文が施されるものである。1は沈線文の他に突起部に浮き気味の細い粘土紐が施
された大型の深鉢形土器である。粘土紐上にはLの撚糸文、口唇上にはRLの縄の刻みが施されている。
2は深くてやや不安定な沈線で絵的な文様を器面に描いた小型の土器である。口縁部には山形突起一
ヵ所があった痕跡がある。地紋はRLを縦に転がした斜行縄文、口唇部には同原体の刻みが施されて
いる。

3は先端が平たい施文具による浅い沈線文が施された大型の深鉢形土器である。突起部と口唇付近
には細目の粘土紐の貼付が施されている。4は2種類の沈線文が施された小型の土器である。横環す
る口縁部と胴部には先端の平たい施文具による浅い沈線、縦位には細い棒状の施文具による沈線が施
されている。器壁は薄く、口唇部には深い沈線が入っている。5、6は小型の土器である。

7は頂部に盃状の突起を有す深鉢で、波状の沈線文の他に縦の取手状貼付と粘土紐も施されている。
8は突起部に貼付と撚糸文が施された深鉢で、底部付近は縦方向に研磨が施されている。9、10は小
突起の内面側に細い粘土紐を逆「つ」の字に貼付した小型の土器である。

11～14は山形突起を有する深鉢である。11は突起部に貼付と貫通孔を伴っており、口唇部直下には
粘土紐も施されている。12は突起部にRLの縄線文の施された大柄な貼付を有しており、底部は厚底
である。13は口唇にRLの縄で刻みが施されている。14は山形突起が三ヵ所の小型土器である。16は
注ぎ口が大きく突き出ている片口土器である。口唇部にはRの撚糸による刻みが密に施されている。
器面は凹凸が顕著で表面の剥落も多い。

17～19、21～24は口縁部文様帯に粘土紐の貼付と撚糸文と馬蹄形圧痕文が施された波状口縁を有す
る深鉢である。17は器面と密着した粘土紐が貼付されたもので、口唇部にはLの撚糸が密に押擦され
ている。施文順位は「縄文→粘土紐の貼付→撚糸→馬蹄形圧痕→粘土紐上の撚糸の刻み」である。18
は口縁の肥厚部に粘土紐の貼付と馬蹄形圧痕が施されたもので、粘土紐は総じてやや細く器面への密
着が弱い。19、20は口縁の肥厚部に撚糸文中心の施文がなされている。21、22は小型土器の口縁部で
ある。23は器面に瘤状の貼付が施された山形突起部で、2ヵ所の突起は各文様の構成が異なる。24は
盃状の頂部を有する山形突起である。鋸歯状の粘土紐の貼付が口唇部と胴部に施されている。後者は
地紋上に貼付され、なおかつ粘土紐に沿った撚糸文も施されている。25は粘土紐が羽状縄文の地紋の
上に貼付された深鉢の胴部～底部である。底面には比較的大きな凹みが認められる。

26、27は山形突起部と口縁部に細い粘土紐が貼付された土器である。刻みや回転施文された文様は
RLの原体による。27は突起が失われたもので、突起下位の粘土紐上には縄線文が施されている。28
は口唇部に2段単節RLの原体を使った刻みが施されている。29は3段複節RLRの原体で、器面や口唇
部、貼付上に文様を施した深鉢である。30～32は沈線文が施されたものである。30は山形突起の頂き

に撚糸Lが押捺された小型の土器である。沈線はかなり雑に施されている。31は口唇部に沿って刺突文が施された小型の土器である。器面は地紋と沈線の上から軽い研磨が施されている。32は沈線文に加えて先端に幅の狭い平坦面を持った施文具による斜め横からの刺突列も施されている。33は口唇部に刺突文の施された浅鉢口縁部である。34は山形突起に丸ボタン状の貼付2ヵ所が施された深鉢形土器である。上げ底の底面には網代の文様が写し取られている。口唇部の縄の刻みはLRによる。

35～44は底部である。35は太い粘土紐の貼付が施された器壁の厚い胴～底部である。地紋は0段多条LRとRLの結束の羽状縄文である。36、37は器面に縦の軽い研磨が施されたものである。38、39、40、44は横に研磨されている。

45は横の貫通孔が穿たれた土器底部付近である。

46は石鏃、47は両面加工のポイントあるいはナイフで、尖頭部が見られないことなどから土掘り具の可能性もある。48～50がスクレイパーで、48は縦長剥片を使ったもの、50は背面に光沢部を有している。51は異形石器である。52は石斧、53、54はたたき石、55は北海道式石冠、56は断面三角形のすり石、57はすり石、58～67は台石・石皿で、65は大型石錘の扁平部を再利用したと考えられるものである。

68は全体に研磨を施した石製品で、左右の肩部に貫通孔が穿たれている。

時期 縄文時代中期前半、円筒上層b式土器の時期と考えられる。(皆川)

CH-23 (図Ⅱ-116. 図版Ⅰ-23. 図版Ⅱ-59・263. 表Ⅵ-4・5)

位置：M-81・82、N-81・82

特徴 平面形は楕円と推定される掘り込みの浅い小型の竪穴住居跡である。CH-24と重複するが、新旧は定かではない。また、竪穴の南端部も包含層調査で失われている。

床面からは炉址、土壌、ピット、貼床、周溝が検出されている。

炉址(HF-1)は浅い皿状の掘り込みで火を使用した地床炉である。赤化は弱く炉の使用時間は短かったと推定される。貼床はHF-1を取り巻くように検出された。硬質な黄褐色粘土で、炉の熱による変化あるいは踏み固められた範囲の可能性もある。土壌(HP-)は、貼床範囲の東端に検出された。径は比較的大きいが掘り込みは大方浅く底は丸みを帯びている。壙底からは土器と石器が出土している。炉址と貼床の位置関係から所謂「中央ピット」あるいは「先端ピット」の可能性もある。HP-2～4・7は柱穴と考えられる。HP-5・6は炉址(HF-1)に関連する可能性がある。

周溝は不明瞭なものが壁際から検出された。

遺物 1は沈線文が施された波状口縁の深鉢形土器である。山形突起部にはLの撚糸文と取手状の横の貼付が施されている。

2は石鏃、3は側縁などを使用したたたき石である。表面に敲打痕が多く認められることから石棒の未製品なのかもしれない。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。(皆川)

CH-24 (図Ⅱ-117～126. 図版Ⅰ-23. 図版Ⅱ-59～61・264. 表Ⅵ-4・5)

位置：K-80～81、L-79～82、M-80～82

特徴 平面が楕円形あるいは隅丸長方形と推定される大型の竪穴住居跡である。竪穴の東側は地滑りで斜面下に向かって床面が段段に変形している。CH-24・27と重複し、CH-24との新旧は不明、CH-27は当住居よりも新しい。

床面からは炉址、焼土、土壙、ピット、周溝、集石が検出されている。

炉址（HF-1）は堅穴の中央で検出された不整の円形を呈する地床炉である。重なるように集石が点線の範囲から見つかっている。焼土は西側の壁に近い位置から小さなものが見つかっている（HF-2）。床面が弱く赤化している。

土壙はHP-23が所謂「中央ピット」の可能性もある。掘り口が広く下は柱穴状になっている。覆土1層からは炭化物と土器片が多数出土している。また、覆土2層は埋戻された土と考えられる。断面図では更に下位まで伸びているがその覆土の暗褐色土は自然堆積の可能性もある。

主柱穴はHP-1・3～6が検出された。地滑りで1本が未検出だが6本柱の構築物だったと考えられる。周溝は2本見つかっている。壁際に1本が回り、その内側にもう1本が部分的に見つかっている。
遺物 1～15が土器、16～28、31～161が石器、29、30が石製品である。

床出土の土器は4である。3、6、7、9、10、14、15には海綿骨針が含まれている。

1、2は文様帯に粘土紐の貼付と撚糸文と馬蹄形圧痕文の施された深鉢形土器である。1は密着が弱く細い粘土紐が施されている。また、馬蹄形圧痕文が優位で突起部にも施されている。2の粘土紐は太く器面とも良く密着している。やや肥厚した口唇部には撚糸Lが密に施されており、器壁は厚い。器面の三本の撚糸は各R、L、Rが用いられている。3は粘土紐が貼付された山形突起を有し、器面には縦の取手状の貼付と沈線文が施された深鉢である。粘土紐にはLRの縄線文が施されており、口唇部の刻みも同原体による。

4は口縁の肥厚帯に鋸歯状の撚糸文と粘土紐の貼付が施された平縁の深鉢である。

5は低めの山形突起を有し器面に太目だが密着性の弱い粘土紐を曲線的に貼付した大型の深鉢である。3条の撚糸圧痕文は不整列な部分が目立つ。口唇部と器面の一部に馬蹄形圧痕文も施されている。地紋の縄文は結束した一方の縄の撚が緩んでいる。6は突起の頂部に広めの平坦部を有する小型土器の口縁部である。器面には極細の繊維を使った三段複節RLRの縄文が施されている。7は細い粘土紐の貼付とLとRを並べた撚糸文が施された深鉢である。8はRLの地紋の上に無文の細い粘土紐を施した突起部分で貫通孔を有する。9はRLの地紋の上に同じ縄文の施された細目の粘土紐が貼付された口縁部である。10は器壁の薄い底部である。11は器面に横位の研磨が施された底部である。

12は地紋の結束羽状縄文の上に粘土紐が貼付された深鉢である。13は頂きの平坦な小型の突起とその直ぐ下に瘤状の丸い貼付を有した平縁の深鉢口縁部である。撚糸で密に刻まれた粘土紐の貼付は無文部に施されたものである。14は0段多条の原体による結束羽状縄文が施された深鉢胴部である。15は小型の底部である。

16は両面加工のポイント、17、18は石鏃、19、20はスクレイパー、21は石斧、22、24はたたき石、25は北海道式石冠、23、26はすり石、27は扁平打製石器、28は台石・石皿である。

29、30は上端に研ぎ出されたような稜が作出された石製品である。29は石冠様石製品類似の形態を有している。30は3点に割れて出土しており、石冠様石製品の未製品かもしれない。

31～89は集石1、90～131は集石4、132～144は集石3、145～161はHP-3出土の礫である。

時期 縄文時代中期前半、円筒上層b式土器の時期と考えられる。（皆川）

CH-25（図Ⅱ-127～133、図版Ⅰ-26・27・29、図版Ⅱ-62～65・265、表Ⅵ-4・5・8）

位置：N-78・79、O-77～79、P-78

特徴 平面が舟形あるいは隅丸長方形と推定される大型の堅穴住居跡である。

床からは炉址、土壙、盛土、柱穴、周溝などが検出されている。

炉址（HF-1）は竪穴中央部で検出された平面が不整の楕円形の大型の地床炉である。炉址の西側には図示したような低い盛土状のものが検出されている。

土壇はHP-1が検出された。竪穴長軸上の壁と炉址（HF-1）の中間に位置し、平面は不整の円形で深く丸みのある壇底には複数の小ピットが見つかっている。小ピットの形状は先細りで深さは一定でない。遺物は複数の円礫が壇底から出土している。HP-1の周りには平面形が「C」字状の盛土が検出されている。所謂「中央ピット」あるいは、周溝との位置関係で「先端ピット」の可能性もある。HP-4も2カ所の支柱穴HP-2・5の間に位置することから中央ピットの可能性もある。

盛土は前述したが、炉址（HF-1）とHP-1に伴うように2カ所が検出されている。

支柱穴はHP-2・5・7・11で、HP-8・10もこれに加わる可能性があり、4本柱か6本柱の住居と考えられる。また、HP-6・16も一時期の支柱穴と考えられ、建て替えあるいは住居の重複が考えられる。周溝は大きく2本である。壁際を回る物とその内側でHP-1に向かうもので、後者が新しいと考えられるも同じ頃の可能性もある。

東側に隣接してCH-22が位置するが、形状や規模、土壇の位置など類似点が多い。

遺物 1～27が土器、31～43が石器、28、29が土製品、30、44が石製品である。

床出土の土器は10、12、14、24である。4～9、12、20、25、27には海綿骨針が含まれている。滑石土器は24が出土している。

10、11、15、16、18は文様帯に太い粘土紐の貼付と3本並列の撚糸文、馬蹄形圧痕文の施されるもの、2、4、17、21は細い粘土紐の施されるもの、1、5、19、20は沈線文の施されるもの、3、6、7、8、22は山形突起を有し文様の少ないものである。23～27が底部である。

1は沈線で連なった弧を描が描かれた深鉢で、形状の異なる突起部を有している。器面には横と縦の取手状の貼付が施されている。2は細く浮き気味の粘土紐を貼付した小型の深鉢である。頂部が僅かに窪んだ突起の下位には「Y」字取手状の貼付が施されている。口縁部内面にも粘土紐の貼付が施されている。3は突起部に焼成前の貫通孔とRL縄線文の施された貼付を有する深鉢である。4は口唇に指頭状のもので連続する凹みが施された平縁の深鉢である。底部は上げ底気味である。

5の沈線文は先端の平坦な施文具が使われており、地紋はLRの細い原体による。6は口縁の内面側に縦の貼付を施したものである。7は突起の一つに粘土紐を配した無文の深鉢である。8も造形の異なる突起部を有している。一方には一突起にRL縄線文のある粘土紐の貼付、もう一方は低い2つの突起にRL縄線文が施されている。9は口唇の肥厚部にRLの刻みが施された滑石土器の深鉢である。軽量で胎土が柔らかい。

10は口唇部に撚糸Lが密に施された大型の深鉢口縁部で、器面の撚糸はL、R、Lの順に並ぶ。11、15、16も口唇部に撚糸Lが密に施された深鉢口縁部である。器面の撚糸は11、15がL、R、L、16がL、L、Lの順に並ぶ。16は焼成前の貫通孔を有している。12は半裁した鳥管骨のような施文具で口唇部に斜め方向からの刺突文を施した小型土器である。口唇直下には撚糸の刻みが施された粘土紐も貼付されている。13は口縁が開き気味の口縁部である。14、17はLRの縄文が施された粘土紐が地紋の上に貼付されている。19は突起部にも縦の沈線文が施されたもので口唇部には縄文も施されている。18は口唇部に粘土紐の貼付と3列の撚糸文が施された平縁の深鉢口縁部である。文様帯の粘土紐は曲線的に配されている。20は施文具の内湾した面を用いた沈線文で鋸歯状などの文様を器面に施している。口唇部には爪のようなもので刻みが施されている。21は特に細い粘土紐を使ったもので、口唇上の刻みは地紋と同じRLの原体による。22は突起に撚糸Lが施される。23はLRの縄文が施された器壁の薄い底部である。24は滑石土器、25は小型土器の底部である。26は条が横走するLRの縄文が施されている。

31、32は両面加工のポイントあるいはナイフ、33～35は石鏃、36～38は光沢部を有するスクレイパーである。39はたたき石、40は裏面も使用した凹石、41、42が台石・石皿である。43が棒状礫である。

30は石冠様石製品である。上端に研ぎ出したような稜が作出されている。44は棒状の石製品と考えられるものである。

28は土偶の上半身で、両方の肩に貫通孔が備わっている。29は中央に貫通孔が施された土製品である。棒に装着する「はずみ車」の様なものかもしれない。

時期 縄文時代中期前半、円筒上層b式土器の時期と考えられる。 (皆川)

CH-26（図Ⅱ-134～140、図版Ⅰ-28・29、図版Ⅱ-66～69・266・267、表Ⅵ-4・5）

位置：N-76・77、O-76

特徴 平面が楕円形あるいは隅丸長方形の比較的小型の竪穴住居跡である。

床からは炉址、土壇、貼床、柱穴、周溝が検出されている。

炉址は中央付近で検出された焼土（HF-4）で平面が楕円形の地床炉である。

土壇は2基が重複して見つかった（HP-1・2）。HP-1は平面が小型の円形でHP-2はHP-1よりも古く、一回り大型である。各壇底からは小ピットが検出されているが、より小径なのはHP-1、それより大きなものはHP-2に伴う物と考えられる。各特徴と炉址との位置関係から所謂「中央ピット」、あるいは、周溝との位置関係からは「先端ピット」の可能性はある。HP-13も「中央ピット」の可能性はある。

貼床は硬化した黄褐色ロームで、炉址（HF-4）とHP-1・2の周辺で検出された。同心円状の細かいラックが観察される。

柱穴のうちHP-3・4・6・7・9・10の6本は竪穴に伴う主柱穴と考えられる。また、HP-5・11も同規模の柱穴であるが、これらは建て替えあるいは重複する住居遺構のものと考えられる。

周溝は大凡三本が見ついている。竪穴に伴う壁際を回る物と、それよりも一回り内側を回りHP-1に繋がるもの、そしてHP-2に繋がる最も小径のものである。最後の周溝は古く一部しか残存していない。

覆土中からはHF-1～3が検出されており、これらは遺棄されるなどの二次堆積と考えられる。また、南東方向から遺構の掘上げ土（CH-22?）と考えられる黄褐色土が流れ込んだ様子で検出されている。

土壇の重複と複数の主柱穴と周溝の存在から住居の建て直しがなされたと考えられる。重複の可能性もある。

年代測定結果

24	IAAA-112185	タテ2C-6	CH-26床面	木炭	4,570±30
----	-------------	--------	---------	----	----------

遺物 1～16が土器、17～28が石器、29が石製品である。

床出土の土器は2、4、6～8、10である。1、3、8、10、12には海綿骨針が含まれている。

1、2、4、6、7、9は文様帯に粘土紐の貼付と馬蹄形圧痕文あるいは刺突文の施されるもの、5、8は細い粘土紐の施されるもの、は文様帯を持たないもの、15、16は沈線文の施されるもの、3、10～13、15は山形突起を有し文様の少ないものである。

1は「Y」字の取手状貼付と密着の弱い細目の粘土紐の貼付が施された平縁の深鉢形土器である。展開図にも示したが、文様帯には三種類の文様が範囲毎に分かれて施されている。小動物あるいは鳥

類の骨と考えられる施文具を使用した三角形の刺突文と小さめの馬蹄形圧痕文が占める範囲が広く、L、R、Lの3列の撚糸文の範囲最も範囲が狭い。口唇には部分的に撚糸Lの圧痕文が施されている。2は太い粘土紐が貼付された小型の深鉢で、中段の粘土紐は縦の短い貼付が3カ所に施されている。また、口縁の粘土紐は内面にも及んでいる。3は特定の突起にだけ細い粘土紐が貼付された小型の深鉢である。

4は比較的太目の粘土紐と取手状の横の貼付が施された平縁の深鉢形土器である。胴部では結束羽状縄文の上に貼付された鋸歯状の粘土紐も認められる。文様帯には小動物あるいは鳥類の骨を用いたと考えられる施文具による斜めの刺突文が施されている。5は細目で密着の弱い粘土紐と取手状の縦の貼付が施された深鉢形土器である。口縁には低い凸部があり、その内面側には逆「つ」状の粘土紐が貼付されている。胴部には結束羽状縄文の上に貼付された鋸歯状の粘土紐が認められる。

6はやや細目の粘土紐と張り出した瘤状の貼付が施された平縁の深鉢形土器である。文様帯には4列の撚糸文Lと鳥管骨などを半裁加工した比較的幅の狭い施文具による刺突文が施されている。7は細い粘土紐と取手状の縦の貼付が施されたほぼ平縁の小型形土器口縁部である。文様帯には曲線的な粘土紐とともに幅の狭い器具による刺突文が施されている。8は狭い文様帯に2列の撚糸Lも施されている。9は文様帯に3列(L・R・L)の撚糸文も備わっている。肥厚した口唇には細い撚糸Lが密に押擦され、突起部にも馬蹄形圧痕文が施されている。総体では馬蹄形圧痕文が優位な文様構成である。10はR L原体2本を結束した斜行縄文が施された深鉢である。11は結束羽状縄文が施された小型の深鉢である。12は器面に条が横走るLRの縄文が施されている。13は器面の左側に地紋のない部分が見られる。

15は大型の取手状貼付を有する深鉢口縁部である。取手状貼付に施された多数の刺突文は先端が尖った施文具によるもので、沈線文は先端が平らな施文具によって深くクッキリとしたものが施されている。15は口唇部に縄の刻みが施された器壁に薄い深鉢である。16は太い沈線文が豪快に施されている。

17は石鏃、18～20はスクレイパーで、18、20には表背面に光沢部が認められる。19は厚みのある剥片を片面加工したもので、下端部に使用の痕跡が窺われる。土掘り具の可能性もある。21はたたき石、22～24は台石・石皿である。24はCH-31覆土1層のものと接合している。25は砥石、26～28は扁平打製石器である。29は側縁に黒色の部分が見られる異形の礫である。石製品の可能性もある。

時期 縄文時代中期前半、円筒上層b式土器の時期と考えられる。

(皆川)

CH-27 (図II-141～143. 図版I-36. 図版II-70・267・268. 表VI-4・5)

位置 : L-80、M-80

特徴 平面が卵形を呈する比較的小型の堅穴住居跡である。CH-24と重複し、かつ堅穴東側の壁は地滑りで失われている。

床からは炉址、土壙、盛土、覆土からは集石が検出されている。

炉址(HF-1)は堅穴中央付近に位置する小型の焼土で、赤化が弱くごく短期間の使用が考えられる。土壙(HP-1)は南南東の壁際に位置し平面は楕円形で壙底は丸みを帯びている。壙底付近からは小型の土器と礫などが出土している。覆土は黄褐色粘土粒が混じる暗褐色土で人為的に埋戻されていると考えられる。HP-1の上位の覆土中からは大型礫4個からなる集石(HS-1)が土器と共に検出されており、意図的に置かれたと考えられる。HP-1は堅穴廃棄後に掘り込まれた可能性もある。盛土はHP-1と炉址(HF-1)の間で見つかった楕円形の高まりである。地滑りが原因で床が変形した可能性もある。柱穴は明瞭な物は検出されなかった。

遺物 1～3が土器、4～8は石器である。

1～3の胎土には海綿骨針が含まれている。1は突起部に粘土紐が貼付された深鉢である。粘土紐上にはRLの縄線文が施されており、口唇部の刻みと地紋も同原体による。底部は上げ底である。2は先端が平らな施文具による深い沈線文が施された深鉢である。口唇部にはRLの原体の刻みが施され、山形突起が備わっていた可能性がある。3は正面とした突起が籠状、もう一方が山状の深鉢である。口唇部にはRLの縄で刻みが施されている。

4は石鏃、5はスクレイパー、6～8は台石・石皿である。

時代 縄文時代中期前半、見晴町式土器の時期と考えられる。 (皆川)

CH-28 (図Ⅱ-144. 図版Ⅰ-36. 図版Ⅱ-70・269. 表Ⅵ-4・5)

位置：K-75、L-75・76

特徴 平面が楕円形と推定される小型の堅穴住居跡である。地滑りによる地割れで二分され床面は比高差がかなり見られる。床からは炉址、柱穴が検出されている。

炉址（HF-1）は地床炉で、中央からやや東に寄った位置から見つかった。ちょうど地割れの上になるため位置や形状は本来のものを止めていない。柱穴は2カ所が見つかった。

近接してCP-132が位置しており、関連する可能性が高い。

遺物 1～4が土器、5が石器である。

1、2の胎土には海綿骨針が含まれている。1は三カ所の山形突起を有する小型の土器である。正面とした突起の下位に三角状の刺突3カ所が施されている。2はLの原体を回転施文した胴部である。3は結束の羽状縄文が施された胴部である。4は深い沈線文と先端が凸凹の施文具による円形刺突文が施された胴部である。

5は台石・石皿である。

時期 縄文時代中期前葉、見晴町式土器の時期と考えられる。 (皆川)

CH-29 (図Ⅱ-145～149. 図版Ⅰ-30・31. 図版Ⅱ-71・72・269・270. 表Ⅵ-4・5・8)

位置：L-71・72、M-71・72、N-71

特徴 平面がやや縦長な卵形の堅穴住居跡である。

床からは炉址、土壇、柱穴、周溝が検出されている。

炉址（HF-1）は堅穴先端部に大きく寄った位置から検出された。平面は楕円形で周囲は小型の礫が回る石囲い炉である。各礫の間隔は比較的広く、楕円形に回る礫には長軸の左右両側に空白部がある。ここからは礫を埋め込んだ痕跡が検出されていることから、意図的に抜き去った可能性がある。

土壇のうち卵形堅穴の先端部近くで検出されHP-2は「先端ピット」の可能性が高い。平面は小型の円形で壇底はマルク小ピットが5カ所設けられている。覆土は自然堆積と考えられる黒色土の単層である。付近には小ピットが多数設けられており、これらもHP-2に付属する可能性がある。あるいは、本数が多く範囲が広いことから小ピットだけの土壇を伴わないタイプの「先端ピット」の可能性が考えられる。HP-37はHP-2に近接する古い土壇である。平面はHP-2よりも一回り大きい不整の楕円形で壇底は東側が深くなっている。覆土の大半は埋戻し土で特に3層は床同色の粘土を使い蓋をするような状態であった。HP-37は古い「先端ピットの」可能性がある。

柱穴はHP-21・31・34・41とHP-19・23・32・36の組み合わせが支柱穴と考えられる。HP-22・33もその可能性がある。

周溝は2本である。大凡壁際に位置するが、先端部においてだけHP-2の方に向かうものとそのまま壁際を回るものとに分かれている。

炉址は1カ所であるが先端ピットや支柱穴のセット、周溝が複数の住居の痕跡を示している。先端部の変更を中心とした改築や建て替えが行われたものと考えられる。

覆土2層から一括土器、フレイク・チップ集中、大型礫の集中などが検出されている。いずれも竪穴の中央部辺りに集中しており、石器制作などの作業を行った生活面があったと考えられる。

遺物 1～31が土器、32～47が石器、48が土製品である。

1、7、14、27の胎土には海綿骨針が含まれている。床出土の土器は1～6、8～10、12、13、25～27である。

1～3は口縁部に粘土紐の貼付を施したものである。1は地紋の0段多条の結束羽状縄文の上に粘土紐を貼付した口縁部である。粘土紐の上には撚糸Lの深い刻みが施されている。2は密着の弱い粘土紐と張り出した瘤状の貼付は施された口縁部である。粘土紐には爪先のような刻みが、器面には緩く湾曲した縦長の刺突文が施されている。3は馬蹄形圧痕文も施されている。4は口唇部に刺突文の施された口縁部である。5は上げ底の小型の土器である。6は突起部に2列一組の撚糸Lが施された口縁部である。7は突起部に貫通孔が並ぶ口縁部で、器面には2本一組の沈線で絵的な文様と思われるものが描かれている。

8はLRの縄文が施された滑石土器の口縁部である。口唇部の内面側は研磨が施され丸みを帯びている。9は貼付帯上に刺突文が施された滑石土器の口縁部である。地紋はLRを縦に転がした斜行縄文である。10は肥厚した口縁部に細い粘土紐を蛇行させて貼付した口縁部である。11は先割れした低い突起部と口唇直下に縄線文2本が施された口縁部で、地紋は条が横のLRの縄文である。12は滑石土器の胴部である。刺突文のある貼付帯と、沈線文が施されている。13は肩部にLRの縄線文2本が施されている。

14は断面が角形の口唇部と僅かに肥厚する小突起を有した深鉢形土器である。器面には撚糸Rを交叉させた網状の文様が施され、内面には制作時の輪積みの痕が明瞭に残されている。胎土には海綿骨針が含まれている。15は口唇直下に細い0段多条RLの縄を深く押捺した器壁の薄い深鉢である。16は肩部の貼付帯に爪先状の施文具による刻みが施された小型土器の口縁部である。口縁部に小さな突起を有し、地紋はLRの原体で条が横になる縄文が施されている。17も口唇直下に縄線文が施される小型土器である。18は口縁部が少し肥厚した深鉢である。19は器壁の薄い鉢形土器で、口縁部と胴部では条の向きが異なる地紋が施されている。縄文時代後期後葉の可能性もある。

20は貼付帯に刺突文の施された滑石土器の口縁部である。21は撚糸Rを軸に巻いた絡条体圧痕文を口縁部に2本施したもので、器面は同じ原体を縦に回転施文している。22は口縁部に幅の狭い肥厚帯を有した口縁部で、口唇の内面側が研磨され丸みを帯びている。23は口縁の肥厚帯に斜めの刺突文が施されたものである。24は太い原体による縄文が施されたものである。

25～30は底部である。25～27、29は器面に横位の研磨が施されている。28、30は厚底で底部内面が丸みを帯びている。器面には条が横になるLRの縄文が施されている。31は厚底で小型土器の底部である。

32は加工の粗雑な両面加工のポイントである。33は14の一括土器と一緒に出土した石鏃である。34、35はつまみ付ナイフ、36～38は表背面に光沢部のあるスクレイパー、39は両面加工の異形石器である。40～43はたたき石、44が扁平打製石器、45、46が台石・石皿である。47が棒状の礫、48は表面に細かい刺突が施された土玉である。

時期 縄文時代中期後半、大安在B式土器の時期の可能性がある。

（皆川）

CH-30（図Ⅱ-150～166、図版Ⅰ-32・33、図版Ⅱ-73～84・271、表Ⅵ-4・5・8）

位置：N-80・81、O-79～81

特徴 平面が隅丸の長方形と推定される竪穴住居跡である。重複するCH-40により竪穴の約半分が失われている。

床からは炉址、土壇、盛土、柱穴、周溝が検出されている。

炉址は新旧2ヵ所（HF-1・2）で、いずれも地床炉である。HF-2は範囲が広く赤化が強い。

土壇はHP-1が検出されている。竪穴平面の長軸南東側に寄った地点に位置し、平面は円形で壇底の平坦部には焼土（HF-3）が入っていた。埋戻されたと考えられる覆土からは炭化材、一括土器、大型礫を使った石皿などが出土している。また、HP-1の南東側に接して盛土が設けられている。HP-1は所謂「中央ピット」と考えられる。

柱穴はHP-4・5・8・9・11・12の6本が主柱穴と考えられる。周溝は竪穴の壁際に沿って1本が検出されている。竪穴の東端部で周溝のずれ違いがあり、同様のものがCH-33にも見られる。

年代測定結果

25	I AAA-112186	タテ2C-7	CH-30HP-1	木炭	4,560±30
----	--------------	--------	-----------	----	----------

遺物 1～59が土器、60～74が石器、75が石製品である。

床出土の土器は5、7、9～11、14、16、25、26、28、31～33、38、39、46、51、57、59である。

1～5、12、30、32、47が文様帯に粘土紐の貼付と撚糸文、馬蹄形圧痕文、刺突文が施されたもの、6～11、13～18、26～29、33～37、40～45、48が地紋の上に粘土紐が貼付されたもの、19～24、31、39、49、50が地紋だけのもの、52、53、55が沈線文の施されたものである。2、6、7、9、10、14、15、18、19、21、23、26～28、31～33、36、37、45、46、48、49、51は胎土中に海綿骨針を含んでいる。

1は細く密着の弱い粘土紐の貼付と鳥管骨状の施文具による円形刺突文が施されたもので、文様構成が異なる突起部がある。文様とは関係しないと考えられる一本の沈線が文様帯に施されている。地紋は0段多条の結束羽状縄文である。2は密着の弱い粘土紐の貼付と小動物あるいは鳥類の骨を用いたと考えられる施文具の刺突文が施されたもので、粘土紐の上にはそれに沿った撚糸文が施されている。突起部には文様構成が異なるものもある。胴部に施された鋸歯状の粘土紐は地紋の上に貼付されている。地紋は0段多条RLとLRの結束羽状縄文である。

3は太目ではあるが密着の弱い粘土紐の貼付と小動物あるいは鳥類の骨を用いたと考えられる施文具の刺突文が施され土器である。文様構成が異なる突起部が1ヵ所ある。4は太目で撚糸Lが密に施された粘土紐の貼付と馬蹄形圧痕文が施され土器である。文様帯は比較的狭く胴部の地紋はRとLRの結束羽状縄文である。5は密着の弱い粘土紐の貼付と不整列な撚糸文（上からL・L・R）が施され土器である。文様帯は比較的狭く胴部の地紋はRとLRの結束羽状縄文である。

6は地紋の上に細く密着の弱い粘土紐が貼付された大型の深鉢である。口縁には4ヵ所の低い山形突起と取手状の横の貼付が施されており、どちらも大柄で特に2ヵ所の突起部では「つ」や逆「つ」状の意匠が内外面に施されている。7も「つ」や逆「つ」状の意匠が突起部の内面側に粘土紐で施された深鉢である。地紋は0段多条RLとLRの結束羽状縄文で、その上に無文の細い粘土紐で弧を連ねたような文様を施している。8は供に0段多条のRLとLRの結束羽状縄文の地紋の上に細目の粘土紐

が貼付された大型の深鉢である。口縁には貫通孔のある4ヵ所の山形突起と有している。

9は蛇行する粘土紐の施された大柄な縦の取手状貼付を有する深鉢である。地紋はLRと0段多条RLの結束羽状縄文で、その上に細く密着の弱い粘土紐が貼付されている。粘土紐上の施文は口縁付近で縄の刻み、胴部付近で縄の回転施文と変化している。10は粘土紐の貼付が広い範囲に施された比較的小型の土器である。突起部に貫通孔を有し、地紋はLRと0段多条RLの結束羽状縄文である。11は密着が良く整った粘土紐が施された平縁の深鉢形土器で、地紋には結束羽状縄文と綾絡文が施されている。

12は無地の器面に細く密着の弱い粘土紐の貼付だけを施した文様帯をゆうする深鉢である。突起部に貫通孔を有し、地紋は0段多条RLとLRの結束羽状縄文である。13、14は結束羽状縄文の地紋の上に細い粘土紐を貼付した小型の土器である。13の底部はやや上げ底になっている。

15、16、18は細くて密着の弱い無文の粘土紐を地紋上に貼付した深鉢である。16の粘土紐は特に細い。地紋は15が口縁付近でRL、その下位で0段多条LRの斜行縄文、16は結束羽状縄文、18が0段多条RLとLRの結束羽状縄文である。17は口縁部に小型で非対称の突起と輪状の貼付を有する深鉢で、突起内面側には「つ」や逆「つ」状の意匠が粘土紐で貼付されている。地紋は1段無節Rと2段単節RLの結束羽状縄文と綾絡文である。

19は口唇部に棒状の施文具による刻みが施されている。20の口唇部の刻みはLRの縄、地紋は撚が緩んだLRの原体による。21は0段多条の原体による結束羽状縄文が施されている。22は粘土紐を貼付した広めの口唇部にLRの原体で間隔の空いた刻みを施した深鉢口縁部である。23は前々段合撚の原体を横位に回転施文した縄文を前面に施した平縁の深鉢である。24は口唇部に縄文が回転施文されている。

25は口縁部を欠いた深鉢で、器面には結束羽状縄文が施されている。26は結束羽状縄文の上にやや細目の粘土紐を貼付した深鉢で、山形の突起には貫通孔が施されている。27は肥厚した口唇部に太い粘土紐を貼付した大型の深鉢口縁部である。粘土紐上には地紋と同じ0段多条RLの結束縄文が施されている。28は口縁部の小突起の内面側に縦の縄線文3本を施した大型の深鉢である。器面側には取手状の縦の貼付が施されていたと考えられ、地紋はLRと0段多条RLの縄による結束羽状縄文である。29は肥厚した口唇部に粘土紐で楕円形を横に連ねた文様を施した平縁の深鉢である。粘土紐と器面には0段多条の縄を使った羽状縄文が施されている。

30は肥厚した口縁部に撚糸Lを密に施し、口縁文様帯に太い粘土紐の貼付と3列の撚糸文(全てL)、それと馬蹄形圧痕文が施された大型の深鉢形土器である。内面は丁寧な研磨が施され、地紋は結束の羽状縄文である。31はLRの縄文が施された口縁部である。32は太い粘土紐を鋸歯状に貼付した小型の深鉢である。33は地紋の上に太い粘土紐の貼付が施された、口縁部を欠く深鉢である。地紋はLRと0段多条RLによる細目の結束羽状縄文が施されている。24は地紋の上に細く密着の弱い粘土紐が貼付された深鉢胴～底部である。粘土紐に沿って2本の撚糸文Lが施されており、地紋はRLの斜行縄文と綾絡文である。底面には網代の痕が残されている。

35は突起部に貫通孔が施された深鉢である。細く密着の弱い粘土紐上にはLとRを並べて押捺した撚糸文が、器面には結束羽状縄文が施されている。36は口唇部に太い縄で刻みが施された深鉢である。細く密着の弱い粘土紐上にはLとRを並べて押捺した撚糸文、器面にはLRと0段多条RLによる結束羽状縄文が施されている。37も細く密着の弱い粘土紐上にLとRを並べて押捺した撚糸文が施されたもので、地紋は0段多条の羽状縄文である。39は無文の小型土器である。39は口唇部に縄の刻みが施されている。40は口唇部に太い縄で刻みが施された深鉢である。地紋は0段多条の羽状縄文で、細く密

着の弱い粘土紐上にはLとRを並べて押捺した撚糸文が密に施されている。

41は断面が三角形の細い粘土紐が貼付された土器で、地紋には0段多条RLの縄文が施されている。43は突起部の貫通孔周りにだけ太い粘土紐が貼付される土器である。他の粘土紐はとても細く密着も弱いもので、文様も貫通孔の貼付上にだけ撚糸文が施されている。口唇部には縄による深い刻みが施されており、地紋はRLの結束斜行縄文である。44、45は小型土器の口縁部で、44の文様帯には横に大きく蛇行する細い粘土紐が貼付されている。46はやや肥厚した口縁部とその直下の器面に半裁した鳥管骨のような施文具で刺突文を施した口縁である。42、47は粘土紐の貼付と小動物あるいは鳥類の骨を用いたと考えられる施文具で緩く湾曲した刺突を施した土器で、42が突起部、47が口縁～胴部でこれらと59の底部は同一個体の可能性がある。粘土紐は細く密着の弱いもので上に縄文が施され、口唇には器面と同じ刺突が施されている。地紋は太いRLの原体による斜行縄文と綾絡文である。48は突起部の貫通孔周りにも無文の粘土紐が貼付された土器である。底部の内側は丸みを帯びている。

49は2カ所で一組の小突起を有する深鉢である。50は平縁の小型土器である。51は結束羽状縄文と綾絡文が施された底部に近い胴部である。52は小さな山形突起を有すると考えられる深鉢で、突起下に短い粘土紐の貼付と浅い沈線文が施されている。地紋はLRの斜行縄文と2列1組の綾絡文である。53は浅い沈線文の施された胴部である。続縄文の可能性もある。55は沈線文で曲線的で複雑な文様を施した小型の土器である。54は上げ底の大型土器の底部で、地紋は2段単節RLと0段多条RLの結束斜行縄文である。底面には網代状のものの痕跡が認められる。56～59は底部である。

60～62が石鏃、63が両面加工の異形石器で黒曜石製である。64～68がスクレイパー、71が北海道式石冠、70が扁平抱製石器、69がたたき石、73が砥石、72が台石・石皿、74が棒状の礫である。

75が石製品である。

時期 縄文時代中期前半、円筒上層b式土器の時期と考えられる。

（皆川）

CH-31（図Ⅱ-167～200、図版Ⅰ-34・35、図版Ⅱ-84～105・272・273、表Ⅵ-4・5・8）

位置：O-77・78、P-76・77・78、Q-76・77・78、R-76・77

平面形：楕円形 長軸方向：南東-北西

特徴

確認：南側の段丘平坦面P・Q-77区を中心とするⅣ層上面にて黒色土の落ち込みを2か所確認した。標高は57.30～57.70mである。

調査：落ち込みは隣接して2か所に分布することから竪穴住居跡を2軒想定して調査を開始した。

落ち込みは南東-北西の長軸方向で楕円形を呈している。土層観察用のセクションベルトは長軸方向に1本、短軸方向に3本設定した。その後、完形土器や炭化材のまとまりなどを残しながら、床面付近まで覆土を掘り下げた。4本のセクションベルトは、土層断面の写真撮影と実測図の終了後に取り外し、柱穴などの付属ピット、壁際の周溝を調査した。主な柱穴は土層断面を記録しながら掘り下げ、深いものについては半分には断ち割り、底面が検出できるまで掘り下げた。

覆土：4層に分けられる。1層と3層は暗褐色土である。1層と3層の間に黒褐色土の2層が入る。4層は黒褐色土で壁際からの流れ込みによるものである。

壁：壁面の立ち上がりは全周ともに急である。北西側の一部は攪乱により壁面が壊されている。

床面：床面はほぼ平坦だが、北西から南東に向かって約20cm高くなっている。床面の焼土は10か所検出された。このうち中央にあるHF-10は地床炉である。焼土の平面形は円形、楕円形、隅丸方形など各種あり、長軸方向の長さは地床炉を除き22～38cmである。このうち、HF-1はHP-16のプランの

外側を取り囲み中央部には焼土がないことから、柱が残った状態で床面が被熱したと考えられる。

炭化材：主に地床炉（HF-10）の北側で炭化材のまとまりを検出した。この炭化材のなかから樹種同定用のサンプルを採取し、このうち30点について同定を依頼した。その結果、全点クリ属と同定された（第 章参照）。これらの炭化材は建築材と考えられる。

掘り上げ土：確認していない。

付属遺構

・地床炉（HF-10）

住居跡のほぼ中央部で楕円形（1.2×0.75m）の地床炉を検出した。土層の観察によれば、焼土の断面は木根による攪乱で不連続の状態となっている。焼土の肉眼観察では炭化物や骨片などは含まれていないようである。

・先端ピット（HP-10）

長軸方向の南東側、地床炉（HF-10）と南東側壁面の間位置する。先端ピットの上面および覆土中からは、10個体以上の土器（円筒上層b式）が出土した。これらの土器は先端ピットの上に置かれたような出土状況であった。ピットの周縁ではローム土で幅10～30cm、高さ2～3cmの盛り土を検出した。

・柱穴（HP-4・8・9・12・13・17）

支柱穴は6本と考えられる。柱穴の深さは床面から31～58cm、平均46cmである。HP-9の覆土中からは、同一個体と考えられる土器の底部と胴部の破片が出土している。

・周溝

周溝は連続していないが、壁際のほぼ全周に1条巡っている。北～北西側では、さらに内側に周溝が1条検出された。

・土坑

柱穴以外の土坑は25基検出した。HP-14は地床炉と先端ピットの間位置し、楕円形で深さ約45cmと深いものである。先端ピットと東壁の間に位置するHP-18～25は、いずれも径10cm以下の小さなもので、周溝の手前に25～40cm間隔で2列に並んで検出された。

遺物出土状況：覆土及び床面からは横倒しとなった土器の個体が多く出土した。また覆土中からは土器のほかに台石、石皿なども出土した。先端ピット（HP-10）の上位からは多くの個体土器とともにシャチ形（？）土製品が1点出土している。

年代測定結果

15	IAAA-102924	No.10 (遺物No.2430)	CH-31床面	木炭	4,470±30
16	IAAA-102925	No.11 (遺物No.2432)	CH-31床面	木炭	4,570±30
17	IAAA-102926	No.12 (遺物No.2434)	CH-31床面	木炭	4,510±30
18	IAAA-102927	No.13 (遺物No.2455)	CH-31床面	木炭	4,500±30

遺物 1～99が土器、102～109、112、118～125が石器、110、111、113～116が石製品、100、101、117が土製品である。

1～4がHP-10出土の一括土器、94が床出土の土器である。

1～4、6～8、10、16～40が無地の文様帯に粘土紐の貼付や捺糸文、馬蹄形圧痕文、刺突文のどれかが施されたもの、9、41～51、53～60、62～64、74が地紋の上に粘土紐が貼付されたもの、65～73、75、92が地紋の上から沈線文が施されたもの、12、13、52、61、76、19～24、31、39、49、50、

80～87、91が突起部を有し口唇部付近に文様が施されるものである。

1、2、4、6、7、11、12、16、18、19、21～23、25、29、32、33、37、42、45、47～49、51～57、61、62、64、65、68、72～75、80～82、85は胎土中に海綿骨針を含んでいる。

1は細い粘土紐の貼付を主体に3列の撚糸文（上からL・L・R）と馬蹄形圧痕文とを口唇に近い口縁部に施した大型の深鉢である。撚糸文と馬蹄形圧痕文の施文は極めて限定的である。地紋は0段多条の原体による結束羽状縄文である。2は粘土紐を口唇の外側に貼付した無文の深鉢である。器面には成形時の指痕と考えられる凹凸が認められる。3は細い粘土紐の貼付と3列の撚糸文Lが施されたもので、地紋は0段多条の原体による結束羽状縄文である。

4は細い粘土紐の貼付と2列の撚糸Lの圧痕が施された大型の深鉢である。撚糸は楕円の貼付の内側に施されている。口縁部には取手状の縦の貼付四ヶ所が備わっていた痕跡が認められる。地紋は0段多条の原体による結束羽状縄文である。5は突起部に貫通孔が施された小型の土器である。地紋は0段多条の原体による結束羽状縄文である。6は肥厚した口唇部に「く」状の撚糸Lを密に押捺した小型の土器で、口縁部には4列の撚糸Lが回っている。地紋は0段多条の原体による結束羽状縄文である。

7は肥厚した口縁部に鋸歯状の粘土紐を貼付した大型の深鉢形土器である。粘土紐上には撚糸Lが密に施されている。地紋は0段多条の原体による結束羽状縄文である。8は粘土紐を貼付して口縁部を肥厚させた深鉢である。地紋は0段多条の原体による結束羽状縄文である。9は地紋の施された口唇部に低い突起と細い粘土紐が貼付された口縁部である。地紋は結束羽状縄文である。

10は口縁部に鋸歯状の粘土紐を貼付した大型の深鉢形土器である。粘土紐上には撚糸Lが密に施されている。地紋は結束羽状縄文である。11～14は小型の土器である。11は内外面に研磨が施されている。12、13は地紋が0段多条RLの結束斜行縄文のもので、12の口唇部にはRLの刻みが施されている。14は口唇部に突起を有する無文土器である。15も無文の突起部である。

16はやや太目の粘土紐の貼付と3列の撚糸（L・R・L）、馬蹄形圧痕文が施された深鉢形土器で、一カ所の突起にだけ異なった意匠が施される。総体では3列の撚糸文が優位だが、胴部の鋸歯状の粘土紐の貼付あたりにおいては、3列の撚糸文と馬蹄形圧痕文が範囲分けされている。施文順位は「地紋→粘土紐→3列の撚糸→馬蹄形圧痕文→粘土紐上の刻み」である。17はやや太目で密着の強い粘土紐の貼付と3列の撚糸L、馬蹄形圧痕文が施された深鉢形土器で、地紋は0段多条RLとLRの結束羽状縄文が重複気味に施されている。突起部の馬蹄形圧痕文は散点的に施されている。

18は一カ所の突起にだけ異なった意匠が施された深鉢である。文様帯には密着の弱い粘土紐の貼付と3列の撚糸L、馬蹄形圧痕文が施されており、やや優位なのは馬蹄形圧痕文で口唇部にも施されている。地紋は0段多条LRとRLの結束羽状縄文である。19はやや太くて密着の弱い粘土紐の貼付と馬蹄形圧痕文が施された平縁の深鉢である。地紋は0段多条LRとRLの結束羽状縄文である。

20は肥厚した口唇部に撚糸Lによる密な圧痕文が施された胴部の長い深鉢形土器で、一カ所の突起にだけ異なった意匠が施されている。文様帯には太く密着の良い粘土紐の貼付と3列の撚糸L、馬蹄形圧痕文による文様が施され、これらで優位なのは撚糸文である。地紋はLRと0段多条RLによる結束羽状縄文である。21は一部の突起に貫通孔が施された小型の深鉢である。密着の弱い細い粘土紐の貼付と2列の撚糸L、馬蹄形圧痕文が施されており、馬蹄形圧痕文が優位である。地紋はLRと0段多条RLによる結束羽状縄文である。22は口唇部に撚糸Lの密な圧痕文が施された大型の深鉢口縁部である。輪状のものを含む密着の良い粘土紐の貼付と4列の撚糸（上からL・L・R・L）、馬蹄形圧痕文による文様が施されており、撚糸文優位である。

23は文様帯に細く密着の弱い粘土紐の貼付と2列の撚糸L、馬蹄形圧痕文が施された滑石土器の深鉢で、文様は馬蹄形圧痕文が優位である。口縁には小突起を有しておりその下位には縦の取手状の貼付が施された痕が見られる。器形は頸部の括れが強く胴が張り出すものである。地紋は結束羽状縄文である。24は細目の粘土紐による曲線的な貼付と馬蹄形圧痕文が隙間無く施された小型の土器である。地紋は0段多条の結束羽状縄文である。25は器面と一体になった粘土紐の貼付と3列の撚糸L、馬蹄形圧痕文が施された平縁で胴部が張り出した深鉢形土器である。器面には縦で大型の取手状貼付が4ヵ所施さされている。馬蹄形圧痕文が口唇部にも施されており優位である。26は突起下位の狭い無地部分に3列の撚糸(L・R・L)と小さめの馬蹄形圧痕文が施された胴部の長い深鉢である。馬蹄形圧痕文は口唇部にも施されており、細い粘土紐の大半は地紋のLRと0段多条RLによる結束羽状縄文の上に貼付されている。

27は過度な装飾が施された比較的小型の深鉢である。山形突起には貫通孔が施され、その直ぐ下に「Y」状の取手状貼付も施されている。かなり広めの文様帯には無文で密着の弱い粘土紐の貼付と3列の撚糸L、馬蹄形圧痕文とが施されていて、優位なのは粘土紐と撚糸文である。28は少し肥厚した口唇部と器面に撚糸Rの圧痕文を多用した滑石土器の深鉢である。粘土紐の貼付と3列の撚糸Lも多く馬蹄形圧痕文はごく僅かである。地紋はRLと0段多条LRによる結束羽状縄文である。

29は細く密着の弱い粘土紐の貼付と加工を施した鳥管骨のような先端が「C」状の施文具による刺突文が施された深鉢である。突起部には貫通孔が施されており、全体的には刺突文が優位である。地紋は0段多条RLとLRによる結束羽状縄文である。30は大柄な縦の取手状貼付を有する平縁の深鉢口縁部である。文様帯には撚糸Lが密に刻まれたやや細目の粘土紐の貼付と3列の撚糸L、馬蹄形圧痕文が施されており、粘土紐の貼付によって器面に絵的な文様が施されている。31は細く剥落しやすい粘土紐の貼付と丸みを帯びた角棒状の施文具による斜めからの刺突文が施された平縁の深鉢形土器である。粘土紐上に施された撚糸Lによる刻みは斜めで間隔が広い。地紋は結束羽状縄文である。32は細く密着の弱い粘土紐の貼付と3列の撚糸(R・L・L)、それと中空の角棒を半裁したような施文具の斜めからの刺突文とが施された深鉢形土器である。地紋はRL2本による結束斜行縄文である。

33は大柄な縦の取手状貼付を有するほぼ平縁の深鉢口縁部である。文様帯には撚糸Lが刻まれた細目の粘土紐の貼付と3列の撚糸(上からL・L・R)、それと先端が中割れ気味の施文具による斜めからの「ハ」状の刺突文とが施されている。地紋は結束羽状縄文である。34は突起部に貫通孔が施された小型の深鉢で、やや広めの文様帯には密着の弱い粘土紐の貼付と先端が僅かに湾曲する施文具による斜めからの刺突文とが施されている。全体的には刺突文が優位で口唇部にも施されている。

35は細く密着の弱い粘土紐の貼付と小動物の骨の関節のような施文具による刺突文が施された小型の土器である。36は瘤状の貼付を口縁部に配した平縁の深鉢土器である。細く剥がれやすい粘土紐の貼付と馬蹄形圧痕文が施されており、胴部の粘土紐はRLの斜行縄文の上に貼付されている。37は密着の弱い粘土紐の貼付と鳥管骨を半裁したような施文具による斜めの刺突文とが施された深鉢である。粘土紐上の撚糸Lは斜行あるいは粘土紐に沿うように施される傾向がある。地紋はLRと0段多条RLによる結束羽状縄文である。38は突起部に貫通孔が施された深鉢である。貼付される粘土紐は細く密着の弱いもので、口唇部のものには撚糸Lによる刻みが施され、文様帯のものは断面が三角で文様がない。刺突文は先端に細い筋状の凹凸を有する施文具を斜めから施したものである。

39は口縁部の内外に「つ」状あるいは逆「つ」状の貼付を有する平縁の深鉢形土器である。文様帯の粘土紐は細く剥がれやすいもので文様も施されていない。刺突文は管状のものを用いた楕円の施文具を斜めから施している。

40は肥厚した口縁部に2本の撚糸Lを軸に巻いた絡条体を回転圧痕した平縁の大型深鉢である。肥厚部の直ぐ下の器面には3列の撚糸（上からL・R・L）と馬蹄形圧痕が施されている。地紋は結束羽状縄文である。41は極めて緩やかな波状を呈する口縁部と大柄な縦の取手状貼付を有する深鉢である。取手状の貼り付けには管状のものを半裁した施文具による刺突文が施され、細目の粘土紐は地紋の施された器面上に貼付されている。地紋は0段多条のRLとLRによる結束羽状縄文である。

42、43は全面に地紋の施された器面の広い範囲に粘土紐の貼付を施した深鉢で、地紋は0段多条LRとRLによる結束羽状縄文で、粘土紐上には撚糸Lが施されている。43の突起部には貫通孔が施されている。44は低い山形突起部と口縁部にだけ粘土紐を貼付した大型の深鉢である。地紋は0段多条のLRとRLによる結束羽状縄文である。45は0段多条のLRとRLによる結束羽状縄文の上に粘土紐の簡素な貼付を施した深鉢である。46は粘土紐を蕨のような形に貼付した深鉢で、器面には2段単節の結束羽状縄文が施されている。

47、48は突起部に貫通孔とその左右に縦の貼付を施した深鉢である。47の粘土紐は比較的太くその上には撚糸Lの刻みが施されている。地紋は0段多条のLRとRLによる結束羽状縄文である。48の粘土紐上の刻みはLとRの撚糸を束ねた原体による。49、51は比較的低い突起部に貫通孔が施された深鉢である。49、50の地紋は地紋は0段多条の、51は2段単節の結束羽状縄文である。52は肥厚させた口唇部に篋状の施文具で縦の刻みを施した小突起を有する大型の深鉢である。

53の文様帯は無地の器面に細い粘土紐だけを貼付した深鉢で、粘土紐の上にはLとRの撚糸を並べた刻みが施されている。54は口唇部の粘土紐上には撚糸Lの刻みが施されるが、下位の器面に施された粘土紐上には篋状の施文具による刻みが施されている。地紋は0段多条の結束羽状縄文である。

55は粘土紐の上にLの撚糸文が施された大型の深鉢で、器面にはRL斜行縄文と綾絡文が施されている。56は粘土紐の上にRLの斜行縄文が施されている。57は山形突起部に左右がシンメトリーな大柄な貼付と内面からの貫通孔が施されている。粘土紐上にはLRの縄文が、地紋には細い0段多条の原体による結束羽状縄文が施されている。58の粘土紐上には撚糸Rの刻みと0段多条RLの縄文の2種が施文されている。地紋はRL斜行縄文である。

59は粘土紐の上に撚糸Rによる間隔の開いた深い刻みが施されている。60は「Y」状の取手状貼付が施された平縁の深鉢である。粘土紐の上には太い撚糸Rの刻みが施されている。61は突起部に無文の粘土紐が、口縁部にRLの縄が刻まれた粘土紐が各施されている。突起部の下位には横の取手状貼付が備わる。地紋はLRの原体を縦に回転施文した縄文と綾絡文が施されている。62は0段多条の結束羽状縄文が施された深鉢の下半部である。63、64は文様のない粘土紐が貼付された土器である。63は突起部に貫通孔が施されている。64は各形の異なる小突起を有する深鉢である。地紋は結束条縄文である。

65は太くクッキリとした沈線文と突起部には貫通孔、胴部には瘤状の貼付が各施された大型の深鉢である。地紋の3段復節RLRの原体は口唇部の刻みにも用いられている。65は小突起部に貫通孔とLRの縄線文が施された小型の土器である。文様帯の沈線文はやや粗雑に施されている。67の沈線文は切っ先が丸みを帯びた細い棒状施文具による。地紋は1段無節Lの回転施文による。68はやや乱れのある沈線を全面に施した小型の土器である。69は垂下する沈線文と共に瘤状の貼付と半裁した管状の施文具による刺突文とが施された深鉢である。地紋の羽状縄文はLRの原体だけによるもので、同じ原体が口唇部の刻みにも用いられている。70、71は突起部に貼付の施されたもので、貼付の形は70が縦長、71が瘤状である。71は突起の頂部と貼付上に「十」状の浅い沈線が施されている。72は小突起の下に小さな横の突起状貼付が施された口縁部で、沈線文は切っ先の尖った施文具で深く施されている。

73は山形突起部に横一の貼付と0段多条RLによる縄線文とが施された深鉢である。文様帯の沈線文は尖端の丸い太目の棒状施文具によるもので絵的にも見える。74は口唇部に文様のない粘土紐を配した平縁の深鉢である。地紋はLRと0段多条RLによる結束羽状縄文である。75は欠失した突起の付け根に粘土紐の貼付が施されたもので、文様帯には同心円あるいは渦巻き状の沈線文も施される。

76は盃状の突起が2カ所とアーチ状の突起が2カ所が施された深鉢形土器である。下位の器面には、前者が縦の取手状貼付、後者が横の取手状貼付も施されている。各突起と口唇部には2本の撚糸Lによる刻みが施されている。77は突起の頂が窪む無文の口縁部である。78は半裁した管状の施文具で刺突文を全面に施している小型土器である。79は肥厚した口唇部に沈線状の刻みが施されている。

80は低い突起部の下に2種類の取手状貼付が施された大型の深鉢で、貼付は一方は大柄な縦方向のもの、もう一方は二つの貼付が並ぶものである。突起と貼付付近にはLRの縄線文が施されており、口唇部の刻みも同原体による。底部近くの器面は削られ、底の内面側は丸みを帯びている。81はRLの縄線文が施された小突起2カ所を有する口縁部である。口唇の刻みと地紋も同原体による。82は頭の大きな突起部と横の取手状貼付を有する深鉢形土器で、突起部にはRLの縄線文数条が回らされている。地紋はRLの縄文と原体の端部の押捺である。83は突起部に瘤状の貼付が施された土器で、口唇部には3本の撚糸(L・R・R)を使った刻みが施されている。

84～86、91は突起部と地紋が施された深鉢である。87は口唇部に刻みが施された小型の土器である。88は口縁部に縦の貼付と2本の撚糸Lによる蛇行した撚糸文を施した口縁部である。89は魚骨回転文の施された口縁部である。90は縄文と細い沈線文が施されたI群a類日計式土器の口縁部である。91は浅い不明瞭な沈線文の施された胴部である。93～99は底部である。93、95の底面には網代条の圧痕が見られる。

102、103は両面加工のポイントあるいはナイフ、104は早期の石鏃である。105は尖頭部を有するつまみ付ナイフ、106～109はスクレイパーである。106は下端部に使用の痕跡が認められる。土掘り具の可能性もある。112は小型の棒状礫である。下端が僅かに痛んでいる。

118～120はたたき石、121はくぼみ石、122はすり石、123、124は台石・石皿で124はCH-26覆土3層出土のものと接合している。125は砥石でCH-5と接合している。

110、111は石棒と考えられる周囲に加工した長楕円の礫である。113～116は貫通孔のある自然石を装飾品として用いたと考えられる玉である。

100は土偶の胸部である。101はシャチ形土製品と考えられる。背びれと尾びれの一部が欠失している。117は外側に溝がある環状の土製品である。

時期 床面から円筒上層b式土器が出土していることから、この時期と考えられる。床面から出土した炭化材の樹種同定サンプル4点についてC14年代測定を依頼した。その結果、BP4,570±30～4,470±30yr (IAAA102924～102927)で縄文時代中期中葉の値を得ている。遺構の重複関係は北西側でCH-52の壁面をわずかに切っている。(佐川俊一)

CH-32 (図II-201～203. 図版II-106・107・273. 表VI-4・8)

位置：P-65～67

特徴 柱穴35本が集中する平面形の不明瞭な住居跡である。竪穴は極めて浅いか、あるいは平地住居の可能性もある。柱穴群の範囲の土中からは多数の遺物が出土している。

柱穴の分布範囲にはCP-87・116、CF-86が位置し、特にCP-87は覆土上位に焼土とその周りに大型の礫を複数置いた石囲い炉状のものが検出されている。本住居の炉址の可能性もある。

遺物 1～9が土器、10が石製品である。滑石土器は8が出土している。

1は口縁部に肥厚帯を有する深鉢形土器である。口唇の内面側の角が研磨で丸みを帯びている。地紋は0段多条のRL斜行縄文と考えられる。2は口唇部にも地紋の0段多条のLR斜行縄文が施された小型土器の口縁部である。3は器面と一体化した貼付帯上にLRの縄線文を施したもので、地紋は同原体を縦に回転施文した縄文である。4は口縁部と同部にバンド状の貼付帯を有する深鉢である。5は太い0段多条RLの原体で斜行縄文を施した底部付近の胴部である。6は器面に縦と横の貼付帯を施した大型土器の胴から底部である。胎土には砂礫が多く含まれている。7はバンド状の太い貼付帯が施された底部に近い胴部である。8は山形突起と深く明瞭な沈線文が施された滑石土器の口縁部である。9は口縁の無文部とRLの整った縄文が施される胴部との境に太い貼付帯が施された土器である。器形は平縁で胴部よりも口径が小さくなる器形が想定される。大木式系土器の影響が考えられる。

10は石棒である。CH-34出土のものと接合している。

時期 縄文時代中期後半、煉瓦台式土器の時期と考えられる。

CH-33（図Ⅱ-204・205、図版Ⅰ-37・91、図版Ⅱ-108・109・274、表Ⅵ-4・5）

位置：O-75・76

特徴 平面が不整の隅丸長方形を呈する小型の竪穴住居である。CH-34、CP-96・126と重複する。

床面からは炉址、土壙、柱穴、周溝が検出されている。

炉址（HF-1）は竪穴中央部に位置し平面が楕円形の浅い土壙（HP-2）の底で火を燃やした地床炉である。HP-2は黄褐色土と黒色土で蓋をするように埋戻され炉址は隠された状態で検出されている。

土壙は平面が隅丸長方形のHP-1が床面南端で見つかり、壙底からは小ピット2カ所（HP-10・11）が見つかり、穴の手前のHP-8・9も関連する可能性がある。所謂「先端ピット」の特徴を有している。竪穴と重複するCP-96は竪穴廃棄後に作られたとみなしたが、本住居に伴う可能性も高い。

柱穴はHP-3～6の4本が支柱穴である。周溝は壁際に沿って1本が検出されている。竪穴の南東部で周溝のすれ違いがあり、同様のものがCH-30にも見られる。

竪穴は他遺構の堀上土と考えられるもので埋められており、その上に底のない土器の入ったCP-126が作られていた。床面の遺物も少なく生活の痕跡に乏しい住居である。

遺物 1～8は土器、9、10は石器である。1～4、6、8の胎土には海綿骨針が含まれている。

1は細目の粘土紐の貼付と鳥管骨を半裁したような施文具による刺突文が施された深鉢形土器である。粘土紐の貼付は突起部と口縁部のものにだけ篋状の施文具による刻みが施され、その下位の粘土紐は無文である。突起部の内面側には「∩」状の太い沈線文が大きく施されている。地紋は0段多条LRとLRの結束羽状縄文である。2は撚糸Lの刻みがある細い粘土紐の貼付と小動物の四肢骨の骨端のような施文具による斜めの刺突文が施された平縁の深鉢である。地紋はRLと0段多条LRとによる結束羽状縄文である。3は羽状縄文と綾絡文の施された深鉢で口唇部にはRLの原体による刻みも施されている。4は頂部が傾斜する小突起を有した口縁部である。RLの原体による刻みや斜行縄文が施されている。5は小突起と縦の貼付が施された口縁部である。LRの原体による刻みや斜行縄文が施されている。6は口唇部に無文の粘土紐の貼付を施した波状口縁の土器である。地紋はLRと0段多条RLの結束羽状縄文である。7は口唇部に撚糸Lを密に押捺した深鉢の突起部である。文様帯には良く密着した粘土紐の貼付と3列の撚糸Lによる文様が施されている。8は小突起を有し、器面に細い

LRの縄による斜行縄文と綾絡文が施された深鉢である。

9は縦長剥片を使つたつまみ付ナイフ、10は小型のすり石である。

時期 縄文時代中期前半の円筒上層b式土器の時期と考えられる。(皆川)

CH-34 (図II-206~219. 図版I-38・39. 図版II-109~116・274・275. 表VI-4・5)

位置 : O-74・75、P-74・75、Q-74・75

特徴 平面が不整の隅丸長方形を呈する大型の竪穴住居である。竪穴平面の縦長比は比較的小さく特徴的である。

床面からは炉址、焼土、柱穴、周溝が検出されている。

炉址は竪穴のほぼ中央部で検出されたHF-4・5の地床炉である。被熱での赤化が著しく、HF-4が新しい。HF-3はより新しい焼土であるが赤化が弱く位置も中央から外れている。他にHF-1・2も床面が赤化しているが、覆土に炭化物や焼土粒が多く含まれていることからこれらは家屋が焼失したことが原因で生じたのかもしれない。

柱穴は多数見つかっている。主柱穴は基本4本柱で、HP-2・3・4、HP-22・23・24、HP-6・7、HP-12・15が該当すると考えられる。これらの主柱穴からは2~3回の掘り直しが認められる。

周溝は基本壁際を回るが部分的に二重になる場合がある。

土器や礫の多くは覆土2a層の上面で出土しており、同時期に廃棄あるいは遺棄された様子が窺える。生活面があった可能性もある。

遺物 1~57は土器、58~76は石器である。

12~10は粘土紐の貼付に複数列の撚糸文や馬蹄形圧痕文、刺突文などが施されるもの、1~6、11、22、27~34は沈線文が施されるもの、7~10、17~21、23~26、35~48が山形突起と地紋が施されるものである。床面出土の土器は6、13、15、17、49~52である。

1~3、5~8、17、22、23、26、36、37、39、40、45、51、52の胎土には海綿骨針が含まれている。25、29は胎土に滑石が含まれる滑石土器である。

1は粘土紐の貼付と0段多条RLの縄線文による文様が施された変則的な突起部4ヵ所を有する胴長の大型深鉢である。器面には棒状の施文具による浅く不安定な沈線文が施されている。器面には前々段合撚の原体による条が右肩下がりの縄文が施されている。2は山形突起部の表面に粘土紐の貼付、内面に蛇行するLの撚糸文が施された深鉢である。口唇部には撚糸Lの密な刻みが施され、器面には先端に平らな部分のある棒状施文具によるクッキリとした沈線で複雑な構成の文様が施されている。底部付近は無文の範囲が広く底部の壁は厚い。3は文様帯に太くクッキリとした沈線で連なる弧を主体とする文様が施された深鉢である。突起部には沈線文と共に横一の貼付帯が施されている。地紋は付加条の原体による条が右肩下がりの縄文で、同じものが口唇部にも施されている。4は瘤状の貼付と沈線文が施された胴長で上げ底の大型深鉢である。貼付は突起部と文様帯に各4ヵ所が施され、沈線は棒状の施文具によるもので3列の直線を基調とする文様が施されている。地紋はRL斜行縄文で同じものが口唇部にも施されている。5、6は突起部付近に粘土紐と横一の貼付が施された深鉢である。文様帯には浅い沈線で弧を基調とする文様が施されている。

7、8は突起部に縄線文が施された土器である。地紋は7が一方の縄の撚が緩んだRLの斜行縄文、8が前々段合撚の原体による条が右肩下がりの斜行縄文である。9は口唇部に撚糸Lの刻みが密に施された山形突起を1~2ヵ所有する小型の土器である。10は突起部と口唇部が僅かに肥厚する深鉢である。突起と瘤状の貼付にはRLの原体による短い縄線文が施されている。11は先端が平たい施文具

による不安定な沈線文が施された深鉢である。突起部にはRLの縄線文が施された粘土紐2本が内面側に回り込むように貼付されている。地紋のRLは口唇部にも施されている。

12は口唇部付近に撚糸Lの押捺が密に施された口縁部である。文様帯には一体化した粘土紐の貼付と3列の撚糸L、馬蹄形圧痕文が施されている。地紋はLRと0段多条RLによる結束羽状縄文である。全体の施文順位は「地紋→粘土紐の貼付→口唇部の撚糸文→3列撚糸→馬蹄形圧痕文→粘土紐上の刻み」である。13、16は細目の粘土紐の貼付と馬蹄形圧痕文が施されたもので同一個体の可能性がある。16には低い突起の下位に縦の取手状貼付の痕跡が認められる。14は突起部に貫通孔と縦の取手状貼付の痕跡が備わるもので、器面には撚糸Lが刻まれた粘土紐の貼付と生物の四肢骨の骨端のような施文具による斜めの刺突文が施されている。15は小突起の直ぐ下に大きく張り出した瘤状の貼付を有する口縁部で、地紋の上の粘土紐には上に撚糸Rの密な刻みが施されるものと無文のものがある。

17は縁を折り返して肥厚させた口縁部にLRの原体による刻みを施した小型土器の口縁部である。地紋は羽状縄文と綾絡文が施されている。18の口唇部には地紋と同じ0段多条の結束羽状縄文を施した上に粘土紐を貼付している。19は突起部に大きな瘤状の貼付が施された口縁部である。粘土紐は地紋の上から貼付されている。20は口唇部に撚糸Lが密に押捺された口縁部である。21は突起部にRLの縄線文の施された粘土紐が貼付されるもので、すぐ下には「Y」状の取手状貼付が在った痕跡が見られる。22は太目の粘土紐で蛇頭のような貼付を施した突起部で、沈線文は半裁した管状施文具の内面側による。23は横一の貼付上に籠状の施文具による沈線が施されている。24、25は突起部に無文の粘土紐が貼付されたもの。地紋は0段多条RLの斜行縄文で口唇部には撚糸Lの刻みが施されている25は滑石土器である。26は口唇の内面側の方に撚糸Lの刻みが施されている。

27は突起部に撚糸文が施された粘土紐、文様帯に沈線文が施されたものである。沈線文は半裁した管状の施文具による。28の沈線文は先端が平らな施文具による。29は太く深い沈線文が施された滑石土器である。地紋は細いRLの原体による斜行縄文である。30、31は突起下に横一の貼付帯を有する口縁部である。30の口唇部にはRL斜行縄文、31の口唇部にはRLの原体による刻みが各施されている。34の沈線文は直線と蛇行するものが施されている。32は無文の粘土紐と浅い沈線文が施されている。35、36はRLの原体で口唇には刻み、胴部には斜行縄文が施されている。

37は突起部にLRの縄線文が施された縦の貼付を有する土器である。37～41の口唇部にはRLの原体による刻みが施されている。42は三山の突起と瘤状の貼付を有するもので、RLの縄文が口唇部と器面に施されている。45は突起下に横一の貼付が施されたもので、RLの縄文が口唇部や貼付上にも施されている。46は小突起の内外面に「0」状に細い粘土紐を貼付した器壁の厚い深鉢である。口唇部にはRLの原体による刻みが施され、胎土には砂粒が多く含まれている。

47は三山や一山などの突起部を有する土器で、地紋は3段復節LRLの斜行縄文が口唇部と器面に施されている。48は口唇部に小径の管のような施文具で刺突文を施している小型の土器である。49～55は底部である。56はI群a類、目計式土器の口縁部である。口唇部に刻みが入り、器面には沈線文が施されている。57は同土器で型押し文が施されている。

58～60は石鏃、61は両面加工のポイントである。62はつまみ付ナイフの先端を石錘に使用している。63～65はスクレイパー、66、67は小型の石斧である。68、69はたたき石、70は北海道式石冠、71、74はすり石、72は扁平打製石器、73、75、76は台石・石皿である。

時期 縄文時代中期前半、サイベ沢VIIb式～見晴町式土器の時期と考えられる。 (皆川)

CH-35 (図II-220・221. 図版I-22. 図版II-117・276. 表VI-4・5)

位置：P-68、Q-68

特徴 平面が不整の楕円形を呈する小型の竪穴住居である。竪穴の一部はCH-36に切られて失われている。

床からは炉址、貼床、土壌、盛土、柱穴が検出されている。

炉址(HF-1)は竪穴中央で検出された小型の地床炉である。熱による赤化は弱く、ごく短時間の使用だったと考えられる。貼床は堅く締まった粘土の範囲で、HF-1の西側に広がっている。土壌はHP-1が東側の壁際から検出されている。平面は不整の楕円で丸みを帯びた墳底からは小ピット4ヵ所が見つかっている。また覆土からは砥石が出土した。HP-1のすぐ西側には盛土が弧を描くように作られている。HP-1は「先端ピット」と考えられるが竪穴と比較して規模がアンバランスである。

支柱穴はHP-6・7・12でいずれも壁際に設けられている。周溝は壁際に回っている。

遺物 1、2が土器、3～7が石器である。

1は沈線文が口唇部にも施されている口縁部である。2は大型土器の底部で胎土には海綿骨針が含まれている。文様は前々段反撚RLLと考えられる縄文である。

3は尖頭部が2箇所ある石錐である。4も両面加工のポイントである。5はすり石、6、7は台石、石皿である。6はHP-1の上にあったもの、7はCH-36の遺物の可能性がある。

時期 縄文時代中期前半、見晴町式土器の時期と考えられる。(皆川)

CH-36 (図II-222. 図版I-42. 図版II-117・275. 表VI-4・5)

位置：P-68、Q-67・68

特徴 平面が卵形を呈する小型の竪穴住居である。竪穴の一部はCH-35に切られて失われている。

床からは炉址、貼床、土壌、盛土、柱穴、周溝が検出されている。

炉址(HF-1)は竪穴の中央からやや南側に寄った地点で検出されている。浅い掘り込みの縁に沿って同一個体の土器片を隙間無く埋め込んだ土器囲い炉で、平面は隅丸の長方形で、各土器片は内面を内側に向け、やや外側に開くように埋め込まれている。炉内の焼土は赤化が弱く熱量や使用期間は少なかったものと考えられる。炉址の周囲には硬質化した粘土の範囲があり貼床の可能性はある。

土壌は平面の先端でHP-1が見つかっている。楕円形で墳底は丸みを帯びておりほぼ真ん中に小ピットを備えている。これらの特徴から「先端ピット」と考えられる。

柱穴はHP-3・6・10・14が支柱穴と考えられる。周溝は壁際を回るものが検出されているが、先端部付近は確認できなかった。

遺物 1、2が土器、3～5が石器である。

1は土器囲い炉HF-1から検出された土器である。肩部に貼付帯の施された深鉢で、口縁部と貼付帯付近にLRの縄線文が施されている。同原体による縄文が地紋と口唇部にも施されている。2は先端が平らな施文具による沈線文が施された口唇部である。

3は黒曜石製の石鏃、4は加工痕のある礫、5は台石・石皿である。

時期 縄文時代中期後半、大安在B式土器の時期と考えられる。(皆川)

CH-37 (図II-223. 図版II-117・275. 表VI-4・5)

位置：P-70・71、Q-70・71

特徴 平面が楕円形を呈する小型の竪穴住居である。CH-20とCH-42を切って造られている。

床からは盛土、柱穴、周溝が検出されているが炉址は見つからなかった。

盛土は竪穴長軸上の南東部で見つっている。緩く湾曲した一文字状の物で、土壌や小ピットは伴わないが、先端ピット的な物に関連すると考えられる。柱穴は中央部に近い位置から2ヵ所並んで検出された。一本の主柱穴の可能性もある。周溝は壁際を回っているが盛土付近では確認されなかった。

遺物 1、2が土器、3が石器である。

1は突起部と文様帯に沈線文が施され深鉢である。RLの縄文が器面と口唇部に施されている。2は撚糸Lの密な刻みのある粘土紐の貼付と3列の撚糸L、馬蹄形圧痕文が施された口縁部である。

3は小型の扁平打製石器である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。

（皆川）

CH-38（図Ⅱ-224、図版Ⅰ-42・90、図版Ⅱ-117・275、表Ⅵ-4・5）

位置：N-81・82、O-81・82

特徴 平面が不整形の小型の竪穴住居である。CH-39の覆土を切って造られているが、床面は同じくする。床面からは焼土、土壌、柱穴、周溝が検出されている。

焼土は床中央部の少し南側からHF-1・2が近接して見つっている。HF-1は地床炉と考えられる。

竪穴床の北側に位置する土壌（HP-1）は、平面が不整形の円形で壙底には凸凹が認められる。柱穴はいずれも壁際から見つっている。

周溝は北側の壁際から2本が見つっているが、これらはCH-39の可能性もある。

遺物 1、2が土器、3～5が石器である。

1は肥厚した口唇部に撚糸の押捺が密に施された口縁部である。文様帯には密着した粘土紐と3列の撚糸（上からL・R・L）、馬蹄形圧痕文が施されている。地紋はRLと0段多条LRによる結束羽状縄文である。1はCH-39の遺物の可能性がある。2は口唇部に撚糸文が密に施された口縁部である。地紋は太い縄による結束羽状縄文である。

3は石鏃、4はスクレイパー、5はたたき石である。

時期 縄文時代中期前半、見晴町式土器の時期の可能性もある。

（皆川）

CH-39（図Ⅱ-225～232、図版Ⅰ-40・41、図版Ⅱ-118～121・276・277、表Ⅵ-4・5）

位置：M-82・83、N-81～83、O-81・82

特徴 平面が隅丸長方形と推定される大型の竪穴住居跡である。CH-38が覆土を切って造られており、竪穴南側は木根などで攪乱を受けている。

床面からは焼土、土壌、柱穴、周溝が検出されている。

焼土はHF-1・2が検出されている。炉址は竪穴中央に近くに位置するHF-1で、攪乱で本来の形を保っていないが地床炉と考えられる。HF-1・2はともに被熱による赤化が弱い。

土壌は重複するHP-1a・1bが検出されている。竪穴長軸上の中央から少し南東側に位置し、HP-1aが後から掘り直されている。覆土2層は埋戻されている可能性があり、双方の壙底からは5cm前後の円礫が出土している。共に「中央ピット」と考えられる。

柱穴はHP-2・3・5～8が主柱穴と考えられる。HP-4・9も主柱穴あるいはそれに準じると考えられることから6本か8本の柱構造を有する住居だったと考えられる。周溝は攪乱を受けていない壁際から検出された。南東側の周溝は分岐するヵ所があり、竪穴が拡張されたとも考えられるが構築時からの形態であった可能性も高い。

遺物 1～23が土器、24～39が石器である。

1～11は文様帯に粘土紐の貼付に併せて複数列の撚糸文や馬蹄形圧痕文あるいは刺突文などが施されるもの、12～15はそれらと同時期のものである。16、17は沈線文が施されるものである。床出土の土器は1、2、4～7、19、21、22である。4の胎土には海綿骨針が含まれている。

1、3～8、11、12は肥厚した口唇部に撚糸Lが密に押捺されたもので、粘土紐も器面と一体化している。

1の口唇の撚糸文は2本の撚糸Lを連続して押捺している。器形は特に胴長の大型深鉢で、幅の狭い文様帯には一体化した粘土紐の貼付と3列の撚糸L、管状の施文具による斜めからの刺突文が施されている。地紋は2段単節の太い縄による節の不明瞭な結束羽状縄文と考えられる。施文順位は「地紋→口唇部の撚糸文→粘土紐の貼付→3列の撚糸文→刺突文→粘土紐上の刻み」と考えられる。2は口縁と文様帯にやや細目の粘土紐の貼付と3列の撚糸(L・R・L)、馬蹄形圧痕文などが施された深鉢である。粘土紐上には撚糸Lでやや粗密な刻みが施されている。底部の下端は張出しており、地紋は0段多条の原体による結束斜行縄文である。施文順位は「地紋→粘土紐の貼付→3列の撚糸文→馬蹄形圧痕文→粘土紐上の刻み」である。3の口唇の撚糸文は絡条体で施文されており、文様帯は太目の粘土紐の貼付と3列の撚糸(L・R・L)、馬蹄形圧痕文が施されている。大型土器の底部で文様は前々段反撚RLLと考えられる縄文である。地紋は0段多条の原体による結束羽状縄文である。施文順位は「地紋→口唇部の撚糸文→粘土紐の貼付→3列の撚糸文→馬蹄形圧痕文→粘土紐上の刻み」である。4は太目の粘土紐の貼付と3列の撚糸(L・R・L)、馬蹄形圧痕文が施された深鉢で、正面の縦に施された馬蹄形圧痕文は先端部だけの圧痕である。地紋は2段単節の結束羽状縄文である。施文順位は「地紋→口唇部の撚糸文→粘土紐の貼付→3列の撚糸文→馬蹄形圧痕文→粘土紐上の刻み」である。5はやや細目の粘土紐が貼付される比較的小型の土器で、3列の撚糸Lと馬蹄形圧痕文も施されている。地紋は0段多条の原体による結束羽状縄文である。施文順位は「地紋→粘土紐の貼付→粘土紐上の刻み→3列の撚糸文→馬蹄形圧痕文」である。

6は文様帯に入り組んだ粘土紐や瘤状の貼付、馬蹄形圧痕文などが施された小型土器の口縁部である。加えて正面の粘土紐の間にある縦のスペースには爪先のような細かい刺突文が連続して施されている。7の3列の撚糸はLとRとLによる。8は器面と一体化した粘土紐の貼付と3列の撚糸L、馬蹄形圧痕文が施された非常に小型の土器である。馬蹄形圧痕文は山形突起の正面に単独で施されている。9は狭い文様帯に粘土紐の貼付と馬蹄形圧痕文が施されている小型土器の口縁部である。10は入り組んだ粘土紐の貼付と3列の撚糸L、馬蹄形圧痕文が施された山形突起部である。11は器面と一体化した粘土紐の貼付と2列の撚糸Lと骨を加工したような長方形の刺突文が施された小型の土器である。

12は口唇部に撚糸Lの密な押捺が施された口縁部である。13は無文の口縁部、14は0段多条の原体による結束羽状縄文が全面に施された平縁の深鉢、15が小型の土器である。

16は突起部と口唇部に2本の撚糸Lによる刻みが施された口縁部で、器面にはRLの上から連なった弧のような沈線文が施されている。17は太くクッキリとした沈線文が施される深鉢胴部である。18は突起下と口縁部に浅い不明瞭な沈線文が施された深鉢である。口唇部には棒状施文具による刻みが時々方向に変化をつけて施されている。19は0段多条の原体による結束羽状縄文が施された胴部である。20～23は底部である。

24、27～29はポイントあるいはナイフである。27、28は下端に使用の痕跡が見られる。土掘り具の可能性はある。25は石鏃、26は石錐である。30～33はスクレイパー、34、35はたたき石、36は接合した北海道式石冠、37～39は台石・石皿である。39の表面には微量の黒い付着物が認められる。

時期 縄文時代中期前半、円筒上層b式土器の時期と考えられる。

（皆川）

CH-40（図Ⅱ-233・234、図版Ⅰ-33・43、図版Ⅱ-121・278、表Ⅵ-4・5）

位置：N-79・80、O-79・80、P-80

特徴 平面が隅丸長方形ないし楕円形の堅穴住居跡である。CH-30を切って造られており、床～覆土に焼土や炭化材が多数出土することから「焼失家屋」と考えられる。

床からは焼土、貼床、土壌、盛土、柱穴、周溝が検出されている。

焼土のうちHF-9は炉址と考えられる。平面が不整の楕円形を呈する地床炉で、浅い土壌（HP-6）内から検出された。貼床はやや硬質化した粘土で、範囲は炉址（HF-9）の周辺からHP-1にかけてである。

土壌はHP-1が堅穴長軸の南西に寄った床から見つかった。平面は不整の円形でほぼ真っ直ぐに掘り込まれており、土壌底は比較的平坦である。覆土が埋戻されたものかは不明であるが、炭化材や焼土の混入がほとんど無いことから、焼失時には埋没していたと考えられる。縁に沿うように低い盛土が作られていることから、HP-1は「中央ピット」あるいは「先端ピット」的な性格のものと考えられる。

柱穴のうちHP-2～5は支柱穴である。周溝は壁際に設けられており、南西部の壁際には分岐点が見つかっている。

CP-92とした土壌は、内部から多くの焼土や炭化材が出土していることから、焼失時に既に存在していたと考えられることから本住居跡に伴う遺構の可能性が高い。CP-76とも重複するが構築時期の先後は不明である。

年代測定結果

26	IAAA-112187	タテ2C-8	CH-40HP-3	木炭	4,440±30
----	-------------	--------	-----------	----	----------

遺物 1～9が土器、10～14が石器である。

1はRLの地紋の上に細く剥落しやすい粘土紐の貼付が施された深鉢土器である。口唇部にはRLの縄による刻みが、粘土紐上には同原体が回転施文されている。正面の突起頂部には爪先によると考えられる細かい刻みが多数施されている。2、3はRLの縄線文が施された突起部である。同一個体と考えられ、頂には横長の凹みを有している。4は口唇部にLRの縄で刻みが施された補修孔のある口縁部である。5は瘤状の貼付と沈線文とが施された山形突起を有する深鉢である。口唇部には縄の刻みが施されている。6は突起下位に縦の取手状貼付が施されたものである。RLの原体によって口唇上には刻みが、器面には回転施文が施されている。7はLRの縄で口唇に刻みを施している口縁部である。8はRLの斜行縄文の上から縦と横に不明瞭な条痕を施した胴部である。

9は型押し文の施された土器片である。I群a類日計式土器である。

10は両面加工のポイント、11、12は石鏃、13はスクレイパー、14はたたき石である。

時期 縄文時代中期前半、サイベ沢Ⅶ式～見晴町式土器の時期と考えられる。

（皆川）

CH-41（図Ⅱ-235～237、図版Ⅰ-44、図版Ⅱ-122・123・278、表Ⅵ-4・5）

位置 P-81・82、Q-81

特徴

平面形態 長方形。

長軸方向 長軸方向は、HF-1・2の延長方向であり、北西側の短軸に直行する方向である。

確認 C地区南側の段丘斜面の標高56.40～56.90mのV層上面で検出した。

調査 III・IV層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、V層上面を精査したところ、黒褐色土の落ち込みを確認した。土層の確認を行うため、ベルトを設定し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。床面と壁の立ち上がり、焼土、柱穴を確認し、竪穴住居跡と判断した。南西側ではCP-124に切られている。また周囲1mの範囲を含めて外柱穴等の付属遺構の調査を行ったが、検出しなかった。

覆土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はIII層中である。斜面の上位にあたる北東側では、上部は崩落により開く。床面には炭化物と焼土粒を多く含む暗褐色土（8層）が堆積しており、生活面と考える。8層の上に堆積している暗褐色土（6層）の上面には、炭化物と焼土粒を多く含む黒褐色土（5層）が堆積している。両者ともにほぼ水平に堆積していることから、暗褐色土（6層）は貼床、黒褐色土（5層）は2枚目の生活面または住居跡の再利用の可能性がある。貼床の可能性がある6層を除き、すべて自然堆積である。

壁 壁は急角度で立ち上がり、斜面上部にあたる北東側は崩落のため、上部は開く。

床面 床面はほぼ平坦で、生活面（8層）を確認した。貼床の可能性がある6層上面はほぼ平坦で、その上部には生活面（5層）を確認した。

炭化材 検出しなかった。

掘り上げ土 検出しなかった。

付属遺構

・地床炉（HF-1・2）

HF-1・2は長軸上に並び、形態はHF-1は円形、HF-2は不整形である。HF-1において、1層は炭化物を含み、変色した土壌と周囲の土壌との境界は不明瞭である。このことから、HF-1はその場で形成された地床炉である。HF-2において、1層は炭化物と焼土粒を多く含み、変色した土壌と周囲の土壌との境界は明瞭である。このことから、HF-1から灰層を移動したものと考える。本来の地床炉がHF-1と考えると、炉跡は長軸上の1/3～1/4に位置する。

・先端ピット（HP-1）

南東側の短軸上の壁際に位置し、長軸上の中心からは南西側の壁際に寄っている。形状は円形のボウル状で、周堤を巡らす。周堤はV層を掘り残したもので、周堤上にはHP-5がある。周堤の外側で周溝は途切れる。

・柱穴（HP-3～5）

HP-3・4は掘り込みの浅いもので、HP-5の掘り込みは深い。掘り込みの深さは一定ではなく、配置に規則性が見られないことから、支柱穴・支柱穴は判然としない。形状が類似するHP-3・4は支柱穴の可能性がある。

・周溝

周溝は溝状で、北西側の短軸の中央と先端ピットの周堤で途切れる。

・土坑（HP-2）

HP-2は中心からやや壁寄りに位置し、形状は円形のボウル状である。柱穴の可能性もあるが、他との配置に規則性が見られないことと形状が異なることから、付属土坑と判断した。

・炭化物集中範囲

HP-2と反対側の中心からやや壁寄りの床面に炭化物が集中する範囲を検出した。範囲の形状は不整形である。炭化物は形状をとどめておらず、細かな痕跡のみを確認した。

・台状遺構

南東側の短軸上の壁際に位置し、長軸上の中心からは先端ピットと反対側の南西側の壁際に寄っている。形状は長方形の台状で、上部に筒状の砥石が置かれていた。周溝を構築後に土を盛り成形している。

遺構出土状況 出土した遺物は、土器422点、剥片石器47点、礫石器96点である。土層と取上げ時の層位との対応は、1～2層を1層、3層を2層、4層を3層、5～7層を4層、8層と床面を床である。床として取上げた8層と床面からはNo.21～30が出土している。

小型土器（No.24）、土器片（No.）、剥片石器（No.）、礫or礫石器（No.23）が出土し、竪穴に伴うと考える。先端ピット（HP-1）からは礫or礫石器（No.30?）が出土している。

年代測定結果

27	IAAA-112188	タテ2C-9	CH-41床面	木炭	4,500±30
----	-------------	--------	---------	----	----------

遺物 1～20が土器、21、22が石器である。

2～4は粘土紐の貼付が施されるもの、5～9は沈線文の施されるもの、10～15は山形突起を有するもの、17～20は底部である。上で図示した集中範囲の土器は5である。

1は床出土の口縁部である。口唇部にはLRの原体による刻みが施され、器面には同原体による斜行縄文と綾絡文が施される。口唇部には小突起が備わっていた痕跡が認められる。2は細目の粘土紐と爪先のような形状の施文具による刺突文が施された胴部である。3は撚糸の刻みが施された粘土紐の貼付と刺突文が施された胴部である。刺突文は小動物の四肢骨の骨端のような施文具を使っている。4は無文の細い粘土紐の貼付と縄の結び目を押捺したような圧痕文が施された口縁部である。5は縦の貼付帯と先が平らな施文具による沈線文が施された深鉢で集中範囲から出土した。突起部には粘土紐の貼付と条の細いRLの縄線文が施されており、口唇部には同じ原体による密な圧痕文が施されている。地紋も同じ原体による斜行縄文で、それに綾絡文が加わる。底部に近い器面には縦方向の研磨が施されている（5g）。6は口唇部に棒状の施文具による刻みが施された山形突起部である。7、8は2～3本の平行沈線が施された口縁部である。地紋はRLの斜行縄文で、口唇部にも不明瞭な文様が施されている。8の沈線文は深い幅が一定でない。9は先が尖った施文具による細く深い沈線文が施された突起下の胴部片である。

10は突起の下位に大柄な縦の取手状貼付が施された口縁部である。突起部と取手にはRLの縄線文が施されている。突起頂の平坦部には地紋と同じRLの斜行縄文が施されている。11、12は山形突起の器面に「八」状の貼付が施された口縁部である。13は口唇部に棒状の施文具による刻みが施されている。14は口唇部に粘土紐の貼付を伴った突起を有している。器面には条が縦になるLRの縄文が施されている。15は0段多条のRLの縄文と綾絡文が施された口縁部である。

15は頸部に刺突文の施された太目の貼付帯を有する平縁の深鉢口縁部である。刺突文は小径の管状施文具による。口縁部にはLRの縄線文2条が回らされており、器面にはRとLRの縄による羽状縄文が施されている。17は厚底の底部で、器面にはRLの斜行縄文が施されている。19は底面間際まで縄文が施されている。

21はつまみ付ナイフ、22がたたき石である。

時期 縄文時代中期前半、サイベ沢Ⅶ式～見晴町式土器の時期と考えられる。（佐藤）

CH-42 (図II-220, 図版I-90)

位置：P-70

特徴 平面が不整の卵形を呈する小型の住居状遺構である。CH-20の竪穴内から見つかりCP-88・89とも重複する。

範囲は貼床と思われる粘土の範囲である。炉址はなく小型で浅い土壇（HP-1）が先端部付近で、HP-2～7は円を描くような配置で検出されている。

HP-1～7の覆土はCH-20の柱穴等のそれと明らかに色調が異なっていたことから別遺構としたが、CP-88・89とともにCH-20に伴う遺構の可能性も考えられる。CH-37は明らかな切り合いが認められることから本遺構が古い。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。

(皆川)

CH-43 (図II-238・239, 図版I-45, 図版II-123・278, 表VI-4・5・8)

位置：P-72・73、Q-72・73

特徴 平面が不整の卵形を呈する小型の住居跡である。CP-133と重複する。

床からは焼土、土壇、貼床、柱穴が検出されている。

焼土はほぼ中央で平面が不整形で小型のHF-1が見つかり炉址と考えられる。被熱による赤化は弱く短期間の使用が推定される。土壇は卵形の平面の先端部でHP-1が検出されている。小型で浅いもので覆土には炭化物が含まれている。貼床はHF-1とHP-1の間で検出された。やや硬くなった粘土の範囲である。

柱穴は西側の壁際からHP-2が検出されている。その上位からは石棒（11）と石冠様石製品（12）が並んで壁に立てかけるような状態で出土しており、これらとHP-2に埋め込まれていたモノ（柱？）とは関連する可能性がある。加えて大きめの礫2点のセットが3組と完形土器なども出土し、これらも壁際に並ぶ様相を見せている。このような特徴は他にないことから本住居の特殊性を示すものと考えられる。

遺物 1～5は土器、6～10は石器、11、12は石製品である。

1は床近くから出土した平縁の深鉢である。口唇断面は丸形で内面まで続いている研磨が施されている。底部は厚底で内底は丸みを帯びている。頸部に刺突文の施された貼付帯を有し、口縁部文様帯にはRLの原体による縦位の縄線文が施されている。貼付帯の刺突文は、先端が尖っている施文具と管状の施文具によるものが交互に施されている。小動物の犬歯のようなものを用いている可能性がある。地紋はRLの原体による斜行縄文である。1と2は胎土と地紋に類似性が見られる。2は山形突起を有する深鉢形土器である。突起部は表側にRLの縄線文、裏側に細い粘土紐による長四角の貼付が施されている。沈線文は先端が尖り気味の施文具で斜め上から施されている。3は小型土器の突起部と口縁部である。突起部にはRLの縄線文、口唇部には同原体の刻みが施されている。地紋も同原体を縦に回転施文したものである。

4は口縁部に幅の広い研磨された無文部を有する口縁部である。器壁は薄く、胴部には浅いがスッキリと施された沈線で「 \cap 」状の文様などが施されている。地紋はRLの縄文である。大木9式土器相当と考えられる。5は上げ底の底部で、器面の一部には撚糸Lの絡条体による文様が施されている。内底は丸みを帯びており厚底である。

6は石鏃、7、8はスクレイパー、9は石斧状の石器の破損品、10は扁平打製石器である。

11は大型の石棒で両端部に同心円状の浮き彫りがなされている。12は大型の石冠様石製品である。非常に丁寧に作られている。

時期 縄文時代中期後半、大安在B式の時期と考えられる。（皆川）

CH-44（図Ⅱ-240. 図版Ⅰ-46. 図版Ⅱ-124・279. 表Ⅵ-4・5）

位置：O-71・72

特徴 平面が不整の卵形あるいは円形を呈する小型の住居状遺構である。

床からは焼土、貼床、土壌、柱穴が検出されている。

焼土は床中央やや北側から小型のHF-1が検出されている。被熱による赤化は弱く厚みはほとんど見られない。火が燃やされた期間は短かったと考えられる。また、周囲からは貼床に相当するやや硬化した粘土の範囲が検出されていることから、HF-1は炉址と考えられる。

土壌（HP-2）と柱穴（HP-1・3）は堅穴の南側壁際から検出されている。HP-2は平面が楕円形の小型の土壌で掘りは浅く、HP-3と重複する。HP-1・3は不整形で穴は斜めに入っている。

遺物 1～4は土器、5～8は石器である。

1はRLと0段多条のLRによる結束羽状縄文の施された口縁部である。内面には丁寧な研磨が施されている。2は底部近くの器面に横環するLRの縄線文が施されている小型の底部である。底部下端は張り出しており、内底は丸みを帯びている。3は床から出土したRLの斜行縄文が施された器壁の薄い胴部である。器面には同原体による条の細い斜行縄文が施されている。4は太い縄で羽状縄文が施された小型の土器である。

5は石鏃、6、7はスクレイパー、8はたたき石である。

時期 縄文時代中期後半、大安在B式の時期と考えられる。（皆川）

CH-45（図Ⅱ-240. 図版Ⅰ-46. 図版Ⅱ-124・279. 表Ⅵ-4・5）

位置：P-73・74

特徴 平面が不整の卵形を呈する小型の住居状遺構である。

床からは焼土、貼床、土壌、周溝が、柱穴は壁外から検出されている。

焼土はHF-1が床中央部から検出されている。小型の円形で赤化は極めて弱い。使用期間の短い地床炉と考えられる。その周辺からHP-7のある先端部にかけてやや硬化した粘土の範囲が検出された。貼床に相当すると考えられる。土壌は堅穴先端部の壁際でHP-7が検出されている。長楕円形で掘りは浅い。周溝は壁際を回ってHP-7に繋がっている。HP-7は「先端ピット」と考えられる。

壁からやや離れた地点から堅穴を囲む様な配置のHP-1～6が検出されている。壁外柱穴の可能性はある。

遺物 9～14は床の土器、15は石器である。

9は条が縦になるように施されたLRの縄文を地紋とする平縁の深鉢形土器である。口唇は内側の方が丸みの強いもので、そこから内側全体に丁寧な研磨が施されている。10は表裏両面にLRの縄文が施された胴が張り出す小型土器の口縁部である。断面が丸形の口唇部直下にはLRの縄線文が2条施されている。11はRLの縄文が施された器面の上に粘土紐を貼付した口縁部である。地紋と同じ原体を使い口唇部に刻み、粘土紐に縄文を施している。12、14は条が横のLRの縄文が施された底部近くの破片である。底部の内側は丸みを帯びている。13はLRの縄線文2条が施された小突起を有する口縁部である。

15は背面に光沢のあるRフレイクである。

時期 縄文時代中期後半、大安在B式の時期と考えられる。

(皆川)

CH-46 (図Ⅱ-241. 図版Ⅰ-46. 図版Ⅱ-124・279. 表Ⅵ-4・5)

位置：Q-83

特徴 南向きの緩斜面上に作られた平面が不整の円形を呈する小型の竪穴住居跡で、焼失した可能性がある。

床からは土壌、炭化材が検出されている。土壌は南側壁際からHP-1が検出されている。平面が不整の楕円形を呈し壙底は丸みを帯びている。所謂「先端ピット」と考えられる。炉址は見られない。

床から覆土4層において、図示したように出土しており、焼失した可能性がある。

年代測定結果

28	IAAA-112189	タテ2C-10	CH-46床面	木炭	4,310±30
----	-------------	---------	---------	----	----------

遺物 1～6は床の土器、7、8は石器である。

1は細いLRの原体による斜行縄文が施された平縁土器の口縁から胴部である。口唇断面は尖り気味のもので器壁は薄い。図の左端には地紋のない範囲が認められる。2、3はLRの斜行縄文と綾絡文からなる地紋の上に沈線文が施された口縁部である。沈線文の施文具は2が尖り気味のもの、3は先端が比較的平らなものによる。4はLRの縄線文を有する口縁部である。地紋は条が横になるLRの縄文で、口唇部にも同じ縄文が施されている。5は器面の上端に粘土紐2列を貼付した口縁部である。粘土紐の間が深い沈線文のような効果生んでおり、その下位の器面には独特の浅い平行沈線文も施されている。6は内底が丸い小型の底部である。

7はRフレイク、8は扁平打製石器である。

時期 縄文時代中期前半、サイベ沢Ⅶ式土器前後の時期と考えられる。

(皆川)

CH-47 (図Ⅱ-242～251. 図版Ⅰ-47. 図版Ⅱ-125～129・279. 表Ⅵ-4・5・8)

位置：R-73、S-73

特徴 平面が不整の楕円形を呈する竪穴住居跡である。CH-50の覆土内にスッポリと入る様に作られており、床などに不明瞭な部分もあったが炉址と考えられるHF-1や壁、遺物などから住居とした。柱穴は確認できなかったが、重複するCH-50の柱穴に本住居のものが混入していると考えられる。

HF-1はほぼ中央部で検出された不整の円形を呈する地床炉である。熱による赤化は著しい。すぐ近くか一括土器が出土している。

覆土1-1～1-3層には他遺構の掘上げ土と考えられる黄褐色土の混入が見られ、層中からは多数の遺物が出土している。

遺物 1～40は土器、41～44、46～48は石器、45は石製品である。

1～5、7、8、14～18は沈線文が施されたもの、9～11は粘土紐の貼付が多いもの、6、12、13、19～32は地紋が主体あるいは無文のもの、34～40は底部である。

1、2、4、5、7、8、10、13、14、20、22、23、28、30、33、34、37の胎土には海綿骨針が含まれている。24、26、27は滑石土器である。

床出土の土器は1、2、6、7、9～22、32、36、37である。

1は深めの沈線で直線と鋸歯状とで構成された文様が施されたやや胴長の深鉢である。低めの突起

の下位には横の取手状貼付が施されており、突起と口唇にはRLの縄による刻みが施されている。地紋もRLの斜行縄文である。2は尖端がやや丸みを帯びた棒状施文具による曲線的な沈線文が施された縦の取手状貼付を有するやや胴長の深鉢形土器である。RLの縄線文が施された突起部は各形が異なっておりその下位の沈線文も異なっている。正面には「g」状の沈線文が施されている。地紋は3段復節LRLの斜行縄文である。3は記号的な文様の沈線文が施された大型の深鉢形土器である。沈線は断面が半円形で棒状の施文具による。口唇部には太く深目の沈線が施されている。地紋はRL斜行縄文である。

4の沈線は平たい先端の施文具による。突起の内面側にも沈線が施されている。5は形状の異なった2種類の突起を有した小型の土器である。一山の突起の方にはRLの縄線文が施される縦の貼付が伴っている。沈線文は先端の尖った細目の施文具による。6は二山で一つの突起を構成する大型の深鉢である。地紋はRLの細い原体による斜行縄文と綾絡文である。同原体は突起部と口唇部の刻みにも用いられている。7は突起部に先の平たい施文具による沈線文が施された深鉢である。口唇部の刻みはRLの縄による。地紋は0段多条のRLと2段単節のRLによる結束斜行縄文と綾絡文が施されている。8は連なった弧状の沈線文が施された深鉢である。沈線は棒状の施文具による。突起部には横一の貼付が施され、口唇部には地紋のRLの縄による刻みが施されている。7、8は内面の研磨が著しい。

9、10は粘土紐が無文のもの、11は粘土紐の上に撚糸Rが押捺されている。12は突起部だけに粘土紐が施されたもので、口唇部にはRLの縄の刻みが施されている。13は小さな突起に細い粘土紐が一周して施された土器で、胎土は非常に柔らかく爪で簡単に削れる。14は太い沈線で器面に入り組んだ文様を施した深鉢形土器である。地紋は太いRLの斜行縄文で、口唇部にも同じ縄文が施される。15は先が平らな施文具による沈線が施された小型土器の口縁部である。口唇部にはLRの縄による刻みが施され、器面には縦の貼付の痕跡が残されている。16～18は入り組んだ沈線文が施された胴部で、16の沈線は浅く不明瞭である。19は口唇にLRの縄の刻みが施された口縁部、20は内面に研磨が施された無文の口縁部、21は羽状縄文と綾絡文が施された器壁の薄い胴部である。

22も同じ地紋が施された胴長で大型の深鉢である。口唇部にはRLの縄の刻みが施されている。23はRLの原体を縦横に回転施文した平縁の小型土器で、尖り気味の口唇部にも同じ文様を施している。24は0段多条RLの斜行縄文が施された滑石土器の胴部である。25は突起部に円形の凹みを有し口唇部に深い沈線が施された口縁部である。器面にはRLと思われる不明瞭な縄文が施されている。26、27も滑石土器である。26は無文の胴部、27は口唇に深い沈線が施された口縁部である。28は0段多条の結束羽状縄文が突起部や口唇部にも施された口縁～胴部である。29は山形突起に円形の深い凹みを有する深鉢である。器面には節の不明瞭なRLの縄文が施されている。

30は低い山形突起を有する深鉢の上半部である。口唇部は無文で器壁が厚く、地紋はLRの縄文である。31は尖り気味の山形突起を有する深鉢口縁部である。口唇部にもRLの縄文が施されている。32は口唇に沿ってRLの縄線文が施されている平縁の深鉢口縁部である。口唇には更に細い斜めの刻みと縄文が重ねて施されている。

33はLRの縄文が底面にも施された上げ底の底部である。内底は丸くなっており、厚底である。34、35は大型の底部である。38、39は内底が丸い底部である。36、38～40は器面に節の小さなRLの斜行縄文が施されている。

41は大型のポイント、42は石鏃、43、44は石錐、46はスクレイパー、47は扁平打製石器、48は台石・石皿である。

45は三角形石製品である。

時期 縄文時代中期前半、サイベ沢VIIb式土器の時期と考えられる。CH-50よりも新しい。(皆川)

CH-48 (図II-252・253、図版I-48、図版II-130・280、表VI-4・5)

位置 : S-72・73、T-72・73

特徴 平面が隅丸の長方形と推定される堅穴住居跡である。堅穴の一部が調査範囲外に及んでいる。

床からは焼土、土壌、盛土、貼床、柱穴、周溝が検出されている。

焼土はHF-1～4が検出されている。HF-1は床中央部付近の浅く掘り窪めたHP-18内で検出された炉址で、埋甕炉(HP-20)と不整形の焼土粒の範囲からなる。20cmほど離れた南東側の周りには盛土の可能性のある微妙な高まりが検出されている。HF-4も一連のものと考えられる。

HF-2・3は外観など良く似た特徴を持つことから時期を同じくする地床炉である。HF-1と比較して赤化の度合いは強く性格は異なると考えられる。HF-2・3は共に古い時期の炉址の可能性はある。

土壌のHP-1はHP-6と重複して検出された。共に床面長軸上の南東寄りに位置し、人為的に埋戻された可能性が高い。新しいHP-1は平面が一回り大型の楕円形で、円みを帯びた壙底には細い枝を突き刺さした様な小ピットが複数認められた。古いHP-6は小型で壙底からは小ピット2ヵ所が見つかっている。また、HP-1・6に接して南東壁側には低い盛土が、反対のHF-1側には複数の小ピットが検出されており、これらもHP-1・6とセットになるか関連すると考えられる。以上のことから、HP-1・6は所謂「先端ピット」的な性格の土壌と考えられる。また、HP-10～13のセットやHP-18も時期の異なる「先端ピット」の可能性はある。

貼床は床面長軸上のHP-1・6からHF-1にかけての範囲で検出されたもので、やや固い粘土の広がりである。

主柱穴は壁近くで見つかったHP-2～5で4本柱の構造物と考えられる。HP-2・3は壁外に向かって傾いている。周溝は大凡壁際を回っていると考えられる。

壁際で大きめで棒状の礫石器や礫が出土する傾向がある。

遺物 1～9は土器、10～17は石器である。滑石土器は3、7が出土している。床出土の土器は1～5、7、9である。

1は緩やかな波状口縁を有する深鉢形土器である。口唇直下の無文の肥厚帯は口唇を折り返して厚くした可能性がある。地紋はLRの斜行縄文である。2は軽い研磨が施された断面が丸形の口唇を有する平縁の土器である。器面にはLRの太い縄文が施されている。CH-47覆土2層の土器と接合している。3は口唇にRLの縄の刻みが施された口縁部である。器面には縄文と綾絡文も施されている。滑石土器と考えられる。4は粘土紐の貼付で肥厚させた口唇部に深い沈線を施している口縁部で、器面には浅い沈線文も施される。5はLRの原体で条が縦気味になる縄文を施している器壁の薄い胴部である。6はRLと撚糸Lの結束羽状縄文と綾絡文が施される器壁の薄い胴部である。7、8は沈線で入り組んだ文様を施している胴部である。7は滑石土器である。9は器壁も底も薄い底部で、器面には0段多条RLによる条が縦になる縄文が施されている。

10、11は石鏃、12、13はスクレイパー、14、15は堅穴の壁際床面から出土した棒状の礫、16は台石・石皿でCH-56出土のものと接合する。17は扁平打製石器である。

時期 縄文時代中期前半、見晴町式土器の時期ぐらいと考えられる。2の土器の接合関係からCH-47よりも新しい可能性がある。(皆川)

CH-49（図Ⅱ-254～258、図版Ⅰ-49、図版Ⅱ-131・132・280・281、表Ⅵ-4・5・8）

位置：S-71、T-70・71

特徴 平面が長楕円形と推定される竪穴住居跡である。竪穴の一部が調査範囲外に及んでいる。

床からは焼土、土壌、盛土、貼床、柱穴、周溝が検出されている。

焼土はHF-1～3が検出され、炉址はHF-1・2で地床炉である。土壌はHP-1・6が検出されている。HP-1は南西側の壁際で検出された。平面は長楕円形で壁に沿って長く作られており、壙底は壁側に向かって深く傾斜している。遺物は壙底から複数の小型の円礫が出土している。覆土は自然堆積の可能性が高い。HP-6は竪穴長軸上の南東側の壁に近い位置から検出された。平面は不整の円形で、浅く円みを帯びた壙底に小ピット（HP-10）を伴う。縁に接した炉址側には盛土に相当すると考えられる微妙な盛り上がりが見出されている。貼床は僅かに固い粘土の広がり、HP-6から炉址（HF-1・2）の間で検出されている。

主柱穴は壁から離れた所にあるHP-2～5の4ヵ所である。HP-8・9は底が浅い小型の土壌状のピットである。覆土は埋め戻されおり、特にその上位は床面と同じ色調の土を使用して「隠されていた」かの印象が強い。壙底から小型の円礫などが出土している。周溝は壁際から断続的に見つかったりしている。不明瞭な部分が多い。

壁際で大きめで棒状の礫石器や礫が出土する傾向がある。

遺物 1～16は土器、17～26は石器、27が石製品である。

土器は1～7、10が粘土紐による文様が施されるもの、12が沈線文の施されるもの、8、9、11、13が地紋だけが施されているもの、14～16が底部である。床出土の土器は2、8、11、12、15である。1、2、8、9、14の胎土には海綿骨針が含まれている。

1の粘土紐は幅広で平べったく密着が弱いもので、粘土紐上の文様は、3/4程の範囲に0段多条LRの原体による刻み、1/4程の範囲には先に平らな部分がある施文具による斜めの刺突文が施されている。口唇部は無文で、突起部には短い縦の突起状貼付が施されていた痕跡が認められる。底部は少し上げ底を呈している。地紋は0段多条の結束羽状縄文である。2は立体的な粘土紐上に細目の撚糸Lによる刻みを密に施した深鉢である。突起部には貫通孔が施され、その両側には盛り上がった粘土紐が貼付されている。底部の下端は張り出しており、地紋は0段多条の結束羽状縄文である。

3は細く密着の弱い粘土紐の貼付が施された深鉢である。粘土紐の上には撚糸Lの刻みがやや粗密に施されている。突起部には貫通孔が施されており、地紋は0段多条の結束羽状縄文である。4は密着の弱い粘土紐の貼付が施された深鉢である。粘土紐上の刻みは、細い撚糸Lを密に施している。突起部には大型で縦の取手状貼付が施されている。地紋は無節のように見える0段多条の結束羽状縄文である。

5、6は平縁の口縁部に粘土紐の貼付を施している。双方とも撚と太さの異なる3列の撚糸（R・L・R）によって刻みが施された粘土紐が無文部に貼付され、器面には0段多条の結束羽状縄文が施されている。地紋の羽状の方向が異なるが、同一個体の可能性もある。7は口唇直下の口縁に揺れ幅の少ない波状の粘土紐を貼付した小型土器である。粘土紐は細く密着の弱いもので、その上には撚糸Lによる刻みが施されている。地紋は0段多条の結束羽状縄文である。8は串歯状の施文具による細い筋のような沈線文が縦に施されている底部に近い胴部である。9は口唇が無文で器面に結束羽状縄文が施された比較的小型の深鉢である。10は器面と密着した比較的細目の粘土紐の貼付と斜めの刺突文が施された胴部で、粘土紐上には篋状の施文具による刻みが施されている。刺突文は所謂「押引」をイメージさせるもので、施文具には小動物の四肢骨の骨端が用いられた可能性がある胎土には粒の大きな砂

粒が多く含まれている。11は0段多条LRと2段単節RLによる結束羽状縄文と綾絡文が施された胴部である。12は細く整った沈線文が施された突起部下位の胴部である。貫通孔の痕跡があり、園下には粘土紐の貼付が施されている。23は肥厚した突起部を有するも深鉢で、全面のやや太目の結束羽状縄文を施している。

14は細かく割れて出土した、下端が少し張り出している底部である。上げ底を呈しており、器面には0段多条の太い原体による節の不明瞭な結束羽状縄文が施されている。15は底面と内底にも研磨が施された小型の底部である。0段多条LRと綾絡文が施されている。16はバンド状の貼付帯が施された底部である。

17～21はスクレイパーで、18～20の表背面には小唄部がある。22はたたき石、23は北海道式石冠、24は扁平打製石器、25はすり石である。

26は棒状の礫、27は破損した石刀である。

時期 縄文時代中期前葉、サイベ沢Ⅶa式土器の時期と考えられる。(皆川)

CH-50 (図Ⅱ-259～266. 図版Ⅰ-50. 図版Ⅱ133～136・281・282. 表Ⅵ-4・5・8)

位置：Q-73、R-72～74、S-72～74

特徴 平面が隅丸の長方形を呈する竪穴住居跡である。覆土～床面付近で多数の炭化材や焼土が検出されたことから当住居は焼失住居と考えられる。また、CH-47と重複しそれよりも古い。なお、CH-50の中にCH-47の柱穴が混入している可能性があるものの、明瞭な区別はできなかった。

床からは焼土、土壌、盛土、柱穴、周溝が検出されている。

焼土はCH-4～9が竪穴長軸上の床面から検出されている。CH-4・5・8・9は床中央部に位置し、本住居の中心的な床炉と考えられる。HF-5は赤化の著しく、HF-8は赤化が弱いもので両者は一纏まりの可能性がある。HF-4・9はそれよりも古い、赤化の弱い黄褐色土のHF-9は本来的に古いHF-4を隠す目的で被せたとと思われる。

HF-6・7は北西側に寄った位置から並んで検出されたもので、CH-4・5・8・9の補助的な炉址の可能性もある。しかしながら、各特殊な配置にあるHP-45やHP-30と重複あるいは近接しているためこれらのピットと関連する可能性もある。

土壌は竪穴長軸上でHP-1～3が検出されている。これらの中でHP-1は炉址近くに位置し比較的小型である。平面は円形で壙底は平坦部分が多くを占める。覆土1層は自然堆積とは言い難く、覆土2層とともに人為的に埋戻された可能性がある。すぐ周囲は微妙な高まりで囲まれておりこれは盛土と推定されHP-1に伴うと考えられる。また、すぐ手前に配置された小ピット2カ所（HP-13・15）もこれらに伴う可能性がある。

HP-2・3は重複しており、HP-2が新しい。HP-2は比較的大型の土壌で、平面は不整の円形を呈し壙底は円みを帯びている。周りにはやはり盛土があり、HP-2に伴うと考えられる。HP-3はHP-2より古く、太目の柱穴の様にほぼ真っ直ぐ壙底に至っている。3基の土壌の中では最も深い。HP-2によって失われているが、この土壌にも盛土が伴っていた可能性がある。覆土はHP-2・3とも埋戻されている可能性がある。HP-1～3は所謂「中央ピット」あるいは「先端ピット」に相当すると考えられ、この内HP-1が新しいと思われる。

主柱穴は、おおよそHP-9・17・24・33と、HP-11・20・28・32の二組が認められる。前者とほぼ同じ位置にCH-10・18・25・34があることから家屋の改築あるいは再建築が行われたと考えられる。考えられる他の遺構との組み合わせは、古い方からCH-10・18・25・34がHP-3と、HP-9・17・

24・33がHP-2とである。HF-4・9、HP-45はこのどちらかあるいは両方に伴う。最後に、HP-11・20・28・32はHP-1、HF-5・8、HP-30と組み合わせると考えられる。周溝は壁付近を二重に回る様に検出されている。重複する住居のものともできるが、本来的な構造の可能性もある。

遺物 1～35は土器、40～54は石器、36、37が土製品、38、39が石製品である。

土器は2～6が無地の文様帯に粘土紐の貼付と3列の撚糸文、馬蹄形圧痕文、刺突文などが施されたもの、1、7～9、12～15、17、18が地紋の上に粘土紐が貼付されるもの、10、11、16、20、25が縄文だけのもの、22、23は沈線文が施されるもの、21、24は胴部、26～33は底部、34、34はI群a類の日計式土器である。床出土の土器は5、6、8、10、13、15、18、20、21、24、26～30である。1、2、7、9、10、14、15、18、23、24、27、29、30、32の胎土には海綿骨針が含まれている。

1は地紋の上に細く密着の弱い粘土紐を貼付した深鉢形土器である。粘土紐には篋状の施文具で刻みが施されている。地紋は2段単節RLと撚戻しRRによる結束羽状縄文と考えられる。2～5は粘土紐と併に小動物の四肢骨の骨端のような施文具を用いた刺突文が施されている。2は密着の弱い粘土紐の貼付と左斜め方向からの刺突文が施された口縁と胴部である。粘土紐の上には細い撚糸Lの刻みが施されている。3は入り組んだ細目の粘土紐が施された小型土器の胴部である。粘土紐上には撚糸Rの刻みが施され、刺突文はほぼ全面に施され特に胴部では所謂「押引」の様相を呈している。4は右斜めからの刺突文が施されている。粘土紐上の刻みは極細の撚糸Rによる。5は非常に小さな生き物の骨端部を用いた刺突文を胴部にも施文した小型土器である。

6は太い粘土紐の貼付と3列の撚糸L、馬蹄形圧痕文が施された口縁部である。口唇には撚糸Lの押捺も施されているが印象は薄く、馬蹄形圧痕文の部分的な進出も見られる。7～9は地紋の上に細い粘土紐を貼付した土器である。7は1段無節Lと0段多条RLによる結束羽状縄文が器面と口唇部と粘土紐上にも施されている。8は器面に結束羽状縄文、口唇部と粘土紐上には細い撚糸Lの刻みが施されている。HP-2出土である。9は器面と口唇にRLと0段多条LRによる結束羽状縄文、粘土紐上には0段多条LRの斜行縄文が施される。

10は細いRLの縄文と綾絡文の地紋が施された胴長で大型の深鉢である。口唇部にはRLの縄の刻みが施されている。CH-47-22と接合している。11は突起部に密着の弱い粘土紐が貼付された深鉢である。口唇部にはLRの原体による刻みが施されており、器面には同原体を縦に回転施文している。12、13は結束羽状縄文の地紋の上に浮線状の細い粘土紐を貼付したものである。粘土紐は無文である。12は深鉢胴部、13は口縁部で、粘土紐の大半は剥落している。14はLRと0段多条RLによる結束羽状縄文が施された器面に同じ縄文の施された浮線状の細い粘土紐が貼付された深鉢口縁～胴部である。胴部の粘土紐には瘤状の貼付も施されている。15、18は細い粘土紐上に長いLの撚糸文2列を施した口縁部である。15は無地の器面に粘土紐を施したもので、突起部には貫通孔が、口唇部にはLRの原体による刻みが施されている。18の粘土紐はRLの地紋上に施されている。右肩下がりの低い突起部の下位には縦の取手状貼付が施されており、その周辺の器面だけが無地である。16は羽状縄文と綾絡文が施された平縁の小型土器である。17は浮線状の粘土紐が貼付された小型の土器である。突起部には瘤状の貼付が施されており、地紋は0段多条RLと2段単節LRの結束羽状縄文である。19は器面に太い沈線文、突起部に縦長の貫通孔と「Y」状の取手状貼付が施された口縁部である。貼付や口唇の上には細い撚糸L2列の圧痕が施されている。20は頸部に括れのある小型の土器で、地紋はLRの斜行縄文が施されている。21は粘土紐上に円形の刺突文が施された胴部片である。22は突起部下位の口縁部である。口唇部にはLRの原体による刻みが施されている。23は厚みのある突起部にRLの縄文と沈線文が施されたもので、口唇部にも同原体の刻みが施されている。CH-47-8と同一個体の可能性がある。

24は口縁部と底部を欠いたまま逆さに伏せた状態で出土した胴部である。地紋は細い2段単節RLと太い0段多条LRの原体による羽状縄文と綾絡文である。25は突起部に縦長の貫通孔2ヵ所が施された深鉢口縁部である。器壁が薄く、口縁部には沈線文が施されていた可能性がある。地紋はLRの斜行縄文と綾絡文である。

26はHP-2出土の無文の底部である。27はHP-15出土の結束斜行縄文が施された小型の底部である。28は貼付帯とLRの斜行縄文が施された器壁の薄い底部である。29、30は小型の底部である。31は内底が丸みを帯びている底部で、器面には0段多条の結束羽状縄文が施されている。32も結束羽状縄文の施された大型土器の底部である。

34、35は矢羽根状の型押し文が施されたI群a類日計式土器の胴部である。

40、41は石鏃で、41は早期のものである。42はつまみ付ナイフ、43～48は表背面に光沢のあるスクレイパーである。49、50は石斧、51は北海道式石冠であるが、形態が石冠様石製品に類似している。CH-56出土のものと接合した。52はたたき石、53は扁平打製石器、54が台石・石皿である。

38が玉、39が右側縁に溝が切られた板状の石製品である。石刀の可能性もある。

36は盃形の土製品、37がIII群a類土器の破片を使った土製円盤である。

時期 縄文時代中期前半、サイベ沢VIIa式土器の時期でCH-47よりも古い。

(皆川)

CH-51 (図II-267～288、図版II-137～150・282・283)

位置：S-77

特徴 平面が大型の楕円形を呈すると考えられる竪穴住居跡である。覆土3、6層には炭化物が多く含まれていることから焼失家屋の可能性もある。また、CH-56と重複するものの竪穴の輪郭が明瞭でなくCH-51の床面の遺構や遺物にはCH-56のものが混入している可能性がある。

床からは焼土、土壌、盛土、柱穴、周溝が検出されている。

焼土はCF-1～5が床面から検出されている。CF-1は床中央部に位置すると想定され、本住居の中心的な地床炉と考えられる。

土壌はHP-1が検出されている。HP-1は炉跡のHF-1とともに竪穴長軸上に位置し比較的大型で所謂「中央土壌」と考えられる。平面は円形で壙底は平坦部分が多くを占める。覆土1層は炭化物の混入が少ないことから埋没していた可能性もある。土壌の周囲は黄褐色土で囲まれておりこれは盛土と推定される。

主柱穴は、HP-2～7が検出されている。

周溝は壁付近を二重に回る様に検出されている。重複する住居のものともできるが、本来的な構造の可能性もある。

遺物 1～71は土器、72～86は石器、87は石製品、88、89が土製品である。

土器は1～6、8、9、12～15、17、18、23、27～35、42、43が無地の文様帯に粘土紐の貼付、3列の撚糸文、馬蹄形圧痕文、刺突文が施されるものである。このうち1、2、4、5、8、9、12、13、16、17、20、21、27、32、34、37、40、42の地紋は0段多条の原体による結束羽状縄文である。

16、19～21、26、32、36～38、40、41、47、48が地紋の上に粘土紐の貼付が施される文様帯を有するもの、11、24、26、39、42、50～56が突起や口縁部にだけ粘土紐の貼付を有するもの、22、25、44～46、63が沈線文の施されるもの、7、10、57、59、60、64が地紋だけのもの、61、62無文のもの、58、68が口唇部に沈線の施されるもの、67が魚骨文の施されるもの、69～71が底部である。

4、5、11、13、17、19、21、26、29、31～33、39、41～43、47～50、52、55、57、60、60、64の

胎土には海綿骨針が含まれている。2、34は滑石土器である。

床出土の土器は6、17、18、23、47ある。

1は断面が蒲鋒形の粘土紐と3列の撚糸L、馬蹄形圧痕が施された深鉢で、粘土紐の上には細い撚糸Lの刻みが隙間無く施されている。山形突起部には貫通孔が施されており、底部は厚底である。2は灰色で重量の軽い所謂滑石土器の深鉢形土器である。文様帯には断面が蒲鋒形の粘土紐と3列の撚糸（L・R・L）、馬蹄形圧痕文が施されている。粘土紐は密着が弱く、多くは無文だが一部に太い撚糸Lによる刻みが施されている。低い山形突起部には貫通孔とその両側には縦の貼付が施されている。

3は撚糸Lによる密な刻みのある粘土紐の貼付と3列の撚糸L、小さな馬蹄形圧痕文が施された胴長の深鉢形土器である。地紋はRLの原体による結束斜行縄文で、胎土には繊維が含まれている。

4は幅の狭い文様帯にやや細目の粘土紐の貼付と3列の撚糸（L・R・L）と撚糸Lの折り返し部分を用いた押捺文などが施された小型の深鉢である。5は厚みのある口唇部に撚糸Rを押捺した小型の土器である。文様帯の幅は狭く、そこに粘土紐の貼付と馬蹄形圧痕文による比較的簡潔な文様が施されている。地紋は2段単節の結束羽状縄文である。

6は厚みのある口唇から口縁に撚糸Lを密に押捺した大型の深鉢形土器で、撚糸Lが刻まれた太く密着の良い粘土紐と三日月状の馬蹄形圧痕文が施された文様帯を有している。7は全面に太い2段単節の結束羽状縄文が施された平縁の深鉢である。口唇断面は丸形で表面は研磨が施されている。

8は文様帯に密着の弱い粘土紐と3列の撚糸Lと刺突文が施された深鉢である。低い山形突起には瘤状の貼付が施されており、その貼付と粘土紐上には撚糸Lによる粗密な刻みが施されている。刺突文は2種が施されており、一方は管状の施文具、もう一方がそれを半裁したような施文具による。9は比較的太目の粘土紐と3列の撚糸Lと雑に施された馬蹄形圧痕文が施された大型の深鉢である。山形突起部には貫通孔が施されている。10は取手のある鉢形土器である。取手は一カ所だけで、口唇部と器面には3段復節RLRの原体による縄文が施されている。11は口唇から口縁に細い浮線状の粘土紐が貼付された平縁の深鉢である。粘土紐上には篋状の施文具による深く鋭い刻みが施され、器面には2段単節の結束羽状縄文が施されている。

12は細く無文の粘土紐の貼付と特徴的な刺突文が施された口縁が大きく開く深鉢形土器である。刺突は一方の端部に括れを有する弧状のもので、施文具は小動物の四肢骨を加工したものが考えられる。口縁の突起は低く左肩下がりのもので、その下位の表面には縦の取手状貼付の痕跡が認められる。また、突起の内面側には特徴的な「つ」あるいは逆「つ」状の粘土紐の貼付が施されている。胴部には地紋上に貼付された粘土紐が認められる。

13は太目の粘土紐の貼付と3列の撚糸Lと刺突文が施された深鉢である。粘土紐能重には太い撚糸Lによる密な刻みが施されている。刺突文は半裁した角形で中空の施文具によるもので、小動物の四肢骨を加工したものが想定される。14は細く密着の弱い粘土紐の貼付と3列の撚糸（上からL・L・R）と刺突文が施された深鉢である。撚糸の施文は極限定的である。刺突文は半裁した管状の施文具で右斜め方向から施されている。突起部には貫通孔が施され、地紋は2段単節の結束羽状縄文である。15は細く密着の弱い粘土紐と3列の撚糸Lと刺突文が施された小型の土器である。刺突文は2種があり、中空で角形の施文具によるものと先細りの棒状の施文具によるものである。地紋は2段単節の結束羽状縄文である。

16は地紋の上に太目の粘土紐を貼付した深鉢である。粘土紐の上には撚糸Lの粗密な刻みが施されている。突起部には貫通孔が施されている。17は細い粘土紐と半裁した管状の施文具による押引のような刺突文が施された小型の土器である。18は突起が一カ所の小型土器である。全面に細い粘土紐と3

列の撚糸Lと刺突文、更に絡条体の回転圧痕文が施されている。刺突文は半裁した管状の施文具による。底部は上げ底である。

19の粘土紐は細く浮線状もので刻みは撚糸2種(L・R)による。突起部には貫通孔と瘤状の貼付が施されている。地紋はLRの結束斜行縄文である。20は細く浮線状の粘土紐が施された深鉢で、粘土紐上の刻みは撚糸Lによる。突起部には貫通孔が施されている。21は「Y」状の取手状貼付が施された平縁の深鉢である。粘土紐は細くその上には撚糸Lによる刻みが施されている。

22は太く深めの沈線と粘土の貼付が施された深鉢である。小柄な突起の下位には「八」状、胴部には横の取手状の貼付が施されている。口唇にはRLの原体による刻みが施され、地紋は同原体による斜行縄文である。23、24は小型のどきである。23は無地の器面に細い浮線状の粘土紐が施されている。24は口縁部に2ヵ所で一組の貼付が施されている。25は棒状の施文具による幅広で浅い沈線と瘤状の貼付が施された深鉢である。口唇部には棒状の施文具による刻みが施され、突起部には粘土紐の輪が貼付されていた痕跡が認められる。地紋はRLの斜行縄文である。26は浮線状の粘土紐の上にLRの縄文が施されている。突起部には貫通孔が施されており、表側には孔の縁にも粘土紐が貼付されている。粘土紐は突起部の内面側にも施されている。突起部と口唇部にはRLの刻みが施されており、地紋は2段単節の結束羽状縄文である。

27は小型土器の口縁部である。粘土紐は細くその上には細い撚糸Lの刻みが密に施されている。3列の撚糸は全てLである。刺突文はひどく小さな施文具が用いられており、小動物の四肢骨の骨端部の可能性がある。28は貫通孔とその両側に瘤状の貼付が施された突起部である。文様帯には細く密着が弱い粘土紐と3列の撚糸Lと馬蹄形圧痕文が施されている。粘土紐上には撚糸Lの密な刻みが施されている。29は太く盛り上がった粘土紐と3列の太い撚糸(L・R・L)と馬蹄形圧痕文が施された山形突起部である。粘土紐の上には太い撚糸Lによる密な刻みが施され、3列の撚糸文は限定された範囲において曲線的に用いられている。突起部には貫通孔が施されている。馬蹄形圧痕文は配列性に乏しくスペースを埋めるかのように施されている。30は細目の粘土紐と3列の撚糸Lと刺突文が施された山形突起部である。粘土紐上には撚糸Lの刻みが丁寧に施されており、刺突文は小動物の四肢骨の骨端を用いたような施文具で右斜めから突き刺している。突起の下位には縦の取手状貼付が施されていた痕跡が認められる。31は口縁部肥厚帯に楕円状の粘土紐を貼付した平縁の深鉢口縁部である。粘土紐は密着の弱いもので、口唇の粘土紐上には撚糸LとLRの縄の刻みが、器面の粘土紐上にはLRの縄による縄文が施されている。なお、口唇部の粘土紐はLRの縄文の上から貼付されている。刺突文は2種が施されている。一つは縄端を押しつけたもの、もう一つは半裁した管状の施文具による。32は太いが密着の弱い粘土紐と刺突文が山形突起の下位にだけ施された深鉢で、それら以外の器面は口縁部も含め地紋で充填されている。33は撚糸Lの密な押捺が口唇から口縁に施された山形突起部で、文様帯には太く器面と一体化した粘土紐と馬蹄形圧痕文が施されている。粘土紐上には細い撚糸Lが隙間無く刻まれている。

34は小型の滑石土器で、撚糸Lで刻みの施された太く密着の良い粘土紐と馬蹄形圧痕文が施されている。35は無文の粘土紐と刺突文の施された肥厚した口縁である。刺突文は小動物あるいは鳥類の四肢骨のようなものを加工した施文具で右斜めから突き刺している。36は貫通孔が施された突起部である。37の粘土紐の刻みは撚糸Lによる。38は粘土紐上にLRの斜行縄文、地紋には0段多条LRの結束斜行縄文と0段多条の結束羽状縄文2種が施されている。

39は0段多条RLの原体による縄線文と貫通孔が施された小突起とその下位に横の取手状貼付が施された深鉢である。口唇部には同原体の刻みが、地紋には斜行縄文と綾絡文が施されている。40は浮

線状の粘土紐に撚糸L2本で刻みを施した深鉢である。突起部には貫通孔が施されている。

41は縄文のある浮線状の粘土紐の貼付と「Y」状の取手状貼付を有する深鉢である。地紋は2段単節の羽状縄文である。42は突起部付近の無地部に浮線状の粘土紐と2列の撚糸Lと馬蹄形圧痕文が施されている深鉢である。

43は幅広の無地部に細い浮線状の粘土紐を施した深鉢で、胴下半部には2段単節の羽状縄文が施されている。44は小突起部に小さな瘤状の貼付を施した口縁部である。45は突起部に貫通孔と瘤状の貼付が施されており、それらの周りに太いRLの縄線文も施されている。44、45はRLの原体で口唇には刻み、器面には斜行縄文が施されている。46は口唇部に太い沈線を有する口縁部である。

47は2段単節LRの結束斜行縄文が施された器面に浮線状の粘土紐を貼付した土器である。器面の剥落が著しい。48は0段多条LRと2段単節RLによる結束羽状縄文が施された器面に浮線状の無文の粘土紐を貼付した深鉢土器の下半部である。内底が丸みを帯びている。49は粘土紐の貼付と馬蹄形圧痕文が施された深鉢土器の下半部である、地紋は1段無節Rの結束斜行縄文である。

50は浮線状の細い粘土紐と刺突文と貫通孔が施された突起部である。粘土紐の上には撚糸Lの刻みが施されている。刺突文は小動物の四肢骨の端部と考えられる施文具によるものが口唇の一部に施されている。地紋は結束羽状縄文である。51は瘤状の貼付と粘土紐が施された山形突起部である。粘土紐上には撚糸Lの刻みが、器面には0段多条の結束羽状縄文と考えられるものが施されている。52は突起頂部に盃状の貼付とその下位に貫通孔と縦の取手状貼付を有する深鉢形土器である。突起部付近にはRLの縄線文が施され、口唇部には同原体の刻みが、器面には斜行縄文と綾絡文が施されている。53は口唇に浮線状の粘土紐を施した口縁部である。粘土紐の上には撚糸Lの刻みが施され、地紋には3段復節RLRと太い0段多条LRによる結束羽状縄文が施されている。54は突起部に円形の浅い凹みを有した口縁部である。55は口唇部にLRの刻みが施された深鉢で、底部下端が張り出している。

56は突起部に粘土紐の円を貼付したもので、口縁部には細いRLの原体による刻みが施されている。57は口縁が僅かに肥厚する。58は口唇部に沈線が施された口縁部である。59は口唇部に小円形の刺突文が施されている。60の地紋はRLRの斜行縄文である。61、62は無文の小型土器である。63は器面に極細の沈線文が施された小型土器の口縁部である。64は口縁部が僅かに肥厚した平縁のどきである。65は口唇部に太い沈線状の凹みが施された口縁部である。66は小型土器の口縁部である。67はサケタイプ魚骨回転文が施された胴部である。69は土器底部の器台部分である。

72、73は石鏃、74、75は両面加工のポイントである。75は使用の痕跡が下端部に多い。土掘り具の可能性はある。76は粗製のつまみ付ナイフ、77、78はスクレイパーで、77は刃部の断面の角度が鈍角である。78は表背面に光沢部を有している。79、80はたたき石、81、82は北海道式石冠、83砥石、84、85は台石・石皿である。83はCH-31出土のものと接合している。85は使用部に意図的と考えられる小さな孔が多く設けられている。

86は棒状の礫、87は泥岩製の玉、88は土偶の腕、89は胸部に貫通孔がある土偶である。

時期 縄文時代中期前半、円筒上層b式土器と考えられる。また、サイベ沢VIIa式土器の時期の遺構が重複しているあるいはCH-56のものが混入している可能性がある。（立川）

CH-52（図Ⅱ-296～306、図版Ⅰ-51、図版Ⅱ-150～156・284・285、表Ⅵ-4・5・8）

位置：Q-75・76、R-74～76、S-75・76

特徴 平面は縦軸と横軸の長さが大きく違わない楕円形を呈す。覆土の床面近くからは建材と考えられる炭化物や炭化材が検出されており焼失家屋の可能性が高い。床からは焼土や柱穴、周溝、土壌が

検出されている。遺物は床と覆土から大量に出土している。特に床からは復元土器が多数出土しており比較的壁に近い位置からのものが多い。

炉跡はHF-6・7と考えられ地床炉である。他の焼土は投棄されたかあるいは焼失時に生じたものの可能性がある。HF-6の下から検出されたHP-26、27は、共に周囲の壁が被熱で赤化する特徴を有している。大型の礫の一端を埋め込んでいた痕跡と考えられ、炉跡に大型の礫が伴っていた可能性がある。HF-7の下から検出されたHP-10、11は大型の柱穴のような形態を有するピットで、特にHP-11は覆土が埋め戻されている可能性が有ることから他とは性格が異なると考えられる。

主柱穴はHP-2、4、7、20の4本が相当すると考えられ、HP-8、15もその可能性がありその場合には主柱穴が6本となる。周溝はおおよそ竪穴の壁際に1本、その内側に1本が検出されており、内側のものは途切れる部分が多い。

土壙はHP-1、5、12が検出されている。HP-1は壙底が丸みを帯びた浅いもので性格は不明である。HP-5、12は竪穴長軸上の南東側の床から一部が重なった状態で並んで検出されたもので、双方断面がフラスコ状を呈している。所謂「中央ピット」に類するものと考えられる。

年代測定結果

29	IAAA-112190	タテ2C-11	CH-52床面	木炭	4,400±30
----	-------------	---------	---------	----	----------

遺物 1～29は土器、30～51、54～59は石器、52、53、60は石製品である。

土器は13、14、16～18が無地の文様帯に粘土紐の貼付、3列の撚糸文、馬蹄形圧痕文、刺突文が施されるものである。このうちの地紋は0段多条の原体による結束羽状縄文である。1～4が山形突起と沈線文が施されたもの、5～12、19、20が突起や口縁部にだけ粘土紐の貼付を有するもの、14、15が粘土紐の貼付が施された文様帯を有するもの、22が沈線文の施されるもの、23、24が口唇部に沈線の施されるもの、21、25は大木系の土器と考えられるもの、26～29が底部である。

10、15、22の胎土には海綿骨針が含まれている。13、24、26は滑石土器である。

床出土の土器は1、2、4～12、14、26ある。

1は正面の突起下にだけ「J」状の沈線文が施された深鉢形土器である。沈線は幅や長さに強弱が見られるもので、先端が切り出し状の施文具によると考えられる。突起部の粘土紐の貼付は各意匠が異なり、正面が縦3列、右側面が渦状に施されている。貼付上、口唇、器面の縄文はRLの斜行縄文である。2は突起部に粘土紐の貼付が施され口縁が肥厚する比較的小型の深鉢である。口唇には撚糸Lの刻みが施されており、口縁の沈線文は浅く細目である。突起下の胴部には垂下する切り返しのある沈線文が施されている。3は注口と連なった弧状の沈線文が施された土器である。注口部はやや小型で沈線文は篋あるいは切り出し状の施文具によると考えられる。注口や貫通孔が施された2ヵ所の突起部には粘土紐が貼付され、口唇には沈線状の凹みが作出されている。地紋は細いLR原体による斜行縄文である。胎土には白色岩片が多く含まれており見た目よりも重い。

4は粘土紐が貼付された突起部と連なった弧状の沈線文が施されている深鉢である。沈線は比較的粗雑なもので篋状の施文具によると考えられる。肥厚した口唇部と器面にはRLの斜行縄文が施されている。底部下端は僅かに張出しており、内底は丸みを帯びる。5、6も突起部に粘土紐が貼付される深鉢で、地紋は0段多条RLの斜行縄文である。6は左側面の突起の形状が異なる。口唇部の刻みは、5が棒状施文具、6が太い撚糸Lによる。

7は突起に異なる意匠の粘土紐の貼付が施された胴長で大型の深鉢形土器である。正面とした中割れの突起には表裏を回る粘土紐が貼付されている。器壁は薄く、底部は上げ底である。地紋は0段多

条Rの結束斜行縄文である。8は突起部が欠失した小型の土器で、地紋は3段復節RLRの縄文である。9は単独の突起部と口唇に粘土紐が貼付された小型土器である。10は突起部に輪状の粘土紐を施した深鉢で、口唇部には地紋と同じRLの原体の刻みが施されている。底は厚く内底は丸みを帯びている。

11は一突起にだけ異なる意匠の粘土紐の貼付が施された胴が張り気味の深鉢形土器である。貫通孔を伴った正面の突起部には2本の粘土紐とその間の沈線で「∞」状の文様が施され、他3ヵ所には「M」状に粘土紐が貼付されている。平坦な口唇部と器面には0段多条LRの原体を縦に回転施文した縄文が施されている。12は突起部に横一の貼付が施された深鉢である。器面にはRLの縄文が施されている。13は小型の滑石土器である。浮線状の粘土紐には篋状の施文具による刻みが施され、器面にはRLの縄文が施されている。24は口唇部に凹みのある滑石土器の山形突起部である。25は太い曲線的な沈線文の施された胴部である。地紋は条が横になるLRの縄文である。

14は撚糸Lの刻みが密に施された粘土紐の貼付が過度に施された平縁の深鉢である。加えて口縁部には瘤状の貼付4ヵ所と3列の撚糸Lと馬蹄形圧痕文なども施されている。馬蹄形圧痕文には原体を押捺した時の爪先のような痕跡が伴っている。15は0段多条RLの縄文と綾絡文の地紋の上に無文の粘土紐が貼付されている。16、17は撚糸Lの刻みが密に施された粘土紐の貼付と3列の撚糸文と馬蹄形圧痕文が施された突起～口縁部である。16は突起に貫通孔が施されており、3列の撚糸は順にL・R・Lによる。地紋は0段多条LRとRLによる結束羽状縄文である。17の3列の撚糸は全てLの原体で、2列の部分もある。18は無地の器面に浮線状の細い粘土紐を貼付した突起部である。入り組んだ構成の粘土紐の貼付上には極めて細い撚糸Lによる密な刻みが施されている。19は2種の突起下位に小ぶりの取手状貼付が施された深鉢口縁部である。突起の右側縁は楕円状に窪んでおり、周辺にはRLの原体による縄線文も施されている。口唇部にはRLの刻み、器面には同原体による斜行縄文が施されている。20は地紋にLRの縄文が施された小突起部である。口唇部の刻みは篋状施文具による。21は表面に粗雑な研磨が施された口縁部である。不明瞭な沈線文とRLの縄文が認められる。大木式系土器と考えられる。22は太目の沈線文が施された胴部、23は口唇部直下にRLの縄線文を施した口縁部である。24は突起に凹みを有する滑石土器の口縁部である。25は太い沈線で曲線的な文様が施された胴部である。地紋はRLの原体で条が横になる縄文である。

30～42は石鏃である。40～42の基部付近にはタール状の物質が付着している。43～45は表背面に光沢部を有すスクレイパーである。46～51は石斧である。54はたたき石、55、56は北海道式石冠、57は扁平打製石器、58、59は台石・石皿である。

52は蛇紋岩製の太珠、53は環状の石製品で軽石製である。60は小型の石棒である。

時期 縄文時代中期前半、サイベ沢Ⅶ式～見晴町式土器の時期と考えられる。（佐川）

CH-53（図Ⅱ-307～316、図版Ⅰ-54・55、図版Ⅱ-157～161・285・286、表Ⅵ-4・5）

位置：R-71・72、S-71

特徴 平面が隅丸の長方形と考えられる竪穴住居跡である。CH-53の南東側とCH-54の北西部とが重複しており、この部分の床面遺構の帰属に混乱があると思われるが、概ねCH-53が新しいと考えられる。また、CP-201が床下から検出されており、これはCH-53構築以前のものと考えられる。

床からは焼土、柱穴、周溝が検出されている。

焼土はHF-1・2・5・6が床長軸上から検出されている。HF-1は長軸方向に伸びる長楕円形で大型の炉址である。南東端のHP-11には胴部から下の土器が埋まる埋甕と焼土が認められ、HF-1と一体のものと考えられる。HF-1の縁に沿うように円礫を埋め込んでいた穴が見つかっており、石囲

い炉の礫がいずれかの段階で全て抜き取られている。また、古い段階のHF-5 地床炉がHF-1 の下位から検出されている。HF-2・6 は比較的小型の炉址だが、これらも似た様相を有する。HF-2 の下位にHF-6 が検出され、どちらに伴うか分からない石囲い炉の炉石は全て抜き取られている。

主柱穴はHP-1～4 の4カ所である。また、壁際から小ピットが一定間隔で検出されている。直線的に並んだHP-10・14・16・17は竪穴平面の北東側の膨らみに関連する可能性がある。南東の壁付近の床にある小ピットには環状の配列が窺える。この小ピットの配列が、この時期の一つのパターンにある特殊な土壌に相当する可能性がある。また、CH-54のHP-1 がその土壌に該当することも考えられ、その場合には竪穴の範囲は南東側に拡張される。

周溝はあまり明瞭ではなかったが基本的に壁際から検出されている。CH-54との重複部分に関しては混乱があると思われる。

遺物 1～25は土器、26～40は石器である。

土器は3～6、16～21が無地の文様帯に粘土紐の貼付、3列の撚糸文、馬蹄形圧痕文、刺突文などが施されるものである。1、2、11～13、15が地紋だけが施されるもの、11、23～25が底部である。

1、3、6、9、19、22、24、25の地紋は2段単節の結束羽状縄文が施されている。2、10、15、17、18、20の地紋は0段多条の原体による結束羽状縄文である。

1、3、6、11～13、17の胎土には海綿骨針が含まれている。は滑石土器である。

床出土の土器は7、11である。

1は胴長の深鉢形土器である。2は口縁部が肥厚する。3は太いが密着の弱い粘土紐の貼付と3列の撚糸Lと馬蹄形圧痕文が施された平縁の深鉢である。粘土紐の刻みは太い撚糸Lによる。文様の大半が粗雑に施されている。4は細く密着の弱い粘土紐と4列の撚糸Lと馬蹄形圧痕文が施された深鉢である。口縁部は少し肥厚しておりその上に撚糸Lの押捺が施されている。地紋は0段多条RLと撚戻しRRによる結束羽状縄文である。5は細いが良く密着した粘土紐と3列の撚糸Lと太い繊維を使った馬蹄形圧痕文が施された深鉢である。6は太く扁平な粘土紐と2列の撚糸Lと刺突文が施された深鉢である。刺突文は小動物の四肢骨の骨端などを施文具としている。7は表面に極細の沈線が施された小型の土器である。

8は突起部に瘤状の貼付が施された胴長の深鉢である。地紋は2段単セルRLと0段多条LRによる結束羽状縄文である。9は貫通孔の施された突起の頂部に凹みを有する深鉢である。浮線状の粘土紐の上は無文である。10は突起部下位の一部にだけ3列の撚糸Lが施されている深鉢である。11は非常に簡素な深鉢である。

12は太い縄を用いた結束羽状縄文と綾絡文が施された深鉢である。13は2段単節LRと0段多条LRによる結束斜行縄文の施された平縁の深鉢である。14は太く扁平な粘土紐が貼付された深鉢である。羽状縄文と綾絡文の地紋は貼付より後に施されている。15は口縁部が僅かに肥厚する深鉢である。

16は貫通孔の左右に縦長の貼付2カ所が施された突起部である。粘土紐は浮線状の太いもので密着が弱い。3列の撚糸（上からL・L・RとL・R・L）は2種が施されており、この原体は粘土紐上の刻みにも用いられている。刺突文は小動物の四肢骨の骨端を用いた施文具による。17は良く密着した粘土紐と3列の撚糸（上からL・R・R）と刺突文が施された深鉢である。文様には規則性のない部分が散見される。粘土紐上には撚糸Lの密な刻みが施されている。18は良く密着した粘土紐と3列の撚糸Lと馬蹄形圧痕文が施された深鉢である。粘土紐上の撚糸Lの刻みは隙間無く施されており、胴部近くの文様帯は地紋の上にも施されている。19は細い粘土紐と瘤状の貼付が施されている胴～底部で、3列の撚糸Lと馬蹄形圧痕文も施されている。

20は無文の粘土紐の大半が剥落した深鉢である。21はやや傾いた粘土紐を貼付した口唇部に一本の沈線を施した深鉢で、榎林式や天神山式土器の特徴を彷彿とさせる。文様帯には撚糸Lの刻みのある浮線状の粘土紐と刺突文が施されており、刺突文は縦に分割した管状の施文具による。胴部にはLRの縄文が認められる。22は肥厚した口縁部に右肩下がりの小ぶりの突起を有している。25は地紋の上に粘土を上塗りしその上にまた同じ地紋を施している。

26、27は石鏃で、26は早期、27は基部にタール状の物質が付着している。28、29はスクレイパーで、29は下端に鈍角の刃部が形成されている。30～35は石斧、36はたたき石、37、38は北海道式石冠、39はすり石、40が台石・石皿で、CH-54覆土1層のものと接合している。

時期 縄文時代中期前半、円筒上層b式土器の時期でCH-43よりも新しいと考えられる。（皆川）

CH-54（図Ⅱ-307～309・317・318. 図版Ⅰ-55. 図版Ⅱ-162・163・286. 表Ⅵ-4・5）

位置：Q-71・72、R-71・72

特徴 平面が隅丸の長方形と考えられる竪穴住居跡である。CH-54の北西部とCH-53の南東側とが重複しており、この部分の床面遺構の帰属に混乱があると思われるが、CH-53が新しいと考えられる。また、これ以外にも重複する遺構がある可能性が高い。

床からは、焼土、土壌、盛土、柱穴、周溝が検出されている。

焼土の内、竪穴の中央部のHF-3は炉址と考えられる。比較的大型の地床炉で、HP-1に伴う盛土はHF-3の上に盛られている。

土壌は2基（HP-1・2）が竪穴長軸上に並んで検出されている。両者は楕円形の土壌で規模も外觀も良く似ており、取り巻く盛土も両土壌と一体の様に見え新旧を認め難い。壙底には小ピットがありHP-1が2カ所、HP-2が6カ所である。いずれの小ピットも枝あるいは棒状のものを突き刺した様子が窺われる。各覆土は埋戻された可能性がある。HP-1・2は同時に存在した可能性がある。

既出だがHP-1を取り巻く盛土はCH-54HF-3の上に盛られている。そのため、HP-1はCH-54に重複する別の遺構に所属すると考えられるが、CH-53がそれに該当するかは床の遺構配置から見て可能性はあるものの難しいように思われる。

周溝は基本壁に沿って設けられている。しれ以外ではHP-1・2に各向かうものも認められる。CH-53との重複部分に関しては混乱があると思われる。

遺物 1～10は土器、11～19は石器である。

土器は2、5、8、9が無地の文様帯に粘土紐の貼付、3列の撚糸文、馬蹄形圧痕文、刺突文などが施されるものである。1、6が地紋の上に粘土紐が貼付されるものものである。

5の地紋は2段単節の結束羽状縄文が施されている。1、4、9の地紋は0段多条の原体による結束羽状縄文である。3、6～10の胎土には海綿骨針が含まれている。床出土の土器は1、6、7、9である。

1の粘土紐はやや太い撚糸Lが刻まれたものである。2は浮線状で無文の粘土紐と棒状工具による刺突文が施された小型の土器で、刺突文はほぼ全面に施されている。3は器壁の厚い無文の土器である。4は口唇部に細い粘土紐を貼付した深鉢である。刻みは撚糸Rによる。5は突起部に円形の貫通孔を有する小型の土器である。文様帯には撚糸Lの刻みがある粘土紐と刺突文が施されており、刺突文は角のある棒状施文具による斜めからのものである。

6は無文で浮線状の粘土紐が施された口縁部である。器面には0段多条RLの縄文が見える。7は無文の口縁部である。8は密着の弱い粘土紐と3列の撚糸Lと馬蹄形圧痕文が施された口縁部である。

粘土紐の刻みは撚糸Lによる。9は小突起を有する胴が張り出し気味の深鉢である。文様帯にはやや細目の粘土紐と3列の撚糸Lと馬蹄形圧痕文が施されている。粘土紐の上には細い撚糸Lの密な刻みが施されている。10は下端部の張出が大きな小型土器の底部である。地紋はRLと0段多条RLの結束斜行縄文である。

11は大型のポイントあるいはナイフ、12は石鏃、13～15はスクレイパー、16は両面加工の異形石器、17はたたき石、18は小型の石錘、19はCH-53覆土2層のものと接合した台石・石皿である。

時期 縄文時代中期前半、円筒上層b式土器の時期でCH-53よりも古いと考えられる。(皆川)

CH-55 (欠番)

CH-56 (図Ⅱ-267・268・289～295. 図版Ⅰ-52・53. 図版Ⅱ-163～168・287. 表Ⅵ-4・5)

位置 : S-76・77、T-76・77

特徴 平面がおおよそ破線で示した形状に想定される住居跡である。CH-51と重複しCH-56が新しい。平面の一部は調査区外に及んでおり、HP-1を主要な付属遺構とするもので床は重複するCH-51と同じ面である。

HP-1は平面が不整の楕円形を呈する比較的大型の土壇である。壇底はほぼ平坦で周囲は盛土に囲まれている。掘り込み面は床と考えられ、盛土は掘り上げられたV層ロームを使用したと考えられる。覆土はV層ローム粒を主体とする土で、多数の一括土器がここから出土している。これらの土器の多くはおおよそその器形を保ったまま潰れた状態で出土しており、意図的に遺棄されたと考えられる。土壇の周囲に盛土が伴っており床面から掘り込まれていることなどから所謂「先端ピット」的な特徴を有していると言える。なお、遺物に関してはCH-51として掲載されたものの中に当住居の遺物が混在している可能性がある。

遺物 1～37は土器、38～44は石器である。

土器は1～3、5、14～20、22、24が無地の文様帯に粘土紐の貼付、3列の撚糸文、馬蹄形圧痕文、刺突文などが施されるものである。6～9、21が地紋の上に粘土紐の貼付や刺突文が施されるもの、11、23、25が突起部や口縁部に文様が施されるもの、10、12、13、25～27が地紋だけのもの、31～37が底部である。

3～8、18、20、24、26、31、32の地紋は2段単節の結束羽状縄文が施されている。1、10～13、36、37の地紋は0段多条の原体による結束羽状縄文である。

6、8、9、11、13、19、24、26、31の胎土には海綿骨針が含まれている。27は滑石土器である。床出土の土器は4、8、9、12～18、20～24、26、36、37である。

1、2は突起部に貫通孔を有し、文様帯に粘土紐と3列の撚糸と馬蹄形圧痕文が施された深鉢である。粘土紐の刻みも両方撚糸Lによる。1の年度比は密着の良い細目のもので3列の撚糸は全てLである。2の粘土紐は浮線状で3列の撚糸は太いL・R・Lである。地紋は3段復節の結束羽状縄文である。3は口縁に瘤状の貼付が施された平縁の深鉢である。文様帯には太く密着が弱い粘土紐と3列の撚糸Lと浅い馬蹄形圧痕文が施されている。2、3の文様は全体的に雑である。

4は口唇部と器面に刺突列が施された深鉢である。刺突は小動物の四肢骨の骨端のような施文具による。5は太いが密着の弱い粘土紐と刺突文が施された比較的小型の土器である。粘土紐の刻みは撚糸Rによる。刺突文は管状の施文具による。6は浮線状で無文の粘土紐が貼付された深鉢である。口唇部にはRLの縄による刻みが施されている。7は浮線状の粘土紐による文様が施された平縁の深鉢

である。粘土紐上にはRとLの撚糸で刻みが施されている。

8、9は縦の取手状貼付が施された深鉢である。8は浮線状の粘土紐の上に撚糸LとRを並べた刻みが施されている。底部は上げ底になっており、真上から見た形が楕円を呈している。9は細く浮線状の粘土紐の上に長い撚糸L2本が施されている。突起部の内面側には貫通孔のような凹みが施され、地紋は2段単節LRと0段多条RLによる結束羽状縄文である。10は地紋だけが施された波状口縁の土器である。11は粘土紐上に地紋と同じ縄文が施された深鉢である。12は口縁部が僅かに肥厚する平縁の深鉢である。13は波状口縁の深鉢である。

14、15は粘土紐と3列の撚糸Lと馬蹄形圧痕文が施された口縁部である。16は貫通孔の左右に瘤状の貼付が施された突起部で、撚糸RとLによる刻みの入った粘土紐と馬蹄形圧痕文が施されている。特に馬蹄形圧痕文は突起頂部や口唇上にも連続して施されている。17は粘土紐の他に絡条体による撚糸Lと小動物の四肢骨の骨端による刺突文が施された胴部、18は3列の撚糸Lと馬蹄形圧痕文の施された胴部である。18は胴部の地紋の上に粘土紐が貼付されている。19は粘土紐と断面が楕円の管状の施文具による刺突文が施された小型土器である。20は粘土紐と半裁した管状の施文具による刺突文が施された突起部で、内面側には貫通孔を思わせる楕円の凹みが施されている。21は太い2段単節RLと0段多条LRによる結束羽状縄文の地紋の上に無文の粘土紐を貼付した突起部である。

22は低い突起部の下に大きく張り出した瘤状貼付が施された深鉢である。器面には無文で細かい粘土紐の貼付と角棒状の施文具による刺突が施されているが、口唇部も含めて刺突文のある区画には地紋が施されていない。地紋は3段復節RLRの縄文である。23は貫通孔の上位に横の取手状貼付が施された突起部である。地紋はRLの結束斜行縄文である。24は細い浮線状の粘土紐が貼付される小型の土器である。粘土紐は大半が無文だが、極めて部分的に縄文が施されている。25は小突起4ヵ所を有するRLの縄文と綾絡文が施された小型の土器である。口唇の刻みはRLの縄による。

27は口唇部にもRLの縄文が施された滑石土器の口縁部である。28は綾絡文の施された胴部、29、30は沈線文の施された胴部である。

38はポイント、39は石鏃、40は表背面に光沢部のあるスクレイパー、41、42はたたき石、43、44は台石・石皿である。43はCH-43出土のものと接合している。

時期 縄文時代中期前半、円筒上層b式～サイベ沢VIIa式土器の時期と考えられる。（立川）

CH-57（図Ⅱ-319～321、図版Ⅰ-56・57、図版Ⅱ-169・170・287・288、表Ⅵ-4・5・8）

位置：Q-68・69、R-68・69

特徴 平面が不整の楕円形を呈する堅穴住居跡である。堅穴東側の壁が二重になっており内向する方が新しい。時間をおいて内向側の堅穴が再構築されと考えられる。また、CH-58とも重複しておりCH-57の方が新しい。

床からは、炉址、焼土、土壙、貼床、柱穴、小ピット、周溝が検出されている。

炉址は堅穴長軸上の北西側に寄った位置から石囲い炉（HF-1）が検出された。平面は堅穴短軸側に長い長方形で周りの炉石は約半数が抜き取られ痕跡だけが明瞭に検出された。炉石は大型の円礫あるいは楕円礫が用いられ、礫は長軸を横に向けて埋め込まれていた。抜き取られた礫は付近に見られず持ち去られたと考えられる。焼土はHF-2が南東側の床で検出されている。平面は楕円形で、規模も大きく赤化も明瞭であることから地床炉と考えられる。HF-1と同時期の可能性がある。

土壙はHP-1・2・3・8・11が検出されている。HP-1・2は新旧の所謂「先端ピット」である。HP-2が先に作られ、後に床と同じ色調の土で埋戻されていた。平面形は共に不整の長楕円形でHP-

2のほうはやや規模が大きい。小ピットを伴う構造も同じで、HP-1の墳底の端々に2カ所、縁付近に2カ所（HP-30・31）の小ピットを伴う。HP-2も墳底の端々に2カ所、縁付近に2カ所（HP-28・29）の小ピットを伴うようである。また、少し離れた東側の床で見つかった更に小さなピットもHP-1・2に伴う可能性がある。HP-34～36がHP-2に、HP-32・33がHP-1にである。

HP-3・8・11は床の中央付近に位置する平面が不整の円形を呈する土壌である。一回り大型のHP-3・11は床からの深さも同じくらいで、覆土は埋戻された可能性が高い。特にHP-11は床と同色の土で覆われており、一見して見分けが付かない状態であった。

貼床は図示していないがHF-1の周囲からHP-2にかけての床で硬化した粘土の範囲が見つかり、貼床の可能性はある。

主柱穴はHP-6・12・41・25と考えられるが、CH-57の柱穴が混じっており確定は難しい。周溝は壁際を回るものが検出されている。

遺物 1～19は土器、20～27は石器、28、29は石製品である。

12は滑石土器である。

1は折り返しの口縁部を有する平縁の深鉢形土器である。器壁や底が厚く、胎土中には小砂利が含まれており重量が重い。地紋は太いLRの原体を縦に回転施文した縄文と綾絡文である。2は肩部に貼付帯を有する平縁の深鉢である。頸部が括れ底部は小径で内底が丸く厚底である。胎土には砂粒が多く含まれている。口縁と貼付帯上には太い撚糸Lの縄線文が回らされており、地紋は同原体による無節の斜行縄文である。3は口縁と胴部にバンド状の貼付を有する大型の深鉢である。地紋はRLを縦に転がした縄文である。4はRLの原体だけで羽状縄文を施した平縁の深鉢である。5～8は口縁部である。5は口唇の内面側が丸くなっている。6は断面が角形の口唇部にも地紋のRLが施されている。7は口縁部が肥厚する。8はLRの縄文が施されている。9～10は胴部である。9はバンド状の貼付が施されている。12、13は厚底の底部である。12は滑石土器である。

14、18は太い粘土紐の貼付と3列の撚糸（上からL・L・R）と馬蹄形圧痕が施された土器である。15は沈線文が施されたもの、16、17は縄線文が施されたもので、16は貼付帯の上に施されている。19は横位に条痕文が施されているI群a類土器である。

20、21は石鏃、22～24がUフレイク、25がたたき石、26が断面三角形のすり石、27が台石・石皿である。26は早期のものを再利用している可能性がある。27は炉石に使われていた。

28は石棒、29は孔のある自然石を利用した玉である。

時期 縄文時代中期後半、煉瓦台式土器の前後と考えられる。 (皆川)

CH-58 (図II-322～325、図版I-57、図版II-170～172・288、表VI-4・5・8)

位置 : Q-68～70、R-68～70

特徴 平面が隅丸の長方形を呈する大型の竪穴住居跡である。重複するCH-57によって炉址を含む竪穴の半分以上が失われている。また、CH-58の柱穴類のいくつかはCH-57に紛れていて判別できない。

床からは焼土、柱穴、周溝が検出されている。また、別個の土壌として扱ったCP-202・205は共に竪穴長軸上に位置し、CH-58に所属する可能性がある

焼土は南端部で小型のHF-1が検出されている。赤化は弱く使用時間はごく短かったと考えられる。

主柱穴はHP-10・14それとCH-57のHP-4・9・13 (or23)・43の6カ所が組み合わさると考えられる。また、小ピット列が壁の10cm内側を回る傾向が窺われる。周溝は壁際を回るものが部分的に検出されている。

先述したがCP-202・205はCH-58の土壌の可能性もある。CP-202は堅穴長軸上の北側の床から見つ
かっている。平面は円形で断面は袋状土壌のそれと似ている。CP-205も平面は不整の円形で深く掘
られ断面形は先細りになっており、穴の縁にそって微高の盛土に相当すると考えられるものが作られ
ている。後者は所謂「中央ピット」に類似し前者もその可能性がある。

堅穴北北東の壁際床面から「石刀」状の棒状石製品が出土している。

遺物 1～6は土器、7～10は石器、11～13は石製品である。

土器は1～4が無地の文様帯に粘土紐の貼付、3列の撚糸文、馬蹄形圧痕文、刺突文などが施され
るものである。1は大型で平縁の深鉢形土器である。文様帯には密着の良い粘土紐の貼付と4列の撚
糸Lと刺突文が施されており、粘土紐上の刻みは撚糸Lによる。刺突文は小動物の四肢骨の骨端のよ
うな施文具による。胴部には瘤状の貼付5ヵ所が施されている。地紋はLRの結束斜行縄文である。
2は粘土紐と3列の撚糸（上からL・R・L）と絡条体による撚糸Lの押捺と馬蹄形圧痕文が施された
深鉢である。馬蹄形圧痕文は突起部の極一部に施されているにすぎない。粘土紐上の刻みは撚糸Lに
よる。地紋は0段多条RLと2段単節LRによる結束羽状縄文である。3は突起部に貫通孔が施された
口縁部で、文様帯には密着の良い粘土紐と3列の撚糸（上からL・R・L）と馬蹄形圧痕文が施されて
いる。地紋は0段多条の原体による結束羽状縄文である。4は密着の弱い粘土紐と3列の撚糸Lと刺
突文が施された深鉢の口縁～胴部である。刺突文は小動物の四肢骨の骨端のような施文具による。

5は口唇部に太い沈線上の凹みを有する口縁部、6はI群a類土器の尖底部で条痕が施されている。

7は両面加工のポイントあるいはナイフである。上半部が欠失している。8は表背面に光沢部があ
るスクレイパー、9は抉れた刃部を有するスクレイパーである。

10は棒状の礫、11は石冠様石製品で未完成の可能性もある。12は三角形石製品、13は石刀である。

時期 縄文時代中期前半、円筒上層b式土器の時期である。（皆川）

CH-59（図Ⅱ-326～328、図版Ⅰ-57、図版Ⅱ-173・289、表Ⅵ-4・5）

位置 : K-63・64、L-63・64

特徴 極めて浅い堅穴か掘立柱の小型の住居跡である。明確な堅穴は検出されず、僅な凹み地形を利
用した住居と考えられる。炉址はHF-6で、しっかりと赤化した焼土を持つ地床炉である。HF-1～5・
7・8は赤化が弱く、二次堆積かあるいは簡易な家屋が焼失した際に生成された可能性もある。

柱穴はHP-1～7が検出されたが、大半が浅く家屋の簡易な構造を窺わせる。これらの範囲からは
多数の遺物が集中的に出土している。

遺物 1～19が土器、20～29が石器である。

1、6は滑石土器である。1、6は縦横の意匠の沈線文と申上の施文具による刺突文が施された深
鉢口縁部である。1の刺突文の施文は限定的である。地紋は両方RLの縄文である。2は撚糸Rを絡条
体で回転施文した撚糸文が全面に施された深鉢である。口唇部が僅かに肥厚している。3は太い沈線
文が施された深鉢口縁部である。頸部の3本の沈線の間々には先細りな管状の施文具による右斜めか
らの刺突列が施されている。地紋はLRによる条が水平の縄文である。4は口縁部にLRの縄線文が2
条施された口縁部である。突起部回には弧状の沈線文が施されている。5は太い沈線が「つ」状に施
された突起部である。7は縦方向の深い条痕の上に沈線文が施された胴部である。8はRLが器面に
施された突起部である。口唇部が僅かに肥厚している。9は刺突文の施された貼付帯とLRの縄線文2
条が施された土器頸部片である。10はLRの縄文と綾絡文を縦方向に回転施文した胴部である。

11は山形突起部と口唇部にLRの縄線文が施された口縁部で、器面にはLRの斜行縄文が施されてい

る。12は蛇行する沈線文が施された口縁部である。地紋は縦転がしのLR縄文である。13は繊維の粗いLRの原体による縄文の上に沈線文が施された口縁部である。14は口縁部に研磨された無文帯を有する口縁部である。無文帯と0段多条RLの地紋との境には刺突文のある貼付帯が施されている。15は浅く不安定な沈線文が施された突起部である。16～19は底部である。16は上げ底である。17は内底が丸みを帯びている。19は底面にLRの縄文が施されている。

20～22はスクレイパー、23が石斧、24がたたき石、25、26が北海道式石冠、27～29が扁平打製石器である。

時期 縄文時代中期後半、大安在B式土器の時期と考えられる。(皆川)

CH-60 (図Ⅱ-329・330. 図版Ⅰ-58. 図版Ⅱ-174・289・290. 表Ⅵ-4・5)

位置：P-68、Q-67・68

特徴 平面が隅丸の長方形と推定される小型の竪穴住居跡である。東半部は失われている。CH-36と重複しその上位に作られている。

竪穴は浅く壁の立ち上がりも緩やかである。床中央部にはHF-1が検出されおり、竪穴と比較して規模が不釣り合いであるが炉址と考えられる。HF-1の縁に沿うように3点の円礫が置かれており簡易な石囲い炉の可能性もある。柱穴は竪穴内から見つからない。簡易な作りの家屋が想定される。

遺物 1～9は土器、10～14は石器である。床出土の土器は2、5～8である。

1～4、8は0段多条の原体による斜行縄文が施された深鉢口縁部である。1はLRの縄で口縁部に横位の胴部で縦位の縄文を施している。2はやや細い原体による羽状縄文が施されている。3は肩部に刺突の施された貼付帯を有する口縁部である。

5は縦の貼付上と口縁部にLRの縄線文が施された器壁の薄い深鉢形土器である。肩部の貼付帯には棒状工具による刺突文が施されており、地紋はLRの原体で条が水平になる縄文である。6は磨消縄文が施された口縁部である。胴部には0段多条LRの縄文が施されており、大木10式土器の可能性もある。7は口縁部が肥厚する。8は底部である。9は羽状縄文の施された胴部である。

10はUフレイク、11は扁平打製石器、12は礫石器、13、14は台石・石皿である。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。(皆川)

CH-61 (図Ⅱ-331～334. 図版Ⅰ-58. 図版Ⅱ-175・176・290. 表Ⅵ-4・5・8)

位置：S-67・68、T-67～69

特徴 平面が楕円形と推定される掘りの浅い大型の竪穴住居跡である。調査できたのは竪穴の約2/3で、残りは範囲外である。

床からは焼土、土壌、盛土、貼床、柱穴が検出されている。

焼土はHF-3～5が検出されている。HF-5は竪穴長軸上の東側で検出された平面が不整の円形を呈する焼土である。赤化が明瞭で周りに「コ」の字状の炉石を抜いた痕跡が認められる。残存する炉石は痕跡と一致しない様である。また、HF-5の直上には大礫が置かれていた。大礫の蓄熱などを利用した調理設備とも考えられる。あるいは炉の廃棄に伴う儀礼的な置き石の様なものかもしれない。

HF-5と竪穴東側の壁と間には不明瞭ではあるが貼床と盛土が検出されている。HF-4はやはり竪穴長軸上に位置し、約半分が調査区外に伸びている。赤化の明瞭な焼土で地床炉の可能性が高い。HF-3は南の壁際から検出された赤化の淡い焼土である。掘りの浅い土壌(HP-30)の上位にあり約1/3が重なっている。関連するかもしれない。

柱穴状のピットが多数検出されている。HP-5・29は土壇状であるが支柱穴の可能性もある。

遺物 1～22は土器、23～28が石器、29が土製品である。

床出土は2、5～9、12、14～16、18、22である。大木系土器は11、12が出土している。

1は口縁と胴部にバンド状の貼付を有する大型の深鉢である。地紋はRLを縦に転がした縄文である。2～10は0段多条の原体による縄文が施されている。2、9は低い貼付帯条に0段多条LRの縄線文が施されたもので2が口縁部、9が胴部である。3はLRを縦に転がした縄文と綾絡文が施されている。4～6はベルト状の貼付帯が施された胴部である。7は器壁の薄い口縁部、8は先端が尖った施文具による沈線文が施されている。10は貼付帯上に棒状工具による斜めからの刺突が施された口縁部である。

11は口縁に貫通孔の施された半円状の突起を有する深鉢形土器である。器面には所謂「アルファベット文」が施されており、沈線で区画された縄文が磨消されている。12も口縁に貫通孔の施された半円状の突起を有する深鉢形土器で、器面には区画を意識したような深い沈線文が施されている。突起は3カ所と推定される。11、12は大木10式に相当すると考えられる。

13は折り返しの口縁部を有する土器である。器面には深く間隔の狭い縦の沈線文が施されている。14～17は0段多条の原体による縄文が施された底部である。18は網代底である。19は縄文の上に細い沈線文が施されたⅠ群a類日計式土器の口縁部である。20、21はオオバコのトウを原体として回転施文した土器である。20は口唇の直下に同原体の押捺が回らされている。21は上げ底の小型土器である。22は12と同じ沈線文が施された底部である。

23は石鏃、24はスクレイパー、25はUフレイク、26は扁平打製石器である。27は表面に軽い加工を施した棒状礫である。28は台石・石皿である。

29はⅢ群b類の土器片を使った有孔土製円盤である。

時期 縄文時代中期後半、煉瓦台式土器の時期と考えられる。

（皆川）

CH-62（図Ⅱ-335～340、図版Ⅰ-59、図版Ⅱ-177・291～293、表Ⅵ-4・5・8）

位置：R-66・67、S-66・67

特徴 平面が楕円形あるいは空豆形の堅穴住居跡である。堅穴の壁と床との繋がりが丸みを帯びており、境界の不明瞭な部分が多い。床からは焼土、土壇、盛土、貼床、柱穴が検出されている。

焼土はHF-1・2が検出されている。炉址はHF-2で石囲い炉である。方形の石囲いは浅く掘られ穴の縁に沿って配石されており、その部分の壇底には予め「コ」の字状の溝（HP-62）が設けられている。炉石は大型扁平円礫が使われ、その長軸が横になるよう据えられている。HF-2の直上には大礫が置かれていた。大礫の蓄熱などを利用した調理関係の設備とも考えられる。あるいは炉の廃棄に伴う儀礼的な置き石の様なものかもしれない。HF-1は土壇（HP-29）の縁上で検出された焼土である。しっかりと赤化しているが、二次的に置かれたと考えられる。HP-29に関連する可能性がある。

土壇はHP-27～29が検出された。HP-27・28は堅穴長軸上の東側で検出された新旧の所謂「先端ピット」である。どちらも掘り込みの浅い小型の土壇で、HP-27が新しい。覆土は埋戻されており、その上に両方に跨って大礫が置かれていた。

HP-29は堅穴中央で検出された大型の土壇である。平面形は不整の円形で、壇底は溝状の凹凸（HP-30・31）があり平坦ではない。覆土は基本埋戻し土で、上面には大礫が置かれていた。上面の縁近くには炉石を抜いたような痕跡が複数検出されている。周辺に炭化物もあるため元々は石囲い炉だった可能性が高い。抜き取られた炉石はHF-2のものよりも小さく、大人の拳大か更に一回り小さい円礫

が使用されていたと想定される。覆土は中央部付近だけが土に締まりが無くスカスカの状態であった。埋められていた有機物が朽ちて崩れたか、あるいは埋戻した後に再び掘り起こしたような状況が想定される。遺物は、壙底の西端から小型の土器をイメージさせる径の小さな底部周辺の土器が出土しており、副葬品の可能性が高い。まとめると、HP-29は古い石囲い炉の下位に位置する土壙で、覆土は埋戻され壙底には遺物がある。炉石が全て抜き取られたのは新しい石囲い炉（HF-2）が作られたためと考えられる。先端ピットとの組み合わせは、HF-2とHP-27、HP-29の旧石囲い炉とHP-28である。

盛土は石囲い炉（HF-2）と先端ピット（HP-27・28）の間で検出されている。HF-2の東側を囲む様に低く盛られており貼床との境界は明瞭ではない。貼床は主に新しい新旧の石囲い炉（HP-29のものHF-2）の周辺から検出されている。

柱穴は多数検出されている。支柱穴と考えられるのはHP-5・26で、他は検出できていない。

竪穴の壁から数十cm内側において小ピットが一定間隔で回る傾向が認められる。中でも北側に関しては小ピット列が二重になる状況が見られる。配列以外の小ピットもあり、竪穴の出入り口に関わる可能性がある。

竪穴内の主要な遺構（先端ピットのHP-27・28や、石囲い炉のHF-2、旧石囲い炉のHP29）の上で大礫が出土している。住居や竪穴内の各遺構の廃絶あるいは静的な状態への移行（終わり）を意味する可能性がある。

遺物 1～14が土器、16～26、28～30、32～40が石器、27、31が石製品、15が土製品である。

床出土の土器は2、4～6、10、13である。

1は肥厚した山形突起を有する口縁部である。RL斜行縄文の地紋の上に沈線文が施されており、口唇部には同原体の刻みが施されている。

2～6、9、10は0段多条の縄文が施された土器である。2、4～6には貼付帯が施されている。

2は整ったRLの縄文が施された口縁部である。3はLRの原体を縦横に施文してパッチワーク状の縄文を施した口縁部である。口唇の内面側が研磨で丸みを帯びている。

7の口縁部には太いLRの縄文の上に口唇部を折り返したかのような貼付帯を施している。貼付帯上は無文である。内面にはタール状の光沢を有する焦げ付きが広く認められる。8は口唇部の内面側が丸く外面側が飛び出している平縁の口縁部である。地紋はLRの斜行縄文である。9はLRの原体を縦横に重ねて施文している。10は粗い繊維によるRLの斜行縄文が施された胴部である。11はRLの縄文が施された胴部である。12は条痕文が施された底部に近い土器片で、I群a類土器である。

13はHP-29から底を上にして出土した無文の底部である。上位の土器は綺麗に無くなっており、割れ口には若干の研磨が施されている。小型土器の代用品の意識があったものと考えられる。14はバンド状の貼付帯を有する底の厚い底部である。

16～19は両面加工のポイントあるいはナイフである。特に18、19はナイフか土掘り具の可能性が有る。20はスクレイパー、21はUフレイク、22、23は同じ石斧が縦に割れたもので、各再利用している。これらも土掘り具の可能性が有る。24、25はたたき石、26はすり石、28、29は扁平打製石器、30が棒状の礫、32～40は台石・石皿で、全てHF-2の炉石である。

27は自然石を使った玉、31は大型石棒の端部である。

時期 縄文時代中期末葉、煉瓦台式土器の時期と考えられる。 (皆川)

CH-63・65 (図II-341～345. 図版I-60. 図版II-178・184・185・293・294. 表VI-4・5)

位置：H-70・71、I-70・71

平面形：楕円形 長軸方向：東南東-西北西

特徴

確認：東側段丘平坦面のIV層上面で黒褐色土の落ち込みを検出した。標高は56.50～56.60mである。
調査：落ち込みはI-71区の杭を中心に楕円形で分布している。落ち込みの東側は工事による攪乱を受けて、住居跡の一部が壊されている。落ち込みの長軸および短軸方向にセクションベルトを1本ずつ設定した後、覆土を掘り下げていった。北側の壁面を東から調査したところ、途中わずかな床面の段差と壁面が外側（北西）にやや広がることから住居跡の重複を予想した。調査の結果、CH-63の北西側にはより古いCH-65を検出した。

覆土：CH-63の覆土は2層に分層された。色調はともに黒褐色土だが、1層はより暗色である。ローム粒、炭化物の混入割合は、1層が微量なのに対して、2層はローム粒のみが少量混じる。

CH-65の覆土は長軸方向のセクション（B-B'）によれば4層に分層される。色調は黒～黒褐色土で、土層により異なるが、ローム粒、ロームブロック、炭化物を含んでいる。

壁：平面図に示した壁面はCH-65のものである。CH-63の壁の立ち上がりは土層断面図に表れているが、傾斜が緩く本来のものではないと考えられる。

床面：CH-63とCH-65の床面は、CH-65の方が約5cm程度高い。

炭化材：なし

掘り上げ土：確認されていない

付属遺構

・石組炉

CH-63の長軸上ほぼ中央部で石組炉（HF-1）を検出した。石組炉と焼土の位置がずれる理由については不明である。石組炉の北西約1mのところ焼土を2か所検出した（HF-2, 3）。

・先端ピット

CH-63HP-1は、CH-65の先端ピットの可能性がある。

・柱穴

CH-63の柱穴はHP-8・15の2基と考えられる。CH-65の柱穴はHP-1・3とCH-63HP-2の3基の可能性が考えられる。

・周溝

CH-63では北西側と南側に1条巡っている。CH-65では検出された壁際全体に2～3条確認された。

・土坑

CH-63の南壁付近では径約8～23cmの土坑を7基検出している（HP-3～7, 9, 10）。深さは4～24cmである。この中にはCH-65に付属するものが含まれる可能性がある。また石組炉の東側では、楕円形の浅いHP-19（深さ約7cm）を検出した。CH-65は北側の壁面でHP-2（深さ約20cm）を検出した。

遺物出土状況 CH-65の覆土中で土器のまとまりを4か所検出した。

CH-63の遺物 1～19が土器、21～25が石器である。床出土の土器は2である。6、8、19は滑石土器である。

1、3～6は口縁に縄線文が施されるものである。1はLRの縄線文2条が施され、地紋は同原体を縦に転がしたものである。2はLR縄文が施された器壁の薄い胴部である。原体を縦に転がしている。3はLRの縄線文が施されているが途中までである。3は無文部の上下にLRの縄線文が施されている。5はLRの縄線文が口縁部で横に胴部で縦に施されている。6は太いLRの縄線文が施された滑石土器

の口縁部である。7は口唇部を折り返して肥厚させその下位に沈線状の幅広の凹みを作成している平縁の口縁部である。0段多条LRの原体を肥厚帯には横転がしで、胴部では縦転がしで施文している。胴部には綾絡文も伴っている。

8は口唇部に沈線状の凹みが施された滑石土器の突起部である。9～11は沈線で区画した部分に磨消縄文を施した小型の土器である。大木9式土器と考えられる。12はRLの縄文が口唇部に施されている。13は頂部に凹みを有する突起に縦の貼付を施したもので、断面角形の口唇部には地紋のRLの原体による刻みが施されている。14は肩部に器面と一体化した貼付帯2本が回っている土器である。貼付帯上には棒状施文具による円形の刺突文が施されている。15は粘土紐状の貼付が縦に施されている口縁部である。16は細かく端正なLRの縄文が全面に施された平縁の口縁部である。17～19は底部である。17、18には状が縦に走るLRの縄文が施されている。19は滑石土器の底部で底面にはLRの縄文が施されている。

20は側縁に研磨が施されているポイントである。21は棒状の石錐、22は表背面に光沢部のあるつまみ付ナイフ、23はUフレイク、24はたたき石、25は炉石に使われていた台石・石皿である。

CH-65の遺物 1～16が土器、17が石器である。

1は貫通孔が施された突起部で、地紋は0段多条の結束羽状縄文である。2は逆「S」条の粘土紐が貼付された突起部である。3は器面と口唇部にLRの縄文が施されている。4は口唇部に沈線状の凹みを有する口縁部である。突起部は欠失している。器面に施された沈線文は先の尖った施文具による。地紋はRLの縄文である。

5、6は肩部の肥厚帯に沈線文と刺突文が施されたものである。5の器面の上位は研磨された無文部である。6は管状の施文具によるもので、口縁部や同部にも施されている。地紋は0段多条LRの縄文である。7は口縁部に太いLRの縄線文が施される深鉢である。地紋は条が縦になる縄文である。8はLRの縄線文2条が施された深鉢で、口縁部には小さな突起が施されている。9は口縁部に折り返しのある平縁の深鉢で、底部は上げ底である。10は1段無節Rの太い撚糸が押捺された平縁の口縁部である。地紋も同原体の斜行縄文である。11、12は縄文の施された胴部である。13～15は底部である。13の底部際の器面にはLRの縄線文が3条施されている。14は無文で上げ底のもの、15は厚底で胎土に砂粒を多く含んでいる。16は無文の小型土器の下半部である。

17は棒状の礫である。下端に不明瞭な擦痕がある。

時期 遺構の重複関係により、CH-63はCH-65よりも新しい。縄文時代中期後半と考えられる。(佐川)

CH-64 (図Ⅱ-346～353. 図版Ⅰ-60. 図版Ⅱ-179～183・294. 表Ⅵ-4・5・8)

位置 : I-69・70、J-69

平面形 : 楕円形? **長軸方向** : 南南東-北北西

特徴

確認 : 東側の段丘平坦面の標高56.40～56.50mのⅢ層下位からⅣ層上面で南北方向に黒色土の落ち込みを確認した。なお付近では多くの遺構の重複が予想され、黒色土の落ち込みを目安に遺構を検出することはやや困難であった。

調査 : 落ち込みの長軸および短軸方向にセクションベルトを設定し、覆土を掘り下げた。東側は遺構の重複がないためか壁の立ち上がりを容易に検出できた。それ以外の部分では遺構が重複しており、CH-64の覆土を見極めるのが困難であった。覆土を床面近くまで掘り下げたところ、2本のセクションベルト交点の北西側で石組炉の一部を検出した。南西のCH-86との重複部分では、CH-64の床面を

検出できなかったが、セクションB-B'の土層断面により覆土の堆積状況およびCH-64の粘土と考えられる土層が確認されたことからCH-64はCH-86より新しいと判断される。

覆土：主に4層に分けられる。1, 2, 4層は黒褐色土である。このうち2層はロームブロック、ローム粒と炭化物が少量混じる。4層はローム粒が少量混じる。3層は黒色土である。

壁：東から南側と西側の一部で確認した。本住居跡と重複関係のある部分を除いた壁面について検出した。

床面：床の一部にはローム土による粘土（層厚3～4cm）が検出された。

炭化材：なし

掘り上げ土：なし

付属遺構

・石組炉

床面のほぼ中央部で石組炉を確認した。炉石は小型の円礫が15個使用されていた。

・先端ピット（HP-1）

長軸方向の南南東の壁面近くに位置する。底面には径8～22cmの小ピットが7基確認された。

・柱穴（HP-2～6）

4本柱穴と考えられる。深さは20～46cmである。東側にあるHP-2・3とHP-4・5はそれぞれ同じような場所に位置することから、堅穴住居の立て替えによるものと考えられる。西側のJ-70区の杭付近ではHP-6（深さ46cm）が検出された。柱穴で対になるものはHP-2・4とHP-3・5と考えられる。

・周溝

東側と西側の一部で1条ずつ確認されている。

・土坑

東側の床面の粘土下からはHP-8（深さ約32cm）が検出され、古い柱穴の可能性はある。

遺物出土状況：土器のまともりはHP-1北西側の覆土中で1か所、HF-1北側の床面から約5cm上位で2か所検出した。

遺物 1～34・36～45が土器、46～52が石器である。35が土製品。

1、4、13、15、16、18～20、27は貼付帯と縄線文が施されるもの、2、3、7、12、17、21、26、28は縄線文が施されるもの、8、10、25、29、32は地紋だけが施されるものである。1～5、7、10～15、31、32はLRの原体を施文している。

床出土の土器は25、31である。12、24は滑石土器である。26の地紋にはオオバコのトウが使われている。

1は貼付帯に管状の施文具で円形の刺突文が施されている。縄線文は全てLRの原体による。2は口唇部の縄線文付近が無地の深鉢で、底部の側面には篋状の工具による縦の削りが施されている。3は口縁に小さな突起2カ所が施された深鉢である。全てLRの縄線文で、突起の下位には垂下する縄線文が施されている。底部は上げ底である。4は口縁に瘤状の貼付が施された深鉢で、縄線は太いLRの原体による。縦の貼付は二つに分かれている。5は貼付帯と撚糸Rの押捺が施された深鉢である。頸部の貼付帯上には管状の施文具による刺突文が施されている。底部は厚く内底が丸い。

6は口唇部に沈線状の凹みが施された平縁の深鉢である。器面には粘土紐の貼付と沈線による文様が施されている。地紋はRLの斜行縄文である。

7は太いLRの縄線文が施された小型で器壁の薄い土器である。8は撚糸Lを縦に転がして無節の縄

文を施している深鉢である。器面には地紋が施されていない部分も見られる。

9は山形突起を有する口縁部で、肥厚した口唇には篋状の施文具による刻みが施されている。地紋は太さの異なるRL原体による斜行縄文である。10は小さな突起を有する小型の土器で、口唇部には地紋と同じLRの原体による刻みが施されている。11は口縁に地紋を施していない。12は口唇部にもLRの縄線文を施した滑石土器の口縁部である。13は無文の口縁部に縄線文が施されている。貼付帯上の刺突文は棒状施文具の右斜めからの刺突による。14、15は貼付帯上に棒状施文具による刺突文が施されている。16は肩部の貼付帯が薄い。17は胴部の張出しが大きな口縁である。18は口縁部に瘤状の貼付と頸部に多数の縄線文が施されたもので、口唇部にもLRの縄文が施されている。20も口縁部に瘤状の貼付を有する土器である。貼付帯は口縁部も頸部も小ぶりである。

21は口縁部と肩部に各3条のLR縄線文が施されている。22、23は大木9式土器の口縁部と肩部である。同一個体の可能性がある。24は口唇に太い沈線状の凹みが施された滑石土器の口縁部である。

25は細いRLの縄文が施された口縁部である。口唇の断面は丸形である。26はオオバコのとウと考えられるもので回転施文された口縁部である。27は低い貼付帯が施された深鉢である。28は全面に縄線文が施された小型の土器である。30は貼付帯上と器面に太い棒状工具による左斜めからの刺突を施した口縁部である。31は条が横になるLRの縄文が施された胴部である。

36～45は底部である。36は底面にLRの縄文が施されている。37は底部下端にも縄線文が施される。

46は石錐、47は表背面に光沢部があるスクレイパー、48がUフレイク、49が石核である。51、52はたたき石で52は左右両端を敲打している。50は細い石斧である。

時期 覆土中から大安在B式土器が出土していることから、縄文時代中期後半と考えられる。遺構の重複関係によると、本住居跡はCH-82・86を切り、CH-80に切られている。(佐川)

CH-66・76 (図II-354～358. 図版I-61. 図版II-186～188・294. 表VI-4・5)

位置：H-69・70

平面形：隅丸長方形(CH-66) * CH-76の平面形は不明である。 長軸方向：不明

特徴

確認：東側の段丘平坦面のIV層上面で黒色土の落ち込みを確認した。標高は56.40mである。

調査：東側に設定したクリアランス部分の南北方向のトレンチを掘り下げた。床面と思われるところまで到達したので、落ち込みの東西方向(セクションA-A')にセクションベルトを設定し北側の覆土を掘り下げた。床面まで掘り下げ、土層断面の実測後ベルトを取り外して北側から壁面を調査したところ平面形が少し西側に広がり、床面でCH-66の周溝が検出されたことから、遺構の重複を確認した。CH-66, 76の住居跡の大部分は東側に設定したクリアランス部分にあると考えられる。

覆土：CH-66は5層に分層される。2層は黒褐色土(1・3層の間層)、5層は壁際からの流れ込みによるもの。CH-76は4層に分層され、CH-66の覆土1～4層と同様である。

壁：立ち上がりは急である。

床面：ほぼ平坦である。床面のレベルはCH-76がCH-66よりも約6cm高くなっている。

炭化材：確認されていない

掘り上げ土：確認されていない

付属遺構

・地床炉

CH-66・76の炉はともに検出されなかった。炉跡は東側のクリアランス部分にあると想定される。

・先端ピット

地床炉と同様に2軒とも検出されなかった。

・柱穴

CH-76では付属ピットが2基検出されたが、柱穴ではないと考える。

・周溝

CH-66では壁際に1条確認されたが、CH-76では検出されなかった。

・土坑

CH-76で2基検出された（HP-1, 2）。深さはHP-1が16cm、HP-2は13cmである。ともに柱穴ではないと考えられる。

・炭化物集中範囲

とくに検出されなかった。

遺物出土状況：CH-66南側の覆土および床面からやや上位で土器のまとまりと礫が出土した。

遺物 1～28が土器、29～34が石器である。床からは1が出土している。5、16、27は滑石土器である。

1は口縁下に括れがあり、胴が張り出す平縁の大型土器である。口縁部は小さく折り返されており、底部は僅かに上げ底を呈している。地紋はLRの斜行縄文である。2は器面に縦横の貼付帯が施された平縁の深鉢である。貼付帯は縦のもの2本と頸部を回るものが有り、前者には凹みのある丸い貼付2ヵ所と棒状工具による刺突文が施されている。後者の上と周辺にはLRの縄線文が施されている。口縁部は無地で胴部には太さの異なった撚糸によるLRの斜行縄文が施されている。3は口唇に中割れた小突起を有する深鉢である。地紋は条が横になるLRの縄文である。

4は貼付帯と口縁部にLRの縄線文を過度に施した大型の深鉢口縁部である。5は文様帯一面にLRの縄線文を施した滑石土器の口縁部である。口唇部と同部にLRの縄文が施されている。6、7はLRの縄線文を伴った低い貼付帯を有する深鉢で、地紋はLRの縄文である。8、9、12はLRの縄線文が施された口縁部で、地紋の同原体による。10、11、14、16はLRの原体で条が横になる縄文が施された深鉢である。

16は滑石土器で口唇部に同原体の縄文と縄線文が施されている。

13は口縁部に撚糸Lの押捺が、胴部に浅めの沈線が施された小型土器の口縁部である。15は沈線文が施された口縁部で、地紋は0段多条RLの縄文と綾絡文である。17、18は器面の無文部と地文との境に縄線文を伴った細い貼付帯を有する胴部である。縄線は17がRL、18がLRである。これらは後期の可能性がある。19～28は底部である。20は底部の側面にLRの縄線文2条が施されたもので、底面には網代痕が見られる。21には3段復節RLRのような縄文が施されている。22は側面に0段多条LRによる条が縦になる縄文が施された上げ底の底部である。23は撚糸Lが施された小型の底部である。24、25は上げ底のもの、27は滑石土器の底部である。

29、30は表背面に光沢部があるスクレイパー、31はたたき石、32は扁平打製石器、33は台石・石皿、34が棒状の礫である。

時期 CH-66の床面から大自在B式土器が出土していることから縄文時代中期後半と考えられる。遺構の重複関係は、CH-66がCH-76を切っている。また北側では僅かであるが、CH-66がCH-67に切られている。（佐川）

CH-67（図Ⅱ-359～361. 図版Ⅰ-61. 図版Ⅱ-189・190・295. 表Ⅵ-4・5・8）

位置：H・Ⅰ-69

長軸方向：北北東-南南西

特徴

確認：東側段丘平坦面の標高56.40mのIV層上面で検出した。

調査：H-69, I-68・69区で確認した黒色土の落ち込みに対して、Iライン及び69ラインに沿って設定したトレンチにより住居跡の床面や壁面を検出しながら調査を進めた。床面の南西側ではCP-231を検出した。

覆土：大まかに6層に分層される。1～3層は黒褐色土、4,5層は暗褐色土である。最下層である6,7層は軟質な黒色土である。

壁：ほかの住居跡と重複関係にあるため、壁面が残存するのは東から南側にかけてのみである。

床面：ほぼ平坦である。

炭化材：確認されていない。

掘り上げ土：確認されていない。

付属遺構

- ・地床炉

床面の中央部で埋設土器が1か所検出されたが、焼土などは確認されなかった。

- ・先端ピット

不明

- ・柱穴

竪穴の長軸方向にあるHP-5（深さ42cm）とCH-77HP-10（深さ39cm）の2基と考えられる。

- ・周溝

周溝は2条あり、壁際に近いものは「コ」の字状で検出された。それよりも約40cm内側にあるものは長さ約1.5mで東側でしか検出されなかった。

- ・土坑

遺物出土状況：遺物は床面より覆土中から多く出土した。付属ピットの調査中、床面中央部のHP-4で埋設土器を1か所検出した。床面で検出した柱穴状ピットの上面を少し削ったところ埋設土器の口縁部が出土した。

遺物 1～28が土器、29が石器、30が石製品である。3、18、20、25、26は滑石土器である。

1は埋設されていた土器である。器壁が薄く口縁部と底部が欠失している。地紋は撚糸Rの絡条体圧痕文である。

2は沈線文が施された突起部である。内面側には楕円形の凹みが施されている。3は口唇部と器面にLRの縄線文が施された滑石土器の口縁部である。

4、5は縄線文を伴う貼付帯が施された深鉢口縁部である。4の縄線文はRLの原体によるもので、貼付帯の交点には円形に窪んだ貼付も施されている。5の縄線文はLRの原体によるもので、無地の口縁部にも施されている。6、7、12は口唇直下に縄線文が施された口縁部である。縄線の原体は6が細いLRの縄線を2条、7が3段復節RLR、12がLRの縄線2条である。7の器面には同原体の縄文が施されている。12の口唇部にも同原体の縄文が施されている。8は胴部に細い0段多条RLの原体による縄線文が施された小型の土器である。地紋は同原体による縄文で、底部は僅かに上げ底を呈している。CH-77覆土下位出土の破片と接合している（CH-77-2）。

9は無文部と縄文の境にLRの縄線文を伴った貼付帯が施された口縁部である。貼付帯は弧を描いてそのまま口縁に達している。この土器は後期の可能性がある。10は器面と一体化した貼付帯上に

管状あるいは縄端のような施文具による斜めからの刺突を施した胴部である。地紋は0段多条RLの原体だけによる羽状縄文である。11はRLの縄線文を伴う貼付帯が施された小型土器の胴部である。

13は沈線のように見えるLRの縄線文が施された口縁部である。14は口唇部に太く深い沈線のような凹みが施された深鉢形土器である。胴部には太いLRの原体による斜行縄文が施され、その上から円と曲線で構成された沈線文も施されている。胎土には砂粒が多く含まれている。榎林式土器と考えられる。15は僅かに肥厚した口縁部に棒状工具による刺突文を施したもので、地紋は0段多条の原体による。16は撚糸Lの絡条体が回転施文された土器である。17は細いLRの斜行縄文が施されている。18は太いLRの原体が施文された滑石土器の口縁部である。19は上げ底の小型土器である。20は同心円状の沈線文が施された滑石土器の胴部である。21は管状の施文具による刺突文が施された貼付帯を有する胴部である。器面には沈線文も施されている。22は折り返しの口縁部で、口唇部にも施文されている。23～28は底部である。23は0段多条のRLの縄文が施されている。25、26は滑石土器の底部である。27、28は内底が丸みを帯びた底部である。

29は小型の扁平打製石器、30は薄い板石に穿孔を施した石製品である。装飾品の可能性がある。

時期 床面でC P-231を検出した。遺構の重複関係は、本住居跡がC P-231の覆土を切っている。

縄文時代中期後半と考えられる。

（佐川）

CH-68（図Ⅱ-362～365、図版Ⅰ-62、図版Ⅱ-191・192・295、表Ⅵ-4・5・8）

位置：Q-64・65、R-63～65

特徴 平面が卵形を呈する竪穴住居跡である。竪穴南側の壁と床の一部が工事の掘削で失われていた。床からは炉跡、埋設土器、先端ピット、土壙、柱穴、周溝、溝、焼土が検出されている。

炉跡はHF-1・2が南東によった床から並んで検出されている。HF-1は石囲い炉で、炉石には比較的大型の楕円礫が持ちいられている。炉石の南東側は攪乱で失われている。並んで検出されたHF-2は地床炉で中央に口縁部と底部を欠いた埋設土器を伴っている（図Ⅱ-364-3）。

先端ピットはHP-1が検出されている。楕円形の比較的小型の土壙で、壙底は平坦である。壙内や周囲からは棒状のものを突き刺したかのようなHP-5～7、9・10の小型のピットが検出されており関連する可能性がある。柱穴のうちHP-11・12・14・15は支柱穴の一部と考えられる。

周溝は竪穴壁際に1本とその内側にもう1本断続的なものが検出されている。竪穴長軸の北西壁際には緩やかに弧を描く溝が検出されている。周溝のようにも見えるが湾曲方向が真逆であるため、周溝とは別の性格が考えられる。床からはHF-3、一括土器（図Ⅱ-364-2）、フレイク・チップ集中が図示した各位置から検出されている。

遺物 1～13が土器、14～20・23が石器、21が土製品、22が石製品である。

床出土の土器は2～4、6、13である。12は大木式系土器である。1、5、6は縄線文が施されるもの、2～4、9～11は地紋だけの、7、8は口唇部に沈線状の凹みを有するもの、13は底部である。

1は0段多条LRの縄線文が口縁部と底部側面に施された小型の土器である。地紋も同原体による。2は口唇断面が角形の深鉢で、器面には0段多条RLの原体を縦横に回転施文した縄文が施されている。3はHF-2に埋設されていた器壁の薄い土器胴部である。地紋はLRの原体による。4の地紋は縦に回転施文した0段多条LRの縄文と綾絡文である。5は低い貼付帯上にRLの縄線文が施されている。地紋は同原体を縦に施した縄文である。6は幅広の貼付帯上に0段多条LRの縄線文が施されている。7、8の口唇の凹みは浅いものである。9は非常に細い繊維による0段多条の原体で羽状の縄文を施した平縁の小型土器である。13の底部側面には小さな括れが見られる。

12は研磨の施された幅広の口縁部を有する小型の土器である。胴部にはRLの地紋上に管状施文具による刺突文と「∩」状の沈線文が施されている。大木9式土器に相当する。

14はUフレイク、15はフレイクチップ集中のRフレイクである。16、17は石斧、18は小型の台石、19は扁平打製石器、20は台石・石皿、23は棒状の礫である。

22は石棒、25はⅢ群b類の土器片を使った有孔土製円盤である。

時期 縄文時代中期後半、煉瓦台式土器（古手）の時期と考えられる。 (立川)

CH-69 (図Ⅱ-366・367. 図版Ⅰ-63. 図版Ⅱ-193・295. 表Ⅵ-4・5)

位置：S-64・65、T-65

特徴 比較的小型の堅穴住居跡で、平面は西側の張出ががやや強い不整の楕円形を呈している。

堅穴の掘り込みは浅く壁は開きながら緩やかに立ち上がっており、床面からは炉跡、土壙、柱穴が検出されている。

炉跡は床のやや南側によった位置からHF-1が検出されている。角のある大きめの礫を方形に配置した石囲い炉で、炉石は下位に掘られた溝に埋め込まれている。HF-1の上位は小礫状のものを含んだV層のローム質土を主体とする褐色土で覆われていた。遺跡内で調査された一部の土壙には上位をV層ローム質土や小礫で覆われたものがあり、これと同様の意識があった可能性がある。

土壙は堅穴長軸上に炉跡と並ぶように平面が円形のHP-1、2が検出されている。HP-1深い掘り込みを有するもので覆土2層は埋戻しの可能性がある。HP-2は掘りの浅いもので、並んで検出されたHF-1と併存していたと考えられる。また、これも並んで検出されたHP-3、4は小型の土壙と考えられ、位置的に所謂「先端ピット」の可能性がある。柱穴は小さく浅いものが多く。支柱穴と言えるほど明確な規模を有するものが認められなかった。

覆土からは多くの炭化材が出土しており、焼失家屋の可能性がある。

堅穴平面形や炉跡の特徴や周溝がないことから近くに位置するCH-62と時期が同じか近いと考えられる。

遺物 1～8が土器、9が石器である。床出土の土器は1である。

1、7は口唇の内面側が丸みを帯びた口縁部である。2は細い0段多条の原体による縄文が施されている。3、6、8はバンド状の貼付帯が施されている。4は太いLRの原体による縄文が施された口縁部である。胎土に重鉱物が多く含まれており、ずっしりと重い。I群a類土器の胎土と類似する。5は「U」条のの貼付が施された胴部片である。

9は石鏃である。

時期 縄文時代中期後半、煉瓦台式土器の時期と考えられる。 (立川)

CH-70 (図Ⅱ-368～371. 図版Ⅰ-64. 図版Ⅱ-193・194・296. 表Ⅵ-4・5・8)

位置：J-66、K-66

特徴 平面が楕円形と推定される堅穴住居跡である。後から作られたCH-92によって北側半分が失われたか不明瞭になっている。床からは焼土、土壙、柱穴、周溝が検出されている。

焼土はHF-1が検出されている。平面が円形で浅い皿状の掘り込みの上に炭化物が残存している。縁周辺に明瞭な炉石の痕跡が認められないことから地床炉の可能性が高い。

土壙はHP-2が検出されている。堅穴の南東壁際に位置し、平面は楕円形で浅く丸みを帯びた壙底からは小ピット3ヵ所が検出されており、CH-70の「先端ピット」と考えられる。

HP-12も先端ピットの特徴を備えた土壌である。平面は不整の楕円形で掘りが浅く壙底から小ピット3カ所が検出されている。覆土は黒褐色土で埋戻されており、恐らく重複するCH-92の構築時に埋戻されたと推定される。かといってCH-70の遺構とするには位置が不自然である。CH-70・92以外の重複する住居が存在することが想定される。

支柱穴は壁近くで検出されたHP-2・3・13とCH-92のHP-4の4カ所である。HP-1・11の2カ所も同規模で、その場合の上屋は6本柱の構造となる。先端ピット（HP-2）とHP-11は重複しており、HP-11が新しい。

周溝は壁際に細めで不明瞭なものが一本、壁から10～20cm内側にもう一本が回っている。

覆土の堆積中にCH-92の掘り上げ土と考えられる褐色土（覆土3層・a層）が検出されている。その上位にはCF-152に伴う生活面があると推測される。

遺物 1～19が土器、21～25が石器、20が土製品である。

床出土の土器は2である。1、6は滑石土器である。11は大木式系土器である。

1は頸部に貼付帯を有し太い沈線文が施された深鉢形土器である。貼付帯上には棒状施文具による刺突文が施されており、沈線文もこの施文具によると考えられる。地紋は撚糸Rの絡条体圧痕文である。胎土には滑石が含まれている。2は口唇部に爪状の施文具による刻みが施された口縁部である。器面にはRLと思われる縄文が施されている。3は突起部に縦の取手状貼付が施された小型土器の口縁部である。器面にはRLの縄文と沈線文が施されている。4は突起部に棒状施文具による沈線状の刻みが施された口縁部である。器面には沈線文も施されている。5は撚糸Lの絡条体圧痕文が施された深鉢で、口縁部は横に施文している。6は撚糸Rが施された滑石土器の底部で、僅かに上げ底を呈している。7はLRの縄線文が施された山形突起部である。8は貼付帯が施された口縁部である。貼付帯上と器面には刺突文が施されている。9はRLの縄文と綾絡文が施された口縁部である。10はLRの縄線文2条が施された平縁の深鉢である。器面には同原体による縄文が施されている。11は口縁に研磨された幅広の無文帯を有する大木9式土器である。胴部にはRLの地紋能重に管状施文具による刺突文と「∩」条の沈線文が施されている。12は口縁に無文帯を有するものである。13は頸部に刺突文のある縦の貼付帯と撚糸Rが施された頸部である。14は円形の凹みを有する貼付が施された頸部である。貼付帯の上には管状施文具による刺突文が施されている。15は丸底の小型土器である。

16～19は底部である。16は底の厚い小型土器底部である。17は上げ底を呈している。

21は下端に断面が鈍角の刃部があるスクレイパー、22、23はUフレイクで、22の左下には尖頭部が備わっており石錐の機能も併せ持っている。24は両面加工の異形石器である。25は床から出土したメノウの原石である。たたき石の可能性もある。

時期 縄文時代中期前半、見晴町式土器の時期の可能性ある。（皆川）

CH-71（図Ⅱ-372～378、図版Ⅰ-65、図版Ⅱ-195～198・296、表Ⅵ-4・5・8）

位置：I-66・67、J-66・67

特徴 平面が不整の隅丸長方形を呈す竪穴住居跡である。CH-71はCH-83と重複しており、CH-71が新しい。床からは焼土、土壌、柱穴、周溝が検出されているがCH-83のものと混在する。

焼土はHF-1～3が検出されている。炉址はHF-1で炉石を方形に配した石囲い炉と考えられる。炉石には拳よりも一回り大きな円礫が使われており、多くは長軸を縦に外に向かって開くよう埋め込まれている。また、焼土の下位からはHP-46が検出されている。平面が円形で壙底は凹凸があり、覆土は埋戻されている。恐らく、炉の上から土壌を掘り込み埋戻した後に再び炉として使用したものと

推定される。HF-2・3はいずれも炉石の痕跡を持つ古い炉址である。これらは、位置関係から重複する古いCH-83の炉址と考えられる。

土壇はHP-29・42～43が検出されている。全て竪穴東側の壁際に位置し、これらは「先端ピット」に類するものと考えられる。位置関係から見てHF-1に伴うのはHP-29である。平面が不整の円形で浅く壇内に小ピット4カ所を伴う。HP-42～44はCH-83の先端ピットと考えられる。

主柱穴はHP-4・14・39・19bの4カ所と考えられる。

周溝は壁付近に比較的明瞭なものが検出されている。また、更に内側に不明瞭なものが一部分見つかっている。

遺物 1～52は土器、53～64は石器、65～67は石製品である。大木系土器は1、3、4、13、16である。滑石土器は6、7、47である。

1、4は口縁部に太い沈線條の凹みが施されたもので榎林式土器に相当する。1は大型の深鉢形土器でCH-9-17と接合している。口縁部には五カ所の突起部を有するが正面に図示した突起部だけが大型である。器面にはLRの原体による縦方向の羽状縄文が施されている。4の地紋は縦転がしのRLである。2は貼付帯とLRの縄線文が施された大型の深鉢である。地紋はLRの斜行縄文である。3は大木9式土器の深鉢でCH-3-12と接合している。口縁部は研磨され、張り出した胴部との境には小さな円形刺突文、下位にはLRの縄を縦に転がした地紋に「∩」状の沈線文が施されている。

5は低い山形突起と折り返しの口縁を有するものである。突起部には楕円形の凹みが施され、器面には太い沈線文とLの絡条体が施されている。

6、7は滑石土器の口縁部と頸部である。6はLRの縄線文と刺突文が施された縦横の貼付帯を有するもので、器面には沈線文も施されている。7は沈線で螺旋とそれを結ぶ直線が描かれたもので、空いたスペースは刺突文で充填されている。

8～10はLRの縄線文を伴う貼付帯が施された土器である。8は口縁部と同部で、縦の貼付帯上には円形の刺突文も施されている。地紋は条が縦になるRLの斜行縄文であるが、口唇直下で条の傾を変えている。9は貼付帯の接続部に瘤状の貼付が施された胴部である。

11は器面と一体になった低い貼付帯上に刺突文が施されている深鉢である。口唇内面側は研磨されたように丸みを帯びている。地紋はLRの縄を縦に施している。大木9式土器の影響が認められる。12は口唇直下にLRの縄線文が施された口縁部である。地紋は同原体による上が横になる縄文である。下端に沈線の端部が見られる。13は無文の口縁下端に棒状施文具による斜めの深い刺突が施されたもので、刺突文の直ぐ下には沈線が見られる。14の肩部の貼付帯上には管状の施文具による刺突文が施されている。地紋はRLの原体による条が縦になる縄文である。15、17、20、21、24はLR、21はRLの縄線文が施された口縁部である。20は口縁の無文帯に縄線文が施されている。24はLRの縄線文が縦に施されている。

16は研磨の施された口縁部と穴の空いたボタン状の貼付を有するもので、大木9式土器相当と考えられる。肩部の低い貼付帯上には管状の施文具による円形刺突文が施されている。18は口縁部の無文帯と撚糸Rの絡条体が施された胴部との境に沿って三角形の刺突文が施されている。19は口唇部に極細の沈線が施された小型土器の口縁部である。23は器面の先端に半裁した管状施文具の内側を用いた刺突が施された小型土器である。地紋は極細のLR斜行縄文である。

25はLRの縄文が施された深鉢形土器で、床から出土した。26は上げ底で無文の小型土器である。27はLRの縄を縦に回転施文した深鉢である。28にはLRの縄文が施されている。29は内面側の口縁に浅い凹みが回っている。30は僅かに上げ底を呈する無文の小型土器である。31はLRの縄線文が施さ

れた頸部である。32は口唇直下に幅の狭い無文帯を有したもので、鉢形器形の可能性もある。

33は頸部に器面と一体化した貼付帯が回る深鉢で、口縁部には磨消縄文の施された無文部を有する。胴部にはRLの斜行縄文が施されている。34はLRの縄文と綾絡文が縦に回転施文された胴部である。36は撚糸Lの斜行縄文が施された胴部である。37はバンド状の貼付帯を有する胴部で、器面には0段多条LRの原体による羽状縄文が施されている。

38はLRの原体による羽状縄文が施された折り返しのある口縁部である。39～41は胴部で、地紋は各RL、Rの絡条体、Lの絡条体である。

42～52は底部である。42は厚底で内底が丸みを帯びている。43はLRの縄が縦に施文されている。45は器面にLRの縄線文2条が回っている上げ底の底部である。

53は石鏃、54、55は石錐、56はつまみ部を作出しただけの簡素なつまみ付ナイフ、58は刃部の断面が鈍角のスクレイパー、57、59はUフレイクである。

60は石斧、61がたたき石で使用頻度が高い。62、63が扁平打製石器である。64は台石・石皿である。

66、67は小型の石棒、65は全面を軽く磨いた石製品で被熱している。

時期 縄文時代中期後半、大安在B式土器の新手の時期と考えられる。（皆川）

CH-72（欠番）

CH-73（図Ⅱ-379～381、図版Ⅰ-66、図版Ⅱ-199・297、表Ⅵ-4・5）

位置：J-63・64、K-63・64

特徴 平面が不整の楕円形を呈する竪穴住居状の遺構である。遺棄されたCH-85の埋没中の凹みを利用したと考えられる。竪穴は浅く壁の立ち上がりは緩やかである。

床面からは大きめの長楕円礫を炉石に使用した石囲い炉（HF-1）が検出されている。炉石の大きさが一定でなく配置も雑であるが、炉石は方形に配石されたと推定される。柱は明確なものがなく、重複するCH-85の方に混じっている可能性がある。

遺物 1～13が土器、14～22が石器である。

1は大柄な貼付が施された突起部である。やや広めの口唇部にはRLの斜行縄文が施されている。2は沈線文の施された小型土器の口縁部と胴部である。3はLRの斜行縄文と綾絡文が施された折り返しの口縁部である。4はバンド状の貼付帯を有する胴部と底部である。5はRLの縄文が施された胴部である。

6は大型の深鉢形土器でCH-9-17と接合している。口縁部には五カ所の突起部を有するが正面に図示した突起部だけが大型である。器面にはLRの原体による縦方向の羽状縄文が施されている。7は太い0段多条のLRの原体を口縁部で横位に胴部で縦位に回転施文した深鉢である。8はバンド状の貼付帯を有する胴部、9～13は底部である。11はRの絡条体が施された大型土器の底部である。

14は黒曜石製のポイント、15は大型の石斧、16は小型のたたき石、17は扁平打製石器、18は使用痕のある礫、19、20は台石・石皿である。19は炉石に使われていたものである。21、22は棒状の礫である。

時期 縄文時代中期後半、煉瓦台式土器の時期と考えられる。（皆川）

CH-74（図Ⅱ-382～386、図版Ⅰ-67、図版Ⅱ-200・201・297・208、表Ⅵ-4・5・8）

位置：I-64・65、J-64・65

特徴 平面が楕円形と考えられる竪穴住居跡である。CH-78と重複し、CH-74の方が新しい。竪穴の

東側は崖の崩落で失われている。

床からは焼土、土壌、埋甕、柱穴、周溝が検出されている。これらにはCH-78のものも混在する。

焼土はHF-1～5が検出され、このうちHF-3は最も新しいと考えられる炉址である。主に大きめの長楕円礫を炉石とした石囲い炉で、炉石の大きさは統一性に欠け配石も雑である。HF-3の炉石の下から古い石囲い炉の痕跡が検出されている。HF-3のすぐ西側の炉石を抜き取った跡(FP-2～8)もその一部で、古い炉址は炉石が方形に配石されたHF-3よりも一回り大きな石囲い炉であったと考えられる。炉石は少し大きめの扁平礫が使われ、礫の長軸を縦に埋め込んでいたと考えられる。配石など作りも比較的丁寧だった様子が窺われる。HF-3の下から見つかった土壌(HP-44)は、平面的な位置から見て元来この古い石囲い炉に伴うものだった可能性が高い。またHF-4は更に古い炉址の可能性もある。

HF-5は竪穴長軸上の中央やや西側から検出された炉址で、赤化の度合いはHF-5の方がHF-3より強いものの、HF-3との先後は不明である。2ヵ所が同時に存在した可能性もある。直下にCH-78の主柱穴HP-9が位置し、炉址はその凹みを利用して作られた可能性もある。また、遺跡内では炉址と土壌がセットとなるパターンが多く見られ、CH-78/HP-9が土壌として再利用された可能性もある。

HF-1・2は床面から僅かに浮いて検出されている。二次的なものと考えられる。

土壌はHP-32・36・44が検出されている。HP-44は先述の通りHF-3の下から見つかった。平面は円形で壙底は丸みを帯びており覆土は埋戻されている。覆土1層は古い石囲い炉の焼土である。これにより、埋戻された後も炉として使われたことが分かる。HP-36はもう一つの炉址(HF-5)に隣接する土壌である。やはり竪穴長軸上に位置し、平面は円形で壙底は平坦である。断面はフラスコ状を窺わせるもので覆土は埋戻されている可能性がある。HF-3に関連することが推測される。HP-32は小型で楕円の土壌で、竪穴長軸上の東の壁際から検出されている。手前の小ピット数基と共に所謂「先端ピット」的な役割を有すると考えられる。

主柱穴に該当する規模のものは認められなかった。小型の柱穴で構成された可能性がある。

周溝は南側の壁付近で2本が見つかった。他はCH-78のものと区別できなかった。

遺物 1～21が土器、23～37が石器、22が土製品である。滑石土器は6である。大木系土器は18である。

1は口唇直下が肥厚する大型の深鉢形土器である。底部近くにはバンド状の貼付帯も施されており、胎土には砂礫が多く含まれている。文様はLRの原体だけによる羽状縄文である。2は比較的床に近い覆土から出土した深鉢である。器面には撚戻しのRRと考えられる原体を使った文様が施されている。内面には軽い研磨が施されており、胎土中には小礫が多数含まれている。

3は低い突起部に沈線文、口唇部にLRの縄線文が施された口縁部である。4は口唇に細い沈線が施されている。5がLRの縄線文を伴う太い貼付帯が施された頸部である。6は滑石土器の口縁部である。器面には沈線文とLRの縄線文が施され、口唇部にも地紋が施されている。7は器面と一体化した貼付帯が施された胴部である。貼付帯より上位は無文、回は合撚のLRの原体による斜行縄文が施されている。

8、9は口唇直下に肥厚帯を有する口縁部である。10はLRの縄線文2条が施された無文の口縁部である。11は撚糸Lの絡条体が施された口縁部で、口唇直下だけ撚糸の流れが変えられている。12は0段多条LRの縄が施された口縁部である。13は3段復節RLRの縄が施された胴部である。

14は器面と一体化した貼付帯上に管状の施文具による円形の刺突文を施した口縁部と胴部である。貼付帯は口縁部付近にだけ施されており、胴部の刺突文には正面からの円形と左斜めからのものとがある。地紋は2段単節LRと前々段反撚RLLの2本の縄を縦に回転施文した羽状縄文である。

15～21は底部である。15、17にはRLが縦に施文されている。18は器壁の薄い底部である。大木系土器と考えられる。20、21は無文である。

23は石錐、24～26がスクレイパーで24は篋状のもの、25、26は表背面に光沢部を有している。27が小型の石斧、28、29、32はたたき石、30、31が扁平打製石器である。33～37は台石・石皿で、このうち33と37は炉石として使われていた。

22はⅢ群b類の土器片を使った有孔土製円盤である。

時期 縄文時代中期後半、煉瓦台式土器の時期と考えられる。また、重複する古い住居はノダップⅡ式土器の時期と考えられる。 (皆川)

CH-75 (図Ⅱ-387. 図版Ⅰ-68. 図版Ⅱ-202. 表Ⅵ-4)

位置：S-66・67、T-66・67

特徴 平面が不整の楕円形を呈する掘り込みの深い小型の住居跡である。

床からは炭化物集中、先端ピット、土壌、周溝が検出されている。炭化物集中は床の中央で小径のものが検出されている。明瞭な炉跡が見られないことからこの炭化物集中がごく短期間の炉跡に相当する可能性がある。先端ピットは竪穴長軸上の東壁側から見つかったHP-1が相当すると考えられる。土壌はHP2が検出されている。周溝は竪穴壁際から1本、その内側に断続的なもの1本が検出されている。内側の周溝はHP-1の付近でしか検出されていない。柱穴は認められない。覆土2、3層にはV層ローム質土が多く混入している。住居以外の性格を有する可能性がある。また、東側で接して検出されたCP-213は意図的に配された可能性がある。

遺物 1～5は土器である。2は滑石土器である。

1は低い貼付帯に0段多条LRの縄線文を施した口縁部と胴部である。地紋は同原体を縦に転がしたものである。2は滑石土器の口縁部である。LRの縄文が口唇直下では横位に、それより下位の器面では縦位に施されている。

3、4は撚糸Lの刻みが施された粘土紐の貼付を有する土器である。3の胎土には海綿骨針が含まれている。4の粘土紐は多くが剥落している。5は内底が丸みを帯びている底部である。地紋はLRを縦に回転施文している。

時期 縄文時代中期後半、榎林式～大安在B式土器の時期の可能性はある。 (立川)

CH-77 (図Ⅱ-388～395. 図版Ⅰ-61・66. 図版Ⅱ-203～210・299. 表Ⅵ-4・5・8)

位置：H-68・69、I-68・69

特徴

平面形：隅丸長方形

確認 東側の段丘平坦面のⅣ層上面で検出した。標高は56.20～56.40mである。

調査 H-68・69、I-68・69区で確認した黒色土の落ち込みに対して東側にあるクリアランス部分の東壁、南北方向のIライン、東西方向の69ラインの3か所にトレンチを設定した。クリアランス部分の東壁トレンチではCH-77の北壁の立ち上がりを確認した。69ラインのトレンチではCH-77西壁の立ち上がり及び隣接するCH-82の覆土を切っていることを確認した。この2か所のトレンチによって確認した壁の立ち上がりを追跡し、北と南側の壁面を検出した。その後、Iラインと69ラインのセクションベルトを外し、床面で付属ピットと周溝を検出して調査を終了した。

覆土：3層に分けられる。色調はいずれも黒褐色土でローム粒、ロームブロックを含んでいる。

壁：北と南側の一部で確認した。西側の壁面は69ラインの土層断面および周溝の位置から推定した。

床 面：ほぼ平坦である。

炭化材：確認されていない。

掘り上げ土：確認されていない。

付属遺構

- ・地床炉 不明
- ・先端ピット 不明
- ・柱穴 柱穴はHP-1（深さ46cm）、HP-6（深さ42cm）、HP-9（深さ48cm）の3基である。残り1基は東側のクリアランス部分にあると想定される。
- ・周溝 北と西側の一部で1～2条検出した。
- ・土坑 西と南側では小ピットが多数検出されている。西側の小ピットは周溝の内側で、径5～15cmのものが15基、南側では径15～30cmのものを8基検出している。南側のピットは隣接するCH-67の柱穴の可能性も考えられる。
- ・炭化物集中範囲 とくに確認できていない。

遺物出土状況：覆土中では北側から土器・石器がまとまって出土している。床面では中央部付近で横倒しとなった大在B式土器1個体と石斧1点が出土した。

遺物 1～49は土器、50～61が石器、62、63が土製品、64、65が石製品である。

床面出土の土器は4、16、21、24、28、31、45である。10、14は大木式系土器の可能性があり、40は魚骨回転文が施されている。

1は貼付帯上に2条のRL縄線文が施された平縁の深鉢形土器である。口縁の「V」条の貼付帯は同じものが対角線上の器面にも配され、各貼付帯の交点には縦長で無文の貼付が施されている。地紋は縄線文と同じ0段多条RLの原体による斜行縄文である。2は胴部に細い0段多条RLの原体による縄線文が施された小型の土器である。地紋は同原体による縄文で、底部は僅かに上げ底を呈している。CH-67覆土出土の土器と接合している（CH-67-8）。3は口唇直下に太いLRの縄線文が施された小型の深鉢である。底部は上げ底を呈し、胎土には小礫が多く含まれている。

4は胴の下半が長い平縁の深鉢形土器である。口唇の外側が突き出ており、径の小さな底部の下端も張り出している。地紋はLRの原体を縦に転がした縄文である。5～7は低い貼付帯上に左横からの刺突文が施された大型の深鉢形土器である。5の地紋はRLの原体による斜行縄文であるが、上半部で横に、下半部で縦に回転施文されている。刺突文の施文具は棒状のものによる。6の地紋は口縁部と胴部だけ施文方向を変化させている。7は貼付帯上に2列の刺突文が施されている。

8は山形突起の下位に「Y」状の取手状貼付が施された口縁部である。口縁に沿って粘土紐を施すことで口唇に沈線があるかのように見える。口唇と粘土紐の刻みはRLの原体による。地紋はRLの斜行縄文と綾絡文である。9は貫通孔が備わった突起部に粘土紐とLRの縄線文が施された口縁部である。地紋は縦転がしのRLと綾絡文である。

10、11、14は口唇部に沈線状の凹みが施された土器である。10は突起と突起の間にも螺旋状の沈線が施されている。12の口唇部には先の尖り気味の棒状施文具による連続した横からの刺突が施されている。地紋は縦転がしのLRである。13は深く明瞭な沈線で複雑な文様が施されている。突起部には粘土紐の貼付も施され、口唇部には細い撚糸Lによる刻みが施されている。15は突起部と口唇部にLRの縄線文が施された小型土器の口縁である。16は撚糸Lの絡条体が施された深鉢である。

17は口唇直下にLRの縄を強く押しつけた深い縄線文が施された口縁部である。18～20、24はLRの

縄線文の施された口縁部である。

22は貼付帯上にLRの縄線文が施された深鉢である。地紋はLRの原体を縦に転がした斜行縄文である。23、26は胴部の貼付帯上にLRの縄線文を施した土器である。縄線文は23が2条、26が1条施されている。25は口縁に左横からの刺突を連続して施した小型土器である。

27～29は微隆起の貼付帯上に細い棒状施文具で斜めからの刺突を施したときで、29は縦と横の貼付帯の接点に豆粒状の貼付が施されている。28、29は同一個体の可能性がある。30は胴部の貼付帯上に縄の折り返し部を連続して押捺している。

31、32は条が横になる斜行縄文が施された口縁部である。33は縄文の上から縦のなでを加えて地紋を消している口縁部である。34は口唇部に短い沈線を連続して施している。地紋は縦転がしのLRである。

35、36は折り返しの口縁を持つものである。36の折り返しは幅が広く無文である。37、39～41は胴部で、40は魚骨回転文が施されている。38、42～49は底部である。38はV群c類土器の底部の可能性がある。48の器面には撚糸Rと沈線文が施されている。

50、51は石鏃で、50は縄文早期のものである。52、55はスクレイパーである。52は刃部の断面が鈍角である。53、54は表背面に光沢部を有するUフレイク、56～58は扁平打製石器で、58は未完成の石製品の可能性がある。59がすり石、60は正面の平坦面を使ったたき石と考えられる。61が砥石である。

62はⅢ群b類の土器片を使った有孔土製円盤、63は土器底部を使った有孔土製円盤である。64は三角形石製品、65は石刀である。

時期 床面から大安在B式土器が出土していることから、縄文時代中期後半と考えられる。（佐川）

CH-78（図Ⅱ-396～402、図版Ⅰ-69、図版Ⅱ-211～215・300、表Ⅵ-4・5）

位置：I-64・65、J-64・65、K-64・65

特徴 平面が楕円形と考えられる比較的大型の堅穴住居跡である。CH-74の重複と崖の崩落で、堅穴の壁の東側（約半分）が失われているものの、床面の遺構は比較的良好に保存されていた。

床からは焼土、土壌、柱穴、周溝が検出されているが、これらにはCH-74のものも混在する。

焼土はHF-3～12が検出されている。この内中心的な炉址は堅穴長軸上の中央部付近に位置するHF-3～6で、複数からなる地床炉と考えられる。HF-7～12も床面がしっかりと赤化した焼土で補助的な炉址の可能性もあるが、全体的な様子から上屋を何度か立て直していると考えられることから、火災による生成なども考慮すべきであろう。HF-1・2は覆土中からの検出で二次堆積と思われる。

土壌はHP-1が検出されている。堅穴長軸上の東側に位置し、壙底は平坦気味で比較的深さがあり断面はフラスコ状を呈している。覆土2～4層は埋戻しと考えられる。位置と特徴から所謂「中央ピット」と考えられる。支柱穴はHP-2・5・8・9の4カ所である。

周溝は壁際から内側に向かって3～4本が回っており、更にCH-78以外と判断される周溝も見られる。そのため他の遺構との重複あるいは上屋を何度か立て直していることが考えられる。また、東側壁際の周溝は細かなピットが連続する様な状況が観察された。

遺物 1～48は土器、49～66は石器である。2、18は榎林式土器に相当する。38は大木9式土器である。滑石土器は6、13、16、25、27、40である。

1は口縁部に3カ所の山形突起を有した深鉢である。器壁は薄く内面には丁寧な研磨が施されている。突起部には「O」状の、口唇部には2列が平行する粘土紐の貼付が各施されており、一部にLRの縄線文も加えられている。地紋は細いLRの原体による縦転がしの斜行縄文と綾絡文である。2は口

縁部に太い沈線條の凹みが施された大型の深鉢形土器でCH-9-17と接合している。口縁部には五カ所の突起部を有するが正面に図示した突起部だけが大型である。器面にはLRの原体による縦方向の羽状縄文が施されている。

3は口縁部に太い沈線條の凹みと取手的な色合いの強い縦の貼付が2カ所に施された深鉢である。器面には3本一組の沈線條が施され、地紋は前々段多条RLの斜行縄文である。4は口縁部の無文帯にLRの縄線文が施された深鉢で、器面には同原体による斜行縄文が施されている。

5は二山で一組の突起部を有する口縁部である。突起部には器面と一体化した粘土の貼付が施されており、肥厚した断面丸形の口唇部には地紋と同じRLの斜行縄文が施されている。6は突起部に粘土紐の貼付を施した滑石土器の口縁部である。

7は突起部に粘土紐を縦と螺旋状に貼付した口縁部で、縦の貼付上には細い撚糸Lが施されている。口唇部には沈線状の凹みが施されている。地紋はLRの縄文である。8は小さな突起部に楕円の凹みとRLの縄線文を施した土器である。口唇部には粘土紐を貼付して沈線のような凹みを作成している。地紋は0段多条RLの縄文である。

10は比較的大き目の貫通孔を有する山形突起部に縦の取手状貼付を施した口縁部である。突起部の表裏と貼付には粘土紐と沈線状の凹みによる特徴的な装飾が施されている。口唇部には沈線状の凹みが施されている。地紋は0段多条LRの縄文である。11は撚糸Rの絡条体が施された口縁部である。

9、12～17は口唇部に沈線状の凹みが施されたものである。9の突起部には粘土紐と沈線による文様が施されており、地紋は3段復節RLRの縄文である。13、16、17には沈線文も施されている。18も同タイプの沈線文が施された胴部で、胎土には砂粒が多く含まれている。榎林式土器である。

19は胴部の貼付帯上にLRの原体を連続して押捺した深鉢である。地紋は同原体を縦に施文した縄文である。20～22はRLが施された小型土器あるいは口縁部である。23は「U」状の貼付とLRの縄線文が施された口縁部である。貼付上には平たい串状の施文具による特に深い刺突が施されている。24は折り返しのある口縁部で、口唇と器面には0段多条RLの斜行縄文が施されている。25は0段多条LRの縄線文と馬蹄形圧痕文が施された滑石土器の胴部である。26は沈線文の施された深鉢で、口唇の内面側が撫で付けられている。27は貼付帯上とその付近にLRの縄線文が施された滑石土器の口縁部である。

28は口唇の内面側が研磨された口縁部で、器面には縦転がしのLRが施される。29は0段多条のRLによる縄文が口唇と器面に施された器壁に薄い小型土器である。30は折り返しのある口縁部である。31～35はLRの縄線文が施された口縁部である。34は貼付帯上にも施されている。36は無文帯の下位に絡条体が施された口縁部である。37は羽状縄文が施された小型土器の口縁部である。38は大木9式土器の研磨が施された口縁部である。40は沈線の施された滑石土器の胴部である。39、41～48は底部である。

50～52は石鏃、53～60は光沢部があるスクレイパー、61は小型の石斧、62、63、66はたたき石、64、65は扁平打製石器である。49は割れて出土した台石・石皿で、CH-9、90のものと接合している。
時期 縄文時代中期中葉、見晴町式～榎林式土器の時期と考えられる。(皆川)

CH-79 (図II-403～406. 図版I-68. 図版II-216～218・301. 表VI-4・5)

位置 : J-61・62、K-61・62、L-61

特徴 平面が楕円形あるいは卵形と考えられる堅穴住居跡である。崖の崩落で、堅穴の壁の北側(約半分弱)が失われている。

床からは焼土、土壌、柱穴、周溝が検出されている。

焼土はHF-1・3・4が竪穴長軸上から検出されている。HF-3はこの中では新しい地床炉である。平面は楕円形で最も規模が大きい。中央からは土器底部(埋甕)が埋められたHP-14が検出されている。HF-4は古い地床炉である。上位に黄褐色土を被せ、隠されていた。HP-14の埋甕はHF-4に伴う可能性もある。炉石の痕跡はHF-3・4ともに認められなかった。HF-1は赤化の弱い小径の焼土である。補助的な炉址あるいは一時的な火の使用が想定される。HF-2は覆土の焼土である。同レベルには図示した大礫2点も見つかっており、生活面があった可能性がある。

土壌はHP-10・11・12が竪穴長軸上から検出されている。HP-11は竪穴の南東壁際に位置する。平面は不整の円形で浅く丸みを帯びた壙底には小ピット2ヵ所が検出されている。位置と特徴から竪穴に伴う「先端ピット」でHF-3との組み合わせが考えられる。HP-12は平面が楕円の小型の土壌で掘り込みは浅い。HP-11(先端ピット)とHF-3(炉址)の間に位置し、2本が検出された周溝の内側を回る方との組み合わせが想定される。重複する古い竪穴に伴っていた旧先端ピットと考えられ、HF-4との組み合わせが考えられる。HP-10は竪穴西側の壁際に検出された比較的大型の土壌である。崩落で大凡半分が失われているが、本来的には平面が長楕円形を呈すと想定される。覆土2層は埋戻しと考えられる。「中央ピット」や「先端ピット」と竪穴長軸上の反対側に比較的大型の土壌が作られる類例の一つと考えられる。

主柱穴はHP-1・2・3と考えられる。周溝は大きく2本が回っており、外側の方が明瞭で新しいと考えられる。

遺物 1～23は土器、24～27は石器である。滑石土器は2～4、7～9、14が出土している。

1は円形の貼付とLRの縄線文を伴う貼付帯を有する大型で器壁の薄い深鉢形土器である。刺突の施された円形の貼付は口縁の小突起の下位の器面に2ヵ所ずつ施されている。地紋は0段多条のLRによる縄文である。2は貼付帯を有する滑石土器の深鉢である。口縁部と貼付帯上には瘤状の貼付も施されている。加えて器面には細目の沈線文と先細りの棒状施工具による斜め横方向からの刺突文による文様が上半部全体に施されている。地紋は0段多条RLの細い原体による斜行縄文である。

3は口縁に弧状の太い貼付帯が施された滑石土器である。器形は頸部で括れ胴部が張り出すもので、器壁は比較的厚めである。平行する2本の沈線文が口唇直下と肩部に施され、口縁部と胴部には2、3本の垂下する沈線文も施されている。器面にはLRの原体で条が横になる縄文が施されている。土器表面の風化が著しく文様はあまり明瞭ではないが、9と同一個体の可能性がある。4は肩部に器面と一体化した無文の貼付帯を有した滑石土器の胴部である。貼付帯より上位の器面は無文、下位には3段復節LRLの斜行縄文が施されている。5、6は撚糸の絡条体が施された口縁部である。5はL、6はRの原体による。6の突起頂部には凹みが施されている。7、8は貼付帯を有し沈線文と横からの刺突文が施された滑石土器の口縁部と胴部である。9の特徴は3と同じで、これに口唇部の縄文施文が加わる。

11、12はLRの縄文が施された頸部に括れのある土器である。13は円形の刺突文が施された貼付帯とLRの縄線文が施された胴部である。14貼付帯とLRの縄線文が施された滑石土器の口縁部である。15は口唇直下の器面に豆粒状の貼付が施された比較的小型の深鉢である。16～18はLRの縄文が施された胴部である。19は底部近くの胴部である。

20は細い沈線を口唇直下に施した小型土器である。地紋は極めて細いRLの原体による縄文である。21～23は底部である。

24、25はスクレイパー、26がたたき石、27が台石・石皿である。

時期 縄文時代中期後半、大安在B式土器の時期と考えられる。

(皆川)

CH-80 (図Ⅱ-407・408, 図版Ⅱ-219・301, 表Ⅵ-4・5)

位置: I-69、J-68・69

特徴 石囲い炉と周辺の床面だけが確認された竪穴住居跡である。複数の竪穴住居との複雑な重複によって竪穴のほとんどが失われ全貌は不明である。CH-88とは一見同一の竪穴に見えるが図示した一点破線部に明瞭な稜があることから、CH-88よりも古い別の住居と判断した。

石囲い炉(HF-1)は、平面が方形の浅い土壇(HP-1)内に、拳大の扁平礫を方形に配石したもので、各炉石の多くは長軸を横位に埋め込まれている。HP-1の下位からは一回り小径の土壇(HP-2)が検出されている。浅く壙底は丸みを有する。覆土は暗褐色土で埋戻されたと考えられる。

近接する「先端ピット」的な特徴を有するCP-26は、関連する可能性が低いと思われる。

遺物 1～7は土器、8～12は石器である。

1はLRの縄線文が施された小型土器の口縁部である。2は貼付帯にLRの縄線文が施された胴部である。3は低い貼付帯上に太い棒状の施文具で右横方向からの刺突を施した大型の深鉢である。地紋は0段多条RLを縦に転がしたものである。4は突起部に縦の短い沈線、肥厚した口唇部にLRの縄線文が施された大型土器である。5は口縁部に短刻線文が施された口縁部である。地紋はLRの縄文である。6、7は底部である。

8は石錐、9はたたき石、10、11はくぼみ石、12は砥石である。

時期 縄文時代中期後半、ノダツブⅡ式土器の時期と考えられる。

(皆川)

CH-81 (欠番)

CH-82 (図Ⅱ-409・410, 図版Ⅰ-61・70, 図版Ⅱ-220・221・301, 表Ⅵ-4・5)

位置: I-68・69、J-68・69

平面形: 隅丸長方形 長軸方向: 東南東-西北西

特徴

確認: 東側の段丘平坦面の標高56.20～56.40mで検出した。

調査: 69ラインに設定したトレンチの土層断面によれば、東側からCH-77、CP-322、CH-84の3基の遺構に切られている。I-68区の南東-北西方向のトレンチでは北西側の壁面の立ち上がりを検出し、ここから西あるいは北側へ壁面を追跡した。壁面の検出後、セクションベルトを取り外し、焼土・付属ピットの調査を行い終了した。

覆土: I-68区の南東-北西方向に設定したセクションA-A'の土層断面により9層に分けた。7、8層は壁際からの流れ込みによる土層。床面に近い6層は炭化物が多く混じり、直上の5層はローム粒が多く混入する。

壁: 北側の一部と西側で検出した。南側は、CH-64の床面より一段低い部分の上端しか検出できなかった。

床面: ほぼ平坦である。

付属遺構

・地床炉 長軸上のほぼ中央部で楕円形(HF-2)と円形(HF-1)の炉跡が隣接して検出された。

焼土中には骨片など確認できなかった。HF-1の南側に径約10cmの焼土が2か所検出されている

（HF-3, 4）。

- ・先端ピット 不明
- ・柱穴 HP-4（深さ37cm）、HP-6（深さ52cm）とCH-77HP-32（深さ35cm）が支柱穴と考えられる。
- ・周溝 北から南側の一部にかけて1条検出した。
- ・土坑 支柱穴の他に10基検出している（HP-1～3, 5, 7～12）。平面形は円形、楕円形、隅丸方形と様々で、深さは4～56cmである。土坑は支柱穴の周囲に分布するものが多い。
- ・炭化物集中範囲

遺物出土状況：地床炉の南側約1mのところまで横倒しとなった 式の土器が1個体出土している。
遺物 1～15は土器16～18は石器である。

1は3ヵ所の山形突起を有する深鉢土器である。突起部と口唇部にはLRの縄線文が施されている。2は山形突起の下位に縦の取手状貼付が施された口縁部である。頂が盃状に凹んだ突起部と口唇部付近にはRLの原体による縄線文や刻みが施されている。3、5は山形突起を有する口縁部で、口唇部には3が篋状施文具による刻み、5がLRの縄による刻みが施されている。6も同様の口縁で口唇部には横からの刺突が連続して施されている。4はLRの縄文と撚糸Rの絡条体が施された口縁部である。8は合撚の縄で条が右下がりになる縄文が施された口縁部である。口唇部には縄の刻みが施されている。

7は口唇直下にLRの縄線文が施された口縁部である。器面には不明瞭であるが同原体による縄文が施されている。9は沈線文が施された小型土器である。10は括れのある無文の口縁部を有する器壁の薄い小型土器である。地紋の原体はLRである。

11、12は胴部、13～15は底部である。15は無文である。

16は両面加工の異形石器である。17は表背面に光沢部があるUフレイク、18は小型のたたき石でポンチのように間接的に衝撃を与えたと考えられる。

時期 縄文時代中期中葉、見晴町式～榎林式土器の時期の可能性が高い。（佐川）

CH-83（図Ⅱ-411～417. 図版Ⅰ-70・71. 図版Ⅱ-222～226・302. 表Ⅵ-4・5・8）

位置：I-66・67、J-66・67

特徴 平面が舟形あるいは卵形と考えられる比較的大型の竪穴住居跡である。CH-71との重複で竪穴東側の壁は大きく失われており、その部分の床の遺構に関しても帰属がどちらかハッキリしない。また、竪穴西側の床面上からは大量の炭化材と炭化粒が検出されている。焼失家屋の可能性が高い。

床からは焼土、土壌、埋甕、柱穴、周溝が検出されている。

炉址はCH-71で検出されたHF-2・3と考えられる。位置は竪穴長軸上の中央から少し東側に寄った所で、HF-2の方の赤化がより鮮明である。HF-3の周囲にはやや大型の長円礫を埋め込んだ痕跡（小ピット）が多数検出されている。また、HF-2の周囲からもより大型の長円礫を埋め込んだと推定される溝状のピットが検出されており、両者共に石囲い炉であったと考えられるも、両方の炉石は全て無くなっている。先後は、溝状のピットを伴うHF-2が新しく、HF-3が古いと考えられる。

土壌はCH-71で検出されたHP-41～44と考えられる。三つの土壌は竪穴東の先端部で重複しながら検出されている。平面は不整の楕円形で掘りは浅く壙底に小ピットを伴っており、これらは「先端ピット」と考えられる。また、支柱穴のHP-12とHP-18の間に位置するHP-17も特殊なピットの可能性がある。埋設土器はCH-71/HF-3に近いHP-16で検出されている（CH-83-11）。

支柱穴はHP-12・18、HP-10・19、CH-71/HP-1である。HP-1・6も可能性がある。

周溝は壁際に1～2本が回っている。

年代測定結果

30	IAAA-112191	タテ2C-12	CH-83No.2 床付近	木炭	4,170±30
----	-------------	---------	---------------	----	----------

遺物 1～46が土器、47～53・58が石器、54、57は石製品、55、56は土製品である。滑石土器は1、7～9、11～14、22、25、30が出土している。31は大木9式土器である。

1は0段多条LRの縄線文が施された貼付帯を有する大型の滑石土器である。口縁の文様帯には同縄線文と縄の端部あるいは結び目を用いたと考えられる刺突文が施されている。2は無地の小型土器に沈線文を施したものである。3は口縁部にLRの縄線文が施された深鉢である。垂下する縄線文は3条のものが8個所、2条が1個所である。地紋は同原体を縦に転がした縄文である。4は貼付帯上にLRの縄線文が施された深鉢である。口唇の小突起は2山と1山が各2カ所である。地紋は同原体を縦に転がしたものである。

5は粘土紐の貼付が施された小突起部を有する口縁部である。突起部の表裏には粘土紐による「△」状の貼付が施されている。6は器面と一体化した貼付帯上に細目の棒状工具による斜めからの刺突文が施された深鉢である。口唇直下にはLRの縄線文2条が回らされ、口縁の「U」状の貼付は2カ所に施されている。地紋はLRの原体を縦に転がした縄文である。7、9は貼付帯が施された滑石土器の口縁部である。9は貼付帯上に刺突文、器面に沈線文と0段多条LRの縄線文も施されている。8は棒状施文具による刻みが施された貼付帯を有する滑石土器の胴部である。器面には沈線文と管状の施文具による刺突文が施されている。10はLRの縄線文を伴った貼付帯が施された大型土器の胴部である。胎土には若干の滑石が混入されている可能性がある。11はHP-16に埋設されていた滑石土器の胴下半部である。地紋は条が横になるLRの縄文である。12～14も滑石土器である。12は貼付帯と0段多条LRの縄線文が施された口縁部、13は貼付帯上に円形刺突文の施された胴部、14はLRの縄線文が施された胴部である。

15は幅の狭い「Λ」状の貼付帯が施された口縁部である。口唇部と貼付帯上にはLRの縄線文が施されている。16は無地の口縁に鋸歯状のLR縄線文が施されたもので、貼付帯上にも縄線文が施されている。17は貼付帯上に管状の施文具による円形の刺突文が施されている口縁部である。口唇断面の内面側は丸みを帯びている。

18は肩部に器面と一体化した貼付帯上にLRの縄線文が施された深鉢である。口縁には縦にも同縄線文が施されている。19は小突起の下位と口唇直下にLRの縄線文が施された口縁部である。20、21は小型土器の口縁部である。20は無地の器面に刺突文の施された幅の狭い貼付帯とLRの縄線文が施されている。21は口縁部に豆粒状の貼付、肩部に刺突文の施された貼付帯を有している。地紋はLRの縄文である。

22は貼付帯と沈線文と刺突文が施された滑石土器である。刺突文は先端に極小の突起を複数有した施文具を斜めに突き刺したもので、口唇、器面、貼付帯に施されている。地紋はLRの縄文である。23は口唇部に沈線状の凹みを有する小型土器である。器面には連なる弧状の沈線文が施されている。地紋はRLの縄文である。24は縦方向に軽い研磨が施されている無文の小型土器である。25はやや幅の広い沈線文と撚糸Rの絡条体が施された滑石土器の口縁部である。26は肩部に貼付帯が施された大木9式に似た土器である。貼付帯より上位は無文、下位には刺突文と沈線文と地紋が施されている。滑石土器の可能性はある。27は口縁部に棒状の施文具で刺突文を施したもので、胴部には沈線文も施されている。大木式系土器の影響を受けている。28は口唇部と器面に整ったLRの縄文が施された器

壁が薄く作りが丁寧な小型土器である。

29は貼付帯が施された大型の深鉢口縁である。RLの原体による整った縄文が施されている。30は折り返しのある滑石土器の口縁部である。折り返し部分は無文で、その下位にはLRを縦に転がしたような縄文が施されている。

31は大木9式土器である。口縁部は研磨が施され、胴部には細く浅い沈線文と円形の刺突文が施されている。地紋は細いLRの原体を縦の転がした縄文である。32は無文の胴部である。33～34も胴部片で、33は条が横になるLRの縄文、34は3段復節RLRの縄文、35はLRの斜行縄文が各器面に施されている。33と35は同一個体の可能性がある。

36～46は底部である。39は一カ所だけLRの縄線文2条が底部近くにまで垂下している。44は底面にも縄文を施している。

47がポイントあるいはナイフ、48は表背面に光沢部があるスクレイパー、49、50はたたき石、51もたたき石としたが使用痕が薄く表面に加工が認められる。未完成の石棒の可能性がある。52は扁平打製石器、53は砥石でCH-15出土のものと接合している。

54は複数の貫通孔を有する玉、57は棒状の石製品、58は棒状の礫である。55、56はⅢ群b類の土器片を使った有孔土製円盤である。

時期 縄文時代中期後半、大安在B式土器の時期と考えられる。（皆川）

CH-84（図Ⅱ-418～422、図版Ⅰ-72、図版Ⅱ-227～229・302、表Ⅵ-4・5）

位置：J-68・69、K-68・69

特徴 平面が隅丸方形の竪穴住居跡である。竪穴はCH-10・88などを切って構築されている。

床からは焼土、土壌、埋甕、柱穴、小ピット群、周溝などが検出されている。

焼土はHF-2～4が検出されている。いずれも竪穴長軸上に位置する。HF-3は中央から少し西よりに位置する平面が楕円形の地床炉で、最後の炉址と考えられる。炉址の焼土は大型で中央が明るく周辺で赤化が濃い。これらから、HF-3では比較的大きな火が長時間使用されていたと推定される。HF-2は更に西側に位置する地床炉でHF-3と僅かに重複している。上位を黄褐色土で覆い隠した後、HF-3の炉址を再構築したと考えられる。

HF-4は中央に位置する小径の地床炉である。重複するHP-52は土器底部が埋め込まれた埋甕炉であることから、HF-4とHP-52は一緒に機能していた可能性が高い。

土壌はHP-1～3がいずれも竪穴長軸上から検出されている。HP-1は竪穴の東側よりで検出された平面が円形の土壌である。壙底は丸みを帯びておりそこから小ピット2カ所が検出された。覆土は埋戻されており土器が出土している。「先端ピット」の特徴を有するが、覆土上位が黄褐色土で覆われていることから古いものが隠されたと思われる。HF-4・HP-52（炉址・埋甕炉）との組み合わせが考えられる。HP-3はほぼ中央から検出された平面が不整の円形で壙底が平坦なしっかり掘り込まれた土壌である。覆土2層は埋戻されておりその後陥没している。位置と特徴から見て「中央ピット」と類似性が高い。HP-52の埋甕炉を切って掘り込まれておりそれらより新しい。HF-3（地床炉）との組み合わせが考えられる。

主柱穴はHP-5～7・9の4カ所と考えられる。また、HP-4も規模的に主柱穴の可能性が高い。

小ピット群が2カ所検出されている。径が7cm前後で木の枝のような棒状のもの突き刺したと思われる小ピットの集中で、竪穴南側壁HP-6付近と西側壁付近の2カ所である。前者は比較的密集しており後者は小ピット群の範囲が広く粗密である。周溝にも似た分岐する溝状の掘り込みと範囲を同じ

くすることなどから、前者の小ピット群は掘り込みを持たない「先端ピット」的な床面遺構の可能性があり、さらにHF-3・HP-3と組み合わせる可能性も出てくる。この2カ所の小ピット群に関してはCH-57の小ピットの配置に類似するものがある。

周溝は堅穴の壁付近を2～3本が回ると考えられる。

CH-84は堅穴と支柱穴はほぼ同じくするが、南東向きの「先端ピット」(HP-1)と埋甕炉(HF-4とHP-52)からなる古い組み合わせの上に、堅穴長軸上の反対側に向きを変えた「先端ピット」的な遺構(西側壁付近の小ピット群)、地床炉(HF-3)、HP-3からなる新しい組み合わせを配置しなおしたものと考えられる。

北西側の壁付近の床近くから図示した比較的大型礫の集中が検出されている。各礫は被熱しており引き抜かれた炉石が遺棄されたと可能性がある。

遺物 1～18が土器、19～27が石器である。1は大木9式土器である。滑石土器は6、11、13である。

1は横位の研磨が施された無文の口縁部と胴に「 \cap 」状の沈線文が施された胴長で器壁の薄い深鉢形土器である。沈線文は尖端の丸い細目の棒状施文具によるものでやや粗雑である。地紋はRLの原体を縦に転がした細かい縄文である。類例にはとぼしいが大木9式土器と考えられる。

2は口唇に沈線状の凹みが施された口縁部である。3は口唇部の内側が研磨で丸くなっている口縁部である。口唇部には撚糸Lによる刻みが施され、器面には沈線文が施されている。地紋はRLの縄文である。4はLRの縄文が施された口縁部、5は口唇付近にLRの縄線文が施された口縁部で、内面側にも縄線文と縄文が施されている。6は沈線文の施された滑石土器の胴部片である。7はHP-52出土の土器で、半裁された管状施文具の内側を用いた沈線文が施された胴部である。地紋はLRの縄文である。8は沈線文が施された括れ部の土器片である。土器片の縄端が被熱で赤化しており埋甕炉に埋設された土器の可能性がある。9はHP-1と床から出土した胴部である。器面には半裁された管状施文具の内側を用いた沈線文が施されている。地紋は0段多条の原体で条が縦になるよう施された縄文である。

10は撚糸Lの絡条体の上に沈線文を施した深鉢の口縁部である。口唇には半裁した管状の施文具による横からの刺突が施されている。11は沈線文と刺突文が施された滑石土器の口縁部である。口唇部にも地紋が施されている。12は口唇直下にLRの縄線文2条が施された口縁部である。13は口縁が僅かに肥厚する滑石土器である。15は縦に条痕が施された小型土器である。胎土には砂粒が多く含まれている。16は口唇の内側に研磨が施された口縁部である。地紋はRLを縦に回転施文した縄文である。17は口唇にもLRの縄文が施された口縁部である。

18は口唇直下と口縁部にLRの縄線文が施された深鉢である。地紋他LRの縄を縦に転がした縄文である。胎土中には小砂利が多く含まれている。

19は石鏃、20はつまみ付ナイフ、21～23はスクレイパー、24がたたき石、25～27は扁平打製石器である。

時期 縄文時代中期後半、榎林式土器相当の時期と考えられる。(皆川)

CH-85 (図II-423・424、図版I-73、図版II-230・303、表VI-4・5・8)

位置：J-63・64、K-63・64

特徴 平面が不整形の堅穴住居跡である。上位にはCH-73が作られておりこの住居の柱穴が混在している可能性がある。また、南側の一部がCH-78と重複しCH-78が古い。

床からは焼土、土壙、貼床、柱穴、が検出されている。

焼土はHF-1が中央部で検出されている。小型の楕円形で、周囲に炉石を抜き取った痕跡が認められる。比較的小さめの礫を炉石とした石囲い炉と考えられる。土壌は堅穴長軸上からHP-1・8・20が検出されている。HP-1は北側の壁近くに位置し平面が楕円形で壙底に小ピット2カ所を伴っている。HP-1は「先端ピット」と考えられる。HP-8は炉址（HF-1）の下位から検出された土壌である。平面は不整の円形で壙底には凹凸と小ピットが認められる。覆土は埋戻し土で1層中からは1cm程の小礫が多数出土している。

埋戻れている。HP-20は南側の壁近くに位置する浅い土壌である。貼床は硬化した粘土の範囲でHP-1からHP-8の周辺で検出された。

主柱穴はHP-4・5・15・19に可能性がある。

遺物 1～5は土器、6～8は石器、9は土製品である。

1は口縁部に太い沈線文の施された深鉢形土器である。口縁部には五カ所の突起部を有するが正面に図示した突起部だけが大型である。器面にはLRの原体による縦方向の羽状縄文が施されている。搬入された榎林式土器と考えられる。CH-9-17・71からも同一個体の破片が出土している。2は口唇にRLの原体による刻みが施された口縁部である。補修孔が穿たれている。3は口唇部に0段多条RLの縄線文が施された口縁部で、器面には同原体による整然とした斜行縄文が施されている。4は口唇直下にLRの縄線文2条が施された口縁部である。5は口唇部に沈線状の凹みが施された深鉢である。器面には0段多条RLによる斜行縄文が施されている。

6はスクレイパー、7はたたき石、8は扁平打製石器、9はⅢ群b類の土器片を使った有孔土製円盤と考えられる。

時期 縄文時代中期後半、榎林式（新手）～ノダップⅡ式（古手）の土器の時期と考えられる。

（皆川）

CH-86（図Ⅱ-425～429. 図版Ⅰ-74・75. 図版Ⅱ-231～233・303. 4・5・8）

位置：I-70・71、J-69～71

特徴 平面が不整の楕円形と考えられる堅穴住居跡である。床からは炭化材と炭化物が大量に検出されており焼失家屋と考えられる。また、床面には古い小型の堅穴住居跡があり、本住居はそれを拡張、改築したと考えられる。堅穴南側がCH-13と北東側がCH-64と重複しており壁は大きく失われている。

床からは焼土、土壌、盛土、柱穴、が検出されている。

焼土は中央部からHF-6が検出されている。小型で赤化も弱い地床炉と考えられる。

土壌はHP-1とHP-17が検出されている。HP-1は堅穴長軸上の北側よりから見つかっている。平面が不整の楕円形で浅い凹みから真っ直ぐに掘り込まれ、壙底には溝や小ピットがあり平坦ではない。土器片の入る覆土は埋戻されていると考えられる。すぐ南側のHP-2・3と共に「先端ピット」の特徴を備えている。HP-1とHF-6との間から非常に低い盛土が見つかっている。「先端ピット」（HP-1）と炉址（HF-6）盛土は組み合わせとなるもので堅穴の長軸上に並ぶ。

HP-17は南東側よりの位置から見つかった古い土壌である。平面は不整の円形で壙底は丸みを帯びている。覆土は埋戻されており、更にその上を床面の色調に近い黄褐色土で覆われていた。恐らくCH-13の構築時に隠されたと推定される。床面で検出された古い小型住居の「先端ピット」と考えられる。なお、緩く湾曲する溝（HP-21）に沿ってHP-22～32の小ピットが配される遺構がHP-17のすぐ北西側から検出されているが、これも黄褐色土で覆われ隠されていた。やはり古い小型住居のものでHP-17と組み合わせになるものと考えられる。

主柱穴はHP-5・12・16、CH-13/HP-5の4ヵ所である。周溝は壁際を回るものと、古い小型の住居に伴うものとが検出されている。

古い小型の住居を拡幅、改築した際に「先端ピット」(HP-1)と炉址(HF-6)盛土からなる長軸を反対側に変更したと考えられる。

年代測定結果

12	IAAA-102921	No.7(炭化材No.1)	CH-86床面	木炭	4,460±30
13	IAAA-102922	No.8(炭化材No.2)	CH-86床面	木炭	4,300±30
14	IAAA-102923	No.9(炭化材No.3)	CH-86床面	木炭	4,440±30

遺物 1～16は土器、17、19は石器、18は土製品である。10、12は滑石土器である。

1、2、5、6は突起部に粘土紐の貼付を施した深鉢である。1の肥厚した口唇部には篋状の施文具による刻みが施されている。地紋は1が0段多条RL、2が撚糸Rの無節の縄文である。5の突起部は不鮮明であるが2と同じ意匠と考えられる。地紋は0段多条RLで、口唇にも施されている。6の口唇には棒状の施文具による刻みが施されている。地紋はLRを縦に転がした縄文である。3は平縁の深鉢である。口唇部の一部に爪のような刻みが地紋の上から4本施されている。地紋は0段多条LRを縦に転がした縄文である。

4は器面に沈線文が施された器壁の薄い鉢形の土器である。地紋はRLの縄文で口唇部にも施されている。口唇には内面側にも及ぶ粘土紐2本からなる貼付6ヵ所が施されている。類例には乏しいが見晴町式土器の沈線文の施されるタイプに相当すると考えられる。

7は非対称的な意匠の突起部を有した土器である。突起部には粘土紐の貼付が施され、器面には沈線文が施されている。口唇部にも器面と同じ0段多条RLの縄文と綾絡文が施されている。8は突起部に楕円形の凹みが施された口縁部で、口唇には棒状施文具による斜めの刻みが施されている。

9は突起部が欠失した深鉢である。口唇部の刻みは棒状施文具による。地紋はRLの斜行縄文である。10は滑石土器の口縁部である。刺突文のある貼付帯と沈線文が施されている。11は低い山形時を有した深鉢である。12は沈線文の施された滑石土器の胴部である。13は貼付帯上に刺突文が施されている胴部片である。14は沈線文が施された胴部である。15、16は底部である。

17は石斧、18は滴状の土製品、19はたたき石である。

時期 縄文時代中期中葉、見晴町式土器の時期と考えられる。

(皆川)

CH-87 (図II-430、図版I-75、図版II-233・303、表VI-4・5)

位置：K-65

特徴 平面が隅丸の方形と考えられる小型の竪穴住居状遺構である。CH-92と重複するが先後は確認できていない。また覆土上にはCF-146とCF-161が位置し、前者には集石とⅢ群a類土器が伴っている。

床からは柱穴、周溝が検出されている。柱穴状の小ピットはHP-1～4が検出されている。いずれも10cm前後と浅く配置に上屋構造が窺われるものが認められないため、簡易な構造の上屋が推定される。周溝は壁際を回るものが一本検出されている。

床中央から石斧1点が出土している。また覆土の上位からは大型で明瞭に赤化したCF-146、161が位置している。遺跡内の類例から「墓壇」の可能性はある。

遺物 1、2は土器、3は石器である。

1はLRの縄文が施された滑石土器の口縁部である。2は無文の底部片である。

3は比較的大型の石斧である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。

（皆川）

CH-88（図Ⅱ-431. 図版Ⅰ-76. 図版Ⅱ-233. 表Ⅵ-4）

位置：I-69、J-69

特徴 平面形不明の竪穴住居跡である。CH-80・82・84と重複し、この中ではこのCH-88が最も新しい。

床からは柱穴、周溝が検出されている。柱穴はHP-1～10が壁付近で検出されている。主柱穴に相当するものは無く、すべて10cm弱で浅い小ピットである。周溝は壁際から検出されている。

CP-263が黄褐色土で覆われた状態で検出されている。古い土壌が埋められ目立たなくされたと考えられる。

遺物 1は床出土の土器で、LRの縄線文が施された縦の貼付帯2カ所を有する底部である。器面には同原体を縦に転がした縄文が施されている。

時期 縄文時代中期後半、ノダツプⅡ式土器の時期と考えられる。

（皆川）

CH-89（図Ⅱ-432～435. 図版Ⅰ-77. 図版Ⅱ-234・235・304. 表Ⅵ-4・5・8）

位置：H-66、I-65・66

特徴 平面が不明の竪穴住居跡である。竪穴の半分位が調査区外へ続いており、加えてCH-71・74・83にも切られており、調査された竪穴の壁は全体の1/3に満たない。

床からは焼土、埋甕、柱穴、周溝が検出されている。焼土はHF-1が床面の東側から検出されている。平面が不整の円形で浅い凹みを伴う炉址である。痕跡は不明瞭だが、炉石があった可能性がある。

埋甕は、HF-1に近いHP-5とHP-18から検出されており、それらの覆土から焼土と炭化物が見つかっている。また、HP-5・HP-18と同じ並びにあるHP-4は埋甕を伴っていないものの規模が似ていることから関連が窺われる。主柱穴相当のものはHP-1・3・9・20がある。

周溝は、壁際を回ると考えられるものが検出されている。

なお、南東側の床面から小礫集中と大礫が並んで見つかっている。

遺物 1～16が土器、17～27が石器、28が土製品である。滑石土器は1、3、6～9が出土している。

1は山形突起を有する器形で太目の沈線文が施された滑石土器の深鉢である。底部は僅かに上げ底を呈し、内底は丸みを帯びている。口唇部にはLRの縄線文が施されており、地紋はLRの斜行縄文である。2は撚糸Rの絡条体が施された器面に曲線的な沈線文が施された深鉢である。

3も撚糸Rの絡条体が施された器面に沈線文が施された滑石土器である。口唇部には沈線状の凹みが施されている。4はLRの原体による条が横になる縄文が施された口縁部である。5は口縁部が大きく外に開く深鉢である。口唇断面は丸形で、地紋はLRである。6は滑石土器の口縁と底部である。口唇部にはRLの縄線文が、器面には不明瞭な縄文が施されている。底部は僅かに上げ底になっている。7は口唇の直ぐ下に低い貼付帯が施された滑石土器の口縁部である。地紋は不明瞭な条が横になる縄文である。8は頂部に円形の浅い凹みを有する滑石土器の突起部である。9、10も滑石土器の口縁部である。9は口唇は研磨が施されており、器面には垂下する3本の沈線が施されている。10の口唇には沈線状の凹みが施される。11は0段多条RLの原体による斜行縄文が施された胴部である。

12はHPで出土した埋設土器である。口縁と底部はなく、器面には条が横になるLRの縄文が施されている。13～16は底部である。14は細い撚糸R・が施された上げ底の底部である。15は無文である。16は撚糸Rが施された底部である。

17は表面にポイントのような剥離を施したスクレイパー、18、19は光沢部があるスクレイパー、20、21は石斧で20は折れて出土している。21は破損した石斧片を再加工したもので土掘り具の可能性はある。22はたたき石、23はすり石、24、25は台石・石皿である。27は小型のたたき石としたが、ポンチのような間接的に衝撃を与えるものと考えられる。26は棒状の礫で、下端に僅かな汚れが認められる。

28はⅢ群b類の土器片を使った有孔土製円盤である。

時期 縄文時代中期中葉、榎林式土器相当の時期と考えられる。(皆川)

CH-90 (図Ⅱ-436～438. 図版Ⅰ-76. 図版Ⅱ-236・303. 表Ⅵ-4・5)

位置：H-66・67、I-66・67

特徴 平面が不明の竪穴住居跡である。竪穴の約1/3が調査区外へ続いており、加えてCH-71・93にも切られ、調査された竪穴の壁は全体の1/2程である。

床からは焼土、埋甕、貼床、柱穴、周溝が検出されている。

焼土はHF-1が検出されている。不整形で接するHP-10には焼土の入った埋甕が伴っており、これらで構成される埋甕炉と考えられる。貼床はこのHF-1の南西北を取り巻くように検出されている。

主柱穴はHP-2・5・7が規模的に相当する。周溝は壁際を回るものが検出されている。

遺物 1～8が土器、9～11が石器である。滑石土器は4、7が出土している。

1はHP- 出土の埋設土器である。器面にはLRの原体による縦転がしの縄文が施されている。また、その上から縦筋状の浅い凹みが全体に施されている。2もHP-5出土の埋設土器で、LRの斜行縄文が施されている。

3は口唇にLRの縄の刻みが施された口縁部で、器面には沈線文が施されている。4は沈線文と円形の刺突文が施された口縁部である。口唇にも地紋のLRが施されている。5はLRの縄文が施された土器である。6は撚糸Lの刻みのある粘土紐と角棒状の施文具による刺突文が施された胴部である。7は滑石土器の底部である。8はHP-1出土の埋設土器底部である。

9は片面加工で円形のスクレイパー、10は石斧、11は台石・石皿でCH-9、78出土のものと同接合している。

時期 縄文時代中期後半、榎林式土器の時期と考えられる。(皆川)

CH-91 (図Ⅱ-436・439. 図版Ⅰ-79. 図版Ⅱ-235・305. 表Ⅵ-4・5)

位置：J-67・68

特徴 平面が楕円形と考えられる小型の竪穴住居状遺構である。CH-83と重複するがその部分はCH-83の調査で失われており、先後は不明である。

床からは貼床、小ピットが検出されている。貼床は床の中央部で、小ピット(HP-1)は極めて浅い皿状のもので床北側から検出されている。なお、同じ地点からは礫集中が出土している。

遺物 1は肥厚した口唇部にLとRの撚糸を使った刻みが施された口縁部である。2は粘土紐の貼付上にRの撚糸文が施された貫通孔を有する突起部である。

3、4は光沢部があるUフレイク、5は大型のたたき石である。6～40は床から検出された集石の礫である。

時期 縄文時代中期前半である。(皆川)

CH-92（図Ⅱ-440～450、図版Ⅰ-64・78・79・112、図版Ⅱ-237～242・305～307、表Ⅵ-4・5・8）

位置：J-65・66、K-65・66

特徴 平面が不整の楕円形を呈する竪穴住居跡である。CH-70と重複し、CH-92が新しい。

床からは焼土、土壌、柱穴、周溝が検出されている。

焼土は中央東よりの位置からHF-2が検出されている。浅く掘った穴の縁に沿って形の揃った土器片を丁寧に隙間無く埋め込んだ所謂「土器囲い炉」である。土器片は全て内面を内側に向け、外に向かって開くように置かれている。平面は長方形である。そして、HF-2の焼土上には大型石棒の端部が置かれていた。

土壌はHP-1・2・12が竪穴長軸上の東側の床面で纏まって検出されている。いずれも浅く配置から新旧の「先端ピット」と考えられる。HP-1はHP-12を切って造られた比較的大型の先端ピットである。墳底の東際には小ピット3カ所が見つかっている。HP-2は小型で、HP-1との先後は不明である。HP12は古いもので、墳底に小ピット2カ所がある。

柱穴あるいは小ピットは多数検出されているが、支柱穴に該当する規模のものは認められない。

周溝は壁際を中心に多く検出されている。特に北西側の壁付近は多いのに逆側には全く見られない。

なお、覆土中から配石を伴うCF-152が検出されている（図中段右）。生活面があったと考えられる。

遺物 1～45が土器、47～63が石器、46が石製品である。14は榎林式、7、8は大木9式土器である。

6、9、11、12、15、17、39、43、45は滑石土器である。

1はHF-1の「土器囲い炉」に使用されていた土器片を復元したものである。貼付帯と口縁部にLRの縄線文が施された深鉢で、地紋は同原体の縄文である。2は口縁部に縦の貼付帯とLRの縄線文が施された深鉢である。口唇部には無文部と地紋のLRの縄文が施される部分とがある。

3は肩部の貼付帯上にLRの縄線文が施された深鉢で、口唇の内面側が丸みを帯びている。4、5は条が横になるLRの縄文が施された深鉢である。6はLRの縄線文が施された貼付帯を有する滑石土器の大型深鉢である。口縁部には同縄線文と「∩」状の縄の押捺が施されている。口唇と器面にはLRの縄文が施されている。7、8は大木9式土器である。

9は横方向からの刺突文が施された貼付帯を有する滑石土器の胴部である。器面にも刺突文と沈線文も施されている。10はLRの縄線文が施された口縁部である。11はLR縄線文の施された滑石土器の口縁部である。12は口縁部と貼付帯上に瘤状の貼付が施された滑石土器の深鉢である。貼付帯上は太い撚糸Rの押捺される部分と刺突文の施される部分とが認められる。口縁部にも同じ撚糸文と刺突文が施されている。13はLRの縄線文を伴った貼付帯が施される深鉢である。地紋は条が横になるLRの縄文である。14は口唇に沈線状の凹みが施された突起部である。15はLRの縄線文と管状施文具による刺突文の施された滑石土器の口縁部である。17は肩部の文様帯に太いLRの原体による曲線的な縄線文が施された滑石土器の深鉢である。16は貼付帯より上位が無文の胴部である。18は低い貼付帯上にLRの縄線文が施された胴部である。

19、20、22、23、25は条が横になるLRの斜行縄文が施された深鉢である。20は器壁が薄く細い原体を使用している。胴部の張りや胎土も異質であることから、搬入品の可能性がある。22は地紋が施されていない面が多い。21の地紋は3段復節RLRの斜行縄文である。24は極細の撚糸Rによる無節の斜行縄文が施されている。

26～28、31～33はLRの縄線文が施された口縁部である。29は0段多条LRの縄線文が施された小型土器である。30はLRの縄線文が縦に2条、胴に1条が回るように施された小型の土器である。器面には極細の沈線文と刺突文も施されている。

34の小型土器には不明瞭な縄文が施されている。35、36も無文の小型土器である。37は条が横になるLRの縄文が施された深鉢である。

38～45は底部である。38は厚底で下端の張出が大きい。39は滑石土器の底部である。40は底部間際の器面にLRの縄線文3条が施され、底面には同原体が同心円状に施されている。41は底面にLRの縄文が施されている。42は小型土器の底部である。43、45は滑石土器の底部である。43は底面にLRの縄文が施されている。

47は両面加工のポイント、48は石鏃、49～53は光沢部があるスクレイパーである。54は小型の石斧で破損品からの再生品と考えられる。55、56はたたき石、57、58は扁平打製石器、59～63は台石・石皿である。59、60は小型の台石・石皿で、60の表面にはマイナスのドライバーで突いたような形状の使用痕が認められる。

46は大型の石棒である。下半部がHF-2の直ぐ上で出土したもので、上半部は包含層から出土している。

時期 縄文時代中期後半、大安在B式土器（新手）の時期と考えられる。 (皆川)

CH-93 (図II-441・上段)

位置 : H-66、I-66

特徴 平面が不明の竪穴住居跡である。竪穴の半分以上が調査区外に伸びており、更にCH-70・89・90に切られその部分は失われている。検出されたのは極一部の床と壁と周溝に留まる。伴う遺物はない。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。 (皆川)

2 土壌

CP-1（図Ⅱ-451）

位置：M-66

特徴 平面が楕円形で浅い土壌で、壙底付近だけの検出である。掘り込み面はⅢ層中と考えられる。覆土は埋戻されている可能性がある。

遺物 掲載なし。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-2（図Ⅱ-451）

位置：M-66

特徴 平面が楕円形の小型の土壌である。覆土は埋戻されており、掘り込み面はⅢ層中と考えられる。上位のⅢ層中からはCF-9が検出されており、関連する可能性がある。

遺物 掲載なし。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-3（図Ⅱ-451・501-1. 図版Ⅱ-308. 表Ⅵ-4）

位置：L-63、M-63

特徴 平面が円形の中型の土壌である。壙底には凸凹が認められ、覆土は黒色土主体の土で埋戻されている可能性が高い。掘り込み面はⅢ層中と考えられる。出土遺物は多く覆土の図示した位置から1の一括土器が出土している。

遺物 1は一括で出土した口唇直下の貼付帯上に太いLRの縄線文が施された深鉢形土器である。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。 (皆川)

CP-4（図Ⅱ-451・501-2～4. 図版Ⅱ-308. 表Ⅵ-5）

位置：M-67

特徴 平面が不整の小型の土壌である。覆土は埋戻されている可能性が高い。掘り込み面はⅢ層中と考えられる。壙底に近い覆土から図示した石斧や扁平打製石器などが大きめの礫と共に出土している。

遺物 2、3は石斧、4は表裏面に磨った痕跡がある扁平打製石器である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-5（図Ⅱ-451・501-5～7. 図版Ⅱ-308. 表Ⅵ-4・5）

位置：M-66・67

特徴 平面が不整の円形を呈す中型の土壌である。CP-6を切って造られており、CP-5が新しい。2回に分けて掘り込まれたもので、先に覆土2層の部分、後から一回り大きな覆土1層の部分が作られている。覆土はどちらも埋戻されている。掘り込み面はⅢ層中と考えられる。CP-5～7を重複させながら作っており、これらは関連する遺構と考えられる。

土壌の規模から見て遺物が多い。主に土器がⅢ群b類、石器がスクレイパー、扁平打製石器などが出土している。

遺物 5は胴部の貼付に横方向の貫通孔が施された無文の胴部である。大木9式土器相当と考えられ

る。6は口唇直下に縄の端部の様な施文具による刺突文が施された大型土器の口縁部である。7は背面に光沢のあるスクレイパーである。

時期 縄文時代中期後半、ノダツブⅡ式土器の時期と考えられる。(皆川)

CP-6 (図Ⅱ-451・501-8、9. 図版Ⅱ-308. 表Ⅵ-4・5)

位置 : M-66・67

特徴 平面が不整の楕円形を呈す中型の土壇である。CP-7を切って造られており、CP-7より新しく、CP-5よりも古い。覆土は埋戻し土で、掘り込み面はⅢ層中と考えられる。CP-5～7を重複させながら作っており、これらは関連する遺構と考えられる。土壇の規模から見て遺物が多い。主に土器がⅢ群b類、石器が扁平打製石器などが出土している。

遺物 8は雑な沈線文が施された突起部である。9は扁平打製石器である。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。(皆川)

CP-7 (図Ⅱ-451)

位置 : M-66・67

特徴 平面が不整の楕円形を呈す中型で浅い土壇である。CP-6に切られておりCP-6よりも古い。覆土は埋戻されている可能性がある。掘り込み面はⅢ層中である。CP-5～7を重複させながら作っており、これらは関連する遺構と考えられる。遺物はCP-5・6よりも少ない。

遺物 掲載なし

時期 縄文時代中期と考えられる。(皆川)

CP-8 (図Ⅱ-451・501-10. 図版Ⅰ-80. 図版Ⅱ-308. 表Ⅵ-5)

位置 : M-63

特徴 平面が円形の小型の土壇である。覆土は掘り上げられた土で再び埋戻されている。掘り込み面はⅢ層中である。上位のⅢ層中からはCF-5が検出されており、関連する可能性がある。

遺物 10は両面に光沢のあるスクレイパーである。

時期 縄文時代中期と考えられる。(皆川)

CP-9 (図Ⅱ-451・502-1～5. 図版Ⅰ-80. 図版Ⅱ-309. 表Ⅵ-4・5)

位置 : L-65

特徴 平面が円形の中型の土壇である。壇底は円く、断面形が僅かにフラスコ状になっている。覆土2～4層は埋戻されている。掘り込み面はⅢ層中と考えられる。埋戻した覆土の上位に一括土器と大型の石皿・台石を置いている。土壇の規模はやや小さいが土壇墓と考えられる。

遺物 1は突起の頂部に凹みを有しその下位に縦の取手状貼付が施されている口縁部である。2は口唇部と口縁部に各2個所の貼付が施された口縁部である。3は石皿の下から出土した一括土器で、撚糸Lの絡条体が施された平縁の深鉢である。4はスクレイパー、5は覆土の上位から出土した台石・石皿である。

時期 縄文時代中期中葉と考えられる。(皆川)

CP-10（図Ⅱ-452・501-11～13. 図版Ⅰ-80. 図版Ⅱ-310. 表Ⅵ-4・5・8）

位置：M-65

特徴 平面が円形の小型の土壌である。壙底は丸みを帯びており、胴部は円柱状である。埋戻された覆土1層中には、土器の下半部が底部を上埋められていた。伏せ甕と考えられる。掘り込み面はCH-2の覆土中にある生活面からと考えられる。

遺物 11は伏せた状態で埋設されていた深鉢の胴から底部である。地紋は0段多条RLの原体にいる羽状縄文である。底部には孔が空いているが意図的なものかは不明である。12は肥厚した口縁部である。地紋は0段多条LRの縄文である。13はⅢ群b類土器を再利用した有孔土製円盤片である。

時期 縄文時代中期後半、煉瓦台式土器の時期と考えられる。（皆川）

CP-11（図Ⅱ-452・502-6、7. 図版Ⅰ-5・81. 図版Ⅱ-309. 表Ⅵ-4）

位置：O-64

特徴 平面が楕円形の比較的大型の土壌である。CH-4の覆土を切って造られておりそれよりも新しい。壙底は平坦で、覆土2・3層は埋戻された可能性がある。掘り込み面はCH-4覆土中である。遺物は少ないが壙底からⅢ群b類の小型の土器が出土している。堅穴覆土に存在するCF-21を中心とした生活面と関連する可能性がある。形態と特徴から土壌墓の可能性が高い。

遺物 6は口唇直下と器面に棒状施文具による横からの刺突列が施された小型の土器である。副葬されたと考えられる。7はLRの縄文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期後半、ノダツブⅡ式土器の時期と考えられる。（皆川）

CP-12（図Ⅱ-452・503-1～4. 図版Ⅱ-310. 表Ⅵ-4・5）

位置：M-65、N-65

特徴 平面が不整の円形と考えられる大型の土壌である。CH-2の調査で重複部は失われており、CH-2との先後は不明である。壙底は平坦で、覆土は埋戻されている。掘り込み面はⅢ層中である。壙底からⅢ群b類の小型土器と台石・石皿などが出土している。形態と特徴から土壌墓と考えられる。また、近接するCP-14は類似の特徴を有しており関連する可能性がある。

遺物 1は折り返しのある口縁部である。刻みは棒状工具による。地紋は細かい0段多条RLの斜行縄文である。2は小型土器の底部である。3は口縁に小さな山形突起2箇所を有する小型土器である。突起部には縦の取手状貼付が施されている。口唇部の刻みはLRの原体による。器面のLRの縄文は全体の1/3程にしか施文されていない。土壌墓に副葬されたと考えられる。

4は使用による光沢を有する収穫具のスクレイパーである。

時期 縄文時代中期中葉、見晴町式土器の時期と考えられる。（皆川）

CP-13（図Ⅱ-452. 図版Ⅰ-81）

位置：N-65

特徴 平面が円形の比較的小型の土壌で、CP-14・CF-18と隣接する。壙底は丸みを帯びており、覆土は黒色土で埋め戻されている。炭化材が覆土の上下で出土している。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。（皆川）

CP-14 (図Ⅱ-453・503-5～7・504-1～6. 図版Ⅰ-81・109. 図版Ⅱ-311・312. 表Ⅵ-4・5)

位置：N-65・66

特徴 平面が円形の大型の土壌である。壙底は比較的平坦で、掘り込み面はⅢ層中である。覆土は埋戻されており、特に覆土3層は大量の炭化物と焼土粒を含んでおり特徴的である。遺物の大半は覆土1層の下から出土していることから、特徴的な覆土3層を埋め戻し、その上に一括土器を含む遺物を置きその上に更に覆土1層を埋め戻している。形態と特徴から土壌墓と考えられる。上位にはCF-18・25が位置する。また、近接するCP-12は類似の特徴を有しており関連する可能性がある。

遺物 全て覆土1層からの出土である。図Ⅱ-503-5 (以下「図Ⅱ-503-」を省く) は覆土1層下位で出土した一括土器である。突起部に粘土紐の貼付とRLの縄線文が施されている。口唇の刻みも同原体による。6、7も突起部に粘土紐の貼付が施されている。

図Ⅱ-504-1～3は底部である(以下「図Ⅱ-504-」を省く)。地紋の原体は1、2が前々段反撚LLR、3がLRである。2の口唇には同原体の縄文が施されている。

4は石鏃、5は凹石、6は磨り面の中央に敲打痕のある台石である。

時期 縄文時代中期中葉、見晴町式土器の時期と考えられる。(皆川)

CP-15 (図Ⅱ-453・504-7、8. 図版Ⅱ-310. 表Ⅵ-4)

位置：N-65 規模

特徴 平面が円形の浅い土壌である。壙底は丸みを帯びており、掘り込み面はⅢ層中である。CP-14と僅かに重複する。

遺物 7は横からの刺突文が施された低い貼付帯を有する胴部片である。器面にはLRの縄線文も施されている。8は底部である。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。(皆川)

CP-16 (図Ⅱ-453)

位置：L-64

特徴 平面が円形の小型の土壌である。壙底は丸く、掘り込み面はⅢ層中である。覆土中からは頁岩のフレイクが多数出土した。CH-1と近接しており関連する可能性がある。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。(皆川)

CP-17 (図Ⅱ-453)

位置：L-66

特徴 平面が円形と考えられる中型の土壌である。重複するCH-3の調査でその部分は失われている。CH-3との先後は不明である。壙底は概ね平坦で、断面形が僅かにフラスコ状を呈している。掘り込み面はⅢ層中である。覆土1・2層は埋め戻されている。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。(皆川)

CP-18 (図Ⅱ-453. 図版Ⅰ-82)

位置：O-65

特徴 平面が不整円形の中型の土壙である。壙底は緩く丸みを帯びており、断面形はフラスコ状を呈している。掘り込み面はⅢ層中で、覆土は埋め戻されている。壙底中央から大礫が出土している。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。 (皆川)

CP-19 (図Ⅱ-453・504-9、10、図版Ⅰ-82、図版Ⅱ-310、表Ⅵ-4)

位置：N-66、O-65

特徴 平面が不整円形の比較的大型の土壙である。壙底は緩く丸みを帯びており、断面形は僅かにフラスコ状を呈している。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 9は0段多条LRの縄線文が施された口縁部である。10は羽状縄文と綾絡文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期前半の可能性はある。 (皆川)

CP-20 (図Ⅱ-453・505-1、2、図版Ⅰ-83、図版Ⅱ-313、表Ⅵ-5)

位置：O-64、P-64

特徴 平面が円形の比較的小型の土壙である。壙底は緩く丸みを帯びている。掘り込み面はⅢ層中である。覆土は埋め戻しと考えられる。壙底から台石・石皿を含む大礫が図示した状態で出土している。土壙墓の可能性もある。

遺物 1、2は台石・石皿である。1は敲打痕、2には擦痕が見られる。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-21 (図Ⅱ-454、図版Ⅰ-82)

位置：O-64・65

特徴 平面が不整の楕円形と考えられる中型の土壙である。CH-4と重複するが、先後は不明である。壙底はCH-4の方に向かって緩く傾斜している。掘り込み面はⅢ層中である。比較的大型の礫が図示した状態で覆土の上位から出土している。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-22 (図Ⅱ-454)

位置：L-66

特徴 平面が楕円形の比較的小型の土壙である。掘り込み面はⅢ層中である。覆土中には炭化物が混入している。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-23 (図Ⅱ-454)

位置：M-66

特徴 平面が不整の楕円形と考えられる中型の土壙である。CH-2と重複するが、先後は不明である。壙底はCH-2の方に向かって緩く傾斜しており、断面は僅かにフラスコ状を呈している。掘り込み面

はⅢ層中である。覆土中には炭化物が混入しており、埋戻しの可能性がある。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期と考えられる。

(皆川)

CP-24 (図Ⅱ-454・505-3～5. 図版Ⅱ-312. 表Ⅵ-4・5)

位置：L-66・M-66

特徴 平面が円形の小型の土壇である。壇底は丸みを帯びており、掘り込み面はⅢ層中である。土壇規模と比較して出土遺物が多く一括土器も含まれている。壊れた(壊した)遺物を入れたと考えられる。似た規模のCP-25が隣接している。

遺物 3は浮線状の粘土紐が貼付される胴部である。4は口唇部にRLの縄線文が施された突起部である。5は中央から二つに割れて出土した北海道式石冠である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。

(皆川)

CP-25 (図Ⅱ-454・504-11、12. 図版Ⅱ-313. 表Ⅵ-5)

位置：M-66

特徴 平面が円形の小型の土壇である。壇底は丸みを帯びており、掘り込み面はⅢ層中である。土壇規模と比較して出土遺物が多い。似た規模のCP-24が隣接している。

遺物 11は石鏃、12は背面に光沢部を有したスクレイパーである。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。

(皆川)

CP-26 (図Ⅱ-454. 図版Ⅰ-82・83)

位置：N-64・65

特徴 平面が円形の中型の土壇である。壇底は比較的平坦で、断面は僅かにフラスコ状を呈している。掘り込み面はⅢ層中である。CP-27が隣接している。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期と考えられる。

(皆川)

CP-27 (図Ⅱ-455. 図版Ⅰ-83)

位置：N-64

特徴 平面が円形の中型の浅い土壇である。壇底は比較的平坦である。掘り込み面はⅢ層中である。CP-26が隣接している。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期と考えられる。

(皆川)

CP-28 (図Ⅱ-455. 図版Ⅰ-83)

位置：N-64

特徴 平面が不整円形の中型の浅い土壇である。壇底は比較的平坦である。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期と考えられる。

(皆川)

CP-29（図Ⅱ-455・505-6．図版Ⅱ-313．表Ⅵ-4）

位置：N-67

特徴 平面が楕円形の中型の土壙である。CH-8を切って掘り込まれている。壙底は比較的平坦で、断面は僅かにフラスコ状を呈している。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 6は口唇に沈線状の凹みを有する口縁部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。（皆川）

CP-30（図Ⅱ-455）

位置：P-63・64

特徴 平面が円形の比較的小型の土壙である。壙底は丸みを帯びており、掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期と考えられる。（皆川）

CP-31（図Ⅱ-455・506-1～5．図版Ⅰ-84．図版Ⅱ-314．表Ⅵ-4・5）

位置：P-62・63

特徴 平面が円形の比較的小型の土壙であるCF-27の直下に位置し、本来的にはCH-6の遺構の可能性が高い。壙底は丸みを帯びており、壁は大凡真っ直ぐに立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。覆土は埋戻し土で、遺物は壙底から大型の石皿が、覆土2層から伏せて埋設された小型土器が出土している。特に小型土器は後から埋設された可能性が高い。特徴から土壙墓の可能性がある。

遺物 1は逆さに埋設されていた大木9式土器的な特徴を有する小型土器である。無地の器面には指のような施文具で施した幅広で浅い沈線による「J」状の文様と管状の施文具による刺突文が施されている。胎土には径1mm前後の小礫が多数含まれている。副葬品と考えられる。2は撚糸Lの刻みが施された浮線状の粘土紐を有する底部のない小型の土器である。3は折り返しのある口縁部、4は小型土器の底部である。

5は壙底から使用面を下に向けて出土した台石・石皿である。

時期 縄文時代中期後半、大安在B式～ノダツプⅡ式（古手）の土器の時期と考えられる。（皆川）

CP-32（図Ⅱ-455・505-7、8．図版Ⅰ-83．図版Ⅱ-313．表Ⅵ-4・5）

位置：N-66、O-66

特徴 平面が不整の楕円形と考えられる中型の土壙である。壙底は凹凸のある丸みを帯びたもので、断面はフラスコ状を呈している。掘り込み面はⅢ層中である。覆土中の遺物は比較的多い。

遺物 7は壙底付近から出土した平縁の口縁部と底部である。器面には太い前々段反撚LRRの原体による縄文が施されている。8は礫の短軸の両端を打欠いて敲打してある石錘である。

時期 縄文時代中期中葉、見晴町式土器の時期と考えられる。（皆川）

CP-33（図Ⅱ-456）

位置：N-65

特徴 平面が円形の小型の土壙である。壙底は平坦で、胴は一見柱穴状である。掘り込み面はⅢ層中と考えられる。覆土中は埋め戻されており、その上位には図示したように大型の台石・石皿が置かれている。CP-12・14に近接する。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。

(皆川)

CP-34 (図II-456. 図版I-83)

位置 : M-63・64、N-63・64

特徴 平面が楕円形の中型の土壇である。浅く墳底は平坦である。掘り込み面はⅢ層中と考えられる。CP-35と隣接する。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

(皆川)

CP-35 (図II-456. 図版I-83)

位置 : M-63、N-63

特徴 平面が楕円形の小型の土壇である。浅く墳底は丸みを帯びている。掘り込み面はⅢ層中と考えられる。CP-34と隣接する。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

(皆川)

CP-36 (図II-456. 図版I-84)

位置 : K-68

特徴 平面が不整の円形の中型の土壇である。CH-9、CP-50に近接している。墳底は平坦で、その北側よりには浅い凹みが検出されている、断面はフラスコ状を呈しており、掘り込み面はⅢ層中である。近接するCP-50とは形態が似ており関連すると思われる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

(皆川)

CP-37 (図II-456)

位置 : N-67

特徴 平面が円形の小土壇である。墳底は丸みを帯びたもので、掘り込み面はⅢ層中である。壇内は大小の礫で充填されていた。CH-8に近接し同規模のCP-40と並んで検出されている。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

(皆川)

CP-38 (図II-456・506-6. 図版I-84. 図版II-314. 表VI-4)

位置 : N-67・68、O-67・68

特徴 平面が不整の円形の中型の土壇である。墳底は平坦で浅く、掘り込み面はⅢ層中である。台石・石皿2点がほぼ墳底から出土している。

遺物 6はRLの結束斜行縄文の施された胴部である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。

(皆川)

CP-39（図Ⅱ-456・506-7．図版Ⅱ-315．表Ⅵ-5）

位置：N-67

特徴 平面が不整の円形を呈すやや小型の土壌である。壙底は丸みを帯びたもので浅く、掘り込み面はⅢ層中である。壙底から台石・石皿と大礫が重なった状態で出土している。

遺物 7は台石・石皿である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。 (皆川)

CP-40（図Ⅱ-456）

位置：N-67

特徴 平面が不整の楕円形を呈す中型の土壌である。壙底は丸みを帯びたもので、掘り込み面はⅢ層中である。CH-8に近接し同規模のCP-37と並んで検出されている。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-41（図Ⅱ-456・507-1～4．図版Ⅱ-315．表Ⅵ-4・5）

位置：O-66・67

特徴 平面が不整の円形を呈す中型の土壌である。壙底は凸凹があり、断面はフラスコ状である。掘り込み面はⅢ層中で、覆土の上位には堀上土が流れ込んでいる。壙底から図示した台石・石皿が出土している。

遺物 1は無地の器面に極細の沈線で榎林式様の文様が描かれた小型土器の胴部である。2は沈線文の施された胴部である。3は両面に光沢部が認められるスクレイパーである。表面の左側縁部が摩耗している。4は比較的小型の台石・石皿である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。 (皆川)

CP-42（図Ⅱ-456）

位置：O-67

特徴 平面が不整の楕円形を呈す小型の土壌である。掘り込みは浅く壙底は丸みを帯びている。掘り込み面はⅢ層中である。壙底から長円礫が出土している。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-43（図Ⅱ-457・507-5～9．図版Ⅰ-86．図版Ⅱ-315．表Ⅵ-4・5）

位置：M-67

特徴 平面が不整の円形を呈す中型の土壌である。壙底は凸凹があり、断面はフラスコ状である。掘り込み面はⅢ層中で、覆土の上位には堀上土が流れ込んでいる。遺物は多く石器では特にスクレイパーの比率が高い。上位のⅢ層中からはCF-13が検出されている。

遺物 5は滑石土器の底部で、器面は無文である。6は沈線文が施された胴部である。

7～9は両面に光沢部があるスクレイパーである。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。 (皆川)

CP-44 (図II-457・507-10. 図版II-315. 表VI-4)

位置：M-67

特徴 平面が不整の楕円形を呈す小型の土壌である。掘り込みは浅く壙底は丸みを帯びている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 10は0段多条RLの縄文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。 (皆川)

CP-45 (図II-457・507-11. 図版II-316. 表VI-4)

位置：M-67、N-67

特徴 平面が不整円形の中型の土壌である。掘り込みは浅く壙底は比較的平坦である。断面は僅かにフラスコ状を呈している。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 11は口唇部に棒状施文具による斜めの刻みと沈線状の凹みが施された口縁部である。

時期 縄文時代中期中葉と考えられる。 (皆川)

CP-46 (図II-457)

位置：O-67

特徴 平面が不整円形の小ピットである。掘り込みは浅く壙底は丸みを帯びている。掘り込み面はⅢ層中である。CH-8に近接しており、その壁外柱穴の可能性はある。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-47 (図II-457・507-12. 図版II-316. 表VI-4)

位置：M-66、N-66

特徴 平面が円形の小土壌である。掘り込みは浅く壙底には小径の平坦部が認められる。掘り込み面はⅢ層中で、覆土は埋め戻されている可能性が高い。壙底に近い覆土中から土器片が出土している。

遺物 12は0段多条RLと考えられる斜行縄文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。 (皆川)

CP-48 (図II-457・507-13、14. 図版II-316. 表VI-4)

位置：M-68

特徴 平面が不整楕円形の比較的大型の土壌である。壙底の平坦面は住居床面のようにしっかりと掘り込まれており、壁はほぼ真っ直ぐに立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。CH-5やCH-16と重複しており、CH-5よりは古くCH-16より新しい。

遺物 13はLRの縄線文2条が施された口縁部である。14は沈線文と細いRLを縦に転がした縄文を施した器壁の薄い胴部である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。 (皆川)

CP-49 (図II-457)

位置：K-68

特徴 平面が不整円形の中型の土壌である。CH-9を切って構築されているが、上位構造はCH-9の

調査で失われている。丸みを帯びた壙底には小ピットが検出されているが、これはCH-9の柱穴の可能性はある。掘り込み面はCH-9の覆土上位かその上のⅢ層中である。壙底に近い覆土中から大礫が出土している。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-50 (図Ⅱ-458)

位置 : K-67・68

特徴 平面が不整円形の中型の土壙である。CH-9、CP-36に近接している。壙底は平坦で、断面はフラスコ状を呈している。掘り込み面はⅢ層中である。覆土1層の上位から大きめの長円礫が出土している。近接するCP-36とは形態が似ており関連すると思われる。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-51 (図Ⅱ-458)

位置 : N-68

特徴 平面が円形の小ピットである。掘り込みは浅く壙底は丸みを帯びている。掘り込み面はⅢ層中である。CP-52に隣接する。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-52 (図Ⅱ-458)

位置 : N-68

特徴 平面が円形の小ピットである。掘り込みは浅く壙底は丸みを帯びている。掘り込み面はⅢ層中である。CP-51に隣接する。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-53 (欠番)

CP-54 (図Ⅱ-458・508-1、2. 図版Ⅰ-85. 図版Ⅱ-316. 表Ⅵ-4・5)

位置 : L-71

特徴 平面が隅丸長方形の中型の土壙である。壙底は比較的平坦で浅く、掘り込み面はⅢ層中である。覆土は埋め戻し土である。形状から判断して土壙墓の可能性もある。

遺物 1は浮線状の粘土紐の貼付が施された口縁と胴部である。口唇にはRLの縄による刻みが施されている。2は光沢部が表背面にあるスクレイパーである。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。 (皆川)

CP-55 (図Ⅱ-458・508-3～8. 図版Ⅰ-85. 図版Ⅱ-316. 表Ⅵ-4)

位置 : L-71

特徴 平面が不整円形の中型の土壇である。壇底は丸みを帯びており、細い棒状のモノを突き刺したような小ピットあるいは凹みが複数認められる。掘り込み面はⅢ層中である。覆土は埋め戻し土である。遺物は多く、礫類が覆土3層から多く出土している。土壇墓の可能性もある。

遺物 3は覆土4層出土の肥厚部に中央が凹んだ貼付と粘土紐が施された口縁部である。粘土紐上には細い撚糸Rによる刻みが施されている。4は突起下位に「Y」状の取手状貼付が施された口縁部である。5は器面に細い粘土紐が施された滑石土器のサイベ沢Ⅶa式土器胴部である。6は沈線文の施された胴部、7、8は底部である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。(皆川)

CP-56 (図Ⅱ-458・508-9. 図版Ⅱ-316. 表Ⅵ-4)

位置：M-70

特徴 平面が不整円形の小ピットである。掘り込みは浅く壇底は比較的平坦である。掘り込み面はⅢ層中である。覆土中から土器の底部まわりが出しており、埋設土器であった可能性がある。

遺物 9は0段多条の縄による結束羽状縄文が施された底部である。胎土には海綿骨針が含まれている。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。(皆川)

CP-57 (図Ⅱ-458・511-1～3. 図版Ⅱ-317. 表Ⅵ-4・5)

位置：L-71・72

特徴 平面が楕円形で壇底が緩く傾斜している中型の土壇である。掘り込み面はⅢ層中で、覆土は埋め戻し土である。上に図示した大型の台石・石皿(3)が置かれていたことから土壇墓の可能性もある。CH-29と近接しており関連する可能性がある。

遺物 1は地紋の上に粘土紐が貼付された口縁部である。口唇にはLとRの撚糸による密な刻みが施されている。2は下端に磨面のある扁平打製石器である。3は図示した台石・石皿である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。(皆川)

CP-58 (図Ⅱ-458・508-10. 図版Ⅱ-317. 表Ⅵ-4)

位置：L-72

特徴 平面が楕円形の小型の土壇である。壇底は緩く傾斜している。掘り込み面はⅢ層中で、覆土は埋め戻されている。覆土の上には図示した大型の台石・石皿が置かれており、その直ぐ下からは底部の無い土器が伏せて置かれている。規模は小さいが土壇墓の可能性もある。CH-29と近接しており関連する可能性が高い。

遺物 10は伏せて埋設されていた深鉢形土器の上半部である。口縁部に浮線状の粘土紐が施されていたがその大半は失われている。器面には0段多条RLとLRの縄による結束羽状縄文が施されている。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。(皆川)

CP-59 (図Ⅱ-459・508-11～15. 図版Ⅰ-85. 図版Ⅱ-318. 表Ⅵ-4・5)

位置：N-70、O-70

特徴 平面が不整円形の大型の土壇である。浅く壇底は平坦である。掘り込み面はⅢ層中で、覆土は埋め戻されている可能性もある。壇底から図示した大型礫が出土している。

遺物 11は上に縄文のある粘土紐が貼付された口縁部である。12は貫通孔の施された突起部である。13は中央に深い凹みを有する貼付が施された口縁部で、地紋は0段多条LRである。15は表背面に光沢部を有したスクレイパーである。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。 (皆川)

CP-60 (図Ⅱ-459・509-1～7. 図版Ⅰ-86. 図版Ⅱ-318. 表Ⅵ-4・5)

位置：N-70、O-70

特徴 平面が円形の小型の土壙である。浅く壙底は丸い。掘り込み面はⅢ層中で、覆土は埋め戻されている。壙底から同一母岩と考えられる頁岩製の縦長剥片126点が方向を揃えて出土している。

遺物 1は口縁部文様帯にLRの縄線文が施された深鉢形土器である。2～7は頁岩製のフレイクである。

時期 縄文時代中期後半、大安在B式～ノダuppⅡ式土器の時期と考えられる。 (皆川)

CP-61 (図Ⅱ-459・511-4. 図版Ⅱ-319. 表Ⅵ-4)

位置：K-69

特徴 平面が円形と考えられる中型の土壙である。攪乱で壁の一部が失われている。壙底は比較的平坦で断面はフラスコ状である。覆土は埋め戻されており掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 4は突起部に粘土紐が貼付された口縁部で、口唇上には棒状の施文具による斜めの刻みも施されている。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-62 (図Ⅱ-459・511-5. 図版Ⅱ-319. 表Ⅵ-4)

位置：O-70

特徴 平面が不整円形の中型の土壙である。壙底は浅く丸みを帯びており、掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 5はⅠ群a類土器の口縁部である。口唇部には棒状の施文具による刻みが入り、器面には沈線が施されている。地紋は羽状縄文で、胎土中に重鉱物が多く含まれており重量も重い。

時期 縄文時代と考えられる。 (皆川)

CP-63 (図Ⅱ-459・511-6. 図版Ⅱ-319. 表Ⅵ-4)

位置：O-70

特徴 平面が不整楕円形の小型の土壙である。壙底は浅く丸みを帯びており、掘り込み面はⅢ層中である。覆土の上位から比較的大型の礫が出土している。

遺物 6は結束羽状縄文の施された胴部である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。 (皆川)

CP-64 (図Ⅱ-459. 図版Ⅰ-86)

位置：M-79

特徴 平面が円形の土壙である。壙底は平坦で、壁はほぼ真っ直ぐに立ち上がっている。覆土は埋戻し土で、掘り込み面はⅢ層中である。CH-22を切って掘り込まれており、CH-22よりも新しい。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期と考えられる。

(皆川)

CP-65 (図Ⅱ-459・510-1～13. 図版Ⅰ-87. 図版Ⅱ-319. 表Ⅵ-4・5・8)

位置：P-69

特徴 平面が円形の中型の土壌である。壙底は平坦で、壁は広がりつつ立ち上がる。覆土2・3層は埋戻し土で、埋没したCH-19の石囲い炉(HF-1)の一部を壊して掘り込まれている。

覆土2層から土器下半部が伏せた状態で出土している。特徴的なのは、CP-65を埋め戻す際、掘り上げた炉石を再度元の位置に復元したように見える点である。意図的に見える遺構の重複状況も多いため、地中にある先人の痕跡をリスペクトする精神文化があった可能性もある。

遺物 1は貼付とLRの縄線文が施された口縁部である。2は無文の浅鉢片である。3はバンド状の貼付帯が施された口縁である。4は貼付帯上に円形刺突文が施された胴部、5～10は底部で、7、9は小型土器である。8は伏せた状態で出土しており、同時期の小型土器の埋設状況に類似することから代用された可能性が高い。

11は使用した痕跡が複数箇所にあるたたき石、12は下端に磨り面のある扁平打製石器である。13は両端部に凹みが作出された石棒と考えられる石製品である。

時期 縄文時代中期後半、煉瓦台式土器頃の時期と考えられる。

(皆川)

CP-66 (図Ⅱ-460)

位置：L-77・78

特徴 平面が円形の浅い土壌である。壙底は丸みを帯びており、掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期と考えられる。

(皆川)

CP-67 (図Ⅱ-460・511-7・512-1～5. 図版Ⅰ-87. 図版Ⅱ-320. 表Ⅵ-4・5)

位置：L-76、M-76

特徴 平面が円形の大型の土壌である。壙底は丸みを帯びており、断面は僅かにフラスコ状を呈している。覆土は埋戻し土の可能性が高い。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 511-7、512-1は突起部下位に縦の取手状貼付が施された口縁部で、器面には沈線文も施されている。

512-2 (以下遺物番号だけ)も沈線文の施された口縁部で突起下位には縄線文のある横の取手状貼付が施されている。4は2本のRLによる結束斜行縄文と綾絡文が施された胴下半部である。5は表背面に光沢があるスクレイパーである。

時期 縄文時代中期前半、サイベ沢Ⅶb式土器の時期と考えられる。

(皆川)

CP-68 (図Ⅱ-460・511-8. 図版Ⅰ-87. 図版Ⅱ-320. 表Ⅵ-4)

位置：L-77

特徴 平面が不整楕円形の大型土壌である。CP-72と重複し、それよりも古い。

壙底は平坦で、断面は僅かにフラスコ状を呈している部分がある。覆土は埋戻し土で、掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 8は粘土紐の貼付と3列の撚糸(LRL)、馬蹄形圧痕文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。

（皆川）

CP-69（図Ⅱ-460・511）

位置：M-77

特徴 平面が不整円形の土壇である。壇底は平坦で、断面は僅かにフラスコ状を呈している。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CP-70（図Ⅱ-460・513-1～5、図版Ⅰ-88、図版Ⅱ-321・322、表Ⅵ-4）

位置：N-77、O-77

特徴 平面が隅丸方形の大型土壇である。壇底は平坦で、壁はほぼ真っ直ぐに立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。覆土は埋戻し土で、上位は褐色土（覆土2層）で覆われている。覆土4層からは多数の土器片と共に焼土1～3や炭化材などが検出されている。土壇墓と考えられる。

遺物 1、4、5は粘土紐の貼付と3列の撚糸と馬蹄形圧痕文が施された深鉢である。2は肥厚した口唇に粘土紐の貼付が施されている。3は胴部である。

時期 縄文時代中期前半、円筒上層b式土器の時期と考えられる。

（皆川）

CP-71（図Ⅱ-461・512-6～10、図版Ⅱ-320、表Ⅵ-4・5）

位置：M-68、N-68

特徴 平面が不整形の土壇である。壇底は丸みを帯びており、掘りは浅い。CP-48・78に隣接し、CH-16を切って掘り込まれており、CH-16よりも新しい。目立った出土状況は認められないが、床面からの遺物が多い。

遺物 6は突起部に粘土紐が貼付された口縁部である。7は突起部に近い口縁で、沈線文が施されている。8は底部である。

9は両面加工のスクレイパーである。10は表背面に光沢部が見られるRフレイクである。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CP-72（図Ⅱ-460）

位置：L-77

特徴 平面が不整円形の小型の土壇である。CP-68と重複し、それよりも新しい。壇底は丸く細かい凹みを伴っている。覆土は埋戻し土で、掘り込み面はⅢ層中である。遺物は土壇規模と比較して多く、図示したように壇底近くから礫3点が出土している。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CP-73（図Ⅱ-461）

位置：P-67・68

特徴 平面が不整円形の大型土壇である。壇底は平坦で、穴の上位はCP-74によって失われている。CP-74の下に構築されており、それよりも古い。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期と考えられる。

(皆川)

CP-74 (図II-461)

位置 : P-67・68

特徴 平面が不整楕円形の大型土壙である。壙底は平坦で掘りは浅い。CP-73の真上に位置しており、それよりも新しい。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期と考えられる。

(皆川)

CP-75 (図II-461・512-11. 図版II-322. 表VI-4)

位置 : L-83

特徴 平面が不整円形と考えられる中型の土壙である。東側の一部が斜面の崩落で失われている。壙底は平坦で壁はほぼ真っ直ぐに立ち上がっている。覆土は埋め戻されており、上位には赤化の淡い焼土が検出されている。この焼土は埋め戻したCP-75の真上に遺棄されたと考えられる。

遺物 11はポイント・ナイフである。

時期 縄文時代中期と考えられる。

(皆川)

CP-76 (図II-461・512-12. 図版II-323. 表VI-4)

位置 : N-79、O-79

特徴 平面が不明の土壙である。約半分がCH-40の調査で失われており、CP-76とCH-40の先後は不明である。壙底はCH-40の方に向かって傾斜しており、掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 12は口唇部にも地紋が施された口縁部である。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。

(皆川)

CP-77 (図II-462・514-1～4. 図版I-89. 図版II-323. 表VI-4・5)

位置 : O-81

特徴 大型のフラスコ状土壙である。壙底からは二カ所のピット(P-1・2)が検出されている。P-1は壙底中央付近に位置し、平面が円形で非常に浅い。P-2は壙底北側で検出された。斜めに深く掘られており、このピットに繋がる柱状の痕跡が掘り込み面から覆土中に検出されており、c-c'の断面図に示した。恐らくフラスコ状土壙に出入りするための足場を刻んだ柱状のものが存在した痕跡と考えられる。覆土2～5層は埋め戻された土で、中でも2・3層は遺構から掘り上げられたV層が主体を占めており、これは偶然に流れ込んだか意図的に入れられた可能性がある。

遺物は底部のない土器一個体(1)が覆土2層で図示した状態で出土している。土器を副葬されたものとするならば、CP-77はフラスコ状土壙を使った土壙墓の可能性はある。

遺物 1は口縁付近に沈線文が施された突起部を有する深鉢で、底部は欠失している。2は壙底から出土した胴部片である。3、4はたたき石である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。

(皆川)

CP-78（図Ⅱ-461・514-5～7．図版Ⅱ-323．表Ⅵ-4・5）

位置：N-68

特徴 平面が不整形の大型の土壙である。壙底は二段に分かれ、全体的に丸みを帯びている。CP-48・71に隣接し、CH-16を切って掘り込まれており、CH-16よりも新しい。壙底から大型の石皿が出土している。

遺物 5は沈線文の施された胴部である。6はドリル、7は大型の台石・石皿である。

時期 縄文時代中期前半の可能性がある。（皆川）

CP-79（欠番）

CP-80（図Ⅱ-462・515-1-7．図版Ⅱ-324．表Ⅵ-4・5）

位置：O-72、P-72

特徴 平面が不整楕円形の大型の土壙である。壙底は比較的平坦で、掘り込み面はⅢ層中である。覆土の上位から一括土器が細かい土器片の状態で出土している。

遺物 1は地紋の上に浮線状の粘土紐を貼付した深鉢である。粘土紐上にも地紋が施されている。2は馬蹄形に撚糸を押捺した胴部片、3は結束羽状縄文が施された胴部、4は底部、5は粘土紐と撚糸文と刺突文と蛾ほど超された口縁部である。

6は表背面に光沢部のあるスクレイパーである。7は北海道式石冠である。

時期 縄文時代中期前半、サイベ沢Ⅶa式土器の時期と考えられる。（皆川）

CP-81（図Ⅱ-462・515-8．図版Ⅱ-323．表Ⅵ-5）

位置：O-83・84

特徴 平面が不整楕円形の大型の土壙である。南向きの緩斜面に掘り込まれており、斜面下側の立ち上がりは検出されなかった。壙底は比較的平坦で、掘り込み面はⅢ層中である。覆土の上位から一括土器が細かい土器片の状態で出土している。

遺物 8は表背面に光沢部のあるスクレイパーである。

時期 縄文時代中期と考えられる。（皆川）

CP-82（図Ⅱ-463・516-1～7．図版Ⅰ-88．図版Ⅱ-324．表Ⅵ-4・5）

位置：P-73

特徴 平面が隅丸長方形の大型の土壙である。壙底は平坦で、壁は丸みを帯びて立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。覆土の上位から図示した焼土が検出されている。土壙墓の形状を有しており、3～7の石器に副葬品の可能性がある。

遺物 1は貫通孔を有する突起部で、粘土紐の貼付と3列の撚糸、馬蹄形圧痕文が施されている。2は太い粘土紐の貼付を有する山形突起部である。器面の文様は不明瞭であるが3列の撚糸が施されている。3、4は石鏃、5、6は表背面に光沢部のあるスクレイパー、7は下端に磨り面のある扁平打製石器である。

時期 縄文時代中期前半の可能性がある。（皆川）

CP-83 (図II-463)

位置：N-77・78

特徴 平面が円形の土壇である。壇底は平坦で、掘り込み面はⅢ層中である。覆土の上位から図示した焼土が検出されている。土壇墓の形状を有しているが、遺物は散点的で副葬を窺わせる遺物は特に認められなかった。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-84 (図II-463・515-9. 図版II-324. 表VI-4)

位置：M-77

特徴 平面不明の土壇である。壇底は平坦で、覆土は埋戻し土の可能性ある。掘り込み面はⅢ層中である。CH-12と重複するが、先後関係は不明である。

遺物 9は斜行縄文と綾絡文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-85 (図II-463)

位置：P-74

特徴 平面が不整楕円形の土壇である。壇底は比較的平坦で浅く、掘り込み面はⅢ層中である。遺物は散点的で副葬を窺わせる遺物は特に認められなかった。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-86 (図II-463)

位置：O-78

特徴 平面が円形の中型土壇である。壇底は丸く、枝状のものを突き刺したような先細りの小ピット2ヵ所が検出されている。覆土は埋戻し土である。掘り込み面はCH-25覆土2層中で、同一面から当土壇の堀上土と考えられるものと赤化の弱い焼土が検出されている。焼土の一部は土壇覆土の上位に流れ込んでいる。遺物は少なく、壇底からはⅢ群a類土器の小片が出土している。特徴から墓壇あるいはそれに類似した性格を有すると推定される。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期前半の可能性ある。 (皆川)

CP-87 (図II-463. 図版I-89)

位置：P-66

特徴 平面が円形の大型土壇である。壇底はほぼ平坦で壁は垂直に立ち上がっている。覆土2層は一次焼成の焼土である。覆土3層が埋戻し土で、掘り込み面はⅢ層中である。特徴的なのは埋め戻しが行われた後、その上で火が燃やされている点である。炉石の一部と思われる長円礫も検出されており、土壇を下位に伴う炉址の可能性ある。その場合には堅穴未検出のCH-32の炉址になると思われる。遺物は散点的で副葬を窺わせる遺物は特に認められなかったものの墓の可能性ある。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。

（皆川）

CP-88（図Ⅱ-464・515-10～12. 図版Ⅰ-90. 図版Ⅱ-325. 表Ⅵ-4・5）

位置：P-70

特徴 平面が不整の隅丸長方形の大型土壇である。壇底は平坦で、覆土は流れ込みと考えられる。掘り込み面は不明である。遺物は散点的で副葬を窺わせるものは特に認められない。CP-89a・bと重複し、それらの上位に重ねて掘り込まれている。ほぼ同一地点に重複する3基の土壇は、形態と規模が類似しており、同じ目的、性格を有する可能性が高い。CH-20やCH-42とも重複しており、これらに付属する遺構の可能性はある。

遺物 10は結束羽状縄文の施された胴部である。11は下端が張り出した底部である。12は両側縁に挟りの入る礫剥片を使用した扁平打製石器である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。

（皆川）

CP-89a（図Ⅱ-464. 図版Ⅰ-90）

位置：P-70

特徴 平面が不整の隅丸長方形の大型土壇である。壇底は平坦で、覆土は埋め戻されている可能性がある。掘り込み面は不明である。遺物は散点的で副葬を窺わせるものは特に認められない。CP-89bの上位に重ねて掘り込まれており、上位にはCP-88が位置する。ほぼ同一地点に重複する3基の土壇は、形態と規模が類似しており、同じ目的、性格を有する可能性が高い。CH-20やCH-42とも重複しており、これらに付属する遺構の可能性はある。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。

（皆川）

CP-89b（図Ⅱ-464. 図版Ⅰ-90）

位置：P-70

特徴 平面が不整の隅丸長方形の大型土壇である。壇底は平坦で、覆土は埋め戻されている可能性がある。掘り込み面は不明である。遺物は散点的で副葬を窺わせるものは特に認められない。重複するCP-88、CP-89aの下位に位置し最も古い。ほぼ同一地点に重複する3基の土壇は、形態と規模が類似しており、同じ目的、性格を有する可能性が高い。CH-20やCH-42とも重複しており、これらに付属する遺構の可能性はある。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。

（皆川）

CP-90（欠番）

CP-91（図Ⅱ-464・516-8～10. 図版Ⅱ-325. 表Ⅵ-4）

位置：O-84・85、P-84

特徴 平面形が不明の大型土壇である。南側斜面で検出されたもので本体部分は調査区外と推定される。壇底はほぼ平坦で深く掘り込まれており、覆土の大半は斜面上からの流れ込みと考えられ、掘り込み面はⅢ層中である。全貌は不明だが大型のフラスコ状ピットの可能性がある。

遺物 8は粘土紐の貼付と刺突文の施された口縁付近の土器である9は粘土紐の貼付が、10は沈線文が施された口縁部である。

時期 縄文時代中期前半の可能性がある。 (皆川)

CP-92 (図Ⅱ-464・516-11～15. 図版Ⅰ-43・90. 図版Ⅱ-325. 表4・5)

位置：N-79、O-79・80

特徴 平面形が隅丸長方形の大型土壙である。CH-40に付属する遺構の可能性が高い。壙底は長軸に沿って窪んでおり、壁は本来的には真っ直ぐに立ち上がっていると考えられる。

覆土には大量の焼土と炭化物が含まれており、これは焼失したと考えられるCH-40の影響で生じたかあるいは流れ込んだ可能性が高い。壙内からは壁に沿って30cm程の間隔で立てられた細い棒状の炭化材が数本検出されており、これは土壙壁の土留めの木材が熱でそのまま炭化したと考えられる。壙底からは円礫が3点出土している。

遺物 11は中央が大きく凹んだ貼付部分、12は0段の縄による結束羽状縄文の施された胴部片、13が底部である。14が表背面に光沢部のあるスクレイパーである。15は北海道式石冠である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。 (皆川)

CP-93 (図Ⅱ-465・516-16. 図版Ⅱ-325. 表Ⅵ-4)

位置：N-83、O-83

特徴 平面が不整の楕円形の土壙である。平坦部と南側斜面の変換点付近で検出されている。壙底は大凡平坦で壁は真っ直ぐに立ち上がっている。覆土は埋戻し土と考えられ、掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 16は底部である。

時期 縄文時代中期前半の可能性がある。 (皆川)

CP-94 (図Ⅱ-465・516-17. 図版Ⅰ-90. 図版Ⅱ-325. 表Ⅵ-4)

位置：P-80

特徴

平面形態 円形。

確認 C地区南側の平坦部から段丘斜面に向かう肩部分の標高57.30～57.40mのV層上面で検出した。

調査 Ⅲ・Ⅳ層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、V層上面を精査したところ、暗褐色土とにぶい黄褐色土の落ち込みを確認した。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。

覆土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はⅢ層中で、埋め戻しと考えられる。

特徴 全体の2/3ほどの中部でオーバーハングするフラスコ状土坑である。立上がりはなだらかで、坑底はほぼ平坦である。

遺物 17は口唇部にLRの縄による刻みが施された口縁部である。

時期 縄文時代中期前半のⅣ群a類期または中期後半のⅢ群b類期、後期前葉のⅣ群a類期に所属する。 (佐藤)

CP-95（図Ⅱ-465・517-1～4．図版Ⅰ-90．図版Ⅱ-325．表Ⅵ-4・5）

位置：J-74、K-74

特徴 平面が円形の大型土壇である。CH-18と重複しそれよりも新しい。埋没中のCH-18の上から掘り込んでおり、CP-95の上位の土層がCH-18のセクション中に認められる。壇底は中央で僅かに盛り上がり、壇底から壁への繋がりには角の明瞭なもので壁は真っ直ぐに立ち上がっている。覆土は2層が黄褐色土（V層）主体の埋戻し土である。覆土1層は流れ込みの可能性がある。遺物は壇底からは小円礫が3点出土している。形状から墓の可能性はある。

年代測定結果

31	IAAA-112192	タテ2C-13	CP-95 壇底	木炭	4,350±30
----	-------------	---------	----------	----	----------

遺物 1は口唇直下にLRの縄線文が施された口縁部で、口唇にも縄文が施されている。2は縄文の施された胴部、3は厚底で上げ底の底部である。4は表背面に光沢部があるRフレイクである。

時期 縄文時代中期後半、大安在B式～ノダツプⅡ式土器の時期と考えられる。（皆川）

CP-96（図Ⅱ-465・517-5～13．図版Ⅰ-91．図版Ⅱ-326．表Ⅵ-4・5）

位置：O-75

特徴 平面が不整隅丸長方形の大型土壇である。CH-33に付属する遺構の可能性が高い。壇底は多少の凹凸が見られるものの比較的平坦で、壁は南側で真っ直ぐ、北側で緩やかに開きながら立ち上がっている。覆土は流れ込みと考えられる。多数の遺物も同時に流れ込んでいる。

遺物 5、6は突起部に貫通孔が施されたもので、突起と口唇には粘土紐の貼付が施されている。6の粘土紐の貼付は比較的簡素である。地紋は5が0段多条RLの斜行縄文、6が結束の羽状縄文である。7は口縁部が僅かに肥厚する。8、9は地紋の上に粘土紐の貼付が施されている口縁部と胴部で、同一個体の可能性がある。10、11は底部である。

12は北海道式石冠、13は台石・石皿である

時期 縄文時代中期前半と考えられる。（皆川）

CP-97（図Ⅱ-465）

位置：Q-80・81

特徴

平面形態 円形。

確認 C地区南側の段丘斜面の標高56.50～56.80mのV層上面で検出した。

調査 Ⅲ・Ⅳ層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、V層上面を精査したところ、暗褐色土の落ち込みを確認した。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。

覆土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はⅢ層中で、埋め戻しと考えられる。

特徴 立ち上がりはやや急角度で、坑底はほぼ平坦である。

遺物出土状況 遺物は伴わない。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期前半のⅣ群a類期または中期後半のⅢ群b類期、後期前葉のⅣ群a類期に所属する。

（佐藤）

CP-98 (図II-466)

位置：R-80

特徴

平面形態 円形。

確認 C地区南側の段丘斜面の標高56.00～56.20mのV層上面で検出した。

調査 III・IV層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、V層上面を精査したところ、暗褐色土の落ち込みを確認した。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。確認面及び土層の観察からCP-99に切られる。

覆土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はIII層中で、埋め戻しと考えられる。

特徴 全体のほぼ1/2の上部でオーバーハングするフラスコ状土坑である。立ち上がりはなだらかで、坑底はほぼ平坦である。

遺物出土状況 遺物は伴わない。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期前半のIV群a類期または中期後半のIII群b類期、後期前葉のIV群a類期に所属する。

(佐藤)

CP-99 (図II-466・518-1. 図版II-325. 表VI-4)

位置：R-80、S-80

特徴

平面形態 円形。

確認 C地区南側の段丘斜面の標高56.00～55.70mのV層上面で検出した。

調査 III・IV層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、V層上面を精査したところ、黒褐色土と暗褐色土の落ち込みを確認した。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。確認面及び土層の観察からCP-98を切る。

覆土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はIII層中で、埋め戻しと考えられる。1層はIII層の自然堆積の可能性が高い。

特徴 立ち上がりは急角度で、坑底はほぼ平坦である。

遺物出土状況 坑底からは砂岩の板状礫(No.5)が出土した。4層から5層で人頭大の礫or礫石器(No.1～4)が出土した。覆土中からも土器、石器が出土した。遺物は伴う可能性が高い。

遺物 1は地紋の羽状縄文の上に粘土紐の貼付を施した口縁部である。

時期 縄文時代中期前半のIV群a類期または中期後半のIII群b類期、後期前葉のIV群a類期に所属する。

(佐藤)

CP-100 (図II-466・518-2、3. 図版II-326. 表VI-4)

位置：Q-82

特徴

平面形態 隅丸長方形。

確認 C地区南側の段丘斜面の標高55.20～55.40mのV層上面で検出した。

調査 III・IV層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、V層上面を精査したところ、暗褐色土の落ち込みを確認した。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。

坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。

覆土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はⅢ層中で、埋め戻しと考えられる。

特徴 立ち上がりはなだらかである。坑底はほぼ平坦で、斜面と同じ方向にやや傾斜している。

遺物出土状況 覆土の上位で、斜面の上位側を中心に出土した。遺物は伴う可能性が高い。

遺物 2は沈線文の施された胴部、3は綾絡文の施された口縁部である。

時期 縄文時代中期前半のⅣ群a類期または中期後半のⅢ群b類期、後期前葉のⅣ群a類期に所属する。

（佐藤）

CP-101（図Ⅱ-466. 図版Ⅰ-91）

位置：Q・R-82

特徴

平面形態 円形。

確認 C地区南側の段丘斜面の標高55.20～55.40mのⅤ層上面で検出した。

調査 Ⅲ・Ⅳ層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、Ⅴ層上面を精査したところ、暗褐色土の落ち込みと礫の集中を確認した。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。

覆土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はⅢ層中で、埋め戻しと考えられる。

特徴 全体のほぼ1/2の上部でオーバーハングするフラスコ状土坑である。遺構の残存状況から、斜面の下位側にあたる残り1/2についてもオーバーハングしていた可能性が高い。立ち上がりはなだらかで、坑底はほぼ平坦である。礫集中を伴う。

遺物出土状況 確認面にあたる1層上面を中心に、礫集中が面的に広がる。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期前半のⅣ群a類期または中期後半のⅢ群b類期、後期前葉のⅣ群a類期に所属する。

（佐藤）

CP-102（図Ⅱ-467. 図版Ⅰ-91）

位置：R-81・82

特徴

平面形態 楕円形。

確認 C地区南側の段丘斜面の標高55.20～55.50mのⅤ層上面で検出した。

調査 Ⅲ・Ⅳ層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、Ⅴ層上面を精査したところ、暗褐色土の落ち込みと礫の集中を確認した。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。

覆土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はⅢ層中で、埋め戻しと考えられる。3層上面に二次堆積の焼土（2層）がある。

特徴 立ち上がりはなだらかで、坑底はほぼ平坦な土坑である。二次堆積の焼土と礫集中を伴う。

遺物出土状況 1層中に礫集中が広がる。

遺物 掲載遺物なし。

時期 縄文時代中期前半のⅣ群a類期または中期後半のⅢ群b類期、後期前葉のⅣ群a類期に所属する。

（佐藤）

CP-103 (図Ⅱ-467・518-4、5. 図版Ⅱ-326. 表Ⅵ-4)

位置：P-82・83

特徴

平面形態 楕円形。

確認 C地区南側の段丘斜面の標高55.50～55.80mのV層上面で検出した。

調査 III・IV層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、V層上面を精査したところ、暗褐色土の落ち込みを確認した。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。

覆土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はIII層中で、埋め戻しと考えられる。

特徴 立ち上がりは急角度で、坑底はほぼ平坦な土坑である。

遺物出土状況 覆土中のほぼ全体から土器片、礫が出土した。遺物は、破片の状態で埋め戻したと考え、遺構に伴う。

遺物 4は縄文の施された胴部、5は底部である。

時期 縄文時代中期前半のIV群a類期または中期後半のIII群b類期、後期前葉のIV群a類期に所属する。

(佐藤)

CP-104 (図Ⅱ-467・518-6～8. 図版Ⅱ-327. 表Ⅵ-4・5)

位置：P-83、Q-83

特徴

平面形態 円形。

確認 C地区南側の段丘斜面の標高55.10～55.20mのV層上面で検出した。

調査 III・IV層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、V層上面を精査したところ、黒褐色土と暗褐色土の落ち込み、礫を確認した。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。

覆土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はIII層中で、埋め戻しと考えられる。1層はIII層の自然堆積の可能性が高い。

特徴 立ち上がりはなだらかで、坑底はほぼ平坦な土坑である。

遺物出土状況 1層から礫(No.1・2)が出土した。1層はIII層の自然堆積の可能性が高いことから、礫は遺体部分などが陥没した際に落ち込んだと考え、遺構に伴う。

遺物 6は地紋の羽状縄文の上に粘土紐を貼付した口縁部、7は沈線文が施された胴部である。8は右側縁に抉りの入った扁平打製石器である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。

(佐藤)

CP-105 (図Ⅱ-467・518-9. 図版Ⅰ-91. 図版Ⅱ-327. 表Ⅵ-5)

位置：Q-80・81

特徴

平面形態 隅丸長方形。

確認 C地区南側の段丘斜面の標高56.30～56.60mのV層上面で検出した。

調査 III・IV層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、V層上面を精査したところ、黒褐色土と暗褐色土の落ち込みを確認した。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘

り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。

覆土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はⅢ層中で、埋め戻しと考えられる。

特徴 立ち上がりはなだらかである。坑底はほぼ平坦で、斜面と同じ方向に若干傾斜している。

遺物出土状況 No.1・2は1層。No.3は3層。No.1・2は伴う可能性が高い。

遺物 9は上端に打ち欠きがある扁平打製石器である。

時期 縄文時代中期前半のⅣ群a類期または中期後半のⅢ群b類期、後期前葉のⅣ群a類期に所属する。
(佐藤)

CP-106（図Ⅱ-468）

位置：R-80

特徴

平面形態 楕円形。

確認 C地区南側の段丘斜面の標高56.00～56.20mのⅤ層上面で検出した。

調査 Ⅲ・Ⅳ層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、Ⅴ層上面を精査したところ、暗褐色土の落ち込みを確認した。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。

覆土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はⅢ層中で、埋め戻しと考えられる。

特徴 立ち上がりはなだらかである。坑底はほぼ平坦で、斜面と同じ方向に若干傾斜している。

遺物出土状況 No.1～8は1層。遺物は遺構に伴わない。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期前半のⅣ群a類期または中期後半のⅢ群b類期、後期前葉のⅣ群a類期に所属する。
(佐藤)

CP-107（図Ⅱ-468・518-10～12. 図版Ⅰ-92. 図版Ⅱ-327. 表Ⅵ-4・5）

位置：O-80（CH-40内）

特徴 平面が隅丸長方形を呈す中型の土壌である。CH-40の覆土中から掘り込まれている。壙底は平坦で、断面は僅かに広がりながら立ち上がっている。覆土1層は遺構の堀上土と考えられる黄褐色土である。覆土3層は埋戻し土で、遺物はその上位から多数出土している。覆土上位に黄褐色土が入る土壌墓の可能性もある。

遺物 10は器面に浮線状の粘土紐の貼付が施された深鉢である。11は肥厚した口唇にLRの縄の刻みが施された口縁部である。12は尖頭部に最小限の加工を施した石錐である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。
(皆川)

CP-108（図Ⅱ-468・518-13、14. 図版Ⅰ-92. 図版Ⅱ-327. 表Ⅵ-4）

位置 Q-80・81、R-80・81

特徴

平面形態 円形。

確認 C地区南側の段丘斜面の標高56.30～56.60mのⅤ層上面で検出した。

調査 Ⅲ・Ⅳ層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、Ⅴ層上面を精査したところ、褐色土と黒褐色土の落ち込みを確認した。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り

下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。確認面及び土層の観察からCP-120に切られ、CP-140を切る。

覆土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はⅢ層中である。1層は埋め戻し、それ以下は自然堆積と考えられる。

特徴 立ち上がりは急角度である。坑底はほぼ平坦であるが、斜面の上部側にあたる東側が少し高まる。大型の土坑で、坑底に小型で浅い土坑（SP-1）がある。

遺物出土状況 No.1は2層。遺物は遺構に伴わない。

遺物 13、14は口唇部にLRの縄による刻みが施され、口縁に粘土紐の貼付が施された深鉢である。

時期 縄文時代中期前半のⅣ群a類期または中期後半のⅢ群b類期、後期前葉のⅣ群a類期に所属する。
(佐藤)

CP-109 (図Ⅱ-469・518-15. 図版Ⅰ-93. 図版Ⅱ-327. 表Ⅵ-4)

位置：P-63・64、Q-63・64

特徴 平面が不整形とされる土坑である。東側は包含層調査時に失われている。坑底は比較的平坦だが細かい凹凸も見られ、断面は僅かにフラスコ状を呈している。覆土は流れ込みと考えられる。遺物は覆土1層だけから出土している。

遺物 15は無文帯の下位に撚糸Rの絡条体が施された口縁部である。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。
(皆川)

CP-110 (図Ⅱ-469・519-1～5. 図版Ⅰ-93. 図版Ⅱ-328. 表Ⅵ-4・5)

位置：P-69、Q-69

特徴 平面が隅丸長方形と考えられる大型の土坑である。南側の一部は調査時に失われている。また、CH-19、CP-123・147と重複するが各先後は不明である。坑底は比較的平坦で、壁はそこから緩く立ち上がりながら立ち上がっている。覆土1～3層は埋戻し土である。遺物は覆土1層から出土するものが多く、図示した復元土器と台石・石皿もそこから出土した。特徴から土坑墓の可能性もある。

遺物 1、2は覆土1層から一緒に出土した山形突起と粘土紐の貼付を有する深鉢である。加えて、1には3列の撚糸（LRL）と馬蹄形圧痕文、2は2～4列の撚糸（LRが混在）と小動物の四肢骨の骨端のような施文具による刺突文が施されている。3は口縁部に綾絡文が施された小型土器の口縁部、4は粘土紐が貼付された胴部である。

5は土器と併に出土した台石・石皿で、使用面中央に深い先細りの穴が穿たれている。

時期 縄文時代中期前半、円筒上層b式土器の時期と考えられる。
(皆川)

CP-111 (図Ⅱ-469)

位置：L-84

特徴 平面が不整形の浅い土坑である。坑底は比較的平坦である。覆土は流れ込みと考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。
(皆川)

CP-112 (図Ⅱ-469・519-6、7. 図版Ⅱ-327. 表Ⅵ-4)

位置：K-79、L-79

特徴 平面が不整の隅丸方形を呈する土壌である。地滑りのため中央で分断されて検出された。本来の墳底は平坦で、掘り込みは浅い。覆土は流れ込みと考えられる。

遺物 6は地紋の上に粘土紐が貼付された胴部、7は無文の底部である。

時期 縄文時代中期、前半と考えられる。 (皆川)

CP-113 (図Ⅱ-469)

位置 : S-79・80

平面形 : 不整楕円形 長軸方向 : 北北東-南南西

特徴

確認 : 平成19年に南側段丘斜面の標高56.10～56.20mのV層上面で検出した。

調査 : Ⅲ・Ⅳ層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、V層上面を精査したところ、暗褐色土の落ち込みを確認した。80ラインで土層を確認したところ、掘り込みはⅢ層中位である。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。平成20年に80ラインより北側を調査して終了した。

覆土 : 覆土の堆積状況から、掘り込み面はⅢ層中位で、埋め戻しと考えられる。

特徴 : 壁の立ち上がりはなだらかである。坑底はやや丸みを帯びる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (佐川)

CP-114 (図Ⅱ-470・519-8、9. 図版Ⅰ-93. 図版Ⅱ-328. 表Ⅵ-4・5)

位置 : R-79・80、S-79・80

平面形 : 隅丸長方形長軸方向 : 北北西-南南東

特徴

確認 : 平成19年に南側段丘斜面の標高56.30～56.40mのV層上面で検出した。

調査 : Ⅲ・Ⅳ層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、V層上面を精査したところ、暗褐色土の落ち込みを確認した。80ラインで土層を確認したところ、掘り込みはⅢ層中位である。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。土層の観察からCP-115に切られる。平成20年に80ラインより北側を調査して終了した。

覆土 : 覆土の堆積状況から、掘り込み面はⅢ層中位で、埋め戻しと考えられる。

特徴 : 立ち上がりは急角度で、坑底は平坦である。

遺物出土状況 : 北側の底面で石斧（緑色泥岩）の刃部片が、覆土中から扁平打製石器が1点出土した。

遺物 : 8はRLの縄文が施された口縁部である。9は左側縁が敲打された扁平打製石器である。

時期 : 縄文時代中期前半の可能性はある。 (佐川)

CP-115 (図Ⅱ-470・520-1. 図版Ⅱ-329. 表Ⅵ-4)

位置 : R-80

平面形 : 隅丸長方形? 長軸方向 : 北-南

特徴

確認 : 平成19年に南側の段丘斜面の標高56.40～56.50mのV層上面で検出した。

調査 : Ⅲ・Ⅳ層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、V層上面を精査したところ、暗褐色土の落

ち込みを確認した。80ラインで土層を確認したところ、掘り込みはⅢ層中位である。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。土層の観察からCP-114・134を切っている。平成20年に80ライより北側を調査したが、遺構の明瞭な平面形を検出できなかった。

覆土：覆土の堆積状況から、掘り込み面はⅢ層中位で、埋め戻しと考えられる。

特徴：立ち上がりはなだらかで、坑底はやや丸みを帯びる。

遺物 1は器面に粘土紐の貼付と3列の撚糸（RLR）と馬蹄形圧痕文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。 (佐川)

CP-116 (図Ⅱ-470)

位置：P-66

特徴 平面が不整の隅丸方形を呈する土壇である。壇底は平坦で、掘り込みは浅い。覆土は流れ込みと考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-117 (図Ⅱ-470・520-2. 図版Ⅱ-329. 表Ⅵ-5)

位置：N-77・78

特徴 平面が不整の隅丸方形を呈する土壇である。壇底は平坦で、掘り込みは浅い。覆土は流れ込みと考えられる。

遺物 2は剥片の形状を利用したつまみ付ナイフである。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-118 (図Ⅱ-471・520-3、4. 図版Ⅰ-93. 図版Ⅱ-329. 表Ⅵ-4)

位置：P-64、Q-64

特徴 平面が円形の土壇である。CH-7の覆土中から掘り込まれ、床面を大きく貫いている。壇底は平坦で壁はほぼ真っ直ぐに立ち上がる。覆土は埋戻し土である。土壇墓の可能性ある。

遺物 3は縄文の施された胴部、4は沈線文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。 (皆川)

CP-119 (図Ⅱ-471・520-5. 図版Ⅱ-329. 表Ⅵ-4)

位置：M-80

特徴 平面が不整円形の大型土壇である。壇底は平坦で、掘り込みは浅い。覆土は流れ込みと考えられる。

遺物 5は綾絡文の施された胴部である。

時期 縄文時代中期前半の可能性ある。 (皆川)

CP-120 (図Ⅱ-471)

位置：R-81

特徴

平面形態 楕円形。

確認 C地区南側の段丘斜面の標高55.90～56.10mのCP-108の堆積土中及びV層上面で検出した。
調査 III・IV層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、V層上面を精査したところ、CP-108の堆積土中に、にぶい褐色土と黒褐色土の落ち込みを確認した。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。確認面及び土層の観察からCP-108を切る。

覆土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はIII層中で、埋め戻しと考えられる。

特徴 立ち上がりはやや急角度で、坑底はやや丸みを帯びる。

遺物出土状況 遺物は遺構に伴わない可能性が高い。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期前半のIV群a類期または中期後半のIII群b類期、後期前葉のIV群a類期に所属する。

（佐藤）

CP-121（図Ⅱ-471・520-6．図版Ⅱ-329．表Ⅵ-5）

位置：K-84、L-84

特徴 平面が不整の楕円形を呈する中型土壌である。東向き斜面の肩に作られており、下側の壁が失われた状態で検出されている。壙底は平坦で、流れ込みと考えられる覆土からは、人頭大の大礫が出土している。

遺物 6は背面も加工したつまみ付ナイフである。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。

（皆川）

CP-122（図Ⅱ-471）

位置：L-71、M-71

特徴 平面が長方形あるいは円形と考えられる土壌である。南側はCH-29の調査時に失われており、CH-29との先後は不明である。壙底は平坦で、掘り込みは浅い。覆土は埋戻し土の可能性はある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CP-123（図Ⅱ-471・520-7～9．図版Ⅱ-329．表Ⅵ-4）

位置：P-69

特徴 平面が長方形と考えられる大型の土壌である。西側の一部はCP-110の調査時に失われており、CP-110との先後は不明である。壙底は平坦で、壁はそこから真っ直ぐに立ち上がっている。覆土は埋戻しの可能性がある。

遺物 7は地紋の上に沈線で複雑な文様が施された深鉢である。突起の下位には縦の取手状貼付を有し、内面側にも沈線による文様が施されている。底部は厚底でやや上げ底を呈している。8は沈線文が施された突起部である。9は0段多条の縄による結束羽状縄文が施された胴部片である。

時期 縄文時代中期前半、サイベ沢VIIb式土器の時期と考えられる。

（皆川）

CP-124（図Ⅱ-472・524-1．図版Ⅱ-332．表Ⅵ-4）

位置：P-81・82

特徴

平面形態 楕円形。

確認 C地区南側の段丘斜面の標高56.40～56.90mのCH-41の覆土中で検出した。

調査 CH-41の調査中に、ベルトの土層断面において、暗褐色土の落ち込みを確認した。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。確認面及び土層の観察からCH-41を切っている。

覆土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はⅢ層中で、埋め戻しと考えられる。

特徴 立ち上がりは急角度で、上部は開き、坑底は平坦な土坑である。

遺物出土状況 1層から土器（No.2）と礫石器??（No.1）、2層上面から礫or礫石器（No.3・4）、坑底から礫or礫石器（No.5）が出土し、土坑に伴うと考える。

遺物 1はRLの斜行縄文が施された小突起を有する口縁部である。

時期 時期 出土土器（No.2）から、縄文時代後期前葉のⅣ群a類期??に所属する。（佐藤）

CP-125（図Ⅱ-472・521-1．図版Ⅰ-94．図版Ⅱ-330．表Ⅵ-8）

位置：R-83、S-83

特徴

平面形態 円形。

確認 C地区南側の段丘斜面の標高53.60～53.90mのⅢ層中位で検出した。

調査 Ⅲ・Ⅳ層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、Ⅴ層上面を精査したところ、暗褐色土の落ち込みを確認した。南西側の側溝部分の壁面に一部かかっていたことから、その部分で土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。土層の観察から、掘り込みはⅢ層中位で、CP-141を切っている。

覆土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はⅢ層中位で、埋め戻しと考えられる。

特徴 全体の1/2ほどの上部でオーバーハングするフラスコ状土坑である。立ち上がりはやや急角度で、坑底は平坦である。

遺物出土状況 2層上面から石棒（No.2）、2層から礫??石器??（No.1・2）が出土し、土坑に伴うと考える。

遺物 1は大型の石棒と考えられるものである。表面の半分ほどが熱で赤化しており、裏面側が平坦になっている。大型のすり石として使用された可能性もある。

時期 石棒（No.2）の形態から、縄文時代中期前半のⅢ群a類期に所属する。（佐藤）

CP-126（図Ⅱ-472・522-1．図版Ⅰ-94．図版Ⅱ-331．表Ⅵ-4）

位置：O-75・76

特徴 平面が円形の小型の土壙である。CH-33の覆土内に掘り込まれている。壙底は丸く、壁は埋甕に沿うように立ち上がっている。覆土は埋戻し土で、そこに底部欠いた土器一個体が図示した状態で埋められていた。この土器の底部はCH-33の覆土1層から出土している。

遺物 1は埋設されていた土器で、CH-26、CH-31HP-9から出土した底部ほかと接合している。無文の粘土紐を貼付した大型の深鉢形土器で、山形突起の内面側に楕円形の凹みが施されている。

時期 縄文時代中期前半、サイベ沢Ⅶa式土器の時期と考えられる。（皆川）

CP-127（図Ⅱ-473. 図版Ⅰ-94）

位置：P-80、Q-80

特徴

平面形態 隅丸方形。

確認 C地区南側の段丘平坦面の標高57.20～57.30mのV層上面で検出した。

調査 Ⅲ・Ⅳ層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、V層上面を精査したところ、にぶい黄褐色土と暗褐色土の落ち込みを確認した。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。確認面及び土層の観察から、CP-129を切っている。

覆土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はⅢ層中で、埋め戻しと考えられる。

特徴 立ち上がりは急角度で、坑底は平坦である。

遺物出土状況

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期前半のⅣ群a類期または中期後半のⅢ群b類期、後期前葉のⅣ群a類期に所属する。

（佐藤）

CP-128（図Ⅱ-473・524-2. 図版Ⅱ-332. 表Ⅵ-4）

位置：P-80

特徴

平面形態 楕円形。

確認 C地区南側の段丘平坦面の標高57.30mのV層上面で検出した。

調査 Ⅲ・Ⅳ層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、V層上面を精査したところ、にぶい黄褐色土と暗褐色土の落ち込みを確認した。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。

覆土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はⅢ層中で、埋め戻しと考えられる。

特徴 全体の4/5ほどの上部でオーバーハングするフラスコ状土坑である。立ち上がりはなだらかで、坑底は平坦である。

遺物出土状況

遺物 2は地紋の上に粘土紐が貼付された口縁部である。

時期 縄文時代中期前半のⅣ群a類期または中期後半のⅢ群b類期、後期前葉のⅣ群a類期に所属する。

（佐藤）

CP-129（図Ⅱ-473. 図版Ⅰ-94）

位置：P-79・80

特徴

平面形態 円形。

確認 C地区南側の段丘平坦面の標高57.30～57.50mのV層上面で検出した。

調査 Ⅲ・Ⅳ層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、V層上面を精査したところ、暗褐色土の落ち込みを確認した。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。確認面及び土層の観察から、CP-127に切られている。

覆 土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はⅢ層中で、埋め戻しと考えられる。

特 徴 全体の1/2ほどの上部でオーバーハングするフラスコ状土坑である。立ち上がりはやや急角度で、坑底は平坦である。

遺物出土状況

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期前半のⅣ群a類期または中期後半のⅢ群b類期、後期前葉のⅣ群a類期に所属する。

(佐藤)

CP-130 (図Ⅱ-473・524-3. 図版Ⅰ-95. 図版Ⅱ-332. 表Ⅵ-4)

位置：P-79・80、Q-79・80

特徴

平面形：円形

確 認：平成19年に南側段丘平坦面の標高57.20～57.40mのⅤ層上面で検出した。

調 査：Ⅲ・Ⅳ層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、Ⅴ層上面を精査したところ、暗褐色土の落ち込みを確認した。80ラインで土層を確認したところ、掘り込みはⅢ層中位である。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。平成20年に80ラインより北側を調査して終了した。

覆 土：覆土の堆積状況から掘り込み面はⅢ層中位で、埋め戻しと考えられる。

特 徴：立ち上がりは急角度で、坑底は平坦であるが、東側で袋状に広がっている。

遺物出土状況：底面から人頭大よりやや小さめの礫3点が分散して出土した。このうち西側の礫と一緒に円筒上層の土器片が1点？出土した。

遺物 3は粘土紐の貼付と3列の撚糸が施された口縁部である。

時期 縄文時代中期前半の可能性がある。

(佐川)

CP-131 (図Ⅱ-474・524-4、5. 図版Ⅰ-95. 図版Ⅱ-332. 表Ⅵ-4)

位置：Q-79・80

特徴

平面形：不整円形 長軸方向：北東-南西

確 認：平成19年に南側段丘斜面の標高56.90～57.10mのⅤ層上面で検出した。

調 査：Ⅲ・Ⅳ層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、Ⅴ層上面を精査したところ、暗褐色土の落ち込みを確認した。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。平成20年、80ラインより北側を調査したところ、遺構の大部分は平成20年の調査区に分布するためセクションベルトを遺構の中心に設定しなおした。

覆 土：覆土の堆積状況から掘り込み面はⅢ層中位で、埋め戻しと考えられる。

特 徴：壁面の立ち上がりは急で、断面は台形状を呈する。深さは約1.2mと周囲の土坑に比較して深くなっている。

遺物 4口唇部に沈線状の凹みを有する口縁部、5は2本の沈線が縦に施された胴部である。

時期 縄文時代中期前～後半と考えられる。

(佐川)

CP-132（図Ⅱ-473・523-1～4．図版Ⅱ-333．表Ⅵ-4）

位置：K-75

特徴 平面が不整円形の土壇である。壇底は平坦で、掘りは浅い。遺物は壇底と覆土から包含層にかけて復元土器が出土している。CH-28に近接しており、関連する土壇の可能性が高い。

遺物 1～3は纏まって出土しており同時期のものと考えられる。1は貫通孔を有する突起部に粘土紐が貼付された大型の深鉢である。地紋の3段復節RLRは器面の1/3ほどにしか施されていない。2、3は沈線文が施された深鉢で、3の突起には粘土紐の貼付が施されている。4は、3の底部の可能性はある。

時期 縄文時代中期前半、サイベ沢Ⅶb式土器の時期と考えられる。（皆川）

CP-133（図Ⅱ-474・524-6～11．図版Ⅱ-332．表Ⅵ-4・5）

位置：P-73、Q-73

特徴 平面が円形の大型土壇である。CH-43の下位から検出されており、CP-133が古い。壇底は比較的平坦で、壁はそこから緩く広がりながら立ち上がっている。覆土2層は埋戻し土で、覆土3層の焼土はCH-43の炉跡と考えられる。遺物は大半が細かいものである。

遺物 6は羽状縄文が施された口縁部、7、8は粘土紐の貼付が施された胴部である10は沈線文が施された胴部、9は底部である。11は石鏃で、副葬品の可能性がある。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。（皆川）

CP-134（図Ⅱ-470・524-12、13．図版Ⅰ-93・95．図版Ⅱ-332．表Ⅵ-4）

位置 R-79・80

平面形：隅丸方形 長軸方向：北東-南西

特徴

確認：平成19年、南側の段丘斜面の標高56.60～56.80mのV層上面で検出した。

調査：Ⅲ・Ⅳ層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、V層上面を精査したところ、暗褐色土の落ち込みを確認した。80ラインで土層を確認したところ、掘り込みはⅢ層中位である。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。土層の観察からCP-115に切られる。

平成20年、80ラインにベルトを設定して北側の輪郭を検出してから覆土を掘り下げ、調査を終了した。

覆土：覆土の堆積状況から、掘り込み面はⅢ層中位で、埋め戻しと考えられる。

特徴：立ち上がりはやや急角度で、坑底は平坦である。上部は大きく開いている。

遺物 12、13は斜行縄文の施された胴部である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。（佐川）

CP-135（図Ⅱ-475・524-14．図版Ⅱ-332．表Ⅵ-4）

位置：O-80、P-80

特徴

平面形態 円形。

確認 C地区南側の段丘斜面の標高57.30mのV層上面で検出した。

調査 Ⅲ・Ⅳ層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、V層上面を精査したところ、暗褐色土の

落ち込みを確認した。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。確認面及び土層の観察から、CP-136に切られる。
覆土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はⅢ層中で、自然堆積と埋め戻しの両方の可能性が考えられる。

特徴 立ち上がりはなだらかで、坑底は平坦である。

遺物出土状況

遺物 14は地紋の上に粘土紐の貼付が施された胴部である。

時期 縄文時代中期前半のⅣ群a類期または中期後半のⅢ群b類期、後期前葉のⅣ群a類期に所属する。
(佐藤)

CP-136 (図Ⅱ-475・524-15、16. 図版Ⅰ-96. 図版Ⅱ-332. 表Ⅵ-4)

位置：O-81、P-80・81

特徴

平面形態 卵形。

確認 C地区南側の段丘斜面の標高57.10～57.20mのⅤ層上面で検出した。

調査 Ⅲ・Ⅳ層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、Ⅴ層上面を精査したところ、暗褐色土の落ち込みを確認した。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。確認面及び土層の観察から、CP-135を切っている。

覆土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はⅢ層中で、自然堆積と考えられる。

特徴 立ち上がりはやや急角度で、坑底は平坦である。

遺物出土状況

遺物 15、16は地紋の上に粘土紐の貼付が施された口縁部と胴部である。

時期 縄文時代中期前半のⅣ群a類期または中期後半のⅢ群b類期、後期前葉のⅣ群a類期に所属する。
(佐藤)

CP-137 (欠番)

CP-138 (図Ⅱ-475・524-17. 図版Ⅱ-332. 表Ⅵ-4)

位置：N-80

特徴 平面が不明の土壇である。CH-30と重複するが先後は不明である。CH-30の調査時に遺構の多くが失われている。壇底は比較的平坦で、壁はそこから緩く広がりながら立ち上がっている。覆土は埋戻し土の可能性もある。遺物は土器片が多いもの、これらが意図されたものかは明らかでない。

遺物 17は粘土紐の貼付と馬蹄形圧痕文の施された突起部である。

時期 縄文時代中期前半の可能性もある。
(皆川)

CP-139 (図Ⅱ-475)

位置：L-79・80

特徴 平面が楕円形の小型の土壇である。壇底は緩く傾斜しており、掘りが浅い。掘り込み面はⅢ層中である。覆土は流れ込みと考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CP-140（図Ⅱ-475・524-18. 図版Ⅱ-332. 表Ⅵ-4）

位置：R-81

特徴

平面形態 円形。

確認 C地区南側の段丘斜面の標高55.70～55.80mのV層上面で検出した。

調査 Ⅲ・Ⅳ層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、V層上面を精査したところ、CP-108の堆積土中に、にぶい褐色土と黒褐色土の落ち込みを確認した。土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。確認面及び土層の観察からCP-108に切られる。

覆土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はⅢ層中で、埋め戻しと考えられる。

特徴 上部でオーバーハングするフラスコ状土坑である。立ち上がりはなだらかで、坑底はほぼ平坦である。

遺物出土状況 遺物は遺構に伴わない可能性が高い。

遺物 18は沈線文の施された胴部である。

時期 縄文時代中期前半のⅣ群a類期または中期後半のⅢ群b類期、後期前葉のⅣ群a類期に所属する。

（佐藤）

CP-141（図Ⅱ-476・524-19. 図版Ⅱ-332. 表Ⅵ-4）

位置：R-83、S-83

特徴

平面形態 隅丸長方形。

確認 C地区南側の段丘斜面の標高53.60～53.80mのⅢ層中位で検出した。

調査 Ⅲ・Ⅳ層相当の斜面崩落土を重機で除去した後、V層上面を精査したところ、暗褐色土の落ち込みを確認した。南西側の側溝部分の壁面に一部かかっていたことから、その部分で土層の確認を行うため半割し、壁面の立ち上がりを確認しながら掘り下げた。坑底と立ち上がりを確認し、土坑と判断した。土層の観察から、掘り込みはⅢ層中位で、CP-141に切られている。

覆土 覆土の堆積状況から、掘り込み面はⅢ層中位で、埋め戻しと考えられる。

特徴 立ち上がりはやや急角度で、坑底は平坦である。

遺物出土状況 2層から人頭大の礫（No.1）、礫（No.2～18）が出土し、土坑に伴うと考える。

遺物 19は綾絡文の施された胴部である。

時期 CP-125に切られていることから、縄文時代中期前半のⅢ群a類期以前に所属する。

（佐藤）

CP-142（図Ⅱ-476）

位置：M-81・82

特徴 平面が円形の小型の土坑である。坑底は平坦で、掘りは浅い。掘り込み面はⅢ層中である。覆土は流れ込みと考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-143 (図Ⅱ-476・524-20～22. 図版Ⅱ-334. 表Ⅵ-5)

位置：K-85、L-85

特徴 平面が不整形の大型土壙である。東向きの緩斜面肩口に作られている。壙底は平坦で壁は斜面の上方が崩落して開いている。覆土2層は埋戻し土の可能性があり、掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 20は表背面に光沢部のあるスクレイパーである。21、22は複数の敲打面を有するたたき石である。

時期 縄文時代中期前半の可能性はある。 (皆川)

CP-144 (図Ⅱ-476)

位置：K-86

特徴 平面が不整形の土壙である。壙底は傾斜しており、掘りは浅い。掘り込み面はⅢ層中である。覆土は流れ込みと考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-145 (図Ⅱ-476)

位置：K-85・86

特徴 平面が不整形の土壙である。壙底はやや傾斜しており、掘りは浅い。掘り込み面はⅢ層中である。覆土は流れ込みと考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-146 (図Ⅱ-477)

位置：P-69

特徴 平面形が不明の小型の土壙である。CP-123と重複し、それよりも古い。壙底は丸く壁は開き気味で立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-147 (図Ⅱ-477)

位置：P-69

特徴 平面が円形と推定される小型の土壙である。CH-19、CP-110・123と重複しそれらよりも新しい。壙底は平坦で壁は開き気味で立ち上がっている。覆土は流れ込みと考えられ、掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-148 (図Ⅱ-477・524-23、24. 図版Ⅱ-334. 表Ⅵ-4)

位置：P-69

特徴 平面が円形と推定される小型の土壙である。CH-19と重複し先後は不明である。壙底は丸みを帯びたもので壁は真っ直ぐに立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。CH-19に関わる柱穴の可能性はある。

遺物 23は貼付帯を有する胴部、24は小型土器の底部である。

時期 縄文時代中期後半、煉瓦台式土器の時期と考えられる。 (皆川)

CP-149 (図Ⅱ-477)

位置：P-69

特徴 平面が円形と推定される小型の土壙である。CH-19と重複し先後は不明である。壙底は平坦で壁は真っ直ぐに立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。CH-19に関わる柱穴の可能性はある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期後半の可能性はある。 (皆川)

CP-150 (図Ⅱ-477・526-1. 図版Ⅱ-334. 表Ⅵ-4)

位置：P-72

特徴 平面が円形の土壙である。壙底は丸く壁は広がりながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 1は縄文の施された胴部である。

時期 縄文時代中期後半の可能性はある。 (皆川)

CP-151 (図Ⅱ-477・526-2、3. 図版Ⅱ-334. 表Ⅵ-4・5)

位置：P-71・72、Q-71・72

特徴 平面が円形の土壙である。壙底は比較的平坦で、壁は少し広がり気味で立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 2は口唇に縄の刻みが施された口縁部である。3は下面に磨り面を有するすり石である。右側縁に敲打痕があり、石冠様石製品の未製品の可能性がある。

時期 縄文時代中期前半の可能性はある。 (皆川)

CP-152 (図Ⅱ-477)

位置：P-71、Q-71

特徴 平面円形の柱穴状の土壙である。壙底は比較的平坦で、壁は真っ直ぐ立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期の可能性はある。 (皆川)

CP-153 (図Ⅱ-477・526-4. 図版Ⅱ-334. 表Ⅵ-4)

位置：K-69

特徴 平面が不整円形の土壙である。壙底は比較的平坦で、壁は真っ直ぐ立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 4は斜行縄文の施された胴部である。

時期 縄文時代中期前半の可能性がある。

(皆川)

CP-154 (図Ⅱ-477・526-5～7. 図版Ⅰ-96. 図版Ⅱ-334. 表Ⅵ-4)

位置：R-79

平面形：不整円形

特徴

確認：南側の段丘斜面の標高56.90～57.00m、R-79区のⅣ層上面にて円形を呈する黒色土の落ち込みを確認した。

調査：北東-南西方向にセクションベルトを設定した。北西側の上端の一部は攪乱により壊されている。

覆土：3層に分層した。1, 2層は黒褐色土でⅢ層とⅣ層が等量混じる。3層は壁面の崩落土と考えられる。いずれも自然堆積土である。

特徴：北西側の壁面はオーバーハングしている。

遺物出土状況：覆土中から土器片、礫などが出土している。

遺物 5は粘土紐の貼付と3列の撚糸と馬蹄形圧痕文が施された口縁部である。6はLRの縄で条が横になる縄文が施された口縁部である。7は比較的太い沈線文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。

(佐川)

CP-155 (図Ⅱ-478・525-1・526-8～12. 図版Ⅰ-96. 図版Ⅱ-335・336. 表Ⅵ-4・5)

位置：R-79

平面形：楕円形 長軸方向：北東-南西

特徴

確認：CP-154東側の標高57.00～57.20mのⅣ層上面で円形の黒色土の落ち込みを確認した。

調査：北東-南西方向にセクションベルトを設定し、北西側の覆土を掘り下げた。

覆土：4層に分層した。中央が凹む覆土上にはⅢ層が堆積する。

特徴：底面に礫が3点置かれる。壁の立ち上がりは底面から中段まで急で、そこから上部に向かって緩く立ち上がる。

遺物出土状況：北東部の覆土1層から板状礫1点、底面から人頭大の礫2点、棒状礫1点が出土している。

遺物 525-1は粘土紐の貼付と刺突文が施された比較的大型の深鉢形土器である。口縁部の4個所に施された低い突起部の下位には瘤状の貼付の痕跡が見られ、また、突起の内面側にも粘土紐の貼付が施されている。口唇部には沈線状の凹みも施されている。粘土紐の刻みと器面の刺突文は篋状の施文具によるもので、地紋は0段多条の羽状縄文である。胎土中には重鉦物が多く含まれている。副葬された可能性がある。

526-8 (以下「526-」は除く)、9、10は粘土紐の貼付と3列の撚糸と馬蹄形圧痕文が施された口縁部である。8の口唇部には横に大きく張り出した瘤状の貼付が施されており、胎土は525-1とほぼ同じである。11は地紋の上に粘土紐の貼付を施した口縁部である。

12は表背面に光沢部のあるスクレイパーである。

時期 縄文時代前半、円筒上層b式土器の時期と考えられる。

(佐川)

CP-156（図Ⅱ-478・526-13～19. 図版Ⅱ-334. 表Ⅵ-4）

位置：S-79

平面形：不明 長軸方向：北北東-南南西？

特徴

確認：S-79区西側の標高56.20～56.40mのⅣ層上面で黒色土の落ち込みを確認した。西側の半分ほどは調査区の外側にある。

調査：当初、落ち込みの中心と考えられる北東-南東方向にセクションを設定し、南東側の覆土を掘り下げた。調査を進めたところ遺構の中心がさらに西側にあることが予想されたため、セクション面を調査区境界付近（Tライン付近）に設定しなおし、覆土を掘り下げた。

覆土：3層に分層した。掘り込み面はⅢ層中位からで、自然堆積と考えられる。

特徴：壁の立ち上がりは急である。北側の壁はⅤ層上面で段状となっている。底面はほぼ平坦である。

遺物出土状況：確認面の中央で礫が1点出土した。

遺物 13は器面に縦転がしのLRの縄文が施された口縁部である。14は口唇部に沈線状の凹みが施された口縁部、15～16は沈線文が施された口縁と胴部、19は底部である。14、18は榎林式や大木式系土器の可能性がある。

時期 縄文時代中期後半の可能性がある。 (佐川)

CP-157（図Ⅱ-478）

位置：R-78

特徴 平面が円形の土壇である。壇底は平坦で、壁は真っ直ぐに立ち上がっている。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期の可能性がある。 (立川)

CP-158（図Ⅱ-478）

位置：R-77・78

特徴 平面が円形の大型土壇である。壇底は平坦で、断面形がフラスコ状を呈している。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期の可能性がある。 (立川)

CP-159（図Ⅱ-478・526-20、21. 図版Ⅰ-97. 図版Ⅱ-334. 表Ⅵ-5）

位置：S-79

平面形：楕円形 長軸方向：北北東-南南西

特徴

確認：T-80区の杭の北東側、標高56.00～56.20mのⅣ層上面で円形の落ち込みを確認した。

調査：北東-南西方向にセクション面を設定し、南東側の覆土を掘り下げた。

覆土：3層に分層した。1層はⅤ層主体の黄褐色土である。2, 3層はⅢ層主体の黒褐色土でローム粒と炭化物を微量含む。(埋め戻しか?)

特徴：壁の立ち上がりは中段まで全周ともに急であるが、坑口にかけては緩く立ち上がる。

遺物出土状況：底面からは人頭大より小さな楕円礫が4点出土している。

遺物 20は基部が欠失した石鏃、21は扁平礫の長軸の両側に打ち欠きを入れて敲打を施した石錘であ

る。

時期 縄文時代中期の可能性がある。

(佐川)

CP-160 (図Ⅱ-478・527-1～3. 図版Ⅰ-97. 図版Ⅱ-336. 表Ⅵ-4)

位置 : R-79

平面形 : 円形 長軸方向 : 北東-南西

特徴

確認 : 南側の段丘斜面の標高56.60～56.80mで検出した。CP-154の南西側で明るいローム土の落ち込みを確認した。

調査 : 北東-南西方向にセクション面を設定し、北西側の覆土を掘り下げた。

覆土 : 4層に分層した。1層は径1～3cmの礫を多く含む黄褐色土である。その下位はⅢ層主体の黒色土である。覆土の堆積状況から埋め戻しと考えられる。

特徴 : CP-155と同様に底面に礫が置かれ、上部をⅤ層で埋め戻している。壁の立ち上がりは全周ともに急である。西側の一部は攪乱を受けている。

遺物出土状況 : 底面の東側から人頭大の礫が2点出土した。南西側の覆土中位からは底部を含む土器片、フレイクが出土している。

遺物 1は小型土器の突起部である。2は0段多条LRの縄文が施された底部に近い胴部である。3は底部である。

時期 縄文時代中期前半の可能性がある。

(佐川)

CP-161 (図Ⅱ-479・528-1. 図版Ⅱ-336. 表Ⅵ-4)

位置 : R-79、S-79

平面形 : 楕円形 長軸方向 : 北北東-南南西

特徴

確認 : 南側の段丘斜面の標高56.50～56.70mで検出した。S-79区のⅤ層上面にて中央にローム土、その周囲に黒色土が巡る円形の落ち込みを確認した。

調査 : 当初、長軸方向と思われた南北にセクションを設定し、西側の覆土を掘り下げた。南側は調査の結果、フラスコ状ピットCP-162に切られていることが判明した。

覆土 : 3層に分層した。1層は漸移層とローム土が等量混じる褐色土。2, 3層は漸移層が主体である。

特徴 : 底面は平坦だが、南側に向かって低くなっている。壁の立ち上がりは急で北北東の一部ではオーバーハングしている。西側では中段から坑口に向け緩く立ち上がる。

遺物出土状況 : 出土していない。

遺物 1は半裁した管状の内側のような施文具による沈線文が施された口縁部と胴部である。

時期 縄文時代中期前半の可能性がある。

(佐川)

CP-162 (図Ⅱ-479・528-2～5. 図版Ⅰ-97. 図版Ⅱ-336. 表Ⅵ-4・5)

位置 : S-79

平面形 : 円形 長軸方向 : 北東-南西

特徴

確認 : 南側の段丘斜面の標高56.30～56.50mで検出した。S-79区のⅤ層上面にて中央部に漸移層と

ローム土、その周囲に黒色土が巡る円形の落ち込みを確認した。

調査：北東-南西方向にセクションベルトを設定し、北西側の覆土を掘り下げた。深さ約 100 cmまで掘り下げたが、なかなか底面まで到達しないため途中で上端から中段までの平面図を記録後、セクション面に沿って幅0.7mで途中まで遺構を断ち割り、さらに覆土を中段から底面まで掘り下げた。確認面からの深さは中央部で約1 mである。北東部でCP-161を切っている。

覆土：9層に分層した。ほとんど埋め戻し土で、底面直上に流れ込みの黒色土（9層）が堆積している。

特徴：遺構の断面形は中段が狭く（径0.85m）、底面は広がる（径1.5m）フラスコ状を呈している。

遺物出土状況：底面から遺物は出土していない。

遺物 2、3は粘土紐の貼付と3列の撚糸と刺突文が施された口縁部である。2の刺突文は先端の丸い施文具による。3の刺突文の施文具は小動物の四肢骨の骨端の可能性もある。4は沈線文が施された口縁部である。5は使用面が複数あるたたき石である。

時期 縄文時代中期前半の可能性もある。 (佐川)

CP-163（図Ⅱ-479・528-6～9．図版Ⅰ-98．図版Ⅱ-338．表Ⅵ-4・5・8）

位置：Q-63

特徴 平面が円形の中型土壇である。壇底は少し傾斜があるもので、断面はフラスコ形と考えられる。覆土は埋戻されており、壇底近くからはたたき石、北海道式石冠や台石・石皿、石棒など大型の礫石器が出土している。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 6は粘土紐の貼付が施された土器突起部である。

7はかなり使い込んだ北海道式石冠である。8は台石・石皿の破片である。石冠の素材の可能性もある。9は石棒である。背面側に平坦な面があり、すり石としても使われていた可能性がある。完成に至っていないと考えられる。

時期 縄文時代中期前半の可能性もある。 (皆川)

CP-164（図Ⅱ-480）

位置：Q-64

特徴 平面が隅丸長方形の大型土壇である。CP-164に切られて掘り込まれており、それよりも古い。壇底は平坦で、断面がフラスコ形になっている。覆土は埋戻されている可能性が高く、掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-165（図Ⅱ-480・527-4、5．図版Ⅰ-98．図版Ⅱ-338．表Ⅵ-4）

位置：Q-64

特徴 平面が隅丸長方形と考えられる大型土壇である。CH-68と重複し、先後は不明である。壇底は平坦で、壁は真っ直ぐに立ち上がっているが、一部断面がフラスコ状になる所もある。覆土は埋戻されている可能性が高く、掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 4は斜行縄文の施された胴部、5は口唇部に縄文、口縁部に撚糸文の施された口縁部である。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。 (皆川)

CP-166 (図Ⅱ-480・527-6、7. 図版Ⅰ-98. 図版Ⅱ-337. 表Ⅵ-4・8)

位置：Q-66

特徴 平面が不整楕円形の大型土壌である。墳底は平坦で、壁は僅かに開きながら立ち上がっている。覆土は埋戻されて、掘り込み面はⅢ層中である。墳底から石棒が出土している。上位からはCF-101が検出されており、CP-166と関連する可能性がある。土壌墓の可能性はある。

遺物 覆土1層出土の6は口唇部に指先のような施文具による刻み、器面に沈線文の施された深鉢形土器である。地紋はRLの縄文と綾絡文である。副葬品の可能性がある。7は長楕円礫の周囲に加工を施したものである。石棒を意図したと考えられる。

時期 縄文時代中期前半、サイベ沢Ⅶb式土器の時期の可能性はある。(皆川)

CP-167 (図Ⅱ-480)

位置：T-73

特徴 平面が不整楕円形と推定される土壌である。遺構の西側の一部が調査区外に伸びており、完掘していない。墳底は平坦で掘りは浅く覆土は埋戻されている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。(皆川)

CP-168 (図Ⅱ-480・527-8～10. 図版Ⅱ-337. 表Ⅵ-4・5)

位置：S-71

特徴 平面が円形の土壌である。CH-49を切って造られておりそれよりも新しい。墳底は平坦で、壁はやや開きながら立ち上がっているが一部はフラスコ状を呈している。覆土は埋戻されており掘り込み面はⅢ層中である。覆土1層からは一括土器と大型の扁平礫が、墳底からは破片状の土器が出土している。土壌墓の可能性はある。

遺物 覆土1層出土の8は口縁部に馬蹄形圧痕文の施された瘤状の貼付と粘土紐が施された小型の深鉢である地紋は0段多条の結束羽状縄文である。9は太目の原体による結束羽状縄文が施された口縁と底部である。10はつまみ部の背面に光沢を有するつまみ付ナイフである。副葬品の可能性がある

時期 縄文時代中期前半、円筒上層b式土器の時期と考えられる。(皆川)

CP-169 (図Ⅱ-481)

位置：R-77

特徴 平面が不整楕円形の土壌である。墳底は平坦で、壁はやや開きながら立ち上がっているが一部はフラスコ状を呈している。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。(立川)

CP-170 (図Ⅱ-481・527-11、12. 図版Ⅱ-338. 表Ⅵ-4)

位置：S-77

特徴 平面が円形の土壌である。墳底は平坦で、壁はおおよそ真っ直ぐに立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中で、覆土1層は埋め戻されている可能性がある。

遺物 11は地紋上に粘土紐の貼付を施した胴部、12は器面に羽状縄文と綾絡文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期前半の可能性がある。

（立川）

CP-171（図Ⅱ-481・529-1～4・530-1～4．図版Ⅰ-99．図版Ⅱ-339・340．表Ⅵ-4・5）

位置：Q-73

特徴 平面が不整の隅丸長方形を呈す大型土壇である。壇底は平坦で、壁はほぼ真っ直ぐに立ち上がっている。覆土は埋戻されており掘り込み面はⅢ層中である。覆土2層から周囲の包含層にかけて529-1、2、530-1、3、4の一括土器が出土している。また、覆土2～3層からは焼土（F-1）が検出されている。これらは埋め戻された土壇上に副葬のため置かれたと考えられる。以上のことからCP-171は土壇墓と考えられる。

遺物 529-1（以下「529-」を除く）は突起部に貫通孔を有し、口縁部には粘土紐の貼付と半裁した管状の施文具による刺突文が施されている。2は地紋上に粘土紐の貼付が施された深鉢である。粘土紐上にはRLの縄による刻みが施されている。

3は基部の欠失した石斧、4は下端に焼けた痕跡があるたたき石である。

530-1（以下「530-」を除く）は、突起部に並んだ2個所の貫通孔と縦の取手状貼付が施された深鉢である。地紋の上に粘土紐の貼付が施されており、土器の下半部は欠失している。2は粘土紐の貼付が施された胴部片である。3は口唇に粘土紐の貼付が施された深鉢である。地紋は3段復節RLRと0段多条LRによる結束斜行縄文である。4は3段復節の縄を用いた羽状縄文が施されている胴部である。

時期 縄文時代中期前半、円筒上層b式～サイベ沢Ⅶa式土器の時期と考えられる。

（皆川）

CP-172（図Ⅱ-482・531-1、2．図版Ⅱ-340．表Ⅵ-4・5）

位置：Q-72

特徴 平面が円形の土壇である。CF-110と重複しており、それよりも新しい。壇底は平坦で、壁はやや開きながら立ち上がっている覆土は埋戻されており掘り込み面はⅢ層中である。覆土1層からは底部と口縁部、胴部の一部を欠いた一括土器が傾いた状態で出土している。埋甕を意図した可能性がある。

遺物 1は地紋上に粘土紐の貼付が施された深鉢である。突起部には貫通孔が施されている。2は石鏃である

時期 縄文時代中期前半、サイベ沢Ⅶa式土器の時期と考えられる。

（皆川）

CP-173（図Ⅱ-482・532-1．図版Ⅱ-340．表Ⅵ-4）

位置：S-78

平面形：円形？ 長軸方向：北西-南東

特徴

確認：南西側の段丘斜面の標高56.80mで検出した。

調査：S-78区にある旧道の側溝跡（幅0.7m）のⅣ層上面で半円状に遺構の平面形を検出した。遺構の北東部は中段まで側溝により壊されるが、側溝の底面より下位は残存している。

覆土：5層に分層した。覆土の堆積状況から自然堆積と考えられる。主体は3層の黒褐色土で黒色土と漸移層が等量混じる。

特徴：壁の立ち上がりは全体に急であるが、南東側はより急である。

遺物出土状況：遺物は出土していない。

遺物 1は結束羽状縄文の施された滑石土器の胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。

(佐川)

CP-174 (欠番)

CP-175 (欠番)

CP-176 (図II-474・532-2、3. 図版I-99. 図版II-341. 表VI-5)

位置：Q-79

平面形：隅丸長方形 長軸方向：北東-南西

特徴

確認：南側の段丘斜面の標高57.10～57.30m、Q-79区のIV層上面で黒色土の落ち込みを確認した。

調査：落ち込みの大きさは2.0m×1.7mである。平面形が不明瞭なため、落ち込みの中央に十字にセクションベルトを設定した。南東-北西にトレンチを入れたところ、遺構の覆土が深いのか底面まで到達しない。次に覆土の西側を約 1m下げたところで底面を確認したので壁面の全周を検出した。土層断面2か所の写真と断面図を終了後、南東及び北東部の覆土を掘り下げて土坑壁面の全周を検出した。その後、底面を精査したところ、南西の壁際で小ピットを検出し、その覆土を掘り下げて調査を終了した。

覆土：覆土は6層に分層した。覆土の上位には、包含層のⅢ層が堆積し、礫が数点出土した。覆土の堆積状況から埋め戻しと考えられる。

特徴：壁の立ち上がりは全周ともに急である。土坑の深さは約1mである。南西側壁面から斜めの状態で出土した礫の下位から楕円形のP-1（大きさ45cm×25cm、深さ18cm）を検出した。

遺物出土状況：底面から台石1点と礫2点が出土した。台石は南東の壁際で、床面に対して水平に設置された状態で出土している。円礫2点は南西側から出土した。このうち大きな1点は壁面から約15cm離れ、斜めになった状態で出土した。底面の南西壁で検出したP-1は杭痕の可能性が考えられる。南西側に隣接するCP-131との重複関係はCP-131がCP-175の上端を切ることからP-175はP-131より古い。

遺物 2はたたき石、3は小型の台石・石皿である。

時期 縄文時代中期と考えられる。

(佐川)

CP-177 (図II-483・532-4～6. 図版II-340. 表VI-4・5)

位置：S-78・79

平面形：隅丸長方形？ 長軸方向：北北東-南南西

特徴

確認：南側の段丘斜面の標高56.50～56.70m、T-79区杭の東側で黒色土の落ち込みを確認した。

調査：79ラインをセクション面に設定し、南側の覆土を掘り下げた。土層断面図の実測後、北側の覆土を掘り下げたところ、さらに北東側に別の土坑が1基あることを確認した(CP-178)。

覆土：7層に分層した。1層は包含層のⅢ層に同じ。2, 3, 4層は黒色土主体の層である。5層は漸移層主体、6, 7層はローム土が主体の層である。掘り込み面はⅢ層下位である。

特 徴：

遺物出土状況：覆土5層から人頭大の礫が1点出土した。礫のレベルは底面の約18cm上から出土した。

遺物 4は貫通孔を有した突起部にLRの縄線文を施した粘土紐と沈線文を有した口縁部で、器面にも沈線文が施されている。5は底部である。6は表面の左側縁を刃部とするスクレイパーである。

時期 縄文時代中期の可能性がある。（佐川）

CP-178（図Ⅱ-483・532-7、8、図版Ⅱ-341、表Ⅵ-4）

位置：S-78・79

平面形：楕円形 長軸方向：北東-南西

特徴

確 認：南側の段丘斜面でCP-177を調査中に北東側で検出した。標高は56.60～56.80mである。

調 査：落ち込みの長軸方向である北東-南西方向にセクション面を設定し、南東側の覆土を掘り下げた。

覆 土：2層に分層した。主体は1層の黒褐色土で炭化物、ローム粒を微量含む。2層は層厚3～4cmと薄く、漸移層とローム土が等量混じる。

特 徴：壁の立ち上がりは緩やかである。

遺物 7は粘土紐の貼付と3列の撚糸と馬蹄形圧痕文の施された時部である。8は胴部である。

時期 縄文時代中期前半の可能性がある。（佐川）

CP-179（図Ⅱ-483）

位置：S-78

平面形：円形 長軸方向：

特徴

確 認：南側の段丘斜面の標高56.70mのⅣ層上面にて円形の落ち込みを確認した。

調 査：南北方向にセクション面を設定し、東側の覆土を掘り下げた。

覆 土：3層に分層した。主体は2層の黒褐色土で漸移層とローム土が等量混じる。

特 徴：壁面の立ち上がりは垂直に近く急である。

遺物出土状況：覆土及び底面から土器片が数点出土した。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期前半の可能性がある。（佐川）

CP-180（図Ⅱ-482・532-9、10、図版Ⅱ-341、表Ⅵ-4・5）

位置：R-77

特徴 平面がおおよそ楕円形を呈する土壌である。壙底は平坦で、壁はやや開きながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

壙底に接している覆土4層には明赤褐色の焼土が厚く堆積しておりその上位には炭化範囲が図示したように検出されている。このような特殊な覆土は当遺跡内での類例は他にない。形態と規模から墓の可能性が考えられ、ベンガラの代用なのかもしれない。

遺物 9は斜行縄文の施された胴部、10は表背面に光沢部を有するUフレイクである。

時期 縄文時代中期と考えられる。（立川）

CP-181 (図Ⅱ-484・532-11~16. 図版Ⅰ-99. 図版Ⅱ-342. 表Ⅵ-4・8)

位置：Q-70・71

特徴 平面が不整の隅丸長方形を呈す大型土壇である。重複するCH-181・188・190の3基の内このCP-181が最も古いと考えられる。壇底は平坦で壁はほぼ真っ直ぐに立ち上がる。覆土2～3層は埋戻されており、掘り込み面はⅢ層中である。

壇底からはP-2～4の小ピットと周溝、CP-190のプランが検出されている。小ピットはいずれも深さ数cmで、棒状のものを突き立てた様子が窺える。周溝は壁際を回るものが検出されているが、CP-190と重なる部分からは検出されていない。CP-190によって失われた可能性もある。CP-190のプランは部分的に黄褐色土で薄く覆われていた。これはCP-181の壇底から掘り込んだCP-190をまた埋め戻したと後に黄褐色土で覆ったとも考えられる。小ピットと周溝など小型の堅穴住居に近い特徴を有する土壇墓と考えられる。

遺物 11、12は器面に粘土紐の貼付と3列の捺糸が施された口縁部である。これに加えて11には半裁された管状の施文具の内側を使った刺突文や瘤状の貼付が、12には馬蹄形圧痕文が施されている。13は地紋上に粘土紐の貼付が施された口縁部、14は胴部である。15はⅠ群a類土器の尖底の破片である。16は断面三角形のすり石で、一部が欠失している。縄文時代早期のものである。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。

(皆川)

CP-182 (図Ⅱ-483・533-1～3. 図版Ⅱ-341. 表Ⅵ-4・5)

位置：Q-69・70

特徴 平面が不整の楕円形と推定される小型の土壇である。CH-19の壁に接して検出され、CP-187と重複する。CP-187よりも新しく、CH-19との先後は不明である。壇底は平坦で壁は広がりながら立ち上がっている。壁に寄りかかるような状態で大型の台石・石皿が出土している。覆土は埋戻されており、掘り込み面はⅢ層中である。土壇墓の可能性はある。

遺物 1は肥厚帯を有する口縁である。2は無文の小型土器である。3は大型の台石・石皿である。2と3は副葬されたと考えられる。

時期 縄文時代中期後半、煉瓦台式土器の頃の時期と考えられる。

(皆川)

CP-183 (図Ⅱ-483・532-17. 図版Ⅱ-341. 表Ⅵ-4)

位置：Q-75、R-75

特徴 平面が不正円形の土壇である。壇底は比較的平坦で、断面がフラスコ気味である。

遺物 17は口唇部に粘土紐で輪状の貼付を施した口縁部である。器面には無文の粘土紐の貼付が施されている。

時期 縄文時代中期前半の可能性はある。

(立川)

CP-184 (図Ⅱ-483)

位置：R-74・75

特徴 平面が不整円形の少土壇である。CH-52と重複しており、柱穴の可能性はある。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

(立川)

CP-185（図Ⅱ-485・534-1～13. 図版Ⅰ-100・101. 図版Ⅱ-342. 表Ⅵ-4・5・8）

位置：R-70、S-70

特徴 平面が不整の隅丸長方形を呈す大型土壙である。壙底は平坦で壙底面からは周溝が検出されている。壁はほぼ真っ直ぐに立ち上がる。覆土1・3層は埋戻されており、掘り込み面はⅢ層中である。覆土1層と周囲のⅢ層包含層からは径1～2cmの円礫が数百点と大小の礫が多数検出されている。CP-185を埋め戻した後に、これら多数の礫を上に乗せたと考えられる。また同時に遺物も遺棄したと考えられる。小礫集中や周溝を伴うことから小型の竪穴住居的な特徴を有する土壙墓と考えられる。

遺物 1は粘土紐の貼付と3列の撚糸と馬蹄形圧痕文が施された口縁部である。2は粘土紐が口縁部に施されている。3は結束羽状縄文が施された胴部、4は胴部に縦転がしの綾絡文が施されている。5は底部である。

6は石錐、7は背面に光沢部のあるスクレイパー、8は石斧、9はほぼ前面を磨いた石斧様の石製品である。10はたたき石、11は左右の側縁に抉りの施された扁平打製石器、12、13は北海道式石冠である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。

（皆川）

CP-186（図Ⅱ-485）

位置：Q-70・71

特徴 平面が円形の土壙である。CP-181と重複しており、それよりも新しい。壙底は丸みを帯びており壁は開きながら立ち上がっている。覆土は埋戻されており、掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CP-187（図Ⅱ-485・535-1. 図版Ⅱ-343. 表Ⅵ-4）

位置：Q-69・70

特徴 平面が不整の楕円形と推定される小型の土壙である。接して検出され、CP-182と重複するCP-182よりも古い。CH-19の壁にも接しているが先後は不明である。壙底は丸く壁は広がりながら立ち上がっている。覆土は埋戻されており、掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 1は折り返しのある口縁部である。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。

（皆川）

CP-188（図Ⅱ-484・535-2～4. 図版Ⅰ-101. 図版Ⅱ-343. 表Ⅵ-4・5）

位置：Q-70・71

特徴 平面が不整円形の大型土壙である。CP-181・190と重複し、CP-188が最も新しい。この重複は意図的になされた可能性がある。壙底は平坦で壁はほぼ真っ直ぐに立ち上がる。覆土は埋戻されており、覆土2層に半身の一括土（2）を遺棄し、その上に覆土1層の焼土を入れている。掘り込み面はCP-181の覆土土中である。以上の特徴から土壙墓の可能性が高い。

遺物 2は口縁部に粘土紐の貼付と3列の撚糸と馬蹄形圧痕文が施された深鉢形土器である。3は胴部片で粘土紐の貼付と3列の撚糸が認められる。4は北海道式石冠である。

時期 縄文時代中期前半、円筒上層b式土器の時期と考えられる。

（皆川）

CP-189 (図Ⅱ-486・535-5～13・536-1～9. 図版Ⅰ-102. 図版Ⅱ-343・344. 表Ⅵ-4・5)

位置：R-68・69、S-68・69

特徴 平面が不整の隅丸長方形を呈す大型土壇である。同規模のCP-207の真上に重ねるように作られている。壇底は平坦で壇底面からは焼土や小ピット(P-1)、周溝が検出されている。壁は開き気味で立ち上がっている。覆土1-2、2層は埋戻されている。壇底の焼土(F-1)は遺棄されたと考えられ、その上には一括土器と大型礫の石器が重ねられていた。掘り込み面はCP-181の覆土土中である。

北側の壁角で検出されたP-1は深さ数cmのもので、他の壁際も丹念に捜したが他には検出されていない。周溝は全周しておらずCP-207と重なる範囲では確認されなかった。遺物は先述のもの他にやや離れた位置からも半身の一括土器が出土しており、これらは副葬品の可能性が高い。小型の竪穴住居的な特徴を有する土壇墓と考えられる。また、CP-207との重複は意図的になされた可能性がある。

遺物 535-5(以下「535-」を除く)は口縁に太い粘土紐の貼付を施した大型の深鉢で、底部は欠失している。6～8は粘土紐の貼付と3列の撚糸と馬蹄形圧痕文が施された口縁部、9は粘土紐と3列の撚糸だけが施された口縁部である。10は地紋上に細い粘土紐の貼付を施した口縁部である。11は沈線文が施された口縁部である。12、13は底部で、13は上げ底を呈している。

536-1(以下「536-」を除く)は、口縁部に粘土紐の貼付と半裁した鳥管骨のような施文具による刺突文が施された深鉢である。粘土紐上の刻みは篋状の施文具による。

2、3は表背面に光沢部のあるスクレイパーである。4、5はたたき石、6、7はすり石、8は扁平打製石器、9は台石・石皿である。

時期 縄文時代中期前半、円筒上層b式土器の時期と考えられる。(皆川)

CP-190 (図Ⅱ-484)

位置：Q-70・71

特徴 平面が不整円形の大型土壇である。CP-181・188と重複する。後から掘り込まれたCP-188により覆土と壇底の一部が失われている。CP-181の壇底から掘り込んだものと考えられ、CP-190を埋め戻した後、黄褐色土で薄く覆っている(貼床?)。

壇底はほぼ平坦だったと推定され、で壁はやや内傾しながら立ち上がっている。覆土は埋戻されている。壇底の壁際からは小ピットと短めの溝(周溝?)が検出されている。CP-190はCP-181の付属遺構の可能性もある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。(皆川)

CP-191 (図Ⅱ-485. 図版Ⅰ-102)

位置：Q-61・62、R-62

特徴 平面が不整楕円形の土壇である。壇底は若干凹凸のあるもので、壁はほぼ真っ直ぐに立ち上がっている。覆土は埋戻されており、特に覆土1層は黄褐色土のV層を意図的に戻している可能性がある。掘り込み面はⅢ層中で、上位から関連すると考えられるCF-127とCS-6が検出されている。土壇墓の可能性もある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CP-192（図Ⅱ-485・537-1．図版Ⅱ-345．表Ⅵ-5）

位置：K-67

特徴 平面が不整円形の土壌である。壙底は若干凹凸のあるもので、壁は広がりながら立ち上がっている。覆土は埋戻されている可能性があり、掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 1は長軸の両端を使用したたたき石である。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CP-193（図Ⅱ-486・537-2．図版Ⅰ-103．図版Ⅱ-345．表Ⅵ-5）

位置：R-68

特徴 平面が不整楕円形の大型土壌である。CH-57と一部重複するが先後は不明である。壙底は平坦で断面がフラスコ状を呈す。覆土1・2層は埋戻されているか、他遺構の堀上土が流れ込んでいると考えられる。掘り込み面はⅢ層中である。フラスコ状ピットと考えられる。

遺物 2は扁平礫の側縁を使用したすり石である。

時期 縄文時代中期前半の可能性はある。

（皆川）

CP-194（図Ⅱ-486・537-3～6．図版Ⅱ-345．表Ⅵ-4・5）

位置：R-74

特徴 平面が不整楕円形を呈すと考えられる土壌でCH-52と重複している。壙底はおおよそ平坦で、壁はやや開きながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。土壌の北側から流れ込むように炭化材が検出されている。

年代測定結果

11	IAAA-102920	No.6	CP-194覆土1層	木炭	760±30
----	-------------	------	------------	----	--------

遺物 3は粘土紐の貼付と3列の撚糸と馬蹄形圧痕文が施された突起部である。4は粘土紐が貼付された突起部で、粘土紐上には撚糸が施されている。

5は表背面に剥離と光沢部があるスクレイパーである。剥離は下端に多く刃部を作出していると考えられる。ポイントあるいは土掘り具の可能性はある。6はスクレイパーである。

時期 縄文時代中期前半の可能性はある。

（立川）

CP-195（図Ⅱ-487・537-7、8．図版Ⅱ-345．表Ⅵ-4）

位置：R-74・75

特徴 平面形が不明の土壌で、CH-52やCP-194と重複している。壙底は平坦で、壁はやや開きながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 7は粘土紐の貼付が施された胴部、8は口縁部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（立川）

CP-196（図Ⅱ-487）

位置：R-75、S-75

特徴 平面が円形の小型の土壇である。CP-199と重複する。壇底は平坦で、壁はやや開きながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (立川)

CP-197 (図Ⅱ-487・537-9. 図版Ⅱ-345. 表Ⅵ-5)

位置 : Q-74

特徴 平面が円形の小型土壇である。壇底は平坦で壁は真っ直ぐに立ち上がっている。壇内からは台石・石皿が出土している。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 9は台石・石皿である。一部に敲打痕が認められることから北海道式石冠の未製品か素材なのかもしれない。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。 (皆川)

CP-198 (図Ⅱ-487)

位置 : Q-74

特徴 平面が円形の小型土壇である。壇底は丸く壁も広がりながら立ち上がっている。断面がフラスコ状を呈す。覆土1・2層は埋戻されているか、他遺構の堀上土が流れ込んでいると考えられる。掘り込み面はⅢ層中である。フラスコ状ピットと考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-199 (図Ⅱ-487)

位置 : R-74・75、S-74・75

特徴 平面が不整楕円形の小型の土壇である。CP-196に切られている。壇底は平坦で、壁はやや開きながら立ち上がっているが一部はフラスコ状を呈している。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (立川)

CP-200 (図Ⅱ-487)

位置 : S-71・72、T-71・72

特徴 平面が不整円形と考えられる土壇である。CH-48と一部重複するが先後は不明である。壇底はほぼ平坦で断面が少しフラスコ状を呈す。覆土は埋戻されている可能性があり、掘り込み面はⅢ層中である。フラスコ状ピットの可能性がある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-201 (図Ⅱ-487・537-10、11. 図版Ⅰ-103. 図版Ⅱ-345. 表Ⅵ-4)

位置 : R-71

特徴 平面が隅丸長方形の大型土壇である。CH-53の床の下位から検出されており、CP-201の上にCH-53が作られたものと考えられる。壇底は平坦で壁は広がりながら立ち上がっている。覆土2・3

層は埋戻されており、覆土1層の褐色土はCH-53の床に見えているCP-201を覆い隠すために入れたと推定される。土壌墓の可能性はある。

遺物 10は粘土紐の貼付と馬蹄形圧痕文が施された胴部片である。11は縄文の施された胴部片である。

時期 縄文時代中期前半の可能性はある。（皆川）

CP-202（図Ⅱ-488・537-12、13．図版Ⅰ-103．図版Ⅱ-345．表Ⅵ-4）

位置：Q-68、R-68

特徴 平面が円形のフラスコ状ピットである。CH-57・58と重複する。壙底は平坦で断面がフラスコ状を呈す。覆土1～4層は流れ込みと思われる。掘り込み面はⅢ層中あるいはCH-58の床面である。CH-58の主軸上に位置することから中央ピットあるいは付属遺構の可能性が高い。

遺物 12は粘土紐の貼付と3列の撚糸が施された突起部である。13は縄文が施された胴部片である。

時期 縄文時代中期前半、円筒上層b式土器の時期の可能性はある。（皆川）

CP-203（図Ⅱ-488・537-14～17．図版Ⅱ-345．表Ⅵ-4・5）

位置：Q-68・69

特徴 平面が不整円形の土壌である。CH-58と重複するが先後は不明である。壙底は平坦で壁はやや広がりながら立ち上がっている。覆土は埋戻されている可能性が高い。掘り込み面はⅢ層中あるいはCH-58床面と考えられる。壙底西側壁際から図示した北海道式石冠などが出土している。土壌墓の可能性はある

遺物 14は縄文と綾絡文が施された器壁の薄い胴部である。15は表背面に光沢部のあるスクレイパーである。16はたたき石、17は北海道式石冠である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。（皆川）

CP-204（図Ⅱ-488・538-1．図版Ⅱ-345．表Ⅵ-4）

位置：Q-68・69

特徴 平面が不整円形の土壌である。CH-58と一部重複するが先後は不明である。壙底は平坦で壁はほぼ真っ直ぐに立ち上がっている。覆土は埋戻されている可能性もある。掘り込み面はⅢ層中である。土壌墓の可能性はある

遺物 1は結束斜行縄文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。（皆川）

CP-205（図Ⅱ-488・538-2、3．図版Ⅰ-104．図版Ⅱ-345．表Ⅵ-4）

位置：Q-69、R-69

特徴 平面が円形の土壌である。CH-57・58と重複する。壙底は小さいが平坦を有する。壁は広がりながら立ち上がる。で断面がフラスコ状を呈す。覆土は埋め戻されている可能性があり、覆土2層からは二次堆積の焼土（F-1）も検出されている。掘り込み面はCH-58の床面と考えられ、周囲の図示した位置からは盛土も検出されている。CH-58の主軸上に位置することから中央ピットあるいは付属遺構の可能性が高い。

遺物 2は粘土紐の貼付と3列の撚糸と馬蹄形圧痕文が施された突起部である。3は底部である。

時期 縄文時代中期前半、円筒上層b式土器の時期の可能性はある。（皆川）

CP-206 (図Ⅱ-488・538-4～6. 図版Ⅰ-104. 図版Ⅱ-346. 表Ⅵ-5)

位置：R-72

特徴 平面が不整楕円形の土壌である。CF-103・135と重複する。壙底は平坦で壁は大きく広がりながら立ち上がっている。覆土は埋め戻されており、掘り込み面はⅢ層中である。重複するCF-103・135はⅢ層中から検出されており、埋め戻されたCP-206の上位に焼土を重ねた可能性が高い。覆土3層の上面かに図示した台石・石皿が、壙底からはやはり図示した礫石器2点が出土している。特徴から土壌墓の可能性が高い。

遺物 4はたたき石、5はすり石、6は大型の台石・石皿である。

時期 縄文時代中期と考えられる。

(皆川)

CP-207 (図Ⅱ-489. 図版Ⅰ-102)

位置：R-69、S-68・69

特徴 平面が不整の隅丸長方形を呈す大型土壌である。同規模のCP-189の真下から検出されている。壙底は平坦で壁はほぼ真っ直ぐに立ち上がっており、覆土は埋戻されている。掘り込み面はⅢ層中と考えられる。CP-207が古く、その上位にCP-181が後から意図的に掘り込まれたと考えられる。土壌墓と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。

(皆川)

CP-208 (欠番)

CP-209 (図Ⅱ-489・538-7. 図版Ⅱ-346. 表Ⅵ-5)

位置：R-65

特徴 平面が楕円形の土壌である。壙底は平坦で、壁はやや開きながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。壙底～覆土中で台石・石皿片や礫が出土している。

遺物 7は台石・石皿片である。

時期 縄文時代中期前半の可能性はある。

(立川)

CP-210 (図Ⅱ-489・538-8、9. 図版Ⅱ-346. 表Ⅵ-4)

位置：R-65

特徴 平面が不整円形と考えられる土壌である。壙底は平坦で、壁はフラスコ状を呈している。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 8は斜行縄文の施された胴部である。9は型押し文の施されたⅠ群a類の日計式土器の胴部である。

時期 縄文時代中期前半の可能性はある。

(立川)

CP-211・227 (図Ⅱ-489)

位置：R-65

特徴 平面が不整楕円形の土壌である。CP-227と重複する。壙底は平坦で、壁はやや開きながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期の可能性ある。 (立川)

CP-212 (図Ⅱ-490・538-10、11. 図版Ⅰ-105. 図版Ⅱ-346. 表Ⅵ-4)

位置：R-62

特徴 平面が不整形の小型の土壙である。壙底は平坦で、壁は開きながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。壙底から小型の土器が出土している。

遺物 10は壙底出土の小型土器である。突起部にRL縄線文のある粘土紐の貼付が施されている。副葬品と考えられる。11は結束斜行縄文の施された胴部である。

時期 縄文時代中期前半、見晴町式土器の時期と考えられる。 (立川)

CP-213 (図Ⅱ-490)

位置：S-66・67

特徴 平面が不整楕円形と考えられる土壙である。CH-75と重複する。壙底は平坦で、壁はやや開きながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。CH-75と重複するよう配置された可能性がある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期の可能性ある。 (立川)

CP-214 (図Ⅱ-490・538-12、13. 図版Ⅱ-346. 表Ⅵ-4)

位置：K-68

特徴 平面が不整楕円形の土壙である。壙底は平坦で壁は広がりながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中で、覆土は埋戻されている可能性がある。壙底から扁平の礫石器が出土している。

遺物 12は幅の狭い肥厚帯を有した口縁部である。13は結束斜行縄文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期後半の可能性ある。 (皆川)

CP-215 (図Ⅱ-490・538-14. 図版Ⅱ-346. 表Ⅵ-4)

位置：K-67

特徴 平面が不整円形の土壙である。壙底は平坦で、断面形がフラスコ状である。掘り込み面はⅢ層中で、覆土は埋戻しの可能性がある。覆土上位の中央から大礫が出土している。

遺物 14はLRの縄文が施された滑石土器の口縁部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-216 (図Ⅱ-490・539-1～3. 図版Ⅰ-105. 図版Ⅱ-347. 表Ⅵ-4・5)

位置：J-67、K-67

特徴 平面が隅丸長方形あるいは不整楕円形の土壙である。壙底は比較的平坦で、断面形がフラスコ気味である。掘り込み面はⅢ層中で、覆土は埋戻しと考えられる。覆土1層はV層の褐色土を多く含む明るい土層で中央から大礫が出土している。覆土4層からは遺棄された焼土2ヵ所(F-1・2)が検出されている。

遺物 1は口唇付近に太い粘土紐の貼付が施された口縁部である。2はスクレイパー、3は下端に磨面のある扁平打製石器である。

時期 縄文時代中期前半、円筒上層b式土器の時期の可能性ある。(皆川)

CP-217 (図Ⅱ-490・539-4. 図版Ⅱ-348. 表Ⅵ-4)

位置：S-65・66、T-65・66

特徴 平面が楕円形の土壇である。壇底は平坦で、壁はやや開きながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 4はバンド状の貼付帯を有した深鉢胴部である。

時期 縄文時代中期後半、煉瓦台式土器の時期と考えられる。(立川)

CP-218 (図Ⅱ-491・539-5. 図版Ⅱ-347. 表Ⅵ-4)

位置：S-66

特徴 平面が円形の小型土壇である。壇底は平坦で、壁はやや開きながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 5は貼付帯上に0段多条LRの縄線文が施された深鉢形土器である。

時期 縄文時代中期後半、ノダツブⅡ式土器の時期と考えられる。(立川)

CP-219 (図Ⅱ-491)

位置：T-66

特徴 平面が不整円形の小型の土壇である。壇底は平坦で、壁はやや開きながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

(立川)

CP-220 (図Ⅱ-491・539-6～8. 図版Ⅱ-347. 表Ⅵ-4)

位置：R-67・68、S-67・68

特徴 平面が隅丸長方形の大型土壇である。壇底は平坦で壁は僅かに開きながら立ち上がっており、掘り込み面はⅢ層中である。覆土2・3層は埋戻し土である。土壇墓の可能性ある。

遺物 6は粘土紐の貼付と3列の撚糸と馬蹄形圧痕文の施された小型土器の突起部である。7は口縁の下位に縦転がしの結束羽状縄文が施された口縁部である。8は結束羽状縄文が施された底部である。

時期 縄文時代中期前半、円筒上層b式土器の時期の可能性ある。(皆川)

CP-221 (図Ⅱ-491)

位置：S-67

特徴 平面が円形の土壇である。壇底は大凡平坦で壁は開きながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

(皆川)

CP-222 (欠番)

CP-223（図Ⅱ-491・540-1、2．図版Ⅱ-348．表Ⅵ-4・5）

位置：K-66

特徴 平面が楕円形の土壌である。CH-3と重複し、それよりも新しいと考えられる。壙底は細かな凹凸のあるもので壁は僅かに開きながら立ち上がる。掘り込み面はCH-3覆土中である。礫石器を含む大礫3点が流れ込む状況で出土している。

遺物 1は頸部に撚糸が施された滑石土器の胴部である。2は台石・石皿である。

時期 縄文時代中期の可能性ある。 (皆川)

CP-224（図Ⅱ-492・540-3～6．図版Ⅱ-348．表Ⅵ-4・5）

位置：J-79

平面形：不明 長軸方向：不明

特徴

確認：東側の段丘斜面の標高54.80～55.00mのV層上面で検出した。

調査：J-79区の東側（海側）に面する斜面部の肩付近で、黒色土の落ち込みを確認した。北東-南西方向にセクション面を設定し、南東側の覆土を掘り下げた。東側は斜面下方のため崩落したと考えられる。

覆土：2層に分層したが、主体は1層の黒褐色土である。

特徴：底面は北東に向かって低くなり、盛り上がったような状態である。南西の壁際にある小ピットは木根による可能性が考えられる。

遺物出土状況：覆土？から遺物が数点出土した。

遺物 3は低い突起部に粘土紐の貼付、口縁部に沈線文が施された土器である。4は斜行縄文が施された胴部である。5、6は石鏃である。

時期 縄文時代中期中葉と考えられる。 (佐川)

CP-225（図Ⅱ-492）

位置：S-64

特徴 平面が不整円形の土壌である。壙底は平坦で、掘り込みは浅い。壁はやや開きながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (立川)

CP-226（図Ⅱ-492）

位置：S-64

特徴 平面が不明の土壌である。約半分が調査区外に伸びている。壙底は平坦で、壁は真っ直ぐに立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期の可能性ある。 (立川)

CP-227（図Ⅱ-489・540-7．図版Ⅱ-348．表Ⅵ-4）

位置：R-64・65

特徴 平面形が不明の土壇である。攪乱で半分以上が失われている。壇底は平坦で、壁はやや開きながら立ち上がっているが一部はフラスコ状を呈している。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 7は突起部と口唇部に沈線上の凹みが施された口縁部である。地紋は0段多条RLの斜行縄文である。

時期 縄文時代中期前半の可能性はある。(立川)

CP-228 (図Ⅱ-492・540-8. 図版Ⅱ-348. 表Ⅵ-5)

位置：S-65

特徴 平面が円形の土壇である。壇底は平坦で、壁は真っ直ぐに立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。覆土からは礫石器や礫が出土している。

遺物 8は下端に磨面を有し両側縁に抉りのある扁平打製石器である。

時期 縄文時代中期の可能性はある。(立川)

CP-229 (図Ⅱ-492・540-9. 図版Ⅱ-348. 表Ⅵ-4)

位置：S-64

特徴 平面が円形の土壇である。壇底は平坦で、壁は真っ直ぐに立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 9は地紋上に粘土紐の貼付を施した口縁部である。

時期 縄文時代中期の可能性はある。(立川)

CP-230 (図Ⅱ-493・541-1～12. 図版Ⅰ-105. 図版Ⅱ-349. 表Ⅵ-4・5)

位置：K-63、L-63

特徴 平面が楕円形の大型土壇である。壇底は中央が緩やかに盛り上がるもので、壁は真っ直ぐに立ち上がっている。覆土2層は埋め戻された可能性がある。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 1は貼付帯を有する深鉢である。縦の貼付帯は3個所が施されており、その上にはRLの縄線文が施されている。2は貫通孔と無文の粘土紐の貼付が施された大型の突起部である。3は沈線文の施された滑石土器の口縁部である。4は撚糸Rの絡条体が施された口縁部、5、6はLRの縄線文が施された口縁部である。7は沈線で円のような文様が施された胴部、8、9は小型土器の底部である。10～12は表背面に光沢部を有したスクレイパーである。

時期 縄文時代中期後半、大安在B式土器(新手)の時期と考えられる。(皆川)

CP-231 (図Ⅱ-493・540-10～15. 図版Ⅰ-105. 図版Ⅱ-349. 表Ⅵ-4・5)

位置：H-69, I-69

平面形：楕円形 長軸方向：北-南

特徴

確認：CH-67の覆土を調査中に床面近くで遺構の輪郭を確認した。

調査：CH-67の調査終了後、Iラインで土層断面の写真撮影、実測を終了した。

覆土：6層に分層した。1, 2, 4層はいずれも暗褐色土である。3層はにぶい黄褐色土、4層に比べてロームブロックの混入割合が多い。5層は黒褐色土である。6層は黒色土で底面に堆積した薄層である。

特徴：CH-67の確認面からの深さは1 mを超えている。壁の立ち上がりは全周ともに急である。

遺物出土状況：底面から遺物は出土していない。

遺物 10は口唇部に2本の撚糸による刻みが施された口縁部である。11は口唇部に沈線のような深いLRの縄線文が施された口縁部である。12は管状の施文具による刺突文が施されている口縁部である。13は折り返しのある口縁部、14は底部である。15は表背面に光沢部があるスクレイパーで、下側縁を使用している。

時期 CP-231の覆土の上にCH-67が構築されていることからCH-67より古い。縄文時代中期後半と考えられる。（佐川）

CP-232（図Ⅱ-493・542-1～7・543-1～5．図版Ⅰ-106．図版Ⅱ-350．表Ⅵ-4・5）

位置：I-68・69

平面形：不整楕円形 **長軸方向**：北東-南西

特徴

確認：CH-82の覆土を掘り下げ中、I-68区の南側で検出した。

調査：69ラインに設定したセクションベルトの北側で、楕円形を呈する遺構の輪郭を確認した。CH-82の覆土を掘り込んでいることから、これよりも新しい時期である。69ラインより南側のプランについては、すでに掘り下げてしまったため確認できなかった。

覆土：4層に分層した。2, 3層はレンズ状に堆積する。

特徴 底面はCH-82の床面より若干上位にあると考えられる。

遺物出土状況 底面の北東及び北西の壁際で、土器のまとまりが2個体出土した。壁面に潜り込むような状態で出土したことから本遺構に伴うかどうかは不明である。底面の東側はCH-82の地床炉（HF-10）の上面に位置する。

遺物 542-1～3（以下「542-」を除く）は口唇部に沈線状の凹みが施された土器である。1は突起部3個所を有している。4は底部である。5は極めて低い山形突起を有する口縁部、6、7は胴部である。

543-1（以下「543-」を除く）は口唇部に横からの刺突文、口縁部に沈線文が施されている。2は口唇部にRLRの縄線文が施された口縁部、3はLRの縄線文が施された口縁部、4は撚糸Rの絡条体が施された胴部である。5は縦長剥片お使用したUフレイクである。

時期 縄文時代中期の可能性がある。（佐川）

CP-233（図Ⅱ-493）

位置：L-62

特徴 平面が不整円形の土壌である。壙底は丸く、壁は開きながら立ち上がっている。覆土は流れ込みと考えられる。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。（皆川）

CP-234（図Ⅱ-494・543-6．図版Ⅱ-352．表Ⅵ-4）

位置：K-62

特徴 平面が不整形の土壌である。壙底は比較的平坦で、掘りが浅い。覆土は流れ込みと考えられる。

掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 6は頸部に沈線文と右横からの刺突文が施された口縁部である。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。 (皆川)

CP-235 (図Ⅱ-494)

位置 : Q-71・72

特徴 平面形が不明の土壌である。CH-54と重複している。壙底は平坦で、壁はやや開きながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。近接してCF-112が検出されている。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (立川)

CP-236 (図Ⅱ-494)

位置 : K-67

特徴 平面が楕円形と考えられる土壌である。CH-3と重複しそれよりも新しい。壙底は僅かに傾斜しており、壁は開きながら立ち上がっている。覆土は流れ込みと考えられる。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-237 (図Ⅱ-494・543-7. 図版Ⅰ-106. 図版Ⅱ-352. 表Ⅵ-5)

位置 : J-65

特徴 平面が不整楕円形の土壌である。壙底は僅かに傾斜しており、壁は開きながら立ち上がっている。覆土は埋め戻されており、壙底近くからは図示した礫石器が出土している。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 7は下端に磨面のある扁平打製石器である。左右の側縁に軽微な抉りを有している。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-238 (図Ⅱ-494・543-8～10. 図版Ⅰ-106. 図版Ⅱ-352. 表Ⅵ-4・5)

位置 : J-65

特徴 平面が円形と考えられる土壌である。CH-92と重複しそれよりも新しい。壙底は平坦で、壁は真っ直ぐに立ち上がっている。覆土は埋め戻されており、壙底からは図示した礫石器が出土している。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 8はLRの縄線文が施された口縁部、9は刺突文のある貼付帯が施された土器の頸部で器面には縦の条痕も施されている。10は長軸の両端を使用したたたき石である。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。 (皆川)

CP-239 (図Ⅱ-494)

位置 : S-68

特徴 平面が不整楕円形の小型の土壌である。CP-189を切って掘り込まれている。壙底は平坦で、壁はやや開きながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（立川）

CP-240（図Ⅱ-494）

位置：S-69、T-69

特徴 平面が不整楕円形の小型の土壙である。壙底は平坦で、壁はやや開きながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（立川）

CP-241（図Ⅱ-495）

位置：Q-70

特徴 平面が不整楕円形の小型の土壙である。壙底は丸く、壁はやや開きながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（立川）

CP-242（図Ⅱ-495・543-11. 図版Ⅱ-352. 表Ⅵ-4）

位置：Q-69

特徴 平面が不整楕円形の小型の土壙である。壙底は丸く、壁はやや開きながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 11は折り返しのある口縁部である。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。

（立川）

CP-243（欠番）

CP-244（図Ⅱ-495・544-1～14. 図版Ⅰ-106. 図版Ⅱ-351・352. 表Ⅵ-4・5）

位置：J-69・70

特徴 大型のフラスコ状ピットである。CH-88と重複し、それよりも古い可能性がある。壙底からはピット（P-1）が検出されている。P-1は壙底中央付近に位置し、平面が円形で非常に浅い。覆土中には焼土と炭化物が混入していた。覆土1～3層は埋め戻された土で、覆土2層中からは1の一括土器が出土している。他は流れ込みと考えられる。

遺物 1は口縁部に貼付帯、胴部に沈線文が施された大型の滑石土器である。口縁部は無文で、口唇と貼付帯上には棒状の施文具による右横からの刺突文が施されている。地紋はLRの原体を縦に転がした縄文である。2、3は口唇部に縄の刻み、器面に沈線文が施された口縁部である。4、5も口縁部で、4の器面には粘土紐の貼付の痕跡が認められる。6は貫通孔と粘土紐の貼付が施された突起部である。7、8は沈線文と撚糸Rの絡条体が施された口縁部と胴部である。9、10は小型土器の底部で、9の器面にはLRの縄線文が回らされている。

11は石錐、12は破損した北海道式石冠、13は扁平打製石器、14は主に右側縁を使用したすり石である。14の表面には筋状の磨り痕も見られる。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。 (皆川)

CP-245 (図Ⅱ-495・543-12. 図版Ⅱ-352. 表Ⅵ-4)

位置：K-63、L-63

特徴 平面が楕円形の土壌である。CF-142の下位から検出された。壙底は平坦で、壁は真っ直ぐに立ち上がっている。覆土は埋め戻されており、掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 12は突起部に貼付の痕跡が見られる口縁部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-246 (図Ⅱ-495・543-13. 図版Ⅱ-352. 表Ⅵ-4)

位置：S-64

特徴 平面が不整円形の小型の土壌である。壙底は平坦で、壁はおおよそ真っ直ぐに立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。柱穴の可能性はある。

遺物 13は口唇断面が切り出し形の口縁部である。

時期 縄文時代中期の可能性はある。 (立川)

CP-247 (図Ⅱ-497)

位置：S-65

特徴 平面が不整円形の土壌である。CSP-67と重複する。壙底は平坦で、壁はやや開きながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期の可能性はある。 (立川)

CP-248 (図Ⅱ-496)

位置：S-67

特徴 平面が不整形の小型の土壌である。壙底は丸く、壁はやや開きながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期の可能性はある。 (立川)

CP-249 (図Ⅱ-496)

位置：S-67

特徴 平面が不整形の小型の土壌である。壙底は丸く、壁はやや開きながら立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期の可能性はある。 (立川)

CP-250 (図Ⅱ-496)

位置：S-65・66

特徴 平面が不整形の小型の土壌である。壙底は丸く、壁はやや開きながら立ち上がっている。掘り

込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期の可能性がある。 (立川)

CP-251 (図Ⅱ-496)

位置：T-65

特徴 平面が円形と考えられる小型の土壙である。壙底は平坦で、壁はほぼ真っ直ぐに立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。柱穴の可能性もある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期の可能性がある。 (立川)

CP-252 (図Ⅱ-496)

位置：S-72

特徴 平面が円形と考えられる小型の土壙である。壙底は平坦で、壁はほぼ真っ直ぐに立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。柱穴の可能性もある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期の可能性がある。 (立川)

CP-253 (図Ⅱ-496)

位置：S-71

特徴 平面が円形の小型の土壙である。壙底は平坦で、壁はほぼ真っ直ぐに立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。柱穴の可能性もある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期の可能性がある。 (立川)

CP-254 (図Ⅱ-496)

位置：S-71・72

特徴 平面が円形の小型の土壙である。壙底は平坦で、壁はほぼ真っ直ぐに立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。柱穴の可能性もある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期の可能性がある。 (立川)

CP-255 (図Ⅱ-496)

位置：S-65、T-65

特徴 平面が不整円形の小型の土壙である。壙底は平坦で、壁はほぼ真っ直ぐに立ち上がっている。掘り込み面はⅢ層中である。柱穴の可能性もある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期の可能性がある。 (立川)

CP-256 (図II-497・543-14. 図版I-107. 図版II-352. 表VI-5)

位置：I-67

特徴 平面が円形の中型土壌である。CF-149の下位から検出された。壙底は平坦で断面形がフラスコ状である。覆土は埋め戻されており、掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 14は台石・石皿である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-257 (図II-497・545-1、2. 図版II-353. 表VI-4・5)

位置：I-67・68

特徴 平面が不整円形の中型土壌である。CF-150の下位から検出された。壙底は平坦で、壁は真っ直ぐに立ち上がっている。覆土は埋め戻されており、掘り込み面はⅢ層中である。覆土2層中央付近で大礫が出土している。

遺物 1は沈線文の施された胴部である。2は表面の右側縁に剥離を施したスクレイパーである。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-258 (図II-497)

位置：I-67・68、J-67・68

特徴 平面が不整円形の土壌である。壙底は平坦で、壁は広がりながら立ち上がっている。覆土2層は埋め戻されており、掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-259 (図II-497)

位置：I-67・68

特徴 平面が不整円形の中型土壌である。壙底は平坦で、壁は真っ直ぐに立ち上がっている。覆土の上位に遺棄された焼土(F-1)が検出されている。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-260 (図II-497)

位置：J-69

特徴 平面が不整円形と考えられる土壌である。CH-11と重複しそれよりも新しい。壙底は平坦で、壁は真っ直ぐに立ち上がっている。覆土は埋め戻されており、掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CP-261 (図II-497・545-3. 図版II-352. 表VI-4)

位置：J-69

特徴 平面が不明の土壌である。CH-11と重複しそれよりも新しい。壙底は平坦で、壁は緩やかに立ち上がっている。覆土は埋め戻されており、掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 3はRLの縄文が施された器壁の薄い小型土器の胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CP-262（図Ⅱ-497・545-4．図版Ⅱ-352．表Ⅵ-4）

位置：L-63

特徴 平面が円形の土壙である。壙底は丸く、壁は僅かに開きながら立ち上がっている。覆土2層は埋め戻されており、掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 4は条が横になる縄文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CP-263（図Ⅱ-498．図版Ⅰ-107）

位置：J-69

特徴 平面が不整円形の土壙である。2基の土壙が上下に重なって検出された。上位の方は壙底が平坦で浅く、壙底北側に棒状のものを突き立てたような小ピット2基を伴っており、また壙底中央からは薄い焼土が検出されている。覆土は埋戻し土で、掘り込み面はCH-88床面の可能性が高い。上段の土壙の形態は住居跡に伴う所謂「先端ピット」に類似する。

下位の土壙は壙底が丸く壁はやや広がりながら立ち上がるもので、上位土壙の壙底から掘り込まれたもので、やはり埋め戻されている。遺跡内では炉址の下位に土壙が作られる類例があり、上位土壙の焼土はこちらに伴う可能性もある。

近接するCH-80HF-1はこのCP-263と良く似た特徴を有しており、関連する可能性が高い。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CP-264（図Ⅱ-498・545-5～14．図版107．図版Ⅱ-354．表Ⅵ-4・5）

位置：K-64、L-64

特徴 大型のフラスコ状ピットである。壙底中央からは皿状のピットが検出されている。ピットの覆土には二次堆積の焼土が入っており、その周辺には炭化物の集中2ヵ所が検出されている。覆土は早い段階で充填されたと考えられ、1～5層は埋め戻された土の可能性が高い。遺物は壙底付近で多く大型礫石器を含む大礫5点、礫10点、Ⅲ群a類土器などが出土している。壙底の焼土や炭化物集中、大型の礫石器などの検出状況から、フラスコ状ピットを転用した土壙墓の可能性もある。

遺物 5は口唇部に縄の刻みが施された小型土器である。6は突起部に向かう途中の口縁部である。7は粘土紐と縄線文が施された突起部である。8は斜行縄文の施された胴部、9は沈線文が施された器壁の厚い胴部である。

10はスクレイパー、11はUフレイクである。12、13は扁平打製石器である。12は表面の一部に敲打による整形が施されている。14は台石・石皿である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。

（皆川）

CP-265（図Ⅱ-499・546-1、2．図版Ⅰ-108．図版Ⅱ-353．表Ⅵ-4）

位置：K-63・64

特徴 平面が不整の楕円形を呈す大型の土壙である。CP-270と重複し、それよりも新しいと考えら

れる。壙底は平坦で壁はやや広がりながら立ち上がっている。覆土は埋め戻されている可能性が高い。掘り込み面はⅢ層中のCP-270正面である。

遺物 1は斜行縄文の施された胴部、2は小型土器の底部である。。

時期 縄文時代中期前半の可能性はある。(皆川)

CP-266 (図Ⅱ-498・546-3. 図版Ⅱ-353. 表Ⅵ-4)

位置 : J-68

特徴 平面が不整の楕円形と推定される土壌である。CH-84と重複し、それよりも新しいと考えられる。壙底は平坦で壁は広がりながら立ち上がっている。覆土は埋め戻されている可能性がある。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 3は無文の粘土紐の貼付が施された口縁部である。

時期 縄文時代中期前半の可能性はある。(皆川)

CP-267 (図Ⅱ-498・546-4. 図版Ⅱ-353. 表Ⅵ-4)

位置 : J-66

特徴 平面形が不明の土壌である。CH-70と重複しそれよりも新しいと考えられる。壙底は細かな凹凸を伴う平坦なもので壁はやや広がりながら立ち上がっている。覆土は埋め戻されている可能性がある。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 4は沈線文の施された胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。(皆川)

CP-268 (図Ⅱ-499・546-5. 図版Ⅰ-108. 図版Ⅱ-353. 表Ⅵ-5)

位置 : J-68、K-68

特徴 平面形が不整楕円形と想定される土壌である。CP-271と重複しそれよりも新しい。壙底は細かな凹凸や小ピットを伴うもので壁はやや広がりながら立ち上がっている。覆土は埋め戻されていると考えられる。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 5は黒曜石製の両面加工のスクレイパーである。

時期 縄文時代中期と考えられる。(皆川)

CP-269 (図Ⅱ-499)

位置 : K-65

特徴 平面形が不整円形の土壌である。CH-87と重複しそれよりも新しい。壙底は平坦で壁は広がりながら立ち上がっている。覆土は流れ込みと考えられる。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。(皆川)

CP-270 (図Ⅱ-499. 図版Ⅰ-108)

位置 : K-63・64

特徴 平面が不整の楕円形を呈す大型の土壌である。CP-265と重複し、それよりも古いと考えられる。壙底は平坦で壁はやや広がりながら立ち上がっている。覆土は埋め戻されている可能性が高い。掘り

込み面はⅢ層中で、CP-265は真上に構築されている。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CP-271（図Ⅱ-500・546-6～9．図版Ⅰ-108．図版Ⅱ-353．表Ⅵ-4）

位置：K-68

特徴 平面が不整楕円形と想定される土壌である。CP-268と重複しそれよりも古い。またCH-84とも重複するが先後は不明である。壙底は細かな凹凸を伴う傾斜したもので壁はやや広がりながら立ち上がっている。覆土は流れ込みと考えられる。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 6は器壁の厚い口唇部に太いLRの縄の刻みが施された口縁部で、器面には曲線的な沈線文も施されている。7、9はLRの縄線文が施された胴部である。8は突起部を有した口縁部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CP-272（図Ⅱ-500・546-10～15．図版Ⅰ-108．図版Ⅱ-353．表Ⅵ-4・5）

位置：J-69

特徴 平面形が不明の比較的大型の土壌である。CH-10・84・88と重複し先後は不明である。壙底は平坦で壁はやや広がりながら立ち上がっている。覆土は埋め戻されている可能性が高い。掘り込み面はⅢ層中である。覆土1層から一括土器と細かく破砕された北海道式石冠が出土している。

遺物 10はLRの縄を縦に転がして施文した小型の深鉢である11は口唇直下にLRの縄で縄線文が施されている。12～14は底部で、12、13は小型土器のものである。15は細かく破砕して出土したものを復元した北海道式石冠である。ほぼ全てのパーツが揃っていた。

時期 縄文時代中期後半、大安在B式土器（新手）の時期と考えられる。

（皆川）

CP-273（図Ⅱ-500・546-16．図版Ⅱ-354．表Ⅵ-4）

位置：J-67・68

特徴 平面形が不明の土壌である。CH-91と重複し、先後は不明である。壙底は比較的平坦で壁は広がりながら立ち上がっている。覆土は流れ込みと考えられる。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 16は貼付帯上に太い棒状施文具で横からの刺突文が施された口縁部である。

時期 縄文時代中期後半、煉瓦台式土器の時期と考えられる。

（皆川）

CP-274（図Ⅱ-500）

位置：L-61

特徴 平面が不整楕円形の土壌である。壙底は細かな凹凸を伴う傾斜したもので壁はやや広がりながら立ち上がっている。覆土は流れ込みと考えられる。掘り込み面はⅢ層中である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CP-275（図Ⅱ-500）

位置：M-67、N-67

特徴 平面形が隅丸長方形の大型土壌である。CH-5と重複しそれよりも新しい。壙底は平坦で壁は

真っ直ぐ気味に立ち上がっている。覆土は埋め戻されており、掘り込み面はⅢ層中である。土壙墓の可能性が高い。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

(皆川)

3 焼土

CF-1（図Ⅱ-547）

位置 M-63

特徴 Ⅲ層で検出された二次堆積と考えられる焼土である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（新家）

CF-2（図Ⅱ-547・570-1. 図版Ⅱ-355. 表Ⅵ-4）

位置 K-68

特徴

平面形態 不整形。

確認 C地区北側の段丘平坦面の標高56.60mのⅢ層中位で検出した。

概要 極暗赤褐色土の広がりを確認した。土層の確認を行うためトレンチ調査した。1層は炭化物を含み、変色した土壌と周囲の土壌との境界は不明瞭である。このことから、その場で形成されたものとする。

遺物出土状況 1層と周囲のⅢ層から出土している。

遺物 1は縄文の施された胴部である。

時期 周辺の遺構及び遺物から、縄文時代中期前半のⅢ群a類期または後期前葉のⅣ群a類期に所属する。

（佐藤）

CF-3（図Ⅱ-547・570-2. 図版Ⅱ-355. 表Ⅵ-5）

位置：L-67

特徴

平面形態 不整形。

確認 C地区北側の段丘平坦面の標高56.40mのⅢ層中位で検出した。

概要 極暗赤褐色土の広がりを確認した。土層の確認を行うためトレンチ調査した。1層は炭化物を含み、変色した土壌と周囲の土壌との境界は不明瞭である。このことから、その場で形成されたものとする。

遺物出土状況 1層と周囲のⅢ層から出土している。

遺物 2はすり石である。

時期 周辺の遺構及び遺物から、縄文時代中期前半のⅢ群a類期または後期前葉のⅣ群a類期に所属する。

（佐藤）

CF-4（図Ⅱ-547）

位置：N-63

特徴 Ⅲ層で検出された二次堆積と考えられる焼土である。遺物は出土していない。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CF-5 (図II-547・570-3～5, 図版II-355, 表VI-4)

位置：L-63・64、M-63・64

特徴 III層で検出された焼土である。焼土中からは微量の炭化物と骨粉が検出されている。二次堆積の可能性もある。近接してCP-8が検出されており関連する可能性がある。

遺物 3は0段多条RLの縄文が施された胴部、4は型押し文の施されたI群a類日計式土器の胴部である。5は底部である。

時期 縄文時代中期前半の可能性はある。(皆川)

CF-6 (図II-547)

位置：M-63

特徴 III層で検出された小型の焼土である。赤化は鮮明であるが二次堆積の可能性はある。伴う遺物はない。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。(皆川)

CF-7 (図II-547)

位置：M-63

特徴 IV層上面で検出された小型の焼土である。攪乱を受けており、二次堆積の可能性もある。伴う遺物はない。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。(皆川)

CF-8 (図II-547)

位置：M-66

特徴 III層で検出された小型の焼土である。赤化が弱く二次堆積の可能性はある。伴う遺物はない。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。(皆川)

CF-9 (図II-547)

位置：M-66

特徴 III層で検出された大型の焼土である。赤化は鮮明であるが二次堆積の可能性もある。近接してCP-2が検出されており関連する可能性がある。伴う遺物はない。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。(皆川)

CF-10 (図II-548)

位置：M-66、N-66

特徴 III層で検出された大型の焼土である。赤化は弱く二次堆積の可能性はある。近接してCP-8が検出されており関連する可能性がある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-11 (図Ⅱ-548)

位置：N-66

特徴 Ⅲ層で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積の可能性がある。伴う遺物はない。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-12 (図Ⅱ-548)

位置：M-67

特徴 Ⅲ層で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積の可能性がある。伴う遺物はない。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-13 (図Ⅱ-548・570-6、7. 図版Ⅱ-355. 表Ⅵ-4)

位置：M-67

特徴 Ⅲ層で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積の可能性もある。下位からCP-43が検出されており関連する可能性がある。

遺物 6は沈線文が施された胴部、7は縄文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-14 (図Ⅱ-548・570-8. 図版Ⅱ-355. 表Ⅵ-4)

位置：N-66

特徴 Ⅲ層で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積の可能性がある。

遺物 8は口唇に粘土紐の貼付が施された口縁部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-15 (図Ⅱ-548)

位置：L-66

特徴 Ⅲ層で検出された焼土である。赤化は強くこの場で生成された可能性がある。焼土の北西側はCH-2の掘り込みで欠失している。伴う遺物はない。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-16 (図Ⅱ-548・570-9～21. 図版Ⅱ-355. 表Ⅳ-4・5)

位置：L-67、M-64

特徴 CH-1覆土1層下位で検出された石囲いを伴う焼土である。西側に近接して一括遺物が検出されている。埋没中の廃棄された竪穴跡の窪地に石囲い炉を中心とした簡易な居住地が設けられていたと考えられる。

遺物 9、10は条が横になるLRの縄文が施された口縁部である11～14は胴部で、14の貼付帯上には

管状の施文具で横からの刺突が施されている。15は大木9式土器の胴部である。16は小型土器の底部である。17は図示した位置から出土した頸部が括れ胴が張り出す深鉢形土器である。18は石錐、19～21は炉石に使われていたたたき石である。

時期 縄文時代中期後半、大安在B式土器（新手）の時期と考えられる。（皆川）

CF-17（図Ⅱ-548、図版Ⅰ-109）

位置：N-65

特徴 Ⅲ層で検出された焼土である。赤化は比較的強くこの場で生成された可能性がある。焼土中からは被熱で酸化した大小の粘土塊が多数検出されている。粘土塊中には焼けて白く変色した無数の海綿骨針が認められた。粘土塊の用途、目的は不明である。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。（皆川）

CF-18（図Ⅱ-549・570-22、23、図版Ⅰ-109、図版Ⅱ-355、表Ⅵ-4）

位置：N-65

特徴 CP-14覆土2層上位で検出された焼土である。赤化は強くこの場で生成された可能性が高い。近接してCP-13が検出されており、これと関連する可能性がある。

遺物 22は口唇に沈線のような深い縄線文が施された口縁部、23は縄文の施された器壁の厚い胴部である。

時期 縄文時代中期前半の可能性もある。（皆川）

CF-19（図Ⅱ-549、図版Ⅰ-109）

位置：M-65

特徴 CH-2覆土2層で検出された焼土である。赤化は比較的強くこの場で生成されたと考えられる。焼土からは炭化物と細かい動物遺体が検出されている。廃棄された埋没中の堅穴跡を利用した簡易な居住地の地床炉の可能性もある。少し離れたCP-10とは検出面を同じくする。同時期のものと考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。（皆川）

CF-20（図Ⅱ-549・571-1～9、図版Ⅱ-356、表Ⅵ-4・5）

位置：N-66・67

特徴 CH-8覆土中で検出された焼土である。赤化は比較的強くこの場で生成されたと考えられる。廃棄された埋没中の堅穴跡を利用した簡易な居住地の地床炉の可能性もある。

遺物 1は折り返しのある口縁、2は滑石土器の口縁部である。3、4、6～8は胴部である。4、8は比較的太い沈線文が施されている。7の地紋は撚糸Rの絡条体である。5は小型土器の胴～底部である。9は比較的大型の石斧である。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。（皆川）

CF-21（図Ⅱ-549・571-22～24. 図版Ⅱ-356. 表Ⅵ-4）

位置：O-64

特徴 CH-4覆土3層上位で検出された石組みを伴う焼土である。廃棄された埋没中の竪穴跡を利用した居住地の石囲い炉と考えられる。石組みの平面は円形で、炉石は大きめの円礫や角礫が用いられているが、全体的に統一性を欠く。少し離れたCP-11と関連する可能性が高い。

遺物 22、23は0段多条の縄文が施された胴部、24は小型土器の底部である。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。（皆川）

CF-22（図Ⅱ-549・571-11～14. 図版Ⅱ-356. 表Ⅵ-4）

位置：N-64、O-64

特徴 CH-4覆土4層上位で検出された焼土である。赤化は強いものの二次堆積と考えられる。

遺物 11はLRの縄線文2条が施される口縁部である。12～14は胴部である。13は沈線文、14には沈線と刺突文が施されている。13は滑石土器である。

時期 縄文時代中期と考えられる。（皆川）

CF-23（図Ⅱ-549・571-15. 図版Ⅱ-356. 表Ⅵ-4）

位置：N-64

特徴 CH-4覆土4層上位で検出された焼土である。赤化は強いものの二次堆積と考えられる。

遺物 15は沈線文の施された胴部である。

時期 縄文時代中期前半の可能性はある。（皆川）

CF-24（図Ⅱ-549）

位置：P-62・63

特徴 CH-6の浅い竪穴に伴う石囲い炉である。石組みの平面は円形と推定され、炉石は大きめの円礫や角礫が用いられているが、全体的に統一性を欠く。近接するCF-27、CP-31と共にCH-6の床面遺構を構成すると考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。（皆川）

CF-25（図Ⅱ-549. 図版Ⅰ-109）

位置：N-65

特徴 CP-14覆土の上位に検出された焼土である。赤化は強いものの二次堆積と考えられる。土壌墓のCP-14に伴う焼土と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。（皆川）

CF-26（図Ⅱ-549）

位置：O-63、P-63

特徴 Ⅲ層中で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積の可能性はある。遺物はない。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-27 (図II-549)

位置：P-63

特徴 CH-6の浅い堅穴に伴う焼土である。赤化は弱く二次堆積の可能性もある。近接するCF-24、CP-31と共にCH-6の床面遺構を構成すると考えられ、下位から検出されたCP-31に伴う焼土と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。 (皆川)

CF-28 (図II-550・571-16. 図版II-356. 表VI-4)

位置：O-62・63

特徴 III層中で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 16は撚糸Rの地紋の上に沈線文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期後半の可能性はある。 (皆川)

CF-29 (図II-550)

位置：O-65、P-65・66

特徴 III層中で検出された焼土である。赤化は強いが二次堆積と考えられる。III層の凹みに遺棄された可能性がある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-30 (図II-550・571-17、18. 図版II-356. 表VI-4・5)

位置：O-66

特徴 III層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱いがこの場で生成された可能性がある。

遺物 17は羽状縄文が施された胴部である。18はRフレイクである。

時期 縄文時代中期前半の可能性はある。 (皆川)

CF-31 (図II-550・571-19～21. 図版II-356. 表VI-4・5)

位置：O-66

特徴 III層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 19は折り返しのある口縁部、20は滑石土器の口縁部である。21は表背面に光沢部があるスクレイパーである。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-32 (図II-550)

位置：O-67、P-67

特徴 III層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-33 (図Ⅱ-550)

位置：O-66

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-34 (図Ⅱ-550)

位置：L-70

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の焼土である。赤化は強くこの場で生成された可能性がある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-35 (図Ⅱ-550)

位置：L-70

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-36 (図Ⅱ-550. 図版Ⅰ-110)

位置：L-69

特徴 Ⅲ層中で検出された大型の焼土である。赤化は強くこの場で生成されたと考えられ、簡易な住居状遺構の地床炉の可能性が高い。周辺からは多数のCSPが検出されており、これらと関わる可能性もある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-37 (図Ⅱ-550)

位置：K-72

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の焼土である。この場で生成された可能性もある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-38 (図Ⅱ-550)

位置：J-72

特徴 Ⅲ層中で検出された焼土である。赤化は強くこの場で生成されたと考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-39 (図Ⅱ-550)

位置：J-73

特徴 III層中で検出された大型の焼土である。赤化は強くこの場で生成されたと考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-40 (図Ⅱ-551)

位置：J-73

特徴 III層中で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。CH-18よりも新しい。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-41 (図Ⅱ-551・572-1～4, 図版Ⅰ-109, 図版Ⅱ-357, 表Ⅵ-4)

位置：L-70・71

特徴 III層中で検出された大型の焼土である。赤化は強くこの場で生成されたと考えられる。図示した位置から一括土器が出土している。近接するCP-54と関連する可能性がある。

遺物 1は0段多条の縄による結束羽状縄文の上に浮線状の粘土紐の貼付が施された深鉢形土器である。突起部には二つ並んだ貫通孔が施されており、左隣の突起部には馬蹄形圧痕文が施されている。2は地紋上に粘土紐の貼付を施した口縁部である。3は無地の器面に粘土紐と2列の撚糸を施した胴部である。4は綾絡文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期前半、サイベ沢Ⅶa式土器の時期と考えられる。 (皆川)

CF-42 (図Ⅱ-551・573-1～7, 図版Ⅱ-358, 表Ⅵ-4)

位置：L-71

特徴 III層中で検出された焼土である。赤化は強くこの場で生成された可能性がある。

遺物 1は器面に沈線文、口唇部に縄の刻みが施された口縁部である。2～5は胴部で、2の地紋の上には粘土紐の貼付が施されている。5にはLRの縄線文が施されている。6、7は底部である。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。 (皆川)

CF-43 (図Ⅱ-551)

位置：L-71

特徴 III層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-44 (図Ⅱ-551・572-5～7, 図版Ⅱ-357, 表Ⅵ-4)

位置：K-73、L-73

特徴 III層中で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積の可能性はある。

遺物 5は文様帯に粘土紐の貼付と3列の撚糸と馬蹄形圧痕文が施された口縁部である。6は結束羽状縄文が施された胴部である。7は底部に近い胴部で無文の範囲が大きい。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CF-45（図Ⅱ-551・573-8～14. 図版Ⅱ-358. 表Ⅵ-4・5）

位置：L-72・73

特徴 Ⅲ層中で検出された大型の焼土である。赤化は強くこの場で生成されたと考えられる。近接して大型の扁平礫が検出されており炉石あるいは反射石と考えられる。簡易な住居状遺構の炉跡の可能性はある。

遺物 8は口唇直下に1本の粘土紐が施された小型土器の口縁部である。9は細い粘土紐の貼付が施された突起部。10、11は胴部で10の器面には馬蹄形圧痕文が施されている。12、13は底部である。14は表背面に光沢部があるスクレイパーである。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CF-46（図Ⅱ-551・573-15. 図版Ⅱ-358. 表Ⅵ-5）

位置：M-70

特徴 Ⅲ層中で検出された大型の焼土である。並んだ二ヵ所の焼土からなっており、両方とも赤化が強くこの場で生成されたと考えられる。

遺物 15は北海道式石冠である。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CF-47（図Ⅱ-552）

位置：O-70

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。近接してCP-59・60などが検出されており関連する可能性がある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CF-48（図Ⅱ-552）

位置：O-70

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の焼土である。赤化は比較的強くこの場で生成された可能性がある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CF-49（図Ⅱ-552）

位置：O-70

特徴 Ⅲ層中で検出された大型の焼土である。赤化は強くこの場で生成されたと考えられる。近接してCP-63検出されており関連するものと考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CF-50 (図Ⅱ-552・573-16. 図版Ⅱ-358. 表Ⅵ-4)

位置：N-70、O-70

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。近接してCP-59・60が検出されており関連する可能性がある。

遺物 16は綾絡文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。(皆川)

CF-51 (図Ⅱ-552)

位置：P-70

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。近接した同一面にCS-3が検出されており関連する可能性がある。CH-20との先後は明確でない。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。(皆川)

CF-52 (図Ⅱ-552)

位置：L-74

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。(皆川)

CF-53 (図Ⅱ-552)

位置：M-74、N-74

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。焼土の西側は包含層調査で失われている。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。(皆川)

CF-54 (図Ⅱ-552・573-17. 図版Ⅱ-358. 表Ⅵ-4)

位置：M-74

特徴 Ⅲ層中で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられるが近接して、炉石あるいは反射石と見なしうる大型の台石・石皿が検出されており野外炉の可能性もある。

遺物 17は羽状縄文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。(皆川)

CF-55 (図Ⅱ-552・573-18. 図版Ⅱ-358. 表Ⅵ-5)

位置：O-68、P-68

特徴 Ⅲ層下位で検出された焼土である。風倒木の影響で本来の形状を保っていないと考えられる。赤化は強くこの場で生成された可能性が高い。

遺物 18は表面の周縁に加工を施しているスクレイパーである。表背面には光沢部がある。

時期 縄文時代中期と考えられる。(皆川)

CF-56（図Ⅱ-552）

位置：O-62

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の焼土である。赤化は強くこの場で生成された可能性がある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-57（図Ⅱ-552・573-19. 図版Ⅱ-358. 表Ⅵ-5）

位置：P-68

特徴 Ⅲ層中で検出された焼土である。赤化は強くこの場で生成されたと考えられる。近接して西側に大小の礫が並べられたものが検出されており炉石あるいは反射石と考えられる。廃棄されたCH-35の凹みを利用した簡易な住居状遺構の炉跡の可能性がある。

遺物 19は炉石に使用されていた扁平礫素材の扁平打製石器である。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。 (皆川)

CF-58（図Ⅱ-553・574-1～3. 図版Ⅱ-359. 表Ⅵ-4）

位置：P-68

特徴 Ⅲ層中で検出された大型の焼土である。赤化は強くこの場で生成されたと考えられる。

遺物 1は口唇に沈線状の凹みが施された口縁部である2、3は縄文の施された胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-59（図Ⅱ-553）

位置：P-68

特徴 CH-21覆土2層上位で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-60（図Ⅱ-553）

位置：M-79、N-79

特徴 CH-21覆土1層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-61（図Ⅱ-553）

位置：N-68、O-68

特徴 CH-16覆土中で検出された焼土である。赤化は強いが二次堆積の可能性が高い。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-62（図Ⅱ-553）

位置：O-68

特徴 CH-16覆土中で検出された小型の焼土である。赤化は強いが二次堆積の可能性が高い。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-63 (図Ⅱ-553・574-4. 図版Ⅰ-110. 図版Ⅱ-359. 表Ⅵ-5)

位置 : N-73

特徴 Ⅲ層中で検出された焼土である。赤化は強くこの場で生成されたと考えられる。図示したように焼土の縁に沿って炉石と考えられる大型礫3点が検出されており。簡易な住居状遺構の石囲い炉の可能性はある。

遺物 4は炉石に使用されていた台石・石皿である。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。 (皆川)

CF-64 (図Ⅱ-553・574-5～7. 図版Ⅱ-359. 表Ⅵ-4・5)

位置 : N-81

特徴 CH-23の堅穴内攪乱から検出された焼土である。赤化は比較的強いが二次堆積と考えられる。

遺物 5は口唇に縄の刻みが施された口縁部、6は沈線文の施された小型土器の胴部である。7はスクレイパーの尖頭部を使った石錐である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-65 (図Ⅱ-553)

位置 : N-75

特徴 Ⅲ層中で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-66 (図Ⅱ-553)

位置 : M-75、N-75

特徴 Ⅲ層中で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-67 (図Ⅱ-553)

位置 : N-75

特徴 Ⅲ層中で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-68 (図Ⅱ-553・574-8. 図版Ⅱ-359. 表Ⅵ-4)

位置 : O-76

特徴 Ⅲ層中で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 8は結束羽状縄文が施された突起部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-69 (図Ⅱ-553・574-9. 図版Ⅱ-359. 表Ⅵ-5)

位置 : O-76

特徴 Ⅲ層中で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 9は両面加工のポイントあるいはナイフである。背面に未加工部が見られることから未製品の可能性がある。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-70 (図Ⅱ-554)

位置 : O-76

特徴 Ⅲ層中で検出された大型の焼土である。赤化は強くこの場で生成されたと考えられる。CH-26よりも新しい。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-71 (図Ⅱ-554・574-10. 図版Ⅰ-110. 図版Ⅱ-359. 表Ⅵ-4)

位置 : N-77、O-77

特徴 Ⅲ層中で検出された大型の焼土である。赤化は強くこの場で生成されたと考えられる。CP-70よりも新しい。かつ、関連する可能性がある。

遺物 10は羽状縄文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-72 (図Ⅱ-554)

位置 : N-77

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。CP-70よりも新しい。かつ、関連する可能性がある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-73 (図Ⅱ-554・574-11、12. 図版Ⅱ-359. 表Ⅵ-4)

位置 : P-69

特徴 CH-19覆土中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。CP-65の掘り込みに近接しておりこれと関連する可能性が高い。

遺物 11は口縁が肥厚している。12は底部片である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-74 (図Ⅱ-554・574-13. 図版Ⅰ-110. 図版Ⅱ-359. 表Ⅵ-4)

位置 : O-67、P-67

特徴 III層中で検出された比較的大型の焼土である。赤化は強く大礫3点が縁に沿って置かれており、簡易な石囲い炉あるいは反射石を有する炉址と考えられる。

遺物 13は縦の取手状貼付と粘土紐の貼付が施された口縁部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-75 (図II-554・574-14. 図版II-359. 表VI-4)

位置：P-67

特徴 III層中で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 14は貫通孔が施された突起部で、器面には粘土紐の貼付と小動物の四肢骨の骨端のような施文具による刺突文が施されている。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-76 (図II-554)

位置：M-72、N-72

特徴 III層中で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-77 (図II-554・574-15、16. 図版I-111. 図版II-359. 表VI-4)

位置：N-71・72、O-71・72

特徴 III層中で検出された大型の焼土である。赤化は強く大小の礫が縁に沿って散点的に検出されており、簡易な石囲い炉あるいは反射石を有する炉址と考えられる。図示した位置から一括土器が出土している。

遺物 15は文様帯に粘土紐の貼付と3列の撚糸Lと管状の施文具による刺突文が施された深鉢形土器である。16は0段多条RLの縄文が施された口縁部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-78 (図II-554)

位置：P-66・67

特徴 III層中で検出された大型の焼土である。赤化はやや強いが二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-79 (図II-554)

位置：P-66

特徴 III層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-80（図Ⅱ-555・575-1～3．図版Ⅱ-360．表Ⅵ-4）

位置：P-71

特徴 CH-19覆土中で検出された小型の焼土である。赤化は強くこの場で生成された可能性がある。

遺物 1は口唇に縄の刻みが施された口縁部である。2は粘土紐の貼付と管状の施文具による刺突文が施された小型土器の胴部、3は底部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-81（図Ⅱ-555・575-4～6．図版Ⅱ-360．表Ⅵ-4）

位置：P-71

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 4は粘土紐の貼付と3列の撚糸とやや先細りの棒状施文具による刺突文が施された胴部である。5,6は胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-82（図Ⅱ-555・575-7．図版Ⅱ-360．表Ⅵ-4）

位置：P-73

特徴 Ⅲ層中の攪乱に近接して検出された小型の焼土である。攪乱の影響で変形しており赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 7は粘土紐の貼付が施された口縁部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-83（図Ⅱ-555・575-8～12．図版Ⅱ-360．表Ⅵ-4・5）

位置：P-73

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。多くの遺物を伴っている。

遺物 8は低い突起部に縦の貼付2本を施した深鉢である。口唇の刻みは棒状工具による。9は貫通孔と細い粘土紐の貼付が施された突起部である。頂は盃状に凹んでいる。10,11は胴部である。12は表背面に光沢部があるスクレイパーである。

時期 縄文時代中期前半と考えられる。 (皆川)

CF-84（図Ⅱ-555）

位置：P-72

特徴 Ⅲ層中で検出された小型で層厚の薄い焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。西側は包含層調査で失われている。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-85（図Ⅱ-555・575-13,14．図版Ⅱ-360．表Ⅵ-4）

位置：P-68

特徴 Ⅲ層中で検出された小型で層厚の薄い焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。西側は

包含層調査で失われている。

遺物 13はLRの縄線文2条が施された小型土器の口縁部である。14は器面と一体化した縦の大柄な貼付帯を有する口縁に近い胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-86 (図II-555)

位置 : P-66

特徴 III層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-87 (図II-555)

位置 : P-66・67

特徴 III層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-88 (図II-555・575-15. 図版II-360. 表VI-4)

位置 : P-73

特徴 III層中で検出された大型の薄い焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 15は地紋上に粘土紐の貼付を施した口縁部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-89 (図II-555・575-16. 図版I-111. 図版II-360. 表VI-5)

位置 : P-72

特徴 III層中で検出された小型の焼土である。赤化は強くこの場で生成された可能性が高い。図示した範囲から1～数cmの円礫が十数点出土している。

遺物 16は両面加工のポイントあるいはナイフである。先端が欠失している。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-90 (図II-556)

位置 : K-74、L-74・75

特徴 III層中で検出された横長の大型焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。攪乱によって変形したものと思われる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-91 (図II-556・576-1. 図版II-360. 表VI-4)

位置 : O-74

特徴 III層中で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。攪乱によって変形したも

のと思われる。

遺物 1は無文の胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-92 (図Ⅱ-556・576-2. 図版Ⅱ-360. 表Ⅵ-4)

位置 : P-75

特徴 CH-34覆土中で検出された焼土である。赤化は強いが二次堆積と考えられる。

遺物 2は羽状縄文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-93 (図Ⅱ-556・576-23、24. 図版Ⅱ-361. 表Ⅵ-4)

位置 : T-73

特徴 Ⅲ層下位で検出された比較的大型の焼土である。赤化は強くこの場で生成された可能性が高い。西側に近接してCP-167が検出されており、関連する可能性がある。

遺物 23は沈線文が施された胴部、24は型押し文が施されたⅠ群a類日計式土器の胴部片である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-94 (図Ⅱ-556・576-4、5. 図版Ⅱ-361. 表Ⅵ-4)

位置 : S-74、T-74

特徴 Ⅲ層中で検出された大型の薄い焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 4は結束羽状縄文が施された胴部、5は貼付帯上に縄線文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-95 (図Ⅱ-556・576-6. 図版Ⅰ-111. 図版Ⅱ-361. 表Ⅵ-5)

位置 : S-74

特徴 Ⅲ層中で検出された大型の焼土である。大小の円礫5点が焼土の縁に沿って散点的に検出されており、石囲い炉の可能性が高い。

遺物 6は炉石に使われていたと考えられる円礫の縁全般を使用したたたき石である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-96 (図Ⅱ-556)

位置 : S-72

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-97 (図Ⅱ-556)

位置 : S-74

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の薄い焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-98 (図II-556)

位置：S-75

特徴 III層中で検出された焼土である。地床炉と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (立川)

CF-99 (図II-556)

位置：S-77

特徴 III層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (立川)

CF-100 (II-557)

位置：R-77

特徴 III層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (立川)

CF-101 (図II-557・576-7～9. 図版II-361. 表VI-4・5)

位置：Q-66

特徴 III層下位で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。西側の一部は包含層調査時に失われている。近接してCP-166が検出されており、その掘り込み面に遺棄された焼土と考えられる。

遺物 7はLとRの合燃の縄文が施された口縁部である。8は底部に近い胴部である。9は下端に磨面のある扁平打製石器である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-102 (図II-557)

位置：Q-64

特徴 III層中で検出された焼土である。赤化は強いが二次堆積と考えられる。近接してCP-164が検出されており関連する可能性がある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-103 (図II-557・576-10. 図版II-361. 表VI-4)

位置：R-72

特徴 III層中で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。CP-206と重複しており、その上位に遺棄されたと考えられる。

遺物 10は不明瞭な文様の胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CF-104（図Ⅱ-557）

位置：R-72

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CF-105（図Ⅱ-557）

位置：R-72

特徴 Ⅲ層中で検出された大型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CF-106（図Ⅱ-557・576-11. 図版Ⅱ-361. 表Ⅵ-4）

位置：Q-73、R-73

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の薄い焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。近接するCP-171とは関連すると考えられる。

遺物 11は0段多条LRの縄文が施された胴部片である。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CF-107（図Ⅱ-557・576-12. 図版Ⅱ-361. 表Ⅵ-4）

位置：Q-72

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 12は粘土紐の貼付と刺突文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CF-108（図Ⅱ-557・576-13. 図版Ⅱ-361. 表Ⅵ-4）

位置：Q-74

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の薄い焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 13は無文の粘土紐の貼付と小動物の四肢骨の骨端のような施文具による刺突文が施された深鉢である。口縁には「Y」状の取手状貼付の痕跡が認められる。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CF-109（図Ⅱ-557）

位置：Q-74

特徴 Ⅲ層中で検出された大型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CF-110 (図II-558)

位置：Q-72

特徴 III層中で検出された大型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。近接するCP-172よりも古いと考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-111 (図II-558・576-14. 図版II-361. 表VI-4)

位置：Q-73

特徴 III層中で検出された小型の薄い焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。CH-43と重複しそれと関連する可能性がある。

遺物 14は地紋の上に粘土紐の貼付を施した胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-112 (図II-558)

位置：Q-71

特徴 III層中で検出された小型の薄い焼土である。赤化は比較的強くこの場で生成された可能性がある。上面から焼けた小さな粘土塊が多く出土している。重複するCH-54よりも新しく、CP-235と関連する可能性がある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-113 (図II-558)

位置：T-76

特徴 CH-51の覆土内で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (立川)

CF-114 (図II-558)

位置：Q-75

特徴 III層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (立川)

CF-115 (図II-558・576-15~17. 図版II-361. 表VI-4・5)

位置：S-77、T-77

特徴 CH-51の覆土内で検出された焼土である。屋根葺き土が焼けて崩壊したと考えられる。

遺物 15、16は胴部片で、16の粘土紐の貼付は地紋の上に施されている。17は両面加工のポイントあるいはナイフである。先端が丸みを帯びており土掘り具の可能性がある。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (立川)

CF-116（図Ⅱ-558）

位置：S-74・75

特徴 III層中で検出された小型の薄い焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CF-117（図Ⅱ-558・576-18～21. 図版Ⅱ-361. 表Ⅵ-4・5）

位置：Q-75・76、R-76

特徴 CH-52の覆土内で検出された焼土である。

遺物 18～20は口縁部である。19は口唇に縄の刻みが、20は粘土紐の貼付が施されている。21は石鏃である。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（立川）

CF-118（図Ⅱ-558・576-22. 図版Ⅱ-361. 表Ⅵ-4）

位置：R-75

特徴 CH-52の覆土内で検出された焼土である。

遺物 22は結束羽状縄文が施された頸部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（立川）

CF-119（図Ⅱ-558）

位置：Q-75

特徴 III層中で検出された焼土である。地床炉の可能性はある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（立川）

CF-120（図Ⅱ-559）

位置：S-77

特徴 CH-51の覆土内で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（立川）

CF-121（図Ⅱ-559・577-1～3. 図版Ⅱ-362. 表Ⅵ-4）

位置：S-76・77

特徴 CH-51の覆土内で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 1は粘土紐と瘤状の貼付と小動物の四肢骨の骨端のような施文具による刺突文が施された小型土器の口縁部である。2は折り返しのある口縁部、3は粘土紐の貼付が施された胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（立川）

CF-122（図Ⅱ-559）

位置：S-75

特徴 CH-52の覆土内で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。
遺物 掲載遺物無し。
時期 縄文時代中期と考えられる。 (立川)

CF-123 (図II-559)

位置：S-77

特徴 CH-51の覆土内で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。
遺物 掲載遺物無し。
時期 縄文時代中期と考えられる。 (立川)

CF-124 (図II-559)

位置：T-69

特徴 III層中で検出された焼土である。赤化は比較的強くこの場で生成された可能性がある。
遺物 掲載遺物無し。
時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-125 (図II-559. 図版I-111)

位置：S-69

特徴 III層中で検出された大型の焼土である。赤化は比較的強くこの場で生成された可能性がある。焼土の縁に沿って長円礫が散点的に検出されている。住居外の簡易な石囲い炉と考えられる。
遺物 掲載遺物無し。
時期 縄文時代中期後半の可能性はある。 (皆川)

CF-126 (図II-559)

位置：S-69

特徴 III層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。
遺物 掲載遺物無し。
時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-127 (図II-559. 図版I-111)

位置：Q-61・62

特徴 III層中で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。近接してCS-6が、下位からCP-191が検出されており、いずれも関連すると考えられる。
遺物 掲載遺物無し。
時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-128 (図II-559)

位置：Q-67・68

特徴 III層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。南側の一部は包含層調査時に失われている。重複するCH-38よりも新しい。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-129 (図Ⅱ-560・577-4～7. 図版Ⅱ-362. 表Ⅵ-4)

位置：Q-67

特徴 Ⅲ層中で検出された大型の焼土である。赤化は比較的強いが二次堆積と考えられる。

遺物 4は突起部付近に粘土紐の貼付、口縁部に沈線文が施された深鉢である。口唇部にはRLの縄による刻みが施されている。5は太い撚糸Rの絡条体が施された胴部片である。6は極めて細い沈線で文様が描かれた小型土器の胴部である。7はやや上げ底気味の底部である。

時期 縄文時代中期前半、見晴町式土器の時期と考えられる。 (皆川)

CF-130 (図Ⅱ-560)

位置：Q-67

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-131 (図Ⅱ-560. 図版Ⅰ-112)

位置：Q-70

特徴 Ⅲ層中で検出された焼土である。赤化は強くこの場で生成されたものである。並んで検出された被熟礫の集中(CS-6)とは同時期に関連した遺構と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-132 (図Ⅱ-560・577-8～10. 図版Ⅰ-112. 図版Ⅱ-362. 表Ⅵ-4)

位置：Q-65・66

特徴 Ⅲ層中で検出されたやや大きめの円礫が使われる石囲い炉と考えられる焼土である。

遺物 8、9は口縁部、10は胴部である。全て0段多条の縄文が施されている。

時期 縄文時代中期後半、煉瓦台式土器の時期と考えられる。 (立川)

CF-133 (図Ⅱ-560)

位置：I-72

平面形：楕円形 長軸方向：南—北

特徴

確認：I-72区北東部のⅢ層中位で確認した。検出面では焼土が斑状に確認された。廃棄された焼土と考えられる。層厚は平均3cmである。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (佐川)

CF-134 (図II-560・577-11. 図版II-362. 表VI-4)

位置：I-72

平面形：隅丸方形 長軸方向：北東—南西

特徴

確認：CF-133と同様に、I-72区南西部のⅢ層中位で確認した。検出面では焼土が斑状に確認された。浅い掘り込みに焼土を廃棄したものと考えられる。土層断面の観察では、微細な骨片が少量確認されている。層厚は最大10cmである。

遺物 11は結束羽状縄文が施された胴部片である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (佐川)

CF-135 (図II-560. 図版I-104)

位置：R-72

特徴 CP-206 覆土上で検出された小型の焼土である。赤化は比較的強いがCP-206の上に意図的に遺棄されたと考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-136 (図II-560)

位置：Q-72

特徴 Ⅲ層中で検出された小型で薄い焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-137 (図II-560・577-12. 図版II-362. 表VI-4)

位置：S-70

特徴 Ⅲ層中で検出された小型で薄い焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 12は太い縄文が施された口縁部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-138 (図II-560)

位置：S-63

特徴 Ⅲ層中で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (立川)

CF-139 (図II-561・577-13. 図版II-362. 表VI-4)

位置：T-66

特徴 CH-75の覆土内から検出された焼土である。地床炉と考えられる。

遺物 13は0段多条の縄による結束羽状縄文が施された胴部片である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (立川)

CF-140（図Ⅱ-561）

位置：K-62、L-62

特徴 Ⅲ層中で検出された小型で薄い焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CF-141（図Ⅱ-561・578-1．図版Ⅱ-362．表Ⅵ-4）

位置：K-62

特徴 Ⅲ層中で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 1は浅い沈線文が施された胴部片である。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CF-142（図Ⅱ-561・578-2、3．図版Ⅱ-362．表Ⅵ-4）

位置：K-62

特徴 Ⅲ層中で検出された大型の焼土である。赤化は強くこの場で生成されたと考えられる。CP-234と重複しており、それと関連する可能性がある。

遺物 2、3は胴部片で、3には沈線文が施されている。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CF-143（図Ⅱ-561）

位置：L-63

特徴 Ⅲ層中で検出された小型で薄い焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CF-144（図Ⅱ-561・578-4、5．図版Ⅱ-363．表Ⅵ-4）

位置：K-62・63

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 4はRLの縄線文が施された縦の貼付帯を有する口縁部である。5は沈線で楕円形の区画を描いた胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CF-145（図Ⅱ-561・578-6～8．図版Ⅱ-363．表Ⅵ-4）

位置：K-65、L-65

特徴 Ⅲ層中で検出された大型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 6はLRの縄文が施された器壁の厚い胴部である。7は滑石土器の胴部、8は上げ底の底部である。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。

（皆川）

CF-146 (図Ⅱ-561・577-14~18. 図版Ⅰ-112. 図版Ⅱ-363. 表Ⅵ-4)

位置：K-65、L-65

特徴 Ⅲ層中で検出された集石とⅢ群a類の一括土器を伴った大型の焼土である。焼土は赤化が強くこの場で生成されたと考えられ、集石は径2～6cmの円礫を主体に265点が被熱して検出されている。CH-87と重複しそれよりも新しい。

遺物 14は突起部に粘土紐の貼付、口縁から胴部に沈線文が施された深鉢である。口唇の幅が厚くなっておりそこに縄文のような縄の刻みが施されている。15、16、18は胴部で、17は14の底部の可能性はある。

時期 縄文時代中期前半サイベ沢Ⅷb式土器の時期と考えられる。(皆川)

CF-147 (図Ⅱ-561)

位置：Q-65・66、R-65・66

特徴 Ⅲ層中で検出された焼土である。炉石を伴っていたが取り上げている。CF-132(石囲い炉)に隣接している。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。(立川)

CF-148 (図Ⅱ-562)

位置：Q-66

特徴 Ⅲ層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く短時間の地床炉と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。(立川)

CF-149 (図Ⅱ-562・578-9. 図版Ⅱ-364. 表Ⅵ-4)

位置：I-67

特徴 Ⅲ層中で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。CP-256と重複し関連する可能性がある。

遺物 9は斜行縄文の施された胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。(皆川)

CF-150 (図Ⅱ-562・578-10~12. 図版Ⅱ-363. 表Ⅵ-4)

位置：I-67・68

特徴 Ⅲ層中で検出された大型の焼土である。赤化は強くこの場で生成された可能性が高い。CP-237と重複しておりそれと関連する可能性がある。

遺物 10は口唇部に沈線状の凹みが施された榎林式土器である。11は縄文の施された口縁部、12は撚糸Rの絡条体が施された胴部である。

時期 縄文時代中期後半、榎林式土器の時期と考えられる。(皆川)

CF-151 (図Ⅱ-562)

位置：R-66

特徴 III層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（皆川）

CF-152（図Ⅱ-562・578-13、14. 図版Ⅰ-112. 図版Ⅱ-365. 表Ⅵ-4・5）

位置：K-65

特徴 CH-92覆土中で検出された配石を伴う焼土である。焼土は赤化が強くこの場で生成されたと考えられる。配石のほとんどは焼土の縁に沿って配置されていることから、これらは石囲い炉の炉石と考えられる。炉石は大型の長円礫が使われている。近接して大型の台石・石皿が出土している。埋没中の廃棄されたCH-92の窪地に石囲い炉を中心とした簡易な居住地が設けられていたと考えられる。

遺物 13は結束羽状縄文が施された胴部片である。14は炉石に使用されていた台石・石皿である。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。

（皆川）

CF-153（図Ⅱ-562）

位置：S-63

特徴 III層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（立川）

CF-154（図Ⅱ-562）

位置：Q-72

特徴 III層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。

（立川）

CF-155（欠番）

CF-156（図Ⅱ-562・579-1～9. 図版Ⅰ-113. 図版Ⅱ-364. 表Ⅵ-4・5）

位置：I-67

特徴 CH-71覆土中でCF-157と並んで検出された石囲いを伴う大型の焼土である。焼土は赤化が強くこの場で生成されたと考えられる。炉石は大き目の長円礫や長角礫が用いられ、それらが横向きに埋め込まれている。CF-157と比較して炉石の大きさが揃っており配石の乱れも少ない。CF-156は新しい印象が強く、また近接する土器もこちらに伴うと考えられる。

遺物 1は撚糸Lの絡条体が施された小型土器である。2～6は0段多条の斜行縄文が施された口縁と胴部である。7は撚糸Rの絡条体が施された胴部片である。8は底部である。9は扁平打製石器である。

時期 縄文時代中期後半、ノダツブⅡ式～煉瓦台式土器の時期と考えられる。

（皆川）

CF-157（図Ⅱ-562・579-10. 図版Ⅰ-113. 図版Ⅱ-364. 表Ⅵ-5）

位置：I-66

特徴 CH-71覆土中でCF-156と並んで検出された石囲いを伴う大型の焼土である。焼土は赤化が強くこの場で生成されたと考えられる。炉石は大小の円礫や角礫が用いられている。CF-157と比較して炉石の大きさが不揃いで配石の乱れも大きい。CF-157はCF-156よりも僅かに古いと思われる。

遺物 10は炉石に使用されていたたたき石である。

時期 縄文時代中期後半と考えられる。 (皆川)

CF-158 (図II-562・579-11. 図版II-364. 表VI-4)

位置：L-64・65

特徴 III層中で検出された焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 11は条が横になる縄文が施された胴部片である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-159 (図II-563)

位置：L-64

特徴 III層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-160 (図II-563)

位置：L-61

特徴 III層中で検出された小型の焼土である。赤化は弱く二次堆積と考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-161 (図II-563. 図版I-112)

位置：K-65

特徴 III層中で検出された大型の焼土である。赤化は強くこの場で生成された可能性が高い。CH-87の上位に位置し、それと関連する可能性がある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CF-162 (図II-563・579-12. 図版II-364. 表VI-4)

位置：I-67

特徴 III層中で検出された小型の焼土である。赤化は強くこの場で生成された可能性が高い。比較的大きな礫2点が被熱した状態で検出されている。

遺物 12は小型土器の底部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

4 住穴状小ピット

CSP-1～30（図Ⅱ-565・580-7、8．図版Ⅱ-365．表Ⅵ-4）

位置：K-67・69、L-68～70、M-68～70

特徴 同規模の小ピットが集中する区域である。小ピットの規模は径20～30cm、深さ20～40cm程のものが主体である。確認面はⅤ層上面で、掘り込み面はⅢ層中と考えられる。覆土はⅢ層の腐植土が流れ込んでいる。壙底は丸みを帯びたものが大半で、打ち込みを窺わせるものは認められなかった。配列からは構造的なものは見出し難いが、掘っ立て柱の住居や柵列あるいは柱を使ったモニュメントのようなものが想定される。

遺物 7、8はCSP-1出土の土器である。7は口唇に縄の刻みが施されている。8は条が横になる縄文が施されている。9はCSP-31出土の沈線文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CSP-31（図Ⅱ-566・580-9．図版Ⅱ-365．表Ⅵ-4）

位置：S-67

遺物 9はCSP-31出土の沈線文が施された胴部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

5 フレイク・チップ集中

CFC-1（図Ⅱ-563．図版Ⅰ-113）

位置：M-79

特徴 Ⅲ層中で検出された頁岩製フレイク・チップの集中である。Rフレイク4点、フレイク126点が検出されている。大半が2cm以下のもので剥片石器制作時の石屑を遺棄したものと考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CFC-2（図Ⅱ-563．図版Ⅰ-113）

位置：S-70

特徴 Ⅲ層中で検出された頁岩製フレイク・チップの集中である。フレイク82点が検出されている。大半が2cm以下のもの剥片石器制作時の石屑を遺棄したものと考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

6 集石

CS-1（図Ⅱ-564）

位置：O-70

特徴 Ⅲ層中で検出された径が2cm以下の小円礫の集中で、417点が検出されている。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CS-2 (図Ⅱ-564・580-1. 図版Ⅱ-365. 表Ⅵ-4)

位置：O-70

特徴 CH-20の覆土中で検出された径が2 cm以下の小円礫の集中で、礫は108点が検出されている。

遺物 1はバンド状の貼付帯を有する胴部片である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CS-3 (図Ⅱ-564・580-2. 図版Ⅱ-365. 表Ⅵ-4)

位置：P-70

特徴 CH-19の覆土中で検出された径が2 cm以下の小円礫の集中で、礫は72点が検出されている。近くの同じレベルからCF-51が検出されている。

遺物 2は結束羽状縄文が施された小型土器の口縁部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CS-4 (図Ⅱ-564. 図版Ⅰ-113)

位置：M-80

特徴 Ⅲ層中で検出された径4～7 cmの円礫の集中で、17点が検出されている。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CS-5 (図Ⅱ-564)

位置：P-80

特徴 Ⅲ層中で検出された径1～3 cmの小円礫の集中で、26点が検出されている。CP-94と重複する。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CS-6 (図Ⅱ-564. 図版Ⅰ-111)

位置：Q-62

特徴 Ⅲ層中で検出された径2～5 cmの小円礫の集中で、約40点が検出されている。近接してCP-191とCF-127が検出されており、関連するものと考えられる。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CS-7 (図Ⅱ-564. 図版Ⅰ-113)

位置：R-67

特徴 Ⅲ層中で検出された径が2 cm以下の小円礫の集中で、185点が検出されている。近接してCSP-40が検出されており、関連する可能性がある。

遺物 掲載遺物無し。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CS-8（図Ⅱ-564・580-3．図版Ⅰ-112．図版Ⅱ-365．表Ⅵ-4）

位置：Q-70

特徴 Ⅲ層中で検出された径10以下の円礫の集中で、76点が検出されている。並んで検出されたCF-131とは同時期に関連した遺構と考えられる。

遺物 3は瘤状の貼付が施された突起部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CS-9（図Ⅱ-564・580-4．図版Ⅰ-114．図版Ⅱ-365．表Ⅵ-4）

位置：J-68

特徴 Ⅲ層中で検出された径4～9cmの円礫の集中で、63点が検出されている。下位からCH-84が検出されている。

遺物 4は厚底の底部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CS-10（図Ⅱ-564・580-5．図版Ⅱ-365．表Ⅵ-4）

位置：Q-64・65

特徴 Ⅲ層中で検出された小円礫の集中で、268点が検出されている。

遺物 5は沈線文が施された胴部片である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CS-11（図Ⅱ-564・580-6．図版Ⅰ-114．図版Ⅱ-365．表Ⅵ-5）

位置：I-70、J-70

特徴 Ⅲ層中で検出された大礫と小円礫の集中で、約200点が検出されている。下位からCH-86が検出されている。

遺物 6は長円礫を使用したくぼみ石である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (皆川)

CS-12（図Ⅱ-564・578-15～17．図版Ⅱ-365．表Ⅵ-4）

位置：I-69

特徴 東側の段丘平坦面の標高56.20～56.30m、CH-77の覆土を調査中にI-69区の杭南西側約1mで長さ10cm前後の楕円礫16個で構成された集石を確認した。

遺物 15・16は口唇直下の縄線文が施された口縁部である。17は器壁の厚い無文の底部である。

時期 縄文時代中期と考えられる。 (佐川)

III章 包含層の遺物

1 土器（図III-1-1～34. 図版II-366～401. 表VI-6）

I群a類土器（図III-1-1-1～27. 図版II-366. 表VI-6）

日計式土器と条痕の施された尖底と平底土器が出土している。大半が少破片のもので出土範囲も広い。中期の遺構群が原因で掘り上げられ散乱したと考えられる。

1～12は横位の平行沈線文が施されたもので、地紋は1、2、7、10がLRの斜行縄文、3、9がRLの斜行縄文、4、8、11、12は押型文である。1～4、8が口縁部で、1、2、4の口唇前側の角には指状の施文具による刻みが施されている。5～7、9～11が口縁に近い胴部である。5は横位平行沈線文の上に細くシャープな斜行沈線文が施されている。13～20は押型文の施された胴部である。1～20の胎土には微量の繊維が混入している。

21はRLの縄文の上に幅広の横位平行沈線文が施された口縁部である。口唇に指状の施文具による刻みが施され、1、2、4に類似するが胎土に重鉱物が多く含まれており重い。繊維は混入していない。22、23は横位の条痕が施された口縁部である。22は口唇に指状のもので深い刻みが施されており、胎土には微量の繊維が含まれている。23は胎土に重鉱物が多く含まれており重い。24は羽状の縄文が施された胴部で、胎土には重鉱物が多く含まれている。25は尖底部、26は縦の条痕が施された底部に近い胴部である。27は条痕の施された胴部と底部である、条痕は縦と横が施されており、底部は径の小さな平底である。

II群b類土器（図III-1-1-28. 図版II-366. 表VI-6）

円筒下層c式土器が出土している。

28は口縁に横位の貝殻条痕文が施された深鉢形土器である。胴部には撚糸Rの絡条体が施され、胎土には繊維が含まれている。

III群a類土器（図III-1-2～21. 図版II-367～387. 表VI-6）

円筒上層b式、円筒上層c式相当のもの、サイベ沢VIIa式、サイベ沢VIIb式、見晴町式などが出土している。この他、オオバコの「トウ」を回転施文した土器や魚骨回転文が施された土器なども出土している。

1～29、31～34、153は粘土紐の貼付に3列の撚糸か馬蹄形圧痕文、あるいはその両方が施される土器である。粘土紐の上には撚糸による刻みが施されている。

1、2、9～11、14、17、18、21、30は比較的細目の粘土紐の貼付が施されている。3～8、12、13は口唇部に撚糸の刻みが密に施され太い粘土紐が貼付されている。15、28、31、32、34にも太く密着の良い粘土紐の貼付が施されている。14、23の撚糸は2本が一組のものである。16、20は3列の撚糸と馬蹄形圧痕文が施された土器である。17～19、21は粘土紐の貼付と撚糸が施されたもの、28～34は粘土紐の貼付と馬蹄形圧痕文が施されたものである。24の地紋は3段復節の結束斜行縄文である。33は口唇部にだけ馬蹄形圧痕文が施されている。34は口縁の文様帯と胴部の0段多条RLの地紋との境に貼付帯がない。

30、35～47、85は粘土紐の貼付に3列の撚糸か刺突文、あるいはその両方が施される土器である。

刺突文は施文具を横から突いたものが大半である。施文具の形状は管状、半裁した管状、棒状、篋

状、微妙な曲線のある板状、小動物の四肢骨の小動物の四肢骨の骨端をそのまま使用したようなものなどがある。

36、38～46、85は粘土紐の貼付と刺突文が施されたものである。

36の刺突は胴部下半部にも施されている。38の粘土紐の貼付は細く無文である。39の刺突は粘土紐の貼付に沿って施されている。3列の撚糸のような施されかたであり、この後の大安在B式土器などに繋がる意匠かもしれない。刺突文は口唇部にも施されている。43の粘土紐の刻みは篋状の施文具による。46は無文の粘土紐の貼付が施された小型土器の胴部で、器面に小さな角棒による刺突文が施されている。47は地紋の結束羽状縄文の上に粘土紐と刺突文が施されている。85は突起の下位に縦の取手状貼付が施された小型土器である。器面には綾絡文も施されている。

48、50、52は無地の文様帯に細目の粘土紐が貼付されている。

47、49、51、53～63は地紋上に粘土紐の貼付が施される土器である。

49の粘土紐状の刻みは太い撚糸による。54が瘤状の貼付上に馬蹄形圧痕文が施されている。58は口縁部に瘤状の貼付が2箇所施されている。59の粘土紐上の刻みは篋状の施文具による。60の突起部には貫通孔が施されている。62の粘土紐上には縄文が施されている。63の粘土紐は無文である。

64～85、87～92、154、155、163は突起部や口唇付近などに限定的な装飾が施される土器である。

69、70は貫通孔のある半円状の突起部を有する口縁部である。69の貫通孔上側には粘土紐と縄線文が施され、厚みのある口唇部にはRLの原体による機材が施されている。71、72も貫通孔のある半円状の突起部を有する口縁部である。粘土紐の貼付と沈線状の凹みでより立体的で装飾性が高い造形が施されており、72からは大木系土器の特徴も感じられる。73～76は大柄な粘土紐の貼付と縄線文が施された突起部である。いずれも多めの繊維と砂粒が含まれる特殊な胎土を有しており、同系統の土器と考えられる。79、83は滑石土器の突起部である。82は突起部と口唇直下に粘土紐の貼付が施された大型深鉢の口縁部である。地紋は縦に回転施文された羽状縄文と綾絡文である。84の低い突起部は非対称的な造りである。91、92の口唇部には縄線文が施されている。

93、94は短縄文が施される土器である。

93には粘土紐の貼付と撚糸文も施されている。94は縄線文も施されている。

95～102、161、162、164は撚糸の絡条体が施された土器である。

96、98、102は低い山形突起を有している。99は折り返しの口縁を有している。162は絡条体の施文方向が口縁部で横位、胴部で縦位に変化している。

103～136は沈線文が施された土器である。

104、106～108、110～113、116、118、121、126、127、165の突起部には貼付も施されている。103は口唇部にも縦横の沈線文が施されており、突起下位には「Y」状の貼付の痕跡がある。105は口唇部と器壁が厚く沈線も太い。他の土器と一線を画している。108の突起下位には縦の取手状貼付の痕跡が認められる。113の沈線は極めて細い。127の突起部には縄線文が施されており、貼付の痕跡も認められる。

137～145はオオバコのトウによると考えられる文様が施される土器である。

137、138、145は施された「トウ」の粒が比較的大きい。137、139は折り返しの口縁を有しており、139はその肥厚帯上にオオバコの「トウ」を横位に押捺している。140は沈線文も施された小型土器の口縁部である。

146～149は魚骨回転文が施される土器である。

149がサケの脊椎、それ以外はニシンの脊椎によると考えられる。

86、150～152は無文土器である。

86は大型の突起一つを有する小型の無文土器である。

156～160は地紋だけが施された土器である。

156、157、160は口縁部に無文帯を有している。157は器面の1/3程が無地である。163は器面に条が横になるLRの縄文が施されている。大安在B式土器に近い特徴である。

166～180は底部である。

178～180の底面には文様が認められる。所謂「網代底」である。

III群b類土器（図III-1-22～32、図版II-388～400、表VI-6）

榎林式、大安在B式、大木9式、ノダップⅡ式、煉瓦台式、大木10式土器が出土している。また、所謂「滑石土器」が多く含まれている。1、2、7、13、41、42、44、55、70、75、90、91が出土している。

1、16、18は厚みのある口唇部に刻みが施されるもの。

1は滑石土器で口唇の刻みは馬蹄形圧痕文である。16の刺突は右横からのもので半裁した管状の施文具による。1と16はIII群a類の可能性もある。18の刻みは小動物の四肢骨の骨端によると考えられるものである。器壁は厚く地紋の羽状縄文と綾絡文には無節の原体が使われている。北筒式土器の可能性もある。

2は無文の口縁に貼付帯が施されるもの。

2は滑石土器の口縁部で、口唇部には太い縄でLRの縄文が施されており、貼付帯上の刺突は小型の棒状施文具による。

3～15、19、24、35、44、82、104は口縁部～頸部付近に縄線文が施されるものである。

4～7、25は貼付帯上にも縄線文が施されている。3は大型の深鉢で低い突起部の下位には垂下する縄線文と瘤状の貼付2個所が施され、口唇上にも縄線文が施されている。5の口縁と頸部にも瘤状の貼付が各2個ずつ施されている。7は滑石土器の深鉢で、口縁と肩部に縄線文を伴う大柄な貼付帯が施されている。8は文様帯に3、4条の縄線で曲線的な文様が施された深鉢である。縄線の文様の狭間はRLの縄文で充填されている。

9は胴部に「コ」状の縄線文が施されている。13は滑石土器である。14の低い突起部の下位には縦に短い縄線文が施されている。19は口唇直下の大柄な貼付帯上に縄線文が施されている。また、口唇部には縄文も施される。24は器壁の薄い深鉢である。貼付帯も細目である。35は縦の取手状貼付が施された頸部で、管状の施文具による刺突文も施されている。44は滑石土器の口縁部である。104は口縁部の無文帯に縄線文が施された小型の土器である。やや上げ底気味の底面には細い沈線で同心円が施されている。

18、20～22、68、100、111は、条が横になる縄文が施されるもの。

25～52、70、71、75は、沈線文が施されるもの。

25～27は沈線文と撚糸の絡条体が施されている。撚糸は25、26がR、27がLである。28は沈線文と縦の条痕が施されている。29は口唇直下と貼付帯に刺突文も施されている。31は口唇に沈線状の凹みが施された小型土器の口縁部である。34、36、37、40は細目の棒状施文具による刺突文も施されている。38は太目の棒状施文具による刺突文が施されている。41は口唇上に縄線文が施される。41、42は滑石土器の口縁部である。43には縦の条痕も施されている。45は貼付帯の上下に沈線文が施されている。46は縦の沈線が回らされた上げ底を呈する底部である。49は頸部に円形の刺突文が施されている。49～52は榎林式土器と考えられる。75は滑石土器の胴部である。

53～61、69、73、74、76は大木9式土器あるいはその影響を受けた土器である。

69は平縁の深鉢形土器で、口縁の無文帯に縄線文が施され、胴部には縦方向に回転施文された斜行縄文と綾絡文が施文されている。

62～65、77は大木10式土器あるいはその影響を受けた土器である。

66、67、78は器面や貼付帯上に短刻線あるいは横からの刺突文が施されたもの。

79～81、83～87はバンド状の貼付帯を持つもの。

79は深く雑な沈線で器面に曲線的な文様を施している。大木10式土器の影響と考えられる。

88～93、95～99、103は平縁の深鉢で斜行縄文が施されたもの。

89は3段復節RLRの斜行縄文が施され、底部に近い器面は横位に研磨されている。90、91は滑石土器である。

その他 94は幅の狭い無文帯を有する口縁部で、地紋は撚糸Rの絡条体である。101は器面に縦の不明瞭な細沈線を施した口縁部である。器形は鉢形の可能性がある。102は絡条体が施された胴部である。109は大柄な貼付が施された口縁付近の土器である。

112～145は底部である。

113、116にはバンド状の貼付帯が認められる。117は撚糸Rの絡条体が縦横に施されたやや上げ底の底部である。118も撚糸Rが施されている。119、122は沈線文が施されたもので、119は滑石土器の底部で、器面には撚糸Rが施されている。120は底間際の器面に縄線文が施されている。123は撚糸Lが施されている。124～126、129、130、137は底面にも縄文が施されている。131～135は網代底である。

IV群a類土器（図Ⅲ-1-31. 図版Ⅱ-399）

105～108、110は幾何学的な沈線文が施された土器である。

VI群土器（図Ⅲ-1-33-1、2. 図版Ⅱ-401）

恵山式土器が出土している。

1、2は頸～肩部に平行沈線文が施された土器胴部である。

2 石器（図Ⅲ-2-1～17. 図版Ⅱ-402～417. 表Ⅵ-7）

剥片石器等（図Ⅲ-2-1～6. 図版Ⅱ-402～407. 表Ⅵ-7）

ポイントもしくは両面加工のナイフ（図Ⅲ-2-1-1～18）

1～4、8、13、15は木葉形のもの、7は柳葉形のもの、5、6、9～12、14、16～18は有茎のものである。12の基部の上辺りの両側縁が小さく凹んでいる。石器を紐で柄に固定する為の加工と考えられる。16は軸がやや右側に傾いており、基部の先端が二股に分かれている。銛先の可能性がある。

石鏃（図Ⅲ-2-2-28～65）

28～32が三角形を呈する無茎石鏃で全て凹基のものである。28は特に基部の凹が著しい。28～31は縄文時代早期の土器に伴うと考えられる。また28の基部と31の表面にはアスファルト類似の樹脂状の付着物が認められる。52、53は両側縁に小さな凹みが施されている。

石錐（図Ⅲ-2-1-19～27）

19、24が棒状のもの、20～23が比較的小さな剥片を素材に細く鋭い尖頭部を作出したもの。25～27

は比較的太い尖頭部を有している。

つまみ付ナイフ (図Ⅲ-2-2-72~81)

72、73が両面加工のもの、74~81が主に表面に加工を施したものである。74、75は縄文早期の土器に伴う可能性がある。76~81は下端に尖頭部のような形状を有している。76、77、79の背面には光沢部が認められる。81は右側縁を使った収穫具の可能性がある。

篋状石器もしくは両面加工のスクレイパー (図Ⅲ-2-2-66~71)

下端部に使用痕らしきものが窺える石器群である。66~68が両面加工のもので、ポイント類にも類似するが、厚みが有り側縁の加工が比較的雑であるなど違いが認められる。また、外観などが類似する石斧とした16、17、22も、同様の機能を有する石器の可能性がある。69が表面と背面の両側縁に加工が施されたもの、70、71は撥形のものである。

断面が鈍角の刃部を持つスクレイパー (図Ⅲ-2-3-82~90)

82~90は縦長剥片を素材とした搔器である。83は篋状石器の可能性がある。また、84、89は表面右側に光沢部を有することからスクレイパーとして用いられた可能性もある。

両面加工の異形石器 (図Ⅲ-2-4-91~94)

91、92は下辺が緩やかに湾曲する横長の異形石器である。93、94はこれに類似する。95もこれに属する可能性がある。

抉入石器 (図Ⅲ-2-4-95、96)

両側縁に対になる抉入が施されている。

収穫具と考えられる光沢部のあるスクレイパー (図Ⅲ-2-4-97~110、図Ⅲ-2-5-111~119、図Ⅲ-2-6-120)

主に下辺を刃部として使用した表背面に光沢部を有する石器で、当遺跡の包含層だけで無く遺構からも大量に出土している。光沢は背面の下辺中央に顕著に認められ、予備検査的に数点を観察した結果、稲科植物：Aタイプであった。形態は「かまぼこ形 (半円形)」、「木葉形」「短冊形」などが多くを占める傾向がある。刃部は片面にだけ剥離を施して作出しているが、無加工でも光沢が認められる場合も多く、片面の剥離は刃部の再生を意図したものとも考えられる。下辺以外にも剥離がなされているが、多くは刃部の作出ではなく整形や持ち手の負傷防止のためと考えられる。また側縁には紐がけされた様な加工や痕跡が認められるものもある。

スクレイパー (図Ⅲ-2-5-121~124、図Ⅲ-2-6-125~129)

121~123が緩やかな弧を描く刃部を有するもの。124~126は下端が尖るもの、127~129が比較的大型の剥片を素材とするものである。これらも光沢が認められるものが多い。

石核 (図Ⅲ-2-6-130~133)

礫石器 (図Ⅲ-2-7~17. 図版Ⅱ-408~417. 表Ⅵ-7)

石斧 (図Ⅲ-2-7-1~10、図Ⅲ-2-8-11~22)

1~10は石斧、11、12は破損した石斧片を再加工した幅の狭い刃部を有する小型の石斧である。13~15、18、19も破損品を再加工した縦に短い小型の石斧で、13、14は破損部の研磨がなされていないまま使われている。16、17は研磨が施されていない片岩製の打製石斧様の石器である。石斧としては厚みが足りないことから未製品の可能性も低いと考えられる。22と共に、篋状石器もしくは両面加工のスクレイパーの仲間の可能性がある。

20は中折れした大型の石斧を再利用したものである。上辺に敲打した痕跡があることからたたき石として再利用された可能性がある。21の上下端にも敲打痕が認められる。これも石斧をたたき石に転用したものと考えられる。

たたき石（図Ⅲ-2-9-23~37、図Ⅲ-2-10-38、39、42~45）

23~28、32は中型のもの、29、31、33~37は小型のもの、30は球形のもの、38、39、42~45は大型のものである。小型のたたき石には多くの敲打面が認められる。42、45は横槌の様に使用されたと考えられる。43と44は砥石と台石の可能性もある。

くぼみ石（図Ⅲ-2-10-46、47）

表裏に凹みを有するものである。遺跡からは少量しか出土していない。

北海道式石冠（図Ⅲ-2-11-48~53）

48は底部のすり面以外全面に敲打による整形を施してある。49、50は敲打による加工を横に回る溝にだけ施しているもので自然面が多い。51も同様だが頂部を通る溝も施されている。52は底部のすり面以外は無加工である。53は北海道式石冠の広がる裾部分で、同様の部位が他にも少なからず出土している。しかし、この裾が広がるタイプの完形品は出土しておらずここで図示したタイプに再加工された可能性もある。

扁平打製石器（半円状扁平打製石器）（図Ⅲ-2-10-40、41、図Ⅲ-2-11-54~59、図Ⅲ-2-12-60~68）

54~68は扁平打製石器あるいはそれに類するものである。55は全面に研磨が施されたもので、横に帯状に敲打痕が認められることから北海道式石冠を加工したものと考えられる。65もその可能性がある。56は表面にだけ粗い剥離が施されたもので加工中と考えられる。68も同様である。40、41、67は加工の少ない小型のものである。

断面三角形のすり石（図Ⅲ-2-13-69~73）

69~73は縄文時代早期の土器に伴うと考えられる。

多面砥石（図Ⅲ-2-13-74~77）

74は同一地点から細かく割れて出土したものを復元した砥石である。いくつかは既に再利用が進んだ痕跡が認められる。74、75も分割されたものを再利用している。

すり石（図Ⅲ-2-14-78~81）

砥石（図Ⅲ-2-14-82~85）

石錘（図Ⅲ-2-14-86~97）

扁平礫の長軸の両端を打ち欠いた礫石錘である。86の表面には十字状に敲打痕が配されている。紐ずれを防ぐためなのかもしれない。87~97は小型のものでこれらは縄文時代早期の土器に伴うと考えられる。

台石・石皿（図Ⅲ-2-15-98、99、図Ⅲ-2-16-100、101）

98、99は楕円形のすり痕が認められるもので、この痕跡は北海道石冠のようなすり石のサイズとほぼ合致する。両方に複数の人為的と考えられる小穴が認められる。100、101は広いすり痕が認められる。

加工痕のある礫（図Ⅲ-2-17-102~107、114）

102は頂部に研磨による稜が作出されたもので、石冠様石製品の未製品の可能性がある。105は青竜刀型石器、114は石棒の未製品の可能性がある。

棒状礫（図Ⅲ-2-17-108~111）

自然石を用いており、端部に擦痕の様なものや変色しているものもある。用途不明である。竪穴住居跡からも出土している。

削痕のある礫（図Ⅲ-2-17-112、113）

凝灰岩に先の尖った道具で削り取った痕跡が残っているもので、この削り取った方を何かに用いている可能性がある。

3 石製品（図Ⅲ-3-1～3. 図版Ⅰ-25・45・57・114. 図版Ⅱ-418～420. 表Ⅵ-9）

石棒（図Ⅲ-3-1-1～4）

1～3は長楕円形の礫に簡易な加工を施した小型のものである。4は石棒の端部である。

石刀（図Ⅲ-3-1-5～8）

5～8は破損した石刀である。5、6は石刀の柄の部分で、上端近くには複数の横の刻み込みが施されている。6の下端の破損部の角には研磨が施されており再利用された可能性がある。7、8は刃先部分で、8の下端部には敲打痕が認められることからたたき石に再利用されたと考えられる。

垂飾（図Ⅲ-3-2-9）

全体に細かい装飾的な加工が丁寧に施された垂飾と考えられる石製品である。左右はシンメトリーでなく、頂部からのびる傾斜の形状が微妙に異なっている。下辺には1～2mm間隔で微細な凹が施されている。断面は薄く下に向かって先細る形を呈している。「鎌」のようなものをモチーフにした可能性がある。

玉（図Ⅲ-3-2-10～15）

10は縁と表裏面に溝が刻まれたもので、表裏の溝は明瞭さに欠けている。11は環状に整形されたものである。12、14は自然石の縁寄りの位置に穿孔したものである。13は全面に研磨が施された大型の玉である。15は自然石に穿孔を施したもので、表と縁には線状の刻みも施されている。

三角形石製品（図Ⅲ-3-2-16～22）

17～22は実線や破線で示した部分に使用によると考えられる細かい剥離やすれが認められる。大半が包含層から出土した。16は砥石としても使われている。

石冠様石製品（図Ⅲ-3-3-23、24）

23は上辺の稜が右肩下がりである。24の稜はほぼシンメトリーを呈している。24の底面の左寄りの位置には敲打痕が認められるが、これは凹みを意図したものかあるいは凹みを作る作業の途中の可能性がある。

4 土製品（図Ⅲ-4-1～7、10～24. 図版Ⅰ-27・34・114. 図版Ⅱ-421. 表Ⅵ-9）

土偶（図Ⅲ-4-1～3）

1、2は同一の土偶と考えられるもので破損して出土した。3は完形品で出土した簡素な造りの小型の土偶である。1～3は縄文時代中期前半のものと考えられる。

装飾と考えられる土製品（図Ⅲ-4-4、5）

4は横と縦に細い貫通孔が施されたキノコの傘のような土製品である。表面には細かい刺突が多数施されている。他のものに装着するタイプの装飾品と考えられる。5は環状の簡素な土製品である。

耳栓（図Ⅲ-4-6）

表裏に多数の細かい刺突が施された耳栓と考えられる土製品である。破損して出土した。

不明の土製品（図Ⅲ-4-7）

有孔土製円盤（図Ⅲ-4-10～20、24）

Ⅲ群a類、Ⅲ群b類土器の破片を加工したものである。

土製円盤（図Ⅲ-4-21～23）

Ⅲ群a類、Ⅲ群b類土器の破片を加工したものである。

5 金属製品（図Ⅲ-4-8、9. 図版Ⅰ-114. 図版Ⅱ-420. 表Ⅵ-9）

寛永通宝（図Ⅲ-4-8）

古銭（図Ⅲ-4-9）

IV章 自然科学的分析

1 館野2遺跡C地区における放射性炭素年代（AMS測定）

（株）加速器分析研究所

1 測定対象試料

館野2遺跡は、北海道北斗市館野29-1ほか（北緯41° 47′ 34″、東経140° 37′ 02″）に所在する。館野2遺跡C地区のC14年代測定試料は、平成21年から23年にかけて測定依頼を受けて合計31点を対象とした。以下は3回分の結果を取りまとめたものである。

平成21年の試料は、CH-2床面から出土した木炭3点（HT2-1～3：IAAA-82684～82686）、CH-3床面から出土した木炭（HT2-4：IAAA-82687）、CH-3HF1焼土から出土した木炭（HT2-5：IAAA-82688）、CH-3炉跡2の焼土から出土した木炭（HT2-6：IAAA-82689）、CH-4床面から出土した木炭（HT2-7：IAAA-82690）、CH-5炉跡2の焼土から出土した木炭（HT2-8：IAAA-82691）、CH-5HP12覆土から出土した木炭（HT2-9：IAAA-82692）、CH-5HP10覆土から出土した木炭（HT2-10：IAAA-82693）、合計10点である。

平成22年の試料は、CP-194覆土1層出土木炭（No.6：IAAA-102920）、CH-86床面出土木炭（No.7（炭化材No.1）：IAAA-102921、No.8（炭化材No.2）：IAAA-102922、No.9（炭化材No.3）：IAAA-102923）、CH-31床面出土木炭（No.10（遺物No.2430）：IAAA-102924、No.11（遺物No.2432）：IAAA-102925、No.12（遺物No.2434）：IAAA-102926、No.13（遺物No.2455）：IAAA-102927）の合計8点である（表1）。

平成23年の試料は、住居跡から出土した木炭（タテ2C-1：IAAA-112180～タテ2C-12：IAAA-112191）、土壌から出土した木炭（タテ2C-13：IAAA-112192）の合計13点である（表1）。タテ2C-1～3、8、12は住居の建材と考えられ、同9～11もその可能性が指摘されている。

2 測定の意義

住居跡、土壌とそれに伴う縄文土器の年代を考える。

3 化学処理工程

- （1）メス・ピンセットを使い、根・土等の付着物を取り除く。
- （2）酸-アルカリ-酸（AAA：Acid Alkali Acid）処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常1 mol/l（1 M）の塩酸（HCl）を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム（NaOH）水溶液を用い、0.001Mから1 Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が1 Mに達した時には「AAA」、1 M未満の場合は「AaA」と表1に記載する。
- （3）試料を燃焼させ、二酸化炭素（CO₂）を発生させる。
- （4）真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- （5）精製した二酸化炭素を鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト（C）を生成させる。
- （6）グラファイトを内径1 mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

4 測定方法

3 MVタンデム加速器（NEC Pelletron 9 SDH-2）をベースとした¹⁴C-AMS専用装置を使用し、¹⁴Cの計数、¹³C濃度（¹³C/¹²C）、¹⁴C濃度（¹⁴C/¹²C）の測定を行う。測定では、米国国立標準局（NIST）から提供されたシュウ酸（HOxII）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

5 算出方法

（1） $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の¹³C濃度（¹³C/¹²C）を測定し、基準試料からのずれを千分偏差（‰）で表した値である（表1）。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。

（2）¹⁴C年代（Libby Age : yrBP）は、過去の大気中¹⁴C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年（0 yrBP）として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期（5568年）を使用する（Stuiver and Polach 1977）。¹⁴C年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。¹⁴C年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、¹⁴C年代の誤差（ $\pm 1\sigma$ ）は、試料の¹⁴C年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。

（3）pMC（percent Modern Carbon）は、標準現代炭素に対する試料炭素の¹⁴C濃度の割合である。pMCが小さい（¹⁴Cが少ない）ほど古い年代を示し、pMCが100以上（¹⁴Cの量が標準現代炭素と同等以上）の場合Modernとする。この値も $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。

（4）暦年較正年代とは、年代が既知の試料の¹⁴C濃度を元に描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の¹⁴C濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、¹⁴C年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差（ $1\sigma=68.2\%$ ）あるいは2標準偏差（ $2\sigma=95.4\%$ ）で表示される。グラフの縦軸が¹⁴C年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下1桁を丸めない¹⁴C年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal09データベース（Reimer et al. 2009）を用い、OxCalv4.1較正プログラム（Bronk Ramsey 2009）を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表2に示した。暦年較正年代は、¹⁴C年代に基づいて較正（calibrate）された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」（または「cal BP」）という単位で表される。

6 測定結果

平成21年の¹⁴C年代は、CH-2床面から出土した木炭3点が $4120\pm 40\text{yrBP}$ ・ $4130\pm 40\text{yrBP}$ ・ $4150\pm 40\text{yrBP}$ 、CH-3床面から出土した木炭が $4160\pm 40\text{yrBP}$ 、CH-3 HF 1焼土から出土した木炭が $4190\pm 40\text{yrBP}$ 、CH-3炉跡2の焼土から出土した木炭が $3840\pm 40\text{yrBP}$ 、CH-4床面から出土した木炭が $4210\pm 40\text{yrBP}$ 、CH-5炉跡2の焼土から出土した木炭が $4200\pm 40\text{yrBP}$ 、CH-5 HP12覆土から出土した木炭が $4230\pm 40\text{yrBP}$ 、CH-5 HP10覆土から出土した木炭が $4160\pm 40\text{yrBP}$ である。

HT 2-6以外は、かなり限定された年代幅に収まり、縄文時代中期後葉に相当する。試料の炭素含有率はすべて60%以上であり、十分な値であった。化学処理および測定内容に問題はなく、妥当な年

代と判断される。

平成22年の結果は次のとおりである。CP-194覆土1層出土木炭No.6の ^{14}C 年代は $760 \pm 30\text{yrBP}$ である。暦年較正年代(1 σ)は1243~1278cal ADの間に2つの範囲で示される。

CH-86床面出土木炭の ^{14}C 年代は、No.7が $4460 \pm 30\text{yrBP}$ 、No.8が $4300 \pm 30\text{yrBP}$ 、No.9が $4440 \pm 30\text{yrBP}$ である。No.7とNo.9の値は誤差($\pm 1\sigma$)の範囲で重なり、近い年代を示すが、No.8はこれらよりも若干新しい年代値となっている。暦年較正年代(1 σ)は、No.7が3322~3029cal BCの間に4つの範囲、No.8が2922~2890cal BCの範囲、No.9が3311~3020cal BCの間に4つの範囲で示され、No.7とNo.9は縄文時代中期前半頃、No.8は縄文時代中期中葉頃に相当する年代値である。

CH-31床面出土木炭の ^{14}C 年代は、No.10が $4470 \pm 30\text{yrBP}$ 、No.11が $4570 \pm 30\text{yrBP}$ 、No.12が $4510 \pm 30\text{yrBP}$ 、No.13が $4500 \pm 30\text{yrBP}$ である。4点の値は誤差($\pm 1\sigma$)の範囲で相互に重なる部分を持ち、おおむね近い年代を示す。暦年較正年代(1 σ)は、No.10が3328~3092cal BC、No.11が3369~3136cal BC、No.12が3341~3111cal BC、No.13が3333~3105cal BCの間に各々複数の範囲で示され、おおよそ縄文時代中期前半頃に相当する。

平成23年の結果は次の通りである。住居跡出土木炭の ^{14}C 年代は、CH2-C1床付近出土のタテ2C-1が $4090 \pm 30\text{yrBP}$ 、CH3炉跡2出土のタテ2C-2が $3830 \pm 30\text{yrBP}$ 、CH12-No.1床付近出土のタテ2C-3が $4150 \pm 30\text{yrBP}$ 、CH18-C1床面出土のタテ2C-4が $4440 \pm 30\text{yrBP}$ 、CH22床面出土のタテ2C-5が $4500 \pm 30\text{yrBP}$ 、CH26床面出土のタテ2C-6が $4570 \pm 30\text{yrBP}$ 、CH30小ピット(HP-1)出土のタテ2C-7が $4560 \pm 30\text{yrBP}$ 、CH40ピット(HP-3)出土のタテ2C-8が $4440 \pm 30\text{yrBP}$ 、CH41床面出土のタテ2C-9が $4500 \pm 30\text{yrBP}$ 、CH46床面出土のタテ2C-10が $4310 \pm 30\text{yrBP}$ 、CH52床面出土のタテ2C-11が $4400 \pm 30\text{yrBP}$ 、CH83-No.2床付近出土のタテ2C-12が $4170 \pm 30\text{yrBP}$ である。暦年較正年代(1 σ)は、タテ2C-1が2835~2577cal BC、タテ2C-2が2340~2206cal BC、タテ2C-3が2866~2639cal BC、タテ2C-4が3309~3021cal BC、タテ2C-5が3337~3106cal BC、タテ2C-6が3369~3137cal BC、タテ2C-7が3367~3133cal BC、タテ2C-8が3312~3023cal BC、タテ2C-9が3335~3105cal BC、タテ2C-10が3000~2892cal BC、タテ2C-11が3089~2930cal BC、タテ2C-12が2876~2697cal BCの間に各々複数の範囲で示される。古いほうから順に、タテ2C-6、7が縄文時代中期初頭から前葉頃、タテ2C-5、9が中期前葉頃、タテ2C-4、8、10、11が中期中葉頃、タテ2C-1、3、12が中期後葉頃、タテ2C-2が後期初頭から前葉頃に相当すると見られる。

土壌CP95壙底出土木炭タテ2C-13の ^{14}C 年代は $4350 \pm 30\text{yrBP}$ 、暦年較正年代(1 σ)が3011~2914cal BCの間に3つの範囲で示され、縄文時代中期中葉頃に相当する。

試料の炭素含有率はすべて60%を超える十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

参考文献

- Stuiver M. and Polash H.A. 1977 Discussion: Reporting of ^{14}C data, Radiocarbon 19, 355-363
- Bronk Ramsey C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, Radiocarbon 51(1), 337-360
- Reimer, P.J. et al. 2009 IntCal09 and Marine09 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, Radiocarbon 51(4), 1111-1150

表1 放射性年代測定結果（平成21～23年度分）

番号	測定番号	試料名	採取場所	試料 形態	処理 方法	$\delta^{13}\text{C}$ (%) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
							LibbyAge (yrBP)	pMC (%)
1	IAAA-82684	HT2-1	CH-2床面	木炭	AAA	-25.98±0.77	4,120±40	59.91±0.28
2	IAAA-82685	HT2-2	CH-2床面	木炭	AaA	-22.79±0.95	4,130±40	59.77±0.27
3	IAAA-82686	HT2-3	CH-2床面	木炭	AAA	-23.55±0.76	4,150±40	59.67±0.27
4	IAAA-82687	HT2-4	CH-3床面	木炭	AAA	-23.99±0.69	4,160±40	59.55±0.26
5	IAAA-82688	HT2-5	CH-3HF-1	木炭	AAA	-27.20±0.85	4,190±40	59.38±0.28
6	IAAA-82689	HT2-6	CH-3炉跡2	木炭	AAA	-22.65±0.68	3,840±40	62.02±0.27
7	IAAA-82690	HT2-7	CH-4床面	木炭	AAA	-25.02±0.77	4,210±40	59.18±0.27
8	IAAA-82691	HT2-8	CH-5炉跡2	木炭	AAA	-25.29±0.79	4,200±40	59.27±0.27
9	IAAA-82692	HT2-9	CH-5HP12覆土	木炭	AaA	-29.23±0.86	4,230±40	59.09±0.28
10	IAAA-82693	HT2-10	CH-5HP10覆土	木炭	AAA	-21.85±0.82	4,160±40	59.58±0.27
11	IAAA-102920	No.6	CP-194覆土1層	木炭	AAA	-28.61±0.52	760±30	90.95±0.29
12	IAAA-102921	No.7(炭化材No.1)	CH-86床面	木炭	AAA	-27.58±0.44	4,460±30	57.40±0.21
13	IAAA-102922	No.8(炭化材No.2)	CH-86床面	木炭	AAA	-27.24±0.51	4,300±30	58.52±0.22
14	IAAA-102923	No.9(炭化材No.3)	CH-86床面	木炭	AAA	-29.16±0.42	4,440±30	57.54±0.21
15	IAAA-102924	No.10(遺物No.2430)	CH-31床面	木炭	AAA	-26.71±0.51	4,470±30	57.32±0.21
16	IAAA-102925	No.11(遺物No.2432)	CH-31床面	木炭	AAA	-26.10±0.45	4,570±30	56.63±0.21
17	IAAA-102926	No.12(遺物No.2434)	CH-31床面	木炭	AAA	-26.64±0.47	4,510±30	57.03±0.21
18	IAAA-102927	No.13(遺物No.2455)	CH-31床面	木炭	AaA	-26.35±0.60	4,500±30	57.13±0.21
19	IAAA-112180	タテ2C-1	CH-2C1床付近	木炭	AAA	-30.27±0.52	4,090±30	60.10±0.20
20	IAAA-112181	タテ2C-2	CH-3炉跡2	木炭	AAA	-22.95±0.44	3,830±30	62.05±0.22
21	IAAA-112182	タテ2C-3	CH-12No.1 床付近	木炭	AAA	-26.07±0.48	4,150±30	59.68±0.22
22	IAAA-112183	タテ2C-4	CH-18C1床面	木炭	AAA	-25.36±0.49	4,440±30	57.55±0.19
23	IAAA-112184	タテ2C-5	CH-22床面	木炭	AAA	-24.69±0.50	4,500±30	57.09±0.20
24	IAAA-112185	タテ2C-6	CH-26床面	木炭	AaA	-24.57±0.44	4,570±30	56.62±0.20
25	IAAA-112186	タテ2C-7	CH-30HP-1	木炭	AAA	-24.68±0.46	4,560±30	56.67±0.21
26	IAAA-112187	タテ2C-8	CH-40HP-3	木炭	AAA	-25.85±0.60	4,440±30	57.51±0.20
27	IAAA-112188	タテ2C-9	CH-41床面	木炭	AaA	-26.35±0.58	4,500±30	57.12±0.20
28	IAAA-112189	タテ2C-10	CH-46床面	木炭	AAA	-21.04±0.48	4,310±30	58.45±0.20
29	IAAA-112190	タテ2C-11	CH-52床面	木炭	AAA	-24.16±0.49	4,400±30	57.81±0.21
30	IAAA-112191	タテ2C-12	CH-83No.2 床付近	木炭	AAA	-21.74±0.58	4,170±30	59.50±0.20
31	IAAA-112192	タテ2C-13	CP-95 壙底	木炭	AAA	-19.24±0.50	4,350±30	58.16±0.19

* 試料の測定年度内訳は、平成21年度（No.1～10）、平成22年度（No.11～18）、平成23年度（No.19～31）である。

表 2 (1) 暦年較正年代 (平成21年度分)

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-82684	4,130 \pm 40	59.79 \pm 0.26	4,115 \pm 37	2856BC-2812BC (19.7%) 2748BC-2725BC (9.6%) 2698BC-2620BC (36.1%) 2605BC-2601BC (1.5%) 2592BC-2589BC (1.3%)	2872BC-2801BC (24.4%) 2792BC-2788BC (0.5%) 2780BC-2575BC (70.5%)
IAAA-82685	4,100 \pm 30	60.04 \pm 0.24	4,134 \pm 36	2862BC-2831BC (13.5%) 2821BC-2808BC (5.5%) 2758BC-2718BC (17.1%) 2706BC-2630BC (32.1%)	2873BC-2619BC (92.0%) 2608BC-2599BC (1.8%) 2594BC-2585BC (1.7%)
IAAA-82686	4,120 \pm 40	59.85 \pm 0.26	4,147 \pm 36	2867BC-2835BC (14.2%) 2817BC-2804BC (5.4%) 2776BC-2770BC (2.5%) 2763BC-2665BC (44.3%) 2644BC-2639BC (1.7%)	2878BC-2620BC (95.4%)
IAAA-82687	4,150 \pm 30	59.68 \pm 0.25	4,163 \pm 35	2873BC-2849BC (11.6%) 2813BC-2741BC (34.9%) 2730BC-2694BC (18.1%) 2688BC-2679BC (3.6%)	2881BC-2831BC (19.5%) 2822BC-2629BC (75.9%)
IAAA-82688	4,220 \pm 40	59.11 \pm 0.25	4,186 \pm 37	2883BC-2855BC (15.3%) 2812BC-2746BC (38.6%) 2725BC-2697BC (14.3%)	2891BC-2833BC (23.2%) 2819BC-2662BC (70.1%) 2650BC-2635BC (2.1%)
IAAA-82689	3,800 \pm 30	62.32 \pm 0.26	3,837 \pm 35	2396BC-2385BC (3.1%) 2346BC-2267BC (37.9%) 2261BC-2206BC (27.3%)	2459BC-2200BC (95.4%)
IAAA-82690	4,210 \pm 40	59.17 \pm 0.26	4,214 \pm 37	2893BC-2862BC (25.9%) 2807BC-2758BC (36.2%) 2718BC-2707BC (6.1%)	2904BC-2839BC (34.0%) 2815BC-2677BC (61.4%)
IAAA-82691	4,210 \pm 30	59.23 \pm 0.25	4,202 \pm 36	2888BC-2860BC (20.1%) 2809BC-2755BC (38.5%) 2720BC-2704BC (9.5%)	2899BC-2836BC (28.3%) 2816BC-2669BC (67.1%)
IAAA-82692	4,300 \pm 40	58.58 \pm 0.25	4,226 \pm 37	2899BC-2865BC (35.4%) 2806BC-2760BC (32.8%)	2910BC-2840BC (42.5%) 2814BC-2678BC (52.9%)
IAAA-82693	4,110 \pm 30	59.97 \pm 0.25	4,159 \pm 36	2872BC-2840BC (13.1%) 2814BC-2678BC (55.1%)	2881BC-2625BC (95.4%)

[参考値]

表2（2）暦年較正年代（平成22年度分）

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-102920	820 ± 20	90.28 ± 0.27	762 ± 25	1243calAD-1246calAD (3.9%) 1252calAD-1278calAD (64.3%)	1222calAD-1281calAD (95.4%)
IAAA-102921	4,500 ± 30	57.10 ± 0.21	4,458 ± 29	3322calBC-3235calBC (37.5%) 3171calBC-3162calBC (3.3%) 3116calBC-3086calBC (13.4%) 3062calBC-3029calBC (13.9%)	3336calBC-3210calBC (47.5%) 3193calBC-3151calBC (9.9%) 3139calBC-3021calBC (38.0%)
IAAA-102922	4,340 ± 30	58.25 ± 0.21	4,303 ± 30	2922calBC-2890calBC (68.2%)	3012calBC-2882calBC (95.4%)
IAAA-102923	4,510 ± 30	57.05 ± 0.20	4,439 ± 29	3311calBC-3295calBC (4.6%) 3286calBC-3275calBC (3.1%) 3265calBC-3239calBC (12.2%) 3106calBC-3020calBC (48.3%)	3330calBC-3216calBC (30.6%) 3184calBC-3157calBC (4.2%) 3126calBC-3007calBC (53.9%) 2988calBC-2931calBC (6.7%)
IAAA-102924	4,500 ± 30	57.12 ± 0.20	4,469 ± 29	3328calBC-3218calBC (48.7%) 3177calBC-3159calBC (6.9%) 3122calBC-3092calBC (12.5%)	3338calBC-3207calBC (52.7%) 3195calBC-3081calBC (32.4%) 3069calBC-3026calBC (10.3%)
IAAA-102925	4,590 ± 30	56.50 ± 0.20	4,567 ± 29	3369calBC-3335calBC (41.5%) 3211calBC-3191calBC (15.4%) 3153calBC-3136calBC (11.3%)	3492calBC-3469calBC (4.7%) 3374calBC-3321calBC (45.6%) 3273calBC-3269calBC (0.4%) 3236calBC-3169calBC (24.6%) 3164calBC-3110calBC (20.1%)
IAAA-102926	4,540 ± 30	56.84 ± 0.21	4,510 ± 30	3341calBC-3316calBC (10.7%) 3292calBC-3290calBC (1.0%) 3273calBC-3266calBC (3.1%) 3237calBC-3170calBC (30.0%) 3164calBC-3111calBC (23.4%)	3352calBC-3262calBC (32.7%) 3251calBC-3099calBC (62.7%)
IAAA-102927	4,520 ± 30	56.97 ± 0.20	4,496 ± 29	3333calBC-3265calBC (28.6%) 3241calBC-3213calBC (13.0%) 3188calBC-3155calBC (14.7%) 3132calBC-3105calBC (12.0%)	3346calBC-3096calBC (95.4%)

[参考値]

表 2 (3) 暦年較正年代(平成23年度分①)

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-112180	4,180 \pm 30	59.45 \pm 0.19	4,089 \pm 26	2835calBC-2816calBC (11.9%) 2667calBC-2577calBC (56.3%)	2857calBC-2811calBC (18.7%) 2749calBC-2723calBC (4.9%) 2699calBC-2569calBC (69.3%) 2515calBC-2501calBC (2.5%)
IAAA-112181	3,800 \pm 30	62.32 \pm 0.21	3,833 \pm 28	2340calBC-2271calBC (35.2%) 2259calBC-2206calBC (33.0%)	2458calBC-2418calBC (5.8%) 2407calBC-2376calBC (6.9%) 2366calBC-2364calBC (0.3%) 2351calBC-2199calBC (82.0%) 2158calBC-2155calBC (0.4%)
IAAA-112182	4,160 \pm 30	59.55 \pm 0.21	4,146 \pm 29	2866calBC-2835calBC (14.7%) 2817calBC-2805calBC (5.5%) 2761calBC-2665calBC (45.7%) 2645calBC-2639calBC (2.3%)	2875calBC-2625calBC (95.4%)
IAAA-112183	4,440 \pm 30	57.50 \pm 0.19	4,439 \pm 27	3309calBC-3301calBC (2.4%) 3283calBC-3277calBC (1.7%) 3265calBC-3240calBC (12.5%) 3105calBC-3021calBC (51.6%)	3329calBC-3217calBC (29.8%) 3182calBC-3158calBC (3.6%) 3124calBC-3008calBC (56.5%) 2985calBC-2933calBC (5.5%)
IAAA-112184	4,500 \pm 30	57.12 \pm 0.19	4,503 \pm 27	3337calBC-3311calBC (11.5%) 3295calBC-3286calBC (3.8%) 3275calBC-3265calBC (4.3%) 3239calBC-3209calBC (14.2%) 3193calBC-3150calBC (19.5%) 3139calBC-3106calBC (14.9%)	3348calBC-3262calBC (33.1%) 3253calBC-3098calBC (62.3%)
IAAA-112185	4,560 \pm 30	56.67 \pm 0.20	4,569 \pm 28	3369calBC-3335calBC (43.8%) 3211calBC-3191calBC (14.2%) 3153calBC-3137calBC (10.2%)	3493calBC-3468calBC (5.4%) 3375calBC-3322calBC (48.5%) 3273calBC-3269calBC (0.3%) 3235calBC-3169calBC (22.7%) 3164calBC-3111calBC (18.5%)
IAAA-112186	4,560 \pm 30	56.71 \pm 0.20	4,561 \pm 29	3367calBC-3333calBC (35.9%) 3213calBC-3189calBC (18.0%) 3154calBC-3133calBC (14.3%)	3488calBC-3472calBC (2.2%) 3372calBC-3315calBC (40.7%) 3294calBC-3288calBC (0.6%) 3274calBC-3267calBC (0.9%) 3238calBC-3106calBC (51.1%)

表2(4) 暦年較正年代(平成23年度分②)

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用(yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age(yrBP)	pMC(%)			
IAAA-112187	4,460 \pm 30	57.41 \pm 0.19	4,444 \pm 28	3312calBC-3295calBC (5.7%) 3287calBC-3275calBC (3.9%) 3265calBC-3239calBC (13.7%) 3106calBC-3023calBC (44.9%)	3331calBC-3214calBC (35.6%) 3187calBC-3155calBC (5.4%) 3130calBC-3010calBC (51.2%) 2981calBC-2959calBC (1.9%) 2952calBC-2937calBC (1.3%)
IAAA-112188	4,520 \pm 30	56.96 \pm 0.19	4,499 \pm 28	3335calBC-3309calBC (11.4%) 3301calBC-3265calBC (13.5%) 3240calBC-3211calBC (13.2%) 3191calBC-3153calBC (16.6%) 3137calBC-3105calBC (13.6%)	3347calBC-3097calBC (95.4%)
IAAA-112189	4,250 \pm 30	58.92 \pm 0.19	4,314 \pm 27	3000calBC-2994calBC (3.6%) 2928calBC-2892calBC (64.6%)	3012calBC-2888calBC (95.4%)
IAAA-112190	4,390 \pm 30	57.91 \pm 0.21	4,402 \pm 29	3089calBC-3051calBC (21.7%) 3031calBC-3006calBC (14.7%) 2990calBC-2930calBC (31.8%)	3262calBC-3254calBC (1.2%) 3099calBC-2919calBC (94.2%)
IAAA-112191	4,120 \pm 30	59.90 \pm 0.19	4,171 \pm 27	2876calBC-2855calBC (12.3%) 2812calBC-2746calBC (39.6%) 2725calBC-2697calBC (16.4%)	2881calBC-2834calBC (20.0%) 2818calBC-2665calBC (74.2%) 2646calBC-2638calBC (1.2%)
IAAA-112192	4,260 \pm 30	58.85 \pm 0.18	4,354 \pm 26	3011calBC-2978calBC (30.0%) 2964calBC-2949calBC (11.3%) 2944calBC-2914calBC (26.9%)	3079calBC-3072calBC (1.6%) 3025calBC-2905calBC (93.8%)

[参考値]

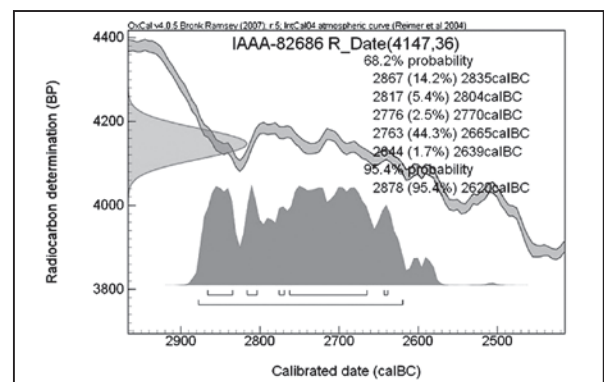
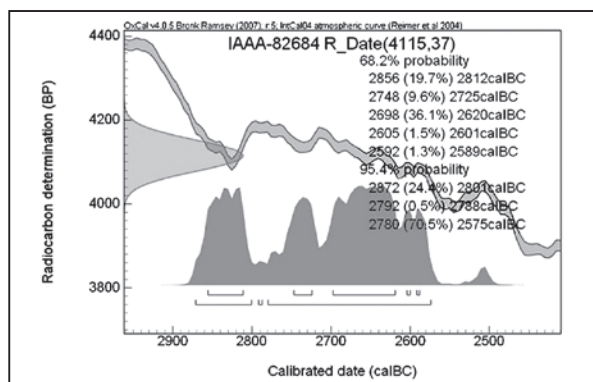


図1 暦年較正年代グラフ(平成21年度分①)

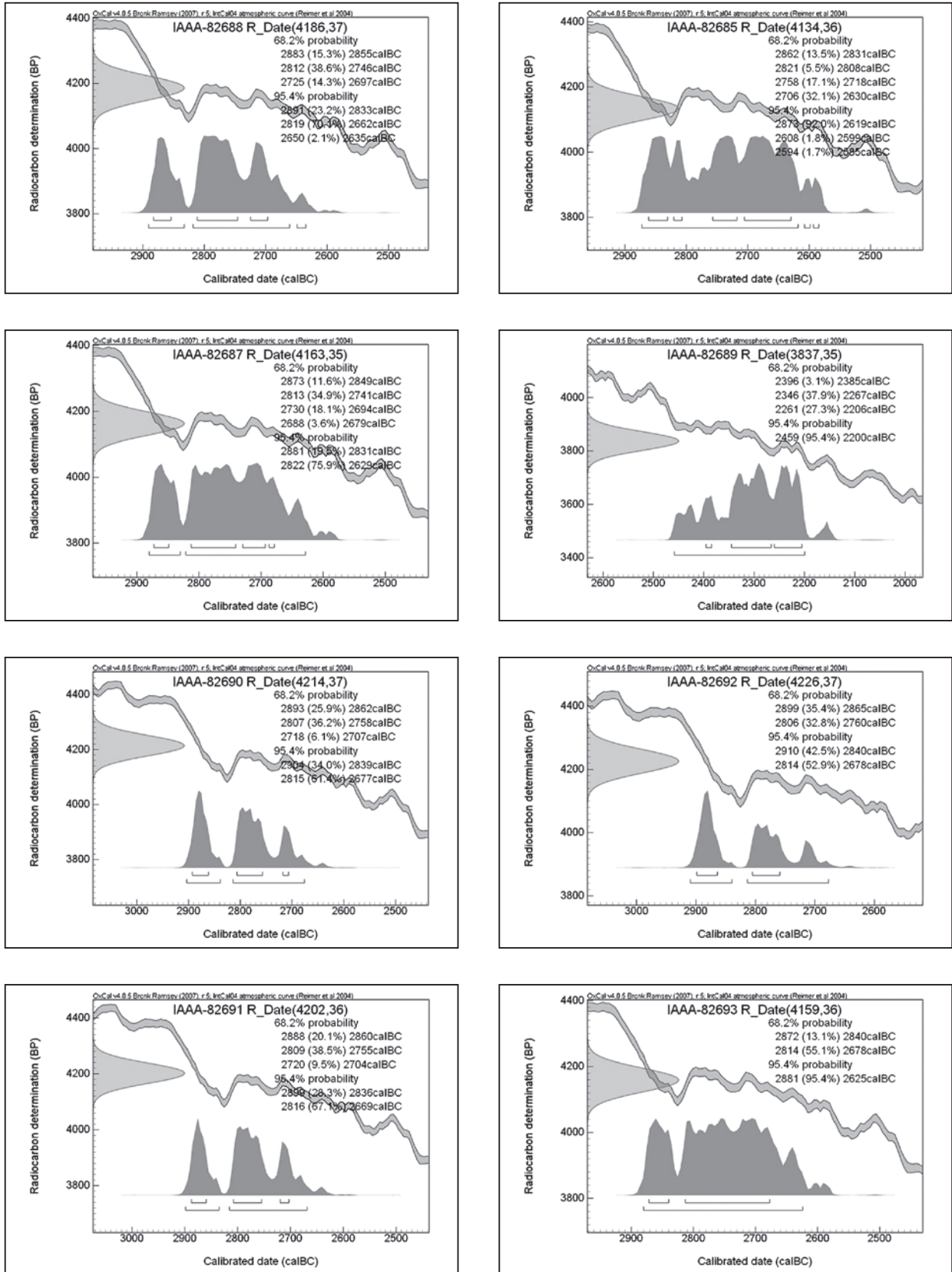


図1 暦年較正年代グラフ (平成21年度分①)

2 北斗市館野2遺跡C地区遺跡出土黒曜石製遺物の原材産地分析

有限会社 遺物材料研究所

はじめに

石器石材の産地を自然科学的手法を用いて、客観的に、かつ定量的に推定し、古代の交流、交易および文化圏、交易圏を探ると言う目的で、蛍光X線分析法によりサヌカイトおよび黒曜石製遺物の石材産地推定を行なっている^{1,2,3)}。黒曜石の伝播に関する研究では、伝播距離は千数百キロメートルは（図1）一般的で文系考古学（様式学）では更に広い範囲の様式伝搬が推測されてきた。様式伝搬に石材が伴ったかは、理系考古学（自然科学）の結果を取り入れ、真の考古学研究で先史を明らかにする必要がある。66千キロメートルを推測する学者もでてきている。このような研究結果が出てきている現在、正確に産地を判定するということは、原理原則に従って同定を行うことである。原理原則は、同じ元素組成の黒曜石が異なった産地では生成されないという理論がないために、少なくとも遺跡から半径数千キロメートルの内にある石器の原材産地の原石と遺物を比較し、必要条件と十分条件を満たす必要がある。ノーベル賞を受賞された益川敏英博士の言を借りれば、科学とは、仮説をたて正しいか否かあらゆる可能性を否定することにある。即ち十分条件の証明が非常に重要であると言い換えられると思われる。『遺物原材とある産地の原石が一致したという「必要条件」を満たしても、他の産地の原石にも一致する可能性が残っているから、他の産地には一致しないという「十分条件」を満たして、一致した産地の原石が使用されているとはじめて言い切れる。また、十分条件を求めることにより、一致しなかった産地との交流がなかったと結論でき、考古学に重要な資料が提供される。

産地分析の方法

先ず原石採取であるが、本来、先史・古代人が各産地の何処の地点で原石を採取したか？不明であるために、1カ所の産地から産出する全ての原石を採取し分析する必要があるが不可能である。そこで、産地から抽出した数十個の原石でも、産地全ての原石を分析して比較した結果と同じ結果が推測される方法として、理論的に証明されている方法で、マハラノビスの距離を求めて行う、ホテリングのT2乗検定がある。ホテリングのT2乗検定法の同定とクラスター判定法（同定ではなく分類）、元素散布図法（散布図範囲に入るか否かで判定）を比較すると。クラスター判定法は判定基準が曖昧である。クラスターを作る産地の組み合わせを変えることにより、クラスターが変動する。例えば、A原石製の遺物とA、B、C産地の原石でクラスターを作ったとき遺物はA原石とクラスターを作るが、A原石を抜いて、D、E産地の原石を加えてクラスターを作ると、遺物がE産地とクラスタを作ると、A産地が調査されていないと、遺物はE原石製遺物と判定されれる可能性があり結果の信頼性に疑問が生じる。A原石製遺物と分かっていたら、E原石とクラスターを作らないように人為的にクラスターを操作できる。元素散布図法は肉眼で原石群元素散布の中に遺物の結果が入るか図示した方法で、原石の含有元素の違いを絶対定量値を求めて地球科学的に議論するには、地質学では最も適した方法であるが、産地分析からみると、クラスター法より、さらに後退した方法で、何個の原石を分析すればその産地を正確に表現されているのか不明で、分析する原石の数で、原石数の少ないときには、A産地とB産地が区別できていたのに、原石数を増やすと、A産地、B産地の区別ができなくなる可能性があり（クラスタ法でも同じ危険性がある）判定結果に疑問が残る。産地分析としては、地質学の常識的な知識（高校生）さえあればよく、火山学、堆積学など専門知識は必要なく、分析では非破壊で遺物の形態の違いによる相対定量値の影響を評価しながら、同定を行うことが必要で、地球科学的なことは関係なく、如何に原理原則に従って正確な判定を行うかである。クラスタ法、元素散布図法の欠

点を解決するために考え出された方法が、理論的に証明された判定法でホテリングのT²乗検定法である。仮に調査した320個の原石・遺物群について散布図を書くと、各群40個の元素分析結果を元素散布図にプロットすると、320群×40個=12800点の元素散布図になり、これが8元素比では28個の2元素比の散布図となり、この図の中に遺物の分析点をプロットして産地を推測することは、想像できても実用的でなく。もし、散布図で判定するなら、あらかじめ遺物の原石産地を決めて、予想した産地のみで散布図を書き産地を決定する。これでは、一致する産地のみを探すのみで、科学的分析のあらゆる可能性を否定することが科学分析であると言うことに反し科学的産地分析と言えない。ある産地の原石組成と遺物組成が一致すれば、その産地の原石と決定できるという理論がないために、多数の産地の原石と遺物を比較し、必要条件と十分条件を満たす必要がある。考古学では、人工品の様式が一致すると言う結果が非常に重要な意味があり、見える様式としての形態、文様、見えない様式として土器、青銅器、ガラスなどの人手が加わった調合素材があり一致すると言うことは古代人が意識して一致させた可能性があり、一致すると言うことは、古代人の思考が一致すると考えてもよく、相互関係を調査する重要な意味をもつ結果である。石器の様式による分類ではなく、自然の法則で決定した石材の元素組成を指標にした分類では、産地分析の結果の信頼性は何ヶ所の原材産地の原石と客観的に比較して得られたかにより、比較した産地が少なければ、信頼性の低い結果と言える。黒曜石、安山岩などの主成分組成は、原産地ごとに大きな差はみられないが、不純物として含有される微量成分組成には異同があると考えられるため、微量成分を中心に元素分析を行ない、これを産地を特定する指標とした。分類の指標とする元素組成を遺物について求め、あらかじめ、各原産地ごとに数十個の原石を分析して求めておいた各原石群の元素組成の平均値、分散などと遺物のそれを対比して、各平均値からの離れ具合（マハラノビスの距離）を求める。次に、古代人が採取した原石産出地点と現代人が分析のために採取した原石産出地と異なる地点の可能性は十分に考えられる。従って、分析した有限個の原石から産地全体の無限の個数の平均値と分散を推測して判定を行うホテリングのT²乗検定を行う。この検定を全ての産地について行い、ある遺物原材がA産地に10%の確率で必要条件がみたされたとき、この意味はA産地で10個原石を採取すると1個が遺物と同じ成分だと言うことで、現実により得ることであり、遺物はA産地原石と判定する。しかし、他の産地について、B産地では0.01%で1万個中に1個の組成の原石に相当し、遺跡人が1万個遺跡に持ち込んだとは考えにくい、従って、B産地ではないと言う十分条件を満足する。またC産地では百万個中に1個、D産地では…1個と各産地毎に十分条件を満足させ、客観的な検定結果から必要条件と十分条件をみたしたA産地の原石を使用した可能性が高いと同定する。即ち多変量解析の手法を用いて、各産地に帰属される確率を求めて産地を同定する。

今回分析した遺物は北海道北斗市に位置する館野2遺跡C地区遺跡から出土した黒曜石製遺物について産地分析の結果が得られたので報告する。

黒曜石原石の分析

黒曜石原石の自然面を打ち欠き、新鮮面を出し、塊状の試料を作り、エネルギー分散型蛍光X線分析装置によって元素分析を行なう。分析元素はAl、Si、K、Ca、Ti、Mn、Fe、Rb、Sr、Y、Zr、Nbの12元素をそれぞれ分析した。塊試料の形状差による分析値への影響を打ち消すために元素量の比を取り、それでもって産地を特定する指標とした。黒曜石は、Ca/K、Ti/K、Mn/Zr、Fe/Zr、Rb/Zr、Sr/Zr、Y/Zr、Nb/Zrの比の値を産地を区別する指標としてそれぞれ用いる。黒曜石の原産地は北海道、東北、北陸、東関東、中信高原、伊豆箱根、伊豆七島の神津島、山陰、九州の各地に黒曜石の原産地は分布している。調査を終えている原産地の一部を図2に示す。元素組成によってこれら

原石を分類し表1に示すこの原石群に原石産地が不明の遺物で作った遺物群を加えると320個の原石群・遺物群になる。ここでは北海道地域および一部の東北地域の産地について記述すると、白滝地域の原産地は、北海道紋別郡白滝村に位置し、鹿砦北方2kmの採石場の赤石山の露頭、鹿砦東方約2kmの幌加沢地点、また白土沢、八号沢などより転礫として黒曜石が採取できる。赤石山の産地の黒曜石は色に関係無く赤石山群（旧白滝第1群）にまとまる。また、あじさいの滝の露頭からは赤石山と肉眼観察では区別できない原石が採取でき、あじさい滝群を作った（旧白滝第2群）、また、八号沢の黒曜石原石と白土沢、十勝石川沢の転礫は梨肌の黒曜石で元素組成はあじさい滝群に似るが石肌で区別できる。幌加沢からの転礫の中で70%は幌加沢群になりあじさい滝群と元素組成から両群を区別できず、残りの30%は赤石山群に一致する。置戸地域産原石は、北海道常呂郡置戸町の清水の沢林道より採取された原石であり、その元素組成は置戸・所山群にまとまり、また同町の秋田林道で採取される原石は置戸山群にまとまる。また、同町中里地区の露頭の小原石（最大約3cm）は、置戸山群、常呂川の転礫で作った常呂川第5群に一致し、同町安住地区の小原石の中には常呂川第3群に一致する原石がみられた。留辺蘂町のケショマップ川一帯で採取される原石はケショマップ第1、第2およびチマキノウシ林道から採取される黒曜石原石から新たにケショマップ第0群（旧ケショマップ第3群に似る）分類される。また、白滝地域、ケショマップ、置戸地域産原石は、湧別川および常呂川に通じる流域にあり、両河川の流域で黒曜石の円礫が採取され、湧別川下流域から採取した黒曜石円礫247個の元素組成分類結果を表2に示した。また、中ノ島、北見大橋間の常呂川から採取した658個の円礫の中には、独特の元素組成の原石も見られ、新しい原石群を追加し分類結果を表1と表3に示した。また、湧別川の上流地域の遠軽町社名沢地域のサナブチ川流域からも独特の元素組成の原石が見られ、表1と表4に示した。十勝三股産原石は、北海道河東郡上士幌町の十勝三股露頭があり、また露頭前の十三ノ沢の谷筋および沢の中より原石が採取され、この原石の元素組成は十勝三股群にまとまる。この十勝三股産原石は十勝三股を起点に周辺の河川から転礫として採取され十三ノ沢、タウシュベツ川、音更川、芽登川、美里別川、サンケオルベ川さらに十勝川に流れた可能性があり、十勝川から採取される黒曜石円礫の元素組成は、十勝三股産の原石の元素組成と相互に近似している。これら元素組成の近似した原石の原産地は相互に区別できず、もし遺物石材の産地分析でこの遺物の原石産地が十勝三股群に同定されたとしても、これら十勝三股を起点にした周辺の河川の複数の採取地点を考えなければならない。しかし、この複数の産地をまとめて十勝地域としても、古代の地域間の交流を考察する場合、問題はないと考えられる。釧路・上阿寒地域の礫層から最大3.5cmの大きさの円礫状黒曜石原石が産出し、成分組成は十勝三股産と一致した。また、清水町、新得町、鹿追町にかけて広がる美蔓台地から産出する黒曜石から2つの美蔓原石群が作られた。この原石は産地近傍の遺跡で使用されている。名寄地域では、朝日川、金沢川、上名寄地区、忠烈布地区、智恵文川、智南地区から円礫状の黒曜石が採取できる。これら名寄地域産出の黒曜石を元素組成で分類すると、名寄第1群と名寄第2群に分類できそれぞれ87%と13%の率になる。これら分類率を表5に示した。旭川市の近文台、台場、嵐山遺跡付近および雨文台北部などから採集される黒曜石の円礫は、20%が近文台第1群、69%が近文台第2群、11%が近文台第3群にそれぞれ分類され、それから台場の砂礫採取場からは近文台諸群に一致するもの以外に、黒、灰色系円礫も見られ、台場第1、2群を作った。また、滝川市江別乙で採集される親指大の黒曜石の礫は、元素組成で分類すると約79%が滝川群にまとまり、21%が近文台第2、3群に元素組成が一致する。滝川群に一致する元素組成の原石は、北竜市恵袋別川培本社からも採取される。秩父別町の雨竜川に開析された平野を見下す丘陵中腹の緩斜面から小円礫の黒曜石原石が採取される。産出状況と礫の状態は滝川産黒曜石と同じで、秩父別第1群は滝川第

1群に元素組成が一致し、第2群も滝川第2群に一致しさらに近文台第2群にも一致する。赤井川産原石は、北海道余市郡赤井川村の土木沢上流域およびこの付近の山腹より採取できる。ここから採取される原石の中で少球果の列が何層にも重なり石器の原材として良質とはいえないもので赤井川第1群を作り、また、球果の非常に少ない握り拳半分大の良質なもので赤井川第2群を作った。これら第1、2群の元素組成は非常に似ていて、遺物を分析したときしばしば、赤井川両群に同定される。豊泉産原石は豊浦町から産出し、元素組成によって豊泉第1、2群の両群に区別され、豊泉第2群の原石は斑晶が少なく良質な黒曜石である。豊泉産原石の使用圏は道南地方に広がり、一部は青森県に伝播している。また、青森県教育庁の斉藤岳氏提供の奥尻島幌内川産黒曜石の原石群が確立されている。最近の北見市教育委員会太田敏量氏による原石産地調査で、上足寄地域から上足寄群、津別・相生から相生群、釧路市埋蔵文化財センターの石川朗氏による釧路空港、上阿寒地域からピッチストーン様の黒曜石が調査され、相互に似た組成を示し、それぞれ相生群、釧路空港群を作った。また雄武地域・音稲府川から名寄第2群に組成の似た音稲府群、鶴居・久著呂川から久著呂川群群を作り原石群に新たに登録した。出来島群は青森県西津軽郡木造町七里長浜の海岸部より採取された円礫の原石で作られた群で、この出来島群と相互に似た元素組成の原石は、岩木山の西側を流れ鱒ヶ沢地区に流入する中村川の上流で1点採取され、また、青森市の鶴ヶ坂および西津軽郡森田村鶴ばみ地区より採取されている。青森県西津軽郡深浦町の海岸と同町の六角沢およびこの沢筋に位置する露頭より採取された原石で六角沢群を作り、また、八森山産出の原石で八森山群を作った。これら深浦町の両群と相互に似た群は、青森市戸門地区より産出する黒曜石で作られた戸門第2群である。戸門第1群、成田群、浪岡町民の森地区より産出の大釈迦群(旧浪岡群)は赤井川産原石の第1、2群と弁別は可能であるが原石の元素組成は比較的似ている。戸門、大釈迦産黒曜石の産出量は非常に少なく、希に石鏃が作れる大きさのものがみられるが、鷹森山群は鷹森山麓の成田地区産出の黒曜石で中には5 cm大のものもみられる。また、考古学者の話題になる下湯川産黒曜石についても原石群を作った。産地分析は、日本、近隣国を含めた産地の合計320個の原石群・遺物群と比較し、必要条件と十分条件を求めて遺物の原石産地を同定する。

結果と考察

遺跡から出土した黒曜石製石器、石片は風化に対して安定で、表面に薄い水和層が形成されているにすぎないため、表面の泥を水洗するだけで完全な非破壊分析が可能であると考えられる。縄文時代の黒曜石製遺物は表面から約3ミクロン程度の厚さで風化層ができています。分析はこの風化層を通して遺物の内部の新鮮面をいかに多く測定するかが重要であり蛍光X線分析法の中の電子線励起方式のEPMA分析は表面の分析面積1～数百ミクロン分析されているが、深さ約1ミクロンの風化層しか分析を行っていないために、得られた結果は原石で求めた新鮮面のマトリックスと全く異なった可能性の風化層のみの分析結果になるために、黒曜石遺物は破壊して新鮮面を出して分析する必要があります。従って、非破壊分析された黒曜石製遺物のEPMA測定された産地分析結果は全く信用できないX線励起(50KEV)でマトリックスをシリカとしてモデル計算を行うと、表面から、カリウム元素など軽元素で数ミクロンから10ミクロン、鉄元素で約300ミクロン、ジルコニウムで約800ミクロンの深さまで分析され、鉄元素より重い元素では風化層の影響は相当無視できると思われる。風化層以外に表面に固着した汚染物が超音波洗浄でも除去できないときはその影響を受ける。また、被熱黒曜石の風化層は厚く、表面ひび割れ層に汚染物が入り込んでいるときも分析値に大きく影響する。風化層が厚い場合、軽い元素の分析ほど表面分析になるため、水和層の影響を受けやすいと考えられ、Ca/K、Ti/Kの両軽元素比量を除いて産地分析を行なう。軽元素比を除いて場合、また除かずに産地分析を行っ

た場合、いずれの場合にも同定される産地は同じである。他の元素比量についても風化の影響を完全に否定することができないので、得られた確率の数値にはやゝ不確実さを伴うが、遺物の石材産地の判定を誤るようなことはない。一方、安山岩製石器、石片は、黒曜石製遺物に比べて風化の進行が早く、非破壊で原石産地が特定される確率は黒曜石製遺物に比べて相当低くなる。サヌカイト製は風化の進行が早く完全非破壊分析での産地分析ができる確率は黒曜石に比べて相当低くなる。サヌカイト製遺物の表面が白っぽく変色し部分は新鮮な部分と異なった元素組成になっていると考えられる。このため遺物の測定面の風化した部分に、圧縮空気によってアルミナ粉末を吹きつけ風化層を取り除き新鮮面を出して測定を行なっている。今回分析した館野2遺跡2地区遺跡出土の黒曜石製遺物の分析はセイコーインスツルメンツ社のSEA2110Lシリーズ卓上型蛍光X線分析計で行い分析結果を表5に示した。

石器の分析結果から石材産地を同定するためには数理統計の手法を用いて原石群との比較をする。説明を簡単にするためRb/Zrの一変量だけを考えると、表5の試料番号114003番の遺物ではRb/Zrの値は1.352であり、赤石山群に比較すると、赤石山群の[平均値]±[標準偏差値]は、 1.340 ± 0.059 である。遺物と原石群の差を赤石山群の標準偏差値(σ)を基準にして考えると遺物は原石群の平均値から 0.2σ 離れている。ところで赤石山群原産地から100ヶの原石を採ってきて分析すると、平均値から $\pm 0.2\sigma$ のずれより大きいものが84個ある。すなわち、この遺物が赤石山群の原石から作られていたと仮定しても、 0.2σ 以上離れる確率は84%であると言える。だから、赤石山群の平均値から 0.352σ しか離れていないときには、この遺物が赤石山群の原石から作られたものでないとは、到底言い切れない。次にこの遺物を赤井川第1群に比較すると、赤井川第1群の[平均値]±[標準偏差値]は、 0.969 ± 0.060 であるので上記と同様に赤井川第1群の標準偏差値(σ)を基準にして考えると、この遺物の赤井川第1群の平均値からの隔たりは 6.4σ である。これを確率の言葉で表現すると、赤井川第1群の原石を採ってきて分析したとき、平均値から 6.4σ 以上離れている確率は、百万分の1であると言える。このように、百万個に1個しかないような原石をたまたま採取して、この遺物が作られたとは考えられないから、この遺物は、赤井川第1群の原石から作られたものではないと断定できる。これらのことを簡単にまとめて言うと、「この遺物は赤石山群に84%の確率で帰属され、信頼限界の0.1%を満たしていることから赤石山産原石が使用されいと同定され、さらに赤井川第1群に1万分の1%の低い確率で帰属され、信頼限界の0.1%を満たさないことから赤井川第1群の原石ではないと同定される」。遺物が1ヶ所の産地（赤石山産地）と一致したからと言って、例え赤石山群と赤井川第1群の原石は成分が異なっても、分析している試料は原石でなく遺物であり、さらに分析誤差が大きくなる不定形（非破壊分析）であることから他の産地に一致しないとは言えない。また同種岩石の中での分類である以上、他の産地にも一致する可能性は推測される。即ちある産地（赤石山産地）に一致し必要条件を満足したと言っても一致した産地の原石とは限らないために、帰属確率による判断を表1の320個すべての原石群・遺物群について行ない十分条件を求め、低い確率で帰属された原石群の原石は使用していないとして可能性を消していくことにより、はじめて赤石山産地の石材のみが使用されていると判定される。実際はRb/Zrといった唯一つの変量だけでなく、前述した8つの変量で取り扱うので変量間の相関を考慮しなければならない。例えば、A原産地のA群でCa元素とRb元素との間に相関がありCaの量を計ればRbの量は分析しなくても分かるようなときは、A群の石材で作られた遺物であれば、A群と比較したとき、Ca量が一致すれば当然Rb量も一致するはずである。したがって、もしRb量だけが少しずれている場合には、この試料はA群に属していないと言わなければならない。このことを数量的に導き出せるようにしたのが相関を考慮した多変量統計の手法で

あるマハラノビスの距離を求めて行なうホテリングのT2乗検定である。これによって、それぞれの群に帰属する確率を求めて産地を同定する^{4, 5)}。産地の同定結果は1個の遺物に対して、黒曜石製のものについては320個の推定確率結果が得られている。今回産地分析を行った遺物の産地推定結果については低い確率で帰属された原産地の推定確率は紙面の都合上記入を省略しているが、本研究ではこれら産地の可能性が非常に低いことを確認したという非常に重要な意味を含んでいる。すなわち赤石山産原石と判定された遺物に対して、カムチャッカ産原石とかロシア、北朝鮮の遺跡で使用されている原石および信州和田峠産の原石の可能性を考慮する必要がないという結果であり、ここでは高い確率で同定された産地のみの結果を表6に記入した。ここで大切なことは、遺物材料研究所で行った結果で、赤井川群と判定された遺物を使って、先史時代の交流を考察するときには、表6に記入された赤井川群以外の表1の320個の原石産地と交流がなかったとすることを証明している点である。北海道の先史人は北海道と東北範囲のみでしか交流がなかったと仮定して、遺物と比較する産地を北海道、東北の主な産地だけで十分であると考えて遺物の原材産地を求め、赤井川産原石が使用されているとの結果は、先史時代の交易を一部の範囲に限定することになる（広い地域の範囲の黒曜石と比較していないから、広い範囲との交流は言えない、即ち日本の限定的地域にのみ有効で、東アジア、極東ロシア地域では通用しない結果である）。考古学者の主観的な石器の様式分類が北海道、東北地域に限定されていたとしても、分析された石器がもつ自然科学的結果が何処までの範囲に通用するかが、考古学の交易を考える上に非常に重要で、自分の主観的考察が満足されれば良いとの狭い見では真の考古学的研究とは言えない。他の広い交易範囲を考えている考古学者にも通用する産地分析結果が必要である。論外は、個人知識による肉眼観察を含め、赤井川産原石が使用されているとの判定を、比較をしていないロシア産黒曜石、ロシア遺跡で使用されている遺物の、肉眼観察とか組成（遺物群）ではないと評価することで、ないと評価するには実際に比較し確認するしかない。また、産地分析の結果を評価するとき、比較する原石群は新鮮面であり、また遺物群は風化面を測定し作った群が表1に示している。風化の程度の差はあるものの風化していない遺物はなく、遺物を分析して原石産地が同定されない場合は、1：風化の影響で分析値が変動し、新鮮面と分析値が大きくことになったとき。2：遺物の厚さが薄く、厚さの影響が分析値に現れたとき。3：未発見の原石産地の原石が使用されているときなど。風化の影響を受けている遺物は黒曜石は光沢なく表面が曇っていて、分析するとカリウムの分析値が大きく分析される。風化の影響が少ないときは軽元素比を抜くことにより同定が行える。風化が激しく、軽元素以外の他の元素まで風化の影響がおよぶと、遺物の産地は同定できなくなったり、また、新鮮面分析と異なった原石産地に同定されることがあり注意が必要である。原石群を作った原石試料は直径3cm以上で5mm以上の厚さであるが、細石刃などの小さな遺物試料の分析では、遺物の厚さが1.5mm以下の薄い部分を含んで分析すると、厚さの影響を受けて、重い元素は小さく測定され、分析値には大きな誤差範囲が含まれるために、分析値に実験で求めた厚さ補正値を乗じて同定を行わなければならない。分析平均厚さが0.3mm以下になると補正が困難になり同定できない。細石刃は厚さが薄く、縄文時代の遺物より風化の進んだ遺物もあり、厚さ補正と軽元素を抜いて同定を行っている。

蛍光X線分析では、分析試料の風化による化学的変化（カリウムが大きく観測される）、表面が削られる物理的変化、不定形の試料では薄い部分を完全に避けて分析できないとき、分析面が遺物の極端な曲面しか分析できない場合など、分析値に影響が残り、また、装置による分析誤差も加わり、分析値は変動し判定結果は一定しない。特に元素比組成の似た原産地同士では区別が困難で、遺物の原石産地が原石・遺物群の複数の原産地に同定されるとき、および、信頼限界の0.1%の判定境界

に位置する場合は、分析場所を変えて3～12回分析し最も多くの回数同定された産地を判定の欄に記している。風化、厚さ、不定形など比較原石群分析とは異なる誤差が遺物の分析値に含まれるために、産地分析では、一致する産地（必要条件）の結果だけでは信頼性が小さく、他の産地には一致しない（十分条件）ことを満足しなければならない。また、判定結果には推定確率が求められているために、先史時代の交流を推測するときに、低確率（5%以下）の遺物はあまり重要に考えないなど、考古学者が推定確率をみて選択できるために、誤った先史時代交流を推測する可能性がない。

ホテリングのT2乗検定の定量的な同定結果から、石材の成分組成以外の各産地特有の原石の特徴を考慮して遺物の原石産地を判定を行とき、石材の成分組成以外の鉱物組成などの特徴を肉眼観察で求めた場合、キラキラ光る鉱物が多い、少ない、また輝石か、雲母かなど個人的な知識、経験などの主観が加わり判定される。白滝地域産黒曜石の中で、赤石山産原石の割れ面はガラス光沢を持っているが、元素組成が相互に似たあじさい滝、八号沢、白土沢、幌加沢、十勝石川沢などの群の原石は、あじさい滝、幌加沢産はガラス光沢を示し、八号沢、白土沢、十勝石川産は梨肌を示すため、原石産地の判定に梨肌か、梨肌でないかを指標に加えた。また、赤井川および十勝産、上阿寒礫層産原石を使用した遺物の判定は複雑になる場合がある。これは青森市戸門、鷹森山地区、浪岡町大釈迦より産出する黒曜石で作られた戸門第1、鷹森山、大釈迦の各群の元素組成が赤井川第1、2群、十勝三股群、上阿寒礫層群に比較的似ているために、遺物独特の風化の影響、不定形による影響を受けた分析値は、分析値への受け方の程度により戸門原産地と赤井川または十勝・上阿寒礫層産地、これら複数の原産地に同時に同定される場合がしばしば見られる。十勝三股群、上阿寒礫層群、赤井川諸群、大釈迦群、戸門第1群、鷹森山群に同定された遺物を定量的に弁別する目的で、元素比の組み合わせを探し、新たに、 K/Si 、 Fe/Zr 、 Sr/Zr 、 Y/Zr 、 Sr/Rb 、 Y/Rb 、 Ti/Fe 、 Si/Fe の組み合わせによるホテリングのT2乗検定を行う。また、従来の元素比の組み合わせで同定されなかった原石・遺物群は十分条件となる。従って、判定の必要条件と十分条件は新元素比と従来元素比の両ホテリングのT2乗検定結果の組み合わせで判定する。また、戸門産地の原石が使用されたか否かは、1遺跡で多数の遺物を分析し戸門第1群と第2群に同定される頻度を求め、これを戸門産地における第1群（50%）と第2群（50%）の産出頻度と比較し戸門産地の原石である可能性を推定する。多数分析した遺物のなかに全く戸門第2群に帰属される遺物が見られないときは、戸門産地からの原石は使用されなかったと推測できる。また浪岡町大釈迦産原石は非常に小さい原石が多く使用された可能性は低いと思われる。新たな元素比の組み合わせでも、十勝三股群と上阿寒礫層群は区別ができず、上阿寒礫層群の原石は最大3.5cm以下のローリング痕のない円礫で、遺物の大きさが3.5cm以上の場合十勝産と特定できる。また石器作成にロスする原石長さを考えると、かなり小さな石器でも上阿寒礫層群の原石は使用できない可能性があるなど、元素分析以外の情報をも取り入れて原石産地を絞り込んでいる。分析した館野2遺跡C地点遺跡出土黒曜石製遺物の中で、使用されている赤井川産黒曜石製遺物は十勝三股、上阿寒礫層および青森市内丸山遺跡で使用されている、戸門第1群、鷹森山、大釈迦産黒曜石など青森市産黒曜石原石と従来元素比による定量的判定で区別された。今回分析した結果の中で、使用頻度の高い産地と交流が活発であった推測できるが、このことは多数の遺物を無作為選んだ分析結果から言えることで、肉眼観察では各遺物の産地を、個人的経験から決めつけた判定になり、求めた使用頻度は無意味である。無意味であるか否かを判定するには、結局、遺物の原石産地を今度は定量的に判定して確かめる必要があるからである。今回の使用した産地分析方法から言えることは、赤井川、赤石山産地との交流が推測され、交流は多用されている赤井川産地地域との交流が活発で、白滝地区、赤石山産地地域との生活、文化情報の交換があったと推測され、日本についてはほぼ全土、

外国については、表1で調査された原石産地と外国遺跡で使用されている黒曜石原材料の範囲内に限定されるが、石器様式が日本に伝搬したと推測されている東アジア、極東ロシアからの伝搬が石器原材料をともなっていなかったことも証明されたと推測しても産地分析の結果と矛盾しない。

参考文献

- 1) 藁科哲男・東村武信 (1975), 蛍光X線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定 (II)。考古学と自然科学, 8 : 61-69
- 2) 藁科哲男・東村武信・鎌木義昌 (1977) , (1978), 蛍光X線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定 (III)。(IV)。考古学と自然科学, 10,11 : 53-81 : 33-47
- 3) 藁科哲男・東村武信 (1983), 石器原材料の産地分析。考古学と自然科学, 16 : 59-89
- 4) 東村武信 (1976), 産地推定における統計的手法。考古学と自然科学, 9 : 77-90
- 5) 東村武信 (1990), 考古学と物理化学。学生社

表 1-1 各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値

原産地原石群名	分析個数	元素比											
		Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K		
北海道	白滝地区	名寄第1群	114	0.478±0.011	0.121±0.005	0.035±0.007	2.011±0.063	0.614±0.032	0.574±0.022	0.120±0.017	0.024±0.016	0.033±0.002	0.451±0.010
		名寄第2群	35	0.309±0.015	0.103±0.005	0.021±0.006	1.774±0.055	0.696±0.044	0.265±0.011	0.301±0.022	0.026±0.020	0.028±0.007	0.394±0.010
		雄武・音威子府川	45	0.306±0.003	0.100±0.003	0.023±0.002	1.765±0.037	0.705±0.020	0.256±0.014	0.305±0.010	0.025±0.020	0.028±0.001	0.385±0.007
		赤石山	130	0.173±0.014	0.061±0.003	0.079±0.013	2.714±0.142	1.340±0.059	0.283±0.019	0.341±0.030	0.073±0.026	0.028±0.002	0.374±0.010
		白土沢	27	0.138±0.004	0.021±0.002	0.102±0.015	3.049±0.181	1.855±0.088	0.097±0.016	0.492±0.039	0.107±0.019	0.027±0.002	0.368±0.006
		十勝石沢川	48	0.137±0.002	0.021±0.002	0.103±0.005	3.013±0.140	1.817±0.072	0.079±0.026	0.481±0.026	0.103±0.026	0.027±0.001	0.362±0.007
		八号沢	30	0.138±0.010	0.022±0.002	0.105±0.017	3.123±0.127	1.846±0.065	0.105±0.019	0.475±0.045	0.076±0.046	0.027±0.008	0.359±0.042
		梶加沢	48	0.139±0.002	0.023±0.003	0.099±0.007	2.975±0.172	1.794±0.111	0.104±0.037	0.470±0.034	0.103±0.040	0.027±0.001	0.369±0.009
		あじさい滝	34	0.139±0.003	0.023±0.003	0.099±0.007	2.970±0.179	1.792±0.103	0.102±0.036	0.472±0.028	0.098±0.046	0.027±0.001	0.361±0.008
		あじさい滝第2群	42	0.124±0.002	0.018±0.002	0.109±0.006	3.198±0.126	2.265±0.102	0.102±0.029	0.513±0.020	0.069±0.021	0.022±0.001	0.299±0.002
		野宿沢	48	0.136±0.002	0.040±0.005	0.076±0.004	2.546±0.121	1.405±0.060	0.124±0.018	0.373±0.018	0.076±0.022	0.026±0.001	0.358±0.008
		近文台第1群	30	0.819±0.013	0.165±0.006	0.081±0.010	3.266±0.117	0.604±0.031	0.941±0.030	0.165±0.020	0.039±0.016	0.039±0.002	0.457±0.008
	近文台第2群	107	0.517±0.011	0.099±0.005	0.067±0.009	2.773±0.097	0.812±0.037	0.818±0.034	0.197±0.024	0.041±0.019	0.035±0.002	0.442±0.009	
	近文台第3群	47	0.529±0.014	0.096±0.008	0.068±0.018	2.746±0.262	0.838±0.100	0.796±0.081	0.220±0.043	0.035±0.021	0.036±0.004	0.413±0.014	
	台場第1群	50	1.076±0.052	0.142±0.005	0.072±0.011	2.912±0.117	0.291±0.020	0.678±0.035	0.126±0.022	0.022±0.012	0.049±0.005	0.517±0.014	
	台場第2群	41	0.652±0.085	0.122±0.026	0.074±0.006	3.035±0.198	0.766±0.034	0.845±0.052	0.202±0.015	0.037±0.024	0.038±0.002	0.416±0.023	
	秩父別第1群	51	0.249±0.017	0.122±0.006	0.078±0.011	1.614±0.068	0.995±0.037	0.458±0.023	0.235±0.024	0.023±0.021	0.022±0.004	0.382±0.013	
	秩父別第2群	48	0.519±0.016	0.097±0.005	0.065±0.016	2.705±0.125	0.814±0.034	0.789±0.043	0.204±0.025	0.032±0.016	0.037±0.003	0.417±0.016	
	滝川第1群	31	0.253±0.018	0.122±0.006	0.077±0.009	1.613±0.090	1.017±0.045	0.459±0.025	0.233±0.029	0.038±0.018	0.025±0.003	0.370±0.023	
	滝川第2群	40	0.522±0.016	0.101±0.010	0.068±0.019	2.751±0.140	0.809±0.055	0.783±0.044	0.201±0.030	0.040±0.019	0.036±0.003	0.419±0.014	
	生田原第1群	94	0.259±0.004	0.118±0.005	0.017±0.001	1.304±0.032	0.422±0.012	0.153±0.009	0.138±0.007	0.009±0.003	0.025±0.001	0.425±0.011	
	生田原第2群	50	0.275±0.011	0.128±0.008	0.018±0.001	1.349±0.037	0.413±0.013	0.167±0.010	0.137±0.006	0.008±0.003	0.025±0.001	0.429±0.009	
	社名洞群	41	0.340±0.018	0.105±0.009	0.054±0.003	2.140±0.106	0.676±0.022	0.407±0.040	0.223±0.007	0.152±0.041	0.025±0.001	0.429±0.009	
	名瀬洞-2群	46	0.284±0.004	0.077±0.003	0.025±0.001	1.679±0.030	0.721±0.019	0.234±0.013	0.313±0.009	0.031±0.006	0.028±0.001	0.382±0.005	
	置戸・所山	65	0.326±0.008	0.128±0.005	0.045±0.008	1.813±0.062	0.824±0.034	0.454±0.020	0.179±0.023	0.044±0.020	0.027±0.002	0.547±0.031	
	置戸・所山上層	51	0.295±0.007	0.111±0.005	0.047±0.002	1.841±0.051	0.823±0.023	0.451±0.017	0.181±0.012	0.041±0.025	0.027±0.002	0.359±0.024	
	所山・流紋岩中	52	0.272±0.006	0.095±0.003	0.044±0.002	1.738±0.070	0.947±0.102	0.429±0.016	0.201±0.015	0.057±0.026	0.023±0.001	0.316±0.011	
	置戸・置戸山	58	0.464±0.016	0.138±0.005	0.049±0.008	1.726±0.072	0.449±0.024	0.407±0.023	0.133±0.019	0.026±0.014	0.032±0.003	0.456±0.010	
	置戸・中里	44	0.454±0.017	0.122±0.014	0.044±0.003	1.909±0.144	0.475±0.024	0.400±0.023	0.149±0.013	0.030±0.013	0.031±0.002	0.440±0.011	
	置戸・安住第1群	48	0.392±0.025	0.138±0.013	0.031±0.002	1.562±0.121	0.381±0.011	0.241±0.012	0.181±0.007	0.025±0.009	0.031±0.001	0.395±0.012	
	北見・常呂川第2群	48	0.554±0.023	0.145±0.009	0.037±0.002	1.705±0.061	0.378±0.016	0.422±0.022	0.115±0.008	0.033±0.017	0.039±0.002	0.478±0.029	
	北見・常呂川第3群	48	0.390±0.011	0.137±0.006	0.030±0.006	1.510±0.059	0.372±0.018	0.238±0.014	0.179±0.019	0.029±0.015	0.033±0.004	0.414±0.011	
	北見・常呂川第4群	50	0.291±0.017	0.109±0.008	0.046±0.012	1.812±0.098	0.807±0.041	0.445±0.029	0.192±0.033	0.034±0.015	0.031±0.003	0.362±0.023	
	北見・常呂川第5群	51	0.470±0.034	0.116±0.015	0.044±0.004	1.932±0.161	0.503±0.045	0.459±0.080	0.153±0.012	0.043±0.020	0.034±0.002	0.418±0.031	
	北見・常呂川第6群	48	0.851±0.006	0.224±0.004	0.045±0.001	2.347±0.032	0.409±0.010	0.706±0.014	0.116±0.006	0.029±0.015	0.033±0.001	0.426±0.008	
	北見・常呂川第7群	48	0.510±0.017	0.098±0.004	0.053±0.001	2.667±0.038	0.529±0.013	0.688±0.016	0.154±0.006	0.014±0.007	0.028±0.001	0.351±0.013	
	北見・常呂川第8群	48	0.358±0.005	0.113±0.004	0.027±0.001	1.799±0.023	0.603±0.013	0.273±0.013	0.214±0.006	0.023±0.006	0.026±0.001	0.352±0.007	
	ケショマップ第1群	68	0.575±0.056	0.110±0.011	0.051±0.011	2.555±0.086	0.595±0.058	0.636±0.027	0.167±0.027	0.037±0.020	0.030±0.003	0.397±0.013	
	ケショマップ第2群	65	0.676±0.011	0.145±0.005	0.056±0.014	2.631±0.126	0.606±0.030	0.712±0.032	0.170±0.028	0.030±0.013	0.030±0.003	0.392±0.010	
	ケショマップ第0群	46	0.772±0.020	0.178±0.007	0.053±0.003	2.569±0.073	0.521±0.023	0.720±0.023	0.150±0.008	0.032±0.008	0.032±0.001	0.396±0.009	
	十勝	十勝三股	60	0.256±0.018	0.074±0.005	0.068±0.010	2.281±0.087	1.097±0.055	0.434±0.023	0.334±0.029	0.064±0.025	0.029±0.002	0.396±0.013
		美蔓第1群	41	0.499±0.020	0.124±0.007	0.052±0.010	2.635±0.181	0.802±0.061	0.707±0.044	0.199±0.029	0.039±0.023	0.033±0.002	0.442±0.015
		美蔓第2群	28	0.593±0.036	0.144±0.012	0.056±0.010	3.028±0.251	0.762±0.040	0.764±0.051	0.197±0.026	0.038±0.022	0.034±0.002	0.449±0.009
		上足寄	44	2.950±0.683	1.245±0.294	0.210±0.018	11.582±1.176	0.178±0.026	1.652±0.117	0.188±0.013	0.025±0.012	0.045±0.010	0.420±0.103
		美里別川第1群	48	0.956±0.014	0.268±0.008	0.051±0.002	2.632±0.058	0.415±0.014	0.773±0.018	0.118±0.007	0.019±0.011	0.040±0.001	0.429±0.009
		芽登川第1群	145	0.258±0.006	0.074±0.004	0.068±0.003	2.302±0.070	1.093±0.039	0.431±0.021	0.333±0.016	0.062±0.001	0.029±0.001	0.396±0.009
		芽登川第2群	48	0.234±0.007	0.062±0.003	0.070±0.005	2.325±0.111	1.143±0.090	0.432±0.025	0.346±0.028	0.069±0.028	0.025±0.001	0.348±0.010
		津別・相生	51	4.303±0.693	1.827±0.324	0.206±0.020	11.178±1.552	0.154±0.012	1.625±0.105	0.177±0.012	0.023±0.013	0.067±0.008	0.633±0.074
釧路空港		46	2.940±0.402	1.260±0.185	0.222±0.006	12.161±0.337	0.158±0.013	1.737±0.053	0.180±0.016	0.028±0.014	0.043±0.006	0.398±0.058	
釧路・上阿寒礫層		44	0.254±0.009	0.074±0.005	0.069±0.037	2.314±0.094	1.117±0.062	0.428±0.023	0.341±0.021	0.077±0.019	0.029±0.001	0.392±0.011	
鶴石・久著呂川		50	1.004±0.040	0.465±0.023	0.066±0.027	2.565±0.991	0.196±0.009	0.808±0.034	0.142±0.004	0.066±0.019	0.047±0.001	1.004±0.022	
赤井川第1群		50	0.254±0.029	0.070±0.004	0.086±0.010	2.213±0.104	0.969±0.060	0.428±0.021	0.249±0.024	0.058±0.023	0.027±0.002	0.371±0.009	
赤井川第2群	30	0.258±0.065	0.072±0.002	0.080±0.010	2.207±0.083	0.970±0.045	0.436±0.026	0.245±0.021	0.021±0.029	0.025±0.007	0.371±0.007		
豊泉第1群	75	0.473±0.019	0.148±0.007	0.060±0.015	1.764±0.072	0.438±0.027	0.607±0.028	0.157±0.020	0.025±0.017	0.032±0.002	0.469±0.013		
豊泉第2群	40	0.377±0.009	0.133±0.006	0.055±0.008	1.723±0.066	0.516±0.019	0.513±0.018	0.177±0.016	0.007±0.015	0.030±0.005	0.431±0.010		
奥尻島・幌内川	58	0.285±0.026	0.087±0.005	0.193±0.032	1.834±0.182	2.043±0.224	1.475±0.207	0.269±0.068	0.085±0.031	0.031±0.004	0.347±0.011		
青森県	深浦	折腰内	35	0.190±0.015	0.075±0.003	0.040±0.008	1.575±0.066	1.241±0.046	0.318±0.014	0.141±0.033	0.076±0.021	0.024±0.002	0.348±0.010
		出来島	27	0.346±0.022	0.132±0.007	0.231±0.019	2.268±0.085	0.865±0.044	1.106±0.056	0.399±0.038	0.179±0.031	0.038±0.003	0.499±0.013
		六角沢	36	0.080±0.008	0.097±0.011	0.013±0.002	0.697±0.021	0.128±0.008	0.002±0.002	0.064±0.007	0.035±0.004	0.026±0.002	0.379±0.010
		八森山	41	0.077±0.005	0.098±0.003	0.013±0.002	0.701±0.018	0.134±0.005	0.002±0.002	0.070±0.005	0.034±0.006	0.027±0.005	0.384±0.009
		戸門第1群	28	0.250±0.024	0.069±0.003	0.068±0.012	2.358±0.257	1.168±0.062	0.521±0.063	0.277±0.065	0.076±0.025	0.026±0.002	0.362±0.015
		戸門第2群	28	0.084±									

第1分冊（文章編）

原産地原石群名		分析個数	元素比										
			Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K	
神奈川県	箱根・笹塚	30	6.765±0.254	2.219±0.057	0.228±0.019	9.282±0.622	0.048±0.017	1.757±0.061	0.252±0.017	0.025±0.019	0.140±0.008	1.528±0.046	
	箱根・畑宿	41	2.056±0.064	0.669±0.019	0.076±0.007	2.912±0.104	0.062±0.007	0.680±0.029	0.202±0.011	0.011±0.010	0.180±0.001	1.126±0.031	
	鍛冶屋	31	1.663±0.071	0.381±0.019	0.056±0.007	2.139±0.097	0.073±0.008	0.629±0.025	0.154±0.009	0.011±0.009	0.067±0.005	0.904±0.020	
	熱海峠	52	2.225±0.149	0.506±0.015	0.042±0.009	2.228±0.164	0.085±0.008	0.737±0.039	0.135±0.013	0.007±0.007	0.071±0.006	0.880±0.033	
	上多賀	31	1.329±0.078	0.294±0.018	0.041±0.006	1.697±0.068	0.087±0.009	0.551±0.023	0.138±0.011	0.010±0.009	0.059±0.004	0.856±0.018	
静岡県	柏峠西	35	1.213±0.164	0.314±0.028	0.031±0.004	1.699±0.167	0.113±0.007	0.391±0.022	0.143±0.007	0.009±0.009	0.047±0.004	0.663±0.020	
	小豆峠	40	0.110±0.008	0.052±0.004	0.297±0.038	3.211±0.319	0.829±0.089	0.154±0.030	0.547±0.054	0.087±0.057	0.025±0.014	0.429±0.016	
富山県	魚津	42	0.278±0.012	0.065±0.003	0.064±0.013	2.013±0.119	0.878±0.052	0.599±0.039	0.190±0.029	0.077±0.033	0.031±0.004	0.353±0.012	
	高岡市	二上山第1群	36	0.319±0.017	0.113±0.006	0.040±0.008	1.720±0.080	0.740±0.052	0.665±0.029	0.121±0.026	0.047±0.031	0.015±0.014	0.392±0.018
		二上山第2群	40	0.710±0.017	0.202±0.008	0.054±0.011	1.994±0.152	0.413±0.028	0.840±0.050	0.118±0.025	0.051±0.031	0.020±0.020	0.599±0.024
二上山第3群		45	0.441±0.052	0.108±0.014	0.079±0.021	2.251±0.138	0.794±0.155	1.222±0.088	0.127±0.041	0.067±0.053	0.015±0.014	0.412±0.025	
長野県	霧ヶ峰	168	0.156±0.010	0.068±0.003	0.101±0.018	1.331±0.070	1.052±0.051	0.360±0.030	0.275±0.039	0.090±0.035	0.029±0.003	0.346±0.011	
	観音沢	72	0.159±0.010	0.069±0.002	0.100±0.019	1.324±0.084	1.055±0.057	0.368±0.033	0.279±0.032	0.086±0.033	0.030±0.003	0.345±0.010	
	和田峠第1群	143	0.167±0.028	0.049±0.008	0.117±0.011	1.346±0.085	1.853±0.124	0.112±0.056	0.409±0.048	0.139±0.026	0.025±0.002	0.355±0.016	
	和田峠第2群	32	0.147±0.004	0.032±0.003	0.153±0.011	1.481±0.084	2.487±0.169	0.027±0.024	0.527±0.040	0.185±0.023	0.026±0.001	0.363±0.010	
	和田峠第3群	57	0.247±0.043	0.064±0.012	0.114±0.011	1.509±0.173	1.667±0.135	0.275±0.097	0.372±0.046	0.122±0.024	0.025±0.003	0.347±0.017	
	和田峠第4群	37	0.144±0.017	0.063±0.004	0.094±0.009	1.373±0.085	1.311±0.037	0.206±0.030	0.263±0.038	0.090±0.022	0.023±0.002	0.331±0.019	
	和田峠第5群	47	0.176±0.019	0.075±0.010	0.073±0.011	1.282±0.086	1.053±0.196	0.275±0.058	0.184±0.042	0.066±0.023	0.021±0.002	0.306±0.013	
	和田峠第6群	53	0.156±0.011	0.055±0.005	0.095±0.012	1.333±0.064	1.523±0.093	0.134±0.031	0.279±0.039	0.101±0.017	0.021±0.002	0.313±0.012	
	鷹山・和田	53	0.138±0.004	0.042±0.002	0.123±0.010	1.259±0.041	1.978±0.067	0.045±0.010	0.442±0.039	0.142±0.022	0.026±0.002	0.360±0.010	
	男女舎	101	0.223±0.024	0.103±0.009	0.058±0.008	1.164±0.078	0.693±0.101	0.409±0.046	0.126±0.022	0.052±0.017	0.026±0.002	0.354±0.008	
	高松沢	53	0.206±0.017	0.090±0.005	0.064±0.008	1.257±0.069	0.850±0.077	0.357±0.034	0.149±0.026	0.056±0.017	0.022±0.002	0.318±0.008	
	うつぎ沢	81	0.222±0.014	0.099±0.006	0.058±0.008	1.189±0.060	0.748±0.075	0.392±0.031	0.140±0.022	0.046±0.021	0.025±0.005	0.340±0.009	
	立科	49	0.155±0.007	0.068±0.003	0.102±0.018	1.320±0.077	1.033±0.063	0.362±0.030	0.285±0.035	0.104±0.040	0.030±0.003	0.356±0.011	
	菱草峠	97	0.274±0.017	0.136±0.010	0.051±0.012	1.397±0.099	0.542±0.058	0.736±0.044	0.110±0.024	0.043±0.017	0.031±0.003	0.383±0.013	
	双子池	83	0.252±0.027	0.129±0.007	0.059±0.010	1.630±0.179	0.669±0.052	0.802±0.058	0.111±0.024	0.037±0.032	0.027±0.007	0.401±0.011	
	冷山	87	0.267±0.011	0.134±0.006	0.048±0.013	1.382±0.066	0.546±0.034	0.727±0.036	0.109±0.031	0.045±0.022	0.031±0.004	0.381±0.011	
	大窪沢	42	1.481±0.117	0.466±0.021	0.042±0.006	2.005±0.135	0.182±0.011	0.841±0.044	0.105±0.010	0.009±0.008	0.033±0.005	0.459±0.012	
	横川	41	3.047±0.066	1.071±0.026	0.115±0.015	7.380±0.366	0.158±0.016	0.833±0.040	0.186±0.015	0.023±0.012	0.045±0.005	0.513±0.021	
	新潟県	佐渡第1群	34	0.228±0.013	0.078±0.006	0.020±0.005	1.492±0.079	0.821±0.047	0.288±0.018	0.142±0.018	0.049±0.017	0.024±0.004	0.338±0.013
		佐渡第2群	12	0.263±0.032	0.097±0.018	0.020±0.006	1.501±0.053	0.717±0.106	0.326±0.029	0.091±0.022	0.046±0.015	0.026±0.002	0.338±0.009
上石川		45	0.321±0.007	0.070±0.003	0.069±0.011	2.051±0.070	0.981±0.042	0.773±0.034	0.182±0.023	0.038±0.027	0.026±0.007	0.359±0.009	
板山		44	0.232±0.011	0.068±0.003	0.169±0.017	2.178±0.110	1.772±0.098	0.772±0.046	0.374±0.047	0.154±0.034	0.027±0.002	0.359±0.009	
大白川		47	0.569±0.006	0.142±0.005	0.033±0.001	1.608±0.034	0.261±0.009	0.332±0.009	0.150±0.008	0.033±0.009	0.036±0.001	0.491±0.014	
金津		46	0.331±0.011	0.097±0.037	0.030±0.007	1.711±0.066	0.618±0.027	0.283±0.012	0.181±0.016	0.035±0.018	0.027±0.009	0.402±0.012	
羽根川		55	0.163±0.019	0.053±0.005	0.099±0.011	1.354±0.058	1.615±0.063	0.084±0.012	0.309±0.036	0.100±0.028	0.023±0.007	0.340±0.030	
石川県	比那	48	0.370±0.009	0.087±0.005	0.060±0.003	2.699±0.088	0.639±0.021	0.534±0.026	0.172±0.011	0.052±0.025	0.032±0.002	0.396±0.016	
	安島	42	0.407±0.006	0.123±0.006	0.038±0.002	1.628±0.048	0.643±0.026	0.675±0.023	0.113±0.008	0.061±0.022	0.032±0.001	0.450±0.010	
福井県	三里山	37	0.295±0.020	0.127±0.008	0.035±0.003	1.411±0.095	0.597±0.021	0.740±0.053	0.114±0.010	0.027±0.012	0.022±0.001	0.324±0.007	
	香住第1群	30	0.216±0.005	0.062±0.002	0.045±0.007	1.828±0.056	0.883±0.034	0.265±0.012	0.097±0.021	0.139±0.018	0.024±0.007	0.365±0.008	
兵庫県	香住第2群	40	0.278±0.012	0.100±0.004	0.048±0.009	1.764±0.066	0.813±0.045	0.397±0.020	0.112±0.026	0.138±0.024	0.026±0.012	0.446±0.012	
	雨滝（微粒集）	48	0.123±0.004	0.056±0.002	0.083±0.012	1.967±0.061	1.171±0.040	0.157±0.013	0.183±0.044	0.221±0.021	0.026±0.025	0.315±0.006	
	加茂	40	0.166±0.002	0.093±0.009	0.014±0.001	0.899±0.019	0.278±0.013	0.009±0.005	0.061±0.005	0.154±0.019	0.020±0.001	0.249±0.016	
島根県	津井	40	0.161±0.002	0.132±0.003	0.015±0.001	0.940±0.015	0.301±0.009	0.015±0.005	0.060±0.002	0.144±0.005	0.020±0.001	0.244±0.004	
	久見	41	0.145±0.001	0.061±0.003	0.021±0.001	0.980±0.033	0.386±0.015	0.007±0.007	0.109±0.004	0.238±0.008	0.023±0.001	0.315±0.005	
	麻畑6松脂岩	48	0.287±0.014	0.163±0.007	0.033±0.002	1.292±0.039	0.321±0.028	0.401±0.039	0.075±0.005	0.099±0.006	0.030±0.001	0.223±0.006	
岡山県	津	48	0.268±0.009	0.078±0.003	0.077±0.018	1.927±0.150	1.721±0.113	0.808±0.060	0.244±0.051	0.083±0.036	0.031±0.004	0.367±0.009	
	奥池第1群	51	1.202±0.077	0.141±0.010	0.032±0.008	3.126±0.170	0.686±0.065	1.350±0.082	0.026±0.026	0.065±0.019	0.041±0.004	0.507±0.011	
香川県	奥池第2群	50	1.585±0.126	0.194±0.018	0.035±0.007	2.860±0.160	0.423±0.058	1.044±0.077	0.024±0.019	0.042±0.013	0.045±0.004	0.507±0.013	
	雄山	50	1.224±0.081	0.144±0.011	0.035±0.012	3.138±0.163	0.669±0.078	1.335±0.091	0.023±0.027	0.061±0.020	0.041±0.003	0.500±0.012	
	神谷・南山	51	1.186±0.057	0.143±0.008	0.038±0.012	3.202±0.163	0.707±0.061	1.386±0.088	0.029±0.025	0.073±0.021	0.041±0.005	0.501±0.014	
	大麻山南第1群	39	1.467±0.120	0.203±0.023	0.042±0.009	3.125±0.179	0.494±0.080	1.010±0.073	0.038±0.023	0.047±0.013	0.041±0.003	0.487±0.016	
	大麻山南第2群	34	1.018±0.043	0.116±0.012	0.043±0.014	3.305±0.199	0.895±0.048	1.256±0.050	0.029±0.030	0.072±0.018	0.038±0.004	0.476±0.012	
福岡県	八女昭和溜池	68	0.261±0.010	0.211±0.007	0.033±0.003	0.798±0.027	0.326±0.013	0.283±0.015	0.071±0.009	0.034±0.008	0.024±0.006	0.279±0.009	
	中野第1群	39	0.267±0.007	0.087±0.003	0.027±0.005	1.619±0.083	0.628±0.028	0.348±0.015	0.103±0.018	0.075±0.018	0.023±0.007	0.321±0.011	
	中野第2群	40	0.345±0.007	0.104±0.003	0.027±0.005	1.535±0.039	0.455±0.017	0.397±0.014	0.069±0.016	0.059±0.014	0.028±0.008	0.328±0.008	
佐賀県	梅野	39	0.657±0.014	0.202±0.006	0.071±0.013	4.239±0.205	1.046±0.065	1.269±0.058	0.104±0.032	0.380±0.047	0.028±0.005	0.345±0.009	
	腰岳	44	0.211±0.009	0.031±0.005	0.075±0.019	2.572±0.212	1.600±0.086	0.414±0.042	0.311±0.046	0.256±0.043	0.025±0.002	0.335±0.008	
	桂川	59	0.414±0.009	0.071±0.003	0.101±0.017	2.947±0.142	1.253±0.081	2.015±0.099	0.147±0.035	0.255±0.040	0.030±0.007	0.388±0.009	
大分県	松尾第1群	40	0.600±0.067	0.153±0.029	0.125±0.018	4.692±0.369	1.170±0.114	2.023±0.122	0.171±0.032	0.255±0.037	0.032±0.003	0.376±0.008	
	松尾第2群	40	0.953±0.027	0.307±0.010	0.126±0.013	6.666±0.342	0.856±0.070	1.907±0.119	0.147±0.029	0.194±0.028	0.033±0.008	0.383±0.010	
	観音崎	42	0.223±0.010	0.046±0.005	0.409±0.086	6.691±0.878	1.805±0.257						

原産地原石群名		分析 個数	元素比									
			Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K
	松岳	43	0.194±0.009	0.054±0.005	0.040±0.008	1.686±0.114	0.833±0.058	0.251±0.025	0.192±0.032	0.124±0.039	0.018±0.011	0.331±0.017
	大崎	74	0.176±0.012	0.053±0.002	0.041±0.012	1.710±0.081	0.912±0.036	0.181±0.022	0.202±0.029	0.133±0.024	0.023±0.002	0.319±0.010
熊本県	小国	30	0.317±0.023	0.127±0.005	0.063±0.007	1.441±0.070	0.611±0.032	0.703±0.044	0.175±0.233	0.097±0.017	0.023±0.002	0.320±0.007
	南関	30	0.261±0.016	0.214±0.007	0.034±0.003	0.788±0.033	0.326±0.012	0.278±0.015	0.069±0.012	0.031±0.009	0.021±0.002	0.243±0.008
	蕨	44	0.258±0.009	0.214±0.006	0.033±0.005	0.794±0.078	0.329±0.017	0.275±0.010	0.066±0.011	0.033±0.009	0.020±0.003	0.243±0.008
	大柿	53	1.534±0.139	0.665±0.035	0.075±0.008	4.494±0.460	0.247±0.014	1.236±0.092	0.090±0.018	0.041±0.012	0.030±0.003	0.292±0.010
	冠ヶ岳	21	0.261±0.012	0.211±0.008	0.032±0.003	0.780±0.038	0.324±0.011	0.279±0.017	0.064±0.011	0.037±0.006	0.025±0.002	0.277±0.009
	滝室坂	57	1.599±0.107	0.722±0.046	0.085±0.011	6.205±0.305	0.256±0.018	1.154±0.055	0.103±0.014	0.047±0.013	0.027±0.004	0.247±0.016
	箱石峠	84	0.791±0.082	0.279±0.009	0.045±0.005	1.208±0.023	0.279±0.018	0.811±0.046	0.046±0.012	0.029±0.014	0.031±0.009	0.366±0.033
	長谷峠	53	1.668±0.165	0.694±0.036	0.080±0.010	4.977±0.587	0.253±0.015	1.335±0.104	0.098±0.016	0.040±0.008	0.031±0.003	0.295±0.012
	五ヶ瀬川	48	1.471±0.136	0.602±0.041	0.078±0.011	4.838±0.634	0.252±0.016	1.288±0.124	0.101±0.014	0.043±0.013	0.027±0.003	0.265±0.020
	御船	49	1.558±0.146	0.651±0.030	0.075±0.011	4.571±0.572	0.257±0.016	1.252±0.112	0.091±0.016	0.040±0.009	0.030±0.004	0.291±0.010
白浜	78	0.208±0.021	0.101±0.009	0.024±0.006	1.382±0.086	1.021±0.099	0.351±0.037	0.162±0.027	0.027±0.022	0.022±0.007	0.317±0.009	
宮崎県	桑ノ木津留第1群	47	0.207±0.015	0.094±0.006	0.070±0.009	1.521±0.075	1.080±0.048	0.418±0.020	0.266±0.034	0.063±0.024	0.020±0.003	0.314±0.011
	桑ノ木津留第2群	33	0.261±0.015	0.094±0.006	0.066±0.010	1.743±0.095	1.242±0.060	0.753±0.039	0.205±0.029	0.047±0.036	0.022±0.002	0.323±0.019
	霧島	36	35.158±1.118	5.001±0.175	0.041±0.002	0.038±0.002	0.009±0.004	0.155±0.005	0.035±0.019	0.000±0.000	0.035±0.019	0.446±0.022
鹿児島県	間根ヶ平第1群	45	0.186±0.010	0.083±0.005	0.047±0.008	1.611±0.079	0.948±0.055	0.340±0.032	0.281±0.031	0.041±0.032	0.022±0.008	0.358±0.014
	間根ヶ平第2群	45	0.247±0.018	0.106±0.006	0.047±0.008	1.488±0.074	0.768±0.034	0.428±0.049	0.235±0.020	0.039±0.027	0.024±0.008	0.378±0.013
	間根ヶ平第3群	42	0.584±0.012	0.176±0.005	0.037±0.007	1.484±0.097	0.449±0.031	0.675±0.049	0.143±0.023	0.036±0.022	0.023±0.014	0.390±0.019
	日東	42	0.262±0.018	0.143±0.006	0.022±0.004	1.178±0.040	0.712±0.028	0.408±0.025	0.100±0.018	0.029±0.013	0.019±0.001	0.275±0.006
	五女木	37	0.266±0.021	0.140±0.006	0.019±0.003	1.170±0.064	0.705±0.027	0.405±0.021	0.108±0.015	0.028±0.013	0.019±0.001	0.275±0.006
	上牛鼻	41	1.629±0.098	0.804±0.037	0.053±0.006	3.342±0.215	0.188±0.013	1.105±0.056	0.087±0.009	0.022±0.009	0.036±0.002	0.391±0.011
	平木場	34	1.944±0.054	0.912±0.028	0.062±0.005	3.975±0.182	0.184±0.011	1.266±0.049	0.093±0.010	0.021±0.010	0.038±0.003	0.408±0.010
	竜ヶ水	48	0.533±0.029	0.167±0.006	0.061±0.013	1.494±0.093	0.611±0.039	0.688±0.052	0.127±0.023	0.069±0.022	0.033±0.003	0.494±0.011
長谷	30	0.553±0.032	0.137±0.006	0.065±0.010	1.815±0.062	0.644±0.028	0.553±0.029	0.146±0.021	0.066±0.020	0.037±0.003	0.524±0.012	
台湾	台東山脈	37	0.510±0.010	0.198±0.007	0.038±0.007	1.862±0.079	0.353±0.019	0.519±0.017	0.123±0.012	0.024±0.017	0.029±0.007	0.407±0.010
ロシア	イリスタヤ川	40	19.739±1.451	6.053±0.538	0.292±0.051	32.021±4.964	0.060±0.016	2.859±0.412	0.176±0.027	0.025±0.016	0.185±0.026	1.574±0.152
	ナチキ	48	0.220±0.008	0.104±0.004	0.099±0.016	1.261±0.062	0.608±0.028	0.500±0.026	0.122±0.030	0.064±0.023	0.024±0.003	0.340±0.006
	RED LAKE-1	40	0.134±0.004	0.044±0.003	0.014±0.002	1.238±0.027	1.019±0.026	0.011±0.009	0.395±0.016	0.044±0.031	0.023±0.000	0.334±0.005
	クネビヤン川第2群	44	0.188±0.005	0.486±0.103	0.031±0.002	1.866±0.036	0.188±0.008	0.580±0.012	0.066±0.003	0.086±0.015	0.029±0.001	0.486±0.023
アラスカ	インディアン・MLZ群	48	0.204±0.004	0.044±0.002	0.564±0.025	5.868±0.191	1.170±0.039	0.021±0.016	0.508±0.023	0.259±0.018	0.791±0.025	7.208±0.279
北朝鮮	白頭山灰皿	50	0.154±0.009	0.067±0.003	0.018±0.005	1.081±0.028	0.530±0.013	0.081±0.008	0.151±0.015	0.338±0.012	0.027±0.003	0.306±0.008
エクアドル	MULLUMICA	45	0.413±0.005	0.227±0.016	0.043±0.001	1.403±0.060	0.565±0.011	1.468±0.042	0.086±0.006	0.109±0.032	0.026±0.001	0.475±0.007

表1-2 黒曜石製遺物群の元素比の平均値と標準偏差値

各地遺物群名	分析個数	元素比											
		Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K		
北海道	HS 1遺物群	67	0.241±0.021	0.107±0.005	0.018±0.006	1.296±0.077	0.430±0.016	0.153±0.009	0.140±0.015	0.008±0.013	0.018±0.012	0.325±0.042	
	HS 2遺物群	60	0.453±0.011	0.135±0.008	0.041±0.008	1.765±0.075	0.448±0.021	0.419±0.019	0.130±0.015	0.015±0.019	0.034±0.010	0.500±0.015	
	FR 1遺物群	51	0.643±0.012	0.124±0.008	0.052±0.007	2.547±0.143	0.530±0.032	0.689±0.032	0.156±0.015	0.004±0.008	0.029±0.011	0.407±0.047	
	FR 2遺物群	59	0.535±0.061	0.106±0.012	0.053±0.009	2.545±0.138	0.557±0.051	0.685±0.029	0.165±0.021	0.016±0.022	0.027±0.009	0.373±0.043	
	FR 3遺物群	37	0.380±0.037	0.084±0.007	0.052±0.009	2.548±0.145	0.586±0.056	0.681±0.033	0.164±0.021	0.017±0.023	0.023±0.006	0.292±0.037	
	FR 4遺物群	44	0.261±0.043	0.074±0.010	0.051±0.008	2.500±0.117	0.639±0.057	0.679±0.032	0.155±0.021	0.009±0.017	0.018±0.008	0.258±0.036	
	PH 1遺物群	32	0.898±0.032	0.221±0.007	0.054±0.006	2.540±0.101	0.426±0.018	0.802±0.023	0.109±0.013	0.017±0.021	0.037±0.003	0.447±0.011	
	KT 1遺物群	56	1.103±0.050	0.146±0.007	0.081±0.006	2.942±0.133	0.314±0.053	0.775±0.082	0.133±0.016	0.019±0.021	0.043±0.007	0.516±0.015	
	KT 2遺物群	38	0.959±0.027	0.154±0.005	0.085±0.010	2.882±0.092	0.542±0.028	1.111±0.040	0.107±0.015	0.012±0.016	0.042±0.008	0.519±0.010	
	KS 1遺物群	32	0.275±0.007	0.107±0.005	0.047±0.010	1.751±0.051	0.836±0.038	0.468±0.021	0.180±0.019	0.023±0.028	0.025±0.007	0.345±0.010	
	KS 2遺物群	62	0.244±0.011	0.070±0.004	0.056±0.013	1.749±0.168	1.080±0.108	0.424±0.036	0.327±0.042	0.037±0.031	0.023±0.011	0.379±0.011	
	KS 3遺物群	48	0.164±0.008	0.041±0.002	0.080±0.013	2.565±0.126	1.460±0.057	0.162±0.019	0.389±0.042	0.069±0.028	0.024±0.002	0.337±0.015	
	KI9遺物群	48	0.185±0.007	0.049±0.003	0.081±0.013	2.162±0.122	1.031±0.041	0.435±0.025	0.263±0.028	0.050±0.019	0.023±0.002	0.260±0.009	
	Ni29遺物群	51	5.445±0.122	2.301±0.074	0.207±0.024	13.422±1.113	0.151±0.018	1.839±0.134	0.207±0.022	0.007±0.011	0.069±0.006	0.622±0.021	
	HY遺物群	31	0.238±0.011	0.131±0.006	0.048±0.008	1.636±0.066	0.418±0.028	1.441±0.015	0.482±0.024	0.029±0.028	0.020±0.015	0.481±0.068	
	青森県	SN 1遺物群	33	0.287±0.006	0.087±0.004	0.033±0.005	1.597±0.037	0.244±0.011	0.258±0.011	0.281±0.012	0.009±0.012	0.021±0.006	0.329±0.006
		SN 2遺物群	29	0.209±0.006	0.116±0.006	0.076±0.008	1.571±0.082	0.716±0.035	0.292±0.017	0.264±0.029	0.028±0.030	0.032±0.009	0.383±0.015
		SW 4遺物群	45	0.287±0.003	0.147±0.003	0.095±0.004	1.909±0.073	0.912±0.033	0.480±0.024	0.255±0.014	0.160±0.047	0.024±0.001	0.511±0.013
	秋田県	KN遺物群	107	0.351±0.011	0.121±0.006	0.053±0.007	1.581±0.071	0.347±0.020	0.219±0.014	0.216±0.015	0.054±0.017	0.029±0.011	0.475±0.040
TB遺物群		60	0.252±0.014	0.113±0.007	0.124±0.015	1.805±0.088	0.875±0.056	0.663±0.038	0.272±0.029	0.083±0.037	0.026±0.008	0.378±0.021	
岩手県	HR遺物群	48	0.259±0.008	0.093±0.003	0.067±0.011	2.055±0.067	0.741±0.028	0.293±0.016	0.331±0.021	0.064±0.019	0.036±0.003	0.444±0.010	
	AI 1遺物群	41	1.519±0.026	0.277±0.010	0.078±0.006	2.849±0.073	0.167±0.010	0.526±0.017	0.251±0.013	0.009±0.012	0.058±0.017	0.929±0.024	
	AI 2遺物群	61	3.141±0.074	0.552±0.021	0.080±0.008	2.752±0.062	0.094±0.009	0.716±0.019	0.242±0.011	0.008±0.014	0.083±0.029	1.353±0.049	
	AI 3遺物群	61	0.950±0.013	0.215±0.004	0.117±0.009	4.306±0.100	0.114±0.008	0.909±0.028	0.248±0.012	0.014±0.016	0.028±0.006	0.360±0.009	
	AI 4遺物群	122	1.850±0.059	0.474±0.025	0.067±0.007	2.055±0.077	0.083±0.006	0.531±0.030	0.177±0.010	0.011±0.013	0.064±0.025	1.061±0.105	
	AI 5遺物群	122	3.167±0.092	0.696±0.027	0.101±0.009	3.787±0.108	0.114±0.010	0.892±0.026	0.241±0.012	0.006±0.012	0.091±0.020	1.234±0.052	
	FS遺物群	45	0.272±0.090	0.097±0.029	0.053±0.007	1.791±0.083	0.327±0.019	0.453±0.024	0.207±0.018	0.029±0.027	0.017±0.011	1.339±0.011	
	SD遺物群	48	2.900±0.050	0.741±0.016	0.118±0.010	3.922±0.077	0.117±0.012	0.906±0.026	0.246±0.013	0.008±0.017	0.083±0.013	1.195±0.029	
	UN51遺物群	45	2.903±0.121	0.542±0.056	0.104±0.003	3.507±0.099	0.118±0.012	0.851±0.023	0.238±0.016	0.082±0.032	0.085±0.004	1.206±0.061	
	新潟県	AC 1遺物群	63	0.479±0.014	0.192±0.006	0.054±0.008	1.561±0.075	0.400±0.017	0.440±0.019	0.169±0.019	0.061±0.015	0.033±0.005	0.427±0.016
		AC 2遺物群	48	0.251±0.007	0.081±0.003	0.112±0.013	2.081±0.076	0.904±0.035	0.406±0.020	0.409±0.024	0.108±0.023	0.036±0.003	0.419±0.007
		AC 3遺物群	36	0.657±0.016	0.144±0.005	0.083±0.010	1.891±0.051	0.202±0.010	0.381±0.017	0.286±0.018	0.041±0.012	0.049±0.005	0.616±0.013
		IN 1遺物群	56	0.320±0.010	0.082±0.015	0.063±0.006	2.009±0.199	0.903±0.035	0.742±0.033	0.172±0.010	0.064±0.030	0.027±0.001	0.333±0.011
		IN 2遺物群	48	0.745±0.013	0.110±0.004	0.140±0.015	3.176±0.212	0.728±0.039	1.582±0.080	0.104±0.030	0.038±0.013	0.036±0.003	0.396±0.010
IN 3遺物群		45	0.311±0.015	0.089±0.026	0.061±0.003	2.037±0.204	0.887±0.030	0.736±0.053	0.170±0.010	0.057±0.025	0.027±0.001	0.326±0.016	
IN 4遺物群		45	0.233±0.006	0.044±0.002	0.058±0.002	1.841±0.056	0.935±0.030	0.754±0.024	0.182±0.011	0.057±0.029	0.018±0.001	0.214±0.003	
長野県		NK遺物群	57	0.566±0.019	0.163±0.007	0.086±0.011	1.822±0.084	0.467±0.031	1.691±0.064	0.102±0.021	0.041±0.028	0.038±0.003	0.500±0.014
	UH63遺物群	48	0.308±0.018	0.118±0.005	0.040±0.010	1.646±0.100	0.811±0.039	0.562±0.030	0.138±0.031	0.057±0.020	0.036±0.005	0.426±0.022	
	UH66遺物群	48	0.310±0.019	0.075±0.005	0.064±0.014	1.980±0.082	0.901±0.051	0.841±0.040	0.159±0.038	0.054±0.020	0.041±0.018	0.378±0.025	
	UH35遺物群	44	0.297±0.005	0.115±0.003	0.050±0.014	1.580±0.045	0.567±0.017	0.502±0.023	0.120±0.017	0.075±0.044	0.025±0.001	0.346±0.006	
	FUTI 3遺物群	50	0.730±0.108	0.270±0.023	0.155±0.017	4.326±0.434	0.777±0.125	1.809±0.206	0.477±0.124	0.038±0.089	0.039±0.003	1.724±0.089	
	伊豆54風化群	44	0.137±0.005	0.136±0.007	0.014±0.001	0.820±0.019	0.304±0.006	0.018±0.006	0.060±0.002	0.144±0.005	0.020±0.001	0.234±0.008	
山口県	原田36遺物群	43	0.173±0.002	0.097±0.002	0.015±0.001	0.868±0.012	0.217±0.005	0.002±0.002	0.048±0.002	0.119±0.004	0.020±0.001	0.232±0.004	
	YM遺物群	56	0.381±0.016	0.138±0.005	0.038±0.012	1.611±0.102	0.721±0.039	0.497±0.026	0.128±0.022	0.047±0.016	0.023±0.003	0.331±0.013	
	NM遺物群	40	0.330±0.010	0.103±0.003	0.042±0.012	1.751±0.083	1.048±0.057	0.518±0.034	0.196±0.037	0.058±0.018	0.022±0.003	0.329±0.011	
宮崎県	MK-1遺物群	48	0.087±0.008	0.059±0.002	0.010±0.003	0.677±0.023	0.370±0.097	0.006±0.002	0.125±0.012	0.292±0.010	0.022±0.002	0.337±0.010	
	MK-2遺物群	48	0.258±0.010	0.026±0.002	0.055±0.013	1.745±0.121	1.149±0.092	0.297±0.029	0.202±0.037	0.177±0.022	0.021±0.002	0.268±0.007	
大分県	I遺物群	54	0.794±0.070	0.202±0.009	0.061±0.013	1.774±0.132	0.380±0.030	1.350±0.096	0.076±0.032	0.079±0.022	0.040±0.004	0.434±0.015	
	宮崎県	HB 1遺物群	48	0.197±0.035	0.754±0.055	0.098±0.042	7.099±0.844	0.434±0.062	0.975±0.130	0.368±0.079	0.126±0.079	0.093±0.022	6.312±0.525
宮崎県	HB 2遺物群	48	0.414±0.100	1.557±0.674	0.110±0.044	9.900±1.595	0.176±0.088	1.209±0.459	0.327±0.052	0.178±0.069	0.178±0.044	9.938±1.532	
	UT 1遺物群	46	0.297±0.013	0.107±0.005	0.053±0.010	1.638±0.104	1.012±0.056	0.736±0.039	0.168±0.027	0.034±0.028	0.024±0.011	0.390±0.014	
宮崎県	KU 4遺物群	48	1.871±0.365	1.018±0.094	3.790±0.705	14.990±4.008	0.673±0.081	2.043±0.233	0.752±0.079	0.056±0.045	0.090±0.017	4.302±0.246	
	鹿児島県	KI 1遺物群	45	0.383±0.012	0.101±0.005	0.061±0.024	1.913±0.158	0.985±0.057	0.527±0.038	0.197±0.030	0.079±0.028	0.028±0.002	0.409±0.009
KI 2遺物群		46	0.402±0.015	0.146±0.008	0.060±0.017	1.529±0.052	0.629±0.052	0.565±0.038	0.137±0.024	0.083±0.026	0.029±0.003	0.443±0.022	
KI 3遺物群		48	1.545±0.154	0.557±0.045	0.074±0.011	3.746±0.455	0.284±0.018	0.783±0.044	0.106±0.021	0.025±0.011	0.047±0.006	0.499±0.021	
KI 4遺物群		56	2.625±0.109	0.871±0.136	0.093±0.007	5.623±0.602	0.255±0.015	0.906±0.074	0.107±0.009	0.031±0.015	0.062±0.007	0.587±0.038	
KI 5遺物群		52	0.206±0.012	0.064±0.007	0.061±0.004	1.570±0.073	1.213±0.063	0.728±0.036	0.224±0.013	0.044±0.030	0.014±0.001	0.259±0.026	
KI8遺物群		46	0.447±0.011	0.122±0.005	0.045±0.020	1.737±0.046	0.687±0.023	0.481±0.020	0.140±0.009	0.050±0.024	0.030±0.001	0.428±0.008	
KI84遺物群		48	0.655±0.009	0.151±0.009	0.026±0.001	1.515±0.020	0.332±0.011	0.340±0.011	0.102±0.005	0.051±0.011	0.032±0.001	0.431±0.007	
SG遺物群		48	1.668±0.034	0.778±0.038	0.082±0.010	4.106±0.222	0.202±0.014	0.699±0.025	0.133±0.013	0.015±0.019	0.027±0.021	0.553±0.033	
OK遺物群		32	1.371±0.074	0.687±0.025	0.061±0.008	3.109±0.161	0.202±0.012	0.579±0.027	0.122±0.014	0.009±0.014	0.027±0.018	0.518±0.021	
KK 1遺物群		48	0.347±0.010	0.080±0.003	0.081±0.012	3.085±0.155	0.887±0.036	1.487±0.065	0.119±0.036	0.184±0.023	0.027±0.002	0.265±0.009	
KK 2遺物群		46	0.521±0.012	0.122±0.004	0.076±0.013	3.125±0.222	0.877±0.048	1.500±0.074	0.109±0.034	0.187±0.023	0.035±0.004	0.359±0.010	
HM 1遺物群		44	0.683±0.024	0.861±0.021	0.063±0.013	8.678±0.663	0.642±0.039	0.739±0.054	0.127±0.034	0.065±0.018	0.037±0.005	0.282±0.008	
HM 2遺物群		50	0.483±0.022	0.121±0.006	0.054±0.014	1.975±0.122	0.695±0.040	0.454±0.034	0.191±0.028	0.058±0.028	0.034±0.006	0.474±0.016	
ON 1遺物群		54	0.303±0.012	0.167±0.006	0.038±0.007	1.157±0.044							

各地遺物群名	分析 個数	元素比										
		Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K	
イリス タヤ 地域	RO-1 B遺物群	43	24.212±2.767	9.472±1.106	0.241±0.010	27.056±1.109	0.180±0.026	2.132±0.096	0.134±0.022	0.029±0.033	0.192±0.022	1.904±0.221
	RQ-1 遺物群	43	20.615±1.401	8.370±0.622	0.211±0.009	23.337±0.721	0.176±0.027	2.219±0.075	0.097±0.019	0.057±0.041	0.156±0.011	1.554±0.108
	RSN-1 B遺物群	43	16.950±1.452	7.993±0.713	0.155±0.005	18.028±0.466	0.133±0.018	2.664±0.073	0.071±0.020	0.032±0.030	0.135±0.012	1.369±0.120
	RW-1 遺物群	43	16.252±1.229	7.622±0.591	0.151±0.005	17.579±0.460	0.133±0.016	2.653±0.073	0.065±0.018	0.041±0.032	0.128±0.010	1.290±0.098
	Bogopo 1 遺物群	46	18.260±1.136	7.064±0.466	0.463±0.013	40.787±0.844	0.080±0.007	1.038±0.033	0.275±0.020	0.092±0.024	0.132±0.009	1.164±0.080
	Bolshoy 遺物群	43	0.118±0.006	0.122±0.004	0.005±0.000	0.475±0.020	0.155±0.003	0.003±0.002	0.054±0.001	0.142±0.002	0.030±0.003	0.371±0.010
	コムソリスク プーミ遺物群	47	0.349±0.008	0.168±0.003	0.115±0.005	1.382±0.065	0.219±0.017	0.504±0.028	0.109±0.012	0.109±0.031	0.036±0.010	0.440±0.013
	パリツ 3 遺物群	45	0.260±0.019	0.081±0.007	0.019±0.002	1.198±0.106	0.726±0.078	0.007±0.028	0.228±0.036	0.056±0.015	0.035±0.003	0.502±0.045
	ブリダロジュナヤ12-1 遺物群	48	0.129±0.004	0.045±0.002	0.012±0.001	0.899±0.071	0.740±0.056	0.008±0.006	0.290±0.021	0.028±0.016	0.023±0.001	0.342±0.007
	ホルギチャン 2-3 遺物群	48	0.275±0.009	0.137±0.003	0.069±0.002	1.230±0.020	0.412±0.014	0.559±0.026	0.121±0.013	0.165±0.026	0.029±0.001	0.386±0.011
ヘタクチャン 7-3 遺物群	45	0.296±0.050	0.048±0.008	0.055±0.012	1.181±0.037	0.1024±0.030	0.025±0.013	0.392±0.014	0.038±0.025	0.020±0.001	0.293±0.007	
カム チャ ン カ 半 島	パラトウンカ-1	56	0.706±0.048	0.225±0.011	0.048±0.010	1.851±0.180	0.246±0.014	0.752±0.070	0.075±0.016	0.015±0.008	0.041±0.004	0.482±0.022
	パラトウンカ-2	40	0.717±0.018	0.269±0.006	0.031±0.006	1.604±0.043	0.119±0.007	0.398±0.016	0.095±0.008	0.016±0.006	0.031±0.003	0.402±0.010
	パラトウンカ-3	48	0.384±0.008	0.097±0.004	0.043±0.007	1.642±0.053	0.262±0.011	0.753±0.026	0.066±0.026	0.013±0.062	0.017±0.003	0.176±0.009
	パラトウンカ-4	48	0.141±0.007	0.074±0.003	0.029±0.004	1.069±0.025	0.203±0.007	0.150±0.006	0.106±0.009	0.024±0.006	0.016±0.002	0.146±0.004
	アバチャ	40	0.255±0.007	0.160±0.005	0.029±0.004	1.121±0.034	0.192±0.007	0.151±0.008	0.106±0.009	0.024±0.007	0.026±0.003	0.303±0.007
	ミリコガ遺物群	45	0.467±0.009	0.163±0.005	0.045±0.002	1.528±0.047	0.186±0.015	0.490±0.019	0.118±0.011	0.010±0.013	0.032±0.001	0.448±0.010
	Ushiki V 遺物群	44	0.184±0.006	0.074±0.003	0.075±0.004	1.406±0.079	0.156±0.038	0.435±0.045	0.151±0.027	0.281±0.079	0.022±0.001	0.328±0.003
	Ushiki 遺物群	50	0.537±0.015	0.186±0.011	0.061±0.004	1.384±0.082	0.253±0.023	1.423±0.086	0.080±0.018	0.020±0.023	0.030±0.001	0.397±0.012
	Ushiki II 遺物群	50	0.281±0.005	0.141±0.003	0.066±0.002	1.250±0.028	0.377±0.017	0.568±0.022	0.114±0.015	0.151±0.032	0.028±0.001	0.386±0.004
	GLU09 遺物群	40	0.167±0.017	0.074±0.003	0.035±0.002	1.498±0.030	0.975±0.037	0.215±0.023	0.220±0.018	0.139±0.038	0.023±0.001	0.327±0.005
アラスカ	XMK02 遺物群	40	2.897±0.065	1.695±0.046	0.078±0.001	4.555±0.074	0.100±0.007	0.831±0.018	0.103±0.006	0.043±0.018	0.047±0.001	0.508±0.014
	YUK01 遺物群	40	0.155±0.005	0.041±0.002	0.026±0.002	1.530±0.035	1.022±0.027	0.007±0.010	0.253±0.017	0.146±0.043	0.022±0.001	0.331±0.010
	YUK16 遺物群	40	0.154±0.007	0.066±0.004	0.037±0.002	1.496±0.039	1.046±0.032	0.178±0.017	0.232±0.014	0.146±0.036	0.023±0.001	0.327±0.007
	YUK34 遺物群	40	0.172±0.003	0.085±0.003	0.032±0.002	1.495±0.041	0.830±0.028	0.312±0.022	0.177±0.017	0.098±0.043	0.022±0.001	0.327±0.004
	UNL01 遺物群	40	0.427±0.005	0.170±0.002	0.024±0.001	1.162±0.009	0.128±0.005	0.136±0.005	0.129±0.004	0.037±0.010	0.027±0.001	0.361±0.004
	UNI07 遺物群	40	0.428±0.027	0.249±0.017	0.020±0.001	1.215±0.032	0.202±0.007	0.208±0.009	0.087±0.006	0.011±0.010	0.025±0.001	0.334±0.004
	CHK02 遺物群	40	0.606±0.008	0.269±0.029	0.043±0.001	1.774±0.045	0.106±0.007	0.246±0.007	0.106±0.007	0.041±0.015	0.034±0.001	0.459±0.016
	CRG01 遺物群	40	0.089±0.003	0.153±0.003	0.005±0.000	0.411±0.004	0.074±0.002	0.000±0.001	0.064±0.002	0.219±0.004	0.021±0.001	0.313±0.002
	MMK03 遺物群	41	0.438±0.007	0.165±0.005	0.027±0.001	1.409±0.029	0.245±0.010	0.560±0.016	0.068±0.010	0.020±0.017	0.029±0.001	0.371±0.007
	MMK12 遺物群	41	0.126±0.004	0.085±0.003	0.066±0.003	1.091±0.031	0.830±0.030	0.046±0.016	0.211±0.015	0.318±0.037	0.023±0.001	0.335±0.006
	HEA10 遺物群	41	0.222±0.007	0.130±0.004	0.021±0.001	1.338±0.135	0.454±0.026	0.412±0.018	0.134±0.014	0.052±0.022	0.020±0.001	0.279±0.003
	HEA26 遺物群	41	0.235±0.005	0.082±0.003	0.028±0.002	1.843±0.089	1.066±0.035	0.207±0.028	0.351±0.021	0.057±0.048	0.026±0.001	0.363±0.005
	XBD61 遺物群	41	0.073±0.004	0.214±0.004	0.008±0.000	0.721±0.004	0.063±0.002	0.001±0.001	0.067±0.002	0.179±0.004	0.019±0.001	0.322±0.003
	XBD124 遺物群	41	0.274±0.006	0.170±0.003	0.031±0.001	1.293±0.020	0.409±0.010	0.412±0.017	0.090±0.015	0.103±0.025	0.026±0.001	0.359±0.003
	XBD131 遺物群	41	0.156±0.004	0.048±0.003	0.131±0.006	1.244±0.041	2.125±0.091	0.031±0.023	0.430±0.024	0.790±0.062	0.024±0.001	0.342±0.002
	NOA02 遺物群	41	0.149±0.003	0.134±0.004	0.043±0.002	1.075±0.043	0.654±0.032	0.285±0.018	0.142±0.012	0.183±0.035	0.023±0.001	0.323±0.004
	NOA07 遺物群	41	0.210±0.005	0.176±0.011	0.017±0.001	0.871±0.016	0.221±0.007	0.068±0.006	0.097±0.006	0.065±0.014	0.024±0.001	0.301±0.005
	SIT-E 遺物群	40	0.076±0.010	0.121±0.020	0.006±0.000	0.454±0.005	0.097±0.002	0.001±0.001	0.073±0.002	0.224±0.005	0.022±0.001	0.338±0.009
	SIT-Z-2 遺物群	40	0.098±0.003	0.152±0.003	0.005±0.000	0.449±0.004	0.075±0.002	0.000±0.000	0.063±0.002	0.220±0.004	0.022±0.001	0.316±0.003
	エクスアドル	BAEZA 遺物群	45	0.543±0.006	0.289±0.005	0.038±0.001	1.396±0.017	0.464±0.011	1.595±0.024	0.073±0.006	0.095±0.028	0.031±0.001
標準試料	JG-1 a)	127	0.755±0.010	0.202±0.005	0.076±0.011	3.759±0.111	0.993±0.036	1.331±0.046	0.251±0.027	0.105±0.018	0.028±0.002	0.342±0.004

M群=桑ノ木津留第1群、F群=UT遺物群、HS2群=置戸・置戸山群、FR2群=ケンシヨマップ第1群にそれぞれ一致 平均値±標準偏差値、* : ガラス質安山岩、NK遺物群 : 中ノ原遺跡、HY遺物群 : 日和山遺跡、SN遺物群 : 三内丸山遺跡出土、KN遺物群 : 此掛沢遺跡、HS遺物群 : 北進遺跡、KI遺物群 : 桐木遺跡、UT遺物群 : 内屋敷遺跡、AI遺物群 : 相ノ沢遺跡、FS遺物群 : 房ノ沢遺跡、SD遺物群 : 下館銅屋遺跡、FR遺物群 : 東麓第1、2遺跡、FH遺物群 : 東9線8遺跡、KT遺物群 : 北区1遺跡、KS遺物群 : キウス4遺跡A-R地区、SG遺物群 : 志風頭遺跡、OK遺物群 : 奥名野遺跡、TB遺物群 : 戸平川遺跡、NM遺物群 : 長柄遺跡、MK遺物群 : 南方遺跡、YM遺物群 : 南方、藤尾、岩上遺跡、AC1、2、3遺物群 : アチャ平遺跡、IN1、2遺物群 : 岩野原遺跡、K19遺物群 : K39遺跡、KK1、2遺物群 : 計志加里遺跡、HB1、2 (プリント様) : 八久保第2遺跡、HR遺物群 : 壺量遺跡、HM遺物群 : 春ノ山遺跡、KU4 (硬質頁岩様) : 久木野遺跡、ON1、2 : 大原野遺跡、N129 : 徳香遺跡、UH63・UH66 : 上ノ原遺跡、UN51遺物群 : 雲南遺跡など出土遺物の産地不明の原石群。ウラジオストック付近 : イリスタヤ遺跡、南カムチャッカ : パラトウンカ、ナチキ、アバチャ遺跡、中部カムチャッカ : Ushiki I、II、V遺跡、コムソモリスク・アムール : フーミ遺物群、MTR21遺物群 : 耳取遺跡、FUT13遺物群 : 八千代村封地遺跡、NTO-6遺物群 : 仁田尾遺跡、SW4遺物群 : 沢ノ黒遺跡、原田36遺物群 : 原田遺跡、NTRS1、2、32遺物群 : 西多羅追遺跡、矢野54風化群 : 矢野遺跡、TJD-A、37遺物群 : 天神段遺跡。

a) : Ando,A., Kurasawa,H., Ohmori,T. & Takeda,E. (1974) . 1974 compilation of data on the GJS geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. Geochemical Journal Vol.8, 175-192.

表2 湧別川河口域の河床から採取した247個の黒曜石円礫の分類結果

原石群名	個数	百分率	備考
赤石山群	90個	36%	白滝産地赤石山群に一致
八号沢・白土沢群	120個	49%	割れ面が梨肌の黒曜石
あじさい滝群、幌加沢	31個	13%	割れ面が梨肌でないもの
ケショマップ第2群	5個	2%	
KS3遺物群	1個	0.04%	

注：8号沢、白土沢、あじさい滝、幌加沢の一部は組成が酷似し、分類は割れ面の梨肌か否かで区別した。

表3 常呂川（中ノ島～北見大橋）から採取した661個の黒曜石円礫の分類結果

原石群名	個数	百分率	備考
所山群	321個	49%	常呂川第4群に似る
置戸山群	75個	11%	常呂川第2群、常呂川第5群、HS2遺物群に似る
ケショマップ第1群	65個	10%	FR1、FR2遺物群に似る
ケショマップ第2群	96個	14%	希に同時にケショマップ第0群に0.5～0.001%で同定、FR1、FR2遺物群に似る
八号沢群	1個	0.2%	割れ面梨肌
常呂川第2群	14個	2%	置戸山群、高原山群、HS2遺物群に似る
常呂川第3群	3個	0.5%	
常呂川第4群	70個	11%	KS1遺物群、所山群に似る
常呂川第5群	10個	2%	置戸山群、HS2遺物群に似る
常呂川第6群	1個	0.2%	FH1遺物群に似る
常呂川第7群	2個	0.3%	FR2遺物群に似る
常呂川第8群	1個	0.2%	名寄第2群に似る
十勝	1個	0.2%	戸門第1群、鷹森山群、大釈迦群に似る
台場第2群	1個	0.2%	美蔓第1群に似る

注：常呂川第2群は分析場所を変えて複数回測定して作る。

表4 サナブチ川から採取した44個の黒曜石円礫の分類結果

原石群名	個数	百分率	備考
社名淵群	42個	95%	
赤石山群	1個	2%	白滝産地赤石山群に一致
八号沢・白土沢群	1個	2%	割れ面が梨肌の黒曜石

注：8号沢、白土沢、あじさい滝、幌加沢の一部は組成が酷似し、分類は割れ面の梨肌か否かで区別した。

表5 北斗市館野2遺跡C地区出土黒曜石製遺物の元素比分析結果

分析 番号	元 素 比									
	Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K
113975	0.252	0.071	0.089	2.283	1.040	0.433	0.262	0.047	0.026	0.344
113976	0.256	0.071	0.085	2.182	0.958	0.424	0.252	0.051	0.026	0.348
113977	0.252	0.070	0.089	2.244	0.984	0.436	0.249	0.083	0.027	0.363
113978	0.255	0.071	0.089	2.338	1.020	0.424	0.241	0.031	0.026	0.343
113979	0.254	0.071	0.088	2.256	0.970	0.430	0.258	0.017	0.027	0.363
113980	0.250	0.070	0.086	2.204	0.963	0.427	0.253	0.047	0.026	0.364
113981	0.250	0.070	0.082	2.140	0.909	0.450	0.261	0.042	0.027	0.368
113982	0.258	0.072	0.079	2.150	0.977	0.423	0.246	0.024	0.024	0.358
113983	0.253	0.071	0.086	2.310	0.961	0.410	0.241	0.070	0.025	0.348
113984	0.255	0.075	0.084	2.277	0.970	0.471	0.263	0.014	0.024	0.361
113985	0.249	0.067	0.080	2.100	0.914	0.434	0.246	0.076	0.026	0.355
113986	0.251	0.073	0.095	2.375	1.039	0.445	0.259	0.054	0.026	0.364
113987	0.257	0.070	0.081	2.197	0.970	0.437	0.234	0.011	0.024	0.354
113988	0.248	0.070	0.088	2.246	0.987	0.450	0.271	0.054	0.027	0.363
113989	0.257	0.074	0.079	2.220	0.997	0.450	0.252	0.012	0.024	0.362
113990	0.254	0.068	0.084	2.148	0.955	0.415	0.253	0.070	0.026	0.351
113991	0.259	0.077	0.081	2.183	0.973	0.437	0.254	0.020	0.024	0.360
113992	0.252	0.066	0.081	2.138	0.947	0.383	0.221	0.016	0.024	0.343
113993	0.245	0.069	0.086	2.220	0.991	0.450	0.257	0.080	0.025	0.345
113994	0.252	0.066	0.079	2.218	0.951	0.432	0.231	0.011	0.024	0.351
113995	0.169	0.060	0.088	2.927	1.409	0.293	0.350	0.030	0.027	0.363
113996	0.255	0.071	0.088	2.324	1.020	0.444	0.266	0.099	0.026	0.360
113997	0.244	0.070	0.082	2.168	0.940	0.403	0.246	0.064	0.025	0.335
113998	0.255	0.069	0.082	2.212	0.991	0.424	0.231	0.023	0.024	0.360
113999	0.246	0.067	0.087	2.227	0.986	0.418	0.249	0.034	0.025	0.343
114000	0.254	0.073	0.086	2.247	0.939	0.400	0.247	0.073	0.026	0.353
114001	0.173	0.064	0.077	2.661	1.327	0.289	0.359	0.080	0.027	0.364
114002	0.249	0.071	0.087	2.188	0.975	0.417	0.252	0.057	0.026	0.352
114003	0.174	0.063	0.086	2.745	1.352	0.298	0.339	0.059	0.027	0.368
114004	0.173	0.064	0.080	2.617	1.367	0.298	0.359	0.081	0.027	0.357
JG- 1	0.780	0.208	0.072	4.113	0.969	1.260	0.310	0.047	0.031	0.317

JG- 1 : 標準試料 -Ando,A.,Kurasawa,H.,Ohmori,T.& Takeda,E. 1974 compilation of data on the GJS geochemical reference samples JG- 1 granodiorite and JB- 1 basalt. Geochemical Journal, Vol. 8 175-192 (1974)

表6 北斗市館野2遺跡C地区遺跡出土黒曜石製遺物の産地分析結果

試料番号	採取地	遺物番号	土層	分類	分析番号	ホテリングのT2検定結果	判定	備考	
1	住居跡 CH	11	385	フク土1層	フレイク	113975	赤井川第1群 (94%), 赤井川第2群 (89%)	赤井川	角礫自然面あり
2	住居跡 CH	47	1535	フク土1層	フレイク	113976	赤井川第1群 (99.9%), 赤井川第2群 (94%)	赤井川	
3	住居跡 CH	52	2288	フク土中層	Uフレイク	113977	赤井川第1群 (99.7%), 赤井川第2群 (98%)	赤井川	角礫自然面あり
4	住居跡 CH	77	252	フク土下①層	フレイク	113978	赤井川第1群 (95%), 赤井川第2群 (75%)	赤井川	角礫自然面あり
5	住居跡 CH	77	489	フク土層	フレイク	113979	赤井川第1群 (99%), 赤井川第2群 (84%)	赤井川	角礫自然面あり
6	住居跡 CH	78	359	フク土1層	フレイク	113980	赤井川第1群 (99.96%), 赤井川第2群 (99%)	赤井川	角礫自然面あり
7	包含層 I	68	35	Ⅲ層	Rフレイク	113981	赤井川第1群 (77%), 赤井川第2群 (47%)	赤井川	
8	包含層 K	61	90	Ⅲ層	石鏃	113982	赤井川第2群 (99%), 赤井川第1群 (98%)	赤井川	
9	包含層 K	62	98	Ⅲ層	フレイク	113983	赤井川第1群 (83%), 赤井川第2群 (80%)	赤井川	角礫自然面あり
10	包含層 K	63	36	Ⅲ層	石鏃破片	113984	赤井川第2群 (76%), 赤井川第1群 (46%)	赤井川	
11	包含層 K	63	38	Ⅲ層	Uフレイク	113985	赤井川第1群 (91%), 赤井川第2群 (20%)	赤井川	
12	包含層 K	68	121	Ⅲ層	フレイク	113986	赤井川第1群 (83%), 赤井川第2群 (64%)	赤井川	
13	包含層 K	73	11	Ⅲ層	石鏃破片	113987	赤井川第1群 (99%), 赤井川第2群 (99%)	赤井川	
14	包含層 K	75	35	Ⅲ層	Rフレイク	113988	赤井川第1群 (93%), 赤井川第2群 (84%)	赤井川	角礫自然面あり
15	包含層 L	68	41	Ⅲ層	フレイク	113989	赤井川第2群 (96%), 赤井川第1群 (86%)	赤井川	
16	包含層 M	64	19	Ⅲ層	フレイク	113990	赤井川第1群 (99%), 赤井川第2群 (89%)	赤井川	角礫自然面あり
17	包含層 M	64	35	Ⅲ層	フレイク	113991	赤井川第2群 (99%), 赤井川第1群 (60%)	赤井川	角礫自然面あり
18	包含層 N	68	37	Ⅲ層	石槍	113992	赤井川第2群 (61%), 赤井川第1群 (50%)	赤井川	
19	包含層 N	69	87	Ⅲ層	石槍破片	113993	赤井川第1群 (85%), 赤井川第2群 (28%)	赤井川	
20	包含層 N	71	63	Ⅲ層	石槍	113994	赤井川第2群 (84%), 赤井川第1群 (67%)	赤井川	
21	包含層 O	66	70	Ⅲ層	フレイク	113995	赤石山 (77%)	赤石山	
22	包含層 O	67	114	Ⅲ層	フレイク	113996	赤井川第1群 (96%), 赤井川第2群 (65%)	赤井川	
23	包含層 O	73	39	Ⅲ層	フレイク	113997	赤井川第1群 (77%), 赤井川第2群 (50%)	赤井川	
24	包含層 P	64	59	Ⅲ層	フレイク	113998	赤井川第2群 (96%), 赤井川第1群 (90%)	赤井川	
25	包含層 P	65	19	Ⅲ層	石鏃	113999	赤井川第1群 (85%), 赤井川第2群 (83%)	赤井川	
26	包含層 R	64	111	Ⅲ層	石鏃	114000	赤井川第1群 (87%), 赤井川第2群 (86%)	赤井川	
27	包含層 R	71	13	Ⅲ層	石鏃	114001	赤石山 (99%)	赤石山	
28	包含層 S	69	28	Ⅲ層	石槍?	114002	赤井川第1群 (99%), 赤井川第2群 (95%)	赤井川	
29	包含層 S	70	109	Ⅲ層	チップ	114003	赤石山 (90%)	赤石山	
30	包含層 S	72	47	Ⅲ層	石槍	114004	赤石山 (99%)	赤石山	

注意：近年産地分析を行う所が多くなりましたが、判定根拠が曖昧にも関わらず結果のみを報告される場合があります。本報告では日本における各遺跡の産地分析の判定基準を一定にして、産地分析を行っています。判定基準の異なる研究方法（土器様式の基準も研究方法で異なるように）にも関わらず、似た産地名のために同じ結果のように思われるが、全く関係（相互チェックなし）ありません。本研究結果に連続させるには本研究法で再分析が必要です。本報告の分析結果を考古学資料とする場合には常に同じ基準で判定されている結果で古代交流圏などを考察する必要があります。

3 館野2遺跡C地区出土炭化材の樹種同定

小林克也 (パレオ・ラボ)

1 はじめに

館野2遺跡は北斗市館野に所在し、標高49~58mの海に面した河岸段丘上に立地する、縄文時代中期から後期の遺跡である。館野2遺跡では竪穴住居跡や土坑などが検出され、ここではC地区で出土した炭化材の樹種同定を行った。なお同定については、森林総合研究所の能城修一氏の御教示を得た。

2 試料と方法

館野2遺跡C地区の試料は、竪穴住居跡であるCH86で3点、CH31で30点、土坑であるCP194で1点の計34点の出土炭化材である。遺構の時期については、縄文時代中期前半と考えられている。計測が可能な試料について、加工前に残存半径と残存年輪数の計測を行った。残存半径は試料で残存している半径を直接計測し、残存年輪数は残存半径内の年輪数を計測した。

炭化材の樹種同定は、材の横断面(木口)、接線断面(板目)、放射断面(柾目)についてカミソリと手で切断面を作製し、整形して両面テープで試料台に固定した。その後乾燥させ、イオンスパッタにて金コーティングを施し、走査型電子顕微鏡(KEYENCE社製 VE-9800)にて検鏡および写真撮影を行った。なお同定試料の残りについては、北海道埋蔵文化財センターに保管されている。

3 結果

同定の結果、広葉樹のヤナギ属とクリの2分類群が産出した。クリが最も多く33点産出し、ヤナギ属が1点産出した。同定結果を表1に、一覧を付表1に示す。

次に、同定された材の特徴を記載し、図版に各樹種の走査型電子顕微鏡写真を示す。

(1) ヤナギ属 *Salix* ヤナギ科 図版1 1a-1c (No.4)

小型の道管が単独ないし2~3個複合して密に散在する散孔材である。道管は単穿孔を有し、道管放射組織間壁孔は単壁孔様にみえる大きな円形となる。放射組織は上下端1~3列が直立する異性で、単列となる。

ヤナギ属にはタチヤナギやバッコヤナギなどがあり、水湿に富んだ日当たりのよい土地を好む落葉小高木の広葉樹である。材は軽軟で強度が強く、切削加工などは容易である。

(2) クリ *Castanea crenata* Siebold. et Zucc. ブナ科 図版1 2a-2c (No.2)・3a-3c (No.3)

年輪の始めに大型の道管が1~2列並び、晩材部では徐々に径を減じた道管が火炎状に配列する環孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管は単穿孔を有する。放射組織は同性で単列となる。

クリは北海道の石狩、日高以南の温帯から暖帯にかけての山林に分布する落葉中高木の広葉樹である。材は重硬で耐朽性が高い。

4 考察

館野2遺跡C地区の竪穴住居跡であるCH31とCH86ではクリが最も多く産出し、CH86ではクリ以外にヤナギ属が1点産出した。また土坑であるCP194でも、クリが1点産出した。炭化材の用途につい

表1 出土炭化材の樹種同定結果

樹種/遺構	CH86	CH31	CP194	合計
ヤナギ属	1			1
クリ	2	30	1	33
合計	3	30	1	34

では、CH31とCH86の試料は出土状況より建築材であると考えられるが、CP194の試料は燃料材の残渣あるいは焼けた建築材、木製品などの可能性が考えられる。クリは重硬で耐朽性が高い樹種であり、水湿に強い性質を持つため、建築材に適していたと考えられる。

館野2遺跡と同じく北斗市に所在する、矢不來6遺跡・矢不來9遺跡・矢不來11遺跡では、縄文時代の竪穴住居跡の炉跡やピット、焼土から炭化材が出土し、クリが多く産出している（藤根・中村，2008）。また館野2遺跡とは離れるが、青森県の青森平野では、青森市三内丸山遺跡と岩渡小谷（4）遺跡、野辺地町向田（18）遺跡などの木製品や加工木、自然木の樹種同定結果により、縄文時代前期から後期の集落では人為的な植生改変が行われ、集落周辺ではクリ林が管理されていたことが示唆されている（Noshiro, and Suzuki, 2006）。

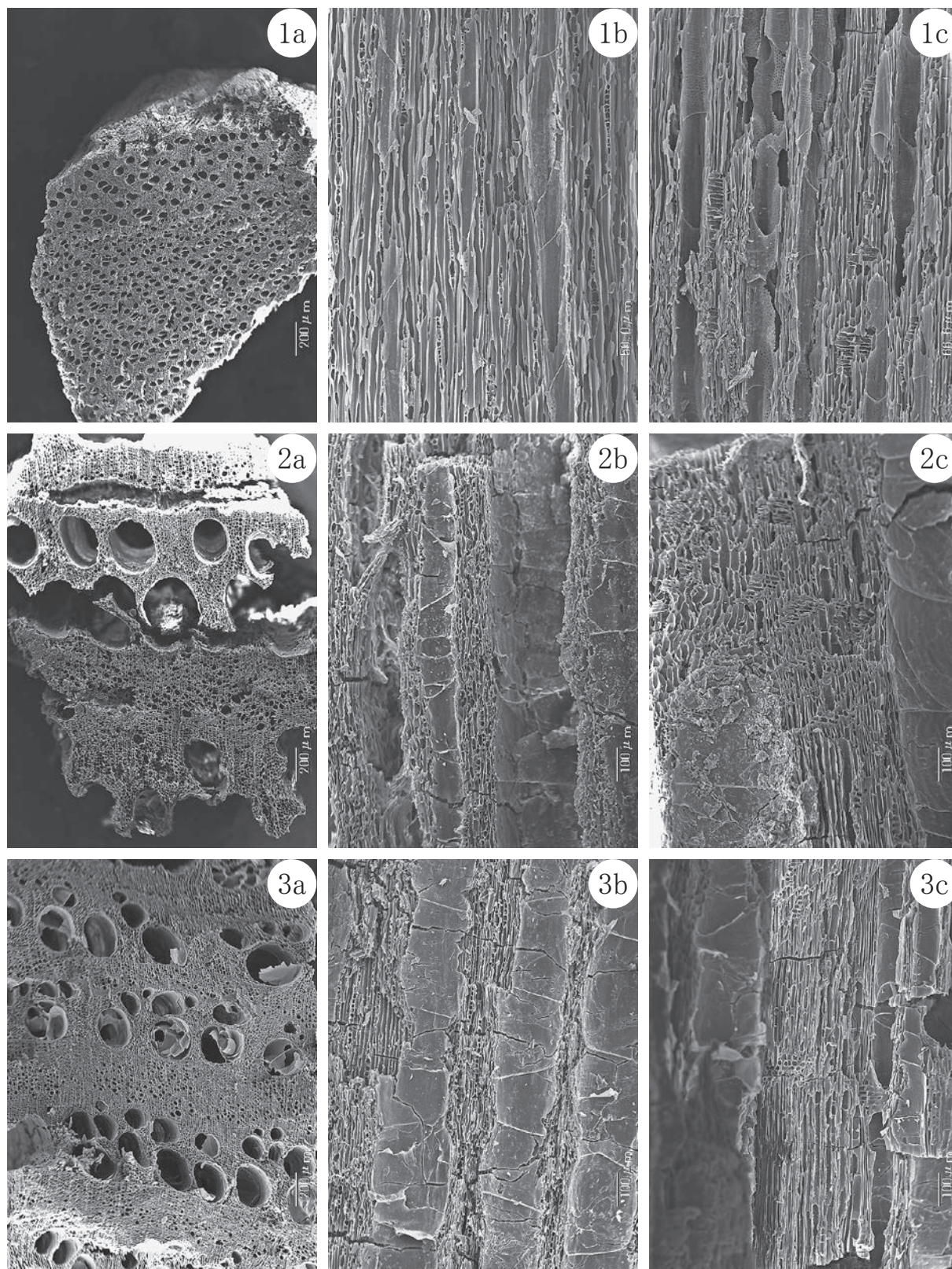
館野2遺跡C地区では、不矢來6・9・11遺跡と同様に、クリが多く産出する傾向がみられた。花粉分析が行われていないため正確な森林環境は掴めないが、館野2遺跡C地区周辺ではクリが多く生育していた可能性や、周辺植生からクリを選択して伐採が行われていた可能性などが考えられる。

引用文献

- 藤根 久・中村賢太郎（2008）矢不來6遺跡・矢不來9遺跡・矢不來11遺跡出土の炭化材樹種同定．北海道埋蔵文化財センター編「矢不來6遺跡（2）・矢不來9遺跡・矢不來11遺跡（2）」：97-101，北海道埋蔵文化財センター．
- Noshiro, S., Suzuki, M. (2006) Utilization of forest resources in the early Jomon period at and around the Sannai-maruyama site in Aomori Prefecture, northern Japan. 辻 誠一郎・能城修一編「植生史研究 特別第2号」：83-100，日本植生史学会．

付表 1 館野 2 遺跡C地区出土炭化材の樹種同定結果一覧

試料 No.	遺構	層位	遺物 番号	樹種	残存半径 (cm)	残存 年輪数	時期	備考
1	CP194	1層上部		クリ	3.1	6	縄文時代中期前半	
2	CH86	床面	1	クリ	1.2	6		
3	CH86	床面	2	クリ	1.6	12		
4	CH86	床面	3	ヤナギ属	1.1	3		最外部あり
5	CH31	床面	2430	クリ	0.6	3		
6	CH31	床面	2431	クリ	—	—		
7	CH31	床面	2432	クリ	0.9	7		
8	CH31	床面	2433	クリ	1.3	4		
9	CH31	床面	2434	クリ	0.9	4		
10	CH31	床面	2435	クリ	0.5	2		
11	CH31	床面	2436	クリ	0.7	3		
12	CH31	床面	2437	クリ	0.6	3		
13	CH31	床面	2438	クリ	0.6	3		
14	CH31	床面	2439	クリ	0.6	1		
15	CH31	床面	2440	クリ	0.6	1		
16	CH31	床面	2441	クリ	0.7	6		
17	CH31	床面	2442	クリ	0.4	2		
18	CH31	床面	2443	クリ	0.8	3		
19	CH31	床面	2444	クリ	0.2	1		
20	CH31	床面	2445	クリ	—	—		
21	CH31	床面	2446	クリ	0.4	1		
22	CH31	床面	2447	クリ	0.3	1		
23	CH31	床面	2448	クリ	—	—		
24	CH31	床面	2449	クリ	—	—		
25	CH31	床面	2450	クリ	0.9	3		
26	CH31	床面	2451	クリ	0.2	1		
27	CH31	床面	2452	クリ	0.9	6		
28	CH31	床面	2453	クリ	0.2	6		
29	CH31	床面	2454	クリ	0.2	1		
30	CH31	床面	2455	クリ	1.4	3		
31	CH31	床面	2456	クリ	0.2	1		
32	CH31	床面	2457	クリ	0.8	4		
33	CH31	床面	2458	クリ	3.1	11		
34	CH31	床面	2459	クリ	0.4	2		



図版1 館野2遺跡C地区出土炭化材の走査型電子顕微鏡写真

1a-1c. ヤナギ属 (No.4) 2a-2c. クリ (No.2) 3a-3c. クリ (No.3)

a: 横断面・b: 接線断面・c: 放射断面

4 炭化材樹種同定・炭化種子同定及び花粉分析(北斗市館野2遺跡C地区遺跡)

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

館野2遺跡は、北海道北斗市館野に所在し、北斗市街地から南南西方向に直線で約3.5kmの海に面した海岸段丘上(標高49~58m)に立地する。調査区は南北に長いことから、A、B、Cの3地区に分けて調査されており、旧石器時代、縄文時代前期後半、中期前半・後半、後期前半などの遺構・遺物が多数検出されている。年代観を示す火山灰は、II層中から駒ヶ岳d火山灰(Ko-d; 1640年)が、II層とIII層の間から白頭山-苫小牧降下火山灰(B-Tm; 10世紀)が局所的に検出されている。

本報告では、平成23年度調査C地区の住居跡、土壌、焼土などから出土した炭化材・炭化種子、及び調査区内より採取された土壌を対象とし、植物資源利用や古植生に関する情報を得ることを目的として、炭化材同定、種実遺体分析、花粉分析を実施する。

1. 試料

炭化材同定を実施する試料は、C地区の各遺構より出土した炭化材20点(試料番号1~20)である。試料番号2と試料番号13は、炭化材が各1片であるが、残る18試料では2~20片以上の炭化材が認められる。試料の詳細については、結果と併せて表に示す。

種実遺体分析を実施する試料は、C地区の各遺構より出土した炭化種実12点(通し番号1~12)である。試料の詳細については、結果と併せて表に示す。

花粉分析を実施する試料は、C地区I-68地点のIII層及びIV層から採取された土壌13点(試料番号1~13)である。試料はフィルムケースで採取されており、上から連続でサンプリングされている。

2. 分析方法

(1) 炭化材同定

試料を自然乾燥させた後、木口(横断面)・柀目(放射断面)・板目(接線断面)の3断面の割断面を作製し、実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡を用いて木材組織の種類や配列を観察し、その特徴を現生標本および独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースと比較して種類を同定する。

なお、木材組織の名称や特徴は、島地・伊東(1982)やWheeler他(1998)を参考にする。また、日本産木材の木材組織については、林(1991)や伊東(1995,1996,1997,1998,1999)を参考にする。

(2) 種実遺体分析

試料を双眼実体顕微鏡下で観察する。種実遺体の同定は、現生標本および石川(1994)、中山ほか(2000)等を参考に実施し、結果を一覧表で示す。分析後は、種実遺体を容器に入れて返却する。

(3) 花粉分析

当社の定法では試料約10g程度を用いるが、今回分析に供された土壌試料は10gに満たない試料も多かったことから、全量(約6~11g)を用いた。水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液(臭化亜鉛、比重2.3)による有機物の分離、フッ化水素酸による鉍物質の除去、アセトリシス(無水酢酸9:濃硫酸1の混合液)処理による植物遺体中のセルロースの分解を行い、物理・化学的処理を施して花粉を濃集する。残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作製し、400倍の光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査し、出現する全ての種類について同定・計数する。同定は、当社保有の現生標本や

島倉（1973）、中村（1980）等を参考にする。

結果は同定・計数結果の一覧表、及び花粉化石群集の層位分布図として表示する。図表中で複数の種類をハイフンで結んだものは、種類間の区別が困難なものを示す。図中の木本花粉は木本花粉総数を、草本花粉・シダ類胞子は総数から不明花粉を除いた数をそれぞれ基数として、百分率で出現率を算出し図示する。なお、木本花粉総数が100個体未満のものは、統計的に扱うと結果が歪曲する恐れがあるので、出現した種類を+で表示するにとどめておく。

3. 結果

（1）炭化材同定

樹種同定結果を表1に示す。複数の炭化材片が認められた試料のうち、試料番号1と試料番号8の2試料では、それぞれ2分類群が確認された。これらの炭化材は、広葉樹5分類群（コナラ属コナラ亜属コナラ節、クリ、ヤマグワ、キハダ、ツタ）に同定された。各分類群の解剖学的特徴等を以下に記す。

- ・コナラ属コナラ亜属コナラ節（*Quercus* subgen. *Quercus* sect. *Prinus*） ブナ科

環孔材で、孔圏部は1-2列、孔圏外で急激に管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1-15細胞高のものと複合放射組織とがある。

- ・クリ（*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.） ブナ科クリ属

環孔材で、孔圏部は3-4列、道管は孔圏外で急激に径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1-10細胞高。

- ・ヤマグワ（*Morus australis* Poiret） クワ科クワ属

環孔材で、孔圏部は2-4列、孔圏外への移行は緩やかで、晩材部では道管は単独または2-4個が複合して斜方向に配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性、1-5細胞幅、1-50細胞高。

- ・キハダ（*Phellodendron amurense* Ruprecht） ミカン科キハダ属

環孔材で、孔圏部は3-5列、道管は孔圏外でやや急激に径を減じたのち、塊状に複合して接線・斜方向に紋様状に配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は同性、1-5細胞幅、1-30細胞高。

- ・ツタ（*Parthenocissus tricuspidata* (Sieb. et Zucc.) Planch.） ブドウ科ツタ属

環孔材で、孔圏部は1-3列、孔圏外への移行は緩やか～やや急で、晩材部では単独または2-3個が複合して配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は階段状となる。放射組織は同性、1-4細胞幅、1-100細胞高以上。

表1. 炭化材同定結果

試料番号	遺構種	遺構番号	取上番号	層位	形状	樹種	備考
1	住居跡	CH2	C1	床付近	分割状	クリ	
					分割状	ツタ	
2	住居跡	CH2	C2	床付近	半裁状	コナラ属コナラ亜属コナラ節	
3	住居跡	CH2	C3	床付近	分割状	クリ	
4	住居跡	CH2	C4	床付近	分割状	クリ	

5	住居跡	CH3	—	覆土1層	分割状	ヤマグワ	炉跡2pit内
6	住居跡	CH12	No.1	床付近	分割状	クリ	
7	住居跡	CH12	No.2	床付近	分割状	コナラ属コナラ亜属コナラ節	
8	住居跡	CH12	No.3	床付近	分割状	キハダ	
					分割状	クリ	
9	住居跡	CH18	C1	床	分割状	クリ	
10	住居跡	CH18	C2	床	分割状	クリ	
11	住居跡	CH30		床	分割状	クリ	
12	住居跡	CH30		HP-1	分割状	クリ	
13	住居跡	CH40		HP-3	分割状	クリ	
14	住居跡	CH41		床	分割状	クリ	集中範囲No.2
15	住居跡	CH83	No.1	床付近	分割状	クリ	
16	住居跡	CH83	No.2	床付近	分割状	クリ	
17	住居跡	CH83	No.3	床付近	分割状	クリ	
18	住居跡	CH83	No.4	床付近	分割状	クリ	
19	土壌	CP70		壙底	分割状	クリ	
20	土壌	CP264		壙底	分割状	クリ	

(2) 種実遺体分析

結果を表2に示す。落葉高木のオニグルミの核の破片が33個（CH3、CH5、CP126、CH41、CH43）、クリの果実の破片が2個（CP10、CF21）、落葉籐本のブドウ属を含むブドウ科の種子の破片が4個（CP31、CH43）、草本のタデ属の果実が2個（CH69）、アカザ科の種子が5個（CH69）、エゴマの果実が1個（CF21）、ナス科の種子が1個（CH68）の、計48個が同定され、栽培種のエゴマが確認された。種実以外では、炭化材が1個（CH43）、不明の炭化物が1個（CH69）確認された。各分類群の形態的特徴を以下に記す。

・オニグルミ (*Juglans mandshurica* Maxim. var. *sachalinensis* (Miyabe et Kudo) Kitamura) クルミ科クルミ属

核は炭化しており黒色。完形ならば、長さ3～4cm、径2.5～3cm程度の頂部が尖る広卵形で、縦に1周する縫合線がある。破片の大きさは、最大10.26mm（CH3）。核は硬く緻密で、表面には縦方向に溝状の浅い彫紋が走り、ごつごつしている。内部には子葉が入る2つの大きな窪みと隔壁がある。

・クリ (*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.) ブナ科クリ属

果実は炭化しており黒色。完形ならば、径2～3.5cm、厚さ1～2cm程度の三角状広卵形で一側面は扁平、反対面は丸みがある。外面はやや平滑で、微細な縦筋がある。基部全面を占める着点は別組織で、灰褐色、粗く不規則な粒状紋様がある。内面には内果皮（渋皮）がある。破片は筋に沿って割れ、基部を欠損する。破片の大きさは、最大3.98mm（CP10）。

・ブドウ属 (*Vitis*) ブドウ科

種子は炭化しており黒色。完形ならば長さ3～4.5mm、幅3～4mm、厚さ2.5mm程度の広倒卵形で側面観は半広倒卵形。基部は鋭尖形で、細く嘴状に尖る核嘴がある。背面正中線の頂部から1mm程度に、長さ1.5～2mm、幅1～1.5mm程度の卵形の合点があり、細く浅い溝に囲まれて合点中央は窪む。腹面正中線は（鈍）稜をなし、細い筋が走る。正中線の左右には、長さ2～2.3mm、幅0.5～0.7mm程度の倒皮針形で深く窪む核窪がある。種皮は硬く、表面は粗面、断面は柵状。最大の破片は背面で、頂部と腹面を欠損しており、残存長は4.17mm、残存幅は3.7mm（CP31）。なお、背面が欠損した破片をブドウ科 (*Vitaceae*) としている。

・タデ属 (*Polygonum*) タデ科

形態上差異のある2種が確認された。果実は炭化しており黒色。通し番号10は、径1.6mmの三稜状広卵体で焼き膨れている。頂部は尖り、基部は切形で萼が残存する。果皮表面は粗面。通し番号11は、長さ1.3mm、幅1.2mmのやや偏平な円形で半分に分れている。頂部は尖り、基部は切形。果皮表面は平滑。

・アカザ科 (Chenopodiaceae)

種子は炭化しており黒色。径0.9~1.0mm程度のやや偏平な円形。基部は凹み、中心に向かって食い込む。種皮表面には臍を取り囲むように微細な網目模様が放射状に配列し、光沢がある。

・エゴマ (Perilla frutescens (L.) Britt. var. japonica Hara) シソ科シソ属

果実は炭化しており黒色。長さ2.1mm、径1.5mmの倒広卵体。基部に大きな臍点があり、舌状にわずかに突出する。果皮はやや厚く硬く、表面は浅く大きく不規則な網目模様がある。

・ナス科 (Solanaceae)

種子は炭化しており黒色。長さ0.6mm、径0.8mmの偏平で歪な腎臓形。基部はやや肥厚し、くびれた部分に臍がある。種皮表面には微細で浅い星形状網目模様が臍から同心円状に発達する。

表2. 種実遺体分析結果

通し番号	サンプル番号	遺構種	遺構/発掘区	層位	分類群	部位	状態	個数	重量(g)	備考
1	2-6	住居跡	CH3	HF1	オニグルミ	核	破片	6	0.139	最大径10.26mm
2	3-13	土壌	CP10	覆土1	クリ	果実	破片	1	0.004	径3.98mm
3	5-15	住居跡	CH5	覆土1	オニグルミ	核	破片	2	0.035	最大径8.08mm
4	8-18	焼土	CF21	覆土1	クリ	果実	破片	1	0.001	径2.87mm
					エゴマ	果実	完形	1	<0.001	長さ2.1mm,径1.5mm
5	12-27	土壌	CP31	壺の中の土	ブドウ属	種子	破片	2	0.007	背面,頂部欠損,残存長4.17,幅3.7mm
					ブドウ科	種子	破片	1	0.001	腹面右側,基部欠損
6	24-62	土壌	CP126	覆土1	オニグルミ	核	破片	1	0.014	径5.51mm
7	27-77	住居跡	CH41	HF1 覆土1 No.1	オニグルミ	核	破片	9	0.102	最大径5.9mm
8	28-78	住居跡	CH41	HF1 覆土1 No.2	オニグルミ	核	破片	8	0.156	最大径8.85mm
9	29-79	住居跡	CH43	Po-1 No.5 一括土器	オニグルミ	核	破片	7	0.05	最大径4.53mm
					ブドウ属	種子	破片	1	<0.001	
					炭化材	-	破片	1	<0.001	
10	47-18	住居跡	CH69	HF1	タデ属	果実	完形	1	<0.001	三稜状広卵体,焼き膨れ,表面粗面
					アカザ科	種子	破片	3	<0.001	
					不明炭化物	-	-	1	<0.001	長さ3.3mm,幅1.2mm
11	48-19	住居跡	CH69	HF1	タデ属	果実	破片	1	<0.001	偏平な円形の半分,表面平滑
					アカザ科	種子	完形	2	<0.001	
12	53-24	住居跡	CH68	HP2	ナス科	種子	完形	1	<0.001	

(3) 花粉分析

結果を表3、図1に示す。全体的に花粉化石の産出状況は良好といえず、保存状態も概して悪い。かろうじて定量解析が行える程度の産出が認められたのは、試料番号2,3,8,9の4試料である。

木本花粉群集についてみると、試料番号2,3と試料番号8,9で大きく異なる。試料番号2,3ではマツ属が多産し、モミ属、スギ属、ハンノキ属、ウコギ科等を伴う。また、シダ類孢子もこれらの試料で多産する傾向にある。これに対し、試料番号8,9ではカエデ属が最も多く産出し、コナラ属コナラ亜属も多く認められる。多産するカエデ属には、2~3個の花粉がくっついた状態で検出されるものも複数確認された。そのほかではハンノキ属、シナノキ属等を伴う。残りの9試料は、花粉化石

の産出状況が悪いものの、試料番号6付近を境として、検出される種類構成に差が認められる。すなわち、試料番号1～5では少ないながらもマツ属が多い傾向が認められ、試料番号7～13では、コナラ亜属、カエデ属が多い傾向にある。

草本花粉は、木本花粉と比較すると産出量が少ないものの、試料番号2,3,8,9で同様の傾向が認められ、イネ科、セリ科、ヨモギ属、キク亜科、タンポポ亜科などが多く検出される。同様の傾向は、残りの9試料においても認められる。

表3. 花粉分析結果

種 類	I-68地点												
	III層									IV層			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
木本花粉													
モミ属	1	4	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
トウヒ属	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マツ属複維管束亜属	8	36	19	11	2	—	—	—	—	—	—	—	—
マツ属 (不明)	29	112	75	22	7	6	5	2	1	1	2	1	—
スギ属	2	15	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
サワグルミ属	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
カバノキ属	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—
ハンノキ属	—	2	2	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—
ブナ属	—	—	—	1	—	—	2	—	—	—	—	—	—
コナラ属コナラ亜属	—	1	—	1	—	—	3	21	19	6	5	6	—
ニレ属-ケヤキ属	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ウルシ属	—	1	—	—	1	2	2	—	1	—	—	—	—
カエデ属	—	—	—	—	—	1	8	83	84	16	20	9	1
シナノキ属	—	1	—	—	2	1	3	2	1	—	—	—	—
ウコギ科	—	—	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
ミズキ属	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—	—
イボタノキ属	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
草本花粉													
イネ科	1	15	6	3	6	6	3	2	3	—	1	1	2
カヤツリグサ科	—	2	—	1	1	3	—	—	—	—	—	—	—
タデ属	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
アカザ科	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
バラ科	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
セリ科	—	3	2	3	2	—	—	3	1	1	1	—	1
ヨモギ属	11	24	7	27	27	11	5	6	2	5	2	2	1
キク亜科	1	4	5	1	3	2	4	3	1	1	1	1	3
タンポポ亜科	—	12	7	5	3	3	—	—	—	2	2	—	2
不明花粉													
不明花粉	5	8	2	4	5	2	12	21	12	9	1	2	2
シダ類孢子													
ヒカゲノカズラ属	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ゼンマイ属	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
他のシダ類孢子	92	444	277	133	119	70	43	37	30	16	20	14	17
合 計													
木本花粉	40	175	106	37	13	12	23	111	106	24	30	17	2
草本花粉	14	60	27	41	42	26	12	14	7	9	7	4	9
不明花粉	5	8	2	4	5	2	12	21	12	9	1	2	2
シダ類孢子	92	445	277	134	119	70	43	37	30	16	20	14	17
合計(不明を除く)	146	680	410	212	174	108	78	162	143	49	57	35	28

4. 考察

（1）木材利用

炭化材は、住居跡と土壌から出土しており、広葉樹5分類群が認められた。各分類群の材質をみると、コナラ節、クリ、ヤマグワは、重硬で強度が高く、クリやヤマグワは耐朽性も比較的高い。キハダは、比較的軽軟で強度が低い、耐朽性は高いとされる。ツタは、つる植物である。

遺構別にみると、住居跡ではクリを中心にコナラ節、ヤマグワ、キハダ、ツタが認められ、少なくとも5分類群が利用されたことが推定される（表4）。各分類群の材質から、強度の高い木材や耐朽性の高い木材を選択・利用したことが推定される。ツタについては、つる植物であることから、部材を結束する際の縄などとして利用された可能性がある。住居別に見ると、4点の試料があるCH83は全てクリである。一方、CH2では5点に3分類群（コナラ節、クリ、ツタ）、CH12では4点に3分類群（コナラ節、クリ、キハダ）であり、それぞれクリを中心に3分類群で構成される。これらの結果から、住居によって多少の違いはあるが、基本的にクリを主体とした種類構成であったことが推定される。土壌の炭化材は、各遺構1点がいずれもクリに同定され、住居跡と同様にクリを利用したことが推定される。

本遺跡では、これまでも縄文時代中期の住居跡から出土した炭化材の樹種同定が行われているが、クリを主体とする住居が多く、今回の結果とも調和的である。また、周辺地域では、館野4遺跡の縄文時代中期の住居跡から出土した炭化材が全てクリに同定されている（植田,2006）。

表4. 遺構別炭化材種類構成

分類群\遺構	住居跡								土壌		合計
	CH2	CH3	CH12	CH18	CH30	CH40	CH41	CH83	CP264	CP70	
コナラ節	1		1								2
クリ	3		2	2	2	1	1	4	1	1	17
ヤマグワ		1									1
キハダ			1								1
ツタ	1										1
合計	5	1	4	2	2	1	1	4	1	1	22

（2）植物食料資源

C地区の各遺構より出土した炭化種実のうち、食料資源となりうる種類としては、落葉高木のオニグルミ、クリ、落葉籐本のブドウ属（科）、草本のエゴマなどが挙げられる。焼土F21から1個確認された栽培種のエゴマは、果実が食用や油料に利用される有用植物である。当時の本遺跡周辺域で利用された植物質食料に由来する可能性があるため、今後の出土事例の蓄積が期待される。

栽培種以外の分類群では、木本類は、住居跡H3、H5、H41、H43と土壌P126からオニグルミの核の破片、土壌P10と焼土F21からクリの果実の破片、住居跡CH43と土壌P31からブドウ属（科）の種子が確認された。オニグルミは河川沿いなどの湿潤な場所を好み、クリは丘陵から山地に生育する二次林要素で、ブドウ属（科）は林縁や伐採地などの明るい場所に生育する先駆植物である。いずれも現在の本地域に分布する。また、オニグルミは核内部の種子が、クリは子葉が、ブドウ属は果実が生食可能である。前回の分析調査でも、B地区の縄文時代後期前葉（涌元・トリサキ）とされる住居跡H-9から、炭化したオニグルミの核の破片とクリの果実の破片が出土している。以上のことから、

出土種実は本遺跡周辺の森林より遺構内に持ち込まれ、利用された植物質食料と示唆され、利用後の残滓である可能性と、火を受け炭化したことが推定される。

(3) 古植生

I-68地点における花粉分析の結果、IV層（試料番号13～10）及びIII層の一部（試料番号7～4,1）では、花粉化石の検出状況が悪く、古植生推定のための定量解析を行うことができなかった。今回分析した試料における花粉化石の産出状況を見ると、いずれの試料も花粉化石の保存状態が悪く、花粉外膜が破損・溶解しているものが多く認められた。花粉やシダ類胞子の腐蝕に対する抵抗性は種類により異なっており、落葉広葉樹に由来する花粉よりも針葉樹に由来する花粉やシダ類胞子の方が酸化に対する抵抗性が高いとされている（中村,1967;徳永・山内,1971;三宅・中越,1998など）。検出された花粉化石の保存状態やシダ類胞子の多産などを考慮すると、得られた花粉化石群集は経年変化による分解・消失の影響を受けていると考えられる。III層内に

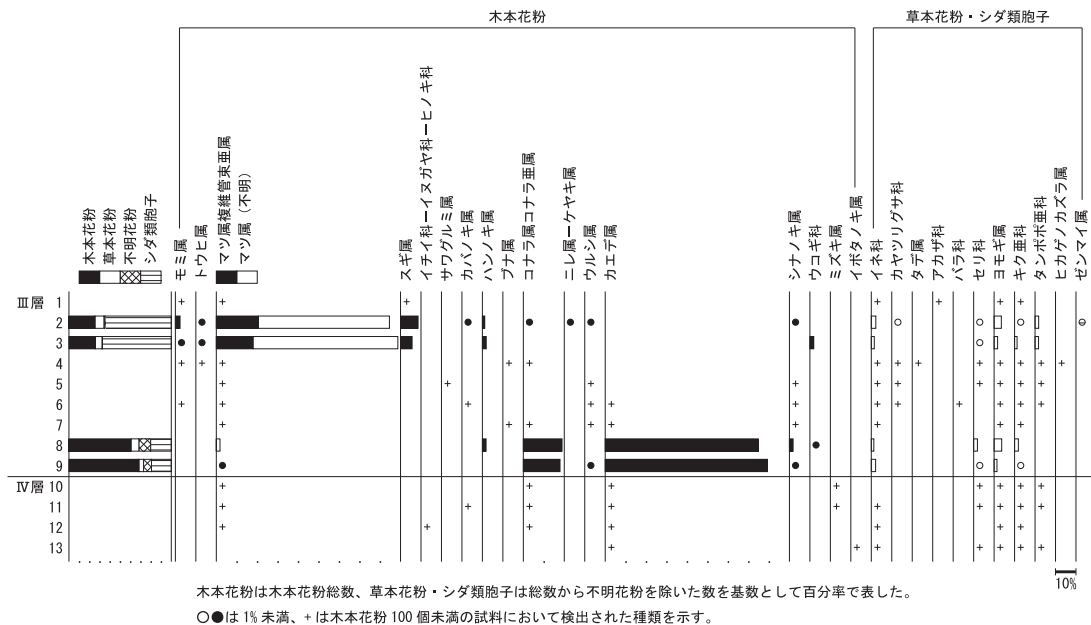


図1. I-68地点における花粉化石群衆の層位分布

において、かろうじて定量解析が行えるだけの個体数が得られた4試料（試料番号9, 8, 3, 2）でも、花粉化石の産出状況・保存状態が良好でないことから、経年変化による分解・消失の影響を受けており、分解に強い花粉が選択的に多く残されていると推測される。その点を考慮した上で、古植生の検討を行う。

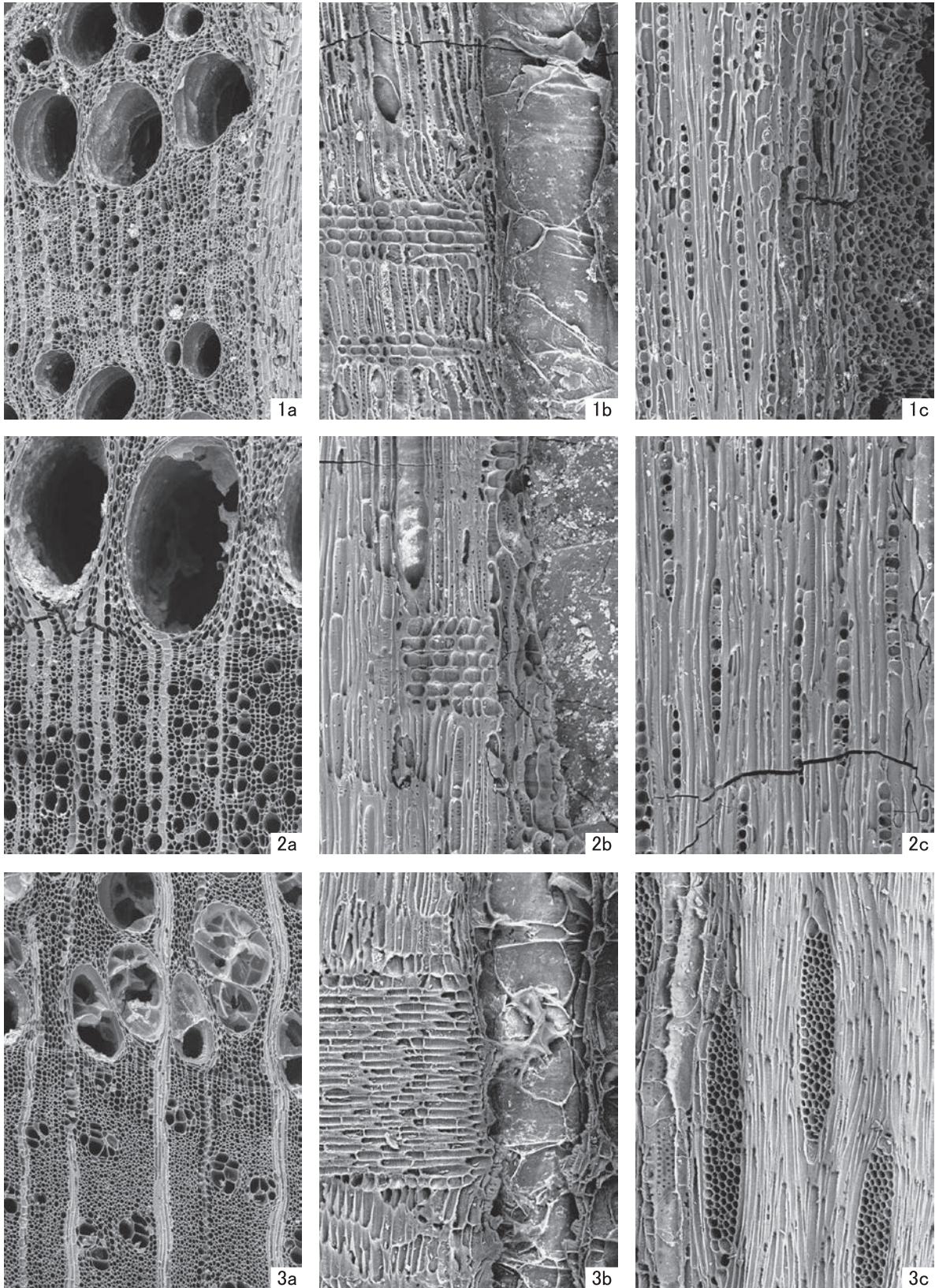
III層最下部（試料番号9, 8）では、コナラ属コナラ亜属、カエデ属が多産し、マツ属、ハンノキ属、シナノキ属などを伴う。よって、III層下部が堆積した当時の周辺では、コナラ亜属、カエデ属などの落葉広葉樹を主体とし、林縁にウルシ属、ウコギ科などが、矢不木川などの周辺河川沿いにハンノキ属、シナノキ属などが、後背の丘陵・山地にマツ属などの針葉樹が生育していたと推測される。少ないながらも同様の種類がIV層の試料からも認められることから、これらの植生はIV層堆積当時から続いていた可能性がある。

一方、Ⅲ層の試料番号3,2では、多産したコナラ亜属がわずかになり、カバノキ属などの落葉広葉樹を伴うほか、ハンノキ属、ニレ属-ケヤキ属、シナノキ属などの溪谷林・河畔林要素も認められる。よって、これらの木本類が当時の周辺にも生育していたことが窺える。また、これらの試料ではマツ属が多産する。前述のように針葉樹花粉は分解に対する抵抗性が高い。試料番号3,2ではマツ属の他にも、モミ属、トウヒ属などの針葉樹が認められるほか、シダ類孢子も多産することから、落葉広葉樹花粉が分解され、マツ属等が選択的に多く残された可能性が高い。なお、北海道に自生しないスギ属が検出されており、これらは本州から飛来したものと推定される。マツ属も花粉の生産量が多い風媒花であることから、ともに本州から飛来した可能性も考えられる。また、調査所見ではⅢ層とⅡ層の間で10世紀に降下したとされるB-Tmが局所的に、Ⅱ層中から西暦1640年に降下したKo-dが検出されていることから、後代の攪乱による落ち込みの可能性も否定できない。これらの点については、土層の詳細な堆積過程や分析事例を蓄積して、検討する必要がある。

草本類については、Ⅳ層～Ⅲ層を通じて産出量が少なく、群集組成も大きな変化が認められない。いずれもイネ科、セリ科、ヨモギ属、キク亜科、タンポポ亜科などが多く検出される。炭化種実でも、住居跡H69からタデ属の果実、アカザ科の種子、住居跡H68からナス科の種子が確認された。これらは、明るく開けた場所に生育する、いわゆる人里植物に属する分類群である。よって、これらの草本類は、調査区周辺の明るく開けた草地環境に由来すると考えられる。

引用文献

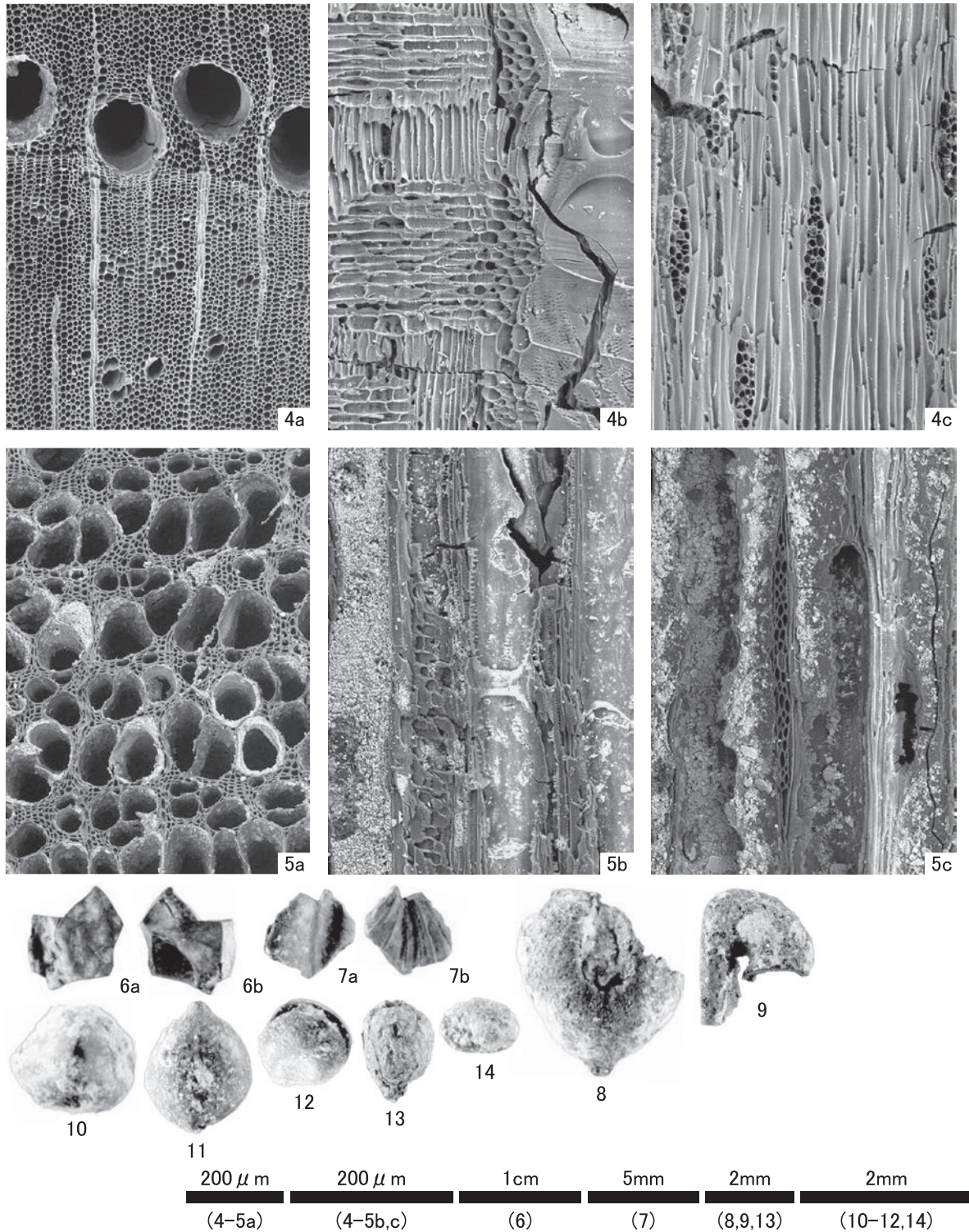
- 林 昭三,1991,日本産木材 顕微鏡写真集.京都大学木質科学研究所.
- 石川茂雄,1994,原色日本植物種子写真図鑑.石川茂雄図鑑刊行委員会,328p.
- 伊東隆夫,1995,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ.木材研究・資料,31,京都大学木質科学研究所,81-181.
- 伊東隆夫,1996,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ.木材研究・資料,32,京都大学木質科学研究所,66-176.
- 伊東隆夫,1997,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ.木材研究・資料,33,京都大学木質科学研究所,83-201.
- 伊東隆夫,1998,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ.木材研究・資料,34,京都大学木質科学研究所,30-166.
- 伊東隆夫,1999,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ.木材研究・資料,35,京都大学木質科学研究所,47-216.
- 三宅 尚・中越信和,1998,森林土壌に堆積した花粉・孢子の保存状態.植生史研究,6,15-30.
- 中村 純,1967,花粉分析.古今書院,232p.
- 中村 純,1980,日本産花粉の標徴ⅠⅡ(図版).大阪市立自然史博物館収蔵資料目録 第12,13集,91p.
- 中山至大・井之口希秀・南谷忠志,2000,日本植物種子図鑑.東北大学出版会,642p.
- 島地 謙・伊東隆夫,1982,図説木材組織.地球社,176p.
- 島倉巳三郎,1973,日本植物の花粉形態.大阪市立自然科学博物館収蔵目録 第5集,60p.
- 徳永重元・山内輝子,1971,花粉・孢子.化石の研究法,共立出版株式会社,50-73.
- Wheeler E.A.,Bass P. and Gasson P.E. (編),1998,広葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト.伊東隆夫・藤井智之・佐伯 浩(日本語版監修),海青社,122p. [Wheeler E.A.,Bass P. and Gasson P.E. (1989) IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification].
- 植田弥生,2006,館野4遺跡焼失住居跡出土炭化材の樹種同定.北海道埋蔵文化財センター調査報告書第235集 北斗市 矢不來6遺跡・矢不來11遺跡・館野4遺跡,北海道埋蔵文化財センター,158-161.



1.コナラ属コナラ亜属コナラ節(試料番号7)
 2.クリ(試料番号17)
 3.ヤマグワ(試料番号5)
 a:木口,b:柁目,c:板目

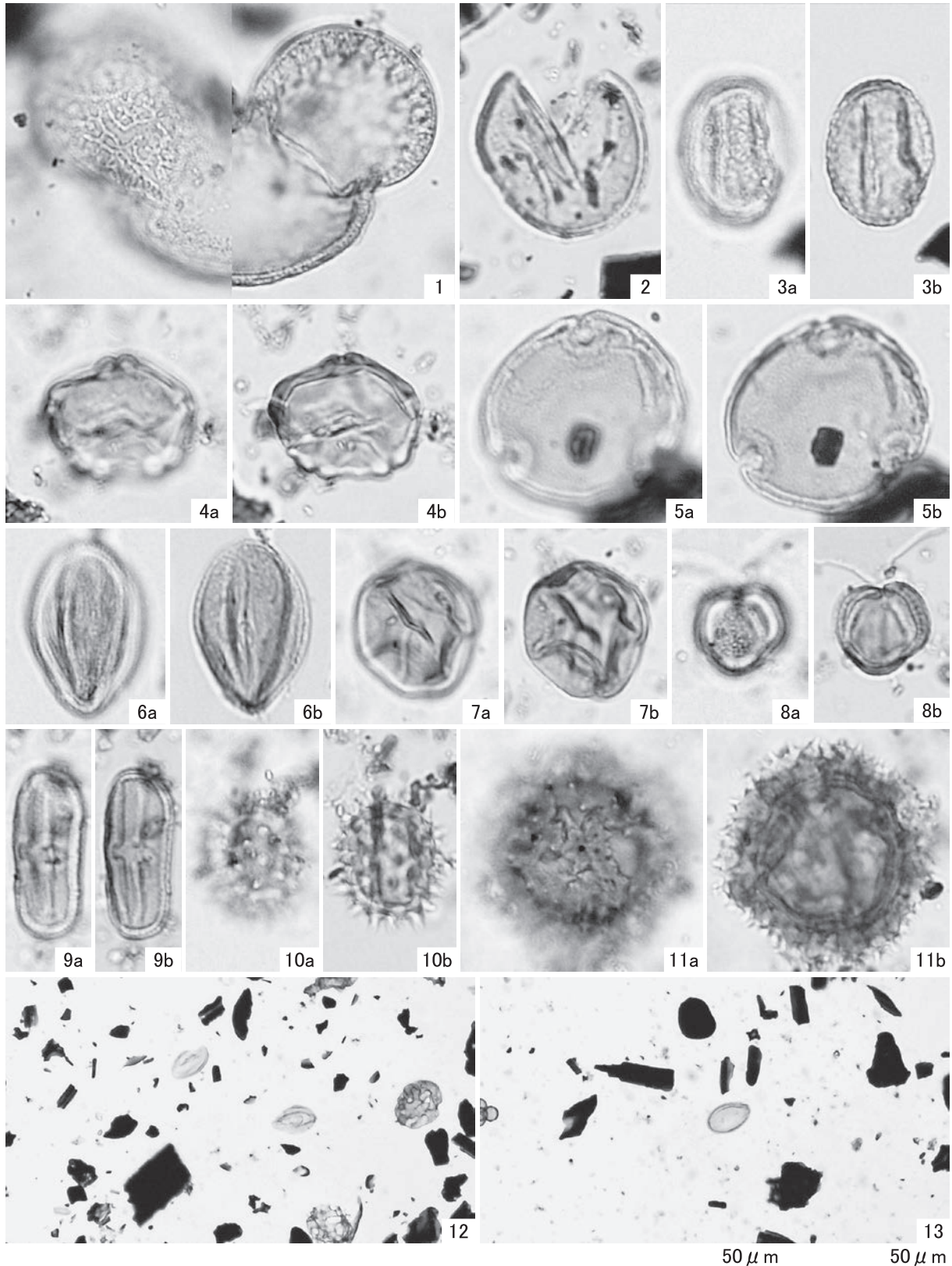
200 μ m:a
 200 μ m:b,c

図版1 炭化材(1)



4. キハダ(試料番号8) a:木口,b:柀目,c:板目
 5. ツタ(試料番号1) a:木口,b:柀目,c:板目
 6. オニグルミ 核(通し番号8)
 7. クリ 果実(通し番号2)
 8. ブドウ属 種子(通し番号5)
 9. ブドウ科 種子(通し番号5)
 10. タデ属(3面) 果実(通し番号10)
 11. タデ属(2面) 果実(通し番号11)
 12. アカザ科 種子(通し番号11)
 13. エゴマ 果実(通し番号4)
 14. ナス科 種子(通し番号12)

図版2 炭化材(2)・種実遺体



- | | | |
|------------------------|-------------------|-----------------------|
| 1. マツ属(試料番号2) | 2. スギ属(試料番号2) | 3. コナラ属コナラ亜属(試料番号8) |
| 4. ハンノキ属(試料番号2) | 5. シナノキ属(試料番号7) | 6. カエデ属(試料番号8) |
| 7. イネ科(試料番号2) | 8. ヨモギ属(試料番号2) | 9. セリ科(試料番号2) |
| 10. キク亜科(試料番号3) | 11. タンポポ亜科(試料番号2) | 12. プレパラート内の状況(試料番号8) |
| 13. プレパラート内の状況(試料番号11) | | |

図版3 花粉化石

5 動物遺存体同定（北斗市 館野2遺跡C地区）

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

館野2遺跡は、函館湾に面した海岸段丘上（標高49～58m）に立地する。これまでの発掘調査により、旧石器、縄文時代中期、縄文時代後期後葉、縄文時代前期後半～後期前葉の遺構・遺物が検出されている。竪穴住居跡、土坑、焼土、集石、小ピットなどが検出されており、これまでも縄文時代中期の住居跡から出土した炭化材、縄文時代中期前半や縄文時代後期前葉の各遺構より出土した炭化種実、縄文時代後期前葉の焼土遺構から出土した骨類の分類が行われ、動植物利用に関する情報が集積されつつある。

平成19・20年度に調査されたC地区では、縄文時代前期後半、縄文時代中期前半・後半、縄文時代後期前葉など多数の遺構・遺物が検出されている。本分析調査では、C地区の遺構から検出された骨類の同定を行い、縄文時代中期～後期の動物利用に関する情報を得ることを目的とする。

1. 試料

試料は、C地区で検出された遺構、竪穴住居跡（CH）、ピット（CP）、焼土（CF）の覆土等のフローテーションで得られた骨類22試料（No.1～22）、およびCH90覆土2層から出土した骨1試料（No.23）、合計23試料である。No.1～22には微細な焼骨片が多数含まれ、No.23は被熱を受けていない比較的大型の骨片である。なお、試料の詳細については、結果とともに示す。

2. 分析方法

試料を肉眼および実体顕微鏡で観察し、その形態的特徴から、種と部位の同定を行う。

3. 結果

検出された種類の一覧を表1、同定結果を表2に示す。微細な破片となっているものが多いため種類・部位を明らかにできなかった骨類は少ないが、全体的な傾向として骨片数が多ければ種類・部位を明らかにできるものが多い。

また、CH4（No.3）・CF133（No.12）・CF134（No.13）・CH63（No.15）・CF146（No.22）が魚類、CP188（No.11）・CH15（No.20）・CH18（No.21）が鳥類、CH5（No.4）が獣類に限定されるが、それ以外の遺構は複数種が混在する。以下、種類ごとに産状を示す。

〈ニシン類〉

腹椎が検出される。

〈カタクチイワシ〉

腹椎が検出される。

〈コイ科〉

ウグイの可能性のある尾椎が検出される。また、コイ類の可能性のある腹椎と椎骨の破片がみられる。

〈サケ・マス類〉

表1. 検出分類群の一覧

脊椎動物門	Phylum Vertebrata
硬骨魚綱	Class Osteichthysse
条鰭亜綱	Subclass Actinopterygii
ニシン目	Order Clupeiformes
ニシン科	Family Clupeidae
ニシン類	Gen. et. sp. indet.
カタクチイワシ科	Family Engraulidae
カタクチイワシ	Engraulis japonicus
コイ目	Order Cypriniformes
コイ科	Family Cyprinidae
ウグイ亜科	Subfamily Leuciscinae
ウグイ?	Tribolodon hakonensis?
サケ目	Order Salmoniformes
サケ・マス類	Fam. et. gen. indet.
カレイ目	Order Pleuronectiformes
カレイ類?	Fam. et. gen. indet.
鳥綱	Class Aves
鳥類	Ord. et. fen. indet.
哺乳綱	Class Mammalia
海獣類?	
獣類	Ord. et. fen. indet.

椎骨の破片がみられる。また、サケ・マス類とみられる歯の破片も検出される。

表2. 骨同定結果(1)

No.	サンプル 番号	遺構/ 発掘区	層位	採取年月日	骨片 (g)	分類群	部位	左右	部分	数量	重量 (g)	被熱
1	1-5	CH2	F19	2007/6/6	0.2	サケ・マス類	椎骨		破片	6	0.02	○
						魚類	椎骨		破片	1	0.01	○
						鳥類	脛骨		遠位端	1	0.20	○
						不明	不明		破片	6	0.03	○
2	8-18	CF21	覆土1	2007/6/19	0.2	サケ・マス類	椎骨		破片	1	0.00	○
						鳥類/小型獣類	肋骨		破片	1	0.02	○
							指骨?		遠位端?	1	0.01	○
						不明	不明		破片		0.24	○
3	11-26	CH4	HF1	2007/6/27	0.2	サケ・マス類	椎骨		破片	3	0.01	○
						サケ・マス類等	歯		破片	1	0.02	○
						コイ類(ウグイ?)	尾椎		破損	1	0.00	○
						不明	不明		破片		0.22	○
4	13-28	CH5	HP16	2007/7/10	11.9	獣類	四肢骨		破片	1	0.70	○
						不明	不明		破片		11.18	○
						サケ・マス類等	歯		破片	1	0.00	○
						コイ類(ウグイ?)	尾椎		破損	1	0.00	○
5	14-29	CH9	HF1	2007/7/11	0.5	魚類	椎骨		破片	3	0.01	○
							鱗棘		破片	3	0.01	○
						鳥類/小型獣類	四肢骨		破片	4	0.16	○
						獣類	不明		破片	3	0.03	○
						不明	不明		破片		0.26	○
						ニンシ類	腹椎		破損	2	0.01	○
						サケ・マス類	椎骨		破片	32	0.12	○
						コイ類(ウグイ?)	尾椎		破片	2	0.01	○
6	15-31	CH9	HF1	2007/7/19	2.3	カレイ類?	尾椎		破片	2	0.00	○
						魚類	副蝶形骨		破片	1	0.01	○
							腹椎		破片	2	0.00	○
							終尾椎		破片	1	0.00	○
							椎骨		破片	8	0.02	○
							鱗棘		破片	42	0.16	○
						鳥類	四肢骨		破片	8	0.07	○
						獣類	四肢骨		破片	1	0.11	○
						不明	不明		破片	7	0.41	○
						不明	不明		破片		1.38	○
7	16-32	CH11	CF3焼土	2007/7/26	0.3	サケ・マス類	椎骨		破片	3	0.01	○
						魚類	椎骨		破片	5	0.05	○
							鱗棘		破片	4	0.03	○
						魚類?	歯?		破片	1	0.01	○
						鳥類?	四肢骨?		破片	2	0.00	○
						不明	不明		破片		0.25	○
8	19-40	CH12	HF1	2007/8/21	0.4	サケ・マス類	椎骨		破片	23	0.05	○
						コイ類(ウグイ?)	尾椎		破片	1	0.00	○
						コイ類?	腹椎		破片	1	0.00	○
						魚類	椎骨		破片	1	0.00	○
						獣類	指趾骨?		両端欠	1	0.05	○
						不明	不明		破片	2	0.03	○
9	21-44	CH17	HF2焼土	2007/9/5	1	不明	不明		破片		0.28	○
						魚類	椎骨		破片	4	0.03	○
							鱗棘		破片	17	0.08	○
						鳥類?	四肢骨?		破片	5	0.01	○
						獣類	肋骨		破片	3	0.26	○
							不明		破片	4	0.05	○
10	23-54	CH29	HF1	2007/10/2	0.3	サケ・マス類	椎骨		破片	1	0.00	○
						コイ類(ウグイ?)	尾椎		破損	1	0.00	○

No.	サンプル 番号	遺構/ 発掘区	層位	採取年月日	骨片 (g)	分類群	部位	左右	部分	数量	重量 (g)	被熱
						魚類	前上顎骨/歯骨		破片	1	0.00	○
							椎骨		破片	1	0.00	○
							鱭棘		破片	11	0.07	○
						海獣類?	不明		破片	1	0.02	○
						不明	不明		破片		0.21	○
11	39-10	CP188	F1	2008/6/24	<0.0	鳥類	四肢骨		破片	1	0.00	○
						不明	不明		破片	2	0.02	○
12	41-12	CF133	焼土	2008/7/15	0.1	サケ・マス類	椎骨		破片	3	0.01	○
						コイ類?	椎骨		破片	1	0.00	○
						魚類	鱭棘		破片	4	0.01	○
						不明	不明		破片		0.10	○
13	42-13	CF134	焼土	2008/7/15	<0.0	コイ類(ウグイ?)	尾椎		破片	2	0.00	○
						魚類	椎骨		破片	2	0.00	○
							鱭棘		破片	3	0.02	○
						不明	不明		破片		0.04	○
14	45-16	CH63	炉跡	2008/7/30	0.8	サケ・マス類	椎骨		破片	15	0.03	○
						サケ・マス類等	歯		破片	2	0.01	○
						魚類	椎骨		破片	5	0.02	○
							鱭棘		破片	24	0.12	○
						鳥類	四肢骨		破片	2	0.02	○
						鳥類/小型獣類	指骨		近位端欠	1	0.01	○
						獣類	不明		破片	1	0.01	○
						不明	不明		破片		0.66	○
15	46-17	CH63	炉跡	2008/8/6	0.6	カタクチイワシ	腹椎		破損	1	0.00	○
						サケ・マス類	椎骨		破片	10	0.02	○
						魚類	椎骨		破片	2	0.00	○
							鱭棘		破片	20	0.06	○
						不明	不明		破片		0.53	○
16	51-22	CH80	CF1	2008/8/21	<0.0	サケ・マス類	椎骨		破片	6	0.01	○
						魚類	鱭棘		破片	4	0.02	○
						鳥類	四肢骨		破片	2	0.03	○
						不明	不明		破片		0.10	○
17	56-27	CH80	HF1	2008/8/25	0.3	サケ・マス類	椎骨		破片	3	0.01	○
						魚類	鱭棘		破片	6	0.02	○
						獣類	不明		破片	5	0.12	○
						不明	不明		破片		0.10	○
18	62-33	CF161	焼土	2008/9/4	0.6	サケ・マス類	椎骨		破片	10	0.04	○
						魚類	前上顎骨?		破片	1	0.02	○
							椎骨		破片	4	0.03	○
							鱭棘		破片	6	0.02	○
						鳥類	腕骨		遠位端	1	0.02	○
							手根中手骨	右	近位端	1	0.01	○
							足根中足骨?		遠位端?	1	0.00	○
							基節骨		近位端欠	1	0.00	○
									両端欠	1	0.01	○
							中節骨		ほぼ完存	2	0.01	○
									近位端	1	0.00	○
							基節骨/中節骨		遠位端	1	0.00	○
							末節骨		ほぼ完存	1	0.00	○
									遠位端欠	2	0.01	○
							四肢骨		破片	4	0.03	○
						不明	不明		破片		0.40	○
19	63-34	CH71	HF1	2008/9/22	<0.0	サケ・マス類	椎骨		破片	3	0.01	○
						魚類	鱭棘		破片	4	0.01	○
						鳥類	指骨		近位端	1	0.01	○
						不明	不明		破片		0.04	○
20	70-	CH15	覆土2	2007/7/13	0.3	鳥類	四肢骨		破片	4	0.13	○
							不明		破片	1	0.03	○
						不明	不明		破片		0.06	○
21	71-	CH18	HP5覆土1	2007/9/25	2	鳥類	脛骨?		遠位端?	1	0.04	○
							四肢骨		破片	13	0.46	○

No.	サンプル 番号	遺構/ 発掘区	層位	採取年月日	骨片 (g)	分類群	部位	左右	部分	数量	重量 (g)	被熱
						不明	不明		破片		0.73	○
						礫				1	0.12	○
						残渣					0.57	○
22	73-	CF146	焼土	2008/7/18	11.9	獣類	不明		破片	30	5.43	○
						不明	不明		破片		4.20	○
						残渣					2.23	○
23	74-	CH90	覆土2	2008/9/24	10.4	海獣類?	不明		破片	4	10.20	×

〈カレイ類?〉

カレイ類の可能性のある尾椎が検出される。

〈魚類〉

前上顎骨の可能性のある破片、前上顎骨/歯骨、腹椎、椎骨片、副蝶形骨、終尾椎、鱭棘等などが検出される。

〈鳥類〉

橈骨、左手根中手骨、脛骨、足根中足骨の可能性のある破片、基節骨、中節骨、末節骨などが検出される。CF161 (No.18) で多く検出される。この他、鳥類四肢骨の可能性のある破片、鳥類/小型獣類の肋骨・四肢骨・指骨などが確認される。

〈哺乳類〉

種類、部位ともに不明な試料が多いが、肋骨・四肢骨・指趾骨の可能性のある破片などが確認される。また、FH29 (No.10) とCH90 (No.23) で海獣類の可能性のある破片が検出される。FH29 (No.29) は、7.3×2.6mmを計る小片である。CH90 (No.23) は、焼けてない大型の破片である。一部接合する。切痕ないし齧り痕など骨体に傷がみられるが詳細不明である。

4. 考察

今回出土した種類を見る限り、当時、近海沿岸部だけでなく、産卵期に河川を遡上したサケ・マス類を中心として漁獲した際に、淡水性のウグイ類などを含むコイ科なども漁獲されたと思われる。また、漁労活動は、河川だけでなく、近隣海域でも行われ、外洋性の回遊魚（ニシン類、カタクチイワシ）、沿岸浅海の砂泥～砂礫底に棲息する種類（カレイ科?）などが得られる近海での漁労が推定される。なお、ニシン類、カタクチイワシなど小型の魚種が検出されていることから、網を使った漁労活動も行われていたと考えられる。

また、鳥類では、種類までは明らかにできなかったが、手根中手骨、脛骨、足根中足骨、基節骨、末節骨、指骨などの部位が確認される。被熱による変形・収縮が生じているが、その点を考慮しても小型の鳥類と思われる。獣類では、海獣類と獣類が確認されたが、数量的には少ない。

以上のことから、本遺跡では、沿岸部や河川を遡上するサケ属をはじめとして、後背地に棲息する獣類や飛来する鳥類を中心とした狩猟活動が行われていたと考えられる。ところで、隣接する館野遺跡では、本遺跡よりも数多くの種類が確認されている。また、本遺跡B地区の縄文時代後期前葉の焼土遺構と比較すると、微細な焼骨が出土する点で類似しているが、多くの種類を明らかにできた点でB地区と異なる。館野遺跡、館野2遺跡B地区とも隣接し、しかもほぼ同時期であることから、漁猟・狩猟活動にそれほど大きな差が生じていたとは考えにくい。C地区内でも骨片数が多いほど種類・部位を明らかにできるものが多い傾向があることを考えると、このような違いは骨の残存量の差に由来

するとみられる。この骨の残存量の違いは、人間の生業活動と関連している可能性があり、興味深い点であるが、現時点でその要因を断定するにはいたらず、今後の検討課題として残される。

一方、上磯町の続縄文時代の茂別遺跡で行われた調査によると多様な魚種が検出されており（金子,2001）、やはり様々な漁場で活動していたと考えられる。おそらくは、函館湾沿岸部では同様なことが想定され、今後も資料を蓄積することでより詳しく当時の生業活動に迫ることができるだろう。

引用文献

金子 浩昌,2001,茂別遺跡出土の動物遺体.財団法人北海道埋蔵文化財センター調査年報13,85-104.

図版1 出土骨



- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. ニシン類腹椎 (No. 6;CH9) | 2. カタクチイワシ (No. 15;CH63) |
| 3. コイ科尾椎 (No. 6;CH9) | 4. サケ・マス類椎骨 (No. 6;CH9) |
| 5. サケ・マス類等歯 (No. 14;CH63) | 6. カレイ類?尾椎 (No. 6;CH9) |
| 7. 魚類前上顎骨/歯骨 (No. 10;CH29) | 8. 魚類前上顎骨? (No. 18;CF161) |
| 9. 魚類副蝶形骨 (No. 6;CH9) | 10. 魚骨腹椎 (No. 9;CF9) |
| 11. 魚類終尾椎 (No. 6;CH9) | 12. 魚類鱭棘 (No. 9;CH17) |
| 13. 鳥類橈骨 (No. 18;CF161) | 14. 鳥類右手根中手骨 (No. 18;CF161) |
| 15. 鳥類脛骨 (No. 1;CH2) | 16. 鳥類四肢骨 (No. 6;CH9) |
| 17. 鳥類基節骨 (No. 18;CF161) | 18. 鳥類中節骨 (No. 18;CF161) |
| 19. 鳥類末節骨 (No. 18;CF161) | 20. 鳥類/小型獣類肋骨 (No. 2;CF21) |
| 21. 鳥類/小型獣類指骨 (No. 14;CH63) | 22. 鳥類/小型獣類指骨? (No. 2;CF21) |
| 23. 海獣類? (No. 10;CH29) | 24. 海獣類? (No. 23;CH90) |
| 25. 海獣類? (No. 23;CH90) | |

V章 総括

館野2遺跡のランドスケープ

館野2遺跡の立地が海拔50m以上の段丘上で、東側は間近に崖が迫っており視界を遮るものが少ない状態で海（函館湾）や函館山が望めたものと考えられ、この景観は縄文時代中期に於いてもそう大きくは変わらなかったと考えられる。

遺跡から眺めると海に浮かぶ島のようにも見える函館山は、「世界の再生の起点」とされる冬至に山頂付近から太陽がのぼる特別な山であったと考えられる。縄文中期前半～後半期の居住地としてこの遺跡が選定されたのは、その景観が所謂「縄文ランドスケープ」として重視されたからではないだろうか。

なお、遺跡の中央付近の東西に走る地滑り起源の地割れの時期は、縄文中期前半期の小型住居跡（CH-28）を分断しその後も付近に中期後半の住居跡などが作られていることから、地割れが生じたのは遺跡が営まれなくなった縄文後期以降と考えられる。

集落（図V-1）

中期前半の円筒上層b式土器期の集落が検出されたことが当遺跡の最大の特徴である。

集落は大きく中期前半（Ⅲ群a類土器）と後半（Ⅲ群b類土器）のものに分けられる。

中期前半期（円筒上層b式～見晴町式）の集落は図示した「中央広場」的な遺構の少ない空間を取り巻くように検出されている（図V-1）。中央広場から函館山を望む「セントラルライン」よりも南側（南ブロック）では円筒上層b式を含む比較的古い時期の住居跡が多く検出されており起源的な場所とも言える。これらに特徴的なのは、竪穴と竪穴の間隔が狭く、列をなすような配置が窺えることや竪穴長軸の方向がおおよそ函館山の方向を向いていることである（口絵1）。上述の「ランドスケープ」を特別意識したものと考えられる。これと比較して北ブロックの住居跡は比較的新しいとされる見晴町式のものなどが多い。竪穴と竪穴の間隔は広く、南ブロックほどの意図的な配置はないように思われる。

南ブロックの各竪穴住居跡はあたかも舟を連ねた様にも見え、南ブロックを構成する竪穴住居跡の関係性の強さを感じさせる。冬至の頃、函館山からのぼる日の出に向かってすすむ舟の群といった様相は神話的イメージが再現あるいは投射されているのかもしれない。

中期後半の集落は主にセントラルラインよりも北側（北ブロック）から検出されている。さらにMのグリッドライン付近より上位では中期後半期の榎林式や大安在B式、ノダップⅡ式（大木9式）の住居跡が、下位では煉瓦台式（大木10式古手）が検出される傾向にある。

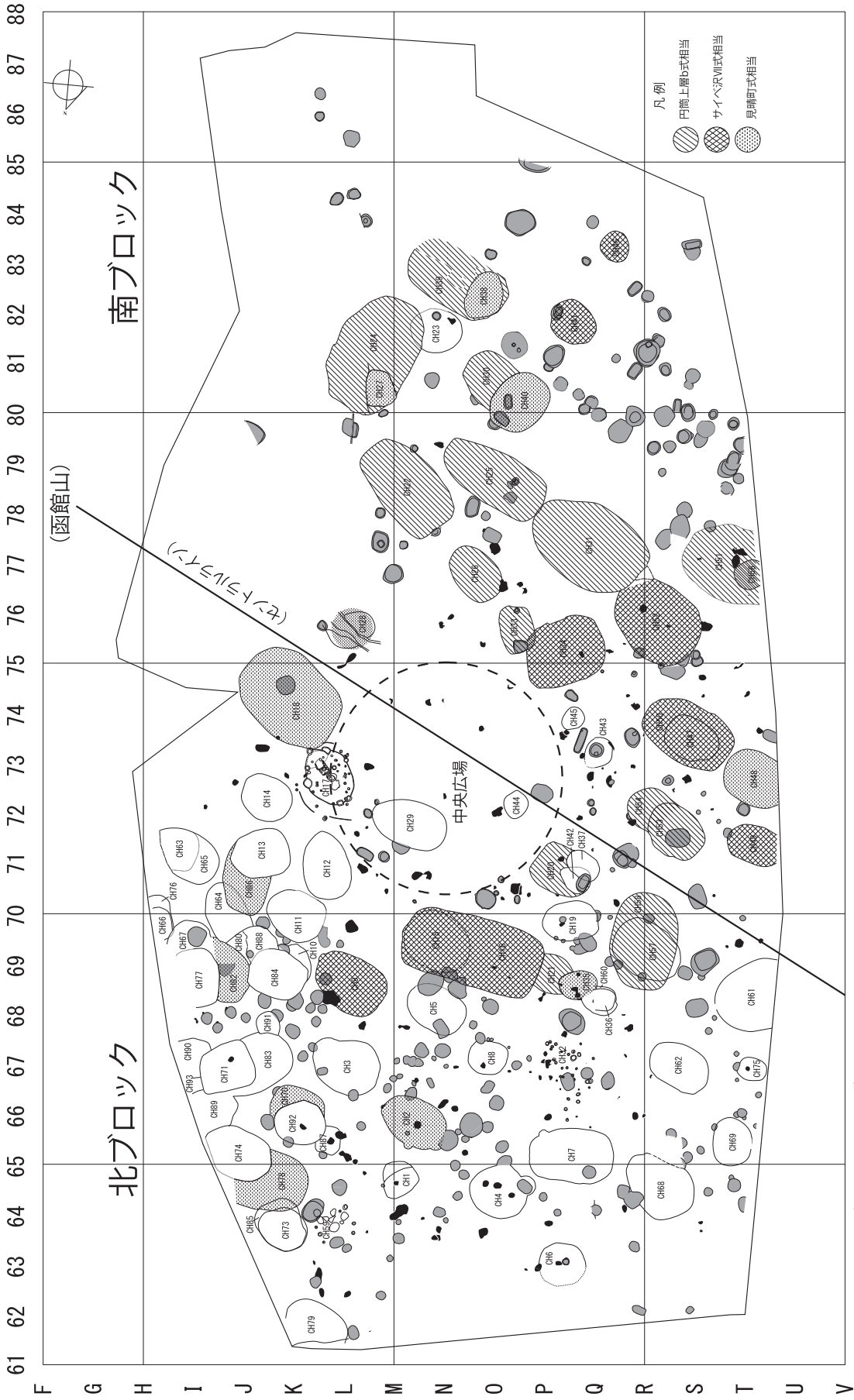
これらの竪穴長軸の方向は、函館山方向（おおよそ南東で冬至に太陽が昇る）の他に、東方向（春分に恵山頂上付近から太陽が昇る）や、おおよそ南方向（本州島の恐山や八甲田山、青森県三内丸山遺跡などが存在する）などのものがある。

住居跡

縄文時代中期をほぼ網羅する竪穴住居跡が検出されている。各住居跡のおおよその時期は以下の通りである。

円筒上層b式相当：CH-20～22、CH-24～26、CH-30、CH-31、CH-33、CH-39、CH-51、CH-53、
CH-54、CH-56、CH-58

※円筒上層b式と複数の土器型式を伴うものはここに含めている。



図V-1 縄文時代中期前半（円筒上層b式・サイベ沢Ⅷ式・見晴町式）遺構配置図

円筒上層b式期の住居跡は先述の南ブロックを形成している。さらにグリッドのPラインを挟んだ東西で様相が分かれる。東側では竪穴平面が隅丸長方形や舟形のものがあり時期的にも円筒上層b式土器の古手が伴う傾向がある。西側では竪穴平面が楕円形で円筒上層b式土器意外にサイベ沢Ⅶ式などが供伴するものもある。いずれも所謂「中央ピット」を有し、地床炉や4～6の支柱穴、周溝を備えている。炭素年代測定ではCH-22(4,500±30BP)、CH-26(4,570±30BP)、CH-30(4,560±30BP)、CH-31(4,470～4,570±30BP)の値が得られている(第IV章4節)。以下の住居跡からは円筒上層b式と供に以下の土器が供伴している。

- CH-20：円筒上層b式+円筒上層c式
- CH-22：円筒上層b式+見晴町式
- CH-26：円筒上層b式+円筒上層c式+サイベ沢Ⅶ式
- CH-30：円筒上層b式+円筒上層c式+サイベ沢Ⅶ式
- CH-31：円筒上層b式+円筒上層c式+サイベ沢Ⅶ式
- CH-33：円筒上層c式
- CH-39：円筒上層b式+円筒上層c式
- CH-51：円筒上層b式+円筒上層c式
- CH-54：円筒上層b式+円筒上層c式+サイベ沢Ⅶ式

サイベ沢Ⅶ式相当：CH-9、CH-16、CH-34、CH-41、CH-46、CH-47、CH-49、CH-50、CH-52

見晴町式相当：CH-2、CH-18、CH-27、CH-28、CH-34、CH-35、CH-38、CH-40、CH-48、
CH-70、CH-78、CH-82、CH-86

榎林式相当：CH-75、CH-84、CH-85、CH-89、CH-90

大安在B式相当：CH-3、CH-4、CH-8、CH-11～14、CH-19、CH-29、CH-36、CH-43、CH-44、
CH-59、CH-64、CH-66、CH-71、CH-79、CH-83、CH-92

ノダツプⅡ式相当：CH-3(上)、CH-5、CH-74(古)、CH-77、CH-80、CH-88

煉瓦台式相当：CH-2(上)、CH-4(上)、CH-6、CH-17、CH-32、CH-57、CH-61、CH-62、
CH-68、CH-69、CH-73、CH-74(新)

住居跡の炉跡

炉跡は地床炉、石囲い炉、土器囲い炉、埋甕炉が検出されている。縄文中期前半の円筒上層b式～見晴町式の炉跡は全て地床炉である。石囲い炉は縄文中期後半の榎林式相当で出現し大安在B式以降は大半が石囲い炉となる。平面は長方形か方形が多く、大安在B式とノダツプⅡ式では炉石に粒の揃った小型の円礫が使われている。煉瓦台では形態の整っていない大型礫が使われる。

土器囲い炉は大安在B式のCH-36とCH-92で検出されている。

埋甕炉はCH-16、CH-53、CH-68、CH-79、CH-89・90で検出されている。

焼失家屋

確実なものはCH-12、CH-50・51、CH-83、CH-86の4軒である。サイベ沢Ⅶ式～大安在B式に集中している。

炉跡付近の土壌

ノダツプⅡ式、煉瓦台式の住居跡には、炉跡の下位や炉跡に隣接して土壌が設けられるものが多い。土壌は遺物と共に埋め戻されている。

竪穴式住居跡の配置パターン

館野2遺跡で調査された縄文時代中期の竪穴住居跡と他の竪穴住居跡の位置関係に注目すると1～4のパターンが認められる。

1パターン：竪穴の直ぐ後部に長軸を同じくしながら直線的に連ねる配置パターンである。竪穴同士の時期は比較的近く、重なりは無いが極一部に限られ。これは先に触れたが南ブロックで見られるもので、CH-25・CH-31・CH-52が典型的である。CH-22・CH-26・CH-33やCH-50・CH-48もこのパターンと考えられる。中期前半円筒上層b式の竪穴を始点とするもので、中期後半の竪穴群には見られない。

2パターン：竪穴の後半部に長軸を+90°振った「⊥」状に竪穴住居を重複させる配置パターンである。重複する竪穴同士の床面は基本同じ高さを保つものが大半を占める。時期が離れた竪穴との重複の場合、床面の高さが異なるものが見られるが例外的と言って良いだろう。1の配置パターン同様中期前半円筒上層b式の竪穴を始点とする。サイベ沢Ⅶ式・見晴町式の時期の竪穴住居跡が重複し、典型例はCH-39→CH-38、CH-30→CH-40である。CH-7、53もその可能性がある。これと同じ配置パターンは「知内町森越遺跡」7号住居址→6号住居址などでも見られる。重複する竪穴が中期後半の大安在B式・ノダツプⅡ式の場合には長軸方向が一定していない場合が多く、配置の規則性が乱れる傾向が窺える。CH-57→CH-58、CH-70→CH-92が相当する。CH-54・CH-53のように竪穴の後部に長軸を同じくしながら半分ほどを重複させるのもこのパターンの変形と考えられる。

3パターン：竪穴と竪穴の一部を重複させるパターンである。重複の範囲や位置に規則性の様なものが認めがたく、更に複数の竪穴住居跡とも重複するため、非常に乱雑な印象が否めない。先述した北ブロックの東側で密集して検出された見晴町式、榎林式相当、大安在B式、ノダツプⅡ式の竪穴住居跡に多い。

4パターン：竪穴の真上に重複させるパターンである。中期前半期CH-47→CH-50もあるが、多いのは後半器CH-2とその上位の生活面やCH-4とその上位の生活面などのような上位に配置されるのがノダツプⅡ式で下位はそれ以前の古い竪穴となる場合である。

各パターンにそれぞれ毎の意味があると考えられるが、当遺跡では時間的には1→4に向かってパターンが変化したことが読み取れる。これは時間を経る毎に本来の慣習の意図が徐々に失われていき、規律や秩序が乱れながら変化していったためではないだろうか。

過去に存在していた構築物の痕跡や何らかの存在の気配などへ向けたリスペクトのような感情が背景にあるのかもしれない。また、このような背景は竪穴住居跡同士に限ったことではなく、竪穴住居跡と土壇、土壇と土壇にも窺えることからこのようなパターンのアナロジーは文化全般に浸透していた可能性がある。

土壇

土壇群は大きく見てこれらの集落を取り巻くような位置に設けられているようだ。中型規模のもの多くは平面が円形で断面がフラスコ状をなすものが多い。覆土上位に復元可能なⅢ群a類土器や大型土器を遺棄するものやローム質土など色調や質の異なる土壇で上位を埋めているものも少なくない。

土壇墓：人骨が検出された土壇はなかったが、形状や覆土、遺物などから墓の可能性のあるものを以下に記す。まずは中央広場（図V-1）の西側で検出された平面が不整の隅丸長方形を呈する大型の土壇群である。CP-181、185、189、201、207、220は縄文時代中期前半期の土壇墓の可能性が高い。平面が円形を呈する大型の土壇CP-12、14も覆土が埋め戻されていることからその可能性がある。こ

れ以外では住居跡と重複する比較的大型の土壇や平面が長方形の土壇に関してもその可能性を考慮する必要がある。

大型フラスコ状ピット：CP-77、CP-231、CP-244、CP-264が検出されている。

土器

円筒上層b式土器

円筒上層b式は特殊な縄の馬蹄形圧痕文と複数の長い捺糸を並べて同時に押捺した捺糸文などをメルクマールにした土器群であるが、当遺跡でのあり方には少なくとも3段階の変化が認められる。

円筒上層b式（古手）：突起部や肥厚した口唇部には捺糸圧痕文が密に施されている。器壁は厚く口縁の文様帯は比較的狭い。3～4列の捺糸文の施文が優位で口唇部や粘土紐の貼付上や器面に重用されており、b式の特徴である馬蹄形圧痕文の施文はこの段階ではやや少ない。粘土紐の貼付は太く器面と一体化した密着度の高いもので縦や横といった比較的単純な施され方が主体である。粘土紐に施される捺糸文も細く緻密である。CH-39から出土しており、刺突文の施される円筒上層c式とも供伴している。

円筒上層b式（中手）：口唇部は肥厚が控えめになり、そこに斜目や鋸歯状の粘土紐の貼付や3列の捺糸文が多く施されるようになる。器壁はやや薄くなる。器面と一体化した粘土紐の貼付は僅かに細目のものになるが、広がった口縁部文様帯に斜めや曲線など複雑な構成で多用される。粘土紐上に施される捺糸文は細いが粗密の傾向が見られる。3～4列の捺糸文は依然と多用されるが馬蹄形圧痕文もそれと同じかそれ以上に多用され、粘土紐の貼付による区画内を充填するように施されている。一部土器には文様帯に接して胴部地紋の縄文の上に粘土紐を貼付したものも現れる。口縁部の内外に「つ」状あるいは逆「つ」状の粘土紐の貼付を有する平縁あるいは突起の低い深鉢が出現する。

円筒上層b式（新手）：口唇部の肥厚がより少なくなり、施される粘土紐は細く直線的なものが多くなり、口唇部にも馬蹄形圧痕文が施されるようになる。粘土紐の貼付は細目で器面との一体感は失われ剥落も多い。粘土紐に施される捺糸文は太く、斜行あるいは粘土紐に沿うように施される傾向がでてくる。また粘土紐の貼付が無文の場合もある。全体的には減少し失われるものもある。馬蹄形圧痕文は比較的優位であるが全体的には粗密となる。3～4列の捺糸文の施文頻度は大幅に少なくなり、馬蹄形圧痕文と3～4列の捺糸文はどちらか一方になる場合も散見される。文様帯は狭くなり、地紋の縄文が優位となる。

北海道では以前から円筒上層式土器とサイベ沢Ⅶ式などの供伴例が報告されている。当遺跡内でも先述したように円筒上層b式の堅穴住居跡からc式土器が供伴しており、それらと矛盾しない。また、円筒上層b式土器の各段階に対応する馬蹄形圧痕文の代わりに刺突文が施される所謂「円筒上層c式土器」が存在する。サイベ沢Ⅶ式に於いても中手と新手に相当するものがあると考えられる。

円筒上層b式土器に見られる刺突文原体について

当遺跡の円筒上層b式併行の円筒上層c式土器に施される刺突文原体には、角棒や管状、複雑な形状を有する刺突文が観察される。これらの原体は鳥管骨の断面や小動物の四肢骨の骨端のような施文具が使われたと考えられるものが多い。同時期の北海道中央部（道央部）には円筒土器形の流れを汲む土器群があり、それらに施される「押引文」には骨を使った施文原体が使用されている。当遺跡の円筒上層b式併行の土器に施される連続する刺突文は「押引文」にも似たところが認められることから関連する可能性がある。道央部土器群の影響があったのかもしれない。

滑石土器

土器胎土中に滑石を混入する縄文土器で、重量が軽く独特の質感を有し、触れた指の感触がスベスベするなどの特徴を有する。

遺跡からは、円筒上層b式（少）・サイベ沢Ⅶa式（少）、見晴町式（多）・大安在B式（多）・ノダップⅡ式（少）、榎林式、大木9式相当に混在して出土している。多いのは見晴町式～大安在B式の時期で、他は比較的少ない。道内では今回初めて円筒上層b式にもあることが確認された（CH-52、図Ⅱ-270-2）。先の分類では円筒上層b式新手に相当する。道央では縄文時代前期後半と中期後半、本州の関東では中期後半、九州では縄文時代前期の類例が知られている。

沈線文系土器群

線描画を持つ土器：CH-22-2（図Ⅱ107）から沈線で物語性の文様が描かれた小型土器が出土している。太陽、樹木、草本類、人を思わせる文様が施されている。

大安在B式～ノダップⅡ式土器

大安在B式～ノダップⅡ式土器の過渡期的な土器が比較的多く出土している（例えばCH-63～66・77など）。大木9式土器と共に流れを追うことができる。また、ノダップⅡ式土器の良好な資料が出土している（CH-77-1など）。

煉瓦台式土器

CH-62からは大木10式土器と共に出土している。今回、煉瓦台式とした土器は縄文時代後期初頭天佑寺式を含んでいる可能性がある。

石器

多かったのは大型のポイント類、スクレイパー、たたき石、北海道式石冠、扁平打製石器、台石・石皿、礫類である。

スクレイパー（収穫具）

Aタイプ光沢のあるスクレイパーが大量に出土している。特徴は包含層の石器のスクレイパーで記した。中期前半～後半のスクレイパー、Rフレイク、Uフレイクの多くを占めており、無加工の剥片にもAタイプ光沢が認められる。収穫の対象となる稲科植物は恐らくイヌビエの類と考えられるが今回、炭化種子の検出は見えていない。すり石的な機能を有する北海道式石冠や扁平打製石器、台石・石皿の類も多く出土していることから紛状に加工した可能性もある。植物遺存体はクリやクルミが多く見つかっている。

土製品

シャチ形土製品

シャチ形土製品（CH-31-101）が出土している。縄文時代中期前半円筒上層b式～サイベ沢Ⅶ式土器の時期のものである。イルカ頭蓋がCH-12床面から、海獣骨がCH-90覆土2層から出土している。両方とも縄文時代中期後半、大安在B式の時期と考えられる。

道南の津軽海峡に近い地域では、縄文時代中期前半に海獣を模した土製品が作られており、中期後半には海獣類の動物遺存体の検出例が増えている。このことは海獣類に対する継続的な流れとも捕らえられるが、中期前半の土偶が後半になって急激に少なくなることを考慮するなら変化として捕らえる必要もある。

土偶

CH-25-28、CH-31-100、CH-59-89（環状の土偶、サイベ沢遺跡で類例有り）、包含層土製品-1～3が出土している。全て縄文時代中期前半、円筒上層b式～サイベ沢Ⅶ式土器ころのものと考えられる。包含層土製品-3だけが完全体で出土している。CH-59-89は非常に特徴的な環状の土偶でサイベ沢遺跡における類例がある。

石製品

石棒

CH-2-65、CH-4-65、CH-9-37、CH-12-32、CH-32-10、CH-43-11、CH-52-60、CH-57-28、CH-62-31、CH-71-66・67、CH-92-46、CP-65-13、CP-125、CP-163-9、包含層石製品-1～4が出土した。

石冠様石製品（烏帽子形石製品）

CH-16-89・90、CH-24-29・30（未？）、CH-25-30、CH-43-12、CH-58-11、包含層石製品-23・24が出土しており、非常に点数が多い。これら以外に注目したいのはCH-39-36、CH-50-51、CP-80-7で、北海道式石冠の特徴を有するが継続して加工が施され、石冠様石製品に似た形状へ変わってきている。再利用ではなく北海道式石冠→石冠様石製品への流れ（変態）が考えられる。包含層石器-102も未製品の可能性がある。

側縁有溝石器

CH-9-38が出土している。縄文時代中期前半の時期である。

岩偶

CH-22-68、CH-30-75が出土している。いずれも住居の床面からの出土である。

石剣

CH-50-39、CH-58-13、CH-77-65、包含層石製品-5～8が出土している。CH-58-13が完全品で出土している。それ以外は破損している。

動物遺存体

イルカ頭蓋CH-29、90などからも海獣の頭蓋の一部が出土している。

植物遺存体

栽培種のエゴマ1個が焼土CF-21から検出されている。CF-21はCH-4の覆土上位に作られた石囲い炉で、縄文時代中期末葉～後期初頭の煉瓦台式土器の時期の住居跡に伴う炉跡である。コンタミの可能性はほぼ無いと考えられる。エゴマは果実が食用や薬用、油料に利用される植物だが、多く含まれている油脂分は漆を溶くのに用いられる。本州では中部地方の縄文中期の遺跡から見つかったが、北海道の遺跡での類例は縄文時代を通じても少ないと思われる。漆製品や漆が塗布される器物が出土する縄文時代後期の直前に栽培種のエゴマが出土するのは興味深い。

参考文献

- 大田原 潤 2000「三内丸山遺跡の6本柱巨木柱列と二至二分」『縄文時代11』縄文時代文化研究会
 小林 達雄 2002「縄文ランドスケープ 自然的秩序からの独立と縄文的世界の形成」『縄文ランドスケープ』NPO法人ジョーモネスクジャパン機構
 松谷 暁子 1983「エゴマ・シソ」『縄文文化の研究2 生業』雄山閣出版株式会社

表VI-1 検出遺構一覧

遺構名	グリット	上端		下端		深さ	長軸方向		
		長軸	短軸	長軸	短軸				
住居跡									
CH-1	L-64・65,M-64・65	2.91	2.78	2.51	2.38	0.32	N-	59.5°	E
CH-2	L-65・66,M-65・66,N-65	5.41	3.72	4.98	3.40	0.61	N-	60.7°	W
CH-3	K-66・67,L-66・67	5.83	4.57	5.38	4.23	0.53	N-	55.3°	W
CH-4	N-63・64,O-63・64・65	4.63	4.37	4.20	3.92	0.43	N-	82.0°	W
CH-5	M-67・68,N-67・68	4.88	3.37	4.55	2.98	0.34	N-	57.0°	W
CH-6	O-62・63,P-62・63	-	-	3.75	(1.72)	0.11	N-	90.0°	-
CH-7	O-64・65,P-64・65,Q-64・65	6.71	4.39	6.60	4.15	0.59	N-	88.5°	W
CH-8	N-66・67,O-66・67	3.15	2.66	2.80	2.42	0.18	N-	90.0°	-
CH-9	K-68・69,L-67~69	5.93	4.34	5.52	3.91	0.58	N-	57.0°	W
CH-10	J-69,K-68・69	3.14	(0.91)	2.63	(0.80)	0.45	N-	21.2°	W
CH-11	J-69・70,K-69・70	4.75	3.87	4.57	3.66	0.39	N-	51.4°	W
CH-12	K-70・71,L-70・71	5.46	3.78	5.02	3.32	0.57	N-	8.0°	W
CH-13	I-70・71,J-70・71	4.75	3.80	4.37	3.45	0.66	N-	78.6°	E
CH-14	I-72, J-71・72	4.22	3.57	4.03	3.15	0.51	N-	49.2°	W
CH-15	M-68~70,N-68~70	-	-	5.50	4.45	0.43	N-	61.5°	W
CH-16	M-68~70,N-68~70,O-68・69	11.33	5.51	10.86	5.27	0.47	N-	72.1°	W
CH-17	K-72・73,L-72・73	4.90	3.66	4.66	3.58	0.18	N-	32.5°	W
CH-18	I-74,J-73~75,K-73~75	8.69	6.26	8.49	5.93	0.54	N-	45.9°	W
CH-19	O-69,P-69・70,Q-69・70	4.45	3.08	4.03	2.58	0.45	N-	78.9°	E
CH-20	O-70・71,P-70・71	4.77	3.79	4.64	3.50	0.19	N-	56.1°	W
CH-21	O-68・69,P-68・69	(1.85)	3.09	(1.85)	2.74	0.21	N-	63.6°	W
CH-22	L-77~79,M-77~79,N-77・78	8.33	4.88	8.20	4.70	0.67	N-	40.0°	W
CH-23	M-81・82,N-81・82	(3.57)	3.46	(3.47)	3.33	0.21	N-	71.5°	W
CH-24	K-80・81,L-79~82,M-80~82	9.52	6.39	9.40	6.32	0.26	N-	33.7°	E
CH-25	N-78・79,O-77~79,P-78	8.92	4.19	8.62	3.80	0.56	N-	59.3°	W
CH-26	N-76・77,O-76	4.84	3.35	4.53	3.13	0.32	N-	43.2°	W
CH-27	L-80,M-80	2.84	(2.28)	2.74	(2.23)	0.37	N-	0.0°	-
CH-28	K-75,L-75・76	3.74	2.68	3.56	2.51	0.20	N-	68.1°	E
CH-29	L-71・72,M-71・72,N-71	6.14	3.72	5.86	3.45	0.43	N-	71.5°	W
CH-30	N-80・81,O-79~81	(3.22)	4.03	(2.93)	3.72	0.43	N-	48.2°	W
CH-31	O-77・78,P-76~78,Q-76~78,R-76-77	9.50	6.38	9.32	5.75	0.52	N-	54.9°	W
CH-32	P-65~67	-	-	-	-	-	N-	-	-
CH-33	O-75・76	3.73	2.67	3.50	2.40	0.53	N-	15.5°	W
CH-34	O-74・75,P-74・75,Q-74・75	6.34	5.02	5.90	4.78	0.45	N-	76.0°	E
CH-35	P-68,Q-68	3.06	2.32	2.76	2.09	0.21	N-	83.1°	W
CH-36	P-68,Q-67・68	2.88	2.12	2.57	1.94	0.18	N-	79.7°	W
CH-37	P-70・71,Q-70・71	(2.84)	1.93	(2.76)	1.85	0.25	N-	51.6°	W
CH-38	N-81・82,O-81・82	(4.03)	(2.86)	3.85	2.74	0.41	N-	30.6°	E
CH-39	M-82・83,N-81~83,O-81・82	8.35	4.30	8.14	3.96	0.38	N-	60.1°	W
CH-40	N-79・80,O-79・80,P-80	5.16	4.08	4.87	3.85	0.50	N-	51.3°	E
CH-41	P-81・82,Q-81	3.66	3.38	2.59	2.36	0.86	N-	77.1°	W
CH-42	P-70	-	-	2.48	(2.08)	-	N-	61.3°	W
CH-43	P-72・73,Q-72・73	(2.65)	2.18	2.21	1.91	0.32	N-	34.1°	E
CH-44	O-71・72	2.27	1.96	2.16	1.84	0.20	N-	9.0°	E
CH-45	P-73・74	1.94	1.61	1.84	1.50	0.10	N-	45.0°	E
CH-46	Q-83	2.48	2.29	2.16	2.01	0.57	N-	0.0°	-
CH-47	R-73, S-73	4.43	3.25	4.06	2.87	0.31	N-	63.8°	W
CH-48	S-72・73, T-72・73	5.35	4.25	5.05	3.85	0.58	N-	41.7°	W
CH-49	S-71, T-70・71	(4.09)	3.02	(4.00)	2.78	0.38	N-	71.6°	W
CH-50	Q-73, R-72~74, S-72~74	7.37	4.63	7.10	4.27	0.51	N-	58.7°	W
CH-51	R-76・77, S-76・77, T-76・77	(6.25)	6.15	(6.09)	5.83	0.58	N-	82.8°	W
CH-52	Q-75・76, R-74~76, S-75・76	7.48	5.80	7.15	5.37	0.49	N-	50.8°	W
CH-53	R-71・72, S-71	(4.87)	3.85	(4.63)	3.55	0.54	N-	44.7°	W
CH-54	Q-71・72, R-71・72	(4.66)	3.38	(4.58)	3.20	0.37	N-	58.5°	W
CH-56	S-76・77, T-76・77	-	-	(2.18)	2.22	0.56	N-	59.4°	E
CH-57	Q-68・69, R-68・69	5.70	4.25	5.52	4.08	0.51	N-	55.5°	W
CH-58	Q-68~70, R-68~70	7.74	5.35	7.59	5.26	0.52	N-	0.0°	-
CH-59	K-63・64, L-63・64	-	-	-	-	-	N-	-	-
CH-60	P-68, Q-68	(1.70)	1.91	(1.38)	1.45	0.23	N-	85.9°	W

第1分冊（文章編）

遺構名	グリット	上端		下端		深さ	長軸方向		
		長軸	短軸	長軸	短軸				
CH-61	S-67・68, T-67~69	(5.07)	5.52	(4.91)	5.27	0.29	N-	73.1°	- E
CH-62	R-66・67, S-66・67	5.02	3.41	4.77	3.18	0.42	N-	62.5°	- W
CH-63・65	H-70・71, I-70・71	(5.30)	3.67	(5.08)	3.37	0.46	N-	57.3°	- W
CH-64	I-69・70, J-69・70	(4.37)	3.20	(4.14)	2.98	0.49	N-	23.0°	- W
CH-66	H-69・70	2.65	(1.26)	2.49	(1.13)	0.56	N-	20.7°	- W
CH-67	H-69,I-69	3.52	(2.36)	3.20	(2.13)	0.33	N-	74.5°	- E
CH-68	Q-64・65, R-63~65	6.12	4.61	5.35	4.15	0.70	N-	48.9°	- W
CH-69	S-64・65・T-65	3.83	3.12	3.65	2.98	0.30	N-	9.8°	- W
CH-70	J-65・66, K-66	4.35	(1.69)	3.98	(1.43)	0.59	N-	83.0°	- W
CH-71	I-66・67, J-66・67	4.38	3.70	4.18	3.56	0.56	N-	73.5°	- E
CH-73	J-63・64, K-63・64	3.98	3.26	3.81	3.07	0.29	N-	68.0°	- W
CH-74	I-64・65, J-64・65	5.71	3.86	5.47	3.60	0.58	N-	60.4°	- W
CH-75	S-66・67,T-66・67	2.26	1.83	2.03	1.68	0.41	N-	67.4°	- W
CH-76	H-70	(1.45)	(0.99)	(1.36)	(0.85)	0.41	N-	73.5°	- E
CH-77	H-68・69, I-68・69	4.66	(3.15)	4.45	(3.02)	0.48	N-	8.3°	- W
CH-78	I-64・65, J-64・65, K-64・65	(7.25)	4.92	(6.96)	4.45	0.58	N-	76.7°	- W
CH-79	J-61・62, K-61・62, L-61	5.32	(3.55)	5.18	(3.35)	0.35	N-	59.5°	- W
CH-80	I-69,J-68・69	(2.53)	(1.48)	2.45	(1.48)	0.30	N-	32.3°	- W
CH-82	I-68・69,J-68・69	(2.84)	(1.76)	(2.54)	(1.61)	0.41	N-	58.0°	- W
CH-83	I-66・67, J-66・67	6.98	4.43	6.74	3.98	0.47	N-	56.3°	- E
CH-84	J-68・69, K-68・69	(4.57)	3.83	4.54	3.51	0.53	N-	64.6°	- W
CH-85	J-63・64, K-63・64	4.47	3.65	4.22	3.53	0.32	N-	45.3°	- W
CH-86	I-70・71, J-69~71	(5.41)	3.74	(5.33)	3.45	0.49	N-	12.2°	- E
CH-87	K-65	2.17	1.98	2.01	1.80	0.25	N-	11.0°	- E
CH-88	I-69,J-69	(2.93)	(2.32)	(2.80)	(2.22)	0.41	N-	57.3°	- E
CH-89	H-66, I-65・66	(3.32)	(3.22)	(3.17)	(3.22)	0.34	N-	77.1°	- E
CH-90	H-66・67, I-66・67	(2.96)	3.18	(2.78)	2.90	0.38	N-	74.3°	- E
CH-91	J-67・68	(1.70)	1.83	(1.58)	1.65	0.13	N-	1.2°	- W
CH-92	J-65・66,K-65・66	4.16	3.56	3.88	3.31	0.63	N-	79.2°	- W
CH-93	H-66,I-66	(1.48)	(0.93)	(1.48)	(0.82)	0.24	N-	21.4°	- W
土壌									
CP-1	M-66-c	0.83	0.44	0.76	0.38	0.07	N-	25.2°	- W
CP-2	M-66-d	0.41	0.30	0.26	0.24	0.13	N-	25.1°	- W
CP-3	L-63-b・c,M-63-a・d	0.94	0.86	0.86	0.76	0.33	N-	55.0°	- W
CP-4	M-67-a	0.54	0.44	0.46	0.37	0.07	N-	45.2°	- E
CP-5	M-66・67	0.68	0.64	0.48	0.40	0.28	N-	28.6°	- E
CP-6	M-66-d,M-67-a	0.82	(0.47)	0.54	(0.40)	0.25	N-	13.4°	- E
CP-7	M-66-c・d,M-67-a・b	(0.61)	0.65	(0.56)	0.54	0.05	N-	77.0°	- W
CP-8	M-63-d	0.44	0.40	0.25	0.22	0.20	N-	49.0°	- E
CP-9	L-65-d	0.71	0.66	0.47	0.46	0.89	N-	46.0°	- W
CP-10	M-65-d	0.34	0.33	0.26	0.23	0.41	N-	54.8°	- E
CP-11	O-64-b・c・d	1.27	0.90	1.15	0.78	0.26	N-	48.3°	- W
CP-12	M-65-b・c,N-65-a・d	1.69	(1.37)	1.55	(1.27)	0.36	N-	23.3°	- E
CP-13	N-65-a・d	0.60	0.51	0.38	0.36	0.16	N-	90.0°	-
CP-14	N-65-c・d,N-66-a・b	1.92	1.82	1.62	1.67	0.43	N-	29.7°	- E
CP-15	N-65-c	0.95	0.89	0.27	0.28	0.13	N-	53.4°	- E
CP-16	L-64-c	0.28	0.24	0.19	0.16	0.13	N-	55.0°	- W
CP-17	L-66-a	(0.93)	(0.78)	0.90	0.76	0.29	N-	5.3°	- E
CP-18	O-65-a	1.08	0.89	0.83	0.98	0.39	N-	49.7°	- E
CP-19	N-66-b,O-66-a	1.11	1.16	1.24	1.13	0.59	N-	54.4°	- W
CP-20	O-64-b,P-64-a	0.69	0.63	0.61	0.54	0.16	N-	22.3°	- E
CP-21	O-64-d,O-65-a	(1.03)	(0.91)	(0.85)	0.85	0.20	N-	45.5°	- E
CP-22	L-66-b・c	0.80	0.60	0.71	0.49	0.14	N-	26.2°	- E
CP-23	M-66-a・d	(0.81)	0.85	(0.85)	0.66	0.25	N-	26.5°	- E
CP-24	L-66-c,M-66-d	0.58	0.50	0.26	0.26	0.22	N-	87.4°	- W
CP-25	M-66-d	0.50	0.39	0.22	0.20	0.20	N-	67.2°	- E
CP-26	N-64-d,N-65-a	0.76	0.67	0.84	0.79	0.35	N-	16.3°	- E
CP-27	N-64-d	0.87	0.74	0.78	0.74	0.14	N-	73.4°	- W
CP-28	N-64-a	0.75	0.65	0.64	0.54	0.17	N-	48.5°	- E
CP-29	N-67-b・c	0.87	0.81	0.92	0.77	0.24	N-	23.5°	- W
CP-30	P-63-d,P-64-a	0.58	0.55	0.45	0.36	0.18	N-	66.9°	- W

遺構名	グリット	上端		下端		深さ	長軸方向		
		長軸	短軸	長軸	短軸				
CP-31	P-62-d,P-63-a	0.56	0.52	0.44	0.42	0.28	N-	90.0°	-
CP-32	N-66-b・c,O-66-d	1.21	0.80	1.10	0.85	0.45	N-	54.5°	- E
CP-33	N-65-d	0.50	0.48	0.26	0.27	0.41	N-	77.8°	- W
CP-34	M-63-c,M-64-b,N-63-d,N-64-a	0.97	0.77	0.83	0.63	0.11	N-	70.9°	- W
CP-35	M-63-c,N-63-d	0.43	0.38	0.33	0.27	0.12	N-	23.0°	- W
CP-36	K-68-a・b	1.16	1.05	1.06	0.97	0.47	N-	10.0°	- E
CP-37	N-67-b・c	0.30	0.24	0.22	0.16	0.08	N-	49.6°	- E
CP-38	N-67-c,N-68-b,O-67,O-68-a	1.29	1.17	1.20	1.01	0.21	N-	40.3°	- W
CP-39	N-67-c	0.63	0.58	0.40	0.39	0.20	N-	29.8°	- E
CP-40	N-67-b・c	0.32	0.22	0.20	0.11	0.12	N-	0.0°	-
CP-41	O-66-c・d,O-67-a・b	0.77	0.68	0.90	0.80	0.23	N-	48.5°	- E
CP-42	O-67-b	0.47	0.39	0.39	0.32	0.08	N-	0.0°	-
CP-43	M-67-a・b	1.22	1.06	1.06	0.94	0.44	N-	19.8°	- W
CP-44	M-67-b	0.40	0.34	0.25	0.21	0.08	N-	43.0°	- W
CP-45	M-67-b,N-67-a	1.26	1.12	1.22	1.05	0.15	N-	86.5°	- E
CP-46	O-67-a	0.20	0.18	0.11	0.13	0.18	N-	3.1°	- E
CP-47	M-66-c,N-66-d	0.35	0.30	0.14	0.12	0.13	N-	70.2°	- E
CP-48	M-68-a~d	2.25	1.73	2.04	1.61	0.28	N-	58.1°	- E
CP-49	K-68-c	0.96	0.95	0.84	0.83	0.07	N-	0.0°	-
CP-50	K-67・68	0.76	0.72	0.85	0.86	0.35	N-	58.4°	- W
CP-51	N-68-b	0.38	0.32	0.25	0.24	0.18	N-	68.6°	- E
CP-52	N-68-b	0.22	0.19	0.14	0.14	0.14	N-	65.0°	- E
CP-54	L-71-a・b	1.44	0.76	1.34	0.66	0.14	N-	57.3°	- W
CP-55	L-71-b	0.93	0.81	0.64	0.67	0.55	N-	46.0°	- W
CP-56	M-70-a	0.31	0.25	0.18	0.15	0.08	N-	31.9°	- W
CP-57	L-71-c・d,L-72-a・b	0.84	0.66	0.70	0.53	0.53	N-	36.7°	- W
CP-58	L-72-b	0.43	0.33	0.29	0.17	0.25	N-	0.0°	-
CP-59	N-70-b,O-70-a	1.67	1.47	1.55	1.42	0.13	N-	74.0°	- W
CP-60	N-70-b,O-70-a	0.42	0.40	0.28	0.26	0.07	N-	67.0°	- W
CP-61	K-69-b・c	0.77	(0.64)	0.82	0.71	0.25	N-	70.9°	- E
CP-62	O-70-d	0.52	0.51	0.48	0.42	0.07	N-	8.4°	- E
CP-63	O-70-a・b	0.68	0.48	0.62	0.33	0.30	N-	90.0°	-
CP-64	M-79-a	0.63	0.60	0.42	0.40	0.37	N-	47.6°	- E
CP-65	P-69-d	0.52	0.48	0.23	0.20	0.83	N-	66.0°	- E
CP-66	L-77-c,L-78-b	0.85	0.79	0.69	0.61	0.14	N-	3.6°	- E
CP-67	L-76-c,M-76-d	1.67	1.45	1.38	1.37	0.26	N-	65.9°	- E
CP-68	L-77-b・c	1.62	1.36	1.44	1.18	0.22	N-	10.9°	- E
CP-69	M-77-a	0.70	0.70	0.68	0.61	0.16	N-	42.5°	- E
CP-70	N-77-b・c,O-77-a・d	1.42	1.05	1.24	0.78	0.49	N-	63.2°	- W
CP-71	M-68-c,N-68-d	1.35	1.12	1.18	0.95	0.19	N-	64.3°	- W
CP-72	L-77-b	0.58	0.53	0.44	0.40	0.31	N-	39.0°	- W
CP-73	P-67-c・d,P-68-a・b	1.72	1.39	1.56	1.21	0.15	N-	58.3°	- E
CP-74	P-67-c・d,P-68-a・b	2.28	1.71	2.14	1.55	0.15	N-	42.2°	- W
CP-75	L-83-c・d	1.07	(0.80)	0.80	(0.67)	0.29	N-	18.6°	- W
CP-76	N-79-c,O-79-d	1.03	(0.49)	0.79	(0.35)	0.29	N-	45.7°	- E
CP-77	O-81-a~d	1.84	1.49	2.13	2.10	1.26	N-	4.0°	- E
CP-78	N-68-a・d	1.68	1.62	1.46	1.10	0.36	N-	37.1°	- E
CP-80	O-72-b・c,P-72-a・d	1.76	1.38	1.57	1.21	0.21	N-	22.9°	- E
CP-81	O-83-c・d,O-84-a・b	2.46	2.14	2.27	1.92	0.30	N-	80.9°	- W
CP-82	P-73-b・c	2.07	0.62	1.94	0.52	0.12	N-	20.3°	- E
CP-83	N-77-c,N-78-b	0.70	0.68	0.62	0.62	0.10	N-	41.8°	- E
CP-84	M-77-c	0.78	(0.48)	0.39	(0.32)	0.32	N-	53.8°	- E
CP-85	P-74-a・b	1.11	0.76	1.02	0.60	0.14	N-	48.5°	- W
CP-86	O-78-d	0.66	0.56	0.42	0.36	0.39	N-	51.0°	- E
CP-87	P-66-c	0.96	0.94	0.76	0.82	0.42	N-	54.5°	- E
CP-88	P-70-b・c	1.49	0.83	1.27	0.71	0.38	N-	23.9°	- E
CP-89a	P-70-b・c	1.26	0.64	1.04	0.43	0.56	N-	26.6°	- E
CP-89b	P-70-b・c	1.42	0.89	1.03	0.63	0.55	N-	31.6°	- E
CP-91	O-84-c,O-85-b,P-84-d	2.57	(0.65)	1.93	(0.49)	0.84	N-	74.4°	- W
CP-92	N-79-c,O-79-d,O-80-a	1.36	0.86	1.24	0.64	0.51	N-	48.8°	- W
CP-93	N-83-b,O-83-a	0.94	0.80	0.83	0.68	0.20	N-	72.3°	- W

第1分冊（文章編）

遺構名	グリット	上端		下端		深さ	長軸方向		
		長軸	短軸	長軸	短軸				
CP-94	P-80-a・d	1.07	1.05	1.11	1.05	0.46	N-	88.5°	E
CP-95	J-74-b・c,K-74-a・d	1.55	1.53	1.43	1.31	0.47	N-	22.6°	E
CP-96	O-75-a・b	1.13	1.02	1.00	0.79	0.40	N-	83.0°	E
CP-97	Q-80-d,Q-81-a・b	0.71	0.64	0.56	0.51	0.23	N-	47.2°	E
CP-98	R-80-b・c	0.72	(0.43)	0.70	(0.47)	0.20	N-	63.8°	W
CP-99	R-80-c,S-80-d	1.20	1.12	1.03	0.98	0.41	N-	42.5°	E
CP-100	Q-82-b・c	1.32	0.84	1.16	0.63	0.13	N-	43.2°	E
CP-101	Q-82-b,R-82-a	0.97	0.83	0.88	0.78	0.28	N-	66.0°	W
CP-102	R-81-c・d,R-82-a・b	1.21	0.96	0.94	0.64	0.19	N-	37.7°	W
CP-103	P-82-c,P-83-b	0.75	0.64	0.60	0.45	0.43	N-	54.1°	W
CP-104	P-83-c,Q-83-d	1.03	0.93	0.73	0.64	0.17	N-	13.4°	E
CP-105	Q-80-c,Q-81-b	1.37	0.92	1.17	0.68	0.28	N-	34.5°	E
CP-106	R-80-c・d	1.04	0.92	0.78	0.56	0.22	N-	23.4°	W
CP-107	O-80-a	1.19	0.69	0.97	0.46	0.39	N-	88.8°	E
CP-108	Q-80-c,Q-81-b,R-80-d,R-81-a	2.25	2.10	1.49	1.42	0.80	N-	6.2°	E
CP-109	P-63-c,P-64-b,Q-63-d,Q-64-a	(0.83)	0.86	(0.62)	0.60	0.59	N-	88.8°	W
CP-110	P-69-b・c,Q-69-a	(1.32)	1.13	(1.15)	0.86	0.31	N-	39.4°	W
CP-111	L-84-a	1.07	0.90	0.93	0.74	-	N-	82.6°	W
CP-112	K-79-c,L-79-d	1.35	1.23	1.14	1.06	0.52	N-	64.2°	W
CP-113	S-79-d,S-80-a	0.85	0.70	0.56	0.49	0.30	N-	22.1°	E
CP-114	R-79-c,R-80-b,S-79・80	1.39	1.14	0.96	0.88	0.73	N-	18.5°	W
CP-115	R-80-b	(1.01)	0.64	(0.94)	0.44	0.47	N-	7.4°	E
CP-116	P-66	1.35	1.02	1.10	0.86	0.16	N-	22.0°	W
CP-117	N-77-c・d,N-78-a・b	1.71	1.08	1.48	0.86	0.22	N-	16.8°	E
CP-118	P-64-c,Q-64-d	1.06	0.99	0.86	0.77	0.43	N-	65.6°	W
CP-119	M-80-b・c	1.26	1.19	1.18	1.11	0.09	N-	8.0°	W
CP-120	R-81-a	0.97	0.80	0.62	0.48	0.51	N-	50.1°	E
CP-121	K-84-b,L-84	1.22	0.92	1.08	0.78	0.23	N-	52.0°	E
CP-122	L-71-b,M-71-a	1.46	(0.69)	1.38	(0.56)	0.14	N-	69.3°	W
CP-123	P-69-b	(0.80)	0.88	(0.72)	0.73	0.19	N-	25.3°	W
CP-124	P-81-d,P-82-a	1.13	1.01	0.61	0.46	0.65	N-	36.8°	E
CP-125	R-83-b,S-83-a	1.39	1.19	1.24	1.10	0.61	N-	35.5°	W
CP-126	O-75-d,O-76-a	0.48	0.43	0.24	0.25	0.55	N-	64.2°	E
CP-127	P-80-b,Q-80-a	1.09	1.05	1.01	0.91	0.39	N-	84.9°	E
CP-128	P-80-b	0.96	0.88	0.75	0.90	0.27	N-	72.4°	W
CP-129	P-79-c,P-80-b	0.93	0.89	0.82	0.77	0.31	N-	88.6°	E
CP-130	P-79・80,Q-79・80	1.16	1.07	1.16	0.99	0.49	N-	52.5°	E
CP-131	Q-79・80,R-79	1.72	1.52	0.78	0.88	1.23	N-	36.4°	W
CP-132	K-75-c・d	0.81	0.74	0.65	0.57	0.12	N-	46.1°	W
CP-133	P-73-b,Q-73-a	1.22	1.14	0.86	0.85	0.18	N-	51.8°	E
CP-134	R-79・80	1.55	1.51	1.06	1.10	0.76	N-	32.3°	W
CP-135	O-80-c,P-80-d	0.81	(0.47)	0.70	(0.43)	0.11	N-	68.0°	W
CP-136	O-81-b,P-80-d,P-81-a	1.86	1.58	1.67	1.31	0.33	N-	43.4°	E
CP-138	N-80-b	0.87	(0.37)	0.46	(0.13)	0.25	N-	39.9°	W
CP-139	L-79-c,L-80-b	0.81	0.52	0.71	0.43	0.12	N-	63.2°	E
CP-140	R-81-a・d	1.18	(0.73)	0.75	(0.71)	0.33	N-	32.6°	W
CP-141	R-83-b,S-83-a	1.58	0.72	1.17	0.47	0.25	N-	81.8°	E
CP-142	M-81-c,M-82-b	0.70	0.64	0.54	0.50	0.12	N-	46.7°	W
CP-143	K-85-b・c,L-85-a・d	1.32	1.25	0.85	0.90	0.65	N-	78.5°	W
CP-144	K-86-a・b	0.96	0.83	0.88	0.74	0.15	N-	65.6°	E
CP-145	K-85-c・d,K-86-a・b	0.77	0.76	0.70	0.63	0.12	N-	85.7°	W
CP-146	P-69-b	(0.38)	0.37	(0.32)	0.23	-	N-	71.4°	W
CP-147	P-69-b	(0.36)	(0.46)	(0.30)	(0.40)	0.14	N-	15.8°	W
CP-148	P-69-a	(0.27)	0.32	(0.19)	0.18	0.23	N-	9.3°	E
CP-149	P-69-a・d	(0.28)	(0.29)	(0.20)	0.20	0.27	N-	15.9°	E
CP-150	P-72-b	0.58	0.57	0.43	0.41	0.23	N-	72.0°	E
CP-151	P-71-c,P-72-b,Q-71・72	0.62	0.52	0.53	0.40	0.19	N-	7.3°	E
CP-152	P-71-b,Q-71	(0.15)	0.20	(0.08)	0.16	-	N-	86.2°	W
CP-153	K-69-b	0.59	0.57	0.49	0.50	0.25	N-	53.0°	E
CP-154	R-79	0.94	0.92	0.82	0.96	0.48	N-	55.5°	E
CP-155	R-79	1.16	1.02	0.80	0.73	0.45	N-	32.4°	E

遺構名	グリット	上端		下端		深さ	長軸方向		
		長軸	短軸	長軸	短軸				
CP-156	S-79	1.40	(0.80)	0.97	(0.67)	0.48	N-	2.6°	- E
CP-157	R-78-d	0.66	0.56	0.55	0.52	0.18	N-	9.5°	- E
CP-158	R-77-c,R-78-b	1.33	1.22	1.12	1.09	0.29	N-	0.0°	-
CP-159	S-79	1.03	0.91	0.55	0.60	0.46	N-	7.7°	- E
CP-160	R-79	1.34	1.10	0.87	0.93	0.67	N-	77.0°	- E
CP-161	R-79,S-79	(1.24)	1.00	1.27	0.68	0.38	N-	26.8°	- E
CP-162	S-79	1.41	1.08	1.43	1.37	1.07	N-	45.7°	- E
CP-163	Q-63	0.91	0.78	0.91	0.74	0.27	N-	33.4°	- W
CP-164	Q-64	1.49	1.32	1.14	0.91	0.35	N-	55.5°	- E
CP-165	Q-64	1.06	0.93	1.03	0.93	0.52	N-	13.3°	- E
CP-166	Q-66	1.40	1.06	1.12	0.75	0.51	N-	16.7°	- E
CP-167	T-73	(1.06)	0.84	(0.99)	0.70	0.17	N-	68.5°	- W
CP-168	S-71	0.75	0.65	0.68	0.58	0.38	N-	4.5°	- E
CP-169	R-77-c	(1.27)	1.60	(1.27)	1.55	0.26	N-	15.5°	- E
CP-170	S-77-d	0.92	0.90	0.78	0.72	0.31	N-	80.9°	- E
CP-171	Q-73-b・c	1.57	1.20	1.35	1.03	0.36	N-	12.1°	- W
CP-172	Q-72-d	0.48	0.36	0.26	0.23	0.26	N-	60.2°	- E
CP-173	S-78	1.20	(1.01)	0.87	0.78	0.45	N-	42.9°	- W
CP-176	Q-79	(1.90)	1.71	1.36	1.14	1.07	N-	49.0°	- E
CP-177	S-78・79	1.33	1.01	1.11	0.85	0.53	N-	25.0°	- E
CP-178	S-78・79	(1.02)	1.45	(0.63)	1.27	0.23	N-	53.4°	- E
CP-179	S-78	0.90	0.83	0.79	0.75	0.30	N-	65.6°	- W
CP-180	R-77	1.70	1.23	1.27	0.94	0.35	N-	30.1°	- E
CP-181	Q-70・71	2.10	1.69	1.73	1.40	0.66	N-	50.8°	- E
CP-182	Q-69・70	0.62	(0.40)	0.42	0.38	0.21	N-	28.0°	- E
CP-183	Q-75-b,R-75	0.95	0.85	0.86	0.73	0.29	N-	60.8°	- E
CP-184	R-74・75	0.49	0.45	0.23	0.11	0.40	N-	33.8°	- E
CP-185	R-70,S-70	1.94	1.33	1.71	1.27	0.52	N-	18.6°	- W
CP-186	Q-70・71	0.72	0.67	0.45	0.38	-	N-	63.0°	- E
CP-187	Q-69・70	(0.47)	(0.46)	0.32	0.31	0.25	N-	9.5°	- E
CP-188	Q-70・71	0.91	0.85	0.62	0.46	0.73	N-	6.7°	- W
CP-189	R-68・69,S-68-d,S-69-a	2.27	1.79	2.07	1.58	0.33	N-	54.1°	- E
CP-190	Q-70・71	1.30	0.94	1.24	0.82	0.30	N-	43.7°	- W
CP-191	Q-61・62,R-62	1.10	0.61	0.96	0.50	0.32	N-	66.4°	- W
CP-192	K-67-a	0.87	0.75	0.75	0.65	0.35	N-	42.7°	- E
CP-193	R-68-c	1.20	1.01	1.30	1.09	0.55	N-	55.9°	- W
CP-194	R-74-c・d	1.97	(1.24)	1.74	(1.14)	0.28	N-	90.0°	-
CP-195	R-74・75	(1.14)	(0.48)	1.02	(0.36)	0.22	N-	48.8°	- E
CP-196	R-75-b,S-75	0.75	0.75	0.47	0.57	0.18	N-	90.0°	-
CP-197	Q-74-d	0.23	0.23	0.19	0.17	0.09	N-	55.0°	- W
CP-198	Q-74-c	0.48	0.43	0.22	0.21	0.16	N-	32.0°	- E
CP-199	R-74・75, S-74・75	0.96	0.71	0.82	0.60	0.17	N-	70.0°	- E
CP-200	S-71・72, T-71・72	1.04	1.00	0.83	0.80	0.20	N-	57.3°	- W
CP-201	R-71	1.96	1.46	1.75	1.31	0.21	N-	87.9°	- E
CP-202	Q-68-c,R-68	0.64	0.64	1.19	1.14	0.74	N-	85.0°	- E
CP-203	Q-68・69	0.77	0.76	0.56	0.48	0.30	N-	90.0°	-
CP-204	Q-68・69	0.78	(0.64)	0.68	0.50	0.27	N-	0.0°	-
CP-205	Q-69,R-69	0.88	0.75	0.14	0.21	0.46	N-	74.5°	- W
CP-206	R-72-c・d	0.96	0.74	0.42	0.40	0.40	N-	67.2°	- E
CP-207	R-69,S-68・69	1.70	1.43	1.48	1.23	0.38	N-	63.2°	- E
CP-209	R-65-c・d	0.87	0.71	0.67	0.59	0.25	N-	64.3°	- W
CP-210	R-65-b・c	0.84	0.82	0.66	0.72	0.38	N-	68.4°	- W
CP-211	R-65-b	(0.77)	0.81	(0.72)	0.72	0.17	N-	45.4°	- E
CP-212	R-62-b	0.60	0.50	0.48	0.37	0.19	N-	51.0°	- E
CP-213	S-66・67	0.68	(0.47)	0.47	0.30	0.30	N-	25.7°	- E
CP-214	K-68	0.87	0.69	0.61	0.40	0.16	N-	30.1°	- E
CP-215	K-67	0.85	0.75	0.71	0.63	0.37	N-	0.0°	-
CP-216	J-67,K-67	1.22	1.03	1.16	0.87	0.41	N-	59.8°	- W
CP-217	S-65・66, T-65・66	0.76	0.70	0.47	0.47	0.30	N-	90.0°	-
CP-218	S-66-c	0.29	0.27	0.15	0.15	0.13	N-	31.6°	- E
CP-219	T-66	0.49	0.44	0.25	0.24	0.27	N-	41.0°	- E

遺構名	グリット	上端		下端		深さ	長軸方向		
		長軸	短軸	長軸	短軸				
CP-220	R-67・68,S-67・68	1.78	1.42	1.48	1.11	0.31	N-	76.9°	E
CP-221	S-67-d	0.55	0.54	0.40	0.33	0.12	N-	64.5°	W
CP-223	K-66-c・d	0.85	0.57	0.68	0.44	0.13	N-	74.2°	E
CP-224	J-79-a・d	(1.18)	(0.77)	(1.07)	(0.71)	0.24	N-	70.0°	W
CP-225	S-64	1.07	1.07	1.87	0.90	0.17	N-	54.3°	E
CP-226	S-64-b,T-64-a	1.21	(0.53)	1.10	(0.45)	0.14	N-	4.6°	W
CP-227	R-64-c,R-65-b	(0.45)	(0.40)	(0.42)	(0.37)	0.48	N-	66.2°	W
CP-228	S-65-a	0.66	0.56	0.43	0.43	0.33	N-	29.6°	W
CP-229	S-64-a・d	0.70	0.68	0.58	0.60	0.35	N-	81.6°	W
CP-230	K-63,L-63	1.15	0.85	1.02	0.75	0.27	N-	67.5°	E
CP-231	H-69-b・c,I-69-a・d	1.58	1.48	1.27	1.15	0.41	N-	4.5°	E
CP-232	I-68-c	(1.03)	1.20	(0.96)	1.08	0.36	N-	17.3°	E
CP-233	L-62-b	0.78	0.69	0.67	0.58	0.17	N-	86.3°	E
CP-234	k-62-c・d	0.91	0.85	0.81	0.74	0.09	N-	48.8°	E
CP-235	Q-71・72	0.60	(0.25)	0.49	(0.17)	0.18	N-	22.3°	W
CP-236	K-67	(0.62)	0.67	(0.37)	0.32	0.28	N-	54.7°	W
CP-237	J-65-c・d	1.27	1.01	0.99	0.59	0.19	N-	16.5°	W
CP-238	J-65	0.84	0.82	0.65	0.66	0.15	N-	67.6°	W
CP-239	S-68	0.56	0.50	0.40	0.33	0.20	N-	87.3°	E
CP-240	S-69,T-69	0.48	0.42	0.23	0.20	0.21	N-	77.2°	W
CP-241	Q-70	0.37	0.34	0.15	0.13	0.20	N-	65.1°	W
CP-242	Q-69	0.38	0.31	0.18	0.21	0.20	N-	74.5°	E
CP-244	J-69・70	1.00	1.10	1.70	1.57	1.60	N-	49.4°	E
CP-245	K-63,L-63	0.77	0.60	0.68	0.52	0.18	N-	56.2°	E
CP-246	S-64-c	0.38	0.38	0.25	0.19	0.46	N-	61.4°	E
CP-247	S-65-d	0.55	0.42	0.37	0.32	0.22	N-	17.1°	E
CP-248	S-67-b	0.36	0.36	0.18	0.13	0.21	N-	46.6°	W
CP-249	S-67-d	0.40	0.36	0.23	0.27	0.16	N-	0.0°	
CP-250	S-65-c,S-66-b	(0.31)	0.47	(0.18)	0.26	0.16	N-	77.3°	E
CP-251	T-65	(0.23)	0.37	(0.14)	0.20	0.35	N-	78.4°	W
CP-252	S-72-a	0.41	0.35	0.20	0.16	0.64	N-	26.1°	E
CP-253	S-71-c・d	0.34	0.30	0.21	0.15	0.58	N-	28.5°	E
CP-254	S-71-d,S-72-a	0.36	0.33	0.12	0.14	0.47	N-	33.7°	W
CP-255	S-65-c,T-65-d	0.32	0.28	0.17	0.11	0.32	N-	78.4°	W
CP-256	I-67-c・d	0.80	0.75	0.65	0.72	0.14	N-	57.0°	E
CP-257	I-67・68	0.90	0.84	0.80	0.76	0.27	N-	39.6°	W
CP-258	I-67・68, J-67・68	0.79	0.73	0.64	0.60	0.18	N-	4.8°	W
CP-259	I-67・68	0.93	0.90	0.78	0.82	0.17	N-	28.3°	W
CP-260	J-69-b・c	(0.60)	0.62	0.53	0.51	0.25	N-	29.2°	E
CP-261	J-69-c	0.82	(0.29)	0.58	(0.17)	0.19	N-	42.8°	W
CP-262	L-63	0.52	0.53	0.26	0.35	0.26	N-	86.4°	E
CP-263	J-69-a	0.60	0.57	0.48	0.42	0.20	N-	2.7°	W
CP-264	K-64,L-64	1.28	1.18	1.58	1.52	0.98	N-	3.8°	E
CP-265	K-63・64	2.00	1.48	1.71	1.28	0.23	N-	38.7°	E
CP-266	J-68	(1.08)	1.04	(0.95)	0.84	0.12	N-	7.2°	E
CP-267	J-66	0.85	(0.47)	0.57	(0.38)	0.48	N-	38.0°	E
CP-268	J-68,K-68	(0.95)	0.77	0.88	0.65	0.26	N-	3.2°	W
CP-269	K-65	0.63	0.55	0.42	0.38	0.15	N-	80.2°	W
CP-270	K-63・64	1.63	1.38	1.45	1.11	0.22	N-	38.1°	E
CP-271	K-68-a	(1.00)	(0.63)	(0.95)	(0.57)	0.19	N-	23.7°	W
CP-272	J-69	(0.63)	(0.55)	(0.54)	(0.43)	0.16	N-	60.0°	E
CP-273	J-67-c,J-68-b	1.06	(0.49)	0.90	(0.40)	0.12	N-	57.3°	W
CP-274	L-61	1.13	0.83	0.92	0.69	0.15	N-	13.4°	W
CP-275	M-67,N-67	1.51	0.94	1.42	0.83	0.32	N-	31.8°	W
焼土									
CF-1	M-63-b・c	1.23	0.50			0.13	N-	0.0°	
CF-2	K-68-b	1.63	1.33			0.12	N-	48.7°	W
CF-3	L-67-d	0.83	0.62			0.07	N-	37.2°	E
CF-4	N-63-c	1.03	0.81			0.18	N-	29.0°	E
CF-5	L-63-c,L-64-b,M-63-d,M-64-a	1.81	1.01			0.11	N-	51.6°	E
CF-6	M-63-b・c	0.61	0.47			0.03	N-	77.1°	W

遺構名	グリット	上端		下端		深さ	長軸方向		
		長軸	短軸	長軸	短軸				
CF-7	M-63-c	0.38	0.29			0.08	N-	59.2°	E
CF-8	M-66-a	0.27	0.17			0.06	N-	51.0°	E
CF-9	M-66-d	0.50	0.44			0.10	N-	51.2°	E
CF-10	M-66-b,N-66-a	1.09	0.52			0.12	N-	52.8°	E
CF-11	N-66-a	0.63	0.53			0.13	N-	83.4°	W
CF-12	M-67-d	1.01	0.42			0.08	N-	81.4°	W
CF-13	M-67-a・b	0.63	0.41			0.03	N-	55.0°	E
CF-14	N-66-d	0.52	0.31			0.03	N-	84.5°	E
CF-15	L-66-b	0.58	0.29			0.07	N-	61.6°	E
CF-16	L-64-c,M-64-d	0.46	0.39			0.07	N-	90.0°	
CF-17	N-65-a	0.56	0.54			0.11	N-	90.0°	
CF-18	N-65-c・d	0.47	0.45			0.10	N-	87.1°	W
CF-19	M-65-c・d	0.72	0.69			0.09	N-	53.7°	E
CF-20	N-66-c,N-67-b	0.49	0.46			0.13	N-	37.2°	W
CF-21	O-64-a	0.60	0.48			0.09	N-	72.5°	E
CF-22	N-64-c,O-64-d	0.75	0.57			0.06	N-	88.0°	E
CF-23	N-64-c	0.63	0.57			0.07	N-	39.1°	E
CF-24	P-62-d,P-63-a	0.61	0.42			0.05	N-	77.5°	W
CF-25	N-65-c	0.51	0.37			0.03	N-	19.0°	W
CF-26	O-63-c,P-63-d	0.75	0.52			0.08	N-	89.0°	E
CF-27	P-63-a	0.60	0.49			0.07	N-	11.2°	E
CF-28	O-62-c,O-63-b	(0.50)	0.53			0.07	N-	33.2°	E
CF-29	O-65-c,P-65-d,P-66-a	0.70	0.54			0.15	N-	47.4°	E
CF-30	O-66-d	0.35	0.29			0.06	N-	76.4°	W
CF-31	O-66-c	0.29	0.23			0.05	N-	90.0°	
CF-32	O-67-b,P-67-a	0.43	0.40			0.06	N-	65.5°	E
CF-33	O-66-c	0.48	0.30			0.08	N-	14.6°	W
CF-34	L-70-b・c	0.53	0.38			0.09	N-	5.9°	E
CF-35	L-70-c	0.33	0.28			0.05	N-	5.0°	E
CF-36	L-69-d	1.17	1.12			0.19	N-	67.3°	W
CF-37	K-72-d	0.48	0.27			0.03	N-	39.2°	E
CF-38	J-72-c	0.64	0.40			0.05	N-	36.4°	W
CF-39	J-73-a・b	1.22	0.68			0.17	N-	90.0°	
CF-40	J-73-b・c	0.43	0.39			0.15	N-	41.0°	W
CF-41	L-70-d,L-71-a	1.00	0.72			0.10	N-	59.0°	W
CF-42	L-71-d	0.56	0.47			0.08	N-	40.0°	W
CF-43	L-71-d	0.34	0.27			0.05	N-	56.6°	E
CF-44	K-73-b,L-73-a	0.45	0.27			0.11	N-	47.3°	W
CF-45	L-72-c・d,L-73-a・b	0.91	0.65			0.14	N-	85.5°	W
CF-46	M-70-c・d	1.66	0.75			0.14	N-	87.3°	E
CF-47	O-70-a	0.46	0.34			0.03	N-	51.7°	W
CF-48	O-70-b	0.46	0.36			0.09	N-	27.9°	E
CF-49	O-70-a~d	1.18	1.06			0.17	N-	40.9°	W
CF-50	N-70-b・c,O-70-a・d	0.34	0.28			0.06	N-	0.0°	
CF-51	P-70-a	0.39	0.22			0.08	N-	54.2°	W
CF-52	L-74-b	0.50	0.37			0.07	N-	13.3°	E
CF-53	M-74-b,N-74	0.42	0.21			0.02	N-	4.8°	W
CF-54	M-74-b	0.64	0.58			0.11	N-	38.6°	W
CF-55	O-68-b,P-68-a	0.85	0.43			0.06	N-	36.8°	E
CF-56	O-62-c	0.37	0.24			0.10	N-	60.3°	W
CF-57	P-68-d	0.30	0.27			0.07	N-	33.4°	W
CF-58	P-68-b・c	1.30	0.55			0.25	N-	36.2°	W
CF-59	P-68-c	0.41	0.37			0.06	N-	34.5°	W
CF-60	M-79-b,N-79	0.85	0.54			0.09	N-	78.4°	W
CF-61	N-68-c,O-68-d	0.48	0.32			0.06	N-	73.4°	W
CF-62	O-68-d	0.28	0.22			0.03	N-	78.1°	W
CF-63	N-73-c	0.52	0.49			0.06	N-	43.3°	E
CF-64	N-81-d	0.73	0.55			0.22	N-	45.6°	W
CF-65	N-75-b	0.62	0.52			0.09	N-	40.0°	W
CF-66	M-75-c,N-75-d	0.61	0.50			0.08	N-	7.3°	W
CF-67	N-75-d	0.67	0.42			0.11	N-	56.0°	E

第1分冊（文章編）

遺構名	グリット	上端		下端		深さ	長軸方向			
		長軸	短軸	長軸	短軸					
CF-68	O-76-b・c	0.80	0.55			0.05	N-	29.7°	-	E
CF-69	O-76-c・d	0.57	0.49			0.08	N-	90.0°	-	
CF-70	O-76-a・d	1.08	0.74			0.11	N-	6.7°	-	W
CF-71	N-77-b,O-77-a	1.11	0.87			0.13	N-	19.2°	-	W
CF-72	N-77-c	0.38	0.26			0.06	N-	22.1°	-	E
CF-73	P-69-d	0.57	0.35			0.07	N-	67.5°	-	E
CF-74	O-67-b,P-67-a	0.51	0.40			0.08	N-	1.0°	-	E
CF-75	P-67-d	0.59	0.48			0.09	N-	45.3°	-	E
CF-76	M-72-b,N-72-a	0.51	0.30			0.06	N-	8.0°	-	W
CF-77	N-71-c,N-72-b,O-71-d,O-72-a	1.10	0.71			0.10	N-	52.0°	-	E
CF-78	P-66-d,P-67-a	0.75	0.55			0.10	N-	3.5°	-	E
CF-79	P-66-d	0.46	0.40			0.07	N-	8.4°	-	E
CF-80	P-71-a	0.62	0.50			0.21	N-	89.1°	-	E
CF-81	P-71-c	0.60	0.46			0.06	N-	82.3°	-	E
CF-82	P-73-b	0.57	0.44			0.12	N-	29.0°	-	E
CF-83	P-73-c・d	0.56	0.49			0.05	N-	85.6°	-	W
CF-84	P-72-b・c	0.28	0.17			-	N-	0.0°	-	
CF-85	P-68-b	0.33	0.15			-	N-	9.6°	-	W
CF-86	P-66-c	0.36	0.23			0.05	N-	12.7°	-	W
CF-87	P-66-c,P-67-b	0.15	0.12			0.05	N-	46.1°	-	E
CF-88	P-73-a・d	0.74	0.72			-	N-	58.0°	-	W
CF-89	P-72-c	0.88	0.66			0.06	N-	29.5°	-	E
CF-90	K-74-c,L-74-d,L-75-a	1.91	0.54			0.09	N-	52.2°	-	E
CF-91	O-74-a・d	0.56	0.44			0.08	N-	90.0°	-	
CF-92	P-75-b	0.60	0.44			0.06	N-	23.6°	-	W
CF-93	T-73-d	0.61	0.53			0.13	N-	73.2°	-	W
CF-94	S-74,T-74-a	0.64	0.36			0.08	N-	39.8°	-	E
CF-95	S-74-d	0.66	0.52			0.13	N-	85.8°	-	W
CF-96	S-72-a	0.33	0.21			0.12	N-	79.5°	-	E
CF-97	S-74-a	0.37	0.30			0.07	N-	35.3°	-	E
CF-98	S-75-d	0.93	0.83			0.13	N-	90.0°	-	
CF-99	S-77-c	0.23	0.11			0.03	N-	66.3°	-	E
CF-100	R-77-c	0.32	0.22			0.03	N-	44.3°	-	W
CF-101	Q-66	(0.50)	0.32			0.10	N-	76.0°	-	E
CF-102	Q-64	0.70	0.45			0.08	N-	8.5°	-	W
CF-103	R-72	0.55	0.45			0.13	N-	28.9°	-	W
CF-104	R-72	0.46	0.24			0.07	N-	11.5°	-	E
CF-105	R-72	0.86	0.81			0.08	N-	78.7°	-	W
CF-106	Q-73-c,R-73	0.41	0.20			0.04	N-	0.0°	-	
CF-107	Q-72-c	0.46	0.39			0.10	N-	63.3°	-	W
CF-108	Q-74-b	0.40	0.33			0.12	N-	84.1°	-	W
CF-109	Q-74-b	0.82	0.60			0.08	N-	76.1°	-	W
CF-110	Q-72-d	1.06	0.55			0.10	N-	3.0°	-	W
CF-111	Q-73-a	0.90	0.27			0.05	N-	31.4°	-	W
CF-112	Q-71-c	0.79	0.58			0.12	N-	88.2°	-	E
CF-113	T-76-a	0.18	0.17			0.04	N-	88.1°	-	E
CF-114	Q-75-b	0.35	0.20			0.07	N-	78.6°	-	W
CF-115	S-77-b,T-77-a	1.33	0.65			0.06	N-	68.6°	-	W
CF-116	S-74・75	0.97	0.30			0.05	N-	60.0°	-	E
CF-117	Q-75・76,R-76	0.75	0.65			0.13	N-	4.5°	-	E
CF-118	R-75	0.35	0.26			0.06	N-	83.0°	-	W
CF-119	Q-75-a	0.70	0.45			0.11	N-	82.3°	-	W
CF-120	S-77-b	0.22	0.15			0.03	N-	51.9°	-	E
CF-121	S-76-c,S-77-b	1.17	0.73			0.13	N-	8.2°	-	E
CF-122	S-75-a・d	0.38	0.14			0.06	N-	14.7°	-	E
CF-123	S-77-a	0.42	0.26			0.07	N-	72.0°	-	E
CF-124	T-69	0.47	0.43			0.10	N-	8.2°	-	E
CF-125	S-69	0.78	0.75			0.11	N-	54.0°	-	E
CF-126	S-69-b	0.33	0.29			0.05	N-	78.5°	-	W
CF-127	Q-61・62	0.82	0.26			0.06	N-	66.9°	-	W
CF-128	Q-67・68	0.37	0.18			0.04	N-	82.0°	-	E

遺構名	グリット	上端		下端		深さ	長軸方向		
		長軸	短軸	長軸	短軸				
CF-129	Q-67	0.83	0.56			0.27	N-	62.0°	E
CF-130	Q-67	0.37	0.21			0.04	N-	35.0°	W
CF-131	Q-70	0.72	0.52			0.02	N-	34.3°	W
CF-132	Q-65-c,Q-66-b	0.68	0.53			0.14	N-	10.0°	W
CF-133	I-72	0.45	0.35			0.04	N-	9.0°	E
CF-134	I-72	0.60	0.55			0.10	N-	77.4°	E
CF-135	R-72	0.38	0.22			0.05	N-	84.9°	W
CF-136	Q-72-d	0.24	0.23			0.04	N-	51.4°	E
CF-137	S-70-a	0.33	0.32			0.06	N-	75.0°	E
CF-138	S-63-d	0.45	0.32			0.03	N-	88.1°	W
CF-139	T-66-d	0.46	0.40			0.09	N-	35.3°	W
CF-140	K-62,L-62-a	0.73	0.48			0.12	N-	51.8°	E
CF-141	K-62	0.82	0.47			0.09	N-	8.7°	W
CF-142	K-62	1.24	0.63			0.12	N-	3.7°	W
CF-143	L-63	0.29	0.26			0.03	N-	19.5°	E
CF-144	K-62・63	0.42	0.25			0.04	N-	20.4°	W
CF-145	K-65,L-65-a	1.22	0.66			0.08	N-	59.0°	W
CF-146	K-65,L-65-d	1.00	0.68			-	N-	82.9°	W
CF-147	Q-65・66,R-65・66	0.37	0.27			0.06	N-	32.0°	E
CF-148	Q-66-a・b	0.33	0.19			0.07	N-	26.7°	E
CF-149	I-67	0.53	0.37			0.06	N-	8.2°	E
CF-150	I-67・68	0.83	0.50			0.15	N-	39.4°	W
CF-151	R-66-d	0.37	0.20			0.05	N-	30.7°	E
CF-152	K-65-d	0.68	0.41			0.17	N-	53.0°	W
CF-153	S-63-d	0.30	0.26			0.03	N-	75.4°	W
CF-154	Q-72-d	0.28	0.24			0.03	N-	27.5°	E
CF-156	I-67-b	0.56	0.44			0.03	N-	44.5°	E
CF-157	I-66-c	0.52	0.52			0.05	N-	76.3°	E
CF-158	L-64・65	0.48	0.47			0.05	N-	6.0°	W
CF-159	L-64-d	0.39	0.33			0.15	N-	44.9°	W
CF-160	L-61	0.26	0.12			0.04	N-	65.5°	E
CF-161	K-65	0.70	0.66			0.11	N-	75.0°	E
CF-162	I-67	0.53	0.26			0.03	N-	29.4°	W
フレイク・チップ集中									
CFC-1	M-79-a・d	0.50	0.48			-	N-	18.0°	W
CFC-2	S-70-d	0.46	0.41			-	N-	54.6°	E
集石									
CS-1	O-70-b	0.41	0.30			-	N-	35.5°	W
CS-2	O-70-c	0.67	0.56			-	N-	63.5°	W
CS-3	P-70-a	0.40	0.31			-	N-	32.0°	W
CS-4	M-80-a	0.28	0.22			-	N-	16.5°	E
CS-5	P-80-d	1.15	0.56			-	N-	1.0°	W
CS-6	Q-62-b	0.46	0.28			-	N-	77.8°	E
CS-7	Q-67,R-67-d	0.39	0.22			-	N-	72.4°	W
CS-8	Q-70-a	0.49	0.48			-	N-	78.2°	W
CS-9	J-68	1.05	0.77			-	N-	34.6°	E
CS-10	Q-64・65	0.87	0.62			-	N-	70.0°	W
CS-11	I-70,J-70	1.36	0.72			-	N-	38.0°	W
CS-12	I-69-a	-	-			-	N-	-	
柱穴状小ピット									
CSP-1	K-69	0.19	0.17			-	N-		
CSP-2	L-69	0.24	0.22			-	N-		
CSP-3	L-69	0.30	0.21			-	N-		
CSP-4	L-69	0.22	0.22			-	N-		
CSP-5	L-69	0.22	0.18			-	N-		
CSP-6	L-68	0.18	0.17			-	N-		
CSP-7	M-68	0.27	0.22			-	N-		
CSP-8	M-68	0.39	0.26			-	N-		
CSP-9	L-69	0.21	0.18			-	N-		
CSP-10	L-69	0.30	0.30			-	N-		
CSP-11	L-69	0.27	0.20			-	N-		

遺構名	グリット	上端		下端		深さ	長軸方向		
		長軸	短軸	長軸	短軸				
CSP-12	L-69	0.34	0.30			-	N-		
CSP-13	L-69	0.25	0.20			-	N-		
CSP-14	L-69, M-69	0.21	0.20			-	N-		
CSP-15	L-69	0.27	0.20			-	N-		
CSP-16	L-69	0.27	0.24			-	N-		
CSP-17	L-69	0.20	0.18			-	N-		
CSP-18	L-69	0.29	0.27			-	N-		
CSP-19	M-69	0.19	0.17			-	N-		
CSP-20	M-70	0.24	0.22			-	N-		
CSP-21	M-70	0.24	0.21			-	N-		
CSP-22	L-69・70	0.27	0.24			-	N-		
CSP-23	L-69	0.21	0.21			-	N-		
CSP-24	L-70	0.26	0.24			-	N-		
CSP-25	L-70	0.32	0.17			-	N-		
CSP-26	L-70	0.35	0.33			-	N-		
CSP-27	L-70	0.27	0.27			-	N-		
CSP-28	L-70	0.30	0.28			-	N-		
CSP-29	L-70	0.22	0.21			-	N-		
CSP-30	K-67	0.21	0.19			-	N-		
CSP-31	S-67	0.34	0.29			0.21	N-	70.8°	E
CSP-32	R-67, S-67	0.24	0.19			0.08	N-	65.6°	W
CSP-33	S-69	0.33	0.31			0.45	N-	34.3°	E
CSP-34	S-69, T-69	0.20	0.18			0.10	N-	53.5°	W
CSP-35	T-70	0.30	0.28			0.23	N-	0.0°	
CSP-36	T-69	0.23	0.22			0.24	N-	68.5°	W
CSP-37	R-69	0.17	0.16			0.09	N-	29.5°	W
CSP-38	Q-67	0.31	0.31			0.12	N-	90.0°	
CSP-39	Q-67, R-67	0.28	0.25			0.15	N-	90.0°	
CSP-40	R-67	0.22	0.21			0.23	N-	56.7°	W
CSP-41	R-68	0.18	0.14			0.19	N-	51.5°	W
CSP-42	R-68	0.18	0.13			0.20	N-	21.5°	W
CSP-43	Q-70	0.23	0.20			0.15	N-	78.0°	E
CSP-44	Q-71	0.29	0.28			0.11	N-	84.5°	E
CSP-45	Q-69	0.23	0.22			0.19	N-	43.3°	E
CSP-46	Q-64	0.18	0.18			0.17	N-	90.0°	
CSP-47	S-66, T-66	0.28	0.26			0.12	N-	85.0°	W
CSP-48	T-67	0.26	0.25			0.16	N-	78.5°	W
CSP-49	P-66	0.19	0.16			0.08	N-	3.4°	W
CSP-50	Q-70	0.21	0.19			0.06	N-	83.6°	W
CSP-51	Q-71	0.23	0.22			0.21	N-	43.8°	E
CSP-52	Q-72	0.27	0.25			0.23	N-	42.3°	E
CSP-53	Q-72	0.22	0.19			0.11	N-	47.5°	E
CSP-54	Q-73	0.27	0.23			0.18	N-	43.7°	W
CSP-55	R-72	0.15	0.13			0.15	N-	86.3°	E
CSP-56	R-72	0.25	0.23			0.15	N-	44.3°	E
CSP-57	R-74	0.27	0.26			0.17	N-	46.6°	E
CSP-58	R-63	0.27	0.25			0.16	N-	90.0°	
CSP-59	Q-70	0.24	0.19			0.18	N-	71.3°	E
CSP-60	Q-72	0.27	0.23			0.14	N-	60.9°	W
CSP-61	S-63・64	0.21	0.19			0.12	N-	0.0°	
CSP-62	S-63・64	0.23	0.23			0.11	N-	33.8°	W
CSP-63	T-64	0.20	0.18			0.16	N-	29.7°	E
CSP-64	T-66	0.15	0.12			0.16	N-	52.6°	E
CSP-65	S-65・66	0.17	0.15			0.14	N-	4.8°	E
CSP-66	S-65	0.13	0.12			0.14	N-	80.3°	E
CSP-67	S-65	0.25	0.24			0.10	N-	0.0°	
CSP-68	S-64	0.20	0.20			0.10	N-	67.7°	W
CSP-69	R-64	0.17	0.14			0.10	N-	72.2°	E
CSP-70	S-64	0.25	0.22			0.17	N-	14.7°	W
CSP-71	S-64	0.15	0.13			0.20	N-	75.7°	E
CSP-72	R-64, S-64	0.15	0.15			0.11	N-	84.0°	W

遺構名	グリット	上端		下端		深さ	長軸方向		
		長軸	短軸	長軸	短軸				
CSP-73	R-62	0.12	0.10			0.13	N-	83.5°	- E
CSP-74	R-65	0.25	0.23			0.33	N-	53.5°	- E
CSP-75	R-63	0.16	0.14			0.12	N-	62.5°	- W
CSP-76	S-64	0.23	0.17			0.35	N-	71.2°	- W
CSP-77	S-64	0.28	0.26			0.13	N-	43.4°	- W
CSP-78	L-64	0.32	0.30			0.35	N-	18.7°	- W
CSP-79	J-63	0.30	0.22			0.30	N-	22.5°	- E

表VI-2 住居跡柱穴規模一覽

図版番号	遺構名	番号	長径	短径	深さ
図II-4	CH-2	HP-1	25	24	42
		HP-2	30	21	41
		HP-3	37	34	15
		HP-4	20	15	24
		HP-5	24	22	48
		HP-6	24	22	36
		HP-7	57	50	15
		HP-8	23	20	27
		HP-9	-	-	-
		HP-10	26	16	33
		HP-11	8	8	16
図II-11	CH-3	HP-1	-	-	-
		HP-2	22	20	28
		HP-3	-	-	-
		HP-4	-	-	-
		HP-5	-	-	-
		HP-6	15	14	19
		HP-7	13	12	7
		HP-8	-	-	-
		HP-9	-	-	-
		HP-10	-	-	-
		HP-11	20	19	23
		HP-12	15	14	36
		HP-13	-	-	-
		HP-14	26	21	28
		HP-15	-	-	-
		HP-16	14	11	24
		HP-17	19	16	29
		HP-18	17	13	42
図II-14	CH-4	HP-1	-	-	-
		HP-2	25	17	28
		HP-3	16	15	23
		HP-4	28	24	41
		HP-5	38	20	15
		HP-6	21	21	43
		HP-7	24	20	38
		HP-8	29	14	27
		HP-9	20	15	27
		HP-10	17	17	38
		HP-11	38	25	15
		HP-12	30	19	13
		HP-13	10	8	16
		HP-14	15	12	35
		HP-15	22	18	38
		HP-16	14	13	11
図II-20	CH-5	HP-1	17.5	17.5	51
		HP-2	15.6	15.6	12
		HP-3	22.5	22.5	32
		HP-4	-	-	-
		HP-5	21	21	15.8
		HP-6	12.2	12.2	7.2
		HP-7	-	-	-
		HP-8	22.6	22.6	10.7
		HP-9	23.4	23.4	11
		HP-10	22	22	20.6
		HP-11	-	-	-
		HP-12	-	-	-
		HP-13	-	-	-
		HP-14	-	-	-
		HP-15	-	-	-
		HP-16	-	-	-
		HP-17	-	-	-
		HP-18	-	-	-
		HP-19	11.2	11.2	20.3
図II-24	CH-7	HP-1	9	9	23
		HP-2	12	12	23
		HP-3	9	9	15
図II-28	CH-9	HP-1	42	42	18
		HP-2	32	32	47
		HP-3	33	33	50
		HP-4	-	-	-
		HP-5	23	23	40
		HP-6	28	28	60
		HP-7	24	24	47
		HP-8	20	20	47
		HP-9	18	18	50
		HP-10	29	29	57
		HP-11	23	23	47
		HP-12	12	12	35
図II-35	CH-11	HP-1	15	15	25
		HP-2	23	23	29
		HP-3	11	11	18
		HP-4	10	10	9
図II-39	CH-12	HP-5	10	10	9
		HP-6	9	9	15
		HP-7	10	10	12
		HP-8	9	9	6
		HP-9	10	10	26
		HP-10	10	10	18
		HP-11	15	15	15
		HP-12	12	12	25
		HP-13	9	9	20
		HP-1	-	-	-
		HP-2	40	40	58
		HP-3	24	24	39
		HP-4	27	27	62
HP-5	33	33	58		
HP-6	19	19	17		
HP-7	20	20	15		
HP-8	18	18	26		
HP-9	17	17	22		
HP-10	13	13	35		
HP-11	19	19	16		
HP-12	-	-	-		
HP-13	-	-	-		
HP-14	27	27	52		
HP-15	-	-	-		
HP-16	-	-	-		
HP-17	8	8	15		
HP-18	7	7	14		
HP-19	14	14	10		
HP-20	6	6	12		
HP-21	6	6	16		
HP-22	4	4	6		
HP-23	10	10	28		
図II-54	CH-14	HP-1	13	13	16
		HP-2	25	25	44
		HP-3	20	20	37
		HP-4	15	15	37
図II-82	CH-17	HP-1	-	-	-
		HP-2	-	-	-
		HP-3	18	18	24
		HP-4	-	-	-
		HP-5	-	-	-
		HP-6	-	-	-
		HP-7	-	-	-
		HP-8	-	-	-
		HP-9	-	-	-
		HP-10	-	-	-
		HP-11	-	-	-
		HP-12	-	-	-
		HP-13	17	17	17
		HP-14	-	-	-
		HP-15	15	15	18
		HP-16	14	14	22
		HP-17	-	-	-
		HP-18	-	-	-
		HP-19	-	-	-
		HP-20	-	-	-
		HP-21	-	-	-
		HP-22	-	-	-
		HP-23	23	23	32
		HP-24	-	-	-
		HP-25	-	-	-
		HP-26	-	-	-
		HP-27	-	-	-
		HP-28	-	-	-
		HP-29	-	-	-
		HP-30	-	-	-
		HP-31	-	-	-
		HP-32	-	-	-
		HP-33	22	22	21
		HP-34	20	20	21
		HP-35	24	24	20
図II-95	CH-19	HP-1	50	50	10
		HP-2	8	8	14
		HP-3	7	7	4
		HP-4	7	7	4
		HP-5	8	8	5
		HP-6	7	7	5
		HP-7	22	22	14
		HP-8	23	23	20
		HP-9	22	22	20
		HP-10	21	21	18
		HP-11	19	19	29
図II-97	CH-20	HP-1	90	90	44

図版番号	遺構名	番号	長径	短径	深さ
		HP-2	55	55	12
		HP-3	11	11	11
		HP-4	19	19	12
		HP-5	12	12	14
		HP-6	18	18	8
		HP-7	14	14	27
		HP-8	16	16	50
		HP-9	24	24	12
		HP-10	23	23	20
		HP-11	17	17	23
		HP-12	13	13	25
		HP-13	30	30	7
		HP-14	15	15	47
		HP-15	19	19	32
		HP-16	18	18	9
		HP-17	20	20	10
		HP-18	25	25	24
		HP-19	20	20	26
		HP-20	30	30	18
		A	13	13	50
図 II-103	CH-21	HP-1	37	37	14
		HP-2	37	37	16
		HP-3	16	16	10
		HP-4	17	17	13
		HP-5	18	18	14
図 II-105	CH-22	HP-1	110	110	43
		HP-2	43	43	52
		HP-3	26	26	44
		HP-4	21	21	28
		HP-5	28	28	38
		HP-6	28	28	40
		HP-7	32	32	30
		HP-8	21	21	41
		HP-9	90	90	11
		HP-10	20	20	28
		HP-11	23	23	37
		HP-12	25	25	11
		HP-13	33	33	45
		HP-14	25	25	39
		HP-15	-	-	-
		HP-16	16	16	13
		HP-17	15	15	13
		HP-18	15	15	10
		HP-19	15	15	10
		HP-20	14	14	15
		HP-21	8	8	4
		HP-22	7	7	10
		HP-23	10	10	50
		HP-24	19	19	35
		HP-25	23	23	38
HP-26	25	25	37		
HP-27	13	13	6		
HP-28	22	22	34		
図 II-117	CH-24	HP-1	32	32	52
		HP-2	26	26	35
		HP-3	32	32	64
		HP-4	25	25	54
		HP-5	-	-	-
		HP-6	49	49	72
		HP-7	22	22	55
		HP-8	8	8	9
		HP-9	10	10	19
		HP-10	13	13	11
		HP-11	13	13	18
		HP-12	12	12	16
		HP-13	29	29	12
		HP-14	17	17	26
		HP-15	22	22	8
		HP-16	20	20	50
		HP-17	18	18	15
		HP-18	19	19	10
		HP-19	17	17	17
		HP-20	18	18	24
		HP-21	27	27	30
		HP-22	-	-	-
		HP-23	-	-	-
		HP-24	27	27	33
		HP-25	27	27	34
A	27	27	55		
図 II-127	CH-25	HP-1	78	78	33
		HP-2	20	20	44
		HP-3	27	27	36
		HP-4	37	37	29
		HP-5	25	25	49
		HP-6	25	25	20

図版番号	遺構名	番号	長径	短径	深さ		
		HP-7	20	20	46		
		HP-8	30	30	38		
		HP-9	39	39	15		
		HP-10	20	20	31		
		HP-11	19	19	41		
		HP-12	20	20	33		
		HP-13	12	12	7		
		HP-14	32	21	42		
		HP-15	21	21	48		
		HP-16	34	34	53		
		HP-17	9	9	9		
		HP-18	9	9	8		
		HP-19	8	8	6		
		HP-20	10	10	11		
		HP-21	11	11	12		
		HP-22	13	13	15		
		HP-23	14	14	16		
		HP-24	9	9	13		
		HP-25	15	15	23		
		HP-26	14	14	16		
		HP-27	9	9	8		
		HP-28	16	16	14		
		HP-29	15	15	18		
		HP-30	15	15	13		
		HP-31	9	9	9		
		HP-32	14	14	20		
		HP-33	19	19	20		
		HP-34	10	10	14		
		HP-35	11	11	14		
		HP-36	13	13	7		
		HP-37	6	6	8		
		HP-38	9	9	8		
		HP-39	9	9	17		
		HP-40	-	-	-		
		HP-41	17	17	27		
		HP-42	10	10	8		
		A	10	10	31		
		図 II-134	CH-26	HP-1	36	36	24
				HP-2	58	58	20
				HP-3	16	16	50
				HP-4	16	16	39
				HP-5	20	20	45
HP-6	23			23	43		
HP-7	20			20	45		
HP-8	14			14	8		
HP-9	23			23	55		
HP-10	15			15	38		
HP-11	20			20	26		
A	15	15	30				
B	30	30	25				
図 II-150	CH-30	HP-1	52	52	49		
		HP-2	38	38	19		
		HP-3	15	15	12		
		HP-4	30	30	44		
		HP-5	29	29	51		
		HP-6	14	14	14		
		HP-7	15	15	17		
		HP-8	31	31	56		
		HP-9	37	37	65		
		HP-10	14	14	17		
		HP-11	20	20	52		
		HP-12	30	30	42		
		HP-13	15	15	18		
		HP-14	17	17	9		
		HP-15	30	30	11		
HP-16	23	23	9				
HP-17	18	18	15				
HP-18	23	23	10				
図 II-204	CH-33	HP-1	50	50	20		
		HP-2	-	-	-		
		HP-3	23	23	65		
		HP-4	22	22	54		
		HP-5	23	23	45		
		HP-6	21	21	38		
		HP-7	14	14	5		
		HP-8	9	9	11		
		HP-9	9	9	11		
		HP-10	8	8	8		
		HP-11	7	7	4		
図 II-206	CH-34	HP-1	17	17	36		
		HP-2	24	24	43		
		HP-3	34	34	55		
		HP-4	32	32	49		
		HP-5	23	23	25		
		HP-6	34	34	54		

図版番号	遺構名	番号	長径	短径	深さ
		HP- 7	33	33	57
		HP- 8	31	31	42
		HP- 9	18	18	23
		HP-10	16	16	13
		HP-11	30	30	46
		HP-12	45	45	52
		HP-13	22	22	46
		HP-14	24	24	37
		HP-15	21	21	25
		HP-16	14	14	35
		HP-17	23	23	19
		HP-18	21	21	18
		HP-19	15	15	19
		HP-20	40	40	30
		HP-21	13	13	8
		HP-22	30	30	43
		HP-23	36	36	50
		HP-24	34	34	66
		A	19	19	30
図Ⅱ-220	CH-35	HP- 1	57	57	23
		HP- 2	9	9	13
		HP- 3	6	6	17
		HP- 4	7	7	13
		HP- 5	19	19	5
		HP- 6	33	33	21
		HP- 7	32	32	50
		HP- 8	18	18	11
		HP- 9	23	23	33
		HP-10	13	13	24
		HP-11	15	15	10
図Ⅱ-222	CH-36	HP- 1	58	58	6
図Ⅱ-223	CH-37	HP- 1	44	44	16
		HP- 2	29	29	18
		A	14	14	45
図Ⅱ-224	CH-38	HP- 1	51	51	15
		HP- 2	21	21	10
		HP- 3	20	20	10
		HP- 4	-	-	-
		HP- 5	21	21	18
図Ⅱ-225	CH-39	HP- 1	115	115	45
		HP- 2	35	35	84
		HP- 3	25	25	66
		HP- 4	17	17	46
		HP- 5	15	15	25
		HP- 6	42	27	71
		HP- 7	30	19	65
		HP- 8	16	16	26
		HP- 9	15	15	50
		A	20	20	54
図Ⅱ-233	CH-40	HP- 1	55	55	53
		HP- 2	25	25	53
		HP- 3	41	23	54
		HP- 4	20	20	50
		HP- 5	21	21	63
		A	27	27	33
図Ⅱ-220	CH-42	HP- 1	-	-	-
		HP- 2	-	-	-
		HP- 3	17	17	44
		HP- 4	13	13	47
		HP- 5	18	18	7
		HP- 6	-	-	-
		HP- 7	-	-	-
		A	-	-	-
図Ⅱ-240	CH-44	HP- 1	20	20	29
		HP- 2	19	19	32
		HP- 3	13	13	8
		A	15	15	31
図Ⅱ-240	CH-45	HP- 1	20	20	12
		HP- 2	21	21	13
		HP- 3	15	15	8
		HP- 4	20	20	15
		HP- 5	-	-	-
		HP- 6	17	17	13
		HP- 7	47	47	8
		A	34	34	10

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CH3		Rフレイク		2点
		Uフレイク		3点
		たたき石		2点
		扁平打製石器		1点
		砥石		6点
		台石・石皿		1点
		フレイク・チップ		40点
		礫		45点
		土製品	小計	4点
		有孔土製円盤		4点
	HP-1		合計	3点
	土器	小計	3点	
		Ⅲa	3点	
	HP-3		合計	3点
	土器	小計	1点	
		Ⅲa	1点	
	石器	小計	2点	
		礫	2点	
	HP-4		合計	7点
	土器	小計	5点	
		Ⅲa	5点	
	石器	小計	2点	
		石鎌 スクレイパー	1点 1点	
	HP-5		合計	2点
	土器	小計	2点	
		Ⅲa	2点	
	HP-6		合計	8点
		土器	小計	2点
			Ⅲa	2点
		石器	小計	6点
スクレイパー フレイク・チップ 礫	1点 3点 2点			
HP-7		合計	3点	
	土器	小計	3点	
Ⅲa		3点		
HP-8		合計	2点	
	土器	小計	2点	
Ⅲa		2点		
HP-9		合計	35点	
	土器	小計	35点	
Ⅲa (滑石入り)		35点		
CH3	覆土1層		総計	2856点
			合計	1129点
	土器	小計	785点	
		Ⅲa	285点	
		Ⅲb	500点	
		石器	小計	344点
			ポイント・ナイフ	1点
			石鎌	2点
			石錘	1点
			スクレイパー	8点
			Rフレイク	1点
			Uフレイク	9点
			石斧	1点
			たたき石	6点
			扁平打製石器	4点
			すり石	1点
			台石・石皿	1点
			フレイク・チップ	182点
			石核	1点
			原石	1点
礫	125点			
覆土2層			合計	976点
	土器		小計	684点

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
床		Ⅲa		285点	
		Ⅲb		399点	
		石器	小計	289点	
		土製品	石鎌		6点
			スクレイパー		3点
			Rフレイク		1点
			Uフレイク		1点
			たたき石		2点
			扁平打製石器		5点
			台石・石皿		1点
	フレイク・チップ			117点	
	石核			2点	
	礫			151点	
	土製品	小計	3点		
	焼成粘土塊		3点		
	土器		合計	690点	
			小計	425点	
		Ⅲa		251点	
		Ⅲb		174点	
		石器	小計	253点	
			ポイント・ナイフ		1点
			石鎌		1点
			スクレイパー		9点
			Rフレイク		1点
			Uフレイク		3点
	たたき石			1点	
	扁平打製石器			4点	
	すり石			2点	
	台石・石皿 フレイク・チップ 石核 礫			2点 75点 1点 153点	
	石製品	小計	12点		
棒状礫		12点			
HP-1		合計	15点		
土器	小計	6点			
	Ⅲa	4点			
	Ⅲb	2点			
	石器	小計	9点		
フレイク・チップ 礫		3点 6点			
HP-2		合計	7点		
土器	小計	5点			
	Ⅲa	5点			
石器	小計	2点			
	礫	2点			
HP-4		合計	15点		
土器	小計	10点			
	Ⅲa (魚骨文)	6点			
	Ⅲb	4点			
	石器	小計	5点		
スクレイパー 礫		1点 4点			
HP-5		合計	6点		
土器	小計	2点			
	Ⅲa	2点			
石器	小計	4点			
	フレイク・チップ 礫		3点 1点		
HP-6		合計	1点		
土器	小計	1点			
	Ⅲa	1点			
HP-7		合計	2点		
土器	小計	1点			
	Ⅲa	1点			
石器	小計	1点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CH 4	HP-8		礫	1点
			合計	4点
	土器		小計	3点
			Ⅲa	3点
			Ⅲb	1点
	石器		小計	1点
			礫	1点
	HP-9		合計	1点
			土器	小計
	HP-10		Ⅲa	1点
			合計	1点
	HP-11	石器	小計	1点
			フレイク・チップ	1点
	HP-11	土器	合計	3点
			小計	3点
	HP-12	土器	Ⅲa	3点
			合計	3点
	HP-12	石器	小計	2点
			Ⅲb	2点
			小計	1点
	HP-13	石器	フレイク・チップ	1点
			合計	1点
	HP-14	石器	小計	1点
礫			1点	
HP-15	土器	合計	1点	
		小計	1点	
CH 4		Ⅲa	1点	
		合計	3029点	
CH 4	覆土1層		合計	1944点
			土器	小計
	土器		Ⅲa	153点
			Ⅲb	1054点
	石器		小計	734点
			ポイント・ナイフ	1点
			石鎌	1点
			石錐	3点
			スクレイパー	13点
			Rフレイク	5点
			Uフレイク	6点
			石斧	1点
			たたき石	11点
			扁平打製石器	31点
			すり石	3点
			砥石	4点
			台石・石皿	15点
			フレイク・チップ	352点
			石核	5点
			原石	4点
	礫	279点		
	石器製品		小計	3点
			石棒	1点
石製品			1点	
石柱			1点	
覆土2層		合計	503点	
		土器	小計	285点
土器		Ⅲa	128点	
		Ⅲb	157点	
石器		小計	218点	
		石鎌	4点	
		スクレイパー	10点	
		たたき石	4点	
		扁平打製石器	5点	
		すり石	1点	
		フレイク・チップ	112点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CH 5	覆土3層		礫	82点
			合計	128点
	土器		小計	66点
			Ⅲa	53点
			Ⅲb	13点
	石器		小計	62点
			スクレイパー	1点
	Uフレイク		Uフレイク	1点
			扁平打製石器	3点
	砥石		砥石	25点
			フレイク・チップ	22点
	石核		石核	1点
			礫	9点
	覆土		合計	91点
			土器	小計
	土器		Ⅲa	48点
			Ⅲb	2点
	石器		小計	41点
			スクレイパー	1点
	石斧		石斧	1点
			扁平打製石器	5点
	フレイク・チップ		フレイク・チップ	14点
			石核	1点
礫		石核	1点	
		合計	19点	
床		合計	329点	
		土器	小計	162点
土器		Ⅲa	143点	
		Ⅲb	19点	
石器		小計	166点	
		石鎌	1点	
スクレイパー		スクレイパー	8点	
		Rフレイク	1点	
Uフレイク		Uフレイク	1点	
		石斧	1点	
たたき石		たたき石	3点	
		扁平打製石器	2点	
台石・石皿		台石・石皿	7点	
		フレイク・チップ	45点	
石核		石核	1点	
		礫	96点	
土製品		小計	1点	
		三角形土製品	1点	
HP-1 覆土		合計	16点	
		土器	小計	4点
土器		Ⅲb	4点	
		合計	12点	
石器		フレイク・チップ	8点	
		礫	4点	
HP-1 床		合計	17点	
		土器	小計	5点
土器		Ⅲb	5点	
		合計	12点	
石器		小計	12点	
		フレイク・チップ	8点	
礫		礫	4点	
		合計	1点	
HP-4	石器	合計	1点	
		小計	1点	
石器		フレイク・チップ	1点	
		合計	3305点	
CH 5	覆土1層		合計	1576点
			土器	小計
土器		Ⅲa	373点	
		Ⅲb	814点	
石器		小計	388点	
		ポイント・ナイフ	1点	
石錐		石錐	1点	
		つまみ付ナイフ	1点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数			
			スクレイパー	6点			
			Rフレイク	1点			
			Uフレイク	2点			
			石斧	3点			
			たたき石	3点			
			扁平打製石器	8点			
			砥石	1点			
			台石・石皿	7点			
			加工痕のある礫	3点			
			フレイク・チップ	167点			
			原石	2点			
			礫	182点			
			石製品	小計	1点		
					1点		
			合計		961点		
			覆土2層	土器		小計	697点
						I a	2点
	III a	638点					
	III b	57点					
	石器			小計	264点		
				ポイント・ナイフ	1点		
				石鏃	1点		
				石錐	1点		
				スクレイパー	5点		
				Rフレイク	1点		
				Uフレイク	1点		
				たたき石	1点		
				扁平打製石器	8点		
				台石・石皿	1点		
				フレイク・チップ	144点		
				石核	3点		
				原石	1点		
	礫	96点					
	合計		443点				
	覆土3層	土器		小計	349点		
				III a	247点		
				III b	102点		
		石器		小計	94点		
				スクレイパー	1点		
				扁平打製石器	2点		
	床		すり石	1点			
			台石・石皿	1点			
			フレイク・チップ	62点			
			礫	27点			
	合計		67点				
覆土	土器		小計	64点			
			III a	10点			
			III b	54点			
	石器		小計	3点			
			スクレイパー	1点			
			Rフレイク	1点			
床		フレイク・チップ	1点				
		合計	237点				
		土器		小計	144点		
III a	114点						
III b	14点						
III a or b	16点						
石器				小計	93点		
				石錐	1点		
				Rフレイク	1点		
		Uフレイク	1点				
HP-3		たたき石	2点				
		台石・石皿	1点				
		フレイク・チップ	56点				
		礫	31点				
		合計	1点				

遺構名	層位	遺物名	分類	点数					
		石器	小計	1点					
			フレイク・チップ	1点					
	HP-12			合計	17点				
				土器	小計	12点			
					III b	12点			
				石器		小計	5点		
						台石・石皿	1点		
	フレイク・チップ	3点							
	HP-15			合計	1点				
				土器	小計	1点			
					III a	1点			
	HP-16			合計	1点				
				土器	小計	1点			
	HP-18				合計	1点			
				石器	小計	1点			
					礫	1点			
	CH 6			総計	177点				
	覆土1層			合計	113点				
				土器		小計	68点		
						III a	10点		
III b						58点			
石器					小計	45点			
					スクレイパー	1点			
					フレイク・チップ	23点			
					礫	21点			
					床		合計	64点	
							土器	小計	45点
								III a	12点
石器					小計	19点			
					III b	33点			
HP-7			スクレイパー	1点					
			Uフレイク	1点					
			たたき石	1点					
			台石・石皿	1点					
			フレイク・チップ	10点					
			礫	5点					
CH 7			総計	809点					
覆土1層			合計	340点					
			土器		小計	209点			
					III a	119点			
					III b	82点			
					III a or b	8点			
			石器		小計	130点			
					石鏃	1点			
					スクレイパー	2点			
					Rフレイク	4点			
					Uフレイク	1点			
					石斧	1点			
					石斧片	1点			
					たたき石	1点			
					フレイク・チップ	68点			
					石核	2点			
					礫	49点			
					土製品	小計	1点		
有孔土製円盤	1点								
覆土2層			合計	292点					
土器			小計	181点					
			III a	138点					
			III b	42点					
			III a or b	1点					
			石器		小計	109点			
					スクレイパー	4点			
Rフレイク	6点								
Uフレイク	4点								

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CH 8	床		たたき石	1点	
			扁平打製石器	1点	
			すり石	1点	
			台石・石皿	3点	
			フレイク・チップ	32点	
		礫	57点		
		自然遺物	小計	2点	
		炭化物		2点	
		合計		171点	
		土器	小計	54点	
	IIIa		48点		
	IIIb		6点		
	石器	小計	117点		
	石鏃		2点		
	スクレイパー		4点		
	Rフレイク		1点		
	Uフレイク		9点		
	石斧		2点		
	石斧片		1点		
	たたき石		2点		
	扁平打製石器		2点		
	台石・石皿		1点		
	フレイク・チップ		59点		
	礫		34点		
	合計		2点		
	HP-3	石器	小計	2点	
			スクレイパー	1点	
		フレイク・チップ	1点		
合計		1点			
HP-5	石器	小計	1点		
		フレイク・チップ	1点		
攪乱		合計	3点		
	石器	小計	3点		
		フレイク・チップ	1点		
		礫	2点		
CH 8			総計	126点	
CH 9	覆土1層		合計	60点	
			土器	小計	45点
			IIIa		42点
			IIIb		3点
			石器	小計	15点
		石斧		1点	
		扁平打製石器		2点	
		フレイク・チップ		10点	
		礫		2点	
		覆土		合計	1点
		石器	小計	1点	
			扁平打製石器	1点	
	床		合計	58点	
		土器	小計	44点	
		IIIa		44点	
		石器	小計	14点	
		石鏃		1点	
		フレイク・チップ		9点	
		原石		1点	
		礫		3点	
	HP-1		合計	1点	
		石器	小計	1点	
			Uフレイク	1点	
	HP-10 覆土1層		合計	5点	
		石器	小計	5点	
			加工痕のある礫	1点	
			フレイク・チップ	4点	
HP-10 覆土		合計	1点		
	石器	小計	1点		
		Uフレイク	1点		
CH 9	覆土1層		総計	3708点	
			合計	560点	
			土器	小計	400点
			IIIa		318点
			IIIb		82点
		石器	小計	159点	
		スクレイパー		3点	
		Uフレイク		2点	
		石斧		1点	
		たたき石		1点	
	扁平打製石器		6点		
	すり石		1点		
	台石・石皿		15点		
	フレイク・チップ		66点		
	礫		64点		
	石製品	小計	1点		
			石棒	1点	
	覆土2層		合計	1817点	
		土器	小計	1469点	
		IIIa		1390点	
		IIIb		78点	
		IVa		1点	
		石器	小計	347点	
			ポイント・ナイフ	2点	
			石鏃	3点	
			つまみ付ナイフ	1点	
			スクレイパー	4点	
		Rフレイク	2点		
		Uフレイク	4点		
		石斧	1点		
		たたき石	3点		
		扁平打製石器	7点		
		すり石	3点		
		石鏃	1点		
		台石・石皿	4点		
		有意的礫	2点		
		フレイク・チップ	227点		
		石核	1点		
		原石	1点		
		礫	81点		
	土製品	小計	1点		
		有孔土製円盤	1点		
覆土3層		合計	253点		
	土器	小計	207点		
	IIIa		204点		
	IIIb		3点		
	石器	小計	46点		
		スクレイパー	2点		
		Rフレイク	1点		
		フレイク・チップ	39点		
		原石	2点		
		礫	2点		
覆土4層		合計	644点		
	土器	小計	495点		
	IIIa		465点		
	IIIb		30点		
	石器	小計	148点		
		石鏃	1点		
		つまみ付ナイフ	1点		
		スクレイパー	5点		
		Rフレイク	7点		
		すり石	2点		
		台石・石皿	1点		
		加工痕のある礫	3点		
		フレイク・チップ	101点		
		石核	2点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CH10	床	原石		2点	
		礫		24点	
		土製品	小計	1点	
			有孔土製円盤	1点	
	覆土		合計	4点	
		土器	小計	2点	
			Ⅲa	1点	
		石器	Ⅳa	1点	
	小計		2点		
		フレイク・チップ	2点		
	床		合計	419点	
		土器	小計	237点	
			Ⅲa	237点	
		石器	小計	181点	
			石鎌	2点	
			スクレイパー	6点	
			Rフレイク	6点	
			Uフレイク	5点	
			石斧	1点	
			すり石	1点	
			台石・石皿	1点	
			加工痕のある礫	2点	
			有意の礫	9点	
			フレイク・チップ	100点	
			原石	1点	
			礫	47点	
			石製品	小計	1点
		石製品		1点	
		HP-1		合計	2点
			土器	小計	2点
				Ⅲa	2点
		HP-2		合計	1点
			土器	小計	1点
	Ⅲa			1点	
	P-1 (HP-1?)		合計	7点	
		石器	小計	7点	
			フレイク・チップ	7点	
	P-2 (HP-2?)		合計	1点	
		石器	小計	1点	
			フレイク・チップ	1点	
	CH10		総計	354点	
		覆土1層		合計	265点
			土器	小計	154点
				Ⅲa	153点
				Ⅲb	1点
			石器	小計	111点
				つまみ付ナイフ	1点
スクレイパー				1点	
Uフレイク				1点	
たたき石				2点	
北海道式石冠				1点	
扁平打製石器				3点	
台石・石皿				2点	
フレイク・チップ				23点	
礫				77点	
覆土2層			合計	1点	
		土器	小計	1点	
			Ⅲa	1点	
覆土			合計	73点	
		土器	小計	31点	
			Ⅲa	31点	
		石器	小計	42点	
			スクレイパー	2点	
	たたき石		1点		
	フレイク・チップ		18点		
礫	21点				

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CH11	床		合計	6点	
		土器	小計	1点	
			Ⅲa	1点	
		石器	小計	5点	
			すり石	1点	
			フレイク・チップ	1点	
			原石	1点	
		礫	2点		
		HP-1		合計	9点
			土器	小計	3点
	Ⅲa			3点	
	石器		小計	6点	
			台石・石皿	1点	
			礫	5点	
	CH11			総計	3019点
		覆土1層		合計	1497点
			土器	小計	1095点
Ⅲa				458点	
Ⅲb				637点	
石器			小計	402点	
			ポイント・ナイフ	1点	
			石鎌	1点	
			石錐	1点	
			石錐	2点	
			スクレイパー	5点	
			Rフレイク	6点	
			Uフレイク	8点	
			たたき石	3点	
			扁平打製石器	9点	
すり石		2点			
台石・石皿		3点			
加工痕のある礫		1点			
フレイク・チップ		200点			
原石		7点			
礫		145点			
不明		8点			
覆土2層			合計	15点	
	土器	小計	8点		
		Ⅲa	8点		
	石器	小計	7点		
		フレイク・チップ	4点		
礫		3点			
覆土		合計	24点		
	土器	小計	12点		
		Ⅲa	12点		
	石器	小計	12点		
		フレイク・チップ	3点		
		礫	9点		
	床		合計	1445点	
土器		小計	302点		
		I a	1点		
		Ⅲa	270点		
石器		小計	1142点		
		石鎌	2点		
		つまみ付ナイフ	1点		
		スクレイパー	5点		
		Rフレイク	8点		
		Uフレイク	5点		
		石斧	3点		
	石斧片	1点			
たたき石	2点				
すり石	3点				
砥石	2点				
台石・石皿	4点				
加工痕のある礫	4点				

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CH12			炉石	1点	
			フレイク・チップ	72点	
			原石	2点	
			礫	866点	
			不明	161点	
		石製品	小計	1点	
			棒状礫	1点	
			合計	6点	
		HP-1	土器	小計	1点
			IIIa	1点	
			石器	小計	5点
			くぼみ石	1点	
			フレイク・チップ	3点	
			礫	1点	
		HP-2		合計	1点
		石器	小計	1点	
		つまみ付ナイフ	1点		
	HP-3		合計	3点	
		石器	小計	3点	
		フレイク・チップ	3点		
	HP-5		合計	2点	
		土器	小計	2点	
		IIIa	2点		
	HP-8		合計	3点	
		石器	小計	3点	
		フレイク・チップ	3点		
	HP-10		合計	4点	
		石器	小計	4点	
		フレイク・チップ	3点		
		礫	1点		
	HP-11		合計	1点	
		土器	小計	1点	
		IIIa	1点		
	HP-14		合計	1点	
		石器	小計	1点	
		フレイク・チップ	1点		
	HP-15		合計	4点	
		土器	小計	2点	
		IIIa	2点		
		石器	小計	2点	
		礫	2点		
	攪乱		合計	13点	
		土器	小計	12点	
		IIIa	12点		
		石器	小計	1点	
		扁平打製石器	1点		
	CH12		総計	6268点	
覆土1層		合計	2522点		
	土器	小計	1541点		
		IIIa	795点		
		IIIb	746点		
	石器	小計	980点		
		石鏃	2点		
		石錐	2点		
		スクレイパー	11点		
		Rフレイク	26点		
		扁平打製石器	3点		
		すり石	6点		
		台石・石皿片	2点		
		加工痕のある礫	2点		
		有意の礫	2点		
		フレイク・チップ	865点		
		石核	6点		
		原石	8点		
		礫	45点		
		土製品	小計	1点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
覆土2層			有孔土製円盤	1点
		合計	2173点	
	土器	小計	1738点	
		IIIa	595点	
		IIIb	1143点	
	石器	小計	432点	
		ポイント・ナイフ	1点	
		石鏃	2点	
		石錐	1点	
		スクレイパー	7点	
		Rフレイク	16点	
		Uフレイク	5点	
		石斧	1点	
		たたき石	1点	
		扁平打製石器	6点	
		すり石	2点	
		砥石	1点	
		台石・石皿	1点	
		加工痕のある礫	2点	
		有意の礫	3点	
		フレイク・チップ	206点	
		石核	5点	
		原石	6点	
		礫	166点	
		土製品	小計	3点
		有孔土製円盤	3点	
	覆土3層		合計	1132点
		土器	小計	962点
		IIIa	547点	
		IIIb	415点	
	石器	小計	170点	
		石鏃	2点	
		つまみ付ナイフ	1点	
		スクレイパー	8点	
		Rフレイク	8点	
		Uフレイク	4点	
		たたき石	2点	
		扁平打製石器	2点	
		すり石	2点	
		台石・石皿	1点	
		加工痕のある礫	1点	
		フレイク・チップ	60点	
		原石	2点	
		礫	77点	
	覆土4層		合計	63点
		土器	小計	49点
		IIIa	17点	
	IIIb	32点		
石器	小計	14点		
	フレイク・チップ	5点		
	礫	9点		
床		合計	363点	
	土器	小計	230点	
	IIIa	217点		
	IIIb	13点		
石器	小計	131点		
	スクレイパー	4点		
	Rフレイク	2点		
	Uフレイク	2点		
	石斧	1点		
	すり石	1点		
	台石・石皿片	1点		
	加工痕のある礫	1点		
	フレイク・チップ	51点		
	原石	1点		
	礫	67点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CH13		土製品	小計	2点	
			土製品	1点	
			焼成粘土塊	1点	
	HP-1	土器	合計	1点	
			小計	1点	
	HP-2	土器	IIIa	1点	
			合計	5点	
			小計	5点	
	HP-3	石器	IIIa	5点	
			合計	2点	
			小計	2点	
	HP-5	土器	フレイク・チップ	2点	
			合計	6点	
	HP-9	土器	IIIa	6点	
			合計	1点	
			小計	1点	
	CH13			IIIa	1点
合計				4509点	
小計				4509点	
CH13	覆土1層		合計	1324点	
			土器	小計	689点
				IIIa	288点
				IIIb	401点
			石器	小計	635点
				つまみ付ナイフ	1点
				スクレイパー	8点
				Rフレイク	1点
				Uフレイク	40点
				石斧片	1点
				たたき石	8点
				扁平打製石器	5点
				砥石	1点
				石錘	1点
			台石・石皿	5点	
	フレイク・チップ	237点			
	原石	1点			
	礫	326点			
	覆土2層		合計	1857点	
			土器	小計	1042点
				IIIa	540点
				IIIb	502点
			石器	小計	813点
				石銛	1点
				石鎌	25点
				スクレイパー	7点
				Rフレイク	1点
				Uフレイク	8点
				たたき石	10点
				扁平打製石器	4点
				すり石	1点
				砥石	1点
				石錘	1点
台石・石皿				10点	
フレイク・チップ				235点	
原石				7点	
礫	502点				
土製品	小計	2点			
	有孔土製円盤	2点			
覆土3層		合計	663点		
		土器	小計	467点	
			IIIa	344点	
			IIIb	123点	
		石器	小計	196点	
			スクレイパー	1点	
			Uフレイク	4点	
たたき石	1点				

遺構名	層位	遺物名	分類	点数		
			扁平打製石器	5点		
			砥石	1点		
			台石・石皿	1点		
			加工痕のある礫	1点		
			フレイク・チップ	53点		
			礫	129点		
			合計	1点		
	覆土4層	土器	小計	1点		
			IIIa	1点		
			合計	54点		
	覆土5層	土器	小計	37点		
			IIIa	28点		
			IIIb	9点		
			石器	小計	17点	
				石鎌	2点	
				スクレイパー	1点	
				たたき石	1点	
フレイク・チップ			3点			
礫			10点			
覆土				合計	394点	
	土器	小計		362点		
		IIIa		287点		
		IIIb		75点		
	石器	小計		32点		
		たたき石		1点		
		砥石		1点		
		フレイク・チップ		7点		
		礫		23点		
		合計		193点		
	床	土器		小計	108点	
				IIIa	104点	
				IIIb	4点	
				石器	小計	84点
					スクレイパー	2点
					Rフレイク	1点
					Uフレイク	5点
たたき石			1点			
すり石			2点			
台石・石皿			2点			
炉石	14点					
フレイク・チップ	15点					
礫	42点					
土製品	小計	1点				
	耳栓	1点				
HP-1	石器	合計	1点			
		小計	1点			
HP-2	土器	フレイク・チップ	1点			
		合計	7点			
HP-2	土器	小計	7点			
		IIIa	7点			
HP-3	土器	合計	1点			
		小計	1点			
HP-3	土器	IIIa	1点			
		合計	6点			
HP-5	土器	小計	3点			
		IIIa	3点			
		石器	小計	3点		
HP-5	石器	フレイク・チップ	1点			
		礫	2点			
HP-7	土器	合計	2点			
		小計	1点			
		IIIa	1点			
HP-7	石器	小計	1点			
		礫	1点			
HP-8	土器	合計	5点			
		小計	5点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
	HP-9		IIIa	5点
			合計	1点
		土器		小計 1点
			IIIa	1点
CH14	覆土1層			合計 1902点
			合計	981点
		土器		小計 671点
			IIIa	297点
			IIIb	374点
		石器		小計 310点
			スクレイパー	4点
			Uフレイク	11点
			石斧片	1点
			たたき石	3点
			扁平打製石器	2点
			台石・石皿	3点
			加工痕のある礫	1点
			フレイク・チップ	179点
			石核	4点
			原石	2点
			礫	100点
			合計	166点
	覆土2層	土器		小計 102点
			IIIa	80点
			IIIb	22点
		石器		小計 64点
			スクレイパー	1点
			Uフレイク	2点
			たたき石	1点
			フレイク・チップ	14点
			礫	46点
			合計	487点
	覆土3層	土器		小計 360点
			I b-4	16点
			IIIa	154点
			IIIb	190点
		石器		小計 126点
			スクレイパー	3点
			Uフレイク	4点
			すり石	1点
			加工痕のある礫	1点
			フレイク・チップ	24点
			礫	93点
		土製品		小計 1点
			有孔土製円盤	1点
			合計	268点
	床	土器		小計 199点
			IIIa	109点
			IIIb	90点
		石器		小計 66点
			スクレイパー	1点
			Rフレイク	3点
			Uフレイク	1点
			使用痕のある礫	1点
			炉石	9点
			フレイク・チップ	19点
			礫	32点
		土製品		小計 2点
			有孔土製円盤	1点
			土製品	1点
		石製品		小計 1点
			棒状礫	1点
CH15	覆土1層			合計 5212点
			合計	3981点
		土器		小計 3463点
			II b	1点

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
			IIIa	3403点
			IIIb	58点
			III a or b	1点
		石器		小計 515点
			ポイント・ナイフ	2点
			石鏃	5点
			つまみ付ナイフ	1点
			スクレイパー	15点
			Rフレイク	36点
			Uフレイク	9点
			石斧	2点
			北海道式石冠	2点
			すり石	16点
			砥石	3点
			台石・石皿	8点
			加工痕のある礫	2点
			有意の礫	1点
			フレイク・チップ	301点
			石核	1点
			原石	2点
			礫	109点
		土製品		小計 2点
			焼成粘土塊	2点
		石製品		小計 1点
			三角形石製品	1点
			合計	38点
	覆土2層	土器		小計 20点
			IIIa	20点
		石器		小計 18点
			Rフレイク	3点
			有意の礫	1点
			フレイク・チップ	12点
			礫	2点
			合計	1143点
	床	土器		小計 907点
			IIIa	879点
			IIIb	28点
		石器		小計 236点
			ポイント・ナイフ	1点
			石鏃	3点
			石錐	1点
			スクレイパー	7点
			Rフレイク	10点
			Uフレイク	3点
			石斧	2点
			扁平打製石器	1点
			すり石	6点
			台石・石皿	11点
			加工痕のある礫	5点
			フレイク・チップ	78点
			原石	5点
			礫	103点
HP-18			合計	3点
		土器		小計 3点
			IIIa	3点
			合計	5点
HP-19		土器		小計 3点
			IIIa	3点
		石器		小計 2点
			台石・石皿	1点
			フレイク・チップ	1点
			合計	2点
HP-20		土器		小計 2点
			IIIa	2点
HP-21			合計	4点
		土器		小計 4点

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
	HP-25		IIIa	4点	
			合計	1点	
	HP-26	土器		小計	1点
				IIIa	1点
			合計	35点	
		土器		小計	1点
				IIIa	1点
		石器		小計	34点
			ポイント・ナイフ	1点	
			石鏃	1点	
		フレイク・チップ	32点		
CH16			総計	9463点	
覆土1層			合計	5668点	
	土器		小計	4711点	
			IIIa	3705点	
			IIIb	1006点	
	石器		小計	956点	
			ポイント・ナイフ	6点	
			石鏃	8点	
			スクレイパー	27点	
			Rフレイク	42点	
			Uフレイク	13点	
		石斧	3点		
		たたき石	8点		
		北海道式石冠	2点		
		扁平打製石器	13点		
		すり石	9点		
		砥石	1点		
		台石・石皿	8点		
		加工痕のある礫	9点		
		有意の礫	1点		
		フレイク・チップ	537点		
		石核	3点		
		原石	7点		
		礫	259点		
石製品		小計	1点		
		石製品	1点		
覆土2層			合計	709点	
	土器		小計	613点	
			IIIa	600点	
			IIIb	13点	
	石器		小計	96点	
			石鏃	1点	
			スクレイパー	2点	
			Rフレイク	10点	
			Uフレイク	6点	
			たたき石	1点	
		扁平打製石器	1点		
		すり石	1点		
		台石・石皿	1点		
		加工痕のある礫	3点		
		フレイク・チップ	56点		
	石核	1点			
	原石	1点			
	礫	12点			
覆土3層			合計	140点	
	土器		小計	114点	
			IIIa	114点	
石器		小計	26点		
		Rフレイク	4点		
		フレイク・チップ	9点		
		原石	1点		
		礫	12点		
覆土			合計	435点	
	土器		小計	411点	
		IIIa	394点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
			IIIb	17点	
			小計	22点	
	石器		スクレイパー	2点	
			石斧	1点	
			フレイク・チップ	16点	
			礫	3点	
	自然遺物		小計	2点	
			高師小僧	2点	
	床			合計	2338点
		土器		小計	1980点
			IIIa	1895点	
		IIIb	85点		
石器			小計	354点	
			ポイント・ナイフ	1点	
			石鏃	4点	
			スクレイパー	11点	
			Rフレイク	18点	
			Uフレイク	7点	
		石斧	3点		
		たたき石	1点		
		すり石	8点		
		台石・石皿	8点		
		加工痕のある礫	6点		
		フレイク・チップ	104点		
	石核	1点			
	原石	5点			
	礫	177点			
土製品		小計	3点		
		焼成粘土塊	3点		
石製品		小計	1点		
		三角形石製品	1点		
HP-1			合計	35点	
	土器		小計	4点	
			IIIa	4点	
石器		小計	31点		
		Uフレイク	1点		
		フレイク・チップ	16点		
		礫	14点		
HP-2			合計	18点	
	土器		小計	13点	
			IIIa	13点	
石器		小計	5点		
		Rフレイク	1点		
		Uフレイク	1点		
		フレイク・チップ	3点		
HP-3			合計	32点	
	土器		小計	24点	
			IIIa	24点	
石器		小計	8点		
		スクレイパー	1点		
		すり石	1点		
		フレイク・チップ	5点		
		原石	1点		
HP-4			合計	5点	
	土器		小計	3点	
			IIIa	3点	
石器		小計	2点		
		フレイク・チップ	2点		
HP-5			合計	5点	
	土器		小計	4点	
			IIIa	4点	
石器		小計	1点		
		礫	1点		
HP-6			合計	11点	
	土器		小計	6点	
		IIIa	6点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
		石器	小計	5点	
			Rフレイク フレイク・チップ	1点 4点	
		合計	18点		
	HP-7	土器	小計	15点	
			Ⅲa	15点	
		石器	小計	3点	
			すり石	1点	
			加工痕のある礫	1点	
			フレイク・チップ	1点	
	合計	16点			
	HP-8	土器	小計	1点	
			Ⅲa	1点	
		石器	小計	15点	
			たたき石	1点	
			フレイク・チップ	14点	
			合計	3点	
	HP-10	土器	小計	2点	
			Ⅲa	2点	
		石器	小計	1点	
			フレイク・チップ	1点	
			合計	1点	
			石器	小計	1点
	礫	1点			
	合計	4点			
HP-16	土器	小計	4点		
		Ⅲa	2点		
	Ⅲb	2点			
合計	14点				
HP-17	土器	小計	14点		
		Ⅲa	14点		
合計	2点				
HP-22	石器	小計	2点		
		フレイク・チップ	2点		
合計	7点				
HP-23	土器	小計	5点		
		Ⅲa	5点		
	石器	小計	2点		
		フレイク・チップ	2点		
		合計	2点		
		土器	小計	2点	
Ⅲa	2点				
CH17			総計	1106点	
覆土1層			合計	685点	
			土器	小計	526点
				Ⅲa	261点
			Ⅲb	265点	
			石器	小計	158点
				石鎌	1点
				スクレイパー	2点
				Rフレイク	4点
				たたき石	2点
				北海道式石冠	1点
				扁平打製石器	1点
				すり石	5点
				台石・石皿	5点
	加工痕のある礫	5点			
フレイク・チップ	69点				
原石	4点				
礫	59点				
石製品	小計	1点			
	石製品	1点			
合計	36点				
覆土2層	土器	小計	36点		
		Ⅲa	29点		
		Ⅲb	7点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
	覆土		合計	28点	
			土器	小計	24点
				Ⅲa	19点
	Ⅲb	5点			
	石器	小計	4点		
		Rフレイク	1点		
		礫	3点		
	合計	252点			
	床	土器	小計	156点	
			Ⅲa	146点	
			Ⅲb	10点	
		石器	小計	96点	
			スクレイパー	2点	
			Rフレイク	1点	
			Uフレイク	1点	
			石斧	1点	
			すり石	1点	
			台石・石皿	7点	
			フレイク・チップ	34点	
	石核	1点			
	原石	1点			
	礫	47点			
	HP-1		合計	3点	
	土器	小計	3点		
Ⅲa		3点			
HP-2		合計	1点		
石器	小計	1点			
	礫	1点			
HP-3		合計	4点		
土器	小計	3点			
	Ⅲa	3点			
石器	小計	1点			
	礫	1点			
HP-4		合計	2点		
土器	小計	1点			
	Ⅲb	1点			
石器	小計	1点			
	礫	1点			
HP-5		合計	2点		
石器	小計	2点			
	フレイク・チップ	2点			
HP-6		合計	24点		
土器	小計	23点			
	Ⅲb	23点			
石器	小計	1点			
	スクレイパー	1点			
HP-7		合計	11点		
土器	小計	8点			
	Ⅲa	8点			
石器	小計	3点			
	フレイク・チップ	2点			
礫	1点				
HP-8		合計	2点		
土器	小計	2点			
	Ⅲa	2点			
HP-9		合計	4点		
土器	小計	3点			
	Ⅲa	3点			
石器	小計	1点			
	フレイク・チップ	1点			
HP-10		合計	24点		
土器	小計	22点			
	Ⅲa	20点			
Ⅲb	2点				
	石器	小計	2点		
フレイク・チップ		1点			

第1分冊（文章編）

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CH18	HP-11		礫	1点	
			合計	3点	
		土器	小計	3点	
	HP-28		IIIa	3点	
			合計	2点	
		土器	小計	2点	
	HP-33		IIIa	2点	
			合計	1点	
		土器	小計	1点	
	HP-37 覆土1層		IIIa	1点	
			合計	1点	
		石器	小計	1点	
	HP-37 覆土		すり石	1点	
			合計	21点	
		土器	小計	20点	
			IIIa	20点	
			石器	小計	1点
			フレイク・チップ	1点	
		合計	5385点		
CH18	覆土1層		合計	3719点	
		土器	小計	2868点	
			IIb	412点	
			IIIa	861点	
			IIIb	1595点	
		石器	小計	842点	
			ポイント・ナイフ	1点	
			石鏃	3点	
			つまみ付ナイフ	1点	
			スクレイパー	10点	
			Rフレイク	50点	
			Uフレイク	17点	
			石斧	5点	
			たたき石	7点	
			北海道式石冠	2点	
			扁平打製石器	3点	
			すり石	15点	
			砥石	1点	
			台石・石皿	10点	
			加工痕のある礫	11点	
			フレイク・チップ	423点	
		石核	9点		
		原石	12点		
		礫	262点		
	土製品	小計	5点		
		有孔土製円盤	3点		
		焼成粘土塊	2点		
	石製品	小計	4点		
		石製品	4点		
	覆土2層		合計	166点	
		土器	小計	148点	
			IIIa	3点	
			IIIb	145点	
		石器	小計	18点	
			たたき石	1点	
			台石・石皿	2点	
			フレイク・チップ	9点	
			原石	1点	
			礫	5点	
		覆土3層		合計	589点
	土器		小計	426点	
			IIIa	260点	
			IIIb	166点	
	石器		小計	163点	
			スクレイパー	4点	
			Rフレイク	8点	
		Uフレイク	3点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CH19	床		石斧	1点
			たたき石	2点
			扁平打製石器	1点
			すり石	4点
			台石・石皿	2点
			フレイク・チップ	36点
			石核	1点
			原石	1点
			礫	100点
			合計	872点
	HP	土器	小計	531点
			IIIa	451点
			IIIb	80点
		石器	小計	341点
			石鏃	2点
			スクレイパー	5点
			Rフレイク	14点
			Uフレイク	2点
			石斧	1点
			たたき石	1点
			すり石	6点
	台石・石皿	1点		
	加工痕のある礫	6点		
	フレイク・チップ	87点		
	石核	1点		
	原石	3点		
	礫	212点		
	合計	3点		
HP	石器	小計	3点	
		石鏃	1点	
	礫	2点		
HP-1		合計	2点	
	土器	小計	1点	
		IIIa	1点	
HP-3	石器	小計	1点	
		石鏃	1点	
HP-6		合計	4点	
	土器	小計	3点	
		IIIa	3点	
	石器	小計	1点	
	フレイク・チップ	1点		
HP-7		合計	5点	
	土器	小計	3点	
		IIIa	3点	
HP-9	石器	小計	2点	
		Rフレイク	1点	
	台石・石皿	1点		
HP-15		合計	2点	
	石器	小計	2点	
	礫	2点		
HP-16		合計	8点	
	土器	小計	8点	
	IIIa	8点		
HP-17		合計	1点	
	石器	小計	1点	
	フレイク・チップ	1点		
HP-18		合計	1点	
	土器	小計	1点	
	IIIa	1点		
HP-19		合計	6点	
	土器	小計	6点	
		IIIa	6点	
HP-20		合計	7点	
	土器	小計	7点	
	IIIa	7点		
	合計	1187点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CH20	覆土1層		合計	920点
		土器	小計	578点
			Ⅲa	341点
			Ⅲb	237点
			石器	小計
			ポイント・ナイフ	1点
			石鏃	1点
			スクレイパー	5点
			Rフレイク	14点
			Uフレイク	1点
			石斧	1点
			すり石	3点
			砥石	1点
			加工痕のある礫	6点
			フレイク・チップ	285点
		原石	3点	
		礫	21点	
	覆土2層		合計	85点
		土器	小計	65点
			Ⅲa	56点
			Ⅲb	9点
		石器	小計	20点
			スクレイパー	3点
	Uフレイク		2点	
	フレイク・チップ		6点	
		礫	9点	
	覆土4層		合計	2点
		土器	小計	2点
			Ⅲa	2点
	覆土		合計	63点
		土器	小計	52点
			Ⅲa	25点
			Ⅲb	27点
石器		小計	9点	
		台石・石皿	1点	
		フレイク・チップ	8点	
土製品		小計	1点	
		焼成粘土塊	1点	
石製品		小計	1点	
	石製品	1点		
床		合計	117点	
	土器	小計	78点	
		Ⅲa	56点	
		Ⅲb	22点	
	石器	小計	39点	
		石鏃	1点	
		スクレイパー	1点	
		Rフレイク	1点	
		すり石	1点	
		砥石	1点	
フレイク・チップ		10点		
原石	1点			
礫	23点			
CH20		総計	994点	
	覆土1層		合計	634点
土器		小計	489点	
		Ⅲa	403点	
		Ⅲb	86点	
		石器	小計	145点
つまみ付ナイフ			2点	
スクレイパー			3点	
Rフレイク			1点	
石斧			1点	
北海道式石冠			1点	
扁平打製石器			1点	
すり石			5点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CH21	床		台石・石皿	5点	
			加工痕のある礫	2点	
			フレイク・チップ	49点	
			原石	4点	
			礫	71点	
			合計	324点	
		HP-1	土器	小計	249点
				Ⅲa	248点
				Ⅲb	1点
			石器	小計	75点
				ポイント・ナイフ	3点
				石鏃	1点
			つまみ付ナイフ	1点	
			スクレイパー	2点	
			Rフレイク	2点	
		扁平打製石器	1点		
		加工痕のある礫	1点		
		フレイク・チップ	13点		
		原石	2点		
		礫	49点		
	HP-9		合計	27点	
		土器	小計	10点	
			Ⅲa	10点	
		石器	小計	17点	
	Uフレイク		1点		
		フレイク・チップ	10点		
		礫	6点		
	HP-11		合計	1点	
		土器	小計	1点	
			Ⅲa	1点	
	HP-13		合計	1点	
		石器	小計	1点	
			礫	1点	
HP-14		合計	5点		
	土器	小計	4点		
		Ⅲa	4点		
	石器	小計	1点		
礫		1点			
HP-16		合計	1点		
	石器	小計	1点		
		礫	1点		
CH21		総計	684点		
	覆土1層		合計	558点	
		土器	小計	469点	
			Ⅲa	454点	
			Ⅲb	15点	
		石器	小計	89点	
			ポイント・ナイフ	1点	
			スクレイパー	4点	
			Rフレイク	4点	
			たたき石	1点	
			北海道式石冠	2点	
	扁平打製石器		3点		
	すり石	3点			
	台石・石皿	2点			
	加工痕のある礫	1点			
	フレイク・チップ	46点			
	礫	22点			
覆土2層		合計	1点		
	石器	小計	1点		
		フレイク・チップ	1点		
床		合計	125点		
	土器	小計	106点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数		
CH22		石器	IIIa	106点		
			小計	19点		
			Rフレイク	2点		
			台石・石皿	1点		
			フレイク・チップ	8点		
			礫	8点		
			合計	3604点		
	覆土1層			合計	688点	
		土器		小計	473点	
			IIIa	467点		
			IIIb	6点		
		石器		小計	213点	
			つまみ付ナイフ	2点		
			スクレイパー	13点		
			Rフレイク	16点		
			Uフレイク	5点		
			たたき石	1点		
			北海道式石冠	3点		
			扁平打製石器	2点		
			すり石	2点		
			台石・石皿	2点		
			加工痕のある礫	4点		
			フレイク・チップ	115点		
			石核	1点		
			礫	47点		
			土製品		小計	1点
		土製品		1点		
		石製品		小計	1点	
			有孔石	1点		
				合計	1871点	
		覆土2層	土器		小計	1571点
				IIIa	1550点	
				IIIb	21点	
			石器		小計	299点
	ポイント・ナイフ			1点		
	石鏃			1点		
	スクレイパー			8点		
	Rフレイク			15点		
	たたき石			1点		
	北海道式石冠			7点		
	扁平打製石器			3点		
	すり石			5点		
	砥石			1点		
	台石・石皿			4点		
	加工痕のある礫			11点		
	フレイク・チップ			121点		
	石核			3点		
原石	5点					
礫	113点					
土製品		小計	1点			
	焼成粘土塊	1点				
		合計	31点			
覆土3層	土器		小計	28点		
		IIIa	28点			
	石器		小計	3点		
		たたき石	1点			
	礫	2点				
		合計	385点			
覆土	土器		小計	309点		
		IIIa	309点			
	石器		小計	76点		
		石鏃	2点			
		つまみ付ナイフ	1点			
		スクレイパー	3点			
	Rフレイク	14点				
	フレイク・チップ	47点				

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CH23	床		礫	9点	
			合計	504点	
		土器		小計	368点
			IIIa	368点	
		石器		小計	135点
			ポイント・ナイフ	1点	
			石鏃	2点	
			スクレイパー	3点	
			Rフレイク	2点	
			Uフレイク	2点	
			石斧	1点	
			たたき石	1点	
			すり石	2点	
			台石・石皿	8点	
			加工痕のある礫	2点	
	フレイク・チップ		28点		
	石核		2点		
	原石	1点			
	礫	80点			
	土製品		小計	1点	
		焼成粘土塊	1点		
			合計	30点	
	HP-1 覆土2層	土器		小計	12点
			IIIa	12点	
		石器		小計	17点
			Rフレイク	1点	
			フレイク・チップ	6点	
			石核	1点	
			礫	9点	
	石製品		小計	1点	
		石製品	1点		
			合計	80点	
	HP-1 覆土	土器		小計	65点
			IIIa	65点	
		石器		小計	15点
			Rフレイク	1点	
		フレイク・チップ	10点		
		礫	4点		
			合計	2点	
	HP-2	土器		小計	1点
			IIIa	1点	
		石器		小計	1点
	礫		1点		
			合計	1点	
	HP-3	石器		小計	1点
			北海道式石冠	1点	
			合計	5点	
HP-4	石器		小計	5点	
		礫	5点		
		合計	1点		
HP-6	石器		小計	1点	
		礫	1点		
		合計	1点		
HP-11	石器		小計	1点	
		フレイク・チップ	1点		
		合計	2点		
HP-14	石器		小計	2点	
		フレイク・チップ	2点		
		合計	1点		
HP-25	土器		小計	1点	
		IIIa	1点		
		合計	2点		
HP-27	石器		小計	2点	
		フレイク・チップ	2点		
		合計	64点		
覆土1層			合計	23点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CH24	覆土	土器	小計	20点
			Ⅲa	20点
		石器	小計	3点
			すり石	1点
			フレイク・チップ	1点
		原石		1点
			合計	1点
		土器	小計	1点
			フレイク・チップ	1点
		床	合計	37点
	土器		小計	16点
			Ⅲa	16点
	石器		小計	21点
			石鎌	1点
		スクレイパー	1点	
	Uフレイク	1点		
	フレイク・チップ	13点		
	礫	5点		
	HP-1	合計	2点	
		石器	小計	2点
	フレイク・チップ		2点	
	HP-2	合計	1点	
		石器	小計	1点
	フレイク・チップ		1点	
	CH24		合計	1872点
	CH24	覆土1層	合計	1255点
			土器	小計
Ⅱb				20点
Ⅲa			891点	
石器			小計	344点
			ポイント・ナイフ	2点
			石鎌	4点
			スクレイパー	1点
			Rフレイク	9点
			Uフレイク	2点
		石斧	2点	
		たたき石	1点	
		北海道式石冠	1点	
		すり石	2点	
		砥石	2点	
		加工痕のある礫	2点	
		フレイク・チップ	117点	
原石		11点		
礫		188点		
床		合計	481点	
		土器	小計	302点
			Ⅲa	301点
			Ⅲb	1点
		石器	小計	179点
			ポイント・ナイフ	2点
			石鎌	4点
			スクレイパー	2点
	Rフレイク		4点	
	Uフレイク		1点	
	石斧		2点	
	たたき石		2点	
	北海道式石冠		1点	
	すり石		1点	
フレイク・チップ	30点			
原石	2点			
礫	128点			
HP-3	合計	100点		
	土器	小計	79点	
		Ⅲa	79点	
	石器	小計	21点	
フレイク・チップ		1点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CH25	HP-5	礫		20点
		合計	4点	
		石器	小計	4点
	礫		4点	
	HP-6	合計	6点	
		土器	小計	5点
			Ⅲa	5点
		石器	小計	1点
	フレイク・チップ		1点	
	HP-9	合計	1点	
		石器	小計	1点
	フレイク・チップ		1点	
	HP-21	合計	11点	
		土器	小計	6点
			Ⅲa	6点
		石器	小計	5点
	フレイク・チップ		5点	
	HP-22	合計	1点	
		石器	小計	1点
			礫	1点
	HP-25	合計	6点	
		土器	小計	4点
			Ⅲa	4点
		石器	小計	2点
	礫		2点	
	HP-37	合計	7点	
		石器	小計	7点
スクレイパー			1点	
フレイク・チップ	2点			
礫	4点			
CH25		合計	2983点	
CH25	覆土1層	合計	1050点	
		土器	小計	769点
			Ⅲa	767点
		Ⅲb	2点	
		石器	小計	281点
			ポイント・ナイフ	1点
			石鎌	4点
			つまみ付ナイフ	1点
			スクレイパー	9点
			Rフレイク	15点
	Uフレイク		2点	
	たたき石		3点	
	北海道式石冠		3点	
	扁平打製石器		1点	
	すり石		3点	
	台石・石皿		1点	
	加工痕のある礫		7点	
	フレイク・チップ	170点		
	石核	3点		
	原石	6点		
	礫	52点		
	覆土2層	合計	1583点	
		土器	小計	1298点
			Ⅲa	1295点
			Ⅲb	2点
	Ⅲ a or b	1点		
	石器	小計	284点	
石鎌		3点		
スクレイパー		5点		
Rフレイク		16点		
Uフレイク		2点		
石斧		3点		
石斧片		1点		
たたき石	2点			
扁平打製石器	2点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数		
CH26			すり石	8点		
			台石・石皿	1点		
			加工痕のある礫	6点		
			フレイク・チップ	97点		
			石核	1点		
			原石	5点		
			礫	132点		
			土製品	小計	1点	
			土偶	1点		
			合計	302点		
		床		土器	小計	223点
				I b-4	1点	
				III a	221点	
				III a or b	1点	
				石器	小計	78点
				ポイント・ナイフ	1点	
				石鏃	4点	
				スクレイパー	4点	
				Rフレイク	5点	
				Uフレイク	1点	
	すり石	1点				
	砥石	2点				
	台石・石皿	1点				
	台石・石皿	2点				
	加工痕のある礫	1点				
	フレイク・チップ	19点				
	原石	1点				
	礫	36点				
	石製品	小計	1点			
	石製品	1点				
	合計	32点				
		HP-1		土器	小計	11点
				III a	11点	
				石器	小計	21点
				扁平打製石器	1点	
				フレイク・チップ	1点	
				礫	19点	
		HP-2		合計	2点	
				石器	小計	2点
				Rフレイク	1点	
				フレイク・チップ	1点	
		HP-4		合計	8点	
				土器	小計	6点
				III a	6点	
				石器	小計	2点
				礫	2点	
		HP-5		合計	2点	
				土器	小計	2点
				III a	2点	
		HP-11		合計	2点	
				土器	小計	2点
				III a	2点	
		HP-12		合計	1点	
				土器	小計	1点
				III a	1点	
		HP-37		合計	1点	
				土器	小計	1点
				III a	1点	
		CH26		合計	2087点	
				覆土1層	合計	1161点
				土器	小計	762点
				III a	760点	
				III b	2点	
				石器	小計	399点
				ポイント・ナイフ	1点	
				スクレイパー	11点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数		
CH27			Rフレイク	7点		
			たたき石	1点		
			北海道式石冠	1点		
			扁平打製石器	1点		
			すり石	5点		
			砥石	1点		
			台石・石皿	7点		
			加工痕のある礫	4点		
			フレイク・チップ	291点		
			石核	1点		
	原石	9点				
	礫	59点				
	合計	127点				
		覆土2層		土器	小計	114点
				III a	114点	
				石器	小計	13点
				石鏃	1点	
				スクレイパー	1点	
				加工痕のある礫	1点	
				フレイク・チップ	9点	
				礫	1点	
				合計	68点	
					覆土3層	
	III a	54点				
	石器	小計	14点			
	Uフレイク	1点				
	石斧	1点				
	すり石	2点				
	台石・石皿	2点				
	加工痕のある礫	1点				
	フレイク・チップ	1点				
	礫	6点				
	合計	361点				
		覆土		土器	小計	361点
				III a	361点	
		床		合計	365点	
				土器	小計	321点
				III a	321点	
				石器	小計	42点
				石鏃	1点	
				スクレイパー	3点	
				Rフレイク	2点	
				Uフレイク	1点	
				扁平打製石器	1点	
				すり石	2点	
	砥石	1点				
	台石・石皿	2点				
	フレイク・チップ	15点				
	礫	14点				
	土製品	小計	2点			
				焼成粘土塊	2点	
		HP-1		合計	2点	
				石器	小計	2点
				礫	2点	
		HP-7		合計	2点	
				石器	小計	2点
				Rフレイク	1点	
				フレイク・チップ	1点	
		HP-9		合計	1点	
				土器	小計	1点
				III a	1点	
		CH27		合計	479点	
				覆土1層	合計	337点
				土器	小計	236点
				III a	145点	
				III b	91点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数				
		石器	小計	101点				
			扁平打製石器	1点				
			すり石	1点				
			台石・石皿	4点				
			フレイク・チップ	38点				
			礫	57点				
	床			合計	139点			
				土器	小計	76点		
					Ⅲa	76点		
				石器	小計	63点		
					スクレイパー	1点		
					Rフレイク	1点		
					すり石	1点		
					加工痕のある礫	1点		
					フレイク・チップ	24点		
					石核	2点		
					礫	33点		
				HP-1 覆土1層	合計	1点		
				石器	小計	1点		
					石鏃	1点		
HP-1 覆土	合計	2点						
土器	小計	2点						
	Ⅲa	2点						
CH28			総計	40点				
覆土1層			合計	21点				
			土器	小計	10点			
				Ⅲa	10点			
			石器	小計	11点			
				加工痕のある礫	1点			
				フレイク・チップ	7点			
				礫	3点			
			床			合計	19点	
						土器	小計	18点
							Ⅲa	18点
石器	小計	1点						
	台石・石皿	1点						
CH29			総計	3340点				
覆土1層			合計	1681点				
			土器	小計	1261点			
				Ⅲa	1159点			
				Ⅲb	101点			
				Vc	1点			
				石器	小計	419点		
			石鏃	4点				
			つまみ付ナイフ	1点				
			スクレイパー	6点				
			Rフレイク	23点				
			Uフレイク	3点				
			石斧	1点				
			たたき石	1点				
			北海道式石冠	1点				
			すり石	2点				
			加工痕のある礫	3点				
			フレイク・チップ	221点				
			石核	3点				
			原石	3点				
			礫	147点				
土製品	小計	1点						
	有孔土製円盤	1点						
覆土2層			合計	1126点				
			土器	小計	760点			
				Ⅲa	636点			
				Ⅲb	124点			
			石器	小計	362点			
				石鏃	3点			
				石錐	2点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数				
			スクレイパー	5点				
			Rフレイク	8点				
			Uフレイク	4点				
			石斧	1点				
			たたき石	1点				
			すり石	5点				
			加工痕のある礫	7点				
			フレイク・チップ	219点				
			石核	5点				
			原石	7点				
			礫	95点				
			土製品	小計	2点			
				有孔土製円盤	2点			
			石製品	小計	2点			
				石製品	1点			
			石製品	1点				
			覆土上			合計	24点	
						土器	小計	18点
							Ⅲa	18点
						石器	小計	4点
Rフレイク	1点							
フレイク・チップ	2点							
礫	1点							
土製品	小計	2点						
	Ⅲa	2点						
床						合計	484点	
			土器	小計	335点			
				Ⅲa	319点			
				Ⅲb	15点			
			Ⅳa	1点				
			石器	小計	148点			
				ポイント・ナイフ	1点			
				つまみ付ナイフ	1点			
				スクレイパー	3点			
				Rフレイク	9点			
Uフレイク	3点							
たたき石	3点							
北海道式石冠	1点							
すり石	1点							
台石・石皿	3点							
加工痕のある礫	4点							
フレイク・チップ	38点							
原石	2点							
礫	79点							
土製品	小計	1点						
	土玉	1点						
HP-2	合計	6点						
土器	小計	5点						
	Ⅲa	5点						
	石器	小計	1点					
礫		1点						
HP-7	合計	3点						
土器	小計	3点						
	Ⅲa	3点						
HP-20	合計	1点						
石器	小計	1点						
	フレイク・チップ	1点						
HP-21	合計	1点						
石器	小計	1点						
	フレイク・チップ	1点						
HP-26	合計	3点						
土器	小計	3点						
	Ⅲa	3点						
HP-27	合計	5点						
土器	小計	5点						
	Ⅲa	5点						

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
HP-32	HP-32		合計	1点	
		土器		小計	1点
			IIIa		1点
	HP-33		合計	5点	
		土器		小計	2点
			IIIa		2点
		石器		小計	3点
				フリイク・チップ	3点
		CH30			総計
覆土1層			合計	1275点	
	土器			小計	989点
			IIIa		989点
	石器			小計	262点
				石鏃	3点
				石錐	1点
				スクレイパー	9点
				Rフリイク	11点
				Uフリイク	2点
				石斧	1点
				たたき石	1点
				北海道式石冠	1点
				扁平打製石器	1点
				すり石	2点
				台石・石皿	3点
			加工痕のある礫	4点	
			フリイク・チップ	78点	
	原石		4点		
	礫		141点		
	土製品		小計	24点	
			焼成粘土塊	24点	
覆土2層				合計	2497点
	土器			小計	1903点
				I a	1点
				IIIa	1900点
				IIIb	2点
	石器			小計	572点
				ポイント・ナイフ	1点
				石鏃	9点
				つまみ付ナイフ	2点
				スクレイパー	18点
				Rフリイク	21点
				Uフリイク	4点
				石斧	1点
				すり石	3点
				台石・石皿	5点
				台石・石皿片	1点
				加工痕のある礫	9点
				フリイク・チップ	188点
				原石	4点
			礫	306点	
			土製品	小計	21点
				土製品	11点
				焼成粘土塊	10点
	石製品		小計	1点	
			石製品	1点	
覆土			合計	13点	
	石器		小計	13点	
			Rフリイク	1点	
			Uフリイク	2点	
			フリイク・チップ	8点	
			礫	2点	
床			合計	1063点	
	土器		小計	877点	
		IIIa		877点	
	石器		小計	182点	
			ポイント・ナイフ	1点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
HP-1	HP-1 覆土3層		合計	121点	
		土器		小計	92点
			IIIa		92点
		石器		小計	29点
				石鏃	1点
				Rフリイク	2点
				台石・石皿	1点
				フリイク・チップ	12点
				礫	13点
		HP-2		合計	4点
			石器		小計
				礫	4点
	HP-4		合計	5点	
		土器		小計	4点
			IIIa		4点
	HP-8	土器		小計	4点
			IIIa		4点
		石器		小計	2点
			礫	2点	
	HP-9		合計	9点	
		土器		小計	4点
			IIIa		4点
		石器		小計	5点
			Rフリイク	1点	
		フリイク・チップ	3点		
		礫	1点		
	HP-11		合計	1点	
		石器		小計	1点
			スクレイパー	1点	
HP-12		合計	2点		
	石器		小計	2点	
			フリイク・チップ	1点	
	原石	1点			
CH31			総計	15321点	
	覆土1層		合計	3785点	
		土器		小計	2804点
				I a	1点
				IIIa	2783点
		石器		IIIb	20点
				小計	974点
				ポイント・ナイフ	2点
				石鏃	3点
			石錐	3点	
		つまみ付ナイフ	1点		
	つまみ付石器	1点			
	スクレイパー	31点			
	Rフリイク	9点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
		Uフレイク		76点
		石斧		1点
		たたき石		9点
		北海道式石冠		2点
		断面三角形のすり石		1点
		扁平打製石器		10点
		すり石		2点
		砥石		6点
		石錘		1点
		くぼみ石		1点
		台石・石皿		12点
		加工痕のある礫		6点
		使用痕のある礫		2点
		フレイク・チップ		334点
		石核		2点
		原石		3点
		礫		456点
		土製品	小計	6点
		土製品		2点
		焼成粘土塊		4点
		石製品	小計	1点
		石棒		1点
		覆土2層	合計	8180点
		土器	小計	6837点
		I a		2点
		III a		6830点
		III b		5点
		石器	小計	1335点
		ポイント・ナイフ		1点
		石鏃		11点
		石錘		3点
		つまみ付ナイフ		2点
		つまみ付石器		3点
	スクレイパー		44点	
	Rフレイク		10点	
	Uフレイク		85点	
	石斧片		4点	
	たたき石		24点	
	北海道式石冠		9点	
	断面三角形のすり石		1点	
	扁平打製石器		23点	
	すり石		3点	
	砥石		5点	
	くぼみ石		1点	
	台石・石皿		14点	
	加工痕のある礫		3点	
	使用痕のある礫		2点	
	フレイク・チップ		492点	
	石核		3点	
	原石		1点	
	礫		589点	
	土製品	小計	4点	
	土偶		1点	
	土製品		1点	
	焼成粘土塊		2点	
	石製品	小計	4点	
	玉		3点	
	石棒		1点	
	棒状礫		2点	
	覆土3層	合計	2127点	
	土器	小計	1742点	
	III a		1740点	
	III b		1点	
	III a or b		1点	
	石器	小計	381点	
	石鏃		2点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
		石錘		1点
		つまみ付ナイフ		1点
		つまみ付石器		2点
		スクレイパー		17点
		Rフレイク		1点
		Uフレイク		20点
		石斧片		2点
		たたき石		9点
		北海道式石冠		2点
		扁平打製石器		3点
		すり石		1点
		砥石		2点
		台石・石皿		4点
		炉石		1点
		フレイク・チップ		155点
		礫		158点
		土製品	小計	4点
		土製品		3点
		焼成粘土塊		1点
	覆土4層	合計	3点	
	土器	小計	2点	
	III a		2点	
	石器	小計	1点	
	スクレイパー		1点	
	覆土5層	合計	2点	
	石器	小計	2点	
	Uフレイク		1点	
	礫		1点	
	覆土上	合計	4点	
	土器	小計	4点	
	III a		4点	
	覆土中	合計	35点	
	土器	小計	24点	
	III a		24点	
	石器	小計	11点	
	スクレイパー		1点	
	Uフレイク		1点	
	台石・石皿		2点	
	フレイク・チップ		2点	
	礫		5点	
	覆土	合計	195点	
	土器	小計	173点	
	III a		173点	
	石器	小計	22点	
	石鏃		1点	
	スクレイパー		1点	
	Uフレイク		1点	
	扁平打製石器		2点	
	フレイク・チップ		11点	
	礫		6点	
	床	合計	94点	
	土器	小計	27点	
	III a		27点	
	石器	小計	67点	
	ポイント・ナイフ		1点	
	スクレイパー		4点	
	Rフレイク		2点	
	Uフレイク		4点	
	たたき石		1点	
	北海道式石冠		1点	
	使用痕のある礫		1点	
	フレイク・チップ		36点	
	礫		17点	
	HP-3	合計	3点	
	石器	小計	3点	
	Uフレイク		1点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
			礫	2点
			合計	6点
HP-4			小計	5点
	土器	IIIa		5点
			小計	1点
			礫	1点
HP-5			合計	1点
			小計	1点
	土器			1点
HP-8			合計	3点
			小計	1点
	土器	IIIa		1点
			小計	2点
	石器	フリイク・チップ		1点
			礫	1点
HP-9			合計	73点
			小計	68点
	土器	IIIa		68点
			小計	5点
	石器	台石・石皿		1点
		フリイク・チップ		4点
HP-10 覆土1層			合計	457点
			小計	447点
	土器	IIIa		447点
			小計	9点
	石器	フリイク・チップ		8点
			礫	1点
	土製品		小計	1点
			焼成粘土塊	1点
HP-10 覆土3層			合計	305点
			小計	301点
	土器	IIIa		301点
			小計	4点
	石器	フリイク・チップ		3点
			礫	1点
HP-10 覆土			合計	22点
			小計	14点
	土器	IIIa		14点
			小計	8点
	石器	たたき石		1点
		フリイク・チップ		4点
			礫	3点
HP-10 床			合計	3点
			小計	3点
	石器	Uフリイク		1点
		フリイク・チップ		1点
			礫	1点
HP-12			合計	2点
			小計	2点
	石器	フリイク・チップ		1点
			礫	1点
HP-14			合計	6点
			小計	6点
	石器	フリイク・チップ		3点
			礫	3点
HP-17			合計	9点
			小計	8点
	土器	IIIa		8点
			小計	1点
	石器	フリイク・チップ		1点
HP-23			合計	1点
			小計	1点
	石器			1点
HP-32			合計	5点
			小計	4点
	石器			4点
			たたき石	1点

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
			礫	3点
			小計	1点
			耳石	1点
CH32			合計	679点
			合計	654点
	覆土1層		小計	557点
			IIIa	174点
			IIIb	383点
			小計	97点
	石器	スクレイパー		3点
		Rフリイク		1点
		たたき石		2点
		すり石		3点
		台石・石皿		1点
		加工痕のある礫		9点
		フリイク・チップ		44点
			石核	1点
			礫	33点
			合計	17点
	床		小計	7点
			I a	1点
			IIIa	6点
			小計	10点
	石器	フリイク・チップ		2点
			礫	8点
HP-6			合計	1点
			小計	1点
	石器	フリイク・チップ		1点
HP-17			合計	1点
			小計	1点
	石器			1点
HP-32			合計	6点
			小計	1点
	土器	IIIa		1点
			小計	5点
	石器	Rフリイク		1点
		フリイク・チップ		4点
CH33			合計	455点
			合計	374点
	覆土1層		小計	342点
			IIIa	342点
			小計	32点
	石器	スクレイパー		1点
		Rフリイク		1点
		すり石		2点
		フリイク・チップ		13点
			礫	15点
			合計	48点
	覆土2層		小計	37点
			IIIa	37点
			小計	11点
	石器	Rフリイク		1点
		フリイク・チップ		6点
			礫	4点
			合計	16点
	覆土3層		小計	13点
			IIIa	13点
			小計	3点
	石器	Rフリイク		1点
			礫	2点
			合計	17点
	床		小計	10点
			IIIa	10点
			小計	7点
	石器	つまみ付ナイフ		1点
			Rフリイク	2点

遺構名	層位	遺物名	分類	点数			
CH34			フレイク・チップ	2点			
			礫	2点			
		合計	6523点				
	覆土1層			合計	1518点		
				土器	小計	1240点	
			IIIa	1239点			
			IIIb	1点			
		石器			小計	278点	
					石鏃	1点	
					つまみ付ナイフ	1点	
					スクレイパー	5点	
					Rフレイク	14点	
					Uフレイク	3点	
					たたき石	3点	
					北海道式石冠	1点	
					扁平打製石器	3点	
					すり石	6点	
					台石・石皿	3点	
					加工痕のある礫	9点	
					フレイク・チップ	107点	
					石核	1点	
		原石	7点				
		礫	114点				
	覆土2層			合計	4478点		
				土器	小計	3806点	
			IIb	2点			
			IIIa	3801点			
			IIIb	3点			
		石器			小計	669点	
					ポイント・ナイフ	3点	
					石鏃	6点	
					つまみ付ナイフ	1点	
					スクレイパー	22点	
					Rフレイク	34点	
					Uフレイク	10点	
					石斧	2点	
					たたき石	3点	
					扁平打製石器	10点	
					すり石	11点	
					台石・石皿	10点	
					加工痕のある礫	13点	
					フレイク・チップ	253点	
		石核	1点				
	原石	5点					
	礫	285点					
	土製品			小計	3点		
				土製品	2点		
焼成粘土塊				1点			
覆土3層			合計	10点			
			土器	小計	10点		
	IIIa	10点					
覆土4層			合計	22点			
			土器	小計	17点		
				IIIa	17点		
			石器			小計	5点
						スクレイパー	1点
						Uフレイク	1点
フレイク・チップ	2点						
礫	1点						
覆土			合計	13点			
			石器	小計	13点		
				石鏃	1点		
				石斧	1点		
				フレイク・チップ	5点		
				礫	6点		
床			合計	455点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数				
CH35			土器	小計	336点			
				I a	1点			
				IIIa	335点			
			石器			小計	119点	
						ポイント・ナイフ	1点	
						石鏃	2点	
						つまみ付ナイフ	1点	
						スクレイパー	7点	
						Rフレイク	8点	
						Uフレイク	2点	
						石斧	3点	
						たたき石	1点	
						北海道式石冠	2点	
						すり石	1点	
						台石・石皿	6点	
						加工痕のある礫	2点	
						フレイク・チップ	58点	
			原石	1点				
			礫	24点				
			HP-1			合計	8点	
	土器	小計				3点		
		IIIa				3点		
		石器	小計	5点				
			フレイク・チップ	5点				
	HP-2			合計	5点			
				土器	小計	5点		
					IIIa	5点		
	HP-4			合計	6点			
				土器	小計	6点		
					IIIa	6点		
	HP-5			合計	1点			
				土器	小計	1点		
					IIIa	1点		
	HP-6			合計	3点			
				土器	小計	3点		
					IIIa	3点		
	HP-7			合計	1点			
				土器	小計	1点		
					IIIa	1点		
	HP-10			合計	1点			
				土器	小計	1点		
					IIIa	1点		
	HP-11			合計	1点			
				土器	小計	1点		
					IIIa	1点		
	HP-13			合計	1点			
				土器	小計	1点		
					IIIa	1点		
	覆土1層			合計	194点			
				合計	132点			
				土器	小計	85点		
					IIIa	80点		
					III a or b	5点		
				石器			小計	47点
							スクレイパー	1点
							Rフレイク	1点
							フレイク・チップ	34点
							礫	11点
	床			合計	56点			
				土器	小計	33点		
					IIIa	33点		
				石器			小計	23点
							ポイント・ナイフ	1点
							石鏃	1点
							石斧	1点
		台石・石皿	1点					

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
			加工痕のある礫	1点
			フレイク・チップ	11点
			礫	7点
	HP-1		合計	5点
		石器	小計	5点
			台石・石皿	1点
			フレイク・チップ	4点
			合計	1点
	HP-9		合計	1点
		石器	小計	1点
IIIa			1点	
CH36		合計	184点	
	覆土1層	合計	132点	
	石器		小計	113点
		I a		1点
		I b-4		1点
		III a		50点
		III b		61点
	石器		小計	19点
		スクレイパー		1点
		北海道式石冠		1点
		扁平打製石器		2点
		フレイク・チップ		6点
		礫		9点
			合計	51点
	土器		小計	41点
I a			1点	
III a			15点	
石器		小計	25点	
	III b		25点	
		小計	10点	
石器		砥石	1点	
		フレイク・チップ	6点	
		礫	3点	
HP-1		合計	1点	
	石器	小計	1点	
		礫	1点	
CH37		合計	240点	
	覆土1層	合計	190点	
	石器		小計	160点
		III a		159点
		III b		1点
	石器		小計	30点
		石鏃		1点
覆土2層		すり石	2点	
		加工痕のある礫	3点	
		フレイク・チップ	9点	
		礫	15点	
		合計	15点	
土器		小計	10点	
	III a		9点	
	III a or b		1点	
石器		小計	5点	
	すり石		1点	
	フレイク・チップ		1点	
礫			3点	
		合計	5点	
	土器	小計	3点	
土器		III a	3点	
	石器	小計	2点	
石器		すり石	1点	
		台石・石皿	1点	
		合計	29点	
土器		小計	17点	
	III a		17点	
	石器	小計	12点	
石器		ポイント・ナイフ	1点	
		Rフレイク	1点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
			フレイク・チップ	7点
			礫	3点
			合計	1点
HP-1		合計	1点	
	土器	小計	1点	
III a			1点	
		合計	95点	
		合計	4点	
覆土1層	土器		小計	2点
		III a		2点
			小計	2点
	石器		フレイク・チップ	1点
			礫	1点
覆土2層		合計	60点	
	土器		小計	28点
		III a		28点
	石器		小計	32点
		石鏃		1点
Uフレイク			1点	
覆土3層		たたき石	1点	
		フレイク・チップ	17点	
		礫	12点	
		合計	6点	
	土器	小計	3点	
III a			3点	
	石器	小計	3点	
	Rフレイク		1点	
フレイク・チップ			1点	
		礫	1点	
		合計	24点	
土器		小計	7点	
	III a		7点	
	石器		小計	17点
		石鏃		1点
		スクレイパー		1点
Rフレイク		2点		
加工痕のある礫		1点		
フレイク・チップ		7点		
礫		5点		
HP-4		合計	1点	
	石器	小計	1点	
		Rフレイク	1点	
CH39		合計	1643点	
	覆土1層	合計	693点	
土器		小計	409点	
	III a		408点	
	III a or b		1点	
	石器		小計	284点
		ポイント・ナイフ		5点
石鏃			4点	
つまみ付ナイフ		1点		
Rフレイク		13点		
Uフレイク		4点		
たたき石		3点		
北海道式石冠		3点		
扁平打製石器		1点		
すり石		1点		
砥石		15点		
加工痕のある礫		8点		
フレイク・チップ		109点		
原石		4点		
礫		113点		
覆土2層		合計	110点	
	土器		小計	51点
		III a		51点
	石器		小計	59点
		ポイント・ナイフ		1点

遺構名	層位	遺物名	分類	点数		
CH40			スクレイパー	1点		
			Rフレイク	2点		
			Uフレイク	1点		
			加工痕のある礫	1点		
			フレイク・チップ	35点		
			原石	1点		
			礫	17点		
			合計	1点		
		覆土		石器	小計	1点
				フレイク・チップ	1点	
	床		合計	749点		
			土器	小計	606点	
			IIIa	606点		
			石器	小計	143点	
				ポイント・ナイフ	1点	
				石鏃	1点	
				石錐	1点	
				スクレイパー	3点	
				Rフレイク	10点	
				Uフレイク	1点	
				たたき石	1点	
				すり石	3点	
				台石・石皿	3点	
				加工痕のある礫	1点	
				フレイク・チップ	66点	
				礫	52点	
		HP-1 覆土1層		合計	25点	
				土器	小計	8点
			IIIa	8点		
			石器	小計	17点	
			フレイク・チップ	13点		
			礫	4点		
	HP-1 覆土2層		合計	7点		
			土器	小計	1点	
			IIIa	1点		
			石器	小計	6点	
			フレイク・チップ	2点		
			礫	4点		
	HP-1 覆土		合計	23点		
			土器	小計	7点	
			IIIa	7点		
			石器	小計	16点	
		スクレイパー	1点			
		Rフレイク	1点			
		加工痕のある礫	1点			
		フレイク・チップ	8点			
		礫	5点			
HP-1 床		合計	29点			
		石器	小計	29点		
			Rフレイク	4点		
		フレイク・チップ	17点			
		礫	8点			
HP-2		合計	1点			
		石器	小計	1点		
		フレイク・チップ	1点			
HP-3		合計	1点			
		石器	小計	1点		
		礫	1点			
HP-7		合計	4点			
		石器	小計	4点		
			スクレイパー	1点		
		Rフレイク	1点			
		フレイク・チップ	2点			
CH40		総計	690点			
	覆土1層	合計	50点			
		土器	小計	34点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数		
CH41			IIIa	34点		
			石器	小計	16点	
				Rフレイク	1点	
				扁平打製石器	1点	
				フレイク・チップ	1点	
				礫	13点	
			合計	265点		
		覆土2層		土器	小計	179点
				I a	1点	
				IIIa	178点	
	床		石器	小計	83点	
				ポイント・ナイフ	2点	
				スクレイパー	2点	
				Rフレイク	6点	
				Uフレイク	1点	
				たたき石	2点	
				すり石	2点	
				加工痕のある礫	2点	
				フレイク・チップ	17点	
				礫	49点	
			土製品	小計	3点	
				焼成粘土塊	3点	
			合計	372点		
		HP-1		土器	小計	148点
				IIIa	148点	
				石器	小計	222点
					ポイント・ナイフ	1点
				石鏃	2点	
			スクレイパー	1点		
			Rフレイク	11点		
			Uフレイク	2点		
			たたき石	1点		
			加工痕のある礫	3点		
			フレイク・チップ	42点		
			礫	159点		
		土製品	小計	2点		
			焼成粘土塊	2点		
	HP-6		合計	2点		
			土器	小計	1点	
			IIIa	1点		
	HP-6		石器	小計	1点	
				フレイク・チップ	1点	
CH41		合計	1230点			
	覆土1層	合計	382点			
		土器	小計	257点		
		IIIa	223点			
		IIIb	34点			
覆土2層		石器	小計	125点		
			石鏃	1点		
			スクレイパー	2点		
			Rフレイク	1点		
			Uフレイク	1点		
			フレイク・チップ	23点		
		礫	97点			
覆土3層		合計	27点			
		土器	小計	13点		
		IIIa	13点			
		石器	小計	14点		
		石斧	1点			
		フレイク・チップ	4点			
		礫	9点			
CH41		合計	565点			
	土器	小計	422点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
		IIIa		422点	
		石器	小計	143点	
		石鏃		1点	
		スクレイパー		4点	
		Rフレイク		5点	
		Uフレイク		1点	
		たたき石		1点	
		すり石		1点	
		加工痕のある礫		2点	
		フレイク・チップ		36点	
		原石		1点	
		礫		91点	
		覆土4層		合計	210点
			土器		小計
	IIIa				151点
	石器			小計	59点
			スクレイパー		3点
			Rフレイク		3点
			Uフレイク		1点
			北海道式石冠		1点
			扁平打製石器		1点
			加工痕のある礫		1点
			フレイク・チップ		12点
	石核		1点		
	原石		1点		
	礫		35点		
	床		合計	44点	
		土器		小計	37点
			IIIa		37点
		石器		小計	7点
			ポイント・ナイフ		1点
	つまみ付ナイフ		1点		
	フレイク・チップ		1点		
	礫		4点		
	HP-1 覆土1層		合計	1点	
		土器		小計	1点
	IIIa			1点	
	HP-1 床		合計	1点	
		石器		小計	1点
	フレイク・チップ			1点	
	CH43			総計	483点
		覆土1層		合計	151点
土器				小計	115点
			IIIa		109点
			IIIb		6点
石器				小計	36点
			ポイント・ナイフ		1点
			Rフレイク		2点
			Uフレイク		1点
			たたき石		2点
			北海道式石冠		1点
		フレイク・チップ		7点	
原石			1点		
礫			21点		
覆土2層			合計	106点	
		土器		小計	82点
			IIIa		82点
		石器		小計	24点
	スクレイパー			1点	
Uフレイク			3点		
フレイク・チップ		4点			
礫		16点			
覆土3層		合計	182点		
	土器		小計	182点	
IIIb			182点		
床		合計	44点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数		
		土器	小計	29点		
		IIIa		29点		
		石器	小計	15点		
		石鏃		1点		
		スクレイパー		2点		
		石斧		1点		
		扁平打製石器		1点		
		フレイク・チップ		3点		
		礫		7点		
		CH44			総計	522点
		覆土1層			合計	293点
			土器		小計	249点
				IIIa		224点
			IIIb		25点	
	石器			小計	44点	
	Rフレイク			1点		
	フレイク・チップ			21点		
	礫			22点		
	床			合計	229点	
	土器			小計	172点	
			IIIa		167点	
			IIIb		5点	
			石器		小計	55点
				石鏃		1点
				スクレイパー		2点
				Uフレイク		1点
			フレイク・チップ		18点	
			原石		1点	
		礫		32点		
	土製品	小計	2点			
	焼成粘土塊		2点			
	CH45			総計	44点	
	覆土2層			合計	7点	
		土器		小計	5点	
			IIIa		5点	
		石器		小計	2点	
			礫		2点	
		床		合計	37点	
	土器		小計	31点		
		IIIa		21点		
		IIIb		10点		
		石器		小計	6点	
Rフレイク				1点		
フレイク・チップ				3点		
礫		2点				
CH46			総計	137点		
覆土1層			合計	97点		
	土器		小計	36点		
		IIIa		36点		
	石器		小計	61点		
		Rフレイク		2点		
		加工痕のある礫		1点		
		フレイク・チップ		18点		
		礫		40点		
		覆土3層		合計	24点	
		土器		小計	23点	
IIIa				22点		
IIIb			1点			
石器		小計	1点			
	Rフレイク		1点			
覆土4層		合計	4点			
	土器		小計	4点		
IIIa			4点			
床		合計	12点			
	土器		小計	10点		
IIIa			4点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数					
CH47		石器	IIIb	6点					
			小計	2点					
			すり石	1点					
			フレイク・チップ	1点					
			合計	3247点					
	覆土1層		土器	小計	667点				
				I a	1点				
				IIIa	663点				
				IIIb	3点				
				石器	小計	309点			
					石鏃	1点			
					つまみ付ナイフ	1点			
					スクレイパー	6点			
					Rフレイク	2点			
					Uフレイク	25点			
					石斧	1点			
					たたき石	4点			
					扁平打製石器	5点			
					すり石	1点			
					石鏃片	1点			
					くぼみ石	2点			
					台石・石皿	3点			
					台石・石皿片	1点			
					フレイク・チップ	115点			
					原石	2点			
					礫	139点			
					土製品	小計	5点		
						焼成粘土塊	5点		
					覆土2層		土器	合計	726点
								小計	464点
								IIIa	456点
								IIIb	8点
	石器	小計	261点						
		石鏃	1点						
		スクレイパー	5点						
		Rフレイク	1点						
		Uフレイク	13点						
		たたき石	5点						
		扁平打製石器	2点						
		すり石	1点						
		台石・石皿	1点						
		フレイク・チップ	73点						
石核		1点							
礫		158点							
石製品	小計	1点							
	三角形石製品	1点							
覆土3層		土器	合計	391点					
			小計	319点					
			IIIa	303点					
			IIIb	16点					
			石器	小計	72点				
				スクレイパー	2点				
				Uフレイク	3点				
				たたき石	1点				
				台石・石皿片	1点				
				フレイク・チップ	22点				
礫	42点								
石鏃	1点								
床	合計	1149点							
	土器	小計		961点					
土器	IIIa	958点							
	IIIb	3点							
石器	小計	188点							
	石鏃	1点							
つまみ付石器	1点								

遺構名	層位	遺物名	分類	点数					
CH48			スクレイパー	2点					
			Uフレイク	2点					
			たたき石	2点					
			扁平打製石器	6点					
				台石・石皿	5点				
				台石・石皿片	1点				
				フレイク・チップ	59点				
				原石	1点				
				礫	108点				
				合計	1242点				
				合計	242点				
				土器	小計	147点			
	覆土1層		土器	IIIa	39点				
				IIIb	108点				
				小計	95点				
				石器	ポイント・ナイフ	1点			
					Uフレイク	3点			
					砥石	1点			
					加工痕のある礫	2点			
					フレイク・チップ	32点			
					礫	56点			
					合計	619点			
					覆土2層		土器	小計	287点
								I a	1点
	IIIa	145点							
	IIIb	141点							
	石器	小計	331点						
		石鏃	1点						
		石鏃	1点						
		スクレイパー	6点						
		Rフレイク	2点						
		Uフレイク	5点						
		石斧	3点						
		石斧片	3点						
		たたき石	4点						
		扁平打製石器	2点						
		台石・石皿片	1点						
		フレイク・チップ	127点						
	礫	176点							
	土製品	小計	1点						
		Uフレイク	1点						
	覆土3層		土器	合計	150点				
小計				65点					
IIIa				59点					
IIIb				6点					
石器				小計	84点				
				スクレイパー	5点				
	Uフレイク	9点							
	扁平打製石器	4点							
	台石・石皿片	2点							
	加工痕のある礫	1点							
フレイク・チップ	28点								
礫	35点								
土製品	小計	1点							
	フレイク・チップ	1点							
覆土		土器	合計	21点					
			小計	4点					
			IIIa	3点					
			IIIb	1点					
			石器	小計	17点				
				Uフレイク	1点				
				石斧	1点				
				フレイク・チップ	10点				
				礫	5点				
				合計	204点				
床	合計	204点							
	土器	小計		106点					

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
		IIIa		102点	
		IIIb		4点	
		石器	小計	98点	
		石鏃		2点	
		スクレイパー		3点	
		Uフレイク		5点	
		石斧片		1点	
		扁平打製石器		1点	
		台石・石皿		1点	
		台石・石皿片		1点	
		フレイク・チップ		35点	
		礫		49点	
		HP-1		合計	6点
		石器	小計	6点	
		フレイク・チップ		2点	
		礫		4点	
		CH49		総計	1028点
		覆土1層			合計
	土器		小計	593点	
	I a			2点	
IIIa			577点		
IIIb			14点		
石器	小計		243点		
つまみ付ナイフ			1点		
スクレイパー			2点		
Rフレイク			2点		
Uフレイク			6点		
石斧			1点		
石斧片			1点		
たたき石			5点		
扁平打製石器			2点		
石錘			1点		
くぼみ石			1点		
台石・石皿			2点		
台石・石皿片			1点		
フレイク・チップ			53点		
礫			165点		
土製品	小計	1点			
焼成粘土塊		1点			
石製品	小計	1点			
自然石棒		1点			
自然遺物	小計	2点			
炭化物		2点			
床		合計	62点		
土器	小計	32点			
IIIa		32点			
石器	小計	29点			
スクレイパー		3点			
Uフレイク		1点			
たたき石		1点			
扁平打製石器		1点			
すり石		2点			
フレイク・チップ		10点			
礫		11点			
石製品	小計	1点			
石刀		1点			
HP-2		合計	121点		
土器	小計	103点			
IIIa		103点			
石器	小計	18点			
スクレイパー		3点			
Uフレイク		1点			
北海道式石冠		1点			
扁平打製石器		1点			
礫		12点			
HP-8		合計	1点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
		土器	小計	1点
		IIIa		1点
	HP-9		合計	1点
	石器	小計	1点	
	礫		1点	
	攪乱		合計	3点
	土器	小計	1点	
	IIIa		1点	
	石器	小計	2点	
	たたき石		1点	
北海道式石冠		1点		
CH50		総計	2717点	
覆土1層			合計	1673点
	土器	小計	1342点	
	I a		7点	
	IIIa		1301点	
	IIIb		3点	
	III a or b		31点	
	石器	小計	330点	
	石鏃		4点	
	石錐		1点	
	つまみ付ナイフ		2点	
	スクレイパー		16点	
	Rフレイク		2点	
	Uフレイク		31点	
	石斧		1点	
	石斧片		1点	
	たたき石		3点	
	北海道式石冠		3点	
	扁平打製石器		8点	
	台石・石皿		3点	
	フレイク・チップ		110点	
礫		145点		
土製品	小計	1点		
玉		1点		
覆土2層		合計	298点	
土器	小計	228点		
IIIa		227点		
IIIb		1点		
石器	小計	70点		
スクレイパー		2点		
Uフレイク		4点		
たたき石		3点		
北海道式石冠		1点		
扁平打製石器		2点		
砥石		1点		
台石・石皿		3点		
フレイク・チップ		11点		
原石		1点		
礫		42点		
覆土		合計	18点	
土器	小計	10点		
IIIa		10点		
石器	小計	8点		
スクレイパー		1点		
すり石		1点		
フレイク・チップ		4点		
礫		2点		
床		合計	643点	
土器	小計	510点		
IIIa		509点		
IIIb		1点		
石器	小計	132点		
石鏃		2点		
つまみ付ナイフ		1点		
つまみ付石器		1点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CH51		スクレイパー		9点
		Rフレイク		2点
		Uフレイク		17点
		石斧		2点
		たたき石		2点
		北海道式石冠		1点
		扁平打製石器		4点
		台石・石皿		4点
		加工痕のある礫		1点
		使用痕のある礫		1点
		フレイク・チップ		37点
		礫		48点
		土製品	小計	1点
		有孔土製円盤		1点
		HP-1 覆土2層		合計
	HP-1 覆土	土器	小計	12点
		IIIa		12点
		石器	小計	8点
	HP-2 覆土2層	Uフレイク		1点
		台石・石皿		1点
		フレイク・チップ		5点
	HP-2 覆土	礫		1点
		合計		7点
		土器	小計	6点
	HP-2 床	IIIa		6点
		石器	小計	1点
		Uフレイク		1点
	HP-2 覆土	合計		18点
		土器	小計	16点
		IIIa		16点
	HP-2 床	石器	小計	2点
		スクレイパー		1点
		礫		1点
	HP-3 覆土2層	合計		11点
		土器	小計	5点
		IIIa		5点
	HP-7 床	石器	小計	6点
		礫		3点
		礫(凝灰岩)		3点
	HP-15	合計		6点
		土器	小計	6点
		フレイク・チップ		2点
	HP-39	礫		4点
		合計		1点
		土器	小計	9点
	HP-7 床	IIIa		9点
		石器	小計	1点
スクレイパー			1点	
HP-15	合計		6点	
	土器	小計	5点	
	IIIa		5点	
HP-39	石器	小計	1点	
	フレイク・チップ		1点	
	合計		9302点	
CH51	覆土1層	合計		1点
		石器	小計	1点
		礫		1点

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CH51	覆土 上	合計		1517点
		土器	小計	1224点
		I a		2点
		IIIa		1222点
		石器	小計	288点
		石鏃		2点
		つまみ付ナイフ		1点
		スクレイパー		6点
		Rフレイク		2点
		Uフレイク		12点
		石斧片		1点
		たたき石		2点
		北海道式石冠		4点
		扁平打製石器		5点
		台石・石皿		3点
	加工痕のある礫		1点	
	使用痕のある礫		1点	
	フレイク・チップ		111点	
	礫		137点	
	土製品	小計	5点	
	土製品		1点	
	土製品		3点	
	焼成粘土塊		1点	
	覆土 中	合計		6468点
	覆土 中	土器	小計	5256点
		I a		2点
		IIIa		5253点
	覆土 中	IIIb		1点
		石器	小計	1201点
		ポイント・ナイフ		1点
	石鏃		13点	
	石錐		3点	
	つまみ付ナイフ		6点	
	つまみ付石器		3点	
	スクレイパー		23点	
	Rフレイク		4点	
	Uフレイク		54点	
	石斧		2点	
	石斧片		1点	
	たたき石		14点	
	北海道式石冠		5点	
	扁平打製石器		14点	
	すり石		3点	
	石錘		1点	
	くぼみ石		1点	
	台石・石皿		8点	
	加工痕のある礫		4点	
使用痕のある礫		3点		
炉石		2点		
フレイク・チップ		432点		
石核		2点		
原石		1点		
礫		601点		
土製品	小計	6点		
土製品		1点		
焼成粘土塊		5点		
石製品	小計	3点		
玉		1点		
石棒		1点		
耳石		1点		
自然遺物	小計	2点		
高師小僧		1点		
自然遺物		1点		
覆土 床	合計		211点	
覆土 床	土器	小計	151点	
	IIIa		151点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数		
		石器	小計	59点		
			石鏃	1点		
			抉入石器	1点		
			Rフレイク	1点		
			Uフレイク	5点		
			たたき石	1点		
			北海道式石冠	2点		
			フレイク・チップ	5点		
			礫	43点		
			土製品	小計	1点	
			焼成粘土塊	1点		
			覆土	合計	767点	
				土器	小計	535点
					IIIa	533点
					IIIb	2点
	石器	小計		231点		
		石鏃		3点		
		石錐		1点		
		つまみ付ナイフ		1点		
		スクレイパー		4点		
		Rフレイク		6点		
		Uフレイク		8点		
		石斧		1点		
		たたき石		2点		
		北海道式石冠		2点		
		扁平打製石器		3点		
		砥石		2点		
	台石・石皿	1点				
	炉石	1点				
	フレイク・チップ	87点				
	原石	1点				
	礫	108点				
	土製品	小計	1点			
	焼成粘土塊	1点				
	床	合計	313点			
		土器	小計	265点		
			IIIa	265点		
		石器	小計	47点		
			ポイント・ナイフ	2点		
			石鏃	1点		
			つまみ付石器	1点		
			スクレイパー	2点		
			Uフレイク	1点		
			たたき石	2点		
			北海道式石冠	1点		
			くぼみ石	1点		
			台石・石皿	2点		
			フレイク・チップ	11点		
			礫	23点		
			石製品	小計	1点	
	棒状礫	1点				
	HP-1 覆土1層	合計	12点			
		土器	小計	3点		
			IIIa	3点		
		石器	小計	8点		
			台石・石皿	1点		
			フレイク・チップ	1点		
	礫	6点				
	土製品	小計	1点			
	焼成粘土塊	1点				
	HP-1 床	合計	2点			
		石器	小計	2点		
			扁平打製石器	1点		
	礫	1点				
	HP-5 覆土1層	合計	2点			
		石器	小計	2点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数				
			Uフレイク	1点				
			フレイク・チップ	1点				
			合計	1点				
			HP-5 覆土	石器	小計	1点		
					Uフレイク	1点		
			HP-6 覆土1層	石器	合計	1点		
					小計	1点		
			礫	1点				
			HP-6 床	土器	合計	2点		
					小計	2点		
			IIIa	2点				
			HP-9	石器	合計	1点		
					小計	1点		
			フレイク・チップ	1点				
			HP-10 覆土1層	石器	合計	1点		
	小計	1点						
	礫	1点						
	HP-10 覆土	石器	合計	1点				
			小計	1点				
	礫	1点						
	HP-14	土器	合計	2点				
			小計	1点				
			IIIa	1点				
			石器	小計	1点			
	礫	1点						
	CH52			総計	4183点			
	覆土1層			合計	40点			
				土器	小計	40点		
					IIIa	40点		
				覆土上	合計	1278点		
					土器	小計	888点	
						I a	1点	
						IIIa	870点	
						IIIb	17点	
						石器	小計	388点
							石鏃	7点
							スクレイパー	8点
							Rフレイク	4点
							Uフレイク	21点
							たたき石	9点
							北海道式石冠	4点
	扁平打製石器	5点						
	すり石	1点						
	砥石	1点						
	台石・石皿	10点						
	加工痕のある礫	1点						
	炉石	1点						
	フレイク・チップ	107点						
	礫	209点						
	土製品	小計	1点					
	焼成粘土塊	1点						
	石製品	小計	1点					
	石棒	1点						
	覆土中	合計	1656点					
		土器	小計	1110点				
			I a	1点				
			I b-4	2点				
			IIIa	1100点				
			IIIb	7点				
			石器	小計	531点			
			石鏃	11点				
			石錐	1点				
			つまみ付石器	1点				
			スクレイパー	11点				
			Uフレイク	31点				
			石斧	2点				

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
		石のみ		1点	
		たたき石		4点	
		北海道式石冠		7点	
		扁平打製石器		9点	
		すり石		3点	
		石錘		1点	
		石鋸		1点	
		台石・石皿		32点	
		加工痕のある礫		3点	
		使用痕のある礫		3点	
		炉石		2点	
		フレイク・チップ		167点	
		礫		241点	
		土製品	小計	10点	
		焼成粘土塊		10点	
		石製品	小計	1点	
		石製品		1点	
		自然遺物	小計	4点	
		炭化物		4点	
		覆土		合計	6点
		土器	小計	2点	
	Ⅲa		2点		
	石器	小計	4点		
	台石・石皿		1点		
	礫		3点		
	床		合計	1120点	
	土器	小計	902点		
	Ⅲa		902点		
	石器	小計	217点		
	石鏃		7点		
	スクレイパー		5点		
	Uフレイク		13点		
	石斧		5点		
たたき石		2点			
北海道式石冠		1点			
扁平打製石器		2点			
台石・石皿		3点			
炉石		3点			
フレイク・チップ		103点			
石核		1点			
礫		72点			
自然遺物	小計	1点			
炭化物		1点			
HP-1		合計	8点		
土器	小計	5点			
Ⅲa		5点			
石器	小計	3点			
フレイク・チップ		1点			
礫		2点			
HP-2 覆土1層		合計	2点		
石器	小計	2点			
石鏃		1点			
石鏃(黒曜石)		1点			
HP-2 覆土		合計	6点		
土器	小計	1点			
Ⅲa		1点			
石器	小計	5点			
石鏃		3点			
石鏃(黒曜石)		1点			
Uフレイク		1点			
HP-3		合計	2点		
石器	小計	2点			
フレイク・チップ		2点			
HP-4		合計	2点		
土器	小計	1点			
Ⅲa		1点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
		石器	小計	1点
		礫		1点
	HP-5		合計	31点
	土器	小計	10点	
	Ⅲa		10点	
	石器	小計	21点	
	フレイク・チップ		1点	
	礫		20点	
	HP-6		合計	5点
	土器	小計	4点	
	Ⅲa		4点	
	石器	小計	1点	
	礫		1点	
	HP-7		合計	1点
	石器	小計	1点	
	礫		1点	
	HP-8		合計	5点
	土器	小計	2点	
	Ⅲa		2点	
	石器	小計	3点	
	フレイク・チップ		3点	
	HP-9		合計	12点
	土器	小計	7点	
	Ⅲa		7点	
	石器	小計	4点	
	Uフレイク		1点	
	礫		3点	
	石製品	小計	1点	
	玉		1点	
	HP-10		合計	4点
	土器	小計	2点	
	I a		1点	
	Ⅲa		1点	
	石器	小計	2点	
	石斧		1点	
	礫		1点	
	HP-11		合計	2点
	土器	小計	2点	
	Ⅲa		2点	
	HP-25		合計	1点
	土器	小計	1点	
	Ⅲa		1点	
HP-29 覆土上		合計	1点	
石器	小計	1点		
礫		1点		
HP-32		合計	1点	
土器	小計	1点		
Ⅲa		1点		
CH53		総計	1942点	
覆土1層		合計	474点	
土器	小計	336点		
I a		1点		
Ⅲa		333点		
Ⅲb		2点		
石器	小計	138点		
石鏃		1点		
石錘		1点		
Rフレイク		2点		
Uフレイク		6点		
石斧片		1点		
たたき石		3点		
北海道式石冠		4点		
扁平打製石器		3点		
すり石		1点		
台石・石皿		1点		
加工痕のある礫		1点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CH54			フレイク・チップ	27点
			礫	87点
	覆土2層		合計	1367点
		土器	小計	1008点
		I a		1点
		III a		1007点
	石器		小計	358点
		石鏃		2点
		スクレイパー		6点
		Rフレイク		8点
		Uフレイク		21点
		石斧		2点
		たたき石		11点
		北海道式石冠		5点
		扁平打製石器		7点
		すり石		3点
		石錘		1点
		くぼみ石		1点
		台石・石皿		15点
		加工痕のある礫		2点
		使用痕のある礫		1点
		フレイク・チップ		68点
		石核		1点
		礫		204点
	石製品		小計	1点
		耳石		1点
	床		合計	70点
		土器	小計	22点
		I a		1点
		III a		21点
	石器		小計	48点
		スクレイパー		4点
		Uフレイク		3点
		石斧		7点
		たたき石		1点
		北海道式石冠		2点
		扁平打製石器		1点
		台石・石皿		1点
		フレイク・チップ		14点
		礫		15点
	HP-1		合計	30点
		土器	小計	30点
		III a		30点
		石器	小計	1点
	HP-2		合計	1点
		石器	小計	1点
		フレイク・チップ		1点
CH54		総計	689点	
覆土1層		合計	363点	
	土器	小計	229点	
	III a		229点	
	石器	小計	134点	
	スクレイパー		1点	
	Rフレイク		1点	
	たたき石		6点	
	北海道式石冠		2点	
	扁平打製石器		2点	
	すり石		1点	
	台石・石皿		2点	
	フレイク・チップ		85点	
	礫		34点	
覆土2層		合計	17点	
	土器	小計	11点	
	I a		1点	
	III a		10点	
石器		小計	6点	
	Uフレイク		1点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CH55			台石・石皿	1点
			フレイク・チップ	2点
	床		合計	264点
		土器	小計	189点
		I a		2点
		III a		187点
	石器		小計	75点
		ポイント・ナイフ		1点
		石鏃		1点
		つまみ付ナイフ		1点
		スクレイパー		5点
		Rフレイク		1点
		Uフレイク		11点
		北海道式石冠		1点
		石錘		1点
		使用痕のある礫		1点
		フレイク・チップ		28点
		礫		24点
	HP-1		合計	14点
		土器	小計	5点
		III a		5点
		石器	小計	9点
		フレイク・チップ		7点
		礫		2点
	HP-2 覆土1層		合計	18点
		土器	小計	5点
		III a		5点
		石器	小計	13点
		石鏃		1点
		フレイク・チップ		7点
		礫		5点
	HP-2 床		合計	1点
		石器	小計	1点
		たたき石		1点
	HP-4		合計	2点
		土器	小計	2点
		III a		2点
		石器	小計	3点
	HP-5		合計	3点
		石器	小計	3点
		スクレイパー		2点
		フレイク・チップ		1点
	HP-6		合計	2点
		石器	小計	2点
		石鏃		1点
		礫		1点
	HP-11		合計	5点
土器		小計	3点	
	III a		3点	
	石器	小計	2点	
	フレイク・チップ		1点	
	礫		1点	
CH55		総計	2003点	
覆土1層		合計	65点	
	土器	小計	51点	
	III a		51点	
	石器	小計	14点	
	たたき石		2点	
	北海道式石冠		1点	
	扁平打製石器		2点	
	フレイク・チップ		4点	
	礫		5点	
覆土上		合計	133点	
	土器	小計	72点	
	III a		72点	
	石器	小計	61点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数		
			石鏃	1点		
			Uフレイク	3点		
			北海道式石冠	1点		
			すり石	1点		
			台石・石皿	1点		
			フレイク・チップ	19点		
			礫	35点		
			合計	1041点		
			覆土中	土器	小計	812点
					Ⅲa	812点
	石器	小計		228点		
		ポイント・ナイフ		1点		
		石鏃		2点		
		スクレイパー		4点		
		抉入石器		1点		
		Uフレイク		10点		
		北海道式石冠		2点		
		扁平打製石器		3点		
		石錘		1点		
		台石・石皿		1点		
		フレイク・チップ		88点		
		石核		1点		
		礫		114点		
	土製品	小計		1点		
		焼成粘土塊		1点		
	合計	6点				
	覆土床	土器		小計	5点	
				Ⅲa	5点	
		石器	小計	1点		
		Uフレイク	1点			
	合計	3点				
	土器	小計	3点			
		Ⅲa	3点			
		合計	535点			
	床	土器	小計	512点		
			Ⅲa	512点		
		石器	小計	23点		
			スクレイパー	1点		
			たたき石	1点		
	台石・石皿	2点				
	フレイク・チップ	6点				
	礫	13点				
	HP-1 覆土1層	合計	103点			
		土器	小計	88点		
			Ⅲa	88点		
		石器	小計	14点		
			石鏃	1点		
			スクレイパー	1点		
			Uフレイク	1点		
			扁平打製石器	1点		
			フレイク・チップ	3点		
			礫	7点		
	石製品	小計	1点			
		棒状礫	1点			
	合計	26点				
	HP-1 覆土7層	土器	小計	22点		
			Ⅲa	22点		
		石器	小計	4点		
			石鏃	1点		
			スクレイパー	1点		
	礫	2点				
	合計	82点				
	HP-1 覆土	土器	小計	50点		
			Ⅲa	50点		
		石器	小計	32点		
			フレイク・チップ	13点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数		
			礫	19点		
			合計	1点		
			石器	小計	1点	
				礫	1点	
			HP-13	合計	8点	
				土器	小計	8点
					Ⅲa	8点
			合計	1588点		
			CH57	覆土1層	合計	612点
					土器	小計
	Ⅲa	264点				
		Ⅲb			72点	
	石器	小計			273点	
		石鏃			1点	
		石錘			1点	
		スクレイパー			8点	
		Rフレイク			2点	
		Uフレイク			20点	
		たたき石			5点	
		北海道式石冠			1点	
		扁平打製石器			8点	
		石錘			1点	
		台石・石皿			6点	
		加工痕のある礫			1点	
		フレイク・チップ			82点	
	原石	1点				
	礫	136点				
	土製品	小計			1点	
		有孔土製円盤			1点	
	石製品	小計			2点	
		石棒			1点	
		棒状礫			1点	
	合計	572点				
	覆土2層	土器			小計	312点
					I a	2点
					Ⅲa	232点
					Ⅲb	77点
					V c	1点
		石器			小計	260点
					ポイント・ナイフ	2点
					石鏃	4点
					スクレイパー	3点
					Rフレイク	1点
	Uフレイク				8点	
	たたき石	6点				
	北海道式石冠	2点				
	扁平打製石器	3点				
	台石・石皿	2点				
	加工痕のある礫	1点				
	使用痕のある礫	2点				
	フレイク・チップ	90点				
	原石	1点				
	礫	135点				
	合計	363点				
	床	土器	小計	230点		
			Ⅲa	83点		
			Ⅲb	147点		
		石器	小計	130点		
			石鏃	3点		
	Rフレイク		1点			
	Uフレイク	12点				
	石斧片	2点				
	たたき石	3点				
	北海道式石冠	1点				
	扁平打製石器	1点				
	台石・石皿	1点				

遺構名	層位	遺物名	分類	点数		
CH58	覆土1層		台石・石皿	3点		
			加工痕のある礫	1点		
			フレイク・チップ	29点		
			礫	73点		
			土製品	小計	1点	
				焼成粘土塊	1点	
			石製品	小計	2点	
				玉	1点	
				棒状礫	1点	
			HP-1		合計	6点
			HP-1	石器	小計	6点
					礫	6点
			HP-2		合計	2点
			HP-2	石器	小計	2点
					フレイク・チップ	1点
				礫	1点	
			HP-3		合計	3点
			HP-3	石器	小計	3点
					フレイク・チップ	3点
			HP-4		合計	1点
			HP-4	石器	小計	1点
					礫	1点
			HP-5		合計	1点
			HP-5	石器	小計	1点
					Uフレイク	1点
			HP-6		合計	1点
			HP-6	石器	小計	1点
					礫	1点
			HP-7		合計	4点
			HP-7	土器	小計	4点
					Ⅲa	4点
			HP-8		合計	3点
			HP-8	土器	小計	2点
					Ⅲa	2点
			HP-8	石器	小計	1点
					礫	1点
			HP-9		合計	1点
			HP-9	石器	小計	1点
					フレイク・チップ	1点
			HP-10		合計	1点
			HP-10	石器	小計	1点
					Uフレイク	1点
			HP-11		合計	12点
			HP-11	土器	小計	2点
					Ⅲa	2点
			HP-11	石器	小計	10点
					フレイク・チップ	9点
	礫	1点				
HP-12		合計	1点			
HP-12	石器	小計	1点			
		フレイク・チップ	1点			
HP-13		合計	1点			
HP-13	石器	小計	1点			
		フレイク・チップ	1点			
HP-43		合計	2点			
HP-43	石器	小計	2点			
		礫	2点			
HP-45		合計	1点			
HP-45	土器	小計	1点			
		Ⅲa	1点			
HP-50		合計	1点			
HP-50	石器	小計	1点			
		礫	1点			
CH58		総計	660点			
CH58	覆土1層	合計	629点			
		土器	小計	416点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数				
CH59	覆土1層		Ⅲa	403点				
			Ⅲb	13点				
			石器	小計	209点			
				石鎌	1点			
				スクレイパー	8点			
				Rフレイク	1点			
				Uフレイク	15点			
				たたき石	5点			
				北海道式石冠	4点			
				扁平打製石器	8点			
				台石・石皿	4点			
				使用痕のある礫	2点			
				フレイク・チップ	45点			
				礫	116点			
			土製品	小計	2点			
				焼成粘土塊	2点			
			石製品	小計	2点			
				三角形石製品	1点			
				石製品	1点			
			床		合計	28点		
			床	土器	小計	9点		
					I a	2点		
				Ⅲa	4点			
				Ⅲb	3点			
			石器	小計	18点			
				ポイント・ナイフ	1点			
				スクレイパー	1点			
				Uフレイク	1点			
				北海道式石冠	1点			
				フレイク・チップ	4点			
				石核	1点			
				礫	9点			
			石製品	小計	1点			
				棒状礫	1点			
			HP-10		合計	1点		
			HP-10	土器	小計	1点		
					Ⅲa	1点		
			HP-16		合計	1点		
			HP-16	石器	小計	1点		
					フレイク・チップ	1点		
			攪乱		合計	1点		
			攪乱	土器	小計	1点		
					Ⅲa	1点		
			CH59		総計	1334点		
			CH59	覆土1層		合計	1231点	
						土器	小計	867点
							I a-4	1点
	Ⅲa	101点						
	Ⅲb	765点						
石器	小計	364点						
	石鎌	1点						
	スクレイパー	8点						
	Rフレイク	3点						
	Uフレイク	11点						
	石斧	1点						
	たたき石	4点						
	北海道式石冠	2点						
	扁平打製石器	4点						
	台石・石皿	2点						
	フレイク・チップ	108点						
	礫	220点						
覆土		合計	66点					
覆土	土器	小計	16点					
		Ⅲb	16点					
覆土	石器	小計	50点					
		扁平打製石器	2点					

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
	床		台石・石皿	1点
			フレイク・チップ	3点
			礫	44点
			合計	27点
		土器	小計	14点
			Ⅲa	6点
			Ⅲb	8点
			石器	小計
			ポイント・ナイフ	1点
			石鎌	1点
	フレイク・チップ		2点	
	礫		9点	
	HP-2	合計	2点	
		土器	小計	1点
			Ⅲa	1点
	石器	小計	1点	
		礫	1点	
		合計	5点	
	HP-3	土器	小計	2点
			Ⅲa	2点
		石器	小計	3点
	フレイク・チップ		2点	
	HP-7	合計	3点	
土器		小計	1点	
		Ⅲa	1点	
石器		小計	2点	
	礫	2点		
CH60		総計	617点	
覆土1層		合計	246点	
		土器	小計	128点
			Ⅲa	83点
			Ⅲb	45点
		石器	小計	117点
			Uフレイク	18点
			たたき石	1点
			扁平打製石器	1点
			台石・石皿	1点
			使用痕のある礫	1点
	フレイク・チップ		31点	
	礫		64点	
	石製品	小計	1点	
		棒状礫	1点	
	床	合計	371点	
		土器	小計	243点
			Ⅲa	124点
			Ⅲb	119点
		石器	小計	128点
			Rフレイク	1点
	Uフレイク		4点	
	扁平打製石器		1点	
	台石・石皿		3点	
炉石	1点			
フレイク・チップ	59点			
礫	59点			
CH61		総計	920点	
覆土1層	合計	306点		
	土器	小計	181点	
		Ⅲa	104点	
		Ⅲb	77点	
	石器	小計	125点	
		スクレイパー	1点	
		Uフレイク	1点	
		石斧片	1点	
		たたき石	4点	
		すり石	2点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
	覆土2層		台石・石皿	2点	
			フレイク・チップ	30点	
			礫	84点	
			合計	140点	
		土器	小計	93点	
			Ⅲa	35点	
			Ⅲb	58点	
			石器	小計	47点
			ポイント・ナイフ	1点	
			Uフレイク	4点	
	台石・石皿		2点		
	炉石		1点		
	フレイク・チップ	10点			
		礫	29点		
		合計	408点		
	床	土器	小計	224点	
			I a	2点	
			Ⅲa	68点	
		Ⅲb	154点		
			石器	小計	178点
			石鎌	1点	
		スクレイパー	1点		
		Rフレイク	2点		
Uフレイク		9点			
石斧片		2点			
たたき石		9点			
扁平打製石器		5点			
台石・石皿		5点			
加工痕のある礫	1点				
使用痕のある礫	1点				
炉石	1点				
フレイク・チップ	53点				
礫	88点				
土製品	小計	3点			
	有孔土製円盤	1点			
	焼成粘土塊	2点			
石製品	小計	3点			
	棒状礫	3点			
HP-2	合計	5点			
土器	小計	4点			
	Ⅲa	4点			
石器	小計	1点			
	フレイク・チップ	1点			
HP-4	合計	1点			
石器	小計	1点			
	Uフレイク	1点			
HP-5	合計	11点			
土器	小計	8点			
	Ⅲa	6点			
	Ⅲb	2点			
石器	小計	3点			
	台石・石皿	2点			
礫	1点				
HP-6	合計	2点			
土器	小計	2点			
	Ⅲa	2点			
HP-8	合計	4点			
石器	小計	4点			
	礫	4点			
HP-9	合計	1点			
石器	小計	1点			
	礫	1点			
HP-10	合計	4点			
土器	小計	2点			
	I a (日計式)	1点			
Ⅲb	1点				

遺構名	層位	遺物名	分類	点数		
		石器	小計	2点		
			Uフレイク	1点		
			フレイク・チップ	1点		
	HP-11			合計	1点	
				石器	小計	1点
	HP-16				合計	1点
				土器	小計	1点
	HP-17				合計	1点
				石器	小計	1点
	HP-21				合計	1点
				土器	小計	1点
	HP-28				合計	14点
				土器	小計	10点
			IIIa		2点	
			IIIb	8点		
		石器	小計	4点		
			フレイク・チップ	1点		
				礫	3点	
				合計	3点	
	HP-30		土器	小計	1点	
				IIIa	1点	
		石器	小計	2点		
			フレイク・チップ	1点		
				礫	1点	
				合計	2点	
	HP-32		土器	小計	1点	
				IIIa	1点	
		石器	小計	1点		
			礫	1点		
	攪乱			合計	15点	
				土器	小計	9点
					IIIb	9点
石器				小計	6点	
	フレイク・チップ	1点				
			礫	5点		
			合計	1346点		
CH62	覆土1層		合計	1099点		
			土器	小計	583点	
		Ia		1点		
		IIIa	250点			
		IIIb	332点			
		石器	小計	507点		
			ポイント・ナイフ	3点		
		石鏃	4点			
		つまみ付石器	1点			
		スクレイパー	6点			
		Rフレイク	2点			
		Uフレイク	37点			
		石斧	1点			
		石斧片	2点			
		たたき石	7点			
		断面三角形のすり石	1点			
		扁平打製石器	7点			
		台石・石皿	4点			
		台石・石皿片	2点			
		使用痕のある礫	1点			
		フレイク・チップ	240点			
		原石	1点			
		礫	188点			
		土製品	小計	6点		
			有孔土製品	2点		
			有孔土製円盤	2点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
		石器	焼成粘土塊	2点	
			石製品	小計	3点
			石棒	1点	
				棒状礫	2点
				合計	4点
	覆土2層		土器	小計	1点
				IIIa	1点
		石器	小計	3点	
			フレイク・チップ	1点	
				礫	2点
				合計	234点
	床		土器	小計	108点
				IIIa	47点
				IIIb	61点
				石器	小計
					石鏃
				スクレイパー	2点
				Rフレイク	3点
				Uフレイク	14点
				石斧	2点
				たたき石	4点
				扁平打製石器	2点
				すり石	1点
				石鏃	1点
				台石・石皿	7点
				炉石	4点
				フレイク・チップ	30点
				原石	1点
				礫	50点
		石製品	小計	4点	
			玉	1点	
				棒状礫	3点
合計				3点	
HP-1		土器	小計	1点	
			IIIb	1点	
	石器	小計	2点		
		フレイク・チップ	2点		
HP-24			合計	4点	
			土器	小計	1点
				IIIb	1点
			石器	小計	3点
				フレイク・チップ	2点
HP-29		土器			
			小計	2点	
			IIIb	2点	
			合計	2154点	
CH63	覆土1層		合計	1050点	
			土器	小計	837点
				IIIa	62点
			IIIb	775点	
	石器	小計	213点		
				石鏃	1点
					石鏃
		覆土2層			土器
小計	544点				
			IIIa	55点	
			IIIb	489点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CH64	石器		小計	170点	
		石鏃		1点	
		つまみ付ナイフ		1点	
		スクレイパー		3点	
		Uフレイク		16点	
		石斧		2点	
		たたき石		1点	
		フレイク・チップ		110点	
		原石		1点	
		礫		35点	
			合計		46点
		覆土3層	土器		小計
	Ⅲa				8点
	Ⅲb				14点
	石器			小計	24点
			Uフレイク		1点
			たたき石		1点
		合計		191点	
	覆土	土器		小計	159点
			Ⅲa		29点
			Ⅲb		130点
		石器		小計	32点
			Uフレイク		2点
			石斧		1点
			フレイク・チップ		20点
			礫		9点
		合計		140点	
	床	土器		小計	14点
			Ⅲa		12点
			Ⅲb		2点
		石器		小計	122点
			石鏃		1点
			Uフレイク		2点
			台石・石皿		5点
			使用痕のある礫		1点
			フレイク・チップ		1点
			合計		4点
	土製品		小計	4点	
		焼成粘土塊		4点	
	HP-1 覆土		合計	6点	
		土器		小計	5点
			Ⅲa		5点
石器		小計	1点		
	礫		1点		
HP-1 床		合計	3点		
	土器		小計	3点	
		Ⅲb		3点	
HP-2		合計	4点		
	土器		小計	3点	
		Ⅲa		3点	
	石器		小計	1点	
礫			1点		
CH64			総計	3210点	
	覆土1層		合計	1472点	
		土器		小計	1169点
			Ⅲa		456点
			Ⅲb		713点
		石器		小計	302点
			石鏃		1点
			スクレイパー		3点
			Rフレイク		4点
	Uフレイク			45点	
		合計		518点	
土器		小計	406点		
	Ⅲa		98点		
石器		小計	112点		
	スクレイパー		1点		
	Uフレイク		12点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CH64	石器		小計	170点	
		扁平打製石器		10点	
		砥石		1点	
		石鏃		1点	
		台石・石皿		1点	
		台石・石皿片		3点	
		フレイク・チップ		146点	
		石核		1点	
		礫		77点	
			合計		819点
		土製品		小計	1点
			有孔土製品		1点
			合計	641点	
	土器			小計	641点
			Ⅲa		144点
			合計	497点	
	石器			小計	177点
			石鏃		1点
			石鏃		3点
			スクレイパー		1点
		Rフレイク		1点	
		Uフレイク		10点	
		石斧		2点	
		たたき石		2点	
		扁平打製石器		4点	
		すり石		1点	
		すり石片		1点	
		台石・石皿片		1点	
		フレイク・チップ		106点	
		石核		1点	
		合計		43点	
	土製品		小計	1点	
		有孔土製円盤		1点	
	覆土3層		合計	84点	
		土器		小計	54点
			Ⅲa		24点
			Ⅲb		30点
		石器		小計	30点
			石鏃		1点
			Rフレイク		1点
			Uフレイク		1点
			たたき石		1点
扁平打製石器				2点	
砥石				1点	
フレイク・チップ			16点		
原石		1点			
礫		6点			
覆土4層		合計	123点		
	土器		小計	66点	
		Ⅲa		13点	
		Ⅲb		53点	
	石器		小計	57点	
		スクレイパー		1点	
たたき石			1点		
	合計		518点		
土器		小計	406点		
	Ⅲa		98点		
	Ⅲb		308点		
石器		小計	112点		
	スクレイパー		1点		
	Uフレイク		12点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CH65	床	石斧片		1点	
		扁平打製石器		1点	
		台石・石皿		4点	
		大礫		1点	
		フレイク・チップ		35点	
		礫		57点	
			合計		178点
		土器	小計		27点
		IIIa			27点
		石器	小計		151点
		スクレイパー		1点	
		Uフレイク		2点	
		たたき石		1点	
		炉石		16点	
		フレイク・チップ		5点	
		礫		126点	
		合計		2点	
	HP-1	土器	小計	1点	
		IIIa		1点	
		石器	小計	1点	
		礫		1点	
	HP-2		合計	5点	
		土器	小計	3点	
		IIIa		3点	
		石器	小計	2点	
		扁平打製石器		1点	
		礫		1点	
HP-5		合計	1点		
	石器	小計	1点		
	フレイク・チップ		1点		
HP-6		合計	3点		
	土器	小計	2点		
	IIIa		2点		
	石器	小計	1点		
	フレイク・チップ		1点		
	総計		1073点		
CH65	覆土1層		合計	42点	
		土器	小計	35点	
		IIIa		35点	
		石器	小計	7点	
			砥石		1点
		台石・石皿片		1点	
		フレイク・チップ		2点	
		礫		3点	
	覆土2層		合計	124点	
		土器	小計	107点	
		IIIa		1点	
		IIIb		106点	
		石器	小計	15点	
			Rフレイク		1点
			扁平打製石器		2点
			フレイク・チップ		5点
			原石		1点
			礫		5点
		凝灰岩		1点	
		土製品	小計	1点	
	有孔土製円盤		1点		
	石製品	小計	1点		
	自然石棒		1点		
覆土3層		合計	151点		
	土器	小計	135点		
	IIIa		11点		
	IIIb		124点		
	石器	小計	16点		
	石斧		1点		
	たたき石		1点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
	覆土4層	フレイク・チップ		12点	
		礫		2点	
			合計	60点	
		土器	小計	54点	
		IIIa		54点	
	石器	小計	6点		
		扁平打製石器		3点	
		フレイク・チップ		1点	
		礫		2点	
	覆土上		合計	209点	
		土器	小計	167点	
		IIIa		10点	
		IIIb		157点	
		石器	小計	42点	
			石錐		1点
			Uフレイク		2点
			石斧片		1点
			たたき石		1点
			扁平打製石器		1点
		石錘		1点	
		台石・石皿片		3点	
		フレイク・チップ		25点	
		原石		1点	
		礫		6点	
	覆土中		合計	10点	
		土器	小計	4点	
		IIIb		4点	
石器		小計	6点		
		扁平打製石器		2点	
	台石・石皿		1点		
	フレイク・チップ		1点		
	石核		1点		
	礫		1点		
覆土壁		合計	7点		
	石器	小計	7点		
		Uフレイク		2点	
	フレイク・チップ		5点		
壁		合計	46点		
	土器	小計	42点		
	IIIa		3点		
	IIIb		39点		
	石器	小計	3点		
		断面三角形のすり石		1点	
		扁平打製石器		1点	
		礫		1点	
	石製品	小計	1点		
		棒状礫		1点	
覆土		合計	408点		
	土器	小計	368点		
	IIIa		77点		
	IIIb		291点		
	石器	小計	40点		
		スクレイパー		1点	
		Uフレイク		1点	
		たたき石		2点	
		扁平打製石器		3点	
		炉石		1点	
	フレイク・チップ		7点		
	礫		25点		
床		合計	15点		
	土器	小計	13点		
	IIIa		12点		
	IIIb		1点		
	石器	小計	2点		
	フレイク・チップ		1点		
	礫		1点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
HP-15	土器		合計	1点
			小計	1点
		IIIb		1点
CH66	覆土1層		合計	1818点
			小計	396点
	土器		小計	336点
		IIIa	171点	
		IIIb	165点	
	石器		小計	60点
		Uフレイク	4点	
		扁平打製石器	2点	
		すり石	1点	
		台石・石皿	2点	
		フレイク・チップ	33点	
		礫	18点	
覆土2層			合計	236点
			小計	201点
	土器		小計	163点
		IIIa	163点	
		IIIb	38点	
	石器		小計	35点
		Uフレイク	7点	
		フレイク・チップ	22点	
		礫	6点	
覆土3層			合計	75点
			小計	66点
	土器		小計	66点
		IIIa	35点	
		IIIb	31点	
	石器		小計	9点
		Uフレイク	1点	
		フレイク・チップ	3点	
		礫	5点	
覆土5層			合計	2点
			小計	2点
	土器		小計	2点
		IIIb	2点	
覆土～床			合計	973点
			小計	713点
	土器		小計	713点
		IIIa	125点	
		IIIb	588点	
	石器		小計	260点
		スクレイパー	2点	
		Uフレイク	17点	
		石斧片	2点	
		たたき石	2点	
		北海道式石冠	1点	
		扁平打製石器	12点	
		砥石片	1点	
		台石・石皿片	3点	
		フレイク・チップ	114点	
		礫	106点	
覆土			合計	85点
			小計	75点
	土器		小計	75点
		IIIa	5点	
		IIIb	68点	
		IVa	2点	
	石器		小計	10点
		石斧	1点	
		砥石	1点	
		使用痕のある礫	1点	
		フレイク・チップ	1点	
		礫	6点	
床			合計	51点
			小計	46点
	土器		小計	46点
		IIIb	46点	
	石器		小計	4点
		スクレイパー	1点	
		フレイク・チップ	2点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
			台石・石皿	1点
			小計	1点
	石器製品		小計	1点
		棒状礫	1点	
CH67			合計	2347点
			小計	358点
覆土1層			合計	358点
			小計	269点
	土器		小計	269点
		IIIa	190点	
		IIIb	79点	
	石器		小計	89点
		スクレイパー	3点	
		Rフレイク	1点	
		Uフレイク	17点	
		石斧片	1点	
		たたき石	1点	
		扁平打製石器	3点	
		台石・石皿	1点	
		台石・石皿片	1点	
		フレイク・チップ	43点	
		礫	18点	
覆土2層			合計	140点
			小計	83点
	土器		小計	83点
		IIIa	37点	
		IIIb	46点	
	石器		小計	57点
		Rフレイク	1点	
		Uフレイク	3点	
		たたき石	1点	
		台石・石皿片	1点	
		フレイク・チップ	44点	
		原石	2点	
		礫	5点	
覆土3層			合計	81点
			小計	66点
	土器		小計	66点
		IIIa	18点	
		IIIb	48点	
	石器		小計	15点
		石鏃	1点	
		たたき石	1点	
		扁平打製石器	1点	
		台石・石皿片	1点	
		フレイク・チップ	8点	
		礫	3点	
覆土4層			合計	6点
			小計	4点
	土器		小計	4点
		IIIa	4点	
	石器		小計	2点
		すり石	1点	
		フレイク・チップ	1点	
覆土5層			合計	10点
			小計	7点
	土器		小計	7点
		IIIa	7点	
	石器		小計	3点
		フレイク・チップ	1点	
		礫	2点	
覆土6層			合計	2点
			小計	2点
	土器		小計	2点
		IIIa	2点	
覆土7層			合計	1点
			小計	1点
	石器		小計	1点
		フレイク・チップ	1点	
覆土上			合計	110点
			小計	72点
	土器		小計	72点
		IIIa	66点	
		IIIb	6点	
	石器		小計	38点
		たたき石	1点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
	覆土中		フレイク・チップ	15点	
			礫	22点	
			合計	328点	
		土器		小計	210点
			Ⅲa	78点	
		Ⅲb		132点	
			小計	113点	
		石器	石錐	1点	
			Rフレイク	3点	
			Uフレイク	3点	
	台石・石皿片		2点		
	フレイク・チップ		94点		
	礫		10点		
	土製品		小計	5点	
	Uフレイク		2点		
	焼成粘土塊	3点			
		合計	521点		
	覆土下	土器		小計	348点
			I a	2点	
			Ⅲa	122点	
		Ⅲb		224点	
			小計	172点	
		石器	石鎌	1点	
			スクレイパー	1点	
			Uフレイク	9点	
			たたき石	4点	
			扁平打製石器	3点	
			台石・石皿	1点	
			フレイク・チップ	113点	
			原石	4点	
			礫	36点	
	石製品		小計	1点	
	石製装飾品	1点			
	合計	220点			
覆土	土器		小計	165点	
		Ⅲa	36点		
		Ⅲb	129点		
	石器		小計	55点	
		Uフレイク	2点		
		フレイク・チップ	39点		
		原石	2点		
礫	12点				
	合計	40点			
床	土器		小計	35点	
		Ⅲa	6点		
	Ⅲb		29点		
		小計	4点		
	石器	フレイク・チップ	3点		
		礫	1点		
石製品	小計	1点			
棒状礫	1点				
HP-1		合計	3点		
	土器	小計	3点		
HP-2		合計	1点		
	石器	小計	1点		
HP-3 覆土3層		合計	2点		
	石器	小計	2点		
HP-3 覆土		合計	3点		
	石器	小計	3点		
トレンチ上		合計	424点		
	土器	小計	300点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数		
			Ⅲa	121点		
			Ⅲb	179点		
			合計	300点		
		トレンチ中	石器		小計	124点
				石鎌	1点	
			スクレイパー	1点		
			Rフレイク	1点		
			Uフレイク	4点		
			石斧	1点		
			たたき石	1点		
	扁平打製石器		1点			
	台石・石皿片		2点			
	フレイク・チップ		87点			
	礫	25点				
		合計	81点			
	トレンチ下	土器		小計	62点	
			Ⅲa	62点		
		石器		小計	19点	
			Uフレイク	2点		
			扁平打製石器	2点		
	砥石	1点				
	フレイク・チップ	11点				
	礫	3点				
		合計	16点			
	トレンチ下	土器		小計	11点	
			Ⅲa	11点		
		石器		小計	5点	
			フレイク・チップ	1点		
			礫	4点		
	CH68		総計	714点		
	覆土1層		合計	193点		
		土器		小計	104点	
			Ⅲa	34点		
Ⅲb			70点			
		小計	88点			
石器		石鎌	1点			
		スクレイパー	1点			
		たたき石	1点			
		砥石片	3点			
		台石・石皿片	1点			
		フレイク・チップ	61点			
		礫	20点			
土製品		小計	1点			
有孔土製円盤		1点				
	合計	156点				
覆土2層	土器		小計	101点		
		Ⅲa	11点			
	Ⅲb		90点			
		小計	55点			
	石器	ポイント・ナイフ	1点			
		石鎌	1点			
Rフレイク		2点				
フレイク・チップ		35点				
礫	16点					
	合計	56点				
覆土3層	土器		小計	31点		
		Ⅲb	31点			
	石器		小計	25点		
		たたき石	1点			
扁平打製石器	3点					
フレイク・チップ	11点					
礫	10点					
	合計	303点				
床	土器		小計	149点		
		Ⅲa	17点			
	Ⅲb		132点			
石器		小計	151点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数		
			ポイント・ナイフ	1点		
			石鏃	1点		
			Rフレイク	1点		
			Uフレイク	4点		
			石斧	2点		
			たたき石	2点		
			扁平打製石器	1点		
			台石・石皿	2点		
			台石・石皿片	2点		
			使用痕のある礫	1点		
			炉石	5点		
			フレイク・チップ	118点		
			礫	11点		
			土製品	小計	1点	
				有孔土製円盤	1点	
			石製品	小計	2点	
				石棒	1点	
				棒状礫	1点	
		HP-2 床			合計	1点
				石器	小計	1点
					礫	1点
		HP-3			合計	1点
				石器	小計	1点
					フレイク・チップ	1点
		HP-13 覆土1層			合計	3点
				石器	小計	3点
フレイク・チップ	3点					
HP-14 覆土1層			合計	1点		
		石器	小計	1点		
			扁平打製石器	1点		
CH69			総計	348点		
覆土1層			合計	206点		
		土器	小計	115点		
			IIIa	30点		
			IIIb	85点		
		石器	小計	91点		
			スクレイパー	4点		
			Uフレイク	3点		
			たたき石	1点		
			台石・石皿	1点		
			台石・石皿片	1点		
			フレイク・チップ	28点		
			礫	53点		
			覆土2層		合計	4点
			土器	小計	4点	
		IIIb		4点		
		覆土		合計	6点	
		土器	小計	3点		
			IIIa	3点		
		石器	小計	3点		
			石鏃	1点		
			Uフレイク	1点		
			礫	1点		
		床		合計	106点	
		土器	小計	13点		
			IIIa	3点		
			IIIb	10点		
石器	小計	93点				
	Uフレイク	2点				
	炉石	73点				
	フレイク・チップ	2点				
	礫	16点				
HP-1 覆土1層		合計	12点			
土器	小計	6点				
	IIIb	6点				
石器	小計	6点				

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
			フレイク・チップ	5点	
			礫	1点	
		HP-2 覆土1層		合計	9点
		土器	小計	8点	
			IIIa	6点	
			IIIb	2点	
		石器	小計	1点	
			礫	1点	
		焼土		合計	5点
		石器	小計	5点	
礫	5点				
CH70		総計	1634点		
覆土1層			合計	142点	
		土器	小計	87点	
			IIIa	52点	
			IIIb	35点	
		石器	小計	54点	
			異形石器	1点	
			Uフレイク	2点	
			たたき石	2点	
			フレイク・チップ	13点	
		礫	36点		
		土製品	小計	1点	
			有孔土製円盤	1点	
		覆土2層		合計	1291点
		土器	小計	765点	
IIIa	518点				
IIIb	247点				
石器	小計	525点			
	ポイント・ナイフ	1点			
	石鏃	1点			
	石錐	1点			
	スクレイパー	7点			
	Rフレイク	1点			
	Uフレイク	12点			
	石斧	1点			
	たたき石	4点			
	北海道式石冠	1点			
扁平打製石器	3点				
砥石	2点				
石錘	2点				
台石・石皿	2点				
フレイク・チップ	166点				
原石	2点				
礫	319点				
土製品	小計	1点			
	土偶	1点			
覆土3層		合計	133点		
土器	小計	68点			
	IIIa	64点			
	IIIb	4点			
石器	小計	65点			
	石鏃	1点			
	スクレイパー	1点			
	Uフレイク	2点			
	扁平打製石器	2点			
台石・石皿	2点				
フレイク・チップ	17点				
礫	40点				
床		合計	34点		
土器	小計	20点			
	IIIa	10点			
	IIIb	10点			
石器	小計	14点			
	フレイク・チップ	5点			
	原石	1点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
	HP-1		礫	8点	
			合計	5点	
		土器		小計	2点
			Ⅲa	1点	
			Ⅲb	1点	
				合計	3点
		石器	Uフレイク	2点	
			礫	1点	
				合計	6点
		HP-3 覆土2層	土器	小計	6点
	Ⅲa		6点		
	HP-3 覆土		合計	5点	
		土器	小計	5点	
	HP-4		合計	2点	
		石器	小計	2点	
	HP-12		合計	2点	
		土器		小計	10点
			Ⅲa	9点	
			Ⅲb (滑石入り)	1点	
		石器	フレイク・チップ	3点	
礫			3点		
CH71		合計	3754点		
覆土1層		合計	515点		
	土器		小計	341点	
		Ⅲa	60点		
		Ⅲb	242点		
		Ⅲ a or b	36点		
		IVa	3点		
	石器		小計	173点	
		スクレイパー	1点		
		Rフレイク	1点		
		Uフレイク	5点		
		石斧	1点		
		扁平打製石器	2点		
		すり石	1点		
		台石・石皿	2点		
		フレイク・チップ	54点		
		礫	106点		
		石製品		小計	1点
			耳石	1点	
		覆土2層		合計	2658点
			土器		小計
I b-4	1点				
Ⅲa	354点				
石器			小計	1349点	
	石鏃		1点		
	石錐		6点		
	スクレイパー		2点		
	Rフレイク		128点		
	Uフレイク		36点		
	石斧片		3点		
	たたき石		13点		
	扁平打製石器		12点		
	砥石		3点		
	台石・石皿		25点		
	フレイク・チップ		425点		
	原石		1点		
	礫		694点		
	土製品		小計	1点	
有孔土製円盤		1点			
覆土3層		合計	259点		
	土器	小計	123点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
			Ⅲa	15点	
			Ⅲb	108点	
		石器		小計	136点
			石錐	2点	
			スクレイパー	1点	
			Uフレイク	2点	
			石斧片	1点	
			扁平打製石器	1点	
			砥石	1点	
			台石・石皿	1点	
	フレイク・チップ	42点			
	原石	1点			
	礫	84点			
	床		合計	257点	
		土器		小計	121点
			Ⅲa	42点	
			Ⅲb	77点	
		石器		小計	135点
			石鏃	3点	
			つまみ付石器	1点	
スクレイパー			1点		
Uフレイク			10点		
石斧			1点		
たたき石	2点				
扁平打製石器	3点				
石錐	1点				
台石・石皿	3点				
使用痕のある礫	1点				
炉石	11点				
フレイク・チップ	16点				
礫	82点				
石製品		小計	1点		
	石棒	1点			
HP-1		合計	1点		
	石器	小計	1点		
HP-2		合計	1点		
	土器	小計	1点		
HP-3		合計	1点		
	Ⅲa	1点			
HP-5		合計	3点		
	土器	小計	2点		
	Ⅲa	2点			
HP-19		合計	1点		
	土器	小計	1点		
	Ⅲa	1点			
HP-20		合計	2点		
	石器	小計	1点		
	礫	1点			
HP-21		合計	2点		
	土器	小計	1点		
	Ⅲa	1点			
HP-22		合計	1点		
	土器	小計	1点		
	Ⅲa	1点			
HP-19		合計	3点		
	土器	小計	2点		
HP-20		合計	3点		
	石器	小計	2点		
HP-21		合計	2点		
	土器	小計	1点		
HP-22		合計	2点		
	石器	小計	1点		
HP-19		合計	1点		
	土器	小計	1点		
HP-20		合計	1点		
	石器	小計	1点		
HP-21		合計	1点		
	土器	小計	1点		
HP-22		合計	1点		
	石器	小計	1点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
	HP-23		礫	1点	
			合計	2点	
		土器	小計	1点	
			IIIa	1点	
		石器	小計	1点	
			フレイク・チップ	1点	
		HP-24		合計	6点
			土器	小計	1点
				IIIa	1点
			石器	小計	5点
				礫	5点
		HP-46		合計	42点
			土器	小計	2点
				IIIa	2点
			石器	小計	40点
	フレイク・チップ		2点		
		礫	38点		
CH73			総計	1155点	
覆土1層			合計	393点	
	土器	小計	286点		
		IIIa	70点		
		IIIb	216点		
	石器	小計	107点		
		Uフレイク	2点		
		石斧	1点		
		たたき石	2点		
		扁平打製石器	1点		
		砥石	3点		
		フレイク・チップ	44点		
		礫	54点		
	覆土2層			合計	239点
土器		小計	154点		
		IIIa	1点		
		IIIb	153点		
石器		小計	85点		
		石鏃	1点		
		Uフレイク	2点		
	フレイク・チップ	36点			
		礫	46点		
床			合計	523点	
	土器	小計	282点		
		IIb	1点		
		IIIa	91点		
		IIIb	188点		
		III a or b	2点		
	石器	小計	239点		
		スクレイパー	1点		
		Rフレイク	1点		
		Uフレイク	7点		
		たたき石	4点		
		扁平打製石器	1点		
		砥石	4点		
	石錘	1点			
	台石・石皿	1点			
	台石・石皿	10点			
	使用痕のある礫	1点			
	炉石	6点			
	フレイク・チップ	95点			
	原石	1点			
	礫	106点			
	石製品	小計	2点		
		棒状礫	2点		
CH74			総計	3851点	
覆土1層			合計	807点	
	土器	小計	487点		
		IIIa	123点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
			IIIb	364点	
		石器	小計	319点	
			石鏃	3点	
			スクレイパー	2点	
			Rフレイク	1点	
			Uフレイク	10点	
			石斧	1点	
			石斧片	2点	
			たたき石	5点	
			扁平打製石器	4点	
			台石・石皿	3点	
			フレイク・チップ	109点	
			礫	179点	
			土製品	小計	1点
				有孔土製円盤	1点
覆土2層			合計	2084点	
	土器	小計	1320点		
		IIIa	239点		
		IIIb	1081点		
	石器	小計	764点		
		石鏃	7点		
		つまみ付ナイフ	1点		
		スクレイパー	3点		
		Rフレイク	2点		
		Uフレイク	17点		
		石斧	3点		
		石斧片	1点		
		たたき石	3点		
	北海道式石冠	1点			
	扁平打製石器	6点			
	砥石	1点			
	くぼみ石	1点			
	台石・石皿	10点			
	フレイク・チップ	404点			
	原石	1点			
	礫	303点			
覆土3層			合計	74点	
	土器	小計	61点		
		IIIa	10点		
		IIIb	51点		
	石器	小計	13点		
	Rフレイク	1点			
	Uフレイク	1点			
	フレイク・チップ	7点			
	礫	4点			
覆土			合計	2点	
	石器	小計	2点		
		Uフレイク	1点		
		礫	1点		
床			合計	765点	
	土器	小計	487点		
		IIIa	159点		
		IIIb	328点		
	石器	小計	274点		
		石錘	1点		
		つまみ付石器	1点		
		スクレイパー	2点		
		Uフレイク	22点		
		石斧片	1点		
	たたき石	6点			
	扁平打製石器	1点			
	台石・石皿	10点			
	使用痕のある礫	2点			
	炉石	9点			
	フレイク・チップ	71点			
	礫	148点			

第1分冊（文章編）

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
		土製品	小計	2点
			土製品	1点
			有孔土製円盤	1点
		石製品	小計	2点
	棒状礫		2点	
	HP-1		合計	2点
		土器	小計	1点
			Ⅲb	1点
	石器	小計	1点	
		フレイク・チップ	1点	
	HP-5		合計	3点
		土器	小計	2点
			Ⅲa	2点
		石器	小計	1点
	礫		1点	
	HP-11		合計	1点
		石器	小計	1点
			フレイク・チップ	1点
	HP-21		合計	1点
		土器	小計	1点
			Ⅲa	1点
	HP-25		合計	3点
		石器	小計	3点
			フレイク・チップ	2点
	礫		1点	
	HP-28		合計	7点
		土器	小計	1点
			Ⅲa	1点
		石器	小計	6点
	フレイク・チップ		2点	
		礫	4点	
	HP-31		合計	1点
		石器	小計	1点
			礫	1点
	HP-32		合計	7点
		石器	小計	7点
			石斧（石のみ）	1点
			フレイク・チップ	5点
	礫		1点	
	HP-33		合計	3点
		土器	小計	3点
			Ⅲa	3点
HP-36		合計	18点	
	土器	小計	9点	
		Ⅲa	9点	
	石器	小計	9点	
		フレイク・チップ	5点	
礫		4点		
HP-37		合計	2点	
	石器	小計	2点	
扁平打製石器		1点		
礫		1点		
HP-38		合計	2点	
	石器	小計	2点	
Uフレイク		1点		
フレイク・チップ		1点		
HP-39		合計	1点	
	土器	小計	1点	
		Ⅲb	1点	
HP-40		合計	1点	
	石器	小計	1点	
		フレイク・チップ	1点	
HP-41		合計	11点	
	土器	小計	11点	
		Ⅲb	11点	
HP-42		合計	5点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
		土器	小計	3点	
			Ⅲa	3点	
		石器	小計	2点	
			礫	2点	
	HP-44		合計	1点	
		石器	小計	1点	
			礫	1点	
	攪乱		合計	50点	
		土器	小計	42点	
			Ⅲa	39点	
			Ⅲb	3点	
		石器	小計	8点	
			扁平打製石器	1点	
			フレイク・チップ	1点	
	礫		6点		
	CH75		総計	215点	
	覆土1層		合計	183点	
		土器	小計	124点	
			I a	1点	
			Ⅲa	103点	
		Ⅲb	20点		
石器		小計	59点		
		スクレイパー	5点		
		Uフレイク	2点		
		たたき石	1点		
		扁平打製石器	1点		
		台石・石皿	1点		
		フレイク・チップ	32点		
礫		17点			
HP-1			合計	1点	
	石器	小計	1点		
		礫	1点		
攪乱		合計	31点		
	土器	小計	30点		
		Ⅲa	30点		
	石器	小計	1点		
		礫	1点		
CH77		総計	4564点		
覆土1層		合計	514点		
	土器	小計	405点		
		Ⅲa	197点		
		Ⅲb	208点		
	石器	小計	109点		
		石鏃	2点		
		スクレイパー	1点		
		Rフレイク	1点		
		Uフレイク	5点		
		たたき石	1点		
		扁平打製石器	2点		
		すり石	1点		
		台石・石皿	3点		
		フレイク・チップ	69点		
		原石	2点		
		礫	22点		
		覆土2層		合計	497点
			土器	小計	320点
				Ⅲa	201点
			Ⅲb	119点	
石器	小計		176点		
	石鏃	1点			
	石錐	1点			
Uフレイク	4点				
石斧	2点				
扁平打製石器	5点				
すり石	1点				
	砥石	1点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数				
			台石・石皿	2点				
			フレイク・チップ	131点				
			石核	1点				
			礫	27点				
		土製品		小計	1点			
				有孔土製円盤	1点			
	覆土3層			合計	354点			
				土器	小計	296点		
					Ⅲa	153点		
					Ⅲb	143点		
				石器	小計	57点		
					石鎌	1点		
					スクレイパー	2点		
					Uフレイク	1点		
					たたき石	2点		
					扁平打製石器	2点		
					台石・石皿	2点		
					フレイク・チップ	41点		
	礫	6点						
	石製品	小計	1点					
		石棒	1点					
	覆土3層-1			合計	44点			
				土器	小計	25点		
					Ⅲa	19点		
					Ⅲb	6点		
				石器	小計	19点		
					Uフレイク	3点		
					たたき石	1点		
					台石・石皿	2点		
					フレイク・チップ	10点		
					礫	3点		
	覆土3層-2				合計	74点		
				土器	小計	48点		
					Ⅲa	39点		
					Ⅲb	9点		
				石器	小計	26点		
					Rフレイク	1点		
					フレイク・チップ	15点		
					礫	10点		
				覆土土			合計	95点
							土器	小計
	Ⅲa	26点						
Ⅲb	34点							
石器	小計	35点						
	Uフレイク	1点						
	たたき石	1点						
	扁平打製石器	1点						
	フレイク・チップ	27点						
	礫	5点						
	覆土中			合計	541点			
土器				小計	303点			
				Ⅲa	146点			
				Ⅲb	157点			
石器				小計	238点			
				石鎌	1点			
				石斧	1点			
				石斧片	1点			
				たたき石	2点			
				北海道式石冠	1点			
				扁平打製石器	2点			
				台石・石皿	2点			
				フレイク・チップ	211点			
	石核	3点						
原石	2点							
礫	12点							
覆土下			合計	120点				

遺構名	層位	遺物名	分類	点数					
		土器	小計	93点					
			Ⅲa	66点					
			Ⅲb	27点					
		石器	小計	26点					
			Uフレイク	1点					
			扁平打製石器	2点					
			フレイク・チップ	13点					
			礫	10点					
		石製品	小計	1点					
			三角形石製品	1点					
		覆土下①			合計	98点			
					土器	小計	73点		
	Ⅲa					31点			
	Ⅲb					42点			
	石器				小計	25点			
					スクレイパー	1点			
					Uフレイク	1点			
					扁平打製石器	1点			
					フレイク・チップ	16点			
					礫	6点			
		覆土下②			合計	54点			
	土器				小計	40点			
					Ⅲa	11点			
					Ⅲb	29点			
	石器				小計	14点			
					フレイク・チップ	10点			
					礫	4点			
					覆土			合計	1613点
	土器							小計	999点
								Ⅲa	97点
		Ⅲb	898点						
	石器	小計	613点						
		スクレイパー	3点						
		Uフレイク	20点						
		石斧片	1点						
		たたき石	10点						
		扁平打製石器	7点						
		すり石	1点						
	石製品	小計	1点						
		砥石	1点						
		台石・石皿	5点						
		フレイク・チップ	256点						
床			合計	491点					
			土器	小計	368点				
				Ⅲa	61点				
				Ⅲb	307点				
			石器	小計	123点				
				Uフレイク	8点				
				たたき石	4点				
				扁平打製石器	5点				
				砥石	1点				
				台石・石皿	1点				
使用痕のある礫	1点								
フレイク・チップ	38点								
礫	65点								
HP-1			合計	4点					
			土器	小計	1点				
				Ⅲa	1点				
石器	小計	3点							
	フレイク・チップ	3点							
HP-2			合計	7点					
			土器	小計	6点				
			Ⅲa	6点					

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CH78		石器	小計	1点
			礫	1点
	HP-3	石器	合計	3点
			小計	3点
			Uフレイク	1点
			フレイク・チップ	1点
	HP-4	土器	合計	1点
			小計	1点
			Ⅲa	1点
	HP-5	土器	合計	5点
			小計	3点
		石器	Ⅲb	3点
			小計	2点
	HP-6 覆土	土器	合計	3点
			小計	1点
			Ⅲa	1点
	HP-6 床	石器	合計	2点
			小計	2点
			Ⅲb	2点
	HP-7	土器	合計	4点
			小計	4点
			Ⅲa	4点
	HP-8	土器	合計	16点
			小計	13点
		石器	Ⅲa	13点
			小計	3点
	HP-9	土器	合計	6点
			小計	3点
			Ⅲa	3点
			小計	3点
	HP-10	土器	合計	15点
			小計	12点
		石器	Ⅲa	12点
			小計	3点
	HP-30	土器	石鏃	1点
			フレイク・チップ	2点
			合計	1点
	HP-32	土器	小計	1点
			Ⅲa	1点
	HP-35	石器	合計	1点
			小計	1点
	CH78	覆土1層	合計	5444点
合計			2288点	
土器			小計	1370点
			Ⅲa	276点
			Ⅲb	1094点
石器			小計	917点
			石鏃	4点
			スクレイパー	12点
			Rフレイク	3点
			Uフレイク	41点
			石斧片	1点
			たたき石	13点
			扁平打製石器	14点

遺構名	層位	遺物名	分類	点数			
CH78			すり石	1点			
			石錐	1点			
			台石・石皿	25点			
			フレイク・チップ	391点			
			原石	3点			
			礫	408点			
			土製品	小計	1点		
				有孔土製円盤	1点		
			覆土2層			合計	2267点
						土器	小計
	I b-4	Ⅲa				1点	
		Ⅲa				901点	
		Ⅲb				357点	
	石器	小計				1006点	
		石鏃				4点	
		石錐				1点	
		スクレイパー				11点	
		Rフレイク				3点	
		Uフレイク				44点	
		石斧				3点	
		石斧片				1点	
		たたき石				6点	
		扁平打製石器				15点	
		すり石				1点	
		台石・石皿				15点	
		フレイク・チップ				379点	
		石核	1点				
		原石	1点				
	礫	521点					
	土製品	小計	1点				
		土偶	1点				
	石製品	小計	1点				
		棒状礫	1点				
	覆土3層			合計	343点		
				土器	小計	230点	
				Ⅲa	Ⅲa	215点	
					Ⅲb	15点	
				石器	小計	113点	
					スクレイパー	1点	
					Uフレイク	4点	
					たたき石	1点	
					台石・石皿	4点	
フレイク・チップ					43点		
礫	60点						
覆土			合計	8点			
			土器	小計	1点		
			Ⅲa	1点			
			石器	小計	7点		
				石鏃	1点		
フレイク・チップ	6点						
床			合計	373点			
			土器	小計	218点		
			Ⅲa	Ⅲa	212点		
				Ⅲb	6点		
			石器	小計	153点		
				石鏃	2点		
				スクレイパー	8点		
				Rフレイク	1点		
Uフレイク	27点						
石斧	1点						
北海道式石冠	1点						
扁平打製石器	2点						
フレイク・チップ	54点						
礫	57点						
土製品	小計	2点					
	棒状礫	2点					

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CH79	HP-1		合計	97点	
		土器		小計	61点
			Ⅲa		61点
		石器		小計	36点
			スクレイパー		1点
			Uフレイク		1点
			すり石		1点
			フレイク・チップ		10点
		礫		23点	
		HP-5		合計	16点
	土器			小計	12点
			Ⅲa		12点
	石器			小計	4点
		Uフレイク		1点	
	HP-7		合計	3点	
		石器		小計	3点
			ポイント・ナイフ		1点
	HP-8		合計	34点	
		土器		小計	9点
			Ⅲa		9点
	HP-9	石器		小計	25点
			石鏃		2点
		Uフレイク		1点	
石斧			1点		
フレイク・チップ			18点		
礫		3点			
HP-14		合計	11点		
	土器		小計	11点	
		Ⅲb		11点	
	HP-19		合計	11点	
石器			小計	6点	
		Ⅲb		6点	
CH79	覆土1層		合計	1469点	
		土器		小計	834点
			Ⅲa		134点
		Ⅲb		700点	
			石器		小計
		石鏃		1点	
		スクレイパー		2点	
		Rフレイク		2点	
		Uフレイク		15点	
		石斧		1点	
石斧片		1点			
たたき石		3点			
扁平打製石器		6点			
台石・石皿		7点			
フレイク・チップ		142点			
礫		120点			
CH79	覆土2層		合計	173点	
		土器		小計	105点
			Ⅲa		63点
		Ⅲb		42点	
			石器		小計
		石鏃			2点
		スクレイパー			1点
		Rフレイク			1点
		Uフレイク			3点
		扁平打製石器			2点
砥石		1点			
台石・石皿		2点			
フレイク・チップ		30点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CH80	覆土		礫	26点	
			合計	96点	
		土器		小計	96点
			Ⅲb		96点
	床		合計	36点	
		土器		小計	20点
			Ⅲa		20点
		石器		小計	16点
			スクレイパー		2点
	たたき石			1点	
	フレイク・チップ		6点		
	礫		7点		
	HP-2		合計	5点	
		土器		小計	3点
			Ⅲa		3点
	石器		小計	2点	
		石鏃		1点	
	礫		1点		
	HP-3		合計	3点	
		土器		小計	1点
			Ⅲa		1点
	石器		小計	2点	
		フレイク・チップ		2点	
HP-14		合計	11点		
	土器		小計	11点	
		Ⅲb		11点	
HP-19		合計	11点		
	土器		小計	6点	
		Ⅲb		6点	
石器		小計	5点		
	フレイク・チップ		2点		
礫		3点			
CH80	覆土1層		合計	1131点	
		土器		小計	188点
			Ⅲa		138点
		Ⅲb		70点	
			石器		小計
		石鏃			1点
		石鏃		1点	
		Uフレイク		1点	
		石斧		1点	
		台石・石皿		6点	
フレイク・チップ		27点			
礫		13点			
CH80	覆土2層		合計	79点	
		土器		小計	53点
			Ⅲa		21点
		Ⅲb		32点	
			石器		小計
		石鏃			1点
		Rフレイク			1点
		Uフレイク			1点
たたき石		1点			
台石・石皿		4点			
フレイク・チップ		14点			
礫		4点			
CH80	覆土3層		合計	90点	
		土器		小計	77点
			Ⅲa		8点
		Ⅲb		69点	
			石器		小計
		たたき石			1点
台石・石皿		2点			
フレイク・チップ		7点			
礫		3点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CH82	覆土上		合計	170点	
		土器	小計	105点	
			Ⅲa	33点	
			Ⅲb	72点	
		石器	小計	65点	
			石鏃	1点	
			スクレイパー	2点	
			Rフレイク	1点	
			Uフレイク	2点	
			台石・石皿	1点	
			台石・石皿	2点	
			フレイク・チップ	40点	
		礫	16点		
		覆土下		合計	30点
			土器	小計	21点
	Ⅲa			18点	
	Ⅲb			3点	
	石器		小計	9点	
			フレイク・チップ	5点	
		原石	1点		
	礫	3点			
	覆土		合計	541点	
		土器	小計	385点	
			Ⅲa	141点	
			Ⅲb	244点	
		石器	小計	156点	
			石鏃	1点	
			石錐	1点	
			スクレイパー	2点	
			Uフレイク	9点	
			たたき石	3点	
			扁平打製石器	4点	
			砥石	1点	
			台石・石皿	2点	
			フレイク・チップ	88点	
			礫	45点	
	床			合計	28点
		土器	小計	5点	
			Ⅲa	1点	
			Ⅲb	4点	
		石器	小計	23点	
			石錐	1点	
			Uフレイク	1点	
			たたき石	1点	
			扁平打製石器	1点	
			くぼみ石	2点	
			炉石	12点	
フレイク・チップ			3点		
原石			1点		
礫			1点		
上面1				合計	5点
	土器		小計	5点	
		Ⅲa	4点		
		Ⅲb	1点		
CH82		総計	823点		
	覆土1層		合計	34点	
		土器	小計	26点	
			Ⅲa	22点	
			Ⅲb	4点	
		石器	小計	8点	
			フレイク・チップ	4点	
	原石		1点		
	礫	3点			
	覆土2層		合計	36点	
		土器	小計	14点	
	Ⅲa		14点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CH82	覆土上	石器	小計	22点	
			Uフレイク	1点	
			たたき石	2点	
		台石・石皿	1点		
		フレイク・チップ	8点		
		礫	10点		
		覆土3層		合計	31点
			土器	小計	20点
				Ⅲa	19点
				Ⅲb	1点
			石器	小計	11点
				Uフレイク	1点
		石斧片		1点	
		台石・石皿		1点	
		フレイク・チップ		6点	
	礫	2点			
	覆土4層		合計	12点	
		土器	小計	10点	
			Ⅲa	10点	
		石器	小計	2点	
			台石・石皿	1点	
	フレイク・チップ		1点		
	覆土5層		合計	11点	
		土器	小計	6点	
			Ⅲa	6点	
		石器	小計	5点	
			石斧	1点	
			扁平打製石器	1点	
	フレイク・チップ		3点		
	覆土7層		合計	7点	
		土器	小計	6点	
			Ⅲa	6点	
		石器	小計	1点	
	フレイク・チップ		1点		
	覆土8層		合計	1点	
		土器	小計	1点	
	Ⅲa		1点		
	覆土9層		合計	8点	
		土器	小計	8点	
	Ⅲa		8点		
	覆土上		合計	98点	
		土器	小計	82点	
			Ⅲa	35点	
			Ⅲb	47点	
		石器	小計	16点	
			スクレイパー	1点	
			Rフレイク	1点	
扁平打製石器			1点		
フレイク・チップ			12点		
礫			1点		
覆土中			合計	46点	
土器	小計	25点			
	Ⅲa	25点			
	石器	小計	21点		
スクレイパー		1点			
Uフレイク		2点			
たたき石		1点			
フレイク・チップ	15点				
礫	2点				
覆土下		合計	60点		
	土器	小計	41点		
		Ⅲa	41点		
	石器	小計	19点		
スクレイパー		1点			
フレイク・チップ	16点				
礫	2点				

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CH83	覆土上・下		合計	79点	
		土器	小計	53点	
			Ⅲa	16点	
			Ⅲb	37点	
			石器	小計	26点
		石器	石錐	1点	
			スクレイパー	1点	
			Uフレイク	2点	
			石斧片	1点	
			台石・石皿	2点	
			フレイク・チップ	12点	
			礫	7点	
				合計	348点
			土器	小計	254点
	Ⅲa			252点	
	Ⅲb	2点			
	石器	小計		92点	
	石器	石錐	1点		
		スクレイパー	3点		
		Uフレイク	12点		
		たたき石	1点		
		扁平打製石器	1点		
		台石・石皿	1点		
		フレイク・チップ	56点		
		礫	17点		
		石製品	小計	2点	
		石製品	1点		
	棒状礫	1点			
	床		合計	39点	
		土器	小計	20点	
			Ⅲa	19点	
			Ⅲb	1点	
			石器	小計	18点
		石器	Uフレイク	1点	
			くぼみ石	1点	
			フレイク・チップ	9点	
			礫	7点	
		石製品	小計	1点	
	棒状礫	1点			
	HP-1		合計	3点	
		土器	小計	1点	
			Ⅲa	1点	
	石器	小計	2点		
	礫	2点			
	HP-2		合計	1点	
		石器	小計	1点	
	フレイク・チップ	1点			
HP-3		合計	2点		
	土器	小計	2点		
Ⅲa	2点				
HP-4		合計	1点		
	土器	小計	1点		
Ⅲa	1点				
HP-5		合計	3点		
	土器	小計	2点		
		Ⅲa	2点		
石器	小計	1点			
礫	1点				
HP-6		合計	3点		
	土器	小計	1点		
		Ⅲa	1点		
石器	小計	2点			
フレイク・チップ	2点				
CH83		総計	4082点		
	覆土1層		合計	67点	
土器		小計	55点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CH83	覆土2層		Ⅲa	51点	
			Ⅲb	1点	
			Ⅳa	3点	
		石器	小計	12点	
		石器	石斧	1点	
			フレイク・チップ	5点	
			礫	6点	
			合計	3649点	
		土器	小計	2152点	
			Ⅲa	538点	
			Ⅲb	1614点	
			石器	小計	1487点
			ポイント・ナイフ	2点	
			石鏃	4点	
	石錐		1点		
	スクレイパー		10点		
	Rフレイク		8点		
	Uフレイク		35点		
	石斧	4点			
	石斧片	2点			
	たたき石	19点			
	北海道式石冠	1点			
	扁平打製石器	26点			
	すり石	2点			
	砥石	17点			
	石錘	1点			
	くぼみ石	2点			
	礫石器	3点			
	台石・石皿	31点			
	フレイク・チップ	352点			
	原石	1点			
	礫	966点			
	土製品	小計	3点		
	有孔土製円盤	3点			
	石製品	小計	1点		
	耳石	1点			
	自然遺物	小計	6点		
	炭化材	6点			
	覆土3層		合計	12点	
		土器	小計	9点	
			Ⅲa	9点	
	石器	小計	3点		
	フレイク・チップ	3点			
	覆土		合計	13点	
		石器	小計	13点	
			Uフレイク	2点	
	フレイク・チップ	11点			
床		合計	171点		
	土器	小計	119点		
		Ⅲa	20点		
		Ⅲb	99点		
		石器	小計	48点	
	石器	スクレイパー	1点		
		Uフレイク	2点		
		たたき石	1点		
		扁平打製石器	1点		
		台石・石皿	3点		
加工痕のある礫		1点			
使用痕のある礫		1点			
フレイク・チップ		12点			
礫	26点				
石製品	小計	4点			
玉	1点				
石棒	1点				
棒状礫	2点				
HP-1		合計	1点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
		石器	小計	1点
			礫	1点
	HP-2	石器	合計	1点
			小計	1点
		礫		1点
			合計	1点
	HP-15	石器	小計	1点
			礫	1点
	HP-16		合計	167点
			小計	164点
		土器	Ⅲa	164点
			小計	3点
		石器	礫	3点
CH84			総計	2545点
覆土1層		土器	合計	1263点
			小計	678点
		Ⅱb		34点
			Ⅲa	495点
			Ⅲb	149点
	石器	小計	584点	
		スクレイパー	1点	
		Uフレイク	9点	
		石斧	1点	
		たたき石	3点	
		扁平打製石器	8点	
		すり石	1点	
		台石・石皿	12点	
		フレイク・チップ	116点	
		礫	404点	
		不明	29点	
		土製品	小計	1点
			有孔土製円盤	1点
		合計	443点	
覆土2層	土器	小計	322点	
		Ⅲa	67点	
	Ⅲb	255点		
	石器	小計	121点	
		スクレイパー	1点	
		Uフレイク	2点	
		たたき石	1点	
		北海道式石冠	1点	
		扁平打製石器	2点	
		すり石	3点	
台石・石皿		4点		
炉石	3点			
フレイク・チップ	34点			
礫	70点			
	合計	61点		
覆土3層	土器	小計	29点	
		Ⅲa	3点	
	Ⅲb	26点		
	石器	小計	32点	
		Rフレイク	1点	
		台石・石皿	1点	
フレイク・チップ	10点			
礫	20点			
	合計	609点		
覆土	土器	小計	323点	
		Ⅲa	133点	
	Ⅲb	190点		
	石器	小計	286点	
		石鏃	1点	
		スクレイパー	1点	
Uフレイク	6点			
石斧片	1点			
扁平打製石器	2点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
			砥石	1点
			台石・石皿	2点
			フレイク・チップ	71点
			礫	201点
			合計	153点
	床	土器	小計	100点
			Ⅲa	100点
		石器	小計	52点
			つまみ付ナイフ	1点
			スクレイパー	1点
			Uフレイク	9点
			たたき石	1点
			扁平打製石器	3点
			炉石	1点
			フレイク・チップ	11点
			礫	25点
			土製品	小計
		焼成粘土塊	1点	
			合計	3点
	HP-4	土器	小計	2点
			Ⅲa	2点
		石器	小計	1点
		礫	1点	
		合計	1点	
	HP-7	土器	小計	1点
			Ⅲa	1点
		合計	1点	
	HP-15	土器	小計	1点
			Ⅲa	1点
		合計	11点	
HP-52	土器	小計	10点	
		Ⅲa	10点	
	石器	小計	1点	
	フレイク・チップ	1点		
CH85			総計	371点
覆土1層		土器	合計	64点
			小計	34点
		Ⅲa		12点
			Ⅲb	22点
	石器	小計	30点	
		Uフレイク	1点	
		たたき石	2点	
		扁平打製石器	1点	
		フレイク・チップ	11点	
		礫	15点	
			合計	32点
		土器	小計	17点
	Ⅲa		17点	
	石器	小計	15点	
Uフレイク		3点		
たたき石		1点		
台石・石皿		1点		
フレイク・チップ		4点		
礫		6点		
	合計	5点		
覆土下	石器	小計	5点	
		フレイク・チップ	5点	
床	土器	合計	165点	
		小計	90点	
		Ⅲa		76点
			Ⅲb	14点
	石器	小計	74点	
		スクレイパー	2点	
Uフレイク	5点			
たたき石	2点			
扁平打製石器	1点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
			台石・石皿	1点	
			フレイク・チップ	32点	
			礫	31点	
		土製品	小計	1点	
			有孔土製円盤	1点	
	HP-1		合計	3点	
			小計	1点	
		土器	Ⅲa	1点	
			石器	小計	2点
				フレイク・チップ	1点
	礫	1点			
	HP-5		合計	5点	
			小計	3点	
		土器	Ⅲa	3点	
			石器	小計	2点
				Uフレイク	1点
	フレイク・チップ	1点			
	HP-8		合計	55点	
			小計	9点	
		土器	Ⅲa	9点	
石器			小計	46点	
			台石・石皿	1点	
フレイク・チップ	3点				
礫	42点				
HP-13		合計	3点		
		小計	2点		
	土器	Ⅲa	2点		
石器		小計	1点		
	フレイク・チップ	1点			
HP-14		合計	9点		
		小計	5点		
	土器	Ⅲa	5点		
		石器	小計	4点	
フレイク・チップ	1点				
礫	3点				
HP-15		合計	3点		
		小計	1点		
	土器	Ⅲa	1点		
石器		小計	2点		
	フレイク・チップ	2点			
HP-18		合計	8点		
		小計	8点		
	土器	Ⅲa	8点		
石器		小計	4点		
	Uフレイク	1点			
フレイク・チップ	1点				
礫	2点				
HP-19		合計	6点		
		小計	2点		
	土器	Ⅲa	2点		
		石器	小計	4点	
Uフレイク	1点				
フレイク・チップ	1点				
礫	2点				
HP-20		合計	13点		
		小計	7点		
	土器	Ⅲa	7点		
		石器	小計	6点	
			フレイク・チップ	1点	
礫	5点				
CH86	覆土1層	合計	1479点		
		小計	453点		
	土器	小計	305点		
		Ⅲa	230点		
	石器	Ⅲb	75点		
		スクレイパー	1点		
		Uフレイク	4点		
たたき石	3点				
北海道式石冠	1点				

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
			扁平打製石器	6点
			台石・石皿	1点
			フレイク・チップ	39点
		原石	礫	2点
			合計	91点
	覆土2層		合計	656点
			小計	447点
		土器	Ⅲa	428点
			Ⅲb	19点
				小計
		石器	石鏃	2点
			スクレイパー	4点
			Rフレイク	1点
			Uフレイク	3点
			石斧片	1点
	たたき石		2点	
	北海道式石冠		1点	
	扁平打製石器		1点	
	石錘		1点	
	台石・石皿		2点	
フレイク・チップ	91点			
礫	100点			
覆土3層		合計	30点	
		小計	12点	
	土器	Ⅲa	12点	
		石器	小計	18点
			北海道式石冠	1点
台石・石皿	2点			
フレイク・チップ	4点			
礫	11点			
覆土		合計	24点	
		小計	17点	
	土器	Ⅲa	17点	
		石器	小計	7点
			フレイク・チップ	5点
礫	2点			
床		合計	308点	
		小計	291点	
	土器	Ⅲa	291点	
		石器	小計	16点
			石斧	1点
たたき石	2点			
フレイク・チップ	2点			
礫	11点			
土製品	小計	1点		
	土製品	1点		
HP-1		合計	4点	
		小計	4点	
	土器	Ⅲa	4点	
HP-12		合計	1点	
	石器	小計	1点	
フレイク・チップ		1点		
HP-14		合計	1点	
		小計	1点	
	土器	Ⅲa	1点	
HP-16		合計	2点	
	土器	小計	2点	
Ⅲa		2点		
CH87	覆土1層	合計	10点	
		小計	6点	
	土器	Ⅲa	1点	
		石器	小計	5点
			フレイク・チップ	4点
礫	1点			
床	合計	4点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数		
CH88		土器		小計	1点	
			IIIa		1点	
	石器			小計	3点	
		Uフレイク		1点		
		石斧		1点		
		礫		1点		
				総計	86点	
	覆土1層				合計	60点
		土器			小計	28点
			IIIa		25点	
			IIIb		3点	
		石器			小計	32点
			Uフレイク		1点	
			砥石		1点	
フレイク・チップ				11点		
				礫	19点	
				合計	26点	
床		土器			小計	16点
			IIIa		1点	
			IIIb		15点	
		石器			小計	8点
	Uフレイク			1点		
	フレイク・チップ			2点		
	扁平打製石器			1点		
				礫	4点	
	石製品			小計	2点	
		玉		1点		
棒状礫			1点			
			総計	118点		
CH89	覆土1層			合計	45点	
		土器			小計	25点
			IIIa		10点	
			IIIb		15点	
		石器			小計	20点
	たたき石			1点		
	台石・石皿			1点		
	フレイク・チップ			6点		
				礫	12点	
				合計	398点	
	覆土2層	土器			小計	231点
			IIIa		94点	
			IIIb		137点	
		石器			小計	167点
石鏃				3点		
スクレイパー				3点		
Uフレイク				6点		
たたき石				1点		
扁平打製石器				4点		
すり石				1点		
台石・石皿				3点		
フレイク・チップ				42点		
					礫	104点
				合計	14点	
覆土3層	土器			小計	6点	
		IIIa		6点		
	石器			小計	8点	
		扁平打製石器		1点		
		フレイク・チップ		2点		
			礫	5点		
床				合計	575点	
	土器			小計	285点	
		IIIa		122点		
		IIIb		163点		
	石器			小計	286点	
		Rフレイク		3点		
			Uフレイク	9点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数				
			スクレイパー		6点			
			たたき石		3点			
			つまみ付石器		1点			
			フレイク・チップ		36点			
			使用痕のある礫		1点			
			小礫		109点			
			石斧		2点			
			石斧片		1点			
			石鏃		1点			
			台石・石皿		4点			
			炉石		1点			
						礫	109点	
						土製品	小計	3点
						有孔土製円盤	3点	
			石製品	小計	1点			
			棒状礫	1点				
HP-1				合計	4点			
	土器			小計	1点			
		IIIa		1点				
	石器			小計	3点			
			礫	3点				
HP-2				合計	2点			
	石器			小計	2点			
		フレイク・チップ		1点				
			礫	1点				
HP-3				合計	12点			
	土器			小計	6点			
		IIIa		6点				
	石器			小計	6点			
		Uフレイク		1点				
フレイク・チップ			3点					
			礫	2点				
HP-4				合計	29点			
	土器			小計	29点			
				IIIb	29点			
HP-6				合計	1点			
	石器			小計	1点			
				礫	1点			
HP-7				合計	1点			
	土器			小計	1点			
				IIIa	1点			
HP-8				合計	3点			
	土器			小計	1点			
		IIIa		1点				
	石器			小計	2点			
フレイク・チップ			1点					
			礫	1点				
HP-9				合計	3点			
	土器			小計	1点			
		IIIa		1点				
	石器			小計	2点			
			礫	2点				
HP-10				合計	1点			
	石器			小計	1点			
				礫	1点			
HP-11				合計	1点			
	土器			小計	1点			
				IIIa（土偶？）	1点			
HP-23				合計	29点			
	土器			小計	29点			
		IIIa		29点				
CH90	覆土1層			総計	851点			
				合計	139点			
		土器			小計	98点		
			IIIa		70点			
			IIIb	28点				

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CH91	石器		小計	41点	
		スクレイパー		1点	
		Uフレイク		1点	
		扁平打製石器		1点	
		フレイク・チップ		20点	
		礫		18点	
	覆土2層			合計	433点
		土器		小計	247点
			IIIa		188点
			IIIb		59点
		石器		小計	179点
			石鏃		1点
			Uフレイク		3点
			たたき石		2点
			扁平打製石器		1点
			台石・石皿		8点
			フレイク・チップ		63点
			礫		101点
		自然遺物		小計	7点
			骨格器		7点
		床			合計
	土器			小計	59点
			IIIa		42点
			IIIb		17点
	石器			小計	19点
			Uフレイク		1点
			スクレイパー		2点
			フレイク・チップ		1点
			石斧		1点
	石製品			小計	1点
		棒状礫		1点	
	HP-1			合計	53点
		土器		小計	53点
	IIIa			53点	
	HP-2			合計	11点
		土器		小計	11点
	IIIa			11点	
	HP-4			合計	4点
		土器		小計	1点
			IIIa		1点
	石器		小計	3点	
		礫		3点	
		HP-5		合計	37点
	土器		小計	35点	
		IIIa		35点	
		石器		小計	2点
			礫		1点
HP-7			合計	1点	
	土器		小計	1点	
IIIa			1点		
HP-8			合計	3点	
	土器		小計	1点	
		IIIb		1点	
	石器		小計	2点	
礫			2点		
HP-9			合計	2点	
	土器		小計	1点	
		IIIa		1点	
	石器		小計	1点	
		フレイク・チップ		1点	
HP-10			合計	89点	
	土器		小計	89点	
		IIIb		89点	
CH91			総計	123点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数		
CH92	覆土1層		合計	51点		
		土器		小計	37点	
			IIIa		37点	
		石器		小計	14点	
			すり石		1点	
			フレイク・チップ		5点	
	礫			8点		
	床			合計	72点	
		土器		小計	5点	
			IIIa		5点	
		石器		小計	67点	
			Uフレイク		2点	
			たたき石		1点	
	台石・石皿			1点		
	フレイク・チップ			3点		
	礫		60点			
	CH92			総計	4331点	
		覆土1層		合計	82点	
			土器		小計	35点
				IIIa		24点
				IIIb		11点
			石器		小計	47点
				Uフレイク		1点
				たたき石		2点
				台石・石皿		2点
				フレイク・チップ		21点
				礫		21点
				覆土2層		
		土器			小計	2066点
IIIa					567点	
IIIb					1499点	
石器					小計	972点
		石鏃			1点	
		スクレイパー			4点	
		Rフレイク			3点	
		Uフレイク			24点	
		石斧			3点	
		石斧片			2点	
たたき石			8点			
北海道式石冠			1点			
扁平打製石器			10点			
台石・石皿			11点			
大礫			1点			
フレイク・チップ			267点			
礫			637点			
土製品		小計	1点			
	有孔土製円盤		1点			
覆土3層			合計	856点		
	土器		小計	539点		
		IIIa		43点		
		IIIb		496点		
	石器		小計	316点		
		スクレイパー		5点		
		Rフレイク		1点		
		Uフレイク		4点		
		石斧		1点		
		たたき石		1点		
		扁平打製石器		1点		
石鏃			1点			
台石・石皿		4点				
フレイク・チップ		58点				
礫		240点				
石製品		小計	1点			
	石棒		1点			
覆土			合計	3点		
	石器		小計	3点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CH不明	床		フレイク・チップ	1点	
			礫	2点	
			合計	327点	
		土器		小計	222点
			Ⅲa	22点	
		Ⅲb	200点		
		石器		小計	105点
			Uフレイク	6点	
			扁平打製石器	2点	
			砥石	9点	
			台石・石皿	4点	
			フレイク・チップ	9点	
			礫	75点	
			合計	9点	
		土器		小計	3点
	Ⅲa		3点		
	石器		小計	6点	
		Uフレイク	1点		
	礫	5点			
		合計	5点		
	土器		小計	2点	
		Ⅲb	2点		
		石器	小計	3点	
	フレイク・チップ	1点			
	礫	2点			
		合計	1点		
	土器		小計	1点	
		Ⅲa	1点		
	石器		小計	2点	
		礫	2点		
		合計	1点		
	石器		小計	1点	
		礫	1点		
	合計	5点			
石器		小計	5点		
	フレイク・チップ	1点			
礫	4点				
	合計	1点			
石器		小計	1点		
	フレイク・チップ	1点			
	合計	419点			
覆土1層	土器		小計	10点	
		Ⅲa	10点		
		石器	小計	4点	
	フレイク・チップ	3点			
	礫	1点			
		合計	25点		
	土器		小計	19点	
		Ⅲa	19点		
	石器		小計	6点	
		フレイク・チップ	3点		
		礫	3点		
		合計	84点		
	土器		小計	46点	
		Ⅲa	3点		
	Ⅲb	43点			
石器		小計	38点		
	スクレイパー	2点			
	Uフレイク	1点			
	石斧	1点			
	フレイク・チップ	13点			
	石核	1点			
	礫	20点			
	合計	282点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CP 1	床	土器		小計	248点
			Ⅲa	45点	
		Ⅲb	203点		
		石器		小計	34点
			スクレイパー	1点	
		フレイク・チップ	12点		
		礫	21点		
			合計	1点	
		石器		小計	1点
			台石・石皿	1点	
			合計	5点	
		土器		小計	5点
			Ⅲa	5点	
			合計	1点	
		土器		小計	1点
	Ⅲa		1点		
		合計	2点		
	土器		小計	2点	
		Ⅲa	2点		
		合計	5点		
	土器		小計	5点	
		Ⅲa	5点		
		合計	2点		
	土器		小計	2点	
		Ⅲa	2点		
		合計	5点		
	土器		小計	5点	
		Ⅲa	5点		
		合計	2点		
	CP 1	覆土1層		合計	2点
			石器	小計	2点
			フレイク・チップ	1点	
	礫	1点			
	合計	79点			
CP 3	覆土1層	土器		小計	58点
			Ⅲb	58点	
		石器		小計	21点
			スクレイパー	1点	
			加工痕のある礫	1点	
フレイク・チップ	4点				
礫	15点				
	合計	9点			
CP 4	覆土1層	土器		小計	1点
			Ⅲa	1点	
		石器		小計	8点
			石斧	2点	
			たたき石	1点	
扁平打製石器	1点				
フレイク・チップ	1点				
礫	3点				
	合計	35点			
CP 5	覆土1層	土器		小計	24点
			Ⅲa	11点	
		Ⅲb	13点		
		石器		小計	4点
			スクレイパー	1点	
	たたき石	1点			
	扁平打製石器	2点			
		合計	5点		
	覆土2層	土器		小計	3点
			Ⅲa	1点	
Ⅲb		2点			
石器			小計	2点	
		フレイク・チップ	1点		
	礫	1点			
覆土		合計	2点		
	石器	小計	2点		
フレイク・チップ	2点				
	合計	31点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
	覆土1層	土器	合計	2点	
			小計	2点	
			IIIa	2点	
	覆土3層	土器	合計	29点	
			小計	24点	
			IIIa	15点	
			IIIb	9点	
			石器	小計	5点
			扁平打製石器	1点	
			礫	4点	
CP7	覆土1層	土器	合計	8点	
			小計	8点	
			IIIa	8点	
	覆土4層	土器	合計	11点	
			小計	9点	
			IIIa	4点	
			IIIb	5点	
			石器	小計	2点
			フレイク・チップ	1点	
			礫	1点	
CP8	覆土	土器	合計	1点	
			小計	1点	
			IIIa	1点	
	床	石器	合計	1点	
			小計	1点	
			スクレイパー	1点	
			合計	2点	
	CP9	覆土1層	土器	合計	59点
				小計	33点
				IIIa	17点
石器		小計	IIIb	16点	
			スクレイパー	1点	
			石斧片	1点	
			台石・石皿	2点	
			フレイク・チップ	21点	
			礫	1点	
覆土2層		土器	合計	39点	
	小計		36点		
	IIIa		25点		
	IIIb		11点		
	石器		小計	3点	
		スクレイパー	1点		
		フレイク・チップ	1点		
		礫	1点		
覆土4層	土器	合計	1点		
		小計	1点		
		IIIb	1点		
		合計	80点		
CP10	覆土1層	土器	合計	80点	
			小計	73点	
			IVa	73点	
			石器	小計	7点
			台石・石皿	1点	
			フレイク・チップ	4点	
		礫	2点		
CP11	床	土器	合計	14点	
			小計	11点	
			IIIa	3点	
			IIIb	8点	
			石器	小計	3点
			台石・石皿	1点	
		礫	2点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CP12	覆土1層	土器	合計	95点	
			小計	6点	
			IIIa	1点	
			石器	小計	5点
			礫	5点	
	覆土	土器	合計	15点	
			小計	13点	
			IIIa	13点	
			石器	小計	2点
			礫	2点	
床	土器	合計	74点		
		小計	49点		
		IIIa	48点		
		IIIb	1点		
		石器	小計	25点	
		スクレイパー	1点		
		台石・石皿	1点		
		フレイク・チップ	20点		
		礫	3点		
CP13	覆土1層	土器	合計	2点	
			小計	2点	
			IIIb	1点	
			石器	小計	1点
			礫	1点	
CP14	覆土1層	土器	合計	196点	
			小計	179点	
			IIIa	148点	
			石器	小計	31点
			石鏃	1点	
			スクレイパー	1点	
			たたき石	3点	
			扁平打製石器	1点	
			台石・石皿	2点	
			フレイク・チップ	9点	
		礫	14点		
覆土	土器	合計	17点		
		小計	12点		
		IIIa	12点		
		石器	小計	5点	
		礫	5点		
CP15	覆土1層	土器	合計	30点	
			小計	30点	
			IIIa	25点	
			IIIb	10点	
			石器	小計	5点
		石鏃	1点		
		たたき石	2点		
		フレイク・チップ	1点		
		礫	1点		
CP17	覆土2層	土器	合計	10点	
			小計	10点	
			IIIa	8点	
			石器	小計	2点
			フレイク・チップ	2点	
CP18	覆土1層	土器	合計	8点	
			小計	5点	
			IIIa	4点	
			IIIb	4点	
			石器	小計	1点
			スクレイパー	1点	
覆土		合計	2点		

第1分冊（文章編）

遺構名	層位	遺物名	分類	点数				
		土器	小計	2点				
			Ⅲa	2点				
	床	石器	合計	1点				
			小計	1点				
CP19	覆土1層	土器	合計	36点				
			小計	30点				
			Ⅲa	3点				
			Ⅲb	20点				
			石器	小計	7点			
				扁平打製石器 礫	1点 6点			
	覆土3層	土器	合計	5点				
			小計	5点				
	床	土器	合計	1点				
			小計	1点				
	CP20	覆土1層	石器	合計	7点			
				小計	1点			
フレイク・チップ				1点				
覆土		石器	合計	6点				
			小計	6点				
			台石・石皿 礫	4点 2点				
CP21		覆土	土器	合計	6点			
				小計	4点			
				Ⅲb	4点			
				石器	小計	2点		
					台石・石皿 フレイク・チップ	1点 1点		
				CP22	覆土	土器	合計	4点
小計	4点							
Ⅲa	4点							
CP24	覆土1層	土器	合計	61点				
			小計	59点				
			Ⅲa	59点				
			石器	小計	2点			
				たたき石 北海道式石冠	1点 1点			
				合計	8点			
CP25	覆土1層	土器	合計	8点				
			小計	3点				
			Ⅲa	3点				
			石器	小計	5点			
				石鏃 スクレイパー フレイク・チップ 礫	1点 1点 1点 2点			
				CP26	覆土1層	土器	合計	2点
							小計	2点
				CP27	覆土1層	土器	合計	12点
							小計	11点
Ⅲa Ⅲb	5点 6点							
CP28	覆土1層	石器	小計	1点				
			フレイク・チップ	1点				
			合計	5点				

遺構名	層位	遺物名	分類	点数			
	覆土1層	土器	合計	5点			
			小計	4点			
			Ⅲa	4点			
			石器	小計	1点		
Uフレイク	1点						
CP29	覆土1層	土器	合計	14点			
			小計	13点			
			Ⅲa	10点			
			Ⅲb	3点			
			石器	小計	1点		
				フレイク・チップ	1点		
CP30	覆土1層	土器	合計	4点			
			小計	4点			
			Ⅲa	1点			
			石器	小計	3点		
				フレイク・チップ 礫	2点 1点		
CP31	覆土1層	土器	合計	33点			
			小計	4点			
			Ⅲa	2点			
			石器	小計	2点		
				礫	2点		
			覆土2層	土器	合計	28点	
小計	28点						
Ⅲb	28点						
床	石器	合計	1点				
		小計	1点				
		台石・石皿	1点				
CP32	覆土1層	土器	合計	79点			
			小計	59点			
			Ⅲa	41点			
			石器	小計	18点		
				Rフレイク 石鏃 台石・石皿 フレイク・チップ 礫	1点 1点 1点 2点 13点		
				合計	12点		
			覆土	土器	小計	2点	
					Ⅲa	2点	
					石器	小計	10点
						礫	10点
床	土器	合計			8点		
		小計			2点		
		Ⅲa	2点				
		石器	小計	6点			
			石斧 礫	1点 5点			
		CP33	覆土1層	土器	合計	9点	
小計	5点						
Ⅲa	5点						
石器	小計				4点		
	すり石 フレイク・チップ 礫				2点 1点 1点		
CP34	覆土1層	土器	合計	11点			
			小計	11点			
			Ⅲa	11点			
CP35	覆土1層	土器	合計	1点			
			小計	1点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CP36		土器	小計	1点
			Ⅲa	1点
			合計	63点
			合計	29点
	覆土1層	土器	小計	12点
			Ⅲa	12点
		石器	小計	17点
			フレイク・チップ	4点
			石核	1点
			礫	12点
	覆土		合計	34点
			合計	30点
土器		Ⅲb	30点	
		小計	4点	
石器		小計	4点	
		スクレイパー	1点	
	砥石	1点		
	台石・石皿 フレイク・チップ	1点		
CP37			合計	11点
CP37	覆土1層		合計	11点
			合計	3点
	土器	小計	3点	
		Ⅲa	3点	
	石器	小計	7点	
		スクレイパー	1点	
		台石・石皿	1点	
		石核	1点	
		原石	1点	
	土製品	小計	3点	
ミニチュア土器		1点		
CP38			合計	34点
CP38	覆土1層		合計	32点
			合計	28点
	土器	小計	28点	
		Ⅲa	28点	
	石器	小計	4点	
		台石・石皿	3点	
		フレイク・チップ	1点	
		床	合計	2点
	土器	小計	2点	
		Ⅲa	2点	
CP39			合計	7点
CP39	覆土1層		合計	7点
			合計	4点
	土器	小計	4点	
		Ⅲa	4点	
	石器	小計	3点	
		Rフレイク	1点	
		台石・石皿 礫	1点	
CP41			合計	23点
CP41	覆土1層		合計	15点
			合計	9点
	土器	小計	9点	
		Ⅲa	9点	
	石器	小計	6点	
		スクレイパー	1点	
		Rフレイク	1点	
		台石・石皿	1点	
		フレイク・チップ	3点	
	床		合計	8点
			合計	4点
		土器	小計	4点
			Ⅲa	4点
		石器	小計	4点
スクレイパー 礫			1点	
CP42			合計	2点
CP42	覆土1層		合計	2点
			合計	1点
土器	小計	1点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CP43		土器	Ⅲa	1点
			小計	1点
			合計	83点
			合計	76点
	覆土1層	土器	小計	65点
			Ⅲa	65点
		石器	小計	11点
			スクレイパー	4点
			フレイク・チップ	7点
			合計	7点
	覆土	土器	小計	5点
			Ⅲa	5点
石器		小計	2点	
		たたき石 フレイク・チップ	1点	
CP44			合計	5点
CP44	覆土1層		合計	2点
			合計	1点
	土器	小計	1点	
		Ⅲa	1点	
	石器	小計	1点	
		Rフレイク	1点	
	覆土	土器	合計	3点
			小計	3点
		Ⅲa	Ⅲa	2点
			Ⅲb	1点
CP45			合計	23点
CP45	覆土1層		合計	16点
			合計	12点
	土器	小計	12点	
		Ⅲa	12点	
	石器	小計	4点	
		Rフレイク フレイク・チップ	1点	
	覆土	土器	合計	7点
			小計	4点
		Ⅲa	Ⅲa	4点
			石器	小計
フレイク・チップ	3点			
CP46			合計	3点
CP46	覆土1層		合計	3点
			合計	3点
	石器	小計	3点	
		礫	3点	
CP47			合計	6点
CP47	覆土1層		合計	6点
			合計	6点
	土器	小計	6点	
		Ⅲa	3点	
Ⅲb	3点			
CP48			合計	31点
CP48	覆土1層		合計	18点
			合計	13点
	土器	小計	13点	
		Ⅲa	13点	
	石器	小計	5点	
		フレイク・チップ	2点	
		礫	3点	
		合計	9点	
	覆土2層	土器	小計	2点
			Ⅲa	2点
		石器	小計	7点
			加工痕のある礫 フレイク・チップ 原石	1点
	覆土	土器	合計	1点
			小計	1点
床		合計	3点	
		合計	2点	
土器	小計	2点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CP49		石器	IIIa	2点
			小計	1点
			フレイク・チップ	1点
		総計	2点	
	覆土1層	合計	1点	
覆土	石器	IIIa	1点	
		合計	1点	
		小計	1点	
CP50	覆土	石器	IIIa	2点
			小計	2点
			合計	3点
	覆土	石器	IIIa	2点
			小計	1点
	燧石	1点		
CP51	覆土2層	石器	IIIa	3点
			小計	3点
			合計	3点
CP52	覆土1層	石器	IIIa	1点
			小計	1点
			合計	2点
	覆土	石器	IIIa	1点
			燧石	1点
	総計	2点		
CP53	覆土2層	石器	IIIa	3点
			小計	3点
			合計	3点
	覆土	石器	IIIa	9点
			小計	9点
	石器	4点		
	Uフレイク	1点		
	フレイク・チップ	3点		
CP54	覆土1層	石器	IIIa	10点
			小計	10点
			合計	10点
	覆土	石器	IIIa	7点
			小計	7点
			合計	10点
			小計	2点
			スクレイパー	2点
	土製品	1点		
	焼成粘土塊	1点		
	総計	20点		
CP55	覆土1層	石器	IIIa	61点
			小計	61点
			合計	67点
			小計	6点
			フレイク・チップ	6点
	覆土3層	石器	IIIa	5点
			小計	5点
			合計	5点
			台石・石皿	3点
	覆土4層	石器	加工痕のある礫	1点
			燧石	1点
			合計	10点
	覆土1層～3	石器	IIIa	8点
			小計	8点
			合計	10点
すり石			1点	
台石・石皿			1点	
	総計	128点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CP56		石器	IIIa	39点
			小計	7点
			加工痕のある礫	1点
		フレイク・チップ	6点	
		総計	30点	
CP57	覆土1層	石器	IIIa	30点
			小計	30点
			合計	26点
CP58	覆土1層	石器	IIIa	11点
			小計	11点
			合計	23点
			燧石	12点
	覆土2層	石器	扁平打製石器	1点
			台石・石皿	1点
			フレイク・チップ	5点
			燧石	5点
	合計	3点		
CP59	覆土1層	石器	IIIa	2点
			小計	2点
			合計	19点
	床	石器	IIIa	18点
			小計	18点
	燧石	1点		
	台石・石皿	1点		
	総計	103点		
CP60	覆土1層	石器	IIIa	38点
			小計	38点
			合計	41点
			燧石	3点
			ポイント・ナイフ	1点
	床	石器	フレイク・チップ	2点
			合計	62点
			小計	55点
			IIIa	55点
			燧石	7点
	小計	7点		
	Rフレイク	1点		
	フレイク・チップ	2点		
	燧石	4点		
	総計	150点		
CP61	覆土1層	石器	IIIa	24点
			小計	24点
			合計	150点
	覆土	石器	IIIa	2点
			IIIb	22点
			小計	126点
			フレイク・チップ	126点
	総計	17点		
CP62	覆土1層	石器	IIIa	8点
			小計	8点
			合計	13点
			燧石	5点
	覆土	石器	Rフレイク	1点
			フレイク・チップ	2点
			燧石	2点
			合計	4点
覆土3層	石器	IIIa	2点	
		小計	2点	
		合計	4点	
		Rフレイク	1点	
	燧石	1点		
	総計	1点		
	合計	1点		
	小計	1点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CP63	覆土1層	土器	Ⅲa	1点
			合計	17点
			小計	14点
	覆土2層	土器	Ⅲa	14点
			石器	2点
			台石・石皿 フレイク・チップ	1点 1点
			合計	1点
CP64	覆土1層	土器	Ⅲa	1点
			合計	4点
			小計	1点
CP65	覆土2層	土器	Ⅲa	20点
			Ⅲb	85点
			石器	51点
			Rフレイク すり石 加工痕のある礫 フレイク・チップ 石核 礫	4点 3点 1点 32点 1点 10点
			石製品	1点
CP67	覆土1層	土器	Ⅲa	3点
			合計	3点
			小計	3点
	覆土2層	土器	Ⅲa	72点
			Ⅲb	1点
			石器	17点
			スクレイパー Rフレイク 加工痕のある礫 フレイク・チップ 礫	1点 1点 1点 9点 5点
床	土器	Ⅲa	2点	
		合計	4点	
		小計	2点	
CP68	床	土器	Ⅲa	1点
			合計	1点
			小計	1点
CP69	覆土	土器	Ⅲa	5点
			Ⅲb	1点
			合計	11点
CP70	覆土1層	土器	Ⅲa	50点
			合計	54点
			石器	4点
			Rフレイク フレイク・チップ	1点 3点
	覆土3層	土器	Ⅲa	20点
			合計	22点
			小計	2点
覆土4層	土器	Ⅲa	102点	
		合計	129点	
		石器	27点	
		Rフレイク フレイク・チップ 原石 礫	1点 6点 1点 19点	
		床	13点	
		土器	13点	
CP71	覆土1層	土器	Ⅲa	14点
			合計	26点
			小計	14点
	床	土器	Ⅲa	40点
			合計	49点
			石器	9点
			石礫 スクレイパー Rフレイク フレイク・チップ 礫	1点 2点 1点 5点 4点
CP72	覆土	土器	Ⅲa	1点
			合計	6点
			小計	1点
			石器	5点
			たたき石 有意の礫 フレイク・チップ 礫	1点 1点 1点 2点
CP73	床	土器	Ⅲa	9点
			合計	11点
			石器	2点
			礫	2点
CP74	覆土1層	土器	Ⅲa	35点
			合計	56点
			小計	35点

遺構名	層位	遺物名	分類	点数		
		石器	小計	13点		
			Rフレイク	1点		
			フレイク・チップ	8点		
			礫	4点		
	覆土	土器	合計	8点		
			IIIa	7点		
			石器	小計	1点	
			礫		1点	
				合計	13点	
	CP75	覆土2層	土器	合計	11点	
IIIa				9点		
石器				小計	2点	
フレイク・チップ				1点		
			礫		1点	
				合計	2点	
床		石器	小計	2点		
			石鏃	1点		
			北海道式石冠		1点	
				合計	6点	
CP76	覆土1層	石器	合計	1点		
			礫	1点		
	覆土2層	土器	合計	5点		
			IIIa	4点		
			石器	小計	1点	
			礫	1点		
			合計		109点	
				合計	107点	
	覆土2層	土器	小計	95点		
			IIIa	95点		
石器			小計	12点		
			たたき石	2点		
			フレイク・チップ	3点		
				礫		7点
	合計	1点				
覆土3層	土器	小計	1点			
		IIIa	1点			
床	土器	合計	1点			
		IIIa	1点			
CP77	覆土1層	土器	合計	11点		
			IIIa	5点		
			石器	小計	6点	
				フレイク・チップ	6点	
			覆土4層	土器	合計	4点
					IIIa	3点
		石器	小計	1点		
			台石・石皿	1点		
	覆土	土器	合計	132点		
			小計	105点		
I a			2点			
IIIa			102点			
V c			1点			
石器			小計	27点		
			スクレイパー	1点		
			すり石	2点		
	加工痕のある礫	2点				
		フレイク・チップ		11点		
			合計	167点		
CP78			合計	167点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
	覆土1層	土器	合計	158点	
			小計	122点	
			IIIa	122点	
			石器	小計	36点
	スクレイパー	3点			
	Rフレイク	2点			
			北海道式石冠		1点
				加工痕のある礫	2点
			フレイク・チップ		7点
				原石	2点
		礫		19点	
			合計	9点	
床	土器	合計	4点		
		IIIa	4点		
		石器	小計	5点	
			原石	1点	
		礫		4点	
			合計	2点	
CP81	覆土1層	石器	合計	2点	
			小計	2点	
		スクレイパー		1点	
			Uフレイク	1点	
CP82	覆土1層	土器	合計	68点	
			小計	45点	
			IIIa	17点	
			石器	小計	28点
	石鏃	1点			
	スクレイパー	1点			
			扁平打製石器		2点
				加工痕のある礫	1点
			フレイク・チップ		8点
				合計	15点
床	土器	合計	23点		
		小計	6点		
		IIIa	6点		
		石器	小計	17点	
			石鏃	1点	
			スクレイパー	1点	
		Rフレイク		2点	
			フレイク・チップ	4点	
		原石		1点	
			合計	8点	
CP83	覆土	土器	合計	92点	
			小計	92点	
			IIIa	12点	
			石器	小計	80点
	礫	80点			
	CP84	覆土1層	土器	合計	4点
				IIIa	4点
	CP85	覆土1層	土器	合計	18点
				小計	10点
				IIIa	9点
石器				小計	9点
	フレイク・チップ	1点			
床	土器	合計	8点		
		小計	4点		
		IIIa	4点		
		石器	小計	4点	
礫	4点				
CP86	覆土3層	合計		19点	
			合計	16点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
		土器	小計	14点
			IIIa	14点
		石器	小計	2点
			フレイク・チップ	1点
			礫	1点
	床	合計	3点	
		土器	小計	3点
			IIIa	3点
	CP87		合計	62点
		覆土1層	合計	10点
土器			小計	2点
			IIIa	2点
石器			小計	8点
			フレイク・チップ	4点
		礫	4点	
覆土2層		合計	51点	
		石器	小計	51点
			フレイク・チップ	51点
覆土3層		合計	1点	
	石器	小計	1点	
		礫	1点	
CP88		合計	27点	
	覆土1層	合計	27点	
		土器	小計	21点
			IIIa	21点
		石器	小計	6点
			ポイント・ナイフ	1点
	北海道式石冠		1点	
			すり石	1点
			フレイク・チップ	1点
			原石	1点
			礫	1点
CP89		合計	11点	
	覆土1層	合計	1点	
		石器	小計	1点
			礫	1点
	覆土	合計	10点	
		石器	小計	10点
			台石・石皿	1点
			加工痕のある礫	2点
			フレイク・チップ	2点
			石核	1点
			礫	4点
			合計	3点
CP90	底	合計	3点	
		石器	小計	3点
		フレイク・チップ	3点	
CP91		合計	55点	
	覆土1層	合計	55点	
		土器	小計	53点
			IIIa	53点
		石器	小計	2点
			フレイク・チップ	1点
			原石	1点
CP92		合計	51点	
	覆土2層	合計	35点	
		土器	小計	16点
			IIIa	16点
		石器	小計	19点
			スクレイパー	1点
			Rフレイク	2点
			たたき石	1点
			北海道式石冠	1点
フレイク・チップ	13点			
		礫	1点	
覆土3層	合計	13点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
		土器	小計	1点	
			IIIa	1点	
		石器	小計	12点	
			加工痕のある礫	1点	
			フレイク・チップ	1点	
	床	合計	10点		
		石器	小計	3点	
			礫	3点	
	CP93		合計	1点	
		覆土1層	合計	1点	
土器			小計	1点	
			IIIa	1点	
CP94		合計	23点		
	覆土1層	合計	9点		
		土器	小計	7点	
			IIIa	7点	
		石器	小計	2点	
	礫		2点		
	覆土2層	合計	14点		
		土器	小計	8点	
IIIa			8点		
石器	小計	6点			
		フレイク・チップ	3点		
		礫	3点		
CP95		合計	172点		
	覆土1層	合計	167点		
		土器	小計	58点	
			IIIa	41点	
				IIIb	17点
		石器	小計	109点	
	石鏃		5点		
	スクレイパー		1点		
			Rフレイク	3点	
			加工痕のある礫	3点	
			フレイク・チップ	18点	
		石核	1点		
		原石	1点		
		礫	77点		
覆土2層	合計	2点			
	土器	小計	2点		
		IIIb	2点		
床	合計	3点			
	石器	小計	3点		
		礫	3点		
CP96		合計	194点		
	覆土1層	合計	192点		
		土器	小計	174点	
			I a	1点	
				IIIa	173点
		石器	小計	18点	
			Uフレイク	1点	
			北海道式石冠	1点	
台石・石皿	1点				
		加工痕のある礫	1点		
		フレイク・チップ	6点		
		礫	8点		
床	合計	2点			
	土器	小計	2点		
		IIIa	2点		
CP97		合計	7点		
	覆土1層	合計	7点		
		土器	小計	3点	
			IIIa	3点	
		石器	小計	4点	
			礫	4点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CP98			総計	7点	
	覆土1層		合計	7点	
		土器		小計	5点
			IIIa		5点
		石器		小計	2点
礫			2点		
CP99			総計	56点	
	覆土		合計	10点	
		土器		小計	8点
			IIIa		8点
		石器		小計	2点
			礫		2点
	覆土2層		合計	3点	
		石器		小計	3点
			礫		3点
	覆土3層		合計	25点	
		土器		小計	23点
			IIIa		23点
		石器		小計	2点
			礫		2点
	覆土4層		合計	9点	
		土器		小計	5点
			IIIa		5点
		石器		小計	4点
			フリイク・チップ		1点
	礫		3点		
	覆土5層		合計	7点	
		石器		小計	7点
フリイク・チップ				1点	
原石				2点	
礫				4点	
底		合計	2点		
	土器		小計	1点	
		IIIa		1点	
	石器		小計	1点	
		礫		1点	
CP100			総計	19点	
	覆土1層		合計	19点	
		土器		小計	16点
			IIIa		15点
			IIIb		1点
		石器		小計	3点
礫			3点		
CP101			総計	2279点	
	覆土1層		合計	562点	
		土器		小計	2点
			IIIa		2点
		石器		小計	560点
			礫		560点
	覆土2層		合計	1717点	
		土器		小計	8点
			IIIa		8点
		石器		小計	1709点
フリイク・チップ				1点	
原石			1点		
礫		1707点			
CP102			総計	324点	
	覆土1層		合計	103点	
		石器		小計	103点
			すり石		1点
	礫		102点		
	覆土2層		合計	221点	
		土器		小計	10点
IIIa				10点	
石器			小計	211点	
	Rフリイク		1点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CP103			礫	210点	
			総計	20点	
	覆土1層		合計	16点	
		土器		小計	7点
			IIIa		7点
		石器		小計	9点
	礫			9点	
	覆土2層		合計	4点	
		土器		小計	3点
			IIIa		3点
石器			小計	1点	
		礫		1点	
CP104			総計	20点	
	覆土1層		合計	15点	
		土器		小計	3点
			IIIa		3点
		石器		小計	12点
			扁平打製石器 加工痕のある礫		1点 1点
	礫		10点		
	覆土2層		合計	3点	
		石器		小計	3点
			礫		3点
覆土		合計	2点		
	石器		小計	2点	
		礫		2点	
CP105			総計	6点	
	覆土1層		合計	5点	
		石器		小計	5点
			扁平打製石器		1点
			フリイク・チップ		1点
			礫		3点
覆土2層			合計	1点	
	石器		小計	1点	
		礫		1点	
CP106			総計	11点	
	覆土1層		合計	8点	
		土器		小計	5点
			IIIa		5点
		石器		小計	3点
			フリイク・チップ		1点
礫		2点			
覆土2層		合計	3点		
	土器		小計	3点	
		IIIa		3点	
CP107			総計	45点	
	覆土1層		合計	20点	
		土器		小計	10点
			IIIa		10点
		石器		小計	10点
			スクレイパー		2点
Uフリイク		1点			
フリイク・チップ		5点			
礫		2点			
覆土3層		合計	20点		
	土器		小計	18点	
		IIIa		18点	
	石器		小計	2点	
		フリイク・チップ		1点	
礫		1点			
床		合計	5点		
	土器		小計	3点	
		IIIa		3点	
	石器		小計	2点	
		礫		2点	
CP108			総計	557点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
	覆土1層		合計	430点	
		土器		小計	56点
			IIIa		56点
		石器		小計	374点
			Rフレイク		2点
			たたき石		1点
	フレイク・チップ			10点	
	覆土2層		合計	127点	
		土器		小計	13点
			IIIa		13点
		石器		小計	114点
			フレイク・チップ		3点
			礫		111点
CP109				総計	28点
	覆土1層		合計	28点	
		土器		小計	21点
			IIIa		21点
	石器		小計	7点	
		フレイク・チップ		2点	
原石 礫			2点 3点		
CP110			総計	192点	
	覆土1層		合計	120点	
		土器		小計	55点
			IIIa		55点
		石器		小計	65点
			Rフレイク		6点
			台石・石皿		1点
	フレイク・チップ			49点	
	覆土2層		合計	71点	
		土器		小計	12点
			IIIa		12点
		石器		小計	59点
			Rフレイク		4点
			フレイク・チップ		49点
原石 礫				1点 5点	
覆土3層			合計	1点	
	石器		小計	1点	
		原石		1点	
CP111			総計	10点	
	覆土1層		合計	7点	
		土器		小計	6点
			IIIa		6点
	石器		小計	1点	
		礫		1点	
床			合計	3点	
	石器		小計	3点	
		原石 礫		1点 2点	
CP112			総計	16点	
	覆土1層		合計	3点	
		土器		小計	2点
			IIIa		2点
		石器		小計	1点
			礫		1点
	覆土3層		合計	13点	
		土器		小計	7点
IIIa				7点	
石器		小計	6点		
	Rフレイク		1点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
			フレイク・チップ	2点	
			原石	1点	
			礫	2点	
	CP113			総計	2点
		覆土1層		合計	2点
	石器			小計	2点
礫				2点	
CP114			総計	14点	
	覆土1層		合計	1点	
		石器		小計	1点
			フレイク・チップ		1点
	覆土2層		合計	4点	
		土器		小計	2点
			IIIa		2点
		石器		小計	2点
			礫		2点
	覆土3層		合計	3点	
		土器		小計	2点
			IIIa		2点
		石器		小計	1点
			扁平打製石器		1点
覆土4層		合計	5点		
	土器		小計	4点	
		IIIa		4点	
	石器		小計	1点	
フレイク・チップ			1点		
床		合計	1点		
	石器		小計	1点	
		石斧片		1点	
CP115			総計	9点	
	覆土1層		合計	5点	
		土器		小計	1点
			IIIa		1点
		石器		小計	4点
	礫			4点	
	覆土2層		合計	4点	
		土器		小計	1点
			IIIa		1点
		石器		小計	3点
	フレイク・チップ 礫			1点 2点	
	CP116			総計	2点
		覆土1層		合計	2点
			土器		小計
IIIb					1点
石器			小計	1点	
		フレイク・チップ		1点	
CP117			総計	15点	
	覆土1層		合計	10点	
		土器		小計	6点
			IIIa		6点
		石器		小計	4点
			つまみ付ナイフ フレイク・チップ 礫		1点 1点 2点
	覆土		合計	5点	
		土器		小計	4点
IIIb				4点	
石器		小計	1点		
	礫		1点		
CP118			総計	45点	
	覆土1層		合計	20点	
		土器		小計	9点
			IIIa		8点
		石器		小計	1点
			IIIb		1点
石器		小計	10点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CP118		Rフレイク		1点
		Uフレイク		1点
		台石・石皿		1点
		フレイク・チップ		3点
		礫		4点
	石製品	小計		1点
		石製品		1点
	覆土3層	合計		15点
		土器	小計	12点
			Ⅲa	11点
		Ⅲb	1点	
		石器	小計	3点
	礫		3点	
	床	合計		10点
		土器	小計	9点
Ⅲa			9点	
石器		小計	1点	
	礫	1点		
CP119	床	合計	1点	
		土器	小計	1点
			Ⅲa	1点
CP120	覆土1層	合計	84点	
		合計	83点	
		土器	小計	3点
			Ⅲa	3点
		石器	小計	80点
	フレイク・チップ		2点	
礫	78点			
覆土2層	合計	1点		
	石器	小計	1点	
原石		1点		
CP121	覆土1層	合計	16点	
		合計	14点	
		土器	小計	6点
			Ⅲa	6点
		石器	小計	8点
	つまみ付ナイフ		1点	
	フレイク・チップ		2点	
礫	5点			
床	合計	2点		
	石器	小計	2点	
		礫	2点	
CP122	覆土1層	合計	24点	
		合計	12点	
		土器	小計	10点
			Ⅲa	10点
		石器	小計	2点
	フレイク・チップ		2点	
	床	合計	12点	
		土器	小計	2点
			Ⅲa	2点
石器		小計	10点	
	Rフレイク	1点		
	フレイク・チップ	1点		
礫	8点			
CP123	覆土1層	合計	28点	
		合計	21点	
		土器	小計	8点
			Ⅲa	8点
		石器	小計	13点
			Rフレイク	1点
	フレイク・チップ	9点		
	礫	3点		
床	合計	7点		
	土器	小計	6点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CP124		石器	Ⅲa	6点
			小計	1点
			フレイク・チップ	1点
	合計	21点		
	覆土1層	合計	14点	
		土器	小計	13点
			Ⅲa	13点
		石器	小計	1点
			加工痕のある礫	1点
		覆土2層	合計	6点
			土器	小計
	Ⅲa			1点
	石器		小計	5点
			フレイク・チップ	1点
	礫	4点		
底	合計	1点		
	石器	小計	1点	
		礫	1点	
CP125	覆土2層	合計	3点	
		合計	3点	
		石器	小計	2点
			礫	2点
		石製品	小計	1点
石棒	1点			
CP128	覆土1層	合計	12点	
		合計	10点	
		土器	小計	7点
			Ⅲa	7点
		石器	小計	3点
	礫		3点	
	覆土2層	合計	2点	
土器		小計	2点	
		Ⅲa	2点	
CP129	覆土1層	合計	3点	
		合計	3点	
		土器	小計	1点
			Ⅲa	1点
		石器	小計	2点
フレイク・チップ	1点			
礫	1点			
CP130	覆土1層	合計	34点	
		合計	7点	
		土器	小計	6点
			Ⅲa	6点
		石器	小計	1点
	礫		1点	
	覆土2層	合計	7点	
		土器	小計	5点
			Ⅲa	5点
		石器	小計	2点
			フレイク・チップ	1点
	礫	1点		
	覆土3層	合計	4点	
土器		小計	3点	
		Ⅲa	3点	
石器		小計	1点	
	フレイク・チップ	1点		
覆土4層	合計	1点		
	土器	小計	1点	
		Ⅲa	1点	
覆土	合計	12点		
	土器	小計	9点	
		Ⅲa	9点	
	石器	小計	3点	
フレイク・チップ		2点		
礫	1点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CP131	底		合計	3点	
		石器		小計	3点
			礫		3点
			合計	83点	
	覆土1層			合計	10点
		土器		小計	5点
			Ⅲa		5点
		石器		小計	5点
			Uフレイク		2点
			たたき石		1点
		礫		2点	
	覆土2層			合計	23点
		土器		小計	11点
			Ⅲa		10点
			Ⅲb		1点
		石器		小計	12点
			扁平打製石器		1点
	フレイク・チップ			2点	
	礫		9点		
	覆土3層			合計	18点
		土器		小計	10点
			Ⅲa		10点
		石器		小計	8点
			フレイク・チップ		2点
	礫			6点	
	覆土4層			合計	28点
		土器		小計	21点
Ⅲa				21点	
石器			小計	7点	
		Rフレイク		2点	
	フレイク・チップ		2点		
礫		3点			
覆土5層			合計	1点	
	石器		小計	1点	
礫			1点		
覆土			合計	3点	
	土器		小計	3点	
Ⅲa			2点		
Ⅲb			1点		
CP132			合計	358点	
	覆土1層		合計	237点	
		土器		小計	232点
			Ⅲa		232点
		石器		小計	5点
			フレイク・チップ		1点
	礫			2点	
	不明		2点		
	覆土2層			合計	27点
		土器		小計	25点
			Ⅲa		25点
		石器		小計	2点
	フレイク・チップ			2点	
	床			合計	94点
		土器		小計	90点
Ⅲa				90点	
石器			小計	4点	
		フレイク・チップ		1点	
	礫		3点		
CP133			合計	89点	
	覆土1層		合計	67点	
		土器		小計	44点
			Ⅲa		43点
			Ⅲb		1点
石器			小計	23点	
	Uフレイク		3点		
台石・石皿		1点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CP134			フレイク・チップ	3点	
		礫		16点	
			合計	4点	
	覆土2層			合計	4点
		土器		小計	4点
	Ⅲa			4点	
	床			合計	18点
		土器		小計	11点
			Ⅰa		1点
			Ⅲa		9点
		Ⅲb		1点	
		石器		小計	7点
			石鏃		1点
	フレイク・チップ			2点	
	礫		4点		
				合計	16点
CP134	覆土1層		合計	2点	
		土器		小計	1点
			Ⅲa		1点
		石器		小計	1点
	フレイク・チップ			1点	
	覆土2層			合計	10点
		土器		小計	9点
			Ⅲa		9点
		石器		小計	1点
	フレイク・チップ			1点	
覆土3層			合計	1点	
	土器		小計	1点	
		Ⅲa		1点	
底			合計	3点	
	土器		小計	1点	
		Ⅲb		1点	
	石器		小計	2点	
		スクレイパー		1点	
礫		1点			
CP135			合計	3点	
	覆土1層		合計	3点	
		土器		小計	3点
			Ⅲa		3点
CP136	覆土1層		合計	29点	
			合計	6点	
		土器		小計	1点
			Ⅲa		1点
		石器		小計	5点
	礫			5点	
覆土2層			合計	23点	
	土器		小計	16点	
		Ⅲa		16点	
石器		小計	7点		
	フレイク・チップ		2点		
礫		5点			
CP138			合計	13点	
	覆土1層		合計	13点	
		土器		小計	12点
			Ⅲa		12点
		石器		小計	1点
礫			1点		
CP139			合計	2点	
	覆土1層		合計	1点	
		石器		小計	1点
			礫		1点
床			合計	1点	
	石器		小計	1点	
		Rフレイク		1点	
CP140			合計	38点	
	覆土1層		合計	38点	
		土器		小計	4点

第1分冊（文章編）

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
		石器	Ⅲa	4点
			小計	34点
			Rフレイク フレイク・チップ	1点 1点
			礫	32点
CP141	覆土2層		総計	19点
			合計	19点
		土器	小計	2点
			Ⅲa	1点
		石器	Ⅲb	1点
			小計	17点
	フレイク・チップ 礫	1点 16点		
CP143	覆土1層		総計	80点
			合計	79点
		土器	小計	48点
			Ⅲa	48点
		石器	小計	31点
			スクレイパー	2点
			たたき石	1点
			台石・石皿	1点
			加工痕のある礫	1点
			フレイク・チップ	19点
			礫	7点
		床	合計	1点
			石器	小計
	たたき石	1点		
CP144	覆土1層		総計	1点
			合計	1点
		土器	小計	1点
		Ⅲa	1点	
CP147	覆土1層		総計	8点
			合計	7点
		土器	小計	3点
			Ⅲa	3点
		石器	小計	4点
			フレイク・チップ 礫	2点 2点
床	合計	1点		
	土器	小計	1点	
		Ⅲa	1点	
CP148	覆土1層		総計	29点
			合計	29点
		土器	小計	16点
			Ⅲa	1点
		石器	Ⅲb	15点
			小計	13点
		フレイク・チップ 礫	6点 7点	
CP150	底		総計	1点
			合計	1点
		土器	小計	1点
		Ⅲb	1点	
CP151	底		総計	7点
			合計	7点
		土器	小計	5点
			Ⅲa	5点
		石器	小計	2点
すり石 フレイク・チップ	1点 1点			
CP153	覆土1層		総計	1点
			合計	1点
		土器	小計	1点
		Ⅲa	1点	
CP154	覆土1層		総計	33点
			合計	4点

遺構名	層位	遺物名	分類	点数		
	覆土2層	土器	小計	4点		
			Ⅲa	4点		
			合計	3点		
		土器	小計	3点		
			Ⅲa	3点		
		CP155	覆土		合計	26点
				土器	小計	20点
					Ⅲa	20点
				石器	小計	5点
					フレイク・チップ	5点
土製品	小計			1点		
	焼成粘土塊	1点				
		総計	129点			
CP156	覆土1層		合計	122点		
		土器	小計	120点		
			Ⅲa	120点		
		石器	小計	2点		
			台石・石皿 フレイク・チップ	1点 1点		
		覆土3層	合計	1点		
			土器	小計	1点	
				Ⅲa	1点	
		覆土4層	合計	1点		
			土器	小計	1点	
				Ⅲa	1点	
		底			合計	5点
				土器	小計	1点
	礫			1点		
石器	小計			4点		
	スクレイパー 台石・石皿 礫			1点 2点 1点		
CP156	覆土1層				総計	101点
			合計	6点		
		土器	小計	4点		
			Ⅲa	4点		
		石器	小計	2点		
			台石・石皿 フレイク・チップ	1点 1点		
覆土2層			合計	62点		
		土器	小計	54点		
			Ⅲa	54点		
		石器	小計	8点		
			フレイク・チップ 礫	3点 5点		
		覆土3層			合計	8点
土器	小計			7点		
	Ⅲa			7点		
石器	小計			1点		
	フレイク・チップ	1点				
覆土			合計	25点		
		土器	小計	22点		
			Ⅲa	22点		
		石器	小計	2点		
			フレイク・チップ 礫	1点 1点		
		自然遺物	小計	1点		
	高師小僧	1点				
CP157	覆土		総計	2点		
			合計	2点		
		土器	小計	1点		
			Ⅲa	1点		
		石器	小計	1点		
	フレイク・チップ	1点				
CP158	覆土		総計	3点		
			合計	3点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CP159		土器	小計	2点	
			Ⅲa	2点	
		石器	小計	1点	
			フレイク・チップ	1点	
		合計	42点		
	覆土1層	土器	小計	8点	
			Ⅲa	8点	
			石器	小計	1点
				礫	1点
			合計	9点	
		覆土2層	土器	小計	20点
	Ⅲa			20点	
石器	小計		8点		
	石鎌 Uフレイク フレイク・チップ 礫		1点 1点 3点 3点		
	合計	28点			
覆土3層	石器	小計	1点		
		石錘	1点		
	床	合計	4点		
CP160	覆土2層	土器	小計	5点	
			Ⅲa	5点	
	覆土4層	土器	小計	58点	
			Ⅲa	58点	
		石器	小計	4点	
			Uフレイク フレイク・チップ	1点 3点	
	底	石器	合計	2点	
			小計	2点	
		合計	69点		
	CP161	覆土1層	土器	小計	8点
Ⅲa				8点	
石器			小計	2点	
			礫	2点	
覆土2層		土器	小計	23点	
			Ⅲa	23点	
		石器	小計	9点	
			たたき石 フレイク・チップ 礫	1点 2点 6点	
覆土3層		土器	小計	6点	
			Ⅲa	6点	
		石器	小計	2点	
			Rフレイク 礫	1点 1点	
覆土		土器	小計	13点	
			Ⅲa	13点	
		石器	小計	4点	
			フレイク・チップ 礫	3点 1点	
	合計	17点			
CP162	覆土1層	土器	合計	1点	
			小計	1点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CP163	覆土2層		Ⅲa	1点	
			合計	18点	
		土器	小計	11点	
			Ⅲa	11点	
	覆土床	石器	小計	7点	
			フレイク・チップ 礫	6点 1点	
			合計	2点	
		土器	小計	1点	
	Ⅲa		1点		
	覆土	石器	小計	1点	
			フレイク・チップ	1点	
			合計	6点	
		石器	小計	6点	
	たたき石 礫		1点 5点		
	床	土器	合計	1点	
			小計	1点	
Ⅲa		1点			
	合計	54点			
CP164	覆土1層	土器	合計	26点	
			小計	18点	
		石器	小計	18点	
			Ⅲa	8点	
	覆土2層	土器	小計	8点	
			Ⅲa	1点	
		石器	小計	1点	
			Uフレイク フレイク・チップ 礫	1点 1点 6点	
	床	土器	合計	4点	
			小計	2点	
		石器	小計	2点	
			Ⅲa	2点	
	床	石器	合計	24点	
			小計	23点	
		石製品	小計	1点	
			石棒	1点	
	合計	13点			
CP165	覆土1層	土器	合計	10点	
			小計	6点	
		石器	小計	6点	
			Ⅲa	6点	
	覆土2層	土器	小計	4点	
			Ⅲa	4点	
		石器	小計	1点	
			Uフレイク 礫	1点 3点	
	床	土器	合計	2点	
			小計	1点	
		石器	小計	1点	
			Ⅲa	1点	
		合計	15点		
	CP165	覆土1層	土器	合計	13点
				小計	11点
			石器	小計	5点
I b-1 Ⅲa				5点 6点	
石器		小計	2点		
		台石・石皿片 礫	1点 1点		
床		土器	合計	2点	
			小計	1点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数		
CP166		石器	Ⅲa	1点		
			小計	1点		
			礫	1点		
		合計	50点			
	覆土1層	土器	Ⅲa	45点		
			小計	45点		
			石器	4点		
		床	フレイク・チップ	3点		
			礫	1点		
			合計	1点		
石器	小計	1点				
	台石・石皿	1点				
	合計	67点				
CP168	覆土1層	土器	Ⅲa	50点		
			小計	50点		
		石器	Ⅲa	50点		
			礫	3点		
	覆土2層	土器	Ⅲa	2点		
			小計	2点		
		石器	フレイク・チップ	1点		
			礫	1点		
	床	土器	Ⅲa	8点		
			小計	8点		
石器		つまみ付ナイフ	1点			
		礫	1点			
CP169	覆土1層	土器	Ⅲa	10点		
			小計	10点		
		石器	スクレイパー	1点		
			フレイク・チップ	5点		
	礫	合計	17点			
		合計	17点			
CP170	覆土1層	土器	Ⅲa	16点		
			小計	16点		
		石器	つまみ付石器	1点		
			フレイク・チップ	1点		
	礫	合計	22点			
		合計	22点			
		CP171	覆土1層	土器	Ⅲa	9点
					小計	9点
石器	フレイク・チップ			2点		
	合計			11点		
覆土2層	土器		Ⅲa	210点		
			小計	210点		
	石器	Ⅲa	210点			
		小計	21点			
		Ⅱフレイク	1点			
		石斧	1点			
たたき石	3点					
フレイク・チップ	4点					
礫	12点					
CP172	覆土	土器	合計	75点		
			小計	75点		
		Ⅲa	71点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CP173		石器	小計	4点	
			石鏃	1点	
			たたき石	1点	
			フレイク・チップ	1点	
	覆土2層	石器	礫	1点	
			合計	6点	
			合計	1点	
		覆土3層	土器	Ⅲa	2点
				小計	2点
			合計	2点	
覆土4層	土器	Ⅲa	1点		
		小計	1点		
	石器	フレイク・チップ	2点		
		合計	2点		
CP174	覆土1層	石器	合計	1点	
			小計	1点	
		フレイク・チップ	1点		
CP176	覆土1層	石器	合計	21点	
			小計	21点	
		台石・石皿	合計	2点	
			フレイク・チップ	2点	
	覆土2層	石器	合計	17点	
			小計	17点	
		礫	合計	1点	
			小計	1点	
	覆土4層	土器	Ⅲa	8点	
			小計	8点	
石器		フレイク・チップ	3点		
		合計	3点		
覆土5層	土器	Ⅲa	1点		
		小計	1点		
	石器	台石・石皿	1点		
		合計	1点		
覆土上面(Ⅲ)	土器	Ⅲa	5点		
		小計	5点		
	合計	合計	36点		
		小計	20点		
覆土	土器	Ⅲa	20点		
		小計	20点		
	石器	たたき石	2点		
		扁平打製石器	1点		
		フレイク・チップ	4点		
		礫	9点		
床	石器	合計	3点		
		小計	3点		
	台石・石皿	合計	1点		
		礫	2点		
CP177	覆土1層	石器	合計	99点	
			小計	1点	
		台石・石皿	1点		
	覆土2層	土器	Ⅲa	13点	
			小計	13点	
		石器	合計	16点	
			小計	13点	
			Ⅲa	13点	
			小計	3点	
	覆土4層	石器	スクレイパー	1点	
礫			2点		
合計		3点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
		土器	小計	2点
			Ⅲa	2点
		石器	小計	1点
			フレイク・チップ	1点
	覆土5層		合計	7点
		土器	小計	6点
			Ⅲa	6点
		石器	小計	1点
			フレイク・チップ	1点
	覆土		合計	23点
		土器	小計	19点
			Ⅲa	19点
		石器	小計	4点
			スクレイパー フレイク・チップ	1点 3点
	床		合計	49点
		土器	小計	41点
			Ⅲa	41点
		石器	小計	8点
			フレイク・チップ 礫	4点 4点
	CP178		総計	66点
CP178	覆土1層		合計	54点
		土器	小計	51点
			Ⅲa	51点
		石器	小計	3点
	フレイク・チップ 礫		1点 2点	
	覆土		合計	8点
		土器	小計	7点
			I a Ⅲa	2点 5点
		石器	小計	1点
			フレイク・チップ	1点
	床		合計	4点
		土器	小計	4点
Ⅲa			4点	
CP179		総計	21点	
CP179	覆土1層		合計	2点
		土器	小計	2点
	Ⅲa		2点	
	覆土2層		合計	2点
	土器	小計	2点	
		Ⅲa	2点	
	覆土		合計	14点
		土器	小計	13点
			Ⅲa	13点
		石器	小計	1点
フレイク・チップ			1点	
床		合計	3点	
	土器	小計	2点	
		Ⅲa	2点	
	石器	小計	1点	
		Uフレイク	1点	
CP180		総計	18点	
CP180	覆土1層		合計	10点
		土器	小計	1点
	Ⅲa		1点	
	石器	小計	8点	
		Uフレイク たたき石 フレイク・チップ 礫	1点 1点 2点 4点	
		土製品	小計	1点
		焼成粘土塊	1点	
	覆土4層		合計	8点

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
		土器	小計	4点	
			Ⅲa	4点	
		石器	小計	4点	
			フレイク・チップ 礫	2点 2点	
	CP181		総計	111点	
	CP181	覆土1層		合計	66点
			土器	小計	37点
				Ⅲa	37点
			石器	小計	29点
		Uフレイク たたき石 扁平打製石器 台石・石皿 フレイク・チップ 礫		1点 1点 1点 1点 9点 16点	
		覆土2層		合計	40点
			土器	小計	22点
				Ⅲa	22点
			石器	小計	18点
				Uフレイク フレイク・チップ 礫	1点 5点 12点
	覆土3層		合計	1点	
		土器	小計	1点	
			Ⅲa	1点	
	床		合計	4点	
		土器	小計	2点	
I a Ⅲa			1点 1点		
石器		小計	2点		
		断面三角形のすり石 フレイク・チップ	1点 1点		
CP182		総計	23点		
CP182	覆土1層		合計	22点	
		土器	小計	11点	
			Ⅲa Ⅲb	8点 3点	
		石器	小計	11点	
	Rフレイク 扁平打製石器 台石・石皿 フレイク・チップ 礫		1点 1点 1点 3点 5点		
	床		合計	1点	
		石器	小計	1点	
			フレイク・チップ	1点	
	CP183		総計	13点	
	CP183	覆土1層		合計	8点
土器			小計	8点	
		Ⅲa	8点		
覆土2層			合計	5点	
土器		小計	5点		
		Ⅲa	5点		
CP185		総計	780点		
CP185	覆土1層		合計	780点	
		土器	小計	115点	
			I a Ⅲa Ⅲb	1点 113点 1点	
		石器	小計	664点	
	石錐 スクレイパー Uフレイク 石斧 たたき石		1点 2点 3点 1点 4点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数			
			北海道式石冠	2点			
			扁平打製石器	3点			
			すり石	1点			
			石錘	1点			
			くぼみ石	1点			
			台石・石皿	5点			
			台石・石皿片	1点			
			フレイク・チップ	115点			
			礫	524点			
			石製品	小計	1点		
			石製品		1点		
CP186	覆土2層		合計	9点			
			石器	小計	9点		
			たたき石	1点			
			フレイク・チップ	1点			
			礫	7点			
CP187	覆土1層		合計	5点			
			土器	小計	4点		
			IIIa	4点			
			石器	小計	1点		
			礫	1点			
	覆土2層		合計	15点			
			土器	小計	4点		
			IIIa	3点			
			IIIb	1点			
			石器	小計	11点		
			礫	11点			
CP188			合計	23点			
			覆土1層	合計	5点		
			土器	小計	1点		
			IIIa	1点			
			石器	小計	4点		
			使用痕のある礫	1点			
			フレイク・チップ	1点			
			礫	2点			
			覆土2層		合計	18点	
					土器	小計	6点
					I a	1点	
IIIa	5点						
石器	小計	12点					
			北海道式石冠	2点			
			フレイク・チップ	1点			
			礫	9点			
CP189			合計	376点			
			覆土1層	合計	216点		
			土器	小計	171点		
			IIIa	168点			
			IIIb	3点			
			石器	小計	45点		
			スクレイパー	1点			
			たたき石	2点			
			扁平打製石器	1点			
			台石・石皿	1点			
			使用痕のある礫	1点			
フレイク・チップ	17点						
礫	22点						
覆土		合計	123点				
		土器	小計	104点			
		IIIa	104点				
		石器	小計	19点			
			扁平打製石器	1点			
			すり石	1点			
			台石・石皿片	1点			
			フレイク・チップ	3点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数				
			礫	13点				
			合計	37点				
			土器	小計	34点			
			IIIa	34点				
			石器	小計	3点			
			スクレイパー	1点				
			フレイク・チップ	2点				
			合計	4点				
			CP191	覆土2層		合計	3点	
						石器	小計	3点
						礫	3点	
床			合計	1点				
			石器	小計	1点			
			ポイント・ナイフ	1点				
CP192			合計	25点				
			覆土1層	合計	16点			
			土器	小計	11点			
			IIIa	11点				
			石器	小計	5点			
			フレイク・チップ	2点				
			礫	3点				
			覆土2層		合計	2点		
					土器	小計	2点	
			IIIa	2点				
			覆土		合計	2点		
石器	小計	2点						
たたき石	1点							
礫	1点							
床			合計	5点				
			土器	小計	5点			
			IIIa	5点				
CP193			合計	9点				
			覆土1層	合計	7点			
			土器	小計	3点			
			IIIa	3点				
			石器	小計	4点			
			Uフレイク	1点				
			すり石	1点				
			礫	2点				
			床			合計	2点	
						土器	小計	1点
						IIIa	1点	
石器	小計	1点						
フレイク・チップ	1点							
CP194			合計	132点				
			覆土1層	合計	130点			
			土器	小計	105点			
			IIIa	105点				
			石器	小計	25点			
			スクレイパー	2点				
			たたき石片	1点				
			北海道式石冠片	1点				
			すり石	1点				
			加工痕のある礫	1点				
			フレイク・チップ	8点				
礫	11点							
床		合計	2点					
		土器	小計	2点				
IIIa	2点							
CP195			合計	11点				
			覆土1層	合計	11点			
			土器	小計	8点			
			IIIa	8点				
			石器	小計	3点			
			フレイク・チップ	2点				
			礫	1点				

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CP196			総計	6点	
	覆土1層		合計	6点	
		土器		小計	3点
			IIIa		3点
		石器		小計	3点
フレイク・チップ 礫			2点 1点		
CP197			総計	1点	
	覆土1層		合計	1点	
		石器		小計	1点
			台石・石皿		1点
CP198			総計	6点	
	覆土1層		合計	6点	
		土器		小計	4点
			IIIa		4点
		石器		小計	2点
礫			2点		
CP199			総計	6点	
	覆土1層		合計	2点	
		石器		小計	2点
			礫		2点
		覆土2層		合計	4点
石器			小計	4点	
		使用痕のある礫 礫		1点 3点	
CP201			総計	11点	
	覆土1層		合計	3点	
		土器		小計	1点
			IIIa		1点
		石器		小計	2点
			炉石 石核		1点 1点
	床		合計	8点	
		土器		小計	1点
			IIIa		1点
		石器		小計	7点
Uフレイク フレイク・チップ 礫				1点 2点 4点	
CP202			総計	16点	
	覆土1層		合計	12点	
		土器		小計	3点
			I a		1点
			IIIa		2点
		石器		小計	9点
			扁平打製石器 礫		1点 8点
	覆土2層		合計	2点	
		石器		小計	2点
			礫		2点
床		合計	2点		
	土器		小計	1点	
		IIIa		1点	
	石器		小計	1点	
		礫		1点	
CP203			総計	18点	
	覆土1層		合計	9点	
		土器		小計	2点
			IIIa		2点
		石器		小計	7点
			フレイク・チップ 礫		4点 3点
		床		合計	9点
	土器			小計	4点
IIIa			4点		
	石器		小計	5点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CP204			Uフレイク たたき石 北海道式石冠 礫	1点 1点 1点 2点	
	覆土1層		総計	6点	
			合計	4点	
		土器		小計	2点
			IIIa		2点
		石器		小計	2点
	礫			2点	
	床		合計	2点	
		土器		小計	1点
			IIIa		1点
石器			小計	1点	
		礫		1点	
CP205			総計	52点	
	覆土1層		合計	47点	
		土器		小計	26点
			IIIa		26点
		石器		小計	21点
			扁平打製石器 フレイク・チップ 礫		2点 3点 16点
		覆土2層		合計	3点
	石器			小計	3点
			北海道式石冠 礫		1点 2点
	覆土3層		合計	2点	
石器			小計	2点	
		礫		2点	
CP206			総計	8点	
	覆土1層		合計	1点	
		石器		小計	1点
			フレイク・チップ		1点
	覆土2層		合計	1点	
		石器		小計	1点
			台石・石皿		1点
	覆土3層		合計	4点	
		石器		小計	4点
			フレイク・チップ 礫		1点 3点
床			合計	2点	
	石器		小計	2点	
		たたき石 使用痕のある礫		1点 1点	
CP207			総計	4点	
	床		合計	4点	
		石器		小計	4点
			フレイク・チップ 礫		1点 3点
CP209			総計	12点	
	覆土1層		合計	1点	
		石器		小計	1点
			礫		1点
	覆土4層		合計	8点	
		土器		小計	5点
			IIIa		5点
		石器		小計	3点
			フレイク・チップ 礫		2点 1点
	床		合計	3点	
石器			小計	3点	
		台石・石皿 礫		1点 2点	
CP210			総計	10点	
	覆土1層		合計	2点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
		石器	小計	2点
			フレイク・チップ	1点
			礫	1点
	覆土2層	石器	合計	3点
			小計	2点
			I a	1点
			III a	1点
	覆土4層	石器	小計	1点
			礫	1点
			合計	4点
	床	石器	小計	4点
			礫	4点
			合計	1点
		石器	小計	1点
礫			1点	
合計			1点	
CP211			総計	46点
覆土1層	石器	合計	46点	
		小計	46点	
		フレイク・チップ	46点	
CP212			総計	25点
覆土2層	土器	合計	1点	
		小計	1点	
床	土器	III a	1点	
		合計	24点	
		小計	21点	
		III a	21点	
		石器	小計	3点
		スクレイパー	1点	
		フレイク・チップ	2点	
CP214			総計	18点
覆土1層	土器	合計	17点	
		小計	13点	
		III a	12点	
		III b	1点	
		石器	小計	4点
		礫	4点	
床	石器	合計	1点	
		小計	1点	
		扁平打製石器	1点	
CP215			総計	13点
覆土1層	土器	合計	13点	
		小計	9点	
		III a	9点	
		石器	小計	4点
		フレイク・チップ	2点	
		礫	2点	
CP216			総計	43点
覆土1層	土器	合計	24点	
		小計	11点	
		III a	11点	
		石器	小計	13点
		扁平打製石器	1点	
		台石・石皿	1点	
覆土2層	石器	合計	8点	
		小計	3点	
		III a	3点	
		石器	小計	5点
		スクレイパー	1点	
床	土器	扁平打製石器	1点	
		フレイク・チップ	1点	
		礫	2点	
		合計	11点	
		小計	5点	
		III a	5点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数			
		石器	小計	6点			
			ポイント・ナイフ	1点			
			台石・石皿	1点			
			フレイク・チップ	1点			
			礫	3点			
			総計	23点			
			CP217	覆土1層	土器	合計	9点
						小計	4点
						III a	3点
						III b	1点
石器	小計	5点					
フレイク・チップ	3点						
礫	2点						
床	土器	合計	14点				
		小計	14点				
		III b	14点				
CP218			総計	37点			
覆土1層	土器	合計	37点				
		小計	37点				
		III b	37点				
CP220			総計	51点			
覆土1層	土器	合計	32点				
		小計	19点				
		III a	14点				
		III b	5点				
		石器	小計	13点			
		台石・石皿	1点				
		フレイク・チップ	2点				
		礫	10点				
覆土2層	石器	合計	1点				
		小計	1点				
		礫	1点				
覆土3層	土器	合計	15点				
		小計	13点				
		III a	13点				
		石器	小計	2点			
		フレイク・チップ	2点				
床	石器	合計	3点				
		小計	3点				
		フレイク・チップ	1点				
		礫	2点				
CP223			総計	14点			
覆土1層	土器	合計	14点				
		小計	2点				
		III a	1点				
		III b	1点				
		石器	小計	12点			
		台石・石皿	5点				
		フレイク・チップ	3点				
		礫	4点				
CP224			総計	32点			
覆土	土器	合計	32点				
		小計	24点				
		III a	21点				
		III b	3点				
		石器	小計	8点			
		石鏃	2点				
		石錘	1点				
		フレイク・チップ	5点				
CP225			総計	6点			
覆土1層	土器	合計	6点				
		小計	4点				
		III a	4点				
		石器	小計	2点			
		フレイク・チップ	1点				
		礫	1点				

遺構名	層位	遺物名	分類	点数		
CP226			総計	3点		
	覆土1層		合計	3点		
		土器		小計	2点	
			IIIb		2点	
			石器		小計	1点
		礫		1点		
CP227			総計	3点		
	覆土2層		合計	1点		
		土器		小計	1点	
			IIIa		1点	
	覆土3層		合計	2点		
		土器		小計	1点	
			IIIa		1点	
石器				小計	1点	
		フレイク・チップ		1点		
CP228			総計	15点		
	覆土1層		合計	15点		
		土器		小計	6点	
			IIIa		6点	
			石器		小計	9点
				扁平打製石器		1点
				フレイク・チップ		2点
		礫		6点		
CP229			総計	7点		
	覆土1層		合計	4点		
		土器		小計	4点	
			IIIa		4点	
	覆土		合計	2点		
		石器		小計	2点	
				フレイク・チップ		1点
				礫		1点
	床		合計	1点		
		石器		小計	1点	
			礫		1点	
CP230			総計	248点		
	覆土1層		合計	201点		
		土器		小計	155点	
			IIIa		16点	
			IIIb		139点	
		石器		小計	46点	
				Uフレイク		3点
				たたき石		1点
				台石・石皿		1点
				フレイク・チップ		9点
				礫		32点
			覆土2層		合計	47点
		土器			小計	36点
				IIIa		1点
IIIb				35点		
石器		小計		11点		
		スクレイパー			1点	
		Rフレイク			1点	
		Uフレイク		1点		
		フレイク・チップ		3点		
		礫		5点		
CP231			総計	54点		
	覆土1層		合計	5点		
		土器		小計	5点	
			IIIa		5点	
	覆土2層		合計	2点		
		石器		小計	2点	
				フレイク・チップ		1点
				礫		1点
	覆土3層		合計	2点		
		土器		小計	2点	
IIIa				2点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
	覆土4層		合計	3点	
		土器		小計	1点
			IIIa		1点
		石器		小計	2点
				Uフレイク	
			石斧片		1点
	覆土6層		合計	4点	
		土器		小計	4点
			IIIa		4点
	覆土上		合計	15点	
		土器		小計	10点
			IIIa		10点
		石器		小計	5点
			Uフレイク		3点
	礫			2点	
覆土中		合計	9点		
	土器		小計	6点	
		IIIa		2点	
		IIIb		4点	
	石器		小計	3点	
			Uフレイク		1点
			フレイク・チップ		2点
覆土		合計	13点		
	土器		小計	8点	
		IIIa		7点	
		IIIb		1点	
	石器		小計	5点	
			スクレイパー		1点
		Rフレイク		2点	
		フレイク・チップ		3点	
床		合計	1点		
	土器		小計	1点	
		IIIa		1点	
CP232	覆土1層		総計	284点	
			合計	15点	
		土器		小計	11点
			IIIa		9点
			IIIb		2点
	石器		小計	4点	
			フレイク・チップ		4点
	覆土2層		合計	13点	
		土器		小計	13点
	IIIb			13点	
	覆土3層		合計	18点	
		土器		小計	12点
			IIIa		11点
石器			小計	6点	
		IIIb		1点	
		フレイク・チップ		5点	
		礫		1点	
覆土4層		合計	27点		
	土器		小計	22点	
		IIIa		22点	
	石器		小計	5点	
			フレイク・チップ		4点
		礫		1点	
覆土		合計	111点		
	土器		小計	95点	
		IIIa		95点	
	石器		小計	15点	
			Rフレイク		1点
			フレイク・チップ		10点
			礫		4点
石製品		小計	1点		
		棒状礫		1点	
床		合計	100点		

第1分冊（文章編）

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
		土器	小計	99点
			Ⅲa	99点
		石器	小計	1点
			Uフレイク	1点
CP233			総計	3点
覆土1層			合計	3点
	土器	小計	3点	
		Ⅲa	3点	
CP234			総計	7点
覆土1層			合計	7点
	土器	小計	4点	
		Ⅲa	2点	
		Ⅲb	2点	
	石器	小計	3点	
		フレイク・チップ	1点	
礫		2点		
CP236			総計	8点
覆土2層			合計	4点
	土器	小計	4点	
		Ⅲa	4点	
覆土3層			合計	4点
	土器	小計	3点	
		Ⅲa	3点	
	石器	小計	1点	
礫		1点		
CP237			総計	21点
覆土2層			合計	18点
	土器	小計	9点	
		Ⅲa	8点	
		Ⅲb	1点	
	石器	小計	9点	
		扁平打製石器	2点	
フレイク・チップ		1点		
礫	小計	6点		
	合計	3点		
	床		合計	3点
石器	小計	3点		
	礫	3点		
	CP238			総計
覆土1層			合計	11点
	土器	小計	7点	
		Ⅲb	7点	
		石器	小計	4点
	Rフレイク	小計	1点	
		たたき石	1点	
礫		2点		
覆土2層			合計	15点
	土器	小計	8点	
		Ⅲa	4点	
		Ⅲb	4点	
	石器	小計	7点	
		フレイク・チップ	5点	
礫		2点		
床			合計	1点
	石器	小計	1点	
		たたき石	1点	
CP242			総計	11点
覆土1層			合計	9点
	土器	小計	9点	
		Ⅲa	9点	
覆土			合計	2点
	土器	小計	2点	
		Ⅲa	1点	
Ⅲb	1点			
CP244			総計	211点
覆土1層			合計	18点
	土器	小計	15点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
			Ⅲa	3点
			Ⅲb	12点
		石器	小計	3点
			フレイク・チップ	1点
覆土2層			合計	49点
	土器	小計	47点	
		Ⅲa	5点	
		Ⅲb	42点	
石器	小計	2点		
	フレイク・チップ	1点		
	礫	1点		
覆土3層			合計	96点
	土器	小計	84点	
		Ⅲa	13点	
		Ⅲb	71点	
	石器	小計	12点	
		フレイク・チップ	6点	
礫		6点		
覆土			合計	19点
	土器	小計	11点	
		Ⅲa	11点	
	石器	小計	8点	
		北海道式石冠	1点	
		扁平打製石器	1点	
フレイク・チップ		2点		
原石	1点			
礫	3点			
床			合計	29点
	土器	小計	20点	
		Ⅲa	20点	
	石器	小計	9点	
台石・石皿		1点		
フレイク・チップ	3点			
礫	5点			
CP245			総計	5点
床			合計	5点
	土器	小計	3点	
		Ⅲb	3点	
	石器	小計	2点	
スクレイパー		1点		
フレイク・チップ	1点			
CP246			総計	3点
覆土1層			合計	1点
	土器	小計	1点	
		Ⅲa	1点	
覆土中			合計	2点
	石器	小計	2点	
		フレイク・チップ	1点	
礫	1点			
CP247			総計	5点
覆土1層			合計	5点
	土器	小計	4点	
		Ⅲa	4点	
		石器	小計	1点
台石・石皿	1点			
CP248			総計	1点
覆土1層			合計	1点
	土器	小計	1点	
		Ⅲa	1点	
CP249			総計	1点
覆土1層			合計	1点
	土器	小計	1点	
		Ⅲa	1点	
CP251			総計	5点
覆土1層			合計	5点

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
		土器	小計	3点
			IIIb	3点
		石器	小計	2点
			フレイク・チップ	1点
			礫	1点
CP256	覆土1層	合計	25点	
土器		小計	9点	
		IIIa	9点	
石器		小計	16点	
		台石・石皿	2点	
	フレイク・チップ	2点		
		礫	12点	
		合計	25点	
CP257	覆土1層	合計	28点	
土器		小計	20点	
		IIIa	15点	
石器		IIIb	5点	
		小計	8点	
		礫	8点	
	覆土2層	合計	1点	
	石器	小計	1点	
		礫	1点	
	覆土	合計	8点	
土器		小計	1点	
		IIIa	1点	
石器		小計	7点	
	スクレイパー	2点		
	扁平打製石器	1点		
		フレイク・チップ	1点	
		礫	3点	
	床	合計	1点	
石器		小計	1点	
			使用痕のある礫	1点
		合計	38点	
CP258	覆土1層	合計	12点	
土器		小計	6点	
		IIIa	6点	
石器		小計	6点	
		フレイク・チップ	2点	
		礫	4点	
		合計	12点	
CP260	覆土	合計	1点	
土器		小計	1点	
		IIIa	1点	
		合計	2点	
CP261	床	合計	2点	
土器		小計	1点	
		IIIa	1点	
石器		小計	1点	
	礫	1点		
		合計	2点	
CP262	覆土1層	合計	1点	
土器		小計	1点	
		IIIa	1点	
		合計	88点	
CP264	覆土3層	合計	30点	
土器		小計	20点	
		IIIa	20点	
石器		小計	10点	
		Uフレイク	1点	
		フレイク・チップ	3点	
		礫	6点	
	覆土	合計	29点	
土器		小計	19点	
			IIIa	18点

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
		石器	IIIb	1点	
			小計	10点	
		Uフレイク	1点		
			たたき石	1点	
			扁平打製石器	1点	
			フレイク・チップ	3点	
				礫	4点
			床	合計	29点
		土器		小計	13点
				IIIa	13点
石器	小計	16点			
	Uフレイク	1点			
	扁平打製石器	2点			
		台石・石皿	4点		
		フレイク・チップ	4点		
		礫	5点		
		合計	29点		
CP265	覆土1層	合計	10点		
土器		小計	6点		
		IIIa	6点		
石器		小計	4点		
		フレイク・チップ	1点		
		礫	3点		
	覆土	合計	8点		
土器		小計	2点		
		IIIa	2点		
石器		小計	6点		
	Uフレイク	1点			
		フレイク・チップ	2点		
		礫	3点		
	床	合計	11点		
土器		小計	8点		
		IIIa	8点		
石器		小計	3点		
	Uフレイク	1点			
		礫	2点		
		合計	29点		
CP266	覆土	合計	5点		
土器		小計	1点		
		IIIa	1点		
石器		小計	4点		
		フレイク・チップ	2点		
		礫	2点		
	床	合計	1点		
土器		小計	1点		
		IIIa	1点		
		合計	6点		
CP267	覆土	合計	8点		
土器		小計	3点		
		IIIb	3点		
石器		小計	5点		
	礫	5点			
		合計	70点		
CP268	覆土1層	合計	5点		
土器		小計	3点		
		IIIa	3点		
石器		小計	2点		
		礫	2点		
	覆土	合計	65点		
土器		小計	13点		
		IIIa	12点		
石器		IIIb	1点		
	小計	52点			
		スクレイパー	1点		
		台石・石皿	5点		
		フレイク・チップ	4点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CF18	覆土1層		礫	115点	
			合計	20点	
			土器	小計	15点
			IIIa	15点	
			石器	小計	5点
			フレイク・チップ	1点	
			礫	4点	
CF19	覆土1層		合計	28点	
			合計	28点	
			土器	小計	24点
			IIIa	23点	
			IIIb	1点	
石器	小計	4点			
			フレイク・チップ	2点	
			礫	2点	
CF20	覆土1層		合計	35点	
			合計	35点	
			土器	小計	29点
			IIIa	10点	
			IIIb	19点	
石器	小計	6点			
			石斧	1点	
			フレイク・チップ	4点	
			礫	1点	
CF21	覆土1層		合計	19点	
			合計	19点	
			土器	小計	12点
			IIIb	12点	
			石器	小計	7点
			扁平打製石器	1点	
			フレイク・チップ	4点	
			礫	2点	
CF22	覆土		合計	14点	
			合計	14点	
			土器	小計	10点
			IIIa	3点	
			IIIb	7点	
石器	小計	4点			
			礫	4点	
CF23			合計	11点	
			合計	11点	
			土器	小計	3点
			IIIa	3点	
			石器	小計	8点
			たたき石	1点	
			フレイク・チップ	2点	
			礫	5点	
CF24			合計	2点	
			合計	2点	
			石器	小計	2点
			礫	1点	
CF28	覆土		合計	11点	
			合計	8点	
			土器	小計	8点
			IIIa	5点	
			IIIb	3点	
			合計	3点	
石器	小計	3点			
			フレイク・チップ	2点	
			礫	1点	
CF29	覆土1層		合計	9点	
			合計	9点	
			土器	小計	8点
			IIIa	2点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数			
			III a or b	6点			
			石器	小計	1点		
						礫	1点
CF30	覆土1層		合計	19点			
			合計	19点			
			土器	小計	15点		
			IIIa	15点			
			石器	小計	4点		
			Rフレイク	1点			
			フレイク・チップ	1点			
			礫	2点			
CF31	覆土1層		合計	10点			
			合計	5点			
			石器	小計	5点		
						スクレイパー	1点
						フレイク・チップ	4点
CF32	床		合計	5点			
			合計	5点			
			土器	小計	5点		
			IIIa	1点			
			IIIb	4点			
CF32	覆土1層		合計	13点			
			合計	13点			
			土器	小計	11点		
			IIIa	11点			
石器	小計	2点					
			ポイント・ナイフ	1点			
			フレイク・チップ	1点			
CF33			合計	4点			
			合計	4点			
			土器	小計	1点		
			IIIa	1点			
			石器	小計	3点		
			Rフレイク	1点			
			フレイク・チップ	1点			
			礫	1点			
CF35			合計	1点			
			合計	1点			
			土器	小計	1点		
			IIIa	1点			
CF36	覆土		合計	7点			
			合計	3点			
			土器	小計	3点		
			III a or b	3点			
						合計	4点
土器	小計	1点					
			III a or b	1点			
石器	小計	3点					
			扁平打製石器	1点			
			礫	2点			
CF37			合計	5点			
			合計	5点			
			土器	小計	4点		
			IIIa	4点			
			石器	小計	1点		
			Uフレイク	1点			
CF41	覆土1層		合計	127点			
			合計	57点			
			土器	小計	57点		
			IIIa	57点			
						合計	70点
土器	小計	68点					
			IIIa	68点			
石器	小計	2点					
			礫	2点			
CF42			合計	33点			
			合計	33点			

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
		土器	小計	31点
			Ⅲa	30点
			Ⅲb	1点
		石器	小計	1点
			フレイク・チップ	1点
		土製品	小計	1点
焼成粘土塊	1点			
CF44			合計	15点
			小計	15点
		土器	小計	12点
			Ⅲa	12点
石器	小計	3点		
	Rフレイク フレイク・チップ	1点 2点		
CF45			合計	44点
			小計	44点
		土器	小計	40点
			Ⅲa	40点
		石器	小計	4点
			スクレイパー フレイク・チップ 礫	1点 2点 1点
CF46	覆土1層		合計	14点
			小計	14点
		土器	小計	9点
			Ⅲa	9点
		石器	小計	5点
北海道式石冠 フレイク・チップ	1点 4点			
CF47			合計	1点
			小計	1点
		土器	小計	1点
			Ⅲa	1点
CF48			合計	1点
			小計	1点
		土器	小計	1点
			Ⅲa	1点
CF49			合計	12点
			小計	12点
		土器	小計	10点
			Ⅲa	10点
		石器	小計	2点
加工痕のある礫 フレイク・チップ	1点 1点			
CF50			合計	5点
			小計	5点
		土器	小計	5点
			Ⅲa	5点
CF52			合計	3点
			小計	3点
		土器	小計	2点
			Ⅲa	2点
		石器	小計	1点
フレイク・チップ	1点			
CF53			合計	1点
			小計	1点
		石器	小計	1点
石錐	1点			
CF54			合計	7点
			小計	7点
		土器	小計	4点
			Ⅲa	4点
		石器	小計	3点
台石・石皿 フレイク・チップ	1点 2点			
CF55			合計	1点

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CF56	覆土1層		合計	1点
			小計	1点
			スクレイパー	1点
			合計	4点
			小計	4点
			土器	小計
	Ⅲa	小計	3点	
		礫	1点	
CF57	覆土1層		合計	2点
			小計	2点
			Ⅲb	2点
		石器	合計	4点
			小計	4点
			すり石 礫	1点 3点
CF58			合計	30点
			小計	30点
		土器	小計	26点
			Ⅲa	26点
		石器	小計	4点
			フレイク・チップ 礫	3点 1点
CF60			合計	4点
			小計	4点
		土器	小計	4点
			Ⅲa	4点
CF63			合計	3点
			小計	3点
		石器	小計	3点
加工痕のある礫 礫	1点 2点			
CF64	覆土1層		合計	15点
			小計	5点
		土器	小計	2点
			Ⅲa	2点
		石器	小計	3点
			フレイク・チップ	3点
小計	8点			
土器	小計			8点
	Ⅲa			8点
石器	小計			2点
	Rフレイク フレイク・チップ	1点 1点		
CF65	覆土1層		合計	4点
			小計	1点
		土器	小計	1点
			Ⅲa	1点
CF67	覆土1層		合計	3点
			小計	3点
		土器	小計	3点
			Ⅲa	3点
		CF67	覆土1層	
小計	10点			
土器	小計			8点
	Ⅲa			8点
石器	小計			2点
	フレイク・チップ	2点		
CF68	覆土1層		合計	2点
			小計	2点
		土器	小計	2点
			Ⅲa	2点
CF68	覆土1層		合計	7点
			小計	2点
		土器	小計	2点
Ⅲa	2点			
CF68			合計	5点
			小計	5点

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
		土器	小計	2点	
			Ⅲa	2点	
		石器	小計	3点	
			加工痕のある礫	1点	
			フレイク・チップ	1点	
CF69	覆土1層		小計	9点	
			合計	7点	
			土器	小計	7点
				ポイント・ナイフ	1点
				スクレイパー	1点
	Rフレイク	1点			
	石器	台石・石皿	1点		
		加工痕のある礫	1点		
		フレイク・チップ	2点		
		合計	2点		
土器		小計	2点		
CF71			Ⅲa	2点	
			合計	4点	
			小計	4点	
CF72	覆土1層	土器	小計	3点	
			Ⅲa	3点	
		石器	小計	1点	
			フレイク・チップ	1点	
CF73	覆土1層		小計	7点	
			合計	4点	
			土器	小計	4点
				Ⅲa	4点
			石器	合計	3点
	土器	小計		2点	
	Ⅲa	2点			
	CF74			小計	1点
				礫	1点
				合計	14点
小計				14点	
土器				小計	12点
CF75			Ⅲa	12点	
			小計	2点	
			合計	14点	
			小計	13点	
			土器	小計	13点
CF77			Ⅲa	13点	
			合計	79点	
			小計	79点	
			土器	小計	53点
			Ⅲa	53点	
CF78			小計	26点	
			加工痕のある礫	1点	
			有意の礫	2点	
			礫	23点	
			合計	1点	
CF79			小計	1点	
			合計	1点	
			土器	小計	1点
CF79			礫	1点	
			合計	2点	
			小計	2点	
CF79			土器	小計	2点
			合計	2点	
			土器	小計	2点

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
CF80			Ⅲa	2点	
			合計	22点	
			小計	22点	
			土器	小計	19点
			Ⅲa	19点	
			石器	小計	3点
			フレイク・チップ	2点	
			礫	1点	
			合計	14点	
			小計	14点	
CF81			土器	小計	11点
			Ⅲa	11点	
			石器	小計	3点
			フレイク・チップ	2点	
			礫	1点	
CF82			合計	3点	
			小計	3点	
			土器	小計	2点
			Ⅲa	2点	
CF83			石器	小計	1点
			Uフレイク	1点	
			合計	122点	
			小計	122点	
CF85	覆土1層		土器	小計	1点
			Ⅲa	1点	
			合計	121点	
			小計	115点	
			土器	小計	115点
			Ⅲa	115点	
			石器	小計	6点
			スクレイパー	1点	
			Rフレイク	1点	
			フレイク・チップ	4点	
CF86			合計	7点	
			小計	7点	
			土器	小計	6点
			Ⅲa	1点	
			Ⅲb	5点	
			石器	小計	1点
			礫	1点	
CF87			合計	4点	
			小計	4点	
			土器	小計	3点
			Ⅲa	3点	
			石器	小計	1点
CF89			フレイク・チップ	1点	
			合計	18点	
			小計	18点	
			土器	小計	4点
CF90	覆土1層		Ⅲa	4点	
			小計	14点	
			ポイント・ナイフ	1点	
			スクレイパー	1点	
			フレイク・チップ	1点	
CF91			礫	11点	
			合計	2点	
			小計	1点	
			土器	小計	1点
			Ⅲa	1点	
CF91			合計	1点	
			小計	1点	
			フレイク・チップ	1点	
CF91			合計	4点	
			小計	4点	
			土器	小計	2点
			Ⅲa	2点	
CF91			小計	2点	
			合計	2点	
			土器	小計	2点

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CF92	覆土1層		フレイク・チップ	1点
			礫	1点
			総計	8点
			合計	8点
		土器	小計	7点
CF93			IIIa	7点
		石器	小計	1点
			フレイク・チップ	1点
			総計	24点
			合計	24点
CF94		土器	小計	11点
			I a	7点
			IIIa	4点
		石器	小計	12点
			Uフレイク	1点
			フレイク・チップ	8点
			礫	3点
		自然遺物	小計	1点
			炭化物	1点
			総計	2点
CF95			合計	2点
		土器	小計	2点
			IIIa	1点
			IIIb	1点
CF96			総計	14点
			合計	14点
		土器	小計	5点
			IIIa	5点
		石器	小計	7点
			たたき石	1点
			台石・石皿	1点
			フレイク・チップ	1点
			礫	4点
		土製品	小計	2点
	焼成粘土塊	2点		
CF97			総計	2点
			合計	2点
		石器	小計	2点
			フレイク・チップ	2点
CF98			総計	1点
			合計	1点
		土器	小計	1点
			IIIa	1点
CF101	覆土1層		総計	17点
			合計	8点
		土器	小計	4点
			IIIa	4点
		石器	小計	4点
		フレイク・チップ	1点	
		礫	3点	
	覆土2層		合計	9点
		土器	小計	5点
			IIIa	5点
石器		小計	4点	
		扁平打製石器	1点	
	フレイク・チップ	1点		
	礫	2点		
CF102			総計	2点
			合計	2点
		土器	小計	2点
CF103			IIIa	2点
			総計	5点
			合計	5点
		土器	小計	3点
	IIIa	2点		
	IIIb	1点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CF104		石器	小計	2点
			フレイク・チップ	1点
			礫	1点
			総計	5点
			合計	5点
CF105		石器	小計	5点
			Uフレイク	1点
			フレイク・チップ	1点
			礫	3点
			総計	2点
CF106			合計	2点
		石器	小計	2点
			フレイク・チップ	1点
			礫	1点
			総計	4点
CF107			合計	4点
		土器	小計	3点
			IIIa	3点
		石器	小計	1点
			礫	1点
CF108			総計	5点
			合計	5点
		土器	小計	4点
			IIIa	4点
		石器	小計	1点
CF109			フレイク・チップ	1点
			総計	5点
			合計	5点
		土器	小計	5点
			IIIa	5点
CF110			総計	2点
			合計	2点
		土器	小計	1点
			IIIa	1点
		石器	小計	1点
CF111			礫	1点
			総計	10点
			合計	10点
		土器	小計	8点
			IIIa	8点
CF112		石器	小計	2点
			フレイク・チップ	2点
			総計	5点
			合計	5点
		土器	小計	1点
CF113			I a	1点
		石器	小計	4点
			スクレイパー	1点
			フレイク・チップ	2点
			礫	1点
CF114			総計	39点
			合計	39点
		土器	小計	33点
			IIIa	33点
		石器	小計	6点
	スクレイパー	1点		
	フレイク・チップ	1点		
	礫	4点		
CF115			総計	35点
			合計	35点
		土器	小計	19点
			IIIa	19点
		石器	小計	13点
	石礫	1点		
	扁平打製石器	1点		
	フレイク・チップ	3点		

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CF118	床	土製品	礫	8点
			小計	3点
			焼成粘土塊	3点
		合計	3点	
		土器	小計	1点
CF121		土器	IIIa	1点
			小計	2点
		石器	フリイク・チップ	1点
			礫	1点
CF123			合計	10点
			合計	10点
		土器	小計	8点
			IIIa	8点
CF124		石器	小計	2点
			石錘	1点
			合計	5点
			合計	5点
CF125		土器	小計	5点
			IIIa	5点
		石器	小計	1点
			礫	1点
CF126		土器	合計	12点
			合計	12点
			小計	2点
		石器	IIIa	2点
			小計	10点
CF128		土器	IIIa	10点
			炉石	10点
			合計	5点
			合計	5点
CF129		石器	小計	5点
			礫	5点
			合計	3点
			合計	3点
CF130	覆土1層	土器	小計	39点
			IIIa	39点
			小計	30点
		石器	小計	9点
			フリイク・チップ	4点
CF132	覆土2層	土器	合計	39点
			合計	39点
			小計	30点
		石器	小計	9点
			フリイク・チップ	4点
CF133	覆土3層	土器	合計	5点
			合計	3点
			小計	2点
		石器	IIIa	2点
			IIIb	2点

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
CF134		土器	合計	29点
			合計	29点
			小計	2点
		石器	IIIa	2点
			小計	27点
CF137		土器	合計	8点
			合計	19点
		石器	合計	10点
			合計	10点
CF139		土器	小計	4点
			IIIa	4点
		石器	小計	6点
			礫	6点
CF140		土器	合計	3点
			合計	3点
		石器	小計	3点
			IIIa	3点
CF141		土器	合計	3点
			合計	3点
		石器	小計	2点
			IIIa	2点
CF142		土器	合計	12点
			合計	12点
		石器	小計	2点
			IIIa	2点
CF143		土器	合計	1点
			合計	1点
		石器	小計	1点
			フリイク・チップ	1点
CF144		土器	合計	4点
			合計	4点
			小計	2点
		石器	IIIa	2点
			小計	2点
CF145		土器	合計	1点
			合計	1点
		石器	小計	2点
			フリイク・チップ	1点
CF146		土器	合計	9点
			合計	9点
			小計	8点
		石器	IIIa	8点
			小計	1点
CF147		土器	合計	13点
			合計	13点
		石器	小計	5点
			IIIa	2点
CF148		土器	IIIb	3点
			小計	8点
		石器	Uフリイク	1点
			フリイク・チップ	1点
CF149		土器	合計	6点
			合計	6点
			小計	5点
		石器	IIIa	2点
			IIIb	3点
CF150		土器	合計	14点
			合計	14点
		石器	小計	13点
			IIIa	13点
CF151		土器	合計	1点
			合計	1点
		石器	小計	1点
			礫	1点
CF152		土器	合計	445点
			合計	445点
			小計	176点
		石器	IIIa	176点
			小計	269点
	フリイク・チップ	4点		

第1分冊（文章編）

遺構名	層位	遺物名	分類	点数		
CF149			礫	265点		
			合計	20点		
			土器	小計	14点	
				Ⅲa	14点	
				小計	6点	
石器	フリイク・チップ	1点				
	礫	5点				
CF150			合計	87点		
			合計	87点		
			土器	小計	67点	
				Ⅲa	67点	
			石器	小計	20点	
フリイク・チップ	14点					
礫	6点					
CF152	覆土2層		合計	48点		
			合計	21点		
			土器	小計	8点	
				Ⅲa	2点	
			Ⅲb	6点		
	石器	小計	13点			
		フリイク・チップ	11点			
		礫	2点			
				合計	27点	
				小計	8点	
				Ⅲa	8点	
				石器	小計	19点
					Uフリイク	1点
台石・石皿	5点					
フリイク・チップ	5点					
礫	8点					
CF156	覆土2層		合計	98点		
			合計	33点		
			小計	33点		
				フリイク・チップ	33点	
				合計	65点	
				小計	45点	
				Ⅲb	45点	
				石器	小計	20点
					扁平打製石器	2点
					炉石	5点
礫	13点					
CF157			合計	7点		
			合計	7点		
			石器	小計	7点	
				たたき石	1点	
台石・石皿	2点					
炉石	4点					
CF158			合計	1点		
			合計	1点		
			土器	小計	1点	
Ⅲa	1点					
CF159			合計	1点		
			合計	1点		
			石器	小計	1点	
フリイク・チップ	1点					
CF161			合計	2点		
			合計	2点		
			土器	小計	2点	
Ⅲa	2点					
CF162	覆土		合計	5点		
			合計	2点		
			石器	小計	2点	
				礫	2点	
			合計	3点		
土器	小計	1点				

遺構名	層位	遺物名	分類	点数	
			Ⅲa	1点	
			石器	小計	2点
				フリイク・チップ	1点
			礫	1点	
			CF215	覆土1層	
合計	10点				
土器	小計	8点			
	Ⅲa	8点			
石器	小計	2点			
	フリイク・チップ	1点			
礫	1点				
CS1			合計	417点	
			合計	417点	
			石器	小計	417点
礫	417点				
CS2			合計	150点	
			合計	150点	
			土器	小計	38点
				Ⅲa	36点
			Ⅲb	2点	
			石器	小計	112点
				フリイク・チップ	4点
礫	108点				
CS3			合計	81点	
			合計	81点	
			土器	小計	7点
				Ⅲa	5点
			Vc	2点	
石器	小計	74点			
	石鏃	1点			
フリイク・チップ	1点				
礫	72点				
CS4			合計	17点	
			合計	17点	
			石器	小計	17点
礫	17点				
CS5			合計	26点	
			合計	26点	
			石器	小計	26点
礫	26点				
CS7			合計	191点	
			合計	191点	
			土器	小計	6点
				Ⅲa	6点
			石器	小計	185点
礫	185点				
CS8	覆土1層		合計	78点	
			合計	48点	
			石器	小計	48点
				礫	48点
			合計	30点	
土器	小計	1点			
	Ⅲa	1点			
石器	小計	29点			
	フリイク・チップ	1点			
	礫	28点			
CS9			合計	92点	
			合計	92点	
			土器	小計	23点
				Ⅲa	23点
			石器	小計	69点
Uフリイク	1点				
フリイク・チップ	5点				
礫	63点				
CS10	覆土3層		合計	288点	
			合計	288点	

遺構名	層位	遺物名	分類	点数
		土器	小計	12点
			IIIa	10点
			IIIb	2点
		石器	小計	275点
			小礫	268点
			フレイク・チップ	5点
		石製品	小計	1点
棒状礫	1点			
CS11			総計	196点
			合計	196点
		石器	小計	196点
			たたき石	1点
			北海道式石冠	1点
			扁平打製石器	2点
			くぼみ石	1点
			台石・石皿	1点
			フレイク・チップ	1点
			原石	1点
礫	188点			
CS12			総計	55点
			合計	55点
		土器	小計	14点
			IIIa	8点
			IIIb	6点
		石器	小計	41点
			Uフレイク	2点
			たたき石	2点
			炉石	12点
			フレイク・チップ	1点
礫	24点			
CFC 1			総計	130点
			合計	130点
		石器	小計	130点
			Rフレイク	4点
フレイク・チップ	126点			
CFC 2			総計	92点
			合計	92点
		土器	小計	4点
			IIIb	4点
		石器	小計	88点
			フレイク・チップ	82点
礫	6点			

表VI-4 掲載遺構別土器一覧

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 2 1	II-1	CH-1	IIIb	床				
図II 2 2	II-1	CH-1	IIIb	床				
図II 2 3	II-1	CH-1	IVa	床				
図II 2 4	II-1	CH-1	IIIb	床				
図II 2 5	II-1	CH-1	IIIb	覆土2層				
図II 2 6	II-1	CH-1	IIIb	覆土1層				
図II 2 7	II-1	CH-1	IIIb	床、覆土2層				
図II 2 8	II-1	CH-1	IIIb	覆土1層				N-64 III,CH-4 覆土3層 CH-3床と同一個体
図II 2 9	II-1	CH-1	IIIb	床				
図II 2 10	II-1	CH-1	IIIb	覆土2層				大木式 CF-16と接合
図II 2 11	II-1	CH-1	IIIb	覆土1層				大木式 M-64 M-67 O-63IIIと接合
図II 2 12	II-1	CH-1	IIIb	床				
図II 2 13	II-1	CH-1	IIIb	床				K-61 IIIと接合
図II 2 14	II-1	CH-1	IIIb	覆土2層				オオバコ CH-2 覆2、L-65IIIと接合
図II 5 1	II-2	CH-2	IIIb	床				
図II 5 2	II-2	CH-2	IIIb	床				大木式 L-65IIIと接合
図II 5 3	II-2	CH-2	IIIb	床				滑石土器
図II 5 4	II-2	CH-2	IIIb	覆土3層				
図II 5 5	II-2	CH-2	IIIb	床				滑石土器
図II 5 9	II-2	CH-2	IIIa	覆土1・2・3層				
図II 5 10	II-2	CH-2	IIIa	覆土1層				
図II 5 11	II-2	CH-2	IIIb	覆土1・2層				オオバコ
図II 5 12	II-2	CH-2	IIIb	覆土2層				
図II 5 13	II-2	CH-2	IIIb	覆土2層				
図II 5 14	II-3	CH-2	IIIb	覆土2層				
図II 5 15	II-3	CH-2	IIIb	覆土1・2層				CH-79 N-65,O-66,N-66,O-65,M-66,O-67IIIと接合
図II 5 16	II-3	CH-2	IIIb	覆土2層				
図II 5 17	II-3	CH-2	IIIb	覆土2層				
図II 5 18	II-3	CH-2	IIIb	覆土1・2層				滑石土器
図II 6 19	II-3	CH-2	IIIb	覆土1・2層				
図II 6 20	II-2	CH-2	IIIb	覆土2層				M-66IIIと接合
図II 6 21	II-3	CH-2	IIIb	覆土2層				
図II 6 22	II-3	CH-2	IIIb	覆土1層				
図II 6 23	II-3	CH-2	IIIb	覆土1・2層				M-65IIIと接合
図II 6 24	II-3	CH-2	IIIb	覆土1・3層				(残に覆土5層)
図II 6 25	II-3	CH-2	IIIb	覆土2層				
図II 7 26	II-2	CH-2	IIIb	覆土2層				
図II 7 27	II-3	CH-2	IIIb	覆土2層				
図II 7 28	II-3	CH-2	IIIb	覆土2層				L-65,M-65IIIと接合
図II 7 29	II-4	CH-2	IIIa	覆土1・2層				
図II 7 30	II-4	CH-2	IIIb	覆土2層				
図II 7 31	II-4	CH-2	IIIb	覆土1・2層				N-65,P-65,O-65IIIと接合
図II 7 32	II-4	CH-2	IVa	覆土2層				
図II 7 33	II-4	CH-2	IVa	覆土1・2層				
図II 8 34	II-4	CH-2	IVa	覆土1・2層				
図II 8 35	II-4	CH-2	IVa	覆土2層				
図II 8 36	II-4	CH-2	IVa	覆土2層				ミニチュア遺物集中
図II 8 37	II-4	CH-2	IVa	覆土2層				
図II 8 38	II-5	CH-2	IVa	覆土2層				
図II 8 39	II-5	CH-2	IIIb	覆土2層				
図II 8 40	II-5	CH-2	IIIb	覆土2層				
図II 8 41	II-5	CH-2	IVa	覆土1層				
図II 8 42	II-5	CH-2	IIIb	覆土2層				
図II 8 43	II-5	CH-2	IVa	覆土1層				
図II 8 44	II-5	CH-2	IVa	覆土1層				
図II 12 1	II-5	CH-3	IIIb	床(HP-22)				
図II 12 2	II-5	CH-3	IIIb	床				
図II 12 3	II-5	CH-3	IIIb	床				CH-1-8覆土1と同一
図II 12 4	II-5	CH-3	IIIb	床(HP-4)				
図II 12 5	II-5	CH-3	IIIb	床(HP-1)				
図II 12 6	II-5	CH-3	IIIb	床				
図II 12 7	II-5	CH-3	IIIa	床				
図II 12 8	II-5	CH-3	IIIb	床				ミニチュア
図II 12 9	II-5	CH-3	IIIb	覆土2層				
図II 12 10	II-5	CH-3	IIIb	覆土2層				CH-92 №17と同一?
図II 12 11	II-5	CH-3	IIIb	覆土2層				
図II 12 12	II-5	CH-3	IIIb	覆土層	(13.0)	(14.1)	—	復元 CH-70・71・92と接合
図II 12 13	II-5	CH-3	IIIb	覆土2層				
図II 12 14	II-5	CH-3	IIIb	覆土2層				
図II 12 15	II-6	CH-3	IIIb	覆土1層				
図II 12 16	II-6	CH-3	IIIb	覆土1層				
図II 12 17	II-6	CH-3	IIIb	覆土1層				
図II 12 18	II-6	CH-3	IIIb	覆土1層				
図II 12 19	II-6	CH-3	IIIb	覆土2層				
図II 12 20	II-6	CH-3	IIIb	覆土2層				
図II 16 1	II-6	CH-4	IIIa	床				滑石土器

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 16 2	II-6	CH-4	IIIb	床				
図II 16 3	II-6	CH-4	IIIb	床				
図II 16 4	II-6	CH-4	IIIb	床				
図II 16 5	II-6	CH-4	IIIb	床				
図II 16 6	II-6	CH-4	IIIb	覆土3層				
図II 16 7	II-6	CH-4	IIIa	覆土2層				滑石土器
図II 16 8	II-6	CH-4	IIIb	覆土1層				滑石土器
図II 16 9	II-6	CH-4	IIIa	覆土3層				滑石土器
図II 16 10	II-6	CH-4	IIIa	覆土1層				O64 III
図II 16 11	II-7	CH-4	IIIa	覆土2層				
図II 16 12	II-7	CH-4	IIIa	覆土2層				
図II 16 13	II-7	CH-4	IIIa	床				魚骨回転式 CF-129,P-64,Q-66と接合(残にCH-24など)
図II 16 14	II-7	CH-4	IIIb	覆土1層				
図II 16 15	II-7	CH-4	IIIb	覆土3層				
図II 16 16	II-7	CH-4	IIIb	覆土2層				滑石土器
図II 16 17	II-7	CH-4	IIIb	覆土1層				
図II 16 18	II-7	CH-4	IIIb	覆土1層				
図II 16 19	II-7	CH-4	IIIb	覆土2層				
図II 16 20	II-7	CH-4	IIIb	覆土2層				
図II 16 21	II-7	CH-4	IIIb	覆土1層				
図II 16 22	II-7	CH-4	IIIb	覆土1層				大木式(残にP-69,Q-62Ⅲ、R-62攪乱)
図II 17 23	II-7	CH-4	IVa	覆土1層				
図II 17 24	II-6	CH-4	IVa	覆土1層				覆土2と接合
図II 17 25	II-7	CH-4	IVa	覆土1層				O-64Ⅲと接合
図II 17 26	II-7	CH-4	IVa	覆土1層				
図II 17 27	II-6	CH-4	IVa	覆土3層	—	(13.3)	3.0	復元CH-4覆土1と接合
図II 17 28	II-8	CH-4	IVa	覆土1層				
図II 17 29	II-8	CH-4	IVa	覆土2層				
図II 17 30	II-8	CH-4	IVa	覆土1層				
図II 17 31	II-8	CH-4	IVa	覆土1層				滑石土器
図II 17 32	II-8	CH-4	IVa	覆土1層				
図II 17 33	II-8	CH-4	IVa	覆土1層				
図II 17 34	II-8	CH-4	IIIb	覆土1層				
図II 17 35	II-8	CH-4	IVa	覆土1層				
図II 21 1	II-8	CH-5	IIIa	床				
図II 21 2	II-8	CH-5	IIIb	覆土2層				
図II 21 3	II-8	CH-5	IIIb	覆土1・2層				
図II 21 4	II-9	CH-5	IIIb	覆土1層				
図II 21 5	II-9	CH-5	IIIa	覆土1層				
図II 21 6	II-8	CH-5	IIIb	覆土1層				
図II 21 7	II-9	CH-5	IIIb	覆土1層				
図II 21 8	II-9	CH-5	IIIb	覆土1層				
図II 21 9	II-9	CH-5	IIIb	覆土1層				
図II 23 1	II-11	CH-6	IVa	床				
図II 23 2	II-11	CH-6	IIIb	床、覆土1層				
図II 23 3	II-11	CH-6	IVa	覆土1層				
図II 25 1	II-10	CH-7	IIIa	床				
図II 25 2	II-10	CH-7	IIIb	床				
図II 25 3	II-10	CH-7	IIIb	覆土2層				
図II 25 4	II-9	CH-7	IIIa	覆土2層				Q-65 IIIと接合
図II 25 5	II-9	CH-7	IIIa	覆土2層				
図II 25 6	II-10	CH-7	IIIb	覆土1・2層				Q-65,Q-64Ⅲと接合
図II 25 7	II-10	CH-7	IIIb	覆土2層				
図II 25 8	II-10	CH-7	IIIb	覆土2層				
図II 25 9	II-10	CH-7	IIIa	覆土2層				
図II 26 10	II-10	CH-7	IIIa	覆土1層				
図II 26 11	II-10	CH-7	IIIa	覆土1層				
図II 26 12	II-10	CH-7	IIIa	覆土1層				
図II 26 13	II-10	CH-7	IVa	覆土層				
図II 26 14	II-10	CH-7	IIIa	覆土1層				
図II 26 15	II-10	CH-7	IVa	覆土1層				
図II 27 1	II-11	CH-8	IIIb	床				
図II 27 2	II-11	CH-8	IIIb	床				
図II 29 1	II-12	CH-9	IIIa	覆土3・4層				CP-264 No.9と同一個体
図II 29 2	II-12	CH-9	IIIa	覆土4層				
図II 29 3	II-13	CH-9	IIIa	覆土層				CP-271 No.6と同一個体
図II 29 4	II-12	CH-9	IIIa	覆土1・4・覆土	(10.8)	(12.2)	—	復元N-68Ⅲと接合
図II 29 5	II-12	CH-9	IIIa	覆土2層				滑石土器
図II 29 6	II-12	CH-9	IIIa	覆土2層				
図II 29 7	II-12	CH-9	IIIa	覆土1・2・3層				
図II 29 8	II-13	CH-9	IIIa	覆土2層				
図II 29 9	II-12	CH-9	IIIa	覆土2層				
図II 30 10	II-13	CH-9	IIIa	覆土層				
図II 30 11	II-13	CH-9	IIIa	床				
図II 30 12	II-13	CH-9	IIIb	覆土2層				滑石土器
図II 30 13	II-13	CH-9	IIIb	覆土2・4層				滑石土器
図II 30 14	II-14	CH-9	IIIb	覆土3・4層				
図II 30 15	II-14	CH-9	IIIb	覆土2層				

第1分冊（文章編）

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 30 16	II-13	CH-9	IIIb	覆土1層				
図II 30 17	II-11	CH-9	IIIb	覆土4層	28.5	(33.2)	—	復元CH-71・73・78・85と接合
図II 30 18	II-13	CH-9	IIIb	覆土2層				
図II 30 19	II-14	CH-9	IIIa	覆土1・2・3層				
図II 31 20	II-14	CH-9	IIIb	覆土1層				CH-9からは1個のみ。他はJ-67,L-68,L-69IIIと接合
図II 31 21	II-14	CH-9	IIIb	覆土1・2層				
図II 31 22	II-14	CH-9	I a	覆土3層				
図II 31 23	II-14	CH-9	IIIa	覆土4層				滑石土器
図II 31 24	II-14	CH-9	IIIb	覆土4層				滑石土器
図II 31 25	II-14	CH-9	IIIb	覆土2層				
図II 31 26	II-14	CH-9	IIIa	覆土2層				
図II 34 1	II-14	CH-10	IIIa	床				
図II 34 2	II-14	CH-10	IIIa	床				
図II 34 3	II-14	CH-10	IIIb	覆土1層				
図II 36 1	II-15	CH-11	IIIb	床				
図II 36 2	II-15	CH-11	IIIb	床				
図II 36 3	II-15	CH-11	IIIb	床				
図II 36 4	II-15	CH-11	IIIb	床、覆土1層				
図II 36 5	II-15	CH-11	IIIb	床				
図II 36 6	II-15	CH-11	IIIb	床				
図II 36 7	II-15	CH-11	IIIb	床				
図II 36 8	II-15	CH-11	IIIb	覆土1層				
図II 36 9	II-15	CH-11	IIIb	覆土1層	(21.0)	(22.2)	—	復元 CH-12と接合
図II 36 10	II-15	CH-11	IIIb	覆土1層				CH-12と接合CH-11が主体滑石入り
図II 36 11	II-15	CH-11	IIIb	覆土1層				
図II 41 1	II-16	CH-12	IIIb	覆土3層	34.0	(37.2)	—	復元 一括土器
図II 41 2	II-16	CH-12	IIIb	覆土2層	29.5	44.3	12.0	復元
図II 42 3	II-16	CH-12	IIIb	覆土3層	17.8	(26.1)	—	復元 一括土器
図II 42 4	II-16	CH-12	IIIb	覆土2層	18.6	(21.8)	—	復元 一括土器2
図II 42 5	II-17	CH-12	IIIb	覆土1層	(21.0)	(22.2)	—	復元 CH-11と接合
図II 42 6	II-17	CH-12	IIIb	覆土1層	(26.8)	(35.1)	—	復元 一括土器2
図II 43 7	II-17	CH-12	IIIb	覆土2層	31.0	45.8	12.7	復元 滑石入り
図II 43 8	II-19	CH-12	IIIb	覆土1層				滑石土器
図II 43 9	II-19	CH-12	IIIb	覆土1・2層				滑石土器
図II 43 10	II-19	CH-12	IIIb	覆土1層				
図II 44 11	II-19	CH-12	IIIb	—				
図II 44 12	II-17	CH-12	IIIb	覆土2・3層				滑石土器
図II 44 13	II-18	CH-12	IIIb	覆土3層				復元 一括土器2
図II 44 14	II-19	CH-12	IIIa	覆土2層				
図II 44 15	II-19	CH-12	IIIb	覆土1・2層				
図II 44 16	II-18	CH-12	IIIb	覆土1・2・4層				
図II 45 17	II-19	CH-12	IIIb	覆土1層				滑石土器
図II 45 18	II-18	CH-12	IIIb	覆土1層				復元 一括土器2
図II 45 19	II-19	CH-12	IIIb	覆土1・2層				
図II 45 20	II-19	CH-12	IIIb	覆土1層				滑石土器
図II 45 21	II-18	CH-12	IIIb	覆土1層				CH-11と接合 CH-11が主体 滑石入り
図II 45 22	II-19	CH-12	IIIb	覆土1層				
図II 45 23	II-19	CH-12	IIIb	覆土2層				
図II 45 24	II-19	CH-12	IIIb	覆土2層				滑石土器
図II 50 1	II-22	CH-13	IIIa	床				
図II 50 2	II-22	CH-13	IIIb	床				
図II 50 3	II-20	CH-13	IIIa	床、覆土1・2・3層	(31.2)	(19.5)	—	復元
図II 50 4	II-21	CH-13	IIIb	覆土2層	34.8	33.6	—	復元
図II 50 5	II-22	CH-13	IIIb	覆土3層				大木式
図II 50 6	II-22	CH-13	IIIb	床				大木式
図II 50 7	II-22	CH-13	IIIb	覆土1層				大木式
図II 50 8	II-22	CH-13	IIIb	覆土1層				大木式
図II 50 9	II-22	CH-13	IIIb	覆土2層				大木式
図II 51 10	II-21	CH-13	IIIb	覆土3層	18.9	(25.5)	—	復元
図II 51 11	II-21	CH-13	IIIb	覆土層	20.0	(25.8)	—	復元 ※底部なし
図II 51 12	II-21	CH-13	IIIb	覆土3層	(27.7)	(29.5)	—	復元
図II 51 13	II-22	CH-13	IIIb	覆土2層				
図II 51 14	II-22	CH-13	IIIb	覆土2層				
図II 51 15	II-22	CH-13	IIIb	覆土2・3層				大木式 CH-64覆2、CH-84、K-71IIIと接合
図II 51 16	II-22	CH-13	IIIb	覆土1層	(19.5)	(24.5)	—	復元
図II 52 17	II-23	CH-13	IIIb	覆土2・5層				
図II 52 18	II-23	CH-13	IIIb	覆土2・3層				
図II 52 19	II-23	CH-13	IIIb	覆土2層				
図II 52 20	II-22	CH-13	IIIb	覆土1層・覆土				
図II 52 21	II-23	CH-13	IIIb	覆土1・2層				大木式
図II 52 22	II-23	CH-13	IIIb	床				
図II 52 23	II-23	CH-13	IIIb	覆土3層				滑石土器
図II 52 24	II-23	CH-13	IVa	覆土1・2層				
図II 52 25	II-23	CH-13	IIIb	覆土層				
図II 55 1	II-24	CH-14	IIIb	床、覆土1層				
図II 55 2	II-24	CH-14	IIIb	床				
図II 55 4	II-24	CH-14	IIIb	床				
図II 55 5	II-24	CH-14	IIIb	床				

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 55 6	II-24	CH-14	IIIa	床、覆土2・3層				CH-18,CH-25,CH-84N-72,Q-15IIIと接合
図II 55 7	II-24	CH-14	IIIa	覆土1・3層	25.7	(30.1)	—	復元
図II 55 8	II-24	CH-14	IIIb	床				
図II 55 9	II-24	CH-14	IIIb	床				
図II 55 10	II-24	CH-14	IIIb	覆土3層				
図II 56 11	II-25	CH-14	IIIb	覆土1・3層				滑石土器
図II 56 12	II-25	CH-14	IIIb	覆土1・3層				J-72 IIIと接合
図II 56 13	II-25	CH-14	IIIb	覆土1層				滑石土器
図II 56 14	II-25	CH-14	IIIb	覆土1層				
図II 56 15	II-25	CH-14	IIIb	覆土3層				
図II 56 16	II-25	CH-14	IIIb	覆土3層				滑石土器 J-72 IIIと接合
図II 56 17	II-25	CH-14	IIIb	覆土1・3層				J-72 IIIと接合
図II 60 1	II-26	CH-15	IIIa	床～覆土1層	(31.8)	(34.6)	—	復元
図II 60 2	II-26	CH-15	IIIa	覆土1層	(12.3)	(14.4)	6.5	復元 小型で全面に沈線文、口縁部の多くが欠損
図II 61 3	II-26	CH-15	IIIa	覆土2層	(23.8)	30.1	(8.6)	復元
図II 61 4	II-26	CH-15	IIIa	覆土1層	(13.4)	(19.3)	(6.5)	復元 M-69IIIと接合
図II 61 5	II-27	CH-15	IIIa	覆土1層	20.2	23.3	8.2	復元
図II 61 6	II-27	CH-15	IIIa	床				復元 魚骨回転文 CH-16.CP-264と接合
図II 62 7	II-28	CH-15	IIIa	床、覆土1層				
図II 62 8	II-27	CH-15	IIIa	覆土1層				
図II 62 9	II-28	CH-15	IIIa	床				
図II 62 10	II-28	CH-15	IIIa	床				
図II 62 11	II-28	CH-15	IIIa	床				滑石土器
図II 62 12	II-28	CH-15	IIIa	床、覆土1層				
図II 62 13	II-28	CH-15	IIIa	床、覆土1層				
図II 62 14	II-27	CH-15	IIIa	床				
図II 63 15	II-29	CH-15	IIIa	床、覆土1層				
図II 63 16	II-29	CH-15	IIIa	覆土1層				M-69 M-73 III CF-45 No.9と同一
図II 63 17	II-29	CH-15	IIIa	床				
図II 63 18	II-29	CH-15	IIIa	覆土1層				
図II 63 19	II-29	CH-15	IIIa	覆土1層				CH-34 覆2・3 N-69IIIと接合(残にCH-16覆10-72P-71III)
図II 63 20	II-29	CH-15	IIIa	床、覆土1層				
図II 64 21	II-30	CH-15	IIIa	覆土1層				M-69,M-70 IIIと接合
図II 64 22	II-30	CH-15	IIIa	覆土1層				滑石土器
図II 64 23	II-30	CH-15	IIIa	覆土1層				オオバコ H-69 IIIと接合
図II 64 24	II-30	CH-15	IIIa	覆土1層				オオバコ
図II 64 25	II-30	CH-15	IIIa	床、覆土1層				滑石土器
図II 64 26	II-30	CH-15	IIIa	床、覆土1層				
図II 64 27	II-30	CH-15	IIIa	床				
図II 64 28	II-30	CH-15	IIIa	床、覆土1層				大木式 CH-16覆1・覆土、O-67、N-69IIIと接合
図II 65 29	II-28	CH-15	IIIa	床、覆土1層				
図II 65 30	II-31	CH-15	IIIb	床				
図II 65 31	II-31	CH-15	IIIa	覆土1層				
図II 65 32	II-31	CH-15	IIIa	覆土1層				
図II 65 33	II-31	CH-15	IIIa	覆土1層				J-72 IIIと接合
図II 65 34	II-31	CH-15	IIIa	床				
図II 65 35	II-31	CH-15	IIIa	床				
図II 65 36	II-31	CH-15	IIIa	床				
図II 65 37	II-31	CH-15	IIIa	床				
図II 65 38	II-31	CH-15	IIIa	床、覆土1層				
図II 65 39	II-31	CH-15	IIIa	床、覆土1層				
図II 65 40	II-31	CH-15	IIIb	床				
図II 65 41	II-31	CH-15	IIIa	覆土1層				
図II 69 1	II-32	CH-16	IIIa	覆土1層	(36.7)	41.6	(11.7)	復元
図II 70 2	II-32	CH-16	IIIa	覆土1層	28.1	37.8	11.0	復元
図II 70 3	II-38	CH-16	IIIa	床				
図II 70 4	II-38	CH-16	IIIa	床				N-68,N-69,O-70IIIと接合
図II 70 5	II-33	CH-16	IIIa	覆土?	(20.2)	(24.1)	—	復元 沈線文有り
図II 71 6	II-33	CH-16	IIIa	覆土1層	21.9	31.0	9.1	復元
図II 71 7	II-33	CH-16	IIIb	覆土1層	33.5	(31.5)	—	復元
図II 72 8	II-34	CH-16	IIIb	覆土	(28.0)	39.5	(9.0)	復元
図II 72 9	II-34	CH-16	IIIb	覆土2層	(21.8)	30.2	8.5	復元 一括土器
図II 72 10	II-34	CH-16	IIIb	不明(覆土)	(25.2)	(28.8)	(8.8)	復元
図II 73 11	II-37	CH-16	IIIa	覆土1・2層	(9.5)	9.8	4.3	復元
図II 73 12	II-38	CH-16	IIIb	覆土1層				滑石土器
図II 73 13	II-38	CH-16	IIIa	覆土1層				滑石土器
図II 73 14	II-38	CH-16	IIIa	床				滑石土器
図II 73 15	II-34	CH-16	IIIb	覆土層	(27.0)	38.8	8.4	復元
図II 73 16	II-38	CH-16	IIIa	覆土1層				オオバコ
図II 73 17	II-38	CH-16	IIIa	床・覆土				魚骨回転式 CH-77,O-67,M-68と接合
図II 73 18	II-37	CH-16	IIIb	床	(14.0)	9.4	6.0	復元 滑石土器
図II 73 19	II-35	CH-16	IIIb	覆土1層	20.5	(27.8)	—	復元
図II 73 20	II-38	CH-16	IIIb	覆土層				
図II 73 21	II-38	CH-16	IIIa	覆土1層				滑石土器
図II 74 22	II-35	CH-16	IIIb	覆土1層				N-69と接合
図II 74 23	II-35	CH-16	IIIa	覆土1層				
図II 75 24	II-35	CH-16	IIIa	床、覆土1層				
図II 75 25	II-38	CH-16	IIIa	床				滑石土器

第1分冊（文章編）

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 75 26	II-38	CH-16	IIIa	床				滑石土器
図II 75 27	II-38	CH-16	IIIa	床				
図II 75 28	II-38	CH-16	IIIa	覆土1層				
図II 75 29	II-38	CH-16	IIIa	床、覆土1層				
図II 75 30	II-37	CH-16	IIIa	床、覆土3層				
図II 75 31	II-38	CH-16	IIIa	覆土1層				
図II 75 32	II-36	CH-16	IIIa	覆土1層				N-69 IIIと接合
図II 76 33	II-37	CH-16	IIIa	床				
図II 76 34	II-39	CH-16	IIIa	床				
図II 76 35	II-39	CH-16	IIIa	床				
図II 76 36	II-39	CH-16	IIIa	床				
図II 76 37	II-36	CH-16	IIIa	床、覆土1層				
図II 76 38	II-39	CH-16	IIIa	覆土2層				
図II 76 39	II-36	CH-16	IIIa	覆土1・2・3層				P-67 IIIと接合
図II 76 40	II-36	CH-16	IIIa	覆土2層				
図II 77 41	II-39	CH-16	IIIb	覆土1層				
図II 77 42	II-39	CH-16	IIIa	覆土1層				
図II 77 43	II-39	CH-16	IIIa	覆土1層				
図II 77 44	II-39	CH-16	IIIa	床、覆土1層				
図II 77 45	II-39	CH-16	IIIa	床、覆土3層				
図II 77 46	II-39	CH-16	IIIa	覆土1層				
図II 77 47	II-39	CH-16	IIIa	覆土1層				ミニチュア
図II 77 48	II-37	CH-16	IIIb	覆土1層				
図II 77 49	II-40	CH-16	IVa	覆土1層				
図II 77 50	II-40	CH-16	IVa	覆土1層				
図II 77 51	II-40	CH-16	IVa	覆土1層				
図II 78 52	II-37	CH-16	IIIa	床				
図II 78 53	II-40	CH-16	IIIa	床				
図II 78 54	II-40	CH-16	IIIa	床				
図II 78 55	II-40	CH-16	IIIa	床				
図II 78 56	II-40	CH-16	IIIb	床				
図II 78 57	II-40	CH-16	IIIa	床				
図II 78 58	II-40	CH-16	IIIa	床				
図II 78 59	II-40	CH-16	IIIa	床				
図II 78 60	II-40	CH-16	IIIa	床				
図II 78 61	II-40	CH-16	IIIa	覆土2層				※底部のみ
図II 78 62	II-40	CH-16	IIIb	覆土層				
図II 78 63	II-40	CH-16	IIIa	床				
図II 78 64	II-40	CH-16	IVa	覆土1層				
図II 78 65	II-41	CH-16	IVa	覆土1層				
図II 78 66	II-41	CH-16	IIIb	覆土1層				
図II 78 67	II-41	CH-16	IVa	覆土1層				
図II 78 68	II-41	CH-16	IIIb	覆土1層				
図II 83 1	II-41	CH-17	IIIb	床(HP-6-1)				CH-18(床、覆土1層)と接合
図II 83 2	II-41	CH-17	IIIa	床(HP-10-1)				
図II 83 3	II-41	CH-17	IIIb	床				
図II 83 4	II-41	CH-17	IIIb	覆土1層				CH-18 No.20と同一
図II 83 5	II-41	CH-17	IIIb	覆土1層				滑石土器
図II 83 6	II-41	CH-17	IIIb	覆土1層				滑石土器
図II 83 7	II-41	CH-17	IVa	覆土1層				
図II 83 8	II-41	CH-17	IIIb	覆土1層				
図II 83 9	II-41	CH-17	IIIb	覆土1層				滑石土器
図II 83 10	II-41	CH-17	IVa	覆土1層				
図II 86 1	II-42	CH-18	IIIa	覆土1層	(36.3)	36.4	11.5	復元 包含層からも出土(多い)
図II 86 2	II-42	CH-18	IIIa	覆土1層	(21.4)	(25.0)		復元
図II 86 3	II-44	CH-18	IIIb	覆土3層				ミニチュア
図II 86 4	II-42	CH-18	IIIa	覆土1層	(9.6)	(13.5)	5.6	復元 魚骨回転文
図II 87 5	II-42	CH-18	IIIa	覆土1層				
図II 87 6	II-43	CH-18	IIIa	床覆土3層				
図II 88 7	II-44	CH-18	IIIa	床				
図II 88 8	II-44	CH-18	IIIa	床				
図II 88 9	II-44	CH-18	IIIa	床				
図II 88 10	II-44	CH-18	IIIa	床				
図II 88 11	II-44	CH-18	IIIb	床				
図II 88 12	II-43	CH-18	IIIa	床				覆土1・3と接合
図II 88 13	II-43	CH-18	IIIa	床、覆土3層				
図II 88 14	II-44	CH-18	IIIa	床、覆土1層				魚骨回転文(残にK-73 I-67 III)
図II 88 15	II-44	CH-18	IIIb	床				
図II 89 16	II-44	CH-18	IIIb	床、覆土1層				
図II 89 17	II-44	CH-18	IIIb	覆土1層				No.39と同一の可能性あり
図II 89 18	II-44	CH-18	IIIb	床、覆土1・3層				
図II 89 19	II-44	CH-18	IIIb	床、覆土1層				
図II 89 20	II-45	CH-18	IIIb	床				CH-17-4と同一
図II 89 21	II-45	CH-18	IIIb	覆土1層				大木式
図II 89 22	II-45	CH-18	IIIb	覆土1層				
図II 89 23	II-45	CH-18	IIIb	覆土2層				滑石土器
図II 89 24	II-45	CH-18	IIIb	覆土1層				
図II 89 25	II-45	CH-18	IIIb	覆土1層				

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 90 26	II-45	CH-18	IIIb	覆土1・3層				
図II 90 27	II-45	CH-18	IIIb	覆土1層				
図II 90 28	II-46	CH-18	IVa	覆土2層				
図II 90 29	II-46	CH-18	IIIb	覆土1層, III層				J-74.K-74と接合
図II 90 30	II-46	CH-18	IIIb	覆土3層				大木式
図II 90 31	II-46	CH-18	I a	覆土1層				I a日計式
図II 91 32	II-46	CH-18	IIIb	床				
図II 91 33	II-46	CH-18	IIIb	床(HP-9)				
図II 91 34	II-44	CH-18	IIIa	床				※底部のみ
図II 91 35	II-46	CH-18	IIIa	床				
図II 91 36	II-46	CH-18	IIIb	床、覆土3層				
図II 91 37	II-43	CH-18	IIIb	覆土3層				
図II 91 38	II-46	CH-18	IIIb	覆土1・2層				
図II 91 39	II-46	CH-18	IIIb	覆土1層				No.17と同一の可能性あり
図II 91 40	II-46	CH-18	IIIb	覆土1・3層				
図II 91 41	II-46	CH-18	IIIb	覆土1層				
図II 91 42	II-46	CH-18	IIIb	覆土1層				
図II 91 43	II-46	CH-18	IIIb	覆土1層				
図II 92 44	II-47	CH-18	IIIb	覆土1層				
図II 92 45	II-47	CH-18	IVa	覆土1層				
図II 92 46	II-47	CH-18	IVa	覆土1層				
図II 96 1	II-47	CH-19	IIIb	床				
図II 96 2	II-47	CH-19	IIIb	覆土2層				
図II 96 3	II-47	CH-19	IIIb	覆土2層				
図II 96 4	II-48	CH-19	IIIb	覆土2層				
図II 96 5	II-47	CH-19	IIIb	覆土1層				一括土器
図II 96 6	II-48	CH-19	IVa	覆土1層				
図II 96 7	II-47	CH-19	IIIb	覆土1層				
図II 96 8	II-47	CH-19	IVa	覆土1・2層				
図II 96 9	II-48	CH-19	IVa	覆土1層				
図II 96 10	II-48	CH-19	I a	覆土1層				CS-3と接合III-1-1-21(0-71)と同一か?
図II 99 1	II-48	CH-20	IIIa	床	23.8	30.6	9.7	復元
図II 99 2	II-48	CH-20	IIIa	床	23.0	28.4	9.3	復元
図II 100 3	II-49	CH-20	IIIa	覆土1層	26.0	32.4	9.7	復元
図II 100 4	II-49	CH-20	IIIa	床	27.4	30.4	9.5	復元
図II 101 5	II-50	CH-20	IIIa	覆土1層				
図II 101 6	II-50	CH-20	IIIa	覆土1層				
図II 101 7	II-49	CH-20	IIIa	床、覆土1層				
図II 101 8	II-50	CH-20	IIIb	覆土1層				
図II 101 9	II-49	CH-20	IVa	覆土1層				
図II 104 1	II-50	CH-21	IIIa	床、覆土1層				(残に床)
図II 104 2	II-50	CH-21	IIIa	床	(13.0)	(17.5)	8.5	復元
図II 104 3	II-51	CH-21	IIIa	覆土1層				
図II 104 4	II-51	CH-21	IIIa	覆土1層				
図II 104 5	II-51	CH-21	IIIa	覆土1層	(23.3)	(28.0)	(8.5)	復元
図II 107 1	II-53	CH-22	IIIa	覆土2層	(33.5)	39.4	10.7	復元
図II 107 2	II-52	CH-22	IIIa	覆土1層	8.5	9.6	4.8	復元 小型 物語風沈線文 要展開図
図II 108 3	II-53	CH-22	IIIa	覆土	(31.0)	(43.2)	(12.8)	復元
図II 108 4	II-53	CH-22	IIIa	覆土2層	(12.6)	(10.6)	4.0	復元 小型 沈線文
図II 108 5	II-53	CH-22	IIIa	床、覆土2層	(7.5)	(8.8)	(4.7)	復元
図II 108 6	II-53	CH-22	IIIa	覆土2層	7.3	6.4	4.3	復元 小型 無文
図II 109 7	II-54	CH-22	IIIa	覆土2層、覆土1層	(22.0)	(26.4)	—	復元 CH-25と接合
図II 109 8	II-54	CH-22	IIIa	覆土2層	—	(34.5)	—	復元 変則突起である
図II 109 9	II-54	CH-22	IIIa	覆土2層	10.7	9.4	5.2	復元 小型
図II 109 10	II-54	CH-22	IIIa	床	(14.9)	11.7	7.1	復元
図II 110 11	II-55	CH-22	IIIa	覆土2層	(22.2)	23.0	7.8	復元 突起部面側からの穿孔有り
図II 110 12	II-55	CH-22	IIIa	床	20.5	22.6	9.2	復元 一括土器
図II 110 13	II-54	CH-22	IIIa	覆土2層				
図II 110 14	II-54	CH-22	IIIa	覆土2層	9.2	10.3	4.1	復元 小型
図II 110 15	II-56	CH-22	IIIa	覆土2層	10.4	(11.1)	—	復元
図II 110 16	II-55	CH-22	IIIa	床	(12.5)	17.7	(8.1)	復元
図II 111 17	II-57	CH-22	IIIa	床				
図II 111 18	II-57	CH-22	IIIa	床、覆土2層				
図II 111 19	II-57	CH-22	IIIa	覆土3層				(残に覆土2層)
図II 111 20	II-57	CH-22	IIIa	床、覆土1層				
図II 111 21	II-57	CH-22	IIIa	床				
図II 111 22	II-57	CH-22	IIIa	覆土2層				
図II 111 23	II-57	CH-22	IIIa	覆土2層				
図II 111 24	II-57	CH-22	IIIa	覆土2層				
図II 111 25	II-57	CH-22	IIIa	床、覆土1・2層				一括土器
図II 112 26	II-58	CH-22	IIIa	床、覆土2層				
図II 112 27	II-58	CH-22	IIIa	覆土2層				
図II 112 28	II-56	CH-22	IIIa	床				
図II 112 29	II-58	CH-22	IIIa	覆土層				
図II 112 30	II-58	CH-22	IIIa	覆土層				
図II 112 31	II-58	CH-22	IIIa	覆土層				
図II 112 32	II-58	CH-22	IIIa	覆土2層				M-77 IIIと接合
図II 112 33	II-58	CH-22	IIIa	覆土2層				IIIa浅鉢

第1分冊（文章編）

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 112	34	II-56	CH-22	Ⅲa 覆土1層				底に網痕有り
図II 113	35	II-56	CH-22	Ⅲa 床他				※底部のみ
図II 113	36	II-58	CH-22	Ⅲa 床				
図II 113	37	II-58	CH-22	Ⅲa 床、覆土1層				
図II 113	38	II-58	CH-22	Ⅲa 覆土2層				
図II 113	39	II-58	CH-22	Ⅲa 覆土2層				
図II 113	40	II-58	CH-22	Ⅲa 覆土2層				
図II 113	41	II-56	CH-22	Ⅲa 覆土2層				※底部のみ
図II 113	42	II-58	CH-22	Ⅲa 覆土2層				
図II 113	43	II-58	CH-22	Ⅲa 覆土2層				
図II 113	44	II-58	CH-22	Ⅲa 覆土2層				
図II 113	45	II-263	CH-22	Ⅳa 床				
図II 116	1	II-59	CH-23	Ⅲa 覆土1層				
図II 118	1	II-59	CH-24	Ⅲa 覆土1層	(29.8)	(41.4)	—	復元
図II 118	2	II-59	CH-24	Ⅲa 床、覆土1層				
図II 118	3	II-59	CH-24	Ⅲa 覆土1層	(21.0)	(21.5)	—	復元 ミニチュア L-81,M-81Ⅲ,CH-26 覆土1と接合
図II 118	4	II-60	CH-24	Ⅲa 床	25.0	(32.4)	—	復元
図II 119	5	II-60	CH-24	Ⅲa 床、覆土1層				CH-27 覆土1層、L-79,M-80Ⅲと接合
図II 119	6	II-60	CH-24	Ⅲa 床(HP-3)、覆土1層				
図II 119	7	II-60	CH-24	Ⅲa 床、覆土1層				
図II 119	8	II-60	CH-24	Ⅲa 覆土1層				
図II 119	9	II-60	CH-24	Ⅲa 床、覆土1層				
図II 119	10	II-61	CH-24	Ⅲa 床、覆土1層				
図II 119	11	II-61	CH-24	Ⅲa 床、覆土1層				
図II 120	12	II-61	CH-24	Ⅲa 覆土1層				
図II 120	13	II-61	CH-24	Ⅲa 覆土1層				J-79 Ⅲと接合
図II 120	14	II-61	CH-24	Ⅲa 覆土1層				
図II 120	15	II-61	CH-24	Ⅲa 覆土1層				
図II 129	1	II-62	CH-25	Ⅲa 覆土2層、覆土1層	(22.0)	(26.4)	—	復元 CH-22と接合
図II 129	2	II-62	CH-25	Ⅲa 覆土1・2層	(11.8)	13.7	6.2	復元
図II 129	3	II-62	CH-25	Ⅲa 覆土2層	(24.9)	28.8	9.3	復元
図II 129	4	II-63	CH-25	Ⅲa 覆土2層	(17.2)	22.6	8.4	復元
図II 130	5	II-62	CH-25	Ⅲa 覆土2層				口縁部無し
図II 130	6	II-63	CH-25	Ⅲa 覆土1層				
図II 130	7	II-63	CH-25	Ⅲa 覆土1・2層				N-79Ⅲと接合
図II 130	8	II-64	CH-25	Ⅲa 覆土1・2層				
図II 130	9	II-64	CH-25	Ⅲa 覆土2層				滑石土器
図II 131	10	II-64	CH-25	Ⅲa 床				
図II 131	11	II-64	CH-25	Ⅲa 覆土2層				
図II 131	12	II-63	CH-25	Ⅲa 床				
図II 131	13	II-64	CH-25	Ⅲa 床、覆土1層				
図II 131	14	II-64	CH-25	Ⅲa 床				
図II 131	15	II-64	CH-25	Ⅲa 覆土1層				
図II 131	16	II-64	CH-25	Ⅲa 覆土1・2層				
図II 131	17	II-64	CH-25	Ⅲa 覆土1層				
図II 131	18	II-64	CH-25	Ⅲa 覆土1・2層				
図II 131	19	II-65	CH-25	Ⅲa 覆土2層				
図II 131	20	II-63	CH-25	Ⅲa 床、覆土1層				
図II 131	21	II-65	CH-25	Ⅲa 覆土2層				
図II 131	22	II-65	CH-25	Ⅲa 覆土1層				
図II 132	23	II-65	CH-25	Ⅲa 覆土2層				
図II 132	24	II-65	CH-25	Ⅲa 床				滑石土器
図II 132	25	II-65	CH-25	Ⅲa 覆土2層				
図II 132	26	II-65	CH-25	Ⅲa 覆土1層				
図II 132	27	II-65	CH-25	Ⅲa 覆土2層				
図II 136	1	II-66	CH-26	Ⅲa 床、覆土1・2層	(23.5)	26.1	(9.4)	復元
図II 136	2	II-66	CH-26	Ⅲa 床	17.8	20.4	7.4	復元
図II 136	3	II-66	CH-26	Ⅲa 覆土1層	(16.4)	20.8	7.7	復元
図II 137	4	II-67	CH-26	Ⅲa 床	22.4	(23.2)	—	復元
図II 137	5	II-67	CH-26	Ⅲa 床	19.6	21.3	7.0	復元
図II 138	6	II-68	CH-26	Ⅲa 床				
図II 138	7	II-68	CH-26	Ⅲa 床				
図II 138	8	II-68	CH-26	Ⅲa 床、覆土3層				
図II 138	9	II-68	CH-26	Ⅲa 覆土1・覆土				N-76 P-76Ⅲと接合
図II 138	10	II-67	CH-26	Ⅲa 床				
図II 138	11	II-67	CH-26	Ⅲa 覆土2層				
図II 138	12	II-68	CH-26	Ⅲa 覆土1・覆土				N-76Ⅲと接合
図II 138	13	II-68	CH-26	Ⅲa 床、覆土1層				
図II 139	14	II-68	CH-26	Ⅲa 覆土1層				
図II 139	15	II-69	CH-26	Ⅲa 覆土1層				
図II 139	16	II-69	CH-26	Ⅲa 覆土1層				
図II 142	1	II-70	CH-27	Ⅲa 覆土1層	19.8	24.8	9.2	復元
図II 142	2	II-70	CH-27	Ⅲa 床～覆土1層				※底部～胴部が大平、口縁部がほとんど無し
図II 142	3	II-70	CH-27	Ⅲa 覆土1層				
図II 144	1	II-70	CH-28	Ⅲa 床、覆土1層	(13.0)	13.7	(5.7)	復元
図II 144	2	II-70	CH-28	Ⅲa 床、覆土1層				
図II 144	3	II-70	CH-28	Ⅲa 床				
図II 144	4	II-70	CH-28	Ⅲa 床				

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 147 1	II-71	CH-29	IIIa	床				
図II 147 2	II-71	CH-29	IIIa	床				
図II 147 3	II-71	CH-29	IIIa	床				
図II 147 4	II-71	CH-29	IIIa	床				大木式
図II 147 5	II-71	CH-29	IIIb	床	4.7	6.6	2.6	復元 小型
図II 147 6	II-71	CH-29	IIIa	床				
図II 147 7	II-71	CH-29	IIIa	覆土2層				
図II 147 8	II-71	CH-29	IIIb	床				滑石土器
図II 147 9	II-71	CH-29	IIIb	床				滑石土器
図II 147 10	II-71	CH-29	IIIa	床				
図II 147 11	II-71	CH-29	IIIa	覆土2層				
図II 147 12	II-71	CH-29	IIIb	床				
図II 147 13	II-71	CH-29	IIIb	床				
図II 147 14	II-72	CH-29	IVa	床、覆土1・2層				
図II 147 15	II-71	CH-29	IIIa	覆土2層				
図II 147 16	II-71	CH-29	IIIb	覆土1・2層				
図II 147 17	II-72	CH-29	IIIb	覆土2層				
図II 147 18	II-71	CH-29	IIIb	覆土1・2層				
図II 147 19	II-71	CH-29	IIIb	覆土1・2層				M-71,N-71IIIと接合 IVcか?
図II 148 20	II-72	CH-29	IIIa	覆土1層				滑石土器
図II 148 21	II-72	CH-29	IIIb	覆土1層				
図II 148 22	II-72	CH-29	IIIa	覆土1層				
図II 148 23	II-72	CH-29	IIIb	覆土1層				
図II 148 24	II-72	CH-29	IIIb	覆土1層				CH-44 覆土1層と接合
図II 148 25	II-72	CH-29	IIIa	床				
図II 148 26	II-72	CH-29	IIIa	床				
図II 148 27	II-72	CH-29	IIIa	床				
図II 148 28	II-72	CH-29	IIIb	床、覆土1・2層				
図II 148 29	II-72	CH-29	IIIa	床、覆土1・2層				
図II 148 30	II-72	CH-29	IIIb	覆土1層				
図II 148 31	II-72	CH-29	IVa	覆土1層				
図II 151 1	II-73	CH-30	IIIa	覆土2層	(25.8)	29.6	8.5	復元
図II 151 2	II-73	CH-30	IIIa	覆土2層	27.8	35.9	(10.5)	復元
図II 152 3	II-73	CH-30	IIIa	覆土2層	21.7	22.4	7.6	復元
図II 152 4	II-73	CH-30	IIIa	覆土2層	—	(23.6)	(10.5)	復元 CP-138No.17と同一
図II 152 5	II-74	CH-30	IIIa	床	(21.1)	(16.3)	—	復元
図II 153 6	II-74	CH-30	IIIa	覆土2層	(41.8)	50.1	13.0	復元
図II 154 7	II-74	CH-30	IIIa	床	(27.7)	27.8	8.6	復元
図II 155 8	II-74	CH-30	IIIa	覆土2層	(33.4)	45.0	12.3	復元
図II 156 9	II-75	CH-30	IIIa	床	25.8	30.6	9.2	復元
図II 156 10	II-75	CH-30	IIIa	床	(18.3)	24.8	7.2	復元
図II 156 11	II-75	CH-30	IIIa	床	22.8	22.6	8.8	復元
図II 157 12	II-75	CH-30	IIIa	覆土3層	(23.6)	28.0	7.3	復元
図II 157 13	II-76	CH-30	IIIa	覆土2～床	16.7	19.4	7.0	復元
図II 157 14	II-76	CH-30	IIIa	床	—	(13.9)	(5.0)	復元
図II 158 15	II-76	CH-30	IIIa	覆土1・2層	28.7	(12.6)	—	復元 N-80 III CH-24と接合
図II 158 16	II-76	CH-30	IIIa	床	20.3	(16.7)	—	復元
図II 158 17	II-77	CH-30	IIIa	覆土1・2層	22.5	32.1	(7.7)	復元
図II 158 18	II-77	CH-30	IIIa	覆土1・2層				復元
図II 159 19	II-81	CH-30	IIIa	覆土2層				
図II 159 20	II-77	CH-30	IIIa	覆土2層				※未接合 床からも出土
図II 159 21	II-77	CH-30	IIIa	覆土2層				N-80からも接合
図II 159 22	II-81	CH-30	IIIa	覆土1層				
図II 159 23	II-78	CH-30	IIIa	覆土2層	(20.8)	(22.6)	8.4	復元
図II 159 24	II-78	CH-30	IIIa	覆土1・2層				(残に床覆土1.2あり)
図II 160 25	II-78	CH-30	IIIa	床				
図II 160 26	II-78	CH-30	IIIa	床	(22.0)	24.2	8.0	復元
図II 160 27	II-81	CH-30	IIIa	覆土1・2層				
図II 160 28	II-79	CH-30	IIIa	床				
図II 160 29	II-79	CH-30	IIIa	覆土2層	(22.7)	26.8	9.0	復元
図II 161 30	II-81	CH-30	IIIa	床、覆土1・2層				
図II 161 31	II-81	CH-30	IIIa	床				
図II 161 32	II-79	CH-30	IIIa	床				
図II 161 33	II-79	CH-30	IIIa	床				
図II 161 34	II-81	CH-30	IIIa	床、覆土2層				
図II 162 35	II-82	CH-30	IIIa	床、覆土1・2層				
図II 162 36	II-82	CH-30	IIIa	床、覆土2層				
図II 162 37	II-82	CH-30	IIIa	覆土2層				(残に覆土1層とN-80IIIあり)
図II 162 38	II-81	CH-30	IIIa	床				ミニチュア
図II 162 39	II-80	CH-30	IIIa	床				
図II 162 40	II-82	CH-30	IIIa	床、覆土2層				
図II 163 41	II-83	CH-30	IIIa	覆土1・2層				N-79IIIと接合
図II 163 42	II-83	CH-30	IIIa	覆土2層				
図II 163 43	II-83	CH-30	IIIa	覆土2層				N-80IIIと接合
図II 163 44	II-83	CH-30	IIIa	覆土2層				
図II 163 45	II-83	CH-30	IIIa	覆土2層				
図II 163 46	II-83	CH-30	IIIa	床				
図II 163 47	II-83	CH-30	IIIa	床、覆土2層				

第1分冊（文章編）

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 163	48	II-83	CH-30	IIIa	覆土2層			
図II 164	49	II-80	CH-30	IIIa	覆土1・2層			
図II 164	50	II-84	CH-30	IIIa	覆土2層			
図II 164	51	II-84	CH-30	IIIa	床			(残の1個が覆土1層)
図II 164	52	II-80	CH-30	IIIa	覆土1・2層			
図II 164	53	II-84	CH-30	IIIa	覆土2層			(残にS-79Ⅲ)
図II 164	54	II-80	CH-30	IIIa	覆土2層			CH-40覆土2層とも接合
図II 164	55	II-81	CH-30	IIIa	覆土1層			復元 ミニチュアN-80Ⅲと接合
図II 165	56	II-84	CH-30	IIIa	覆土1・2層			
図II 165	57	II-84	CH-30	IIIa	床			
図II 165	58	II-84	CH-30	IIIa	覆土2層			
図II 165	59	II-84	CH-30	IIIa	床			
図II 170	1	II-84	CH-31	IIIa	床(HP-10)	29.0	39.5	(11.1) 復元
図II 170	2	II-84	CH-31	IIIa	床(HP-10)	20.7	27.4	(9.8) 復元 無文 一括
図II 170	3	II-85	CH-31	IIIa	床(HP-10)	18.5	22.5	(9.1) 復元 HP-10覆土
図II 171	4	II-85	CH-31	IIIa	床(HP-10)	31.0	50.5	14.0 復元
図II 171	5	II-85	CH-31	IIIa	覆土3層			
図II 171	6	II-85	CH-31	IIIa	覆土2層			
図II 172	7	II-86	CH-31	IIIa	覆土3層	35.3	38.2	(10.6) 復元
図II 172	8	II-86	CH-31	IIIa	覆土3層			
図II 172	9	II-100	CH-31	IIIa	覆土3層			
図II 173	10	II-86	CH-31	IIIa	覆土2層	35.3	50.0	16.9 復元 覆土1・3層からも数点接合
図II 173	11	II-100	CH-31	IIIa	覆土3層			
図II 173	12	II-86	CH-31	IIIa	覆土3層	11.6	13.6	5.9 復元 小型
図II 173	13	II-100	CH-31	IIIa	覆土2層			
図II 173	14	II-87	CH-31	IIIb	覆土3層	(9.3)	(8.7)	4.7 復元 小型 無文
図II 173	15	II-100	CH-31	IIIa	覆土2層			
図II 174	16	II-87	CH-31	IIIa	覆土3層	(29.6)	(40.9)	— 復元
図II 174	17	II-100	CH-31	IIIa	覆土2層			
図II 175	18	II-87	CH-31	IIIa	覆土2層	24.8	(31.3)	— 復元 一括
図II 175	19	II-87	CH-31	IIIa	覆土2層	(25.9)	(21.8)	— 復元
図II 176	20	II-88	CH-31	IIIa	覆土2層	(31.2)	54.9	14.5 復元 HP-10からも出土、接合
図II 176	21	II-88	CH-31	IIIa	覆土2層	(14.9)	(19.2)	(5.6) 復元
図II 176	22	II-101	CH-31	IIIa	覆土2層			
図II 177	23	II-101	CH-31	IIIa	覆土2層			滑石土器 Q-76Ⅲ、Q-77 攪乱と接合
図II 177	24	II-88	CH-31	IIIa	覆土3層			半身欠失
図II 177	25	II-88	CH-31	IIIa	覆土1・2層	21.2	23.8	8.7 復元
図II 177	26	II-90	CH-31	IIIa	覆土2層	(31.0)	50.1	14.2 復元
図II 178	27	II-89	CH-31	IIIa	覆土2層	24.8	23.1	7.5 復元
図II 178	28	II-90	CH-31	IIIa	覆土2・3層	18.7	26.7	(6.6) 復元
図II 179	29	II-90	CH-31	IIIa	覆土3層	24.7	29.6	10.0 復元
図II 179	30	II-101	CH-31	IIIa	覆土1層			
図II 179	31	II-90	CH-31	IIIa	覆土2・3層	(19.0)	19.3	9.1 復元HP-10からも出土
図II 179	32	II-91	CH-31	IIIa	覆土2層	(25.4)	(21.7)	— 復元
図II 180	33	II-91	CH-31	IIIa	覆土1層	(22.6)	(23.9)	— 復元
図II 180	34	II-91	CH-31	IIIa	覆土2層	(17.8)	19.5	8.3 復元
図II 181	35	II-101	CH-31	IIIa	覆土1・2層			M73 Ⅲ
図II 181	36	II-102	CH-31	IIIa	覆土1層			
図II 181	37	II-91	CH-31	IIIa	覆土2層	(27.4)	31.3	(9.0) 復元
図II 181	38	II-102	CH-31	IIIa	覆土2層			覆土上、覆土1層、Q-76Ⅲと接合
図II 181	39	II-101	CH-31	IIIa	覆土1・2層			
図II 182	40	II-92	CH-31	IIIa	覆土2層	(26.0)	(35.9)	— 復元
図II 182	41	II-92	CH-31	IIIa	覆土2層	31.5	33.0	11.4 復元
図II 183	42	II-92	CH-31	IIIa	覆土3層	(22.7)	25.9	9.0 復元
図II 183	43	II-92	CH-31	IIIa	覆土2層			
図II 183	44	II-93	CH-31	IIIa	覆土3層	27.0	39.9	10.3 復元
図II 184	45	II-93	CH-31	IIIa	覆土2層	23.5	(30.8)	— 復元
図II 184	46	II-93	CH-31	IIIa	覆土2層	(27.0)	37.5	(12.0) 復元
図II 185	47	II-93	CH-31	IIIa	覆土1層			復元
図II 185	48	II-94	CH-31	IIIa	覆土2層	(26.0)	31.8	(9.5) 復元
図II 186	49	II-94	CH-31	IIIa	覆土1層	29.6	37.9	9.1 復元
図II 186	50	II-102	CH-31	IIIa	覆土1・2層			
図II 187	51	II-94	CH-31	IIIa	覆土2層			復元 本来は4ヶ所の山形突起である
図II 187	52	II-94	CH-31	IIIa	覆土1層	(35.0)	(35.9)	— 復元 底部無し
図II 188	53	II-95	CH-31	IIIa	覆土2層	25.8	(36.2)	— 復元
図II 188	54	II-95	CH-31	IIIa	覆土2層	30.8	33.0	9.0 復元
図II 189	55	II-95	CH-31	IIIa	覆土2層	—	(45.0)	11.6 復元 Q-76・77とも接合
図II 189	56	II-103	CH-31	IIIa	覆土1層			
図II 189	57	II-103	CH-31	IIIa	覆土2層			
図II 189	58	II-102	CH-31	IIIa	覆土1・2層			
図II 190	59	II-102	CH-31	IIIa	覆土2・3層			
図II 190	60	II-103	CH-31	IIIa	覆土2層			
図II 190	61	II-95	CH-31	IIIa	覆土2層	28.8	43.0	10.4 復元
図II 190	62	II-96	CH-31	IIIa	覆土3層			
図II 191	63	II-103	CH-31	IIIa	覆土1・2層			
図II 191	64	II-96	CH-31	IIIa	覆土1・2層			復元
図II 192	65	II-96	CH-31	IIIa	覆土2層	(34.4)	55.2	11.8 復元 覆土1層もあり
図II 193	66	II-96	CH-31	IIIa	覆土2層	(15.6)	18.6	6.6 復元 沈線文 突起部欠損

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 193 67	II-97	CH-31	IIIa	覆土1・2・3層				
図II 193 68	II-97	CH-31	IIIa	覆土1層	(14.2)	15.4	6.0	復元
図II 193 69	II-104	CH-31	IIIa	覆土1層				
図II 193 70	II-103	CH-31	IIIa	覆土2層				
図II 193 71	II-103	CH-31	IIIa	覆土1層				
図II 193 72	II-103	CH-31	IIIa	覆土1層				
図II 194 73	II-104	CH-31	IIIa	覆土1・中位				
図II 194 74	II-97	CH-31	IIIa	覆土1層	21.5	(21.6)	—	復元
図II 194 75	II-105	CH-31	IIIa	覆土1層				
図II 194 76	II-97	CH-31	IIIa	覆土2層	(20.8)	26.0	(7.7)	復元
図II 194 77	II-104	CH-31	IIIa	覆土2・3層				
図II 194 78	II-103	CH-31	IIIa	覆土2層				
図II 194 79	II-103	CH-31	IIIa	覆土1層				
図II 195 80	II-98	CH-31	IIIa	覆土1・2層				復元
図II 195 81	II-104	CH-31	IIIa	覆土1層				
図II 195 82	II-98	CH-31	IIIa	覆土2層	25.6	27.7	8.5	復元
図II 195 83	II-98	CH-31	IIIa	覆土1・2層	(22.1)	24.3	9.2	復元
図II 196 84	II-98	CH-31	IIIa	覆土2層				
図II 196 85	II-104	CH-31	IIIa	覆土2層				
図II 196 86	II-99	CH-31	IIIa	覆土2層				
図II 196 87	II-104	CH-31	IIIa	覆土2層				
図II 196 88	II-105	CH-31	IIIa	覆土2層				Q-76Ⅲと接合
図II 196 89	II-105	CH-31	IIIa	覆土2層				魚骨回転式
図II 196 90	II-105	CH-31	I a?	覆土1層				
図II 196 91	II-99	CH-31	IIIa	覆土2層				
図II 197 92	II-105	CH-31	IIIa	覆土1・2層				
図II 197 93	II-99	CH-31	IIIa	覆土3層				
図II 197 94	II-105	CH-31	IIIa	床(HP-9)				
図II 197 95	II-105	CH-31	IIIa	覆土3層				
図II 198 96	II-99	CH-31	IIIa	覆土1層				
図II 198 97	II-105	CH-31	IIIa	覆土2層				
図II 198 98	II-100	CH-31	IIIa?	覆土				上半部欠失 ※底部のみ
図II 198 99	II-100	CH-31	IIIa	覆土2層				
図II 202 1	II-106	CH-32	IIIb	覆土1層				
図II 202 2	II-106	CH-32	IIIb	覆土1層				
図II 202 3	II-106	CH-32	IIIb	覆土1層				
図II 202 4	II-106	CH-32	IIIb	覆土1層				
図II 202 5	II-107	CH-32	IIIb	覆土1層				
図II 202 6	II-106	CH-32	IIIb	覆土1層				
図II 203 7	II-107	CH-32	IIIb	覆土1層				
図II 203 8	II-107	CH-32	IIIa	覆土1層				滑石土器 P-66Ⅲ 表採20と接合
図II 203 9	II-107	CH-32	IIIb	覆土1層				P-68,N-67Ⅲと接合
図II 205 1	II-108	CH-33	IIIa	覆土1層	(21.2)	(25.7)	—	復元 口縁部突起内面側に「?」字状の沈線文有り
図II 205 2	II-108	CH-33	IIIa	覆土1・2層	(17.6)	16.2	8.2	復元
図II 205 3	II-108	CH-33	IIIa	覆土1層				
図II 205 4	II-109	CH-33	IIIa	覆土1層				
図II 205 5	II-109	CH-33	IIIa	覆土1層				
図II 205 6	II-109	CH-33	IIIa	覆土1・2層				
図II 205 7	II-109	CH-33	IIIa	覆土1・2層				
図II 205 8	II-108	CH-33	IIIa	覆土1層				
図II 208 1	II-109	CH-34	IIIa	覆土2層	(31.9)	60.6	9.8	復元 大安在Bの沈線文あり
図II 209 2	II-109	CH-34	IIIa	覆土2層	(36.0)	46.3	12.0	復元 PO-11
図II 210 3	II-110	CH-34	IIIa	覆土2層	(29.5)	43.2	12.0	復元
図II 211 4	II-110	CH-34	IIIa	覆土2層	31.2	54.0	10.5	復元 一括
図II 212 5	II-110	CH-34	IIIa	覆土2層	16.5	25.7	6.4	復元
図II 212 6	II-110	CH-34	IIIa	床	18.5	23.3	8.3	復元
図II 213 7	II-111	CH-34	IIIa	覆土2層	(20.1)	(29.0)	7.8	復元
図II 213 8	II-111	CH-34	IIIa	覆土2層				
図II 213 9	II-111	CH-34	IIIa	覆土2層	8.5	9.8	5.0	復元
図II 213 10	II-111	CH-34	IIIa	覆土2層	(20.5)	27.6	(7.4)	復元
図II 213 11	II-112	CH-34	IIIa	覆土2層	(16.8)	(22.4)	—	復元
図II 214 12	II-114	CH-34	IIIa	覆土2層				
図II 214 13	II-114	CH-34	IIIa	床				
図II 214 14	II-114	CH-34	IIIa	覆土2層				
図II 214 15	II-114	CH-34	IIIa	床				
図II 214 16	II-114	CH-34	IIIa	覆土2層				
図II 214 17	II-114	CH-34	IIIa	床				
図II 214 18	II-114	CH-34	IIIa	覆土2層				
図II 214 19	II-114	CH-34	IIIa	覆土1層				
図II 214 20	II-114	CH-34	IIIa	覆土2層				
図II 214 21	II-114	CH-34	IIIa	覆土1層				
図II 214 22	II-114	CH-34	IIIa	覆土2層				
図II 214 23	II-115	CH-34	IIIa	覆土2・3層				
図II 214 24	II-115	CH-34	IIIa	覆土2層				
図II 214 25	II-115	CH-34	IIIa	床、覆土2層				滑石土器
図II 214 26	II-115	CH-34	IIIa	覆土2層				
図II 215 27	II-115	CH-34	IIIa	覆土2・4層				CH-26 覆土、K-74Ⅲと接合(残にCH-41など)
図II 215 28	II-115	CH-34	IIIa	覆土2層				

第1分冊（文章編）

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図Ⅱ 215 29	Ⅱ-115	CH-34	Ⅲa	床、覆土1層				滑石土器 CH52 覆土中、N-74、O-75、P-75Ⅲと接合
図Ⅱ 215 30	Ⅱ-115	CH-34	Ⅲa	覆土2層				
図Ⅱ 215 31	Ⅱ-115	CH-34	Ⅲa	覆土2層				
図Ⅱ 215 32	Ⅱ-115	CH-34	Ⅲa	覆土1・2層				大木式
図Ⅱ 215 33	Ⅱ-115	CH-34	Ⅲa	覆土1・2層				大木式
図Ⅱ 215 34	Ⅱ-29	CH-15	Ⅲa	覆土1層				CH-34 覆2・3 N-69 Ⅲと接合(残にCH-16 覆1 O-72P-71Ⅲ)
図Ⅱ 215 35	Ⅱ-112	CH-34	Ⅲa	覆土1・2層				
図Ⅱ 215 36	Ⅱ-112	CH-34	Ⅲa	覆土2層				突起無し 見晴町式かもしれない
図Ⅱ 216 37	Ⅱ-112	CH-34	Ⅲa	覆土2層				
図Ⅱ 216 38	Ⅱ-113	CH-34	Ⅲa	覆土2層				
図Ⅱ 216 39	Ⅱ-116	CH-34	Ⅲa	覆土2層				
図Ⅱ 216 40	Ⅱ-116	CH-34	Ⅲa	覆土1層				
図Ⅱ 216 41	Ⅱ-113	CH-34	Ⅲa	覆土2層				
図Ⅱ 216 42	Ⅱ-116	CH-34	Ⅲa	覆土2層				
図Ⅱ 216 43	Ⅱ-116	CH-34	Ⅲa	覆土1層				
図Ⅱ 216 44	Ⅱ-116	CH-34	Ⅲa	覆土2層				
図Ⅱ 217 45	Ⅱ-113	CH-34	Ⅲa	覆土2層				
図Ⅱ 217 46	Ⅱ-116	CH-34	Ⅲa	覆土1・2層				
図Ⅱ 218 47	Ⅱ-113	CH-34	Ⅲa	覆土1・2層				
図Ⅱ 218 48	Ⅱ-116	CH-34	Ⅲa	覆土1・2層				
図Ⅱ 218 49	Ⅱ-116	CH-34	Ⅲa	床				
図Ⅱ 218 50	Ⅱ-116	CH-34	Ⅲa	床				
図Ⅱ 218 51	Ⅱ-116	CH-34	Ⅲa	床				
図Ⅱ 218 52	Ⅱ-116	CH-34	Ⅲa	床				
図Ⅱ 218 53	Ⅱ-116	CH-34	Ⅲa	覆土2層				
図Ⅱ 218 54	Ⅱ-116	CH-34	Ⅲa	覆土2層				
図Ⅱ 218 55	Ⅱ-114	CH-34	Ⅲa	覆土1・2・4層				
図Ⅱ 218 56	Ⅱ-116	CH-34	I a	覆土1層				
図Ⅱ 218 57	Ⅱ-116	CH-34	Ⅲa	覆土2層				
図Ⅱ 221 1	Ⅱ-117	CH-35	Ⅲa	床				
図Ⅱ 221 2	Ⅱ-117	CH-35	Ⅲa	床、覆土1層				
図Ⅱ 222 1	Ⅱ-117	CH-36	Ⅲb	床				
図Ⅱ 222 2	Ⅱ-117	CH-36	Ⅲb	覆土1層				
図Ⅱ 223 1	Ⅱ-117	CH-37	Ⅲa	覆土1層	24.0	31.2	8.4	復元
図Ⅱ 223 2	Ⅱ-117	CH-37	Ⅲa	床				
図Ⅱ 224 1	Ⅱ-117	CH-38	Ⅲa	覆土2層				
図Ⅱ 224 2	Ⅱ-117	CH-38	Ⅲa	覆土2・3層				
図Ⅱ 227 1	Ⅱ-118	CH-39	Ⅲa	床	35.0	68.6	17.8	復元 長大
図Ⅱ 228 2	Ⅱ-119	CH-39	Ⅲa	床	26.0	32.1	12.0	復元 覆土1層のものとも接合している
図Ⅱ 228 3	Ⅱ-119	CH-39	Ⅲa	覆土1層	(25.8)	(38.5)	(10.5)	復元 N-72、M-82Ⅲと接合
図Ⅱ 229 4	Ⅱ-119	CH-39	Ⅲa	床	24.4	31.3	10.0	復元
図Ⅱ 229 5	Ⅱ-119	CH-39	Ⅲa	床	(17.2)	23.3	(7.6)	復元
図Ⅱ 230 6	Ⅱ-120	CH-39	Ⅲa	床				
図Ⅱ 230 7	Ⅱ-120	CH-39	Ⅲa	床				
図Ⅱ 230 8	Ⅱ-120	CH-39	Ⅲa	覆土1・2層				
図Ⅱ 230 9	Ⅱ-120	CH-39	Ⅲa	覆土1層				
図Ⅱ 230 10	Ⅱ-120	CH-39	Ⅲa	覆土1層				
図Ⅱ 230 11	Ⅱ-120	CH-39	Ⅲa	覆土2層				
図Ⅱ 230 12	Ⅱ-120	CH-39	Ⅲa	覆土1層				
図Ⅱ 230 13	Ⅱ-120	CH-39	Ⅲa	覆土1層				
図Ⅱ 230 14	Ⅱ-120	CH-39	Ⅲa	床、覆土1・2層				CH-41 覆土1層、N-82Ⅲと接合
図Ⅱ 230 15	Ⅱ-120	CH-39	Ⅲa	床・覆土1層				ミニチュア CH-41 覆1と接合
図Ⅱ 230 16	Ⅱ-120	CH-39	Ⅲa	床、覆土1層				
図Ⅱ 230 17	Ⅱ-120	CH-39	Ⅲa	覆土1層				
図Ⅱ 230 18	Ⅱ-121	CH-39	Ⅲa	床、覆土1層				
図Ⅱ 230 19	Ⅱ-120	CH-39	Ⅲa	床				
図Ⅱ 231 20	Ⅱ-121	CH-39	Ⅲa	覆土1層				
図Ⅱ 231 21	Ⅱ-121	CH-39	Ⅲa	床				
図Ⅱ 231 22	Ⅱ-121	CH-39	Ⅲa	床				
図Ⅱ 231 23	Ⅱ-121	CH-39	Ⅲa	覆土1層				
図Ⅱ 234 1	Ⅱ-121	CH-40	Ⅲa	床、覆土1・2層				
図Ⅱ 234 2	Ⅱ-121	CH-40	Ⅲa	床				
図Ⅱ 234 3	Ⅱ-121	CH-40	Ⅲa	床				
図Ⅱ 234 4	Ⅱ-121	CH-40	Ⅲa	床				
図Ⅱ 234 5	Ⅱ-121	CH-40	Ⅲa	床、覆土3・4層				CH-41 覆土3層と接合
図Ⅱ 234 6	Ⅱ-121	CH-40	Ⅲa	覆土2層				
図Ⅱ 234 7	Ⅱ-121	CH-40	Ⅲa	床				
図Ⅱ 234 8	Ⅱ-121	CH-40	Ⅲa	床、覆土2層				
図Ⅱ 234 9	Ⅱ-121	CH-40	I a	覆土2層				
図Ⅱ 236 1	Ⅱ-122	CH-41	Ⅲa	床				
図Ⅱ 236 2	Ⅱ-122	CH-41	Ⅲa	覆土3層				
図Ⅱ 236 3	Ⅱ-122	CH-41	Ⅲa	覆土3・4層				
図Ⅱ 236 4	Ⅱ-122	CH-41	Ⅲa	覆土4層				
図Ⅱ 236 5	Ⅱ-122	CH-41	Ⅲa	覆土3・4層				
図Ⅱ 236 6	Ⅱ-122	CH-41	Ⅲa	覆土1・2層				
図Ⅱ 236 7	Ⅱ-122	CH-41	Ⅲa	覆土4層				
図Ⅱ 236 8	Ⅱ-122	CH-41	Ⅲa	覆土3層				
図Ⅱ 236 9	Ⅱ-122	CH-41	Ⅲa	覆土3層				

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 237 10	II-122	CH-41	IIIa	覆土1・2層				
図II 237 11	II-122	CH-41	IIIa	覆土2層				
図II 237 12	II-122	CH-41	IIIa	覆土3層				
図II 237 13	II-123	CH-41	IIIa	覆土3層				
図II 237 14	II-123	CH-41	IIIa	覆土3・4層				
図II 237 15	II-123	CH-41	IIIa	覆土3層				
図II 237 16	II-123	CH-41	IIIa	覆土1層				
図II 237 17	II-123	CH-41	IIIa	床				
図II 237 18	II-123	CH-41	IIIa	覆土4層				
図II 237 19	II-123	CH-41	IIIa	覆土3層				
図II 237 20	II-123	CH-41	IIIa	覆土3層				
図II 239 1	II-123	CH-43	IIIb	覆土3層	(21.0)	31.7	(7.8)	復元
図II 239 2	II-123	CH-43	IIIa	床、覆土1・2層				CP-133 覆土1層と接合
図II 239 3	II-123	CH-43	IIIa	床				
図II 239 4	II-123	CH-43	IIIb	覆土1層				大木式
図II 239 5	II-123	CH-43	IIIa	床				
図II 240 1	II-124	CH-44	IIIa	床、覆土1層				
図II 240 2	II-124	CH-44	IIIb	床				
図II 240 3	II-124	CH-44	IIIb	床				
図II 240 4	II-124	CH-44	IVa	覆土1層				O-72IIIと接合
図II 240 9	II-124	CH-45	IIIb	床				
図II 240 10	II-124	CH-45	IIIb	床				
図II 240 11	II-124	CH-45	IIIa	床				
図II 240 12	II-124	CH-45	IIIb	床				
図II 240 13	II-124	CH-45	IIIb	床				
図II 240 14	II-124	CH-45	IIIb	床				
図II 241 1	II-124	CH-46	IIIb	床				
図II 241 2	II-124	CH-46	IIIa	覆土3層				
図II 241 3	II-124	CH-46	IIIa	覆土3層				
図II 241 4	II-124	CH-46	IIIb	覆土3層				
図II 241 5	II-124	CH-46	IIIa	覆土3層				
図II 241 6	II-124	CH-46	IIIa	床、覆土1層				
図II 243 1	II-125	CH-47	IIIa	床	(28.2)	42.5	(9.0)	復元
図II 244 2	II-125	CH-47	IIIa	床	(23.3)	37.7	7.1	復元
図II 245 3	II-125	CH-47	IIIa	覆土2層	30.4	(35.0)	—	復元
図II 246 4	II-126	CH-47	IIIa	覆土1層	(18.1)	22.6	(8.2)	復元
図II 246 5	II-126	CH-47	IIIa	覆土2・3層	(14.2)	19.5	7.9	復元 CH-50覆土1層からも出土している
図II 247 6	II-126	CH-47	IIIa	床	(30.2)	43.5	11.5	復元
図II 247 7	II-126	CH-47	IIIa	床	(25.5)	(21.2)	—	復元 CH-50からも出土
図II 247 8	II-127	CH-47	IIIa	覆土1・2・3層	(23.6)	(32.5)	9.5	復元 CH-50 No.23と同一の可能性あり
図II 248 9	II-128	CH-47	IIIa	床				
図II 248 10	II-128	CH-47	IIIa	床				
図II 248 11	II-128	CH-47	IIIa	床				
図II 248 12	II-127	CH-47	IIIa	床				
図II 248 13	II-128	CH-47	IIIa	床				
図II 248 14	II-128	CH-47	IIIa	床				
図II 248 15	II-128	CH-47	IIIa	床				
図II 248 16	II-128	CH-47	IIIa	床				
図II 248 17	II-128	CH-47	IIIa	床				
図II 248 18	II-128	CH-47	IIIa	床				
図II 248 19	II-128	CH-47	IIIa	床				
図II 248 20	II-128	CH-47	IIIa	床				
図II 248 21	II-128	CH-47	IIIa	床				
図II 249 22	II-127	CH-47	IIIa	床				CH-50-10と接合
図II 249 23	II-128	CH-47	IIIa	床、覆土1・2層				
図II 249 24	II-128	CH-47	IIIa	覆土1層				滑石土器
図II 249 25	II-128	CH-47	IIIa	覆土1層				
図II 249 26	II-128	CH-47	IIIa	覆土3層				滑石土器
図II 249 27	II-128	CH-47	IIIa	覆土3層				滑石土器
図II 249 28	II-129	CH-47	IIIa	床、覆土1層				
図II 249 29	II-129	CH-47	IIIa	覆土1層				
図II 250 30	II-127	CH-47	IIIa	覆土2・3層				
図II 250 31	II-129	CH-47	IIIa	覆土1・2・中層				
図II 250 32	II-129	CH-47	IIIa	床				
図II 250 33	II-129	CH-47	IIIa	覆土2・3層				
図II 250 34	II-129	CH-47	IIIa	覆土2・3層				
図II 250 35	II-129	CH-47	IIIa	覆土1層				
図II 251 36	II-129	CH-47	IIIa	床				
図II 251 37	II-129	CH-47	IIIa	床				
図II 251 38	II-129	CH-47	IIIa	床、覆土2層				
図II 251 39	II-129	CH-47	IIIa	覆土1層				
図II 251 40	II-129	CH-47	IIIa	床、覆土1層				
図II 253 1	II-130	CH-48	IIIa	床	(24.9)	(26.8)	—	復元
図II 253 2	II-130	CH-48	IIIa	床				CH-47 覆土2層と接合
図II 253 3	II-130	CH-48	IIIa	床				滑石土器
図II 253 4	II-130	CH-48	IIIb	床				
図II 253 5	II-130	CH-48	IIIa	床				
図II 253 6	II-130	CH-48	IIIa	覆土2層				

第1分冊（文章編）

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 253	7	II-130	CH-48	IIIb	床			滑石土器
図II 253	8	II-130	CH-48	IIIa	覆土3層			
図II 253	9	II-130	CH-48	IIIa	床			
図II 255	1	II-131	CH-49	IIIa	覆土1層	22.8	24.2	(7.5) 復元
図II 255	2	II-131	CH-49	IIIa	床	21.2	22.8	9.8 復元
図II 256	3	II-131	CH-49	IIIa	覆土1層	26.0	32.8	8.7 復元
図II 256	4	II-131	CH-49	IIIa	覆土1層	23.3	(27.2)	— 復元
図II 257	5	II-132	CH-49	IIIa	覆土1層			
図II 257	6	II-132	CH-49	IIIa	覆土1層			
図II 257	7	II-132	CH-49	IIIa	床、覆土1層			
図II 257	8	II-132	CH-49	IIIa	床			
図II 257	9	II-132	CH-49	IIIa	覆土1層			
図II 257	10	II-132	CH-49	IIIa	覆土1層			Cp-155 No.1と同一？
図II 257	11	II-132	CH-49	IIIa	床			
図II 257	12	II-132	CH-49	IIIa	床			
図II 257	13	II-132	CH-49	IIIa	覆土1層			
図II 257	14	II-132	CH-49	IIIa	覆土1層			
図II 258	15	II-132	CH-49	IIIa	床			
図II 258	16	II-132	CH-49	IIIb	覆土1層			
図II 262	1	II-133	CH-50	IIIa	床、覆土1・2・中・下層			
図II 262	2	II-135	CH-50	IIIa	覆土1・2層			
図II 262	3	II-135	CH-50	IIIa	覆土1層			
図II 262	4	II-135	CH-50	IIIa	覆土1・2層			(残は床)
図II 262	5	II-135	CH-50	IIIa	床			
図II 262	6	II-135	CH-50	IIIa	床			(残は覆土1層)
図II 262	7	II-135	CH-50	IIIa	覆土1層			
図II 262	8	II-135	CH-50	IIIa	床(HP-2)			
図II 262	9	II-133	CH-50	IIIa	覆土2層	24.2	35.0	9.6 復元
図II 263	10	II-133	CH-50	IIIa	床			CH-47-22と接合
図II 263	11	II-133	CH-50	IIIa	床・覆土2・3層			
図II 264	12	II-135	CH-50	IIIa	床、覆土1層			
図II 264	13	II-136	CH-50	IIIa	床			
図II 264	14	II-136	CH-50	IIIa	床、覆土1層			
図II 264	15	II-136	CH-50	IIIa	床			
図II 264	16	II-134	CH-50	IIIa	覆土1層	11.0	11.2	5.5 復元 小型 取上げNo.2951
図II 264	17	II-134	CH-50	IIIa	床、覆土1・2層	(16.5)	18.6	8.0 復元
図II 264	18	II-136	CH-50	IIIa	床			R-73 IIIと接合
図II 264	19	II-136	CH-50	IIIa	覆土1層			(残にCH-47床)
図II 264	20	II-134	CH-50	IIIa	床			
図II 264	21	II-136	CH-50	IIIa	床			
図II 264	22	II-136	CH-50	IIIa	覆土1層			
図II 264	23	II-136	CH-50	IIIa	床、覆土1層			CH47 No.8と同一の可能性あり
図II 265	24	II-135	CH-50	IIIa	床			
図II 265	25	II-136	CH-50	IIIa	覆土1層			
図II 265	26	II-136	CH-50	IIIa	床(HP-2)			
図II 265	27	II-136	CH-50	IIIa	床(HP-15)			
図II 265	28	II-134	CH-50	IIIa	床			
図II 265	29	II-136	CH-50	IIIa	床			
図II 265	30	II-136	CH-50	IIIa	床			
図II 265	31	II-136	CH-50	IIIa	床、覆土1層			
図II 265	32	II-136	CH-50	IIIa	覆土1層			
図II 265	33	II-136	CH-50	IIIa	覆土1層			滑石土器
図II 265	34	II-136	CH-50	I a	覆土1層			
図II 265	35	II-136	CH-50	I a	覆土1層			日計式
図II 270	1	II-137	CH-51	IIIa	覆土上位	19.7	25.9	(8.5) 復元
図II 270	2	II-137	CH-51	IIIa	覆土中位	(23.8)	33.4	(9.8) 復元 滑石入り
図II 271	3	II-137	CH-51	IIIa	覆土中位	26.3	40.7	11.5 復元
図II 271	4	II-137	CH-51	IIIa	覆土中位	17.7	(21.8)	(7.5) 復元
図II 271	5	II-138	CH-51	IIIa	覆土上・中層			
図II 272	6	II-138	CH-51	IIIa	床	23.0	30.0	11.0 復元
図II 272	7	II-138	CH-51	IIIa	覆土中位			
図II 273	8	II-138	CH-51	IIIa	覆土中位	23.2	(17.4)	— 復元
図II 273	9	II-139	CH-51	IIIa	覆土中層			
図II 274	10	II-139	CH-51	IIIa	覆土中位			取手付宛(クン)？
図II 274	11	II-139	CH-51	IIIa	覆土中位			
図II 275	12	II-139	CH-51	IIIa	覆土中位	29.0	(21.6)	— 復元
図II 276	13	II-140	CH-51	IIIa	覆土中位	19.7	24.7	(9.6) 復元
図II 276	14	II-140	CH-51	IIIa	覆土中層	(22.1)	(24.1)	(8.1) 復元
図II 276	15	II-140	CH-51	IIIa	覆土上・覆土中	15.6	(12.5)	— 復元
図II 277	16	II-140	CH-51	IIIa	覆土上位	27.0	35.0	10.7 復元
図II 277	17	II-141	CH-51	IIIa	床	(16.5)	21.0	7.5 復元
図II 277	18	II-141	CH-51	IIIa	床	(11.4)	12.9	5.1 復元
図II 278	19	II-141	CH-51	IIIa	覆土上位	(22.7)	23.0	8.7 復元
図II 278	20	II-141	CH-51	IIIa	覆土中位	(21.8)	28.6	8.3 復元
図II 278	21	II-142	CH-51	IIIa	覆土中位	(25.3)	(19.7)	— 復元
図II 279	22	II-142	CH-51	IIIb	覆土中位	(25.3)	(33.9)	— 復元
図II 279	23	II-142	CH-51	IIIa	床	(11.4)	9.1	3.7 復元
図II 279	24	II-142	CH-51	IIIa	覆土上	(11.0)	8.5	5.8 復元

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 279 25	II-143	CH-51	IIIa	覆土中層	(25.0)	(23.7)	—	復元
図II 279 26	II-143	CH-51	IIIa	覆土中位	(22.5)	33.4	(10.0)	復元
図II 280 27	II-145	CH-51	IIIa	覆土上・覆土層				S-76,S-75Ⅲと接合
図II 280 28	II-145	CH-51	IIIa	覆土上層・覆土層				S-76Ⅲと接合
図II 280 29	II-145	CH-51	IIIa	覆土中・覆土層				CH-51 覆土層、CH-52 覆土中層と接合
図II 280 30	II-145	CH-51	IIIa	覆土層				(残にS-75Ⅲ、S-74Ⅲ、T-75Ⅲ)
図II 280 31	II-145	CH-51	IIIa	覆土上・中層・覆土層				
図II 280 32	II-146	CH-51	IIIa	覆土中層				
図II 280 33	II-145	CH-51	IIIa	覆土層				
図II 281 34	II-146	CH-51	IIIa	覆土上・2層				滑石土器
図II 281 35	II-146	CH-51	IIIa	床、覆土1層				CH-56 覆中 No.34と同一? (残にCH-51覆上・中・土)
図II 281 36	II-146	CH-51	IIIa	覆土中層				
図II 281 37	II-146	CH-51	IIIa	覆土中層				CH-30 覆土2、CH-31 覆土3、N-71Ⅲと接合
図II 281 38	II-147	CH-51	IIIa	覆土中層				
図II 282 39	II-143	CH-51	IIIa	覆土中				
図II 282 40	II-147	CH-51	IIIa	覆土中層				
図II 283 41	II-143	CH-51	IIIa	覆土中層				
図II 283 42	II-145	CH-51	IIIa	覆土上層				
図II 284 43	II-144	CH-51	IIIa	覆土中位				
図II 284 44	II-147	CH-51	IIIa	覆土中層				
図II 284 45	II-148	CH-51	IIIa	覆土上・中層				
図II 284 46	II-148	CH-51	IIIa	覆土中層				復元したものと同一?
図II 284 47	II-148	CH-51	IIIa	床				
図II 284 48	II-144	CH-51	IIIa	覆土中				胴上半部なし
図II 284 49	II-148	CH-51	IIIa	覆土中層・覆土層				CH-52 覆土中層と接合
図II 285 50	II-148	CH-51	IIIa	覆土上・中層				
図II 285 51	II-148	CH-51	IIIa	床、覆土上層				
図II 285 52	II-149	CH-51	IIIa	床、覆土中層				
図II 285 53	II-148	CH-51	IIIa	覆土上・中層				
図II 285 54	II-148	CH-51	IIIa	覆土中層				
図II 285 55	II-149	CH-51	IIIa	覆土中層				
図II 286 56	II-149	CH-51	IIIa	覆土中層				
図II 286 57	II-149	CH-51	IIIa	覆土上・中層				
図II 286 58	II-149	CH-51	IIIa	覆土中層				
図II 286 59	II-149	CH-51	IIIa	覆土上層				(残に床)
図II 286 60	II-150	CH-51	IIIa	覆土中層				
図II 286 61	II-144	CH-51	IIIa	覆土中層				
図II 286 62	II-144	CH-51	IIIa	覆土中位				
図II 286 63	II-150	CH-51	IIIa	覆土1層				
図II 286 64	II-150	CH-51	IIIa	床、覆土中層				
図II 286 65	II-150	CH-51	IIIa	覆土1層				大木式
図II 286 66	II-150	CH-51	IIIa	覆土中層				ミニチュア
図II 286 67	II-150	CH-51	IIIa	覆土中層				魚骨回転式
図II 286 68	II-150	CH-51	IIIa	覆土中層				
図II 286 69	II-150	CH-51	IIIa	覆土中層				
図II 286 70	II-150	CH-51	IIIa	覆土層				
図II 286 71	II-150	CH-51	IIIa	床、覆土層				
図II 289 1	II-163	CH-56	IIIa	覆土中位	26.8	35.5	(11.4)	復元
図II 289 2	II-163	CH-56	IIIa	床(HP-1)、覆土上1・中層	(24.0)	(30.3)	9.0	復元
図II 289 3	II-164	CH-56	IIIa	覆土中位	(24.3)	(14.2)	—	復元 下半部無し
図II 290 4	II-164	CH-56	IIIa	床	20.7	27.0	9.0	復元
図II 290 5	II-164	CH-56	IIIa	覆土中位	(18.4)	(14.4)	—	復元
図II 290 6	II-164	CH-56	IIIa	床覆土中位	(22.2)	(24.5)	—	復元
図II 290 7	II-166	CH-56	IIIa	床(HP-1)、覆土中層	22.0	(19.8)	—	復元P-68Ⅲと接合
図II 291 8	II-165	CH-56	IIIa	床	36.8	45.8	13.5	復元
図II 292 9	II-166	CH-56	IIIa	床	(26.4)	(28.3)	—	復元
図II 292 10	II-166	CH-56	IIIa	床、覆土1層				
図II 293 11	II-166	CH-56	IIIa	床、覆土中層	(20.8)	22.6	(7.8)	復元
図II 293 12	II-167	CH-56	IIIa	床				
図II 293 13	II-167	CH-56	IIIa	床				
図II 294 14	II-167	CH-56	IIIa	床				
図II 294 15	II-167	CH-56	IIIa	床(HP-1)				
図II 294 16	II-167	CH-56	IIIa	床				HP-1もあり
図II 294 17	II-167	CH-56	IIIa	床				
図II 294 18	II-167	CH-56	IIIa	床(HP-1)				
図II 294 19	II-167	CH-56	IIIa	床(HP-1)、覆土上1・中層				
図II 294 20	II-167	CH-56	IIIa	床(HP-1)				
図II 294 21	II-167	CH-56	IIIa	床				
図II 294 22	II-168	CH-56	IIIa	床				
図II 294 23	II-168	CH-56	IIIa	床				
図II 294 24	II-168	CH-56	IIIa	床				
図II 294 25	II-168	CH-56	IIIa	床、覆土中層				
図II 294 26	II-168	CH-56	IIIa	床				
図II 294 27	II-168	CH-56	IIIa	覆土中層				滑石土器
図II 294 28	II-168	CH-56	IIIa	覆土中層				
図II 294 29	II-168	CH-56	IIIa	覆土中層				
図II 294 30	II-168	CH-56	IIIa	覆土中層				
図II 295 31	II-168	CH-56	IIIa	覆土中層				

第1分冊（文章編）

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図Ⅱ 295 32	Ⅱ-168	CH-56	Ⅲa	床、覆土1層				HP-1もあり
図Ⅱ 295 33	Ⅱ-168	CH-56	Ⅲa	床、覆土中層				
図Ⅱ 295 34	Ⅱ-168	CH-56	Ⅲa	覆土中層				CH-51 No.35と同一？
図Ⅱ 295 35	Ⅱ-168	CH-56	Ⅲa	覆土中層				
図Ⅱ 295 36	Ⅱ-168	CH-56	Ⅲa	床				
図Ⅱ 295 37	Ⅱ-168	CH-56	Ⅲa	床(HP-1)				
図Ⅱ 299 1	Ⅱ-150	CH-52	Ⅲb	床	23.3	30.9	7.8	復元
図Ⅱ 299 2	Ⅱ-150	CH-52	Ⅲb	床	19.1	21.8	6.5	復元
図Ⅱ 300 3	Ⅱ-151	CH-52	Ⅲb	床？	13.7	21.6	7.4	復元
図Ⅱ 301 4	Ⅱ-152	CH-52	Ⅲa	床	21.7	30.2	8.2	復元 Q-76からも出土
図Ⅱ 301 5	Ⅱ-152	CH-52	Ⅲb	床	18.7	27.8	7.5	復元 PO-10一括土器
図Ⅱ 301 6	Ⅱ-152	CH-52	Ⅲb	床	(19.0)	23.7	6.8	復元 PO-1一括土器
図Ⅱ 302 7	Ⅱ-152	CH-52	Ⅲa	床	(29.0)	49.8	10.7	復元
図Ⅱ 302 8	Ⅱ-153	CH-52	Ⅲa	床	(9.1)	(10.3)	4.5	復元
図Ⅱ 302 9	Ⅱ-153	CH-52	Ⅲa	床	9.8	12.3	5.2	復元
図Ⅱ 302 10	Ⅱ-153	CH-52	Ⅲb	床	(23.6)	(30.7)	8.2	復元
図Ⅱ 303 11	Ⅱ-154	CH-52	Ⅲa	床	30.2	41.6	10.0	復元
図Ⅱ 303 12	Ⅱ-153	CH-52	Ⅲa	床				
図Ⅱ 303 13	Ⅱ-155	CH-52	Ⅲa	覆土層	(17.2)	(20.8)	(6.0)	復元
図Ⅱ 303 14	Ⅱ-155	CH-52	Ⅲa	床	(18.2)	(17.8)	—	復元 CH-51覆土1層からも接合
図Ⅱ 304 15	Ⅱ-155	CH-52	Ⅲa	床、覆土中層				R-74 Ⅲと接合
図Ⅱ 304 16	Ⅱ-155	CH-52	Ⅲa	覆土中層				S-75 Ⅲと接合
図Ⅱ 304 17	Ⅱ-155	CH-52	Ⅲa	床、覆土中層				
図Ⅱ 304 18	Ⅱ-155	CH-52	Ⅲa	覆土中層				
図Ⅱ 304 19	Ⅱ-156	CH-52	Ⅲa	覆土上・中・2層				
図Ⅱ 304 20	Ⅱ-156	CH-52	Ⅲa	覆土上層				
図Ⅱ 304 21	Ⅱ-156	CH-52	Ⅲa	覆土中層				(残に覆土上)
図Ⅱ 304 22	Ⅱ-156	CH-52	Ⅲa	覆土中層				
図Ⅱ 304 23	Ⅱ-156	CH-52	Ⅲa	覆土上・中層				
図Ⅱ 304 24	Ⅱ-156	CH-52	Ⅲa	覆土中層				滑石土器
図Ⅱ 304 25	Ⅱ-156	CH-52	Ⅲa	覆土上・中層				大木式 S-75 Ⅲと接合
図Ⅱ 305 26	Ⅱ-156	CH-52	Ⅲa	床				滑石土器
図Ⅱ 305 27	Ⅱ-155	CH-52	Ⅲa	覆土上・中層				
図Ⅱ 305 28	Ⅱ-156	CH-52	Ⅲa	覆土中層				
図Ⅱ 305 29	Ⅱ-156	CH-52	Ⅲa	覆土中層				
図Ⅱ 310 1	Ⅱ-157	CH-53	Ⅲa	覆土2層	28.3	52.6	15.3	復元
図Ⅱ 310 2	Ⅱ-157	CH-53	Ⅲa	覆土2層				
図Ⅱ 311 3	Ⅱ-157	CH-53	Ⅲa	覆土2層覆土2層	(19.4)	29.7	8.7	復元 CH-58・CP188とも接合
図Ⅱ 311 4	Ⅱ-157	CH-53	Ⅲa	覆土1・2層	(22.8)	(17.5)	—	復元 R-71,Q-71Ⅲと接合
図Ⅱ 311 5	Ⅱ-158	CH-53	Ⅲa	覆土1・2層	(19.2)	(13.4)	—	復元
図Ⅱ 311 6	Ⅱ-158	CH-53	Ⅲa	覆土2層	(26.2)	32.7	11.2	復元
図Ⅱ 311 7	Ⅱ-158	CH-53	Ⅲa	床				ミニチュア
図Ⅱ 312 8	Ⅱ-158	CH-53	Ⅲa	覆土2層	25.4	45.7	12.8	復元
図Ⅱ 312 9	Ⅱ-159	CH-53	Ⅲa	覆土2層	(17.4)	(19.8)	—	復元
図Ⅱ 312 10	Ⅱ-159	CH-53	Ⅲa	覆土1・2・中層	(24.4)	(24.6)	—	復元
図Ⅱ 312 11	Ⅱ-158	CH-53	Ⅲa	床				
図Ⅱ 313 12	Ⅱ-159	CH-53	Ⅲa	覆土1層				
図Ⅱ 313 13	Ⅱ-160	CH-53	Ⅲa	覆土2層				
図Ⅱ 313 14	Ⅱ-160	CH-53	Ⅲa	覆土1・2層				
図Ⅱ 313 15	Ⅱ-159	CH-53	Ⅲa	覆土1層				
図Ⅱ 314 16	Ⅱ-160	CH-53	Ⅲa	覆土1・2層				
図Ⅱ 314 17	Ⅱ-161	CH-53	Ⅲa	覆土1・2層				
図Ⅱ 314 18	Ⅱ-160	CH-53	Ⅲa	覆土2層				T-70 Ⅲ
図Ⅱ 314 19	Ⅱ-161	CH-53	Ⅲa	覆土2層				S-71 Ⅲ
図Ⅱ 315 20	Ⅱ-161	CH-53	Ⅲa	覆土2層				
図Ⅱ 315 21	Ⅱ-161	CH-53	Ⅲa	覆土2層				
図Ⅱ 315 22	Ⅱ-161	CH-53	Ⅲa	覆土2層				
図Ⅱ 315 23	Ⅱ-161	CH-53	Ⅲa	覆土1層				
図Ⅱ 315 24	Ⅱ-161	CH-53	Ⅲa	覆土2層				R-71 Ⅲ
図Ⅱ 315 25	Ⅱ-161	CH-53	Ⅲa	覆土2層				
図Ⅱ 317 1	Ⅱ-162	CH-54	Ⅲa	床	22.0	(23.7)	—	復元
図Ⅱ 317 2	Ⅱ-162	CH-54	Ⅲa	床、覆土1層	(11.0)	11.3	5.7	復元
図Ⅱ 317 3	Ⅱ-163	CH-54	Ⅲa	覆土1層				
図Ⅱ 317 4	Ⅱ-162	CH-54	Ⅲa	覆土1層	(18.6)	22.5	8.3	復元 CH-53(覆土2層)、CH-34(覆土1層)とも接合
図Ⅱ 317 5	Ⅱ-162	CH-54	Ⅲa	覆土1層	(17.0)	16.5	(7.3)	復元 CH-54覆土1層とも接合
図Ⅱ 318 6	Ⅱ-163	CH-54	Ⅲa	床				
図Ⅱ 318 7	Ⅱ-163	CH-54	Ⅲa	床				
図Ⅱ 318 8	Ⅱ-163	CH-54	Ⅲa	床、覆土2層				
図Ⅱ 318 9	Ⅱ-163	CH-54	Ⅲa	床				CH-53 覆土1層,R-71,S-73Ⅲと接合
図Ⅱ 318 10	Ⅱ-163	CH-54	Ⅲa	覆土1層				
図Ⅱ 321 1	Ⅱ-169	CH-57	Ⅲb	床	23.2	31.1	7.1	復元 タブコブ？
図Ⅱ 321 2	Ⅱ-169	CH-57	Ⅲb	床				
図Ⅱ 321 3	Ⅱ-169	CH-57	Ⅲb	覆土1～2層	27.2	(31.2)	—	復元 ※底部なし CH-61-1と接合
図Ⅱ 321 4	Ⅱ-169	CH-57	Ⅲb	床				
図Ⅱ 321 5	Ⅱ-169	CH-57	Ⅲb	覆土2層				
図Ⅱ 321 6	Ⅱ-169	CH-57	Ⅲb	覆土2層				
図Ⅱ 321 7	Ⅱ-169	CH-57	Ⅲb	床				
図Ⅱ 321 8	Ⅱ-169	CH-57	Ⅲb	床				

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図Ⅱ 321 9	Ⅱ-169	CH-57	Ⅲb	覆土2層				
図Ⅱ 321 10	Ⅱ-170	CH-57	Ⅲb	床				
図Ⅱ 321 11	Ⅱ-170	CH-57	Ⅲb	床				
図Ⅱ 321 12	Ⅱ-170	CH-57	Ⅲb	床				
図Ⅱ 321 13	Ⅱ-170	CH-57	Ⅲb	覆土1層				
図Ⅱ 320 14	Ⅱ-170	CH-57	Ⅲa	覆土1層				
図Ⅱ 320 15	Ⅱ-170	CH-57	Ⅲb	覆土1層				大木式
図Ⅱ 320 16	Ⅱ-170	CH-57	Ⅲb	覆土中層				
図Ⅱ 320 17	Ⅱ-170	CH-57	Ⅲb	床				
図Ⅱ 320 18	Ⅱ-170	CH-57	Ⅲa	覆土2層				
図Ⅱ 320 19	Ⅱ-170	CH-57	I a	覆土2層				R-69 T-76Ⅲと接合(残にCH-5 覆土2層 CP-78 他)
図Ⅱ 323 1	Ⅱ-171	CH-58	Ⅲa	覆土1層	35.3	56.5	17.5	復元
図Ⅱ 324 2	Ⅱ-172	CH-58	Ⅲa	覆土1層	21.0	27.8	8.7	復元
図Ⅱ 324 3	Ⅱ-170	CH-58	Ⅲa	覆土1層				
図Ⅱ 324 4	Ⅱ-170	CH-58	Ⅲa	覆土1層				
図Ⅱ 324 5	Ⅱ-170	CH-58	Ⅲa	覆土1層				滑石土器
図Ⅱ 324 6	Ⅱ-170	CH-58	I a?	床				
図Ⅱ 327 1	Ⅱ-173	CH-59	Ⅲb	覆土1層				滑石土器
図Ⅱ 327 2	Ⅱ-173	CH-59	Ⅲb	覆土1層				CP-230 覆土1層と接合
図Ⅱ 327 3	Ⅱ-173	CH-59	Ⅲb	覆土層				
図Ⅱ 327 4	Ⅱ-173	CH-59	Ⅲb	覆土層				
図Ⅱ 327 5	Ⅱ-173	CH-59	Ⅲa	床				
図Ⅱ 327 6	Ⅱ-173	CH-59	Ⅲb	覆土層				滑石土器 K-63,L-63,L-64Ⅲと接合
図Ⅱ 327 7	Ⅱ-173	CH-59	Ⅲb	床、覆土1層				
図Ⅱ 327 8	Ⅱ-173	CH-59	Ⅲa	覆土1層				
図Ⅱ 327 9	Ⅱ-173	CH-59	Ⅲb	覆土1層				
図Ⅱ 327 10	Ⅱ-173	CH-59	Ⅲb	覆土層				
図Ⅱ 327 11	Ⅱ-173	CH-59	Ⅲa	覆土1層				
図Ⅱ 327 12	Ⅱ-173	CH-59	Ⅲb	覆土層				滑石土器
図Ⅱ 327 13	Ⅱ-173	CH-59	Ⅲb	覆土1層				
図Ⅱ 327 14	Ⅱ-173	CH-59	Ⅲb	覆土1層				
図Ⅱ 327 15	Ⅱ-173	CH-59	Ⅲb	覆土1層				
図Ⅱ 327 16	Ⅱ-173	CH-59	Ⅲb	覆土層				
図Ⅱ 327 17	Ⅱ-173	CH-59	Ⅲa	覆土1層				
図Ⅱ 327 18	Ⅱ-173	CH-59	Ⅲb	覆土1層				
図Ⅱ 327 19	Ⅱ-173	CH-59	Ⅲa	覆土1層				
図Ⅱ 329 1	Ⅱ-174	CH-60	Ⅲb	床、覆土1層				
図Ⅱ 329 2	Ⅱ-174	CH-60	Ⅲb	床				
図Ⅱ 329 3	Ⅱ-174	CH-60	Ⅲb	床、覆土1層				
図Ⅱ 329 4	Ⅱ-174	CH-60	Ⅲb	覆土1層				
図Ⅱ 329 5	Ⅱ-174	CH-60	Ⅲb	床				復元 CH-36覆土1層からも出土
図Ⅱ 329 6	Ⅱ-174	CH-60	Ⅲb	床				
図Ⅱ 329 7	Ⅱ-174	CH-60	Ⅲb	床				
図Ⅱ 329 8	Ⅱ-174	CH-60	Ⅲb	床				
図Ⅱ 330 9	Ⅱ-174	CH-60	Ⅲa	床、覆土1層				
図Ⅱ 332 1	Ⅱ-175	CH-61	Ⅲb	覆土2層~床	27.2	(31.2)	-	復元 ※底部なしCH-57-3と接合
図Ⅱ 332 2	Ⅱ-175	CH-61	Ⅲb	床				
図Ⅱ 332 3	Ⅱ-175	CH-61	Ⅲb	床、覆土2層				CH-68-4と同一
図Ⅱ 332 4	Ⅱ-175	CH-61	Ⅲb	床、覆土2層				
図Ⅱ 332 5	Ⅱ-175	CH-61	Ⅲb	床				
図Ⅱ 332 6	Ⅱ-176	CH-61	Ⅲb	床				
図Ⅱ 332 7	Ⅱ-176	CH-61	Ⅲa	床				
図Ⅱ 332 8	Ⅱ-176	CH-61	Ⅲb	床				
図Ⅱ 332 9	Ⅱ-176	CH-61	Ⅲb	床				
図Ⅱ 332 10	Ⅱ-176	CH-61	Ⅲb	覆土1層				
図Ⅱ 333 11	Ⅱ-176	CH-61	Ⅲb	床、覆土1・2層				大木式 CH-57床・覆土2層、Q-69,P-69Ⅲと接合
図Ⅱ 333 12	Ⅱ-175	CH-61	Ⅲb	床	(17.9)	21.6	(6.4)	復元
図Ⅱ 333 13	Ⅱ-176	CH-61	Ⅲb	床、覆土1層				
図Ⅱ 334 14	Ⅱ-175	CH-61	Ⅲb	床				胴上半部欠失
図Ⅱ 334 15	Ⅱ-176	CH-61	Ⅲb	床				
図Ⅱ 334 16	Ⅱ-176	CH-61	Ⅲb	床				
図Ⅱ 334 17	Ⅱ-176	CH-61	Ⅲb	覆土1層				
図Ⅱ 334 18	Ⅱ-176	CH-61	Ⅲb	床				
図Ⅱ 334 19	Ⅱ-176	CH-61	I a	覆土				
図Ⅱ 334 20	Ⅱ-176	CH-61	Ⅲb	覆土2層				オオバコ
図Ⅱ 334 21	Ⅱ-176	CH-61	Ⅲb	覆土1層				オオバコ (No.287) 特物施文具
図Ⅱ 334 22	Ⅱ-176	CH-61	Ⅲa	床				
図Ⅱ 337 1	Ⅱ-177	CH-62	Ⅲb	床、覆土1層				
図Ⅱ 337 2	Ⅱ-177	CH-62	Ⅲb	床				
図Ⅱ 337 3	Ⅱ-177	CH-62	Ⅲb	床、覆土1層				
図Ⅱ 337 4	Ⅱ-177	CH-62	Ⅲb	床				
図Ⅱ 337 5	Ⅱ-177	CH-62	Ⅲb	床				
図Ⅱ 337 6	Ⅱ-177	CH-62	Ⅲb	床				
図Ⅱ 337 7	Ⅱ-177	CH-62	Ⅲb	床、覆土1層				HP-29もあり
図Ⅱ 337 8	Ⅱ-177	CH-62	Ⅲb	覆土1層				
図Ⅱ 337 9	Ⅱ-177	CH-62	Ⅲa	覆土1層				
図Ⅱ 337 10	Ⅱ-177	CH-62	Ⅲb	床				
図Ⅱ 337 11	Ⅱ-177	CH-62	Ⅲb	覆土1層				

第1分冊 (文章編)

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 337	12	II-177	CH-62	I a?	覆土1層			
図II 337	13	II-177	CH-62	IIIb	床(HP-29)			
図II 337	14	II-177	CH-62	IIIb	覆土1層			
図II 342	1	II-178	CH-63	IIIb	覆土1層			
図II 342	2	II-178	CH-63	IIIb	床			
図II 342	3	II-178	CH-63	IIIb	覆土1・2層			
図II 342	4	II-178	CH-63	IIIb	覆土2層			
図II 342	5	II-178	CH-63	IIIb	覆土1・2層			
図II 342	6	II-178	CH-63	IIIb	覆土2層			滑石土器
図II 342	7	II-178	CH-63	IIIb	不明			
図II 342	8	II-178	CH-63	IIIa	覆土2層			滑石土器
図II 342	9	II-178	CH-63	IIIa	覆土			大木式 赤色顔料付
図II 342	10	II-178	CH-63	IIIb	覆土2層			
図II 342	11	II-178	CH-63	IIIb	覆土2・3層			
図II 342	12	II-178	CH-63	IIIb	覆土1層			
図II 342	13	II-178	CH-63	IIIa	覆土1層			
図II 342	14	II-178	CH-63	IIIb	覆土1層			
図II 342	15	II-178	CH-63	IIIb	覆土2層			
図II 342	16	II-178	CH-63	IIIb?	覆土2層			CH-64 覆土1層と接合
図II 342	17	II-178	CH-63	IIIb	覆土1層			
図II 342	18	II-178	CH-63	IIIb	覆土1層			
図II 342	19	II-178	CH-63	IIIb	覆土1層			滑石土器
図II 344	1	II-184	CH-65	IIIa	覆土1層			I-72 IIIと接合(残にCH-63覆土1,CH-86覆土2 など)
図II 344	2	II-184	CH-65	IIIa	覆土上層			
図II 344	3	II-184	CH-65	IIIb	覆土層			
図II 344	4	II-184	CH-65	IIIa	床、覆土1・2層			
図II 344	5	II-184	CH-65	IIIb	覆土3層			
図II 344	6	II-185	CH-65	IIIb	壁			
図II 344	7	II-185	CH-65	IIIb	覆土層			
図II 344	8	II-185	CH-65	IIIb	覆土上・中層			
図II 344	9	II-184	CH-65	IIIb	覆土層			
図II 344	10	II-185	CH-65	IIIb	覆土3・上層			
図II 345	11	II-185	CH-65	IIIb	覆土層			
図II 345	12	II-185	CH-65	IIIb	覆土層			
図II 345	13	II-185	CH-65	IIIb	覆土層			
図II 345	14	II-185	CH-65	IIIb	覆土3層			
図II 345	15	II-185	CH-65	IIIb	覆土2層			
図II 345	16	II-185	CH-65	IIIb	覆土4層			
図II 347	1	II-179	CH-64	IIIb	覆土3層	26.5	(28.9)	復元
図II 347	2	II-179	CH-64	IIIb	覆土1層	25.7	40.0	8.6 復元
図II 348	3	II-179	CH-64	IIIb	覆土2層	21.6	26.7	6.4 復元
図II 348	4	II-179	CH-64	IIIb	覆土1～4層	21.2	24.3	復元
図II 348	5	II-180	CH-64	IIIb	覆土1層	25.0	35.1	9.1 復元
図II 349	6	II-180	CH-64	IIIb	覆土1・2層	31.5	21.6	10.9 復元
図II 349	7	II-180	CH-64	IIIb	覆土1・2層	(11.2)	(17.0)	復元 ミニチュア
図II 349	8	II-180	CH-64	IIIb	覆土			CH-80 覆土と接合
図II 350	9	II-181	CH-64	IIIa	覆土1・2層			
図II 350	10	II-181	CH-64	IIIb	覆土2層、覆土層			(残にI-70III)
図II 350	11	II-181	CH-64	IIIb	覆土4層			
図II 350	12	II-181	CH-64	IIIb	覆土4層			滑石土器
図II 350	13	II-181	CH-64	IIIb	覆土2層			
図II 350	14	II-181	CH-64	IIIb	覆土2層			
図II 350	15	II-181	CH-64	IIIb	覆土1層			
図II 350	16	II-181	CH-64	IIIb	覆土1層			
図II 350	17	II-181	CH-64	IIIb	覆土2層			
図II 350	18	II-181	CH-64	IIIb	覆土1層			
図II 350	19	II-181	CH-64	IIIb	覆土1層			
図II 350	20	II-181	CH-64	IIIb	覆土1層			
図II 351	21	II-182	CH-64	IIIb	覆土1・2層			層位なしーベルト交点付近の土器
図II 351	22	II-181	CH-64	IIIb	覆土1層			大木式
図II 351	23	II-181	CH-64	IIIb	覆土2層			大木式
図II 351	24	II-181	CH-64	IIIb	覆土2層			滑石土器
図II 351	25	II-181	CH-64	IIIb	床			
図II 351	26	II-181	CH-64	IIIb	覆土1層			オオバコ?
図II 351	27	II-182	CH-64	IIIb	覆土2層			
図II 351	28	II-181	CH-64	IIIb	覆土1層			
図II 351	29	II-182	CH-64	IIIb	覆土2層			
図II 351	30	II-182	CH-64	IIIb	覆土1層			
図II 351	31	II-182	CH-64	IIIb	床			
図II 352	32	II-182	CH-64	IIIb	覆土1層			
図II 352	33	II-182	CH-64	IIIb	覆土1層			
図II 352	34	II-183	CH-64	IIIb	覆土1・2層			
図II 352	36	II-183	CH-64	IIIb	覆土1層			
図II 352	37	II-183	CH-64	IIIb	覆土1層			
図II 352	38	II-183	CH-64	IIIb	覆土層			
図II 352	39	II-183	CH-64	IIIb	覆土1層			
図II 352	40	II-183	CH-64	IIIb	覆土層			
図II 352	41	II-183	CH-64	IIIb	覆土層			

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 353	42	II-183	CH-64	IIIb	覆土1層			
図II 353	43	II-183	CH-64	IIIb	覆土1・2層			
図II 353	44	II-183	CH-64	IIIb	覆土層			
図II 353	45	II-183	CH-64	IIIb	覆土2層			
図II 355	1	II-186	CH-66	IIIb	床	31.5	34.4	11.3 復元
図II 355	2	II-186	CH-66	IIIb	覆土層覆土3層	(18.0)	(25.4)	— 復元
図II 355	3	II-186	CH-66	IIIb	覆土1層			
図II 356	4	II-187	CH-66	IIIb	床、覆土層			H-69Ⅲと接合
図II 356	5	II-187	CH-66	IIIb	床、覆土2層			滑石土器 H-69Ⅲと接合
図II 356	6	II-186	CH-66	IIIb	覆土層			
図II 356	7	II-187	CH-66	IIIb	覆土層			CH-77 覆土と接合
図II 357	8	II-187	CH-66	IIIb	覆土1層			
図II 357	9	II-187	CH-66	IIIb	覆土層			
図II 357	10	II-188	CH-66	IIIb	覆土1・2・3層			
図II 357	11	II-188	CH-66	IIIb	覆土・2層			
図II 357	12	II-187	CH-66	IIIb	覆土2・3層			
図II 357	13	II-187	CH-66	IIIb	覆土			ミニチュア
図II 357	14	II-188	CH-66	IIIb	覆土2層			H-68 Ⅲと接合
図II 357	15	II-187	CH-66	IIIb	覆土層			
図II 357	16	II-187	CH-66	IIIb	覆土層			滑石土器
図II 357	17	II-188	CH-66	IIIb	覆土層			
図II 357	18	II-188	CH-66	IIIb	覆土層			
図II 357	19	II-188	CH-66	IIIb	覆土層			
図II 357	20	II-188	CH-66	IIIb	覆土層			
図II 357	21	II-188	CH-66	IIIb	覆土層			
図II 357	22	II-188	CH-66	IIIb	覆土・2層			
図II 357	23	II-188	CH-66	IIIb	覆土2層			
図II 357	24	II-188	CH-66	IIIb	覆土2層			
図II 357	25	II-188	CH-66	IIIb	覆土1・2層			
図II 357	26	II-188	CH-66	IIIb	覆土層			
図II 357	27	II-188	CH-66	IIIb	覆土1・2層			滑石土器 H-69 Ⅲと接合
図II 357	28	II-188	CH-66	IIIb	覆土層			
図II 359	1	II-189	CH-67	IIIb	床			※口縁・底部無し 埋設土器
図II 360	2	II-189	CH-67	IIIb	覆土1層			
図II 360	3	II-189	CH-67	IIIb	覆土中層			滑石土器
図II 360	4	II-189	CH-67	IIIb	覆土下層			
図II 360	5	II-189	CH-67	IIIb	覆土3層			
図II 360	6	II-189	CH-67	IIIb	覆土3層			
図II 360	7	II-189	CH-67	IIIb	覆土下層			
図II 360	8	II-189	CH-67	IIIa	覆土・覆土下	(8.3)	14.8	3.7 復元 CH-77-2と接合
図II 360	9	II-189	CH-67	IIIb	覆土・下層			
図II 360	10	II-189	CH-67	IIIb	覆土中層			
図II 360	11	II-189	CH-67	IIIb	覆土下層			
図II 360	12	II-190	CH-67	IIIb	覆土上層			
図II 360	13	II-190	CH-67	IIIa	覆土中層			CH-77-17と同一
図II 360	14	II-190	CH-67	IIIb	覆土中層			大木式 a(CH-67,I-69)b(CH-67,J-67)c(CP-232)
図II 360	15	II-190	CH-67	IIIb	覆土中層			
図II 360	16	II-190	CH-67	IIIb	覆土2層			
図II 360	17	II-190	CH-67	IIIb	覆土下層			
図II 360	18	II-190	CH-67	IIIa	覆土1層			滑石土器
図II 360	19	II-190	CH-67	IIIb	覆土中層			
図II 360	20	II-190	CH-67	IIIb	覆土3層			滑石土器
図II 360	21	II-190	CH-67	IIIb	覆土下層			
図II 360	22	II-190	CH-67	IIIb	覆土中層			
図II 361	23	II-190	CH-67	IIIb	覆土下層			
図II 361	24	II-190	CH-67	IIIa	床、覆土1層			
図II 361	25	II-190	CH-67	IIIb	覆土下層			滑石土器
図II 361	26	II-190	CH-67	IIIb	覆土1層			滑石土器
図II 361	27	II-190	CH-67	IIIa	覆土下層			
図II 361	28	II-190	CH-67	IIIa	覆土下層			
図II 364	1	II-192	CH-68	IIIb	覆土3層	(13.7)	14.5	5.0 復元 小型
図II 364	2	II-191	CH-68	IIIb	床			PO-1
図II 364	3	II-191	CH-68	IIIb	床			HF-2
図II 364	4	II-192	CH-68	IIIb	床			CH61-3と同一
図II 364	5	II-192	CH-68	IIIb	覆土3層			
図II 364	6	II-192	CH-68	IIIb	床			
図II 364	7	II-192	CH-68	IIIb	覆土2層			
図II 364	8	II-192	CH-68	IIIa	覆土2層			
図II 364	9	II-192	CH-68	IIIb	床、覆土2・3層			ab(覆土2・3) c(床)
図II 364	10	II-192	CH-68	IIIb	覆土2層			
図II 364	11	II-192	CH-68	IIIb	覆土2層			
図II 364	12	II-192	CH-68	IIIb	床、覆土1層	0.0		大木式 CH-4覆土1、R-63,R-64 Ⅲと接合(残)CH-71 覆土2、H-68,J-74Ⅲ)
図II 364	13	II-192	CH-68	IIIb	床			
図II 367	1	II-193	CH-69	IIIb	床			
図II 367	2	II-193	CH-69	IIIb	覆土1層			
図II 367	3	II-193	CH-69	IIIb	床、覆土1層			
図II 367	4	II-193	CH-69	IIIb	覆土1層			
図II 367	5	II-193	CH-69	IIIb	覆土1層			

第1分冊（文章編）

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 367 6	II-193	CH-69	IIIb	覆土1層				
図II 367 7	II-193	CH-69	IIIb	覆土1層				
図II 367 8	II-193	CH-69	IIIb	覆土1層				
図II 370 1	II-194	CH-70	IIIb	床、覆土1・3層				滑石土器 N-69 III、CH-71床、CH-83 覆土2と接合
図II 370 2	II-194	CH-70	IIIa	床				
図II 370 3	II-194	CH-70	IIIa	覆土3層				
図II 370 4	II-194	CH-70	IIIa	覆土3層				
図II 370 5	II-194	CH-70	IIIb	覆土2・3層				b(CH-92覆土2)
図II 370 6	II-194	CH-70	IIIb	覆土1層				滑石土器
図II 370 7	II-194	CH-70	IIIa	覆土2層				
図II 370 8	II-194	CH-70	IIIb	覆土2層				
図II 370 9	II-194	CH-70	IIIb	覆土2層				
図II 370 10	II-193	CH-70	IIIb	覆土2・3層				CH-92-32と接合
図II 370 11	II-193	CH-70	IIIb	覆土層	(13.0)	(14.1)	—	復元 CH-3・71・92と接合
図II 370 12	II-194	CH-70	IIIb	覆土2層				
図II 370 13	II-194	CH-70	IIIb	覆土2層				
図II 370 14	II-194	CH-70	IIIb	覆土2層				
図II 370 15	II-194	CH-70	IIIb	覆土2層				
図II 370 16	II-194	CH-70	IIIb	覆土2層				
図II 370 17	II-194	CH-70	IIIb	覆土2層				
図II 370 18	II-194	CH-70	IIIb	覆土2層				
図II 370 19	II-194	CH-70	IIIb	覆土2層				
図II 374 1	II-195	CH-71	IIIb	覆土層	28.5	(33.2)	—	復元CH-9・73・78・85と接合
図II 374 2	II-195	CH-71	IIIb	覆土1層	30.0	(29.2)	—	復元
図II 374 3	II-196	CH-71	IIIb	覆土層	(13.0)	(14.1)	—	復元 CH-3・70・92と接合
図II 375 4	II-196	CH-71	IIIb	覆土2層				大木式
図II 375 5	II-196	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 375 6	II-196	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 375 7	II-196	CH-71	IIIb	床				滑石土器 滑石土器 CH-74床と接合
図II 375 8	II-196	CH-71	IIIb	覆土1・2層				
図II 375 9	II-196	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 375 10	II-196	CH-71	IIIb	床				
図II 375 11	II-196	CH-71	IIIb	覆土2・3層				
図II 375 12	II-196	CH-71	IIIa	床				
図II 375 13	II-196	CH-71	IIIb	床				大木式
図II 375 14	II-196	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 375 15	II-197	CH-71	IIIb	床				
図II 375 16	II-197	CH-71	IIIb	覆土1・2層				大木式
図II 375 17	II-197	CH-71	IIIb	床				
図II 375 18	II-197	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 375 19	II-197	CH-71	IIIa	覆土2層				
図II 375 20	II-197	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 375 21	II-197	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 375 22	II-197	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 375 23	II-197	CH-71	IIIb	覆土1層				ミニチュア
図II 375 24	II-197	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 376 25	II-195	CH-71	IIIb	床				
図II 376 26	II-197	CH-71	IIIb	覆土2層				ミニチュア
図II 376 27	II-197	CH-71	IIIb	覆土1・3層				
図II 376 28	II-195	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 376 29	II-197	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 376 30	II-197	CH-71	IIIb	覆土2層				ミニチュア
図II 376 31	II-197	CH-71	IIIb	床				
図II 376 32	II-197	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 376 33	II-197	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 376 34	II-197	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 376 35	II-197	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 376 36	II-198	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 376 37	II-198	CH-71	IIIb	覆土2・3層				
図II 377 38	II-198	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 377 39	II-198	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 377 40	II-198	CH-71	IIIb	覆土1・2層				
図II 377 41	II-198	CH-71	IVa	覆土1層				
図II 377 42	II-198	CH-71	IIIb	床				
図II 377 43	II-198	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 377 44	II-198	CH-71	IIIb	覆土2・3層				
図II 377 45	II-198	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 377 46	II-198	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 377 47	II-198	CH-71	IIIb	覆土1層				滑石土器
図II 377 48	II-198	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 377 49	II-198	CH-71	IIIb	覆土1層				
図II 377 50	II-198	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 377 51	II-198	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 377 52	II-198	CH-71	IIIb	覆土2層				
図II 379 1	II-199	CH-73	IIIb	床				
図II 379 2	II-199	CH-73	IIIb	床				
図II 379 3	II-199	CH-73	IIIb	床				
図II 379 4	II-199	CH-73	IIIb	床、覆土2層				J-64IIIと接合

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 379	5	II-199	CH-73	IIIb	床、覆土2層			
図II 380	6	II-199	CH-73	IIIb	覆土層	28.5	(33.2)	復元 CH-9・71・78・85と接合
図II 380	7	II-199	CH-73	IIIb	床、覆土1・2層			
図II 380	8	II-199	CH-73	IIIb	床			
図II 380	9	II-199	CH-73	IIIb	床			
図II 380	10	II-199	CH-73	IIIb	床			
図II 380	11	II-199	CH-73	IIIb	床、覆土1層			J-64Ⅲと接合
図II 380	12	II-199	CH-73	IIIb	床			
図II 380	13	II-199	CH-73	IIIb	床、覆土1層			
図II 383	1	II-200	CH-74	IIIb	床	29.6	44.5	8.5 復元
図II 383	2	II-200	CH-74	IIIb	覆土2層	(24.3)	(36.4)	(8.2) 復元 一括 余市式?
図II 384	3	II-200	CH-74	IIIa	覆土2層			
図II 384	4	II-200	CH-74	IIIa	床			
図II 384	5	II-200	CH-74	IIIb	床			
図II 384	6	II-200	CH-74	IIIb	覆土1層			滑石土器 CH-78 覆土2・Ⅲ3と接合
図II 384	7	II-200	CH-74	IIIb	攪乱			滑石土器
図II 384	8	II-200	CH-74	IIIb	覆土2層			
図II 384	9	II-200	CH-74	IIIb	床			
図II 384	10	II-200	CH-74	IIIb	床			
図II 384	11	II-200	CH-74	IIIb	覆土2層			
図II 384	12	II-201	CH-74	IIIb	床			
図II 384	13	II-201	CH-74	IIIb	床			
図II 384	14	II-201	CH-74	IIIb	床、覆土2層			
図II 384	15	II-201	CH-74	IIIb	床(HP-39)			
図II 384	16	II-201	CH-74	IIIb	床、覆土2層			
図II 384	17	II-201	CH-74	IIIb	覆土1・2層			
図II 384	18	II-201	CH-74	IIIb	床			
図II 384	19	II-201	CH-74	IIIb	覆土2層			
図II 384	20	II-201	CH-74	IIIb	覆土2層			
図II 384	21	II-201	CH-74	IIIb	覆土2層			
図II 387	1	II-202	CH-75	IIIb	覆土1層			
図II 387	2	II-202	CH-75	IIIb	覆土1層			
図II 387	3	II-202	CH-75	IIIa	覆土1層	19.0	25.4	8.7 復元
図II 387	4	II-202	CH-75	IIIa	攪乱			
図II 387	5	II-202	CH-75	IIIb	攪乱			
図II 388	1	II-203	CH-77	IIIb	床～覆土2層	16.7	(31.7)	復元
図II 388	2	II-204	CH-77	IIIb	覆土・覆土下	(8.3)	14.8	3.7 復元 CH-67-8と接合
図II 388	3	II-204	CH-77	IIIb	覆土1・覆土下	(12.4)	18.1	4.8 復元
図II 389	4	II-204	CH-77	IIIb	床	29.4	43.5	8.0 復元
図II 389	5	II-205	CH-77	IIIb	覆土層	28.8	(40.8)	復元
図II 390	6	II-206	CH-77	IIIb	覆土3層床	33.5	50.3	10.2 復元
図II 390	7	II-204	CH-77	IIIb	覆土2層～床	30.2	(44.4)	復元
図II 391	8	II-207	CH-77	IIIa	覆土3層			覆土3-2'
図II 391	9	II-207	CH-77	IIIa	覆土2層			
図II 391	10	II-207	CH-77	IIIb	覆土1・2層			
図II 391	11	II-207	CH-77	IIIb	覆土3層			
図II 391	12	II-207	CH-77	IIIa	覆土3層			
図II 391	13	II-207	CH-77	IIIa	覆土			CH-82 覆土と接合
図II 391	14	II-208	CH-77	IIIb	覆土1・3-2'・下層			CP-232 覆土、CH-67 覆土と接合
図II 391	15	II-208	CH-77	IIIa	覆土1層			
図II 391	16	II-208	CH-77	IIIb	床			
図II 392	17	II-208	CH-77	IIIb	覆土中層			CH67 №13と同一
図II 392	18	II-208	CH-77	IIIb	覆土1・2・下層			
図II 392	19	II-208	CH-77	IIIb	覆土1層			
図II 392	20	II-208	CH-77	IIIb	覆土中層			
図II 392	21	II-208	CH-77	IIIb	床			
図II 392	22	II-207	CH-77	IIIb	覆土層			
図II 392	23	II-208	CH-77	IIIb	覆土2・3・中層			
図II 392	24	II-208	CH-77	IIIb	床			
図II 392	25	II-209	CH-77	IIIb	覆土上層			
図II 392	26	II-209	CH-77	IIIb	覆土3層			
図II 392	27	II-209	CH-77	IIIb	覆土層			
図II 392	28	II-209	CH-77	IIIb	床			
図II 392	29	II-209	CH-77	IIIb	覆土層			
図II 392	30	II-209	CH-77	IIIb	床、覆土2層			
図II 393	31	II-209	CH-77	IIIb	床			
図II 393	32	II-209	CH-77	IIIb	覆土1層			
図II 393	33	II-209	CH-77	IIIb	覆土中層			
図II 393	34	II-209	CH-77	IIIb	覆土3層			
図II 393	35	II-209	CH-77	IIIb	覆土層			
図II 393	36	II-209	CH-77	IIIb	覆土3層			
図II 393	37	II-210	CH-77	IIIb	覆土下層			(残(類似の)に床あり)
図II 393	38	II-210	CH-77	Vc	覆土			
図II 393	39	II-210	CH-77	IIIb	覆土3層			
図II 393	40	II-210	CH-77	IIIa	覆土			魚骨回転式 J-68Ⅲと接合(残にCH-84,J-68,K-69)
図II 393	41	II-210	CH-77	IIIb	床、覆土層			
図II 393	42	II-210	CH-77	IIIb	覆土2層			
図II 393	43	II-210	CH-77	IIIb	覆土層			

第1分冊（文章編）

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 393 44	II-210	CH-77	IIIb	覆土1・上層				
図II 393 45	II-210	CH-77	IIIb	床				
図II 393 46	II-210	CH-77	IIIb	覆土3層				
図II 393 47	II-210	CH-77	IIIb	覆土中層				
図II 393 48	II-210	CH-77	IIIb	覆土層				
図II 393 49	II-210	CH-77	IIIb	覆土・2層				
図II 397 1	II-211	CH-78	IIIb	覆土3層	23.8	38.4	8.9	復元
図II 397 2	II-211	CH-78	IIIb	覆土層	28.5	(33.2)	—	復元 CH-9・71・73・85と接合
図II 398 3	II-212	CH-78	IIIb	床	21.6	34.8	9.4	復元 一括土器
図II 398 4	II-211	CH-78	IIIb	覆土1・2層	(21.7)	22.4	(8.1)	復元
図II 399 5	II-213	CH-78	IIIa	覆土1・2層				
図II 399 6	II-213	CH-78	IIIa	覆土2層				滑石土器
図II 399 7	II-213	CH-78	IIIa	覆土2層				
図II 399 8	II-213	CH-78	IIIa	床、覆土2層				
図II 399 9	II-213	CH-78	IIIb	床				
図II 399 10	II-213	CH-78	IIIa	床、覆土2層				
図II 399 11	II-213	CH-78	IIIb	覆土1層				
図II 399 12	II-213	CH-78	IIIb	覆土2層				
図II 399 13	II-213	CH-78	IIIb	覆土2層				滑石土器
図II 399 14	II-214	CH-78	IIIb	覆土1層				
図II 399 15	II-214	CH-78	IIIb	覆土1層				
図II 399 16	II-213	CH-78	IIIb	覆土2・3層				滑石土器 CH-64覆1、CH-74 覆2と接合(残にCH-77覆上、H-69)
図II 399 17	II-214	CH-78	IIIb	覆土1層				
図II 399 18	II-214	CH-78	IIIb	覆土1・2層				大木式(残にCH-57,59,74覆土1、K-64,L-63,N-62,P-63III)
図II 400 19	II-211	CH-78	IIIb	床、覆土1層				K-64,J-64IIIと接合
図II 400 20	II-214	CH-78	IIIb	床、覆土1層				
図II 400 21	II-214	CH-78	IIIb	床				
図II 400 22	II-214	CH-78	IIIb	床				
図II 400 23	II-214	CH-78	IIIb	覆土1層				
図II 400 24	II-214	CH-78	IIIb	覆土2層				
図II 400 25	II-214	CH-78	IIIb	覆土1層				滑石土器
図II 400 26	II-214	CH-78	IIIb	覆土2層				
図II 400 27	II-214	CH-78	IIIb	覆土2層				
図II 400 28	II-214	CH-78	IIIb	覆土3層				
図II 400 29	II-214	CH-78	IIIb	覆土2層				
図II 400 30	II-214	CH-78	IIIb	覆土2層				
図II 400 31	II-214	CH-78	IIIb	覆土1・2層				
図II 400 32	II-214	CH-78	IIIb	覆土1層				
図II 400 33	II-214	CH-78	IIIb	覆土2層				
図II 400 34	II-215	CH-78	IIIb	覆土1層				CH-79 No.14と同一
図II 400 35	II-215	CH-78	IIIb	覆土1・2層				J-64 IIIと接合
図II 401 36	II-215	CH-78	IIIb	覆土1層				滑石土器
図II 401 37	II-215	CH-78	IIIb	覆土2層				
図II 401 38	II-215	CH-78	IIIb	覆土1層				大木式
図II 401 39	II-215	CH-78	IIIb	床(HP-1)				
図II 401 40	II-215	CH-78	IIIb	覆土1層				滑石土器
図II 401 41	II-215	CH-78	IIIb	覆土3層				
図II 401 42	II-215	CH-78	IIIb	覆土2層				
図II 401 43	II-215	CH-78	IIIb	覆土3層				
図II 401 44	II-215	CH-78	IIIb	覆土2層				
図II 401 45	II-215	CH-78	IIIb	覆土1層				
図II 401 46	II-215	CH-78	IIIb	覆土1・2層				
図II 401 47	II-215	CH-78	IIIb	覆土2層				
図II 401 48	II-215	CH-78	IIIb	覆土1層				
図II 404 1	II-217	CH-79	IIIb	覆土1層	33.3	(27.0)	—	復元 ※底部なし
図II 404 2	II-216	CH-79	IIIb	覆土層	26.5	42.0	12.0	復元 滑石土器
図II 405 3	II-217	CH-79	IIIb	床(HP-14)				滑石土器
図II 405 4	II-217	CH-79	IIIb	覆土層				滑石土器
図II 405 5	II-217	CH-79	IIIb	覆土1層				
図II 405 6	II-217	CH-79	IIIb	覆土1層				
図II 405 7	II-217	CH-79	IIIb	覆土1層				滑石土器
図II 405 8	II-217	CH-79	IIIb	覆土1層				滑石土器 CH-78 覆土2と接合
図II 405 9	II-217	CH-79	IIIb	床(HP-14)				滑石土器
図II 405 10	II-217	CH-79	IIIb	床(HP-14)				
図II 405 11	II-217	CH-79	IIIb	覆土1層				
図II 405 12	II-218	CH-79	IIIb	覆土1層				
図II 405 13	II-218	CH-79	IIIb	覆土1層				
図II 405 14	II-218	CH-79	IIIb	覆土1層				滑石土器 CH78 No.34と同一
図II 405 15	II-217	CH-79	IIIb	覆土1層				
図II 405 16	II-218	CH-79	IIIb	覆土1層				No.18と同一か？
図II 405 17	II-218	CH-79	IIIb	覆土1層				
図II 405 18	II-218	CH-79	IIIb	覆土1・2層				No.16と同一か？
図II 405 19	II-218	CH-79	IIIb	覆土1層				
図II 406 20	II-218	CH-79	IIIb	覆土1層				K-68 P-62 M-66 IIIと接合
図II 406 21	II-218	CH-79	IIIb	床				
図II 406 22	II-218	CH-79	IIIb	覆土1層				
図II 406 23	II-218	CH-79	IIIb	覆土1層				
図II 408 1	II-219	CH-80	IIIb	覆土層				

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 408 2	II-219	CH-80	IIIb	床				
図II 408 3	II-219	CH-80	IIIb	覆土1・2・3・上層				a(J-48)b(CH-77)c(J-68)d(CH-80)e(CH-78)
図II 408 4	II-219	CH-80	IIIb	覆土上層				CH-82 覆土と接合
図II 408 5	II-219	CH-80	IIIb	覆土2層				
図II 408 6	II-219	CH-80	IIIb	覆土3層				
図II 408 7	II-219	CH-80	IIIb	覆土層				
図II 409 1	II-220	CH-82	IIIa	不明	22.0	(26.8)	—	復元 層位は多分覆土と考えられる
図II 410 2	II-220	CH-82	IIIa	覆土4層				
図II 410 3	II-220	CH-82	IIIa	覆土5層				
図II 410 4	II-220	CH-82	IIIa	覆土4層				
図II 410 5	II-221	CH-82	IIIa	覆土中層				
図II 410 6	II-221	CH-82	IIIa	覆土9層				
図II 410 7	II-221	CH-82	IIIb	覆土層				
図II 410 8	II-220	CH-82	IIIa	覆土中層				
図II 410 9	II-221	CH-82	IIIb	覆土				CH-77 覆土中層と接合(残にI-73III)
図II 410 10	II-221	CH-82	IIIb	覆土上層				大木式
図II 410 11	II-221	CH-82	IIIa	覆土層				
図II 410 12	II-221	CH-82	IIIa	覆土層				
図II 410 13	II-221	CH-82	IIIb	覆土上・下層				
図II 410 14	II-221	CH-82	IIIa	覆土上層				
図II 410 15	II-221	CH-82	IIIa	覆土層				
図II 413 1	II-222	CH-83	IIIb	覆土2層	32.8	(31.4)	—	復元 滑石土器 半身です
図II 413 2	II-222	CH-83	IIIb	覆土2層	(10.0)	(11.6)	(5.9)	復元 CH-71 覆土2と接合
図II 413 3	II-223	CH-83	IIIb	覆土2層	15.4	25.0	—	復元
図II 413 4	II-223	CH-83	IIIb	覆土2層				
図II 414 5	II-224	CH-83	IIIa	覆土2層				
図II 414 6	II-222	CH-83	IIIb	床、覆土2層				CH-71 覆土2と接合
図II 414 7	II-224	CH-83	IIIb	床				滑石土器
図II 414 8	II-224	CH-83	IIIb	床				滑石土器
図II 414 9	II-224	CH-83	IIIb	覆土2層				滑石土器
図II 414 10	II-224	CH-83	IIIb	床、覆土2層				
図II 414 11	II-224	CH-83	IIIb	床(HP-16)				滑石土器
図II 414 12	II-224	CH-83	IIIb	覆土2層				滑石土器
図II 414 13	II-224	CH-83	IIIb	覆土2層				滑石土器
図II 414 14	II-224	CH-83	IIIb	覆土2層				滑石土器
図II 415 15	II-225	CH-83	IIIb	覆土2層				
図II 415 16	II-225	CH-83	IIIb	覆土2層				
図II 415 17	II-225	CH-83	IIIb	床				
図II 415 18	II-223	CH-83	IIIb	覆土2層				
図II 415 19	II-225	CH-83	IIIb	覆土2層				
図II 415 20	II-225	CH-83	IIIb	覆土2層				
図II 415 21	II-225	CH-83	IIIb	覆土2層				
図II 415 22	II-225	CH-83	IIIb	覆土2層				滑石土器
図II 415 23	II-225	CH-83	IIIb	覆土2層				a(K-68III)b(CH-83覆2)(残にCH-84など)
図II 415 24	II-223	CH-83	IIIb	覆土2層				ミニチュア
図II 415 25	II-225	CH-83	IIIb	覆土2層				滑石土器
図II 415 26	II-225	CH-83	IIIb	覆土2層				CH-64 覆土と接合
図II 415 27	II-225	CH-83	IIIb	覆土2層				
図II 415 28	II-225	CH-83	IIIb	覆土2層				
図II 416 29	II-225	CH-83	IIIb	覆土2層				
図II 416 30	II-226	CH-83	IIIb	覆土2層				滑石土器
図II 416 31	II-226	CH-83	IIIb	覆土2層				大木式 CH-71 覆土2と接合(残にK-69,M-64III)
図II 416 32	II-226	CH-83	IIIa	覆土2層				
図II 416 33	II-226	CH-83	IIIb	床				
図II 416 34	II-226	CH-83	IIIb	床				
図II 416 35	II-226	CH-83	IIIb	床				
図II 416 36	II-223	CH-83	IIIb	覆土2層				
図II 416 37	II-226	CH-83	IIIb	覆土2層				
図II 416 38	II-226	CH-83	IIIb	覆土2層				
図II 416 39	II-226	CH-83	IIIb	覆土2層				
図II 416 40	II-226	CH-83	IIIb	覆土2層				
図II 416 41	II-226	CH-83	IIIb	覆土2層				
図II 416 42	II-226	CH-83	IIIb	覆土2層				
図II 416 43	II-226	CH-83	IIIb	覆土2層				
図II 416 44	II-226	CH-83	IIIb	覆土2層				
図II 416 45	II-226	CH-83	IIIb	覆土2層				
図II 416 46	II-226	CH-83	IIIb	覆土2層				ミニチュア
図II 420 1	II-227	CH-84	IIIb	覆土2層	—	(47.5)	—	復元 CH-80とも接合しているらしい
図II 421 2	II-228	CH-84	IIIb	床				
図II 421 3	II-228	CH-84	IIIb	床				
図II 421 4	II-228	CH-84	IIIb	床				
図II 421 5	II-228	CH-84	IIIb	床				
図II 421 6	II-228	CH-84	IIIb	床				
図II 421 7	II-228	CH-84	IIIb	床(HP-52)				
図II 421 8	II-228	CH-84	IIIb	床				
図II 421 9	II-229	CH-84	IIIb	床				HP-1もあり
図II 421 10	II-228	CH-84	IIIb	覆土3層				
図II 421 11	II-228	CH-84	IIIb	覆土1層				

第1分冊（文章編）

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 421 12	II-229	CH-84	IIIb	覆土層				
図II 421 13	II-229	CH-84	IIIb	覆土1・2層				
図II 421 14	II-229	CH-84	IIIb	覆土層				
図II 421 15	II-229	CH-84	IIIb	覆土				ミニチュア
図II 421 16	II-229	CH-84	IIIb	覆土1層				
図II 421 17	II-229	CH-84	IIIb	覆土1層				
図II 422 18	II-228	CH-84	IIIb	覆土1・2層				
図II 424 1	II-230	CH-85	IIIb	覆土層	28.5	(33.2)	—	復元 CH-9・71・73・78と接合
図II 424 2	II-230	CH-85	IIIa	床				
図II 424 3	II-230	CH-85	IIIb	床				
図II 424 4	II-230	CH-85	IIIb	床				
図II 424 5	II-230	CH-85	IIIb	覆土2層				CH-78(覆土1・2・3層)と接合
図II 427 1	II-231	CH-86	IIIa	床	(21.1)	33.6	8.5	復元
図II 427 2	II-231	CH-86	IIIa	床	20.2	28.0	7.4	復元
図II 427 3	II-232	CH-86	IIIa	床				
図II 427 4	II-231	CH-86	IIIa	床、覆土1・2・3層	(21.0)	16.2	7.7	復元
図II 428 5	II-232	CH-86	IIIa	床				
図II 428 6	II-232	CH-86	IIIa	床				
図II 428 7	II-233	CH-86	IIIa	床				
図II 428 8	II-233	CH-86	IIIa	覆土3層				
図II 429 9	II-232	CH-86	IIIa	床				
図II 429 10	II-233	CH-86	IIIb	覆土1層				滑石土器
図II 429 11	II-233	CH-86	IIIa	覆土1・2層				
図II 429 12	II-233	CH-86	IIIb	覆土1層				滑石土器
図II 429 13	II-233	CH-86	IIIb	覆土2層				
図II 429 14	II-233	CH-86	IIIb	覆土2層				大木式
図II 429 15	II-233	CH-86	IIIa	覆土1層				
図II 429 16	II-233	CH-86	IIIa	覆土2層				
図II 430 1	II-233	CH-87	IIIb	床				滑石土器
図II 430 2	II-233	CH-87	IIIa	覆土1層				
図II 431 1	II-233	CH-88	IIIb	床				
図II 433 1	II-234	CH-89	IIIb	床～覆土2層	(22.5)	(31.4)	(7.6)	復元 滑石入り
図II 433 2	II-234	CH-89	IIIb	床	(25.8)	(27.0)	—	復元 半身です
図II 434 3	II-235	CH-89	IIIb	床、覆土1・2層				滑石土器 CH-85 床と接合
図II 434 4	II-235	CH-89	IIIb	床				
図II 434 5	II-234	CH-89	IIIb	床				
図II 434 6	II-235	CH-89	IIIb	床				
図II 434 7	II-235	CH-89	IIIb	覆土2層				滑石土器
図II 434 8	II-235	CH-89	IIIb	覆土1層				滑石土器
図II 434 9	II-235	CH-89	IIIb	覆土2層				滑石土器
図II 434 10	II-235	CH-89	IIIb	覆土2層				滑石土器
図II 434 11	II-235	CH-89	IIIb	床				
図II 434 12	II-234	CH-89	IIIb	Pit内				埋設土器
図II 434 13	II-235	CH-89	IIIb	床				HP-3もあり
図II 434 14	II-235	CH-89	IIIb	覆土2層				
図II 434 15	II-235	CH-89	IIIb	床、覆土2層				HP-3もあり
図II 434 16	II-235	CH-89	IIIb	覆土2層				
図II 437 1	II-236	CH-90	IIIb	床				埋ガメ炉の土器
図II 437 2	II-236	CH-90	IIIb	床(HP-5)				
図II 438 3	II-236	CH-90	IIIb	床				
図II 438 4	II-236	CH-90	IIIb	覆土2層				
図II 438 5	II-236	CH-90	IIIb	床、覆土2層				滑石土器
図II 438 6	II-236	CH-90	IIIa	覆土2層				
図II 438 7	II-236	CH-90	IIIb	覆土2層				
図II 438 8	II-236	CH-90	IIIb	床(HP-1)				
図II 439 1	II-235	CH-91	IIIa	床				
図II 439 2	II-235	CH-91	IIIa	覆土1層				
図II 442 1	II-237	CH-92	IIIb	床	23.2	(28.8)	—	復元 土器囲い炉の土器
図II 442 2	II-237	CH-92	IIIb	床				K-68 IIIと接合
図II 443 3	II-237	CH-92	IIIb	覆土3層	23.4	(29.0)	—	復元
図II 443 4	II-237	CH-92	IIIb	覆土3層				CP-222から変更
図II 443 5	II-238	CH-92	IIIb	覆土2・3層				CH-70 覆土2と接合
図II 444 6	II-238	CH-92	IIIb	覆土2層	(29.2)	40.2	(9.0)	復元 滑石土器
図II 444 7	II-238	CH-92	IIIb	覆土層	(13.0)	(14.1)	—	復元 CH-3・70・71と接合
図II 444 8	II-238	CH-92	IIIb	覆土2層	28.0	(25.7)	—	復元 ※底部なし
図II 445 9	II-239	CH-92	IIIb	覆土2層				滑石土器
図II 445 10	II-239	CH-92	IIIb	床				
図II 445 11	II-239	CH-92	IIIb	覆土3層				滑石土器
図II 445 12	II-239	CH-92	IIIb	覆土3層				滑石土器
図II 445 13	II-240	CH-92	IIIb	床、覆土1層				
図II 445 14	II-239	CH-92	IIIb	覆土2層				大木式
図II 445 15	II-239	CH-92	IIIb	覆土2層				滑石土器
図II 445 16	II-240	CH-92	IIIb	覆土2層				
図II 445 17	II-240	CH-92	IIIb	床、覆土3層				滑石土器 CH-3 No.10と同一?
図II 445 18	II-240	CH-92	IIIb	覆土2層				
図II 446 19	II-240	CH-92	IIIb	床				炉跡の土器
図II 446 20	II-241	CH-92	IIIb	床				
図II 446 21	II-240	CH-92	IIIb	床				

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 446	22	II-241	CH-92	IIIb	覆土2層			
図II 446	23	II-241	CH-92	IIIb	覆土3層			
図II 446	24	II-241	CH-92	IIIb	覆土2層			
図II 446	25	II-241	CH-92	IIIb	覆土2・3層			
図II 447	26	II-241	CH-92	IIIb	床			
図II 447	27	II-241	CH-92	IIIb	覆土2層			
図II 447	28	II-242	CH-92	IIIb	覆土2・3層			
図II 447	29	II-241	CH-92	IIIb	床			ミニチュア
図II 447	30	II-241	CH-92	IIIb	覆土3層			
図II 447	31	II-241	CH-92	IIIb	覆土2層			
図II 447	32	II-239	CH-92	IIIb	覆土2・3層			CH-70-10と接合
図II 447	33	II-242	CH-92	IIIb	覆土2層			
図II 447	34	II-242	CH-92	IIIb	覆土2層			ミニチュア
図II 447	35	II-242	CH-92	IIIb	覆土2・3層			
図II 447	36	II-242	CH-92	IIIb	覆土2層			
図II 448	37	II-239	CH-92	IIIb	覆土2層			
図II 448	38	II-242	CH-92	IIIb	覆土2層			
図II 448	39	II-242	CH-92	IIIb	床			滑石土器
図II 448	40	II-242	CH-92	IIIb	覆土2層			
図II 448	41	II-242	CH-92	IIIb	覆土3層			
図II 448	42	II-242	CH-92	IIIb	覆土2層			ミニチュア
図II 448	43	II-242	CH-92	IIIb	覆土2層			滑石土器
図II 448	44	II-242	CH-92	IIIb	覆土2層			
図II 448	45	II-242	CH-92	IIIb	覆土2層			滑石土器
図II 501	1	II-308	CP-3	IIIb	覆土1層			
図II 501	5	II-308	CP-5	IIIb	覆土1層			大木式
図II 501	6	II-308	CP-5	IIIb	覆土1層			
図II 501	8	II-308	CP-6	IIIb	覆土3層			
図II 501	11	II-310	CP-10	IVa	覆土1層	(18.0)	(18.4)	(7.8) 復元 埋ガメ(逆さ埋)
図II 501	12	II-310	CP-10	IIIb	覆土1層			
図II 502	1	II-309	CP-9	IIIa	覆土2層			
図II 502	2	II-309	CP-9	IIIa	覆土2層			
図II 502	3	II-309	CP-9	IIIb	覆土2層			
図II 502	6	II-309	CP-11	IIIb	床			CH4 覆土1・2層と接合
図II 502	7	II-309	CP-11	IIIa	床			
図II 503	1	II-310	CP-12	IIIa	床			
図II 503	2	II-310	CP-12	IIIa	床			
図II 503	3	II-310	CP-12	IIIa	床			
図II 503	5	II-311	CP-14	IIIa	覆土1層			
図II 503	6	II-311	CP-14	IIIa	覆土1層			
図II 503	7	II-311	CP-14	IIIa	覆土1層			
図II 504	1	II-312	CP-14	IIIa	覆土1層			
図II 504	2	II-311	CP-14	IIIb	覆土1層			裏側無し
図II 504	3	II-312	CP-14	IIIa	覆土1層			
図II 504	7	II-310	CP-15	IIIb	覆土1層			
図II 504	8	II-310	CP-15	IIIa	覆土1層			
図II 504	9	II-310	CP-19	IIIb	覆土1層			
図II 504	10	II-310	CP-19	IIIa	床			
図II 505	3	II-312	CP-24	IIIa	覆土1層			
図II 505	4	II-312	CP-24	IIIa	覆土1層			
図II 505	6	II-313	CP-29	IIIa	覆土1層			
図II 505	7	II-313	CP-32	IIIa	床、覆土1層			
図II 506	1	II-314	CP-31	IIIb	覆土1層	(10.0)	12.6	4.7 復元 小型 展開図有り
図II 506	2	II-314	CP-31	IIIa	覆土1層	13.6	(13.2)	— 復元 小型 底部無し
図II 506	3	II-314	CP-31	IIIb	覆土1層			
図II 506	4	II-314	CP-31	IIIb	覆土1層			
図II 506	6	II-314	CP-38	IIIa	床			
図II 507	1	II-315	CP-41	IIIa	覆土1層			大木式
図II 507	2	II-315	CP-41	IIIa	床			
図II 507	5	II-315	CP-43	IIIa	覆土1層			滑石土器
図II 507	6	II-315	CP-43	IIIa	覆土1層			
図II 507	10	II-315	CP-44	IIIb	覆土層			
図II 507	11	II-316	CP-45	IIIa	覆土層			
図II 507	12	II-316	CP-47	IIIa	覆土1層			
図II 507	13	II-316	CP-48	IIIa	覆土1層			
図II 507	14	II-316	CP-48	IIIa	床			
図II 508	1	II-316	CP-54	IIIa	覆土1層			
図II 508	3	II-316	CP-55	IIIa	覆土4層			L-71Ⅲと接合
図II 508	4	II-316	CP-55	IIIa	覆土1層			
図II 508	5	II-316	CP-55	IIIa	覆土1層			滑石土器
図II 508	6	II-316	CP-55	IIIa	覆土1～3層			
図II 508	7	II-316	CP-55	IIIa	覆土1～3層			
図II 508	8	II-316	CP-55	IIIa	覆土1～3層			
図II 508	9	II-316	CP-56	IIIa	覆土1層			底部のみ残存
図II 508	10	II-317	CP-58	IIIa	覆土1層			L-72 Ⅲと接合
図II 508	11	II-318	CP-59	IIIa	床、覆土1層			
図II 508	12	II-318	CP-59	IIIa	床			
図II 508	13	II-318	CP-59	IIIa	床、覆土1層			

第1分冊（文章編）

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図Ⅱ 508	14	Ⅱ-318	CP-59	Ⅲa	床			
図Ⅱ 509	1	Ⅱ-318	CP-60	Ⅲb	覆土1層			
図Ⅱ 510	1	Ⅱ-319	CP-65	Ⅲb	覆土層			
図Ⅱ 510	2	Ⅱ-319	CP-65	Ⅲb	覆土1層			
図Ⅱ 510	3	Ⅱ-319	CP-65	Ⅲb	覆土層			
図Ⅱ 510	4	Ⅱ-319	CP-65	Ⅲb	覆土層			
図Ⅱ 510	5	Ⅱ-319	CP-65	Ⅲb	覆土2層			
図Ⅱ 510	6	Ⅱ-319	CP-65	Ⅲb	覆土層			
図Ⅱ 510	7	Ⅱ-319	CP-65	Ⅲa	覆土層			
図Ⅱ 510	8	Ⅱ-319	CP-65	Ⅲb	覆土1層			
図Ⅱ 510	9	Ⅱ-319	CP-65	Ⅲa	覆土層			
図Ⅱ 510	10	Ⅱ-319	CP-65	Ⅲb	覆土1層			
図Ⅱ 511	1	Ⅱ-317	CP-57	Ⅲa	覆土2層			
図Ⅱ 511	4	Ⅱ-319	CP-61	Ⅲa	覆土層			
図Ⅱ 511	5	Ⅱ-319	CP-62	Ⅲa	覆土3層			
図Ⅱ 511	6	Ⅱ-319	CP-63	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 511	7	Ⅱ-320	CP-67	Ⅲa	覆土1・2層			M-76,M-77 Ⅲと接合
図Ⅱ 511	8	Ⅱ-320	CP-68	Ⅲa	床			
図Ⅱ 512	1	Ⅱ-320	CP-67	Ⅲa	覆土2層			(残にM-77,K-76 Ⅲ)
図Ⅱ 512	2	Ⅱ-320	CP-67	Ⅲa	覆土2層			
図Ⅱ 512	3	Ⅱ-320	CP-67	Ⅲa	覆土2層			
図Ⅱ 512	4	Ⅱ-320	CP-67	Ⅲa	覆土2層			I-76,L-76Ⅲと接合
図Ⅱ 512	6	Ⅱ-320	CP-71	Ⅲa	床			
図Ⅱ 512	7	Ⅱ-320	CP-71	Ⅲa	床			
図Ⅱ 512	8	Ⅱ-320	CP-71	Ⅲa	床			
図Ⅱ 512	12	Ⅱ-323	CP-76	Ⅲa	覆土2層			滑石土器
図Ⅱ 513	1	Ⅱ-322	CP-70	Ⅲa	床、覆土4層			
図Ⅱ 513	2	Ⅱ-322	CP-70	Ⅲa	床、覆土1・4層			
図Ⅱ 513	3	Ⅱ-322	CP-70	Ⅲa	床、覆土3層			
図Ⅱ 513	4	Ⅱ-321	CP-70	Ⅲa	覆土4層	(22.5)	30.2	(8.1) 復元
図Ⅱ 513	5	Ⅱ-322	CP-70	Ⅲa	床、覆土1～4層	(24.3)	34.8	(9.4) 復元
図Ⅱ 514	1	Ⅱ-323	CP-77	Ⅲa	覆土1層	(23.3)	(20.4)	— 復元
図Ⅱ 514	2	Ⅱ-323	CP-77	Ⅲa	床			
図Ⅱ 514	5	Ⅱ-323	CP-78	Ⅲa	不明			
図Ⅱ 515	1	Ⅱ-324	CP-80	Ⅲa	覆土1層	(36.5)	(32.0)	— 復元
図Ⅱ 515	2	Ⅱ-324	CP-80	Ⅲa	床			
図Ⅱ 515	3	Ⅱ-324	CP-80	Ⅲa	床			
図Ⅱ 515	4	Ⅱ-324	CP-80	Ⅲa	床			
図Ⅱ 515	5	Ⅱ-324	CP-80	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 515	9	Ⅱ-324	CP-84	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 515	10	Ⅱ-325	CP-88	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 515	11	Ⅱ-325	CP-88	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 516	1	Ⅱ-324	CP-82	Ⅲa	床			
図Ⅱ 516	2	Ⅱ-324	CP-82	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 516	8	Ⅱ-325	CP-91	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 516	9	Ⅱ-325	CP-91	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 516	10	Ⅱ-325	CP-91	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 516	11	Ⅱ-325	CP-92	Ⅲa	覆土2層			
図Ⅱ 516	12	Ⅱ-325	CP-92	Ⅲa	覆土3層			
図Ⅱ 516	13	Ⅱ-325	CP-92	Ⅲa	覆土2層			
図Ⅱ 516	16	Ⅱ-325	CP-93	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 516	17	Ⅱ-325	CP-94	Ⅲa	覆土2層			
図Ⅱ 517	1	Ⅱ-325	CP-95	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 517	2	Ⅱ-325	CP-95	Ⅲb	覆土2層			
図Ⅱ 517	3	Ⅱ-325	CP-95	Ⅲb	覆土1層			
図Ⅱ 517	5	Ⅱ-326	CP-96	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 517	6	Ⅱ-326	CP-96	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 517	7	Ⅱ-326	CP-96	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 517	8	Ⅱ-326	CP-96	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 517	9	Ⅱ-326	CP-96	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 517	10	Ⅱ-326	CP-96	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 517	11	Ⅱ-326	CP-96	Ⅲa	床			
図Ⅱ 518	1	Ⅱ-325	CP-99	Ⅲa	覆土3層、覆土層			
図Ⅱ 518	2	Ⅱ-326	CP-100	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 518	3	Ⅱ-326	CP-100	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 518	4	Ⅱ-326	CP-103	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 518	5	Ⅱ-326	CP-103	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 518	6	Ⅱ-327	CP-104	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 518	7	Ⅱ-327	CP-104	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 518	10	Ⅱ-327	CP-107	Ⅲa	覆土3層			
図Ⅱ 518	11	Ⅱ-327	CP-107	Ⅲa	床			
図Ⅱ 518	13	Ⅱ-327	CP-108	Ⅲa	覆土2層			
図Ⅱ 518	14	Ⅱ-327	CP-108	Ⅲa	覆土2層			
図Ⅱ 518	15	Ⅱ-327	CP-109	Ⅲb	覆土1層			
図Ⅱ 519	1	Ⅱ-328	CP-110	Ⅲa	覆土1層	(25.0)	(26.4)	— 復元 一括
図Ⅱ 519	2	Ⅱ-328	CP-110	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 519	3	Ⅱ-328	CP-110	Ⅲa	覆土1層			
図Ⅱ 519	4	Ⅱ-328	CP-110	Ⅲa	覆土1層			

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 519	6	II-327	CP-112	IIIa	覆土3層			
図II 519	7	II-327	CP-112	IIIa	覆土3層			
図II 519	8	II-328	CP-114	IIIb	覆土2層			
図II 520	1	II-329	CP-115	IIIa	覆土2層			
図II 520	3	II-329	CP-118	IIIa	床			
図II 520	4	II-329	CP-118	IIIb	覆土3層			
図II 520	5	II-329	CP-119	IIIa	床			
図II 520	7	II-329	CP-123	IIIa	床	(20.0)	21.9	8.3 復元 CP-132覆土1層からも出土、突起部裏面模様有り
図II 520	8	II-329	CP-123	IIIa	覆土1層			
図II 520	9	II-329	CP-123	IIIa	床			
図II 522	1	II-331	CP-126	IIIa	覆土1層			復元 CH-36・26・31(HP-9)が接合
図II 523	1	II-333	CP-132	IIIa	覆土1層	52.4	33.5	10.0 復元 一括
図II 523	2	II-333	CP-132	IIIa	床			
図II 523	3	II-333	CP-132	IIIa	覆土1・2層			
図II 523	4	II-333	CP-132	IIIa	床			
図II 524	1	II-332	CP-124	IIIa	覆土1層			
図II 524	2	II-332	CP-128	IIIa	覆土2層			
図II 524	3	II-332	CP-130	IIIa	覆土3層			
図II 524	4	II-332	CP-131	IIIa	覆土4層			
図II 524	5	II-332	CP-131	IIIa	覆土4層			
図II 524	6	II-332	CP-133	IIIa	覆土1層			
図II 524	7	II-332	CP-133	IIIa	床			
図II 524	8	II-332	CP-133	IIIa	覆土1層			
図II 524	9	II-332	CP-133	IIIa	床			
図II 524	10	II-332	CP-133	IIIa	床			
図II 524	12	II-332	CP-134	IIIb	底			
図II 524	13	II-332	CP-134	IIIa	覆土2層			
図II 524	14	II-332	CP-135	IIIa	覆土1層			
図II 524	15	II-332	CP-136	IIIa	覆土2層			
図II 524	16	II-332	CP-136	IIIa	覆土2層			
図II 524	17	II-332	CP-138	IIIa	覆土1層			CH-30 No.4と同一
図II 524	18	II-332	CP-140	IIIa	覆土1層			
図II 524	19	II-332	CP-141	IIIa	覆土2層			
図II 524	23	II-334	CP-148	IIIb	覆土1層			
図II 524	24	II-334	CP-148	IIIb	覆土1層			
図II 525	1	II-335	CP-155	IIIa	覆土1層	34.2	35.8	9.9 復元 26a、26bの二つに分かれている大木影響大
図II 526	1	II-334	CP-150	IIIb	底			
図II 526	2	II-334	CP-151	IIIa	底			
図II 526	4	II-334	CP-153	IIIa	覆土1層			
図II 526	5	II-334	CP-154	IIIa	覆土2層			
図II 526	6	II-334	CP-154	IIIb	覆土層			
図II 526	7	II-334	CP-154	IIIa	覆土1層			
図II 526	8	II-336	CP-155	IIIa	覆土1層			
図II 526	9	II-336	CP-155	IIIa	覆土1層			
図II 526	10	II-336	CP-155	IIIa	覆土4層			
図II 526	11	II-336	CP-155	IIIa	覆土3層			
図II 526	13	II-334	CP-156	IIIb	覆土3層			
図II 526	14	II-334	CP-156	IIIb	覆土層			
図II 526	15	II-334	CP-156	IIIa	覆土2層			
図II 526	16	II-334	CP-156	IIIa	覆土2層			
図II 526	17	II-334	CP-156	IIIa	覆土2層			
図II 526	18	II-334	CP-156	IIIa	覆土層			大木式
図II 526	19	II-334	CP-156	IIIa	覆土2層			
図II 527	1	II-336	CP-160	IIIa	覆土4層			
図II 527	2	II-336	CP-160	IIIa	覆土4層			
図II 527	3	II-336	CP-160	IIIa	覆土4層			
図II 527	4	II-338	CP-165	IIIb	床			
図II 527	5	II-338	CP-165	IIIb	覆土1層			館野2B N-56d・5IIIと接合
図II 527	6	II-337	CP-166	IIIa	覆土1層			Q-66からも出土口縁部の多くが欠損
図II 527	8	II-337	CP-168	IIIa	覆土1層			復元
図II 527	9	II-337	CP-168	IIIa	床、覆土1・2層			
図II 527	11	II-338	CP-170	IIIa	覆土2層			
図II 527	12	II-338	CP-170	IIIa	覆土1層			
図II 528	1	II-336	CP-161	IIIa	覆土2層			S-79IIIと接合
図II 528	2	II-336	CP-162	IIIa	覆土2層			
図II 528	3	II-336	CP-162	IIIa	覆土2層			
図II 528	4	II-336	CP-162	IIIa	覆土2層			
図II 528	6	II-338	CP-163	IIIa	覆土1層			Q-63IIIと接合(残はすべてQ-62III)
図II 529	1	II-339	CP-171	IIIa	覆土2層	19.6	18.8	(9.0) 復元
図II 529	2	II-339	CP-171	IIIa	覆土2層	(26.7)	33.2	10.6 復元
図II 530	1	II-339	CP-171	IIIa	覆土2層	23.4	(17.0)	— 復元 下半部欠損
図II 530	2	II-340	CP-171	IIIa	覆土2層			
図II 530	3	II-339	CP-171	IIIa	覆土2層			復元
図II 530	4	II-340	CP-171	IIIa	覆土2層			
図II 531	1	II-340	CP-172	IIIa	覆土	(29.5)	(37.6)	— 復元
図II 532	1	II-340	CP-173	IIIa	覆土3層			滑石土器
図II 532	4	II-340	CP-177	IIIa	覆土層			
図II 532	5	II-340	CP-177	IIIa	覆土4層			

第1分冊（文章編）

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 532	7	II-341	CP-178	Ⅲa	覆土1層			
図II 532	8	II-341	CP-178	Ⅲa	床			
図II 532	9	II-341	CP-180	Ⅲa	覆土4層			
図II 532	11	II-342	CP-181	Ⅲa	覆土2層			
図II 532	12	II-342	CP-181	Ⅲa	覆土1層			
図II 532	13	II-342	CP-181	Ⅲa	覆土1層			
図II 532	14	II-342	CP-181	Ⅲa	床			
図II 532	15	II-342	CP-181	I a	床			
図II 532	17	II-341	CP-183	Ⅲa	覆土2層			
図II 533	1	II-341	CP-182	Ⅲb	覆土1層			
図II 533	2	II-341	CP-182	Ⅲb	覆土1層			
図II 534	1	II-342	CP-185	Ⅲa	覆土1層			
図II 534	2	II-342	CP-185	Ⅲa	覆土1層			
図II 534	3	II-342	CP-185	Ⅲa	覆土1層			T-70Ⅲと接合
図II 534	4	II-342	CP-185	Ⅲa	覆土1層			
図II 534	5	II-342	CP-185	Ⅲa	覆土1層			
図II 535	1	II-343	CP-187	Ⅲb	覆土1層			
図II 535	2	II-343	CP-188	Ⅲa	覆土2層覆土2層	(19.4)	29.7	8.7 復元 CH-53-3・CH-58とも接合
図II 535	3	II-343	CP-188	Ⅲa	覆土1層			
図II 535	5	II-343	CP-189	Ⅲa	覆土1層	27.0	(37.6)	— 復元 一括土器
図II 535	6	II-344	CP-189	Ⅲa	覆土1層			
図II 535	7	II-344	CP-189	Ⅲa	覆土1層			
図II 535	8	II-344	CP-189	Ⅲa	覆土層			
図II 535	9	II-344	CP-189	Ⅲa	覆土層			
図II 535	10	II-344	CP-189	Ⅲa	覆土層			
図II 535	11	II-344	CP-189	Ⅲa	覆土層			
図II 535	12	II-344	CP-189	Ⅲa	床			
図II 535	13	II-344	CP-189	Ⅲa	覆土1層			
図II 536	1	II-343	CP-189	Ⅲa	床			復元
図II 537	3	II-345	CP-194	Ⅲa	覆土1層			
図II 537	4	II-345	CP-194	Ⅲa	床			
図II 537	7	II-345	CP-195	Ⅲa	覆土1層			
図II 537	8	II-345	CP-195	Ⅲa	覆土1層			
図II 537	10	II-345	CP-201	Ⅲa	覆土1層			
図II 537	11	II-345	CP-201	Ⅲa	床			
図II 537	12	II-345	CP-202	Ⅲa	覆土1層			
図II 537	13	II-345	CP-202	Ⅲa	床			
図II 537	14	II-345	CP-203	Ⅲa	床			
図II 538	1	II-345	CP-204	Ⅲa	覆土1層			
図II 538	2	II-345	CP-205	Ⅲa	覆土1層			
図II 538	3	II-345	CP-205	Ⅲa	覆土1層			
図II 538	8	II-346	CP-210	Ⅲa	覆土2層			
図II 538	9	II-346	CP-210	I a	覆土2層			
図II 538	10	II-346	CP-212	Ⅲa	床	(11.5)	11.6	4.9 復元
図II 538	11	II-346	CP-212	Ⅲa	覆土2層			
図II 538	12	II-346	CP-214	Ⅲb	覆土1層			
図II 538	13	II-346	CP-214	Ⅲa	覆土1層			
図II 538	14	II-346	CP-215	Ⅲa	覆土1層			滑石土器
図II 539	1	II-347	CP-216	Ⅲa	床			
図II 539	4	II-348	CP-217	Ⅲb	床			
図II 539	5	II-347	CP-218	Ⅲb	覆土1層			O-66Ⅲと接合
図II 539	6	II-347	CP-220	Ⅲa	覆土3層			
図II 539	7	II-347	CP-220	Ⅲa	覆土1層			
図II 539	8	II-347	CP-220	Ⅲa	覆土3層			
図II 540	1	II-348	CP-223	Ⅲb	覆土1層			滑石土器
図II 540	3	II-348	CP-224	Ⅲa	覆土層			
図II 540	4	II-348	CP-224	Ⅲa	覆土層			
図II 540	7	II-348	CP-227	Ⅲa	覆土2層			
図II 540	9	II-348	CP-229	Ⅲa	覆土1層			
図II 540	10	II-349	CP-231	Ⅲa	覆土層			
図II 540	11	II-349	CP-231	Ⅲb	覆土上層			
図II 540	12	II-349	CP-231	Ⅲb	覆土1層			
図II 540	13	II-349	CP-231	Ⅲb	覆土中層、覆土層			
図II 540	14	II-349	CP-231	Ⅲa	覆土中層			
図II 541	1	II-349	CP-230	Ⅲb	覆土1層	26.3	(29.5)	— 復元
図II 541	2	II-349	CP-230	Ⅲa	覆土1層			
図II 541	3	II-349	CP-230	Ⅲb	覆土1層			滑石土器(残にCP-231 覆土上・1層)
図II 541	4	II-349	CP-230	Ⅲb	覆土1層			
図II 541	5	II-349	CP-230	Ⅲb	覆土1層			
図II 541	6	II-349	CP-230	Ⅲb	覆土1層			
図II 541	7	II-349	CP-230	Ⅲb	覆土2層			
図II 541	8	II-349	CP-230	Ⅲb	覆土1層			
図II 541	9	II-349	CP-230	Ⅲb	覆土2層			
図II 542	1	II-350	CP-232	Ⅲa	床			
図II 542	2	II-350	CP-232	Ⅲa	覆土1層			
図II 542	3	II-350	CP-232	Ⅲa	覆土層			
図II 542	4	II-350	CP-232	Ⅲa	床			
図II 542	5	II-350	CP-232	Ⅲa	覆土層			

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 542	6	II-350	CP-232	IIIa	覆土3・4層			
図II 542	7	II-350	CP-232	IIIa	覆土層			
図II 543	1	II-350	CP-232	IIIa	覆土3層			
図II 543	2	II-350	CP-232	IIIa	覆土層			
図II 543	3	II-350	CP-232	IIIa	覆土層			
図II 543	4	II-350	CP-232	IIIb	覆土3層			
図II 543	6	II-352	CP-234	IIIb	覆土1層			
図II 543	8	II-352	CP-238	IIIb	覆土1層			
図II 543	9	II-352	CP-238	IIIb	覆土2層			
図II 543	11	II-352	CP-242	IIIb	覆土層			
図II 543	12	II-352	CP-245	IIIa	床			
図II 543	13	II-352	CP-246	IIIa	覆土1層			
図II 544	1	II-351	CP-244	IIIb	覆土2層	38.2	(32.0)	－ 復元 滑石入り
図II 544	2	II-351	CP-244	IIIa	床			
図II 544	3	II-351	CP-244	IIIa	床			
図II 544	4	II-351	CP-244	IIIa	床			
図II 544	5	II-351	CP-244	IIIa	覆土1層			
図II 544	6	II-351	CP-244	IIIa	覆土3層			
図II 544	7	II-351	CP-244	IIIb	覆土3層			
図II 544	8	II-351	CP-244	IIIb	覆土3層			
図II 544	9	II-351	CP-244	IIIb	覆土3層			
図II 544	10	II-351	CP-244	IIIb	覆土3層			
図II 545	1	II-353	CP-257	IIIa	覆土1層			
図II 545	3	II-352	CP-261	IIIa	床			
図II 545	4	II-352	CP-262	IIIa	覆土1層			
図II 545	5	II-354	CP-264	IIIa	床、覆土層			
図II 545	6	II-354	CP-264	IIIa	覆土3層			
図II 545	7	II-354	CP-264	IIIa	覆土3層			
図II 545	8	II-354	CP-264	IIIa	床			
図II 545	9	II-354	CP-264	IIIb	覆土層			CH-9 No1と同一個体
図II 546	1	II-353	CP-265	IIIa	床			
図II 546	2	II-353	CP-265	IIIa	床			
図II 546	3	II-353	CP-266	IIIa	床			
図II 546	4	II-353	CP-267	IIIb	覆土1層			
図II 546	6	II-353	CP-271	IIIb	覆土1層			CH-9 No.3と同一個体
図II 546	7	II-353	CP-271	IIIb	覆土1層			
図II 546	8	II-353	CP-271	IIIb	覆土1層			
図II 546	9	II-353	CP-271	IIIb	覆土1層			
図II 546	10	II-353	CP-272	IIIb	覆土1層			底部欠損
図II 546	11	II-353	CP-272	IIIa	覆土1層			
図II 546	12	II-353	CP-272	IIIa	覆土1層			
図II 546	13	II-353	CP-272	IIIa	覆土1層			
図II 546	14	II-353	CP-272	IIIa	覆土1層			
図II 546	16	II-354	CP-273	IIIb	覆土1層			
図II 570	1	II-355	CF-2	IIIa	覆土1層			
図II 570	3	II-355	CF-5	IIIa	覆土1層			
図II 570	4	II-355	CF-5	I a	－			
図II 570	5	II-355	CF-5	IIIa	－			
図II 570	6	II-355	CF-13	IIIa	－			
図II 570	7	II-355	CF-13	IIIa	－			
図II 570	8	II-355	CF-14	IIIa	－			
図II 570	9	II-355	CF-16	IIIb	覆土1層			
図II 570	10	II-355	CF-16	IIIb	覆土1層			
図II 570	11	II-355	CF-16	IIIb	覆土1層			
図II 570	12	II-355	CF-16	IIIb	－			
図II 570	13	II-355	CF-16	IIIb	－			
図II 570	14	II-355	CF-16	IIIb	覆土1層			
図II 570	15	II-355	CF-16	IIIb	覆土1層			
図II 570	16	II-355	CF-16	IIIb	覆土1層			
図II 570	17	II-355	CF-16	IIIb	－			
図II 570	22	II-355	CF-18	IIIa	－			
図II 570	23	II-355	CF-18	IIIa	覆土1層			
図II 571	1	II-356	CF-20	IIIb	覆土1層			
図II 571	2	II-356	CF-20	IIIb	覆土1層			
図II 571	3	II-356	CF-20	IIIb	覆土1層			(残にN-67 III)
図II 571	4	II-356	CF-20	IIIb	覆土1層			
図II 571	5	II-356	CF-20	IIIb	覆土1層			N-67 IIIと接合
図II 571	6	II-356	CF-20	IIIb	覆土1層			
図II 571	7	II-356	CF-20	IIIb	覆土1層			
図II 571	8	II-356	CF-20	IIIb	覆土1層			
図II 571	22	II-356	CF-21	IIIb	覆土1層			
図II 571	23	II-356	CF-21	IIIb	覆土1層			
図II 571	24	II-356	CF-21	IIIb	覆土1層			
図II 571	11	II-356	CF-22	IIIb	覆土1層			
図II 571	12	II-356	CF-22	IIIb	覆土1層			
図II 571	13	II-356	CF-22	IIIb	覆土1層			滑石土器
図II 571	14	II-356	CF-22	IIIb	覆土1層			
図II 571	15	II-356	CF-23	IIIa	覆土層			

第1分冊（文章編）

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 571 16	II-356	CF-28	IIIb	覆土層				
図II 571 17	II-356	CF-30	IIIa	覆土1層				
図II 571 19	II-356	CF-31	IIIb	床				
図II 571 20	II-356	CF-31	IIIa	床				滑石土器
図II 572 1	II-357	CF-41	IIIa	覆土1層	(27.9)	32.8	9.4	復元 L-41からも出土
図II 572 2	II-357	CF-41	IIIa	—				
図II 572 3	II-357	CF-41	IIIa	覆土1層				
図II 572 4	II-357	CF-41	IIIa	覆土1層				
図II 572 5	II-357	CF-44	IIIa	—				
図II 572 6	II-357	CF-44	IIIa	—				
図II 572 7	II-357	CF-44	IIIa	—				
図II 573 1	II-358	CF-42	IIIa	—				
図II 573 2	II-358	CF-42	IIIa	—				
図II 573 3	II-358	CF-42	IIIa	—				
図II 573 4	II-358	CF-42	IIIa	—				
図II 573 5	II-358	CF-42	IIIb	—				
図II 573 6	II-358	CF-42	IIIa	—				
図II 573 7	II-358	CF-42	IIIa	—				
図II 573 8	II-358	CF-45	IIIa	—				
図II 573 9	II-358	CF-45	IIIa	—				CH-15 No.16と同一
図II 573 10	II-358	CF-45	IIIa	—				
図II 573 11	II-358	CF-45	IIIa	—				
図II 573 12	II-358	CF-45	IIIa	—				
図II 573 13	II-358	CF-45	IIIa	—				
図II 573 16	II-358	CF-50	IIIa	—				
図II 573 17	II-358	CF-54	IIIa	—				
図II 574 1	II-359	CF-58	IIIa	—				
図II 574 2	II-359	CF-58	IIIa	—				
図II 574 3	II-359	CF-58	IIIa	—				
図II 574 5	II-359	CF-64	IIIa	—				
図II 574 6	II-359	CF-64	IIIa	覆土1層				
図II 574 8	II-359	CF-68	IIIa	覆土1層				
図II 574 10	II-359	CF-71	IIIa	—				
図II 574 11	II-359	CF-73	IIIa	—				
図II 574 12	II-359	CF-73	IIIa	—				
図II 574 13	II-359	CF-74	IIIa	—				
図II 574 14	II-359	CF-75	IIIa	—				
図II 574 15	II-359	CF-77	IIIa	覆土1層				
図II 574 16	II-359	CF-77	IIIa	—				
図II 575 1	II-360	CF-80	IIIa	—				
図II 575 2	II-360	CF-80	IIIa	—				
図II 575 3	II-360	CF-80	IIIa	—				
図II 575 4	II-360	CF-81	IIIa	—				P-74 IIIと接合(残にQ-74)
図II 575 5	II-360	CF-81	IIIa	—				
図II 575 6	II-360	CF-81	IIIa	—				
図II 575 7	II-360	CF-82	IIIa	—				
図II 575 8	II-360	CF-83	IIIa	床	24.7	35.8	11.3	復元
図II 575 9	II-360	CF-83	IIIa	—				
図II 575 10	II-360	CF-83	IIIa	—				
図II 575 11	II-360	CF-83	IIIa	—				
図II 575 13	II-360	CF-85	IIIb	—				
図II 575 14	II-360	CF-85	IIIb	—				
図II 575 15	II-360	CF-88	IIIa	—				
図II 576 1	II-360	CF-91	IIIb	—				
図II 576 2	II-360	CF-92	IIIa	—				
図II 576 23	II-361	CF-93	IIIa	—				
図II 576 24	II-361	CF-93	I a	—				日計式?
図II 576 4	II-361	CF-94	IIIa	—				
図II 576 5	II-361	CF-94	IIIb	—				
図II 576 7	II-361	CF-101	IIIa	—				
図II 576 8	II-361	CF-101	IIIa	—				
図II 576 10	II-361	CF-103	IIIa	—				
図II 576 11	II-361	CF-106	IIIb	—				
図II 576 12	II-361	CF-107	IIIa	—				
図II 576 13	II-361	CF-108	IIIa	不明				
図II 576 14	II-361	CF-111	IIIa	—				
図II 576 15	II-361	CF-115	IIIa	—				
図II 576 16	II-361	CF-115	IIIa	—				
図II 576 18	II-361	CF-117	IIIa	—				
図II 576 19	II-361	CF-117	IIIa	—				
図II 576 20	II-361	CF-117	IIIa	—				
図II 576 22	II-361	CF-118	IIIa	—				
図II 577 1	II-362	CF-121	IIIa	—				
図II 577 2	II-362	CF-121	IIIa	—				
図II 577 3	II-362	CF-121	IIIa	—				
図II 577 4	II-362	CF-129	IIIa	覆土1層	18.6	22.8	8.7	復元 Q-66・67からも出土している
図II 577 5	II-362	CF-129	IIIa	—				
図II 577 6	II-362	CF-129	IIIa	—				

掲載図番号	写真図版	遺構名	分類	層位	口径	器高	底径	特徴
図II 577 7	II-362	CF-129	IIIa	—				
図II 577 8	II-362	CF-132	IIIb	—				
図II 577 9	II-362	CF-132	IIIb	—				
図II 577 10	II-362	CF-132	IIIb	—				
図II 577 11	II-362	CF-134	IIIa	—				
図II 577 12	II-362	CF-137	IIIa	—				
図II 577 13	II-362	CF-139	IIIa	—				
図II 577 14	II-363	CF-146	IIIa	—				
図II 577 15	II-363	CF-146	IIIa	—				
図II 577 16	II-363	CF-146	IIIa	—				
図II 577 17	II-363	CF-146	IIIa	—				
図II 577 18	II-363	CF-146	IIIa	—				
図II 578 1	II-362	CF-141	IIIa	—				
図II 578 2	II-362	CF-142	IIIa	—				
図II 578 3	II-362	CF-142	IIIa	—				
図II 578 4	II-363	CF-144	IIIb	—				
図II 578 5	II-363	CF-144	IIIa	—				
図II 578 6	II-363	CF-145	IIIa	—				
図II 578 7	II-363	CF-145	IIIb	—				
図II 578 8	II-363	CF-145	IIIb	—				
図II 578 9	II-364	CF-149	IIIa	—				
図II 578 10	II-363	CF-150	IIIa	—				I-68IIIと接合
図II 578 11	II-363	CF-150	IIIa	—				
図II 578 12	II-363	CF-150	IIIa	—				
図II 578 13	II-365	CF-152	IIIa	—				
図II 579 1	II-364	CF-156	IIIb	覆土1層	(10.9)	11.5	3.5	復元 CH-71からも1点出土
図II 579 2	II-364	CF-156	IIIb	—				
図II 579 3	II-364	CF-156	IIIb	—				
図II 579 4	II-364	CF-156	IIIb	—				
図II 579 5	II-364	CF-156	IIIb	—				
図II 579 6	II-364	CF-156	IIIb	—				
図II 579 7	II-364	CF-156	IIIb	—				
図II 579 8	II-364	CF-156	IIIb	—				
図II 579 11	II-364	CF-158	IIIa	—				
図II 579 12	II-364	CF-162	IIIa	—				
図II 580 1	II-365	CS-2	IIIb	—				
図II 580 2	II-365	CS-3	IIIa	—				
図II 580 3	II-365	CS-8	IIIa	—				
図II 580 4	II-365	CS-9	IIIb	—				
図II 580 5	II-365	CS-10	IIIa	III層				
図II 578 15	II-365	CS-12	IIIb	—				
図II 578 16	II-365	CS-12	IIIb	—				
図II 578 17	II-365	CS-12	IIIb	—				
図II 560 7	II-365	CSP-1	IIIa	覆土1層				
図II 560 8	II-365	CSP-1	IIIb	覆土1層				
図II 560 9	II-365	CSP-31	IIIb	覆土中層				

表VI-5 掲載遺構別石器一覧

掲載図番号	写真図版	遺構名	層位	分類	石材	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考
図II 3 16	II-243	CH-1	床	スクレイパー	頁岩	8.79	3.74	1.30	44.6	
図II 3 17	II-243	CH-1	床	スクレイパー	頁岩	7.91	3.89	1.59	44.8	
図II 3 18	II-243	CH-1	床	スクレイパー	頁岩	4.92	4.68	1.24	20.4	
図II 3 19	II-243	CH-1	床	スクレイパー	頁岩	7.74	4.22	1.37	45.4	
図II 3 20	II-243	CH-1	覆土2層	たたき石片	デイサイト	5.94	4.96	3.92	156.2	(石棒?)
図II 3 21	II-243	CH-1	床	扁平打製石器	砂岩	11.79	6.94	2.95	315.2	
図II 9 45	II-243	CH-2	床(HP-4)	石鏃	頁岩	3.36	1.39	0.53	2.4	柱穴
図II 9 46	II-243	CH-2	床	石鏃	頁岩	3.51	1.37	0.58	2.1	
図II 9 47	II-243	CH-2	床	石鏃	黒曜石	4.23	1.74	0.62	3.8	
図II 9 48	II-243	CH-2	覆土3層	ポイント・ナイフ	黒曜石	4.29	4.40	1.09	18.0	
図II 9 49	II-243	CH-2	床	石鏃	頁岩	6.86	2.15	1.13	11.4	
図II 9 50	II-243	CH-2	覆土2層	スクレイパー	頁岩	5.29	2.55	0.93	10.0	遺物集中
図II 9 51	II-243	CH-2	覆土2層	スクレイパー	頁岩	7.66	3.65	1.37	38.7	遺物集中
図II 9 52	II-243	CH-2	床	スクレイパー	頁岩	11.63	5.56	1.75	115.7	
図II 9 53	II-243	CH-2	床	スクレイパー	頁岩	6.29	5.09	1.14	37.9	
図II 9 54	II-243	CH-2	床	スクレイパー	頁岩	8.55	3.09	1.26	31.4	
図II 9 55	II-243	CH-2	床	スクレイパー	頁岩	8.09	3.79	1.08	28.9	
図II 9 56	II-243	CH-2	床	スクレイパー	頁岩	6.34	4.72	1.21	39.3	
図II 9 57	II-243	CH-2	床	Uフレイク	頁岩	5.24	4.63	1.09	25.5	
図II 9 58	II-243	CH-2	床	Uフレイク	頁岩	7.06	4.20	1.02	28.3	
図II 9 59	II-243	CH-2	床	Uフレイク	頁岩	7.07	6.35	1.45	54.0	
図II 9 60	II-243	CH-2	覆土2層	石核	頁岩	6.54	5.65	3.57	136.3	遺物集中
図II 10 61	II-244	CH-2	床	たたき石	砂岩	22.20	7.75	4.33	10.3	
図II 10 62	II-244	CH-2	床	たたき石	砂岩	18.73	7.49	4.32	81.0	
図II 10 63	II-244	CH-2	床	台石・石皿	砂岩	31.70	26.35	4.32	4,420.0	
図II 10 64	II-244	CH-2	床	砥石	砂岩	17.40	17.30	2.10	580.0	5点接合
図II 12 22	II-244	CH-3	床	石鏃	頁岩	4.44	1.44	0.56	3.3	
図II 12 23	II-244	CH-3	床	ポイント・ナイフ	黒曜石	4.78	3.09	0.85	10.3	
図II 12 24	II-244	CH-3	床	スクレイパー	頁岩	7.89	4.93	1.63	42.5	
図II 12 25	II-244	CH-3	床	スクレイパー	頁岩	8.82	3.47	0.94	37.9	
図II 12 26	II-244	CH-3	床	スクレイパー	頁岩	7.92	3.64	1.12	28.9	
図II 12 27	II-244	CH-3	床	スクレイパー	頁岩	4.90	4.32	0.71	13.8	
図II 12 28	II-245	CH-3	床	スクレイパー	黒曜石	5.42	3.92	0.96	17.1	
図II 13 29	II-245	CH-3	床	Uフレイク	頁岩	8.89	3.67	1.12	32.7	
図II 13 30	II-245	CH-3	床	Uフレイク	頁岩	7.96	4.09	1.86	45.3	
図II 13 31	II-245	CH-3	床	Uフレイク	頁岩	3.58	4.42	1.50	24.1	
図II 13 32	II-245	CH-3	床	Uフレイク	頁岩	5.40	5.06	1.71	37.6	
図II 13 33	II-245	CH-3	床	たたき石	砂岩	13.80	9.10	2.40	545.0	
図II 13 34	-	CH-3	床	棒状礫	凝灰岩	15.10	4.34	1.60	137.5	
図II 13 35	-	CH-3	床	棒状礫	砂岩	6.65	2.27	1.61	44.6	
図II 13 36	-	CH-3	床	棒状礫	砂岩	6.62	3.25	2.12	64.5	
図II 13 37	-	CH-3	床	棒状礫	砂岩	6.35	2.69	2.07	53.4	
図II 13 38	-	CH-3	床	棒状礫	砂岩	7.02	2.01	2.14	50.6	
図II 13 39	-	CH-3	床	棒状礫	砂岩	6.33	3.32	2.59	80.7	
図II 13 40	-	CH-3	床	棒状礫	砂岩	6.77	3.26	1.72	3.3	
図II 13 41	-	CH-3	床	棒状礫	砂岩	6.81	2.84	2.62	72.4	
図II 13 42	-	CH-3	床	棒状礫	砂岩	6.36	2.72	2.42	61.1	
図II 13 43	-	CH-3	床	棒状礫	泥岩	6.97	2.94	2.10	54.0	
図II 18 36	II-245	CH-4	床	石鏃	砂岩	(2.22)	1.42	0.44	(0.8)	
図II 18 37	II-245	CH-4	覆土2層	石鏃	頁岩	3.31	2.08	0.20	1.6	
図II 18 38	II-245	CH-4	床	スクレイパー	頁岩	10.49	5.43	1.88	99.8	
図II 18 39	II-245	CH-4	床	石斧	緑色泥岩	8.90	4.16	1.51	86.3	
図II 18 40	II-245	CH-4	覆土2層	扁平打製石器	砂岩	9.30	5.30	2.00	156.4	
図II 18 41	II-245	CH-4	覆土1層	たたき石	砂岩	14.33	6.78	5.39	790.0	
図II 18 42	II-245	CH-4	床	加工痕のある礫	軽石	11.60	12.60	9.00	149.5	加工された軽石
図II 18 43	II-245	CH-4	床	台石・石皿	デイサイト	15.45	15.59	6.84	1,970.0	炉石No1
図II 18 44	II-245	CH-4	覆土1層	台石・石皿	デイサイト	26.40	42.80	11.00	12,100.0	遺物集中
図II 22 10	II-246	CH-5	床	石鏃	頁岩	3.93	1.07	0.39	1.7	
図II 22 11	II-246	CH-5	覆土2層	石鏃	頁岩	5.59	1.35	0.72	3.9	
図II 22 12	II-246	CH-5	床	たたき石	流紋岩	26.60	9.30	6.20	2,090.0	
図II 22 13	II-246	CH-5	床	たたき石	砂岩	19.20	9.91	4.85	1,440.0	
図II 22 14	II-246	CH-5	床	砥石	安山岩	19.10	11.19	4.16	1,240.0	
図II 23 4	II-247	CH-6	床	Uフレイク	頁岩	7.98	4.90	0.89	37.7	
図II 23 5	II-247	CH-6	床	スクレイパー	頁岩	5.42	3.39	0.71	15.4	
図II 23 6	II-247	CH-6	床	たたき石	砂岩	18.00	9.87	4.28	890.0	炉石1
図II 23 7	II-247	CH-6	床	台石・石皿	安山岩	14.04	11.82	4.41	840.0	炉石1
図II 26 16	II-247	CH-7	床	石鏃	頁岩	4.26	1.42	0.51	3.0	
図II 26 17	II-247	CH-7	床	石鏃	頁岩	2.83	1.52	0.64	2.5	
図II 26 18	II-247	CH-7	床	スクレイパー	頁岩	6.14	3.14	1.11	21.9	
図II 26 19	II-247	CH-7	床	スクレイパー	頁岩	7.83	4.11	1.24	41.1	

掲載図番号	写真図版	遺構名	層位	分類	石材	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考	
図II 26	20	II-247	CH-7	床	Uフレイク	頁岩	12.52	4.49	1.45	75.3	
図II 26	21	II-247	CH-7	床(HP-3)	スクレイパー	頁岩	8.65	4.29	1.23	45.9	HP-3
図II 26	22	II-247	CH-7	床	石斧	片岩	9.96	4.12	1.59	114.8	
図II 26	23	II-247	CH-7	床	石斧	緑色泥岩	9.36	4.58	1.43	88.9	刃部破損
図II 26	24	II-247	CH-7	覆土1層	たたき石	砂岩	10.80	5.87	2.57	249.0	
図II 26	25	II-247	CH-7	床	扁平礫石器	砂岩	15.30	7.60	2.85	419.0	
図II 26	26	II-247	CH-7	覆土2層	扁平礫石器	デイサイト	14.52	6.14	2.91	390.0	
図II 27	3	II-247	CH-8	覆土1層	石斧	緑色泥岩	7.21	1.86	0.87	21.9	
図II 31	28	II-248	CH-9	床	石鏃	頁岩	3.10	1.17	0.37	1.3	
図II 31	29	II-248	CH-9	床	石鏃	頁岩	(3.74)	1.26	0.60	(3.1)	
図II 31	30	II-248	CH-9	床	スクレイパー	頁岩	5.91	2.93	0.48	14.2	
図II 31	31	II-248	CH-9	床	スクレイパー	頁岩	5.74	4.00	17.60	37.2	
図II 31	32	II-248	CH-9	床	スクレイパー	頁岩	(5.95)	3.60	1.08	(27.8)	
図II 31	33	II-248	CH-9	床	石斧	緑色泥岩	(10.71)	4.69	1.65	136.0	
図II 31	34	II-248	CH-9	覆土1層	たたき石	砂岩	11.92	5.51	5.57	542.2	
図II 31	35	II-248	CH-9	床	たたき石	珪岩	8.49	6.47	3.45	260.0	
図II 31	36	II-248	CH-9	覆土2層	扁平打製石器	玄武岩	17.50	8.54	3.44	770.0	
図II 33	39	II-248	CH-9	床	台石・石皿	デイサイト	(21.20)	(19.40)	6.40	(3,590.0)	
図II 33	40	II-248	CH-9	覆土2層	台石・石皿	石英安山岩	50.80	27.80	8.00	11,400.0	CH-78,90と接合(II-67-123-IIIとも接合)(3点掲載)
図II 33	41	II-248	CH-9	床	台石・石皿	石英安山岩	46.00	14.60	9.90	9,900.0	
図II 34	4	II-249	CH-10	床	すり石	流紋岩	13.20	1,165.00	2.30	439.0	
図II 34	5	II-249	CH-10	床(HP-10)	台石・石皿	デイサイト	(22.00)	21.70	9.80	(5,500.0)	HP-10
図II 37	12	II-250	CH-11	床	ポイント・ナイフ	頁岩	9.18	3.46	1.13	36.5	
図II 37	13	II-250	CH-11	床	石鏃	頁岩	3.16	1.41	0.37	1.6	
図II 37	14	II-250	CH-11	床	石鏃	頁岩	2.72	0.95	0.38	1.0	
図II 37	15	II-250	CH-11	床	スクレイパー	頁岩	9.33	2.28	0.75	19.9	
図II 37	16	II-250	CH-11	床(HP-14)	Uフレイク	頁岩	7.20	4.70	2.30	53.3	
図II 37	17	II-250	CH-11	床	石斧	緑色泥岩	8.27	4.43	2.60	150.6	
図II 37	18	II-250	CH-11	床	石斧	緑色泥岩	12.00	3.80	1.70	128.3	
図II 37	19	II-250	CH-11	床	台石・石皿	デイサイト	41.10	30.40	11.30	17,700.0	No.64と65接合
図II 37	20	II-250	CH-11	床	台石・石皿	デイサイト	(15.00)	(17.40)	10.30	(5,220.0)	
図II 38	21	II-250	CH-11	床	たたき石	砂岩	13.70	9.00	4.15	788.0	
図II 38	22	II-250	CH-11	床(HF-2)	すり石	閃緑岩	17.33	8.10	3.80	845.0	HF-2 炉石
図II 38	23	II-250	CH-11	床(HF-2)	加工痕のある礫	流紋岩	18.20	10.40	2.90	615.0	HF-2 炉石 接合
図II 46	25	II-251	CH-12	覆土2層	石鏃	頁岩	6.30	1.37	1.07	9.2	
図II 46	26	II-251	CH-12	床	スクレイパー	頁岩	6.05	5.00	1.16	37.1	
図II 46	27	II-251	CH-12	覆土3層	たたき石	珪岩	8.29	6.40	4.30	324.0	
図II 46	28	II-251	CH-12	-	すり石	流紋岩	10.80	8.70	1.40	148.0	
図II 46	29	II-251	CH-12	床	石斧	砂岩	15.84	5.05	1.62	242.0	
図II 46	30	II-251	CH-12	床	たたき石	流紋岩	14.39	7.98	4.49	730.0	一括土器2
図II 46	31	II-251	CH-12	床	台石・石皿	砂岩	32.20	19.30	5.90	6,000.0	
図II 53	27	II-252	CH-13	覆土2層	ポイント・ナイフ	頁岩	6.27	2.90	0.86	15.4	
図II 53	28	II-252	CH-13	覆土1層	つまみ付ナイフ	頁岩	6.54	4.02	0.55	13.1	
図II 53	29	II-252	CH-13	床	スクレイパー	頁岩	6.42	4.63	0.58	19.8	
図II 53	30	II-252	CH-13	床	Uフレイク	頁岩	9.45	5.90	1.40	72.5	
図II 53	31	II-252	CH-13	床	スクレイパー	頁岩	8.05	4.00	1.55	48.5	未製品
図II 53	32	II-252	CH-13	床	石斧	緑色泥岩	10.35	4.60	1.50	102.3	CH-89-20と接合
図II 53	33	II-252	CH-13	覆土5層	たたき石	砂岩	5.98	5.49	4.01	142.8	
図II 53	34	II-252	CH-13	覆土2層	たたき石	砂岩	10.77	4.88	3.07	295.0	
図II 53	35	II-252	CH-13	床	すり石	砂岩	15.60	8.60	4.50	790.0	
図II 53	36	II-252	CH-13	覆土2・3層	礫石器	角閃石安山岩	31.40	14.20	12.20	7,000.0	
図II 57	18	II-252	CH-14	床	ポイント・ナイフ	頁岩	6.26	2.72	0.87	12.5	
図II 57	19	II-252	CH-14	床	スクレイパー	頁岩	4.81	3.59	0.35	9.5	
図II 57	20	II-252	CH-14	床	スクレイパー	頁岩	4.40	6.50	1.30	35.6	
図II 57	21	II-252	CH-14	覆土2層	たたき石	砂岩	(12.36)	7.66	(4.42)	(402.0)	
図II 66	42	II-253	CH-15	HP-26覆土1層	石鏃	頁岩	(2.85)	1.15	0.25	(0.9)	HP-26
図II 66	43	II-253	CH-15	床	石鏃	頁岩	2.68	12.90	0.54	1.7	
図II 66	44	II-253	CH-15	床	石鏃	頁岩	5.07	1.29	0.47	3.3	
図II 66	45	II-253	CH-15	覆土1層	つまみ付ナイフ	頁岩	9.79	3.44	0.67	30.6	
図II 66	46	II-253	CH-15	床	石鏃	頁岩	7.24	4.15	0.84	25.6	
図II 66	47	II-253	CH-15	床	石鏃	頁岩	8.23	6.27	1.32	52.2	
図II 66	48	II-253	CH-15	床	スクレイパー	頁岩	5.68	3.03	1.25	27.1	
図II 66	49	II-253	CH-15	床	スクレイパー	頁岩	7.55	4.81	0.82	36.8	
図II 66	50	II-253	CH-15	床	スクレイパー	頁岩	6.89	6.08	1.36	51.9	
図II 66	51	II-253	CH-15	床	石斧	緑色泥岩	(4.81)	6.48	2.06	(104.1)	刃部片
図II 66	52	II-253	CH-15	床	石斧	変ハンレイ岩?	12.98	4.71	1.70	161.0	
図II 66	53	II-253	CH-15	床	たたき石	珪岩	9.05	7.10	3.97	307.0	
図II 66	54	II-253	CH-15	床	扁平打製石器	流紋岩?	16.80	9.25	3.00	615.0	
図II 66	55	II-253	CH-15	床	扁平打製石器	流紋岩	11.96	7.81	1.58	182.1	
図II 67	56	II-253	CH-15	覆土1層	すり石	砂岩	24.40	7.20	6.00	1,160.0	
図II 67	57	II-253	CH-15	覆土1層	砥石	砂岩	16.90	12.60	2.20	421.0	CH-83-53と接合
図II 67	58	II-254	CH-15	床	台石・石皿	デイサイト	29.40	32.10	14.60	12,800.0	

第1分冊（文章編）

掲載図番号	写真図版	遺構名	層位	分類	石材	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考
図II 67 59	II-254	CH-15	床	台石・石皿	デイサイト	(23.90)	21.70	0.24	(8,600.0)	
図II 67 60	II-254	CH-15	床	台石・石皿	砂岩	31.80	19.00	9.60	8,900.0	
図II 68 61	II-254	CH-15	床	台石・石皿	砂岩	(18.00)	(15.20)	9.30	(3,350.0)	
図II 68 62	II-254	CH-15	床	台石・石皿	デイサイト	(17.50)	(25.30)	14.00	(8,600.0)	
図II 68 63	II-255	CH-15	床	台石・石皿	デイサイト	62.40	33.10	15.50	50,300.0	
図II 68 64	II-255	CH-15	床	台石・石皿	角閃石安山岩	35.80	16.40	8.80	5,700.0	
図II 79 69	II-256	CH-16	床	石鏝	頁岩	3.91	14.20	0.54	3.1	
図II 79 70	II-256	CH-16	床	石鏝	頁岩	3.92	1.35	0.37	2.4	
図II 79 71	II-256	CH-16	覆土1層	ポイント・ナイフ	頁岩	4.96	2.69	0.73	9.2	
図II 79 72	II-256	CH-16	床	ポイント・ナイフ	頁岩	10.44	3.00	1.36	46.4	
図II 79 73	II-256	CH-16	床	スクレイパー	頁岩	7.79	4.55	1.49	63.5	
図II 79 74	II-256	CH-16	床	スクレイパー	頁岩	6.64	3.79	0.86	30.2	
図II 79 75	II-256	CH-16	床	スクレイパー	頁岩	8.20	5.04	1.71	90.9	
図II 79 76	II-256	CH-16	床	スクレイパー	頁岩	7.48	4.49	1.04	40.3	
図II 79 77	II-256	CH-16	床	スクレイパー	頁岩	11.24	4.74	1.18	89.8	
図II 79 78	II-256	CH-16	床	スクレイパー	頁岩	9.74	5.61	1.56	90.7	
図II 79 79	II-256	CH-16	床	石斧	緑色泥岩	10.90	4.40	1.50	102.5	
図II 79 80	II-256	CH-16	床	石斧	緑色泥岩	(12.64)	4.92	2.42	(275.0)	刃部欠
図II 79 81	II-256	CH-16	床	石斧	緑色泥岩	7.99	4.24	1.23	69.6	
図II 80 82	II-256	CH-16	覆土1層	たたき石	砂岩	13.73	5.23	3.11	395.0	
図II 80 83	II-256	CH-16	HP-8 覆土1層	たたき石	砂岩	6.84	6.36	4.36	253.0	HP-8
図II 80 84	II-256	CH-16	床	たたき石	砂岩	12.08	7.03	4.49	488.0	
図II 80 85	II-256	CH-16	床	すり石	砂岩	14.01	6.67	3.62	430.0	
図II 80 86	II-256	CH-16	床	すり石	流紋岩	12.43	8.27	4.56	595.0	
図II 80 87	II-257	CH-16	床	砥石	砂岩	(21.20)	(13.30)	(8.80)	(1,760.0)	
図II 80 88	II-257	CH-16	覆土1層	砥石	砂岩	28.80	22.20	3.70	3,000.0	
図II 83 11	II-258	CH-17	床	スクレイパー	頁岩	8.09	5.98	1.66	81.6	
図II 83 12	II-258	CH-17	床(HP-6-2)	スクレイパー	頁岩	5.30	(5.10)	1.10	(27.7)	HP-6-2
図II 83 13	II-258	CH-17	床	石斧	緑色泥岩	7.50	3.78	1.26	47.3	
図II 84 14	II-258	CH-17	床	扁平打製石器	砂岩	15.61	7.68	3.32	510.0	
図II 84 15	II-258	CH-17	床(HP-37)	扁平打製石器	砂岩	13.53	7.27	3.94	527.0	HP-37
図II 84 16	II-258	CH-17	床	台石・石皿	安山岩	36.40	24.00	15.40	17,880.0	No.168
図II 84 17	II-258	CH-17	床	台石・石皿	安山岩	44.80	38.80	14.60	26,180.0	No.167
図II 92 47	II-259	CH-18	床(HP-1)	石鏝	頁岩	3.35	1.12	0.43	1.3	HP-1
図II 92 48	II-259	CH-18	床	石鏝	頁岩	4.40	1.19	0.45	2.5	
図II 92 49	II-259	CH-18	床	石鏝	頁岩	3.49	1.58	0.55	2.9	
図II 92 50	II-259	CH-18	覆土1層	ポイント・ナイフ	頁岩	6.88	1.68	0.78	9.2	
図II 92 51	II-259	CH-18	床	スクレイパー	頁岩	7.60	2.95	0.76	23.6	
図II 92 52	II-259	CH-18	床	スクレイパー	頁岩	9.17	6.43	1.25	86.0	
図II 92 53	II-259	CH-18	覆土3層	スクレイパー	頁岩	8.80	4.24	1.18	61.9	
図II 92 54	II-259	CH-18	覆土3層	スクレイパー	頁岩	8.82	5.47	1.47	91.2	
図II 92 55	II-259	CH-18	覆土3層	スクレイパー	頁岩	8.78	5.09	0.99	47.8	
図II 92 56	II-259	CH-18	覆土1層	石斧	緑色泥岩	7.75	1.81	7.60	22.0	
図II 92 57	II-259	CH-18	床	石斧	緑色泥岩	(12.11)	5.08	1.55	(162.8)	
図II 92 58	II-259	CH-18	床	たたき石	砂岩	11.80	7.90	4.90	600.0	
図II 92 59	II-259	CH-18	床	石鏝	流紋岩	4.77	4.71	1.26	35.3	
図II 93 60	II-259	CH-18	床	扁平礫石器	玄武岩	13.13	5.55	2.21	273.0	
図II 93 61	II-259	CH-18	床	扁平礫石器	砂岩	15.15	7.60	3.10	498.0	
図II 93 62	II-259	CH-18	覆土1層	扁平礫石器	砂岩	14.60	9.13	3.10	720.0	
図II 93 63	II-259	CH-18	床	扁平礫石器	流紋岩	15.50	10.14	3.21	672.0	
図II 93 67	-	CH-18	床	礫	砂岩	6.32	3.60	3.34	110.1	HS-1
図II 93 68	-	CH-18	床	礫	砂岩	6.58	4.90	3.46	152.4	HS-1
図II 93 69	-	CH-18	床	礫	砂岩	6.28	4.18	2.51	95.7	HS-1
図II 93 70	-	CH-18	床	礫	砂岩	5.53	4.44	2.56	80.8	HS-1
図II 93 71	-	CH-18	床	礫	砂岩	5.02	3.73	3.16	77.7	HS-1
図II 93 72	-	CH-18	床	礫	砂岩	5.60	4.97	3.22	134.0	HS-1
図II 93 73	-	CH-18	床	礫	砂岩	6.71	4.56	3.99	167.8	HS-1
図II 93 74	-	CH-18	床	礫	砂岩	5.39	4.97	4.01	114.1	HS-1
図II 93 75	-	CH-18	床	礫	砂岩	6.25	4.56	2.52	96.7	HS-1
図II 93 76	-	CH-18	床	礫	砂岩	6.93	4.71	2.49	117.8	HS-1
図II 93 77	-	CH-18	床	礫	砂岩	6.09	4.72	3.99	136.9	HS-1
図II 93 78	-	CH-18	床	礫	砂岩	6.02	4.33	3.33	111.3	HS-2
図II 93 79	-	CH-18	床	礫	砂岩	5.15	4.52	3.10	91.4	HS-2
図II 93 80	-	CH-18	床	礫	砂岩	6.00	5.60	4.80	200.5	HS-2
図II 93 81	-	CH-18	床	礫	砂岩	6.42	4.43	3.16	97.5	HS-2
図II 93 82	-	CH-18	床	礫	砂岩	7.02	4.82	2.19	86.9	HS-2
図II 93 83	-	CH-18	床	礫	砂岩	5.38	4.78	4.18	112.4	HS-2
図II 93 84	-	CH-18	床	礫	砂岩	5.25	4.25	3.21	107.5	HS-2
図II 94 85	-	CH-18	床	礫	砂岩	6.45	4.45	2.36	79.7	HS-2
図II 94 86	-	CH-18	床	礫	泥岩	5.71	3.72	2.73	69.8	HS-2
図II 94 87	-	CH-18	床	礫	泥岩	6.23	4.16	3.22	106.2	HS-2
図II 94 88	-	CH-18	床	礫	泥岩	6.00	5.08	2.80	99.9	HS-2

掲載図番号	写真図版	遺構名	層位	分類	石材	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考
図II 94 89	—	CH-18	床	礫	砂岩	6.19	4.65	3.62	153.2	HS-2
図II 94 90	—	CH-18	床	礫	頁岩	5.88	4.33	2.46	76.0	HS-2
図II 94 91	—	CH-18	床	礫	砂岩	6.85	4.50	2.75	110.0	HS-2
図II 94 92	—	CH-18	床	礫	砂岩	6.20	4.84	2.93	120.4	HS-2
図II 94 93	—	CH-18	床	礫	砂岩	6.61	4.45	2.28	90.3	HS-2
図II 94 94	—	CH-18	床	礫	砂岩	7.63	5.11	3.91	250.0	HS-2
図II 94 95	—	CH-18	床	礫	砂岩	6.46	4.82	2.68	110.0	HS-2
図II 94 96	—	CH-18	床	礫	砂岩	6.24	6.16	2.87	143.9	HS-2
図II 94 97	—	CH-18	床	礫	砂岩	6.40	4.53	3.10	111.0	HS-2
図II 94 98	—	CH-18	床	礫	砂岩	5.52	4.33	2.87	94.5	HS-2
図II 94 99	—	CH-18	床	礫	砂岩	5.79	4.62	2.24	81.0	HS-2
図II 94 100	—	CH-18	床	礫	砂岩	4.67	3.91	3.41	88.2	HS-2
図II 94 101	—	CH-18	床	礫	砂岩	5.87	4.07	2.59	88.9	HS-2
図II 94 102	—	CH-18	床	礫	チャート	5.78	4.13	2.50	91.7	HS-2
図II 94 103	—	CH-18	床	礫	砂岩	5.94	4.58	4.31	169.2	HS-2
図II 94 104	—	CH-18	床	礫	砂岩	6.67	4.16	3.57	135.8	HS-3
図II 94 105	—	CH-18	床	礫	砂岩	5.85	5.24	3.93	154.6	HS-3
図II 94 106	—	CH-18	床	礫	砂岩	6.21	4.32	3.16	110.9	HS-3
図II 94 107	—	CH-18	床	礫	砂岩	5.75	2.86	2.35	138.9	HS-3
図II 94 108	—	CH-18	床	礫	砂岩	5.65	5.17	3.75	140.2	HS-3
図II 94 109	—	CH-18	床	礫	砂岩	5.58	4.26	3.77	99.6	HS-3
図II 94 110	—	CH-18	床	礫	砂岩	5.19	3.96	2.21	60.8	HS-3
図II 94 111	—	CH-18	床	礫	砂岩	6.29	4.78	3.55	153.7	HS-3
図II 94 112	—	CH-18	床	礫	砂岩	6.21	5.11	2.82	113.7	HS-3
図II 94 113	—	CH-18	床	礫	砂岩	4.54	3.96	2.78	82.2	HS-3
図II 94 114	—	CH-18	床	礫	砂岩	5.52	4.15	3.65	110.6	HS-3
図II 94 115	—	CH-18	床	礫	砂岩	4.95	4.40	2.95	96.4	HS-3
図II 94 116	—	CH-18	床	礫	砂岩	4.33	4.25	2.95	78.2	HS-3
図II 94 117	—	CH-18	床	礫	砂岩	6.05	5.54	3.24	142.5	HS-3
図II 94 118	—	CH-18	床	礫	珪岩	6.54	5.24	3.56	163.1	HS-3
図II 96 11	II-260	CH-19	床	石鏝	頁岩	3.79	1.39	0.45	2.7	
図II 96 12	II-260	CH-19	床	スクレイパー	頁岩	8.20	3.99	0.96	30.2	
図II 96 13	II-260	CH-19	床	扁平打製石器	流紋岩	13.60	9.50	2.10	345.0	
図II 96 14	II-260	CH-19	床	砥石	砂岩	9.05	5.30	1.17	66.0	
図II 102 10	II-260	CH-20	床	ポイント・ナイフ	頁岩	5.25	2.00	0.42	6.6	
図II 102 11	II-260	CH-20	床	石錐	頁岩	5.60	1.80	1.85	8.1	
図II 102 12	II-260	CH-20	床	つまみ付ナイフ	黒曜石	5.39	2.66	0.83	12.9	
図II 102 13	II-260	CH-20	床	スクレイパー	頁岩	0.05	4.09	1.14	31.0	
図II 102 14	II-260	CH-20	床	たたき石	珪岩	9.41	7.59	4.63	470.0	
図II 102 15	II-260	CH-20	床	扁平打製石器	流紋岩	15.60	11.45	2.40	480.0	
図II 102 16	II-260	CH-20	床	すり石	砂岩	9.95	5.51	2.08	168.5	被熱
図II 103 6	II-260	CH-21	床	台石・石皿	砂岩	30.40	31.80	10.60	15,100.0	No.77
図II 103 46	II-261	CH-22	床	石鏝	頁岩	2.95	1.28	0.28	1.2	
図II 103 47	II-261	CH-22	覆土2層	ポイント・ナイフ	頁岩	12.01	3.38	1.48	62.9	
図II 103 48	II-261	CH-22	床	スクレイパー	頁岩	7.06	2.04	0.67	10.3	
図II 103 49	II-261	CH-22	床	スクレイパー	頁岩	6.63	5.33	1.19	55.7	
図II 103 50	II-261	CH-22	床	スクレイパー	頁岩	7.17	4.04	0.71	24.2	
図II 103 51	II-261	CH-22	覆土2層	異形石器	頁岩	7.48	2.45	0.94	17.3	
図II 114 52	II-261	CH-22	床	石斧	緑色泥岩	8.07	2.91	1.08	38.8	
図II 114 53	II-261	CH-22	床	たたき石	流紋岩	15.22	4.90	2.70	300.0	
図II 114 54	II-261	CH-22	覆土3層	たたき石	流紋岩	9.16	8.39	6.41	605.0	
図II 114 55	II-261	CH-22	HP-3覆土1層	北海道式石冠	玄武岩	11.18	7.20	4.80	603.0	HP-3
図II 114 56	II-261	CH-22	床	すり石	砂岩	9.45	4.99	4.61	288.0	
図II 114 57	II-261	CH-22	床	すり石	砂岩	12.40	6.80	3.18	460.0	
図II 114 58	II-261	CH-22	床	台石・石皿	デイサイト	(15.84)	(11.00)	(5.80)	(1,600.0)	
図II 114 59	II-261	CH-22	床	台石・石皿	デイサイト	(29.00)	(14.72)	(3.61)	(2,130.0)	
図II 114 60	II-261	CH-22	床	台石・石皿	デイサイト	(24.80)	(10.78)	3.30	(1,240.0)	
図II 114 61	II-262	CH-22	床	台石・石皿	デイサイト	(26.30)	(24.40)	3.50	(2,390.0)	
図II 115 62	II-262	CH-22	床	台石・石皿	デイサイト	(20.50)	(19.59)	8.50	(4,500.0)	Po-6
図II 115 63	II-262	CH-22	床	台石・石皿	デイサイト	(18.00)	(16.70)	6.50	(2,610.0)	
図II 115 64	II-262	CH-22	床	台石・石皿	デイサイト	(28.00)	(21.55)	5.00	(4,680.0)	
図II 115 65	II-262	CH-22	床	台石・石皿	砂岩	9.30	8.10	1.50	155.0	
図II 115 66	II-263	CH-22	床	台石・石皿	デイサイト	(25.00)	(22.60)	11.30	(8,300.0)	
図II 115 67	II-263	CH-22	床	台石・石皿	砂岩	31.40	19.20	8.80	5,900.0	被熱
図II 116 2	II-263	CH-23	床	石鏝	頁岩	4.43	1.33	0.43	2.5	
図II 116 3	II-263	CH-23	床	たたき石	砂岩	24.50	7.52	5.33	1,350.0	
図II 121 16	II-264	CH-24	床	ポイント・ナイフ	頁岩	6.45	3.66	0.95	23.9	
図II 121 17	II-264	CH-24	床	石鏝	頁岩	3.36	1.47	0.50	2.6	
図II 121 18	II-264	CH-24	床	石鏝	花崗閃緑岩	2.73	1.47	(0.25)	(0.9)	
図II 121 19	II-264	CH-24	床	スクレイパー	頁岩	7.24	4.88	1.05	40.3	
図II 121 20	II-264	CH-24	HP-37覆土1層	スクレイパー	頁岩	5.59	3.83	1.25	26.8	HP-37
図II 121 21	II-264	CH-24	床	石斧	緑色泥岩	(6.55)	4.35	1.12	(54.7)	

第1分冊（文章編）

掲載図番号	写真図版	遺構名	層位	分類	石材	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考
図II 121 22	II-264	CH-24	床	たたき石	珪岩	9.33	7.88	4.70	350.0	
図II 121 23	II-264	CH-24	床	すり石	砂岩	11.05	6.74	3.37	378.0	
図II 121 24	II-264	CH-24	床	たたき石	砂岩	16.30	9.00	4.40	888.0	
図II 121 25	II-264	CH-24	床	北海道式石冠	安山岩	(12.17)	8.91	5.80	(808.0)	
図II 121 26	II-264	CH-24	床	すり石	砂岩	8.09	7.24	4.09	360.0	
図II 121 27	II-264	CH-24	床	扁平打製石器	流紋岩	15.50	9.30	1.94	430.0	
図II 121 28	II-264	CH-24	覆土1層	台石・石皿	砂岩	19.60	21.30	3.70	2,110.0	
図II 122 29	II-264	CH-24	床	すり石	頁岩	11.80	3.50	6.20	274.0	
図II 122 30	II-264	CH-24	床	すり石	泥岩	14.80	3.40	7.50	448.0	No.374・375・376接合
図II 123 31	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	10.74	8.93	8.65	1,115.0	HS-1
図II 123 32	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	8.74	6.74	3.59	299.0	HS-1
図II 123 33	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	7.23	5.53	3.94	193.3	HS-1
図II 123 34	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	8.49	5.80	3.87	258.0	HS-1
図II 123 35	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	8.62	7.11	3.19	238.0	HS-1
図II 123 36	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	6.84	6.16	4.46	233.0	HS-1
図II 123 37	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	5.89	5.84	3.87	166.7	HS-1
図II 123 38	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	6.45	5.18	5.64	219.0	HS-1
図II 123 39	—	CH-24	覆土1層	礫	泥岩	6.83	(4.74)	3.51	(130.6)	HS-1
図II 123 40	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	5.78	4.87	2.87	94.1	HS-1
図II 123 41	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.91	4.57	3.31	87.8	HS-1
図II 123 42	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	5.20	4.30	3.42	82.4	HS-1
図II 123 43	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.65	4.41	3.83	75.9	HS-1
図II 123 44	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.99	4.12	2.12	62.7	HS-1
図II 123 45	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	5.05	3.77	2.67	66.4	HS-1
図II 123 46	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.45	3.42	1.85	41.4	HS-1
図II 123 47	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.92	3.12	1.88	35.6	HS-1
図II 123 48	—	CH-24	覆土1層	礫	珪岩	4.13	2.63	2.26	35.3	HS-1
図II 123 49	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	5.04	3.52	2.41	57.9	HS-1
図II 123 50	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	3.89	3.70	2.63	56.6	HS-1
図II 123 51	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.47	3.57	2.16	49.2	HS-1
図II 123 52	—	CH-24	覆土1層	礫	デイスイト	4.47	4.39	2.38	61.6	HS-1
図II 123 53	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.68	4.19	1.72	40.2	HS-1
図II 123 54	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.70	3.88	2.18	47.1	HS-1
図II 123 55	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.49	3.56	1.82	41.0	HS-1
図II 123 56	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.81	3.57	2.53	58.6	HS-1
図II 123 57	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.57	4.24	2.08	47.6	HS-1
図II 123 58	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.27	3.76	1.64	32.1	HS-1
図II 123 59	—	CH-24	覆土1層	礫	礫岩	4.22	4.19	2.34	46.6	HS-1
図II 123 60	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	3.84	3.36	2.55	45.4	HS-1
図II 123 61	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.28	4.27	1.64	37.7	HS-1
図II 123 62	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.77	3.53	2.20	45.8	HS-1
図II 124 63	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.09	3.96	2.01	39.0	HS-1
図II 124 64	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.26	3.33	2.50	46.0	HS-1
図II 124 65	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.23	3.39	2.08	42.8	HS-1
図II 124 66	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.45	3.69	1.76	35.8	HS-1
図II 124 67	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	3.70	3.56	1.81	35.7	HS-1
図II 124 68	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	3.88	3.56	2.09	33.8	HS-1
図II 124 69	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	3.73	2.90	2.81	39.5	HS-1
図II 124 70	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	3.85	2.86	1.72	26.6	HS-1
図II 124 71	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	3.73	3.05	1.83	28.7	HS-1
図II 124 72	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	3.29	2.94	1.40	18.3	HS-1
図II 124 73	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	3.29	2.36	1.77	18.9	HS-1
図II 124 74	—	CH-24	覆土1層	礫	泥岩	(3.34)	(2.43)	17.70	(13.2)	HS-1
図II 124 75	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	3.58	2.52	1.89	23.3	HS-1
図II 124 76	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	3.43	2.63	1.46	18.2	HS-1
図II 124 77	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	3.65	2.65	1.75	22.7	HS-1
図II 124 78	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	3.14	2.81	1.57	19.8	HS-1
図II 124 79	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	3.34	2.90	1.60	20.2	HS-1
図II 124 80	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	2.70	2.61	1.97	18.5	HS-1
図II 124 81	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	3.44	3.14	1.65	22.4	HS-1
図II 124 82	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	3.24	2.42	1.96	16.2	HS-1
図II 124 83	—	CH-24	覆土1層	礫	泥岩	3.49	2.58	1.40	16.8	HS-1
図II 124 84	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	3.35	2.39	1.77	18.7	HS-1
図II 124 85	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	3.19	2.56	1.97	21.2	HS-1
図II 124 86	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	3.19	2.64	1.48	14.2	HS-1
図II 124 87	—	CH-24	覆土1層	礫	泥岩	(3.30)	1.95	(1.56)	(12.4)	HS-1
図II 124 88	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	3.00	2.77	1.73	15.5	HS-1
図II 124 89	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	6.06	(5.81)	3.74	(122.3)	HS-1
図II 124 90	—	CH-24	床	礫	砂岩	9.68	8.49	5.36	440.0	HS-4
図II 124 91	—	CH-24	床	礫	砂岩	7.85	7.34	4.45	346.0	HS-4
図II 124 92	—	CH-24	床	礫	砂岩	7.49	7.15	4.72	326.0	HS-4
図II 124 93	—	CH-24	床	礫	砂岩	7.58	5.40	4.44	253.0	HS-4

掲載図番号	写真図版	遺構名	層位	分類	石材	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考
図II 124 94	—	CH-24	床	礫	砂岩	8.85	7.10	4.21	340.0	HS-4
図II 124 95	—	CH-24	床	礫	砂岩	8.87	6.27	4.26	315.0	HS-4
図II 124 96	—	CH-24	床	礫	デイスイト	8.98	6.18	4.86	302.0	HS-4
図II 124 97	—	CH-24	床	礫	砂岩	7.23	5.74	3.97	227.0	HS-4
図II 124 98	—	CH-24	床	礫	チャート	7.43	7.23	3.03	248.0	HS-4
図II 124 99	—	CH-24	床	礫	砂岩	8.45	7.52	3.02	210.0	HS-4
図II 125 100	—	CH-24	床	礫	砂岩	8.86	5.81	4.55	294.0	HS-4
図II 125 101	—	CH-24	床	礫	砂岩	8.74	5.57	3.13	308.0	HS-4
図II 125 102	—	CH-24	床	礫	砂岩	7.97	6.30	3.49	210.0	HS-4
図II 125 103	—	CH-24	床	礫	砂岩	7.29	6.11	3.97	261.0	HS-4
図II 125 104	—	CH-24	床	礫	砂岩	8.13	5.90	5.13	317.0	HS-4
図II 125 105	—	CH-24	床	礫	砂岩	7.06	6.79	3.81	230.0	HS-4
図II 125 106	—	CH-24	床	礫	砂岩	7.67	5.16	3.29	193.3	HS-4
図II 125 107	—	CH-24	床	礫	砂岩	8.06	6.16	2.97	214.0	HS-4
図II 125 108	—	CH-24	床	礫	砂岩	7.06	5.89	4.07	193.5	HS-4
図II 125 109	—	CH-24	床	礫	砂岩	8.04	5.24	3.12	156.0	HS-4
図II 125 110	—	CH-24	床	礫	砂岩	6.42	5.73	3.51	186.9	HS-4
図II 125 111	—	CH-24	床	礫	流紋岩?	7.18	5.32	4.25	195.0	HS-4
図II 125 112	—	CH-24	床	礫	砂岩	7.80	6.48	4.54	252.0	HS-4
図II 125 113	—	CH-24	床	礫	砂岩	7.60	5.48	3.42	208.0	HS-4
図II 125 114	—	CH-24	床	礫	砂岩	6.75	5.58	2.49	156.9	HS-4
図II 125 115	—	CH-24	床	礫	砂岩	8.06	5.27	2.62	145.4	HS-4
図II 125 116	—	CH-24	床	礫	砂岩	6.40	5.58	4.10	201.0	HS-4
図II 125 117	—	CH-24	床	礫	砂岩	8.38	5.53	3.17	159.6	HS-4
図II 125 118	—	CH-24	床	礫	砂岩	4.39	3.51	3.73	75.3	HS-4
図II 125 119	—	CH-24	床	礫	砂岩	4.35	4.07	2.59	58.4	HS-4
図II 125 120	—	CH-24	床	礫	砂岩	5.27	4.24	2.65	75.5	HS-4
図II 125 121	—	CH-24	床	礫	砂岩	5.30	4.65	1.89	61.5	HS-4
図II 125 122	—	CH-24	床	礫	砂岩	4.92	3.64	2.14	51.0	HS-4
図II 125 123	—	CH-24	床	礫	泥岩	4.81	3.94	3.69	77.5	HS-4
図II 125 124	—	CH-24	床	礫	砂岩	5.39	4.53	2.03	59.1	HS-4
図II 125 125	—	CH-24	床	礫	砂岩	5.00	3.48	3.24	78.5	HS-4
図II 125 126	—	CH-24	床	礫	砂岩	4.04	3.85	2.46	44.9	HS-4
図II 125 127	—	CH-24	床	礫	泥岩	4.53	2.88	1.18	25.8	HS-4
図II 125 128	—	CH-24	床	礫	砂岩	3.60	3.02	1.63	24.6	HS-4
図II 125 129	—	CH-24	床	礫	砂岩	3.77	2.88	1.49	23.1	HS-4
図II 125 130	—	CH-24	床	礫	泥岩	2.49	2.30	1.42	10.7	HS-4
図II 125 131	—	CH-24	床	礫	泥岩	5.38	4.70	2.17	47.0	HS-4
図II 126 132	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.12	3.45	1.95	37.5	HS-3
図II 126 133	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.23	2.92	3.05	54.0	HS-3
図II 126 134	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.07	3.98	2.60	58.4	HS-3
図II 126 135	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.64	4.53	1.89	57.4	HS-3
図II 126 136	—	CH-24	覆土1層	礫	凝灰岩?	5.07	3.86	2.82	55.2	HS-3
図II 126 137	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	5.03	3.95	2.94	77.7	HS-3
図II 126 138	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.36	3.03	2.92	50.9	HS-3
図II 126 139	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.76	3.60	2.28	59.2	HS-3
図II 126 140	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.52	4.32	2.83	57.1	HS-3
図II 126 141	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	(4.17)	3.96	2.11	(44.4)	HS-3
図II 126 142	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.42	3.25	2.54	52.1	HS-3
図II 126 143	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	3.95	3.14	2.20	45.8	HS-3
図II 126 144	—	CH-24	覆土1層	礫	砂岩	4.01	3.76	2.58	51.5	HS-3
図II 126 145	—	CH-24	覆土	礫	泥岩	8.20	5.69	3.94	252.0	HP-3
図II 126 146	—	CH-24	覆土	礫	砂岩	6.02	4.40	3.03	107.8	HP-3
図II 126 147	—	CH-24	覆土	礫	砂岩	4.31	3.63	3.13	70.9	HP-3
図II 126 148	—	CH-24	覆土	礫	砂岩	4.48	3.63	2.62	53.4	HP-3
図II 126 149	—	CH-24	覆土	礫	砂岩	5.13	4.05	3.45	84.2	HP-3
図II 126 150	—	CH-24	覆土	礫	砂岩	7.90	5.70	3.98	312.0	HP-3
図II 126 151	—	CH-24	覆土	礫	砂岩	6.25	5.80	3.60	158.8	HP-3
図II 126 152	—	CH-24	覆土	礫	砂岩	3.99	3.69	2.88	58.0	HP-3
図II 126 153	—	CH-24	覆土	礫	砂岩	3.45	2.91	2.52	31.5	HP-3
図II 126 154	—	CH-24	覆土	礫	砂岩	3.10	2.58	1.77	17.6	HP-3
図II 126 155	—	CH-24	覆土	礫	流紋岩	6.91	7.09	3.94	171.8	HP-3
図II 126 156	—	CH-24	覆土	礫	砂岩	4.19	3.58	2.88	52.6	HP-3
図II 126 157	—	CH-24	覆土	礫	砂岩	3.72	2.91	2.14	34.8	HP-3
図II 126 158	—	CH-24	覆土	礫	砂岩	4.63	3.65	2.98	68.2	HP-3
図II 126 159	—	CH-24	覆土	礫	凝灰岩?	3.35	3.06	1.61	14.5	HP-3
図II 126 160	—	CH-24	覆土	礫	砂岩	4.55	3.53	3.15	66.9	HP-3
図II 126 161	—	CH-24	覆土	礫	砂岩	3.44	2.86	1.94	27.6	HP-3
図II 133 31	II-265	CH-25	床	ポイント・ナイフ	頁岩	7.34	2.91	0.71	18.0	
図II 133 32	II-265	CH-25	床	ポイント・ナイフ	頁岩	8.17	3.13	1.05	24.6	
図II 133 33	II-265	CH-25	床	石鏝	頁岩	5.09	1.53	0.46	3.6	
図II 133 34	II-265	CH-25	床	石鏝	頁岩	4.22	1.50	0.38	2.7	

第1分冊（文章編）

掲載図番号	写真図版	遺構名	層位	分類	石材	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考
図II 133 35	II-265	CH-25	床	石鏝	頁岩	3.96	(1.25)	0.45	(2.6)	
図II 133 36	II-265	CH-25	床	スクレイパー	頁岩	6.13	3.37	0.79	15.4	
図II 133 37	II-265	CH-25	床	スクレイパー	頁岩	9.20	4.14	1.21	74.0	
図II 133 38	II-265	CH-25	床	スクレイパー	頁岩	6.52	4.34	0.94	31.3	
図II 133 39	II-265	CH-25	床	たたき石	粘板岩	12.40	6.75	3.90	440.0	
図II 133 40	II-265	CH-25	覆土1層	凹石	砂岩	12.40	6.35	2.90	298.0	
図II 133 41	II-265	CH-25	床	台石・石皿	砂岩	25.80	20.00	3.50	7,200.0	
図II 133 42	II-265	CH-25	床	台石・石皿	安山岩	25.60	22.40	14.50	14,000.0	
図II 133 43	II-265	CH-25	床	棒状礫	泥岩	11.50	2.50	1.20	54.4	
図II 139 17	II-266	CH-26	床	石鏝	頁岩	4.45	1.46	0.40	2.4	
図II 139 18	II-266	CH-26	床	スクレイパー	頁岩	8.26	3.95	0.80	44.9	
図II 139 19	II-266	CH-26	床	スクレイパー	頁岩	9.50	3.52	1.66	68.2	
図II 139 20	II-266	CH-26	床	スクレイパー	頁岩	7.08	4.07	1.19	39.8	
図II 139 21	II-266	CH-26	床	たたき石	砂岩	19.40	10.30	5.10	1,540.0	
図II 139 22	II-266	CH-26	床	台石・石皿	デイサイト	(17.20)	(13.00)	(6.70)	(2,380.0)	
図II 140 23	II-266	CH-26	床	台石・石皿	安山岩	30.50	26.00	9.90	9,100.0	
図II 140 24	II-266	CH-26	覆土3層	台石・石皿	石英安山岩	39.00	35.40	12.30	16,100.0	(8.57.6)kg CH-31-124と接合 (2点掲載)
図II 140 25	II-266	CH-26	床	砥石	凝灰岩	6.30	6.10	0.70	22.3	
図II 140 26	II-267	CH-26	床	扁平打製石器	デイサイト	18.60	11.00	2.90	645.0	
図II 140 27	II-267	CH-26	床	扁平打製石器	流紋岩	14.40	10.00	1.40	325.0	
図II 140 28	II-267	CH-26	床	扁平打製石器	流紋岩	14.20	10.50	1.80	388.0	
図II 140 29	II-267	CH-26	覆土1層	礫	流紋岩	22.10	7.60	2.80	513.0	
図II 142 4	II-267	CH-27	HP-1 覆土1層	石鏝	頁岩	4.00	2.11	0.44	4.4	HP-1
図II 142 5	II-267	CH-27	床	スクレイパー	頁岩	(6.48)	(3.61)	1.02	(35.4)	
図II 142 6	II-267	CH-27	HS-1	台石・石皿	石英安山岩	34.00	29.00	11.20	8,100.0	
図II 143 7	II-268	CH-27	覆土1層	台石・石皿	安山岩	50.40	36.60	35.00	27,000.0	HS-1No4 赤化
図II 143 8	II-268	CH-27	HS-1 覆土1層	台石・石皿	安山岩	47.60	32.40	11.80	18,900.0	
図II 144 5	II-269	CH-28	床	台石・石皿	デイサイト	(25.60)	(17.00)	(11.00)	(4,990.0)	
図II 148 32	II-269	CH-29	床	ポイント・ナイフ	頁岩	8.93	4.39	1.28	65.1	未成品
図II 148 33	II-269	CH-29	覆土2層	石鏝	頁岩	(3.48)	1.77	0.28	(2.0)	Po-1
図II 148 34	II-269	CH-29	覆土1層	つまみ付ナイフ	頁岩	6.41	2.86	0.44	11.5	
図II 148 35	II-269	CH-29	床	つまみ付ナイフ	頁岩	(7.19)	2.08	0.71	(10.4)	
図II 148 36	II-269	CH-29	床	スクレイパー	頁岩	10.30	5.14	1.36	96.8	
図II 148 37	II-269	CH-29	床	スクレイパー	頁岩	6.49	4.21	0.59	22.8	
図II 148 38	II-269	CH-29	床	スクレイパー	頁岩	5.83	4.18	0.67	21.8	
図II 148 39	II-269	CH-29	覆土2層	異形石器	頁岩	7.22	2.80	1.25	20.6	
図II 149 40	II-270	CH-29	床	たたき石	砂岩	15.40	7.20	5.69	912.0	
図II 149 41	II-270	CH-29	床	たたき石	珪岩	8.77	5.93	6.67	490.0	
図II 149 42	II-270	CH-29	床	たたき石	砂岩	7.48	7.08	3.70	240.0	
図II 149 43	II-270	CH-29	床	たたき石	安山岩	8.00	12.00	5.10	642.0	
図II 149 44	II-270	CH-29	床	扁平打製石器	砂岩	15.30	7.90	3.50	612.0	
図II 149 45	II-270	CH-29	床	台石・石皿	デイサイト	(24.90)	(19.70)	(7.60)	(5,005.0)	
図II 149 46	II-270	CH-29	床	台石・石皿	デイサイト	(21.20)	(17.50)	(6.10)	(3,370.0)	
図II 149 47	II-270	CH-29	-	礫	凝灰岩	17.60	3.10	3.20	140.0	
図II 165 60	II-271	CH-30	HP-1 覆土3層	石鏝	頁岩	4.46	1.45	0.49	4.0	HP-1
図II 165 61	II-271	CH-30	床	石鏝	頁岩	3.15	1.50	0.34	2.0	
図II 165 62	II-271	CH-30	覆土2層	石鏝	頁岩	3.40	2.15	0.32	1.5	
図II 165 63	II-271	CH-30	床	異形石器	頁岩	5.40	1.55	0.56	5.8	
図II 165 64	II-271	CH-30	床	スクレイパー	頁岩	6.97	3.22	0.95	25.9	
図II 165 65	II-271	CH-30	床	スクレイパー	頁岩	6.69	4.62	0.83	35.1	
図II 165 66	II-271	CH-30	床(HP-11)	スクレイパー	頁岩	5.46	4.09	0.93	18.9	HP-11
図II 165 67	II-271	CH-30	床	スクレイパー	頁岩	9.71	4.74	0.83	54.0	
図II 165 68	II-271	CH-30	HP-1 覆土3層	スクレイパー	頁岩	11.22	6.37	1.43	145.5	HP-1
図II 166 69	II-271	CH-30	床	たたき石	砂岩	11.14	5.19	3.07	270.0	
図II 166 70	II-271	CH-30	床	扁平打製石器	流紋岩	(12.07)	7.59	1.74	(197.4)	
図II 166 71	II-271	CH-30	床	北海道式石冠	玄武岩	13.41	7.83	5.50	790.0	
図II 166 72	II-271	CH-30	HP-1 覆土3層	台石・石皿	石英安山岩	46.40	28.60	16.00	27,400.0	
図II 166 73	II-271	CH-30	床	砥石	凝灰岩	10.80	7.50	0.80	72.7	
図II 166 74	II-271	CH-30	覆土2層	加工痕のある礫?	砂岩	12.20	2.10	1.60	64.6	
図II 199 102	II-272	CH-31	覆土1層	ポイント・ナイフ	頁岩	10.24	4.93	1.29	62.8	
図II 199 103	II-272	CH-31	床	ポイント・ナイフ	頁岩	8.57	2.73	1.19	31.8	
図II 199 104	II-272	CH-31	覆土2層	石鏝	頁岩	3.05	1.34	0.26	1.4	
図II 199 105	II-272	CH-31	覆土1層	つまみ付ナイフ	頁岩	6.67	3.23	0.82	18.8	
図II 199 106	II-272	CH-31	床	スクレイパー	安山岩	13.43	4.43	1.94	149.0	
図II 199 107	II-272	CH-31	床	スクレイパー	頁岩	9.42	4.12	1.16	61.6	
図II 199 108	II-272	CH-31	床	スクレイパー	頁岩	7.49	4.44	1.08	33.6	セクションベルト①
図II 199 109	II-272	CH-31	床	スクレイパー	頁岩	7.51	6.23	1.38	71.1	
図II 199 112	II-272	CH-31	覆土2層	棒状礫	泥岩	6.70	1.20	0.70	7.7	
図II 200 118	II-272	CH-31	HP-32覆土	たたき石	砂岩	12.12	5.50	3.59	344.0	HP-32
図II 200 119	II-272	CH-31	床(HP-10)	たたき石	珪岩	7.76	7.43	5.54	392.0	HP-10
図II 200 120	II-272	CH-31	床	たたき石	砂岩	5.10	4.00	2.20	55.7	
図II 200 121	II-272	CH-31	覆土1層	くぼみ石	砂岩	11.44	4.75	3.23	248.0	

掲載図番号	写真図版	遺構名	層位	分類	石材	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考
図Ⅱ 200 122	Ⅱ-272	CH-31	床	すり石	安山岩	14.60	7.40	3.50	560.0	
図Ⅱ 200 123	Ⅱ-272	CH-31	HP-9 覆土層	台石・石皿	安山岩	27.80	32.50	14.50	19,600.0	HP-9
図Ⅱ 200 124	Ⅱ-273	CH-31	覆土1層	台石・石皿	石英安山岩	39.00	35.40	12.30	16,100.0	(8.57.6)kg CH-26-24と接合 (2点掲載)
図Ⅱ 200 125	Ⅱ-272	CH-31	覆土2層	砥石	砂岩	20.30	12.33	2.40	468.0	CH-51-83と接合 (2点掲載)
図Ⅱ 205 9	Ⅱ-274	CH-33	床	つまみ付ナイフ	砂岩	13.13	2.68	0.97	50.9	
図Ⅱ 205 10	Ⅱ-274	CH-33	覆土1層	すり石	砂岩	4.06	5.80	2.00	59.7	
図Ⅱ 218 58	Ⅱ-274	CH-34	床	石鏝	頁岩	3.49	1.53	0.47	3.1	
図Ⅱ 218 59	Ⅱ-274	CH-34	床	石鏝	頁岩	4.09	1.39	0.45	3.0	
図Ⅱ 218 60	Ⅱ-274	CH-34	覆土2層	石鏝	黒曜石	2.48	1.10	3.30	0.9	
図Ⅱ 218 61	Ⅱ-274	CH-34	覆土2層	ポイント・ナイフ	黒曜石	4.90	2.79	0.66	8.3	
図Ⅱ 218 62	Ⅱ-274	CH-34	覆土2層	つまみ付ナイフ	頁岩	7.48	3.25	0.66	16.1	
図Ⅱ 218 63	Ⅱ-274	CH-34	床	スクレイパー	頁岩	5.98	5.66	1.16	39.6	
図Ⅱ 218 64	Ⅱ-274	CH-34	床	スクレイパー	頁岩	8.17	4.96	1.47	74.4	
図Ⅱ 218 65	Ⅱ-274	CH-34	床	スクレイパー	頁岩	7.49	4.10	0.75	38.3	
図Ⅱ 218 66	Ⅱ-274	CH-34	床	石斧	蛇紋岩	(7.30)	2.00	1.00	(25.2)	
図Ⅱ 218 67	Ⅱ-274	CH-34	床	石斧	緑色泥岩	(6.30)	1.85	1.18	(25.6)	
図Ⅱ 219 68	Ⅱ-274	CH-34	床	たたき石	流紋岩	37.00	11.00	6.00	2,660.0	
図Ⅱ 219 69	Ⅱ-274	CH-34	覆土2層	たたき石	砂岩	13.90	4.10	3.40	284.0	
図Ⅱ 219 70	Ⅱ-274	CH-34	床	北海道式石冠	玄武岩	14.30	10.50	5.90	1,225.0	
図Ⅱ 219 71	Ⅱ-274	CH-34	覆土1層	すり石	砂岩	7.13	6.37	3.00	220.0	
図Ⅱ 219 72	Ⅱ-274	CH-34	床	扁平打製石器	流紋岩	12.44	6.60	2.68	260.0	
図Ⅱ 219 73	Ⅱ-275	CH-34	床	台石・石皿	デイサイト	(17.60)	(12.60)	(6.00)	(1,835.0)	
図Ⅱ 219 74	Ⅱ-275	CH-34	床	すり石	砂岩	11.25	7.50	5.45	640.0	
図Ⅱ 219 75	Ⅱ-275	CH-34	床	台石・石皿	玄武岩	(23.00)	(18.50)	(5.40)	(3,010.0)	
図Ⅱ 219 76	Ⅱ-275	CH-34	床	台石・石皿	デイサイト	(18.80)	(14.70)	(11.10)	(4,100.0)	
図Ⅱ 221 3	Ⅱ-276	CH-35	床	石錐	頁岩	5.92	5.57	1.06	29.1	
図Ⅱ 221 4	Ⅱ-276	CH-35	床	ポイント・ナイフ	頁岩	5.73	3.23	0.78	18.6	
図Ⅱ 221 5	Ⅱ-276	CH-35	床	すり石	デイサイト	(11.90)	7.50	(4.60)	(444.0)	
図Ⅱ 221 6	Ⅱ-276	CH-35	HP-1 覆土1層	台石・石皿	デイサイト	(22.00)	(19.80)	(6.10)	(3,110.0)	HP-1
図Ⅱ 221 7	Ⅱ-276	CH-35	床	台石・石皿	デイサイト	43.40	30.80	13.40	20,800.0	
図Ⅱ 222 3	Ⅱ-275	CH-36	覆土1層	石鏝	黒曜石	2.67	1.37	0.28	0.9	
図Ⅱ 222 4	Ⅱ-275	CH-36	HP-1 覆土1層	加工痕のある礫	凝灰岩	6.90	7.20	4.40	145.0	HP-1
図Ⅱ 222 5	Ⅱ-275	CH-36	床	台石・石皿	凝灰岩	25.00	13.30	5.20	1,825.0	
図Ⅱ 223 3	Ⅱ-275	CH-37	覆土1層	扁平打製石器	流紋岩	9.60	5.75	2.26	144.8	
図Ⅱ 224 3	Ⅱ-275	CH-38	床	石鏝	頁岩	5.19	1.55	0.45	3.8	
図Ⅱ 224 4	Ⅱ-275	CH-38	床	スクレイパー	頁岩	5.85	3.49	1.29	30.6	
図Ⅱ 224 5	Ⅱ-275	CH-38	床	たたき石	礫岩	14.10	8.30	2.25	425.0	
図Ⅱ 231 24	Ⅱ-276	CH-39	覆土1層	ポイント・ナイフ	頁岩	(0.11)	3.79	0.93	(37.1)	
図Ⅱ 231 25	Ⅱ-276	CH-39	床	石鏝	頁岩	3.47	1.14	0.51	2.2	
図Ⅱ 231 26	Ⅱ-276	CH-39	床	石錐	頁岩	3.66	1.62	0.44	5.0	
図Ⅱ 231 27	Ⅱ-276	CH-39	覆土1層	ポイント・ナイフ	頁岩	9.61	2.68	1.07	33.4	
図Ⅱ 231 28	Ⅱ-276	CH-39	覆土1層	ポイント・ナイフ	頁岩	8.73	3.12	1.05	28.8	
図Ⅱ 231 29	Ⅱ-276	CH-39	覆土1層	ポイント・ナイフ	頁岩	4.96	2.41	0.82	8.3	
図Ⅱ 231 30	Ⅱ-277	CH-39	床	スクレイパー	頁岩	6.01	5.01	1.50	46.3	
図Ⅱ 231 31	Ⅱ-277	CH-39	床(HP-7)	スクレイパー	頁岩	5.87	4.96	0.70	33.0	HP-7 (層位なし)
図Ⅱ 231 32	Ⅱ-277	CH-39	HP-1 覆土1層	スクレイパー	頁岩	8.64	5.19	0.74	47.9	HP-1
図Ⅱ 231 33	Ⅱ-277	CH-39	床	スクレイパー	頁岩	7.21	3.20	0.83	27.3	
図Ⅱ 232 34	Ⅱ-277	CH-39	床	たたき石	砂岩	8.76	8.24	5.69	548.0	
図Ⅱ 232 35	Ⅱ-277	CH-39	覆土1層	たたき石	砂岩	9.70	5.59	4.41	353.0	
図Ⅱ 232 36	Ⅱ-277	CH-39	床	北海道式石冠	デイサイト	15.80	8.05	6.60	1,083.0	CP75No.4と接合
図Ⅱ 232 37	Ⅱ-277	CH-39	床	台石・石皿	安山岩・An	32.00	28.00	12.40	17,250.0	
図Ⅱ 232 38	Ⅱ-277	CH-39	床	台石・石皿	安山岩	28.80	29.10	11.20	14,700.0	
図Ⅱ 232 39	Ⅱ-277	CH-39	床	台石・石皿	砂岩	32.60	28.40	10.40	12,900.0	黒い付着 (微量)
図Ⅱ 234 10	Ⅱ-278	CH-40	床	ポイント・ナイフ	頁岩	15.50	3.38	1.28	76.6	
図Ⅱ 234 11	Ⅱ-278	CH-40	床	石鏝	頁岩	2.78	1.27	0.40	1.8	
図Ⅱ 234 12	Ⅱ-278	CH-40	床	石鏝	頁岩	3.74	1.33	0.32	2.1	
図Ⅱ 234 13	Ⅱ-278	CH-40	床	スクレイパー	頁岩	6.67	5.62	0.69	39.9	
図Ⅱ 234 14	Ⅱ-278	CH-40	床	たたき石	砂岩	9.96	4.86	2.83	214.0	
図Ⅱ 237 21	Ⅱ-278	CH-41	床	つまみ付ナイフ	頁岩	6.74	2.36	0.45	10.1	
図Ⅱ 237 22	Ⅱ-278	CH-41	覆土3層	たたき石	砂岩	10.22	8.65	6.58	680.0	
図Ⅱ 239 6	Ⅱ-278	CH-43	床	石鏝	頁岩	2.88	1.05	0.47	1.4	
図Ⅱ 239 7	Ⅱ-278	CH-43	床	スクレイパー	頁岩	6.10	2.96	1.11	21.0	
図Ⅱ 239 8	Ⅱ-278	CH-43	床	スクレイパー	頁岩	7.42	3.94	1.34	46.3	
図Ⅱ 239 9	Ⅱ-278	CH-43	床	石斧	片岩	(9.51)	(3.57)	1.50	(55.6)	
図Ⅱ 239 10	Ⅱ-278	CH-43	床	扁平礫石器	流紋岩	11.80	8.58	1.91	270.0	
図Ⅱ 240 5	Ⅱ-279	CH-44	床	石鏝	頁岩	3.96	1.42	0.41	2.4	
図Ⅱ 240 6	Ⅱ-279	CH-44	床	スクレイパー	頁岩	5.97	3.68	0.64	18.1	
図Ⅱ 240 7	Ⅱ-279	CH-44	床	スクレイパー	頁岩	6.79	4.44	0.60	28.4	
図Ⅱ 240 8	Ⅱ-279	CH-44	床	たたき石	珪岩	10.74	6.78	4.46	420.0	
図Ⅱ 240 15	Ⅱ-279	CH-45	床	Rフレイク	頁岩	11.70	3.94	1.41	56.0	
図Ⅱ 241 7	Ⅱ-279	CH-46	覆土3層	Rフレイク	頁岩	6.35	2.88	0.65	13.8	
図Ⅱ 241 8	Ⅱ-279	CH-46	床	扁平打製石器		14.00	8.30	3.40	480.0	

第1分冊（文章編）

掲載図番号	写真図版	遺構名	層位	分類	石材	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考	
図Ⅱ 251	41	Ⅱ-279	CH-47	覆土3層	ポイント・ナイフ	頁岩	12.32	6.13	1.25	106.0	
図Ⅱ 251	42	Ⅱ-279	CH-47	床	石鏝	頁岩	(2.97)	1.12	0.28	(0.8)	
図Ⅱ 251	43	Ⅱ-279	CH-47	床	石錐	頁岩	6.55	1.96	0.75	8.9	
図Ⅱ 251	44	Ⅱ-279	CH-47	覆土2層	石錐	頁岩	7.62	3.60	0.85	28.6	
図Ⅱ 251	46	Ⅱ-279	CH-47	床	スクレイパー	頁岩	8.08	3.65	0.45	17.7	
図Ⅱ 251	47	Ⅱ-279	CH-47	床	扁平礫石器	砂岩	18.50	3.10	9.50	878.0	
図Ⅱ 251	48	Ⅱ-279	CH-47	床	台石・石皿	砂岩	(16.50)	(16.50)	(13.00)	(3,940.0)	
図Ⅱ 253	10	Ⅱ-280	CH-48	床	石鏝	頁岩	2.76	1.47	0.19	1.2	
図Ⅱ 253	11	Ⅱ-280	CH-48	床	石鏝	頁岩	3.02	1.14	0.29	1.2	
図Ⅱ 253	12	Ⅱ-280	CH-48	床	スクレイパー	頁岩	10.37	7.48	1.71	139.2	
図Ⅱ 253	13	Ⅱ-280	CH-48	床	スクレイパー	頁岩	7.71	5.90	1.38	59.7	
図Ⅱ 253	14	Ⅱ-280	CH-48	床	棒状礫	安山岩	29.40	8.95	6.30	2,450.0	被熱
図Ⅱ 253	15	Ⅱ-280	CH-48	床	棒状礫	凝灰質砂岩	22.50	6.70	4.10	470.0	
図Ⅱ 253	16	Ⅱ-280	CH-48	床	台石・石皿	デイサイト	(21.70)	(15.80)	(6.60)	(2,770.0)	CH-56-43と接合
図Ⅱ 253	17	Ⅱ-280	CH-48	床	扁平礫石器	流紋岩	18.40	10.10	1.90	596.0	
図Ⅱ 258	17	Ⅱ-280	CH-49	床	スクレイパー	頁岩	7.01	4.78	1.10	38.7	
図Ⅱ 258	18	Ⅱ-280	CH-49	床(HP-2)	スクレイパー	頁岩	7.87	4.09	1.40	45.1	HP-2
図Ⅱ 258	19	Ⅱ-280	CH-49	床(HP-2)	スクレイパー	頁岩	7.93	4.64	1.31	54.6	HP-2
図Ⅱ 258	20	Ⅱ-280	CH-49	床(HP-2)	スクレイパー	頁岩	8.40	3.92	1.37	49.4	HP-2
図Ⅱ 258	21	Ⅱ-280	CH-49	床	スクレイパー	頁岩	8.33	6.03	1.66	82.3	
図Ⅱ 258	22	Ⅱ-281	CH-49	床	たたき石	砂岩	11.13	5.53	6.27	535.0	
図Ⅱ 258	23	Ⅱ-281	CH-49	床(HP-2)	北海道式石冠	玄武岩	10.24	7.56	4.72	530.0	HP-2
図Ⅱ 258	24	Ⅱ-281	CH-49	床(HP-2)	扁平礫石器	流紋岩	14.80	9.90	1.25	240.0	HP-2
図Ⅱ 258	25	Ⅱ-281	CH-49	床	すり石	砂岩	(8.00)	4.80	(2.50)	(156.0)	
図Ⅱ 258	26	Ⅱ-281	CH-49	覆土1層	棒状礫	粘板岩	19.00	3.60	3.00	380.0	
図Ⅱ 266	40	Ⅱ-281	CH-50	床	石鏝	頁岩	(4.66)	1.38	0.35	(3.3)	
図Ⅱ 266	41	Ⅱ-281	CH-50	床	石鏝	黒曜石	(2.10)	1.30	0.40	(1.0)	
図Ⅱ 266	42	Ⅱ-281	CH-50	床	つまみ付ナイフ	頁岩	6.80	2.80	1.15	14.9	
図Ⅱ 266	43	Ⅱ-281	CH-50	床	スクレイパー	頁岩	7.36	4.92	0.96	44.2	
図Ⅱ 266	44	Ⅱ-281	CH-50	HP-2覆土2層	スクレイパー	頁岩	7.17	4.42	0.54	28.7	HP-2
図Ⅱ 266	45	Ⅱ-281	CH-50	床	スクレイパー	頁岩	7.25	3.70	1.60	32.2	
図Ⅱ 266	46	Ⅱ-281	CH-50	床	スクレイパー	頁岩	7.53	4.66	1.24	4.2	
図Ⅱ 266	47	Ⅱ-281	CH-50	床	スクレイパー	頁岩	8.04	3.96	0.89	32.1	
図Ⅱ 266	48	Ⅱ-281	CH-50	床	スクレイパー	頁岩	7.67	4.17	0.75	33.3	
図Ⅱ 266	49	Ⅱ-281	CH-50	床	石斧	緑色泥岩	9.50	5.10	1.15	89.1	
図Ⅱ 266	50	Ⅱ-281	CH-50	床	石斧	閃緑岩	10.53	5.37	3.00	265.0	
図Ⅱ 266	51	Ⅱ-281	CH-50	床	北海道式石冠	デイサイト	12.99	8.77	6.40	843.0	CH-56接合
図Ⅱ 266	52	Ⅱ-281	CH-50	床	たたき石	礫岩	9.30	7.60	6.10	568.0	
図Ⅱ 266	53	Ⅱ-281	CH-50	床	扁平礫石器	流紋岩	(11.70)	9.10	1.80	244.0	
図Ⅱ 266	54	Ⅱ-282	CH-50	床	台石・石皿	デイサイト	(18.40)	(19.20)	(7.00)	(2,520.0)	
図Ⅱ 287	72	Ⅱ-282	CH-51	覆土層	石鏝	頁岩	4.66	2.37	0.35	6.3	
図Ⅱ 287	73	Ⅱ-282	CH-51	覆土床	石鏝	頁岩	3.32	1.23	0.57	2.4	
図Ⅱ 287	74	Ⅱ-282	CH-51	覆土床	ポイント・ナイフ	頁岩	8.17	2.20	1.06	19.3	
図Ⅱ 287	75	Ⅱ-282	CH-51	覆土上層	ポイント・ナイフ	頁岩	8.56	3.65	1.09	38.8	
図Ⅱ 287	76	Ⅱ-282	CH-51	床	つまみ付き石器	頁岩	4.40	3.30	0.50	6.3	
図Ⅱ 287	77	Ⅱ-282	CH-51	覆土床	スクレイパー	頁岩	4.91	3.06	1.83	30.6	
図Ⅱ 287	78	Ⅱ-282	CH-51	床	スクレイパー	頁岩	6.58	4.10	1.28	28.0	
図Ⅱ 287	79	Ⅱ-282	CH-51	覆土床	たたき石	チャート	11.30	10.00	6.10	940.0	
図Ⅱ 287	80	Ⅱ-282	CH-51	覆土床	たたき石	砂岩	7.10	5.45	3.50	190.0	
図Ⅱ 287	81	Ⅱ-282	CH-51	床	北海道式石冠	玄武岩	10.14	7.74	5.78	622.0	
図Ⅱ 287	82	Ⅱ-283	CH-51	覆土床	北海道式石冠	玄武岩	7.76	5.99	3.83	250.0	
図Ⅱ 287	83	Ⅱ-283	CH-51	覆土2層	砥石	砂岩	20.30	12.33	2.40	468.0	CH-31-125と接合 (2点掲載)
図Ⅱ 287	84	Ⅱ-283	CH-51	HP-1覆土1層	台石・石皿	砂岩	32.00	25.00	11.80	13,300.0	HP-1
図Ⅱ 287	86	Ⅱ-283	CH-51	覆土床	棒状礫	泥岩	16.30	4.90	2.50	200.0	
図Ⅱ 288	85	Ⅱ-283	CH-51	床	台石・石皿	角閃石安山岩	49.80	33.00	14.00	26,900.0	
図Ⅱ 295	38	Ⅱ-287	CH-56	HP-1覆土1層	ポイント・ナイフ	頁岩	7.68	2.25	0.71	17.0	HP-1
図Ⅱ 295	39	Ⅱ-287	CH-56	HP-1覆土7層	石鏝	頁岩	3.44	1.21	0.27	1.8	HP-1
図Ⅱ 295	40	Ⅱ-287	CH-56	HP-1覆土7層	スクレイパー	頁岩	7.61	3.84	1.09	43.2	HP-1
図Ⅱ 295	41	Ⅱ-287	CH-56	HP-1覆土1層	たたき石	砂岩	17.30	5.50	3.20	374.0	HP-1
図Ⅱ 295	42	Ⅱ-287	CH-56	床	たたき石	砂岩	9.77	7.12	6.75	658.0	
図Ⅱ 295	43	Ⅱ-287	CH-56	床	台石・石皿	デイサイト	(25.50)	(18.30)	(8.70)	(5,120.0)	CH-48-16と接合
図Ⅱ 295	44	Ⅱ-287	CH-56	床	台石・石皿	安山岩	31.30	21.40	8.20	5,300.0	
図Ⅱ 305	30	Ⅱ-284	CH-52	HP-2覆土層	石鏝	黒曜石	(2.64)	1.18	0.32	(0.9)	HP-2
図Ⅱ 305	31	Ⅱ-284	CH-52	HP-2覆土層	石鏝	頁岩	3.20	1.30	0.29	1.7	HP-2
図Ⅱ 305	32	Ⅱ-284	CH-52	床	石鏝	頁岩	(2.68)	1.40	0.42	(1.9)	
図Ⅱ 305	33	Ⅱ-284	CH-52	HP-2覆土層	石鏝	頁岩	3.34	1.29	(1.80)	(1.0)	HP-2
図Ⅱ 305	34	Ⅱ-284	CH-52	覆土中層	石鏝	黒曜石	2.90	1.22	0.37	1.3	
図Ⅱ 305	35	Ⅱ-284	CH-52	覆土中層	石鏝	黒曜石	3.67	1.25	0.27	2.1	
図Ⅱ 305	36	Ⅱ-284	CH-52	覆土中層	石鏝	黒曜石	3.54	1.55	0.38	2.1	
図Ⅱ 305	37	Ⅱ-284	CH-52	床	石鏝	黒曜石	4.07	1.45	0.25	2.1	
図Ⅱ 305	38	Ⅱ-284	CH-52	床	石鏝	頁岩	(4.44)	1.57	0.30	(3.0)	
図Ⅱ 305	39	Ⅱ-284	CH-52	覆土1層	石鏝	黒曜石	2.72	1.34	0.24	1.2	

掲載図番号	写真図版	遺構名	層位	分類	石材	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考
図II 305 40	II-284	CH-52	床	石鏝	頁岩	3.74	1.42	0.35	2.2	
図II 305 41	II-284	CH-52	HP-2 覆土層	石鏝	頁岩	3.22	1.39	0.23	1.6	HP-2
図II 305 42	II-284	CH-52	覆土上層	石鏝	頁岩	2.66	1.18	0.28	0.9	
図II 305 43	II-284	CH-52	床	スクレイパー	頁岩	6.05	4.78	0.68	24.7	
図II 305 44	II-284	CH-52	床	スクレイパー	頁岩	7.53	5.39	0.55	36.9	
図II 305 45	II-284	CH-52	床	スクレイパー	頁岩	7.62	4.40	1.20	45.7	
図II 305 46	II-284	CH-52	覆土中層	石斧	粘板岩	(5.30)	1.70	0.63	(11.5)	
図II 305 47	II-284	CH-52	床	石斧	泥岩	(6.10)	3.30	(0.95)	(22.0)	
図II 305 48	II-284	CH-52	覆土中層	石斧	片岩	10.10	5.30	2.80	255.0	
図II 305 49	II-284	CH-52	床	石斧	緑色片岩	0.16	3.75	2.45	150.0	
図II 305 50	II-284	CH-52	床	石斧	片岩	8.85	4.75	2.30	168.0	
図II 305 51	II-284	CH-52	床	石斧	片岩	(8.60)	3.20	1.35	(63.6)	
図II 306 54	II-284	CH-52	床	たたき石	砂岩	10.40	6.20	4.05	344.0	
図II 306 55	II-284	CH-52	床	北海道式石冠	閃緑岩	10.30	6.92	7.49	770.0	
図II 306 56	II-284	CH-52	覆土中層	北海道式石冠	閃緑岩	12.59	8.75	5.77	862.0	N-71-41と接合
図II 306 57	II-285	CH-52	床	扁平礫石器	砂岩	15.80	8.40	3.80	812.0	
図II 306 58	II-284	CH-52	床	台石・石皿	石英安山岩	36.40	22.60	8.50	9,500.0	
図II 306 59	II-285	CH-52	覆土中層	台石・石皿	安山岩	49.00	29.20	11.00	22,000.0	
図II 315 26	II-285	CH-53	覆土1層	石鏝	頁岩	3.19	1.31	0.33	1.7	
図II 315 27	II-285	CH-53	覆土2層	石鏝	頁岩	4.16	1.54	0.47	3.1	
図II 315 28	II-285	CH-53	床	スクレイパー	頁岩	5.91	3.46	0.61	18.5	
図II 315 29	II-285	CH-53	床	スクレイパー	頁岩	7.25	3.47	0.94	31.5	
図II 316 30	II-285	CH-53	床	石斧	緑色泥岩	(6.50)	2.10	0.85	(22.1)	
図II 316 31	II-285	CH-53	床	石斧	緑色泥岩	6.50	3.90	1.20	51.5	
図II 316 32	II-285	CH-53	床	石斧	緑色泥岩	(8.20)	4.25	1.20	(71.6)	
図II 316 33	II-285	CH-53	床	石斧	緑色泥岩	8.50	4.20	2.25	132.0	
図II 316 34	II-285	CH-53	床	石斧	緑色泥岩	11.00	4.35	1.15	94.6	No.913と914接合
図II 316 35	II-285	CH-53	床	石斧	緑色泥岩	(7.85)	5.10	(2.45)	(138.0)	
図II 316 36	II-286	CH-53	床	たたき石	珪岩	7.56	6.36	4.94	254.0	
図II 316 37	II-286	CH-53	床	北海道式石冠	緑色片岩	(13.29)	9.68	6.25	(1,260.0)	
図II 316 38	II-286	CH-53	床	北海道式石冠	玄武岩	(8.64)	6.85	5.46	500.0	
図II 316 39	II-286	CH-53	覆土2層	すり石	砂岩	10.03	9.50	3.91	524.0	
図II 316 40	II-286	CH-53	覆土2層	台石・石皿	石英安山岩	36.60	36.00	14.00	19,900.0	CH-54-19と接合 (2点掲載)
図II 318 11	II-286	CH-54	床	ポイント・ナイフ	頁岩	13.26	3.48	1.29	68.9	
図II 318 12	II-286	CH-54	床	石鏝	頁岩	3.20	1.28	0.58	2.5	
図II 318 13	II-286	CH-54	床	スクレイパー	黒曜石	7.83	2.99	0.52	19.0	
図II 318 14	II-286	CH-54	床	スクレイパー	頁岩	6.29	4.27	1.04	31.7	
図II 318 15	II-286	CH-54	床	スクレイパー	頁岩	7.67	5.17	1.76	67.2	
図II 318 16	II-286	CH-54	床	異形石器	黒曜石	(4.82)	1.88	1.05	(10.1)	
図II 318 17	II-286	CH-54	床(HP-2)	たたき石	砂岩	13.00	5.10	6.45	546.0	HP-2
図II 318 18	II-286	CH-54	床	石鏝	砂岩	5.50	8.40	2.10	110.0	
図II 318 19	II-286	CH-54	覆土1層	台石・石皿	石英安山岩	36.60	36.00	14.00	19,900.0	CH-53-40と接合 (2点掲載)
図II 320 20	II-287	CH-57	床	石鏝	頁岩	4.72	1.93	0.52	5.4	
図II 320 21	II-287	CH-57	床	石鏝	頁岩	3.62	1.93	0.54	4.7	
図II 320 22	II-287	CH-57	床	Uフレイク	頁岩	4.60	4.40	1.90	37.8	
図II 320 23	II-287	CH-57	床	Uフレイク	頁岩	6.10	3.70	1.05	22.9	
図II 320 24	II-287	CH-57	床	Uフレイク	頁岩	5.55	4.40	1.70	42.3	
図II 320 25	II-287	CH-57	床	たたき石	砂岩	12.20	5.00	2.60	234.0	
図II 320 26	II-287	CH-57	床	すり石	砂岩	(11.90)	5.49	4.56	(365.0)	
図II 320 27	II-288	CH-57	床	台石・石皿	安山岩	31.60	23.60	10.00	10,600.0	炉石
図II 325 7	II-288	CH-58	床	ポイント・ナイフ	頁岩	(8.10)	(2.95)	1.70	(45.0)	
図II 325 8	II-288	CH-58	床	スクレイパー	頁岩	6.53	3.21	0.70	20.8	
図II 325 9	II-288	CH-58	覆土1層	スクレイパー	頁岩	7.00	4.70	1.20	25.8	
図II 325 10	II-288	CH-58	床	棒状礫	砂岩	19.80	8.40	5.60	1,440.0	
図II 328 20	II-289	CH-59	覆土1層	スクレイパー	頁岩	5.41	3.82	0.87	17.0	遺物集中
図II 328 21	II-289	CH-59	覆土1層	スクレイパー	頁岩	5.95	4.53	0.83	34.1	遺物集中
図II 328 22	II-289	CH-59	覆土1層	スクレイパー	頁岩	8.31	5.62	1.25	67.3	遺物集中
図II 328 23	II-289	CH-59	覆土1層	石斧	緑色泥岩	(8.48)	(3.37)	1.49	(61.0)	遺物集中
図II 328 24	II-289	CH-59	覆土1層	たたき石	礫岩	8.94	8.54	6.13	550.0	遺物集中
図II 328 25	II-289	CH-59	覆土1層	北海道式石冠	玄武岩	14.80	8.70	3.85	815.0	遺物集中
図II 328 26	II-289	CH-59	覆土1層	北海道式石冠	玄武岩	10.15	7.89	5.06	660.0	遺物集中
図II 328 27	II-289	CH-59	覆土層	扁平打製石器	玄武岩	14.70	8.30	2.60	545.0	遺物集中
図II 328 28	II-289	CH-59	覆土層	扁平打製石器	玄武岩	18.50	9.40	2.70	765.0	遺物集中
図II 328 29	II-289	CH-59	覆土1層	扁平打製石器	砂岩	13.30	7.80	2.00	350.0	遺物集中
図II 330 10	II-289	CH-60	床	Uフレイク	頁岩	8.15	5.26	1.82	71.2	
図II 330 11	II-289	CH-60	床	扁平打製石器	砂岩	12.60	8.30	3.20	500.0	
図II 330 12	II-289	CH-60	床	礫石器	砂岩	24.70	13.10	8.60	3,130.0	
図II 330 13	II-290	CH-60	床	台石・石皿	安山岩	31.90	13.20	10.20	5,100.0	
図II 330 14	II-290	CH-60	床	台石・石皿	砂岩	25.80	18.80	15.00	9,800.0	
図II 334 23	II-290	CH-61	床	石鏝	頁岩	3.38	2.07	0.35	2.7	
図II 334 24	II-290	CH-61	床	スクレイパー	頁岩	5.99	5.03	1.41	56.6	
図II 334 25	II-290	CH-61	床	Uフレイク	頁岩	7.61	6.38	1.82	76.9	

第1分冊（文章編）

掲載図番号	写真図版	遺構名	層位	分類	石材	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考
図II 334	26	II-290	CH-61	床	扁平打製石器	砂岩	14.25	10.80	4.00	880.0
図II 334	27	II-290	CH-61	床	棒状礫	デイサイト	18.80	7.60	6.80	1,485.0
図II 334	28	II-290	CH-61	床	台石・石皿	安山岩	37.00	26.00	13.00	14,500.0
図II 338	16	II-291	CH-62	床	ポイント・ナイフ	頁岩	5.79	2.37	0.56	9.4
図II 338	17	II-291	CH-62	床	ポイント・ナイフ	頁岩	7.98	4.30	0.96	31.7
図II 338	18	II-291	CH-62	床	ポイント・ナイフ	頁岩	8.91	5.12	1.45	52.2
図II 338	19	II-291	CH-62	覆土1層	ポイント・ナイフ	頁岩	6.10	(2.57)	1.03	(17.2)
図II 338	20	II-291	CH-62	床	スクレイパー	頁岩	8.56	2.82	1.54	38.2
図II 338	21	II-291	CH-62	床	Uフレイク	頁岩	6.97	4.74	1.28	51.8
図II 338	22	II-291	CH-62	床	石斧	緑色泥岩	10.71	5.02	1.57	138.6
図II 338	23	II-291	CH-62	床	石斧	緑色泥岩	12.36	4.75	2.10	180.8
図II 338	24	II-291	CH-62	床	たたき石	砂岩	11.70	11.70	6.72	114.0
図II 338	25	II-291	CH-62	床	たたき石	チャート	6.96	6.43	5.73	350.0
図II 338	26	II-291	CH-62	床	すり石	砂岩	6.40	14.50	4.50	572.0
図II 339	28	II-291	CH-62	床	扁平礫石器	流紋岩	15.40	11.80	3.40	910.0
図II 339	29	II-291	CH-62	床	扁平礫石器	流紋岩	13.70	11.10	4.20	790.0
図II 339	30	II-291	CH-62	床	棒状礫	砂岩	(15.15)	(2.90)	(2.90)	(160.0)
図II 339	32	II-292	CH-62	床	台石・石皿	デイサイト	(25.90)	(24.00)	(12.20)	(8,800.0)
図II 339	33	II-292	CH-62	床	台石・石皿	石英安山岩	25.20	14.80	10.80	6,600.0
図II 339	34	II-292	CH-62	床	台石・石皿	安山岩?	23.60	18.00	9.70	4,600.0
図II 339	35	II-292	CH-62	床	台石・石皿	安山岩	24.80	24.80	9.40	6,700.0
図II 340	36	II-292	CH-62	床	台石・石皿	安山岩	28.80	22.40	12.00	9,900.0
図II 340	37	II-292	CH-62	床	台石・石皿	安山岩	28.90	18.60	10.80	7,400.0
図II 340	38	II-292	CH-62	床	台石・石皿	凝灰岩	26.00	17.20	8.50	2,500.0
図II 340	39	II-293	CH-62	床	台石・石皿	安山岩	33.20	26.20	10.00	16,000.0
図II 340	40	II-293	CH-62	床	台石・石皿	安山岩	34.40	19.20	10.20	10,400.0
図II 342	20	II-293	CH-63	覆土1層	ポイント・ナイフ	頁岩	6.70	3.03	0.56	9.3
図II 342	21	II-293	CH-63	床	石錐	頁岩	6.41	1.29	0.51	6.5
図II 342	22	II-293	CH-63	覆土2層	つまみ付ナイフ	頁岩	9.68	3.17	0.81	33.1
図II 342	23	II-293	CH-63	床	Uフレイク	頁岩	5.10	6.60	1.40	51.3
図II 343	24	II-293	CH-63	覆土2層	たたき石	砂岩	8.89	3.79	2.16	129.7
図II 343	25	II-293	CH-63	床(HF-1)	台石・石皿	安山岩	28.60	22.20	9.10	8,400.0
図II 345	17	II-294	CH-65	壁	棒状礫	泥岩	9.90	2.00	1.70	53.6
図II 353	46	II-294	CH-64	覆土2層	石錐	頁岩	4.86	3.51	0.62	18.7
図II 353	47	II-294	CH-64	床	スクレイパー	頁岩	9.29	3.48	0.86	51.8
図II 353	48	II-294	CH-64	床	Uフレイク	頁岩	4.50	8.90	1.70	51.3
図II 353	49	II-294	CH-64	覆土3層	石核	頁岩	4.40	3.79	3.31	51.1
図II 353	50	II-294	CH-64	覆土2層	石斧	泥岩	10.65	1.38	1.00	21.7
図II 353	51	II-294	CH-64	覆土4層	たたき石	砂岩	(11.84)	9.49	4.18	(600.0)
図II 353	52	II-294	CH-64	覆土3層	たたき石	砂岩	11.71	7.86	3.59	490.0
図II 358	29	II-294	CH-66	覆土～床	スクレイパー	頁岩	8.69	3.78	1.24	53.1
図II 358	30	II-294	CH-66	床	スクレイパー	頁岩	6.41	3.76	1.26	33.5
図II 358	31	II-294	CH-66	覆土～床	たたき石	珪岩	(7.47)	5.57	4.01	(230.0)
図II 358	32	II-294	CH-66	覆土～床	扁平礫石器	流紋岩	16.20	10.25	2.95	600.0
図II 358	33	II-294	CH-66	床	台石・石皿	凝灰岩	30.60	19.40	4.70	1,500.0
図II 358	34	II-294	CH-66	床	棒状礫	流紋岩	24.60	7.20	5.00	810.0
図II 361	29	II-295	CH-67	トレンチ中	扁平礫石器	安山岩	11.60	5.10	2.10	205.0
図II 364	14	II-295	CH-68	床	Uフレイク	頁岩	4.50	7.60	1.40	35.9
図II 364	15	II-295	CH-68	床(FC-1)	Rフレイク	頁岩	7.52	5.06	2.11	57.9
図II 365	16	II-295	CH-68	床	石斧	緑色泥岩	8.69	4.12	2.31	136.1
図II 365	17	II-295	CH-68	床	石斧	緑色泥岩	(11.00)	(3.47)	1.87	(136.3)
図II 365	18	II-295	CH-68	床	台石・石皿	砂岩	17.00	8.50	4.90	940.0
図II 365	19	II-295	CH-68	床	扁平礫石器	砂岩	16.90	9.90	3.70	860.0
図II 365	20	II-295	CH-68	床	台石・石皿	砂岩	14.30	19.50	9.70	3,500.0
図II 365	23	II-295	CH-68	床	棒状礫	流紋岩	18.00	3.90	2.60	174.0
図II 367	9	II-295	CH-69	床	石鏃	頁岩	3.37	1.67	0.39	2.0
図II 371	21	II-296	CH-70	覆土2層	スクレイパー	頁岩	7.44	3.17	0.82	22.3
図II 371	22	II-296	CH-70	覆土2層	Uフレイク	頁岩	6.15	5.17	1.00	35.3
図II 371	23	II-296	CH-70	床(HP-1)	Uフレイク	頁岩	8.27	2.93	0.89	32.7
図II 371	24	II-296	CH-70	覆土1層	異形石器	頁岩	2.41	2.28	0.46	2.6
図II 371	25	II-296	CH-70	床	原石?	メノウ	11.50	9.40	3.30	380.0
図II 377	53	II-296	CH-71	床	石鏃	頁岩	3.27	1.43	0.49	2.3
図II 377	54	II-296	CH-71	覆土2層	石錐	頁岩	4.58	1.63	0.81	6.0
図II 377	55	II-296	CH-71	覆土2層	石錐	頁岩	4.98	3.68	1.41	20.5
図II 377	56	II-296	CH-71	床	つまみ付き石器	頁岩	7.10	2.30	0.80	9.9
図II 377	57	II-296	CH-71	床	Uフレイク	頁岩	3.40	5.70	1.60	19.8
図II 378	58	II-296	CH-71	覆土1層	スクレイパー	頁岩	7.38	3.93	0.91	36.4
図II 378	59	II-296	CH-71	床	Uフレイク	頁岩	10.40	5.60	2.80	124.2
図II 378	60	II-296	CH-71	床	石斧	緑色泥岩	(10.89)	3.69	1.56	(88.6)
図II 378	61	II-296	CH-71	床	たたき石	珪岩	6.74	6.64	4.24	270.0
図II 378	62	II-296	CH-71	床	扁平礫石器	玄武岩	15.05	7.50	4.45	780.0
図II 378	63	II-296	CH-71	床	扁平打製石器	流紋岩	11.00	4.00	1.30	70.0

掲載図番号	写真図版	遺構名	層位	分類	石材	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考	
図II 378	64	II-296	CH-71	床	台石・石皿	デイサイト	10.60	17.20	4.70	980.0	
図II 381	14	II-297	CH-73	床	ポイント・ナイフ	黒曜石	6.30	(2.98)	0.33	(8.8)	
図II 381	15	II-297	CH-73	覆土1層	石斧	緑色泥岩	16.05	(6.20)	3.58	475.0	
図II 381	16	II-297	CH-73	床	たたき石	砂岩	6.93	5.25	2.75	121.3	
図II 381	17	II-297	CH-73	床	扁平礫石器	砂岩	17.60	8.00	3.75	730.0	
図II 381	18	II-297	CH-73	床	使用痕のある礫	砂岩	5.90	13.80	2.10	253.0	
図II 381	19	II-297	CH-73	床	台石・石皿	安山岩	33.80	22.20	13.00	10,600.0	炉石
図II 381	20	II-297	CH-73	床	台石・石皿	安山岩	25.20	19.80	15.00	9,500.0	
図II 381	21	II-297	CH-73	床	棒状礫	デイサイト	7.10	1.80	1.20	19.3	
図II 381	22	II-297	CH-73	床	棒状礫	流紋岩	12.30	1.90	1.50	37.1	
図II 385	23	II-297	CH-74	床	石錐	頁岩	3.05	2.67	0.45	2.5	
図II 385	24	II-297	CH-74	覆土2層	スクレイパー	頁岩	5.63	3.26	0.93	18.2	
図II 385	25	II-297	CH-74	床	スクレイパー	頁岩	7.26	4.06	1.93	53.9	
図II 385	26	II-297	CH-74	床	スクレイパー	頁岩	6.98	3.80	1.37	51.1	
図II 385	27	II-297	CH-74	床	石斧	緑色泥岩	(4.90)	1.76	0.61	(9.9)	石斧(石のみ) HP-32
図II 385	28	II-297	CH-74	床	たたき石	砂岩	11.85	6.75	3.00	360.0	
図II 385	29	II-297	CH-74	床	たたき石	砂岩	5.87	4.30	3.49	129.3	
図II 385	30	II-298	CH-74	床(HP-37)	扁平礫石器	砂岩	13.11	6.77	1.93	318.0	HP-37
図II 385	31	II-298	CH-74	床	扁平礫石器	砂岩	13.10	5.69	2.41	245.0	
図II 385	32	II-298	CH-74	床	たたき石	砂岩	(16.00)	(10.30)	(6.10)	(1,145.0)	
図II 386	33	II-298	CH-74	床	台石・石皿	安山岩	33.80	18.20	9.70	9,000.0	炉石
図II 386	34	II-298	CH-74	床	台石・石皿	安山岩	31.00	20.60	13.20	12,100.0	
図II 386	35	II-298	CH-74	床	台石・石皿	砂岩	32.60	17.00	13.00	9,600.0	
図II 386	36	II-298	CH-74	床	台石・石皿	砂岩	23.20	15.00	14.00	5,500.0	
図II 386	37	II-298	CH-74	床	台石・石皿	安山岩	33.40	28.70	15.00	14,500.0	炉石
図II 394	50	II-299	CH-77	覆土2層	石鏃	頁岩	2.70	1.62	0.27	0.9	
図II 394	51	II-299	CH-77	HP-10覆土層	石鏃	頁岩	3.04	1.20	0.45	1.8	HP-10
図II 394	52	II-299	CH-77	覆土層	スクレイパー	頁岩	4.05	3.55	1.53	22.6	
図II 394	53	II-299	CH-77	床	Uフレイク	頁岩	4.94	4.67	1.56	41.5	一括
図II 394	54	II-299	CH-77	床	Uフレイク	頁岩	6.40	3.02	0.88	19.8	
図II 394	55	II-299	CH-77	覆土3層	スクレイパー	頁岩	12.95	6.20	2.07	169.0	
図II 394	56	II-299	CH-77	床	扁平礫石器	砂岩	15.70	7.60	3.55	530.0	
図II 394	57	II-299	CH-77	床	扁平礫石器	流紋岩	13.30	9.40	2.50	430.0	
図II 394	58	II-299	CH-77	覆土1層	扁平礫石器	砂岩	(20.20)	11.61	4.80	(1,410.0)	
図II 394	59	II-299	CH-77	覆土1層	すり石	デイサイト	13.70	8.40	5.90	1,010.0	被熱
図II 394	60	II-299	CH-77	床	たたき石	砂岩	13.64	8.23	6.30	1,000.0	一括
図II 394	61	II-299	CH-77	床	砥石	砂岩	18.90	14.30	3.16	1,120.0	一括
図II 401	49	II-300	CH-78	覆土1層	台石・石皿	石英安山岩	50.80	27.80	8.00	11,400.0	CH-9.90と接合(II-67-123-IIIとも接合)(3点掲載)
図II 402	50	II-300	CH-78	床(HP-8)	石鏃	頁岩	2.57	0.88	0.24	0.6	HP-8
図II 402	51	II-300	CH-78	床	石鏃	頁岩	3.36	1.56	0.35	2.0	
図II 402	52	II-300	CH-78	床	石鏃	頁岩	4.02	1.41	0.44	3.0	
図II 402	53	II-300	CH-78	CF-2覆土1層	スクレイパー	頁岩	4.94	4.90	0.62	19.4	CF-2
図II 402	54	II-300	CH-78	覆土1層	スクレイパー	頁岩	7.32	3.07	0.41	16.7	
図II 402	55	II-300	CH-78	床(HP-1)	スクレイパー	頁岩	8.33	5.94	1.84	109.7	HP-1
図II 402	56	II-300	CH-78	床	スクレイパー	頁岩	9.53	4.61	1.75	89.0	
図II 402	57	II-300	CH-78	床(HP-9)	スクレイパー	頁岩	7.07	5.12	0.87	49.6	HP-9
図II 402	58	II-300	CH-78	床(CF-2)	スクレイパー	頁岩	8.44	4.65	1.51	62.3	CF-2
図II 402	59	II-300	CH-78	床	スクレイパー	頁岩	7.28	4.08	1.24	39.8	
図II 402	60	II-300	CH-78	床	スクレイパー	頁岩	7.17	4.97	1.44	59.0	
図II 402	61	II-300	CH-78	床	石斧	緑色泥岩	7.16	4.15	0.80	50.7	
図II 402	62	II-300	CH-78	覆土2層	たたき石	砂岩	15.60	5.09	3.61	458.0	
図II 402	63	II-300	CH-78	覆土1層	たたき石	安山岩	22.50	8.10	4.90	1,090.0	
図II 402	64	II-300	CH-78	床	扁平礫石器	砂岩	12.82	6.78	1.74	230.0	
図II 402	65	II-300	CH-78	床	扁平礫石器	砂岩	12.56	9.23	2.55	340.0	
図II 402	66	II-300	CH-78	覆土2層	たたき石	泥岩	12.30	2.70	1.40	74.9	
図II 406	24	II-301	CH-79	床	スクレイパー	黒曜石	6.47	(3.29)	0.97	(13.3)	
図II 406	25	II-301	CH-79	床	スクレイパー	頁岩	8.57	5.60	2.02	81.8	
図II 406	26	II-301	CH-79	床	たたき石	砂岩	9.27	4.54	3.26	189.9	
図II 406	27	II-301	CH-79	床	台石・石皿	砂岩	47.00	23.00	12.50	18,600.0	
図II 408	8	II-301	CH-80	床	石錐	頁岩	3.24	2.07	0.78	5.2	
図II 408	9	II-301	CH-80	床(HF-1)	たたき石	砂岩	14.20	5.90	4.00	382.0	HF-1
図II 408	10	II-301	CH-80	床(HF-1)	くぼみ石	砂岩	15.75	9.30	3.80	910.0	HF-1
図II 408	11	II-301	CH-80	床	くぼみ石	砂岩	18.30	4.80	3.00	368.0	
図II 408	12	II-301	CH-80	覆土上層	砥石	砂岩	13.80	10.90	6.70	840.0	トレンチ
図II 410	16	II-301	CH-82	床	異形石器	頁岩	8.52	3.32	1.48	31.4	
図II 410	17	II-301	CH-82	床	Uフレイク	頁岩	8.29	4.54	2.02	78.6	
図II 410	18	II-301	CH-82	覆土2層	たたき石	流紋岩	7.73	2.42	1.01	21.4	
図II 417	47	II-302	CH-83	覆土2層	ポイント・ナイフ	頁岩	7.55	2.28	0.43	13.3	
図II 417	48	II-302	CH-83	床	スクレイパー	頁岩	6.54	3.21	1.44	43.1	
図II 417	49	II-302	CH-83	床	たたき石	砂岩	4.80	4.12	3.06	73.3	
図II 417	50	II-302	CH-83	覆土2層	たたき石	砂岩	8.60	5.09	3.45	210.0	
図II 417	51	II-302	CH-83	覆土2層	たたき石	デイサイト	18.70	8.80	7.40	1,530.0	(石棒?)

第1分冊（文章編）

掲載図番号	写真図版	遺構名	層位	分類	石材	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考	
図II 417	52	II-302	CH-83	床	扁平礫石器	流紋岩	14.90	10.00	1.80	325.0	
図II 417	53	II-302	CH-83	覆土1層	砥石	砂岩	16.90	12.60	2.20	421.0	CH-15-57と接合
図II 417	58	II-302	CH-83	床	棒状礫	砂岩	21.15	5.60	5.40	1,220.0	
図II 422	19	II-302	CH-84	覆土層	石鏝	頁岩	2.59	1.01	0.31	0.7	
図II 422	20	II-302	CH-84	床	つまみ付ナイフ	頁岩	6.91	1.95	0.57	9.1	
図II 422	21	II-302	CH-84	床	スクレイパー	頁岩	6.09	(3.37)	0.90	(16.9)	
図II 422	22	II-302	CH-84	床	スクレイパー	頁岩	4.36	3.17	1.00	14.4	
図II 422	23	II-302	CH-84	覆土2層	スクレイパー	頁岩	5.48	5.37	1.07	46.4	
図II 422	24	II-302	CH-84	床	たたき石	砂岩	10.16	6.65	5.03	325.0	
図II 422	25	II-302	CH-84	床	扁平礫石器	礫岩	12.31	5.65	2.54	265.0	
図II 422	26	II-302	CH-84	床	扁平礫石器	砂岩	12.70	7.90	2.80	402.0	
図II 422	27	II-302	CH-84	覆土1層	扁平礫石器	頁岩	9.40	5.25	1.33	63.5	
図II 424	6	II-303	CH-85	床	スクレイパー	頁岩	7.79	2.39	1.19	28.2	
図II 424	7	II-303	CH-85	床	たたき石	珪岩	7.54	4.98	4.18	165.7	
図II 424	8	II-303	CH-85	床	扁平礫石器	砂岩	14.80	6.80	2.80	395.0	
図II 429	17	II-303	CH-86	床	石斧	緑色泥岩	(9.85)	4.36	1.65	(100.1)	
図II 429	19	II-303	CH-86	床	たたき石	泥岩	6.89	4.96	3.32	180.3	
図II 430	3	II-303	CH-87	床	石斧	緑色泥岩	14.20	(6.20)	3.62	(380.0)	
図II 435	17	II-304	CH-89	床	スクレイパー	頁岩	(6.75)	4.95	0.61	(28.7)	
図II 435	18	II-304	CH-89	床	スクレイパー	頁岩	7.47	1.06	4.38	45.4	
図II 435	19	II-304	CH-89	覆土2層	スクレイパー	頁岩	8.47	4.31	1.56	59.3	
図II 435	20	II-304	CH-89	床	石斧	緑色泥岩	10.35	4.60	1.50	102.3	CH-13-32と接合
図II 435	21	II-304	CH-89	床	石斧	緑色泥岩	6.17	2.31	1.14	19.7	
図II 435	22	II-304	CH-89	床	たたき石	砂岩	8.62	7.60	4.20	380.0	
図II 435	23	II-304	CH-89	覆土2層	すり石	流紋岩	15.75	4.74	2.27	175.6	
図II 435	24	II-304	CH-89	床	台石・石皿	流紋岩	20.30	13.70	6.00	2,290.0	
図II 435	25	II-304	CH-89	床	台石・石皿	泥岩	35.60	28.50	9.50	7,200.0	
図II 435	26	II-304	CH-89	覆土2層	たたき石 (ボンチ?)	泥岩	8.34	1.40	1.00	19.7	
図II 435	27	II-304	CH-89	床	棒状礫	流紋岩	7.52	1.74	1.40	21.6	
図II 438	9	II-303	CH-90	床	ラウンドスクレイパー	頁岩	5.64	4.83	2.20	62.3	
図II 438	10	II-303	CH-90	床	石斧	緑色泥岩	(10.56)	4.11	1.85	(113.9)	
図II 438	11	II-303	CH-90	覆土2層	台石・石皿	石英安山岩	50.80	27.80	8.00	11,400.0	CH-9-78と接合(I-67-123-Ⅲとも接合)(3点掲載)
図II 439	3	II-305	CH-91	床	Uフレイク	頁岩	6.26	4.08	0.91	30.5	
図II 439	4	II-305	CH-91	床	Uフレイク	頁岩	6.98	3.57	0.90	25.2	
図II 439	5	II-305	CH-91	床	たたき石	砂岩	28.00	9.00	6.30	1,800.0	
図II 439	6	-	CH-91	床	礫	珪岩	9.14	5.46	2.64	179.0	集石一括
図II 439	7	-	CH-91	床	礫	砂岩	(7.58)	(3.93)	4.09	(126.3)	集石一括
図II 439	8	-	CH-91	床	礫	砂岩	9.11	(5.07)	(2.97)	(215.0)	集石一括
図II 439	9	-	CH-91	床	礫	泥岩	8.42	4.69	1.78	93.0	集石一括
図II 439	10	-	CH-91	床	礫	砂岩	6.73	4.22	2.77	105.6	集石一括
図II 439	11	-	CH-91	床	礫	砂岩	5.22	4.91	3.44	152.0	集石一括
図II 439	12	-	CH-91	床	礫	砂岩	5.52	4.59	2.82	80.9	集石一括
図II 439	13	-	CH-91	床	礫	砂岩	5.80	4.44	2.16	75.3	集石一括
図II 439	14	-	CH-91	床	礫	砂岩	5.18	2.90	2.75	43.0	集石一括
図II 439	15	-	CH-91	床	礫	泥岩	5.86	3.31	2.19	44.5	集石一括
図II 439	16	-	CH-91	床	礫	頁岩	6.66	3.99	1.49	36.0	集石一括
図II 439	17	-	CH-91	床	礫	砂岩	4.78	3.96	2.95	54.8	集石一括
図II 439	18	-	CH-91	床	礫	砂岩	4.68	3.31	2.87	53.2	集石一括
図II 439	19	-	CH-91	床	礫	砂岩	5.02	3.06	2.77	59.2	集石一括
図II 439	20	-	CH-91	床	礫	砂岩	4.26	3.27	2.36	35.9	集石一括
図II 439	21	-	CH-91	床	礫	泥岩	5.52	1.95	0.87	10.6	集石一括
図II 439	22	-	CH-91	床	礫	泥岩	4.69	2.57	0.95	15.1	集石一括
図II 439	23	-	CH-91	床	礫	砂岩	3.62	3.29	2.28	41.5	集石一括
図II 439	24	-	CH-91	床	礫	砂岩	3.81	2.39	1.94	28.1	集石一括
図II 439	25	-	CH-91	床	礫	砂岩	4.02	2.29	2.35	23.5	集石一括
図II 439	26	-	CH-91	床	礫	泥岩	(3.61)	(2.57)	0.70	(8.9)	集石一括
図II 439	27	-	CH-91	床	礫	砂岩	3.44	2.84	1.58	19.7	集石一括
図II 439	28	-	CH-91	床	礫	砂岩	3.52	2.82	1.09	14.5	集石一括
図II 439	29	-	CH-91	床	礫	砂岩	3.20	2.66	1.98	22.9	集石一括
図II 439	30	-	CH-91	床	礫	砂岩	3.32	1.66	1.73	14.2	集石一括
図II 439	31	-	CH-91	床	礫	砂岩	3.28	2.52	2.22	16.4	集石一括
図II 439	32	-	CH-91	床	礫	砂岩	3.36	2.32	0.98	11.0	集石一括
図II 439	33	-	CH-91	床	礫	砂岩	2.92	2.61	1.55	14.9	集石一括
図II 439	34	-	CH-91	床	礫	泥岩	3.30	1.69	0.97	9.0	集石一括
図II 439	35	-	CH-91	床	礫	泥岩	3.69	1.60	0.85	6.4	集石一括
図II 439	36	-	CH-91	床	礫	砂岩	3.04	2.10	1.30	10.7	集石一括
図II 439	37	-	CH-91	床	礫	砂岩	2.80	2.70	1.24	11.6	集石一括
図II 439	38	-	CH-91	床	礫	砂岩	3.04	1.99	1.33	10.7	集石一括
図II 439	39	-	CH-91	床	礫	砂岩	3.39	1.35	1.09	7.3	集石一括
図II 439	40	-	CH-91	床	礫	砂岩	2.63	2.11	1.17	8.2	集石一括
図II 449	47	II-305	CH-92	床	ポイント・ナイフ	頁岩	7.02	2.54	1.12	20.3	
図II 449	48	II-305	CH-92	覆土2層	石鏝	頁岩	(3.44)	1.19	0.49	(2.4)	

掲載図番号	写真図版	遺構名	層位	分類	石材	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考
図II 449	49	II-305	CH-92	覆土3層	スクレイパー	頁岩	8.09	4.87	1.04	43.9
図II 449	50	II-305	CH-92	覆土2層	スクレイパー	頁岩	7.64	3.61	0.92	32.1
図II 449	51	II-305	CH-92	床	スクレイパー	頁岩	7.65	3.64	5.10	19.5
図II 449	52	II-305	CH-92	覆土3層	スクレイパー	頁岩	7.56	4.50	1.02	46.5
図II 449	53	II-305	CH-92	HP覆土1層	スクレイパー	頁岩	(8.83)	3.89	0.75	(34.5) HP
図II 449	54	II-305	CH-92	覆土3層	石斧	粘板岩	8.18	2.10	0.75	20.1
図II 449	55	II-305	CH-92	覆土1層	たたき石	砂岩	18.00	5.10	3.25	495.0
図II 449	56	II-305	CH-92	覆土3層	たたき石	砂岩	10.68	6.01	4.07	420.0
図II 449	57	II-305	CH-92	床	扁平礫石器	流紋岩	15.55	7.50	2.50	430.0
図II 449	58	II-305	CH-92	覆土2層	扁平礫石器	砂岩	16.15	6.50	3.50	480.0
図II 449	59	II-305	CH-92	床	台石・石皿	流紋岩	10.82	7.16	2.54	183.4
図II 449	60	II-305	CH-92	覆土2層	台石・石皿	砂岩	15.90	9.00	5.70	960.0
図II 450	61	II-306	CH-92	覆土1層	台石・石皿	砂岩	71.60	38.80	13.10	43,180.0
図II 450	62	II-306	CH-92	床	台石・石皿	安山岩	33.60	17.60	8.80	6,900.0
図II 450	63	II-306	CH-92	覆土2層	台石・石皿	安山岩	27.60	23.30	9.00	7,130.0
図II 501	2	II-308	CP-4	覆土1層	石斧	緑色片岩	7.42	2.78	1.03	33.2
図II 501	3	II-308	CP-4	覆土1層	石斧	緑色泥岩	9.70	2.94	1.16	58.7
図II 501	4	II-308	CP-4	覆土1層	扁平打製石器	玄武岩	13.53	61.70	2.45	350.0
図II 501	7	II-308	CP-5	覆土1層	スクレイパー	頁岩	8.24	6.70	1.39	49.9
図II 501	9	II-308	CP-6	覆土3層	扁平打製石器	砂岩	12.71	6.31	2.81	349.3
図II 501	10	II-308	CP-8	床	スクレイパー	頁岩	(6.11)	3.45	0.83	(19.7)
図II 502	4	II-309	CP-9	覆土2層	スクレイパー	頁岩	8.21	5.02	1.90	58.2
図II 502	5	II-309	CP-9	覆土1層	台石・石皿	石英安山岩	42.40	21.20	10.50	12,300.0
図II 503	4	II-310	CP-12	床	スクレイパー	頁岩	6.25	4.21	1.51	39.1
図II 504	4	II-312	CP-14	覆土1層	石鏃	頁岩	3.78	1.37	0.39	2.5
図II 504	5	II-312	CP-14	覆土1層	くぼみ石	砂岩	10.23	6.57	2.76	258.4
図II 504	6	II-312	CP-14	覆土1層	台石・石皿	デイサイト	14.16	11.82	4.68	2,395.0
図II 504	11	II-313	CP-25	覆土1層	石鏃	頁岩	3.21	1.47	0.38	2.9
図II 504	12	II-313	CP-25	覆土1層	スクレイパー	頁岩	7.36	4.59	2.02	66.0
図II 505	1	II-313	CP-20	覆土層	台石・石皿	砂岩	29.50	23.00	8.50	9,000.0
図II 505	2	II-313	CP-20	覆土層	台石・石皿	玄武岩?	46.60	16.70	6.20	9,700.0
図II 505	5	II-312	CP-24	覆土1層	北海道式石冠	安山岩	12.82	6.95	6.72	810.0 L-69-22と接合
図II 505	8	II-313	CP-32	覆土1層	石錘	砂岩	9.09	6.50	2.68	243.7
図II 506	5	II-314	CP-31	-	台石・石皿	安山岩	34.00	32.50	13.00	23,000.0
図II 506	7	II-315	CP-39	覆土1層	台石・石皿	安山岩	33.60	30.50	11.00	15,000.0
図II 507	3	II-315	CP-41	床	スクレイパー	頁岩	7.11	4.67	0.39	24.4
図II 507	4	II-315	CP-41	覆土1層	台石・石皿	デイサイト	(23.40)	21.30	7.10	(4,060.0)
図II 507	7	II-315	CP-43	覆土1層	スクレイパー	頁岩	5.80	4.34	1.23	30.7
図II 507	8	II-315	CP-43	覆土1層	スクレイパー	頁岩	5.56	3.58	1.19	26.9
図II 507	9	II-315	CP-43	覆土1層	スクレイパー	頁岩	8.32	4.68	1.69	74.5
図II 508	2	II-316	CP-54	床	スクレイパー	頁岩	5.63	4.04	0.78	17.4
図II 508	15	II-318	CP-59	床	Rフレイク	頁岩	7.59	5.10	1.33	63.9
図II 509	2	II-318	CP-60	覆土1層	フレイク	頁岩	9.96	4.28	0.80	40.4
図II 509	3	II-318	CP-60	覆土1層	フレイク	頁岩	9.70	4.04	1.40	60.6
図II 509	4	II-318	CP-60	覆土1層	フレイク	頁岩	11.27	5.44	1.04	67.6
図II 509	5	II-318	CP-60	覆土1層	フレイク	頁岩	11.27	6.35	1.38	91.4
図II 509	6	II-318	CP-60	覆土1層	フレイク	頁岩	9.60	6.22	1.56	100.9
図II 509	7	II-318	CP-60	覆土1層	フレイク	頁岩	10.41	5.54	1.25	71.6
図II 510	11	II-319	CP-65	覆土層	たたき石	砂岩	9.84	7.69	5.62	580.0
図II 510	12	II-319	CP-65	覆土2層	すり石	砂岩	10.60	9.20	4.00	455.0
図II 511	2	II-317	CP-57	覆土1層	扁平打製石器	流紋岩	14.02	8.80	3.35	420.0
図II 511	3	II-317	CP-57	覆土1層	台石・石皿	流紋岩	36.80	38.00	14.50	13,600.0
図II 512	5	II-320	CP-67	覆土2層	スクレイパー	頁岩	5.99	3.20	0.62	9.5
図II 512	9	II-320	CP-71	床	スクレイパー	頁岩	7.21	3.58	0.78	26.1
図II 512	10	II-320	CP-71	床	Rフレイク	頁岩	7.34	3.53	1.24	40.7
図II 512	11	II-322	CP-75	覆土1層	ポイント・ナイフ	頁岩	4.64	1.91	0.52	5.9
図II 514	3	II-323	CP-77	覆土1層	たたき石	珪岩	9.57	8.42	6.97	725.0
図II 514	4	II-323	CP-77	覆土1層	たたき石	珪岩	8.77	6.86	4.61	398.0
図II 514	6	II-323	CP-78	床	スクレイパー	頁岩	4.94	4.31	0.95	18.9
図II 514	7	II-323	CP-78	床?	台石・石皿	安山岩	45.20	30.40	28.00	14,800.0
図II 515	6	II-324	CP-80	覆土1層	スクレイパー	頁岩	7.29	4.40	1.16	48.2
図II 515	7	II-324	CP-80	覆土1層	北海道式石冠	ひん岩	13.30	9.35	5.40	960.0
図II 515	8	II-323	CP-81	覆土1層	スクレイパー	頁岩	(0.05)	4.46	1.19	(25.7)
図II 515	12	II-325	CP-88	覆土1層	扁平打製石器	玄武岩	16.25	10.10	2.00	445.0
図II 516	3	II-324	CP-82	覆土1層	石鏃	頁岩	(3.76)	1.53	0.52	(2.7)
図II 516	4	II-324	CP-82	床	石鏃	頁岩	5.26	1.45	0.50	4.5
図II 516	5	II-324	CP-82	床	スクレイパー	頁岩	4.02	3.65	0.75	15.1
図II 516	6	II-324	CP-82	覆土1層	スクレイパー	頁岩	5.98	5.35	0.89	40.3
図II 516	7	II-324	CP-82	覆土1層	扁平打製石器	流紋岩	14.30	11.20	2.25	470.0
図II 516	14	II-325	CP-92	覆土2層	スクレイパー	頁岩	5.76	3.97	0.80	27.5
図II 516	15	II-325	CP-92	覆土2層	北海道式石冠	閃緑岩	10.70	9.10	4.20	615.0
図II 517	4	II-325	CP-95	覆土1層	Rフレイク	頁岩	10.70	3.62	1.11	42.9

第1分冊（文章編）

掲載図番号	写真図版	遺構名	層位	分類	石材	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考	
図II 517	12	II-326	CP-96	覆土1層	北海道式石冠	玄武岩	13.70	7.75	5.00	855.0	
図II 517	13	II-326	CP-96	覆土1層	台石・石皿	デイサイト	(27.60)	(18.50)	5.30	(2,930.0)	
図II 518	8	II-327	CP-104	覆土1層	扁平打製石器	流紋岩	13.80	10.20	1.70	310.0	
図II 518	9	II-327	CP-105	覆土1層	扁平打製石器	砂岩	13.60	6.80	2.70	398.0	
図II 518	12	II-327	CP-107	覆土1層	石錐	頁岩	6.67	4.63	1.33	26.5	C H-30
図II 519	5	II-328	CP-110	覆土1層	台石・石皿	砂岩	24.80	31.20	13.70	14,900.0	
図II 519	9	II-328	CP-114	覆土3層	扁平礫石器	流紋岩	16.75	9.40	2.60	500.0	
図II 520	2	II-329	CP-117	覆土1層	つまみ付ナイフ	頁岩	5.74	3.83	0.40	8.7	
図II 520	6	II-329	CP-121	覆土1層	つまみ付ナイフ	頁岩	6.76	2.86	0.83	20.9	
図II 524	11	II-332	CP-133	床	石鏝	頁岩	(3.43)	1.16	0.40	(2.3)	
図II 524	20	II-334	CP-143	覆土1層	スクレイパー	頁岩	6.72	3.53	1.05	31.2	
図II 524	21	II-334	CP-143	床	たたき石	砂岩	10.95	10.40	5.10	540.0	
図II 524	22	II-334	CP-143	覆土1層	たたき石	砂岩	12.30	8.20	4.00	645.0	
図II 526	3	II-334	CP-151	底	すり石	砂岩	12.10	9.10	6.50	715.0	
図II 526	12	II-336	CP-155	床	スクレイパー	頁岩	5.66	(6.17)	1.51	(46.0)	
図II 526	20	II-334	CP-159	覆土2層	石鏝	頁岩	(2.13)	1.33	0.44	(1.8)	
図II 526	21	II-334	CP-159	覆土3層	石錐	砂岩	14.30	10.25	4.00	850.0	
図II 526	10	II-337	CP-168	床	つまみ付ナイフ	頁岩	7.02	1.95	0.62	12.1	
図II 528	5	II-336	CP-162	覆土層	たたき石	珪岩	9.01	8.93	4.86	598.0	
図II 528	7	II-338	CP-163	床	北海道式石冠	安山岩	10.59	8.48	6.84	830.0	
図II 528	8	II-338	CP-163	床	台石・石皿	デイサイト	(28.50)	(11.60)	6.20	(2,570.0)	
図II 529	3	II-340	CP-171	覆土2層	石斧	緑色泥岩	(8.69)	5.28	1.86	(129.8)	
図II 529	4	II-340	CP-171	覆土2層	たたき石	泥岩	17.50	4.50	2.70	275.0	
図II 531	2	II-340	CP-172	床	石鏝	頁岩	3.02	1.42	0.38	2.2	
図II 532	2	II-341	CP-176	覆土層	たたき石	砂岩	10.24	7.66	(4.47)	(505.0)	
図II 532	3	II-341	CP-176	覆土1層	台石・石皿	安山岩	18.50	14.10	4.60	1,720.0	
図II 532	6	II-340	CP-177	覆土2層	スクレイパー	頁岩	8.45	3.02	0.75	24.2	
図II 532	10	II-341	CP-180	覆土1層	Uフレイク	頁岩	6.17	3.91	1.36	38.2	
図II 533	3	II-341	CP-182	覆土1層	台石・石皿	安山岩	48.30	27.00	14.60	22,300.0	
図II 534	6	II-342	CP-185	覆土1層	石錐	頁岩	(2.50)	1.24	0.46	(1.6)	
図II 534	7	II-342	CP-185	覆土1層	スクレイパー	頁岩	6.66	4.14	0.89	34.7	
図II 534	8	II-342	CP-185	覆土1層	石斧	緑色泥岩	12.10	4.65	1.59	132.9	
図II 534	10	II-342	CP-185	覆土1層	たたき石	砂岩	10.90	5.90	4.05	380.0	
図II 534	11	II-342	CP-185	覆土1層	扁平礫石器	流紋岩	14.20	8.60	2.40	425.0	
図II 534	12	II-342	CP-185	覆土1層	北海道式石冠	安山岩	(10.50)	8.70	5.65	(640.0)	
図II 534	13	II-342	CP-185	覆土1層	北海道式石冠	安山岩	(9.70)	10.15	6.40	(900.0)	
図II 535	4	II-343	CP-188	覆土2層	北海道式石冠	流紋岩	13.20	8.20	6.00	905.0	
図II 536	2	II-344	CP-189	床	スクレイパー	頁岩	(5.91)	3.03	0.91	(16.8)	
図II 536	3	II-344	CP-189	覆土1層	スクレイパー	頁岩	7.28	4.78	0.97	55.0	
図II 536	4	II-344	CP-189	覆土1層	たたき石	砂岩	8.21	7.36	7.41	505.0	
図II 536	5	II-344	CP-189	覆土1層	たたき石	流紋岩	12.80	9.80	1.85	290.0	
図II 536	6	II-344	CP-189	覆土層	すり石	砂岩	9.08	7.31	2.86	300.0	
図II 536	7	II-344	CP-189	覆土1層	使用痕のある礫	泥岩	7.88	3.45	5.09	181.8	
図II 536	8	II-344	CP-189	覆土層	扁平礫石器	流紋岩	12.05	8.80	1.25	190.6	
図II 536	9	II-344	CP-189	覆土1層	台石・石皿	玄武岩	(27.60)	(13.66)	6.10	(2,830.0)	
図II 537	1	II-345	CP-192	床	たたき石	砂岩	11.54	6.59	4.95	560.0	
図II 537	2	II-345	CP-193	覆土1層	すり石	砂岩	9.62	5.27	2.82	200.8	
図II 537	5	II-345	CP-194	覆土1層	スクレイパー	頁岩	6.48	2.90	0.88	18.6	
図II 537	6	II-345	CP-194	覆土1層	スクレイパー	頁岩	7.08	4.34	0.81	27.6	
図II 537	9	II-345	CP-197	覆土1層	台石・石皿	玄武岩	(22.64)	15.20	10.76	(2,770.0)	
図II 537	15	II-345	CP-203	床	Uフレイク	頁岩	5.10	4.60	0.80	15.4	
図II 537	16	II-345	CP-203	床	たたき石	珪岩	8.50	8.30	6.40	528.0	
図II 537	17	II-345	CP-203	床	北海道式石冠	安山岩	10.55	9.05	6.20	950.0	
図II 538	4	II-346	CP-206	床	たたき石	珪岩	8.20	6.80	5.20	348.0	
図II 538	5	II-346	CP-206	床	すり石	砂岩	8.10	4.60	2.80	148.0	
図II 538	6	II-346	CP-206	覆土2層	台石・石皿	砂岩	35.30	30.00	10.70	15,800.0	
図II 538	7	II-346	CP-209	床	台石片	デイサイト	28.50	18.70	12.10	6,500.0	
図II 539	2	II-347	CP-216	覆土2層	スクレイパー	頁岩	6.97	5.73	1.44	69.8	
図II 539	3	II-347	CP-216	覆土2層	扁平礫石器	砂岩	12.70	7.10	2.00	250.0	
図II 540	2	II-348	CP-223	覆土1層	台石・石皿	泥岩	28.00	25.20	17.00	10,700.0	
図II 540	5	II-348	CP-224	覆土層	石鏝	頁岩	3.27	1.23	0.34	1.5	
図II 540	6	II-348	CP-224	覆土層	石鏝	頁岩	3.56	1.19	0.48	1.8	
図II 540	8	II-348	CP-228	覆土1層	扁平礫石器	砂岩	15.00	8.20	4.10	640.0	
図II 540	15	II-349	CP-231	覆土層	スクレイパー	頁岩	9.15	4.35	1.08	56.5	
図II 541	10	II-349	CP-230	覆土1層	スクレイパー	頁岩	7.15	3.43	1.41	33.4	
図II 541	11	II-349	CP-230	覆土1層	スクレイパー	頁岩	6.41	3.71	0.65	20.5	
図II 541	12	II-349	CP-230	覆土2層	スクレイパー	頁岩	7.35	4.16	1.06	30.6	
図II 543	5	II-350	CP-232	床	Uフレイク	頁岩	13.10	4.50	3.00	85.4	
図II 543	7	II-352	CP-237	覆土2層	扁平礫石器	デイサイト	15.20	8.25	3.60	590.0	
図II 543	10	II-349	CP-238	床	たたき石	凝灰岩	15.77	4.60	4.49	350.0	
図II 543	14	II-349	CP-256	覆土1層	台石・石皿	安山岩	33.90	28.40	11.40	8,780.0	
図II 544	11	II-349	CP-244	床	Rフレイク	頁岩	3.30	2.10	0.90	5.6	

掲載図番号	写真図版	遺構名	層位	分類	石材	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考	
図Ⅱ 544	12	Ⅱ-349	CP-244	覆土層	北海道式石冠	閃緑岩	(10.50)	8.65	8.20	(1,150.0)	
図Ⅱ 544	13	Ⅱ-349	CP-244	覆土層	扁平礫石器	流紋岩	16.40	105.00	2.55	595.0	
図Ⅱ 544	14	Ⅱ-349	CP-244	床	台石・石皿	砂岩	17.50	8.80	4.20	730.0	
図Ⅱ 545	2	Ⅱ-353	CP-257	-	スクレイパー	頁岩	5.65	4.36	1.07	25.4	
図Ⅱ 545	10	Ⅱ-354	CP-264	覆土3層	スクレイパー	頁岩	5.80	3.60	1.20	18.1	
図Ⅱ 545	11	Ⅱ-354	CP-264	床	Uフレイク	頁岩	8.00	3.11	1.00	19.0	
図Ⅱ 545	12	Ⅱ-354	CP-264	床	扁平礫石器	砂岩	13.90	8.70	2.40	400.0	
図Ⅱ 545	13	Ⅱ-354	CP-264	覆土層	扁平礫石器	砂岩	(15.50)	10.40	3.90	(1,035.0)	
図Ⅱ 545	14	Ⅱ-354	CP-264	床	台石・石皿	砂岩	40.70	28.80	15.00	26,300.0	
図Ⅱ 546	5	Ⅱ-353	CP-268	-	スクレイパー	黒曜石	4.51	2.85	0.85	12.9	
図Ⅱ 546	15	Ⅱ-353	CP-272	覆土1層	北海道式石冠	流紋岩	10.90	8.90	4.50	340.0	
図Ⅱ 570	2	Ⅱ-355	CF-3	-	すり石	砂岩	9.30	8.20	5.70	482.0	
図Ⅱ 570	18	Ⅱ-355	CF-16	覆土1層	石錐	頁岩	5.00	3.05	0.98	12.8	
図Ⅱ 570	19	Ⅱ-355	CF-16	-	礫・礫片	安山岩	9.80	7.20	5.40	526.0	一括
図Ⅱ 570	20	Ⅱ-355	CF-16	覆土1層	たたき石	砂岩	15.94	8.87	5.06	990.0	
図Ⅱ 570	21	Ⅱ-355	CF-16	覆土1層	たたき石	砂岩	16.80	6.67	5.54	890.0	
図Ⅱ 571	9	Ⅱ-356	CF-20	覆土1層	石斧	片岩	(10.06)	5.18	1.91	(172.1)	
図Ⅱ 571	18	Ⅱ-356	CF-30	覆土1層	Rフレイク	頁岩	7.04	5.24	1.94	72.3	
図Ⅱ 571	21	Ⅱ-356	CF-31	覆土1層	スクレイパー	頁岩	7.52	4.21	1.78	53.1	
図Ⅱ 573	14	Ⅱ-358	CF-45	床	スクレイパー	頁岩	7.89	2.97	0.61	17.6	
図Ⅱ 573	15	Ⅱ-358	CF-46	覆土1層	北海道式石冠	安山岩	12.40	8.40	5.70	840.0	
図Ⅱ 573	18	Ⅱ-358	CF-55	覆土1層	スクレイパー	頁岩	7.43	2.71	0.72	21.3	
図Ⅱ 573	19	Ⅱ-358	CF-57	床	すり石	安山岩	16.25	9.30	4.50	1,015.0	
図Ⅱ 574	4	Ⅱ-359	CF-63	床	加工痕のある礫	砂岩	20.60	9.10	4.70	2,240.0	被熱
図Ⅱ 574	7	Ⅱ-359	CF-64	床	石錐	頁岩	7.19	6.22	1.48	43.3	
図Ⅱ 574	9	Ⅱ-359	CF-69	覆土1層	ポイント・ナイフ	頁岩	8.41	3.17	0.90	32.5	
図Ⅱ 575	12	Ⅱ-360	CF-83	床	スクレイパー	頁岩	9.31	5.46	1.38	66.8	
図Ⅱ 575	16	Ⅱ-360	CF-89	床	ポイント・ナイフ	頁岩	8.03	2.68	0.96	24.3	
図Ⅱ 576	6	Ⅱ-361	CF-95	床	たたき石	砂岩	10.21	9.30	6.29	940.0	
図Ⅱ 576	9	Ⅱ-361	CF-101	覆土2層	扁平礫石器	安山岩	14.80	6.20	2.60	330.0	
図Ⅱ 576	17	Ⅱ-361	CF-115	床	ポイント・ナイフ	頁岩	9.11	2.96	1.65	44.3	
図Ⅱ 576	21	Ⅱ-361	CF-117	床	石鏃	頁岩	2.90	1.53	0.24	1.8	
図Ⅱ 578	14	Ⅱ-365	CF-152	床	台石・石皿	安山岩	39.40	22.30	11.00	14,600.0	
図Ⅱ 579	9	Ⅱ-364	CF-156	床	扁平礫石器	流紋岩	17.00	8.80	2.00	430.0	
図Ⅱ 579	10	Ⅱ-364	CF-157	床	たたき石	砂岩	12.60	8.25	7.80	1,100.0	炉石(No.1)
図Ⅱ 580	6	Ⅱ-365	CS-11	床	凹石	泥岩	21.90	5.28	3.77	470.0	

表VI-6 掲載土器（包含層）一覧

掲載図番号	写真図版	分類	グリット	層位	口径	器高	底径	特徴
図III-1 1 1	II-366	I a	O-75	III層				
図III-1 1 2	II-366	I a	P-76	III層				
図III-1 1 3	II-366	I a	N-62	III層				
図III-1 1 4	II-366	I a	P-79,O-79	III層				
図III-1 1 5	II-366	I a	Q-63	III層				
図III-1 1 6	II-366	I a	P-77	III層				
図III-1 1 7	II-366	I a	K-65	III層				
図III-1 1 8	II-366	I a	R-63	III層				
図III-1 1 9	II-366	I a	R-64	III層				
図III-1 1 10	II-366	I a	R-63	III層				
図III-1 1 11	II-366	I a	S-71	III層				日計式？
図III-1 1 12	II-366	I a	Q-63	III層				押型文土器？
図III-1 1 13	II-366	I a	L-77	III層				
図III-1 1 14	II-366	I a	R-72	III層				
図III-1 1 15	II-366	I a	T-73	III層				
図III-1 1 16	II-366	I a	L-72	III層				
図III-1 1 17	II-366	I a	S-75	III層				日計式？
図III-1 1 18	II-366	I a	O-77	III層				日計式？
図III-1 1 19	II-366	I a	R-80	III層				
図III-1 1 20	II-366	I a	M-80	III層				P-79 O-77と接合(残にO-79,CH-34,CP-92)
図III-1 1 21	II-366	I a	O-71	III層				CH-19-10と同一か？
図III-1 1 22	II-366	I a	Q-75	III層				
図III-1 1 23	II-366	I a	O-67	III層				
図III-1 1 24	II-366	I a	T-75	III層				(残にR-75)
図III-1 1 25	II-366	I a	S-66	III層				
図III-1 1 26	II-366	I a	O-71	III層				
図III-1 1 27	II-366	I a	Q-75	III層				
図III-1 1 28	II-366	II b	L-81,L-82,O-79	III層				(残にM-81,L-80 III)
図III-1 2 1	II-367	IIIa	K-64	III層	21.9	29.5	(8.2)	復元 同下半部欠損、底部有り→合体させました
図III-1 2 2	II-368	IIIa	S-75	III層	(26.8)	(10.4)	—	復元
図III-1 2 3	II-367	IIIa	N-71	III層				
図III-1 2 4	II-367	IIIa	R-79	III層				
図III-1 3 5	II-367	IIIa	R-74	III層	31.3	(28.6)	—	復元 底部周辺無し
図III-1 3 6	II-367	IIIa	K-71	III層	(18.4)	(19.8)	—	復元
図III-1 3 7	II-369	IIIa	S-75	III層	(20.2)	(20.3)	—	復元 口縁部の突起四ヶ所が欠損、底部も欠損
図III-1 4 8	II-368	IIIa	J-76	III層	29.5	(20.5)	(13.0)	復元 I-79 J-77 K-76 L-76 IIIと接合
図III-1 4 9	II-369	IIIa	Q-79	III層				
図III-1 4 10	II-369	IIIa	M-78	III層				
図III-1 4 11	II-369	IIIa	N-72	III層				L-62 IIIと接合(残にK-71,K-72,M-80 III)
図III-1 4 12	II-369	IIIa	M-80	III層				b(N-81 III)
図III-1 4 13	II-369	IIIa	I-85	III層				
図III-1 5 14	II-370	IIIa	K-71	III層				I-74 I-75 L-71 L-72 K-72 IIIと接合
図III-1 5 15	II-370	IIIa	L-83	III層				
図III-1 5 16	II-370	IIIa	L-74	III層				
図III-1 5 17	II-370	IIIa	O-75	III層				
図III-1 5 18	II-370	IIIa	T-74	III層				
図III-1 5 19	II-370	IIIa	M-81	III層				
図III-1 5 20	II-370	IIIa	K-72,L-74	III層				a(L-74) b(K-72)
図III-1 5 21	II-370	IIIa	J-68,K-69	III層				
図III-1 5 22	II-370	IIIa	Q-62	III層				
図III-1 5 23	II-370	IIIa	R-65,N-66	III層				
図III-1 5 24	II-370	IIIa	P-76	III層				
図III-1 5 25	II-371	IIIa	N-70	III層				滑石土器
図III-1 5 26	II-371	IIIa	R-68	III層				(残にS-70 III)
図III-1 5 27	II-371	IIIa	J-79	III層				
図III-1 6 28	II-371	IIIa	L-71	III層	24.8	(27.9)	—	復元 平縁、底部無し
図III-1 6 29	II-371	IIIa	T-75	III層				
図III-1 6 30	II-371	IIIa	L-65	III層				
図III-1 6 31	II-371	IIIa	S-75	III層				
図III-1 6 32	II-371	IIIa	M-74	III層	18.1	17.8	7.2	復元
図III-1 6 33	II-371	IIIa	P-70	III層				
図III-1 6 34	II-371	IIIa	Q-74	III層				
図III-1 7 35	II-372	IIIa	Q-74	III層	18.9	23.2	8.3	復元
図III-1 7 36	II-372	IIIa	Q-75	III層	16.8	14.7	6.6	復元 小型
図III-1 7 37	II-371	IIIa	N-81	III層				N-80 III と接合

掲載図番号	写真図版	分類	グリット	層位	口径	器高	底径	特徴
図Ⅲ-1	7	38	Ⅱ-372	Ⅲa	N-77	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	7	39	Ⅱ-372	Ⅲa	L-84	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	7	40	Ⅱ-372	Ⅲa	Q-74	Ⅲ層		R-73 Q-70 Q-73 Ⅲと接合
図Ⅲ-1	7	41	Ⅱ-372	Ⅲa	K-71	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	7	42	Ⅱ-372	Ⅲa	P-70	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	7	43	Ⅱ-372	Ⅲa	L-72	Ⅲ層		(残にCH-29 覆1)
図Ⅲ-1	7	44	Ⅱ-372	Ⅲa	R-79	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	8	45	Ⅱ-373	Ⅲa	N-73	Ⅲ層		CH-47 覆土2 CH-26 覆土 L-74 M-74 Ⅲと接合
図Ⅲ-1	8	46	Ⅱ-373	Ⅲa	T-74	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	8	47	Ⅱ-373	Ⅲa	M-72	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	8	48	Ⅱ-373	Ⅲa	L-71	Ⅲ層	(20.3)	(12.6) - 復元 半分欠損(裏側・下半部も)
図Ⅲ-1	8	49	Ⅱ-373	Ⅲa	K-73	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	8	50	Ⅱ-373	Ⅲa	R-75	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	8	51	Ⅱ-374	Ⅲa	L-72	Ⅲ層		(残にL-71)
図Ⅲ-1	8	52	Ⅱ-373	Ⅲa	M-74,L-74	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	8	53	Ⅱ-374	Ⅲa	S-74	Ⅲ層		CH-47 覆土1と接合 (残にS-75)
図Ⅲ-1	8	54	Ⅱ-374	Ⅲa	S-71	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	8	55	Ⅱ-374	Ⅲa	Q-73	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	9	56	Ⅱ-374	Ⅲa	Q-74・75	Ⅲ層	(23.6)	40.2 (9.4) 復元
図Ⅲ-1	9	57	Ⅱ-374	Ⅲa	Q-70	Ⅲ層	22.2	27.4 10.3 復元
図Ⅲ-1	9	58	Ⅱ-375	Ⅲa	O-75	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	9	59	Ⅱ-375	Ⅲa	L-72	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	9	60	Ⅱ-375	Ⅲa	P-74	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	9	61	Ⅱ-375	Ⅲa	L-73	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	10	62	Ⅱ-375	Ⅲa	L-71	Ⅲ層		復元 模様を展開構成図が必要か、展開図有り
図Ⅲ-1	10	63	Ⅱ-375	Ⅲa	K-71	Ⅲ層	(24.7)	30.9 (7.8) 復元
図Ⅲ-1	11	64	Ⅱ-376	Ⅲa	O-77	Ⅲ層	(12.7)	18.1 5.5 復元
図Ⅲ-1	11	65	Ⅱ-376	Ⅲa	Q-75	Ⅲ層	14.9	(14.5) - 復元 Q-74 Ⅲ CH-34 覆土1と接合
図Ⅲ-1	11	66	Ⅱ-376	Ⅲa	L-71	Ⅲ層		復元
図Ⅲ-1	11	67	Ⅱ-376	Ⅲa	K-71	Ⅲ層	17.7	22.4 8.5 復元
図Ⅲ-1	11	68	Ⅱ-377	Ⅲa	P-74	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	11	69	Ⅱ-377	Ⅲa	P-63	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	11	70	Ⅱ-377	Ⅲa	M-69	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	11	71	Ⅱ-377	Ⅲa	N-75	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	11	72	Ⅱ-377	Ⅲa	M-66	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	11	73	Ⅱ-377	Ⅲa	Q-62	Ⅲ層		No.74.75.76と同一?
図Ⅲ-1	11	74	Ⅱ-377	Ⅲa	Q-62	Ⅲ層		No.73.75.76と同一?
図Ⅲ-1	11	75	Ⅱ-377	Ⅲa	Q-63	Ⅲ層		No.73.74.76と同一
図Ⅲ-1	11	76	Ⅱ-377	Ⅲa	Q-62	Ⅲ層		No.73.74.75と同一?
図Ⅲ-1	12	77	Ⅱ-377	Ⅲa	O-78	Ⅲ層		復元
図Ⅲ-1	12	78	Ⅱ-377	Ⅲa	K-84	Ⅲ層	(21.1)	(24.8) - 復元
図Ⅲ-1	12	79	Ⅱ-378	Ⅲa	N-76	Ⅲ層		滑石土器
図Ⅲ-1	12	80	Ⅱ-378	Ⅲa	K-76	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	12	81	Ⅱ-378	Ⅲa	J-76	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	12	82	Ⅱ-378	Ⅲa	M-81	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	12	83	Ⅱ-378	Ⅲa	S-69	Ⅲ層		滑石土器
図Ⅲ-1	12	84	Ⅱ-378	Ⅲa	I-79	Ⅲ層		復元
図Ⅲ-1	13	85	Ⅱ-378	Ⅲa	N-74	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	13	86	Ⅱ-379	Ⅲa	Q-74	Ⅲ層	8.1	11.4 4.7 復元 小型 無文
図Ⅲ-1	13	87	Ⅱ-379	Ⅲa	L-65	Ⅲ層		M-65 Ⅲと接合
図Ⅲ-1	13	88	Ⅱ-379	Ⅲa	M-66	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	13	89	Ⅱ-379	Ⅲa	L-75	Ⅲ層		K-75 攪乱と接合
図Ⅲ-1	13	90	Ⅱ-379	Ⅲa	R-67	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	13	91	Ⅱ-379	Ⅲa	R-65	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	13	92	Ⅱ-379	Ⅲa	R-63	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	13	93	Ⅱ-379	Ⅲa	Q-62	Ⅲ層		R-62,R-63と接合
図Ⅲ-1	13	94	Ⅱ-379	Ⅲa	R-62	Ⅲ層		S-64 Ⅲと接合
図Ⅲ-1	13	95	Ⅱ-380	Ⅲa	K-64	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	13	96	Ⅱ-380	Ⅲa	N-64	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	13	97	Ⅱ-380	Ⅲa	P-86	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	13	98	Ⅱ-380	Ⅲa	L-66	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	13	99	Ⅱ-380	Ⅲa	L-62	Ⅲ層		M-62-Ⅲと接合(残にK-62 Ⅲ)
図Ⅲ-1	13	100	Ⅱ-380	Ⅲa	H-69	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	13	101	Ⅱ-380	Ⅲa	J-77	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	13	102	Ⅱ-380	Ⅲa	L-61	Ⅲ層		滑石土器
図Ⅲ-1	14	103	Ⅱ-380	Ⅲa	I-70	Ⅲ層	35.8	56.8 13.0 復元
図Ⅲ-1	14	104	Ⅱ-380	Ⅲa	K-73,J-73	Ⅲ層		(残にP-75 J-72 Ⅲ)

掲載図番号	写真図版	分類	グリット	層位	口径	器高	底径	特徴
図III-1	14	105	II-380	IIIa	J-71	III層		
図III-1	14	106	II-381	IIIa	K-76	III層		
図III-1	14	107	II-381	IIIa	L-75	I層		
図III-1	14	108	II-381	IIIa	L-76	III層		M-76 IIIと接合
図III-1	15	109	II-381	IIIa	N-80	III層		
図III-1	15	110	II-381	IIIa	O-75	III層		
図III-1	15	111	II-381	IIIa	M-80	III層		(残にK-69,M-69 III)
図III-1	15	112	II-381	IIIa	Q-62	III層		
図III-1	15	113	II-381	IIIa	O-76	III層		M-76 IIIと接合
図III-1	15	114	II-381	IIIa	k-72	III層		
図III-1	15	115	II-381	IIIa	K-72	III層		
図III-1	15	116	II-381	IIIa	L-61	III層		
図III-1	15	117	II-382	IIIa	K-64	III層		J-64と接合(残にI-66,I-69,L-68 III)
図III-1	15	118	II-382	IIIa	L-77	I層		
図III-1	15	119	II-382	IIIa	L-63	III層		
図III-1	15	120	II-382	IIIa	Q-72	III層		滑石土器
図III-1	15	121	II-382	IIIa	N-69	III層		
図III-1	15	122	II-382	IIIa	N-63	III層		
図III-1	15	123	II-382	IIIa	M-70	III層		L-68 IIIと接合(残にM-71 III)
図III-1	15	124	II-382	IIIa	L-76	III層		(残にM-76)
図III-1	15	125	II-383	IIIa	M-69	III層		(残にN-69 III)
図III-1	15	126	II-383	IIIa	S-67	III層		
図III-1	16	127	II-382	IIIa	K-69	III層		L-69 IIIと接合(残にCH-9 覆2、J-68,K-64,K-70 III)
図III-1	16	128	II-382	IIIa	K-75,L-75	III層		口縁部がない、胴部に沈線文有り
図III-1	17	129	II-383	IIIa	L-76	III層		
図III-1	17	130	II-383	IIIa	M-64	III層		
図III-1	17	131	II-383	IIIa	J-76	III層		
図III-1	17	132	II-383	IIIa	K-62	III層		滑石土器
図III-1	17	133	II-383	IIIa	L-61	III層		
図III-1	17	134	II-383	IIIa	S-71	III層		
図III-1	17	135	II-383	IIIa	O-68	III層		
図III-1	17	136	II-383	IIIa	M-69	III層		
図III-1	17	137	II-383	IIIa	P-66	III層		オオバコ
図III-1	17	138	II-383	IIIa	Q-62	III層		オオバコ
図III-1	17	139	II-383	IIIa	Q-68	III層		はこべ文
図III-1	17	140	II-383	IIIa	O-66	III層		オオバコ
図III-1	17	141	II-383	IIIa	M-62	III層		N-63 IIIと接合
図III-1	17	142	II-384	IIIa	M-66	III層		オオバコ
図III-1	17	143	II-384	IIIa	O-64	III層		オオバコ
図III-1	17	144	II-384	IIIa	O-72	III層		オオバコ
図III-1	17	145	II-384	IIIa	T-73	III層		オオバコ 型押文
図III-1	17	146	II-384	IIIa	K-74	III層		魚骨回転式
図III-1	17	147	II-384	IIIa	S-67	III層		魚骨回転式
図III-1	17	148	II-384	IIIa	L-81,O-66	III層		魚骨回転式(残にQ-65,Q-67)
図III-1	17	149	II-384	IIIa	L-74,J-75,L-75	III層		魚骨回転文(残にCH-18-覆1 CH-48-覆3 他)
図III-1	17	150	II-384	IIIa	M-69	III層		
図III-1	17	151	II-384	IIIa	K-62	III層		
図III-1	17	152	II-384	IIIa	M-76,N-77	III層		
図III-1	18	153	II-384	IIIa	N-75	III層		N-72 IIIと接合
図III-1	18	154	II-384	IIIa	K-80	III層		L-80 IIIと接合
図III-1	18	155	II-385	IIIa	O-75	III層		下半部無し
図III-1	19	156	II-385	IIIa	I-68	III層		
図III-1	19	157	II-385	IIIa	I-68	III層		b(I-67)
図III-1	19	158	II-385	IIIa	M-63	III層		
図III-1	19	159	II-386	IIIa	O-73	III層		
図III-1	19	160	II-386	IIIa	K-68	III層		
図III-1	19	161	II-386	IIIa	L-77 L-79	III層		a(L-77,L-79,M? III)b(L-79)
図III-1	19	162a	II-386	IIIa	I-70	III層		
図III-1	19	162b	II-386	IIIa	J-72	III層		
図III-1	20	163	II-386	IIIa	P-64	III層		復元
図III-1	20	164	II-386	IIIa	K-62	III層		K-63,L-63 IIIと接合
図III-1	20	165	II-386	IIIa	O-71	III層		
図III-1	20	166	II-387	IIIa	M-79	III層		
図III-1	20	167	II-387	IIIa	S-75	III層		底部周りだけ
図III-1	21	168	II-387	IIIa	L-83	III層		
図III-1	21	169	II-387	IIIa	N-69	III層		
図III-1	21	170	II-387	IIIa	K-70	III層		大木式

掲載図番号	写真図版	分類	グリット	層位	口径	器高	底径	特徴
図Ⅲ-1	21	171	Ⅱ-387	Ⅲa	M-81	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	21	172	Ⅱ-387	Ⅲa	K-68	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	21	173	Ⅱ-387	Ⅲa	J-80	Ⅲ層		J-79 Ⅲと接合
図Ⅲ-1	21	174	Ⅱ-387	Ⅲa	H-72	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	21	175	Ⅱ-387	Ⅲa	L-71	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	21	176	Ⅱ-387	Ⅲa	N-80	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	21	177	Ⅱ-387	Ⅲa	N-80	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	21	178	Ⅱ-387	Ⅲa	L-74	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	21	179	Ⅱ-387	Ⅲa	Q-67	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	21	180	Ⅱ-387	Ⅲa	M-69	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	22	1	Ⅱ-388	Ⅲb	R-80	Ⅲ層		滑石土器
図Ⅲ-1	22	2	Ⅱ-388	Ⅲb	M-74 H-72	Ⅲ層		滑石土器
図Ⅲ-1	22	3	Ⅱ-388	Ⅲb	R-62	Ⅲ層		Q-71,S-63,S-64,R-64 Ⅲと接合
図Ⅲ-1	22	4	Ⅱ-388	Ⅲb	K-68	Ⅲ層		K-69と接合
図Ⅲ-1	22	5	Ⅱ-388	Ⅲb	I-69	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	22	6	Ⅱ-388	Ⅲb	J-66	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	22	7	Ⅱ-388	Ⅲb	J-64	Ⅲ層		滑石土器(残にCH-78 覆土2、J-65,I-64 Ⅲ)
図Ⅲ-1	22	8	Ⅱ-388	Ⅲb	O-68	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	23	9	Ⅱ-389	Ⅲb	R-64	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	23	10	Ⅱ-389	Ⅲb	K-64	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	23	11	Ⅱ-389	Ⅲb	O-66	Ⅲ層		(残にP-65 Ⅲ)
図Ⅲ-1	23	12	Ⅱ-389	Ⅲb	K-65	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	23	13	Ⅱ-389	Ⅲb	P-71	Ⅲ層		滑石土器
図Ⅲ-1	23	14	Ⅱ-389	Ⅲb	I-71	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	23	15	Ⅱ-389	Ⅲb	M-74	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	23	16	Ⅱ-389	Ⅲb	N-69	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	23	17	Ⅱ-389	Ⅲb	K-70	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	23	18	Ⅱ-389	Ⅲb	N-72	Ⅲ層		(残にN-73 Ⅲ)
図Ⅲ-1	23	19	Ⅱ-389	Ⅲb	I-64	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	23	20	Ⅱ-389	Ⅲb	I-72	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	23	21	Ⅱ-389	Ⅲb	L-62	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	23	22	Ⅱ-390	Ⅲb	R-64	Ⅲ層	(9.2)	13.1 4.5 復元 小型土器
図Ⅲ-1	23	23	Ⅱ-390	Ⅲb	K-69	Ⅲ層	(17.7)	25.0 (5.9) 復元
図Ⅲ-1	23	24	Ⅱ-390	Ⅲb	Q-67	Ⅲ層	(8.4)	11.3 (4.0) 復元
図Ⅲ-1	24	25	Ⅱ-390	Ⅲb	I-69	Ⅲ層		c(H-68 Ⅲ) (残にL-68,J-68 Ⅲ)
図Ⅲ-1	24	26	Ⅱ-390	Ⅲb	K-72,L-71	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	24	27	Ⅱ-391	Ⅲb	H-68	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	24	28	Ⅱ-391	Ⅲb	M-64	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	24	29	Ⅱ-390	Ⅲb	K-61	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	24	30	Ⅱ-391	Ⅲb	M-68	Ⅲ層		大木式
図Ⅲ-1	24	31	Ⅱ-391	Ⅲb	P-65	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	24	32	Ⅱ-391	Ⅲb	M-62	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	24	33	Ⅱ-391	Ⅲb	L-81	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	24	34	Ⅱ-391	Ⅲb	K-74	Ⅲ層		滑石土器 L-74 Ⅲと接合
図Ⅲ-1	24	35	Ⅱ-391	Ⅲb	J-70	Ⅲ層		滑石土器
図Ⅲ-1	24	36	Ⅱ-391	Ⅲb	K-74	Ⅲ層		滑石土器
図Ⅲ-1	24	37	Ⅱ-391	Ⅲb	I-73	Ⅲ層		滑石土器
図Ⅲ-1	24	38	Ⅱ-391	Ⅲb	L-79	Ⅲ層		滑石土器 L-80 Ⅲと接合
図Ⅲ-1	24	39	Ⅱ-391	Ⅲb	O-68	Ⅲ層		滑石土器 CH86-12と同一か?
図Ⅲ-1	24	40	Ⅱ-391	Ⅲb	P-76	Ⅲ層		滑石土器
図Ⅲ-1	24	41	Ⅱ-391	Ⅲb	N-66	Ⅲ層		滑石土器
図Ⅲ-1	24	42	Ⅱ-391	Ⅲb	M-72	Ⅲ層		滑石土器
図Ⅲ-1	24	43	Ⅱ-391	Ⅲb	N-65	Ⅲ層		(残にK-62,L-64,M-64 Ⅲと接合)
図Ⅲ-1	24	44	Ⅱ-391	Ⅲb	J-71	Ⅲ層		滑石土器
図Ⅲ-1	24	45	Ⅱ-391	Ⅲb	R-64	Ⅲ層		
図Ⅲ-1	24	46	Ⅱ-391	Ⅲb	L-66	Ⅲ層		(残にP-66 Ⅲ)
図Ⅲ-1	25	47	Ⅱ-392	Ⅲb	S-73	Ⅲ層		大木式(残にS-73 表採)
図Ⅲ-1	25	48	Ⅱ-392	Ⅲb	K-64	Ⅲ層		大木式
図Ⅲ-1	25	49	Ⅱ-392	Ⅲb	L-62	Ⅲ層		大木式
図Ⅲ-1	25	50	Ⅱ-392	Ⅲb	S-74	Ⅲ層		大木式
図Ⅲ-1	25	51	Ⅱ-392	Ⅲb	L-72	Ⅲ層		大木式
図Ⅲ-1	25	52	Ⅱ-392	Ⅲb	K-74	Ⅲ層		大木式
図Ⅲ-1	25	53	Ⅱ-392	Ⅲb	H-69 H-70	Ⅲ層		大木式
図Ⅲ-1	25	54	Ⅱ-392	Ⅲb	J-80 M-68	Ⅲ層		大木式a(L-70) b(I-71)
図Ⅲ-1	25	55	Ⅱ-392	Ⅲb	I-73	Ⅲ層		大木式
図Ⅲ-1	25	56	Ⅱ-392	Ⅲb	I-69	Ⅲ層		大木式
図Ⅲ-1	25	57	Ⅱ-392	Ⅲb	Q-63	Ⅲ層		大木式

掲載図番号	写真図版	分類	グリット	層位	口径	器高	底径	特徴	
図Ⅲ-1	25	58	Ⅱ-392	Ⅲb	L-68	Ⅲ層		大木式	
図Ⅲ-1	25	59	Ⅱ-392	Ⅲb	M-69	Ⅲ層		大木式	
図Ⅲ-1	25	60	Ⅱ-392	Ⅲb	N-70	Ⅲ層		大木式	
図Ⅲ-1	25	61	Ⅱ-392	Ⅲb	K-70	Ⅲ層		大木式	
図Ⅲ-1	25	62	Ⅱ-392	Ⅲb	K-61	Ⅲ層		大木式	
図Ⅲ-1	25	63	Ⅱ-393	Ⅲb	K-63	Ⅲ層		大木式	
図Ⅲ-1	25	64	Ⅱ-393	Ⅲb	N-70,O-67	Ⅲ層		大木式	
図Ⅲ-1	25	65	Ⅱ-393	Ⅲb	L-70 I-71	Ⅲ層		大木式	
図Ⅲ-1	26	66	Ⅱ-393	Ⅲb	I-66	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	26	67	Ⅱ-393	Ⅲb	M-74,O-74	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	26	68	Ⅱ-393	Ⅲb	M-63	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	26	69	Ⅱ-393	Ⅲb	I-65・66,J65	Ⅲ層	(28.8)	(40.4)	— 復元
図Ⅲ-1	26	70	Ⅱ-394	Ⅲb	S-65	Ⅲ層			滑石土器
図Ⅲ-1	26	71	Ⅱ-394	Ⅲb	N-64	Ⅲ層			滑石土器
図Ⅲ-1	26	72	Ⅱ-394	Ⅲb	R-69	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	26	73	Ⅱ-394	Ⅲb	J-67	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	26	74	Ⅱ-394	Ⅲb	K-64	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	26	75	Ⅱ-394	Ⅲb	K-63	Ⅲ層			滑石土器
図Ⅲ-1	26	76	Ⅱ-394	Ⅲb	P-62	Ⅲ層			N63 Ⅲ
図Ⅲ-1	26	77	Ⅱ-394	Ⅲb	K-62	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	27	78	Ⅱ-394	Ⅲb	K-61・62,L61・62	Ⅲ層	35.0	(40.3)	— 復元※底部なし
図Ⅲ-1	28	79	Ⅱ-395	Ⅲb	O-66,N-66	Ⅲ層	30.8	(38.0)	— 復元
図Ⅲ-1	29	80	Ⅱ-394	Ⅲb	K-74	Ⅲ層	(17.3)	24.5	(7.3) 復元
図Ⅲ-1	29	81	Ⅱ-396	Ⅲb	S-70	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	29	82	Ⅱ-396	Ⅲb	K-62	Ⅲ層			復元
図Ⅲ-1	29	83	Ⅱ-396	Ⅲb	J-72	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	29	84	Ⅱ-396	Ⅲb	Q-67	Ⅲ層			R-67 Ⅲと接合
図Ⅲ-1	29	85	Ⅱ-396	Ⅲb	P-65	Ⅲ層			P-64 Ⅲと接合
図Ⅲ-1	29	86	Ⅱ-397	Ⅲb	J-68	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	29	87	Ⅱ-397	Ⅲb	P-66	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	30	88	Ⅱ-397	Ⅲb	M-66	Ⅲ層			(残にCP-47 覆土1層)
図Ⅲ-1	30	89	Ⅱ-397	Ⅲb	Q-76	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	30	90	Ⅱ-397	Ⅲb	S-74	Ⅲ層			滑石土器
図Ⅲ-1	30	91	Ⅱ-397	Ⅲb	I-66	Ⅲ層			滑石土器
図Ⅲ-1	30	92	Ⅱ-397	Ⅲb	K-61	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	30	93	Ⅱ-397	Ⅲb	K-74	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	30	94	Ⅱ-397	Ⅲb	J-72	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	30	95	Ⅱ-397	Ⅲb	O-66	Ⅲ層			(残にO-67 Ⅲ)
図Ⅲ-1	30	96	Ⅱ-397	Ⅲb	K-74	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	30	97	Ⅱ-397	Ⅲb	O-66	Ⅲ層			L-66 Ⅲと接合
図Ⅲ-1	30	98	Ⅱ-398	Ⅲb	P-69	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	30	99	Ⅱ-398	Ⅲb	M-64	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	30	100	Ⅱ-398	Ⅲb	K-62	Ⅲ層			(残にI-64,J-64 Ⅲ)
図Ⅲ-1	30	101	Ⅱ-398	Ⅲb	I-66	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	30	102	Ⅱ-398	Ⅲb	M-81	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	31	103	Ⅱ-398	Ⅲb	P-66	Ⅲ層			O-66と接合(残にO-67)
図Ⅲ-1	31	104	Ⅱ-398	Ⅲb	J-64	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	31	105	Ⅱ-399	Ⅳa	T-72	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	31	106	Ⅱ-399	Ⅳa	T-72	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	31	107	Ⅱ-399	Ⅳa	T-72	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	31	108	Ⅱ-399	Ⅳa	R-64	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	31	109	Ⅱ-399	Ⅲb	Q-62	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	31	110	Ⅱ-399	Ⅳa	J-74	Ⅲ層			(残にK-74)
図Ⅲ-1	31	111	Ⅱ-399	Ⅲb	O-65	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	31	112	Ⅱ-399	Ⅲb	O-72	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	31	113	Ⅱ-399	Ⅲb	P-67・68	Ⅲ層			底部のみ 胴上半部欠失
図Ⅲ-1	31	114	Ⅱ-399	Ⅲb	K-73	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	31	115	Ⅱ-399	Ⅲb	L-75	Ⅲ層			滑石土器
図Ⅲ-1	31	116	Ⅱ-399	Ⅲb	O-69	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	31	117	Ⅱ-399	Ⅲb	M-67	Ⅲ層			底部のみ残存
図Ⅲ-1	31	118	Ⅱ-399	Ⅲb	H-69	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	31	119	Ⅱ-399	Ⅲb	M-64	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32	120	Ⅱ-400	Ⅲb	J-73	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32	121	Ⅱ-400	Ⅲb	L-81	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32	122	Ⅱ-400	Ⅲb	Q-66	Ⅲ層			Q-67 Ⅲと接合
図Ⅲ-1	32	123	Ⅱ-400	Ⅲb	J-67	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32	124	Ⅱ-400	Ⅲb	K-74	Ⅲ層			

掲載図番号	写真図版	分類	グリット	層位	口径	器高	底径	特徴
図Ⅲ-1	32 125	Ⅱ-400	Ⅲb	N-67	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32 126	Ⅱ-400	Ⅲb	O-69	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32 127	Ⅱ-400	Ⅲb	L-68	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32 128	Ⅱ-400	Ⅲb	O-68	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32 129	Ⅱ-400	Ⅲb	T-72	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32 130	Ⅱ-400	Ⅲb	N-66	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32 131	Ⅱ-400	Ⅲb	L-73	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32 132	Ⅱ-400	Ⅲb	K-80	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32 133	Ⅱ-400	Ⅲb	M-68	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32 134	Ⅱ-400	Ⅲb	Q-72	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32 135	Ⅱ-400	Ⅲb	N-69	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32 136	Ⅱ-400	Ⅲb	I-68	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32 137	Ⅱ-400	Ⅲb	I-71	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32 138	Ⅱ-400	Ⅲb	H-69	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32 139	Ⅱ-400	Ⅲb	P-65	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32 140	Ⅱ-400	Ⅲb	J-73	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32 141	Ⅱ-400	Ⅲb	Q-66	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32 142	Ⅱ-400	Ⅲb	O-68	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32 143	Ⅱ-400	Ⅲb	I-66	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32 144	Ⅱ-400	Ⅲb	N-66	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	32 145	Ⅱ-400	Ⅲb	O-67	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	33 1	Ⅱ-401	Ⅵ	O-84	Ⅲ層			
図Ⅲ-1	33 2	Ⅱ-401	Ⅵ	O-80	Ⅲ層			O-79 Ⅲと接合

表VI-7 掲載石器（包含層）一覧

掲載図番号	写真図版	グリット	層位	分類	石材	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考
図III-2 1 1	II-402	L-74	III層	ポイント・ナイフ	頁岩	11.43	3.17	1.27	39.7	
図III-2 1 2	II-402	K-71	III層	ポイント・ナイフ	頁岩	9.39	2.96	0.94	25.2	
図III-2 1 3	II-402	O-69	III層	ポイント・ナイフ	頁岩	9.14	2.67	1.10	24.4	
図III-2 1 4	II-402	N-75	III層	ポイント・ナイフ	頁岩	5.78	1.50	0.55	25.3	
図III-2 1 5	II-402	I-71	III層	ポイント・ナイフ	頁岩	7.94	2.59	1.02	19.7	
図III-2 1 6	II-402	K-65	III層	ポイント・ナイフ	頁岩	9.60	2.62	1.13	23.0	
図III-2 1 7	II-402	R-64	攪乱	ポイント・ナイフ	頁岩	(11.17)	2.37	0.95	(22.0)	
図III-2 1 8	II-402	N-66	III層	ポイント・ナイフ	頁岩	10.72	4.50	0.97	42.9	
図III-2 1 9	II-402	L-63	III層	ポイント・ナイフ	頁岩	7.83	2.67	0.96	17.9	
図III-2 1 10	II-402	I-66	III層	ポイント・ナイフ	黒曜石	7.68	2.99	0.62	11.1	
図III-2 1 11	II-402	P-75	III層	ポイント・ナイフ	黒曜石	6.85	3.74	1.14	26.5	
図III-2 1 12	II-402	J-不明	III層	ポイント・ナイフ	黒曜石	6.23	2.29	0.78	11.1	
図III-2 1 13	II-402	O-70	III層	ポイント・ナイフ	頁岩	5.32	1.75	0.45	4.8	
図III-2 1 14	II-402	N-62	III層	ポイント・ナイフ	黒曜石	6.27	2.78	0.66	10.8	
図III-2 1 15	II-402	M-78	III層	ポイント・ナイフ	頁岩	6.01	2.83	1.06	15.8	
図III-2 1 16	II-402	S-72	III層	ポイント・ナイフ	頁岩	5.30	2.57	0.72	11.9	
図III-2 1 17	II-402	O-63	III層	ポイント・ナイフ	黒曜石	4.97	2.19	0.82	5.0	
図III-2 1 18	II-402	K-68	III層	ポイント・ナイフ	黒曜石	4.91	2.00	0.77	6.2	
図III-2 1 19	II-402	S-63	III層	石錐	砂岩	4.73	1.22	0.88	4.7	
図III-2 1 20	II-402	K-63	III層	石錐	頁岩	3.90	2.15	0.97	0.5	
図III-2 1 21	II-402	I-68	トレンチ	石錐	頁岩	5.09	2.69	0.83	10.2	
図III-2 1 22	II-402	I-68	III層	石錐	頁岩	4.80	2.20	1.02	11.1	
図III-2 1 23	II-402	N-64	III層	石錐	頁岩	5.11	2.34	1.07	7.8	
図III-2 1 24	II-402	O-69	III層	石錐	頁岩	6.91	1.58	0.84	9.7	
図III-2 1 25	II-402	J-69	III層	石錐	頁岩	6.80	2.45	0.55	16.4	
図III-2 1 26	II-402	K-72	III層	石錐	頁岩	6.05	2.89	1.18	14.3	
図III-2 1 27	II-402	K-74	III層	石錐	頁岩	6.57	2.96	1.94	32.0	
図III-2 2 28	II-403	T-77	III層	石鏃	頁岩	3.32	1.77	0.28	1.9	
図III-2 2 29	II-403	O-64	III層	石鏃	メノウ	1.65	1.45	0.27	0.5	
図III-2 2 30	II-403	O-64	III層	石鏃	頁岩	2.22	1.37	0.29	0.8	
図III-2 2 31	II-403	Q-64	III層	石鏃	頁岩	2.41	1.09	0.28	0.7	
図III-2 2 32	II-403	P-70	III層	石鏃	頁岩	3.51	1.97	0.59	3.1	
図III-2 2 33	II-403	P-73	III層	石鏃	頁岩	3.26	1.52	0.24	1.3	
図III-2 2 34	II-403	N-65	III層	石槍	頁岩	4.66	2.37	0.85	7.5	
図III-2 2 35	II-403	L-73	III層	石槍	頁岩	5.17	2.05	0.94	9.2	
図III-2 2 36	II-403	L-65	III層	石鏃	黒曜石	2.74	1.42	0.46	1.4	
図III-2 2 37	II-403	P-80	III層	石鏃	黒曜石	(2.61)	1.45	0.48	(1.7)	
図III-2 2 38	II-403	H-69	III層	石鏃	黒曜石	3.24	1.36	0.47	2.0	
図III-2 2 39	II-403	I-68	III層	石鏃	黒曜石	(2.49)	1.36	0.28	(0.9)	
図III-2 2 40	II-403	I-70	III層	石鏃	黒曜石	(2.73)	1.56	0.32	(1.6)	
図III-2 2 41	II-403	Q-67	III層	石鏃	黒曜石	(2.65)	1.16	0.19	(0.9)	
図III-2 2 42	II-403	L-79	III層	石鏃	頁岩	3.55	1.37	0.52	2.1	
図III-2 2 43	II-403	K-84	III層	石鏃	頁岩	3.88	1.15	0.58	2.9	
図III-2 2 44	II-403	Q-67	III層	石鏃	黒曜石	(2.94)	1.05	0.36	(1.3)	
図III-2 2 45	II-403	N-74	III層	石鏃	頁岩	4.16	1.41	0.61	2.9	
図III-2 2 46	II-403	H-76	III層	石鏃	頁岩	4.63	1.44	0.59	3.5	海側斜面
図III-2 2 47	II-403	S-75	III層	石鏃	頁岩	5.30	1.23	0.34	2.8	
図III-2 2 48	II-403	K-71	III層	石鏃	頁岩	5.42	1.47	0.68	4.5	
図III-2 2 49	II-403	J-73	III層	石鏃	頁岩	5.32	1.48	0.64	4.0	
図III-2 2 50	II-403	J-76	III層	石槍	頁岩	5.78	1.50	0.55	25.3	
図III-2 2 51	II-403	S-76	III層	石鏃	頁岩	5.18	1.69	0.44	4.2	
図III-2 2 52	II-403	N-63	III層	石鏃	頁岩	4.61	1.68	0.65	3.6	
図III-2 2 53	II-403	Q-73	III層	石鏃	頁岩	(5.03)	1.45	0.46	(3.7)	
図III-2 2 54	II-403	M-69	III層	石鏃	頁岩	4.44	1.79	0.46	3.0	
図III-2 2 55	II-403	L-65	III層	石鏃	頁岩	3.65	1.82	0.50	2.0	
図III-2 2 56	II-403	K-72	III層	石鏃	黒曜石	3.38	1.54	0.45	1.5	
図III-2 2 57	II-403	L-80	III層	石鏃	頁岩	2.63	1.28	0.35	1.0	
図III-2 2 58	II-403	N-63	III層	石鏃	頁岩	3.03	1.28	0.37	1.5	
図III-2 2 59	II-403	L-72	III層	石鏃	頁岩	3.46	1.53	0.33	1.6	
図III-2 2 60	II-403	Q-70	III層	石鏃	頁岩	3.27	1.46	0.53	2.1	
図III-2 2 61	II-403	N-70	III層	石鏃	頁岩	3.87	1.58	0.61	3.0	
図III-2 2 62	II-403	L-62	III層	石鏃	黒曜石	3.17	1.44	0.27	1.3	
図III-2 2 63	II-403	R-68	III層	石鏃	黒曜石	(2.52)	1.78	0.35	(2.2)	
図III-2 2 64	II-403	P-74	III層	石鏃	頁岩	2.89	1.56	0.27	1.5	
図III-2 2 65	II-403	M-66	III層	石鏃	安山岩	4.36	2.57	10.66	5.5	
図III-2 2 66	II-403	R-74	風倒	両面加工のスクレイパー	頁岩	8.35	3.27	1.50	38.7	
図III-2 2 67	II-403	O-71	III層	両面加工のスクレイパー	頁岩	10.81	4.05	1.91	72.8	
図III-2 2 68	II-403	P-70	III層	両面加工のスクレイパー	頁岩	6.66	2.77	1.10	23.5	
図III-2 2 69	II-403	K-84	III層	両面加工のスクレイパー	頁岩	4.91	3.44	0.97	21.0	籠状石器？
図III-2 2 70	II-403	K-62	III層	両面加工のスクレイパー	頁岩	4.61	3.18	0.69	8.4	
図III-2 2 71	II-403	J-66	III層	両面加工のスクレイパー	頁岩	4.30	3.96	1.05	12.4	
図III-2 3 72	II-404	P-71	III層	つまみ付ナイフ	頁岩	7.87	2.58	0.69	14.7	
図III-2 3 73	II-404	R-71	III層	つまみ付ナイフ	黒曜石	5.66	3.02	1.15	17.6	
図III-2 3 74	II-404	Q-72	III層	つまみ付ナイフ	頁岩	7.23	2.46	0.98	20.2	
図III-2 3 75	II-404	S-70	III層	つまみ付ナイフ	頁岩	7.97	2.19	0.79	17.6	
図III-2 3 76	II-404	L-69	III層	つまみ付ナイフ	頁岩	11.46	2.21	1.01	28.7	

掲載図番号	写真図版	グリット	層位	分類	石材	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考
図III-2 3 77	II-404	J-72	III層	つまみ付ナイフ	頁岩	9.89	2.76	1.24	32.2	
図III-2 3 78	II-404	M-71	III層	つまみ付ナイフ	頁岩	10.67	3.10	1.07	34.8	
図III-2 3 79	II-404	R-74	III層	つまみ付ナイフ	頁岩	6.72	2.15	0.63	9.0	
図III-2 3 80	II-404	Q-73	III層	つまみ付ナイフ	頁岩	10.70	4.02	1.00	40.2	
図III-2 3 81	II-404	M-72	III層	つまみ付ナイフ	頁岩	9.86	4.45	1.16	43.9	
図III-2 3 82	II-404	L-66	III層	エンドスクレイパー	頁岩	11.15	4.87	1.58	71.0	
図III-2 3 83	II-404	P-68	III層	エンドスクレイパー	頁岩	5.87	2.83	1.02	17.7	
図III-2 3 84	II-404	P-71	III層	エンドスクレイパー	頁岩	6.85	4.06	1.19	27.4	
図III-2 3 85	II-404	I-70	III層	エンドスクレイパー	頁岩	4.13	3.22	1.80	27.0	
図III-2 3 86	II-404	I-72	III層	エンドスクレイパー	頁岩	4.13	2.97	1.06	11.7	
図III-2 3 87	II-404	I-69	III層	エンドスクレイパー	頁岩	4.72	4.60	2.06	51.2	
図III-2 3 88	II-404	—	表採	エンドスクレイパー	泥岩	6.05	4.35	2.12	57.2	
図III-2 3 89	II-404	K-72	III層	エンドスクレイパー	頁岩	8.19	2.93	0.95	31.7	
図III-2 3 90	II-404	O-73	III層	エンドスクレイパー	頁岩	7.16	4.25	2.03	55.1	
図III-2 4 91	II-405	L-64	III層	異形石器	黒曜石	(4.95)	1.89	0.31	(6.3)	
図III-2 4 92	II-405	L-67	III層	異形石器	黒曜石	4.84	2.24	0.86	9.1	
図III-2 4 93	II-405	O-74	III層	異形石器	頁岩	9.28	2.73	1.49	39.4	
図III-2 4 94	II-405	L-82	III層	異形石器	頁岩	6.39	1.98	0.97	10.2	
図III-2 4 95	II-405	J-68	III層	異形石器	頁岩	5.68	2.28	0.82	12.1	
図III-2 4 96	II-405	M-73	III層	挟入石器	黒曜石	2.70	1.48	0.27	1.4	
図III-2 4 97	II-405	M-73	III層	スクレイパー	頁岩	7.77	4.67	1.23	48.1	
図III-2 4 98	II-405	J-75	III層	スクレイパー	頁岩	4.75	2.57	0.45	5.4	
図III-2 4 99	II-405	L-65	III層	スクレイパー	珪質頁岩	8.42	4.23	1.25	55.1	
図III-2 4 100	II-405	N-63	III層	スクレイパー	珪化岩	5.36	2.71	0.82	10.2	
図III-2 4 101	II-405	K-71	III層	スクレイパー	頁岩	5.45	3.37	0.66	19.1	
図III-2 4 102	II-405	O-73	III層	スクレイパー	頁岩	7.69	5.29	1.50	66.0	筒状石器
図III-2 4 103	II-405	T-73	III層	スクレイパー	頁岩	6.50	4.40	1.49	43.7	
図III-2 4 104	II-405	L-71	III層	スクレイパー	頁岩	7.61	3.66	0.97	30.4	
図III-2 4 105	II-405	N-72	III層	スクレイパー	頁岩	6.53	4.21	1.59	45.1	
図III-2 4 106	II-405	L-65	I層	スクレイパー	頁岩	7.14	4.33	1.09	32.1	
図III-2 4 107	II-405	M-70	III層	スクレイパー	頁岩	6.84	4.07	0.93	33.0	
図III-2 4 108	II-405	P-73	III層	スクレイパー	頁岩	7.04	4.10	0.70	24.5	
図III-2 4 109	II-405	N-73	III層	スクレイパー	頁岩	7.56	4.29	1.24	41.1	
図III-2 4 110	II-405	O-69	III層	スクレイパー	頁岩	6.74	4.31	1.31	43.8	
図III-2 5 111	II-406	J-65	III層	スクレイパー	頁岩	12.27	5.17	2.13	132.9	
図III-2 5 112	II-406	L-61	III層	スクレイパー	頁岩	8.82	3.80	1.90	78.3	
図III-2 5 113	II-406	K-73	III層	スクレイパー	頁岩	8.86	4.33	1.10	58.8	
図III-2 5 114	II-406	J-67	III層	スクレイパー	頁岩	7.85	4.78	1.27	46.6	
図III-2 5 115	II-406	N-71	III層	スクレイパー	頁岩	8.87	3.52	1.27	33.0	
図III-2 5 116	II-406	K-74	III層	スクレイパー	頁岩	8.54	3.43	1.04	44.3	同一固体破片接合
図III-2 5 117	II-406	H-68	III層	スクレイパー	頁岩	9.81	4.64	1.41	66.1	
図III-2 5 118	II-406	R-74	風倒	スクレイパー	頁岩	9.79	3.75	1.52	77.9	
図III-2 5 119	II-406	J-不明	III層	スクレイパー	頁岩	9.74	4.66	2.16	102.9	
図III-2 6 120	II-406	O-67	III層	スクレイパー	頁岩	9.85	5.45	1.86	79.1	
図III-2 5 121	II-406	M-68	III層	スクレイパー	頁岩	7.53	6.44	1.03	41.1	
図III-2 5 122	II-406	N-65	III層	スクレイパー	頁岩	7.14	7.52	1.08	53.8	
図III-2 5 123	II-407	J-66	III層	スクレイパー	頁岩	10.80	4.60	2.50	103.5	
図III-2 5 124	II-407	M-63	III層	スクレイパー	頁岩	8.32	4.48	1.23	36.7	
図III-2 6 125	II-407	M-68	III層	スクレイパー	頁岩	8.09	2.98	0.90	26.3	
図III-2 6 126	II-407	J-73	III層	スクレイパー	頁岩	6.59	3.91	0.86	27.7	
図III-2 6 127	II-407	Q-75	III層	スクレイパー	頁岩	12.30	9.80	2.10	181.6	
図III-2 6 128	II-407	P-62	III層	スクレイパー	頁岩	12.20	7.60	1.80	174.4	
図III-2 6 129	II-407	Q-72	III層	スクレイパー	頁岩	9.90	8.20	2.20	116.8	
図III-2 6 130	II-407	M-82	III層	石核	頁岩	4.06	2.98	2.93	38.5	
図III-2 6 131	II-407	P-62	III層	石核	頁岩	9.58	6.15	4.45	240.0	
図III-2 6 132	II-407	I-69	トレンチ	石核	頁岩	11.40	6.41	6.07	402.0	
図III-2 6 133	II-407	K-68	III層	石核	頁岩	6.88	5.44	3.68	193.2	
図III-2 7 1	II-408	J-76	III層	石斧	緑色泥岩	11.30	5.00	2.80	259.0	
図III-2 7 2	II-408	M-72	III層	石斧	緑色片岩	12.74	4.12	3.73	306.8	刃部欠損
図III-2 7 3	II-408	K-70	III層	石斧	緑色泥岩	12.17	3.34	1.65	100.2	
図III-2 7 4	II-408	J-73	III層	石斧	緑色泥岩	15.53	4.36	1.64	196.7	
図III-2 7 5	II-408	H-72	III層	石斧	緑色泥岩	12.30	4.90	2.50	358.0	
図III-2 7 6	II-408	L-62	III層	石斧	緑色泥岩	(14.46)	5.41	2.21	(330.0)	
図III-2 7 7	II-408	N-66	III層	石斧	緑色泥岩	10.15	4.37	1.51	112.7	
図III-2 7 8	II-408	J-76	III層	石斧	緑色泥岩	10.80	4.50	2.40	181.8	
図III-2 7 9	II-408	H-72	III層	石斧	緑色泥岩	10.34	5.10	2.60	210.0	
図III-2 7 10	II-408	T-71	III層	石斧	緑色泥岩	12.80	5.50	3.00	336.0	
図III-2 8 11	II-409	K-70	III層	石斧	緑色泥岩	8.82	1.74	0.85	18.6	同一固体破片接合
図III-2 8 12	II-409	N-70	III層	石斧	緑色泥岩	8.32	1.71	1.02	22.7	
図III-2 8 13	II-409	J-69	III層	石斧	緑色泥岩	6.86	3.65	0.85	36.8	
図III-2 8 14	II-409	P-70	III層	石斧	緑色泥岩	6.39	3.67	0.78	24.6	
図III-2 8 15	II-409	O-73	III層	石斧	緑色泥岩	7.09	4.49	1.06	52.0	
図III-2 8 16	II-409	L-62	III層	石斧	緑色泥岩	11.05	3.42	1.44	61.2	
図III-2 8 17	II-409	O-73	III層	石斧	緑色泥岩	11.97	5.32	1.43	110.3	
図III-2 8 18	II-409	H-72	III層	石斧	緑色泥岩	8.03	2.84	1.14	43.8	
図III-2 8 19	II-409	I-70	III層	石斧	緑色泥岩	7.70	2.84	1.25	43.6	
図III-2 8 20	II-409	H-70	III層	石斧	緑色泥岩	8.84	6.44	3.33	330.0	
図III-2 8 21	II-409	O-77	III層	石斧	緑色泥岩	11.69	5.79	3.25	346.6	

第1分冊（文章編）

掲載図番号	写真図版	グリット	層位	分類	石材	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考
図Ⅲ-2 8 22	Ⅱ-409	I-67	Ⅲ層	石斧	緑色泥岩	(13.55)	4.33	1.81	(153.7)	
図Ⅲ-2 9 23	Ⅱ-410	M-69	Ⅲ層	たたき石	砂岩	14.73	8.89	8.02	1,640.0	
図Ⅲ-2 9 24	Ⅱ-410	S-75	Ⅲ層	たたき石	珪岩	12.42	8.42	6.72	970.0	
図Ⅲ-2 9 25	Ⅱ-410	N-62	Ⅲ層	たたき石	チャート	9.53	5.09	4.02	270.0	
図Ⅲ-2 9 26	Ⅱ-410	N-70	Ⅲ層	たたき石	砂岩	8.91	6.53	6.61	521.2	
図Ⅲ-2 9 27	Ⅱ-410	O-71	Ⅲ層	たたき石	砂岩	11.81	6.61	3.58	400.0	
図Ⅲ-2 9 28	Ⅱ-410	R-70	Ⅲ層	たたき石	礫岩	11.69	7.30	7.25	780.0	2点中1点のみ実測
図Ⅲ-2 9 29	Ⅱ-410	R-75	Ⅲ層	たたき石	砂岩	7.63	5.60	2.69	172.0	
図Ⅲ-2 9 30	Ⅱ-410	S-70	Ⅲ層	たたき石	砂岩	7.22	7.16	6.44	430.0	
図Ⅲ-2 9 31	Ⅱ-410	K-70	Ⅲ層	たたき石	砂岩	8.42	3.72	3.36	157.2	
図Ⅲ-2 9 32	Ⅱ-410	Q-72	Ⅲ層	たたき石	チャート	10.44	6.83	5.69	670.0	
図Ⅲ-2 9 33	Ⅱ-410	R-70	Ⅲ層	たたき石	砂岩	5.99	4.45	3.02	96.2	
図Ⅲ-2 9 34	Ⅱ-410	T-69	Ⅲ層	たたき石	チャート	8.32	6.94	4.58	410.0	
図Ⅲ-2 9 35	Ⅱ-410	K-61	Ⅲ層	たたき石	頁岩	8.51	5.81	4.40	290.0	
図Ⅲ-2 9 36	Ⅱ-410	Q-68	Ⅲ層	たたき石	チャート	6.82	6.17	4.09	235.0	
図Ⅲ-2 9 37	Ⅱ-410	N-62	Ⅲ層	たたき石	砂岩	10.05	6.40	3.79	385.0	
図Ⅲ-2 10 38	Ⅱ-411	J-77	Ⅲ層	たたき石	砂岩	15.15	11.50	7.10	1,340.0	
図Ⅲ-2 10 39	Ⅱ-411	J-68	Ⅲ層	たたき石	砂岩	12.42	10.74	4.47	808.0	
図Ⅲ-2 10 40	Ⅱ-411	M-62	Ⅲ層	たたき石	流紋岩	11.10	7.10	1.80	185.5	
図Ⅲ-2 10 41	Ⅱ-411	L-63	Ⅲ層	たたき石	泥岩	9.20	4.80	0.90	57.3	
図Ⅲ-2 10 42	Ⅱ-411	Q-69	Ⅲ層	たたき石	砂岩	22.30	5.10	3.80	63.0	
図Ⅲ-2 10 43	Ⅱ-411	P-65	Ⅲ層	たたき石	デイスайト	19.80	106.90	6.15	1,490.0	
図Ⅲ-2 10 44	Ⅱ-411	S-67	Ⅲ層	たたき石	安山岩	16.40	11.40	11.00	2,890.0	
図Ⅲ-2 10 45	Ⅱ-411	I-66	Ⅲ層	たたき石	砂岩	26.10	11.50	5.40	2,200.0	
図Ⅲ-2 10 46	Ⅱ-411	P-70	Ⅲ層	くぼみ石	砂岩	12.22	5.84	5.07	412.7	
図Ⅲ-2 10 47	Ⅱ-411	R-71	Ⅲ層	くぼみ石	砂岩	12.23	7.64	2.72	290.0	
図Ⅲ-2 11 48	Ⅱ-412	O-78	Ⅲ層	北海道式石冠	玄武岩	11.88	7.30	5.56	830.0	
図Ⅲ-2 11 49	Ⅱ-412	J-85	Ⅲ層	北海道式石冠	砂岩	9.24	7.34	5.39	308.0	
図Ⅲ-2 11 50	Ⅱ-412	L-71	Ⅲ層	北海道式石冠	玄武岩	10.68	8.39	6.21	790.0	
図Ⅲ-2 11 51	Ⅱ-412	Q-79	Ⅲ層	北海道式石冠	安山岩	8.31	10.66	6.35	790.0	
図Ⅲ-2 11 52	Ⅱ-412	O-65	Ⅲ層	北海道式石冠	安山岩	9.53	14.36	6.29	1,380.0	未成品
図Ⅲ-2 11 53	Ⅱ-412	Q-62	Ⅲ層	北海道式石冠	玄武岩	10.29	8.00	5.91	475.4	
図Ⅲ-2 11 54	Ⅱ-412	R-70	Ⅲ層	扁平打製石器	砂岩	9.50	5.09	2.10	175.2	
図Ⅲ-2 11 55	Ⅱ-412	J-67	Ⅲ層	扁平打製石器	玄武岩	14.73	6.90	3.09	560.0	
図Ⅲ-2 11 56	Ⅱ-412	J-66	Ⅲ層	扁平打製石器	砂岩	16.92	10.05	4.08	850.0	
図Ⅲ-2 11 57	Ⅱ-412	R-74	Ⅲ層	扁平打製石器	流紋岩	12.85	8.85	2.12	283.0	
図Ⅲ-2 11 58	Ⅱ-412	J-68	Ⅲ層	扁平打製石器	流紋岩	17.50	8.50	3.30	540.0	
図Ⅲ-2 11 59	Ⅱ-412	S-69	Ⅲ層	扁平打製石器	流紋岩	14.76	8.91	1.48	288.0	
図Ⅲ-2 12 60	Ⅱ-413	P-72	Ⅲ層	扁平打製石器	玄武岩	13.83	7.87	1.77	251.0	
図Ⅲ-2 12 61	Ⅱ-413	O-76	Ⅲ層	扁平打製石器	玄武岩	15.02	8.58	1.93	358.0	
図Ⅲ-2 12 62	Ⅱ-413	K-70	Ⅲ層	扁平打製石器	閃緑岩	13.66	8.46	3.22	640.0	
図Ⅲ-2 12 63	Ⅱ-413	M-67	Ⅲ層	扁平打製石器	砂岩	13.37	6.35	3.31	488.3	
図Ⅲ-2 12 64	Ⅱ-413	K-68	Ⅲ層	扁平打製石器	砂岩	12.27	6.57	3.06	329.7	
図Ⅲ-2 12 65	Ⅱ-413	L-65	Ⅲ層	扁平打製石器	玄武岩	15.27	8.37	3.63	760.0	
図Ⅲ-2 12 66	Ⅱ-413	N-65	Ⅲ層	扁平打製石器	砂岩	18.40	5.59	1.73	299.7	
図Ⅲ-2 12 67	Ⅱ-413	K-73	Ⅲ層	扁平打製石器	流紋岩	10.60	4.60	1.20	97.2	
図Ⅲ-2 12 68	Ⅱ-413	K-74	I層	扁平打製石器	安山岩	23.30	14.70	8.40	2,770.0	未成品
図Ⅲ-2 13 69	Ⅱ-414	S-63	Ⅲ層	断面三角形のすり石	砂岩	14.31	7.42	4.96	710.0	
図Ⅲ-2 13 70	Ⅱ-414	P-66	Ⅲ層	断面三角形のすり石	砂岩	16.30	7.98	6.85	1,305.0	
図Ⅲ-2 13 71	Ⅱ-414	J-71	Ⅲ層	断面三角形のすり石	砂岩	16.10	4.93	3.95	360.0	
図Ⅲ-2 13 72	Ⅱ-414	T-74	Ⅲ層	断面三角形のすり石	砂岩	13.16	5.89	4.09	445.0	
図Ⅲ-2 13 73	Ⅱ-414	I-70	Ⅲ層	断面三角形のすり石	デイスайト	21.30	8.19	6.54	1,895.0	
図Ⅲ-2 13 74	Ⅱ-414	Q-66	Ⅲ層	多面砥石	砂岩	19.14	12.93	10.89	2,340.0	Q66-56と接合
図Ⅲ-2 13 75	Ⅱ-414	T-71	Ⅲ層	多面砥石	砂岩	8.50	6.30	3.30	149.1	
図Ⅲ-2 13 76	Ⅱ-414	I-67	Ⅲ層	多面砥石	砂岩	9.80	5.80	4.50	198.0	
図Ⅲ-2 13 77	Ⅱ-414	L-67	Ⅲ層	多面砥石	溶結凝灰岩	11.99	12.81	4.19	362.4	
図Ⅲ-2 14 78	Ⅱ-414	M-74	Ⅲ層	すり石	安山岩	9.30	7.45	8.15	760.0	
図Ⅲ-2 14 79	Ⅱ-414	S-72	Ⅲ層	すり石	砂岩	5.40	4.60	3.30	138.5	
図Ⅲ-2 14 80	Ⅱ-414	M-69	Ⅲ層	すり石	安山岩	25.60	14.70	5.00	2,920.0	
図Ⅲ-2 14 81	Ⅱ-415	O-73	Ⅲ層	すり石	砂岩	12.10	5.40	2.40	230.0	
図Ⅲ-2 14 82	Ⅱ-415	R-75	Ⅲ層	砥石	砂岩	14.40	14.30	4.20	1,240.0	接合
図Ⅲ-2 14 83	Ⅱ-415	N-72	Ⅲ層	砥石	玄武岩	9.66	8.76	3.11	390.6	
図Ⅲ-2 14 84	Ⅱ-415	J-72	Ⅲ層	砥石	砂岩	12.80	11.20	3.10	440.0	
図Ⅲ-2 14 85	Ⅱ-415	J-66	Ⅲ層	砥石	砂岩	12.10	9.90	2.30	398.0	
図Ⅲ-2 14 86	Ⅱ-415	Q-65	Ⅲ層	石錘	砂岩	11.59	7.98	2.81	400.0	
図Ⅲ-2 14 87	Ⅱ-416	P-73	Ⅲ層	石錘	砂岩	7.20	6.00	2.10	134.0	
図Ⅲ-2 14 88	Ⅱ-416	N-69	Ⅲ層	石錘	砂岩	7.11	4.93	1.79	93.1	
図Ⅲ-2 14 89	Ⅱ-416	O-63	Ⅲ層	石錘	砂岩	7.62	4.31	1.26	55.1	
図Ⅲ-2 14 90	Ⅱ-416	Q-68	Ⅲ層	石錘	砂岩	6.50	6.40	1.50	98.7	
図Ⅲ-2 14 91	Ⅱ-416	T-75	Ⅲ層	石錘	砂岩	5.50	4.90	1.50	40.5	
図Ⅲ-2 14 92	Ⅱ-416	S-65	Ⅲ層	石錘	砂岩	5.40	4.80	1.50	58.4	
図Ⅲ-2 14 93	Ⅱ-416	Q-74	Ⅲ層	石錘	凝灰岩	6.80	6.60	1.50	78.5	
図Ⅲ-2 14 94	Ⅱ-416	N-79	Ⅲ層	石錘	砂岩	7.43	8.17	2.54	203.3	
図Ⅲ-2 14 95	Ⅱ-416	P-78	攪乱	石錘	砂岩	8.30	6.90	2.10	185.1	
図Ⅲ-2 14 96	Ⅱ-416	M-79	Ⅲ層	石錘	砂岩	8.76	6.83	2.19	205.5	
図Ⅲ-2 14 97	Ⅱ-416	L-76	Ⅲ層	石錘	砂岩	9.13	6.89	2.31	198.4	
図Ⅲ-2 15 98	Ⅱ-416	N-71	Ⅲ層	台石・石皿	安山岩	38.00	40.00	39.20	19,280.0	
図Ⅲ-2 15 99	Ⅱ-416	Q-74	Ⅲ層	台石・石皿	砂岩	49.60	23.40	14.00	18,700.0	

掲載図番号	写真図版	グリット	層位	分類	石材	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考
図Ⅲ-2 16 100	Ⅱ-415	I-72	Ⅲ層	台石・石皿	石英安山岩	43.20	28.80	14.00	20,400.0	
図Ⅲ-2 16 101	Ⅱ-415	L-81	Ⅲ層	台石・石皿	石英安山岩	50.60	25.20	14.50	19,600.0	
図Ⅲ-2 17 102	Ⅱ-417	O-81	Ⅲ層	加工痕のある礫	凝灰岩	13.90	4.90	6.90	530.0	
図Ⅲ-2 17 103	Ⅱ-417	P-80	Ⅲ層	加工痕のある礫	メノウ	2.42	0.65	0.74	2.4	
図Ⅲ-2 17 104	Ⅱ-417	K-62	Ⅲ層	加工痕のある礫	泥岩	10.50	4.90	3.20	236.0	
図Ⅲ-2 17 105	Ⅱ-417	K-71	Ⅲ層	加工痕のある礫	粘板岩	20.70	9.85	3.60	1,100.0	
図Ⅲ-2 17 106	Ⅱ-417	K-69	Ⅲ層	加工痕のある礫	砂岩	15.76	9.69	3.86	770.0	
図Ⅲ-2 17 107	Ⅱ-417	R-74	Ⅲ層	加工痕のある礫	泥岩	6.00	8.90	1.20	93.0	
図Ⅲ-2 17 108	Ⅱ-417	I-68	トレンチ	棒状礫	流紋岩	15.30	3.80	2.00	127.1	
図Ⅲ-2 17 109	Ⅱ-417	J-68	Ⅲ層	棒状礫	泥岩	18.80	3.60	1.20	82.0	
図Ⅲ-2 17 110	Ⅱ-417	S-75	Ⅲ層	棒状礫	泥岩	12.80	1.68	0.96	40.3	
図Ⅲ-2 17 111	Ⅱ-417	J-69	—	棒状礫	泥岩	7.60	1.00	0.80	9.3	北側トレンチ
図Ⅲ-2 17 112	Ⅱ-417	—	Ⅲ層	削痕のある礫	凝灰岩	3.80	2.80	1.35	15.6	
図Ⅲ-2 17 113	Ⅱ-417	S-72	Ⅲ層	削痕のある礫	泥岩	4.10	1.80	1.40	9.6	
図Ⅲ-2 17 114	Ⅱ-417	I-68	Ⅲ層	加工痕のある礫	砂岩	14.30	5.90	5.30	615.0	石棒?

表VI-8 掲載遺構別土製品・石製品一覧

掲載番号	写真図版	遺構名	層位	分類	石材	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考
図II 2	15	II-243 CH-1	覆土2層	土製品		(6.45)	(6.75)	1.05	27.8	III群b類
図II 3	22	II-243 CH-1	覆土1層	石製品	泥岩	5.42	5.28	0.83	19.0	
図II 5	6	II-244 CH-2	床	有孔土製円盤		4.85	4.70	1.00	20.6	III群b類
図II 5	7	II-244 CH-2	床	有孔土製円盤		3.80	4.10	0.80	12.9	III群b類
図II 5	8	II-244 CH-2	床	有孔土製円盤		4.50	4.90	0.90	19.1	III群b類
図II 10	65	II-244 CH-2	覆土1層	石棒	砂岩	15.20	7.00	6.00	720.0	CH-32-10と接合 2点掲載
図II 12	21	II-6 CH-3	床	有孔土製円盤		3.87	3.96	0.85	8.5	III群b類 滑石土器
図II 19	45	II-246 CH-4	覆土1層	石棒	安山岩?	34.80	9.20	10.20	3850.0	破片数10点
図II 19	46	II-246 CH-4	覆土1層	石柱状	安山岩	39.10	15.00	13.50	15.5	
図II 19	47	II-246 CH-4	覆土1層	三角形石製品	流紋岩	4.69	5.19	1.10	23.3	遺物集中
図II 19	48	II-246 CH-4	床	三角形土製品		4.70	4.20	1.25	13.9	—
図II 31	27	II-249 CH-9	覆土2層	有孔土製円盤		5.10	5.40	1.10	27.7	—
図II 32	37	II-249 CH-9	覆土1層	石棒	デイスait	13.93	6.02	4.50	690.0	
図II 32	38	II-249 CH-9	床	石製品	閃緑岩	14.10	9.70	4.30	960.0	
図II 46	32	II-251 CH-12	床	石棒	玄武岩	26.30	9.20	4.90	1625.0	
図II 46	33	II-251 CH-12	—	玉	凝灰岩	2.90	3.00	1.10	10.2	
図II 52	26	II-252 CH-13	覆土2層	有孔土製円盤		4.45	4.10	1.10	16.9	III群b類
図II 53	37	II-252 CH-13	床	土製品・耳栓		2.99	2.94	0.80	6.0	—
図II 55	3	II-252 CH-14	床	有孔土製円盤		4.20	4.20	1.00	9.6	III群b類
図II 81	89	II-257 CH-16	覆土1層	石製品	閃緑岩	12.40	5.70	8.40	705.0	
図II 81	90	II-257 CH-16	覆土1層	石製品	凝灰岩	11.60	5.30	7.40	450.0	
図II 93	64	II-259 CH-18	覆土1層	石製品	軽石	7.60	4.15	3.10	28.7	
図II 93	65	II-259 CH-18	覆土1層	有孔土製円盤		5.20	5.60	1.05	27.6	—
図II 93	66	II-259 CH-18	覆土1層	有孔土製円盤		4.70	4.15	0.75	12.0	III群a類
図II 102	17	II-260 CH-20	床	石製品	凝灰岩	6.50	7.20	5.10	103.8	
図II 114	68	II-263 CH-22	床	石製品	凝灰岩	11.00	8.00	0.90	82.4	
図II 122	29	II-264 CH-24	床	石製品	頁岩	11.80	3.50	6.20	274.0	
図II 122	30	II-264 CH-24	床	石製品	泥岩	14.80	3.40	7.50	448.0	No374・375・376接合
図II 132	28	II-265 CH-25	覆土2層	土偶		(6.10)	(5.90)	(1.80)	(34.2)	—
図II 132	29	II-265 CH-25	床	土製品		6.10	3.20	3.10	39.7	III群a類
図II 132	30	II-265 CH-25	覆土2層	石冠様石製品	流紋岩	11.50	4.80	6.80	495.0	
図II 133	44	II-265 CH-25	床	棒状石製品	凝灰岩	11.90	1.40	0.90	15.3	
図II 140	20	II-267 CH-26	覆土1層	石製品	流紋岩	22.10	7.60	2.80	513.0	
図II 149	48	II-270 CH-29	床	土製品・土玉		2.40	2.20	2.40	9.0	—
図II 166	75	II-271 CH-30	覆土2層	石製品	流紋岩	4.70	2.50	0.70	10.7	
図II 198	100	II-273 CH-31	覆土2層	土偶		(5.90)	(5.93)	(1.70)	(40.5)	—CH-70覆土2と接合
図II 198	101	II-273 CH-31	覆土1層	動物型土製品		(2.85)	(6.20)	(2.10)	(25.3)	—
図II 199	110	II-273 CH-31	覆土1層	石棒	安山岩	15.10	7.00	5.60	900.0	
図II 199	111	II-273 CH-31	覆土2層	石棒	凝灰岩	18.40	4.60	4.10	275.0	
図II 199	113	II-273 CH-31	HP-32覆土	玉	泥岩	6.56	6.18	2.00	100.2	HP-32
図II 199	114	II-273 CH-31	覆土2層	玉	泥岩	4.40	4.21	2.30	49.2	
図II 199	115	II-273 CH-31	覆土2層	玉	泥岩	3.62	3.16	1.12	13.3	
図II 199	116	II-273 CH-31	覆土2層	玉	泥岩	3.00	2.50	1.35	11.7	
図II 199	117	II-273 CH-31	覆土1層	土製品		4.62	4.34	1.64	16.4	
図II 203	10	II-273 CH-32	覆土1層	石棒	砂岩	15.20	7.00	6.00	720.0	CH-2-65と接合 2点掲載
図II 238	11	II-278 CH-43	床	石棒	デイスait	42.80	7.30	7.10	3420.0	
図II 238	12	II-278 CH-43	床	石冠	玄武岩	8.80	5.70	1905.00	25.4	
図II 251	45	II-279 CH-47	覆土2層	三角形石製品	流紋岩	6.60	6.00	1.20	46.2	
図II 258	27	II-281 CH-49	床	石刀	凝灰岩	10.80	3.90	2.20	114.0	
図II 265	36	II-282 CH-50	床	土製品		3.00	2.90	2.75	17.9	
図II 265	37	II-282 CH-50	床	土製円盤?		3.80	3.00	0.85	9.5	III群a類
図II 265	38	II-282 CH-50	覆土1層	玉	軽石	3.80	3.60	2.00	5.6	
図II 265	39	II-282 CH-50	覆土1層	石刀	凝灰岩	19.00	5.40	1.70	880.0	
図II 288	87	II-283 CH-51	覆土中層	玉	泥岩	2.90	2.60	2.10	16.5	
図II 288	88	II-283 CH-51	覆土中層	土製品?		(2.30)	(1.20)	(1.10)	(3.1)	—
図II 288	89	II-283 CH-51	覆土中層・覆土上層	土偶片		(6.40)	(5.90)	1.35	(18.1)	III群a類
図II 305	52	II-285 CH-52	HP-9覆土1層	玉	蛇紋岩	4.50	3.79	2.20	63.0	HP-9
図II 305	53	II-285 CH-52	覆土中層	石製品	軽石	(3.40)	(1.86)	1.23	(7.4)	
図II 206	60	II-285 CH-52	覆土上層	石棒	砂岩	10.90	5.20	4.50	297.0	
図II 320	28	II-288 CH-57	覆土1層	石棒	安山岩	13.60	7.00	5.10	790.0	
図II 320	29	II-288 CH-57	床	玉	泥岩	5.35	3.45	1.74	38.8	
図II 322	13	II-288 CH-58	床	石刀	安山岩	54.70	7.20	4.30	2905.0	
図II 325	11	II-288 CH-58	床	石冠様石製品	緑色凝灰岩	12.50	8.70	5.20	635.0	
図II 325	12	II-288 CH-58	覆土1層	三角形石製品	流紋岩	3.53	3.52	0.50	9.3	
図II 334	29	II-290 CH-61	床	有孔土製円盤		3.75	3.65	0.80	11.1	III群a類
図II 337	15	II-293 CH-62	覆土1層	有孔土製円盤		3.60	3.90	1.00	14.3	III群a類
図II 338	27	II-293 CH-62	床	玉	泥岩	6.42	5.13	3.50	130.5	
図II 339	31	II-293 CH-62	覆土1層	石棒	凝灰岩	14.30	10.10	8.80	1200.0	
図II 352	35	II-294 CH-64	覆土1層	有孔土製円盤		(4.10)	(4.40)	1.00	9.3	III群b類
図II 361	30	II-295 CH-67	覆土下層	石製品・装飾品	泥岩	(4.90)	3.80	0.25	(5.6)	
図II 365	21	II-295 CH-68	床	有孔土製円盤		6.00	4.60	0.80	17.1	III群b類
図II 365	22	II-295 CH-68	床	石棒	流紋岩	18.20	5.90	4.70	640.0	
図II 370	20	II-296 CH-70	覆土1層	有孔土製円盤		3.85	4.10	0.80	11.0	III群b類
図II 378	65	II-296 CH-71	床	石製品	砂岩	17.50	5.70	9.20	1060.0	被熱
図II 378	66	II-296 CH-71	床	石棒	安山岩	18.10	7.00	5.80	1140.0	
図II 378	67	II-296 CH-71	覆土2層	石棒	流紋岩	18.10	6.50	6.00	780.0	

掲載番号	写真図版	遺構名	層位	分類	石材	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考	
図Ⅱ 384	22	Ⅱ-298	CH - 74	床	有孔土製円盤	3.30	3.40	0.80	9.5	Ⅲ群b類	
図Ⅱ 394	62	Ⅱ-299	CH - 77	覆土2層	有孔土製円盤	4.10	4.10	0.90	13.9	—	
図Ⅱ 394	63	Ⅱ-299	CH - 77	覆土下層	有孔土製円盤	5.90	5.90	1.00	(26.3)	Ⅲ群a類	
図Ⅱ 394	64	Ⅱ-299	CH - 77	覆土下層	三角形石製品	砂岩	5.45	5.27	1.74	36.5	
図Ⅱ 395	65	Ⅱ-299	CH - 77	覆土3層	石刀	祖流玄武岩	16.60	4.10	2.50	350.0	
図Ⅱ 417	54	Ⅱ-302	CH - 83	床	玉	玄武岩	4.80	1.85	0.95	8.1	
図Ⅱ 394	55	Ⅱ-302	CH - 83	覆土2層	有孔土製円盤	4.30	4.40	0.90	12.9	—	
図Ⅱ 394	56	Ⅱ-302	CH - 83	覆土2層	有孔土製円盤	5.10	4.80	0.90	16.9	Ⅲ群b類	
図Ⅱ 394	57	Ⅱ-302	CH - 83	覆土2層	石製品	流紋岩	11.80	2.17	2.30	94.9	
図Ⅱ 424	9	Ⅱ-303	CH - 85	床	有孔土製円盤	4.70	5.00	1.15	26.6	Ⅲ群b類	
図Ⅱ 429	18	Ⅱ-303	CH - 86	床	土製品	1.28	1.15	1.20	3.8	—	
図Ⅱ 435	28	Ⅱ-304	CH - 89	床	有孔土製円盤	5.30	5.50	1.10	26.4	Ⅲ群a類	
図Ⅱ 448	46	Ⅱ-307	CH - 92	覆土3層	石棒	安山岩	40.00	8.90	8.90	5500.0	K-62と接合
図Ⅱ 501	13	Ⅱ-310	CP - 10	覆土1層	土製円盤	3.77	(2.24)	0.75	(5.0)	Ⅲ群b類	
図Ⅱ 510	13	Ⅱ-319	CP - 65	覆土1層	石製品	礫岩	14.40	6.70	6.60	945.0	
図Ⅱ 521	1	Ⅱ-330	CP - 125	覆土2層	石棒	安山岩?	45.20	13.20	12.70	11000.0	
図Ⅱ 528	9	Ⅱ-338	CP - 163	床	石棒	デイサイト	30.60	9.60	8.60	3585.0	
図Ⅱ 527	7	Ⅱ-337	CP - 166	床	石棒?	安山岩	32.80	11.50	11.50	7000.0	
図Ⅱ 532	16	Ⅱ-342	CP - 181	床	断面三角形のすり石	安山岩	(8.75)	6.83	4.82	(430.0)	
図Ⅱ 534	9	Ⅱ-342	CP - 185	覆土1層	石製品	緑色泥岩	10.20	5.00	3.00	256.0	

表VI-9 掲載土製品・石製品（包含層）一覧

掲載図番号	写真図版	グリット	層位	石材	分類	長さ	幅	厚さcm	重さg	備考
図III-3 1 1	II-418	R-64	Ⅲ層	安山岩	石棒	18.80	7.10	5.70	1,265.0	
図III-3 1 2	II-418	R-63	Ⅲ層	凝灰岩	石棒	15.70	5.70	5.00	517.0	
図III-3 1 3	II-418	M-67	Ⅲ層	砂岩	石棒	13.01	5.04	4.38	483.9	
図III-3 1 4	II-418	K-61	Ⅲ層	デイサイト	石棒	7.50	5.40	6.80	363.0	
図III-3 1 5	II-418	T-72	Ⅲ層	安山岩	石刀	12.00	3.30	2.60	138.0	
図III-3 1 6	II-418	O-68	Ⅲ層	安山岩	石刀	9.82	3.87	2.43	157.7	
図III-3 1 7	II-418	I-67	Ⅲ層	砂岩	石刀	9.30	4.80	1.40	69.0	
図III-3 1 8	II-418	L-62	Ⅲ層	流紋岩	石刀	9.60	3.70	2.00	98.0	
図III-3 2 9	II-419	L-62	Ⅲ層	流紋岩	垂飾	(8.70)	7.10	(0.70)	(44.4)	
図III-3 2 10	II-419	H-72	Ⅲ層	軽石	玉	3.70	3.40	1.30	11.2	
図III-3 2 11	II-419	I-67	Ⅲ層	スコリア	玉	7.20	(5.70)	1.60	(29.9)	
図III-3 2 12	II-419	J-67	Ⅲ層	スコリア	玉	(4.00)	3.70	2.00	(15.9)	
図III-3 2 13	II-419	K-62	Ⅲ層	蛇紋岩	玉	5.40	3.10	1.20	40.2	
図III-3 2 14	II-419	N-69	Ⅲ層	頁岩	玉	6.00	3.50	1.35	33.0	
図III-3 2 15	II-419	R-74	Ⅲ層	砂岩	玉	6.50	4.20	1.90	43.5	
図III-3 2 16	II-419	R-67	Ⅲ層	砂岩	三角形石製品	12.80	12.50	2.00	329.0	接合
図III-3 2 17	II-419	P-71	Ⅲ層	流紋岩	三角形石製品	8.08	7.80	1.60	125.8	
図III-3 2 18	II-419	Q-71	Ⅲ層	流紋岩	三角形石製品	6.45	6.45	0.90	39.2	
図III-3 2 19	II-419	P-71	Ⅲ層	流紋岩	三角形石製品	6.36	6.25	1.12	50.1	
図III-3 2 20	II-419	S-67	Ⅲ層	流紋岩	三角形石製品	5.92	5.37	1.01	48.0	
図III-3 2 21	II-419	R-66	Ⅲ層	流紋岩	三角形石製品	4.23	4.10	0.88	20.0	
図III-3 2 22	II-419	I-69	Ⅲ層	凝灰岩	三角形石製品	4.56	4.43	1.03	27.6	
図III-3 3 23	II-420	Q-71	Ⅲ層	安山岩	石冠様石製品	11.10	3.90	7.20	370.0	
図III-3 3 24	II-420	M-81	Ⅲ層	閃緑岩	石冠様石製品	11.80	5.50	7.50	510.0	
図III-3 4 1	II-421	M-67	Ⅲ層		土偶	(6.20)	(6.40)	(3.19)	(71.0)	
図III-3 4 2	II-421	M-67	Ⅲ層		土偶	(7.95)	(5.95)	(3.00)	(118.7)	
図III-3 4 3	II-421	K-76	Ⅲ層		土偶	7.50	5.35	1.75	28.5	
図III-3 4 4	II-421	M-71	Ⅲ層		垂職	3.15	3.12	2.03	12.9	
図III-3 4 5	II-421	M-70	Ⅲ層		垂職	3.50	3.40	0.70	6.8	
図III-3 4 6	II-421	M-67	Ⅲ層		耳栓	(3.55)	(1.55)	(1.70)	(3.7)	
図III-3 4 7	II-421	L-80	Ⅲ層		土製品	(3.20)	(3.00)	(1.70)	(6.0)	
図III-3 4 8	II-420	N-82	I層		寛永通宝	2.40	2.39	0.09	2.1	
図III-3 4 9	II-420	不明-79	I層		古銭	2.46	(1.46)	0.17	(1.6)	
図III-3 4 10	II-421	K-69	Ⅲ層		有孔土製円盤	4.96	4.29	0.89	20.2	
図III-3 4 11	II-421	I-70	Ⅲ層		有孔土製円盤	3.98	4.25	0.73	12.2	
図III-3 4 12	II-421	J-73	Ⅲ層		有孔土製円盤	3.97	3.48	0.69	10.0	
図III-3 4 13	II-421	S-70	Ⅲ層		有孔土製円盤	3.16	2.93	0.72	8.0	
図III-3 4 14	II-421	K-64	Ⅲ層		有孔土製円盤	5.55	5.84	1.12	38.0	
図III-3 4 15	II-421	I-66	Ⅲ層		有孔土製円盤	4.16	3.79	0.75	12.0	
図III-3 4 16	II-421	N-63	Ⅲ層		有孔土製円盤	3.86	4.23	0.94	18.0	
図III-3 4 17	II-421	T-70	Ⅲ層		有孔土製円盤	3.29	3.20	0.75	8.0	
図III-3 4 18	II-421	N-63	Ⅲ層		有孔土製円盤	5.15	5.20	0.73	20.1	
図III-3 4 19	II-421	S-64	Ⅲ層		有孔土製円盤	3.64	3.95	0.71	12.0	
図III-3 4 20	II-421	S-66	Ⅲ層		有孔土製円盤	(4.50)	6.14	0.69	(20.0)	
図III-3 4 21	II-421	M-71	Ⅲ層		土製円盤	3.59	3.47	0.86	12.2	
図III-3 4 22	II-421	M-67	Ⅲ層		土製円盤	4.01	4.50	1.16	24.0	
図III-3 4 23	II-421	M-69	Ⅲ層		土製円盤	5.27	5.57	0.85	36.0	
図III-3 4 24	II-421	M-63	Ⅲ層		有孔土製円盤	4.51	4.45	0.67	15.5	

報告書抄録

ふりがな	ほくとし たての2いせきCちく				
書名	北斗市 館野2遺跡C地区				
副書名	高規格幹線道路函館江差自動車道工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書				
シリーズ名	公益財団法人 北海道埋蔵文化財センター調査報告書（北埋調報）				
シリーズ番号	第303集				
編著者名	皆川洋一・佐川俊一・立川トマス・佐藤剛				
編集機関	公益財団法人 北海道埋蔵文化財センター				
所在地	〒069-0832 北海道江別市西野幌685番地1 TEL (011) 386-3231				
発行年月日	平成26(西暦2014)年3月20日				
ふりがな	たての2いせきCちく				
所収遺跡名	館野2遺跡C地区				
ふりがな	ほっかいどう ほくとし たての				
所在地	北海道 北斗市 館野 29-1 ほか				
コード	市町村	01335	遺跡登載番号	B-06-35	
位置	北緯 41度47分42秒 東経140度37分00秒				
調査期間	平成19年度 20070507～20071031 平成20年度 20080512～20081001				
調査面積	平成19年度 2,2310㎡ 平成20年度 2,076㎡				
調査原因	高規格幹線道路函館江差自動車道工事に伴う事前調査				
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
館野2遺跡 C地区	集落跡 縄文中 期	縄文時代 早期中葉 中期前半 中期後半 後期前葉 晩期 続縄文	住居跡93軒、 土壇274基（土 壇墓、フラス コ状ピットを 含む）、柱穴状 小ピット63基、 焼土162箇所、 フレイク・チ ップ集中2個 所、集石11個 所	縄文早期：暁式土器 縄文中期：円筒上層b式、 円筒上層c式相当、サイ ベ沢Ⅶ式、見晴町式、榎 林式相当、大安在B式、 ノダツプⅡ式、煉瓦台式 土器、続縄文：恵山式土 器 石鏃、石槍、石錐、スク レイパー、石斧、たたき 石、北海道式石冠、砥石、 すり石、台石・石皿、石 錘、石棒、石冠様石製品、 側縁有溝石器、石刀、玉、 垂飾、シャチ形土製品、 土偶、動物遺存体、土玉	縄文時代中期前半円筒上層 b式土器の時期の集落、中 期全般の竪穴住居跡、焼失 家屋、 シャチ形土製品（縄文中期 前半） 石冠様石製品が多く出土し ている。 側縁有溝石器（縄文中期前 半） 石棒 石刀 イルカ頭蓋

遺跡番号は北海道埋蔵文化財包蔵地周知資料登載番号、経緯度は世界測地系による。

(公財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第303集

北斗市 館野2遺跡C地区 第1分冊(文章編)

高規格幹線道路函館江差自動車道工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書

発行 平成26(2014)年3月20日
編集 公益財団法人 北海道埋蔵文化財センター
〒069-0832 江別市西野幌685番地1
TEL (011)386-3231 FAX (011)386-3238
<http://www.domuibun.or.jp/>

印刷 株式会社北海道機関紙印刷所
〒060-0806 札幌市北区北6条西7丁目1
TEL (011)716-6141 FAX (011)717-5431
<http://www.hki.co.jp>